（公印・契印省略）

総政企第56号
令和８年３月26日

統計委員会委員長
津谷　典子　殿

総務大臣
林　芳正

諮問第203号
農業経営統計調査の変更について（諮問）

標記について、令和８年３月12日付け７統計第865号により農林水産大臣から別添「基幹統計調査の変更について（申請）」のとおり申請があったところ、その承認の適否を判断するに当たり、統計法（平成19年法律第53号）第11条第２項において準用する同法第９条第４項の規定に基づき、統計委員会の意見を求める。

（参考：別添の申請関連書類の目次）

１．申請書 ・・・

（公印・契印省略）

７統計第８６５号
令和８年３月１２日

総　務　大　臣　　殿

農林水産大臣　鈴木　憲和

基幹統計調査の変更について（申請）

下記調査の変更について、統計法（平成19年法律第53号）第11条第１項の規定に基づく承認を受けたいので、別紙申請事項記載書に関係書類を添えて、申請します。

記

農業経営統計調査

主管部課	大臣官房統計部経営・構造統計課		
事務担当者	統計管理官 吉江　健司	電話 e-mail	03(3591)0923 kenji_yoshie570@maff.go.jp
	課長補佐 野田　英隆 （営農類型別経営統計班）	電話 e-mail	03(6744)2043 hidetaka_noda540@maff.go.jp

別紙

申請事項記載書

1　調査の名称　農業経営統計調査
2　変更の内容
＜目次＞
◆調査計画本文（その１：経営統計調査）・・・

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体 イ　法人経営体 世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体、農事組合法人及び会社組織による経営体 （削る）	世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体 （イ）法人経営体 世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体、農事組合法人及び会社組織による経営体 イ　生産費調査 （ア）個別経営体 世帯による事業を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。） （イ）組織法人経営体 個別経営体以外で法人格を有する農事組合法人及び会社組織による経営体	
4　報告を求める個人又は法人その他の団体 （1）報告者数 （削る） 4,526 経営体（母集団の大きさ：969,279 経営体） （内訳） ○個人経営体　3,665（母集団の大きさ（以下同じ）942,155） 水田作　768（520,198） 畑作　826（ 58,800） 野菜作　818（159,191） 果樹作　556（126,808） 花き作　147（ 19,312） 酪農　88（ 11,104） 肉用牛　307（ 25,982） 養豚　70（ 1,200） 採卵養鶏　15（ 980） ブロイラー養鶏　20（ 965） その他（注2）　50（ 17,615） （注2）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。	4　報告を求める個人又は法人その他の団体 （1）報告者数 ア　経営統計調査 4,526 経営体（母集団の大きさ：969,279 経営体） （内訳） ○個人経営体　3,665（母集団　942,155） 水田作　768（母集団　520,198） 畑作　826（母集団　58,800） 野菜作　818（母集団　159,191） 果樹作　556（母集団　126,808） 花き作　147（母集団　19,312） 酪農　88（母集団　11,104） 肉用牛　307（母集団　25,982） 養豚　70（母集団　1,200） 採卵養鶏　15（母集団　980） ブロイラー養鶏　20（母集団　965） その他（注1）　50（母集団　17,615） （注1）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの 13 営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。	分割に合わせて整理 記載の適正化 分割に合わせて整理 記載の適正化

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
○法人経営体　861（27,124） 水田作（集落営農）　111（4,538） 水田作（集落営農以外）153（3,698） 畑作　126（3,189） 野菜作　100（4,848） 果樹作　98（1,541） 花き作　65（1,113） 酪農　26（1,660） 肉用牛　38（1,612） 養豚　45（1,278） 採卵養鶏　58（892） ブロイラー養鶏　16（434） その他（注３）　25（2,321） （注３）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。	○法人経営体　861（母集団　27,124） 水田作（集落営農）　111（母集団　4,538） 水田作（集落営農以外）　153（母集団　3,698） 畑作　126（母集団　3,189） 野菜作　100（母集団　4,848） 果樹作　98（母集団　1,541） 花き作　65（母集団　1,113） 酪農　26（母集団　1,660） 肉用牛　38（母集団　1,612） 養豚　45（母集団　1,278） 採卵養鶏　58（母集団　892） ブロイラー養鶏　16（母集団　434） その他（注２）　25（母集団　2,321） （注２）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの 13 営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。	記載の適正化 分割に合わせて整理 記載の適正化
（削る）	イ　生産費調査 3,832 経営体（母集団の大きさ：848,839 経営体） （内訳） ○個別経営体　3,385（母集団　833,033） 《農産物生産費統計》 米生産費　818（母集団　673,743） 小麦生産費　396（母集団　26,298） 二条大麦生産費　70（母集団　6,728） 六条大麦生産費　47（母集団　2,191） はだか麦生産費　38（母集団　1,097） そば生産費　112（母集団　17,354） 大豆生産費　398（母集団　32,769） 原料用かんしょ生産費　63（母集団　2,243） 原料用ばれいしょ生産費　71（母集団　1,942） なたね生産費　45（母集団　523） てんさい生産費　68（母集団　6,381） さとうきび生産費　114（母集団　10,451）	分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	《畜産物生産費統計》 牛乳生産費　402（母集団　12,123） 去勢若齢肥育牛生産費　221（母集団　6,807） 乳用雄肥育牛生産費　74（母集団　623） 交雑種肥育牛生産費　63（母集団　1,305） 子牛生産費　208（母集団　28,390） 乳用雄育成牛生産費　39（母集団　415） 交雑種育成牛生産費　47（母集団　1,041） 肥育豚生産費　91（母集団　1,329） ○組織法人経営体　447（母集団　15,806） 《農産物生産費統計》 米生産費　176（母集団　9,394） 小麦生産費　100（母集団　2,577） 大豆生産費　171（母集団　3,835）	
（２）報告者の選定方法（□全数　■無作為抽出（□全数階層あり） □有意抽出） （削る） 個人経営体及び水田作（集落営農）以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を、法人経営体の水田作（集落営農）については、令和２年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とし、営農類型別及び農業経営体の種類（個人経営体及び法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する(注４)。 詳細については、別添２のとおり。 （注４）次回の母集団情報が更新されるまでは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。なお、離農などにより報告を求めることができなくなった場合には、代替となる報告者を選定する。	（２）報告者の選定方法（□全数　■無作為抽出（□全数階層あり） □有意抽出） ア　経営統計調査 個人経営体及び水田作（集落営農）以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を、法人経営体の水田作（集落営農）については、令和２年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とし、営農類型別及び農業経営体の種類（個人経営体及び法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。 詳細については、別添２のとおり。 （新設）	分割に合わせて整理
（削る）	イ　生産費調査 2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とし、品目別及び農業経営体の種類（個別経営体及び組織法人経営体）ご	分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	とに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。 詳細については、別添２のとおり。	
（削る）	ウ　共通事項 次回の母集団情報更新までは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。	分割に合わせて整理
（３）報告義務者 （削る） ア　農業経営体を代表する者 イ　農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等(注５)の職員又は経営統計調査に係る事務を受託した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者 (注５)「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。	（３）報告義務者 ア　経営統計調査 （ア）農業経営体を代表する者 （イ）農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等(注３)の職員又は調査に係る事務を委託した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者 (注３)「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。	分割に合わせて整理
（削る）	イ　生産費調査 （ア）農業経営体を代表する者 （イ）農業経営体を代表する者が報告できない場合には、地方農政局等の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者	分割に合わせて整理
５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 （１）報告を求める事項（詳細は、調査票（別添３－１、３－２）を参照） （削る） 《基本項目》 ア　経営体の現況に関する事項 イ　損益計算書に関する事項 ウ　事業収支の概要 エ　保有する土地面積の状況 オ　生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項 カ　制度受取金・積立金等に関する事項	５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 （１）報告を求める事項（詳細は、調査票（別添３－１から３－18まで）を参照。） ア　経営統計調査 《基本項目》 （ア）経営体の現況に関する事項 （イ）損益計算書に関する事項 （ウ）事業収支の概要 （エ）保有する土地面積の状況 （オ）生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項 （カ）制度受取金・積立金等に関する事項	分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
キ　労働に関する事項 《詳細項目》 ク　貸借対照表に関する事項 ケ　投資と資金調達の状況 コ　役員、雇用者への給与に関する事項（法人経営体のみ） なお、ク及びケについては、個人経営体のうち主業経営体(注6)、準主業経営体(注7)及び所得税青色申告決算書（農業所得用）による帳簿管理がなされている副業的経営体(注8)（以下「青色申告の副業的経営体」という。）並びに法人経営体から報告を求める。 （注６）「主業経営体」とは、個人経営体のうち、農業所得が主（農家所得の 50%以上が農業所得）で、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。 （注７）「準主業経営体」とは、個人経営体のうち、農外所得が主（農家所得の 50%未満が農業所得）で、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。 （注８）「副業的経営体」とは、個人経営体のうち、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。 〔集計しない事項の有無〕□無　■有 経営統計調査は、農業経営体の経営の実態について詳細に報告を求めるとともに、調査票への記入に代えて関係資料の開示等についても許容していることから、調査票には、個別に集計・公表しない事項として、報告者の記入漏れを防ぐための該当の有無を確認する事項（経営している土地があるか等）及び関係資料の開示等を確認する事項（青色申告決算書（農業所得用）の提供の有無等）を含む。	（キ）労働に関する事項 《詳細項目》 （ク）貸借対照表に関する事項 （ケ）投資と資金調達の状況 （コ）役員、雇用者への給与に関する事項（法人経営体のみ） なお、（ク）及び（ケ）については、個人経営体のうち主業経営体(注4)、準主業経営体(注5)及び所得税青色申告決算書（農業所得用）による帳簿管理がなされている副業的経営体(注6)（以下「青色申告の副業的経営体」という。）並びに法人経営体から報告を求める。 （注４）「主業経営体」とは、個人経営体のうち、農業所得が主（農家所得の 50%以上が農業所得）で、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。 （注５）「準主業経営体」とは、個人経営体のうち、農外所得が主（農家所得の 50%未満が農業所得）で、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。 （注６）「副業的経営体」とは、個人経営体のうち、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。 〔集計しない事項の有無〕□無　■有 （イ）～（コ）のうち記入にあたって該当の有無を確認する項目、関係資料の提供を確認する項目については集計を行わない。	分割に合わせて整理 記載の適正化
（削る）	イ　生産費調査 （ア）経営の概況 （イ）生産物の販売等の状況又は調査対象畜の取引状況 （ウ）調査対象農畜産物の生産に使用した資材等に関する事項 （エ）物件税及び公課諸負担に関する事項 （オ）土地改良及び水利費に関する事項（農産物生産費のみ） （カ）消費税（畜産物生産費のみ）	分割に合わせて整理

<table>
<tr><th>変　更　案</th><th>変　更　前</th><th>変　更　理　由</th></tr>
<tr><td></td><td>（キ）借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子に関する事項
（ク）出荷に要した経費（畜産物生産費（牛乳生産費を除く。）のみ）
（ケ）建物及び構築物（土地改良設備を含む。）の所有状況
（コ）自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況
（サ）農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況
（シ）農具の購入費等に関する事項
（ス）搾乳牛等の所有状況（牛乳生産費のみ）
（セ）土地の面積及び地代に関する事項
（ソ）労働に関する事項
（タ）乳用牛の月齢別の飼育経費に関する事項（牛乳生産費のみ）

〔集計しない事項の有無〕　■無　□有</td><td></td></tr>
<tr><td>（２）基準となる期日又は期間(注９)
（削る）
ア　個人経営体
毎年１月１日から 12 月 31 日までの１年間
イ　法人経営体
毎年、決算の対象となった１年間

（削る）</td><td>（２）基準となる期日又は期間
ア　経営統計調査(注７)
（ア）個人経営体
毎年１月１日から 12 月 31 日まで
（イ）法人経営体
毎年、決算の対象となった年の１年間

イ　生産費調査
生産サイクル（収穫終了月までの１年間）(注７)に基づき、農畜産物の品目ごとに次の期間とする。

<table><tr><th>農畜産物</th><th>期間</th></tr><tr><td>米　そば　大豆　原料用かんしょ　原料用ばれいしょ　てんさい　牛乳　去勢若齢肥育牛　乳用雄肥育牛　交雑種肥育牛　子牛　乳用雄育成牛　交雑種育成牛　肥育豚</td><td>毎年１月１日から12月31日</td></tr><tr><td>さとうきび</td><td>毎年４月１日から３月 31 日</td></tr><tr><td>小麦　二条大麦　六条大麦　はだか麦　なたね</td><td>毎年９月１日から８月 31 日</td></tr></table></td><td>分割に合わせて整理
記載の適正化

分割に合わせて整理</td></tr>
<tr><td>（注９）本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、法人経営体については、決算期間の期末月が含まれる年度をもって「調査年」という。</td><td>（注７）本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、経営統計調査に係る法人経営体については、決算期間の期末月が含まれる年度をもって「調査年」という。また、生産費調査において、２つの暦年にまたがる品目に</td><td></td></tr>
</table>

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	ついては、集計対象月数の多い年をもって「調査年」とする。	
6　報告を求めるために用いる方法 （1）調査系統 （削る）	6　報告を求めるために用いる方法 （1）調査系統 ア　経営統計調査	分割に合わせて整理
ア　経営統計調査のみの報告者 農林水産省 － 民間事業者 － 報告者 └ 民間調査員 ┘ (注10)	（ア）経営統計調査のみの報告者 農林水産省 － 民間事業者 － 報告者 └ 民間調査員 ┘ (注８)	
（注 10）民間事業者が雇用する調査員をいう。	（注８）民間事業者が雇用する調査員をいう。	
イ　生産費調査の報告者を兼ねる者 （削る）	（イ）生産費調査の報告者を兼ねる者 a　地方農政局の管轄区域	注意書きを付すことで記載を一本化
農林水産省 － 地方農政局等(注 11) － 報告者 └ 統計調査員 ┘ (注 12)	農林水産省 － 地方農政局 － 報告者 └ 統計調査員 ┘ (注９)	
（注 11）地方農政局等のうち、内閣府沖縄総合事務局農林水産センターは、内閣府沖縄総合事務局を経由して農林水産省との間における事務を行う。	（新設）	
（注12）農林水産省が任命する調査員をいう。	（注９）農林水産省が任命する調査員をいう。	
（削る）	b　北海道 農林水産省 － 北海道農政事務所 － 報告者 └ 統計調査員 ┘	
（削る）	c　沖縄県 農林水産省 － 内閣府沖縄総合事務局 － 農林水産センター － 報告者 └ 統計調査員┘	
なお、民間事業者による調査に協力を得られる報告者については、アに記載する調査系統により実施する。	なお、民間事業者による調査に協力を得られる報告者については、経営統計調査の部分について、（ア）に記載の調査系統	

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	により実施する。	
（削る）	イ　生産費調査 （ア）地方農政局の管轄区域 農林水産省 － 地方農政局 － 報告者 └ 統計調査員 ┘ （イ）北海道 農林水産省 － 北海道農政事務所 － 報告者 └ 統計調査員 ┘ （ウ）沖縄県 農林水産省 － 内閣府沖縄総合事務局 － 農林水産センター － 報告者 └ 統計調査員 ┘	分割に合わせて整理
（２）調査方法 ■郵送調査　■オンライン調査（■政府統計共同利用システム　■独自のシステム　□電子メール）　■調査員調査　■その他（職員調査） 〔調査方法の概要〕 原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法（自計報告）により行う。ただし、経営統計調査のみの報告者であるか、生産費調査の報告者を兼ねるものであるかの区分に応じて、以下のとおり、報告者の希望により地方農政局等の職員、統計調査員若しくは民間事業者に対して、決算書類等（報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。）を開示若しくは提供又は口頭で回答し、これを受けて、地方農政局等の職員、統計調査員又は民間事業者が調査票に記入する方法（他計報告）により行う場合もある。	（２）調査方法 ■郵送調査　■オンライン調査（■政府統計共同利用システム　■独自のシステム　□電子メール）　■調査員調査　■その他（職員調査） 〔調査方法の概要〕 原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法（自計報告）により行う。ただし、報告者の希望により地方農政局等の職員、統計調査員若しくは民間事業者に決算書類等（報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。）を開示若しくは提供することにより、又は口頭で回答する方法により行う場合もある。	記載の適正化
（削る） ア　調査票の配布 （ア）経営統計調査のみの報告者 民間事業者が郵送で配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告	ア　経営統計調査 （ア）調査票の配布 a　経営統計調査のみの報告者 民間事業者が郵送で配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報	分割に合わせて整理 記載の適正化

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年調査の際に得られた調査票情報を本年の調査票にあらかじめ印字し、その内容について更新を求めるものとする。 （イ）生産費調査の報告者を兼ねる者 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年調査の際に得られた調査票情報を本年の調査票にあらかじめ印字し、その内容について更新を求めるものとする。	告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。 b　生産費調査の報告者を兼ねる者 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。	
イ　調査票の提出等 （ア）経営統計調査のみの報告者 次のいずれかの方法により行う。 a　報告者が郵送により、民間事業者に提出する。 b　民間調査員が、報告者を訪問して回収する。 c　報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 d　報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは政府統計共同利用システム若しくは独自のシステム（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施す。以下同じ。）により提供し、又は、民間調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。 （イ）生産費調査の報告者を兼ねる者 次のいずれかの方法により行う。 a　報告者が郵送により、地方農政局等に提出する。 b　地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。 c　報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 d　報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは政府統計共同利用システム若しくは独自のシステムにより提供し、又は、地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。	（イ）調査票の提出等 a　経営統計調査のみの報告者 次のいずれかの方法により行う。 ①　報告者が郵送により提出する。 ②　民間調査員が、報告者を訪問して回収する。 ③　報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 ④　報告者が、その作成した決算書類等を郵送、政府統計共同利用システム若しくは独自のシステム（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施す。以下同じ。）により提供し、又は民間調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。 b　生産費調査の報告者を兼ねる者 次のいずれかの方法により行う。 ①　報告者が郵送により提出する。 ②　地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。 ③　報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 ④　報告者が、その作成した決算書類等を郵送、政府統計共同利用システム若しくは独自のシステムにより提供し、又は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。	記載の適正化
（削る）	イ　生産費調査 （ア）調査票の配布 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。	分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち、固定資産の所有状況等について、地方農政局等の職員が前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。 また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成15年法律第72号）に基づき農林水産省が保有（データベースの管理は（独）家畜改良センターが実施）している牛個体識別台帳（トレーサビリティデータ）を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。 （イ）調査票の提出等 次のいずれかの方法により行う。 ①　報告者が郵送により提出する。 ②　地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。 ③　報告者が電子化した調査票を独自のシステムにより提出する。 ④　報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは独自のシステムにより提供し、又は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。	
7　報告を求める期間 （1）（略）	7　報告を求める期間 （1）（略）	
（2）調査の実施期間又は調査票の提出期限 （削る） 調査票は、毎年、調査年翌年の3月に配布し、提出期限は調査年翌年の4月末までとする。ただし、法人経営体のうち決算期が1月から3月までの経営体の提出期限は調査年翌年の6月末までとする。	（2）調査の実施期間又は調査票の提出期限 ア　経営統計調査 調査票は、毎年、調査年翌年の3月に配布し、提出期限は調査年翌年の4月末までとする。ただし、法人経営体のうち決算期が1月から3月までの経営体の提出期限は調査年翌年の6月末までとする。	分割に合わせて整理
（削る）	イ　生産費調査 調査票は、5（2）のイに掲げる期間前に配布し、提出期限に	分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	ついては、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。	
8　集計事項 次に掲げる集計を行う（詳細は、別添４のとおり。）。	8　集計事項 次に掲げる集計を行う（詳細は、別添４のとおり。）。	
（削る）	《経営統計調査》	分割に合わせて整理
（１）営農類型別経営統計 ア　個人経営体 （ア）水田作経営、（イ）畑作経営、（ウ）野菜作経営、（エ）果樹作経営、（オ）花き作経営、（カ）酪農経営、（キ）肉用牛経営、（ク）養豚経営、（ケ）採卵養鶏経営、（コ）ブロイラー養鶏経営 なお、５（１）のク及びケについては、個人経営体のうち主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体並びに法人経営体を対象に集計を行う。 イ・ウ（略）	（１）営農類型別経営統計 ア　個人経営体 （ア）水田作経営、（イ）畑作経営、（ウ）野菜作経営、（エ）果樹作経営、（オ）花き作経営、（カ）酪農経営、（キ）肉用牛経営、（ク）養豚経営、（ケ）採卵養鶏経営、（コ）ブロイラー養鶏経営 なお、５（１）アの（ク）及び（ケ）については、個人経営体のうち主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体並びに法人経営体を対象に集計を行う。 イ・ウ（略）	
（２）（略）	（２）（略）	
（削る）	《生産費調査》 （３）農産物生産費統計 ア 個別経営体 （ア）米生産費、（イ）小麦生産費、（ウ）二条大麦生産費、（エ）六条大麦生産費、（オ）はだか麦生産費、（カ）そば生産費、（キ）大豆生産費、（ク）原料用かんしょ生産費、（ケ）原料用ばれいしょ生産費、（コ）なたね生産費、（サ）てんさい生産費、（シ）さとうきび生産費 イ 組織法人経営体 （ア）米生産費、（イ）小麦生産費、（ウ）大豆生産費 （４）畜産物生産費統計（個別経営体） ア　牛乳生産費、イ　去勢若齢肥育牛生産費、ウ　乳用雄肥育牛	分割に合わせて整理

<table>
<tr><th>変　更　案</th><th>変　更　前</th><th>変　更　理　由</th></tr>
<tr><td></td><td>生産費、エ　交雑種肥育牛生産費、オ　子牛生産費、カ　乳用雄育成牛生産費、キ　交雑種育成牛生産費、ク　肥育豚生産費</td><td></td></tr>
<tr><td>9　調査結果の公表の方法及び期日
（1）公表の方法（■e-Stat　□インターネット（e-Stat 以外）　□印刷物　□閲覧）
（削る）</td><td>9　調査結果の公表の方法及び期日
（1）公表の方法（■e-Stat　□インターネット（e-Stat 以外）　□印刷物　□閲覧）
調査結果は、e-Stat 及び農林水産省ホームページに掲載する方法により公表する。</td><td>記載の適正化</td></tr>
<tr><td>（2）（略）</td><td>（2）（略）</td><td></td></tr>
<tr><td>10　使用する統計基準等
□使用する　→　□日本標準産業分類　□日本標準職業分類　□その他（　　）
■使用しない
経営統計調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。</td><td>10　使用する統計基準等
□使用する　→　□日本標準産業分類　□日本標準職業分類　□その他（　　）
■使用しない
本調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。</td><td>分割に合わせて整理</td></tr>
<tr><td>11　調査票情報の保存期間及び保存責任者
<table><tr><th>関係書類名</th><th>保存期間</th><th>保存責任者</th></tr><tr><td>記入済み調査票（注 13）</td><td>調査結果を公表した日の属する年の翌年の４月１日から起算して３年</td><td>＜経営統計調査のみの報告者に係るもの＞
農林水産省大臣官房統計部長
＜生産費調査の報告者を兼ねる者に係るもの＞
地方農政局等の長</td></tr><tr><td>調査票の内容を記録した電磁的記録</td><td>永年</td><td>農林水産省大臣官房統計部長</td></tr></table>（注 13）記入済みの調査票とは、調査票の記入に代えて提出された決算書類等を含む。</td><td>11　調査票情報の保存期間及び保存責任者
<table><tr><th>関係書類名</th><th>保存期間</th><th>保存責任者</th></tr><tr><td>記入済み調査票（注 10）</td><td>調査結果を公表した日の属する年の翌年の４月１日から起算して３年</td><td>農林水産省大臣官房統計部長
地方農政局等の長</td></tr><tr><td>調査票の内容を記録した電磁的記録</td><td>永年</td><td>農林水産省大臣官房統計部長</td></tr></table>（注 10）記入済みの調査票とは、経営統計調査において調査票の記入に代えて提出された関係書類を含む。</td><td>分割に合わせて整理
記載の適正化</td></tr>
</table>

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
12　立入検査等の対象とすることができる事項 　経営統計調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、５（１）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。	12　立入検査等の対象とすることができる事項 　本調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、５（１）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。	分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
調査計画 1　調査の名称 農業経営統計調査(注1) （その２：農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という 。）） （注１）農業経営統計調査は、生産費調査及び営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）の２種類とする。 2　調査の目的 統計法（平成 19 年法律第 53 号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第２条第４項に規定する基幹統計）を作成し、農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。 3　調査対象の範囲 （１）（略） （２）属性的範囲（□個人　■世帯　□事業所　■企業・法人・団体 □地方公共団体　□その他） 農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添１を参照）とし、次の区分とする。 （削る） （削る） ア　個別経営体 世帯による事業を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。） イ　組織法人経営体	調査計画 1　調査の名称 農業経営統計調査 2　調査の目的 統計法（平成 19 年法律第 53 号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第２条第４項に規定する基幹統計）を作成し、農業経営体の経営及び農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。 3　調査対象の範囲 （１）（略） （２）属性的範囲（□個人　■世帯　□事業所　■企業・法人・団体 □地方公共団体　□その他） 農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添１を参照。）とし、営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）及び農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。）の別に、次の区分とする。 ア　経営統計調査 （ア）個人経営体 世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体 （イ）法人経営体 世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体、農事組合法人及び会社組織による経営体 イ　生産費調査 （ア）個別経営体 世帯による事業を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。） （イ）組織法人経営体	調査の内容、変更の実施年により調査計画本体を経営統計調査と生産費調査に分割する。 そのため、便宜的に現行調査計画を「変更前」に記載し、比較している。 生産費調査を「その２」として整理 分割に合わせて整理 ※当該調査について内容の変更なし（以下、同様）。 分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
個別経営体以外で法人格を有する農事組合法人及び会社組織による経営体 4　報告を求める個人又は法人その他の団体 （1）報告者数 （削る）	個別経営体以外で法人格を有する農事組合法人及び会社組織による経営体 4　報告を求める個人又は法人その他の団体 （1）報告者数 ア　経営統計調査 4,526経営体（母集団の大きさ：969,279経営体） （内訳） ○個人経営体　3,665（母集団　942,155） 水田作　768（母集団　520,198） 畑作　826（母集団　58,800） 野菜作　818（母集団　159,191） 果樹作　556（母集団　126,808） 花き作　147（母集団　19,312） 酪農　88（母集団　11,104） 肉用牛　307（母集団　25,982） 養豚　70（母集団　1,200） 採卵養鶏　15（母集団　980） ブロイラー養鶏　20（母集団　965） その他（注1）　50（母集団　17,615） （注1）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの13営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。 ○法人経営体　861（母集団　27,124） 水田作（集落営農）　111（母集団　4,538） 水田作（集落営農以外）　153（母集団　3,698） 畑作　126（母集団　3,189） 野菜作　100（母集団　4,848） 果樹作　98（母集団　1,541） 花き作　65（母集団　1,113） 酪農　26（母集団　1,660） 肉用牛　38（母集団　1,612） 養豚　45（母集団　1,278）	分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	採卵養鶏　58（母集団　892） ブロイラー養鶏　16（母集団　434） その他（注２）　25（母集団　2,321） （注２）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの 13 営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。	
（削る）	イ　生産費調査	分割に合わせて整理 報告者数を算出するための母集団を最新の農林業センサスの結果（2025 年結果）を用いて更新すること及び精度の見直しに伴う報告者数、母集団の大きさの変更。
3,360 経営体（母集団の大きさ：656,131 経営体）	3,832 経営体（母集団の大きさ：848,839 経営体）	
（内訳）	（内訳）	
○個別経営体　3,082（母集団の大きさ（以下同じ）640,434）	○個別経営体　3,385（母集団　833,033）	
《農産物生産費統計》	《農産物生産費統計》	
米生産費　720（514,784）	米生産費　818（母集団　673,743）	
小麦生産費　374（22,466）	小麦生産費　396（母集団　26,298）	
二条大麦生産費　60（6,118）	二条大麦生産費　70（母集団　6,728）	
六条大麦生産費　58（1,948）	六条大麦生産費　47（母集団　2,191）	
はだか麦生産費　38（846）	はだか麦生産費　38（母集団　1,097）	
そば生産費　127（13,262）	そば生産費　112（母集団　17,354）	
大豆生産費　365（25,266）	大豆生産費　398（母集団　32,769）	
原料用かんしょ生産費　57（1,010）	原料用かんしょ生産費　63（母集団　2,243）	
原料用ばれいしょ生産費　79（1,543）	原料用ばれいしょ生産費　71（母集団　1,942）	
なたね生産費　36（398）	なたね生産費　45（母集団　523）	
てんさい生産費　61（5,256）	てんさい生産費　68（母集団　6,381）	
さどうきび生産費　96（8,678）	さどうきび生産費　114（母集団　10,451）	
《畜産物生産費統計》	《畜産物生産費統計》	
牛乳生産費　350（8,822）	牛乳生産費　402（母集団　12,123）	
去勢若齢肥育牛生産費　186（5,328）	去勢若齢肥育牛生産費　221（母集団　6,807）	
乳用雄肥育牛生産費　48（465）	乳用雄肥育牛生産費　74（母集団　623）	
交雑種肥育牛生産費　69（1,144）	交雑種肥育牛生産費　63（母集団　1,305）	
子牛生産費　199（20,848）	子牛生産費　208（母集団　28,390）	
乳用雄育成牛生産費　35（323）	乳用雄育成牛生産費　39（母集団　415）	
交雑種育成牛生産費　42（1,073）	交雑種育成牛生産費　47（母集団　1,041）	
肥育豚生産費　82（856）	肥育豚生産費　91（母集団　1,329）	

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
○組織法人経営体　278（15,697） 《農産物生産費統計》 米生産費　98（9,458） 小麦生産費　82（2,651） 大豆生産費　98（3,588）	○組織法人経営体　447（母集団　15,806） 《農産物生産費統計》 米生産費　176（母集団　9,394） 小麦生産費　100（母集団　2,577） 大豆生産費　171（母集団　3,835）	
（２）報告者の選定方法（□全数　■無作為抽出（□全数階層あり）□有意抽出）	（２）報告者の選定方法（□全数　■無作為抽出（全数階層あり）□有意抽出）	
（削る）	ア　経営統計調査 個人経営体及び水田作（集落営農）以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を、法人経営体の水田作（集落営農）については、令和２年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とし、営農類型別及び農業経営体の種類（個人経営体及び法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。 詳細については、別添２のとおり。	分割に合わせて整理
（削る） 2025年農林業センサスにより集められた情報を母集団とし、品目別及び農業経営体の種類（個別経営体及び組織法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する(注２)。 詳細については、別添２のとおり。	イ　生産費調査 2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とし、品目別及び農業経営体の種類（個別経営体及び組織法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。 詳細については、別添２のとおり。	分割に合わせて整理 報告者を選定するための母集団リストについて、最新の農林業センサスを用いて作成。
（注２）次回の母集団情報が更新されるまでは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。なお、離農などにより報告を求めることができなくなった場合には、代替となる報告者を選定する。	（新設）	
（削る）	ウ　共通事項 次回の母集団情報更新までは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。	分割に合わせて整理
（３）　報告義務者	（３）　報告義務者	
（削る）	ア　経営統計調査 （ア）農業経営体を代表する者	分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	（イ）農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等(注3)の職員又は調査に係る事務を委託した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者 （注３）「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。	
（削る） ア　農業経営体を代表する者 イ　農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等(注3)の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者 （注３）「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。	イ　生産費調査 （ア）農業経営体を代表する者 （イ）農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者 （新設）	分割に合わせて整理
５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 （１）報告を求める事項（詳細は、調査票（別添３－３から３－22まで）を参照） （削る）	５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 （１）報告を求める事項（詳細は、調査票（別添３－１から３－18まで）を参照。） ア　経営統計調査 《基本項目》 （ア）経営体の現況に関する事項 （イ）損益計算書に関する事項 （ウ）事業収支の概要 （エ）保有する土地面積の状況 （オ）生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項 （カ）制度受取金・積立金等に関する事項 （キ）労働に関する事項 《詳細項目》 （ク）貸借対照表に関する事項 （ケ）投資と資金調達の状況 （コ）役員、雇用者への給与に関する事項（法人経営体のみ） なお、（ク）及び（ケ）については、個人経営体のうち主業経営体(注4)、準主業経営体(注5)及び所得税青色申告決算書（農業所得用）による帳簿管理がなされている副業的経営体(注6)（以下「青色申告の副業的経営体」という。）並びに法人経営	分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	体から報告を求める。 （注４）　「主業経営体」とは、個人経営体のうち、農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。 （注５）　「準主業経営体」とは、個人経営体のうち、農外所得が主（農家所得の 50%未満が農業所得）で、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。 （注６）　「副業的経営体」とは、個人経営体のうち、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。 〔集計しない事項の有無〕□無　■有 （イ）～（コ）のうち記入にあたって該当の有無を確認する項目、関係資料の提供を確認する項目については集計を行わない。	
（削る）	イ　生産費調査	
ア　認定農業者の状況（米生産費（個別経営体）のみ）、直近５か年の 10a 当たり収量（農産物生産費のみ）、農業就業者数（牛乳生産費のみ）	（ア）経営の概況	報告者の負担軽減を目的として、生産費を計算するための調査項目に特化し、その他の項目は利活用や集計上必要な項目に限定
イ　生産物の販売等の状況又は調査対象畜の取引状況	（イ）生産物の販売等の状況又は調査対象畜の取引状況	
ウ　調査対象農畜産物の生産に使用した資材等に関する事項	（ウ）調査対象農畜産物の生産に使用した資材等に関する事項	
エ　物件税及び公課諸負担に関する事項	（エ）物件税及び公課諸負担に関する事項	
オ　土地改良及び水利費に関する事項（農産物生産費のみ）	（オ）土地改良及び水利費に関する事項（農産物生産費のみ）	
（削る）	（カ）消費税（畜産物生産費のみ）	
カ　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子に関する事項	（キ）借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子に関する事項	
（削る）	（ク）出荷に要した経費（畜産物生産費（牛乳生産費を除く。）のみ）	
キ　建物及び構築物（土地改良設備を含む。）の所有状況	（ケ）建物及び構築物（土地改良設備を含む。）の所有状況	
ク　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	（コ）自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	
ケ　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	（サ）農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	
コ　農具の購入費等に関する事項	（シ）農具の購入費等に関する事項	
サ　搾乳牛等の所有状況（牛乳生産費のみ）	（ス）搾乳牛等の所有状況（牛乳生産費のみ）	
シ　土地の面積及び地代に関する事項	（セ）土地の面積及び地代に関する事項	
ス　労働に関する事項	（ソ）労働に関する事項	
セ　乳用牛の月齢別の飼育経費に関する事項（牛乳生産費のみ）	（タ）乳用牛の月齢別の飼育経費に関する事項（牛乳生産費のみ）	
〔集計しない事項の有無〕　□無　■有	〔集計しない事項の有無〕　■無　□有	調査票の設問の追加に伴う変更及び調査票の全体的な
生産費調査は、各種農畜産物の生産費の実態を明らかにすること	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
を目的として、詳細な報告を求めていることから、調査票には、個別に集計・公表しない事項として、生産費の集計する過程において用いる事項(負担割合等)、回答内容の審査のための事項(作業者等)、報告者の記入漏れを防ぐための該当の有無を確認する事項（自給の有無、物々交換の有無等）等を含む。		見直しに伴う記載の適正化
（２）基準となる期日又は期間	（２）基準となる期日又は期間	
（削る）	ア　経営統計調査（注７）	分割に合わせて整理
	（ア）個人経営体 毎年１月１日から 12 月 31 日まで	
	（イ）法人経営体 毎年、決算の対象となった年の１年間	
（削る） 生産サイクル（収穫終了月までの１年間）(注４)に基づき、農畜産物の品目ごとに、次の期間とする。	イ　生産費調査 生産サイクル（収穫終了月までの１年間）(注７)に基づき、農畜産物の品目ごとに次の期間とする。	分割に合わせて整理 記載の適正化

農畜産物	期間
米　そば　大豆　原料用かんしょ　原料用ばれいしょ　てんさい　牛乳　去勢若齢肥育牛　乳用雄肥育牛　交雑種肥育牛　子牛　乳用雄育成牛　交雑種育成牛　肥育豚	毎年１月１日から12月31日までの１年間
さとうきび	毎年４月１日から３月 31 日までの１年間
小麦　二条大麦　六条大麦　はだか麦　なたね	毎年９月１日から８月 31 日までの１年間

（注４）本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、２つの暦年にまたがる品目については、集計対象月数の多い年をもって「調査年」とする。

農畜産物	期間
米　そば　大豆　原料用かんしょ　原料用ばれいしょ　てんさい　牛乳　去勢若齢肥育牛　乳用雄肥育牛　交雑種肥育牛　子牛　乳用雄育成牛　交雑種育成牛　肥育豚	毎年１月１日から12月31日
さとうきび	毎年４月１日から３月 31 日
小麦　二条大麦　六条大麦　はだか麦　なたね	毎年９月１日から８月 31 日

（注７）本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、経営統計調査に係る法人経営体については、決算期間の期末月が含まれる年度をもって「調査年」という。また、生産費調査において、２つの暦年にまたがる品目については、集計対象月数の多い年をもって「調査年」とする。

６　報告を求めるために用いる方法	６　報告を求めるために用いる方法	分割に合わせて整理
（１）調査系統	（１）調査系統	
（削る）	ア　経営統計調査	
	（ア）経営統計調査のみの報告者	

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	農林水産省 － 民間事業者 － 報告者 └ 民間調査員 ┘ (注８)	
	（注８）民間事業者が雇用する調査員をいう。	
	（イ）生産費調査の報告者を兼ねる者 ａ　地方農政局の管轄区域 農林水産省 － 地方農政局 － 報告者 └ 統計調査員 ┘ (注９)	
	（注９）農林水産省が任命する調査員をいう。	
	ｂ　北海道 農林水産省 － 北海道農政事務所 － 報告者 └ 統計調査員 ┘	
	ｃ　沖縄県 農林水産省 － 内閣府沖縄総合事務局 － 農林水産センター － 報告者 └ 統計調査員 ┘	
	なお、民間事業者による調査に協力を得られる報告者については、経営統計調査の部分について、（ア）に記載の調査系統により実施する。	
（削る）	イ　生産費調査	
（削る） 農林水産省 － 地方農政局等(注５) － 報告者 └ 統計調査員 ┘ (注６)	（ア）地方農政局の管轄区域 農林水産省 － 地方農政局 － 報告者 └ 統計調査員 ┘	注意書きを付すことで記載を一本化
（注５）地方農政局等のうち、内閣府沖縄総合事務局農林水産センターは、内閣府沖縄総合事務局を経由して農林水産省との間における事務を行う。 （注６）農林水産省が任命する調査員をいう。	（新設）	
	（新設）	
（削る）	（イ）北海道 農林水産省 － 北海道農政事務所 － 報告者 └ 統計調査員 ┘	

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
（削る）	（ウ）沖縄県 農林水産省 － 内閣府沖縄総合事務局 － 農林水産センター － 報告者 └ 統計調査員 ┘	
（２）調査方法 ■郵送調査　■オンライン調査（□政府統計共同利用システム ■独自のシステム　□電子メール）　■調査員調査　■その他 （職員調査） 〔調査方法の概要〕 原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法（自計報告）により行う。ただし、報告者の希望により地方農政局等の職員又は統計調査員に決算書類等（報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。）を開示又は口頭で回答し、これを受けて、地方農政局等の職員又は統計調査員が調査票に記入する方法（他計報告）により行う場合もある。	（２）調査方法 ■郵送調査　■オンライン調査（■政府統計共同利用システム ■独自のシステム　□電子メール）　■調査員調査　■その他 （職員調査） 〔調査方法の概要〕 原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法（自計報告）により行う。ただし、報告者の希望により地方農政局等の職員、統計調査員若しくは民間事業者に決算書類等（報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。）を開示若しくは提供することにより、又は口頭で回答する方法により行う場合もある。	分割に合わせて整理
（削る）	ア　経営統計調査 （ア）調査票の配布 ａ　経営統計調査のみの報告者 民間事業者が郵送で配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。 ｂ　生産費調査の報告者を兼ねる者 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。 （イ）調査票の提出等 ａ　経営統計調査のみの報告者 次のいずれかの方法により行う。 ①　報告者が郵送により提出する。	分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	②　民間調査員が、報告者を訪問して回収する。 ③　報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 ④　報告者が、その作成した決算書類等を郵送、政府統計共同利用システム若しくは独自のシステム（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施す。以下同じ。）により提供し、又は民間調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。 b　生産費調査の報告者を兼ねる者 次のいずれかの方法により行う。 ①　報告者が郵送により提出する。 ②　地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。 ③　報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。 ④　報告者が、その作成した決算書類等を郵送、政府統計共同利用システム若しくは独自のシステムにより提供し、又は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。	
（削る）	イ　生産費調査	分割に合わせて整理 表現の適正化
ア　調査票の配布 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち、固定資産の所有状況等について、地方農政局等の職員が前年調査の報告内容をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。 また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成15年法律第72号）に基づき農林水産省が保有（データベースの管理は（独）家畜改良センターが実施）している牛個体識別台帳（トレーサビリティデータ）を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。	（ア）調査票の配布 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち、固定資産の所有状況等について、地方農政局等の職員が前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。 また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成15年法律第72号）に基づき農林水産省が保有（データベースの管理は（独）家畜改良センターが実施）している牛個体識別台帳（トレーサビリティデータ）を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。	
イ　調査票の提出等	（イ）調査票の提出等	

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
次のいずれかの方法により行う。 （ア）報告者が郵送により、地方農政局等に提出する。 （イ）地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。 （ウ）報告者が電子化した調査票を独自のシステム（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施す。）により提出する。	次のいずれかの方法により行う。 ①　報告者が郵送により提出する。 ②　地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。 ③　報告者が電子化した調査票を独自のシステムにより提出する。	
（削る）	④　報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは独自のシステムにより提供し、又は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。	
7　報告を求める期間 （1）（略）	7　報告を求める期間 （1）（略）	
（2）調査の実施期間又は調査票の提出期限	（2）調査の実施期間又は調査票の提出期限	
（削る）	ア　経営統計調査 調査票は、毎年、調査年翌年の３月に配布し、提出期限は調査年翌年の４月末までとする。ただし、法人経営体のうち決算期が１月から３月までの経営体の提出期限は調査年翌年の６月末までとする。	分割に合わせて整理
（削る） 調査票は、５（２）に掲げる期間前に配布し、提出期限については、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。	イ　生産費調査 調査票は、５（２）のイに掲げる期間前に配布し、提出期限については、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。	分割に合わせて整理
8　集計事項 次に掲げる集計を行う（詳細は、別添４のとおり。）。	8　集計事項 次に掲げる集計を行う（詳細は、別添４のとおり。）。	
（削る）	《経営統計調査》 （1）営農類型別経営統計 ア　個人経営体 （ア）水田作経営、（イ）畑作経営、（ウ）野菜作経営、（エ）果樹作経営、（オ）花き作経営、（カ）酪農経営、（キ）肉用牛経営、	分割に合わせて整理

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
	（ク）養豚経営、（ケ）採卵養鶏経営、（コ）ブロイラー養鶏経営 なお、５（１）アの（ク）及び（ケ）については、個人経営体のうち主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体並びに法人経営体を対象に集計を行う。 イ　法人経営体 （ア）水田作経営、（イ）水田作経営（集落営農）、（ウ）畑作経営、（エ）野菜作経営、（オ）果樹作経営、（カ）花き作経営、（キ）酪農経営、（ク）肉用牛経営、（ケ）養豚経営、（コ）採卵養鶏経営、（サ）ブロイラー養鶏経営 ウ　農業経営体 （ア）水田作経営、（イ）畑作経営、（ウ）野菜作経営、（エ）果樹作経営、（オ）花き作経営、（カ）酪農経営、（キ）肉用牛経営、（ク）養豚経営、（ケ）採卵養鶏経営、（コ）ブロイラー養鶏経営 （２）経営形態別経営統計 ア　個人経営体、イ　法人経営体、ウ　農業経営体	
（削る） （１）農産物生産費統計 ア 個別経営体 （ア）米生産費、（イ）小麦生産費、（ウ）二条大麦生産費、（エ）六条大麦生産費、（オ）はだか麦生産費、（カ）そば生産費、（キ）大豆生産費、（ク）原料用かんしょ生産費、（ケ）原料用ばれいしょ生産費、（コ）なたね生産費、（サ）てんさい生産費、（シ）さとうきび生産費 イ 組織法人経営体 （ア）米生産費、（イ）小麦生産費、（ウ）大豆生産費	《生産費調査》 （３）農産物生産費統計 ア 個別経営体 （ア）米生産費、（イ）小麦生産費、（ウ）二条大麦生産費、（エ）六条大麦生産費、（オ）はだか麦生産費、（カ）そば生産費、（キ）大豆生産費、（ク）原料用かんしょ生産費、（ケ）原料用ばれいしょ生産費、（コ）なたね生産費、（サ）てんさい生産費、（シ）さとうきび生産費 イ 組織法人経営体 （ア）米生産費、（イ）小麦生産費、（ウ）大豆生産費	分割に合わせて整理 報告を求める事項の変更に伴い、表章する事項を変更（調査計画の別添４に変更なし）
（２）畜産物生産費統計（個別経営体） ア　牛乳生産費、イ　去勢若齢肥育牛生産費、ウ　乳用雄肥育牛生産費、エ　交雑種肥育牛生産費、オ　子牛生産費、カ　乳用雄育成	（４）畜産物生産費統計（個別経営体） ア　牛乳生産費、イ　去勢若齢肥育牛生産費、ウ　乳用雄肥育牛生産費、エ　交雑種肥育牛生産費、オ　子牛生産費、カ　乳用雄育成	

<table>
<tr><th>変　更　案</th><th>変　更　前</th><th>変　更　理　由</th></tr>
<tr><td>牛生産費、キ　交雑種育成牛生産費、ク　肥育豚生産費

9 調査結果の公表の方法及び期日
（1）公表の方法（■e-Stat　□インターネット（e-Stat 以外）　□印刷物　□閲覧）
（削る）

（2）（略）

10　使用する統計基準等
□使用する　→　□日本標準産業分類　□日本標準職業分類　□その他（　　）
■使用しない
生産費調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。

11　調査票情報の保存期間及び保存責任者
<table><tr><th>関係書類名</th><th>保存期間</th><th>保存責任者</th></tr><tr><td>記入済み調査票</td><td>調査結果を公表した日の属する年の翌年の４月１日から起算して３年</td><td>地方農政局等の長</td></tr><tr><td>調査票の内容を記録した電磁的記録</td><td>永年</td><td>農林水産省大臣官房統計部長</td></tr></table>（削る）

12　立入検査等の対象とすることができる事項
生産費調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、５（１）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。</td><td>牛生産費、キ　交雑種育成牛生産費、ク　肥育豚生産費

9 調査結果の公表の方法及び期日
（1）公表の方法（■e-Stat　□インターネット（e-Stat 以外）　□印刷物　□閲覧）
調査結果は、e-Stat 及び農林水産省ホームページに掲載する方法により公表する。
（2）（略）

10　使用する統計基準等
□使用する　→　□日本標準産業分類　□日本標準職業分類　□その他（　　）
■使用しない
本調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。

11　調査票情報の保存期間及び保存責任者
<table><tr><th>関係書類名</th><th>保存期間</th><th>保存責任者</th></tr><tr><td>記入済み調査票(注10)</td><td>調査結果を公表した日の属する年の翌年の４月１日から起算して３年</td><td>農林水産省大臣官房統計部長
地方農政局等の長</td></tr><tr><td>調査票の内容を記録した電磁的記録</td><td>永年</td><td>農林水産省大臣官房統計部長</td></tr></table>（注 10）記入済みの調査票とは、経営統計調査において調査票の記入に代えて提出された関係書類を含む。

12　立入検査等の対象とすることができる事項
本調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、５（１）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。</td><td>記載の適正化

分割に合わせて整理

分割に合わせて整理

分割に合わせて整理</td></tr>
</table>

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
別添１　農業経営体の定義 （略）	**別添１**　農業経営体の定義 （略）	
別添２　報告者の選定方法 １～３　（略）	**別添２**　報告者の選定方法 １～３　（略）	
４　地方農政局等の長は、生産費調査客体を抽出するため、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた生産費調査客体の数を、前項で統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。	４　地方農政局等の長は、生産費調査客体を抽出するため、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた生産費調査客体の数を、営農類型調査客体及び生産費調査客体の標本の十分な共用が図られるよう統計部長が定めるところにより、前項で統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。	両調査の調査客体の選定時期や調査方法（生産費調査は他計中心、営農類型調査は自計中心）が異なることや、報告者負担軽等を踏まえ、次回の標本替えが行われる令和９年調査以降は、調査客体の共用を意図する選定は行わない。
５　（略）	５　（略）	
※　２、４の結果、同一の農業経営体が営農類型調査客体と生産費調査客体として抽出された場合、両調査の調査対象として選定することも可能。	（新設）	
別添３　調査票 別添３－１　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用） 別添３－２　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用） 別添３－３　米生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－４　小麦生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－５　二条大麦生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－６　六条大麦生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－７　はだか麦生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－８　そば生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－９　大豆生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－10　原料用かんしょ生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－11　原料用ばれいしょ生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－12　なたね生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－13　てんさい生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－14　さとうきび生産費統計調査票（個別経営体） 別添３－15　米生産費統計調査票（組織法人経営体）	**別添３**　調査票 別添３－１　営農類型別経営統計調査票（個人経営体用） 別添３－２　営農類型別経営統計調査票（法人経営体用） 別添３－３　米生産費統計調査票（個別経営体用） 別添３－４　麦類生産費統計調査票（個別経営体用） （新設） （新設） （新設） 別添３－５　そば生産費統計調査票（個別経営体用） 別添３－６　大豆生産費統計調査票（個別経営体用） 別添３－７　原料用かんしょ生産費統計調査票（個別経営体用） 別添３－８　原料用ばれいしょ生産費統計調査票（個別経営体用） 別添３－９　なたね生産費統計調査票（個別経営体用） 別添３－10　てんさい生産費統計調査票（個別経営体用） 別添３－11　さとうきび生産費統計調査票（個別経営体用） 別添３－12　米生産費統計調査票（組織法人経営体用）	名称の適正化（以下、同様）。報告者が正確に回答できるように配慮し、品目ごとに調査票を作成

変　更　案	変　更　前	変　更　理　由
別添３－16 小麦生産費統計調査票（組織法人経営体） 別添３－17 大豆生産費統計調査票（組織法人経営体） 別添３－18 牛乳生産費統計調査票 別添３－19 子牛生産費統計調査票 別添３－20 肥育牛生産費統計調査票 別添３－21 育成牛生産費統計調査票 別添３－22 肥育豚生産費統計調査票 **別添４**　農業経営統計調査の集計事項一覧 （略） **別添５**　農業経営統計調査の公表時期 （略）	別添３－13 小麦生産費統計調査票（組織法人経営体用） 別添３－14 大豆生産費統計調査票（組織法人経営体用） 別添３－15 牛乳生産費統計調査票 別添３－16 子牛生産費統計調査票 別添３－17 育成牛・肥育牛生産費統計調査票 （新設） 別添３－18 肥育豚生産費統計調査票 **別添４**　農業経営統計調査の集計事項一覧 （略） **別添５**　農業経営統計調査の公表時期 （略）	

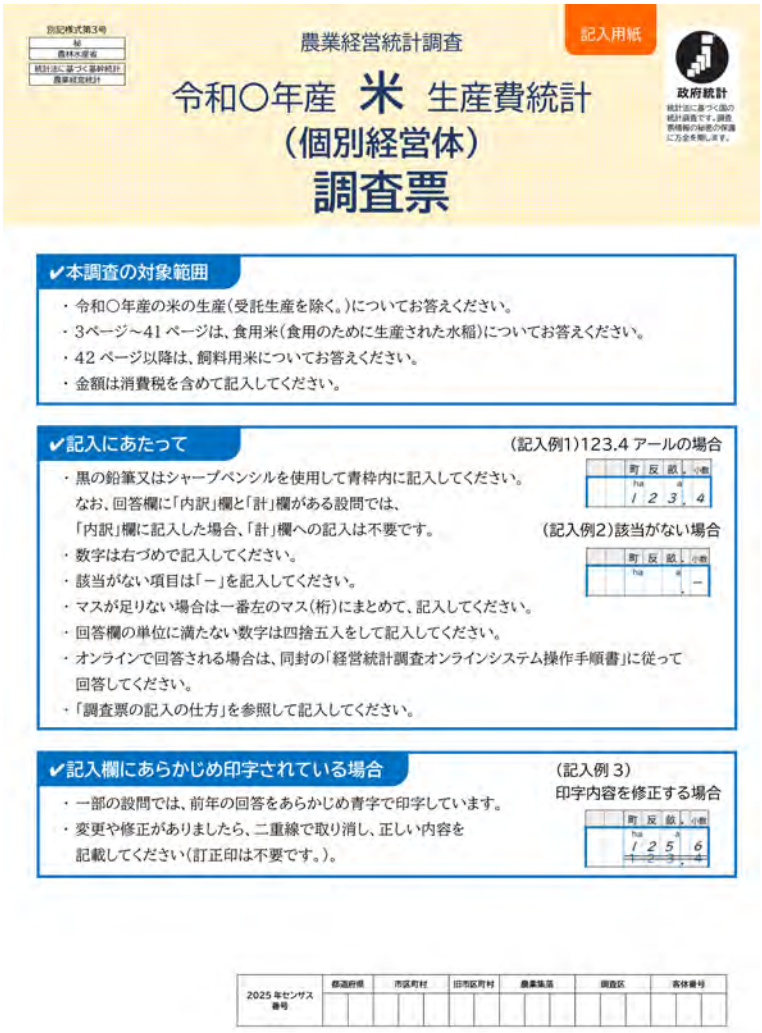
農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　営農類型別経営統計（個人経営体・法人経営体）

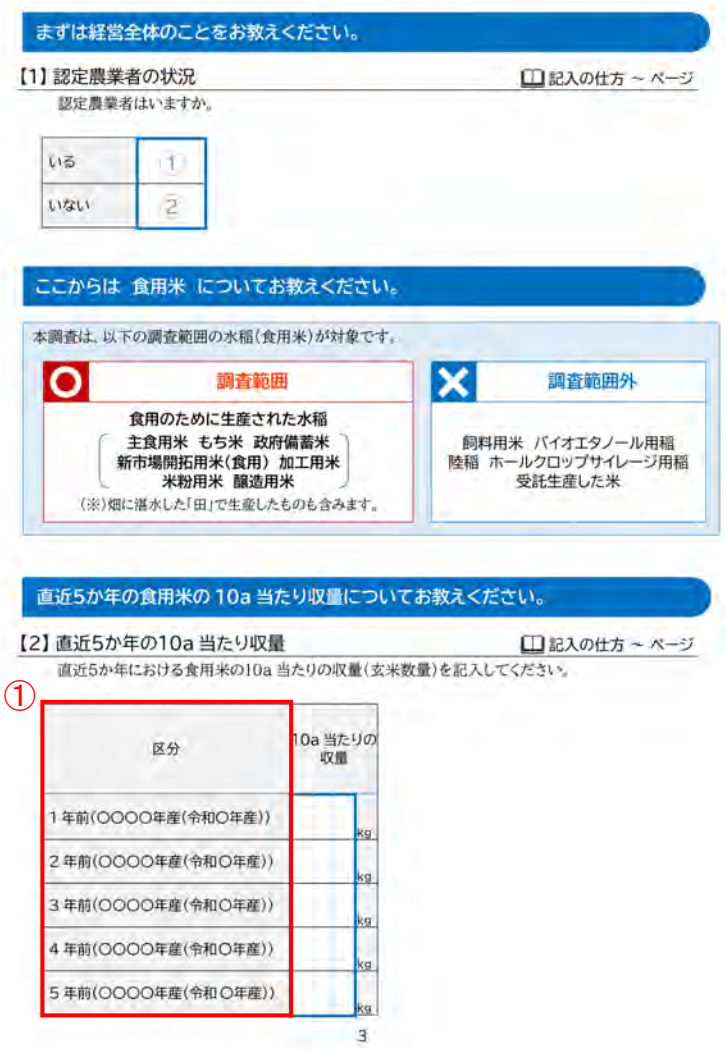
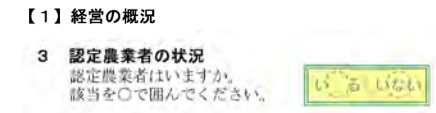
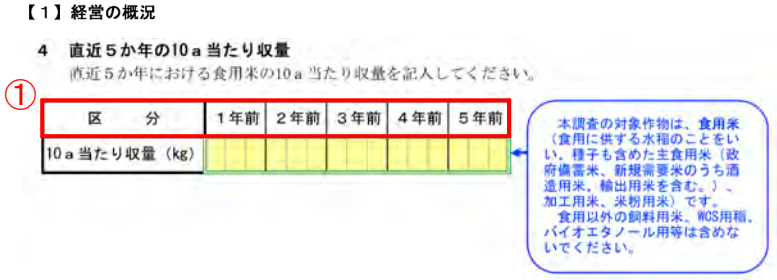
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第１号 （略） 別記様式第２号 （略）	別記様式第１号 （略） 別記様式第２号 （略）	

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

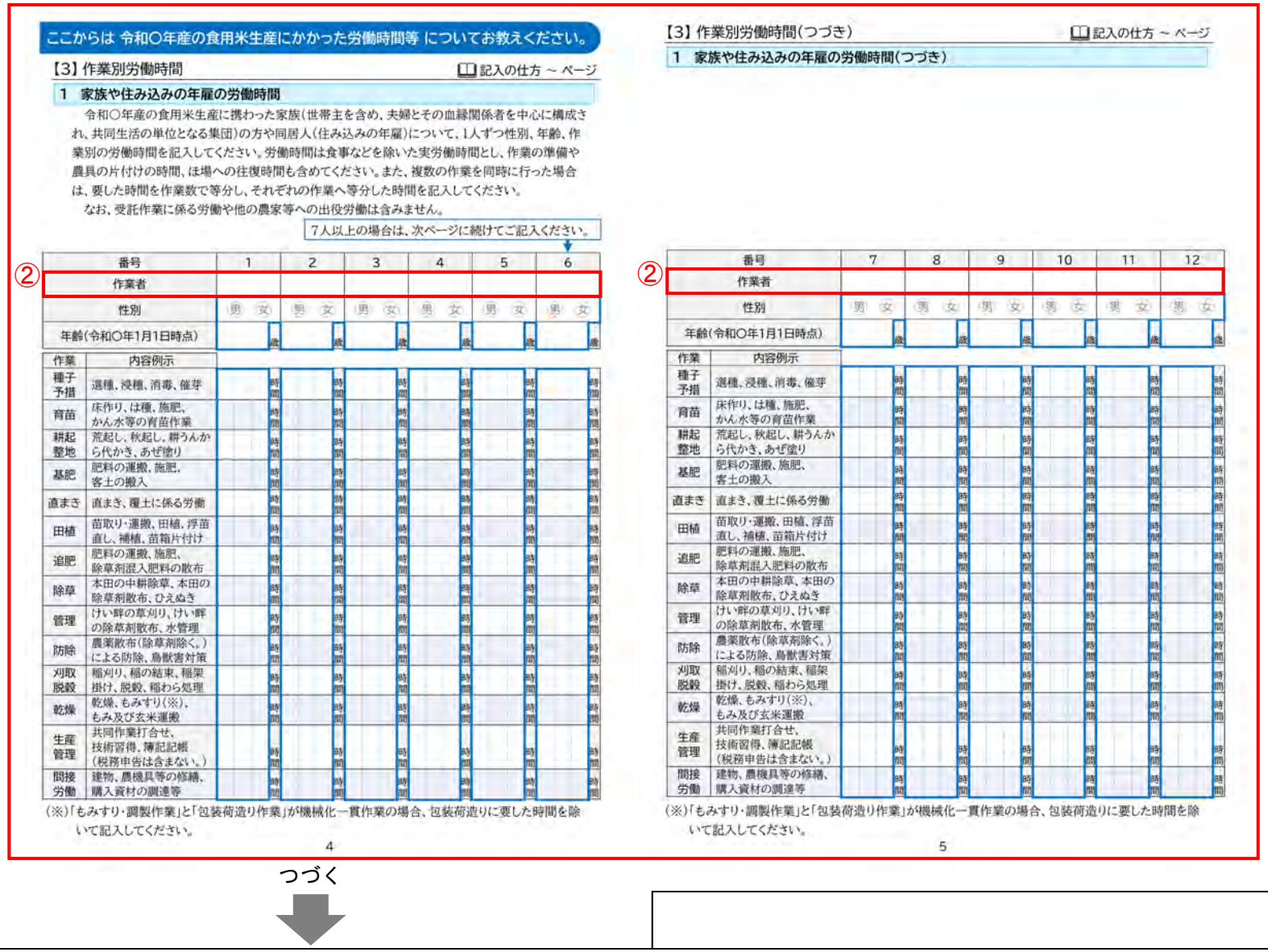
１　農産物生産費統計（米（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第３号 １ページ  	別記様式第３号 １ページ  	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 ① 【1】認定農業者の状況 ……3 【2】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【3】作業別労働時間 ……4 【4】生産物の販売等の状況 ……9 ① 【5】制度受取金の状況 ……11 【6】食用米生産のために使用した資材等 ……12 【7】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……25 【8】物件税及び公課諸負担 ……27 【9】土地改良及び水利費 ……29 【10】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……30 【11】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……32 【12】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……34 【13】土地の面積及び地代 ……36 ① 【14】作付ほ場の状況 ……39 【15】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……41 【16】飼料用米の作付状況、費用及び労働時間 ……42	３ページ 調　査　事　項 ① ページ 【1】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、食用米生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。 【2】 生産物の販売等の状況 …… 5 食用米、稲わら及びふるい下米等の販売状況等について記入してください。 【3】 食用米の生産のために使用した資材等 …… 6 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。 【4】 物件税及び公課諸負担 …… 9 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【5】 土地改良及び水利費 …… 9 土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。 【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9 借入金残高、支払利子について記入してください。 【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 14 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 15 家族、雇用別の作業労働時間、田植・収穫の開始日と終了日、雇用者に支払った賃金について記入してください。 【13】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間 …… 16 飼料用米の作付面積、生産量、食用米生産に対して飼料用米生産にかかる費用及び労働時間等について記入します。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は46～48ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  まずは経営全体のことをお教えください。 【1】認定農業者の状況　記入の仕方 ～ ページ 認定農業者はいますか。 いる　1 いない　2 ここからは 食用米 についてお教えください。 本調査は、以下の調査範囲の水稲(食用米)が対象です。 調査範囲 食用のために生産された水稲 主食用米 もち米 政府備蓄米 新市場開拓用米(食用) 加工用米 米粉用米 醸造用米 (※)畑に湛水した「田」で生産したものも含みます。 調査範囲外 飼料用米 バイオエタノール用稲 陸稲 ホールクロップサイレージ用稲 受託生産した米 直近5か年の食用米の10a当たり収量についてお教えください。 【2】直近5か年の10a当たり収量　記入の仕方 ～ ページ 直近5か年における食用米の10a当たりの収量(玄米数量)を記入してください。 ① 区分 10a当たりの収量 1年前(○○○○年産(令和○年産))　kg 2年前(○○○○年産(令和○年産))　kg 3年前(○○○○年産(令和○年産))　kg 4年前(○○○○年産(令和○年産))　kg 5年前(○○○○年産(令和○年産))　kg 3	３ページ  【1】経営の概況 3 認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる　いない ３ページ  【1】経営の概況 4 直近５か年の10ａ当たり収量 直近５か年における食用米の10ａ当たり収量を記入してください。 ① 区　分　1年前　2年前　3年前　4年前　5年前 10ａ当たり収量（kg） 本調査の対象作物は、食用米（食用に供する水稲のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米）です。 食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含めないでください。	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更（以下同じ） 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化（以下同じ） 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更（以下同じ） 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、水稲（食用米）の調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ（変更前15ページと対比） ①		①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 家族労働時間」と「2 雇用労働時間」を統合して設定していた設問を「1 家族や住み込みの年雇の労働時間」、「2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）」、「3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間」に設問を分離 ②氏名に限定せず、作業者を特定可能な記入欄へ変更



ここからは 令和〇年産の食用米生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【3】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の食用米生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

② 番号 1 2 3 4 5 6

作業者

性別　男 女

年齢（令和〇年1月1日時点）　歳

作業	内容例示
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入
直まき	直まき、覆土に係る労働
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理
乾燥	乾燥、もみすり（※）、もみ及び玄米運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

時間

（※）「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

4

つづく

【3】作業別労働時間（つづき）　　記入の仕方 ～ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

② 番号 7 8 9 10 11 12

作業者

性別　男 女

年齢（令和〇年1月1日時点）　歳

作業	内容例示
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入
直まき	直まき、覆土に係る労働
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理
乾燥	乾燥、もみすり（※）、もみ及び玄米運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

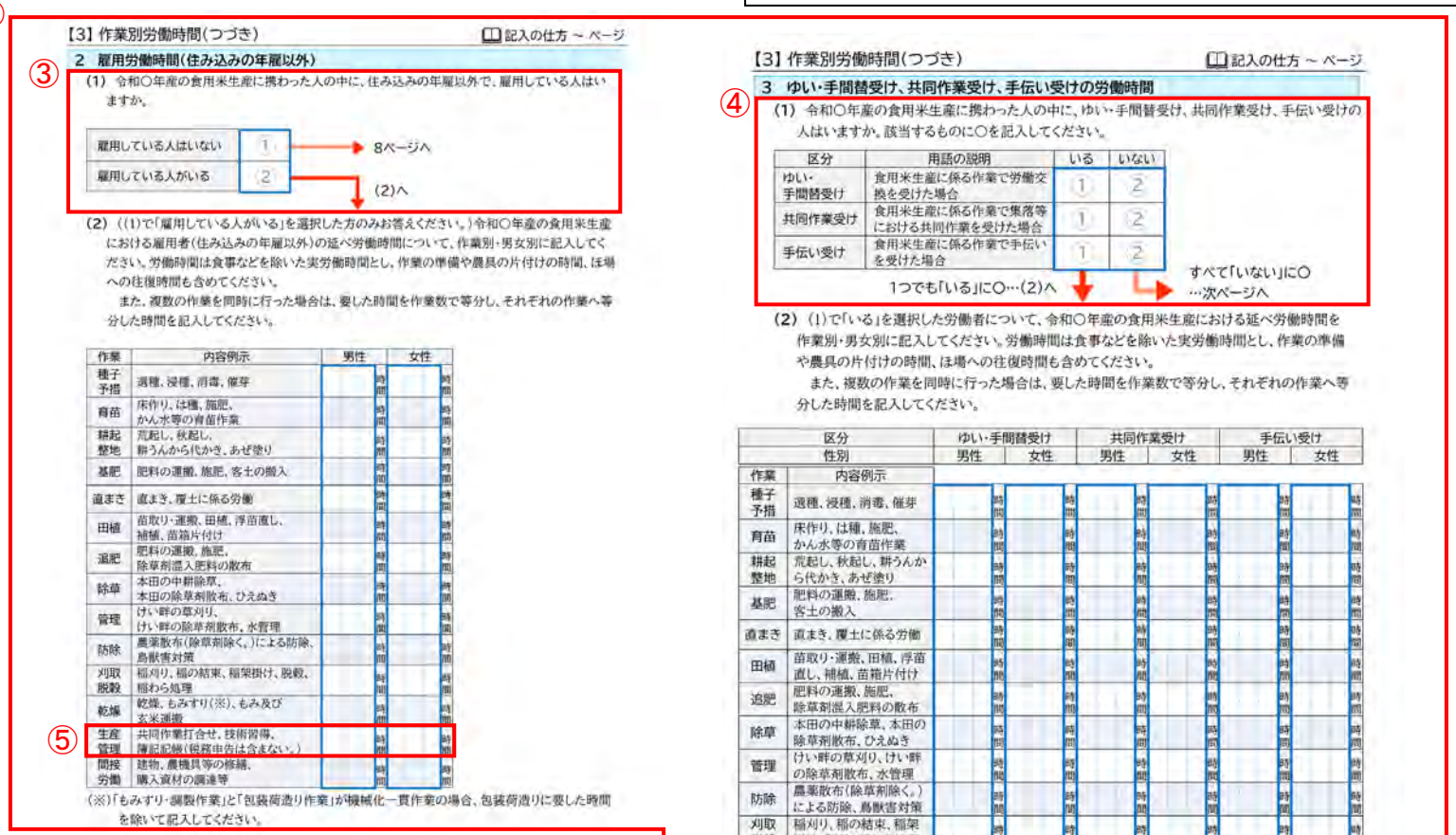
時間

（※）「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

5

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～８ページ（変更前15ページと対比）		

①



【3】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

2　雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

③

(1) 令和○年産の食用米生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	1	→ 8ページへ
雇用している人がいる	2	→ (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の食用米生産における雇用者（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間	時間
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり(※)、もみ及び玄米運搬	時間	時間
⑤ 生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

(3) 令和○年産の食用米生産のために雇用者（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、①賃金、②食用米負担割合を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●食用米のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の支払分を含めて記入する場合
食用米分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②食用米負担割合
男性	万 円	%
女性	万 円	%

つづく

④

【3】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和○年産の食用米生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	食用米生産に係る作業で労働交換を受けた場合	1	2
共同作業受け	食用米生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	1	2
手伝い受け	食用米生産に係る作業で手伝いを受けた場合	1	2

1つでも「いる」に○…(2)へ　　すべて「いない」に○…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産の食用米生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間	時間	時間	時間	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間	時間	時間	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり(※)、もみ及び玄米運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

8

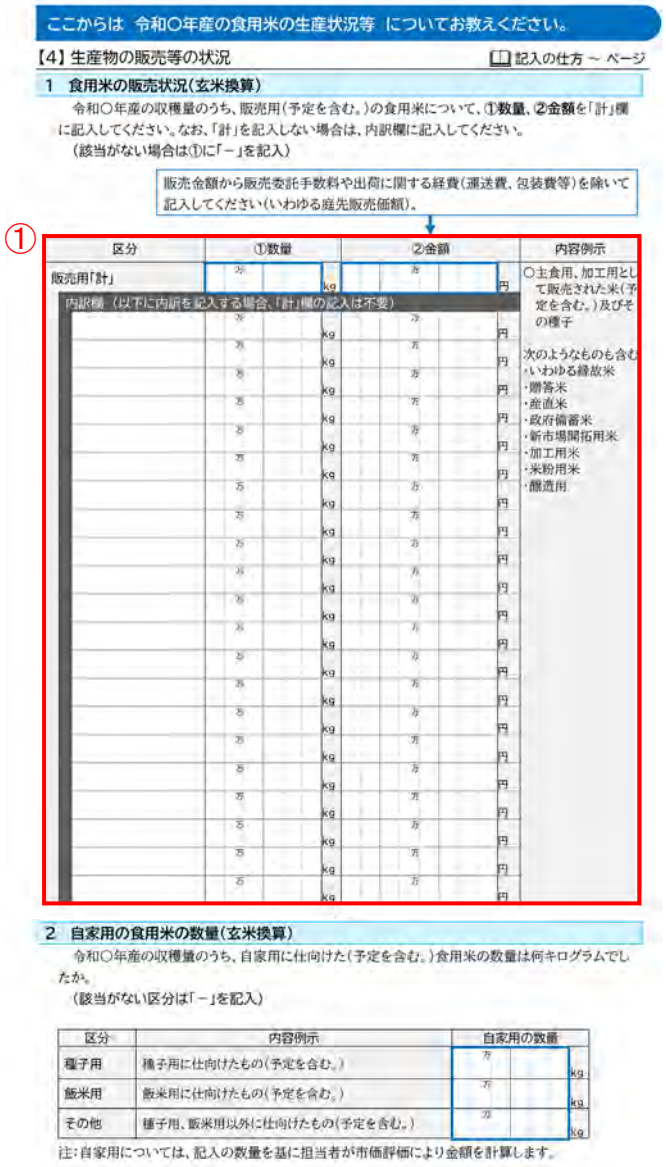
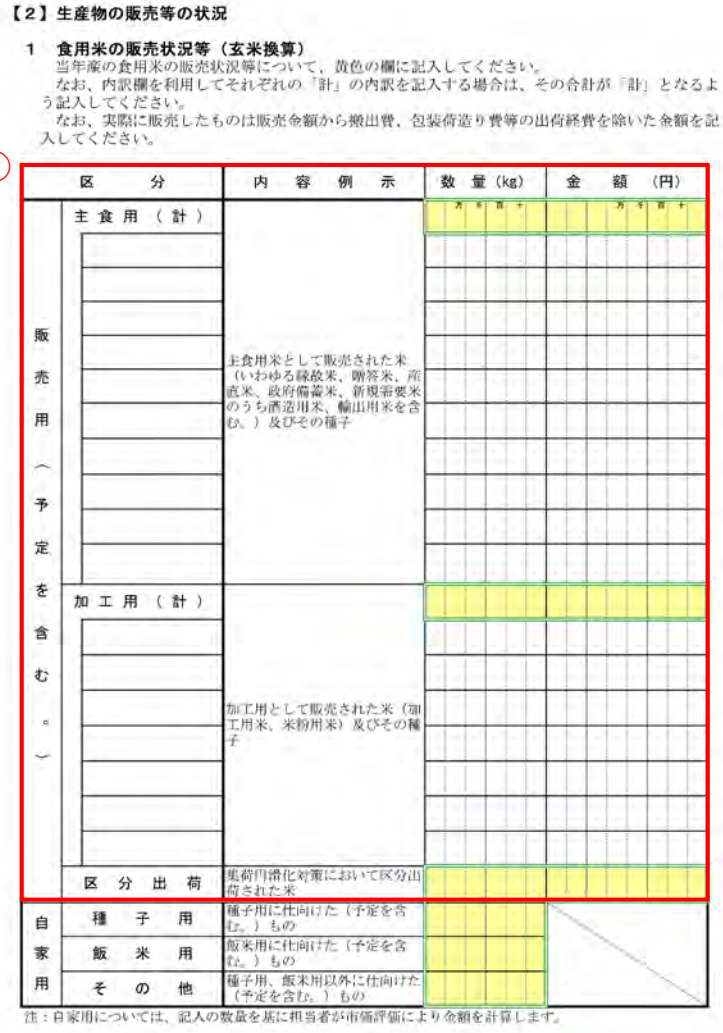
①同上

③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、住み込みの年雇以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加

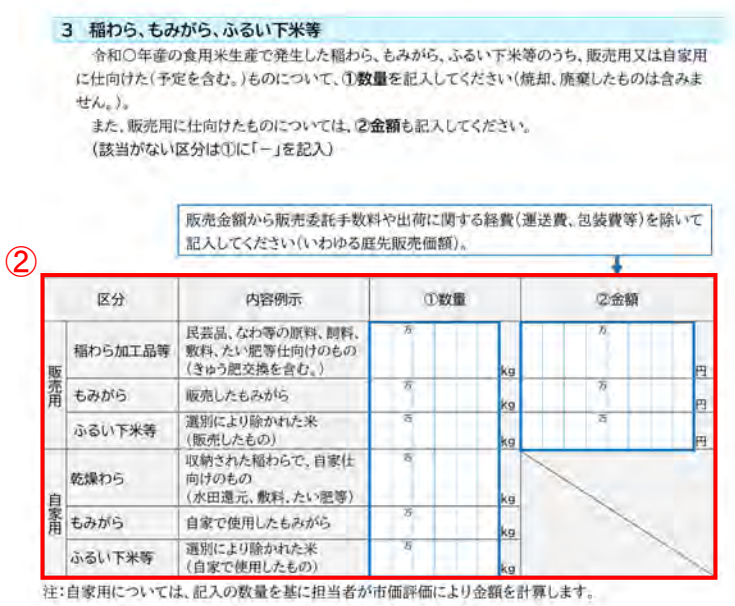
④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人の有無を確認する設問を追加

⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① ② 【12】作業別労働時間 当年産の食用米生産における作業時間について記入してください。 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間や圃場への往復時間も含めてください。 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。 1　家族労働時間 人別・作業別に労働時間を記入してください。 2　雇用労働時間 雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。 注：「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した作業時間を除いて記入してください。 4　支払賃金 当年産の食用米生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。 ・食用米生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。 ・食用米生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。	15ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９～10ページ 	５ページ 	報告者が記入しやすいよう、自家用の食用米の数量に関する設問を分離 ①食用米の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため、「主食用（計）」、「加工用（計）」及び「区分出荷」を削除し、「販売用「計」」を把握するよう変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ	５ページ	②報告者の記入負担軽減を図るため、稲わら、もみがら及びふるい下米等の設問を統合するとともに、区分の内容を見直し、無評価の数量の把握をとりやめ



3　稲わら、もみがら、ふるい下米等

令和○年産の食用米生産で発生した稲わら、もみがら、ふるい下米等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、①**数量**を記入してください（焼却、廃棄したものは含みません。）。

また、販売用に仕向けたものについては、②**金額**も記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

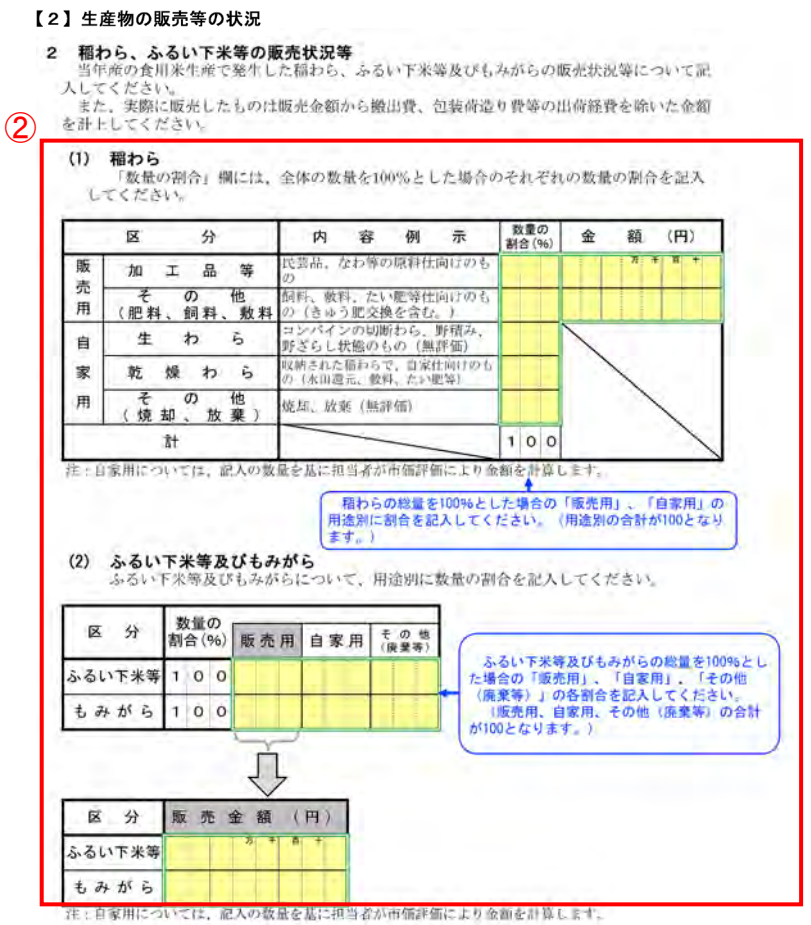
販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

②

	区分	内容例示	①数量	②金額
販売用	稲わら加工品等	民芸品、なわ等の原料、飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの（きゅう肥交換を含む。）	万 千 百 十 kg	万 千 百 十 円
販売用	もみがら	販売したもみがら	万 千 百 十 kg	万 千 百 十 円
販売用	ふるい下米等	選別により除かれた米（販売したもの）	万 千 百 十 kg	万 千 百 十 円
自家用	乾燥わら	収納された稲わらで、自家仕向けのもの（水田還元、敷料、たい肥等）	万 千 百 十 kg	
自家用	もみがら	自家で使用したもみがら	万 千 百 十 kg	
自家用	ふるい下米等	選別により除かれた米（自家で使用したもの）	万 千 百 十 kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10



【２】生産物の販売等の状況

２　稲わら、ふるい下米等の販売状況等

当年産の食用米生産で発生した稲わら、ふるい下米等及びもみがらの販売状況等について記入してください。

また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を計上してください。

②

(1)　稲わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区分		内容例示	数量の割合（%）	金額（円）
販売用	加工品等	民芸品、なわ等の原料仕向けのもの		万 千 百 十
販売用	その他（肥料、飼料、敷料）	飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの（きゅう肥交換を含む。）		
自家用	生わら	コンバインの切断わら、野積み、野ざらし状態のもの（無評価）		
自家用	乾燥わら	収納された稲わらで、自家仕向けのもの（水田還元、敷料、たい肥等）		
自家用	その他（焼却、放棄）	焼却、放棄（無評価）		
計			100	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

(2)　ふるい下米等及びもみがら

ふるい下米等及びもみがらについて、用途別に数量の割合を記入してください。

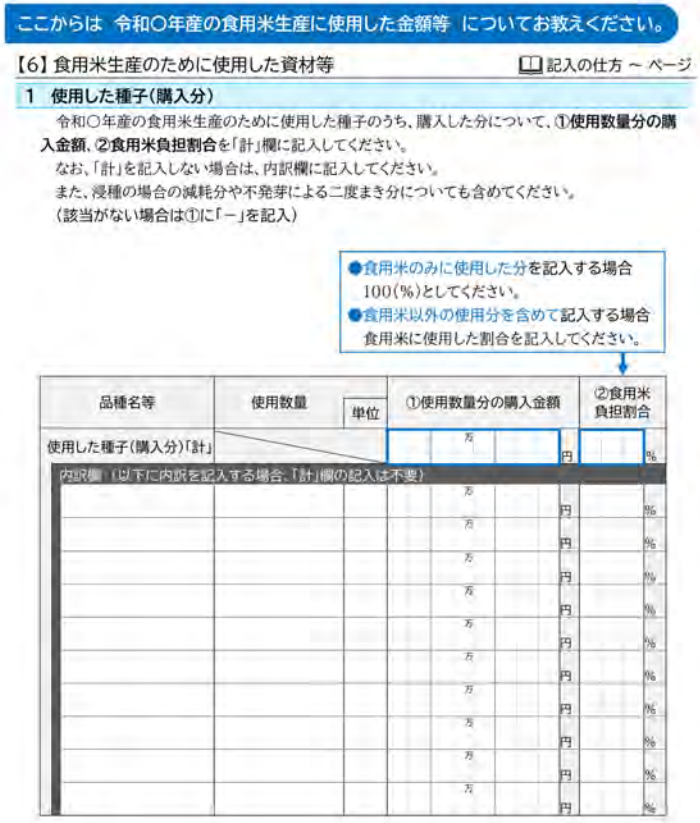
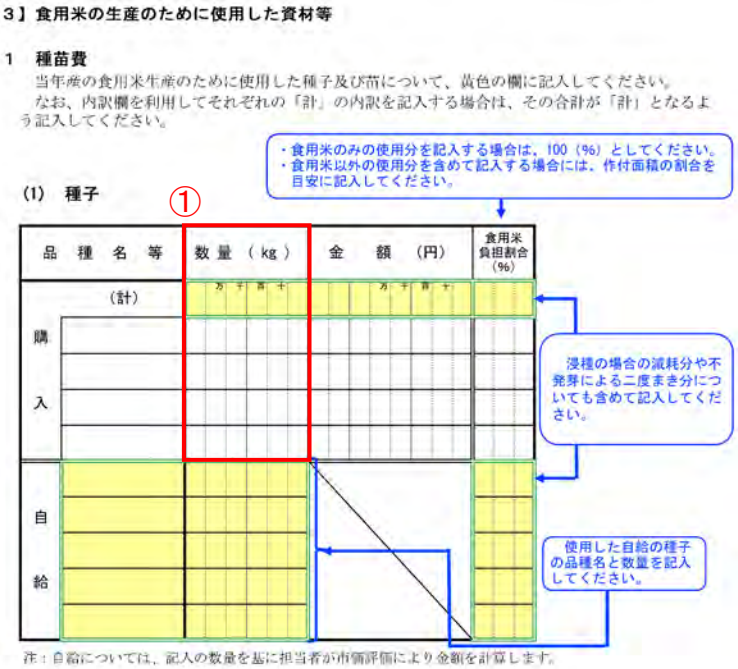
区分	数量の割合（%）	販売用	自家用	その他（廃棄等）
ふるい下米等	100			
もみがら	100			

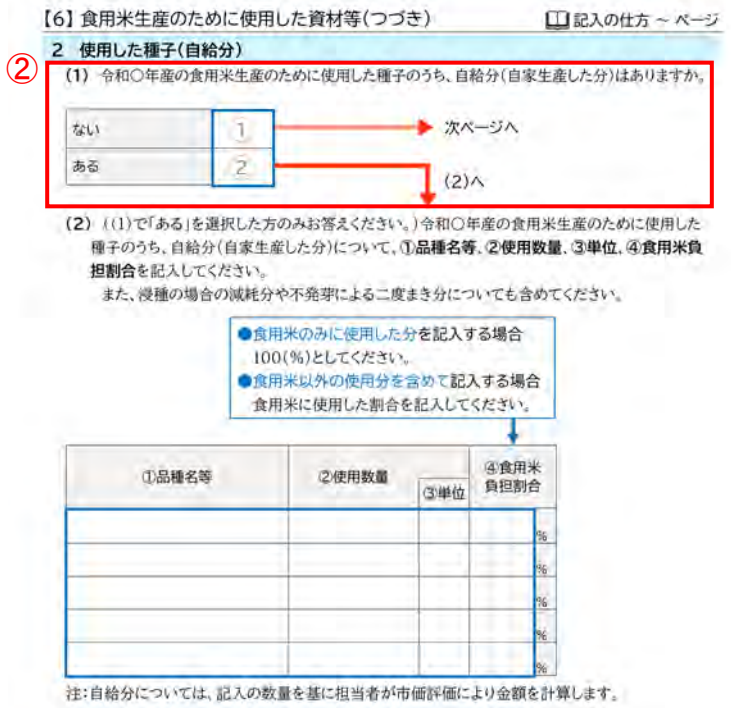
ふるい下米等及びもみがらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」、「その他（廃棄等）」の各割合を記入してください。（販売用、自家用、その他（廃棄等）の合計が100となります。）

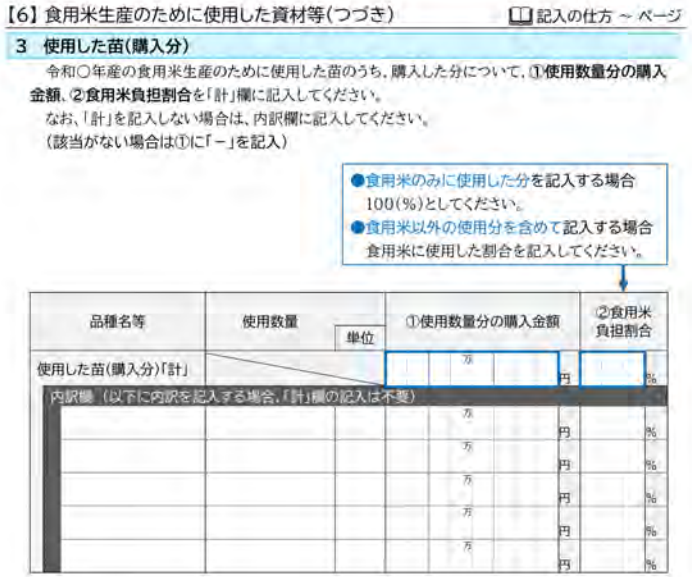
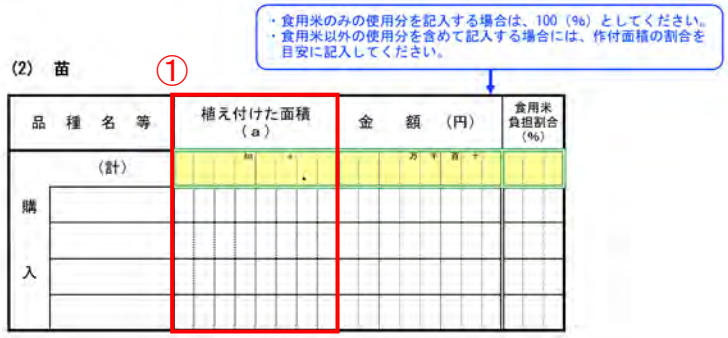
区分	販売金額（円）
ふるい下米等	万 千 百 十
もみがら	

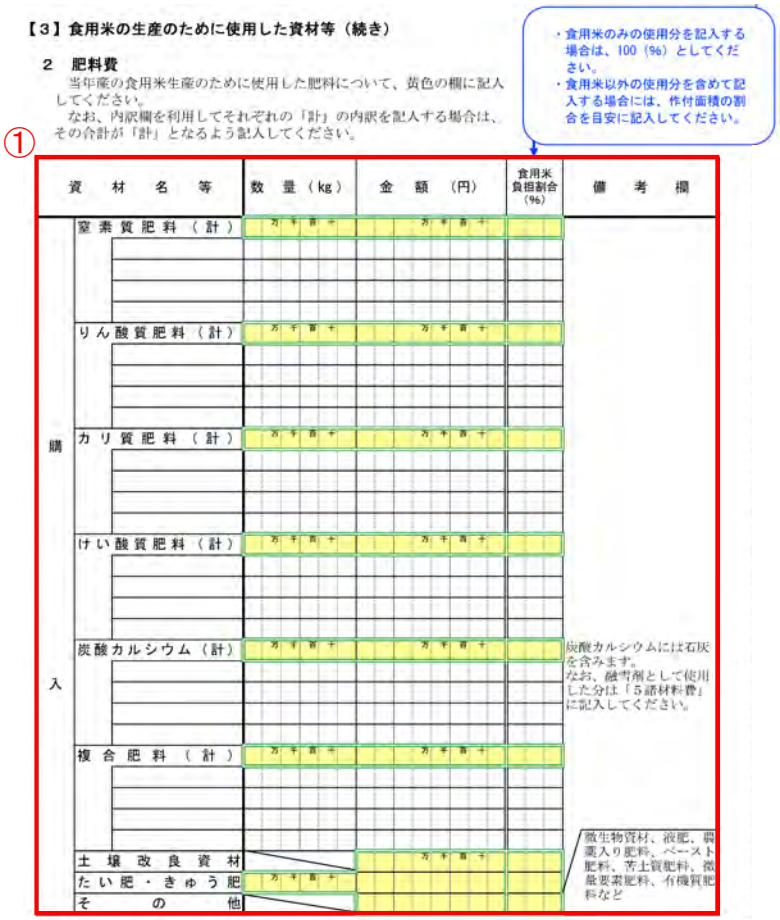
注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ  【5】制度受取金の状況　　記入の仕方 ～ページ 令和〇年産の食用米に係る以下の制度受取金はいくらでしたか。 （該当がない区分は「－」を記入） ① 制度名 / 受取金 万 円 注:飼料用米、WCS 稲に係る交付金は含みません。 11	4ページ  【1】経営の概況（続き） 11　制度受取金等の状況 当年産の食用米に係る制度受取金等について記入してください。 ① 区　分 / 掛　金（円） / 受 取 金（円） 農　業　共　済 万 千 百 十 注：農業共済の受取金には任意事故積立金も含みます。	①制度受取金等の状況のうち農業共済について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ 　制度名欄は調査時に差込印刷を行う

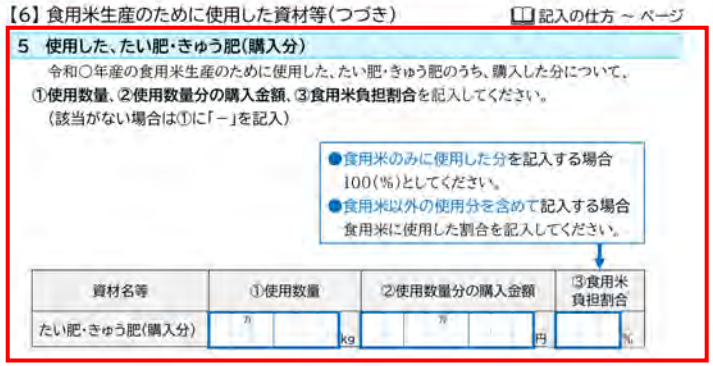
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ  12 つづく	6ページ  	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①使用した種子(購入分)について、報告者の記入負担軽減を図るため、「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握し、回答が必須であった「数量」については、必要に応じて記入する扱いに変更

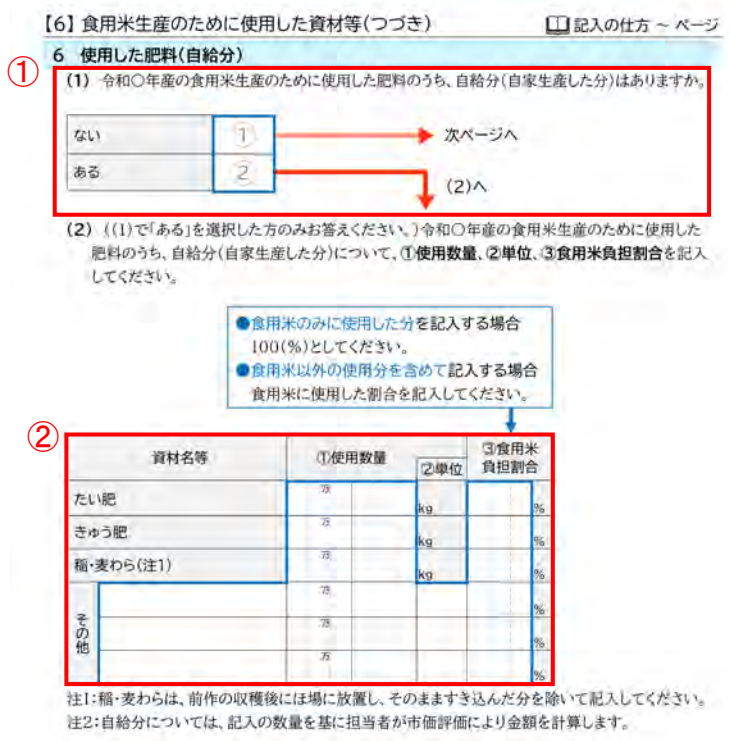
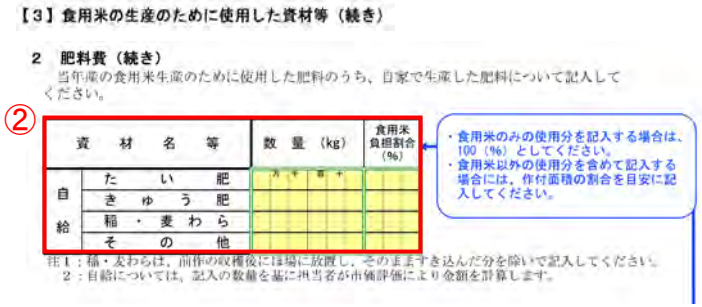
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ（変更前６ページと対比）  【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 2　使用した種子(自給分) ② (1)　令和○年産の食用米生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の食用米生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④食用米負担割合**を記入してください。 また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。 ●食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。 ①品種名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④食用米負担割合 % 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 13		②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子(自給分)の有無を確認する設問を追加

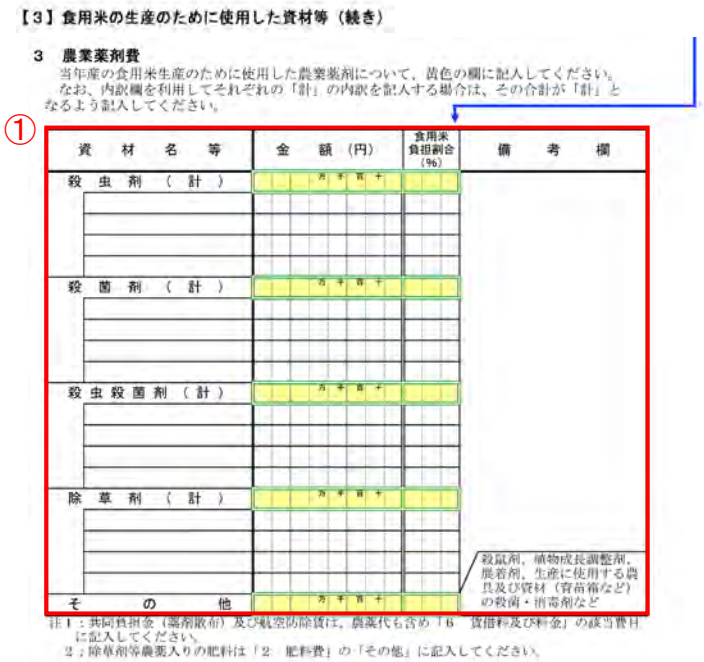
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ  【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 3　使用した苗(購入分) 令和○年産の食用米生産のために使用した苗のうち，購入した分について，**①使用数量分の購入金額**，**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお，「計」を記入しない場合は，内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。 品種名等 / 使用数量 / 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②食用米負担割合 使用した苗(購入分)「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合，「計」欄の記入は不要） 14	6ページ  【３】食用米の生産のために使用した資材等 １　種苗費 ・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 ① (2)　苗 品　種　名　等 / 植え付けた面積（a） / 金　額　（円） / 食用米負担割合（%） （計） 購入	①使用した苗（購入分）について、報告者の記入負担軽減を図るため、「金額」と「食用米負担割合」を把握し、回答が必須であった「植え付けた面積(a)」については「使用数量」として必要に応じて記入する扱いに変更

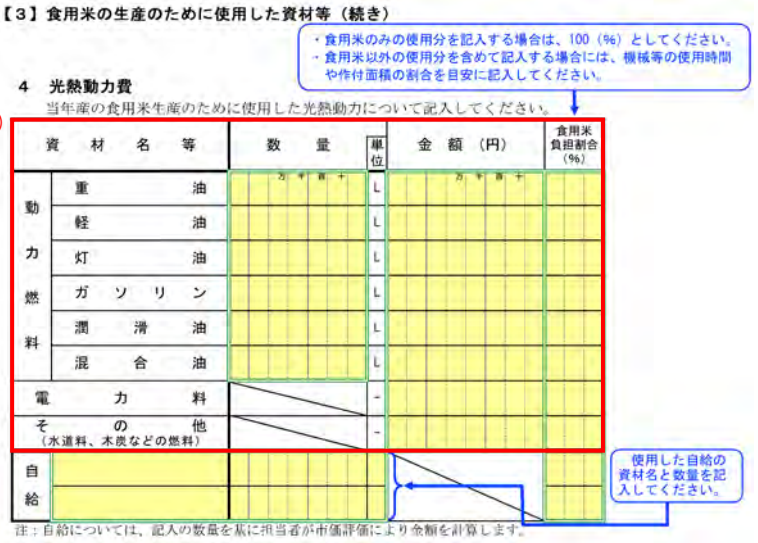
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ 	7ページ 	①肥料費について、報告者の記入負担軽減を図るため、「窒素質肥料(計)」、「りん酸質肥料(計)」、「カリ質肥料(計)」、「けい酸質肥料(計)」、「炭酸カルシウム(計)」、「複合肥料(計)」、「土壌改良資材」及び「その他」の記入欄を削除し、「使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)(購入分)「計」」の「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更 　なお、回答が必須であった「数量」については、必要に応じて記入する扱いに変更 　また、たい肥・きゅう肥については、個別での把握が必要なため、「使用した、たい肥・きゅう肥(購入分)」として設問を分離

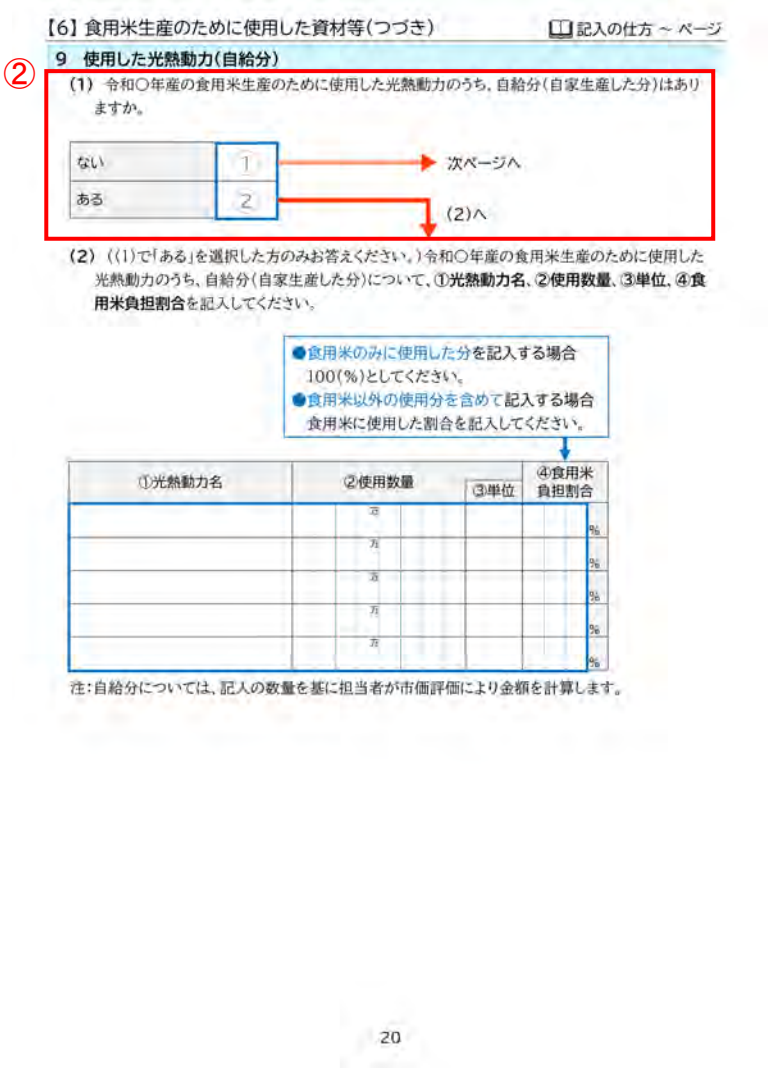
つづく

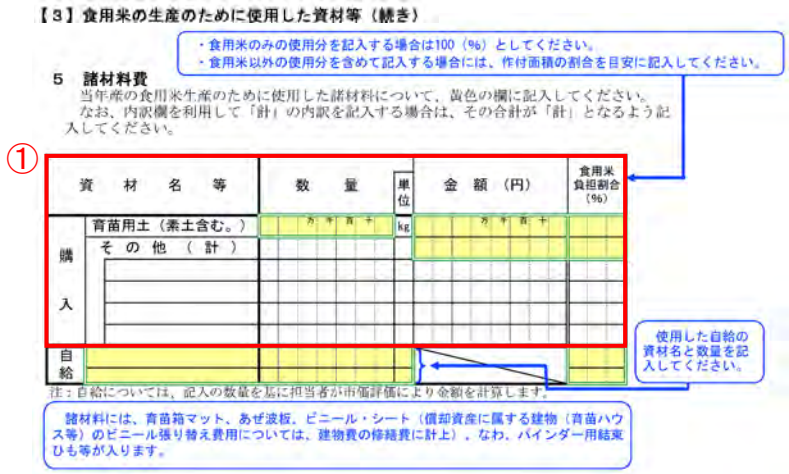
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ（変更前７ページと対比） ①  【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 5　使用した、たい肥・きゅう肥(購入分) 令和○年産の食用米生産のために使用した、たい肥・きゅう肥のうち、購入した分について、 ①使用数量、②使用数量分の購入金額、③食用米負担割合を記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。 資材名等 / ①使用数量 / ②使用数量分の購入金額 / ③食用米負担割合 たい肥・きゅう肥(購入分) / 万 / kg / 万 / 円 / % 16		①同上

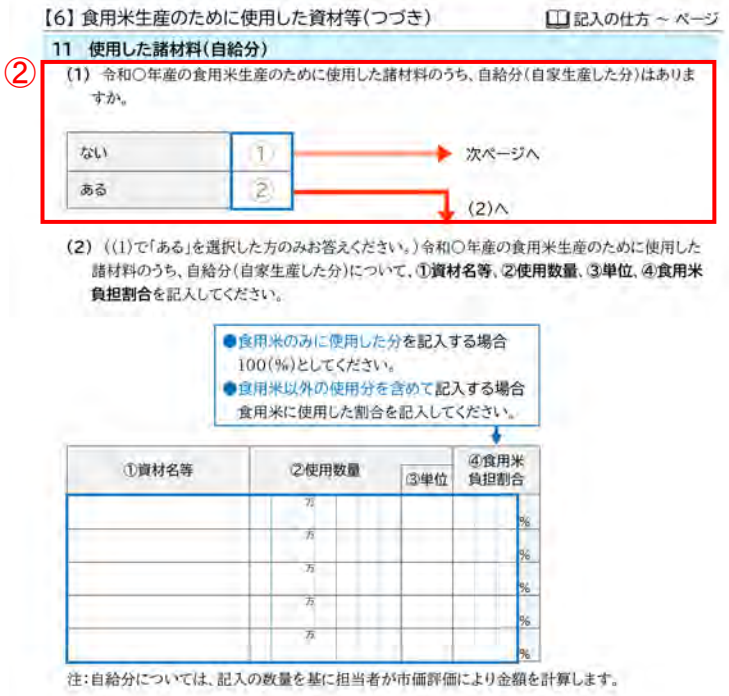
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ  【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 6　使用した肥料(自給分) ① (1)　令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量、②単位、③食用米負担割合**を記入してください。 ●食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。 ② 資材名等 / ①使用数量 / ②単位 / ③食用米負担割合 たい肥　kg　% きゅう肥　kg　% 稲・麦わら(注1)　kg　% その他　% 注1:稲・麦わらは、前作の収穫後には場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 17	7ページ  【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き） 2　肥料費（続き） 当年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自家で生産した肥料について記入してください。 ② 資材名等 / 数量（kg） / 食用米負担割合（%） 自給：たい肥 / きゅう肥 / 稲・麦わら / その他 ・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 注1：稲・麦わらは、前作の収穫後には場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

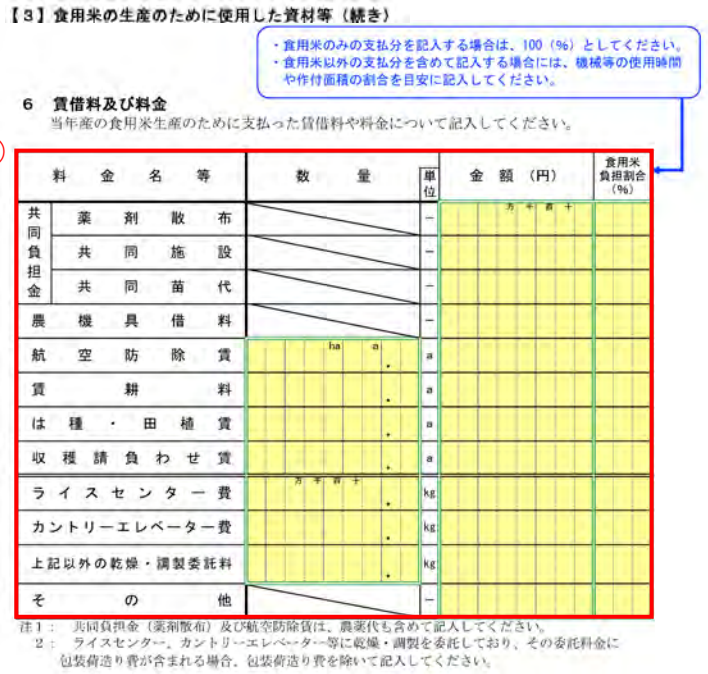
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ 	7 ページ 	①農業薬剤費について、報告者の記入負担軽減を図るため、「殺虫剤(計)」、「殺菌剤(計)」、「殺虫殺菌剤(計)」、「除草剤(計)」及び「その他」の記入欄を削除し、「使用した農業薬剤「計」」を把握するよう変更

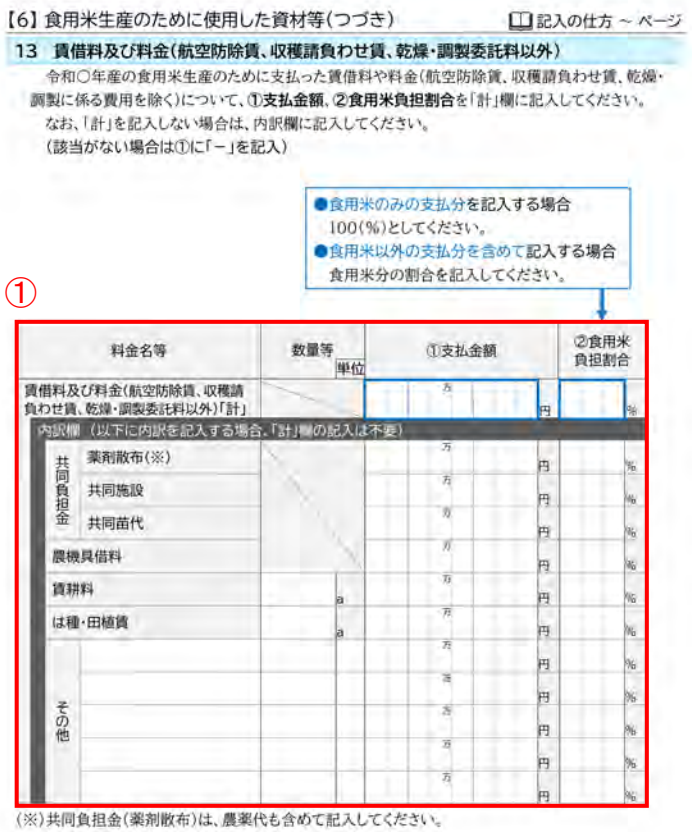
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ 	8ページ 	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①使用した光熱動力（購入分）について、報告者の記入負担軽減を図るため、「使用した光熱動力（購入分）「計」」の「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更 なお、回答が必須であった「数量」及び動力燃料等の内訳については、必要に応じて記入する扱いに変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ（変更前８ページと対比）  【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ ② 9　使用した光熱動力(自給分) (1)　令和○年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち，自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち，自給分(自家生産した分)について，**①光熱動力名**，**②使用数量**，**③単位**，**④食用米負担割合**を記入してください。 ●食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。 ①光熱動力名 / ②使用数量 / ③単位 / ④食用米負担割合 注:自給分については，記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 20		②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21ページ 	8ページ 	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①使用した諸材料（購入分）について、報告者の記入負担軽減を図るため、「育苗用土（素土含む。）」及び「その他（計）」を削除し、「使用した諸材料（購入分）「計」」の「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更 なお、回答が必須であった「数量」については、必要に応じて記入する扱いに変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22ページ（変更前８ページと対比）  【6】食用米生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 11　使用した諸材料(自給分) ② (1)　令和○年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④食用米負担割合**を記入してください。 ●食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。 ①資材名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④食用米負担割合 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 22		②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料(自給分)の有無を確認する設問を追加

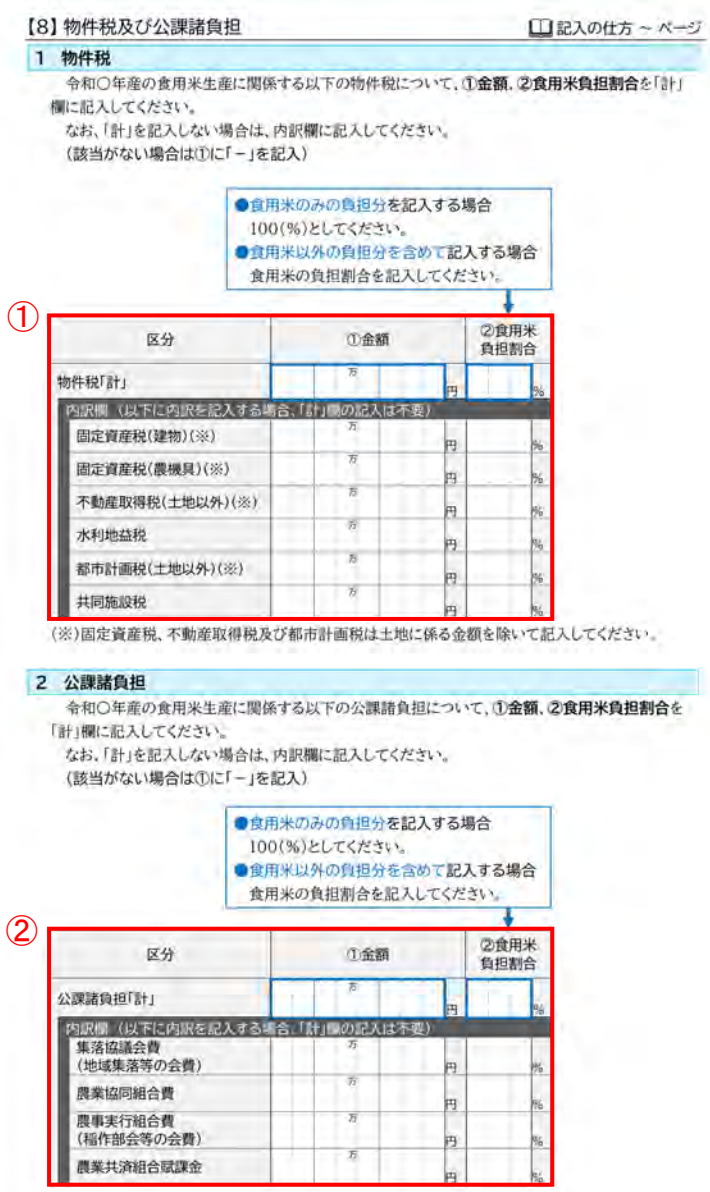
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ 	8ページ 	①賃借料及び料金のうち、航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料（「ライスセンター費」、「カントリーエレベーター費」及び「上記以外の乾燥・調製委託料」）以外の料金については、報告者の記入負担軽減を図るため、内訳等の把握を廃止し、設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24ページ（変更前８ページと対比） 		賃借料及び料金のうち、航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料以外の料金について、報告者の記入負担軽減を図るため、「支払金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更 なお、回答が必須であった「数量」及び共同負担金等の内訳については、必要に応じて記入する扱いに変更

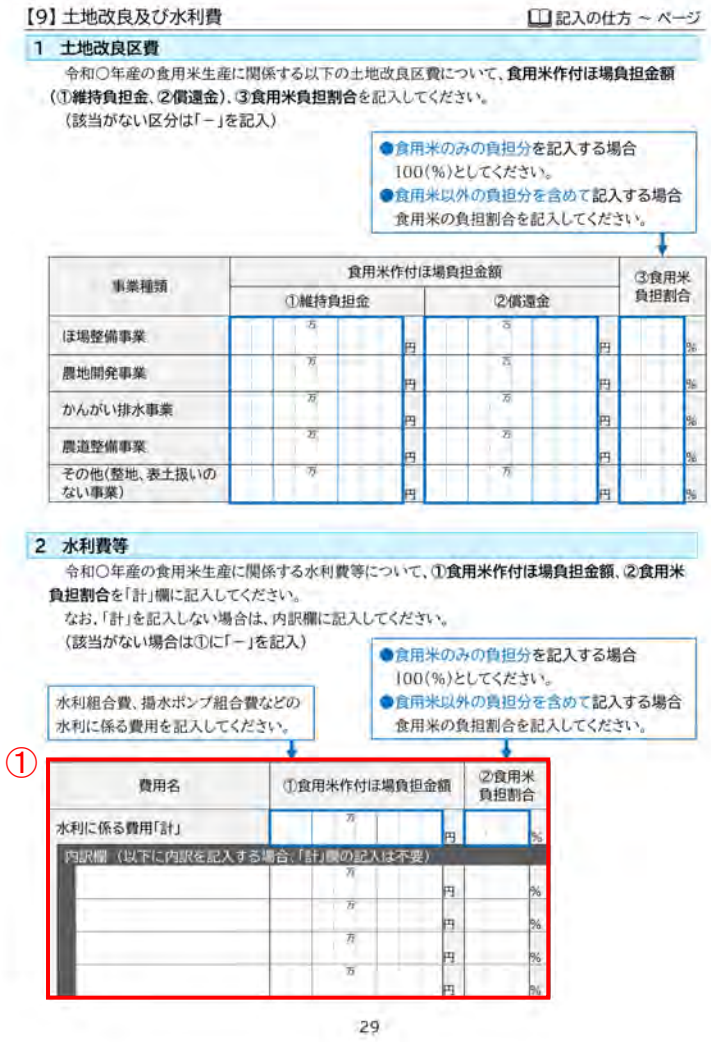
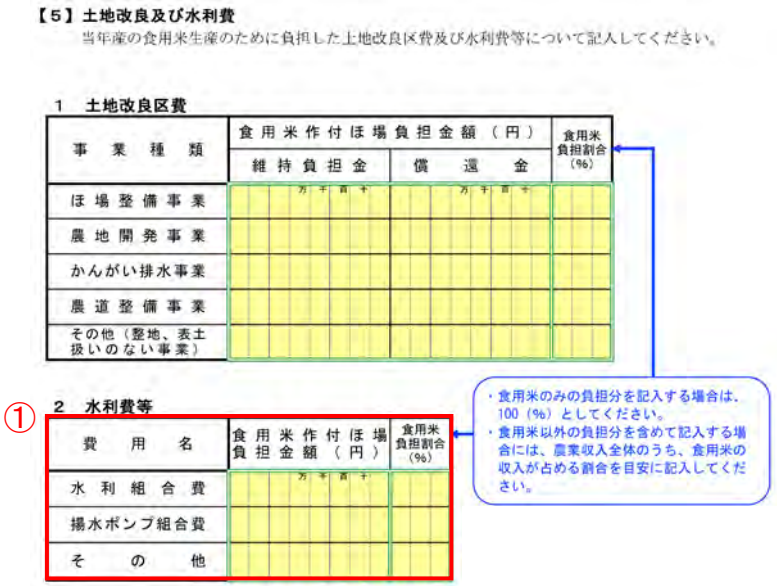
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
25～26ページ（変更前13ページと対比） 		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等 当年産の食用米生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。 ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。 農具・農業被服等の購入費 名称等：（計） 金額（円）：万 千 百 十 食用米負担割合（%） 内容例示：【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費 生産管理関係の費用 名称等：（計） 金額（円）：万 千 百 十 食用米負担割合（%） 内容例示：【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料	13ページ	同上

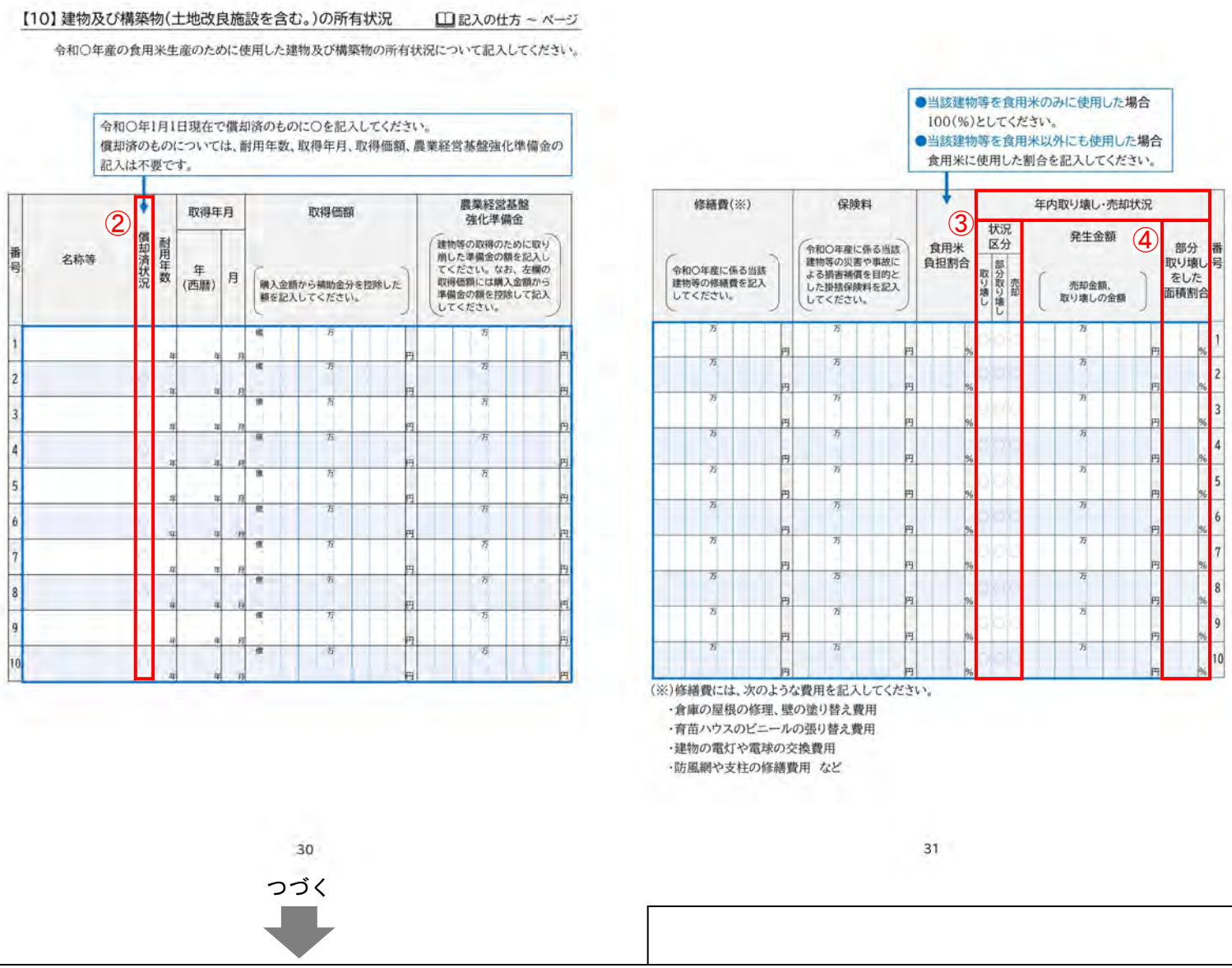
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
27～28ページ	9ページ	①物件税について、報告者の記入負担軽減を図るため、物件税「計」を把握し、内訳の「固定資産税（建物）」、「固定資産税（農機具）」、「不動産取得税（土地以外）」、「水利地益税」、「都市計画税（土地以外）」及び「共同施設税」は必要に応じて記入する扱いに変更 ②公課諸負担について、報告者の記入負担軽減を図るため、公課諸負担「計」を把握し、内訳の「集落協議会費（地域集落等の会費）」、「農業協同組合費」、「農事実行組合費（稲作部会等の会費）」及び「農業共済組合賦課金」は必要に応じて記入する扱いに変更



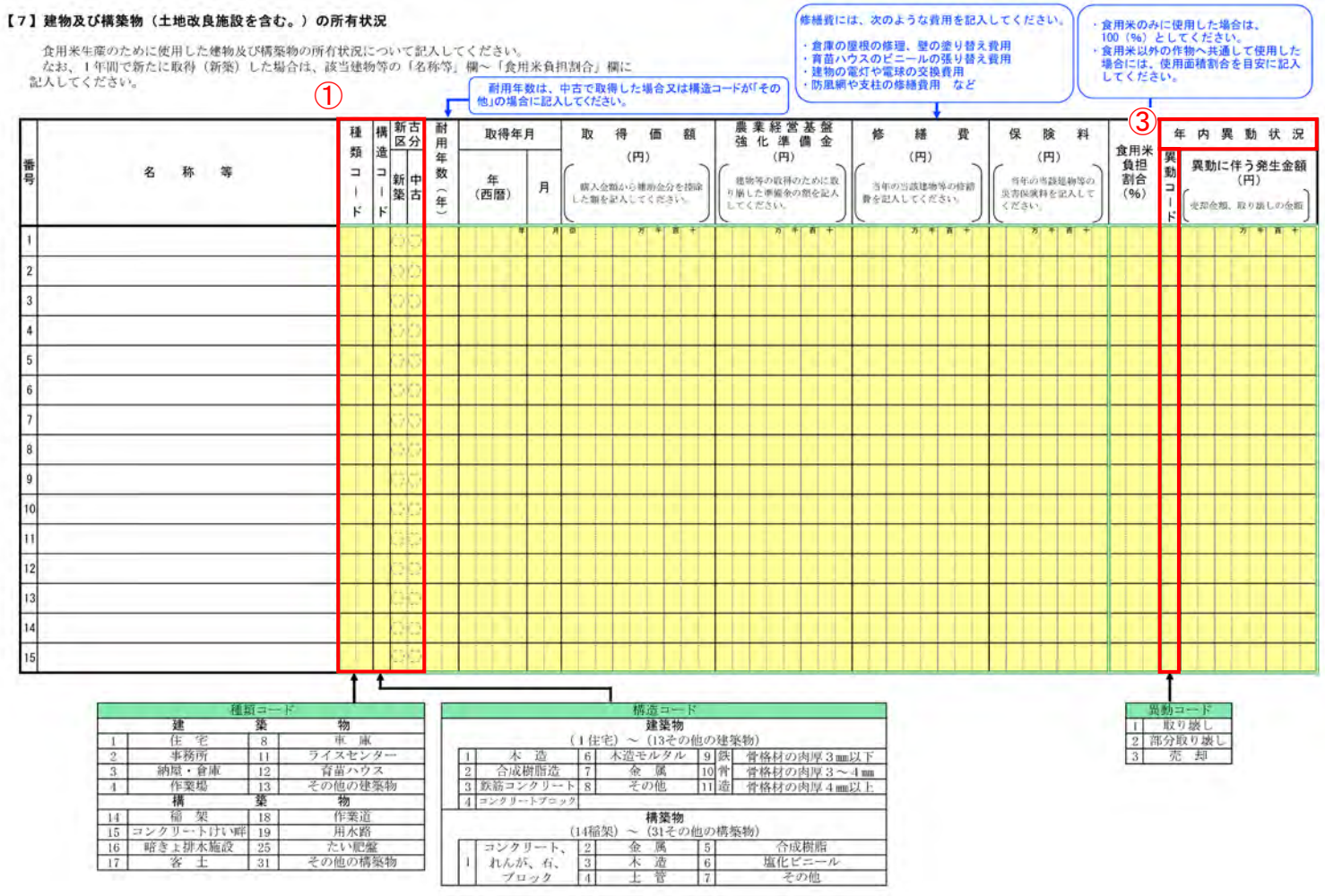


変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
29ページ 	９ページ 	①水利費等について、報告者の記入負担軽減を図るため、「水利組合費」、「揚水ポンプ組合費」及び「その他」の内訳を削除し、「水利に係る費用「計」」を把握するよう変更 　なお、回答が必須であった水利費等の内訳については、必要に応じて記入する扱いに変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前10ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上



【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

①

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

③

番号	名称等	種類コード	構造コード	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の損害保険料を記入してください。	食用米負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

	建築物		
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
	構築物		
14	温　架	18	作業道
15	コンクリート打い畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

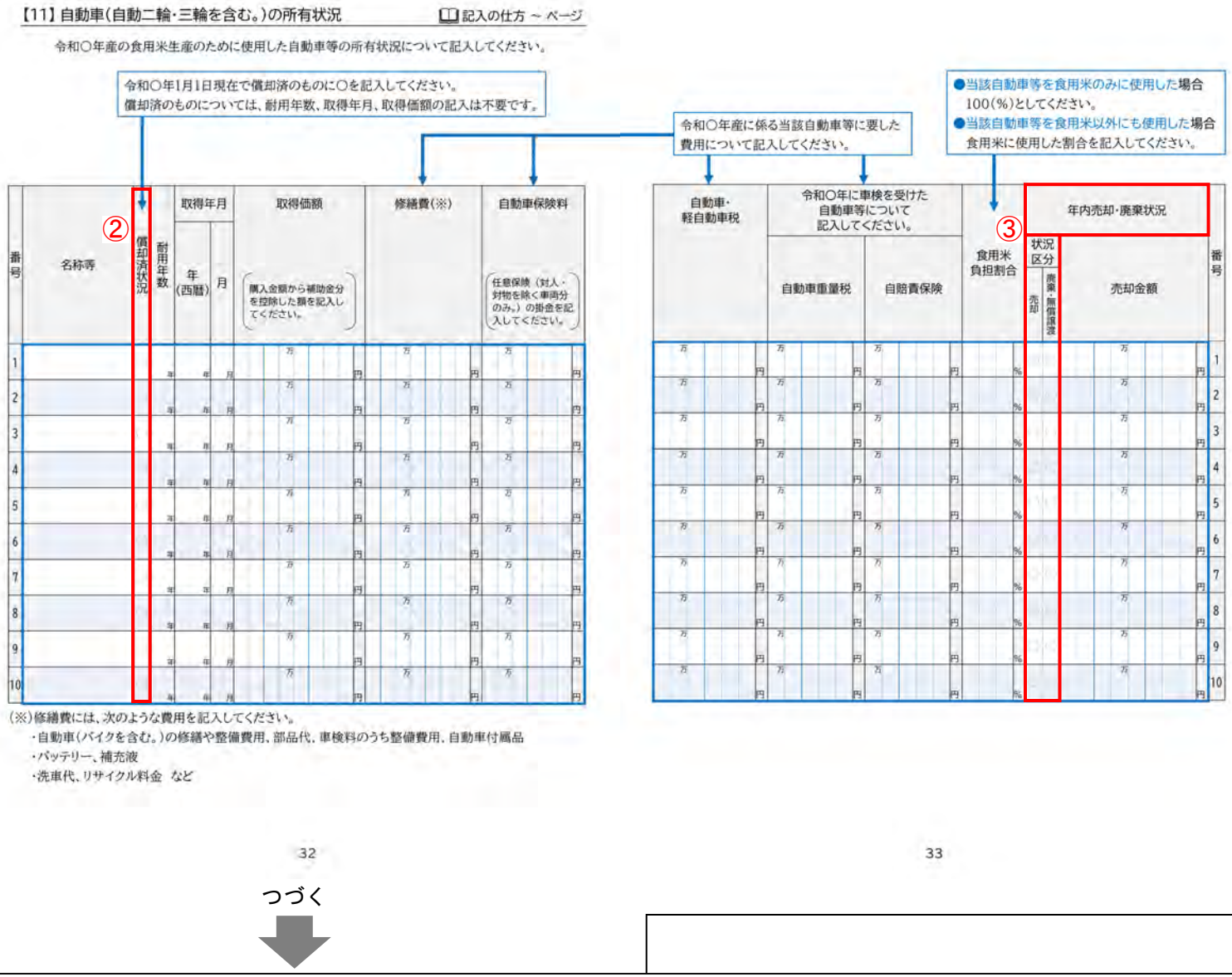
1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨構造材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	骨構造材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	造材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

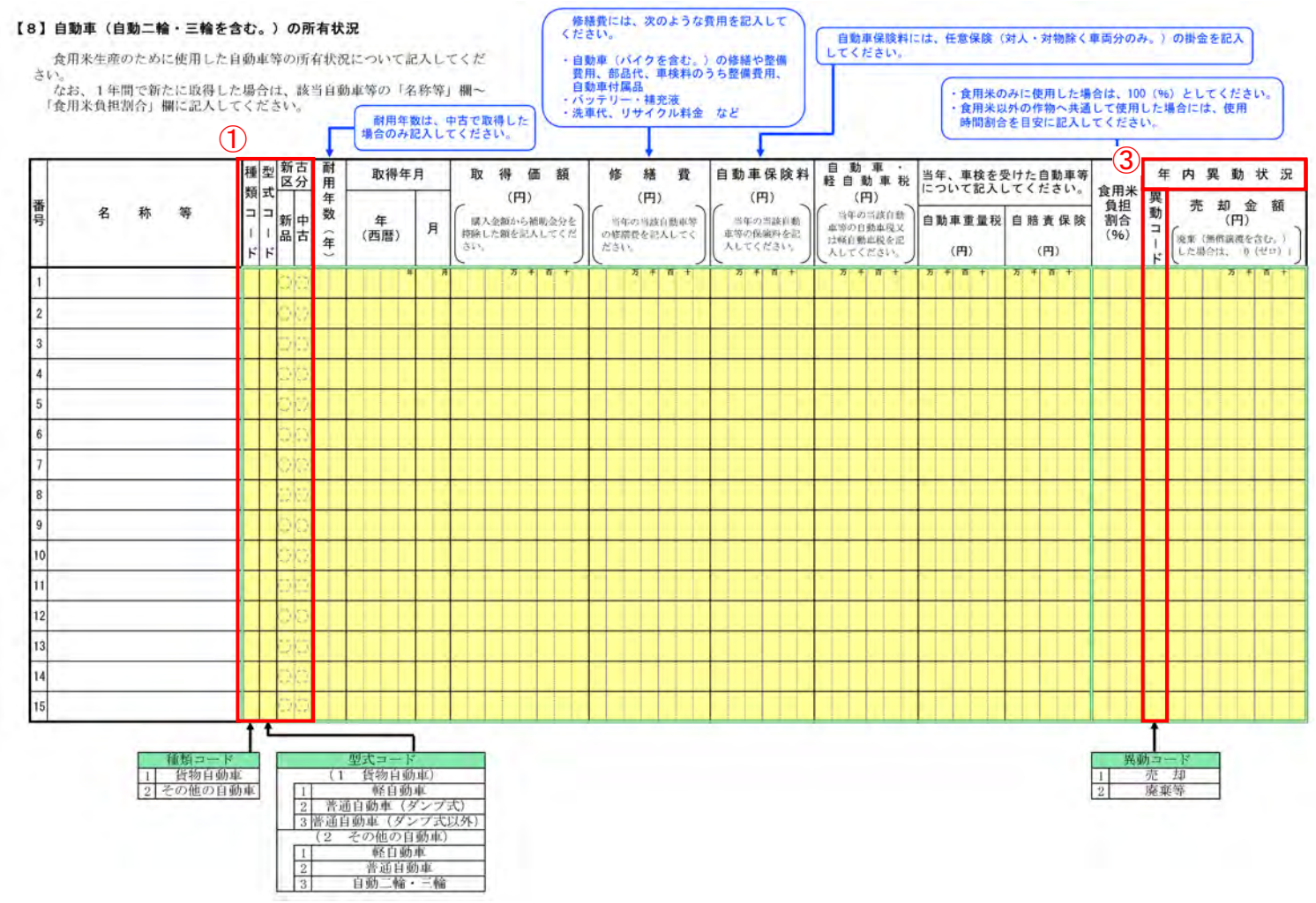
構築物
（14稲架）～（31その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

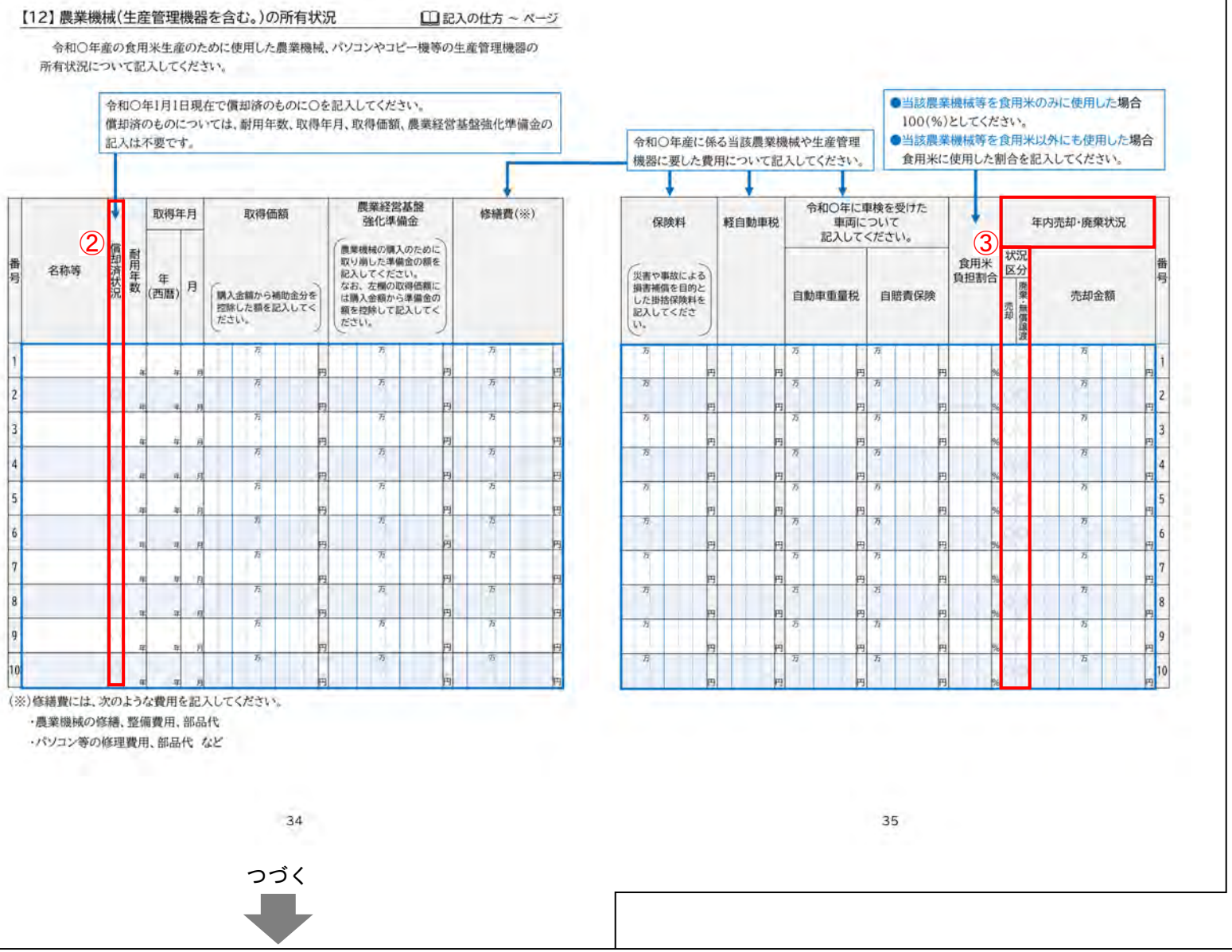
異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

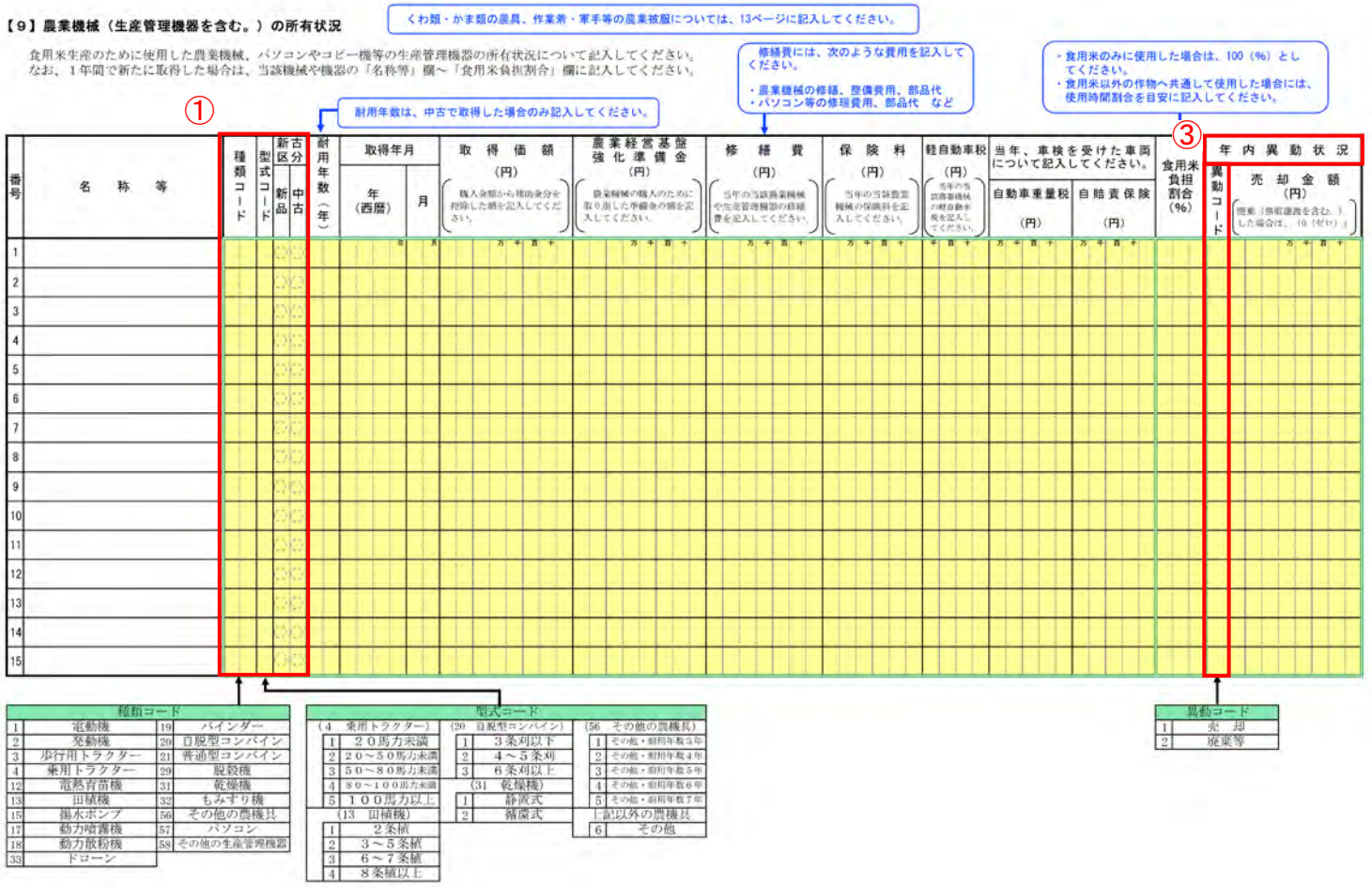
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ（変更前11ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

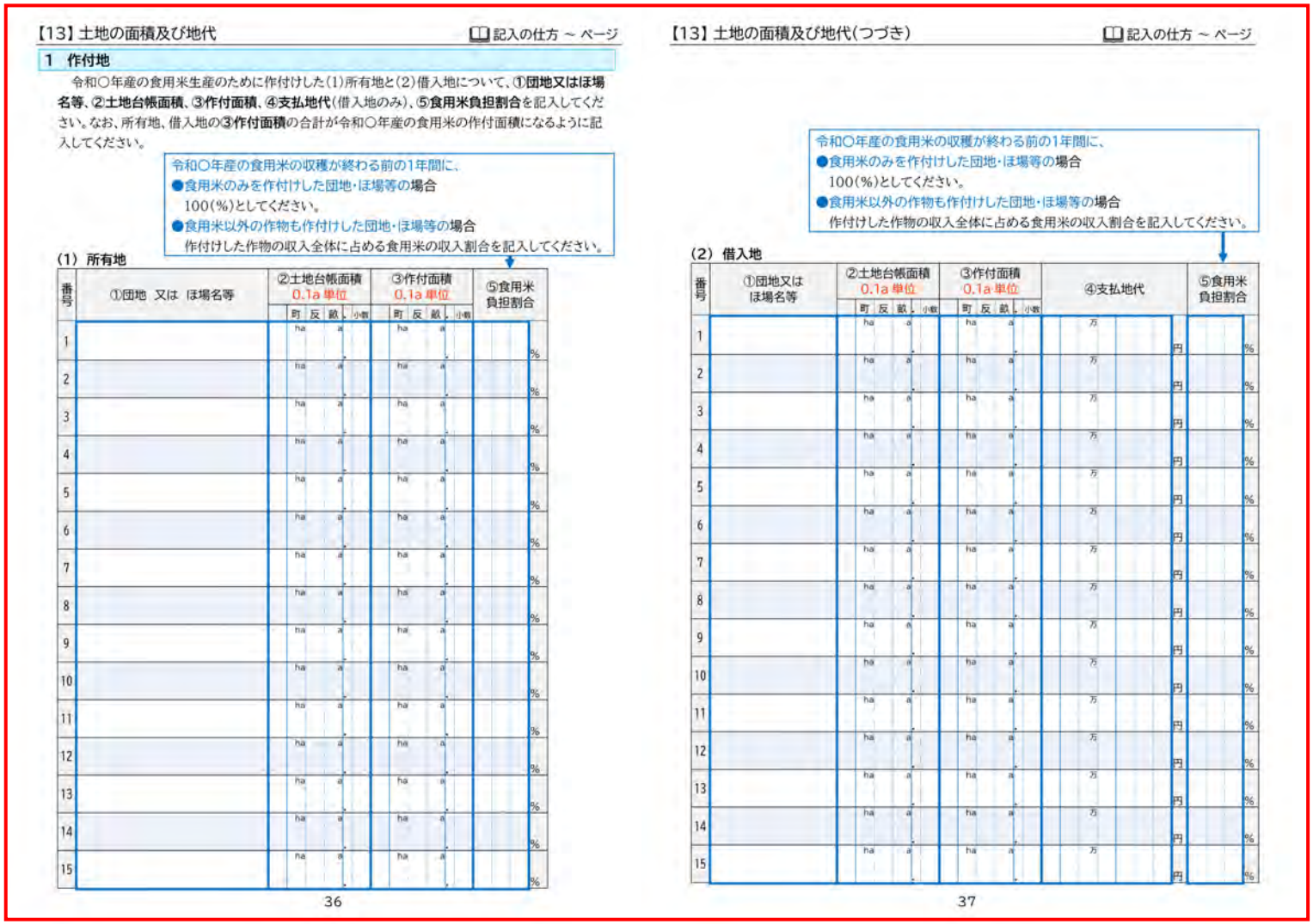
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34～35ページ（変更前12ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	12ページ	①同上 ③同上



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36～37ページ（変更前14ページとの対比） ①		記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記（以下同じ） ①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更



【13】土地の面積及び地代　　記入の仕方 ～ ページ

1　作付地

令和〇年産の食用米生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**（借入地のみ）、**⑤食用米負担割合**を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の食用米の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
●食用米のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●食用米以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤食用米負担割合
1		ha a	ha a	%
2		ha a	ha a	%
3		ha a	ha a	%
4		ha a	ha a	%
5		ha a	ha a	%
6		ha a	ha a	%
7		ha a	ha a	%
8		ha a	ha a	%
9		ha a	ha a	%
10		ha a	ha a	%
11		ha a	ha a	%
12		ha a	ha a	%
13		ha a	ha a	%
14		ha a	ha a	%
15		ha a	ha a	%

36

【13】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

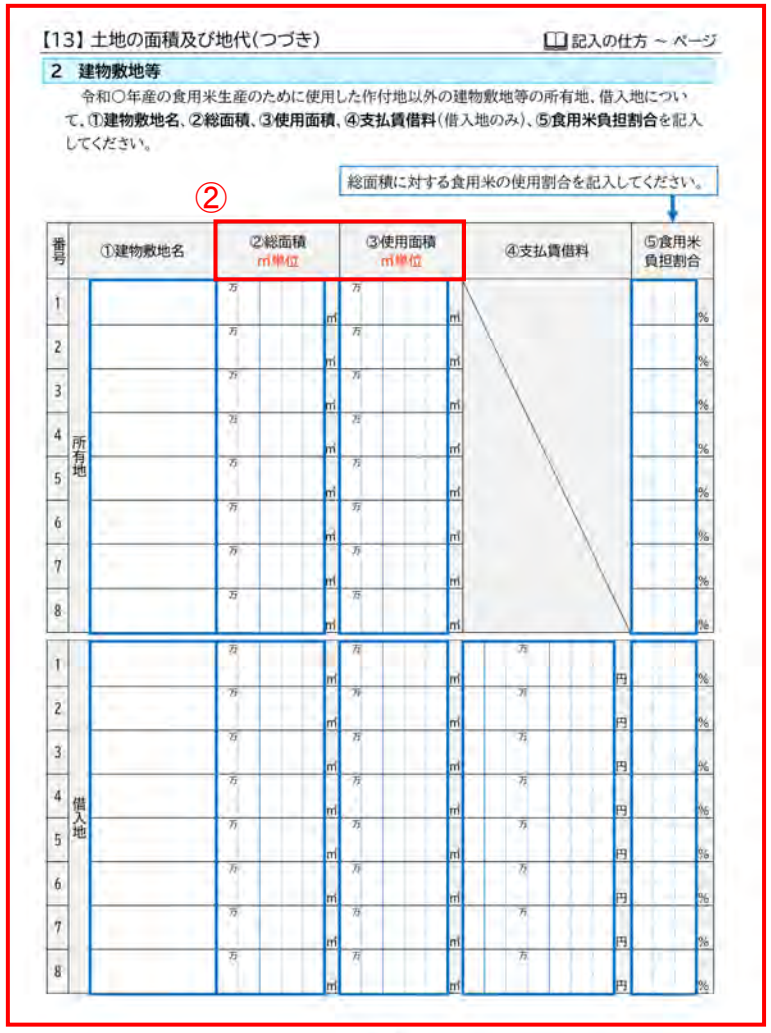
令和〇年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
●食用米のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●食用米以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

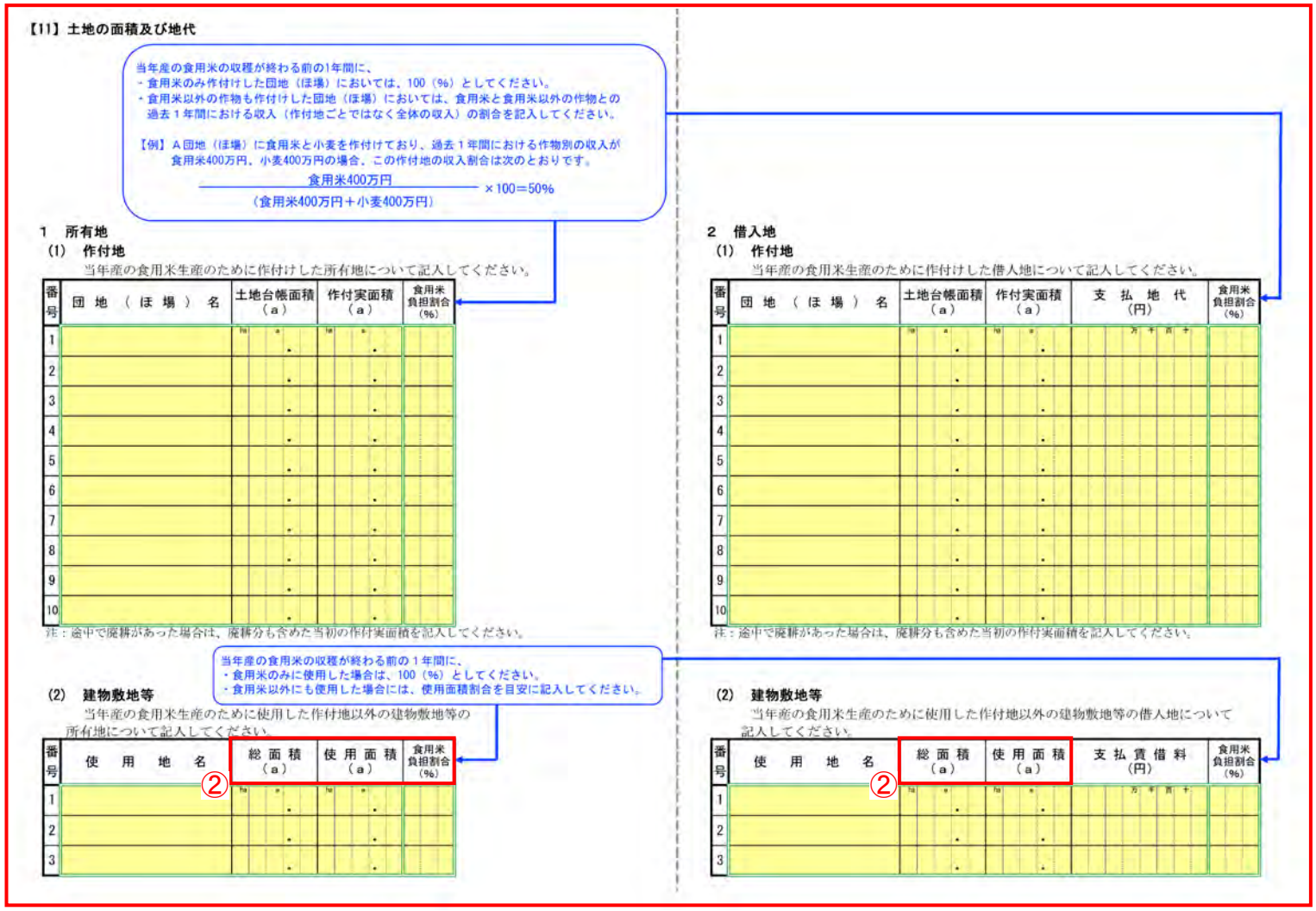
(2) 借入地

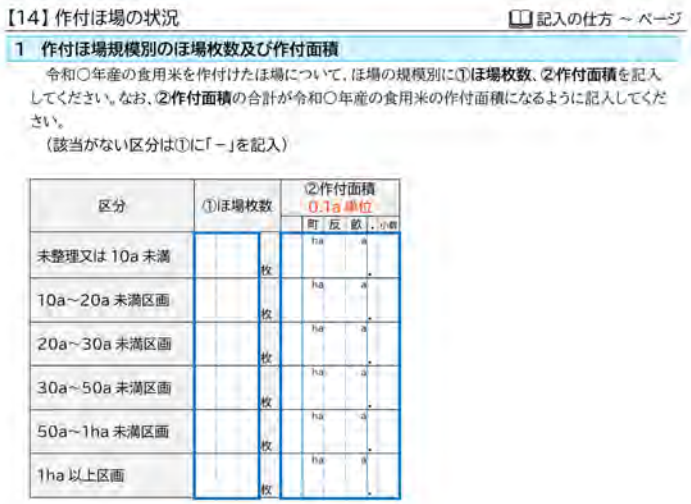
番号	①団地又はほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤食用米負担割合
1		ha a	ha a	万 円	%
2		ha a	ha a	万 円	%
3		ha a	ha a	万 円	%
4		ha a	ha a	万 円	%
5		ha a	ha a	万 円	%
6		ha a	ha a	万 円	%
7		ha a	ha a	万 円	%
8		ha a	ha a	万 円	%
9		ha a	ha a	万 円	%
10		ha a	ha a	万 円	%
11		ha a	ha a	万 円	%
12		ha a	ha a	万 円	%
13		ha a	ha a	万 円	%
14		ha a	ha a	万 円	%
15		ha a	ha a	万 円	%

37

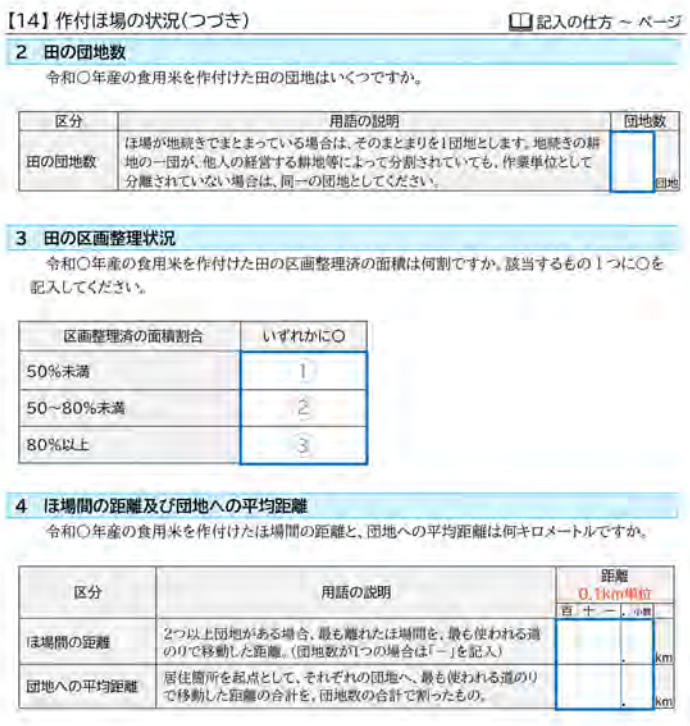
つづく

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38ページ（変更前14ページとの対比） ①  【13】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ページ 2　建物敷地等 令和〇年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**（借入地のみ）、**⑤食用米負担割合**を記入してください。 総面積に対する食用米の使用割合を記入してください。 ② 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤食用米負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 38 つづく		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① 	14ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
39ページ 	4ページ 	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
40ページ	4ページ	田の状況について、報告者が記入しやすいよう、「田の団地数」と「田の区画整理状況」の設問を分離



【14】作付ほ場の状況(つづき)　　記入の仕方 ～ページ

2　田の団地数

令和○年産の食用米を作付けた田の団地はいくつですか。

区分	用語の説明	団地数
田の団地数	ほ場が地続きでまとまっている場合は、そのまとまりを1団地とします。地続きの耕地の一団が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。	団地

3　田の区画整理状況

令和○年産の食用米を作付けた田の区画整理済の面積は何割ですか。該当するもの1つに○を記入してください。

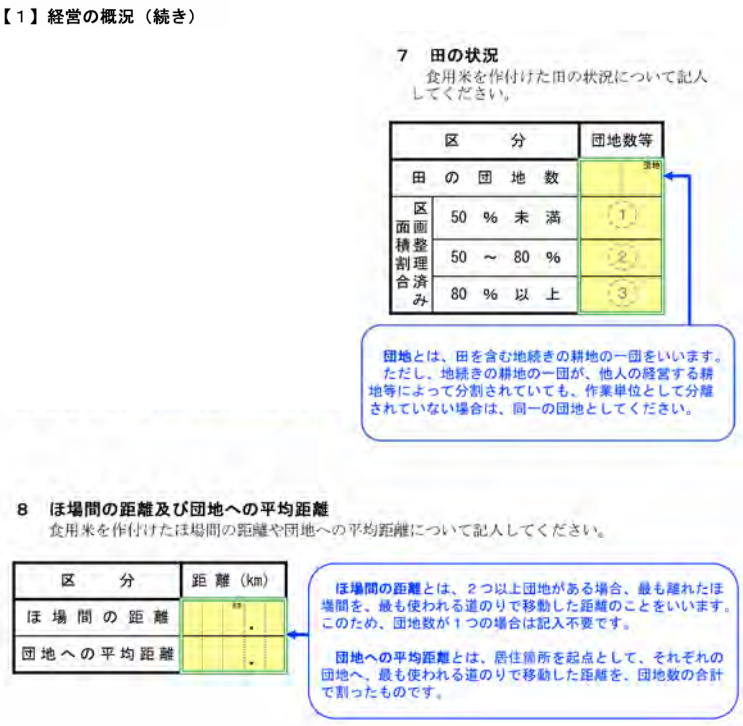
区画整理済の面積割合	いずれかに○
50%未満	1
50~80%未満	2
80%以上	3

4　ほ場間の距離及び団地への平均距離

令和○年産の食用米を作付けたほ場間の距離と、団地への平均距離は何キロメートルですか。

区分	用語の説明	距離 0.1km単位 百 十 一 . 小数
ほ場間の距離	2つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離。(団地数が1つの場合は「－」を記入)	km
団地への平均距離	居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離の合計を、団地数の合計で割ったもの。	km

40



【1】経営の概況（続き）

7　田の状況

食用米を作付けた田の状況について記入してください。

区　分		団地数等
田の団地数		団地
区画整理割合済み	50 % 未満	1
	50 ～ 80 %	2
	80 % 以上	3

団地とは、田を含む地続きの耕地の一団をいいます。
ただし、地続きの耕地の一団が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。

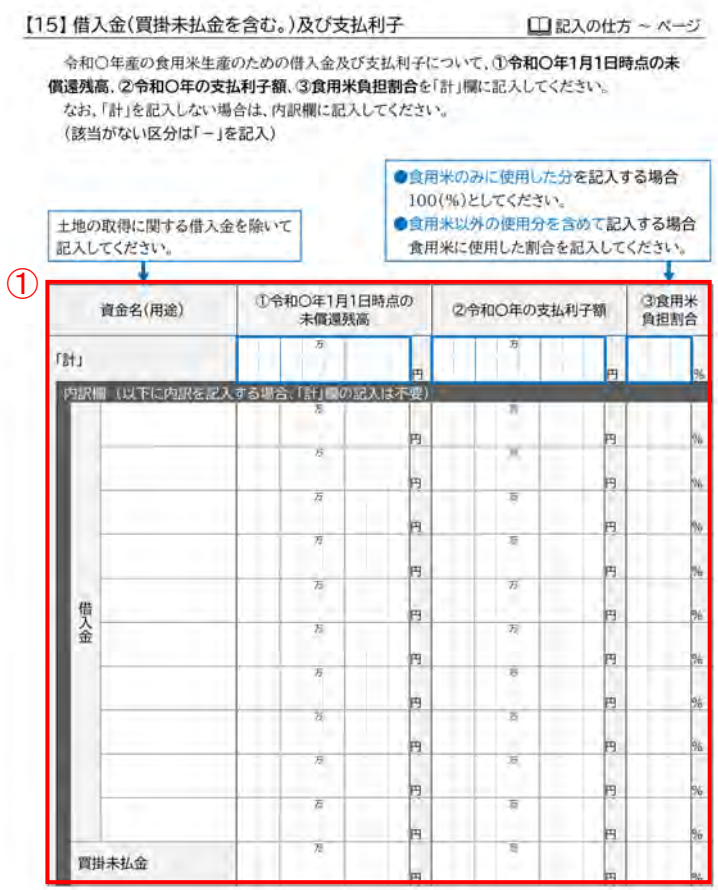
8　ほ場間の距離及び団地への平均距離

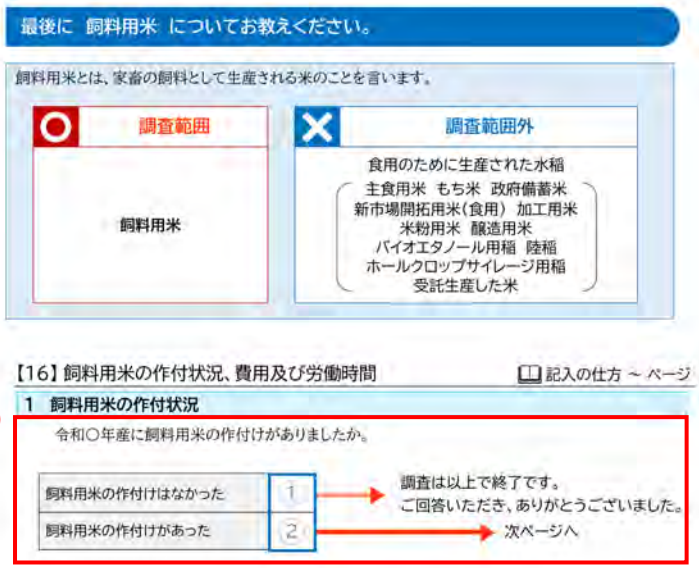
食用米を作付けたほ場間の距離や団地への平均距離について記入してください。

区　分	距離（km）
ほ場間の距離	
団地への平均距離	

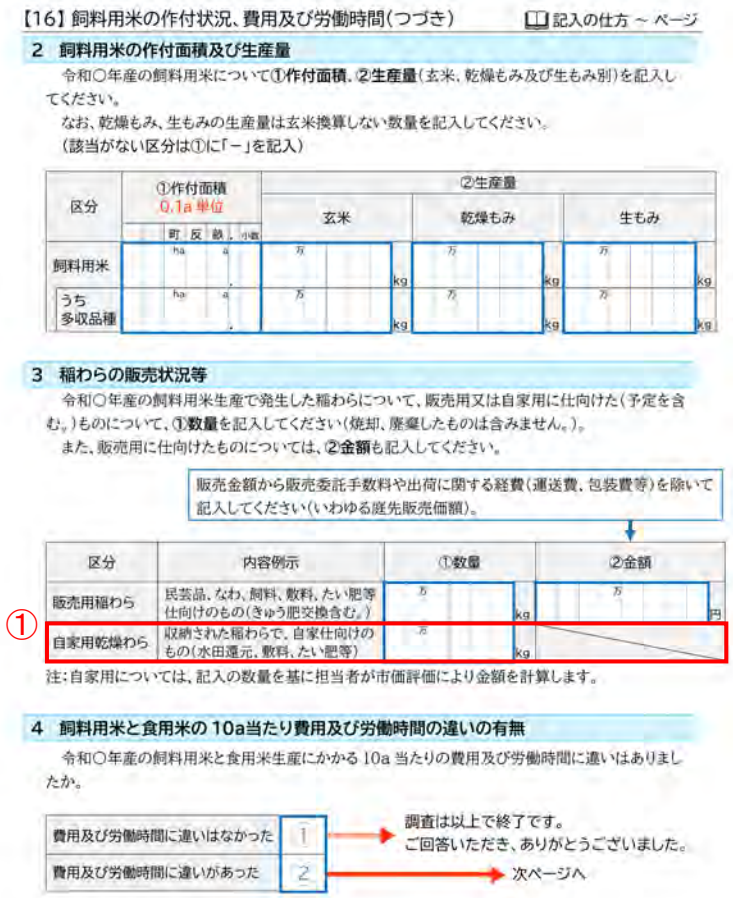
ほ場間の距離とは、2つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離のことをいいます。このため、団地数が1つの場合は記入不要です。

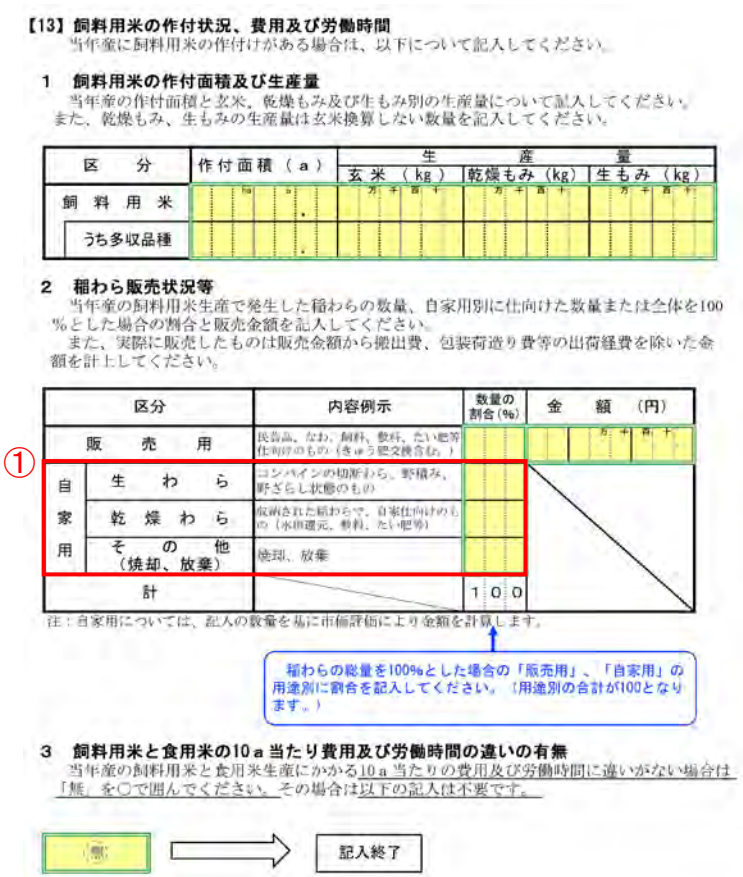
団地への平均距離とは、居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離を、団地数の合計で割ったものです。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
41ページ  【15】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　記入の仕方 ～ページ 令和〇年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高**、**②令和〇年の支払利子額**、**③食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない区分は「－」を記入） ●食用米のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●食用米以外の使用分を含めて記入する場合食用米に使用した割合を記入してください。 土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。 ① 資金名(用途) ①令和〇年1月1日時点の未償還残高 ②令和〇年の支払利子額 ③食用米負担割合 「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 借入金 買掛未払金 41	9ページ  ・食用米のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。 ・食用米以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。 【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 当年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 ① 資金名（用途） 調査開始時未償還残高（円） 支払利子額（円） 食用米負担割合（%） 短期借入金 （計） 長期借入金 （計） 買掛未払金 注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。	①借入金及び支払利子について、報告者の記入負担軽減を図るため、それぞれの「計」を把握し、内訳の「借入金」及び「買掛未払金」は必要に応じて記入する扱いに変更

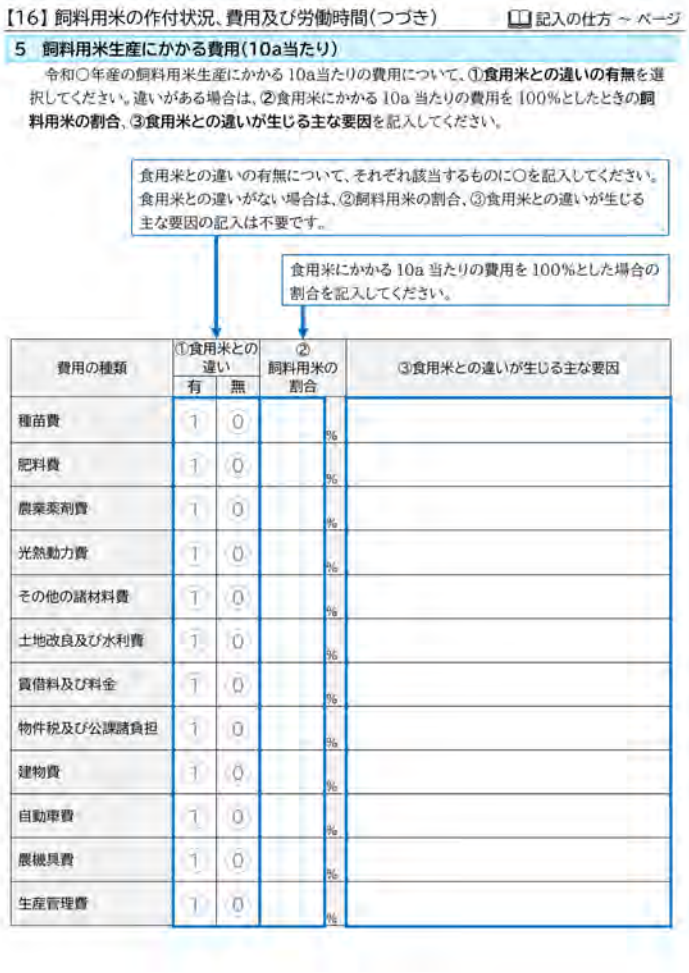
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
42ページ  ①		報告者に飼料用米の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、説明を追加 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、飼料用米の作付の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
43ページ	16ページ	①稲わらの販売状況等のうち自家用分の数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「自家用乾燥わら」のみを把握するよう変更





変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
44ページ	16ページ	



【16】飼料用米の作付状況、費用及び労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ページ

5　飼料用米生産にかかる費用(10a当たり)

令和〇年産の飼料用米生産にかかる10a当たりの費用について、**①食用米との違いの有無**を選択してください。違いがある場合は、**②食用米にかかる10a当たりの費用を100%としたときの飼料用米の割合**、**③食用米との違いが生じる主な要因**を記入してください。

食用米との違いの有無について、それぞれ該当するものに〇を記入してください。食用米との違いがない場合は、②飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因の記入は不要です。

食用米にかかる10a当たりの費用を100%とした場合の割合を記入してください。

費用の種類	①食用米との違い 有	①食用米との違い 無	②飼料用米の割合	③食用米との違いが生じる主な要因
種苗費	1	0	%	
肥料費	1	0	%	
農薬薬剤費	1	0	%	
光熱動力費	1	0	%	
その他の諸材料費	1	0	%	
土地改良及び水利費	1	0	%	
賃借料及び料金	1	0	%	
物件税及び公課諸負担	1	0	%	
建物費	1	0	%	
自動車費	1	0	%	
農機具費	1	0	%	
生産管理費	1	0	%	

44



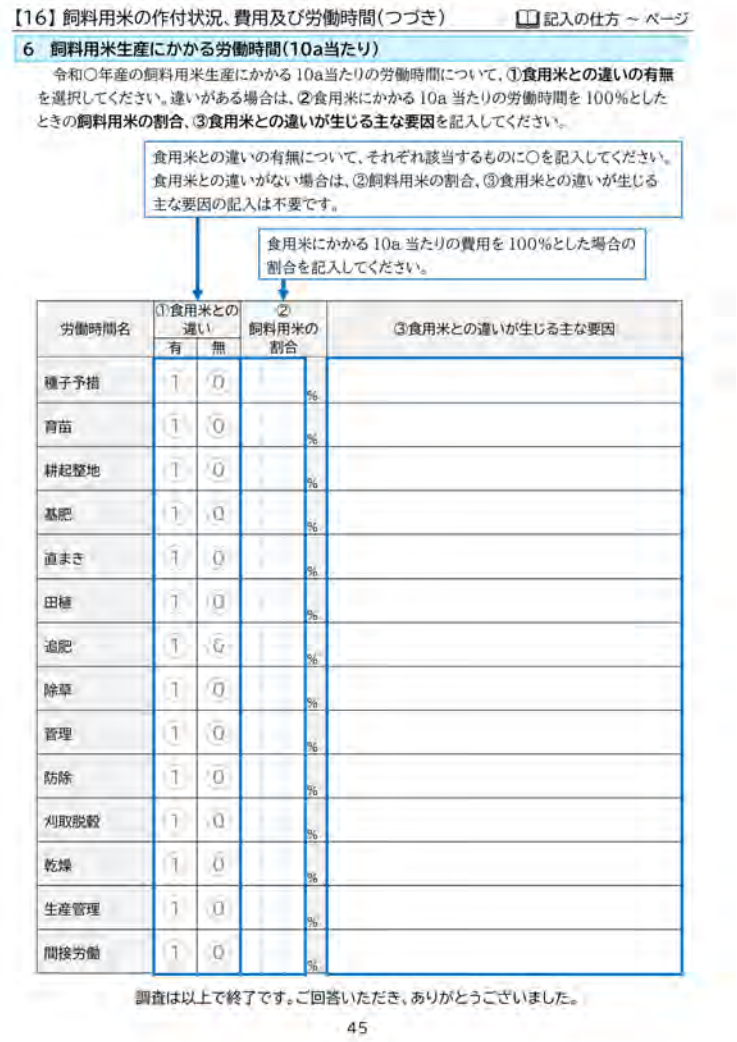
【13】飼料用米の作付状況、費用及び労働時間

4　食用米生産に対して飼料用米生産にかかる費用（10ａ当たり）

当年産の飼料用米生産にかかる10ａ当たりの費用について、食用米との違いの有無、違いが有る場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。

費用の種類	食用米との違い 有	食用米との違い 無	割合(%)	違いが生じる主な要因
種苗費	1	0		
肥料費	1	0		
農業薬剤費	1	0		
光熱動力費	1	0		
その他の諸材料費	1	0		
土地改良及び水利費	1	0		
賃借料及び料金	1	0		
物件税及び公課諸負担	1	0		
建物費	1	0		
自動車費	1	0		
農機具費	1	0		
生産管理費	1	0		

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
45ページ	16ページ	



【16】飼料用米の作付状況、費用及び労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ページ

6　飼料用米生産にかかる労働時間(10a当たり)

令和○年産の飼料用米生産にかかる10a当たりの労働時間について、**①食用米との違いの有無**を選択してください。違いがある場合は、**②**食用米にかかる10a当たりの労働時間を100%としたときの**飼料用米の割合**、**③食用米との違いが生じる主な要因**を記入してください。

食用米との違いの有無について、それぞれ該当するものに○を記入してください。食用米との違いがない場合は、②飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因の記入は不要です。

食用米にかかる10a当たりの費用を100%とした場合の割合を記入してください。

労働時間名	①食用米との違い 有	①食用米との違い 無	②飼料用米の割合	③食用米との違いが生じる主な要因
種子予措	1	0	%	
育苗	1	0	%	
耕起整地	1	0	%	
基肥	1	0	%	
直まき	1	0	%	
田植	1	0	%	
追肥	1	0	%	
除草	1	0	%	
管理	1	0	%	
防除	1	0	%	
刈取脱穀	1	0	%	
乾燥	1	0	%	
生産管理	1	0	%	
間接労働	1	0	%	

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

45

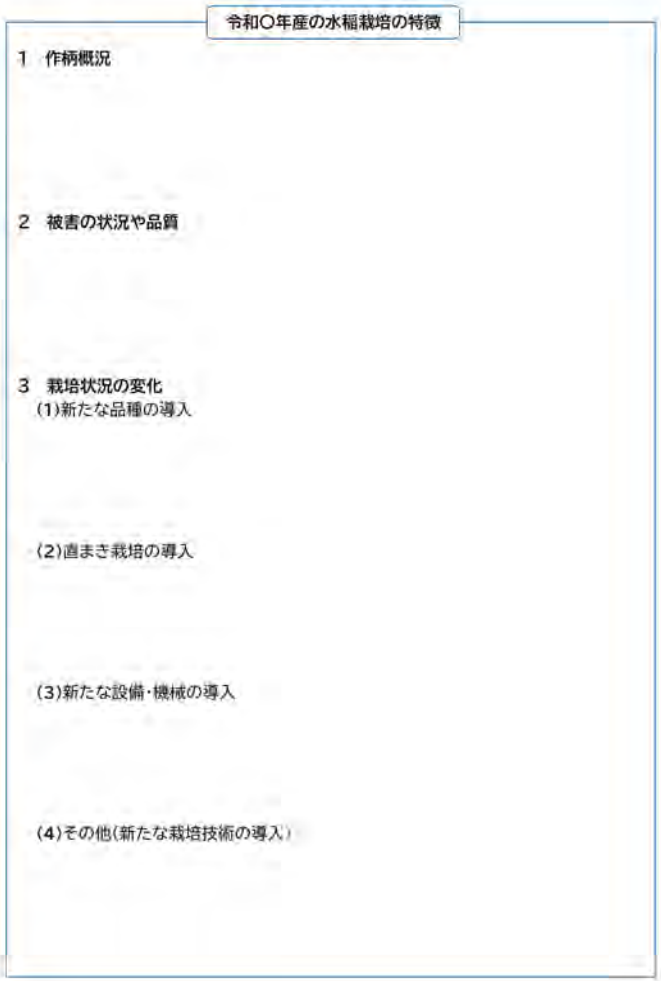
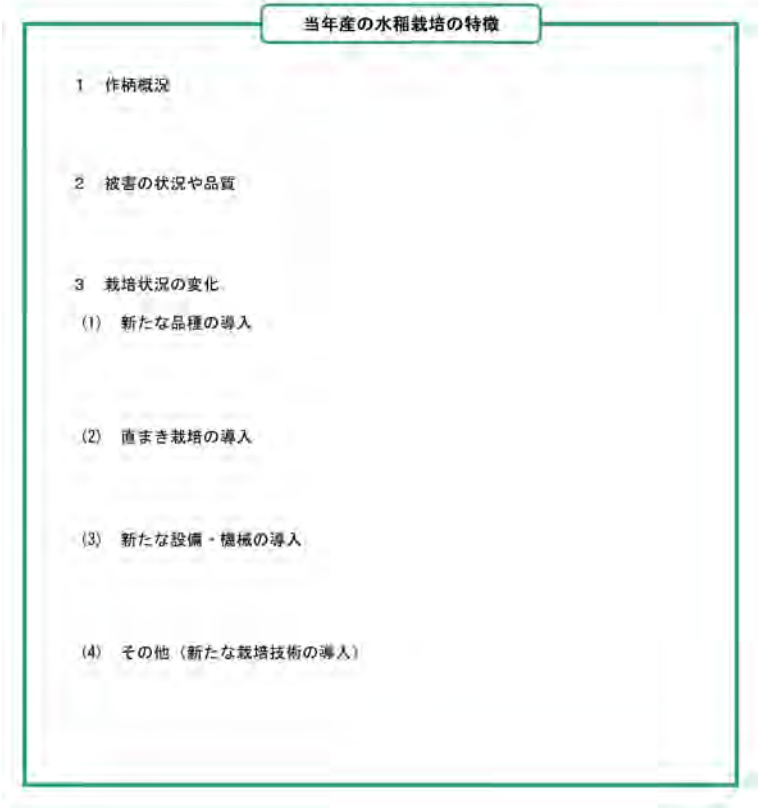


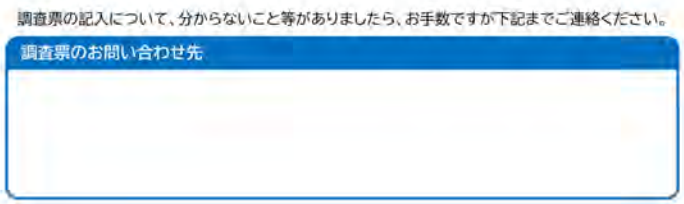
【13】飼料用米の作付状況、費用及び労働時間

5　食用米生産に対して飼料用米生産にかかる労働時間（10ａ当たり）

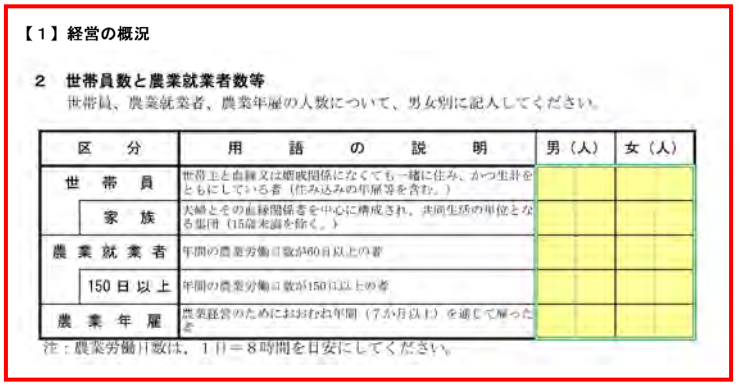
当年産の飼料用米生産にかかる10ａ当たりの労働時間について、食用米との違いの有無、違いがある場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。

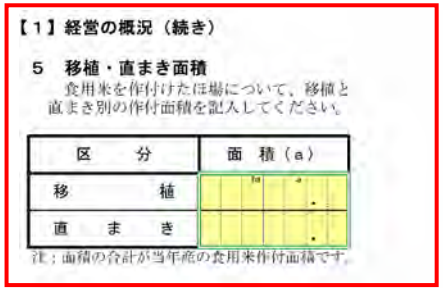
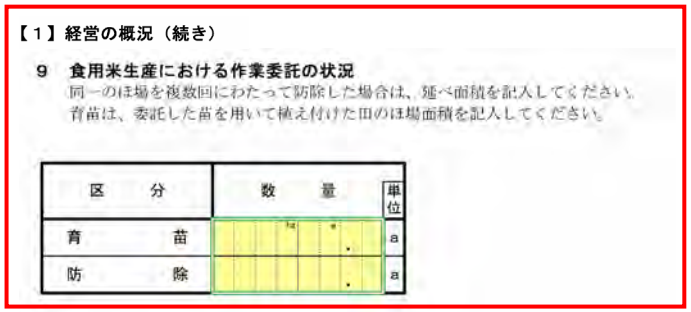
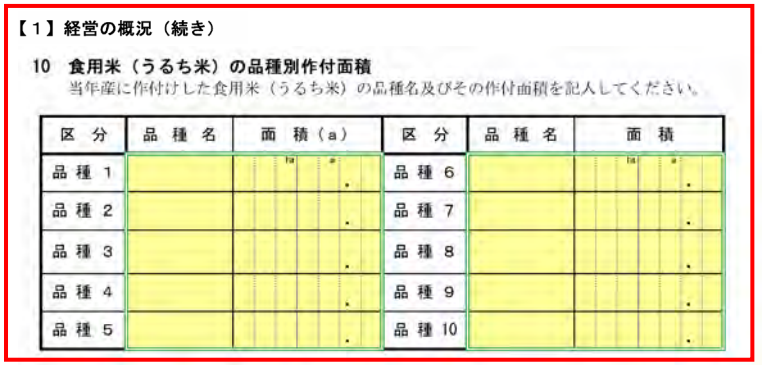
労働時間名	食用米との違い 有	食用米との違い 無	割合（%）	違いが生じる主な要因
種子予措	1	0		
育苗	1	0		
耕起整地	1	0		
基肥	1	0		
直まき	1	0		
田植	1	0		
追肥	1	0		
除草	1	0		
管理	1	0		
防除	1	0		
刈取脱穀	1	0		
乾燥	1	0		
生産管理	1	0		
間接労働	1	0		

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
46ページ  	6ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
48ページ  	1ページ  	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ 調査にご協力いただき、ありがとうございます。 調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。 この調査は、「食用米（※１）及び飼料用米の生産コスト」を把握する調査です。 調査票の「１　経営の概況」～「12　作業別労働時間」には○年産の食用米、「13　飼料用米の作付状況、費用及び労働時間」には飼料用米の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。 ※１　食用米とは 食用に供する水稲のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米が該当します。（食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含みません。） ※２　この調査での食用米の生産とは 自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。 **【調査票の記入方法（食用米負担割合について）】** 食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から食用米負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。 食用米と小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。 （記入例） 「10万円」で購入した窒素質肥料「1,000kg」を、食用米「８ha」、小麦「２ha」の作付地に施肥した場合 例１　食用米に施肥した数量、金額を記入する方法 	区　分	数　量（kg）	金　額（円）	食用米負担割合（%）
---	---	---	---
窒素質肥料	800	80000	100 | 食用米負担割合には100%と記入 例２　食用米、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法 食用米と小麦の作付面積割合「８：２」を目安に食用米負担割合を「80%」と記入してください。 | 区　分	数　量（kg）	金　額（円）	食用米負担割合（%）
---	---	---	---
窒素質肥料	1000	100000	80	 食用米負担割合には80%と記入 **【食用米負担割合の設定方法】** 食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合の食用米負担割合を設定する方法について説明します。 （１）倉庫（建物）の場合 倉庫の全面積のうち、食用米生産のために使用した面積の割合を「食用米負担割合」とします。 $$食用米負担割合 = \frac{食用米に使用した倉庫の面積}{倉庫の全面積} \times 100$$ 例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち食用米生産のために210㎡、食用米以外の作物に90㎡を使用した場合の「食用米負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。 ○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図 倉庫全体（300㎡） 食用米に使用（210㎡）　食用米以外に使用（90㎡） 食用米負担割合：７０％ （２）農機具（トラクター）の場合 トラクターの全使用時間のうち、食用米生産のために使用した時間の割合を「食用米負担割合」とします。 $$食用米負担割合 = \frac{食用米に使用したトラクターの使用時間}{トラクターの全使用時間} \times 100$$ 例：トラクター全体の使用時間が200時間で、うち食用米生産のために80時間、食用米以外の作物に120時間使用した場合の「食用米負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

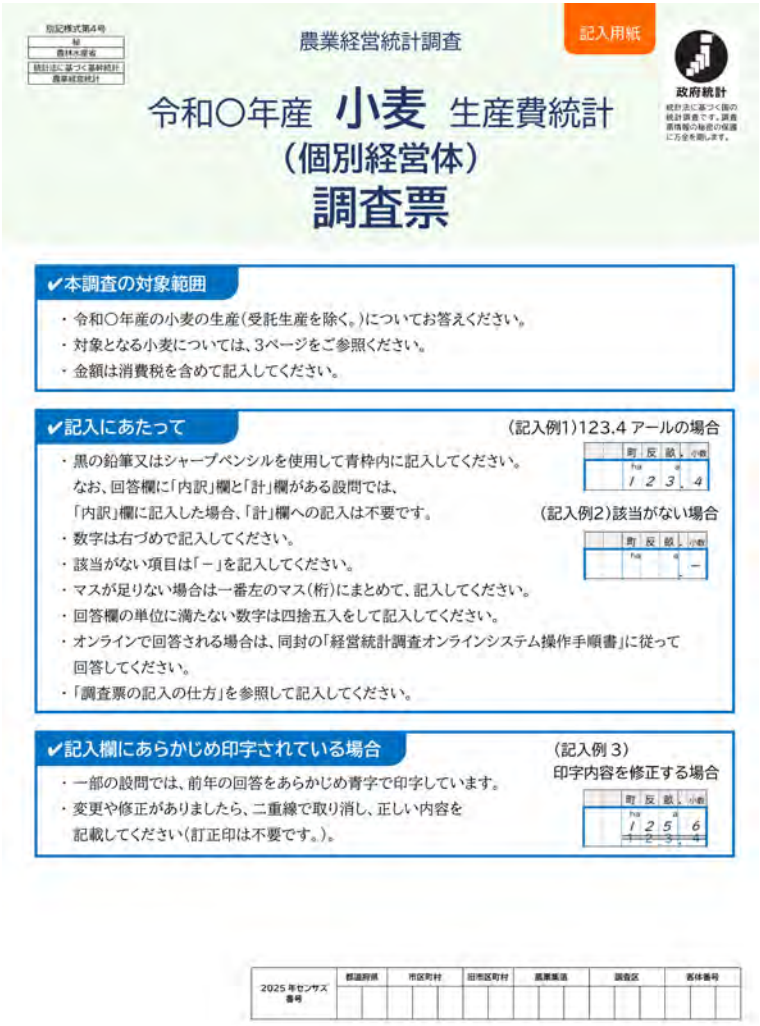
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普　通　畑 樹　園　地 牧　草　地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。 区　分 / 用　語　の　説　明 / 男（人） / 女（人） 世　帯　員 家　族 農業就業者 150日以上 農業年雇 注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ５　移植・直まき面積 食用米を作付けたほ場について、移植と直まき別の作付面積を記入してください。 区　分 / 面　積（ａ） 移　植 直　ま　き 注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。	移植・直まき面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ９　食用米生産における作業委託の状況 同一のほ場を複数回にわたって防除した場合は、延べ面積を記入してください。 育苗は、委託した苗を用いて植え付けた田のほ場面積を記入してください。 区　分 / 数　量 / 単位 育　苗 / a 防　除 / a	食用米生産における作業委託の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） 10　食用米（うるち米）の品種別作付面積 当年産に作付けした食用米（うるち米）の品種名及びその作付面積を記入してください。 区　分 / 品　種　名 / 面　積（ａ） / 区　分 / 品　種　名 / 面　積 品種１ / 品種６ 品種２ / 品種７ 品種３ / 品種８ 品種４ / 品種９ 品種５ / 品種10	食用米（うるち米）の品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

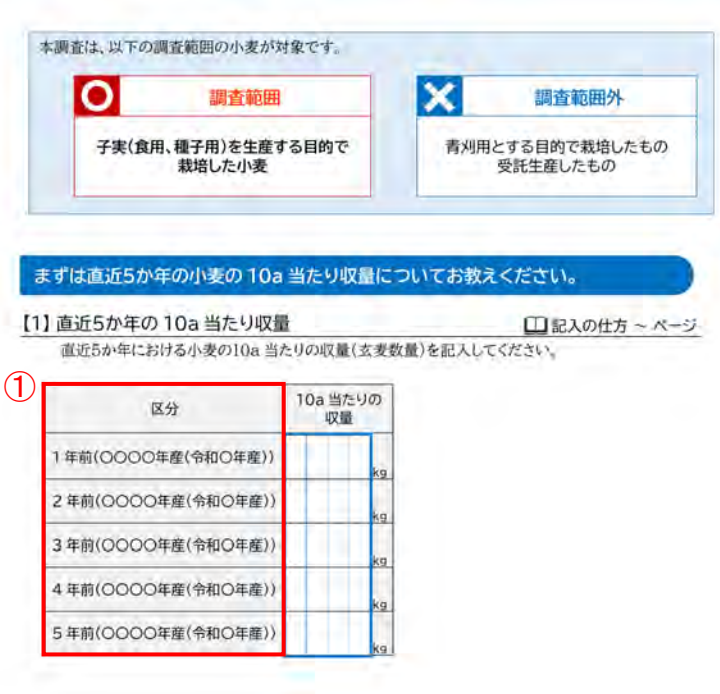
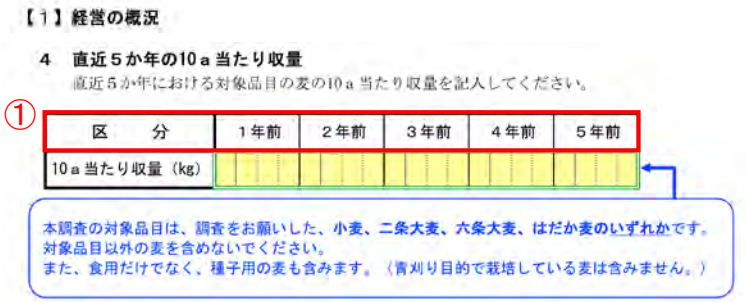
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	６ページ  	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除
（削除）	15ページ  【12】作業別労働時間 3　食用米の田植、収穫期間 当年産の田植、収穫を開始した日と終了した日を記入してください。 区　分 / 開　始　日 / 終　了　日 田　植 / 月　日 / 月　日 収　穫 / 月　日 / 月　日	食用米の田植、収穫期間について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

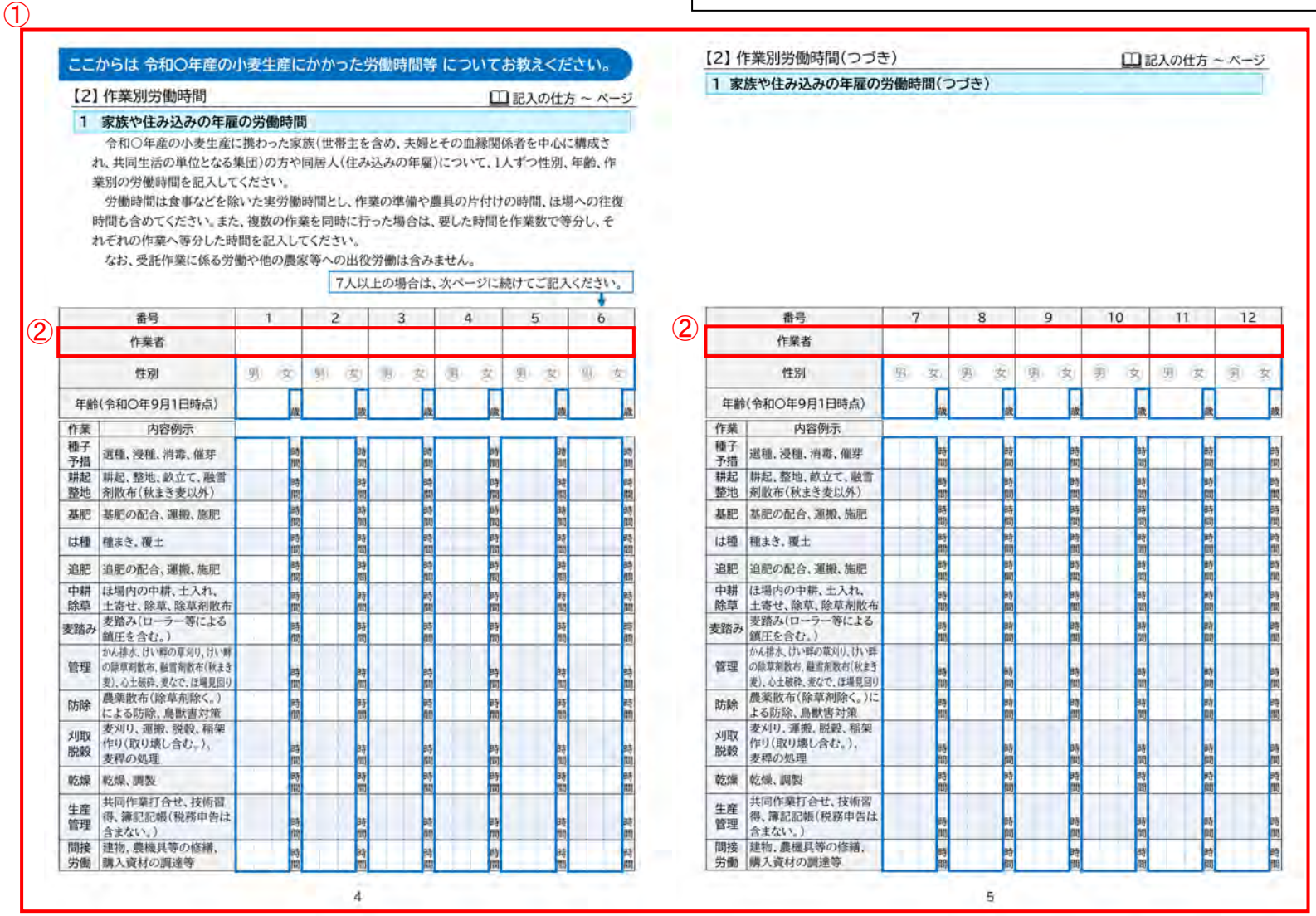
１　農産物生産費統計（小麦（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式４号 １ページ  	別記様式４号 １ページ  	小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦で共用していた個別経営体用の調査票について、報告者が正確に回答できるよう調査対象品目ごとに調査票を作成 これに伴い、「麦類生産費統計（個別経営体）」の調査票を「小麦生産費統計（個別経営体）」の調査票に変更し、「二条大麦生産費統計（個別経営体）」、「六条大麦生産費統計（個別経営体）」及び「はだか麦生産費統計（個別経営体）」の調査票を新設 視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
2ページ  目次 ① 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……9 【4】小麦生産のために使用した資材等 ……12 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……21 【6】物件税及び公課諸負担 ……23 【7】土地改良及び水利費 ……25 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……26 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……28 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……30 【11】土地の面積及び地代 ……32 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……35	3ページ 調　査　事　項 ① ページ 【1】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、麦生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。 【2】 生産物の販売等の状況 …… 5 麦の品質・用途別、麦わら及びふるい下麦等の販売状況等について記入してください。 【3】 対象品目の麦生産のために使用した資材等 …… 6 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。 【4】 物件税及び公課諸負担 …… 9 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【5】 土地改良及び水利費 …… 9 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。 【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9 借入金残高、支払利子について記入してください。 【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 14 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 15 家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は36～38ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  	３ページ  	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更（以下同じ） 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化（以下同じ） 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更（以下同じ） 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、小麦の調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ（変更前15ページと対比） ①		①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 家族労働時間」と「2 雇用労働時間」を統合して設定していた設問を「1 家族や住み込みの年雇の労働時間」、「2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）」、「3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間」に設問を分離 ②氏名に限定せず、作業者を特定可能な記入欄へ変更



ここからは 令和〇年産の小麦生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間　記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の小麦生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

② 番号 1 2 3 4 5 6 / 作業者 / 性別 男 女 / 年齢（令和〇年9月1日時点） 歳

作業	内容例示
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）
基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種まき、覆土
追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理
乾燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

時間

4

つづく

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

② 番号 7 8 9 10 11 12 / 作業者 / 性別 男 女 / 年齢（令和〇年9月1日時点） 歳

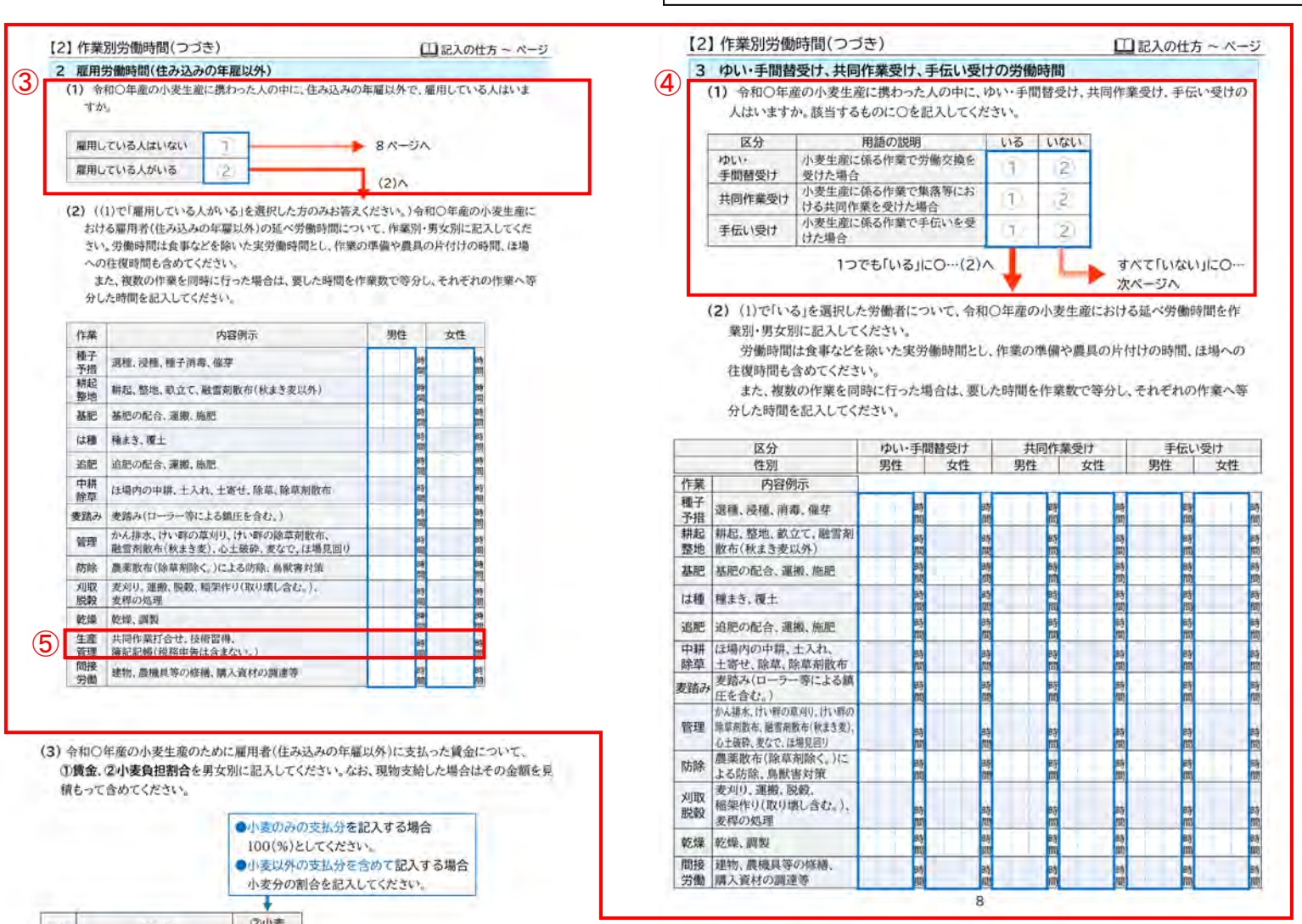
作業	内容例示
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）
基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種まき、覆土
追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理
乾燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

時間

5

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～８ページ（変更前15ページと対比）		

①



【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

③ 2　雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

(1)　令和○年産の小麦生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	1 → 8ページへ
雇用している人がいる	2 → (2)へ

(2)　((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の小麦生産における雇用者（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽	時 分	時 分
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時 分	時 分
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時 分	時 分
は種	種まき、覆土	時 分	時 分
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時 分	時 分
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時 分	時 分
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時 分	時 分
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時 分	時 分
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時 分	時 分
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時 分	時 分
乾燥	乾燥、調製	時 分	時 分
⑤ 生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（規模申告は含まない。）	時 分	時 分
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時 分	時 分

(3)　令和○年産の小麦生産のために雇用者（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、**①賃金、②小麦負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●小麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の支払分を含めて記入する場合
小麦分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②小麦負担割合
男性	万 円	%
女性	万 円	%

つづく

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

④ 3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1)　令和○年産の小麦生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	小麦生産に係る作業で労働交換を受けた場合	1	2
共同作業受け	小麦生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	1	2
手伝い受け	小麦生産に係る作業で手伝いを受けた場合	1	2

1つでも「いる」に○…(2)へ　　すべて「いない」に○…次ページへ

(2)　(1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産の小麦生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。
労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
は種	種まき、覆土	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
乾燥	乾燥、調製	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分

8

①同上

③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、住み込みの年雇以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加

④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人の有無を確認する設問を追加

⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	15ページ	①同上 ②同上

【12】作業別労働時間

当年産の対象品目の麦生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

①

②

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢
			男 女	（　歳）		男 女	（　歳）		男 女	（　歳）		男 女	（　歳）		男 女	（　歳）		男 女	（　歳）
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽			時間			時間			時間			時間			時間			時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）																		
基肥	基肥の配合、運搬、施肥																		
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土																		
追肥	追肥の配合、運搬、施肥																		
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																		
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）																		
管理	かん排水、ほい畔の草刈り、ほい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り																		
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																		
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、籾袋作り（取り扱し含む。）、麦稈の処理																		
乾燥	乾燥、調製																		
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																		
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																		

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

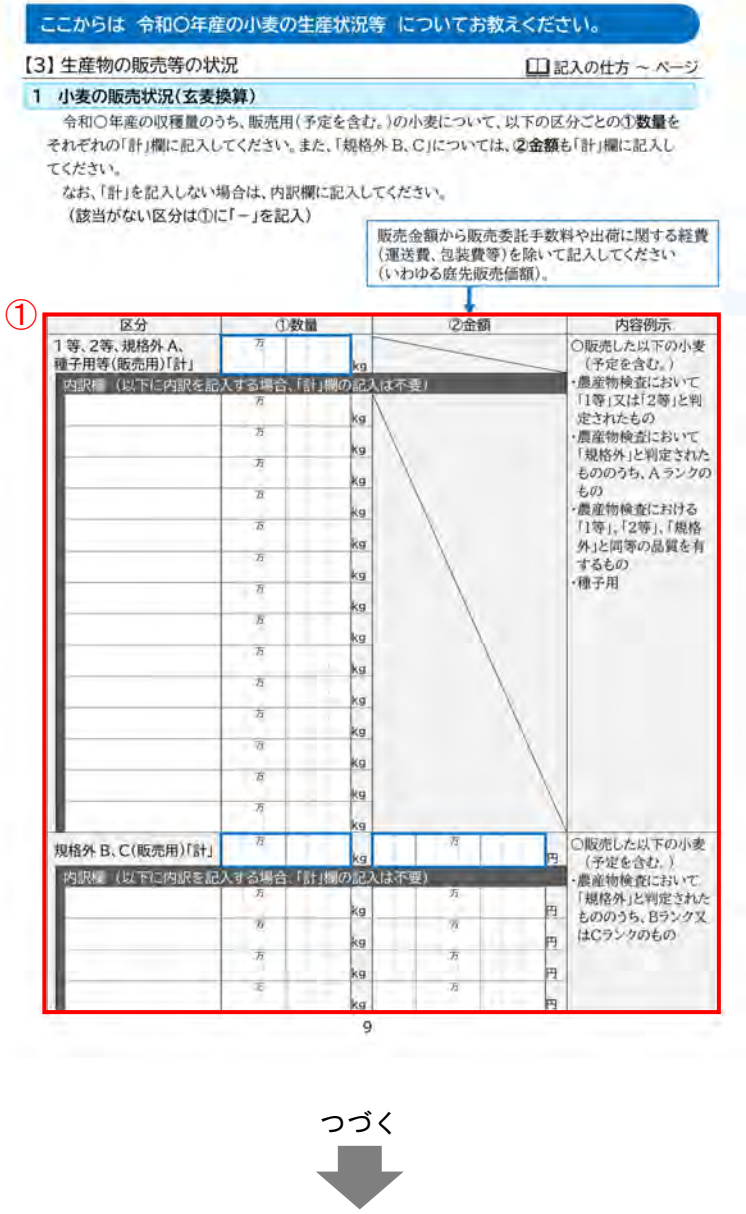
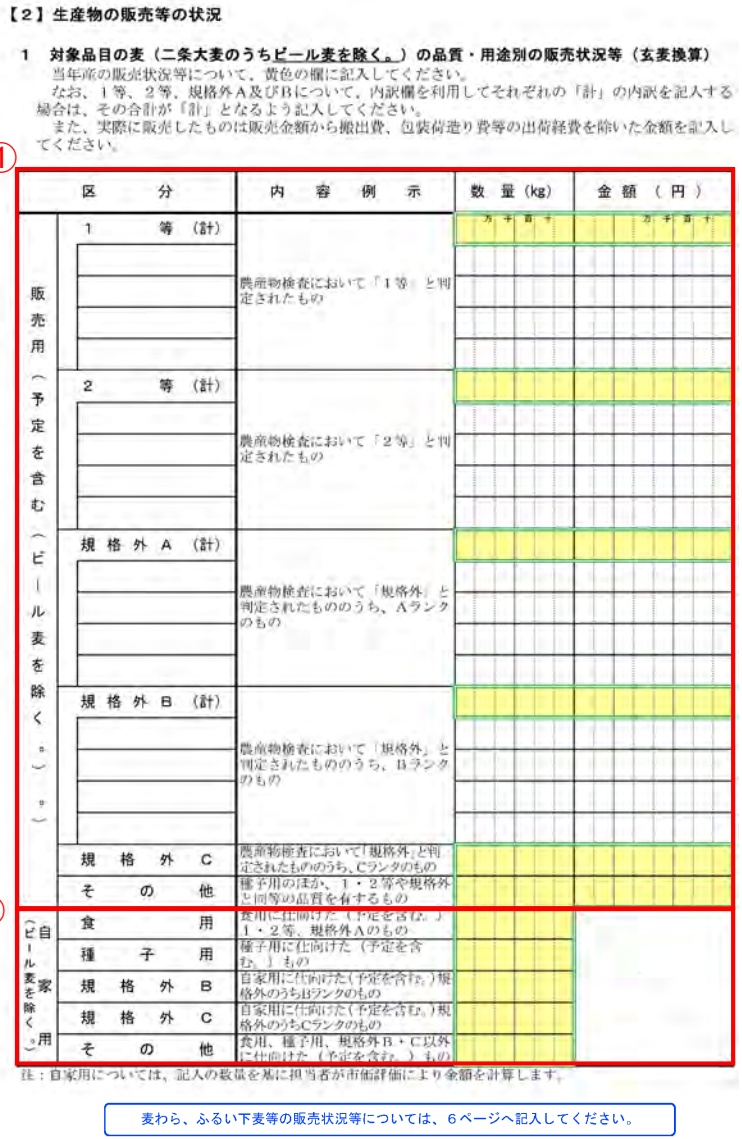
雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
時間	時間	種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽
		耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）
		基肥	基肥の配合、運搬、施肥
		は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土
		追肥	追肥の配合、運搬、施肥
		中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
		麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）
		管理	かん排水、ほい畔の草刈り、ほい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り
		防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
		刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、籾袋作り（取り扱し含む。）、麦稈の処理
		乾燥	乾燥、調製
		生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
		間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

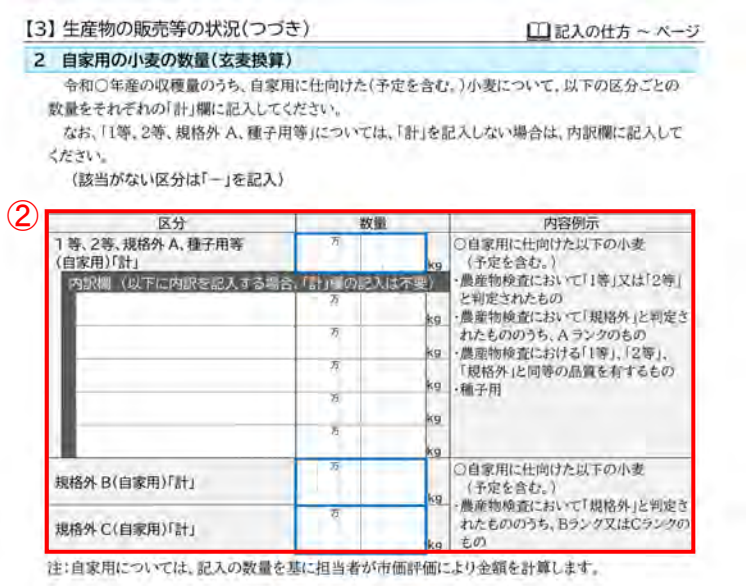
3　支払賃金

当年産の対象品目の麦生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	対象品目負担割合（%）
男	万 千 百 十	
女		

・対象品目の麦生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ 	５ページ 	報告者が記入しやすいよう、自家用の小麦の数量に関する設問を分離 ①小麦の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため、「1等(計)」、「2等(計)」、「規格外A(計)」、「規格外B(計)」、「規格外C」及び「その他」を削除し、「1等、2等、規格外A、種子用等(販売用)「計」」及び「規格外B、C(販売用)「計」」を把握するよう変更 また、金額については「規格外B、C(販売用)「計」」のみを把握するよう変更 ②自家用の小麦の数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「食用」、「種子用」及び「その他」を削除し、「1等、2等、規格外A、種子用等(自家用)「計」」、「規格外B(自家用)「計」」及び「規格外C(自家用)「計」」を把握するよう変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ（変更前５ページと対比） 		②同上

【3】生産物の販売等の状況(つづき)　　記入の仕方 ～ページ

2　自家用の小麦の数量(玄麦換算)

令和○年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた(予定を含む。)小麦について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

なお、「1等、2等、規格外 A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

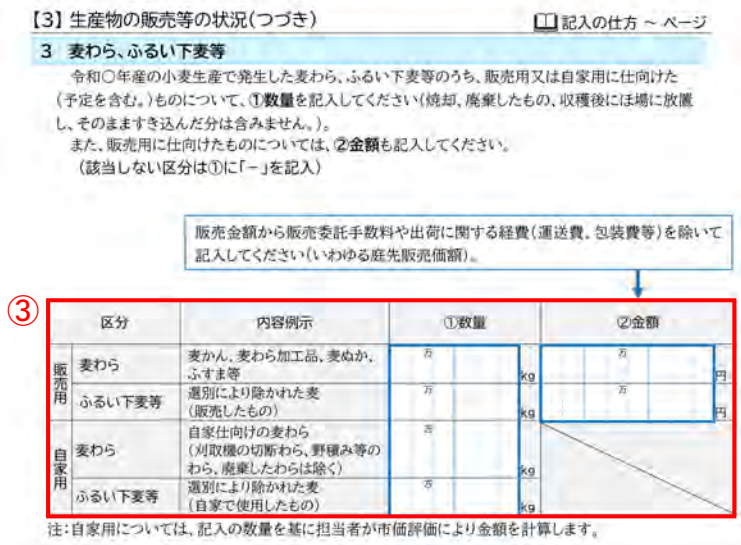
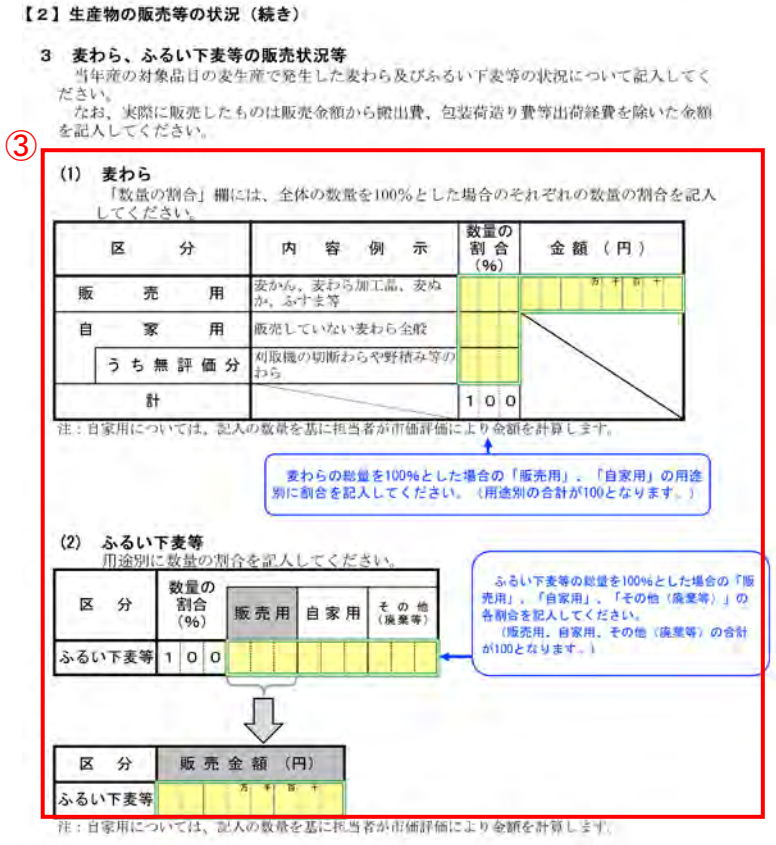
(該当がない区分は「－」を記入)

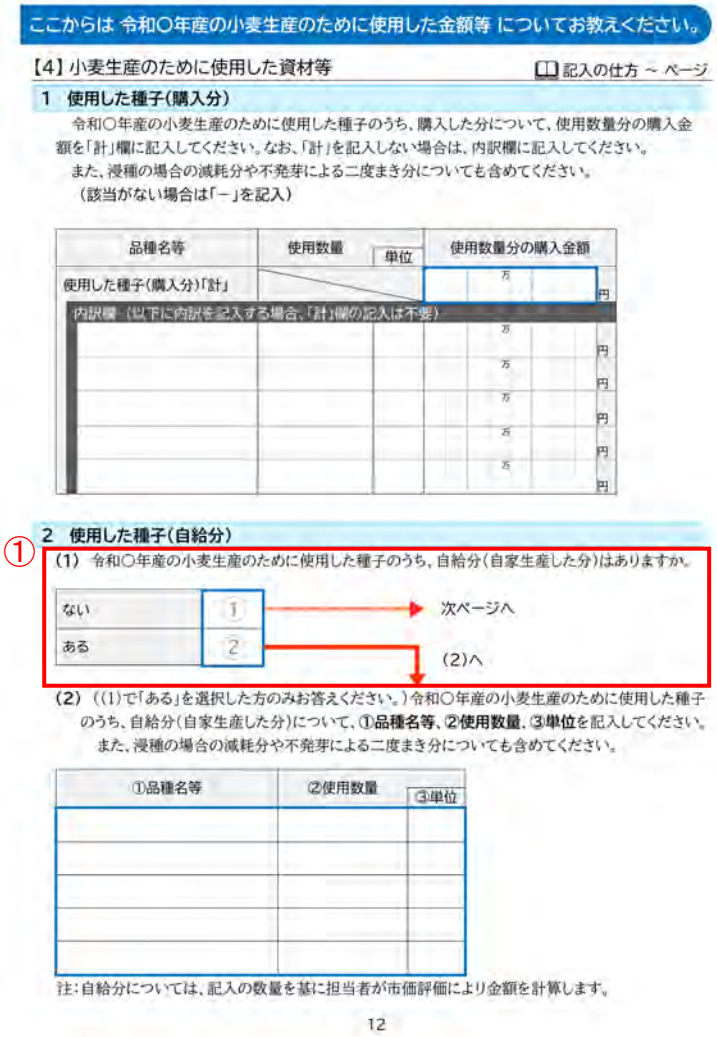
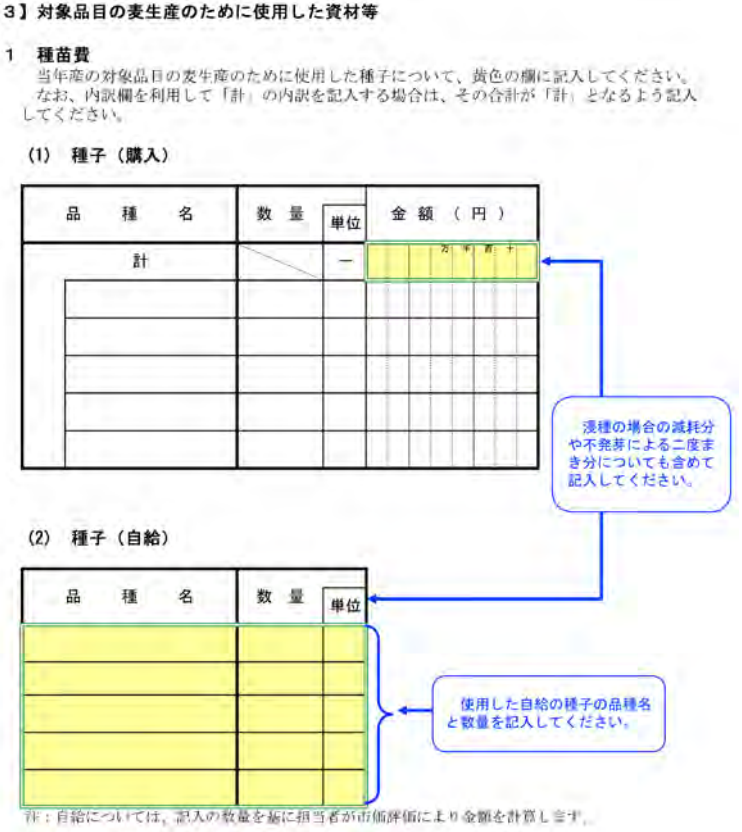
②

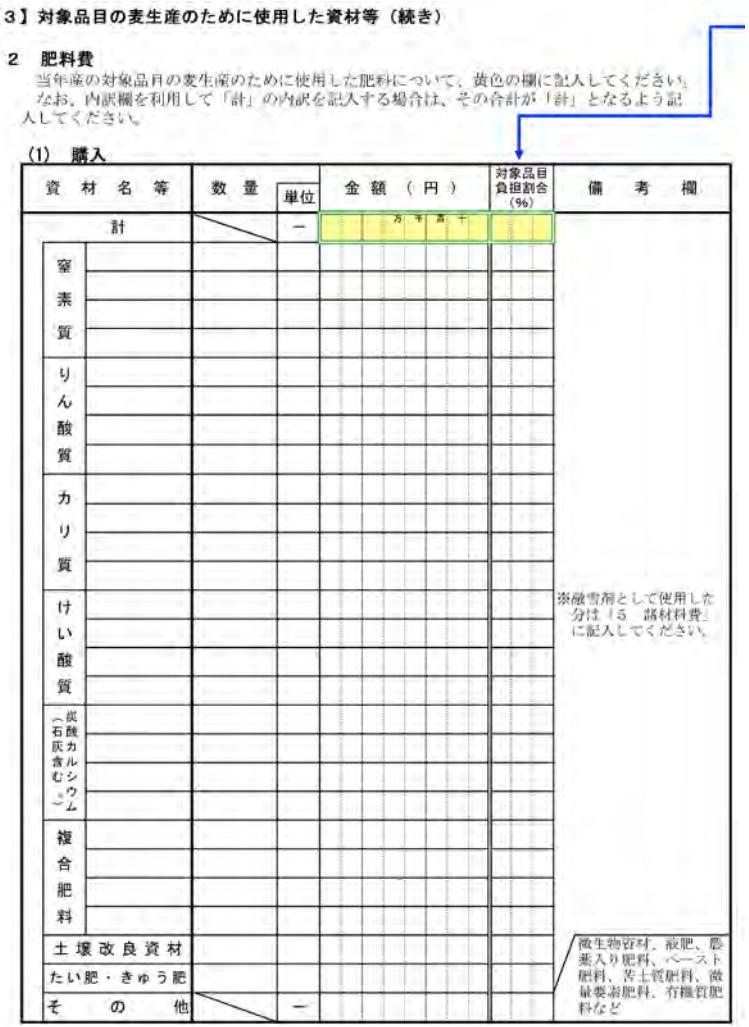
区分	数量	内容例示
1等、2等、規格外 A、種子用等(自家用)「計」	万 kg	○自家用に仕向けた以下の小麦(予定を含む。) ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
規格外 B(自家用)「計」	万 kg	○自家用に仕向けた以下の小麦(予定を含む。) ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
規格外 C(自家用)「計」	万 kg	

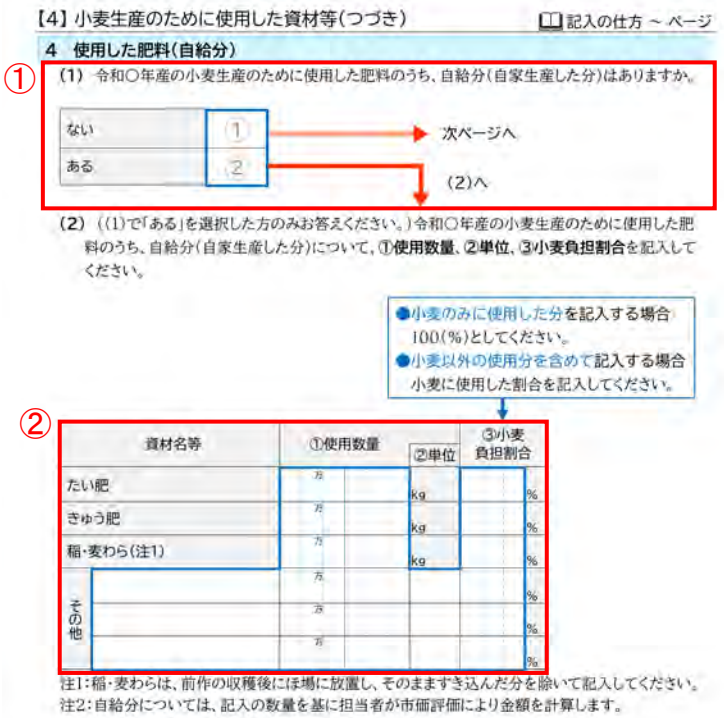
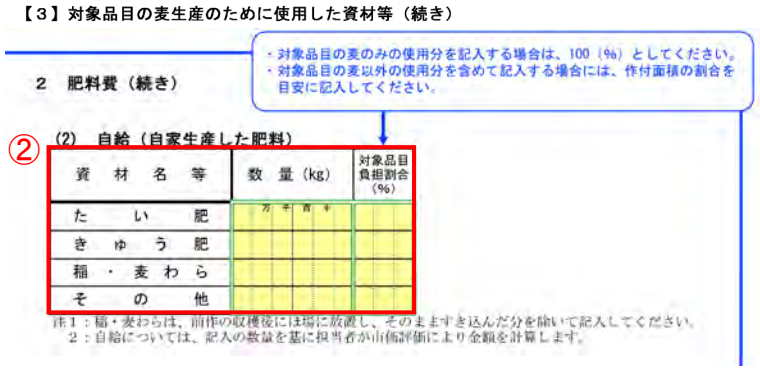
注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10

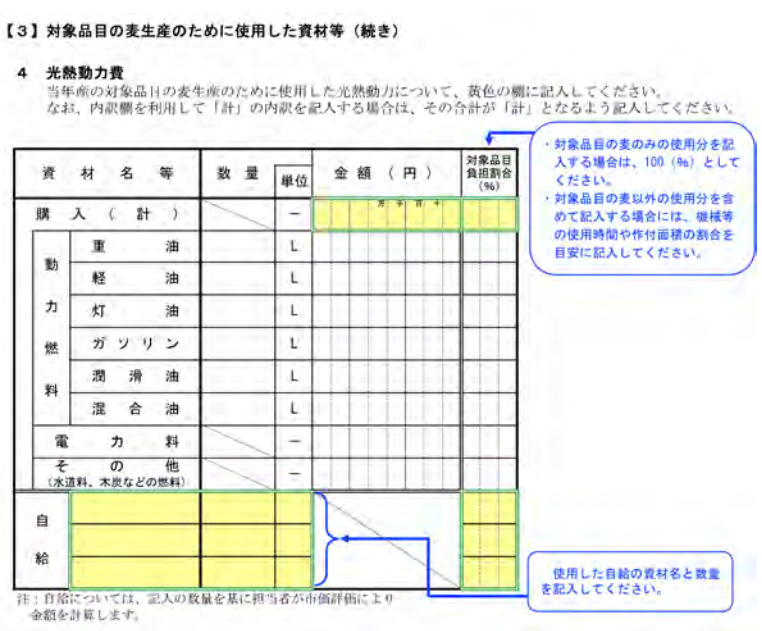
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ 	6ページ 	③報告者の記入負担軽減を図るため、麦わら、ふるい下麦等の設問を統合するとともに、区分の内容を見直し、無評価の数量の把握をとりやめ

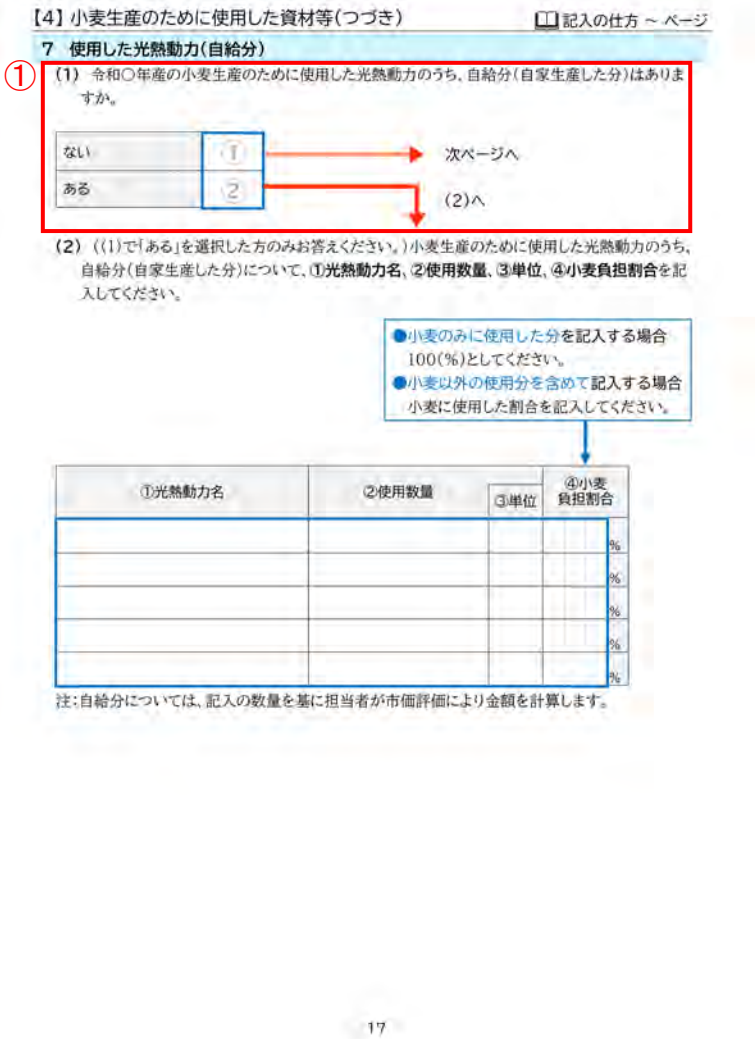
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ  ここからは 令和〇年産の小麦生産のために使用した金額等 についてお教えください。 【4】小麦生産のために使用した資材等　記入の仕方 ～ ページ 1 使用した種子(購入分) 令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。 （該当がない場合は「－」を記入） 品種名等 / 使用数量 単位 / 使用数量分の購入金額 使用した種子(購入分)「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 2 使用した種子(自給分) ① (1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない 1 → 次ページへ ある 2 → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等、②使用数量、③単位**を記入してください。 また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。 ①品種名等 / ②使用数量 / ③単位 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 12	6ページ  【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等 1 種苗費 当年産の対象品目の麦生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 (1) 種子（購入） 品　種　名 / 数　量 / 単位 / 金　額　（円） 計 浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。 (2) 種子（自給） 品　種　名 / 数　量 / 単位 使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子(自給分)の有無を確認する設問を追加

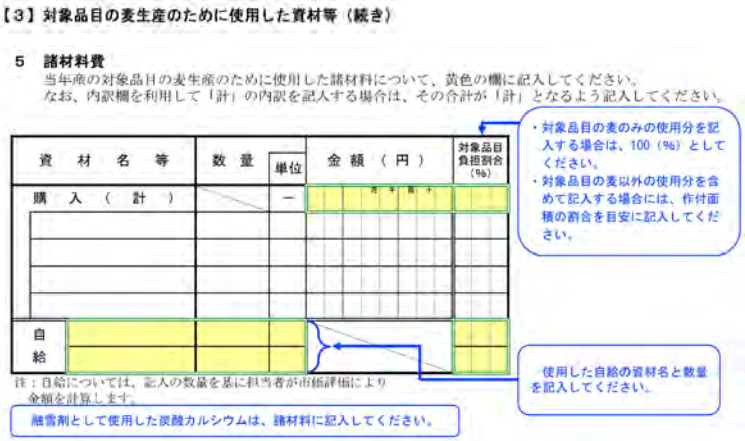
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ 	7ページ 	肥料費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

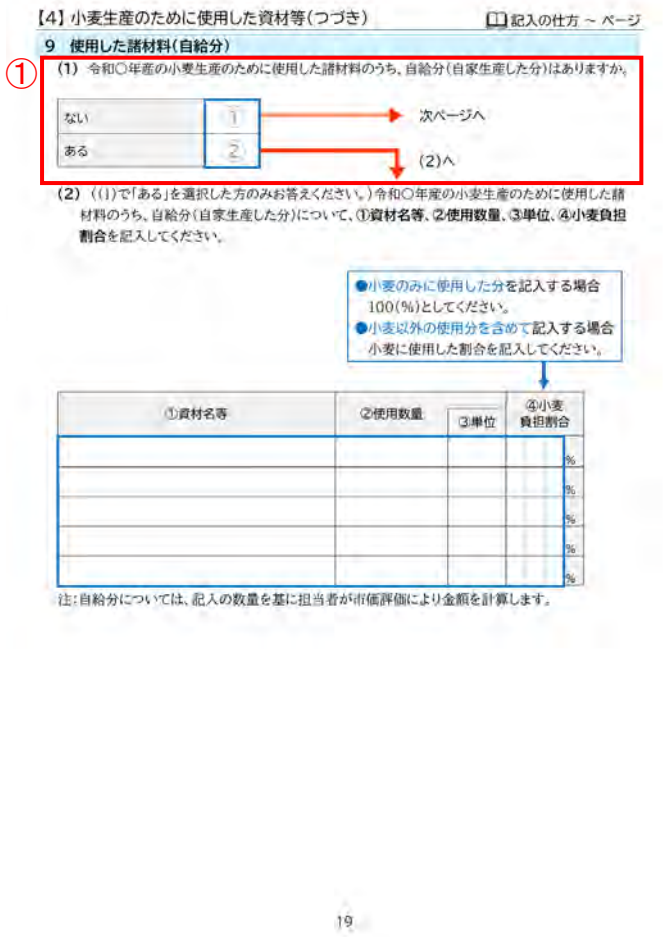
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ 	7 ページ 	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ 	7ページ 	農業薬剤費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ 	8ページ 	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ（変更前８ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ 	８ページ 	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

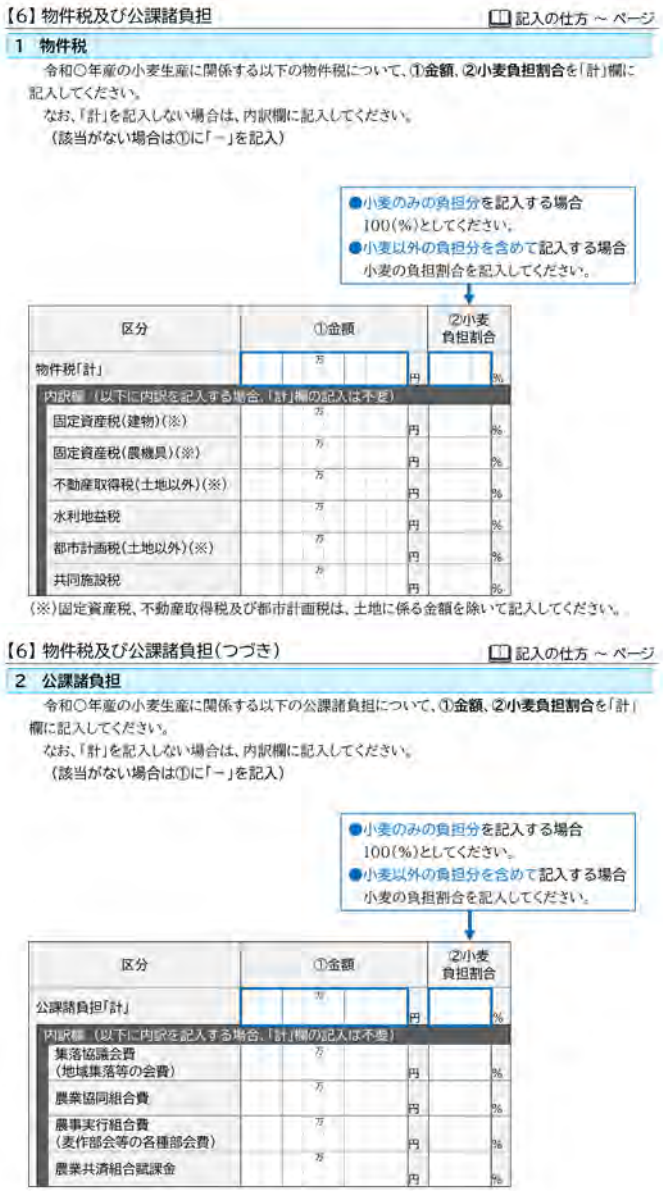
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ（変更前８ページと対比）  【4】小麦生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ 9　使用した諸材料（自給分） ① (1)　令和○年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。 ない　1　→　次ページへ ある　2　→　(2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）について、①資材名等、②使用数量、③単位、④小麦負担割合を記入してください。 ●小麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●小麦以外の使用分を含めて記入する場合 小麦に使用した割合を記入してください。 ①資材名等　②使用数量　③単位　④小麦負担割合 % % % % % 注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 19		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ 	8ページ 	賃借料及び料金の内訳欄について、報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21～22ページ（変更前13ページと対比）   つづく		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	13ページ	同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23～24ページ	9ページ	



【6】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ ページ

1　物件税

令和○年産の小麦生産に関係する以下の物件税について、①金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②小麦負担割合
物件税「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税(建物)(※)	万 円	%
固定資産税(農機具)(※)	万 円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万 円	%
水利地益税	万 円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万 円	%
共同施設税	万 円	%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。

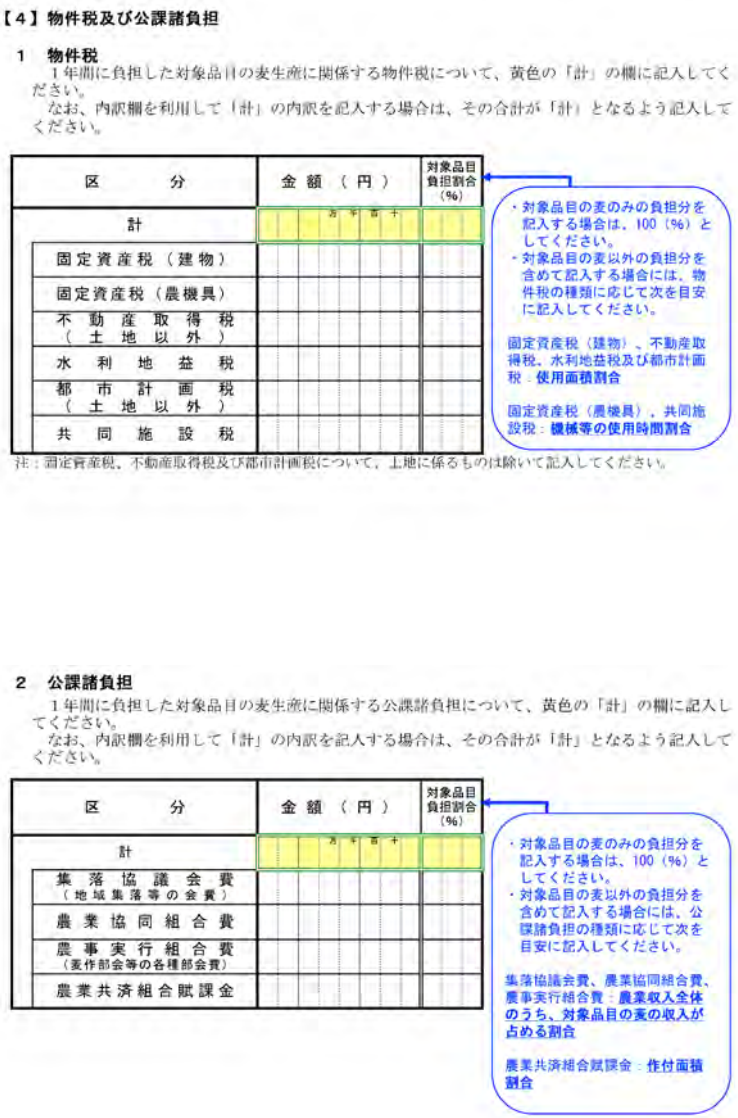
【6】物件税及び公課諸負担(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

2　公課諸負担

令和○年産の小麦生産に関係する以下の公課諸負担について、①金額、②小麦負担割合を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②小麦負担割合
公課諸負担「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費 (地域集落等の会費)	万 円	%
農業協同組合費	万 円	%
農事実行組合費 (麦作部会等の各種部会費)	万 円	%
農業共済組合賦課金	万 円	%



【４】物件税及び公課諸負担

1　物件税

1年間に負担した対象品目の麦生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金額（円）	対象品目負担割合（%）
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るもの除いて記入してください。

2　公課諸負担

1年間に負担した対象品目の麦生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

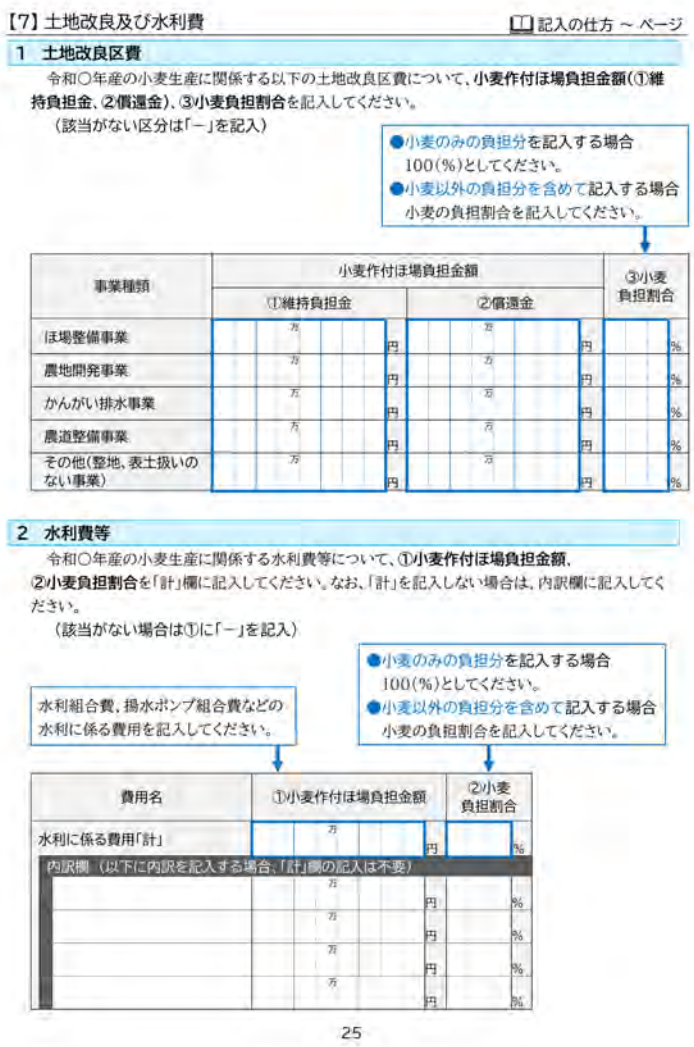
区　分	金額（円）	対象品目負担割合（%）
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、対象品目の麦の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
25ページ	９ページ	



【7】土地改良及び水利費　　記入の仕方 ～ページ

1　土地改良区費

令和〇年産の小麦生産に関係する以下の土地改良区費について、**小麦作付ほ場負担金額（①維持負担金、②償還金）、③小麦負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合 小麦の負担割合を記入してください。

事業種類	小麦作付ほ場負担金額 ①維持負担金	小麦作付ほ場負担金額 ②償還金	③小麦負担割合
ほ場整備事業	万 円	万 円	%
農地開発事業	万 円	万 円	%
かんがい排水事業	万 円	万 円	%
農道整備事業	万 円	万 円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万 円	万 円	%

2　水利費等

令和〇年産の小麦生産に関係する水利費等について、**①小麦作付ほ場負担金額、②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●小麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合 小麦の負担割合を記入してください。

費用名	①小麦作付ほ場負担金額	②小麦負担割合
水利に係る費用「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%

25



【５】土地改良及び水利費

当年産の対象品目の麦生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1　土地改良区費

事業種類	対象品目作付ほ場負担金額（円） 維持負担金	対象品目作付ほ場負担金額（円） 償還金	対象品目負担割合（%）
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

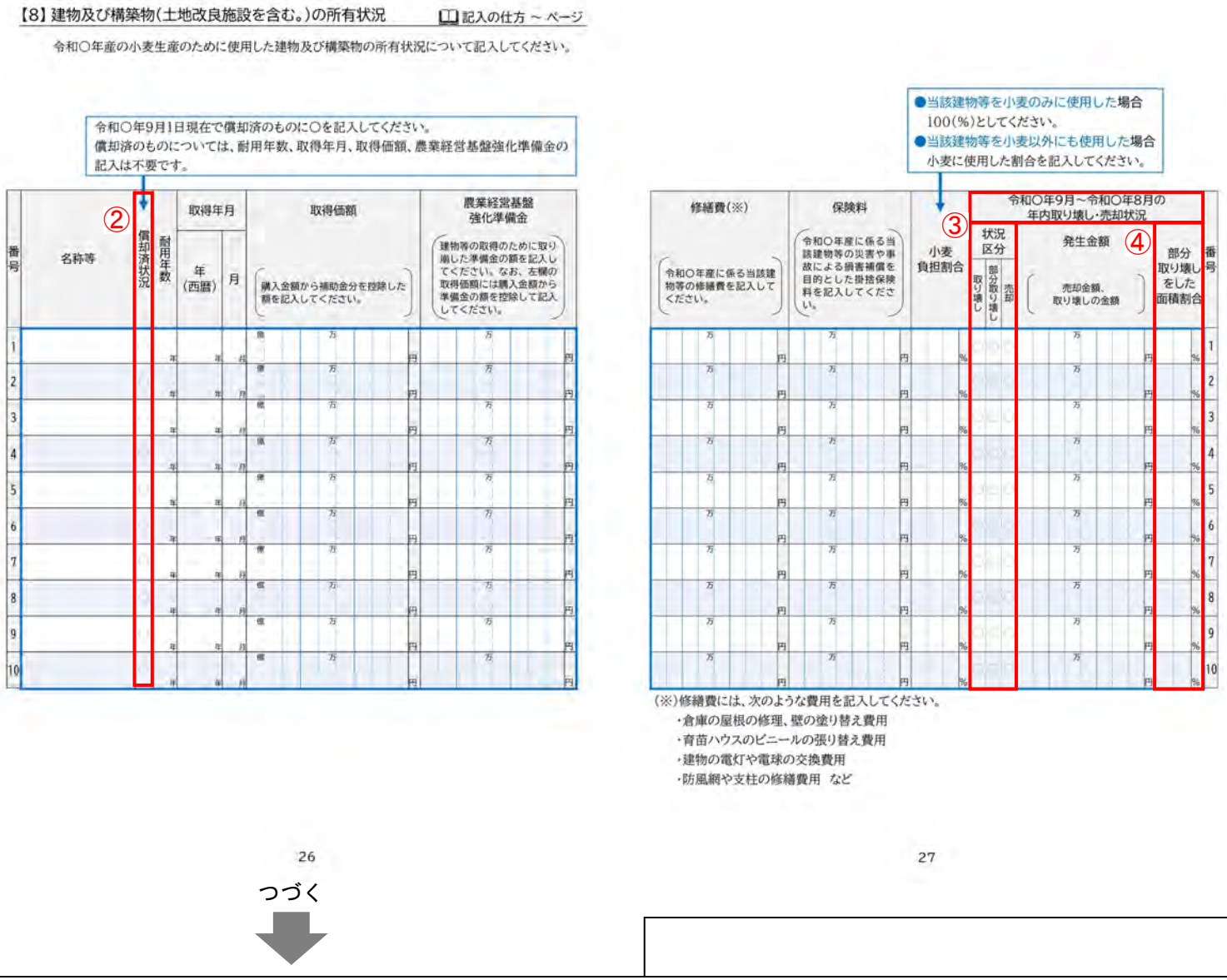
2　水利費等

費用名	対象品目作付ほ場負担金額（円）	対象品目負担割合（%）
水利に係る費用計	万 千 百 十	

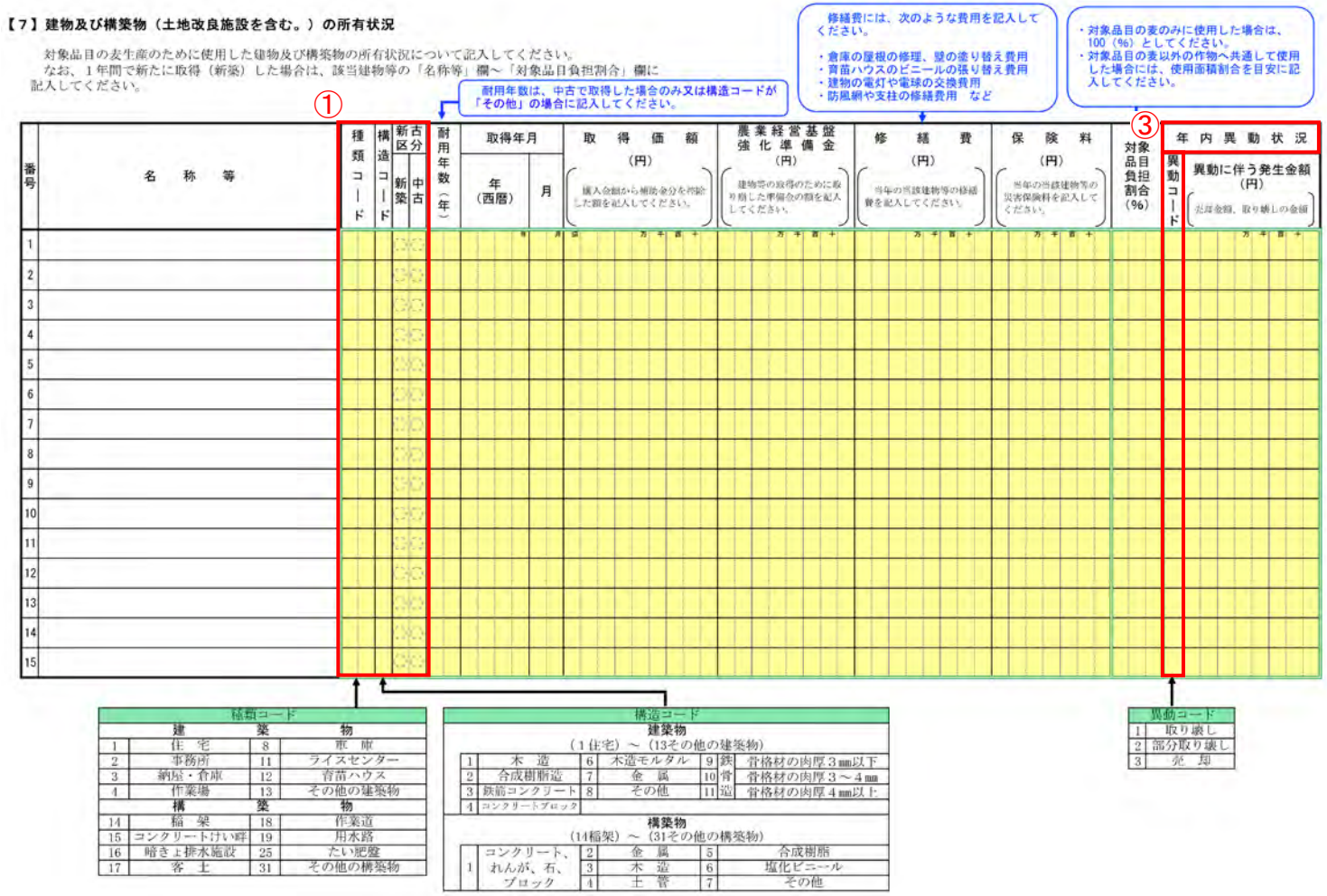
・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、対象品目の麦の収入が占める割合を目安に記入してください。

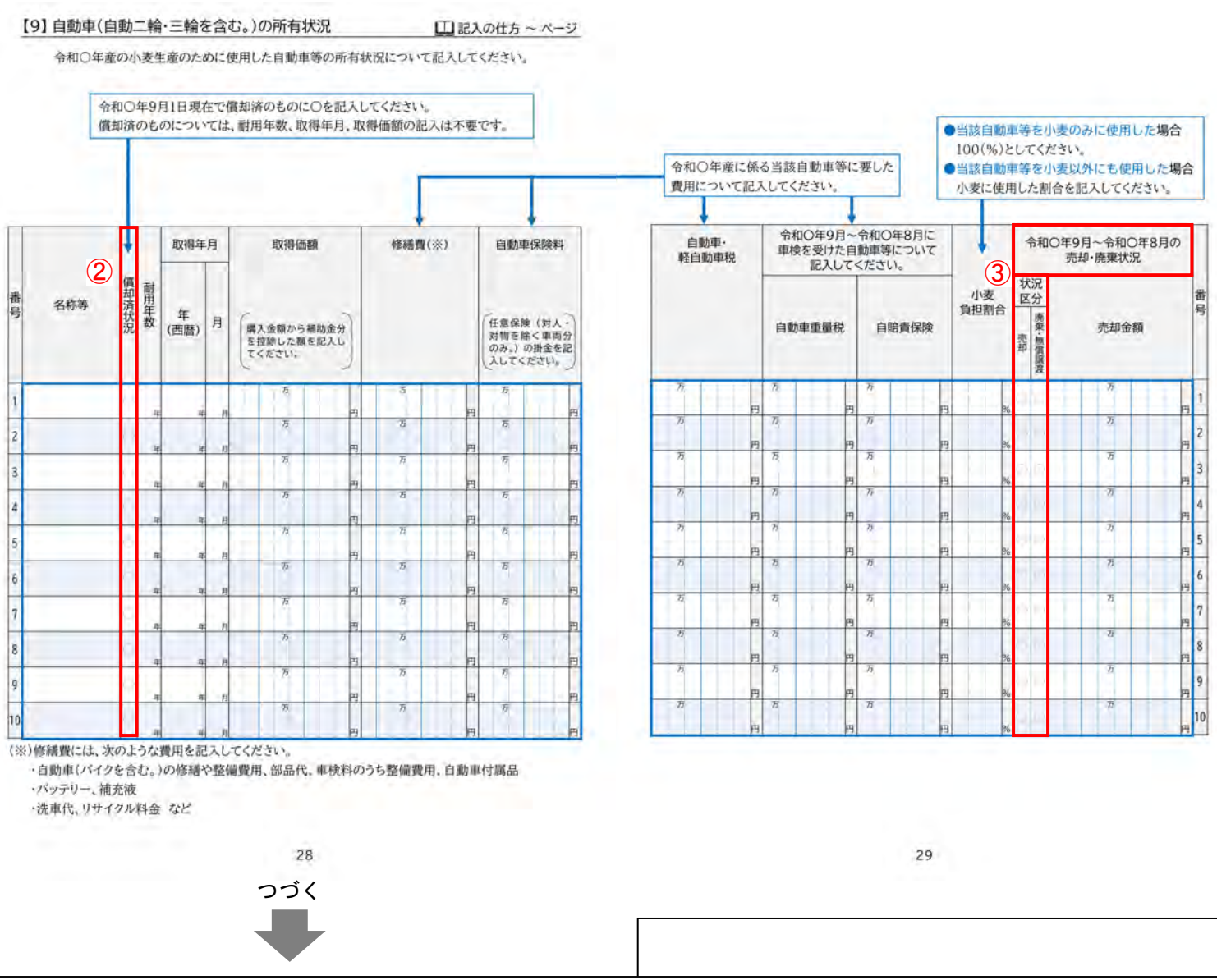
水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

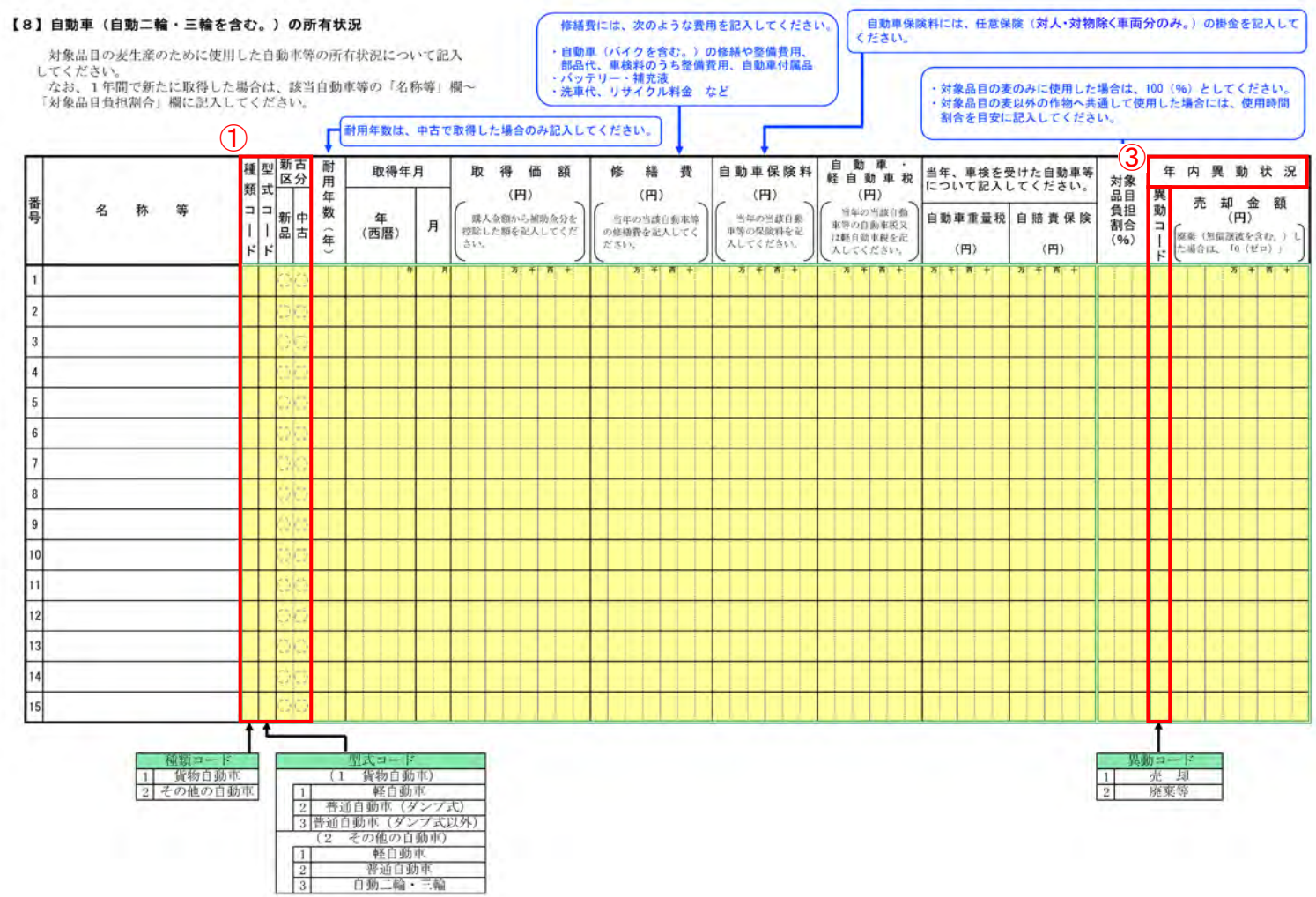
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ（変更前10ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加

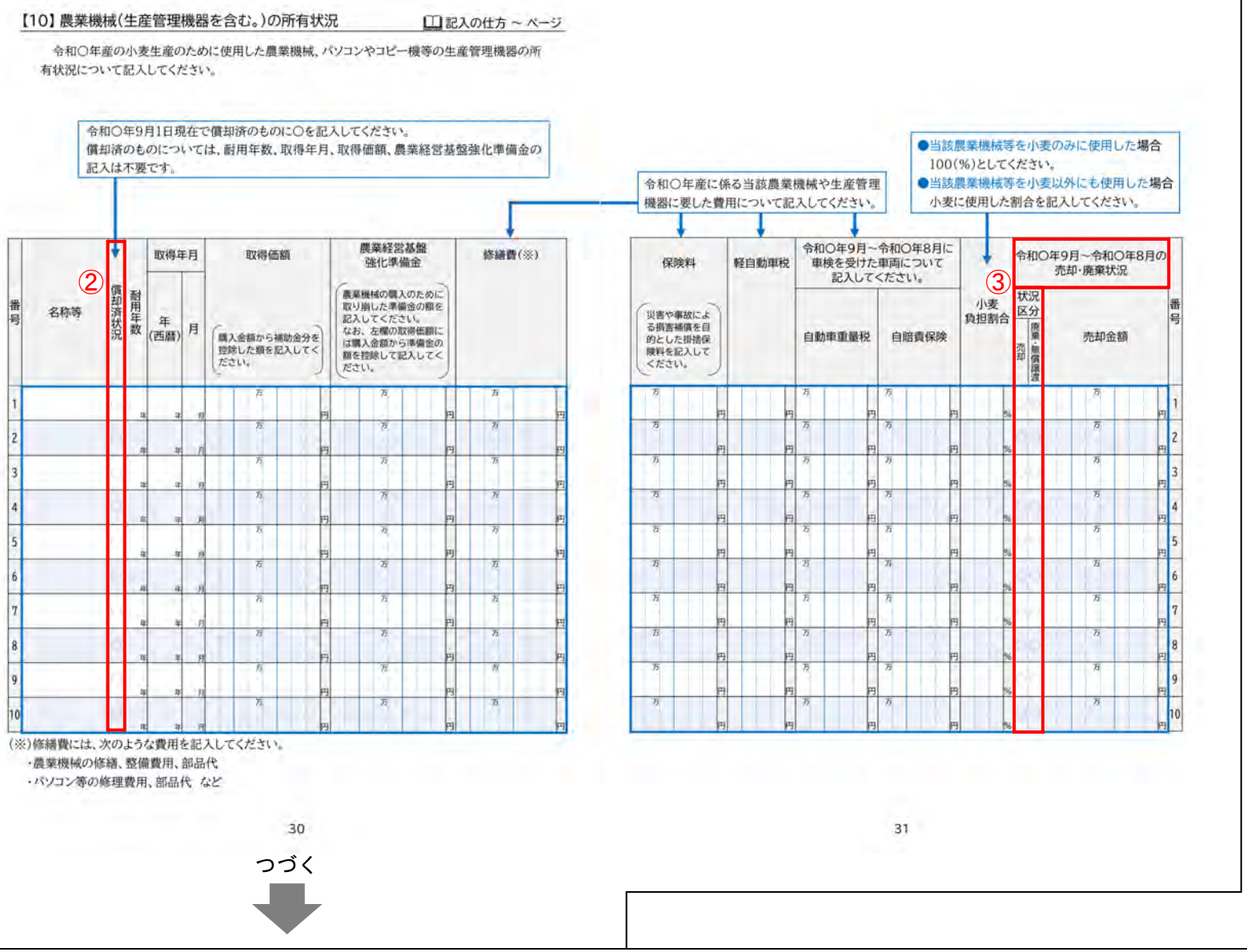


変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上

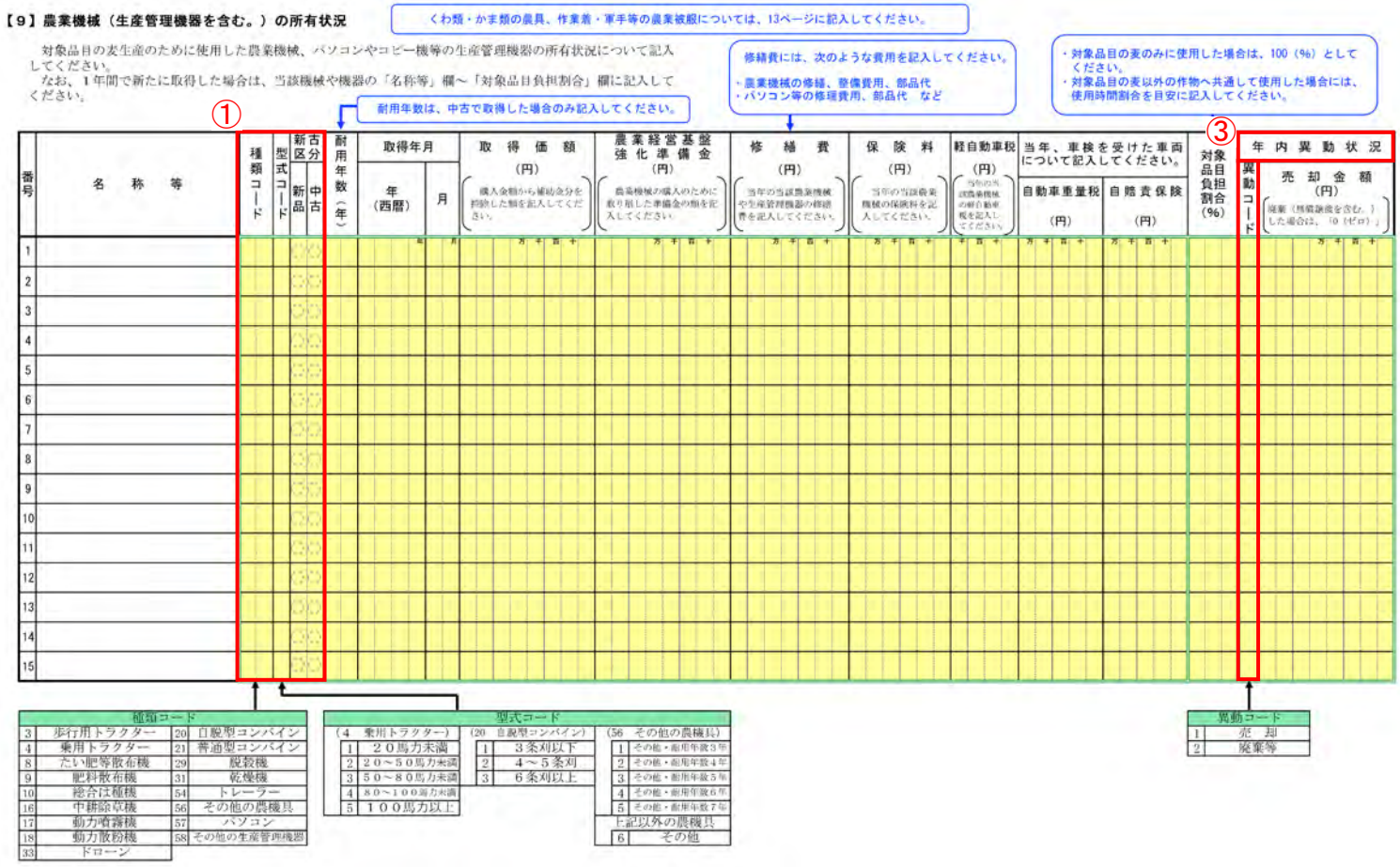


変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前11ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前12ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ		①同上 ③同上



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ（変更前14ページと対比） ①		記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記 ①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更

【11】土地の面積及び地代　　記入の仕方 ～ ページ

1　作付地

令和〇年産の小麦生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤小麦負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の小麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の１年間に、
●小麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●小麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤小麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	%	○	○
2		ha a	ha a	%	○	○
3		ha a	ha a	%	○	○
4		ha a	ha a	%	○	○
5		ha a	ha a	%	○	○
6		ha a	ha a	%	○	○
7		ha a	ha a	%	○	○
8		ha a	ha a	%	○	○
9		ha a	ha a	%	○	○
10		ha a	ha a	%	○	○
11		ha a	ha a	%	○	○
12		ha a	ha a	%	○	○
13		ha a	ha a	%	○	○
14		ha a	ha a	%	○	○
15		ha a	ha a	%	○	○

32

つづく

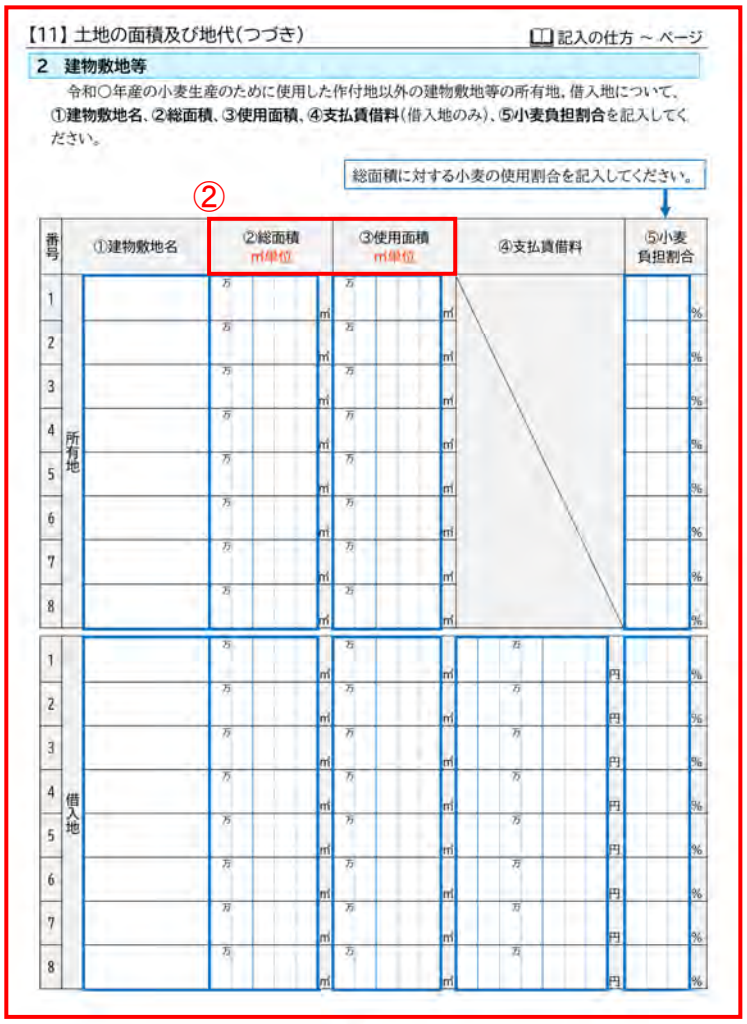
【11】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

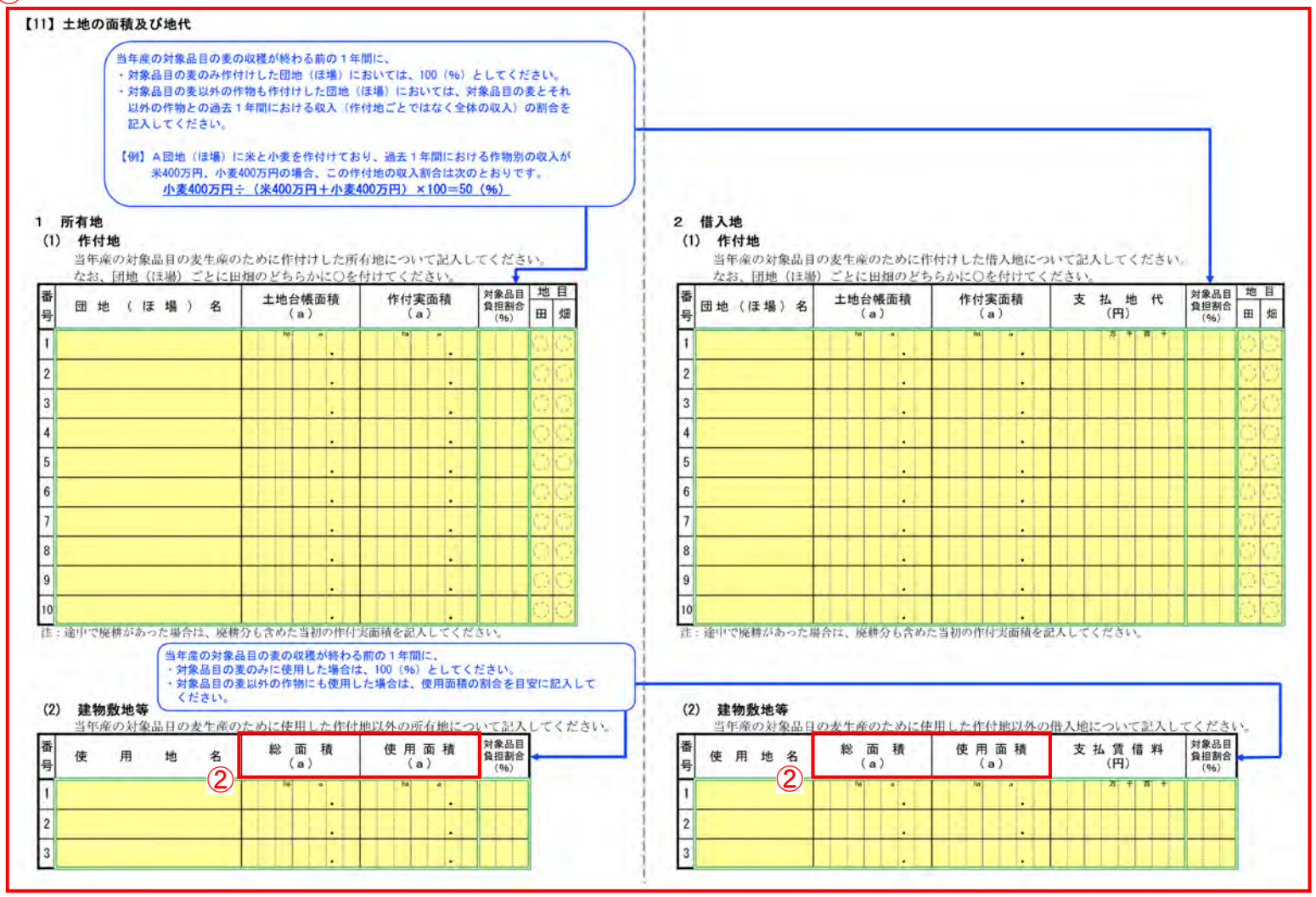
令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の１年間に、
●小麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●小麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

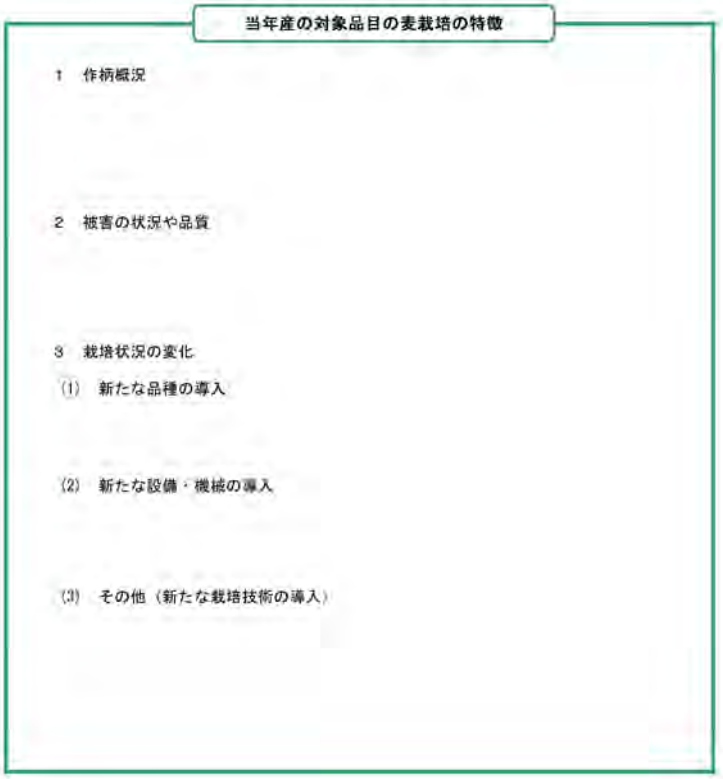
番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代 万 円	⑤小麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	万 円	%	○	○
2		ha a	ha a	万 円	%	○	○
3		ha a	ha a	万 円	%	○	○
4		ha a	ha a	万 円	%	○	○
5		ha a	ha a	万 円	%	○	○
6		ha a	ha a	万 円	%	○	○
7		ha a	ha a	万 円	%	○	○
8		ha a	ha a	万 円	%	○	○
9		ha a	ha a	万 円	%	○	○
10		ha a	ha a	万 円	%	○	○
11		ha a	ha a	万 円	%	○	○
12		ha a	ha a	万 円	%	○	○
13		ha a	ha a	万 円	%	○	○
14		ha a	ha a	万 円	%	○	○
15		ha a	ha a	万 円	%	○	○

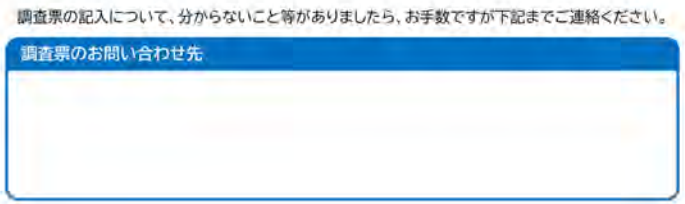
33

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ（変更前14ページと対比） ①  【11】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ 2　建物敷地等 令和〇年産の小麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地，借入地について，①建物敷地名，②総面積，③使用面積，④支払賃借料（借入地のみ），⑤小麦負担割合を記入してください。 総面積に対する小麦の使用割合を記入してください。 ② 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤小麦負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 34 つづく		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
①  【11】土地の面積及び地代 当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の１年間に、 ・対象品目の麦のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。 ・対象品目の麦以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、対象品目の麦とそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。 【例】A団地（ほ場）に米と小麦を作付けており、過去１年間における作物別の収入が米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。 小麦400万円÷（米400万円＋小麦400万円）×100＝50（%） 1　所有地 (1)　作付地 当年産の対象品目の麦生産のために作付けした所有地について記入してください。 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。 番号 / 団地（ほ場）名 / 土地台帳面積（a） / 作付実面積（a） / 対象品目負担割合（%） / 地目 田 畑 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。 2　借入地 (1)　作付地 当年産の対象品目の麦生産のために作付けした借入地について記入してください。 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。 番号 / 団地（ほ場）名 / 土地台帳面積（a） / 作付実面積（a） / 支払地代（円） / 対象品目負担割合（%） / 地目 田 畑 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。 当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の１年間に、 ・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。 ・対象品目の麦以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。 (2)　建物敷地等 当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。 番号 / 使用地名 ② / 総面積（a） / 使用面積（a） / 対象品目負担割合（%） 1 2 3 (2)　建物敷地等 当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。 番号 / 使用地名 ② / 総面積（a） / 使用面積（a） / 支払賃借料（円） / 対象品目負担割合（%） 1 2 3	14ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
35ページ  【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　記入の仕方 ～ ページ 令和〇年産の小麦生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年9月1日時点の未償還残高、②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額、③小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない区分は「－」を記入） 土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。 ●小麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●小麦以外の使用分を含めて記入する場合 小麦に使用した割合を記入してください。 資金名(用途) / ①令和〇年9月1日時点の未償還残高 / ②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額 / ③小麦負担割合 「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 借入金 買掛未払金 調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。 35	９ページ  **【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子** 当年産の対象品目の麦生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 ・対象品目の麦のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。 ・対象品目の麦以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。 資金名（用途） / 調査開始時未償還残高（円） / 支払利子額（円） / 対象品目負担割合（%） 計 借入金 買掛未払金 注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  	4ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38ページ  調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。 調査票のお問い合わせ先	1ページ  農業経営統計調査 ○年産　麦類生産費統計調査票 ［ 小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦 ］ （個別経営体用） 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 ★○印は記入見本を参考に記入してください。	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産の小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦のうち、対象品目の麦の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦とは
食用だけでなく、種子用の麦も該当します。（青刈目的で栽培している麦は含みません。）
また、二条大麦についてはビール麦も含みます。

※２　この調査での対象品目の麦の生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（対象品目が小麦の場合の負担割合について）】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から小麦負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
小麦と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、小麦「２ha」、水稲「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　小麦に施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	対象品目負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

← 対象品目負担割合には100%と記入

例２　小麦、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
小麦と水稲の作付面積割合「２：８」を目安に小麦負担割合を「２０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	対象品目負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

← 対象品目負担割合には20%と記入

【対象品目が小麦の場合の負担割合設定方法】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合の小麦負担割合を設定する方法について説明します。

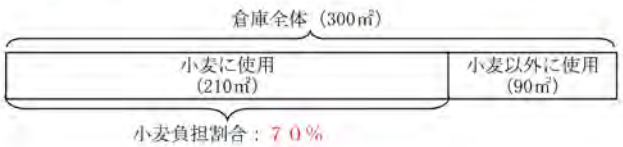
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、小麦生産のために使用した面積の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うち小麦生産のために210㎡、小麦以外の作物に90㎡を使用した場合の「小麦負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図

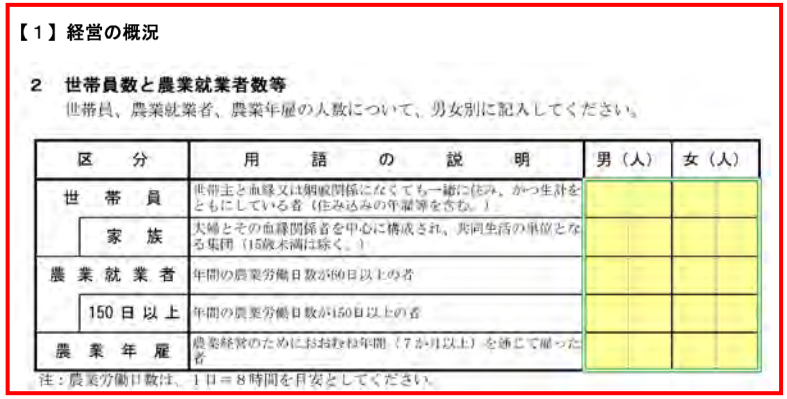
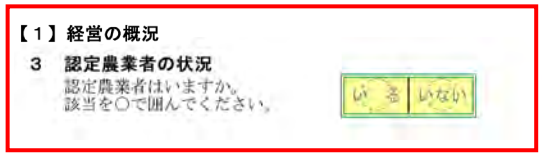


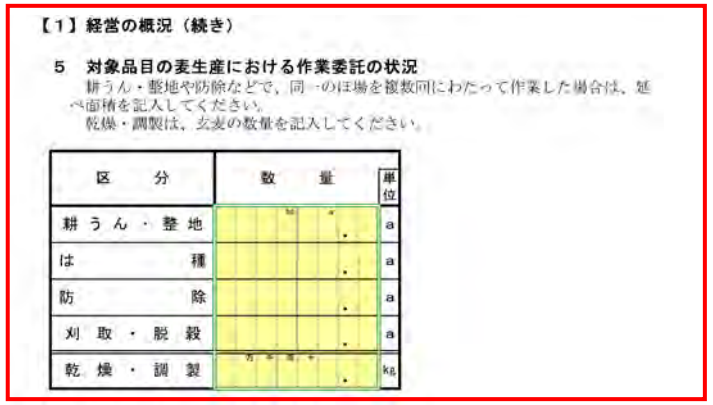
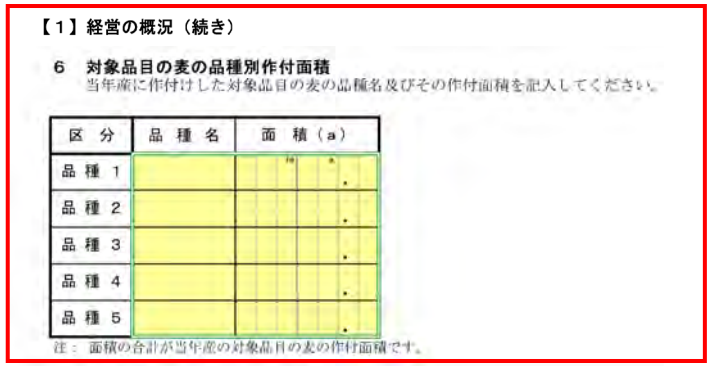
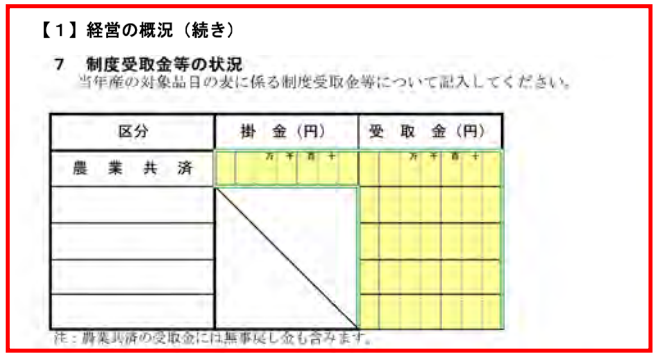
（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、小麦生産のために使用した時間の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うち小麦生産のために80時間、小麦以外の作物に120時間使用した場合の「小麦負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

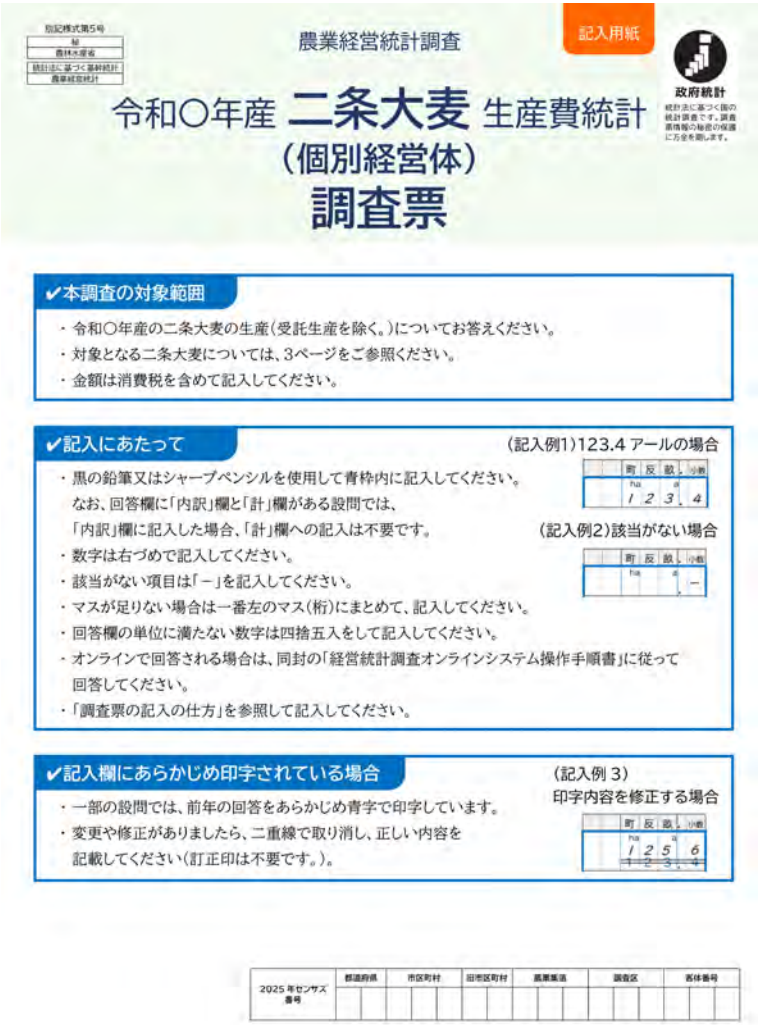
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普　通　畑 樹　園　地 牧　草　地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。 区　分 / 用　語　の　説　明 / 男（人） / 女（人） 世　帯　員 家　族 農業就業者 150日以上 農　業　年　雇 注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる / いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ５　対象品目の麦生産における作業委託の状況 耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。 乾燥・調製は、玄麦の数量を記入してください。 区分 / 数量 / 単位 耕うん・整地 / a は種 / a 防除 / a 刈取・脱穀 / a 乾燥・調製 / kg	対象品目の麦生産における作業委託の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ６　対象品目の麦の品種別作付面積 当年産に作付けした対象品目の麦の品種名及びその作付面積を記入してください。 区分 / 品種名 / 面積（a） 品種１ 品種２ 品種３ 品種４ 品種５ 注：　面積の合計が当年産の対象品目の麦の作付面積です。	対象品目の麦の品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ７　制度受取金等の状況 当年産の対象品目の麦に係る制度受取金等について記入してください。 区分 / 掛金（円） / 受取金（円） 農業共済 注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。	制度受取金等の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除
（削除）	５ページ 【２】生産物の販売等の状況 ※　対象品目が二条大麦の場合、「２　ビール麦の販売内訳」についても記入してください。 ２　ビール麦の販売内訳（玄麦換算） ビール麦の販売がある場合、その販売状況等について黄色の欄に記入してください。 なお、１等、２等及び等外上について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。 区分 / 内容例示 / 数量（kg）/ 金額（円） 販売用（予定を含む。） １等（計） 農産物検査において「１等」と判定されたもの ２等（計） 農産物検査において「２等」と判定されたもの 等外上（計） 農産物検査において「等外上」と判定されたもの 自家用 食用 食用に仕向けた（予定を含む。）もの 種子用 種子用に仕向けた（予定を含む。）もの その他 食用、種子用以外に仕向けた（予定を含む。）もの 注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	麦類生産費統計の調査票を小麦生産費統計単独の調査票に変更したことから、二条大麦のみが対象であるビール麦の販売内訳を削除

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　農産物生産費統計（二条大麦（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第５号 １ページ 	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……9 【4】二条大麦生産のために使用した資材等 ……13 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……22 【6】物件税及び公課諸負担 ……24 【7】土地改良及び水利費 ……25 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……26 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……28 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……30 【11】土地の面積及び地代 ……32 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……35	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
3ページ  本調査は、以下の調査範囲の二条大麦が対象です。 ○ 調査範囲 子実（食用、種子用、ビール用等）を生産する目的で栽培した二条大麦 × 調査範囲外 青刈用とする目的で栽培したもの 受託生産したもの まずは直近5か年の二条大麦の10a当たり収量についてお教えください。 【1】直近5か年の10a当たり収量　記入の仕方 ～ ページ 直近5か年における二条大麦の10a当たりの収量（玄麦数量）を記入してください。 区分 / 10a当たりの収量 1年前（○○○○年産（令和○年産）） kg 2年前（○○○○年産（令和○年産）） kg 3年前（○○○○年産（令和○年産）） kg 4年前（○○○○年産（令和○年産）） kg 5年前（○○○○年産（令和○年産）） kg 3	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ	（新設）	



ここからは 令和〇年産の二条大麦生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の二条大麦生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号		1	2	3	4	5	6
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

4



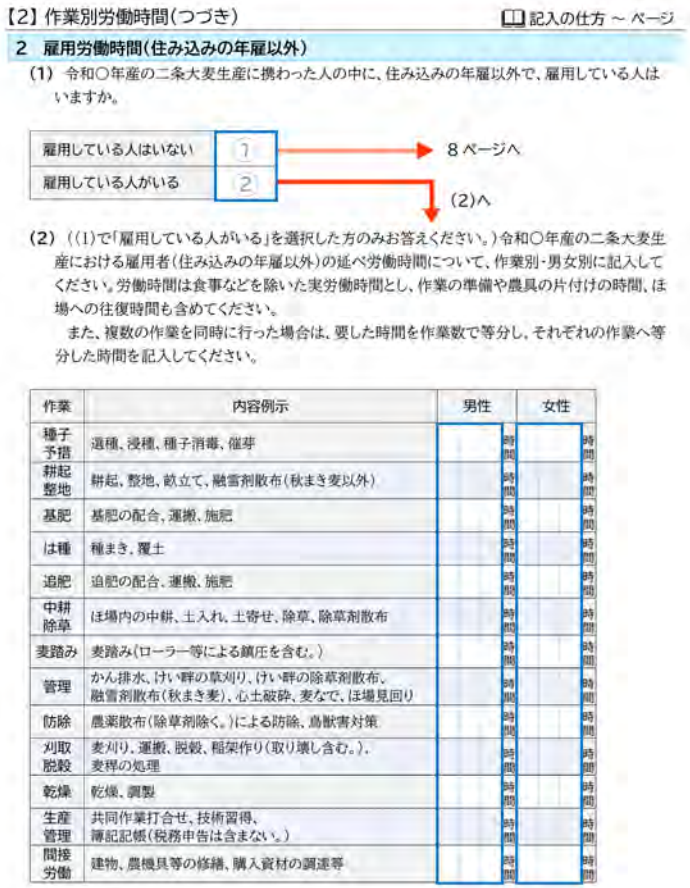
【2】作業別労働時間（つづき）

1　家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号		7	8	9	10	11	12
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

5

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～７ページ	（新設）	



【2】作業別労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

2　雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1) 令和○年産の二条大麦生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

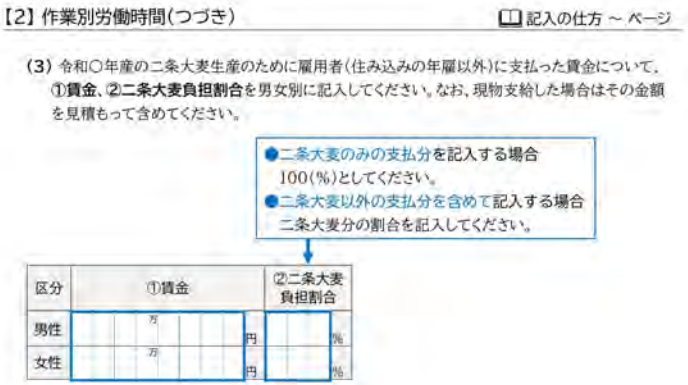
雇用している人はいない	1 → 8ページへ
雇用している人がいる	2 → (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の二条大麦生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

6



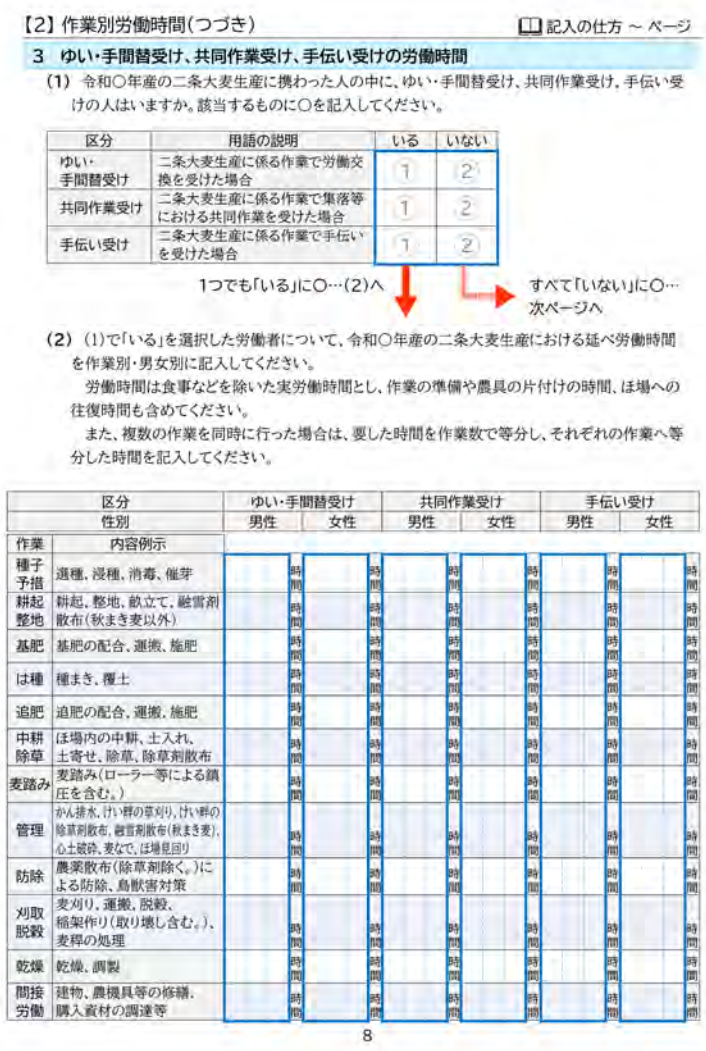
【2】作業別労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

(3) 令和○年産の二条大麦生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、**①賃金、②二条大麦負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●二条大麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の支払分を含めて記入する場合
二条大麦分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②二条大麦負担割合
男性	万 円	%
女性	万 円	%

7

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
8ページ 	（新設）	

【2】作業別労働時間（つづき）　　記入の仕方 ～ページ

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和〇年産の二条大麦生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	二条大麦生産に係る作業で労働交換を受けた場合	1	2
共同作業受け	二条大麦生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	1	2
手伝い受け	二条大麦生産に係る作業で手伝いを受けた場合	1	2

1つでも「いる」に〇…(2)へ

すべて「いない」に〇…次ページへ

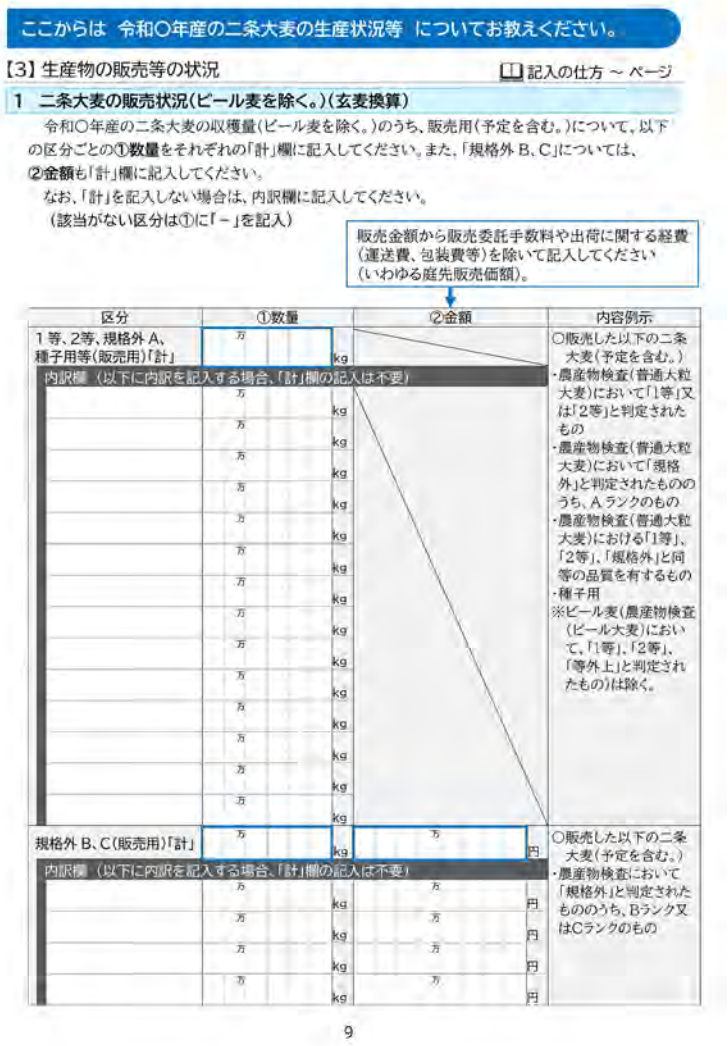
(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産の二条大麦生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。

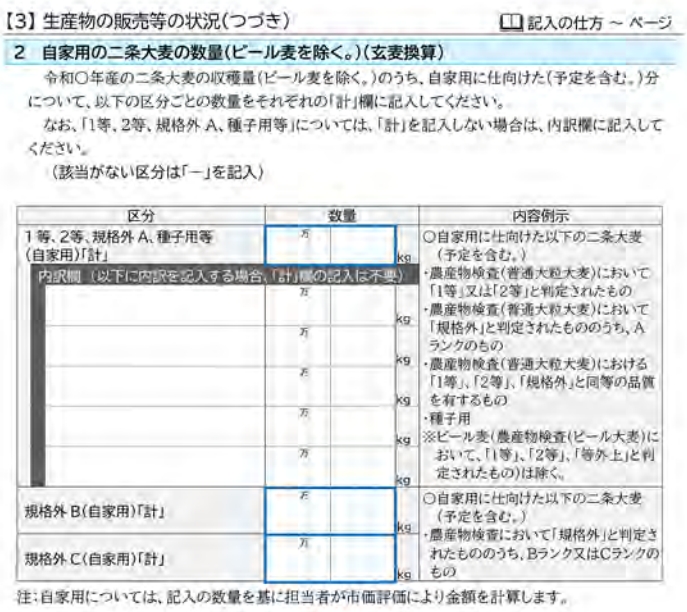
労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

8

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ  ここからは　令和〇年産の二条大麦の生産状況等　についてお教えください。 【3】生産物の販売等の状況　　記入の仕方 ～ ページ 1　二条大麦の販売状況(ビール麦を除く。)(玄麦換算) 令和〇年産の二条大麦の収穫量(ビール麦を除く。)のうち、販売用(予定を含む。)について、以下の区分ごとの**①数量**をそれぞれの「計」欄に記入してください。また、「規格外 B、C」については、**②金額**も「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない区分は①に「－」を記入) 販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。 区分 / ①数量 / ②金額 / 内容例示 1等、2等、規格外 A、種子用等(販売用)「計」 万 kg 内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 万 kg 〇販売した以下の二条大麦(予定を含む。) ・農産物検査(普通大粒大麦)において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査(普通大粒大麦)において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査(普通大粒大麦)における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用 ※ビール麦(農産物検査(ビール大麦)において、「1等」、「2等」、「等外上」と判定されたもの)は除く。 規格外 B、C(販売用)「計」 万 kg 万 円 内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 万 kg 万 円 万 kg 万 円 万 kg 万 円 万 kg 万 円 〇販売した以下の二条大麦(予定を含む。) ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの 9	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ 	（新設）	

【3】生産物の販売等の状況(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

2　自家用の二条大麦の数量(ビール麦を除く。)(玄麦換算)

令和○年産の二条大麦の収穫量(ビール麦を除く。)のうち、自家用に仕向けた(予定を含む。)分について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

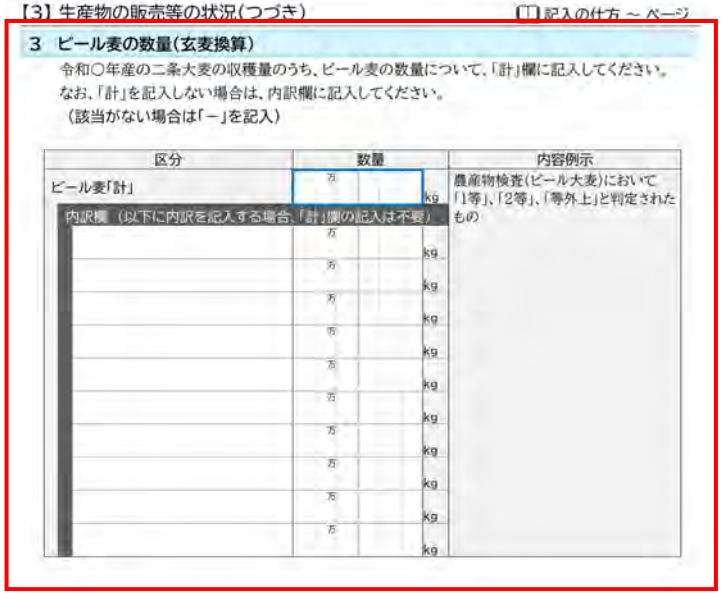
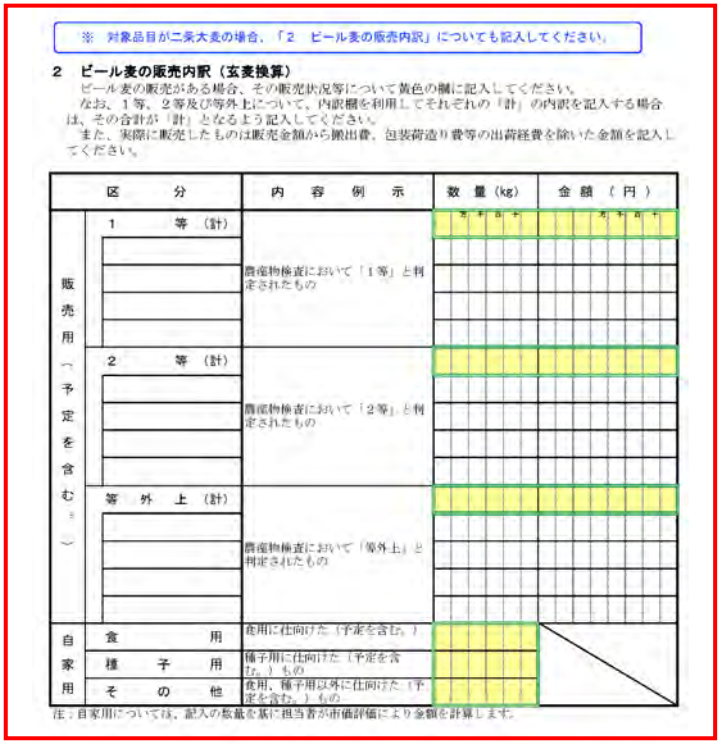
なお、「1等、2等、規格外A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

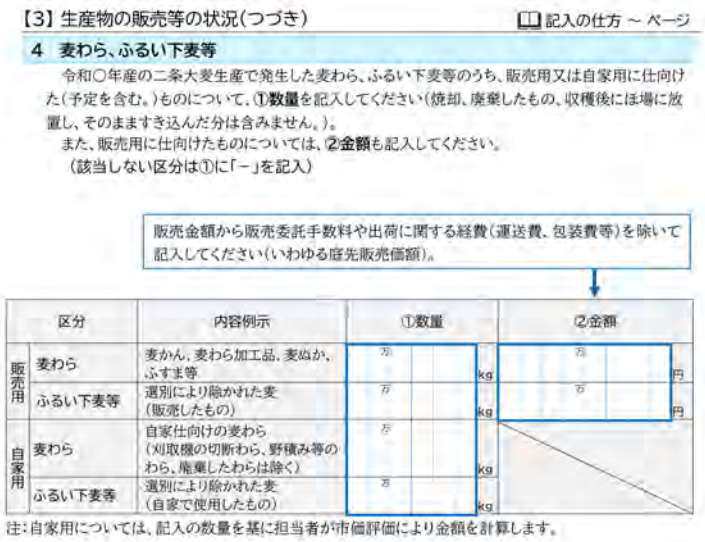
(該当がない区分は「－」を記入)

区分	数量	内容例示
1等、2等、規格外A、種子用等(自家用)「計」	万 kg	○自家用に仕向けた以下の二条大麦(予定を含む。) ・農産物検査(普通大粒大麦)において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査(普通大粒大麦)において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの ・農産物検査(普通大粒大麦)における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用 ※ビール麦(農産物検査(ビール大麦)において、「1等」、「2等」、「等外上」と判定されたもの)は除く。
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
規格外B(自家用)「計」	万 kg	○自家用に仕向けた以下の二条大麦(予定を含む。) ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、BランクⅩはCランクのもの
規格外C(自家用)「計」	万 kg	

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ 	（新設） 【参考】 	【参考】 ビール麦の数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「販売用 1等(計)」、「販売用 2等(計)」、「販売用 等外上」、「自家用 食用」、「自家用 種子用」、「自家用 その他」を削除し、「ビール麦「計」」を把握するよう変更 また、金額については削除

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ 	（新設）	

【3】生産物の販売等の状況（つづき）　記入の仕方 ～ページ

4　麦わら、ふるい下麦等

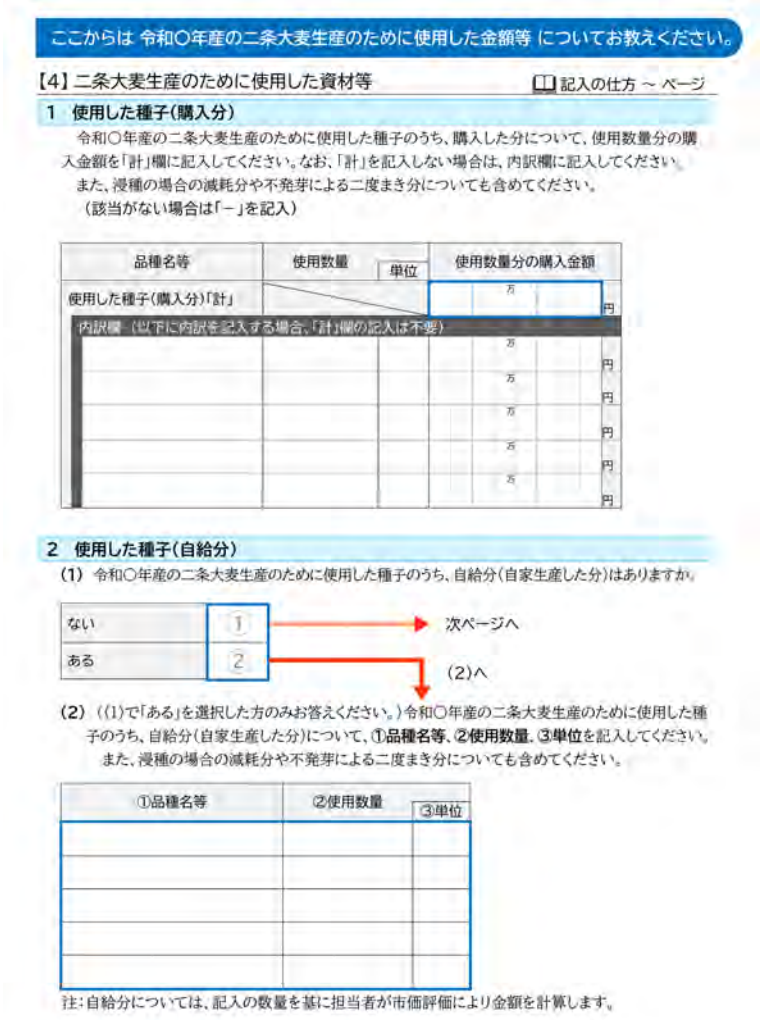
令和〇年産の二条大麦生産で発生した麦わら、ふるい下麦等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。
また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。
（該当しない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる産地販売価額）。

区分		内容例示	①数量	②金額
販売用	麦わら	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	万　kg	万　円
販売用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（販売したもの）	万　kg	万　円
自家用	麦わら	自家仕向けの麦わら（刈取機の切断わら、野積み等のわら、廃棄したわらは除く）	万　kg	
自家用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（自家で使用したもの）	万　kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

12

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ 	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ 	（新設）	

【4】二条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

3　使用した肥料(購入分)

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

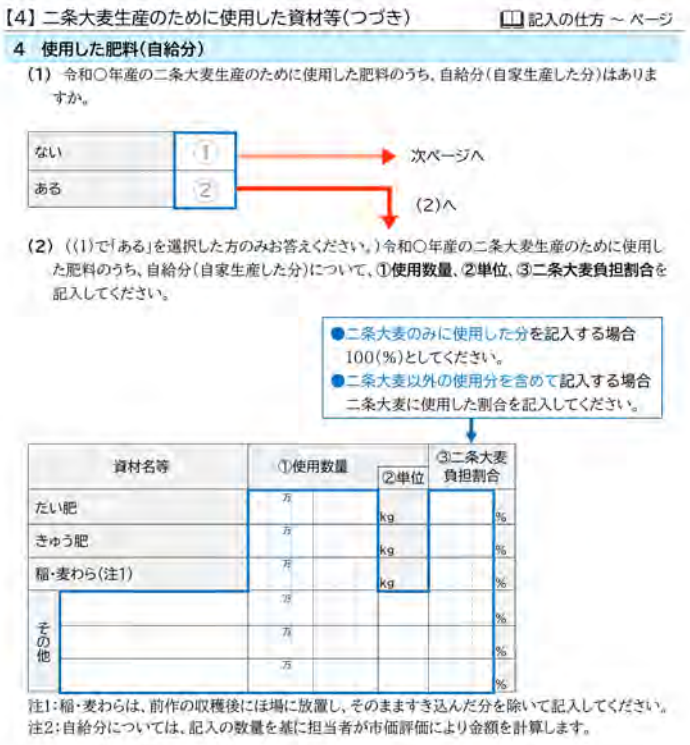
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②二条大麦負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万 円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム（石灰含む。） ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）					
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	

注：融雪剤として使用した分は、19～20 ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

14

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ  【4】二条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 4　使用した肥料(自給分) (1) 令和○年産の二条大麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の二条大麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量、②単位、③二条大麦負担割合**を記入してください。 ●二条大麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合 二条大麦に使用した割合を記入してください。 資材名等 / ①使用数量 / ②単位 / ③二条大麦負担割合 だい肥 / きゅう肥 / 稲・麦わら(注1) / その他 万 / kg / % 注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 15	(新設)	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ 	（新設）	

【4】二条大麦生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

5　使用した農業薬剤

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②二条大麦負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万 円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除費は、農薬代も含め 21 ページ「10　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。
注2：除草剤等農薬入りの肥料は 14 ページ「3　使用した肥料（購入分）」に記入してください。

16

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ 	（新設）	

【4】二条大麦生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

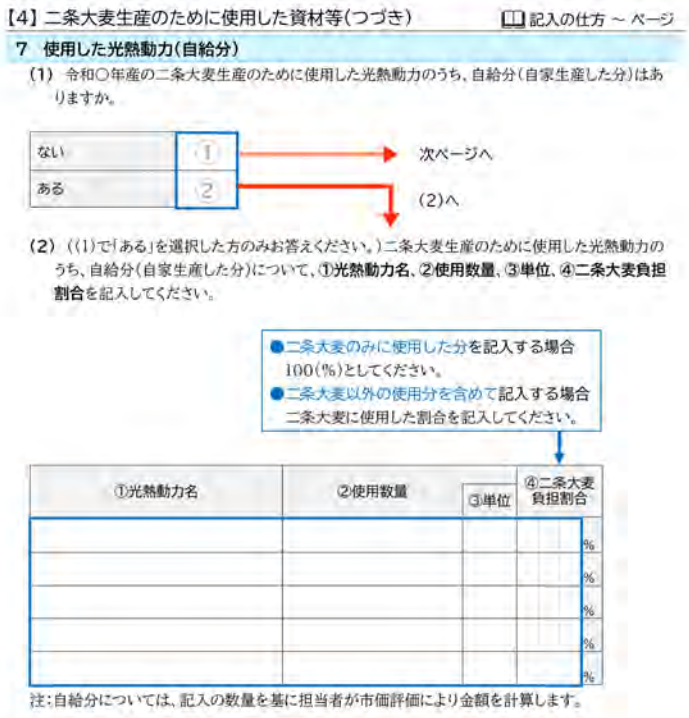
6　使用した光熱動力（購入分）

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②二条大麦負担割合
使用した光熱動力（購入分）「計」				万	円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）						
動力燃料	重油		L	万	円	%
	軽油		L	万	円	%
	灯油		L	万	円	%
	ガソリン		L	万	円	%
	潤滑油		L	万	円	%
	混合油		L	万	円	%
電力料				万	円	%
その他（水道料、木炭などの燃料）				万	円	%

17

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ 	（新設）	

【4】二条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

7　使用した光熱動力(自給分)

(1)　令和○年産の二条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	1	→ 次ページへ
ある	2	→ (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)二条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④二条大麦負担割合**を記入してください。

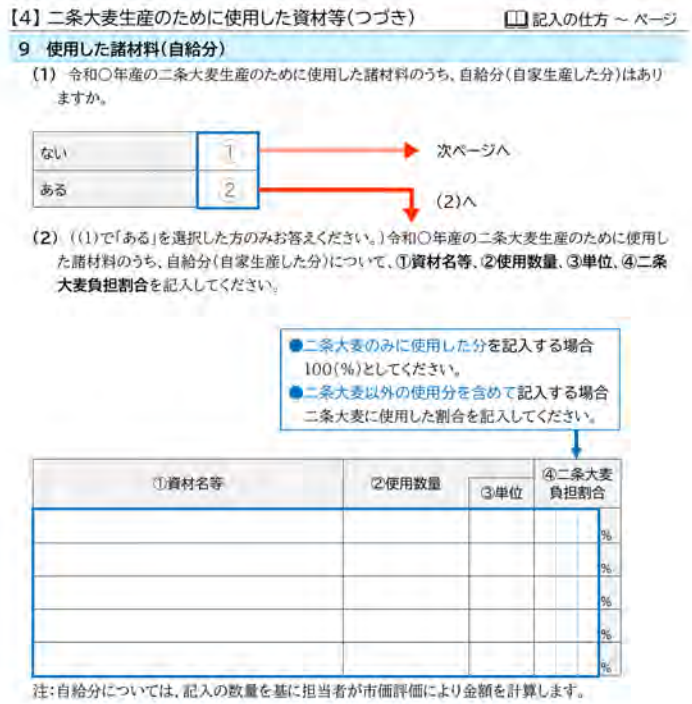
●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④二条大麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

18

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ  【4】二条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 8　使用した諸材料(購入分) 令和〇年産の二条大麦生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●二条大麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合 二条大麦に使用した割合を記入してください。 資材名等 / 使用数量 / 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②二条大麦負担割合 使用した諸材料(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 注 1:融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。 注 2:くわ、かま等の農具や作業着等については、22 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。 19	(新設)	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ  【4】二条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 9　使用した諸材料(自給分) (1)　令和〇年産の二条大麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の二条大麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等、②使用数量、③単位、④二条大麦負担割合**を記入してください。 ●二条大麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合 二条大麦に使用した割合を記入してください。 ①資材名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④二条大麦負担割合 % 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 20	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21ページ  【4】二条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 10　賃借料及び料金 令和〇年産の二条大麦生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●二条大麦のみの支払分を記入する場合 100(%)としてください。 ●二条大麦以外の支払分を含めて記入する場合 二条大麦分の割合を記入してください。 料金名等 / 数量等 単位 / ①支払金額 / ②二条大麦負担割合 賃借料及び料金「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 負担金 共同 薬剤散布(※1) 負担金 共同 共同施設 農機具借料 航空防除賃(※1) 賃耕料 は種・定植料 収穫請負わせ賃 乾燥・調製委託料(※2) その他 (※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。 (※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。 21	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22ページ 	（新設）	

【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等　　記入の仕方 ～ ページ

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

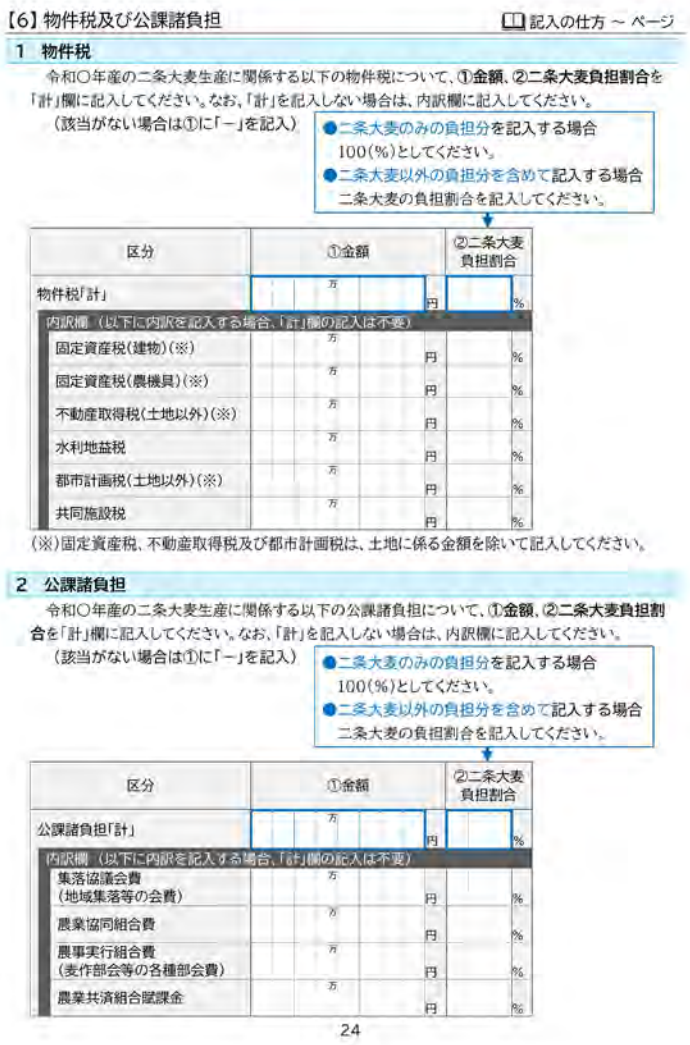
（該当がない場合は①に「－」を記入）

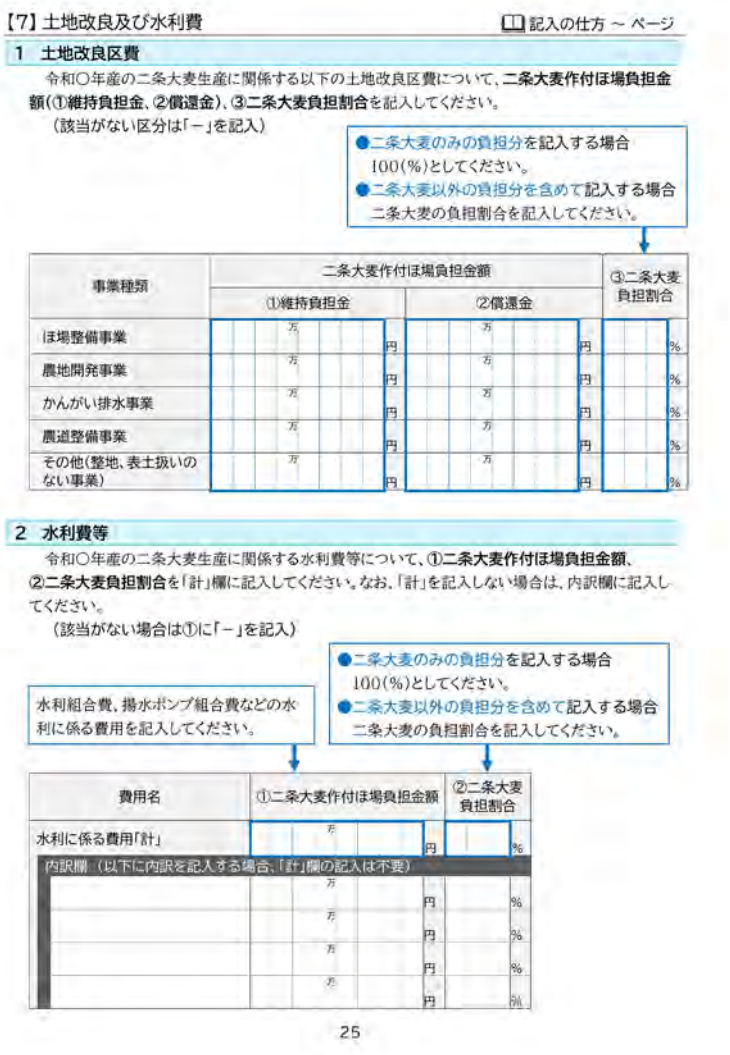
●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②二条大麦負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万 円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

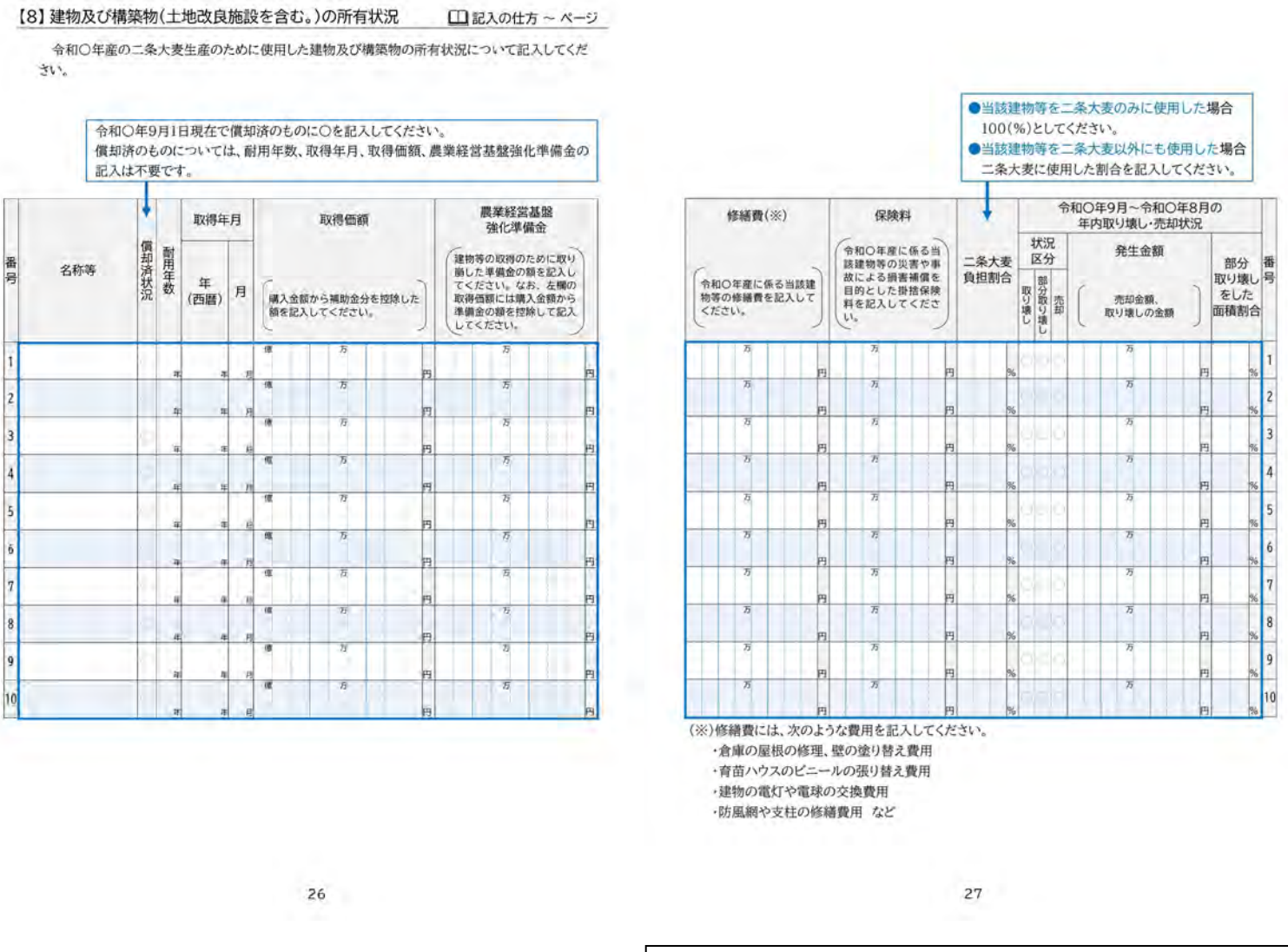
22

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ  【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ 2　生産管理関係の費用 令和〇年産の二条大麦生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入） ●二条大麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合 二条大麦に使用した割合を記入してください。 名称 / ①金額 / ②二条大麦負担割合 / 内容例示 生産管理関係の費用「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料 23	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24ページ  【6】物件税及び公課諸負担　記入の仕方 ～ ページ 1　物件税 令和〇年産の二条大麦生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●二条大麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。 ●二条大麦以外の負担分を含めて記入する場合 二条大麦の負担割合を記入してください。 区分 / ①金額 / ②二条大麦負担割合 物件税「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 固定資産税(建物)(※) 固定資産税(農機具)(※) 不動産取得税(土地以外)(※) 水利地益税 都市計画税(土地以外)(※) 共同施設税 (※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。 2　公課諸負担 令和〇年産の二条大麦生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●二条大麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。 ●二条大麦以外の負担分を含めて記入する場合 二条大麦の負担割合を記入してください。 区分 / ①金額 / ②二条大麦負担割合 公課諸負担「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 集落協議会費 （地域集落等の会費） 農業協同組合費 農事実行組合費 （支作部会等の各種部会費） 農業共済組合賦課金 24	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
25ページ  【7】土地改良及び水利費　記入の仕方 ～ ページ 1　土地改良区費 令和〇年産の二条大麦生産に関係する以下の土地改良区費について、**二条大麦作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③二条大麦負担割合**を記入してください。 （該当がない区分は「－」を記入） ●二条大麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。 ●二条大麦以外の負担分を含めて記入する場合 二条大麦の負担割合を記入してください。 事業種類 / 二条大麦作付ほ場負担金額 ①維持負担金 / ②償還金 / ③二条大麦負担割合 ほ場整備事業 農地開発事業 かんがい排水事業 農道整備事業 その他(整地、表土扱いのない事業) 2　水利費等 令和〇年産の二条大麦生産に関係する水利費等について、**①二条大麦作付ほ場負担金額、②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） 水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。 ●二条大麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。 ●二条大麦以外の負担分を含めて記入する場合 二条大麦の負担割合を記入してください。 費用名 / ①二条大麦作付ほ場負担金額 / ②二条大麦負担割合 水利に係る費用「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 25	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ	（新設）	



【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

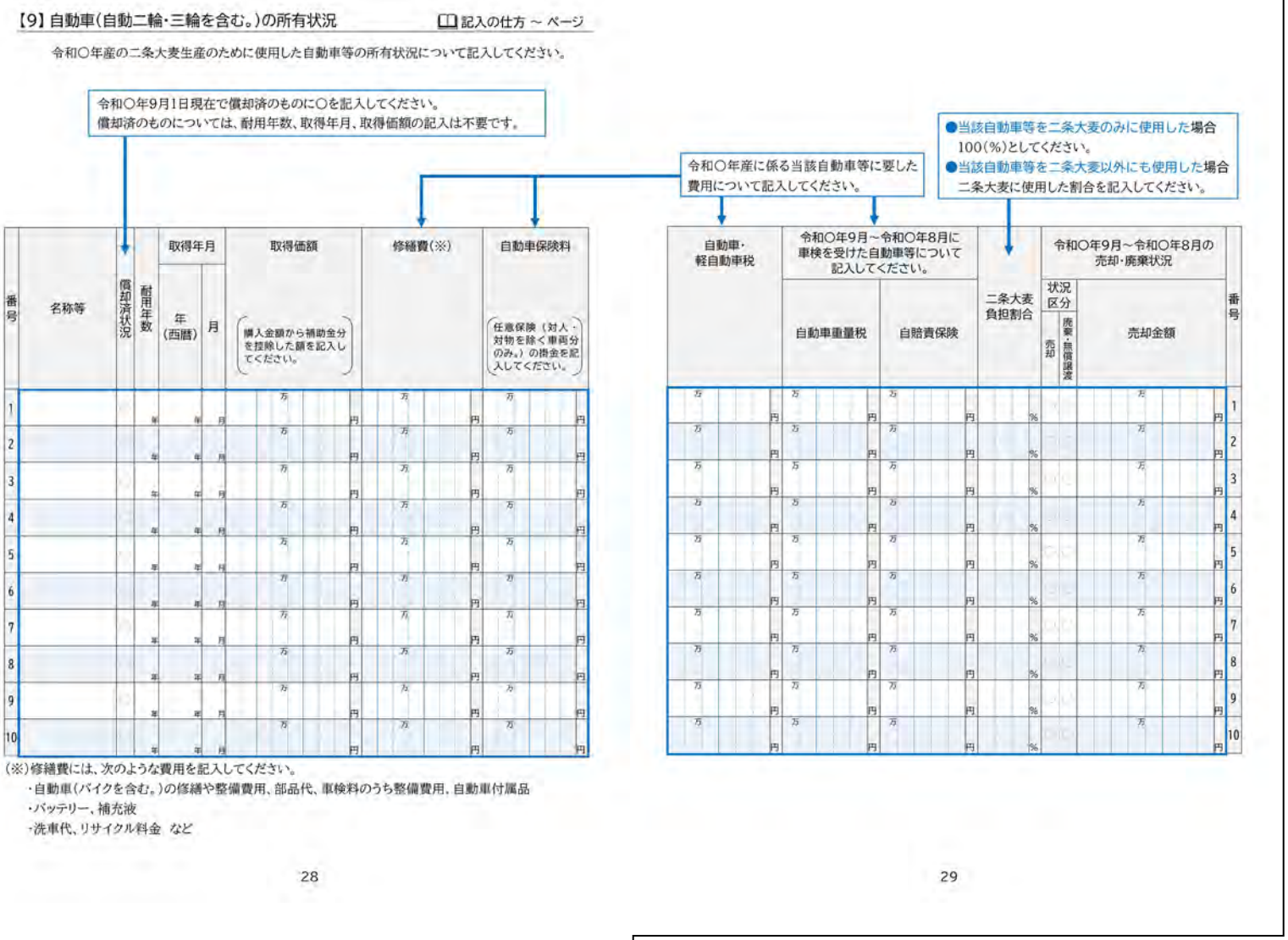
●当該建物等を二条大麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等を二条大麦以外にも使用した場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。）	修繕費(※)（令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした損害保険料を記入してください。）	二条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の年内取り壊し・売却状況 状況区分 取り壊し	部分取り壊し	売却	発生金額（売却金額、取り壊しの金額）	部分取り壊しをした面積割合	番号
1				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	1
2				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	2
3				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	3
4				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	4
5				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	5
6				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	6
7				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	7
8				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	8
9				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	9
10				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

26　27

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ	（新設）	



【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

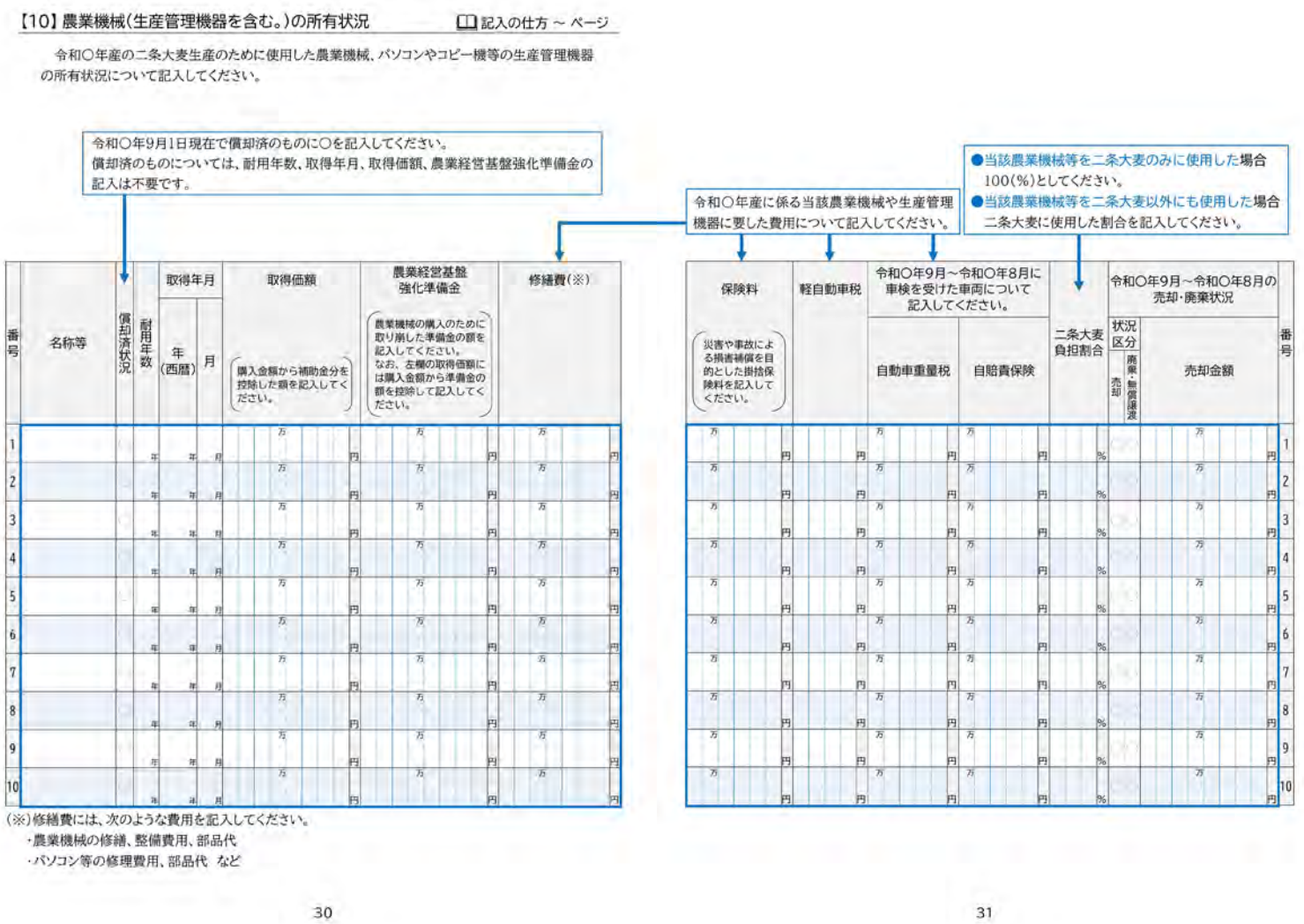
●当該自動車等を二条大麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等を二条大麦以外にも使用した場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費(※)	自動車保険料（任意保険（対人・対物を除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。）	自動車・軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険	二条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 状況区分 売却	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 状況区分 廃棄・盗難・損傷滅失	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 売却金額	番号
1			年	年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	1
2			年	年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	2
3			年	年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	3
4			年	年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	4
5			年	年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	5
6			年	年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	6
7			年	年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	7
8			年	年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	8
9			年	年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	9
10			年	年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

28　　29

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ	（新設）	



【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等を二条大麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該農業機械等を二条大麦以外にも使用した場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	修繕費(※)	保険料(災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	二条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 状況区分	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 売却金額	番号
1				年	月	万円	万円	万円	万円		万円	万円	%		万円	1
2				年	月	万円	万円	万円	万円		万円	万円	%		万円	2
3				年	月	万円	万円	万円	万円		万円	万円	%		万円	3
4				年	月	万円	万円	万円	万円		万円	万円	%		万円	4
5				年	月	万円	万円	万円	万円		万円	万円	%		万円	5
6				年	月	万円	万円	万円	万円		万円	万円	%		万円	6
7				年	月	万円	万円	万円	万円		万円	万円	%		万円	7
8				年	月	万円	万円	万円	万円		万円	万円	%		万円	8
9				年	月	万円	万円	万円	万円		万円	万円	%		万円	9
10				年	月	万円	万円	万円	万円		万円	万円	%		万円	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

30　　31

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ	（新設）	



【11】土地の面積及び地代　　記入の仕方 ～ ページ

1　作付地

令和〇年産の二条大麦生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤二条大麦負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の二条大麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の二条大麦の収穫が終わる前の１年間に、
●二条大麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める二条大麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤二条大麦負担割合	⑥地目 田 畑
1		ha a	ha a	%	
2		ha a	ha a	%	
3		ha a	ha a	%	
4		ha a	ha a	%	
5		ha a	ha a	%	
6		ha a	ha a	%	
7		ha a	ha a	%	
8		ha a	ha a	%	
9		ha a	ha a	%	
10		ha a	ha a	%	
11		ha a	ha a	%	
12		ha a	ha a	%	
13		ha a	ha a	%	
14		ha a	ha a	%	
15		ha a	ha a	%	

32



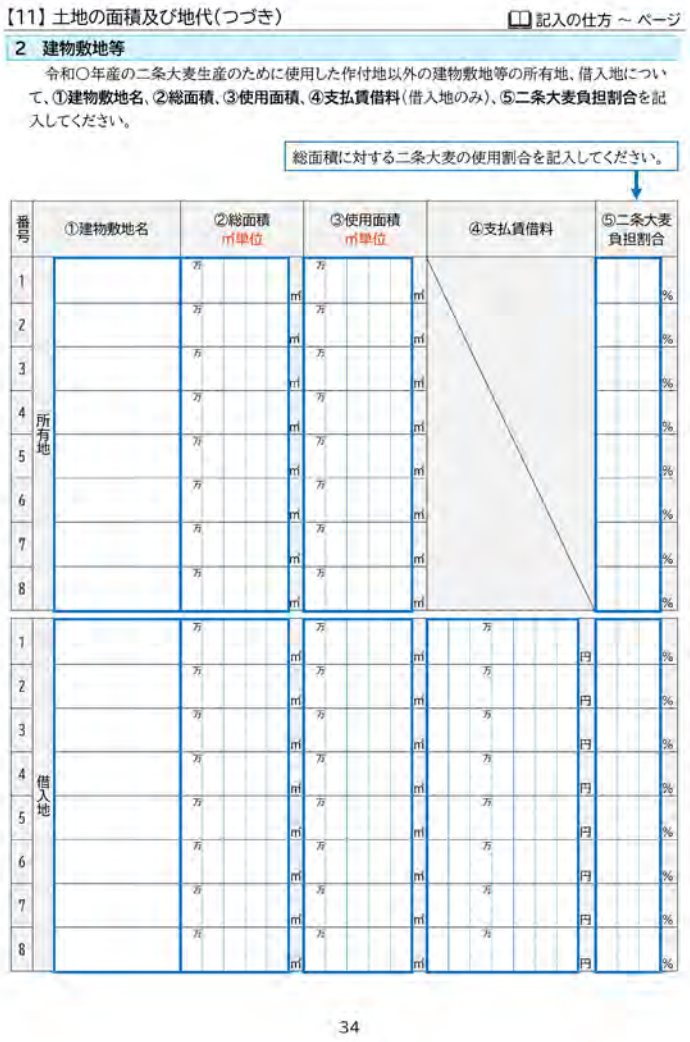
【11】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の二条大麦の収穫が終わる前の１年間に、
●二条大麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める二条大麦の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

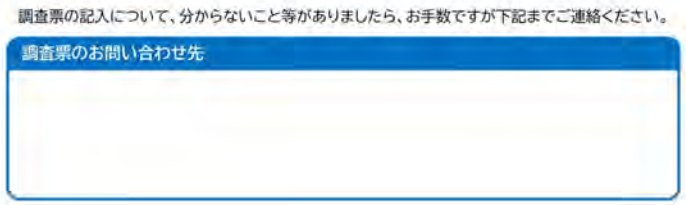
番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤二条大麦負担割合	⑥地目 田 畑
1		ha a	ha a	万 円	%	
2		ha a	ha a	万 円	%	
3		ha a	ha a	万 円	%	
4		ha a	ha a	万 円	%	
5		ha a	ha a	万 円	%	
6		ha a	ha a	万 円	%	
7		ha a	ha a	万 円	%	
8		ha a	ha a	万 円	%	
9		ha a	ha a	万 円	%	
10		ha a	ha a	万 円	%	
11		ha a	ha a	万 円	%	
12		ha a	ha a	万 円	%	
13		ha a	ha a	万 円	%	
14		ha a	ha a	万 円	%	
15		ha a	ha a	万 円	%	

33

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ  【11】土地の面積及び地代（つづき）　記入の仕方 ～ ページ 2　建物敷地等 令和〇年産の二条大麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**（借入地のみ）、**⑤二条大麦負担割合**を記入してください。 総面積に対する二条大麦の使用割合を記入してください。 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤二条大麦負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 34	（新設）	

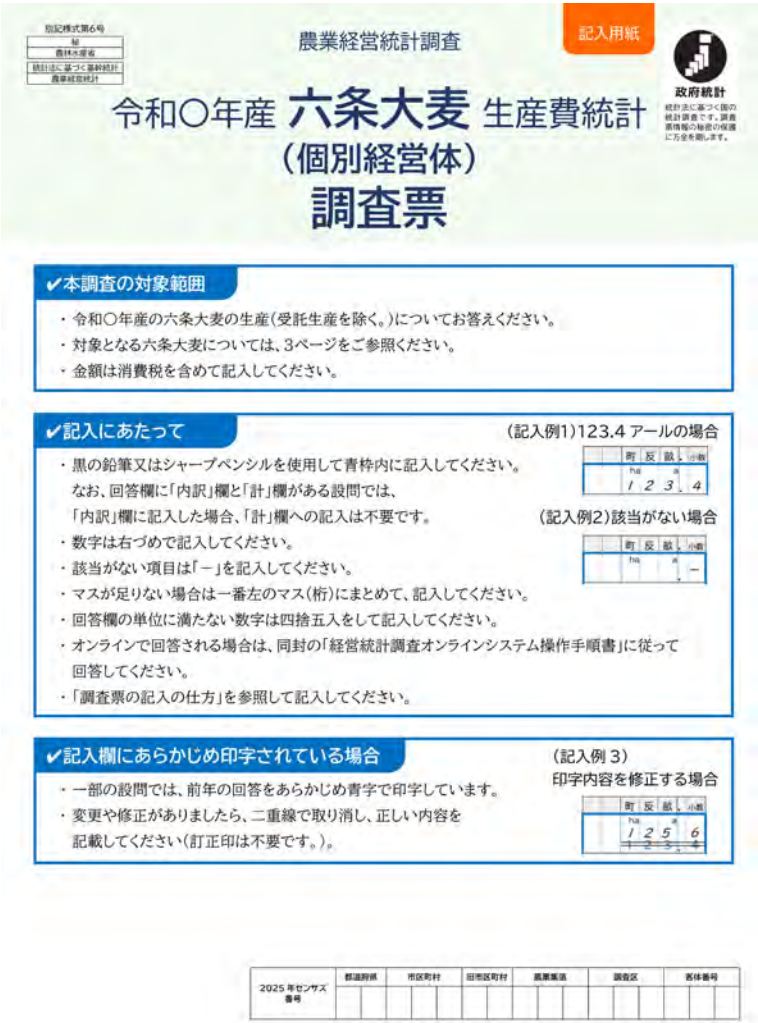
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
35ページ 	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  	（新設）	

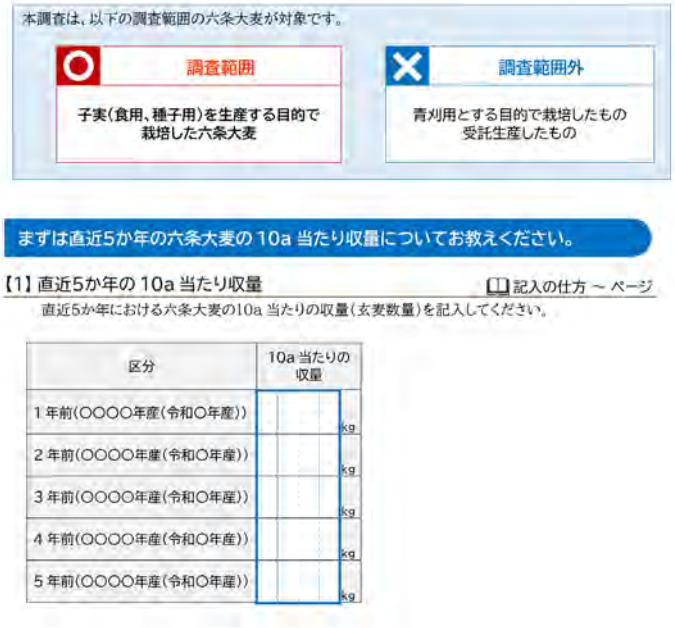
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38ページ  	（新設）	

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　農産物生産費統計（六条大麦（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第６号 １ページ 	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 【1】直近5か年の10a当たり収量 …… 3 【2】作業別労働時間 …… 4 【3】生産物の販売等の状況 …… 9 【4】六条大麦生産のために使用した資材等 …… 12 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 21 【6】物件税及び公課諸負担 …… 23 【7】土地改良及び水利費 …… 25 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 26 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 28 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 30 【11】土地の面積及び地代 …… 32 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 35	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
3ページ  本調査は、以下の調査範囲の六条大麦が対象です。 調査範囲 子実（食用、種子用）を生産する目的で栽培した六条大麦 調査範囲外 青刈用とする目的で栽培したもの 受託生産したもの まずは直近5か年の六条大麦の10a当たり収量についてお教えください。 【1】直近5か年の10a当たり収量　記入の仕方 ～ページ 直近5か年における六条大麦の10a当たりの収量（玄麦数量）を記入してください。 区分 / 10a当たりの収量 1年前（○○○○年産（令和○年産））kg 2年前（○○○○年産（令和○年産））kg 3年前（○○○○年産（令和○年産））kg 4年前（○○○○年産（令和○年産））kg 5年前（○○○○年産（令和○年産））kg 3	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ	（新設）	



ここからは 令和〇年産の六条大麦生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の六条大麦生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号		1	2	3	4	5	6
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

4

【2】作業別労働時間（つづき）　　記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号		7	8	9	10	11	12
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

5

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～７ページ	（新設）	

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

2　雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

(1) 令和○年産の六条大麦生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	1	→ 8 ページへ
雇用している人がいる	2	→ (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。) 令和○年産の六条大麦生産における雇用者（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

6

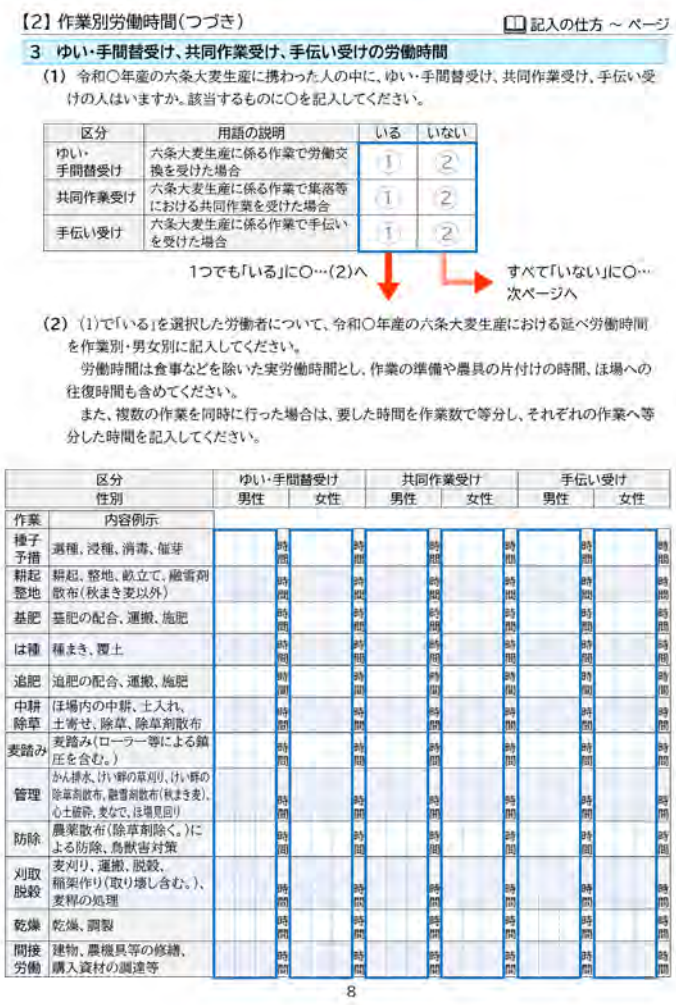
【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

(3) 令和○年産の六条大麦生産のために雇用者（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、**①賃金**、**②六条大麦負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●六条大麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の支払分を含めて記入する場合
六条大麦分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②六条大麦負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

7

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
8ページ 	（新設）	

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

（1）令和○年産の六条大麦生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	六条大麦生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	六条大麦生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	六条大麦生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ　　すべて「いない」に○…次ページへ

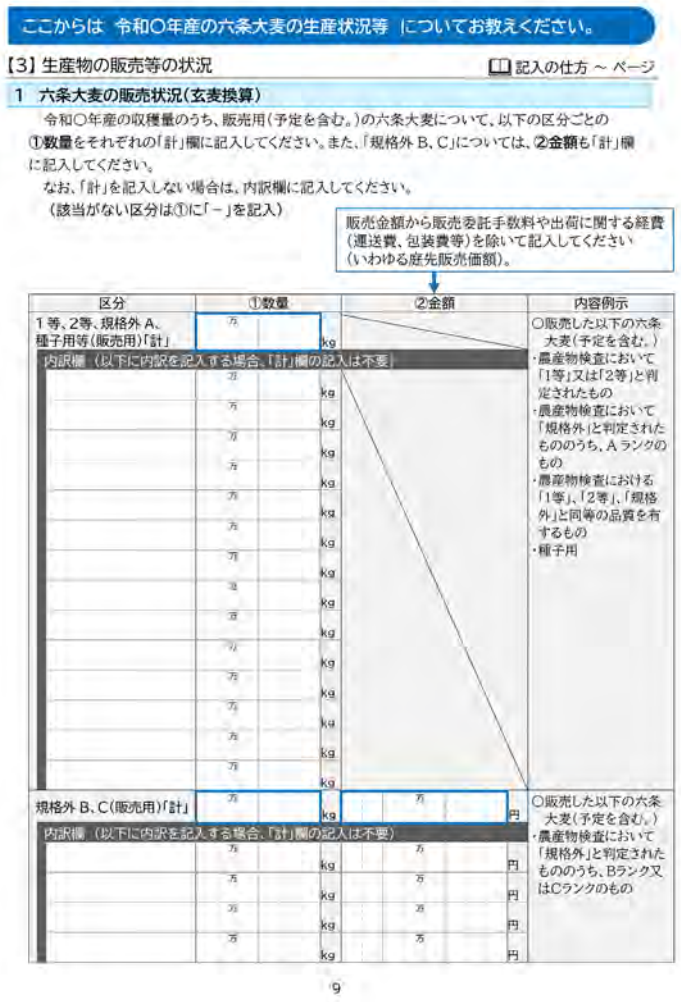
（2）（1）で「いる」を選択した労働者について、令和○年産の六条大麦生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。

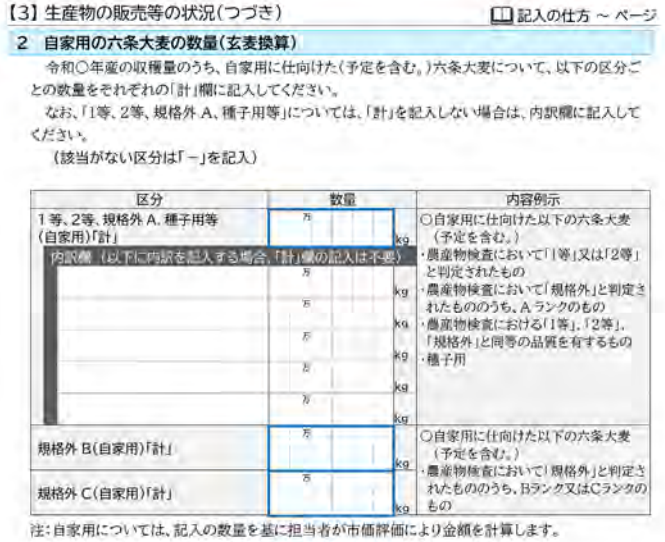
労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、支なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

8

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ  ここからは　令和〇年産の六条大麦の生産状況等　についてお教えください。 【3】生産物の販売等の状況　記入の仕方 ～ ページ 1　六条大麦の販売状況（玄麦換算） 令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）の六条大麦について、以下の区分ごとの**①数量**をそれぞれの「計」欄に記入してください。また、「規格外 B、C」については、**②金額**も「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない区分は①に「－」を記入） 販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる産先販売価額）。 区分 / ①数量 / ②金額 / 内容例示 1等、2等、規格外 A、種子用等（販売用）「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 内容例示：〇販売した以下の六条大麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用 規格外 B、C（販売用）「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 内容例示：〇販売した以下の六条大麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの 9	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ 	（新設）	

【3】生産物の販売等の状況（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

2　自家用の六条大麦の数量（玄麦換算）

令和○年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）六条大麦について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

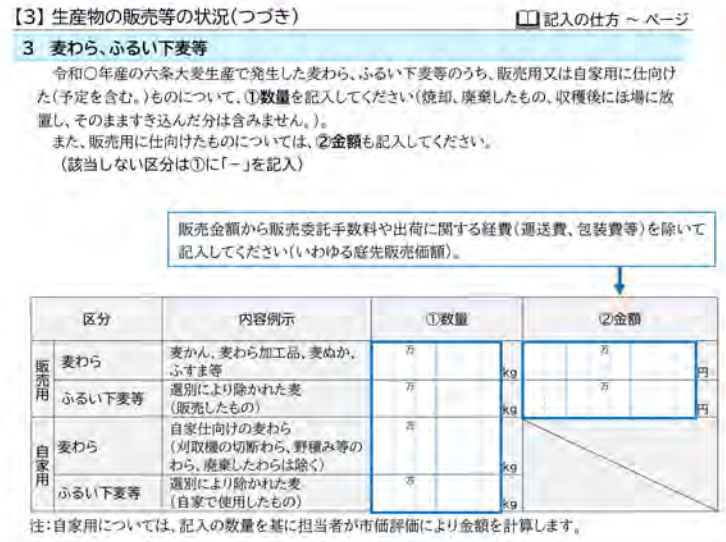
なお、「1等、2等、規格外A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
1等、2等、規格外A、種子用等（自家用）「計」	万 kg	○自家用に仕向けた以下の六条大麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
規格外B（自家用）「計」	万 kg	○自家用に仕向けた以下の六条大麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、BランクまたはCランクのもの
規格外C（自家用）「計」	万 kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ 	（新設）	

【3】生産物の販売等の状況(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

3　麦わら、ふるい下麦等

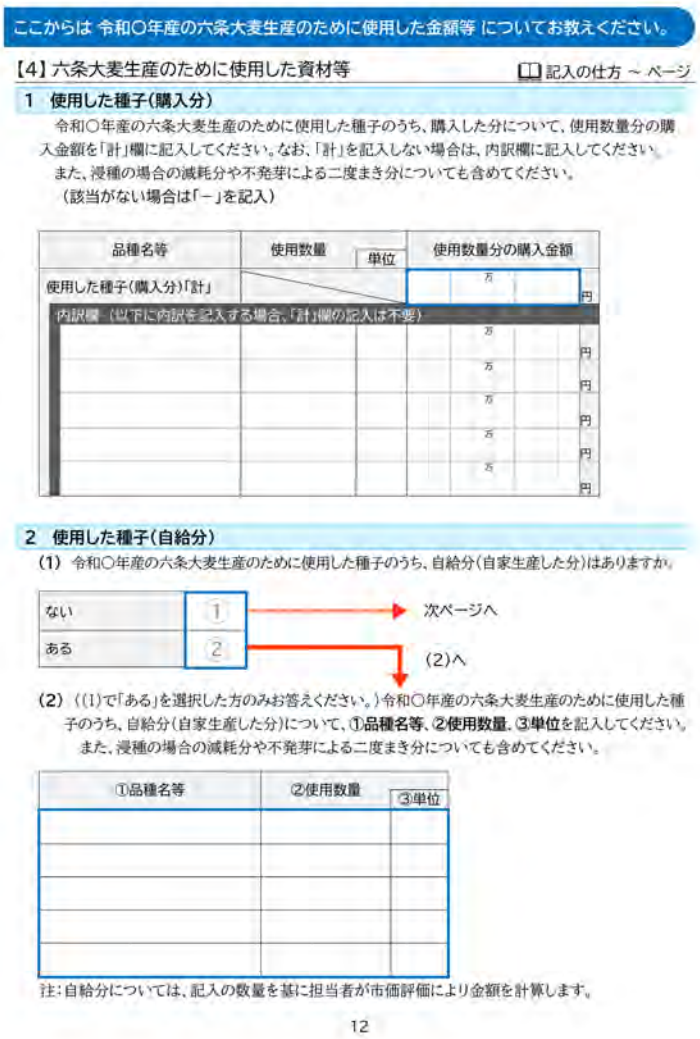
令和〇年産の六条大麦生産で発生した麦わら、ふるい下麦等のうち、販売用又は自家用に仕向けた(予定を含む。)ものについて、**①数量**を記入してください(焼却、廃棄したもの、収穫後に圃場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。)。
また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。
(該当しない区分は①に「－」を記入)

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる産地販売価額)。

区分		内容例示	①数量	②金額
販売用	麦わら	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	万　kg	万　円
販売用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦(販売したもの)	万　kg	万　円
自家用	麦わら	自家仕向けの麦わら(刈取機の切断わら、野積み等のわら、廃棄したわらは除く)	万　kg	
自家用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦(自家で使用したもの)	万　kg	

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

11

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ 	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ 	（新設）	

【4】六条大麦生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

3　使用した肥料（購入分）

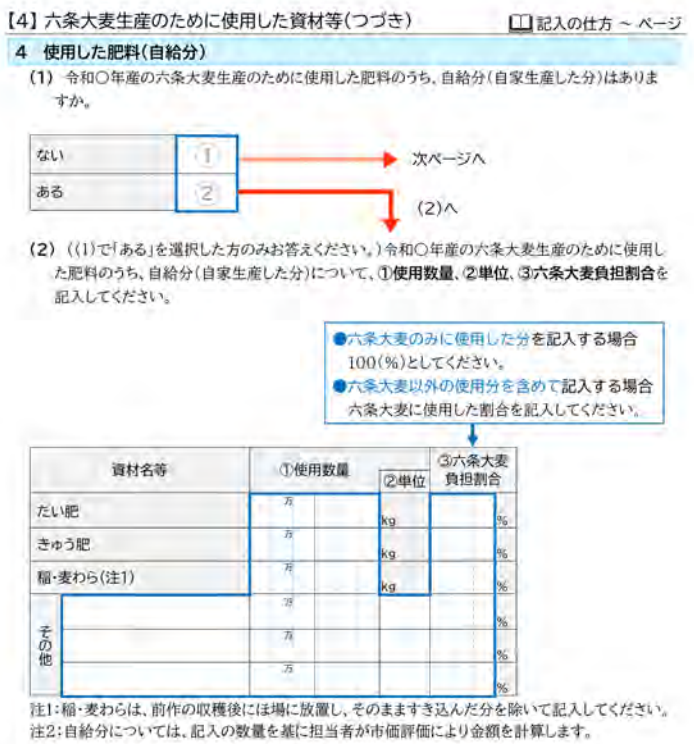
令和○年産の六条大麦生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②六条大麦負担割合	内容例示
使用した肥料（購入分）「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム（石灰含む。） ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注：融雪剤として使用した分は、18～19 ページ「8　使用した諸材料（購入分）」「9　使用した諸材料（自給分）」に記入してください。

13

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ 	（新設）	

【4】六条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

4　使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産の六条大麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	1 → 次ページへ
ある	2 → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の六条大麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量、②単位、③六条大麦負担割合**を記入してください。

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量	②単位	③六条大麦負担割合
だい肥	万	kg	%
きゅう肥	万	kg	%
稲・麦わら(注1)	万	kg	%
その他	万		%
	万		%
	万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

14

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ 	（新設）	

【4】六条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ

5　使用した農業薬剤

令和○年産の六条大麦生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②六条大麦負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め 20 ページ「10　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2：除草剤等農薬入りの肥料は 13 ページ「3　使用した肥料（購入分）」に記入してください。

15

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ 	（新設）	

【4】六条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ

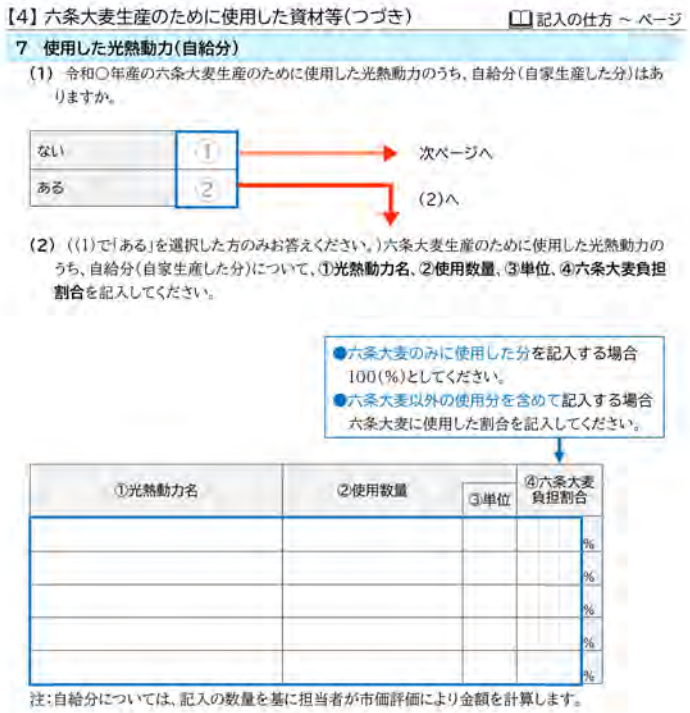
6　使用した光熱動力(購入分)

令和○年産の六条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②六条大麦負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」				万	円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）						
動力燃料	重油		L	万	円	%
	軽油		L	万	円	%
	灯油		L	万	円	%
	ガソリン		L	万	円	%
	潤滑油		L	万	円	%
	混合油		L	万	円	%
電力料				万	円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万	円	%

16

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ 	（新設）	

【4】六条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

7　使用した光熱動力(自給分)

(1)　令和〇年産の六条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

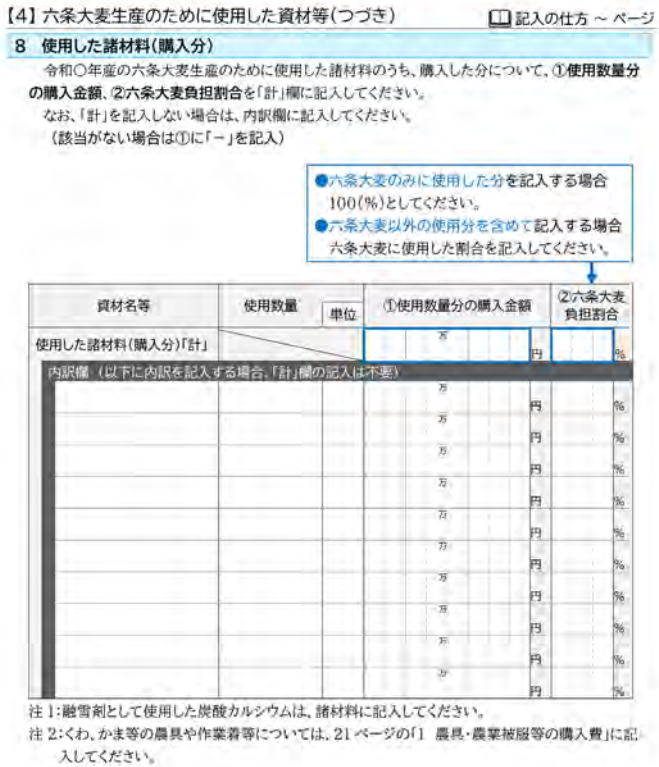
(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)六条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④六条大麦負担割合**を記入してください。

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④六条大麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

17

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ 	（新設）	

【4】六条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

8　使用した諸材料(購入分)

令和○年産の六条大麦生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

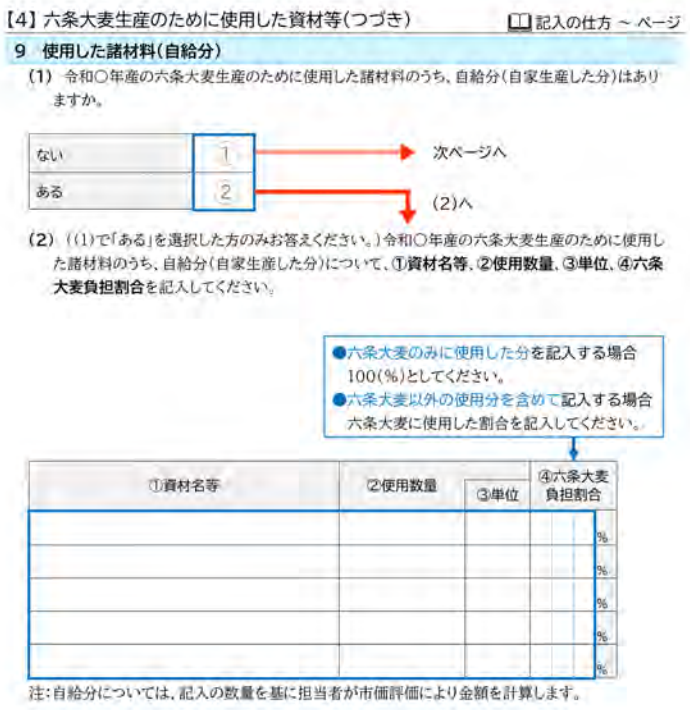
●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②六条大麦負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）				
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%

注 1：融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

注 2：くわ、かま等の農具や作業着等については、21 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

18

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ  【4】六条大麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 9　使用した諸材料(自給分) (1)　令和〇年産の六条大麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の六条大麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④六条大麦負担割合**を記入してください。 ●六条大麦のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合六条大麦に使用した割合を記入してください。 ①資材名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④六条大麦負担割合 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 19	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ 	（新設）	

【4】六条大麦生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

10　賃借料及び料金

令和○年産の六条大麦生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●六条大麦のみの支払分を記入する場合
100（%）としてください。
●六条大麦以外の支払分を含めて記入する場合
六条大麦分の割合を記入してください。

料金名等	数量等 単位	①支払金額	②六条大麦負担割合
賃借料及び料金「計」		万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
負担金 共同 薬剤散布（※1）		万 円	%
負担金 共同 共同施設		万 円	%
農機具借料		万 円	%
航空防除費（※1）	a	万 円	%
賃耕料	a	万 円	%
は種・定植料	a	万 円	%
収穫請負わせ賃	a	万 円	%
乾燥・調製委託料（※2）	kg	万 円	%
その他		万 円	%
		万 円	%
		万 円	%
		万 円	%
		万 円	%

（※1）共同負担金（薬剤散布）及び航空防除費は、農薬代も含めて記入してください。

（※2）乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

20

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21ページ 	（新設）	

【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等　　記入の仕方 ～ページ

1　農具・農業被服等の購入費

令和○年産の六条大麦生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

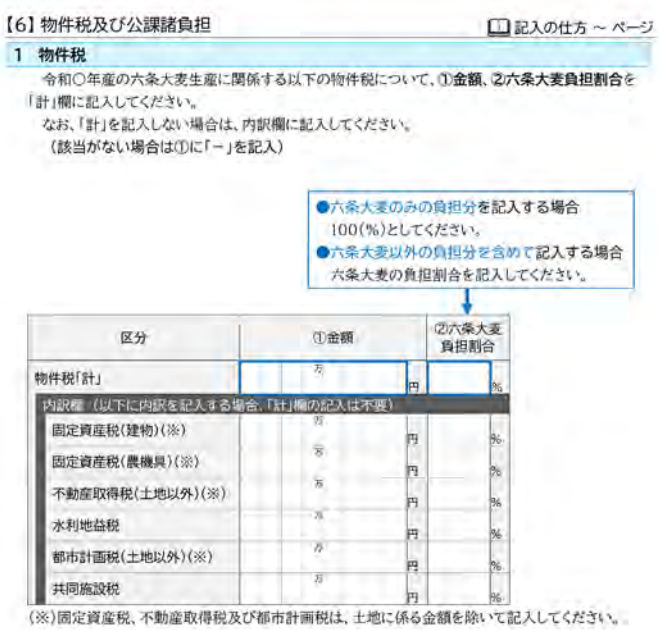
（該当がない場合は①に「－」を記入）

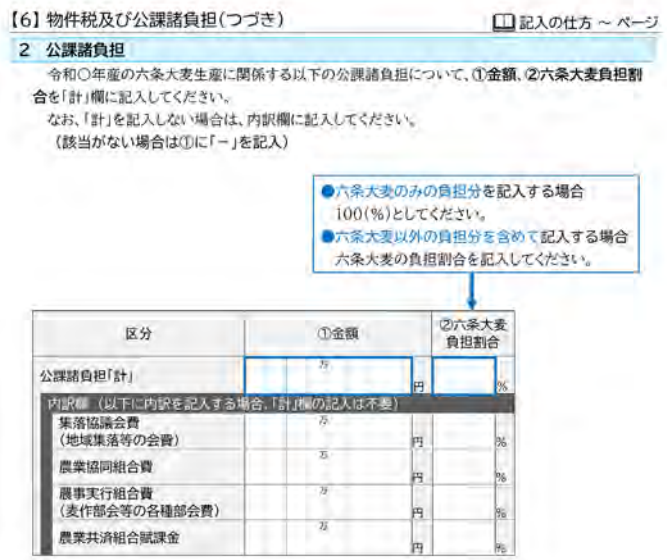
●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

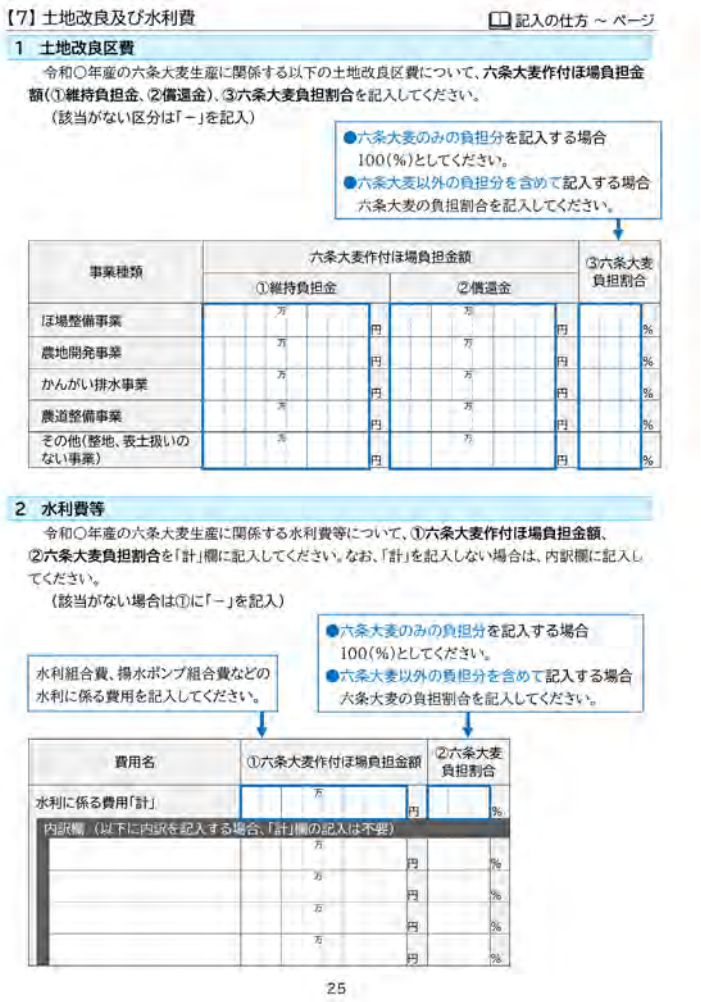
名称	①使用数量分の購入金額	②六条大麦負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

21

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22ページ  【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 2　生産管理関係の費用 令和○年産の六条大麦生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(該当がない場合は①に「－」を記入) ●六条大麦のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合六条大麦に使用した割合を記入してください。 名称 / ①金額 / ②六条大麦負担割合 / 内容例示 生産管理関係の費用「計」 内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品(筆記用具、帳簿、ノート、電卓等)の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料(受講料) ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料 22	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ  【6】物件税及び公課諸負担　記入の仕方 ～ ページ 1　物件税 令和○年産の六条大麦生産に関係する以下の物件税について、**①金額、②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●六条大麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。 ●六条大麦以外の負担分を含めて記入する場合 六条大麦の負担割合を記入してください。 区分 / ①金額 / ②六条大麦負担割合 物件税「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 固定資産税(建物)(※) 固定資産税(農機具)(※) 不動産取得税(土地以外)(※) 水利地益税 都市計画税(土地以外)(※) 共同施設税 (※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。 23	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24ページ  【6】物件税及び公課諸負担（つづき）　記入の仕方 ～ ページ 2　公課諸負担 令和〇年産の六条大麦生産に関係する以下の公課諸負担について、①金額、②六条大麦負担割合を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●六条大麦のみの負担分を記入する場合 100（%）としてください。 ●六条大麦以外の負担分を含めて記入する場合 六条大麦の負担割合を記入してください。 区分 / ①金額 / ②六条大麦負担割合 公課諸負担「計」 万 円 % 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 集落協議会費（地域集落等の会費） 万 円 % 農業協同組合費 万 円 % 農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費） 万 円 % 農業共済組合賦課金 万 円 % 24	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
25ページ 	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ	（新設）	



【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。）
1			年	年	月	億 万 円	万 円
2			年	年	月	億 万 円	万 円
3			年	年	月	億 万 円	万 円
4			年	年	月	億 万 円	万 円
5			年	年	月	億 万 円	万 円
6			年	年	月	億 万 円	万 円
7			年	年	月	億 万 円	万 円
8			年	年	月	億 万 円	万 円
9			年	年	月	億 万 円	万 円
10			年	年	月	億 万 円	万 円

26

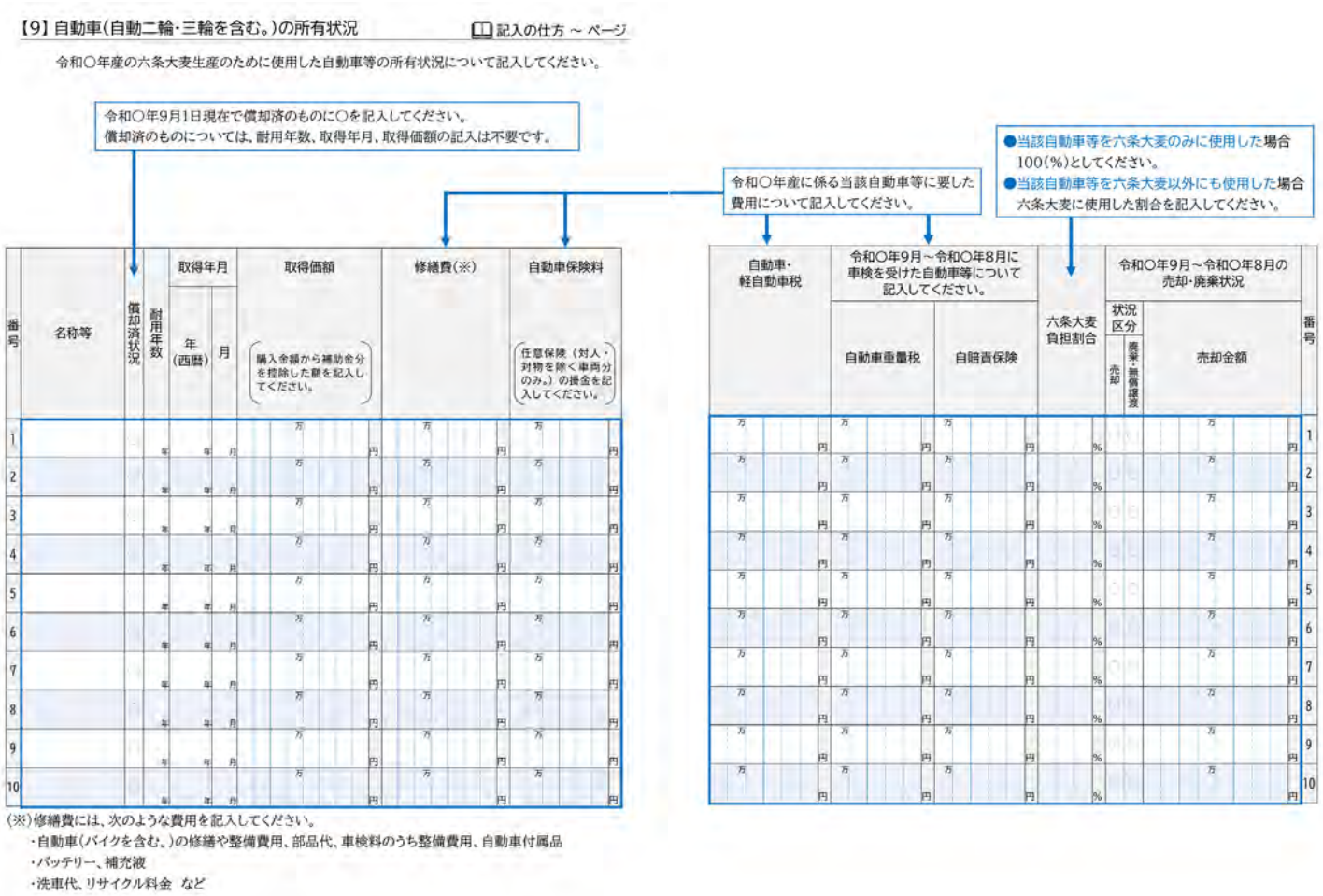
●当該建物等を六条大麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等を六条大麦以外にも使用した場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

修繕費(※)（令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。）	六条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の年内取り壊し・売却状況 状況区分 取り壊し	状況区分 部分取り壊し	状況区分 売却	発生金額（売却金額、取り壊しの金額）	部分取り壊しをした面積割合	番号
万 円	万 円	%				万 円	%	1
万 円	万 円	%				万 円	%	2
万 円	万 円	%				万 円	%	3
万 円	万 円	%				万 円	%	4
万 円	万 円	%				万 円	%	5
万 円	万 円	%				万 円	%	6
万 円	万 円	%				万 円	%	7
万 円	万 円	%				万 円	%	8
万 円	万 円	%				万 円	%	9
万 円	万 円	%				万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

27

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ	（新設）	



【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

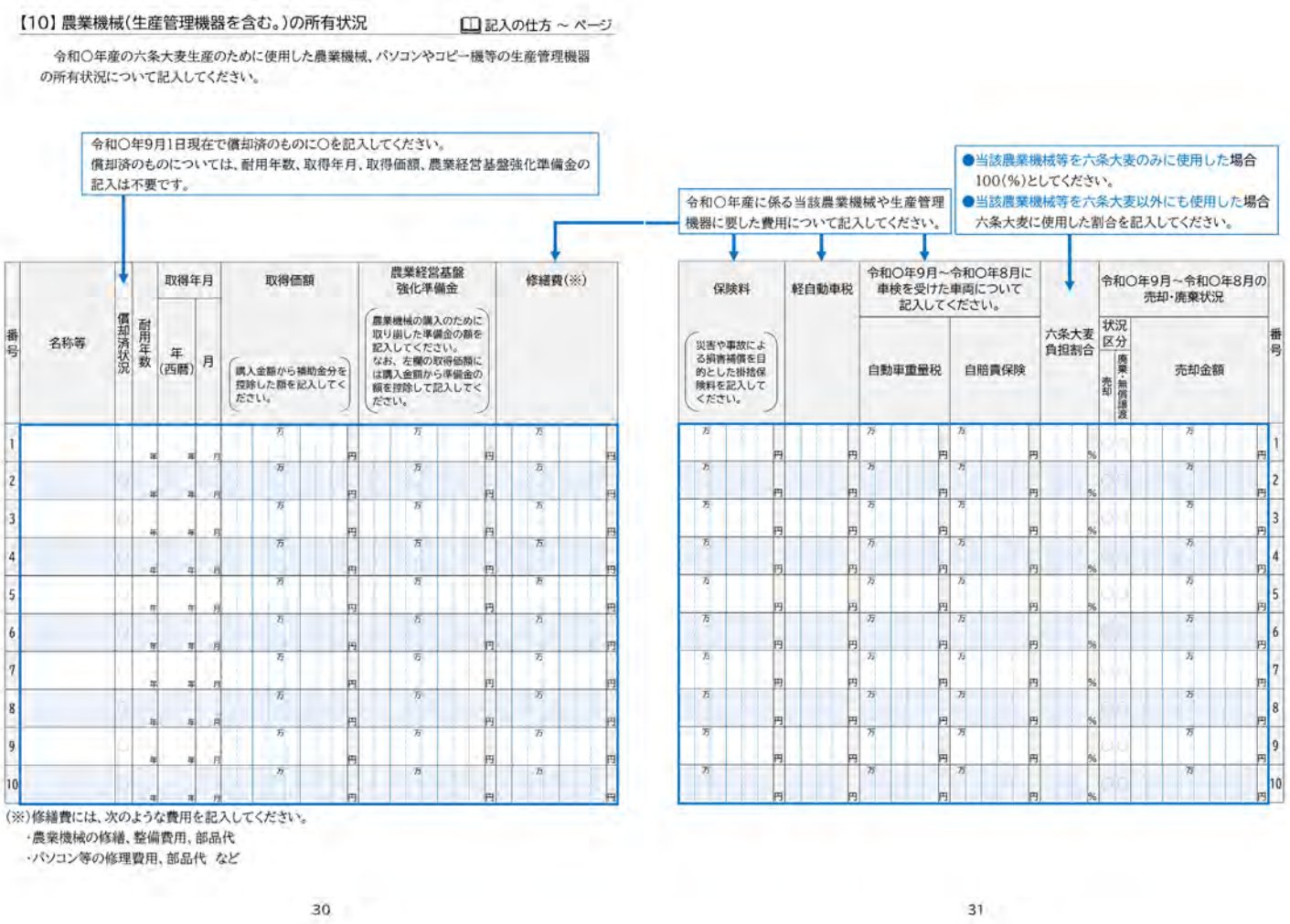
●当該自動車等を六条大麦のみに使用した場合100(%)としてください。
●当該自動車等を六条大麦以外にも使用した場合六条大麦に使用した割合を記入してください。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費(※)	自動車保険料（任意保険（対人・対物を除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。）	自動車・軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険	六条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 状況区分 売却	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 状況区分 廃棄・無償譲渡	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 売却金額	番号
1				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	1
2				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	2
3				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	3
4				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	4
5				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	5
6				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	6
7				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	7
8				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	8
9				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	9
10				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

28　29

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ	（新設）	



【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等を六条大麦のみに使用した場合100(%)としてください。
●当該農業機械等を六条大麦以外にも使用した場合六条大麦に使用した割合を記入してください。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	修繕費(※)
1				年	月	万 円	万 円	万 円
2				年	月	万 円	万 円	万 円
3				年	月	万 円	万 円	万 円
4				年	月	万 円	万 円	万 円
5				年	月	万 円	万 円	万 円
6				年	月	万 円	万 円	万 円
7				年	月	万 円	万 円	万 円
8				年	月	万 円	万 円	万 円
9				年	月	万 円	万 円	万 円
10				年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

30

保険料(災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	六条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 状況区分 売却	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 状況区分 廃業・無償譲渡	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	1
万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	2
万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	3
万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	4
万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	5
万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	6
万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	7
万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	8
万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	9
万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	10

31

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ	（新設）	



【11】土地の面積及び地代　　記入の仕方 ～ ページ

1　作付地

令和〇年産の六条大麦生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤六条大麦負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の六条大麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の六条大麦の収穫が終わる前の１年間に、
●六条大麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める六条大麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤六条大麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	%		
2		ha a	ha a	%		
3		ha a	ha a	%		
4		ha a	ha a	%		
5		ha a	ha a	%		
6		ha a	ha a	%		
7		ha a	ha a	%		
8		ha a	ha a	%		
9		ha a	ha a	%		
10		ha a	ha a	%		
11		ha a	ha a	%		
12		ha a	ha a	%		
13		ha a	ha a	%		
14		ha a	ha a	%		
15		ha a	ha a	%		

32

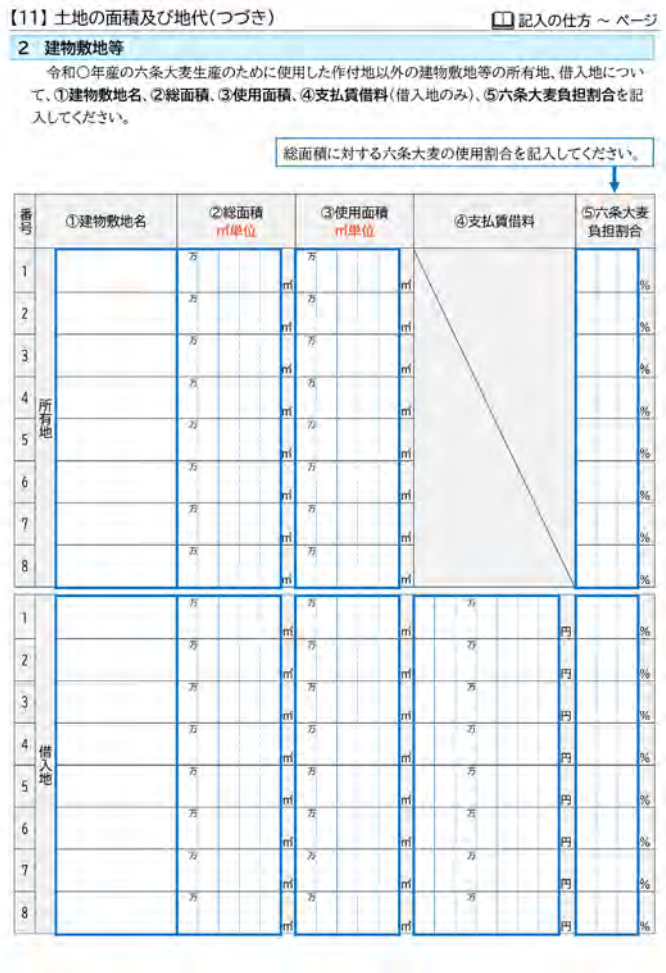
【11】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

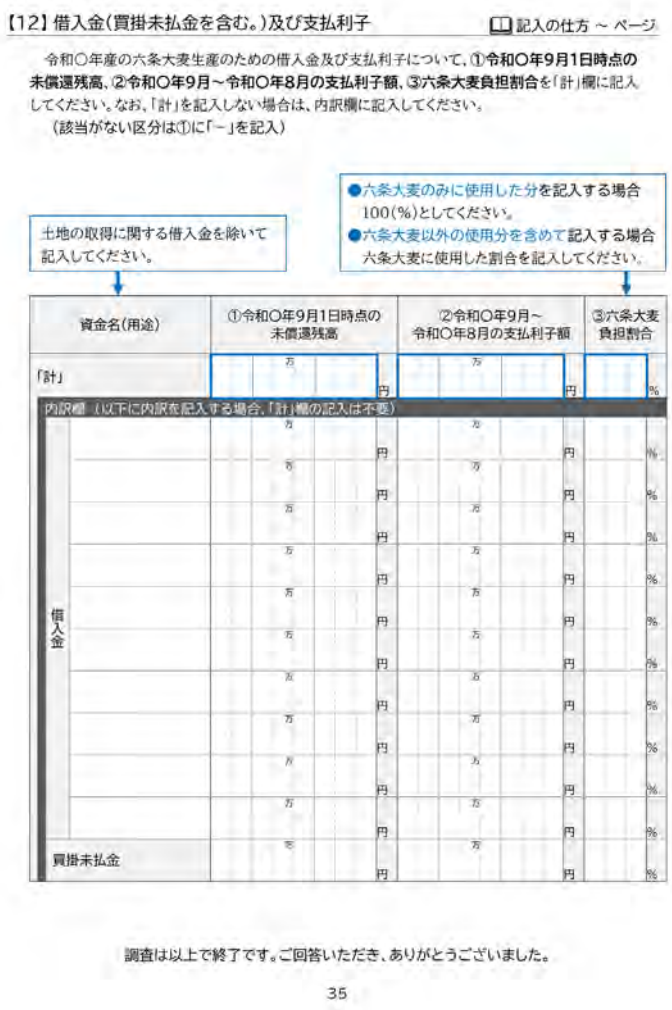
令和〇年産の六条大麦の収穫が終わる前の１年間に、
●六条大麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める六条大麦の収入割合を記入してください。

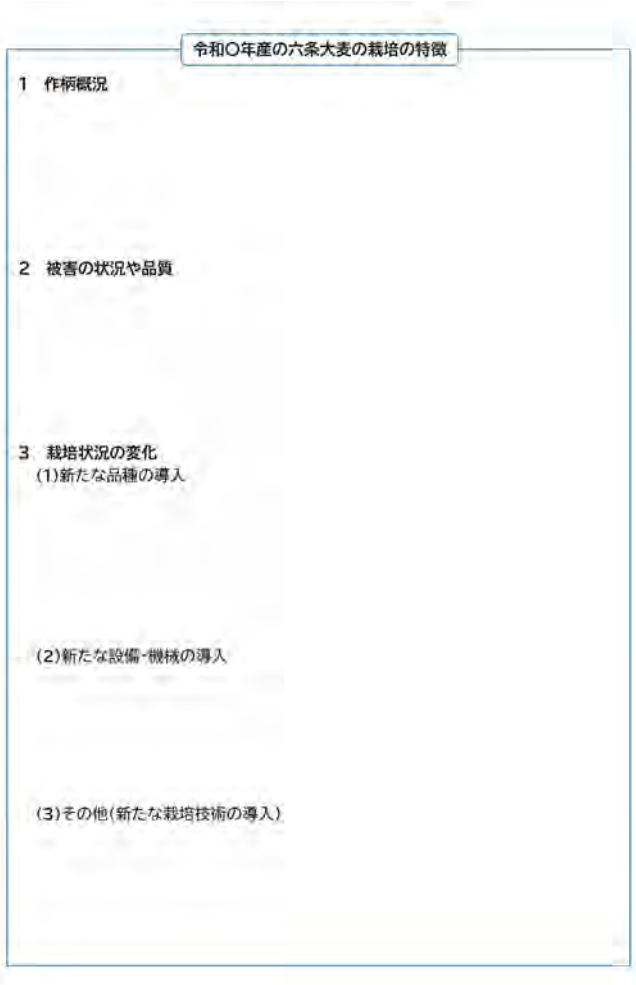
(2) 借入地

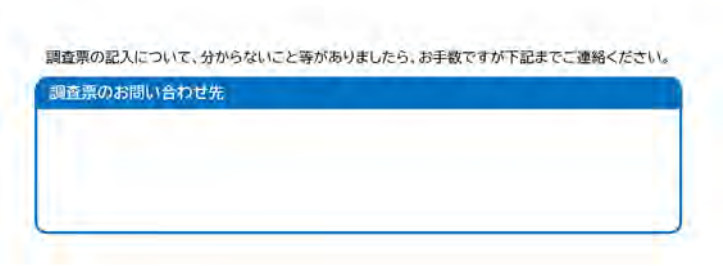
番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤六条大麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	万 円	%		
2		ha a	ha a	万 円	%		
3		ha a	ha a	万 円	%		
4		ha a	ha a	万 円	%		
5		ha a	ha a	万 円	%		
6		ha a	ha a	万 円	%		
7		ha a	ha a	万 円	%		
8		ha a	ha a	万 円	%		
9		ha a	ha a	万 円	%		
10		ha a	ha a	万 円	%		
11		ha a	ha a	万 円	%		
12		ha a	ha a	万 円	%		
13		ha a	ha a	万 円	%		
14		ha a	ha a	万 円	%		
15		ha a	ha a	万 円	%		

33

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ  【11】土地の面積及び地代（つづき）　記入の仕方 ～ ページ 2　建物敷地等 令和○年産の六条大麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料**（借入地のみ）、**⑤六条大麦負担割合**を記入してください。 総面積に対する六条大麦の使用割合を記入してください。 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤六条大麦負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 34	（新設）	

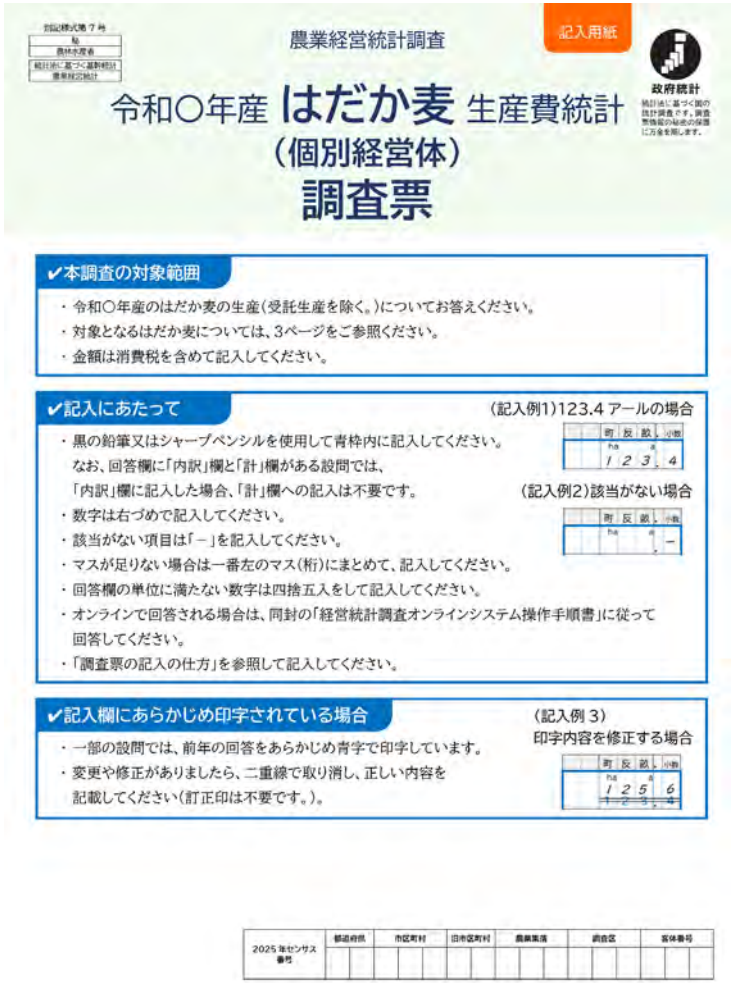
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
35ページ  【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　記入の仕方 ～ページ 令和〇年産の六条大麦生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年9月1日時点の未償還残高、②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額、③六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない区分は①に「－」を記入） 土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。 ●六条大麦のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合六条大麦に使用した割合を記入してください。 資金名(用途) ①令和〇年9月1日時点の未償還残高 ②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額 ③六条大麦負担割合 「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 借入金 買掛未払金 万 円 % 調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。 35	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  	（新設）	

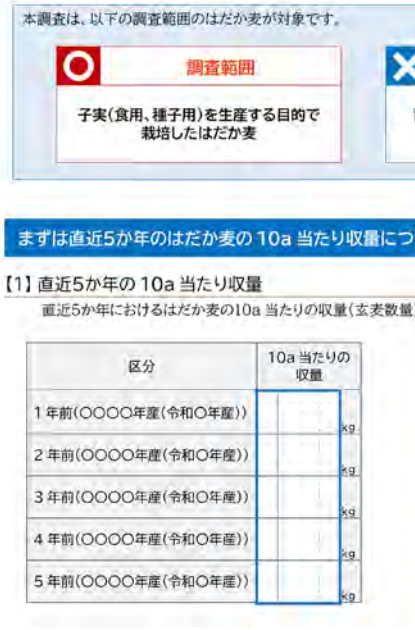
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38ページ  	（新設）	

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　農産物生産費統計（はだか麦（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第７号 １ページ 	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……9 【4】はだか麦生産のために使用した資材等 ……12 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……21 【6】物件税及び公課諸負担 ……23 【7】土地改良及び水利費 ……25 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……26 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……28 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……30 【11】土地の面積及び地代 ……32 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……35	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  本調査は、以下の調査範囲のはだか麦が対象です。 ○ 調査範囲 子実（食用、種子用）を生産する目的で栽培したはだか麦 × 調査範囲外 青刈用とする目的で栽培したもの 受託生産したもの まずは直近5か年のはだか麦の10a当たり収量についてお教えください。 【1】直近5か年の10a当たり収量　記入の仕方 ～ページ 直近5か年におけるはだか麦の10a当たりの収量（玄麦数量）を記入してください。 区分 / 10a当たりの収量 1年前（○○○○年産（令和○年産）） 2年前（○○○○年産（令和○年産）） 3年前（○○○○年産（令和○年産）） 4年前（○○○○年産（令和○年産）） 5年前（○○○○年産（令和○年産）） kg 3	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ	（新設）	



ここからは 令和〇年産のはだか麦生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産のはだか麦生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号		1	2	3	4	5	6
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

4



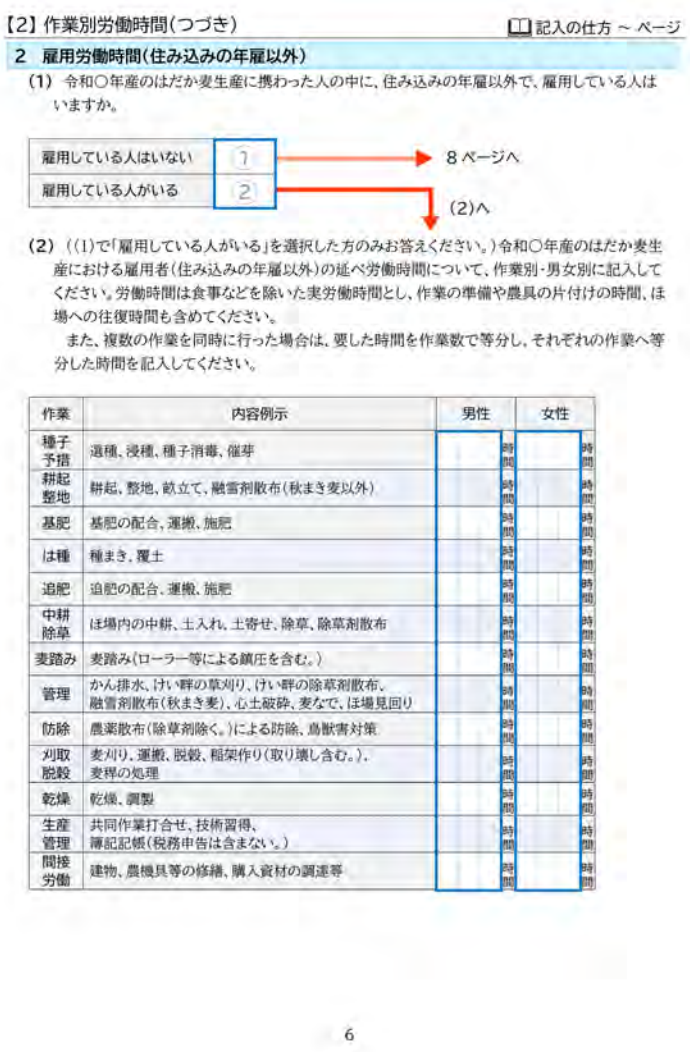
【2】作業別労働時間（つづき）　　記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号		7	8	9	10	11	12
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

5

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～７ページ	（新設）	



【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

2　雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

(1) 令和○年産のはだか麦生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

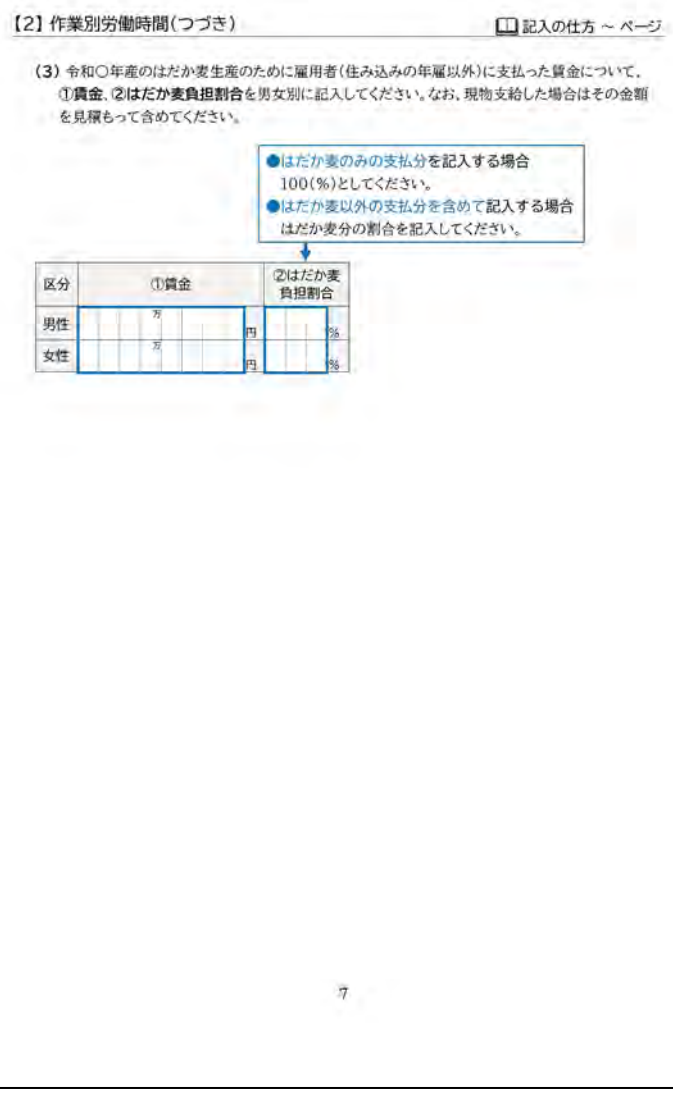
雇用している人はいない	1 → 8ページへ
雇用している人がいる	2 → (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のはだか麦生産における雇用者（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

6



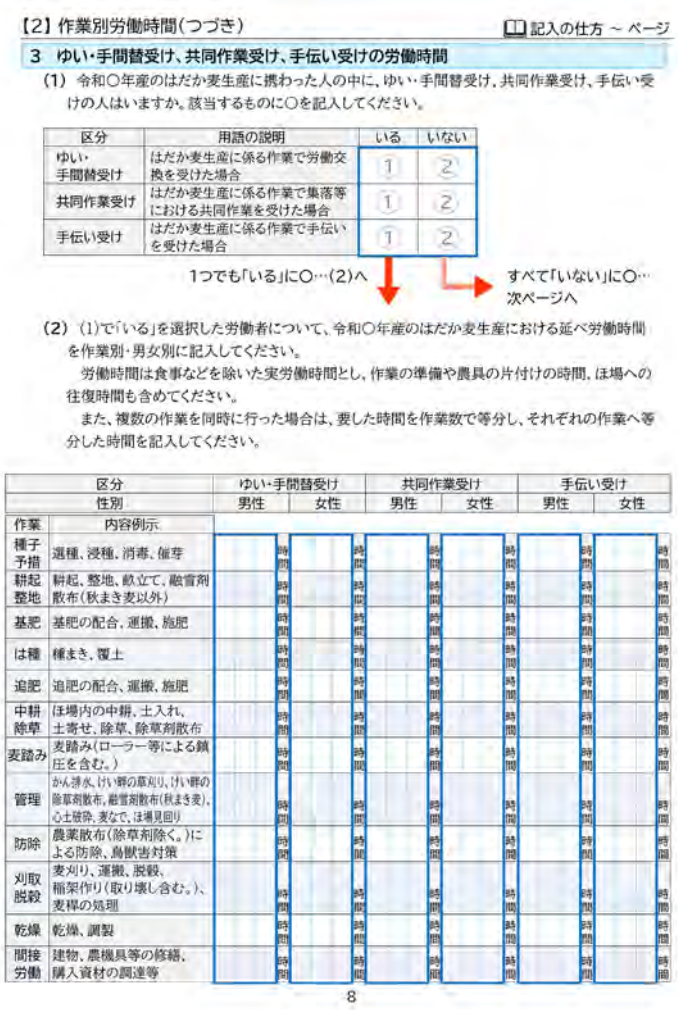
【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

(3) 令和○年産のはだか麦生産のために雇用者（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、**①賃金**、**②はだか麦負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●はだか麦のみの支払分を記入する場合
100（%）としてください。
●はだか麦以外の支払分を含めて記入する場合
はだか麦分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②はだか麦負担割合
男性	万 円	%
女性	万 円	%

7

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
8ページ 	（新設）	

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和○年産のはだか麦生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	はだか麦生産に係る作業で労働交換を受けた場合	1	2
共同作業受け	はだか麦生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	1	2
手伝い受け	はだか麦生産に係る作業で手伝いを受けた場合	1	2

1つでも「いる」に○…(2)へ　　すべて「いない」に○…次ページへ

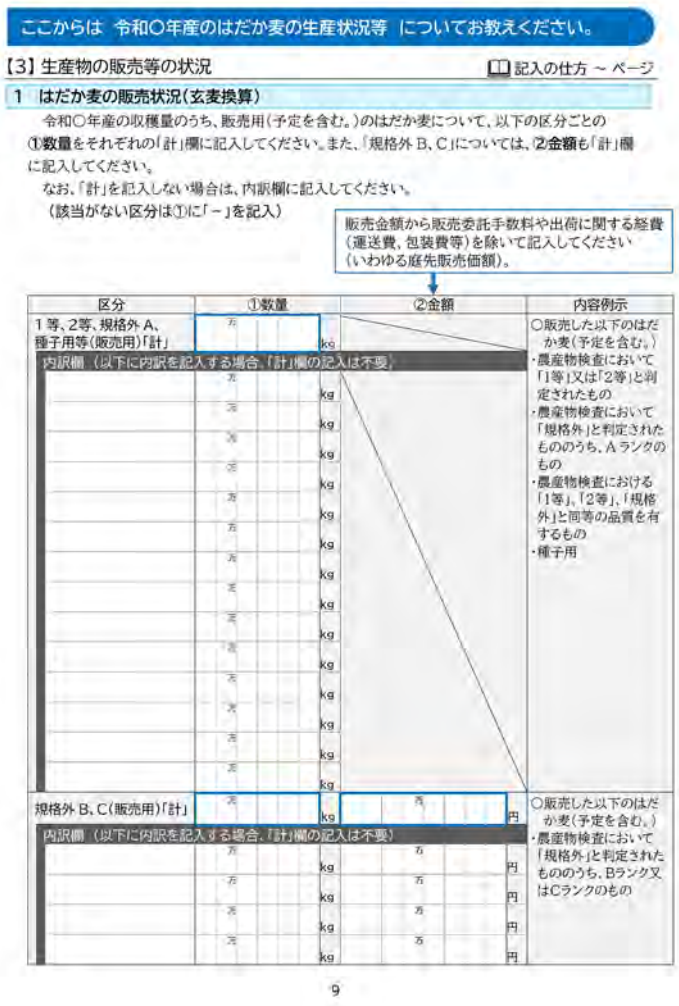
(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産のはだか麦生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。

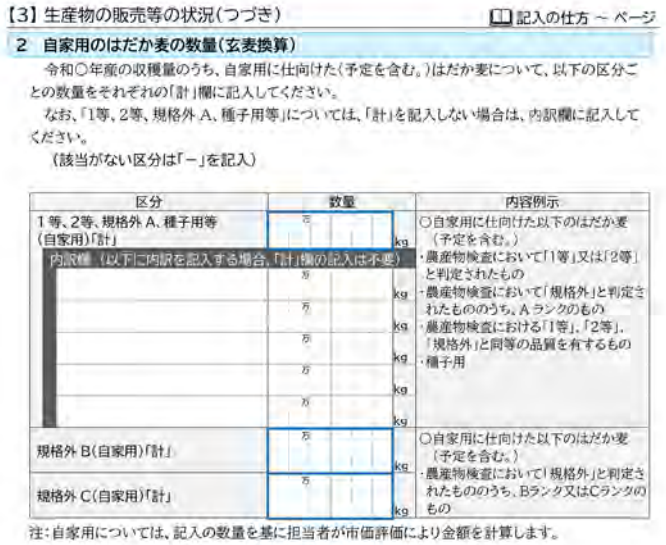
労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦桿の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

8

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ  ここからは　令和〇年産のはだか麦の生産状況等　についてお教えください。 【3】生産物の販売等の状況　　記入の仕方 ～ ページ 1　はだか麦の販売状況（玄麦換算） 令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）のはだか麦について、以下の区分ごとの**①数量**をそれぞれの「計」欄に記入してください。また、「規格外 B、C」については、**②金額**も「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない区分は①に「－」を記入） 販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。 区分 / ①数量 / ②金額 / 内容例示 1等、2等、規格外 A、種子用等（販売用）「計」 内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 内容例示：〇販売した以下のはだか麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用 規格外 B、C（販売用）「計」 内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 内容例示：〇販売した以下のはだか麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、B ランク又は C ランクのもの 9	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ 	（新設）	

【3】生産物の販売等の状況（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

2　自家用のはだか麦の数量（玄麦換算）

令和○年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）はだか麦について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

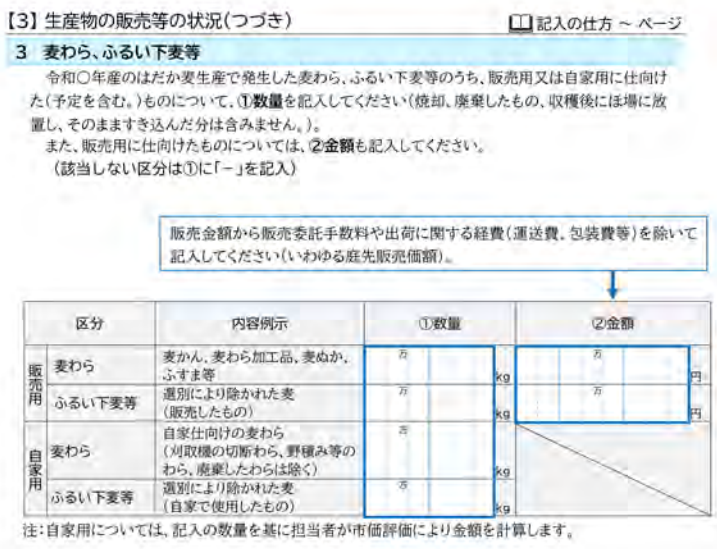
なお、「1等、2等、規格外A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
1等、2等、規格外A、種子用等（自家用）「計」	万 kg	○自家用に仕向けた以下のはだか麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
規格外B（自家用）「計」	万 kg	○自家用に仕向けた以下のはだか麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
規格外C（自家用）「計」	万 kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ 	（新設）	

【3】生産物の販売等の状況（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

3　麦わら、ふるい下麦等

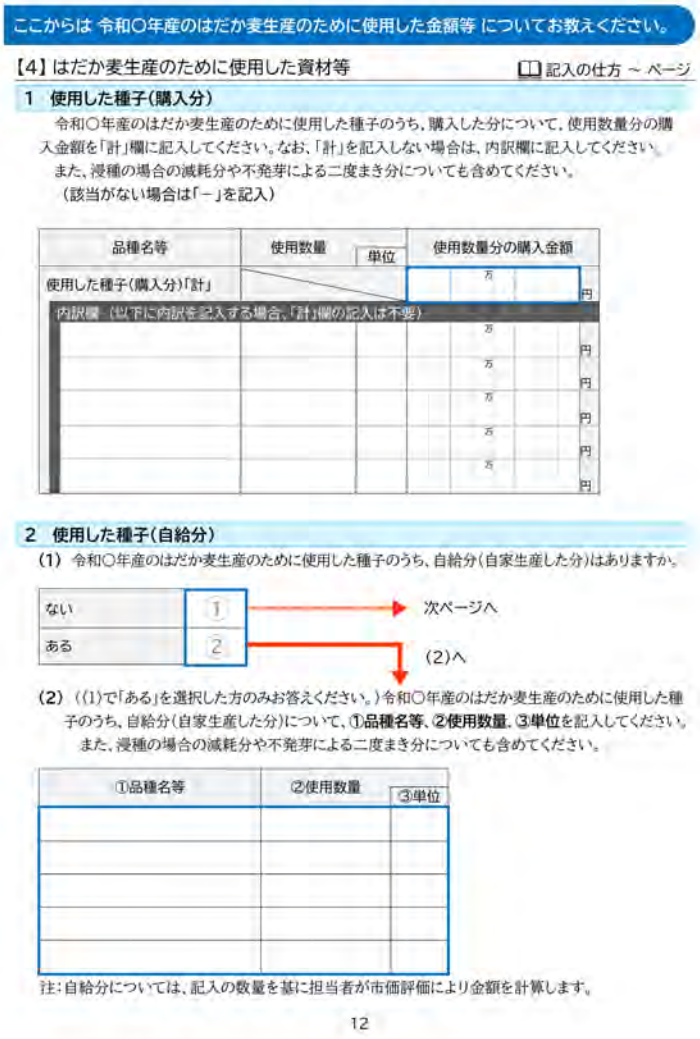
令和○年産のはだか麦生産で発生した麦わら、ふるい下麦等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後に圃場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。
また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。
（該当しない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分		内容例示	①数量	②金額
販売用	麦わら	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	万　kg	万　円
販売用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（販売したもの）	万　kg	万　円
自家用	麦わら	自家仕向けの麦わら（刈取機の切断わら、野積み等のわら、廃棄したわらは除く）	万　kg	
自家用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（自家で使用したもの）	万　kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

11

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ 	（新設）	

ここからは 令和〇年産のはだか麦生産のために使用した金額等 についてお教えください。

【4】はだか麦生産のために使用した資材等　　記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子(購入分)

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した種子のうち，購入した分について，使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお，「計」を記入しない場合は，内訳欄に記入してください。
また，浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。
（該当がない場合は「－」を記入）

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額
使用した種子(購入分)「計」			万 円
内訳欄（以下に内訳を記入する場合，「計」欄の記入は不要）			
			万 円
			万 円
			万 円
			万 円
			万 円

2　使用した種子(自給分)

(1) 令和〇年産のはだか麦生産のために使用した種子のうち，自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	1 → 次ページへ
ある	2 → (2)へ

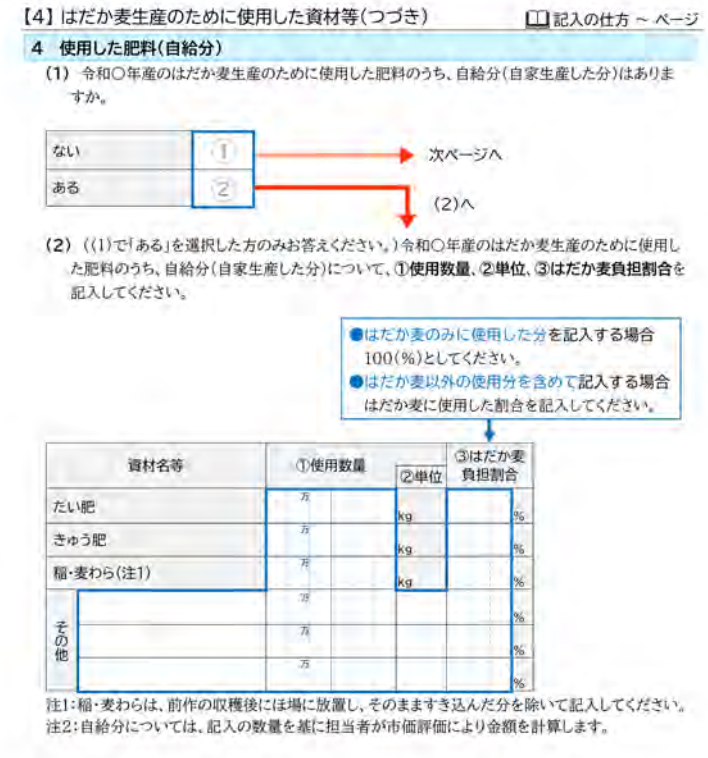
(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のはだか麦生産のために使用した種子のうち，自給分(自家生産した分)について，**①品種名等**，**②使用数量**，**③単位**を記入してください。
また，浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注：自給分については，記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

12

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ  【4】はだか麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 3　使用した肥料(購入分) 令和○年産のはだか麦生産のために使用した肥料のうち，購入した分について，**①使用数量分の購入金額**，**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお，「計」を記入しない場合は，内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●はだか麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合 はだか麦に使用した割合を記入してください。 資材名等 / 使用数量 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②はだか麦負担割合 / 内容例示 使用した肥料(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合，「計」欄の記入は不要) 内容例示：・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など 注：融雪剤として使用した分は，18～19 ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。 13	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ 	（新設）	

【4】はだか麦生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

4　使用した肥料（自給分）

（1）令和〇年産のはだか麦生産のために使用した肥料のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。

ない	1	→ 次ページへ
ある	2	→ （2）へ

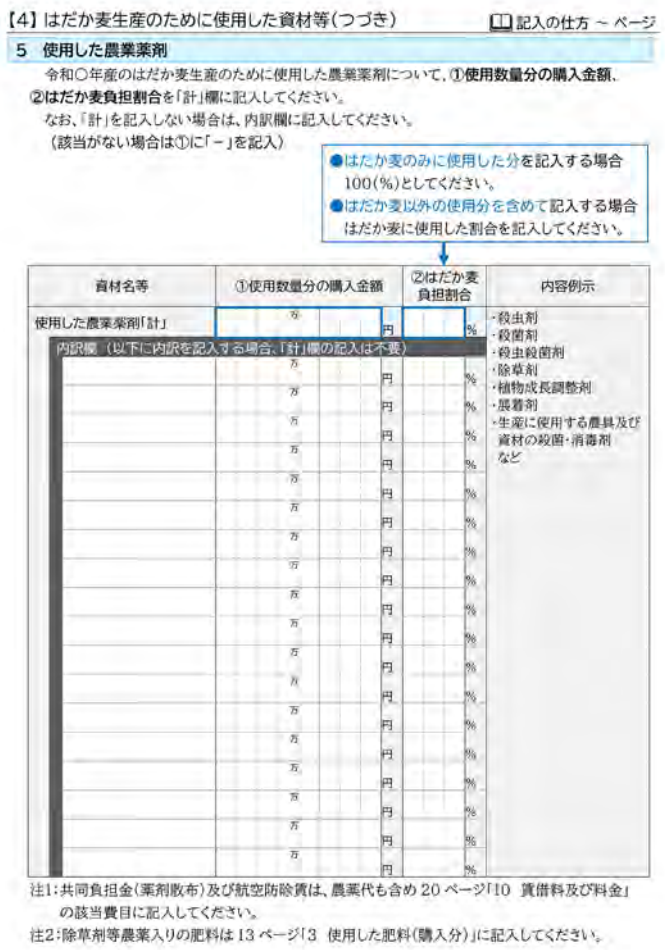
（2）（（1）で「ある」を選択した方のみお答えください。）令和〇年産のはだか麦生産のために使用した肥料のうち、自給分（自家生産した分）について、**①使用数量、②単位、③はだか麦負担割合**を記入してください。

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量	②単位	③はだか麦負担割合
だい肥	万	kg	%
きゅう肥	万	kg	%
稲・麦わら（注1）	万	kg	%
その他	万		%
	万		%
	万		%

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

14

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ 	（新設）	

【4】はだか麦生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ページ

5　使用した農業薬剤

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した農業薬剤について，**①使用数量分の購入金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②はだか麦負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万 円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め 20 ページ「10　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。
注2：除草剤等農薬入りの肥料は 13 ページ「3　使用した肥料（購入分）」に記入してください。

15

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ 	（新設）	

【4】はだか麦生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ページ

6　使用した光熱動力（購入分）

令和○年産のはだか麦生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

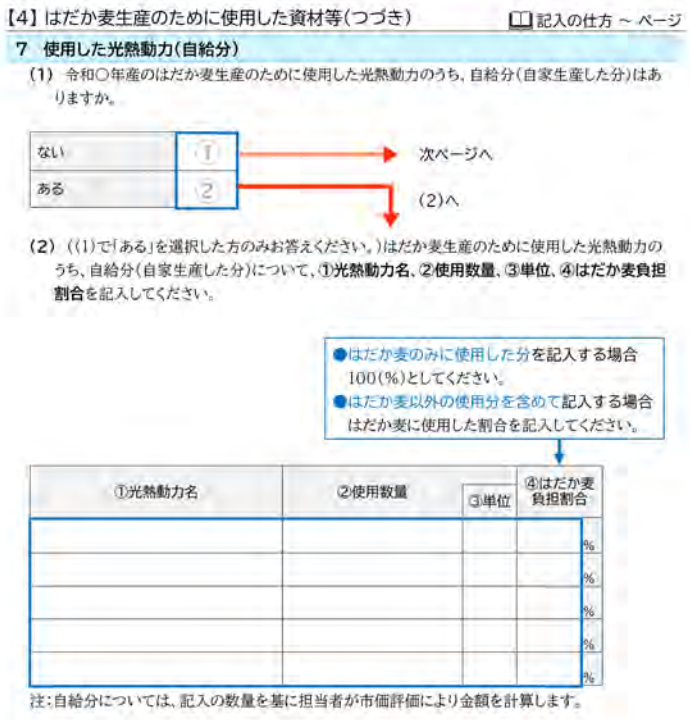
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

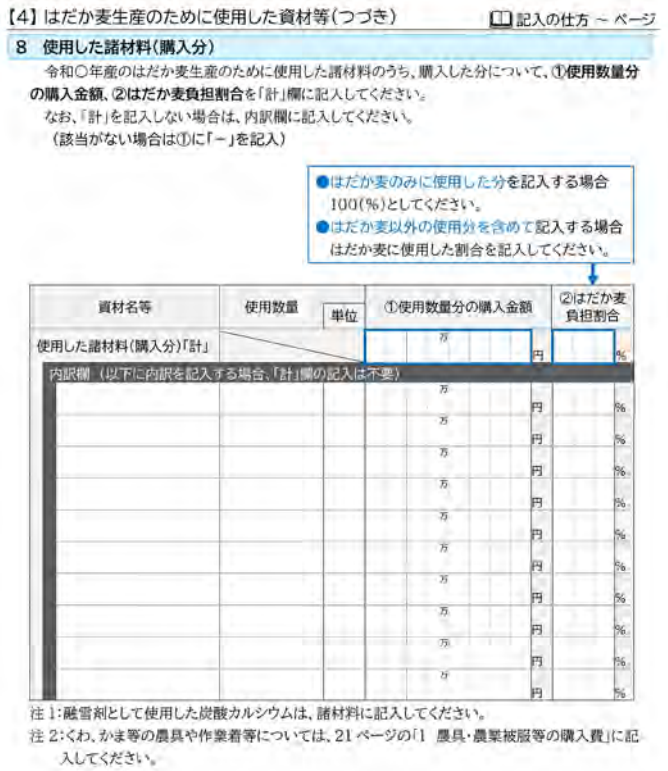
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②はだか麦負担割合
使用した光熱動力（購入分）「計」				万	円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）						
動力燃料	重油		L	万	円	%
	軽油		L	万	円	%
	灯油		L	万	円	%
	ガソリン		L	万	円	%
	潤滑油		L	万	円	%
	混合油		L	万	円	%
電力料				万	円	%
その他（水道料、木炭などの燃料）				万	円	%

16

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ  【4】はだか麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 7　使用した光熱動力(自給分) (1)　令和〇年産のはだか麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)はだか麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④はだか麦負担割合**を記入してください。 ●はだか麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合 はだか麦に使用した割合を記入してください。 ①光熱動力名 / ②使用数量 / ③単位 / ④はだか麦負担割合 % 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 17	(新設)	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ 	（新設）	

【4】はだか麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

8　使用した諸材料(購入分)

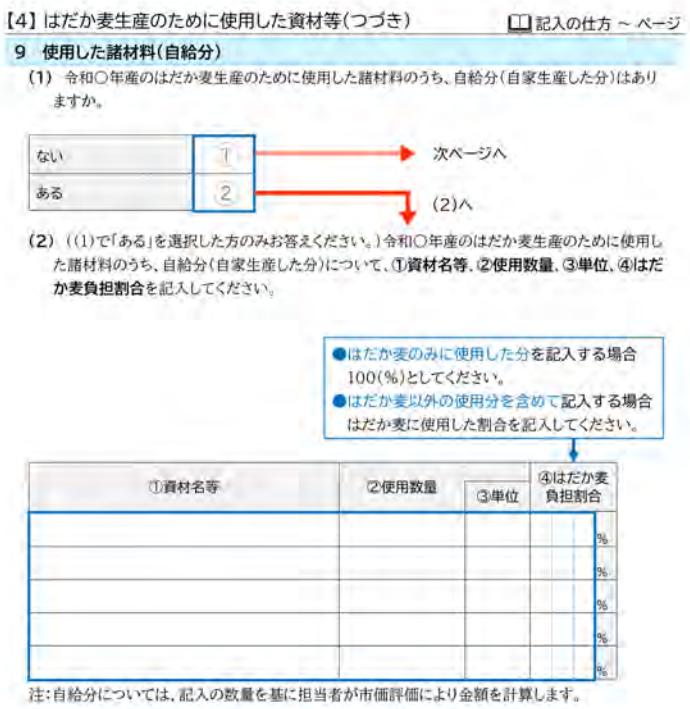
令和○年産のはだか麦生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②はだか麦負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）				
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%

注 1：融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。
注 2：くわ、かま等の農具や作業着等については、21 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

18

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ 	（新設）	

【4】はだか麦生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

9　使用した諸材料（自給分）

(1)　令和〇年産のはだか麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。

ない	1	→ 次ページへ
ある	2	→ (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。）令和〇年産のはだか麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）について、**①資材名等、②使用数量、③単位、④はだか麦負担割合**を記入してください。

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合はだか麦に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④はだか麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

19

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ 	（新設）	

【4】はだか麦生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

10　賃借料及び料金

令和〇年産のはだか麦生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●はだか麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の支払分を含めて記入する場合
はだか麦分の割合を記入してください。

料金名等		数量等 単位	①支払金額		②はだか麦負担割合
賃借料及び料金「計」			万	円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）					
負担金 共同	薬剤散布(※1)		万	円	%
負担金 共同	共同施設		万	円	%
農機具借料			万	円	%
航空防除賃(※1)		a	万	円	%
賃耕料		a	万	円	%
は種・定植料		a	万	円	%
収穫請負わせ賃		a	万	円	%
乾燥・調製委託料(※2)		kg	万	円	%
その他			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%
			万	円	%

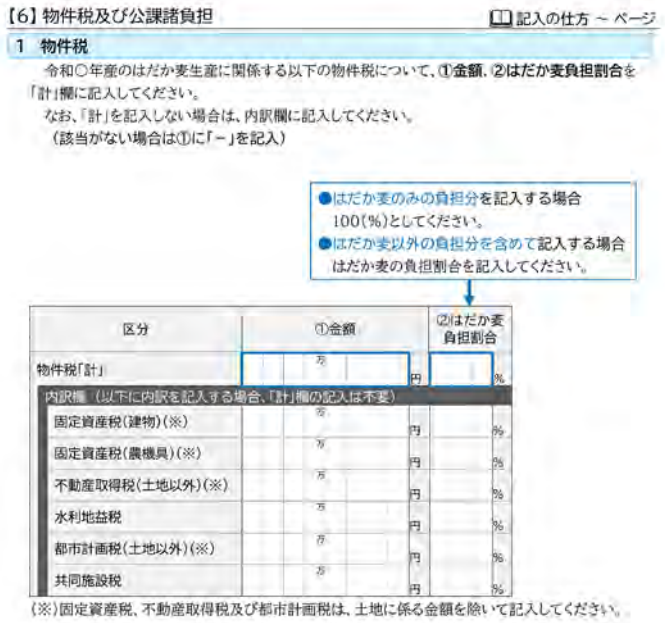
(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

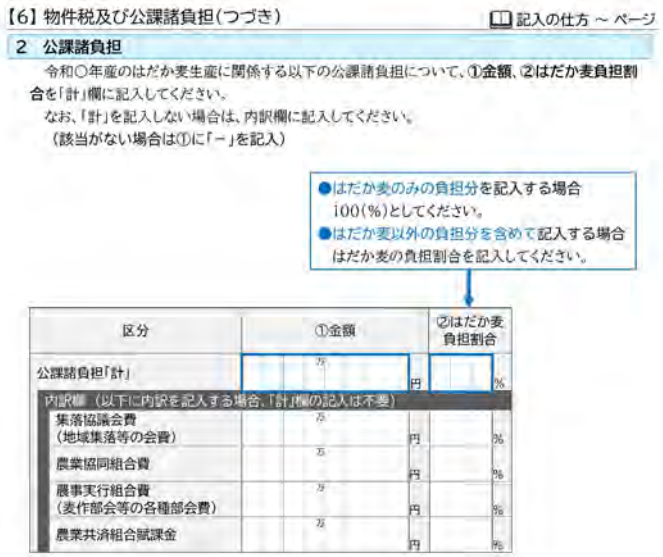
(※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

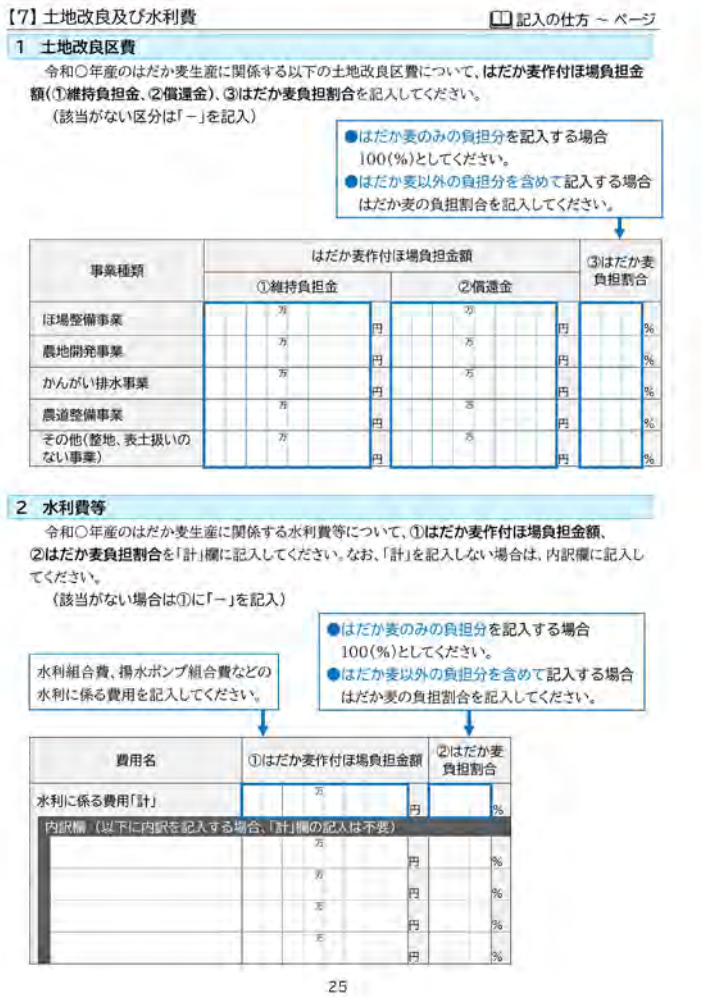
20

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21ページ  【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等　記入の仕方 ～ページ 1　農具・農業被服等の購入費 令和〇年産のはだか麦生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●はだか麦のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合はだか麦に使用した割合を記入してください。 名称 / ①使用数量分の購入金額 / ②はだか麦負担割合 / 内容例示 農具・農業被服等の購入費「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費 21	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22ページ  【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等（つづき）　記入の仕方 ～ページ 2　生産管理関係の費用 令和〇年産のはだか麦生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入） ●はだか麦のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合はだか麦に使用した割合を記入してください。 名称 / ①金額 / ②はだか麦負担割合 / 内容例示 生産管理関係の費用「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料 22	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ  【6】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ページ 1　物件税 令和○年産のはだか麦生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●はだか麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。 ●はだか麦以外の負担分を含めて記入する場合 はだか麦の負担割合を記入してください。 区分 / ①金額 / ②はだか麦負担割合 物件税「計」 万 円 % 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 固定資産税(建物)(※) 万 円 % 固定資産税(農機具)(※) 万 円 % 不動産取得税(土地以外)(※) 万 円 % 水利地益税 万 円 % 都市計画税(土地以外)(※) 万 円 % 共同施設税 万 円 % (※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。 23	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24ページ  【6】物件税及び公課諸負担（つづき）　記入の仕方 ～ ページ 2　公課諸負担 令和○年産のはだか麦生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額、②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●はだか麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。 ●はだか麦以外の負担分を含めて記入する場合 はだか麦の負担割合を記入してください。 区分 / ①金額 / ②はだか麦負担割合 公課諸負担「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 集落協議会費（地域集落等の会費） 農業協同組合費 農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費） 農業共済組合賦課金 24	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
25ページ  【7】土地改良及び水利費　記入の仕方 ～ページ 1　土地改良区費 令和○年産のはだか麦生産に関係する以下の土地改良区費について、**はだか麦作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③はだか麦負担割合**を記入してください。 （該当がない区分は「－」を記入） ●はだか麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。 ●はだか麦以外の負担分を含めて記入する場合 はだか麦の負担割合を記入してください。 事業種類 / はだか麦作付ほ場負担金額 ①維持負担金 / ②償還金 / ③はだか麦負担割合 ほ場整備事業 農地開発事業 かんがい排水事業 農道整備事業 その他(整地、表土扱いのない事業) 2　水利費等 令和○年産のはだか麦生産に関係する水利費等について、**①はだか麦作付ほ場負担金額、②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） 水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。 ●はだか麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。 ●はだか麦以外の負担分を含めて記入する場合 はだか麦の負担割合を記入してください。 費用名 / ①はだか麦作付ほ場負担金額 / ②はだか麦負担割合 水利に係る費用「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 25	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ	（新設）	



【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。）
1			年	年	月	億 万 円	万 円
2			年	年	月	億 万 円	万 円
3			年	年	月	億 万 円	万 円
4			年	年	月	億 万 円	万 円
5			年	年	月	億 万 円	万 円
6			年	年	月	億 万 円	万 円
7			年	年	月	億 万 円	万 円
8			年	年	月	億 万 円	万 円
9			年	年	月	億 万 円	万 円
10			年	年	月	億 万 円	万 円

26

●当該建物等をはだか麦のみに使用した場合 100(%)としてください。
●当該建物等をはだか麦以外にも使用した場合 はだか麦に使用した割合を記入してください。

修繕費（※）（令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。）	はだか麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の年内取り壊し・売却状況 状況区分 取り壊し	部分取り壊し	売却	発生金額（売却金額、取り壊しの金額）	部分取り壊しをした面積割合	番号
万 円	万 円	%				万 円	%	1
万 円	万 円	%				万 円	%	2
万 円	万 円	%				万 円	%	3
万 円	万 円	%				万 円	%	4
万 円	万 円	%				万 円	%	5
万 円	万 円	%				万 円	%	6
万 円	万 円	%				万 円	%	7
万 円	万 円	%				万 円	%	8
万 円	万 円	%				万 円	%	9
万 円	万 円	%				万 円	%	10

（※）修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

27

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ 	（新設）	

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費(※)	自動車保険料（任意保険（対人・対物を除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。）
1			年	年	月	万 円	万 円	万 円
2			年	年	月	万 円	万 円	万 円
3			年	年	月	万 円	万 円	万 円
4			年	年	月	万 円	万 円	万 円
5			年	年	月	万 円	万 円	万 円
6			年	年	月	万 円	万 円	万 円
7			年	年	月	万 円	万 円	万 円
8			年	年	月	万 円	万 円	万 円
9			年	年	月	万 円	万 円	万 円
10			年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

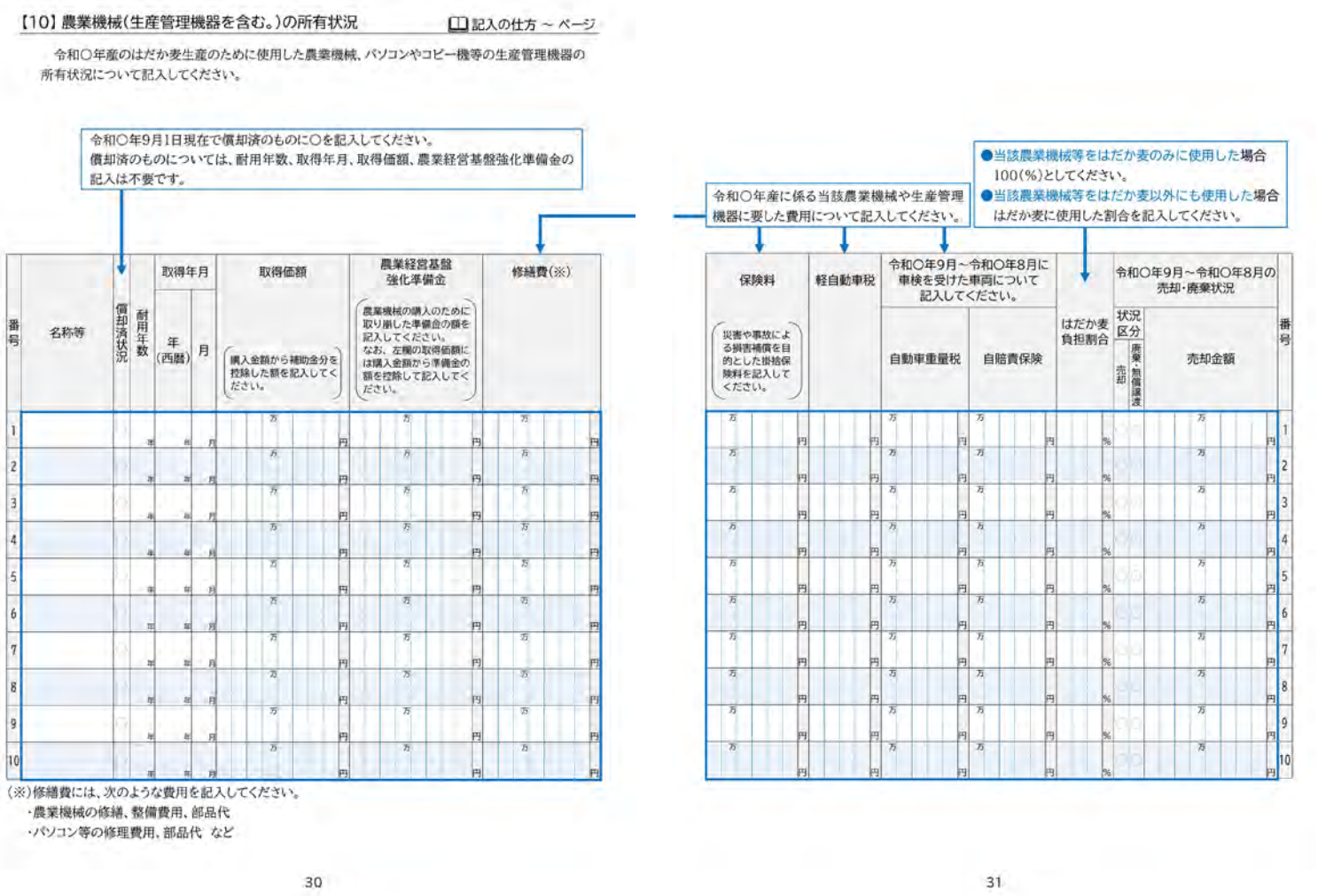
28

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等をはだか麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等をはだか麦以外にも使用した場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税	自賠責保険	はだか麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃業状況 状況区分 売却	状況区分 廃業・無償譲渡	売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	%			万 円	1
万 円	万 円	万 円	%			万 円	2
万 円	万 円	万 円	%			万 円	3
万 円	万 円	万 円	%			万 円	4
万 円	万 円	万 円	%			万 円	5
万 円	万 円	万 円	%			万 円	6
万 円	万 円	万 円	%			万 円	7
万 円	万 円	万 円	%			万 円	8
万 円	万 円	万 円	%			万 円	9
万 円	万 円	万 円	%			万 円	10

29

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ 	（新設）	

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等をはだか麦のみに使用した場合100(%)としてください。
●当該農業機械等をはだか麦以外にも使用した場合はだか麦に使用した割合を記入してください。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	修繕費(※)	保険料(災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	はだか麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 状況区分 売却	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 状況区分 廃棄・無償譲渡	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況 売却金額	番号
1				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	1
2				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	2
3				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	3
4				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	4
5				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	5
6				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	6
7				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	7
8				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	8
9				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	9
10				年	月	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	万 円	%			万 円	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

30　31

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ  	（新設）	

【11】土地の面積及び地代　　記入の仕方 ～ ページ

1　作付地

令和〇年産のはだか麦生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤はだか麦負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のはだか麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産のはだか麦の収穫が終わる前の１年間に、
●はだか麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるはだか麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤はだか麦負担割合	⑥地目 田 畑
1		ha a	ha a	%	○ ○
2		ha a	ha a	%	○ ○
3		ha a	ha a	%	○ ○
4		ha a	ha a	%	○ ○
5		ha a	ha a	%	○ ○
6		ha a	ha a	%	○ ○
7		ha a	ha a	%	○ ○
8		ha a	ha a	%	○ ○
9		ha a	ha a	%	○ ○
10		ha a	ha a	%	○ ○
11		ha a	ha a	%	○ ○
12		ha a	ha a	%	○ ○
13		ha a	ha a	%	○ ○
14		ha a	ha a	%	○ ○
15		ha a	ha a	%	○ ○

32

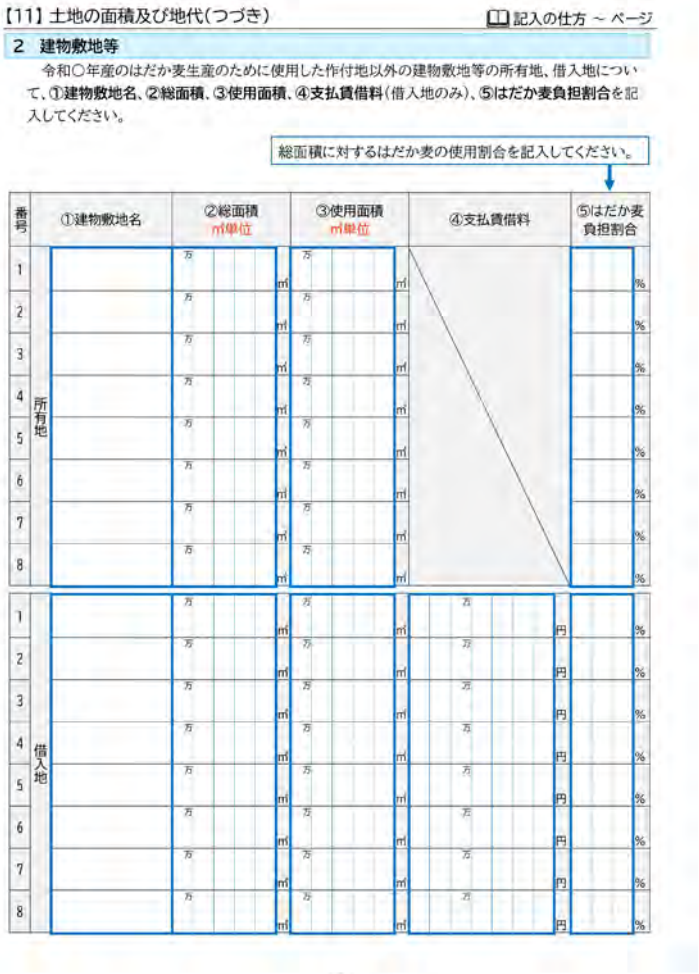
【11】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のはだか麦の収穫が終わる前の１年間に、
●はだか麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるはだか麦の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤はだか麦負担割合	⑥地目 田 畑
1		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
2		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
3		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
4		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
5		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
6		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
7		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
8		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
9		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
10		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
11		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
12		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
13		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
14		ha a	ha a	万 円	%	○ ○
15		ha a	ha a	万 円	%	○ ○

33

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ 	（新設）	

【11】土地の面積及び地代（つづき）　　記入の仕方 ～ ページ

2　建物敷地等

令和○年産のはだか麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料（借入地のみ）、⑤はだか麦負担割合を記入してください。

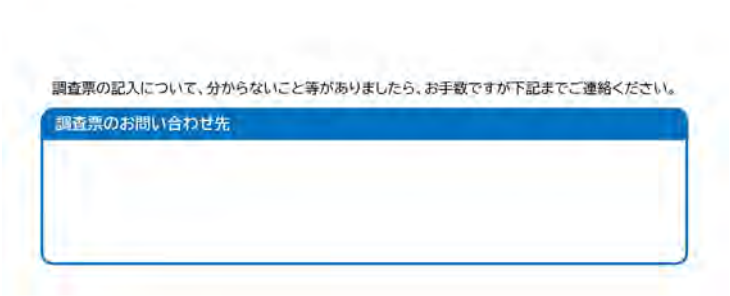
総面積に対するはだか麦の使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤はだか麦負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

34

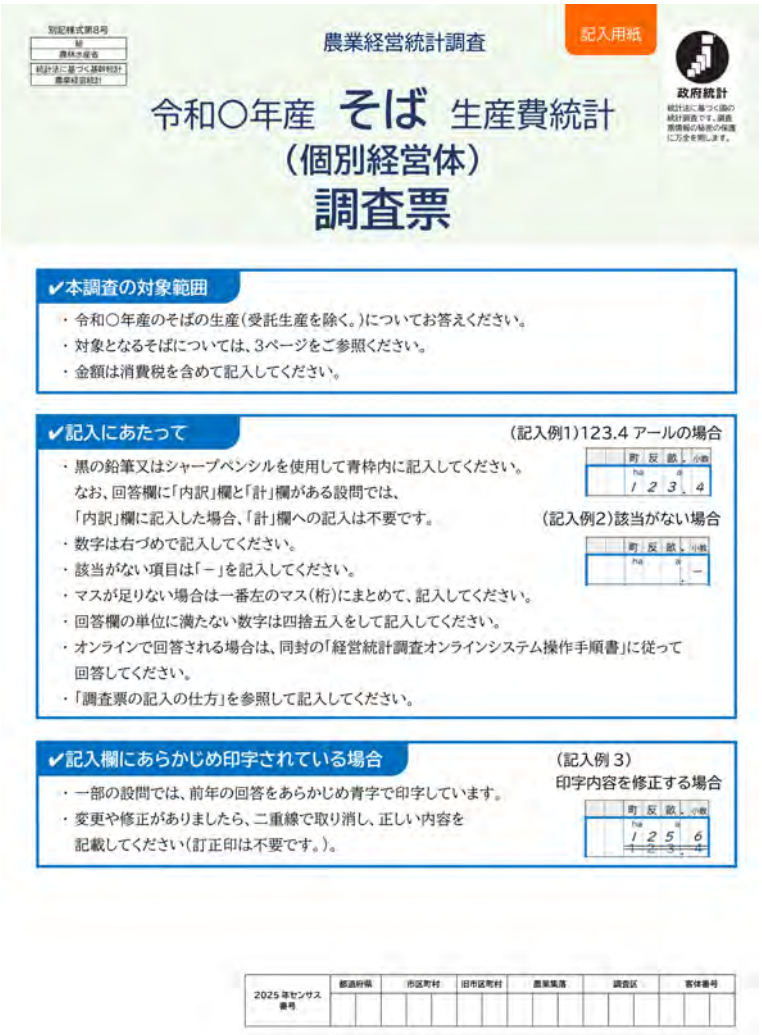
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
35ページ  【12】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子　　記入の仕方 ～ ページ 令和〇年産のはだか麦生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年9月1日時点の未償還残高、②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額、③はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない区分は①に「－」を記入） 土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。 ●はだか麦のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合はだか麦に使用した割合を記入してください。 資金名(用途) / ①令和〇年9月1日時点の未償還残高 / ②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額 / ③はだか麦負担割合 「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 借入金 買掛未払金 万 円 / 万 円 / % 調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。 35	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  	（新設）	

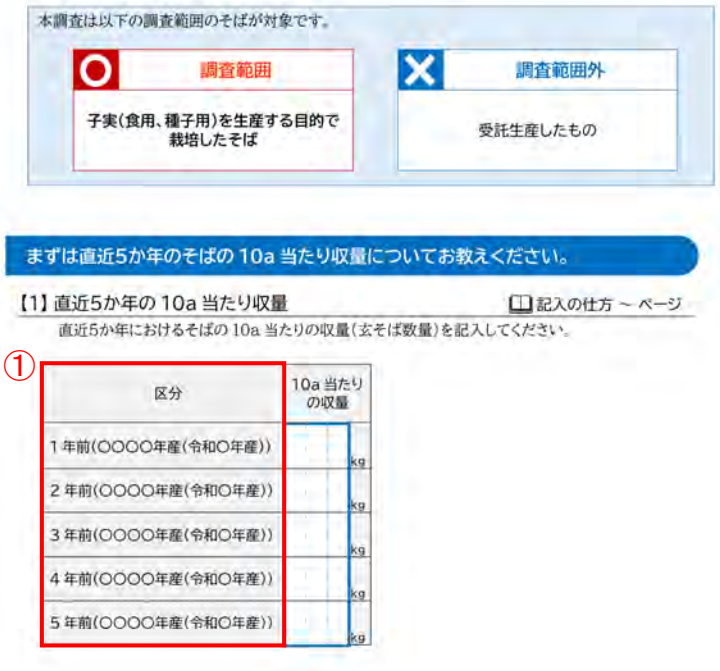
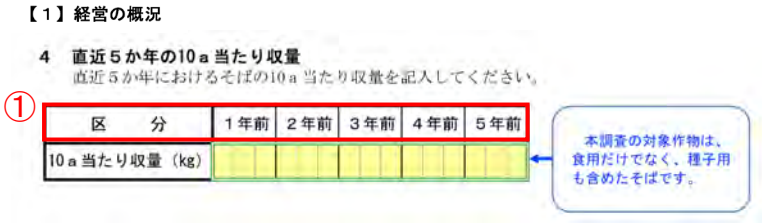
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38ページ  	（新設）	

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　農産物生産費統計（そば（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第８号 １ページ  	別記様式第５号 １ページ  	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 ① 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……9 【4】そば生産のために使用した資材等 ……11 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……20 【6】物件税及び公課諸負担 ……22 【7】土地改良及び水利費 ……23 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……24 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……26 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……28 【11】土地の面積及び地代 ……30 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……33	３ページ 調　査　事　項 ① ページ 【1】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、そば生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。 【2】 生産物の販売等の状況 …… 4 そばの品質・用途別の販売状況等、選別により除かれたそば等の状況について記入してください。 【3】 そばの生産のために使用した資材等 …… 5 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。 【4】 物件税及び公課諸負担 …… 8 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【5】 土地改良及び水利費 …… 8 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。 【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8 借入金残高、支払利子について記入してください。 【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 13 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 14 家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は35～37ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  	３ページ  	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更(以下同じ) 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化(以下同じ) 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更(以下同じ) 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、そばの調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ（変更前14ページと対比） ①		①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 家族労働時間」と「2 雇用労働時間」を統合して設定していた設問を「1 家族や住み込みの年雇の労働時間」、「2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）」、「3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間」に設問を分離 ②氏名に限定せず、作業者を特定可能な記入欄へ変更

ここからは 令和〇年産のそば生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ ページ

1 家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産のそば生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号	1	2	3	4	5	6
② 作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年1月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業 / 内容例示						
耕起整地 / 耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥 / 基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種 / 種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥 / 追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草 / ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理 / かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除 / 農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀 / 収穫、運搬、脱穀	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥 / 乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理 / 共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働 / 建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

4

つづく

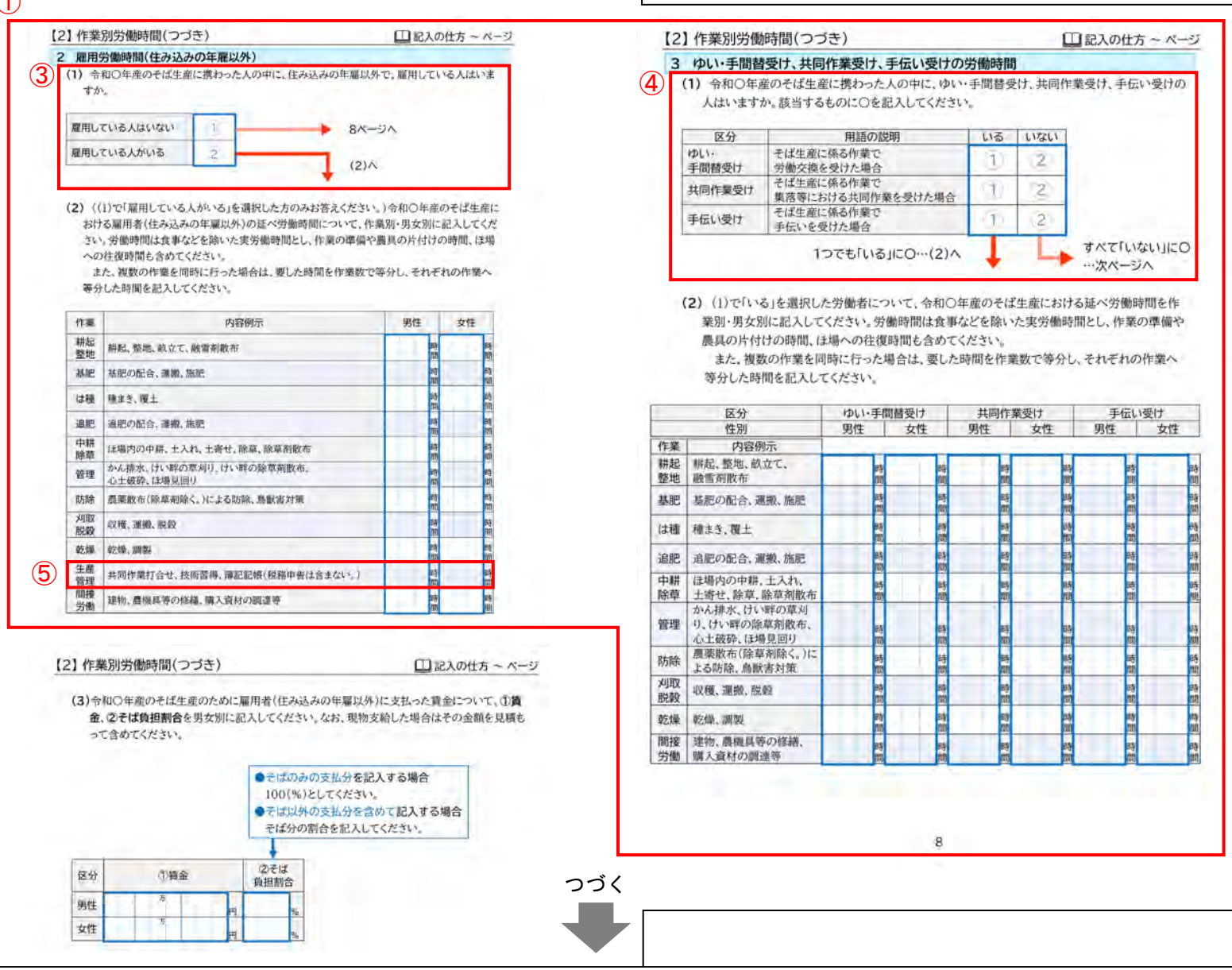
【2】作業別労働時間（つづき）　　記入の仕方 ～ ページ

1 家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号	7	8	9	10	11	12
② 作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年1月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業 / 内容例示						
耕起整地 / 耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥 / 基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種 / 種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥 / 追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草 / ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理 / かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除 / 農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀 / 収穫、運搬、脱穀	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥 / 乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理 / 共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働 / 建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

5

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～８ページ（変更前14ページと対比） ①		①同上 ③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、住み込みの年雇以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人の有無を確認する設問を追加 ⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加



【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

2　雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

③ (1) 令和○年産のそば生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	1	→ 8ページへ
雇用している人がいる	2	→ (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。) 令和○年産のそば生産における雇用者（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間
⑤ 生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

(3) 令和○年産のそば生産のために雇用者（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、**①賃金、②そば負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●そばのみの支払分を記入する場合
100（%）としてください。
●そば以外の支払分を含めて記入する場合
そば分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②そば負担割合
男性	万　千　円	%
女性	万　千　円	%

つづく

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

④ (1) 令和○年産のそば生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	そば生産に係る作業で労働交換を受けた場合	1	2
共同作業受け	そば生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	1	2
手伝い受け	そば生産に係る作業で手伝いを受けた場合	1	2

1つでも「いる」に○…(2)へ　　すべて「いない」に○…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産のそば生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

8

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	14ページ	①同上 ②同上

【12】作業別労働時間

当年産のそば生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

①

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

②

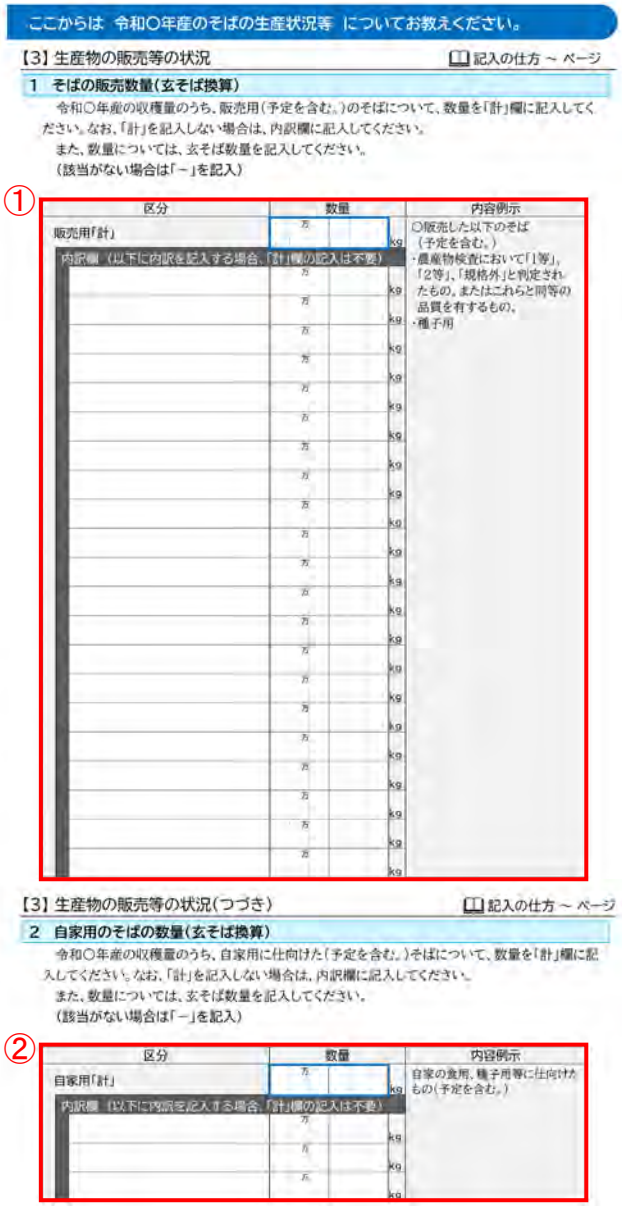
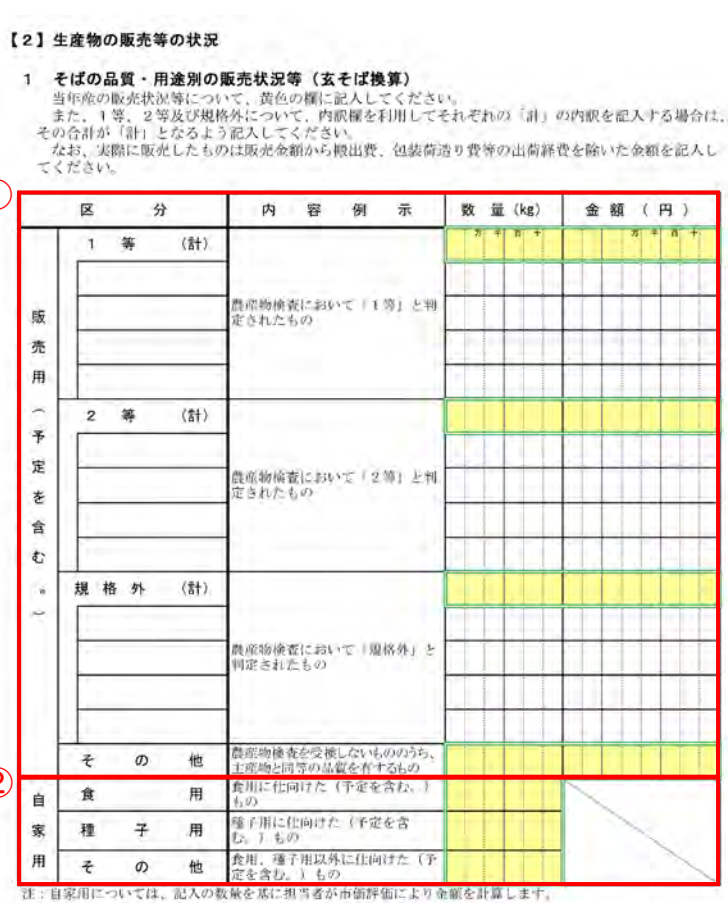
作業種類	内容例示	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
			男・女			男・女			男・女			男・女			男・女						
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布			時間			時間			時間			時間			時間	時間	時間	耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布
基肥	基肥の配合、運搬、施肥																		基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種まき、覆土																		は種	種まき、覆土
追肥	追肥の配合、運搬、施肥																		追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																		中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り																		管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																		防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀																		刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀
乾燥	乾燥、調製																		乾燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																		生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																		間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

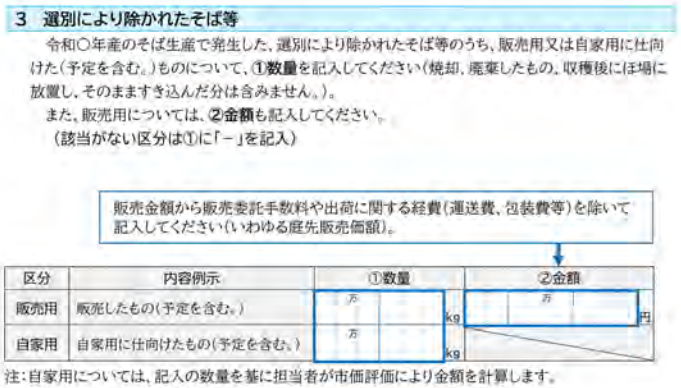
3　支払賃金

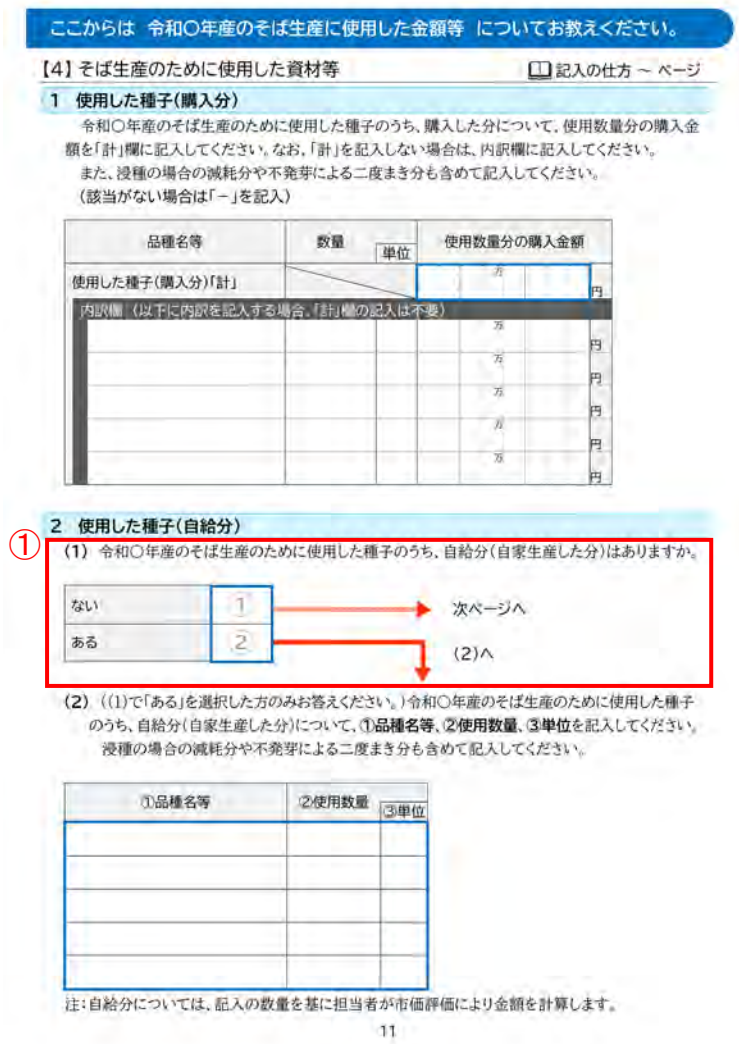
当年産のそば生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	そば負担割合（%）
	万 千 百 十	
男		
女		

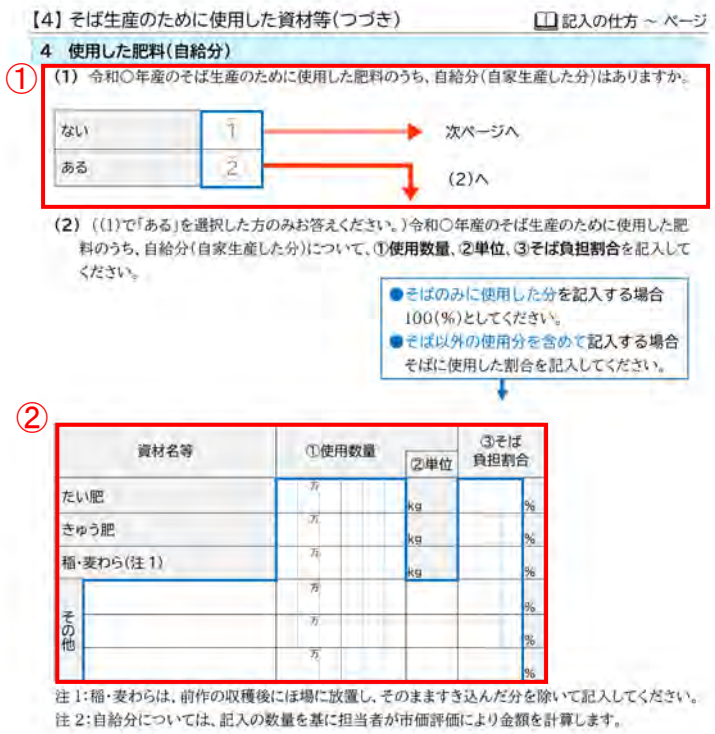
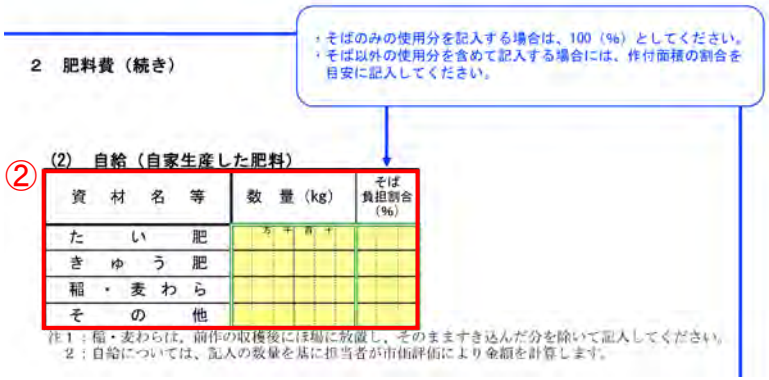
・そば生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９～10ページ 	４ページ 	報告者が記入しやすいよう、自家用のそばの数量に関する設問を分離 ①そばの品質・用途別の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため、「1等(計)」、「2等(計)」、「規格外(計)」、「その他」及び「金額(円)」を削除し、「数量」のみを把握するよう変更 ②自家用のそばの数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「食用」、「種子用」及び「その他」の記入欄を削除し、「自家用「計」」を把握するよう変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ 	4ページ 	

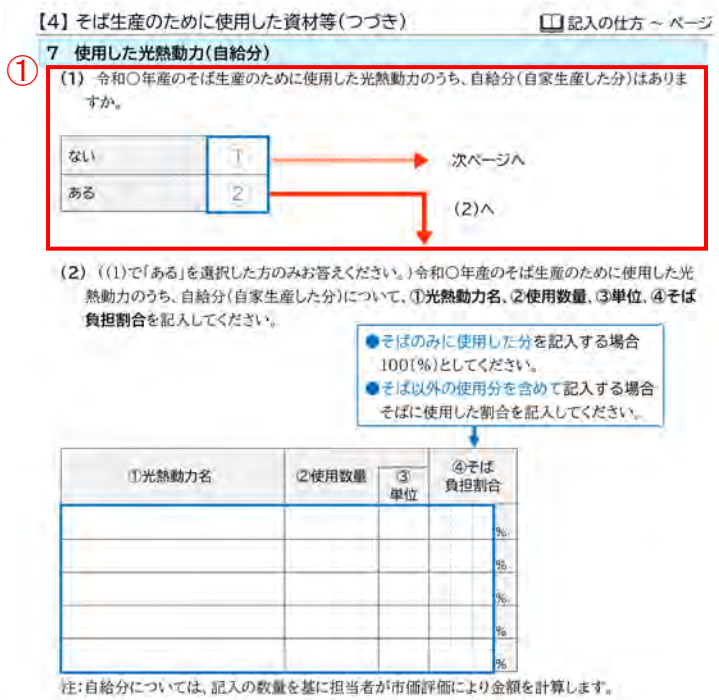
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ  ここからは　令和〇年産のそば生産に使用した金額等　についてお教えください。 【4】そば生産のために使用した資材等　記入の仕方 ～ ページ 1　使用した種子(購入分) 令和〇年産のそば生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。 (該当がない場合は「－」を記入) 品種名等 / 数量 / 単位 / 使用数量分の購入金額 使用した種子(購入分)「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 2　使用した種子(自給分) ① (1) 令和〇年産のそば生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→　次ページへ ある　2　→　(2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のそば生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等、②使用数量、③単位**を記入してください。 浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。 ①品種名等 / ②使用数量 / ③単位 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 11	5ページ  【3】そばの生産のために使用した資材等 1　種苗費 当年産のそば生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 (1)　種子（購入） 品　種　名 / 数　量 / 単位 / 金　額　（　円　） 計 浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。 (2)　種子（自給） 品　種　名 / 数　量 / 単位 使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。 注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ 	6ページ 	肥料費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

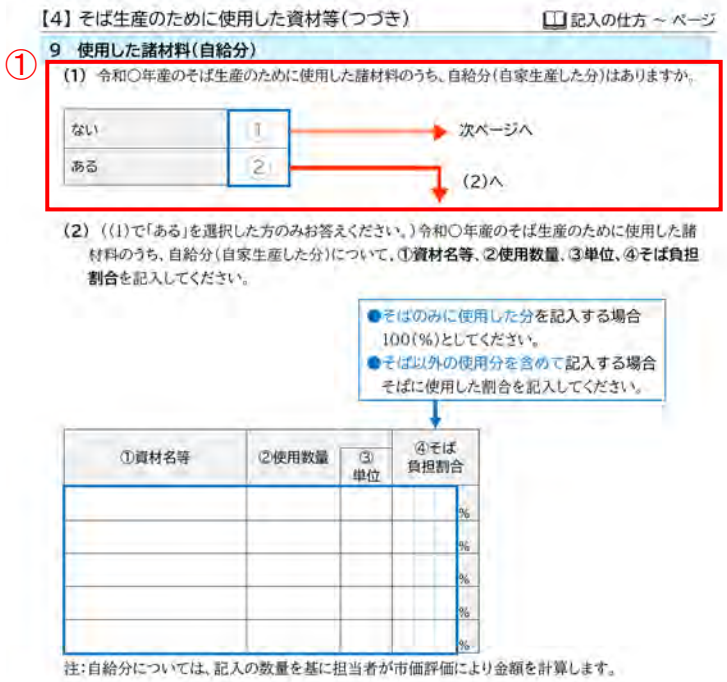
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ  【4】そば生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 4　使用した肥料(自給分) ① (1) 令和○年産のそば生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のそば生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、①使用数量、②単位、③そば負担割合を記入してください。 ●そばのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●そば以外の使用分を含めて記入する場合そばに使用した割合を記入してください。 ② 資材名等 / ①使用数量 / ②単位 / ③そば負担割合 たい肥 / きゅう肥 / 稲・麦わら(注1) / その他 注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 13	6ページ  【3】そばの生産のために使用した資材等（続き） 2　肥料費（続き） ・そばのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・そば以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 (2)　自給（自家生産した肥料） ② 資材名等 / 数量(kg) / そば負担割合(%) たい肥 / きゅう肥 / 稲・麦わら / その他 注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ 	6ページ 	農業薬剤費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ  15 つづく	7ページ  	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ（変更前７ページと対比）  【4】そば生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ページ ① 7　使用した光熱動力（自給分） (1)　令和〇年産のそば生産のために使用した光熱動力のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。 ない　1　→　次ページへ ある　2　→　(2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のそば生産のために使用した光熱動力のうち、自給分（自家生産した分）について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④そば負担割合**を記入してください。 ●そばのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●そば以外の使用分を含めて記入する場合 そばに使用した割合を記入してください。 ①光熱動力名　②使用数量　③単位　④そば負担割合 % 注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 16		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ  	7 ページ  	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ（変更前７ページと対比）  【4】そば生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ページ 9　使用した諸材料（自給分） ① (1)　令和○年産のそば生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　（(1)で「ある」を選択した方のみお答えください。）令和○年産のそば生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）について、**①資材名等、②使用数量、③単位、④そば負担割合**を記入してください。 ●そばのみに使用した分を記入する場合 100（%）としてください。 ●そば以外の使用分を含めて記入する場合 そばに使用した割合を記入してください。 ①資材名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④そば負担割合 % % % % % 注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 18		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ	7ページ	賃借料及び料金の内訳欄について、報告者が記入しやすいよう、その他の回答欄を自由記述方式に変更



【4】そば生産のために使用した資材等(つづき)　　記入の仕方 ～ページ

10　賃借料及び料金

令和〇年産のそば生産のために支払った賃借料や料金について、①支払金額、②そば負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●そばのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の支払分を含めて記入する場合
そば分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	単位	①支払金額		②そば負担割合
賃借料及び料金「計」				万 千 円		%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）						
負担金 共同	薬剤散布(※1)			万 千 円		%
	共同施設			万 千 円		%
農機具借料				万 千 円		%
航空防除賃(※1)			a	万 千 円		%
賃耕料			a	万 千 円		%
は種・定植料			a	万 千 円		%
収穫請負わせ賃			a	万 千 円		%
乾燥・調製委託料(※2)			kg	万 千 円		%
その他				万 千 円		%
				万 千 円		%
				万 千 円		%
				万 千 円		%
				万 千 円		%

(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
(※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

19



【3】そばの生産のために使用した資材等（続き）

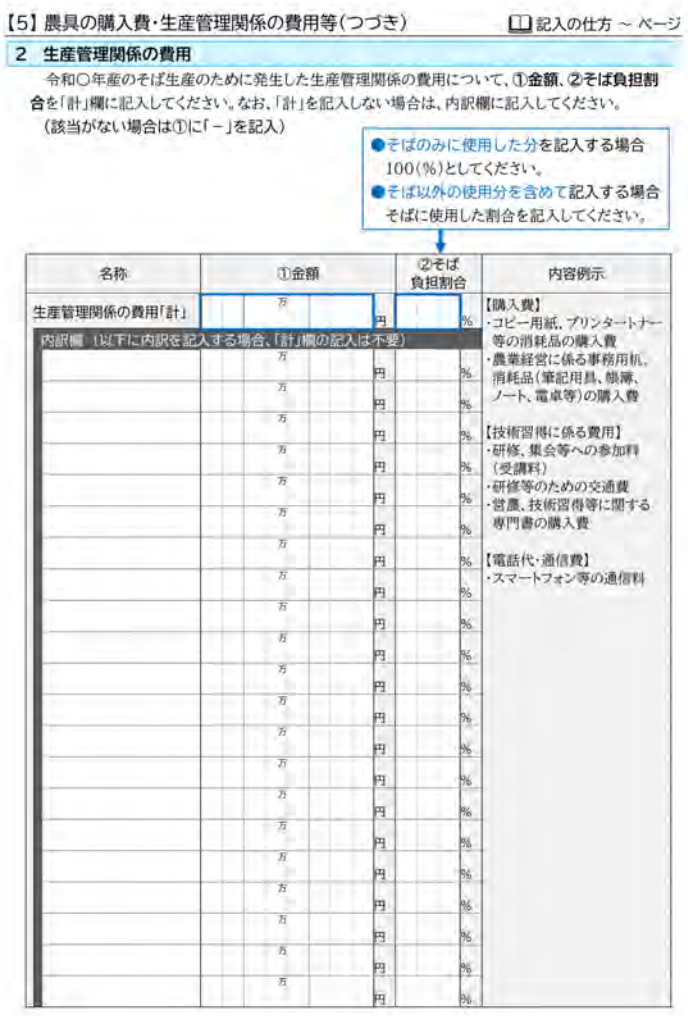
・そばのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6　賃借料及び料金

当年産のそば生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

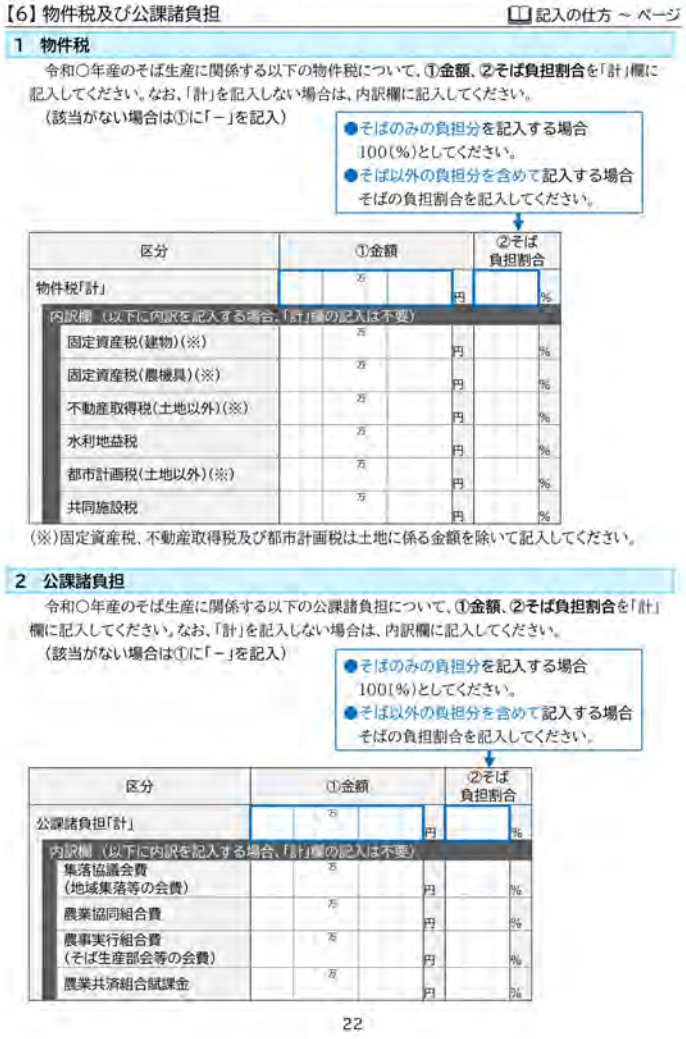
料金名等		数量等	単位	金額（円）	そば負担割合（%）
計			－	万 千 円 千	
負担金 共同	薬剤散布		－		
	共同施設		－		
農機具借料			－		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			－		

注1：　共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
2：　乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20～21ページ（変更前12ページと対比）  		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等 当年産のそば生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 ・そばのみに使用した場合は、100（%）としてください。 ・そば以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。 名称等 / 金額（円）（万 千 百 十） / そば負担割合（%） / 内容例示 農具・農業被服等の購入費 / （計） 【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費 生産管理関係の費用 / （計） 【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料	12ページ	同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22ページ	8ページ	



【6】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ページ

1　物件税

令和○年産のそば生産に関係する以下の物件税について、**①金額、②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●そばのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の負担分を含めて記入する場合
そばの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②そば負担割合
物件税「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税(建物)(※)	万 円	%
固定資産税(農機具)(※)	万 円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万 円	%
水利地益税	万 円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万 円	%
共同施設税	万 円	%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

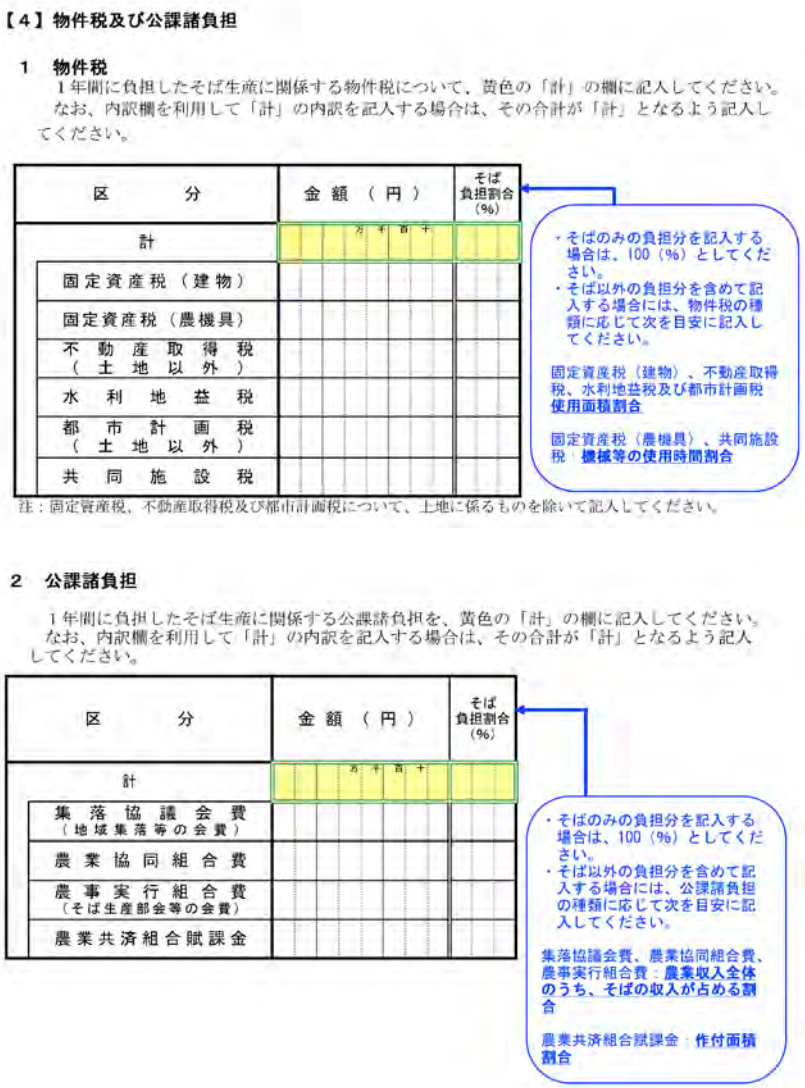
令和○年産のそば生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額、②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●そばのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の負担分を含めて記入する場合
そばの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②そば負担割合
公課諸負担「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万 円	%
農業協同組合費	万 円	%
農事実行組合費（そば生産部会等の会費）	万 円	%
農業共済組合賦課金	万 円	%

22



【4】物件税及び公課諸負担

1　物件税

1年間に負担したそば生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金額（円）	そば負担割合(%)
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・そばのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税　**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税　**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

2　公課諸負担

1年間に負担したそば生産に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

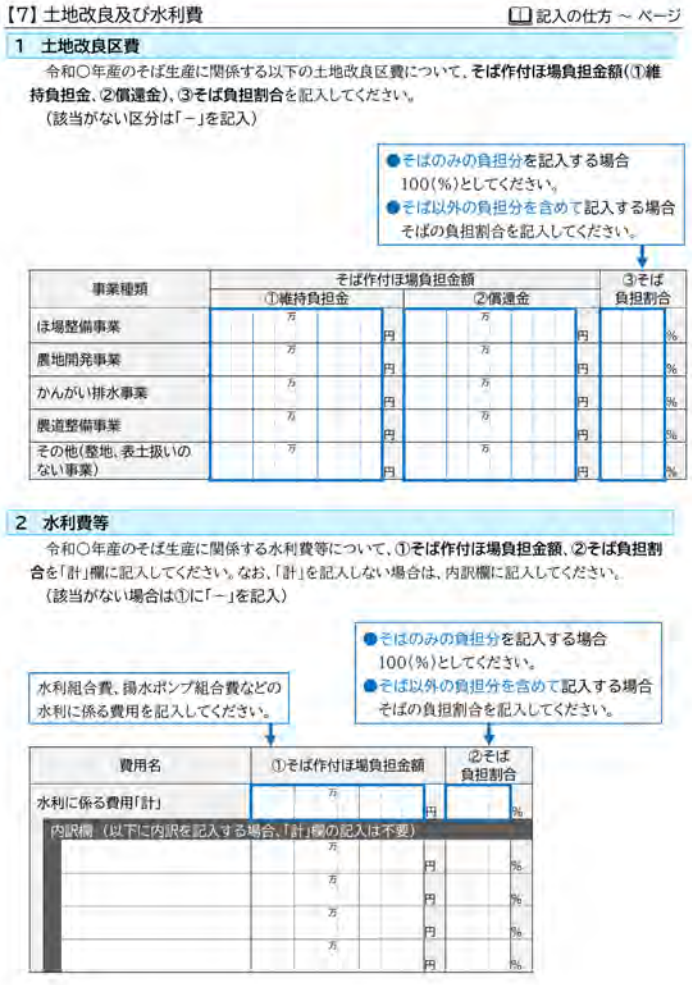
区　分	金額（円）	そば負担割合(%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（そば生産部会等の会費）		
農業共済組合賦課金		

・そばのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費　**農業収入全体のうち、そばの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金　**作付面積割合**

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ	8ページ	



【7】土地改良及び水利費　　記入の仕方 ～ ページ

1　土地改良区費

令和〇年産のそば生産に関係する以下の土地改良区費について、**そば作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③そば負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

●そばのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の負担分を含めて記入する場合
そばの負担割合を記入してください。

事業種類	そば作付ほ場負担金額 ①維持負担金	そば作付ほ場負担金額 ②償還金	③そば負担割合
ほ場整備事業	万 円	万 円	%
農地開発事業	万 円	万 円	%
かんがい排水事業	万 円	万 円	%
農道整備事業	万 円	万 円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万 円	万 円	%

2　水利費等

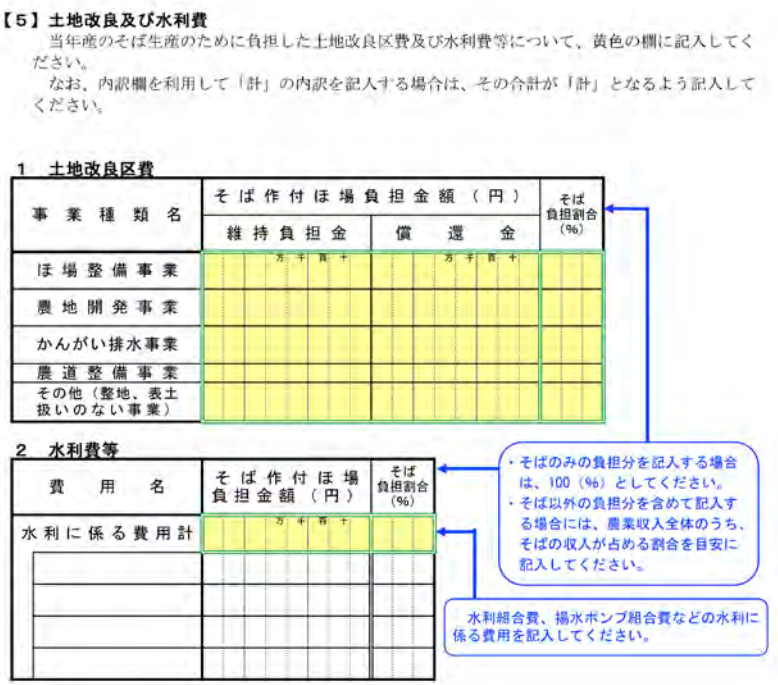
令和〇年産のそば生産に関係する水利費等について、**①そば作付ほ場負担金額、②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●そばのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の負担分を含めて記入する場合
そばの負担割合を記入してください。

費用名	①そば作付ほ場負担金額	②そば負担割合
水利に係る費用「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%

23



【５】土地改良及び水利費

当年産のそば生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1　土地改良区費

事業種類名	そば作付ほ場負担金額（円） 維持負担金	そば作付ほ場負担金額（円） 償還金	そば負担割合(%)
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

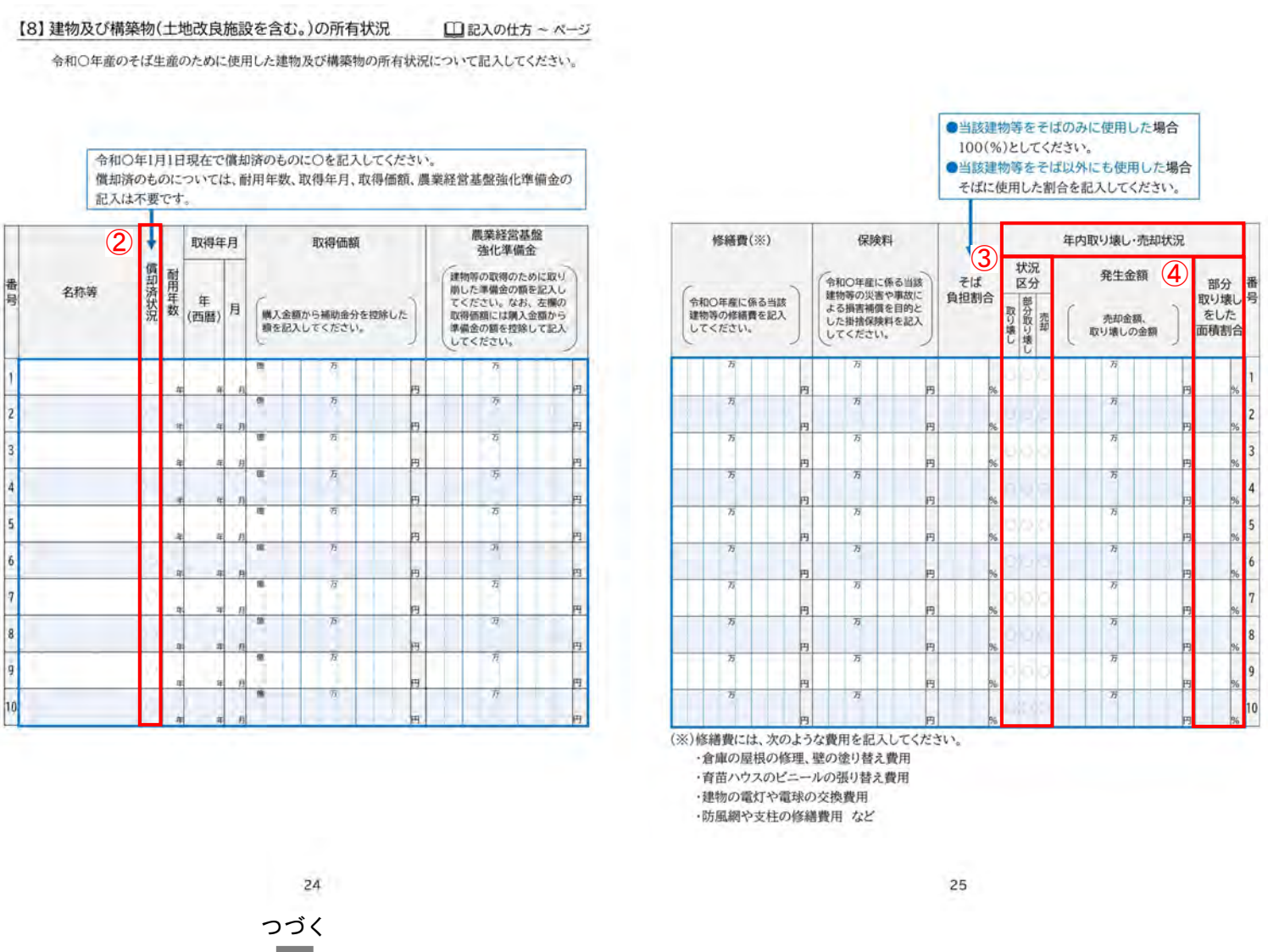
2　水利費等

費用名	そば作付ほ場負担金額（円）	そば負担割合(%)
水利に係る費用計	万 千 百 十	

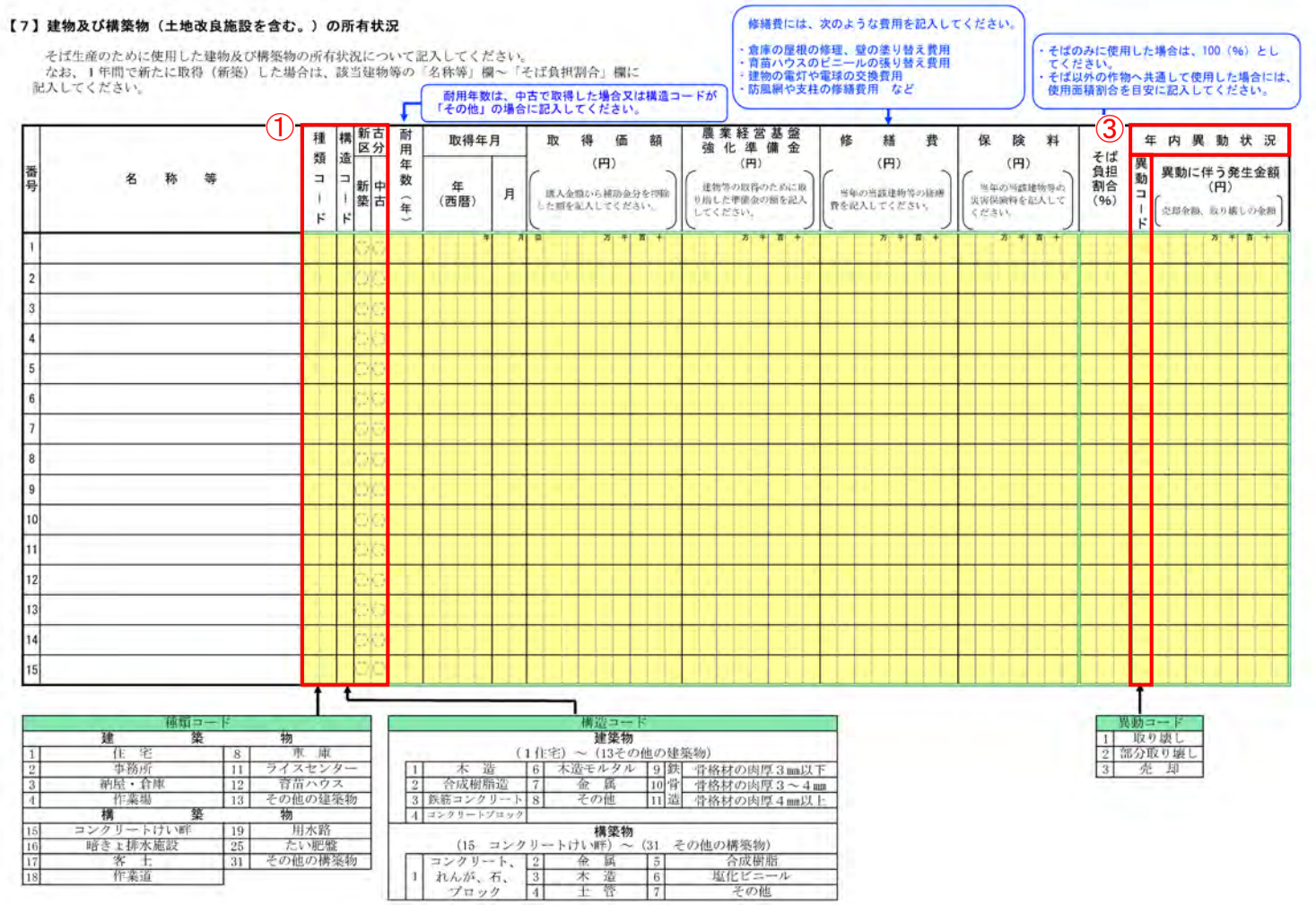
・そばのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・そば以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、そばの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24～25ページ（変更前９ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	９ページ	①同上 ③同上



【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

そば生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「そば負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・そばのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・そば以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	① 種類コード	構造コード	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（円）（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（円）（当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	③ そば負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）（売却金額、取り壊しの金額）
1							年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

建築物			
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

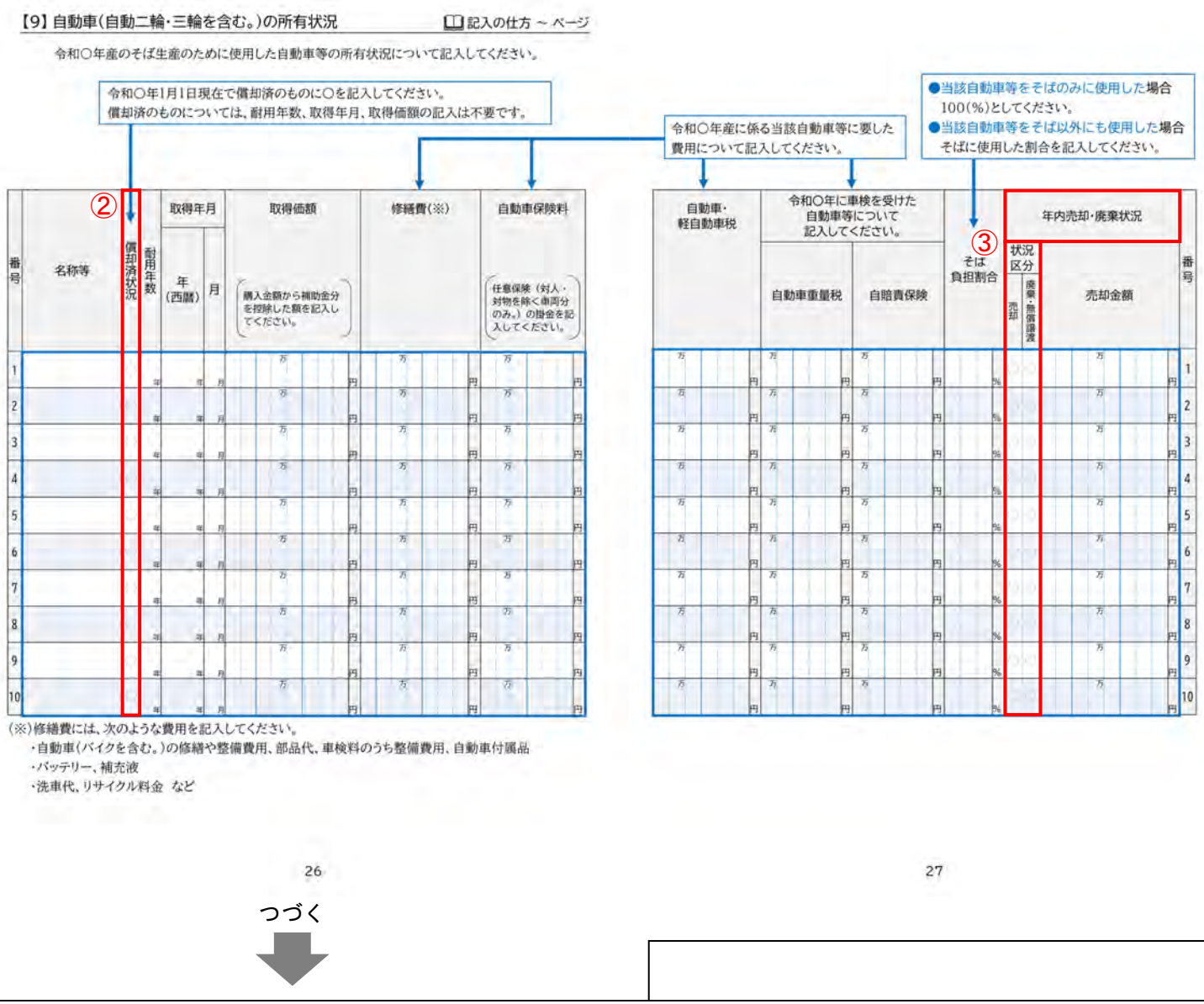
1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	造　骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（15　コンクリートけい畔）～（31　その他の構築物）

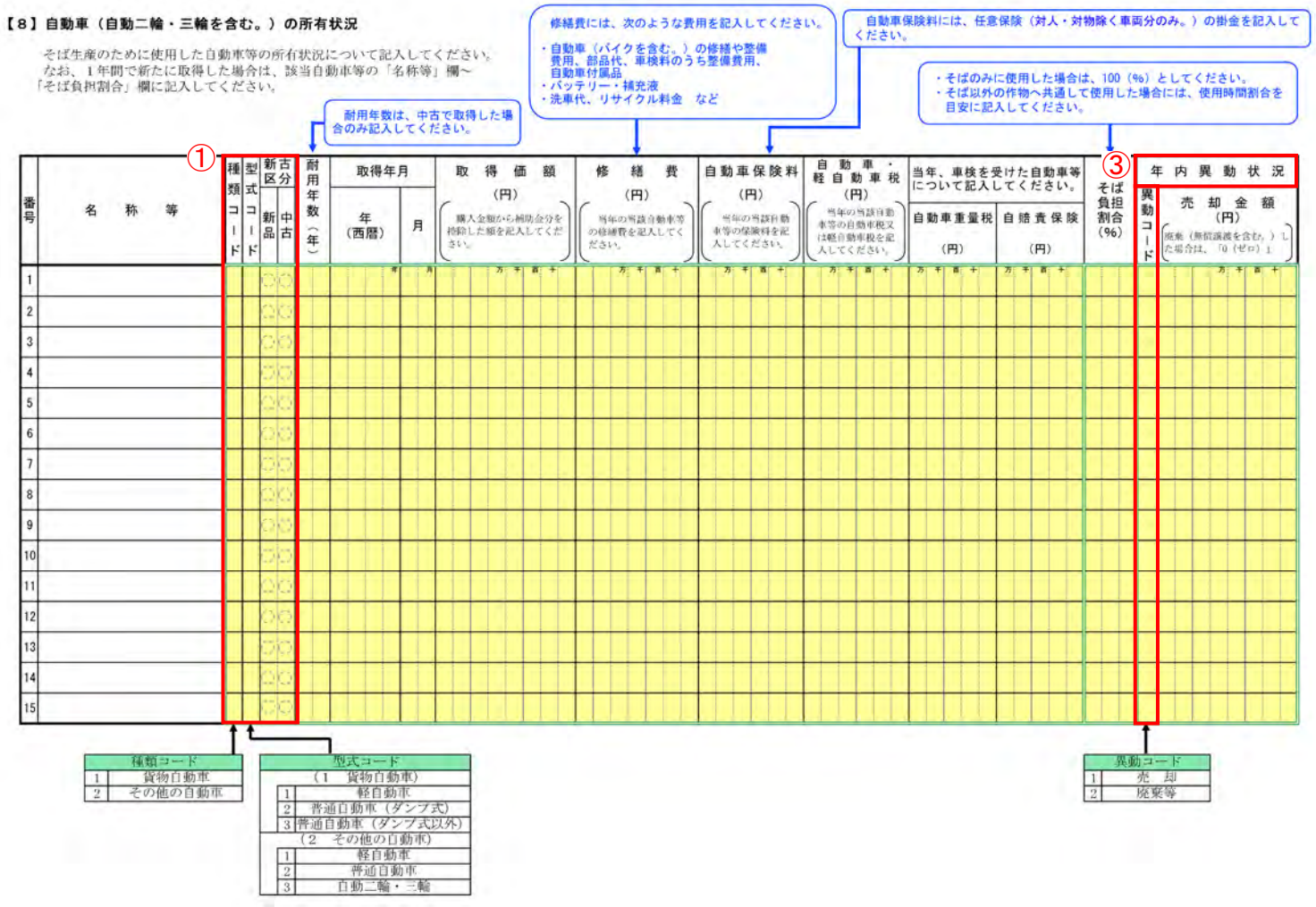
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード

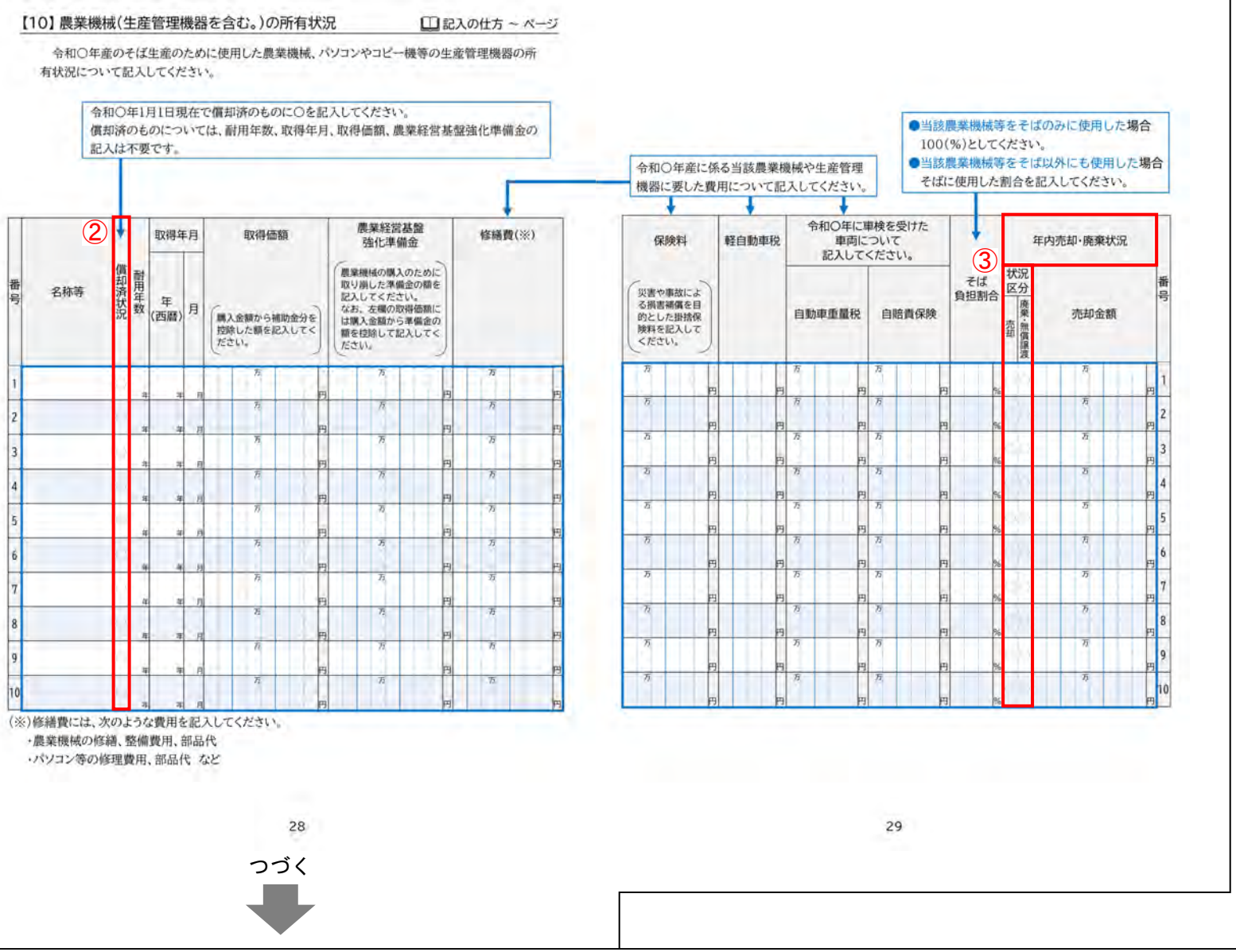
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

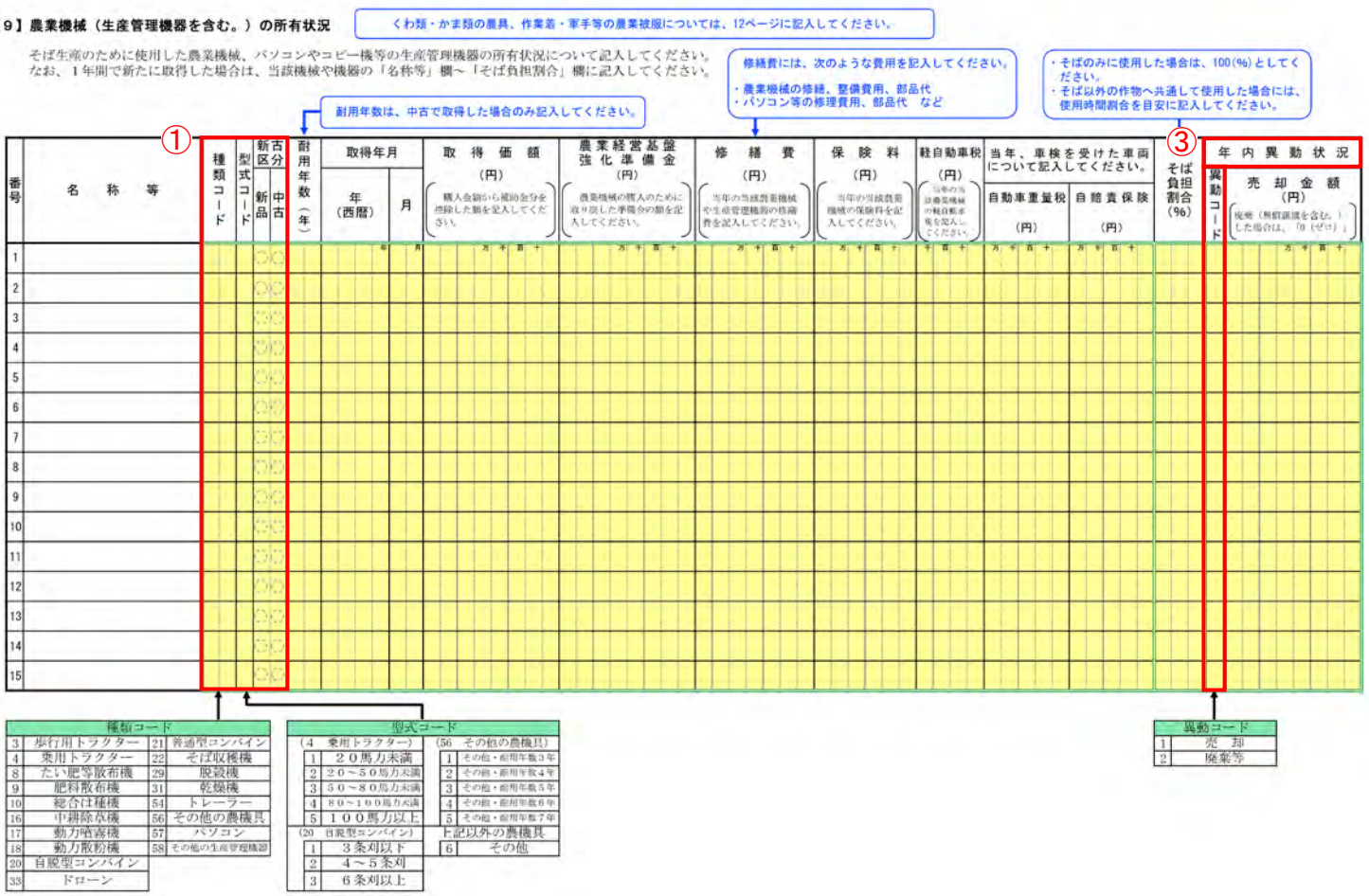
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ（変更前10ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上

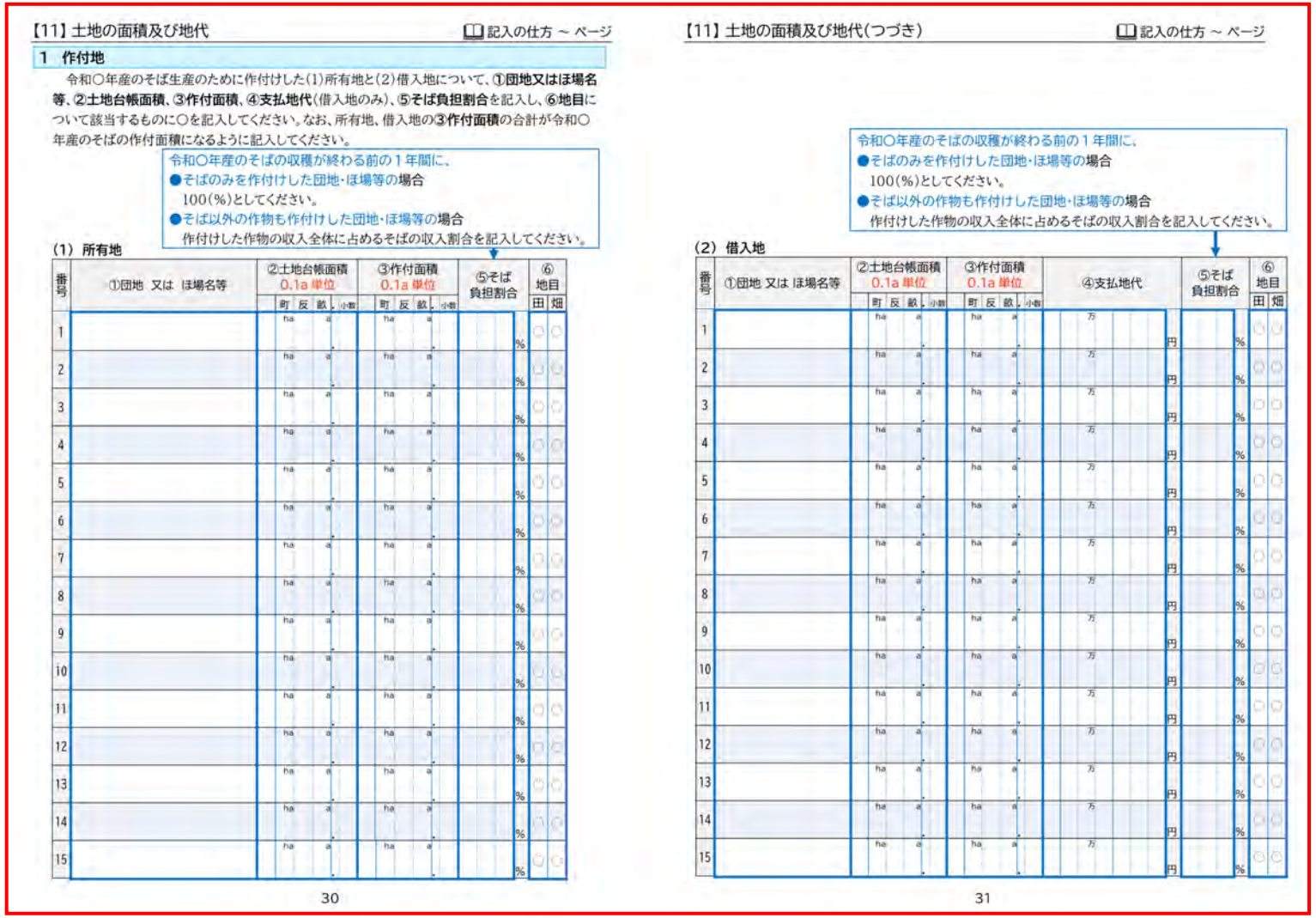


変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前11ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前13ページと対比） ①		記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記 ①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更



【11】土地の面積及び地代　　記入の仕方 ～ ページ

1　作付地

令和○年産のそば生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤そば負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに○を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和○年産のそばの作付面積になるように記入してください。

令和○年産のそばの収穫が終わる前の１年間に、
●そばのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●そば以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるそばの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤そば負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	%	○	○
2		ha a	ha a	%	○	○
3		ha a	ha a	%	○	○
4		ha a	ha a	%	○	○
5		ha a	ha a	%	○	○
6		ha a	ha a	%	○	○
7		ha a	ha a	%	○	○
8		ha a	ha a	%	○	○
9		ha a	ha a	%	○	○
10		ha a	ha a	%	○	○
11		ha a	ha a	%	○	○
12		ha a	ha a	%	○	○
13		ha a	ha a	%	○	○
14		ha a	ha a	%	○	○
15		ha a	ha a	%	○	○

30

【11】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

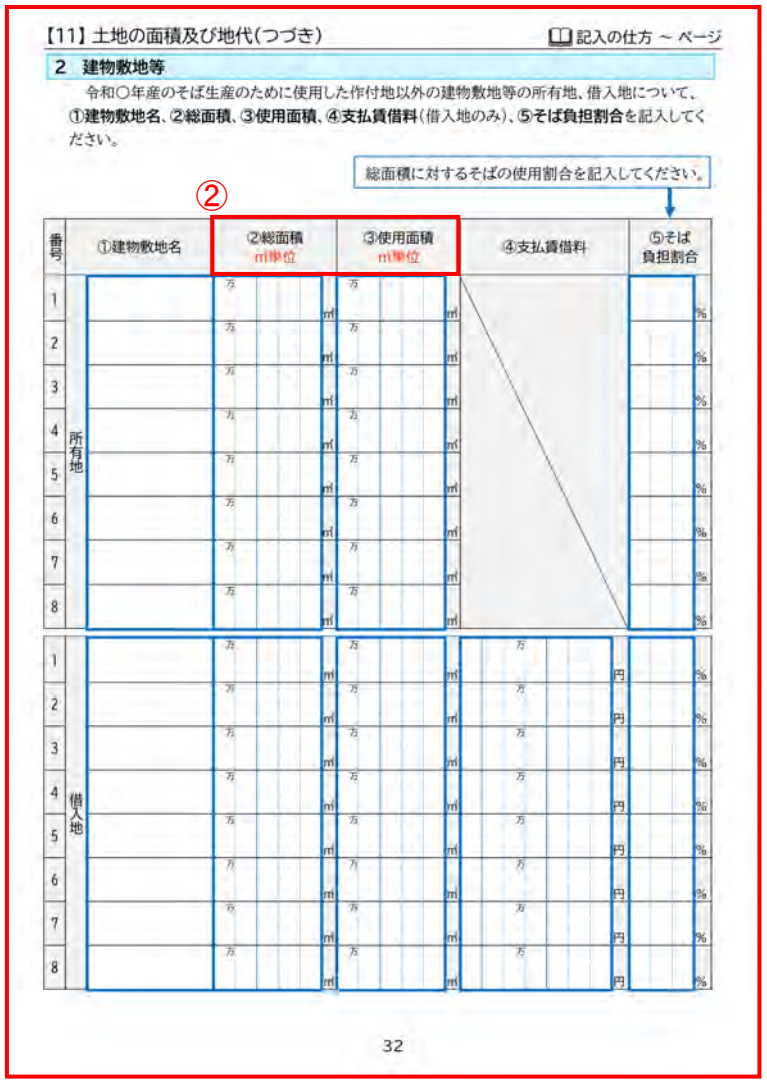
令和○年産のそばの収穫が終わる前の１年間に、
●そばのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●そば以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるそばの収入割合を記入してください。

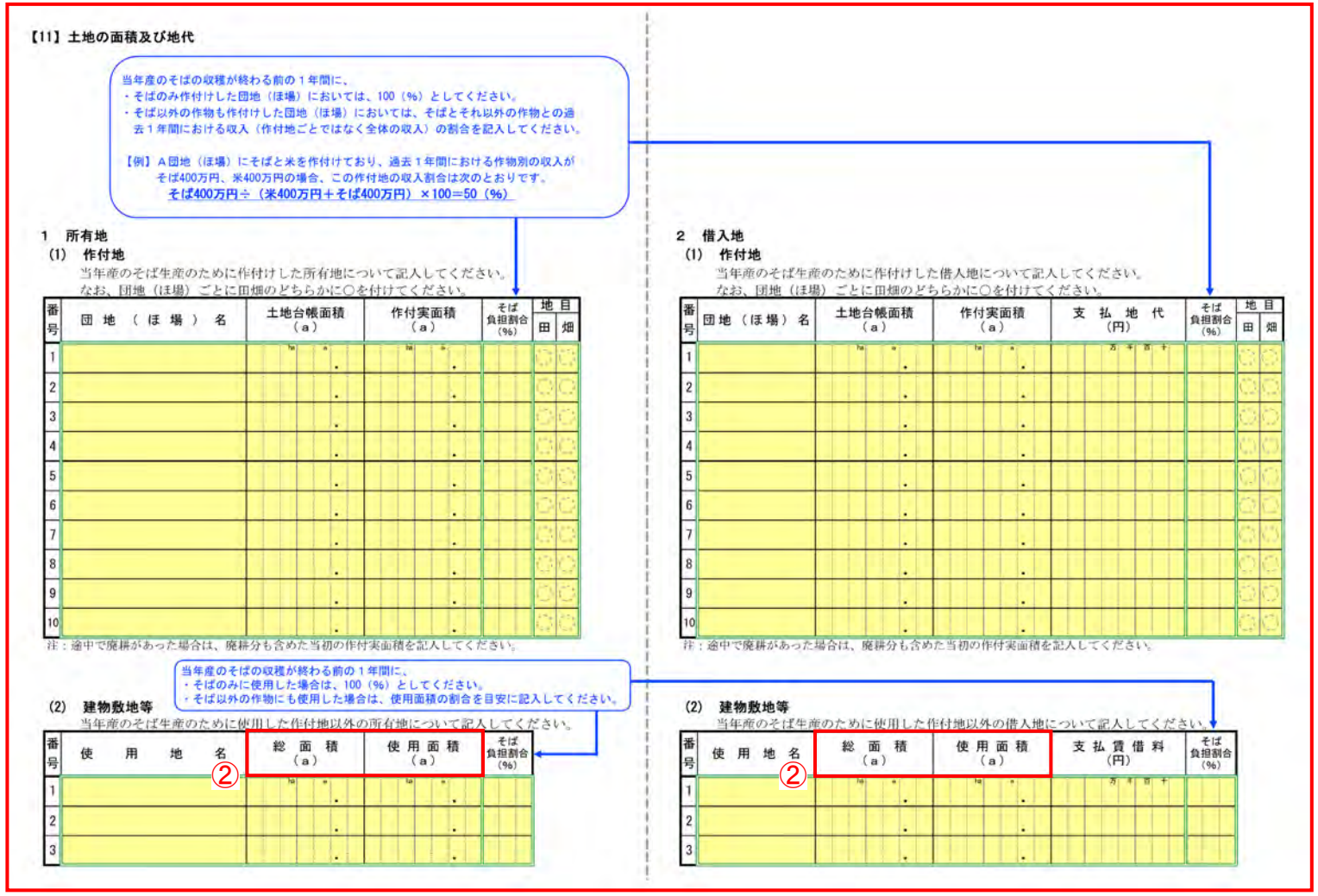
(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤そば負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	万 円	%	○	○
2		ha a	ha a	万 円	%	○	○
3		ha a	ha a	万 円	%	○	○
4		ha a	ha a	万 円	%	○	○
5		ha a	ha a	万 円	%	○	○
6		ha a	ha a	万 円	%	○	○
7		ha a	ha a	万 円	%	○	○
8		ha a	ha a	万 円	%	○	○
9		ha a	ha a	万 円	%	○	○
10		ha a	ha a	万 円	%	○	○
11		ha a	ha a	万 円	%	○	○
12		ha a	ha a	万 円	%	○	○
13		ha a	ha a	万 円	%	○	○
14		ha a	ha a	万 円	%	○	○
15		ha a	ha a	万 円	%	○	○

31

つづく

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32ページ（変更前13ページと対比） ①  【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ページ 2　建物敷地等 令和〇年産のそば生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤そば負担割合**を記入してください。 総面積に対するそばの使用割合を記入してください。 ② 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤そば負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 32 つづく		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
①  【11】土地の面積及び地代 当年産のそばの収穫が終わる前の１年間に、 ・そばのみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。 ・そば以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、そばとそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。 【例】A団地（ほ場）にそばと米を作付けており、過去１年間における作物別の収入がそば400万円、米400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。 そば400万円÷（米400万円＋そば400万円）×100＝50（%） 1　所有地 (1)　作付地 当年産のそば生産のために作付けした所有地について記入してください。 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。 番号 / 団地（ほ場）名 / 土地台帳面積（a） / 作付実面積（a） / そば負担割合（%） / 地目 田 畑 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。 2　借入地 (1)　作付地 当年産のそば生産のために作付けした借入地について記入してください。 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。 番号 / 団地（ほ場）名 / 土地台帳面積（a） / 作付実面積（a） / 支払地代（円） / そば負担割合（%） / 地目 田 畑 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。 当年産のそばの収穫が終わる前の１年間に、 ・そばのみに使用した場合は、100（%）としてください。 ・そば以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。 (2)　建物敷地等 当年産のそば生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。 番号 / 使用地名 / ② 総面積（a） / 使用面積（a） / そば負担割合（%） 1 2 3 (2)　建物敷地等 当年産のそば生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。 番号 / 使用地名 / ② 総面積（a） / 使用面積（a） / 支払賃借料（円） / そば負担割合（%） 1 2 3	13ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
33ページ	8ページ	



【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のそば生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③そば負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●そばのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。
●そば以外の使用分を含めて記入する場合 そばに使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③そば負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

33



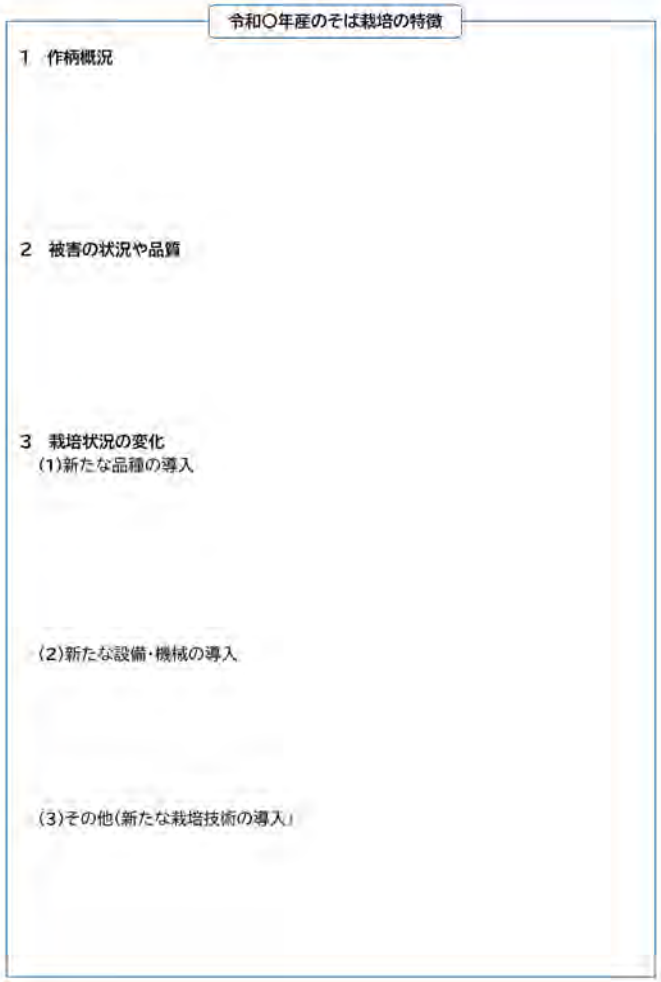
【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

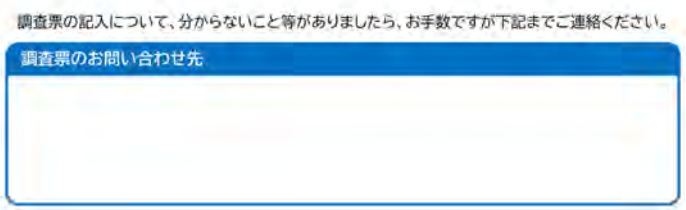
当年産のそば生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・そばのみの生産に関係する金額を記入ずる場合は、100（%）としてください。
・そば以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	そば負担割合（%）
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
借入金			
借入金			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ  	5ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。 調査票のお問い合わせ先	 秘 農林水産省 農業経営統計調査 ○年産　そば生産費統計調査票 （個別経営体用） 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★○印は記入見本を参考に記入してください。 記入見本 ① ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。 【問合せ先】	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「そば（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のそばの生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　そばとは
　　食用だけでなく、種子用のそばも該当します。

※２　この調査でのそばの生産とは
　　自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（そば負担割合について）】

そばを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からそば負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
そばと水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、そば「２ha」、水稲「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　そばに施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	そば負担割合（%）
肥料（購入）計	２００	２００００	１００

← そば負担割合には100%と記入

例２　そば、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
そばと水稲の作付面積割合「２：８」を目安にそば負担割合を「２０％」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	そば負担割合（%）
肥料（購入）計	１０００	１００００	２０

← そば負担割合には20%と記入

【そば負担割合の設定方法】

そばを含めた複数の作物を作付けしている場合のそば負担割合を設定する方法について説明します。

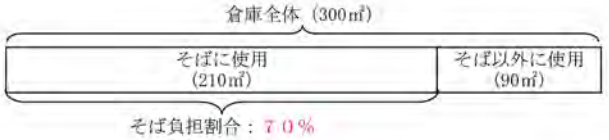
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、そば生産のために使用した面積の割合を「そば負担割合」とします。

$$\text{そば負担割合} = \frac{\text{そばに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うちそば生産のために210㎡、そば以外の作物に90㎡を使用した場合の「そば負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図

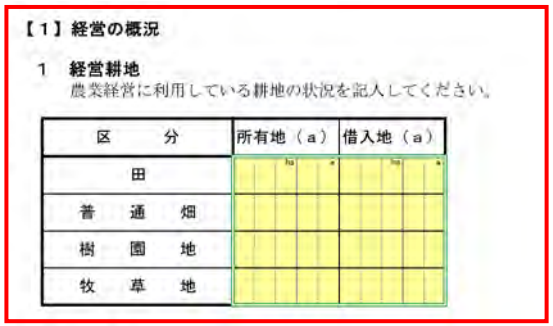
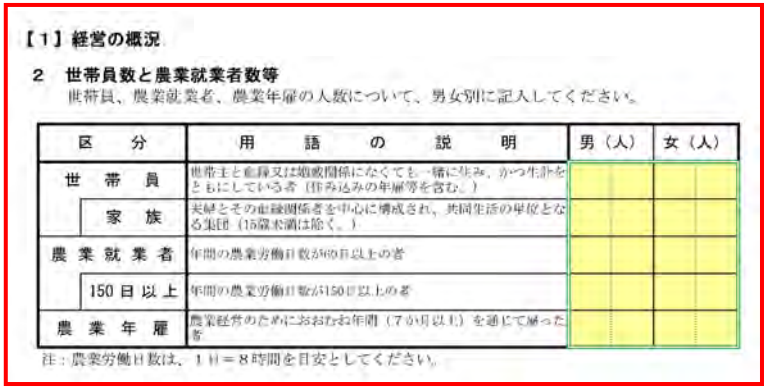
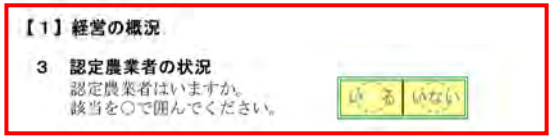


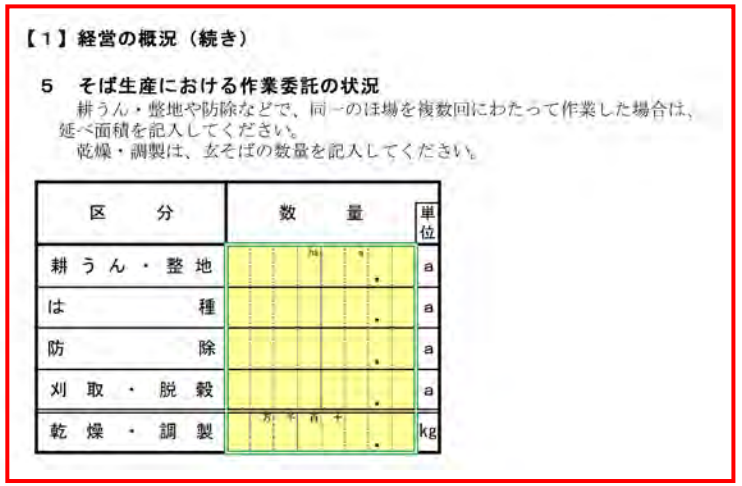
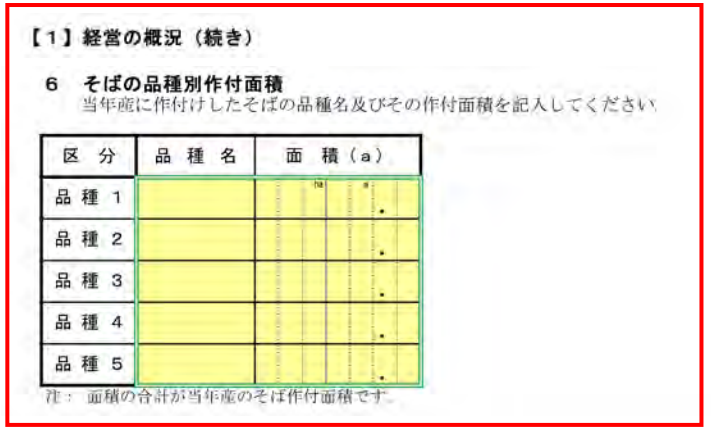
（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、そば生産のために使用した時間の割合を「そば負担割合」とします。

$$\text{そば負担割合} = \frac{\text{そばに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うちそば生産のために80時間、そば以外の作物に120時間使用した場合の「そば負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

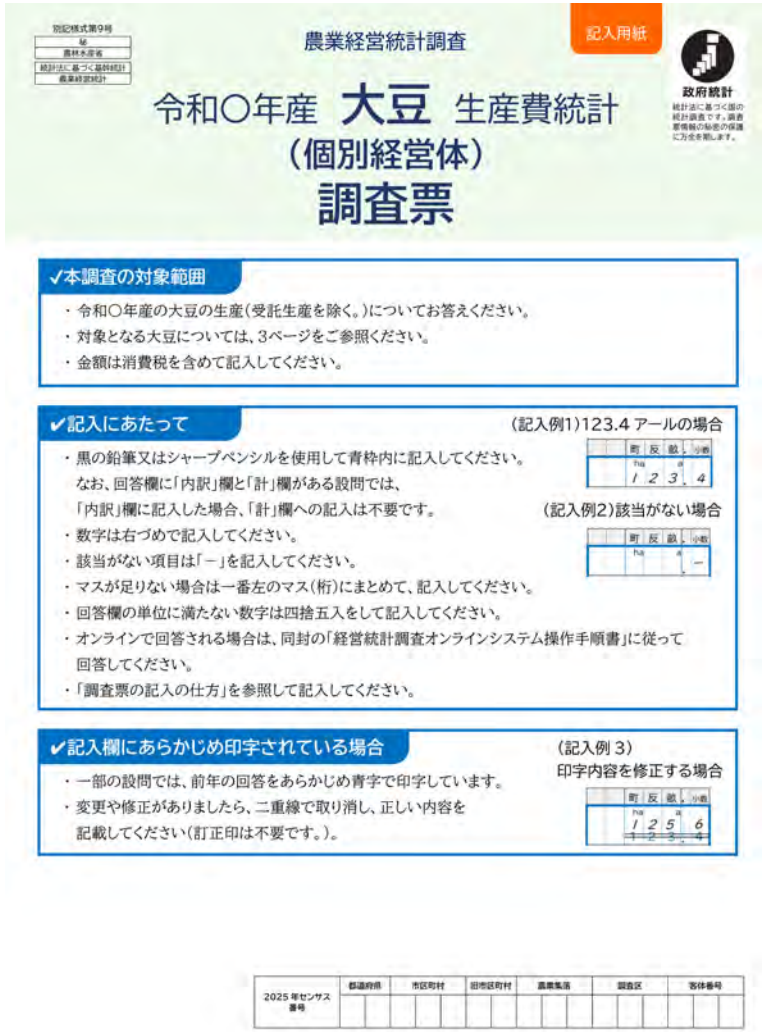
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普通畑 樹園地 牧草地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。 区分 / 用語の説明 / 男（人） / 女（人） 世帯員 / 世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。） 家族 / 夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満は除く。） 農業就業者 / 年間の農業労働日数が60日以上の者 150日以上 / 年間の農業労働日数が150日以上の者 農業年雇 / 農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者 注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる / いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ５　そば生産における作業委託の状況 耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。 乾燥・調製は、玄そばの数量を記入してください。 区分 / 数量 / 単位 耕うん・整地 / ha a / a は種 / a 防除 / a 刈取・脱穀 / a 乾燥・調製 / 万 千 百 十 / kg	そば生産における作業委託の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ６　そばの品種別作付面積 当年産に作付けしたそばの品種名及びその作付面積を記入してください。 区分 / 品種名 / 面積（a） 品種１ / ha a 品種２ 品種３ 品種４ 品種５ 注：　面積の合計が当年産のそば作付面積です。	そばの品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

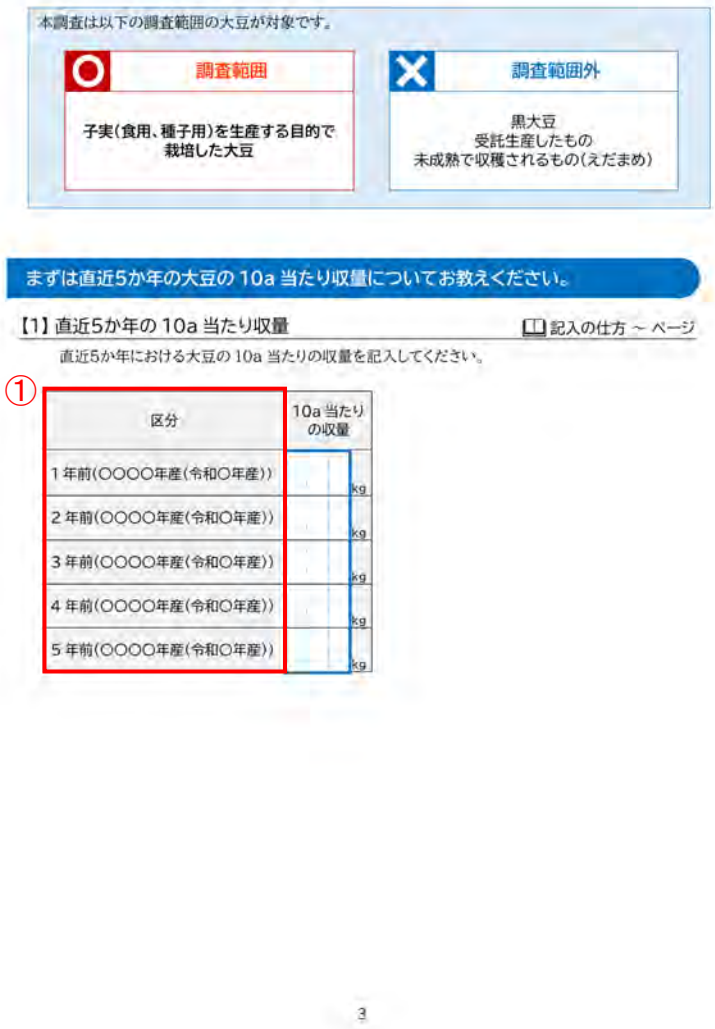
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ７　制度受取金等の状況 当年産のそばに係る制度受取金等について記入してください。 区　分 / 掛　金（円） / 受　取　金（円） 農　業　共　済 注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。	制度受取金等の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	５ページ  通　信　欄	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除

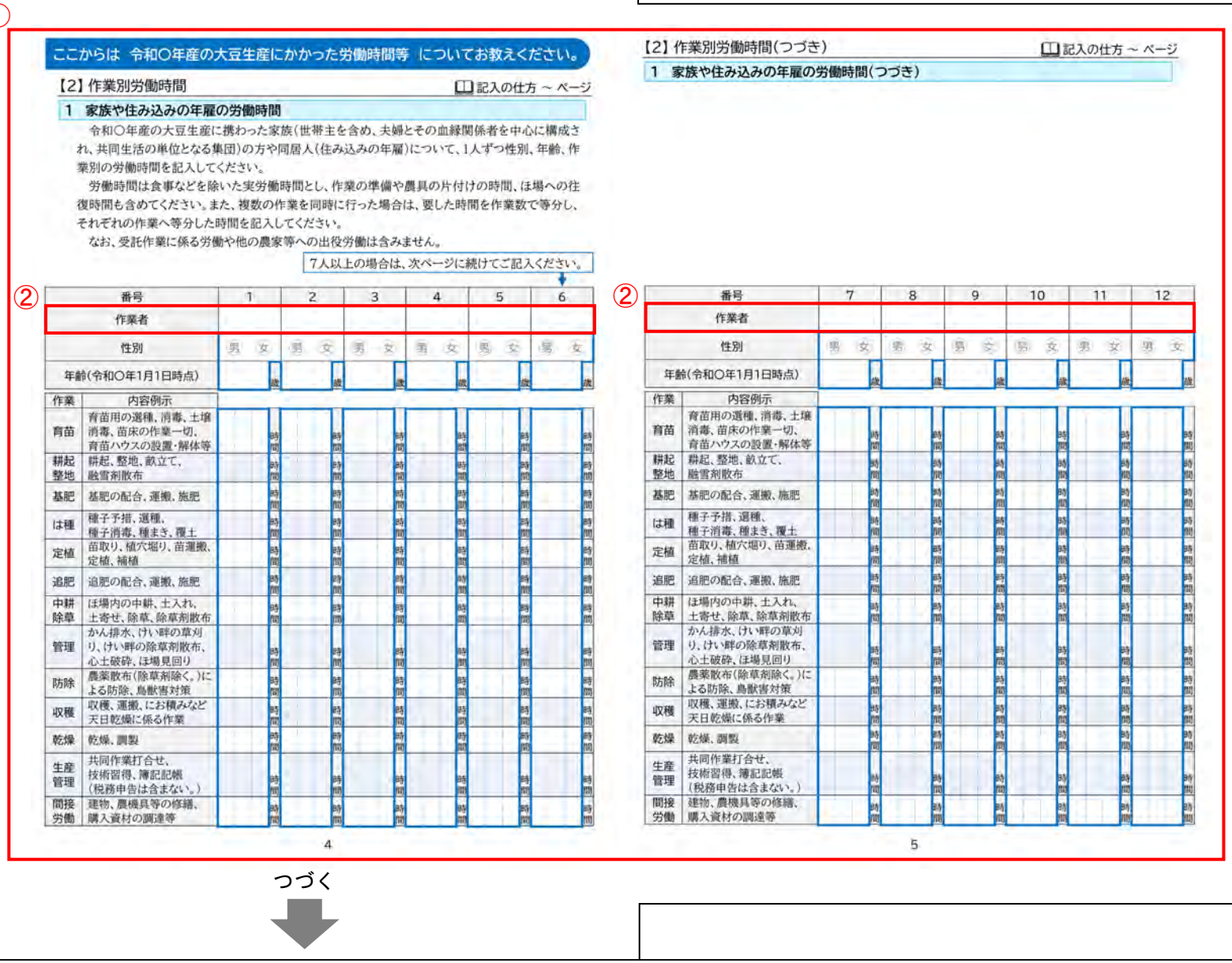
農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　農産物生産費統計（大豆（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第９号 １ページ  農業経営統計調査 記入用紙 令和〇年産 大豆 生産費統計 （個別経営体） 調査票 ✔本調査の対象範囲 ・令和〇年産の大豆の生産（受託生産を除く。）についてお答えください。 ・対象となる大豆については、3ページをご参照ください。 ・金額は消費税を含めて記入してください。 ✔記入にあたって （記入例1）123.4 アールの場合 ・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。 なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、 「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。 （記入例2）該当がない場合 ・数字は右づめで記入してください。 ・該当がない項目は「－」を記入してください。 ・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。 ・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。 ・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。 ✔記入欄にあらかじめ印字されている場合 （記入例３） 印字内容を修正する場合 ・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。 ・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。 2025 年センサス番号 都道府県 市区町村 旧市区町村 農業集落 調査区 客体番号	別記様式第６号 １ページ  秘 農林水産省 農業経営統計調査 〇年産　大豆生産費統計調査票 （個別経営体用） 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 1．〇年産の大豆生産費について記入してください。 2．調査項目欄には、右づめで記入してください。 3．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 4．オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★〇印は記入見本を参考に記入してください。 記入見本 1 ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご調査ください。 【問合せ先】 2025センサス番号　都道府県　市区町村　旧市区町村　農業集落　調査区　客体番号	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
2ページ  目次 ① 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……9 【4】大豆生産のために使用した資材等 ……11 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……20 【6】物件税及び公課諸負担 ……22 【7】土地改良及び水利費 ……23 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……24 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……26 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……28 【11】土地の面積及び地代 ……30 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……33	3ページ 調　査　事　項 ① ページ 【1】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、大豆生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。 【2】 生産物の販売等の状況 …… 5 大豆の品質・用途別の販売状況等、選別により除かれた大豆等の状況について記入してください。 【3】 大豆の生産のために使用した資材等 …… 6 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。 【4】 物件税及び公課諸負担 …… 9 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【5】 土地改良及び水利費 …… 9 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。 【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9 借入金残高、支払利子について記入してください。 【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 14 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 15	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は35～38ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  	３ページ  	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更(以下同じ) 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化(以下同じ) 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更(以下同じ) 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、大豆の調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ（変更前15ページと対比） 		①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 家族労働時間」と「2 雇用労働時間」を統合して設定していた設問を「1 家族や住み込みの年雇の労働時間」、「2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）」、「3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間」に設問を分離 ②氏名に限定せず、作業者を特定可能な記入欄へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～８ページ（変更前15ページと対比）		①同上 ③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、住み込みの年雇以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人の有無を確認する設問を追加 ⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

①

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

③ 2　雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

(1)　令和○年産の大豆生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	1	→ 8ページへ
雇用している人がいる	2	→ (2)へ

(2)　((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の大豆生産における雇用者（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間
収穫	収穫、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間
⑤ 生産管理	共同作業打合せ、技術習得、講記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(3)　令和○年産の大豆生産のために雇用者（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、①**賃金**、②**大豆負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●大豆のみの支払分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の支払分を含めて記入する場合
大豆分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②大豆負担割合
男性	万　円	%
女性	万　円	%

つづく

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

④ 3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1)　令和○年産の大豆生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	大豆生産に係る作業で労働交換を受けた場合	1	2
共同作業受け	大豆生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	1	2
手伝い受け	大豆生産に係る作業で手伝いを受けた場合	1	2

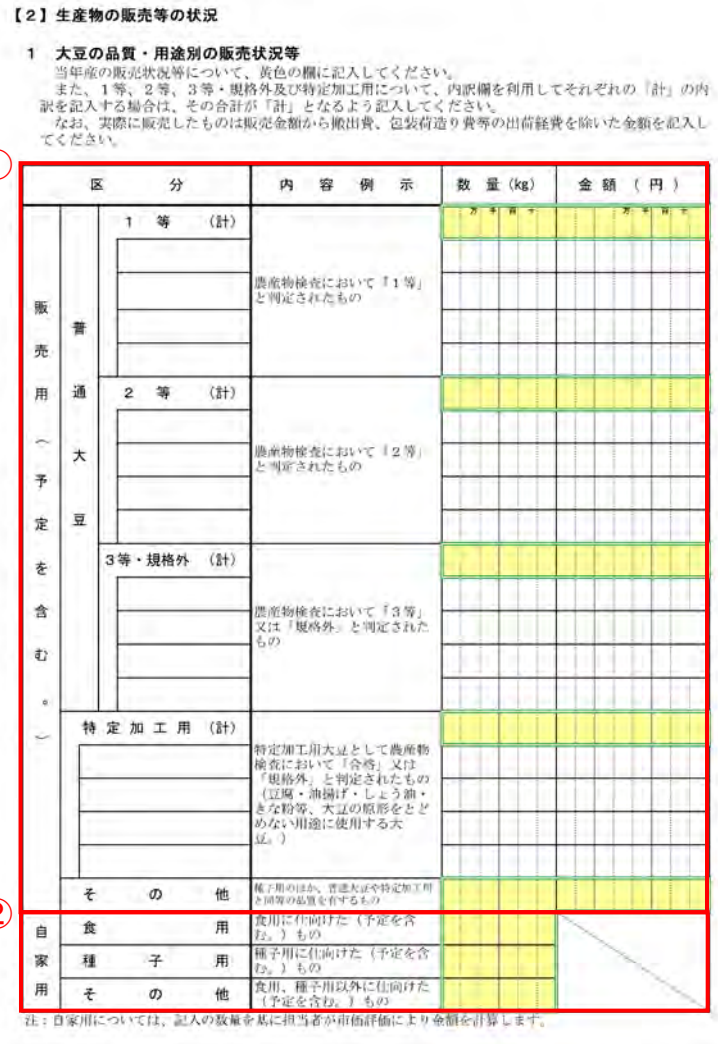
1つでも「いる」に○…(2)へ　　すべて「いない」に○…次ページへ

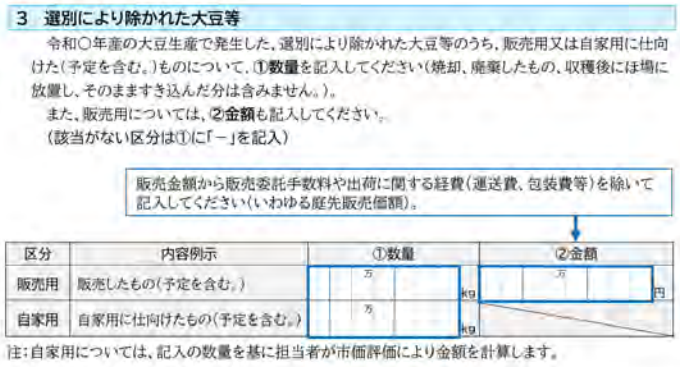
(2)　(1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産の大豆生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付の時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

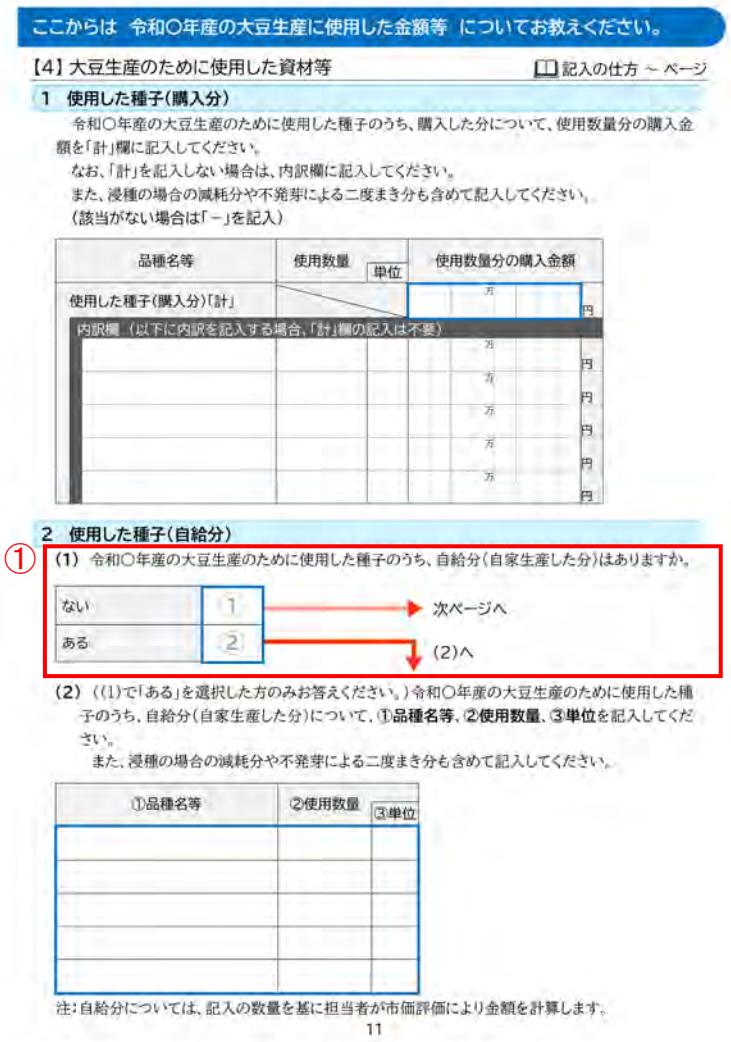
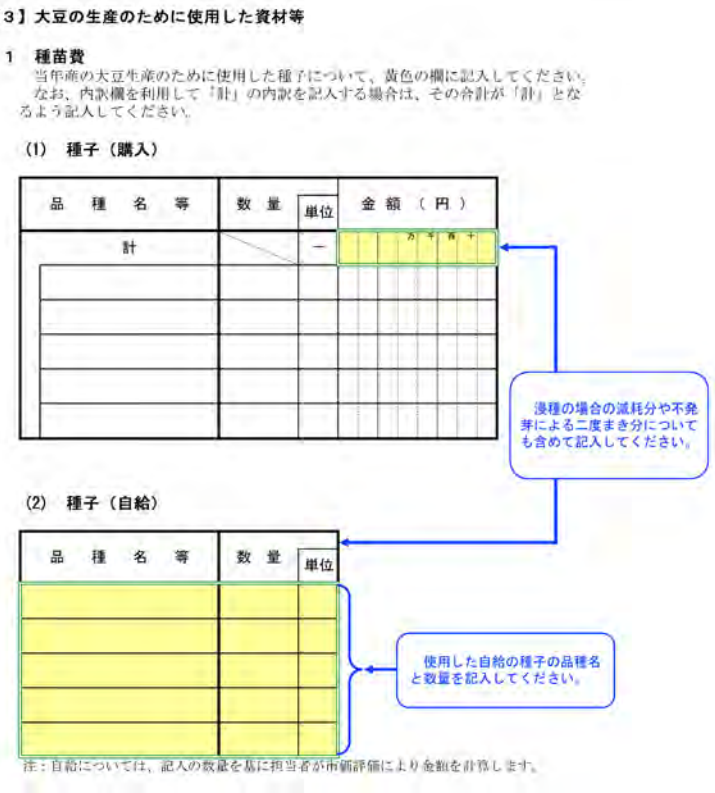
区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
	性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

8

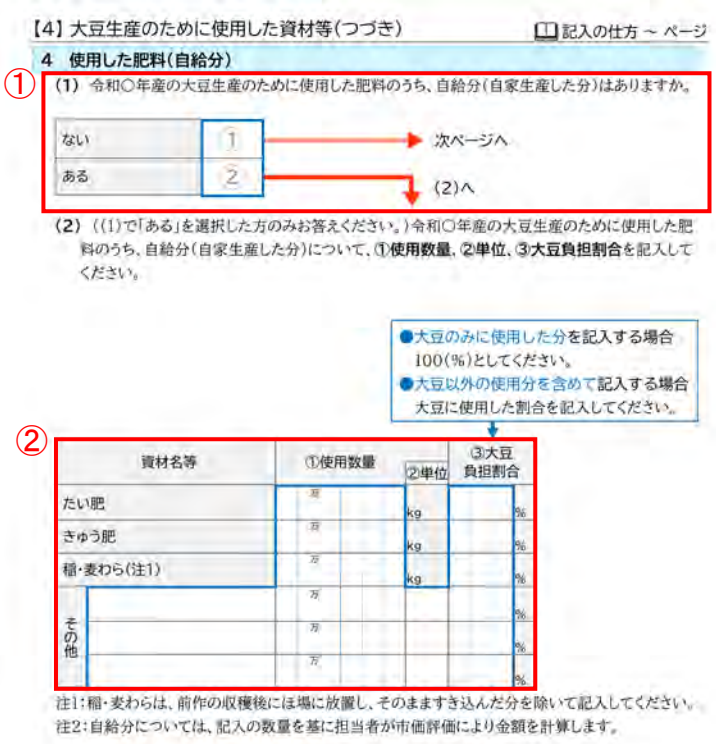
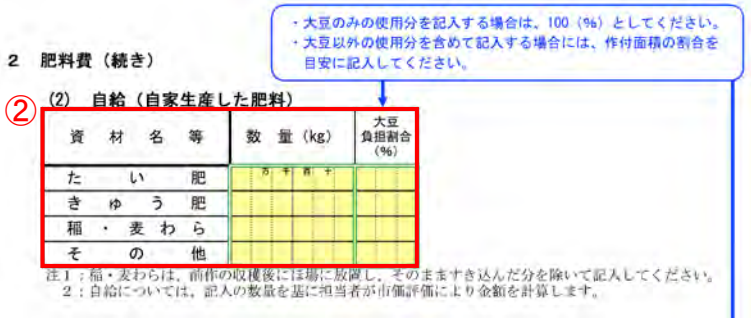
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① ② 	15ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９～10ページ 	５ページ 	報告者が記入しやすいよう、自家用の大豆の数量に関する設問を分離 ①大豆の品質・用途別の販売状況等について報告者の記入負担軽減を図るため、「1等(計)」、「2等(計)」、「3等・規格外(計)」、「特定加工用(計)」、「その他」及び「金額(円)」を削除し、「数量」のみを把握するよう変更 ②自家用の大豆の数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「食用」、「種子用」及び「その他」の記入欄を削除し、「自家用「計」」を把握するよう変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ  **3　選別により除かれた大豆等** 令和〇年産の大豆生産で発生した、選別により除かれた大豆等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。 また、販売用については、**②金額**も記入してください。 （該当がない区分は①に「－」を記入） 販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。 区分 / 内容例示 / ①数量 / ②金額 販売用 / 販売したもの（予定を含む。） / 万 kg / 万 円 自家用 / 自家用に仕向けたもの（予定を含む。） / 万 kg 注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 10	5ページ **【２】生産物の販売等の状況** **２　選別により除かれた大豆等の状況** 当年産の大豆生産で発生した、選別により除かれた大豆等の状況について記入してください。 なお、実際に販売したものは販売金額から運出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。 区分 / 内容例示 / 数量（kg） / 金額（円） 販売用 / 販売した（予定を含む。）もの / 万 千 百 十 / 万 千 百 十 自家用 / 自家用に仕向けた（予定を含む。）もの 注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	

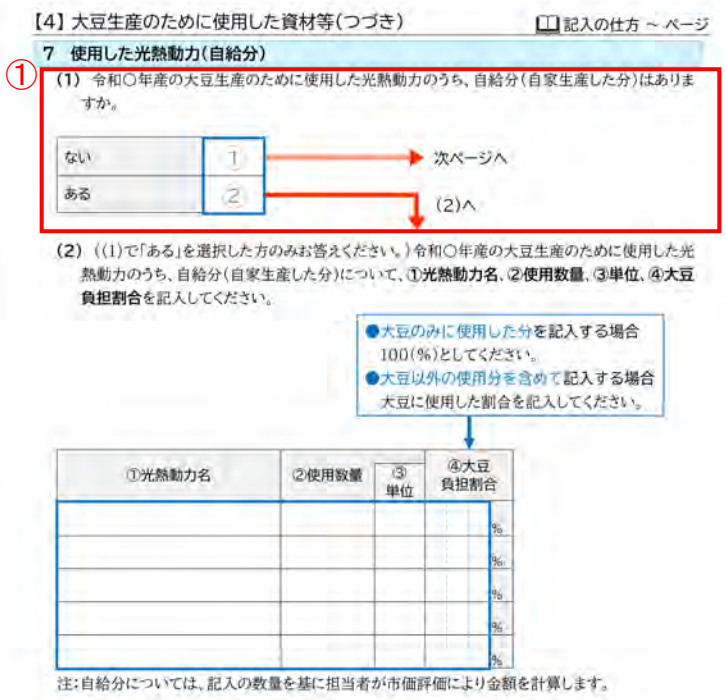
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ  ここからは　令和〇年産の大豆生産に使用した金額等　についてお教えください。 【4】大豆生産のために使用した資材等　　記入の仕方 ～ ページ 1　使用した種子(購入分) 令和〇年産の大豆生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。 (該当がない場合は「－」を記入) 品種名等 / 使用数量 単位 / 使用数量分の購入金額 使用した種子(購入分)「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 2　使用した種子(自給分) ① (1) 令和〇年産の大豆生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない 1 → 次ページへ ある 2 → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の大豆生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等、②使用数量、③単位**を記入してください。 また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。 ①品種名等 / ②使用数量 / ③単位 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 11	6ページ  【3】大豆の生産のために使用した資材等 1　種苗費 当年産の大豆生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 (1)　種子（購入） 品　種　名　等 / 数　量 / 単位 / 金　額　（　円　） 計 浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。 (2)　種子（自給） 品　種　名　等 / 数　量 / 単位 使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ 	7 ページ 	肥料費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

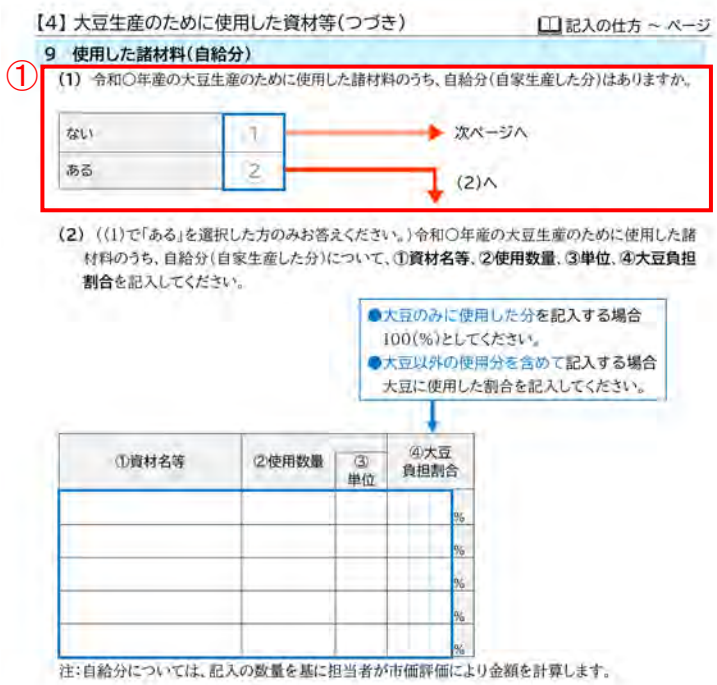
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ  【4】大豆生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ページ 4　使用した肥料（自給分） ① (1)　令和○年産の大豆生産のために使用した肥料のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。）令和○年産の大豆生産のために使用した肥料のうち、自給分（自家生産した分）について、**①使用数量、②単位、③大豆負担割合**を記入してください。 ●大豆のみに使用した分を記入する場合 100（%）としてください。 ●大豆以外の使用分を含めて記入する場合 大豆に使用した割合を記入してください。 ② 資材名等 / ①使用数量 / ②単位 / ③大豆負担割合 たい肥 / kg / % きゅう肥 / kg / % 稲・麦わら（注1） / kg / % その他 / % 注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 注2：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 13	7ページ  ・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 2　肥料費（続き） ② (2)　自給（自家生産した肥料） 資　材　名　等 / 数　量（kg） / 大豆負担割合（%） た　い　肥 き　ゅ　う　肥 稲　・　麦　わ　ら そ　の　他 注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料（自給分）の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ 	7 ページ 	農業薬剤費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ  【4】大豆生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 6　使用した光熱動力(購入分) 令和〇年産の大豆生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●大豆のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●大豆以外の使用分を含めて記入する場合 大豆に使用した割合を記入してください。 区分 / 使用数量 / 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②大豆負担割合 使用した光熱動力(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 動力燃料: 重油 / 軽油 / 灯油 / ガソリン / 潤滑油 / 混合油 電力料 その他(水道料、木炭などの燃料) 15 つづく	8ページ  【3】大豆の生産のために使用した資材等（続き） 4　光熱動力費 当年産の大豆生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 ・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。 資材名等 / 数量 / 単位 / 金額（円） / 大豆負担割合(%) 購入（計） 動力燃料: 重油 / 軽油 / 灯油 / ガソリン / 潤滑油 / 混合油 電力料 その他（水道料、木炭などの燃料） 自給 使用した自給の資材名と数量を記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ（変更前８ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ  17 つづく	8 ページ  	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ（変更前８ページと対比）  【4】大豆生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 9　使用した諸材料(自給分) ① (1)　令和〇年産の大豆生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の大豆生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等、②使用数量、③単位、④大豆負担割合**を記入してください。 ●大豆のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●大豆以外の使用分を含めて記入する場合 大豆に使用した割合を記入してください。 ①資材名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④大豆負担割合 % 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 18		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ	８ページ	賃借料及び料金の内訳欄について、報告者が記入しやすいよう、その他の回答欄を自由記述方式に変更



【4】大豆生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

10　賃借料及び料金

令和○年産の大豆生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●大豆のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の支払分を含めて記入する場合
大豆分の割合を記入してください。

料金名等	数量等	単位	①支払金額	②大豆負担割合
賃借料及び料金「計」			万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）				
負担金 共同 薬剤散布(※1)			万　円	%
負担金 共同 共同施設			万　円	%
農機具借料			万　円	%
航空防除賃(※1)		a	万　円	%
賃耕料		a	万　円	%
は種・定植料		a	万　円	%
収穫請負わせ賃		a	万　円	%
乾燥・調製委託料(※2)		kg	万　円	%
その他			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
(※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

19



【3】大豆の生産のために使用した資材等（続き）

・大豆のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6　賃借料及び料金

当年産の大豆生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等	数量等	単位	金額（円）	大豆負担割合（%）
計		－	万 千 百 十	
負担金 共同 薬剤散布		－		
負担金 共同 共同施設		－		
農機具借料		－		
航空防除賃		a		
賃耕料		a		
は種・定植料		a		
収穫請負わせ賃		a		
乾燥調製料		kg		
その他		－		

注１：　共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
２：　乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20～21ページ（変更前13ページと対比）		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離



【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等　記入の仕方 ～ページ

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の大豆生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合大豆に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②大豆負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万 円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

20

つづく



【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等（つづき）　記入の仕方 ～ページ

2　生産管理関係の費用

令和〇年産の大豆生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

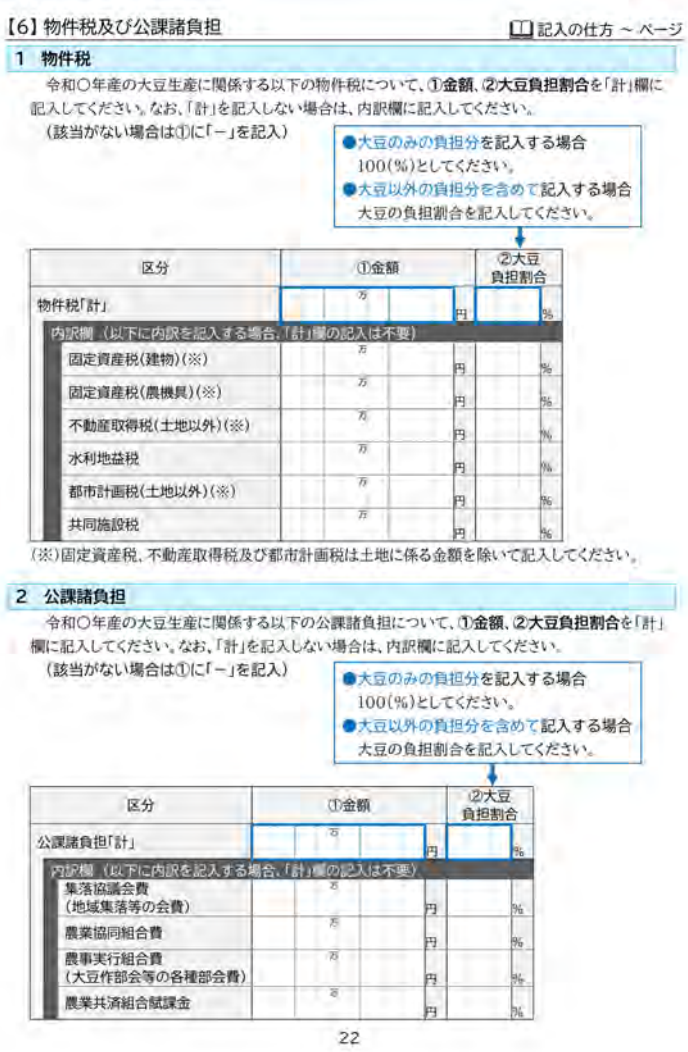
●大豆のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合大豆に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②大豆負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万 円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、メート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

21

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等 当年産の大豆生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 ・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。 ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。 名称等 / 金額（円）（万 千 百 十） / 大豆負担割合（%） / 内容例示 （計） 農具・農業被服等の購入費 【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費 名称等 / 金額（円）（万 千 百 十） / 大豆負担割合（%） / 内容例示 （計） 生産管理関係の費用 【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料	13ページ	同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22ページ	９ページ	



【6】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ページ

1　物件税

令和〇年産の大豆生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②大豆負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税(建物)(※)	万　円	%
固定資産税(農機具)(※)	万　円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万　円	%
共同施設税	万　円	%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和〇年産の大豆生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②大豆負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（大豆作部会等の各種部会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

22

【４】物件税及び公課諸負担

1　物件税

1年間に負担した大豆生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金額（円）	大豆負担割合（%）
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

注：　固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

2　公課諸負担

1年間に負担した大豆生産に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

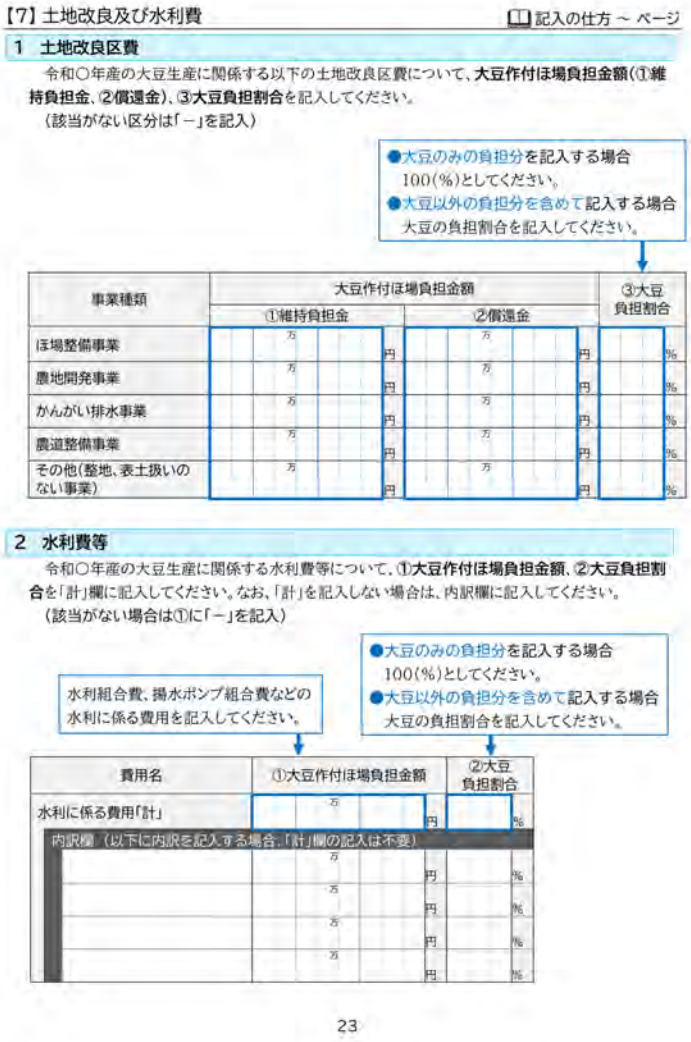
区　分	金額（円）	大豆負担割合（%）
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（大豆作部会等の各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

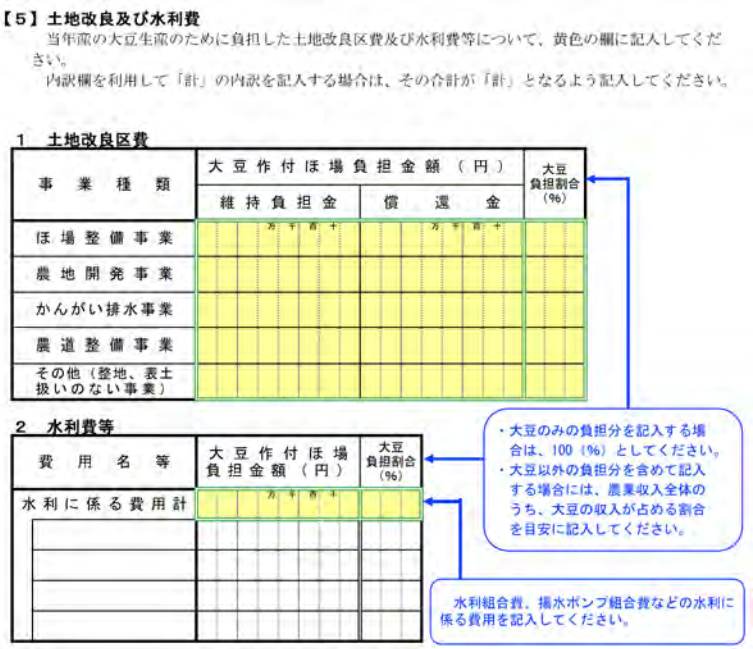
・大豆のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合**

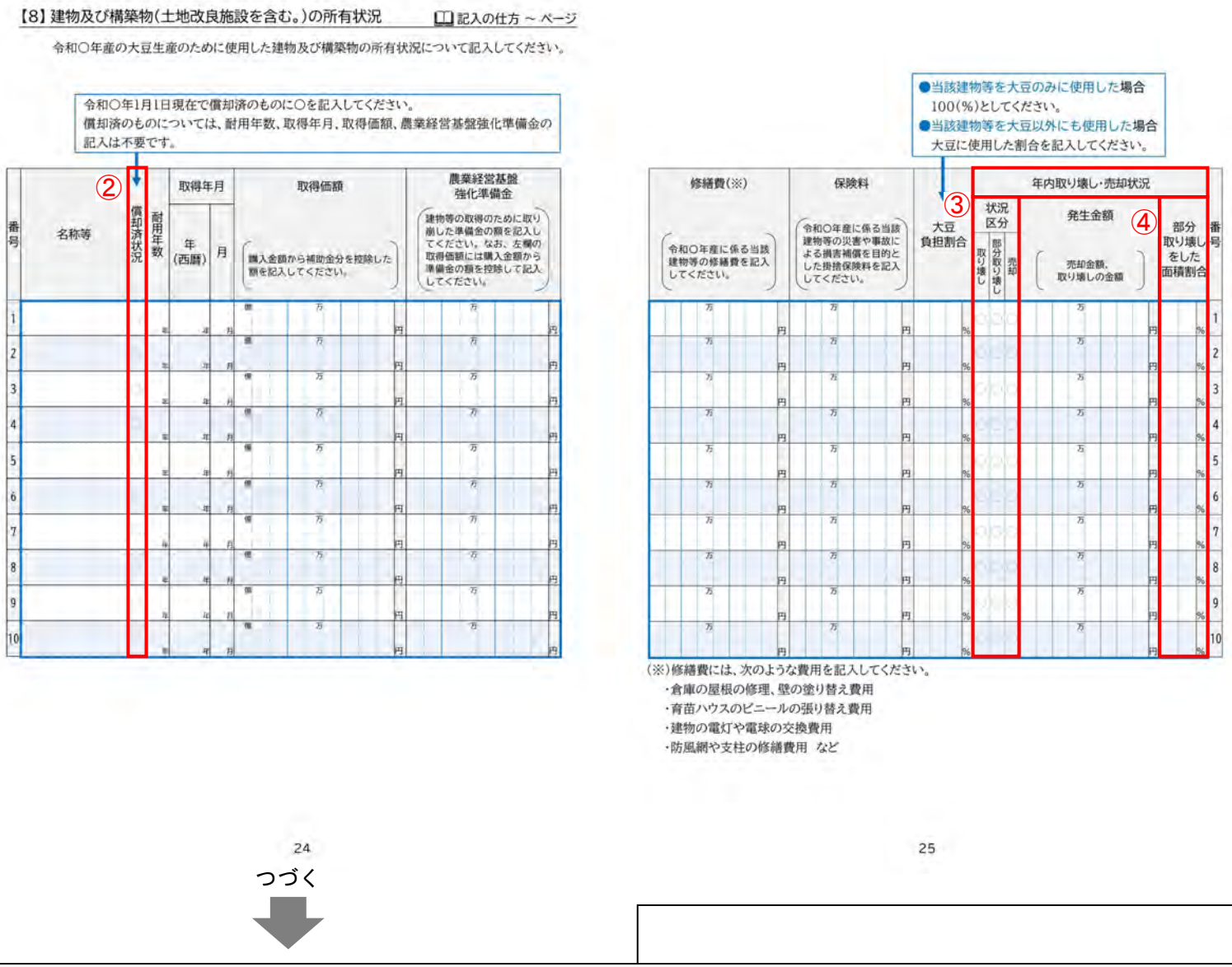
農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

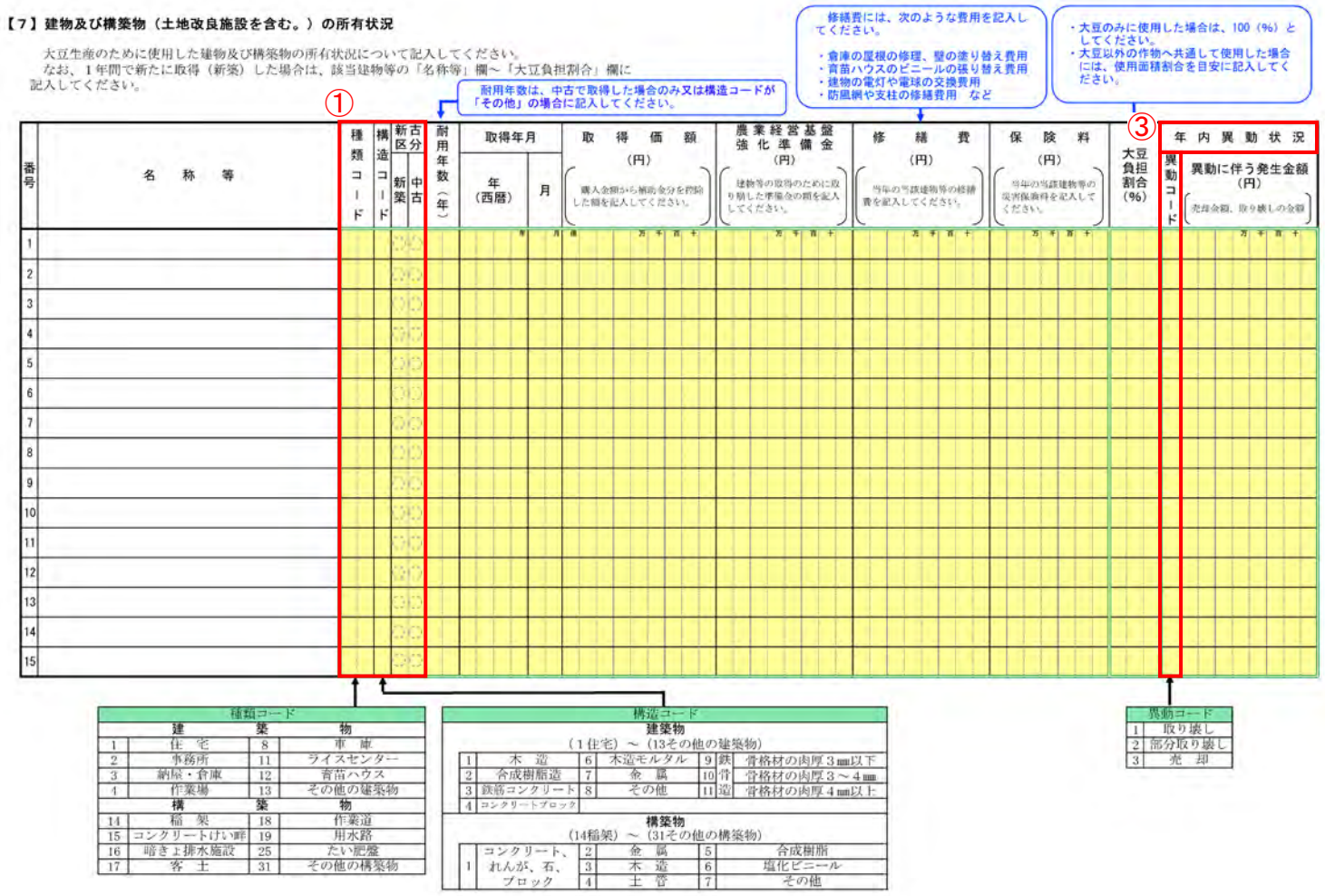
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ	９ページ	

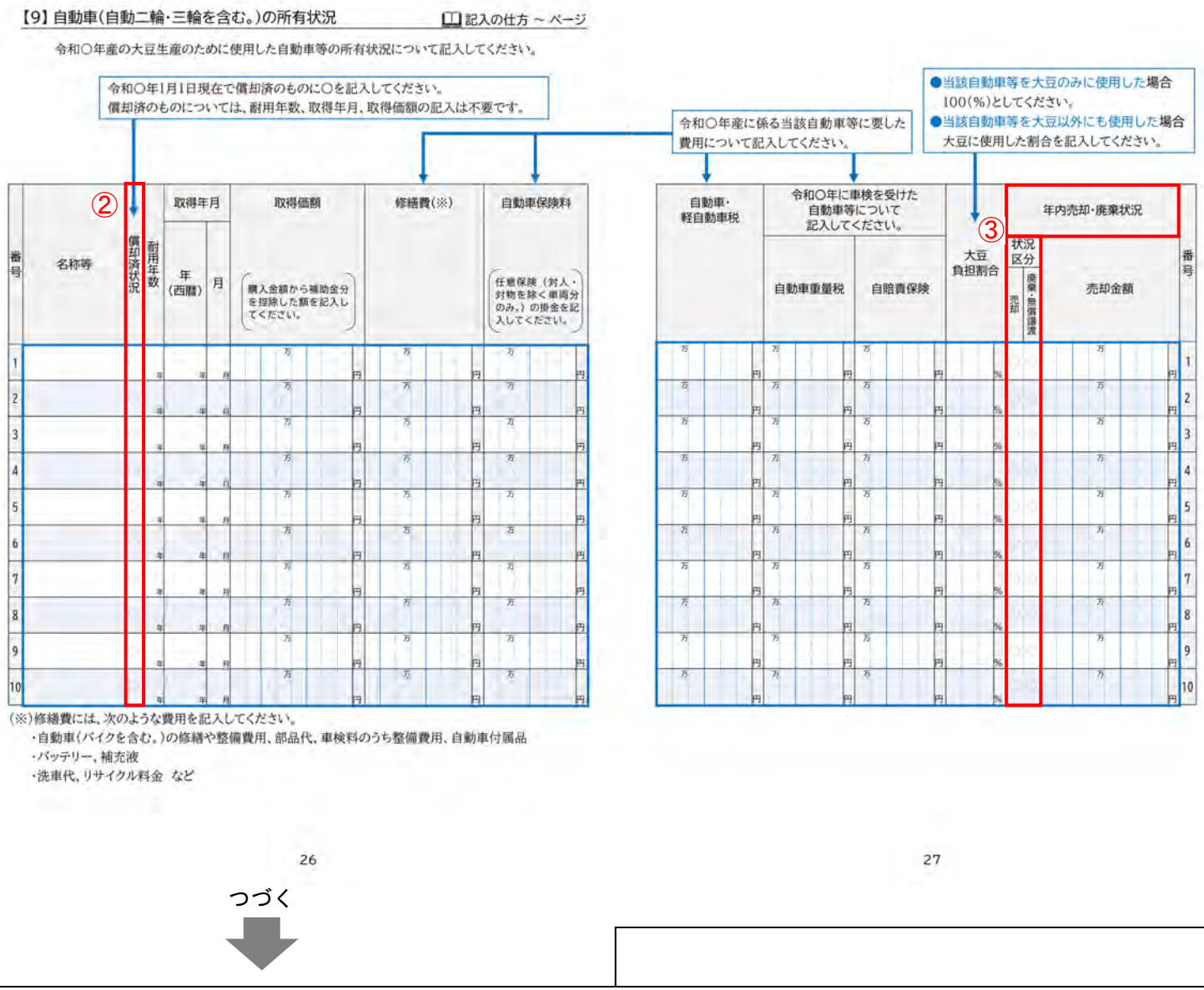


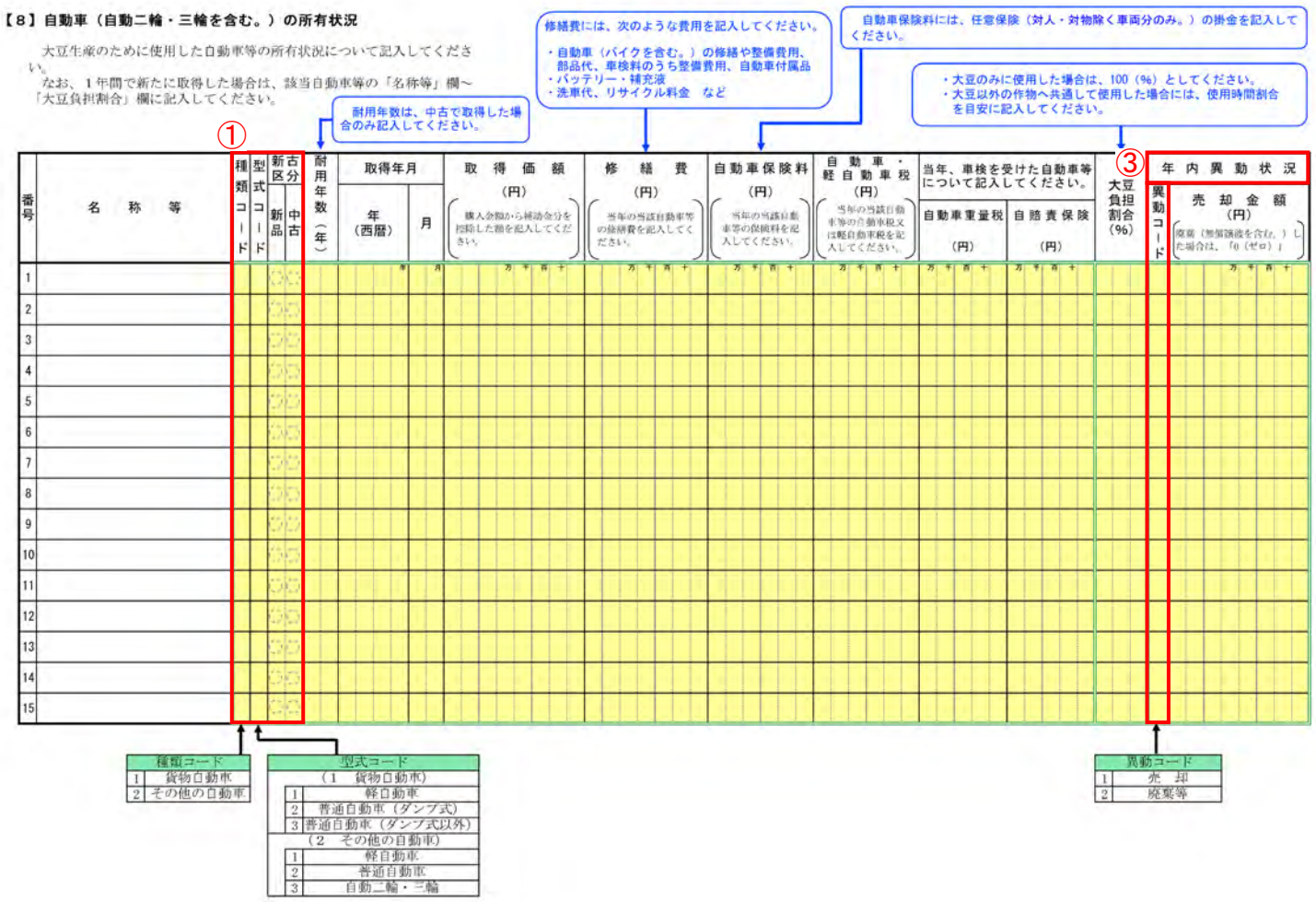


変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24～25ページ（変更前10ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加

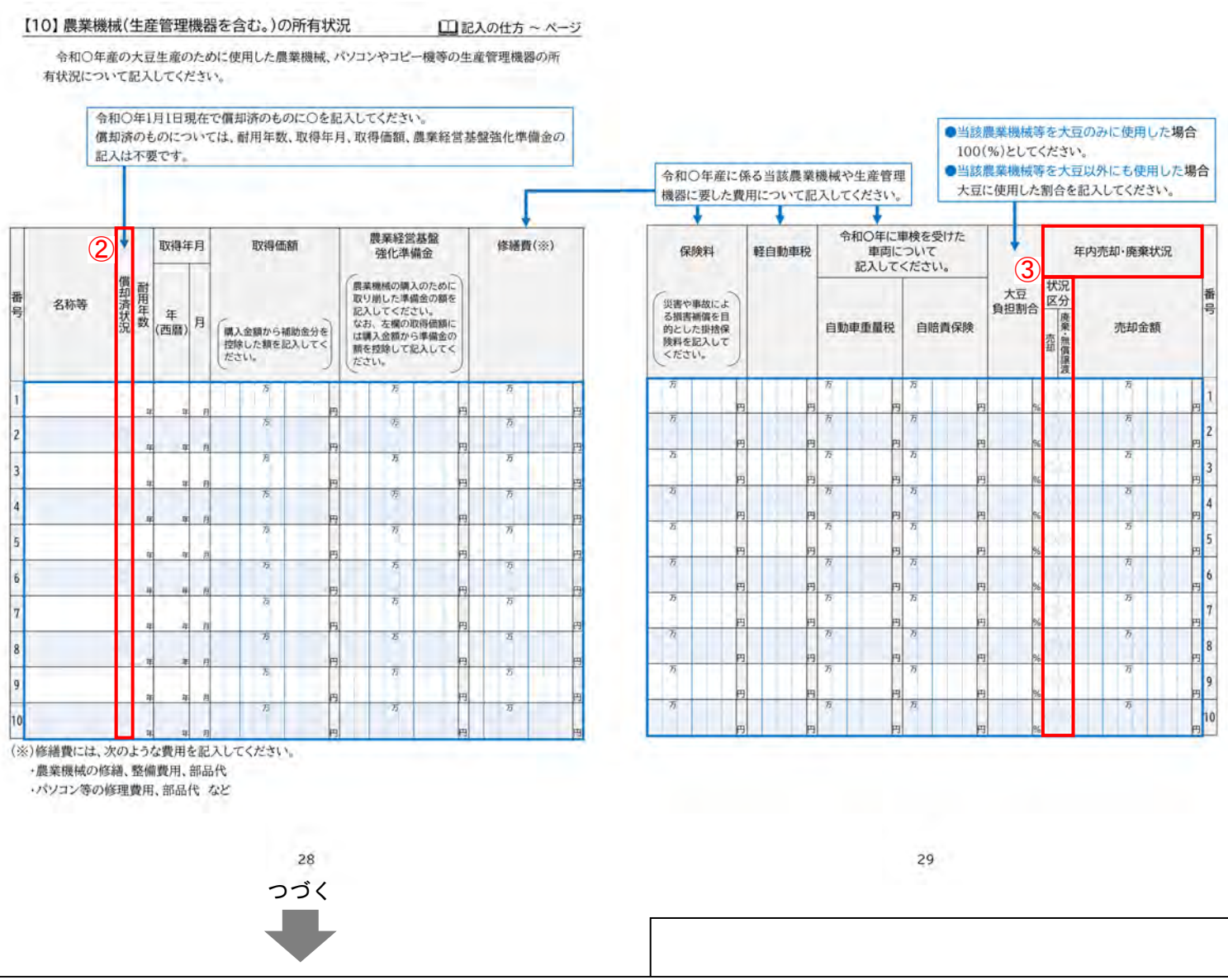


変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上

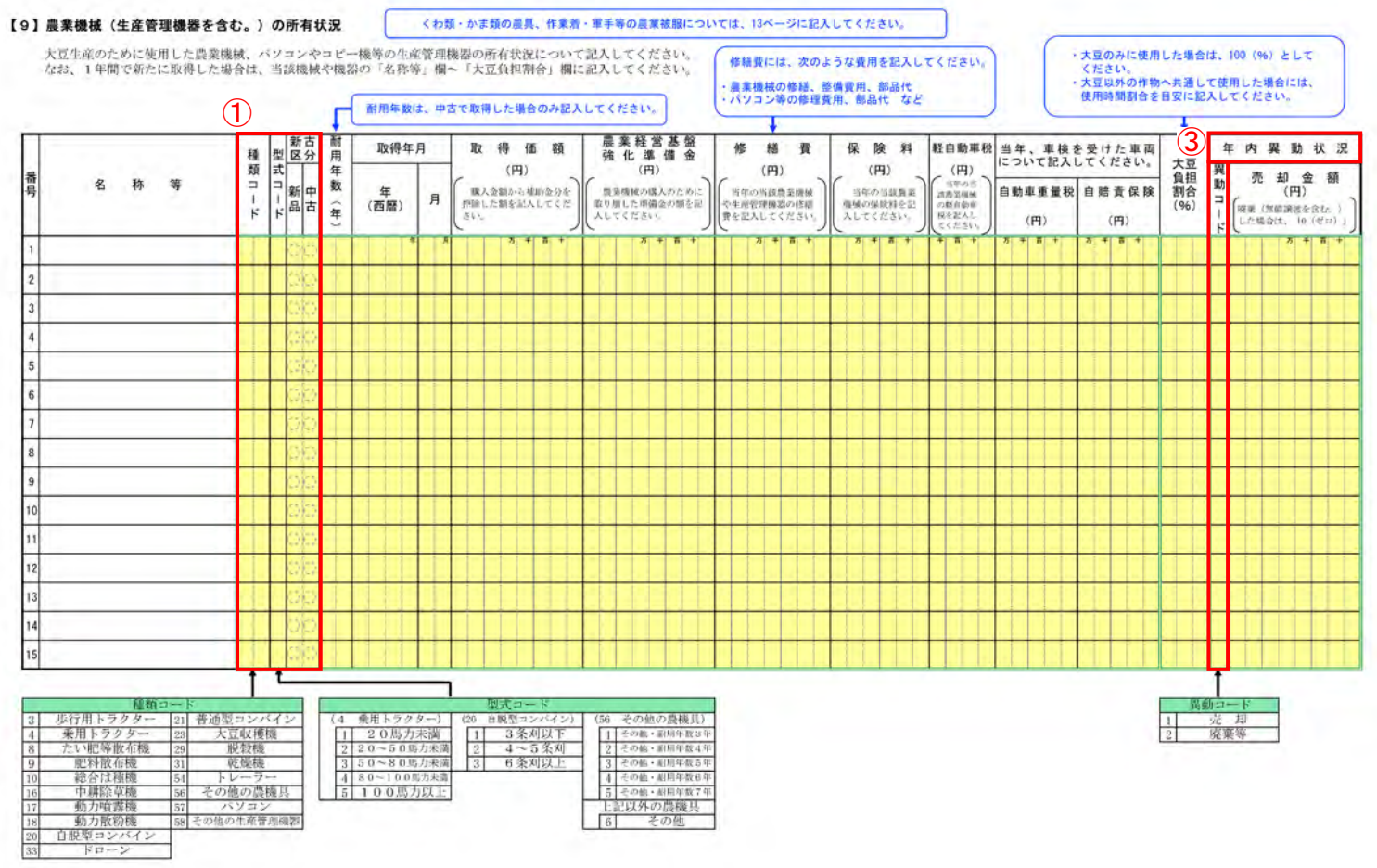
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ（変更前11ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

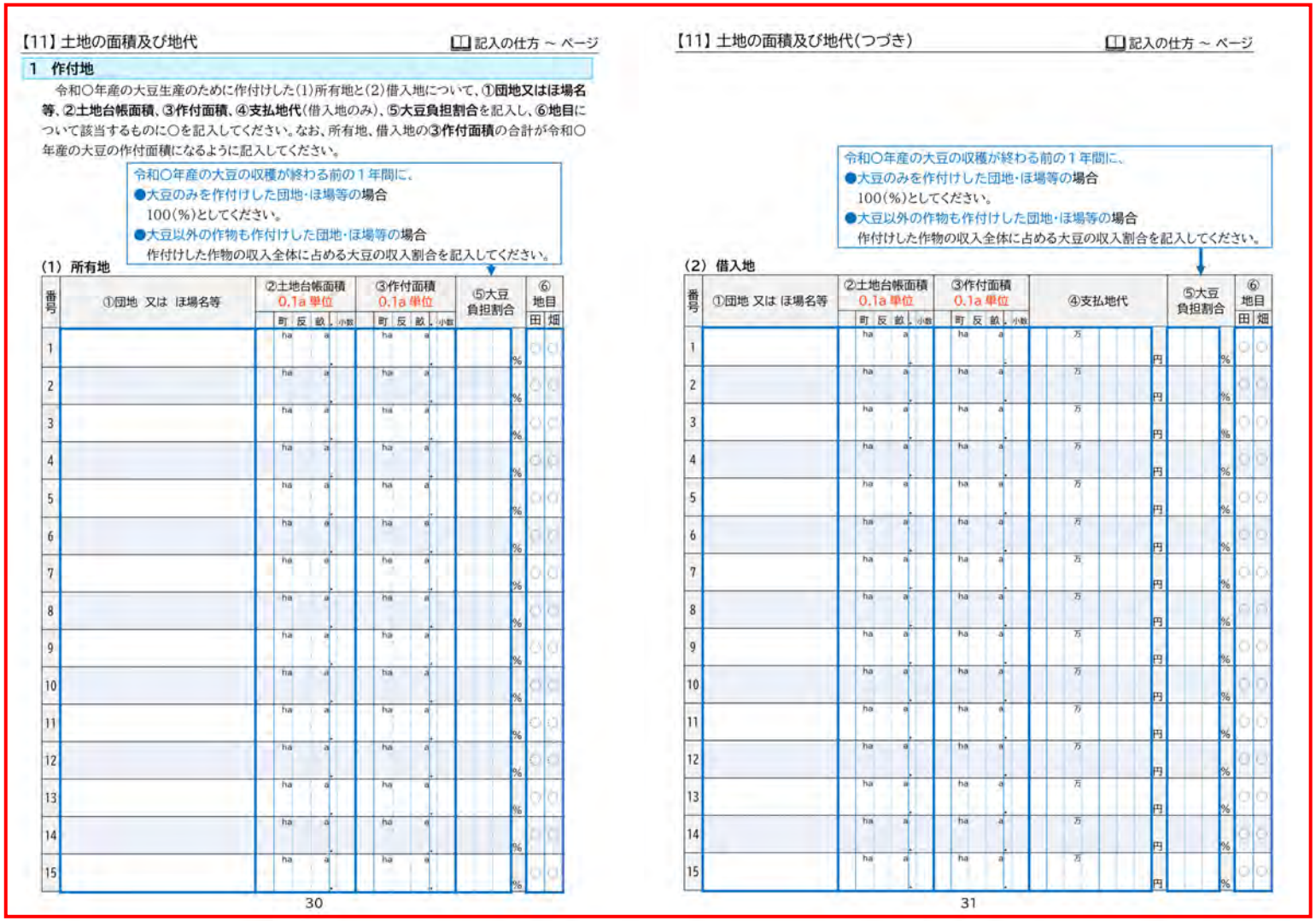
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前12ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ		①同上 ③同上



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前14ページと対比） ①		記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記 ①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更



【11】土地の面積及び地代　　記入の仕方 ～ ページ

1　作付地

令和〇年産の大豆生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤大豆負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の大豆の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
●大豆のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●大豆以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める大豆の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤大豆負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	%	○	○
2		ha a	ha a	%	○	○
3		ha a	ha a	%	○	○
4		ha a	ha a	%	○	○
5		ha a	ha a	%	○	○
6		ha a	ha a	%	○	○
7		ha a	ha a	%	○	○
8		ha a	ha a	%	○	○
9		ha a	ha a	%	○	○
10		ha a	ha a	%	○	○
11		ha a	ha a	%	○	○
12		ha a	ha a	%	○	○
13		ha a	ha a	%	○	○
14		ha a	ha a	%	○	○
15		ha a	ha a	%	○	○

30

つづく

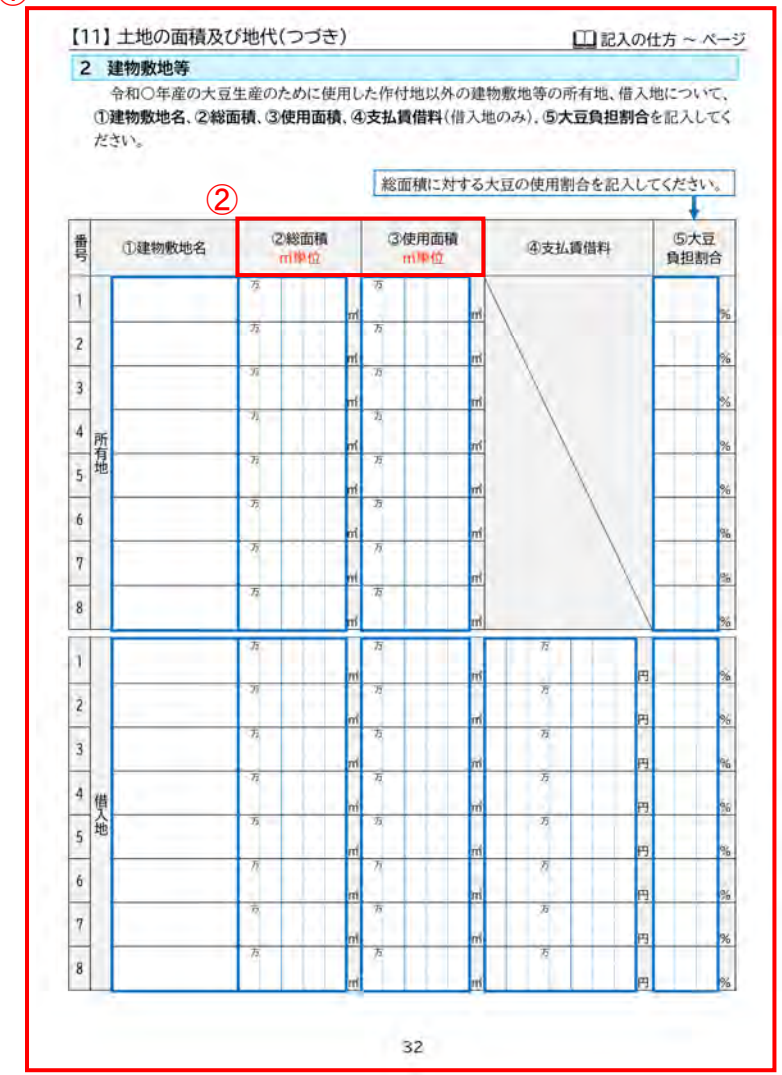
【11】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
●大豆のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●大豆以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める大豆の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤大豆負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	万 円	%	○	○
2		ha a	ha a	万 円	%	○	○
3		ha a	ha a	万 円	%	○	○
4		ha a	ha a	万 円	%	○	○
5		ha a	ha a	万 円	%	○	○
6		ha a	ha a	万 円	%	○	○
7		ha a	ha a	万 円	%	○	○
8		ha a	ha a	万 円	%	○	○
9		ha a	ha a	万 円	%	○	○
10		ha a	ha a	万 円	%	○	○
11		ha a	ha a	万 円	%	○	○
12		ha a	ha a	万 円	%	○	○
13		ha a	ha a	万 円	%	○	○
14		ha a	ha a	万 円	%	○	○
15		ha a	ha a	万 円	%	○	○

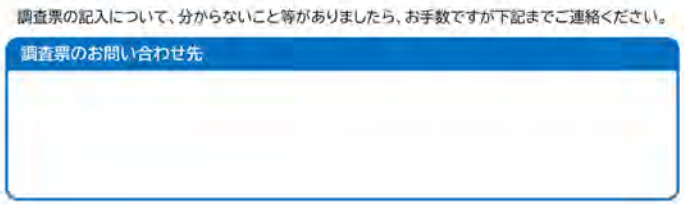
31

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32ページ（変更前14ページと対比） ①  【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ページ 2　建物敷地等 令和○年産の大豆生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤大豆負担割合**を記入してください。 総面積に対する大豆の使用割合を記入してください。 ② 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤大豆負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 32 つづく		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① 	14ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
33ページ 	９ページ 	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ  	4ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。 調査票のお問い合わせ先	1ページ  秘 農林水産省 農業経営統計調査 ○年産　大豆生産費統計調査票 （個別経営体用） 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★○印は記入見本を参考に記入してください。 ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「大豆（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産の大豆の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　大豆とは
普通大豆，特定加工用大豆及び種子大豆（黒大豆は除きます。）が該当します。

※２　この調査での大豆の生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（大豆負担割合について）】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から大豆負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
大豆と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、大豆「2ha」，水稲「8ha」の作付地に施肥した場合

例１　大豆に施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	大豆負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

← 大豆負担割合に「100%」と記入

例２　大豆、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
大豆と水稲の作付面積割合「２：８」を目安に大豆負担割合を「２０％」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	大豆負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

← 大豆負担割合に「20%」と記入

【大豆負担割合の設定方法】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合の大豆負担割合を設定する方法について説明します。

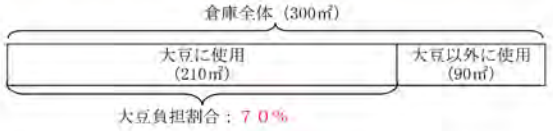
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、大豆生産のために使用した面積の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で，うち大豆生産のために210㎡，大豆以外の作物に90㎡を使用した場合の「大豆負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図

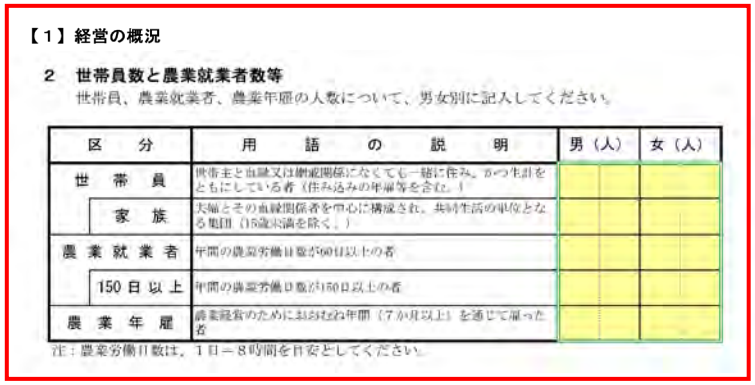
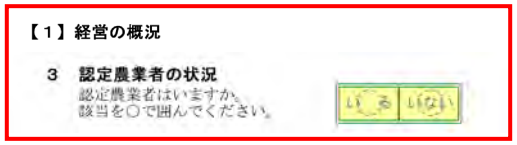


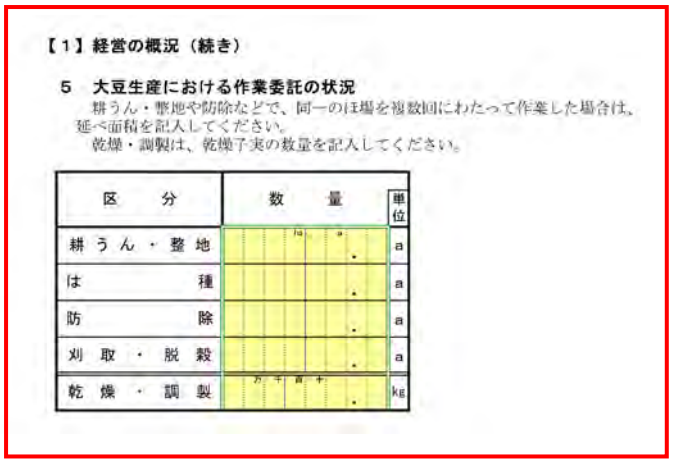
（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、大豆生産のために使用した時間の割合を「大豆負担割合」とします。

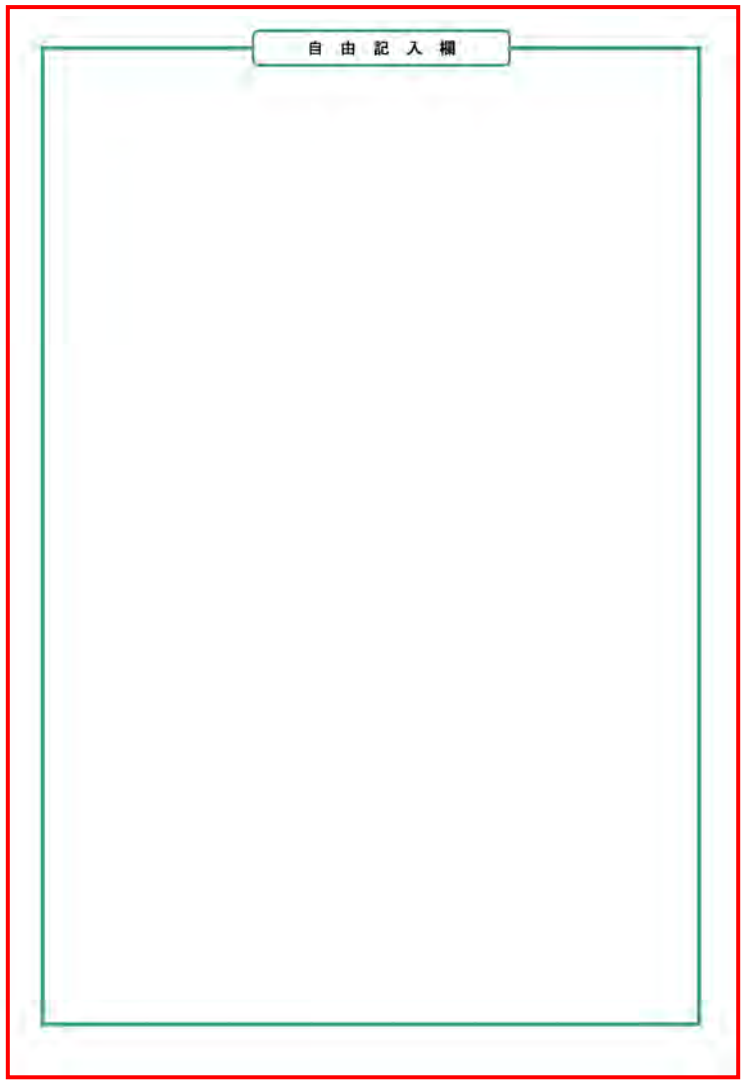
$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で，うち大豆生産のために80時間，大豆以外の作物に120時間使用した場合の「大豆負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普　通　畑 樹　園　地 牧　草　地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年歴の人数について、男女別に記入してください。 区　分 / 用　語　の　説　明 / 男（人） / 女（人） 世　帯　員 家　族 農業就業者 150日以上 農　業　年　歴 注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる　いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

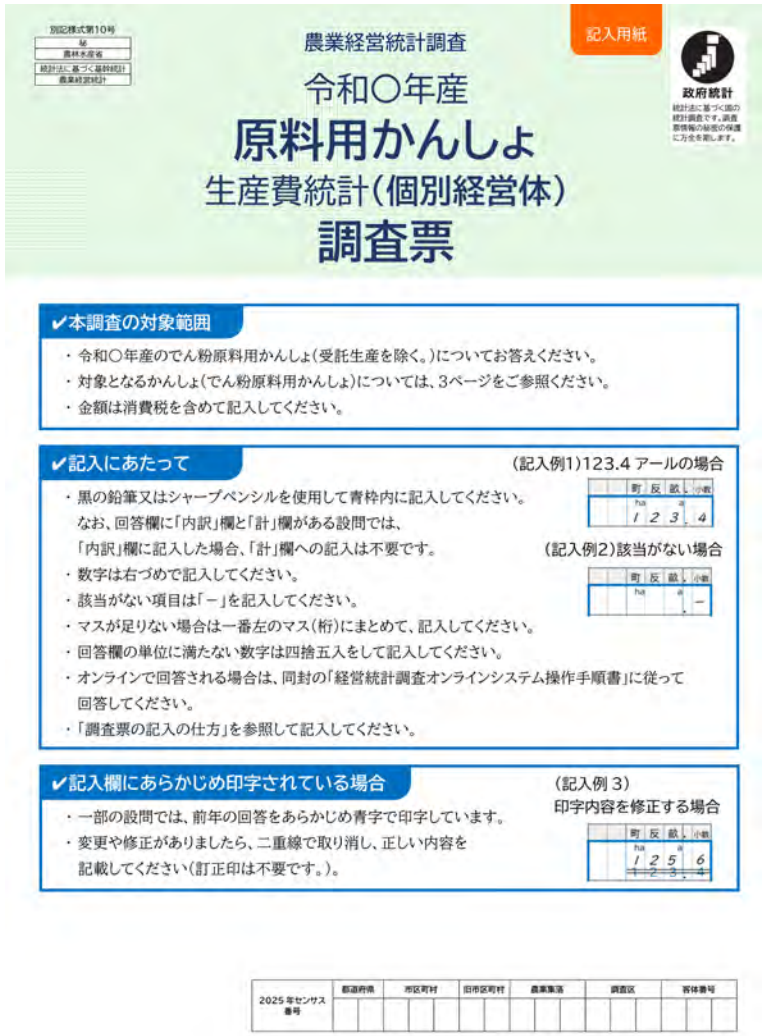
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ５　大豆生産における作業委託の状況 耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。 乾燥・調製は、乾燥子実の数量を記入してください。 区分 / 数量 / 単位 耕うん・整地 / a は種 / a 防除 / a 刈取・脱穀 / a 乾燥・調製 / kg	大豆生産における作業委託の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ６　大豆の品種別作付面積 当年産に作付けした大豆の品種名及びその作付面積を記入してください。 区分 / 品種名 / 面積（a） 品種１ 品種２ 品種３ 品種４ 品種５ 注：　面積の合計が当年産の大豆作付面積です。	大豆の品種別作付面積における作業委託の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ７　制度受取金等の状況 当年産の大豆に係る制度受取金等について記入してください。 区　分 / 掛　金（円） / 受　取　金（円） 農　業　共　済 注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。	制度受取金等の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  通　信　欄	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除

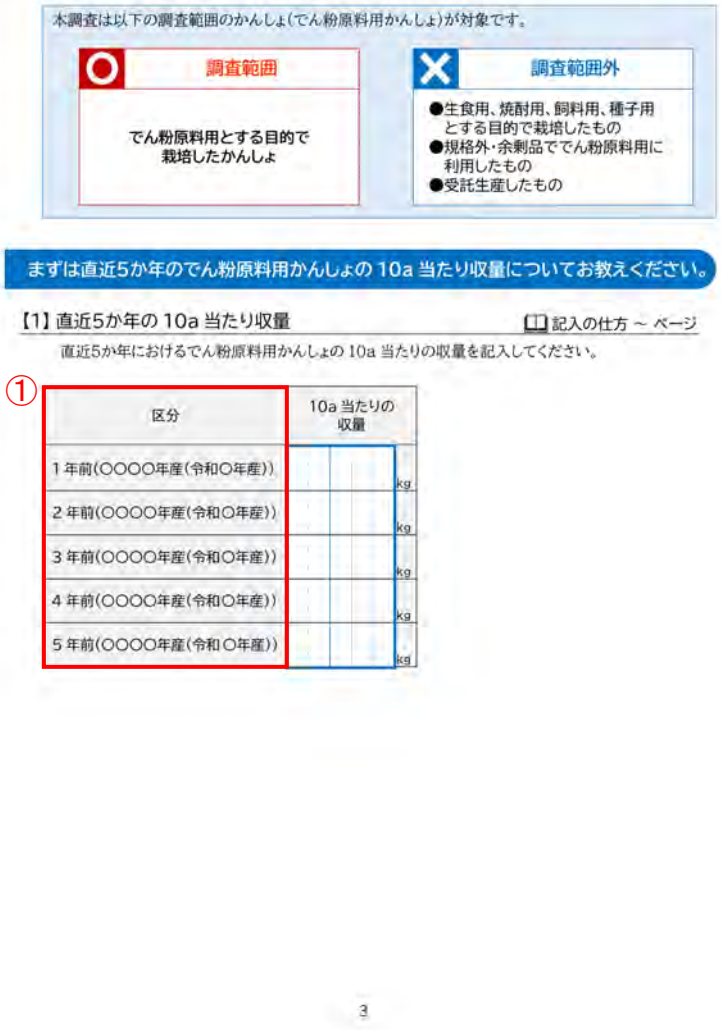
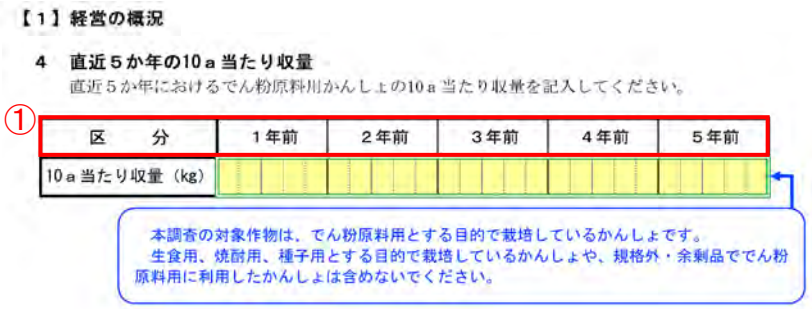
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	６ページ  	自由記入欄について、利活用の実績が乏しいことから削除

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　農産物生産費統計（原料用かんしょ（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第10号 １ページ  	別記様式第７号 １ページ  	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 ① 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……9 【4】でん粉原料用かんしょ生産のために使用した資材等 ……11 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……21 【6】物件税及び公課諸負担 ……23 【7】土地改良及び水利費 ……25 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……26 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……28 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……30 【11】土地の面積及び地代 ……32 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……35	３ページ 調　査　事　項 ① ページ 【1】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、でん粉原料用かんしょの作付品種等について記入してください。 【2】 生産物の販売等の状況 …… 4 でん粉原料用かんしょの用途別の販売状況について記入してください。 【3】 でん粉原料用かんしょの生産のために使用した資材等 …… 5 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。 【4】 物件税及び公課諸負担 …… 8 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【5】 土地改良及び水利費 …… 8 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。 【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8 借入金残高、支払利子について記入してください。 【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 13 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 14 家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は36～38ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  	３ページ  	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更（以下同じ） 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化（以下同じ） 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更（以下同じ） 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、でん粉原料用かんしょの調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ（変更前14ページと対比） ①		①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 家族労働時間」と「2 雇用労働時間」を統合して設定していた設問を「1 家族や住み込みの年雇の労働時間」、「2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）」、「3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間」に設問を分離 ②氏名に限定せず、作業者を特定可能な記入欄へ変更

ここからは 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

② 番号 1 2 3 4 5 6

作業者

性別　男 女

年齢（令和〇年1月1日時点）　歳

作業	内容例示
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等
耕起整地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り
基肥	基肥の配合、運搬、施肥
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
収穫	収穫、運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

時間

4

【2】作業別労働時間（つづき）　　記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

② 番号 7 8 9 10 11 12

作業者

性別　男 女

年齢（令和〇年1月1日時点）　歳

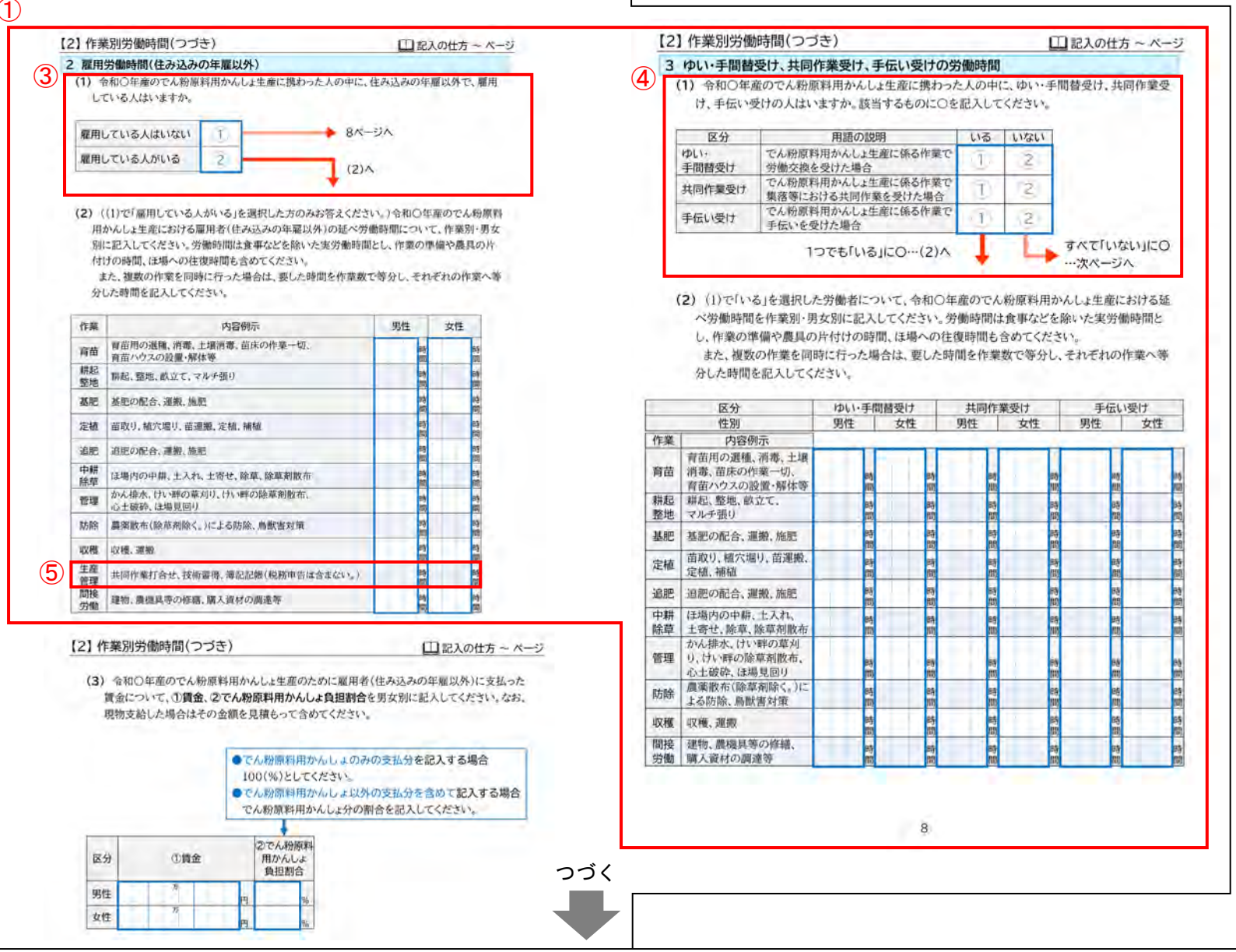
作業	内容例示
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等
耕起整地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り
基肥	基肥の配合、運搬、施肥
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
収穫	収穫、運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

時間

5

つづく

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～８ページ（変更前14ページと対比） ①		①同上 ③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、住み込みの年雇以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人の有無を確認する設問を追加 ⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加



【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

③ 2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

(1) 令和○年産のでん粉原料用かんしょ生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	1	→ 8ページへ
雇用している人がいる	2	→ (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。) 令和○年産のでん粉原料用かんしょ生産における雇用者（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間
⑤ 生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

(3) 令和○年産のでん粉原料用かんしょ生産のために雇用者（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、**①賃金、②でん粉原料用かんしょ負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●でん粉原料用かんしょのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の支払分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょ分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②でん粉原料用かんしょ負担割合
男性	万 円	%
女性	万 円	%

つづく

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

④ 3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和○年産のでん粉原料用かんしょ生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	でん粉原料用かんしょ生産に係る作業で労働交換を受けた場合	1	2
共同作業受け	でん粉原料用かんしょ生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	1	2
手伝い受け	でん粉原料用かんしょ生産に係る作業で手伝いを受けた場合	1	2

1つでも「いる」に○…(2)へ　すべて「いない」に○…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産のでん粉原料用かんしょ生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分	ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業 / 内容例示						
育苗 育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地 耕起、整地、畝立て、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥 基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植 苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥 追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草 ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理 かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除 農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫 収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働 建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

8

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	14ページ	①同上 ②同上

【12】作業別労働時間

当年産のでん粉原料用かんしょ生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

①

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

②

作業種類	内容例示	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢
			男・女	歳		男・女	歳		男・女	歳		男・女	歳		男・女	歳
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等			時間			時間			時間			時間			時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り															
基肥	基肥の配合、運搬、施肥															
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植															
追肥	追肥の配合、運搬、施肥															
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布															
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り															
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策															
収穫	収穫、運搬															
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）															
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等															

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

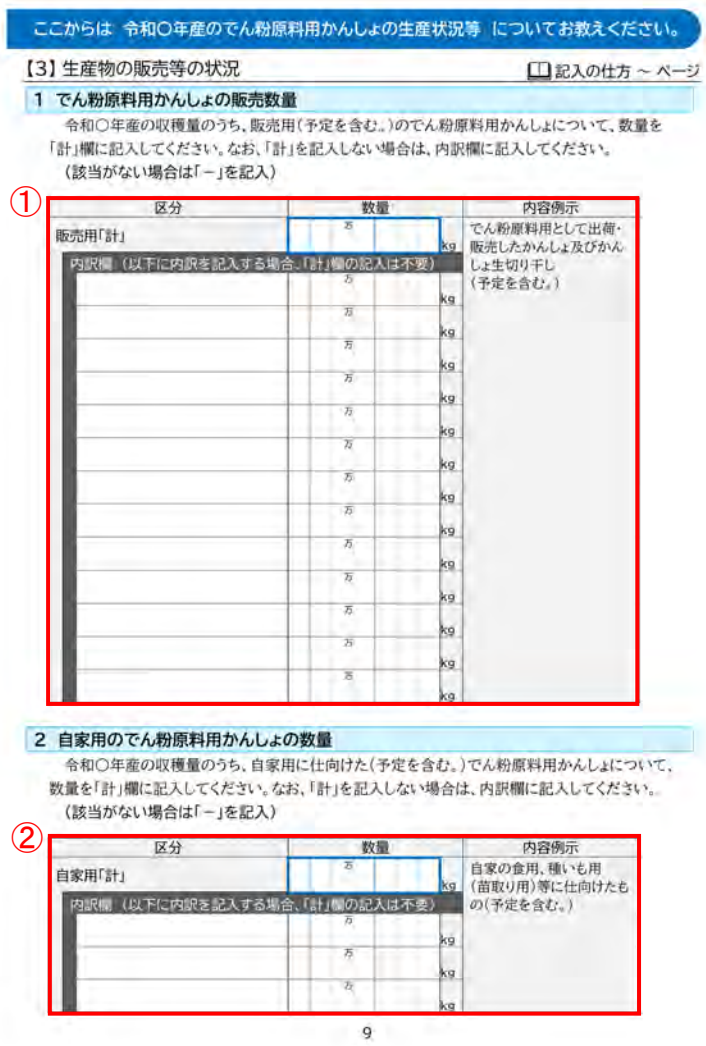
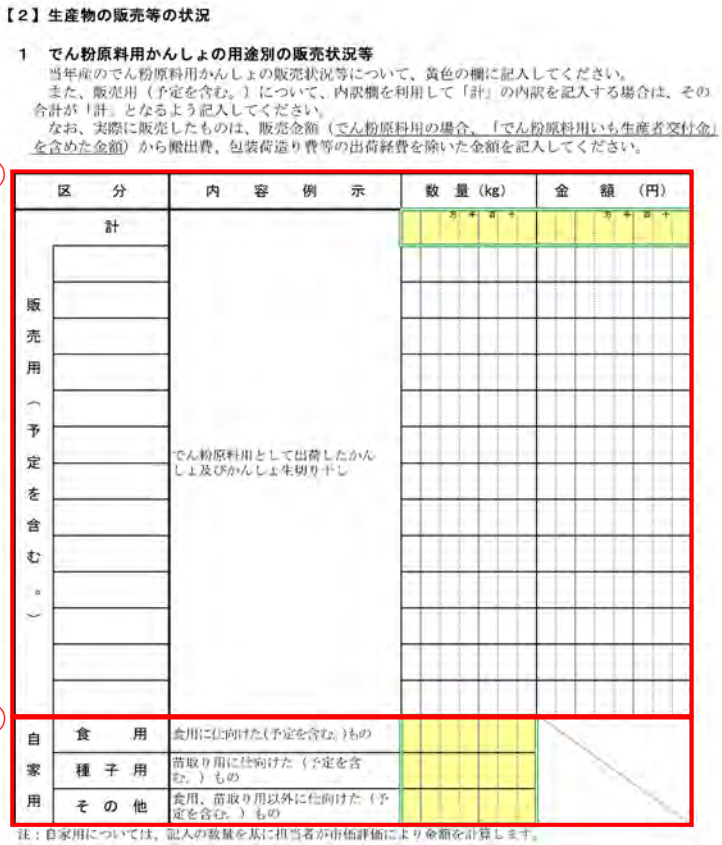
雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
時間	時間	育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等
		耕起整地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り
		基肥	基肥の配合、運搬、施肥
		定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植
		追肥	追肥の配合、運搬、施肥
		中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
		管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り
		防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
		収穫	収穫、運搬
		生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
		間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

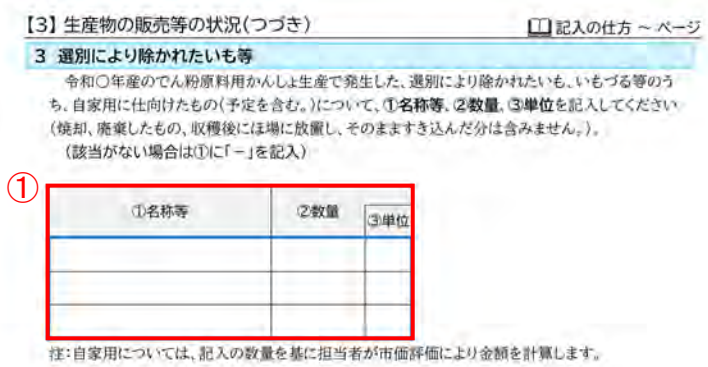
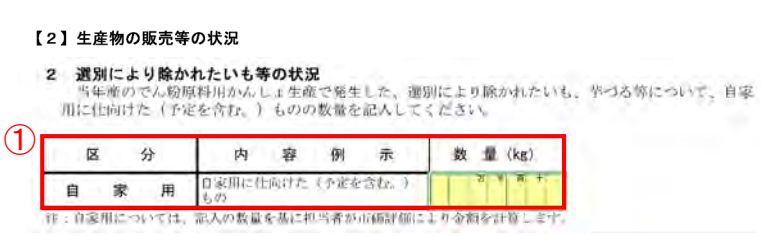
3　支払賃金

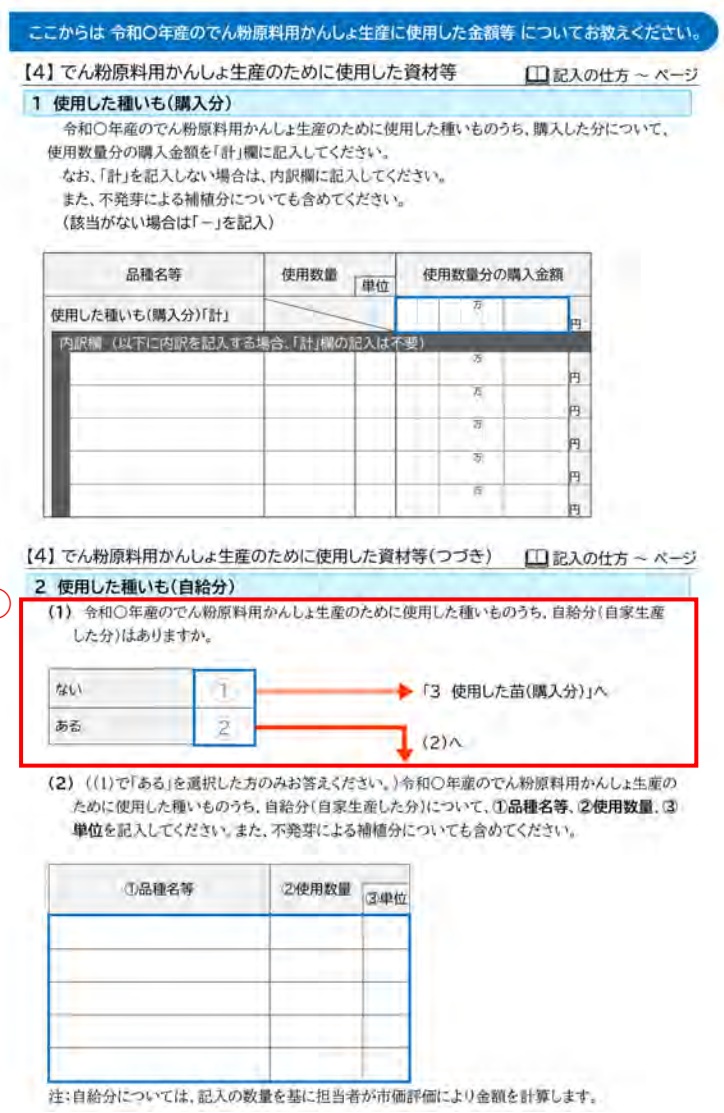
当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

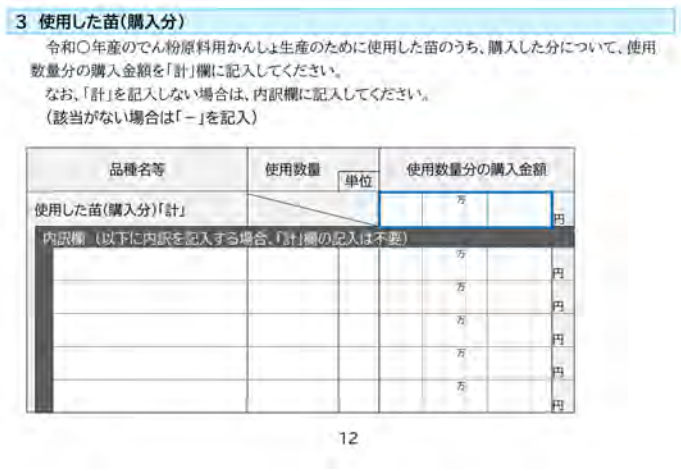
区分	支払賃金（円）	でん原負担割合（%）
	万 千 百 十	
男		
女		

・でん粉原料用かんしょ生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

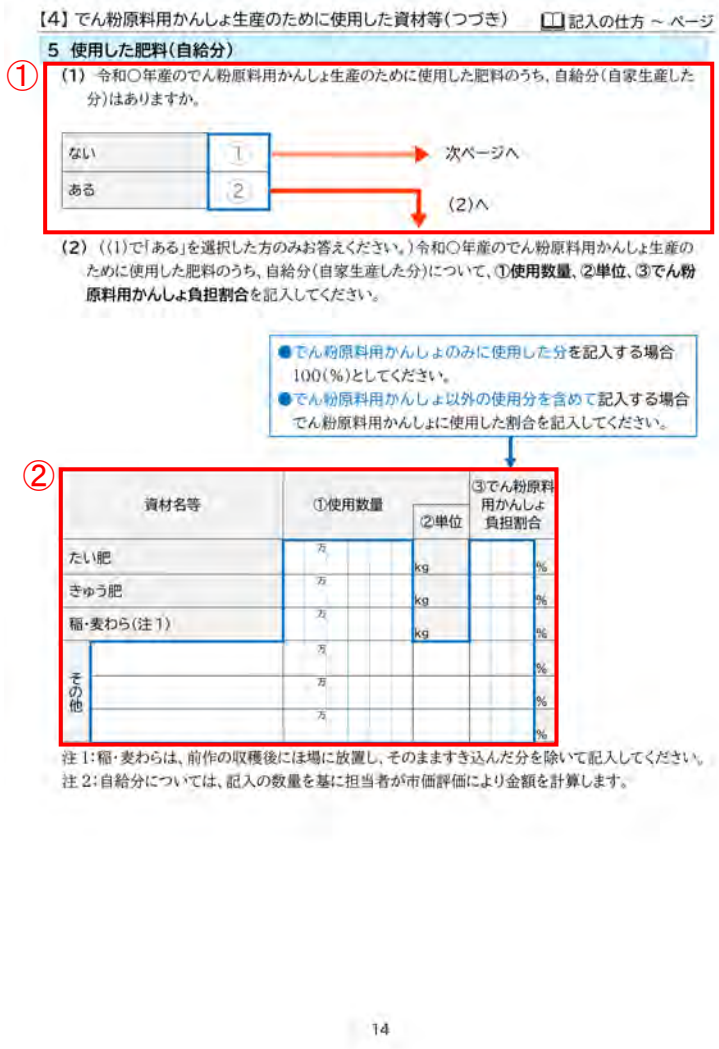
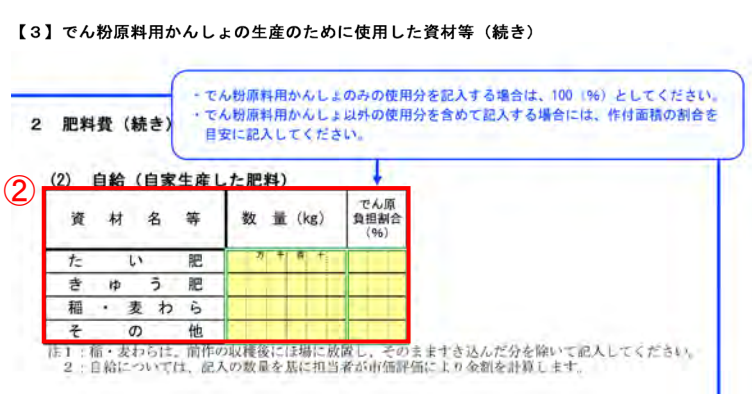
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ 	４ページ 	報告者が記入しやすいよう、自家用のでん粉原料用かんしょの数量に関する設問を分離 ①でん粉原料用かんしょの用途別の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため「金額（円）」を削除し、「数量」のみを把握するよう変更 ②自家用のでん粉原料用かんしょの数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「食用」、「種子用」及び「その他」の記入欄を削除し、「自家用「計」」を把握するよう変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ  【3】生産物の販売等の状況(つづき)　記入の仕方 ～ページ 3 選別により除かれたいも等 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産で発生した、選別により除かれたいも、いもづる等のうち、自家用に仕向けたもの(予定を含む。)について、**①名称等**、**②数量**、**③単位**を記入してください(焼却、廃棄したもの、収穫後に圃場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。)。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ① ①名称等 / ②数量 / ③単位 注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 10	4ページ  【2】生産物の販売等の状況 2 選別により除かれたいも等の状況 当年産のでん粉原料用かんしょ生産で発生した、選別により除かれたいも、茎つる等について、自家用に仕向けた（予定を含む。）ものの数量を記入してください。 ① 区分 / 内容例示 / 数量（kg） 自家用 / 自家用に仕向けた（予定を含む。）もの 注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	①選別により除かれたいも等の状況について、報告者が記入しやすいよう回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11～12ページ 	5ページ 	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種いも（自給分）の有無を確認する設問を追加

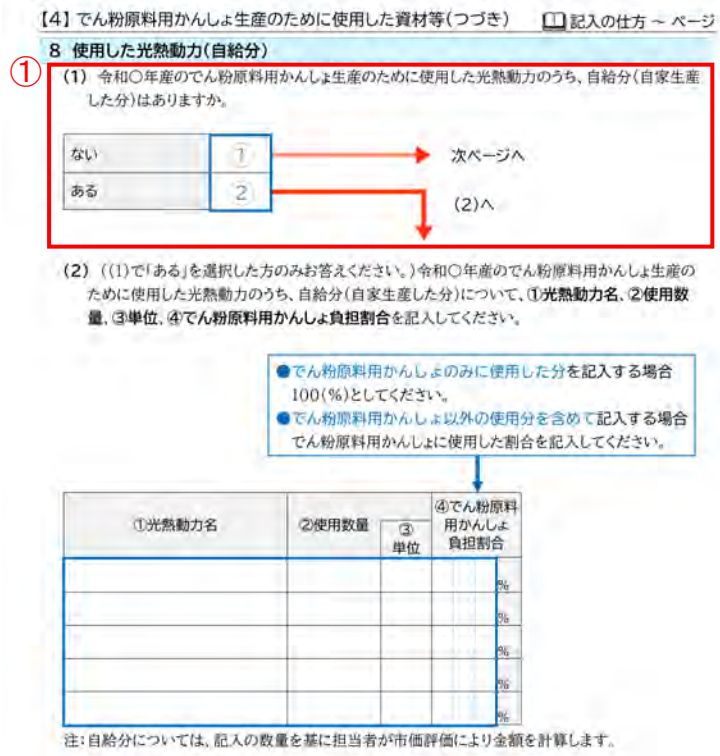
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ  **3 使用した苗(購入分)** 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した苗のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は「－」を記入） 品種名等 / 使用数量 単位 / 使用数量分の購入金額 使用した苗(購入分)「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 万 円 12	５ページ **【３】でん粉原料用かんしょの生産のために使用した資材等** (3) 苗（購入） 品　種　名　等 / 数　量 / 単位 / 金　額（円） 計 － 万 千 百 十	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ 	6ページ 	肥料費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ  【4】でん粉原料用かんしょ生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ページ 5 使用した肥料（自給分） ① (1) 令和○年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した肥料のうち，自給分（自家生産した分）はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。) 令和○年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した肥料のうち，自給分（自家生産した分）について，**①使用数量，②単位，③でん粉原料用かんしょ負担割合**を記入してください。 ●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合 100（%）としてください。 ●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合 でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。 ② 資材名等 / ①使用数量（万 千 百 十） / ②単位 / ③でん粉原料用かんしょ負担割合 たい肥　kg　% きゅう肥　kg　% 稲・麦わら（注1）　kg　% その他　% % % 注1：稲・麦わらは，前作の収穫後にほ場に放置し，そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 注2：自給分については，記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 14	6ページ  【3】でん粉原料用かんしょの生産のために使用した資材等（続き） ・でん粉原料用かんしょのみの使用分を記入する場合は，100（%）としてください。 ・でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合には，作付面積の割合を目安に記入してください。 2 肥料費（続き） (2) 自給（自家生産した肥料） ② 資材名等 / 数量（kg）（万 千 百 十） / でん原負担割合（%） たい肥 きゅう肥 稲・麦わら その他 注1：稲・麦わらは，前作の収穫後にほ場に放置し，そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 2：自給については，記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料（自給分）の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ 	6ページ 	農業薬剤費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ 	7ページ 	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ（変更前７ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力（自給分）の有無を確認する設問を追加

【4】でん粉原料用かんしょ生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

8 使用した光熱動力（自給分）

①

(1) 令和○年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した光熱動力のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。

ない	1	→ 次ページへ
ある	2	→ (2)へ

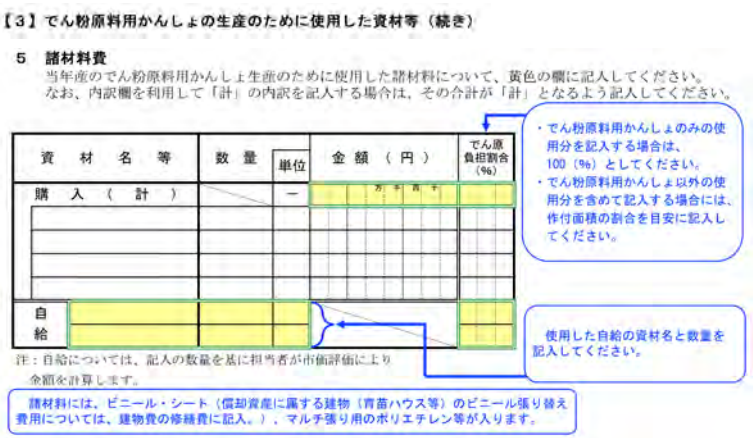
(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。) 令和○年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した光熱動力のうち、自給分（自家生産した分）について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④でん粉原料用かんしょ負担割合**を記入してください。

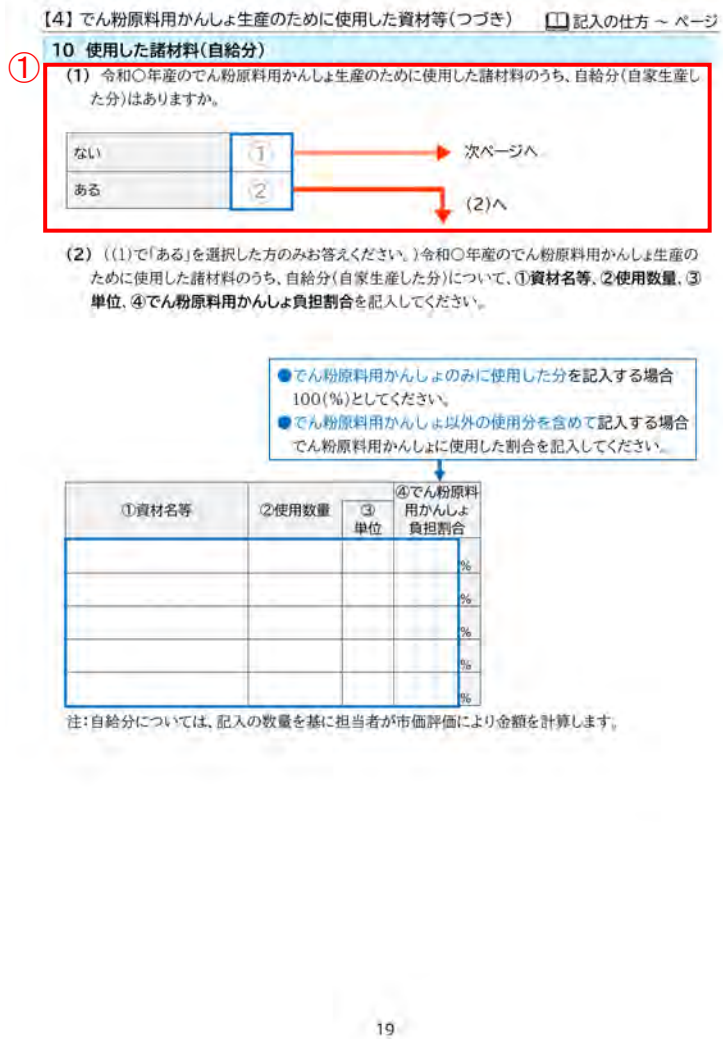
●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合 でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④でん粉原料用かんしょ負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

17

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ 	7ページ 	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ（変更前７ページと対比）  【4】でん粉原料用かんしょ生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ 10 使用した諸材料（自給分） ① (1) 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④でん粉原料用かんしょ負担割合**を記入してください。 ●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合 でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。 ①資材名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④でん粉原料用かんしょ負担割合 % 注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 19		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ 	7ページ 	賃借料及び料金の内訳欄について、報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21～22ページ（変更前12ページと対比）  つづく		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	12ページ	同上

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

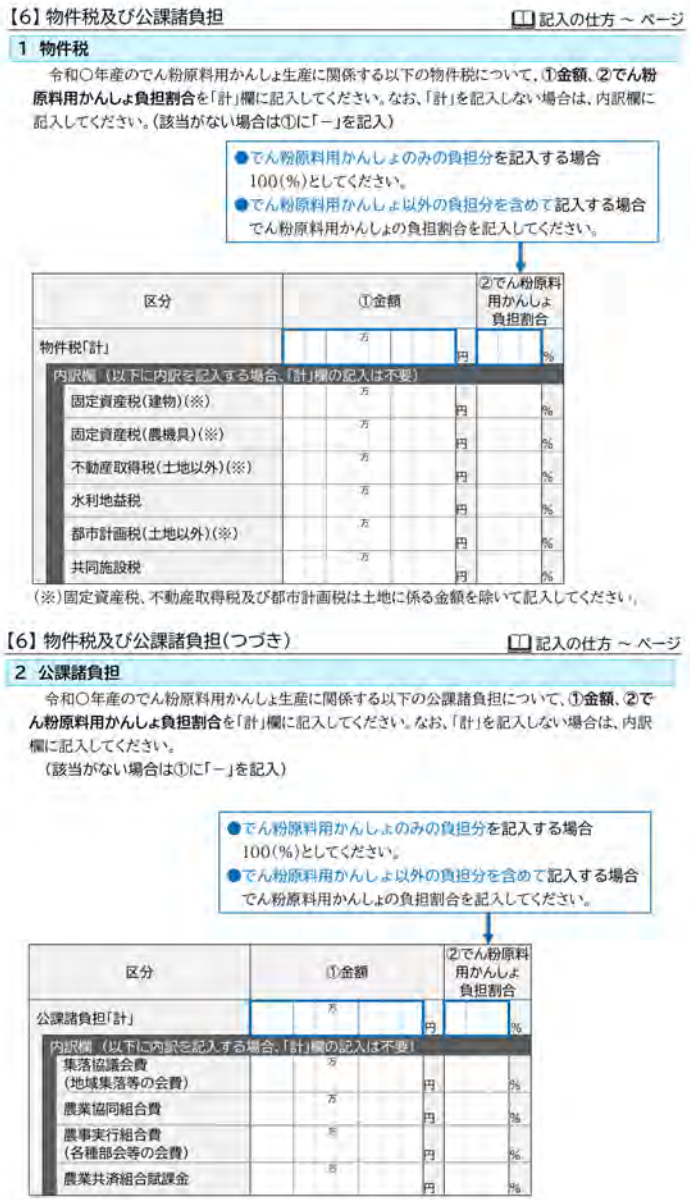
当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（円）	でん原負担割合（%）	内　容　例　示
農具・農業被服等の購入費	（計）			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名　称　等	金　額　（円）	でん原負担割合（%）	内　容　例　示
生産管理関係の費用	（計）			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23～24ページ	8ページ	



【6】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ ページ

1 物件税

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産に関係する以下の物件税について、**①金額、②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(該当がない場合は①に「－」を記入)

●でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②でん粉原料用かんしょ負担割合
物件税「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税(建物)(※)	万 円	%
固定資産税(農機具)(※)	万 円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万 円	%
水利地益税	万 円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万 円	%
共同施設税	万 円	%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

【6】物件税及び公課諸負担(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

2 公課諸負担

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額、②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②でん粉原料用かんしょ負担割合
公課諸負担「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費(地域集落等の会費)	万 円	%
農業協同組合費	万 円	%
農事実行組合費(各種部会等の会費)	万 円	%
農業共済組合賦課金	万 円	%

【４】物件税及び公課諸負担

1　物件税

1年間に負担したでん粉原料用かんしょ生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金額（円）	でん原負担割合(%)
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

2　公課諸負担

1年間に負担したでん粉原料用かんしょ生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

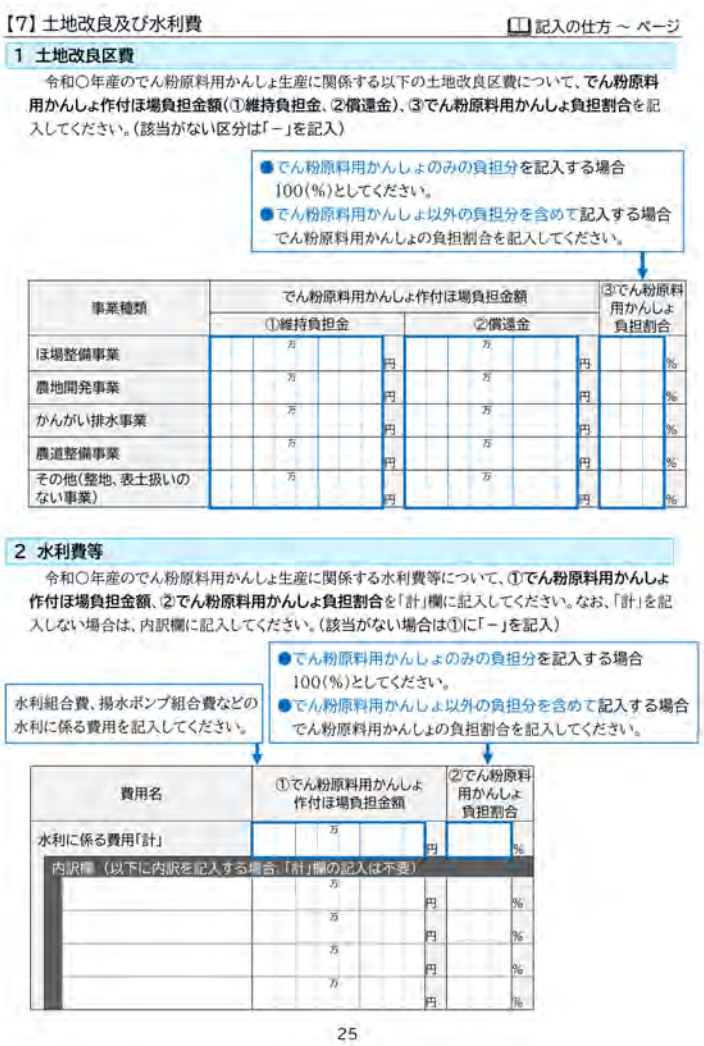
区　分	金額（円）	でん原負担割合(%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

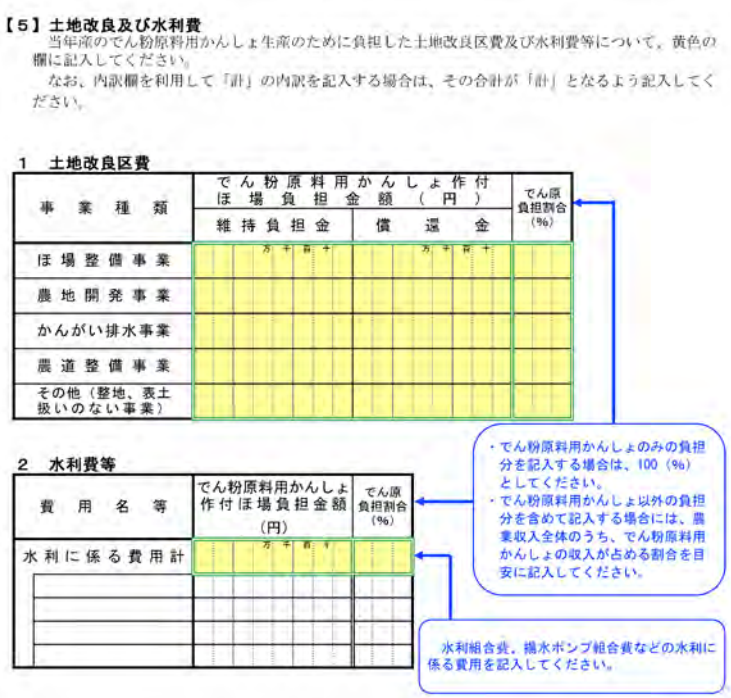
・でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、でん粉原料用かんしょの収入が占める割合**

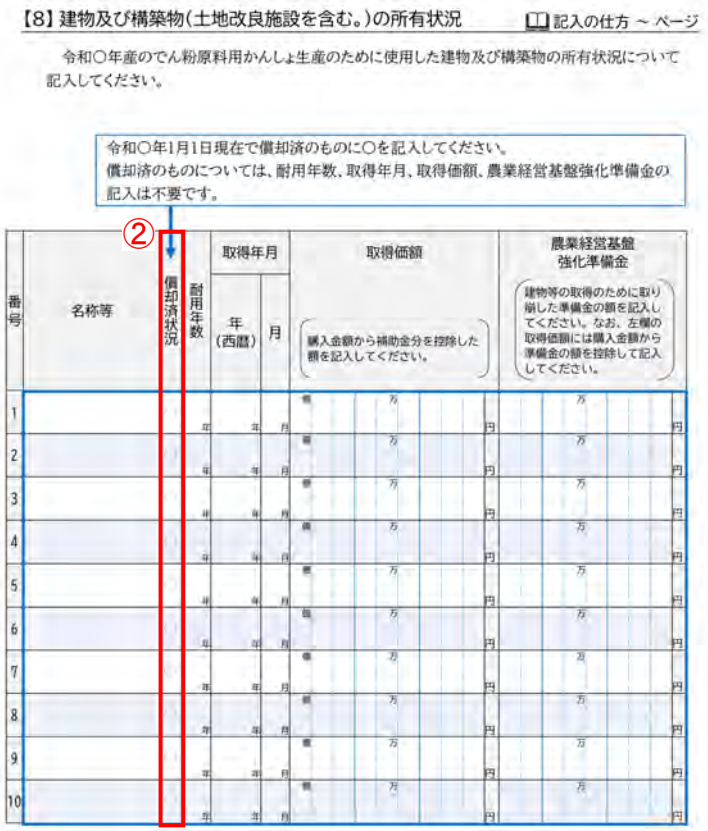
農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
25ページ	8ページ	





変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ（変更前９ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加


【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ページ

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

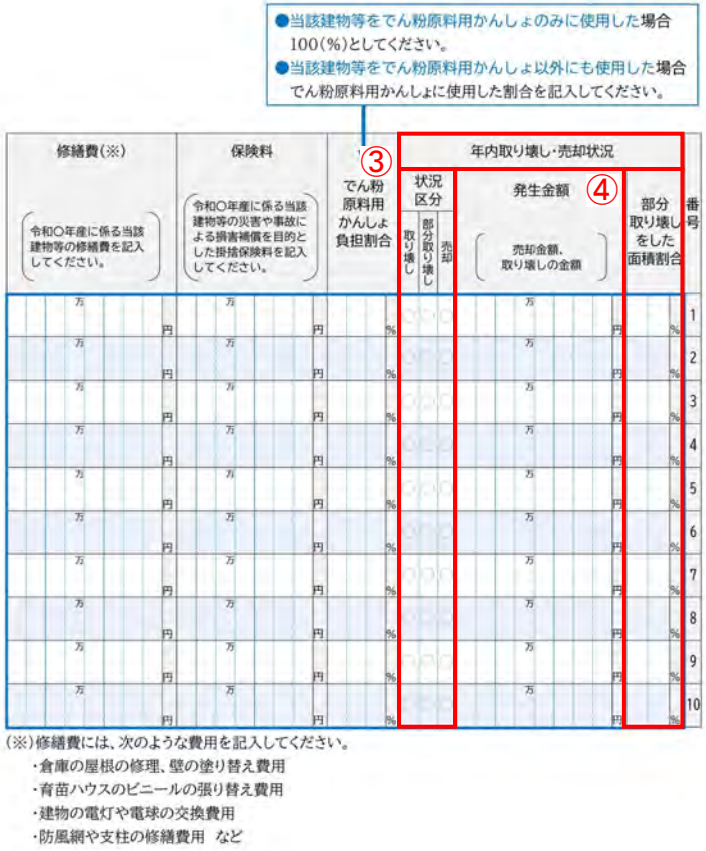
令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

②

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。）
1				年	月	万 円	万 円
2				年	月	万 円	万 円
3				年	月	万 円	万 円
4				年	月	万 円	万 円
5				年	月	万 円	万 円
6				年	月	万 円	万 円
7				年	月	万 円	万 円
8				年	月	万 円	万 円
9				年	月	万 円	万 円
10				年	月	万 円	万 円

26

つづく


●当該建物等をでん粉原料用かんしょのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等をでん粉原料用かんしょ以外にも使用した場合
でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

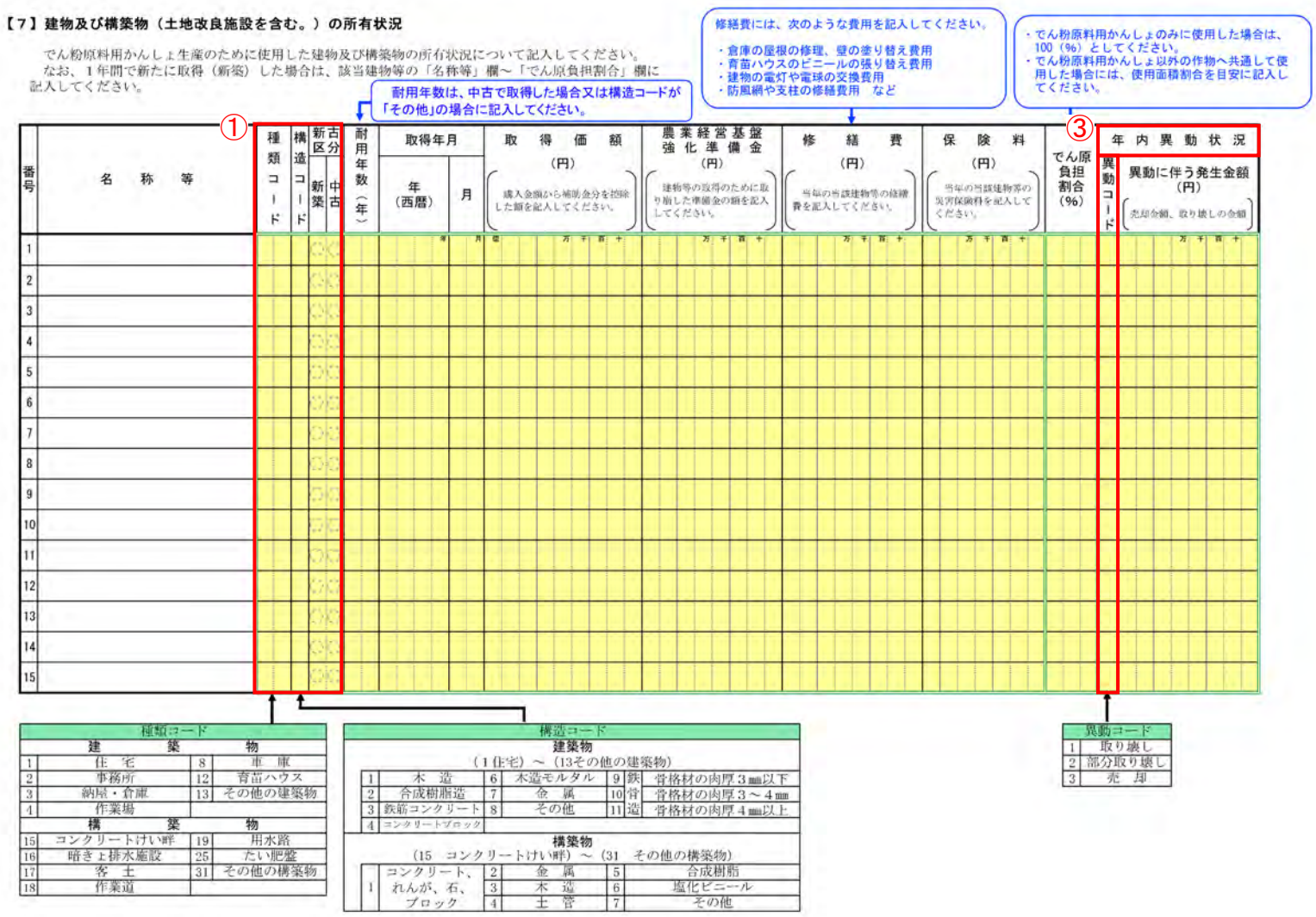
③

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした損害保険料を記入してください。	でん粉原料用かんしょ負担割合	年内取り壊し・売却状況 状況区分 取り壊し	部分取り壊し	売却	発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	番号
万 円	万 円	%				万 円	%	1
万 円	万 円	%				万 円	%	2
万 円	万 円	%				万 円	%	3
万 円	万 円	%				万 円	%	4
万 円	万 円	%				万 円	%	5
万 円	万 円	%				万 円	%	6
万 円	万 円	%				万 円	%	7
万 円	万 円	%				万 円	%	8
万 円	万 円	%				万 円	%	9
万 円	万 円	%				万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

27

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	９ページ	①同上 ③同上



【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

でん粉原料用かんしょ生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

①　③

番号	名称等	種類コード	構造コード	古区分 新築	古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（円）（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（円）（当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	でん原負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）（売却金額、取り壊しの金額）
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	12	育苗ハウス
3	納屋・倉庫	13	その他の建築物
4	作業場		
構築物			
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盛
17	客土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

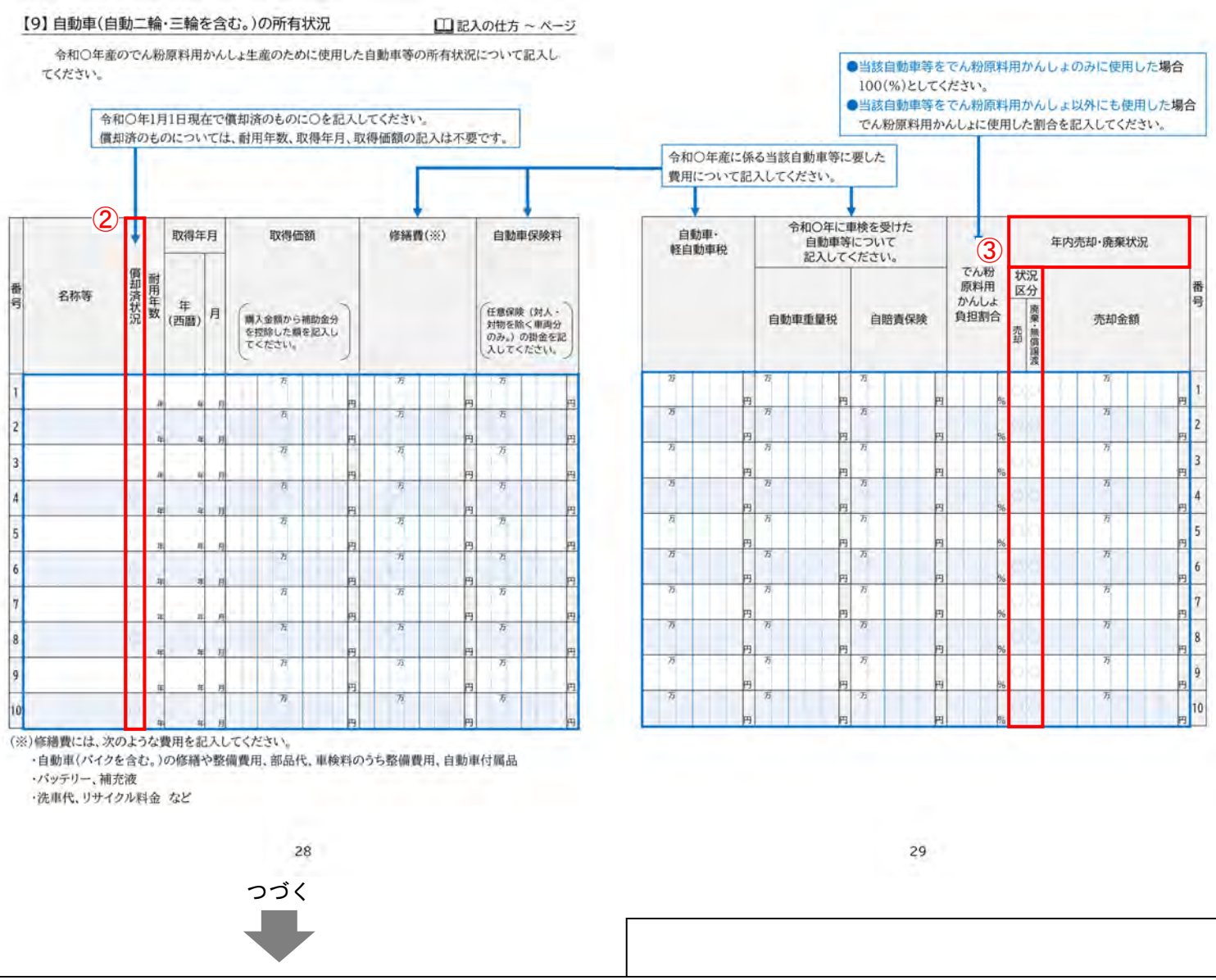
1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨造 骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	鉄骨造 骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	鉄骨造 骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物
（15　コンクリートけい畔）～（31　その他の構築物）

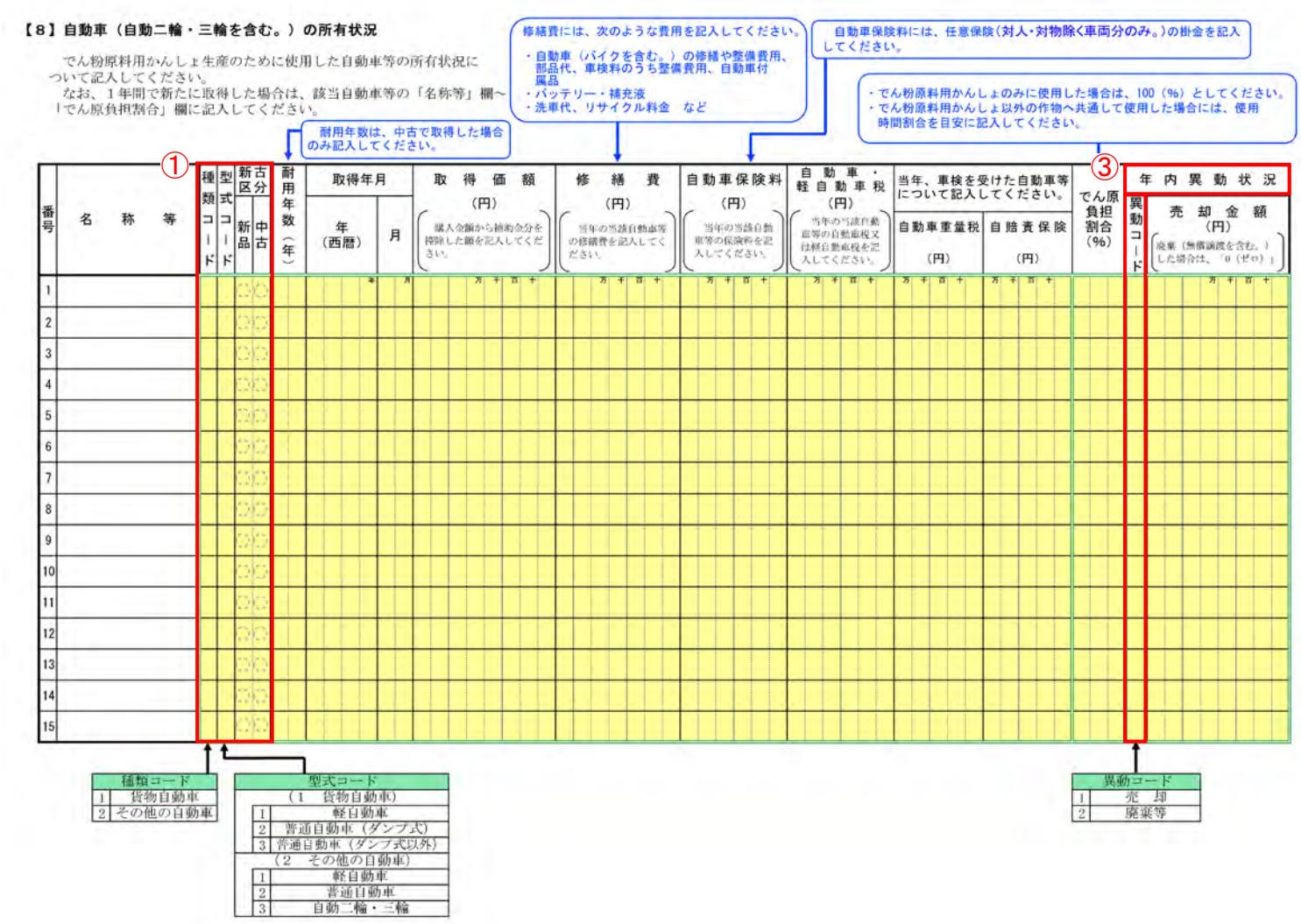
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

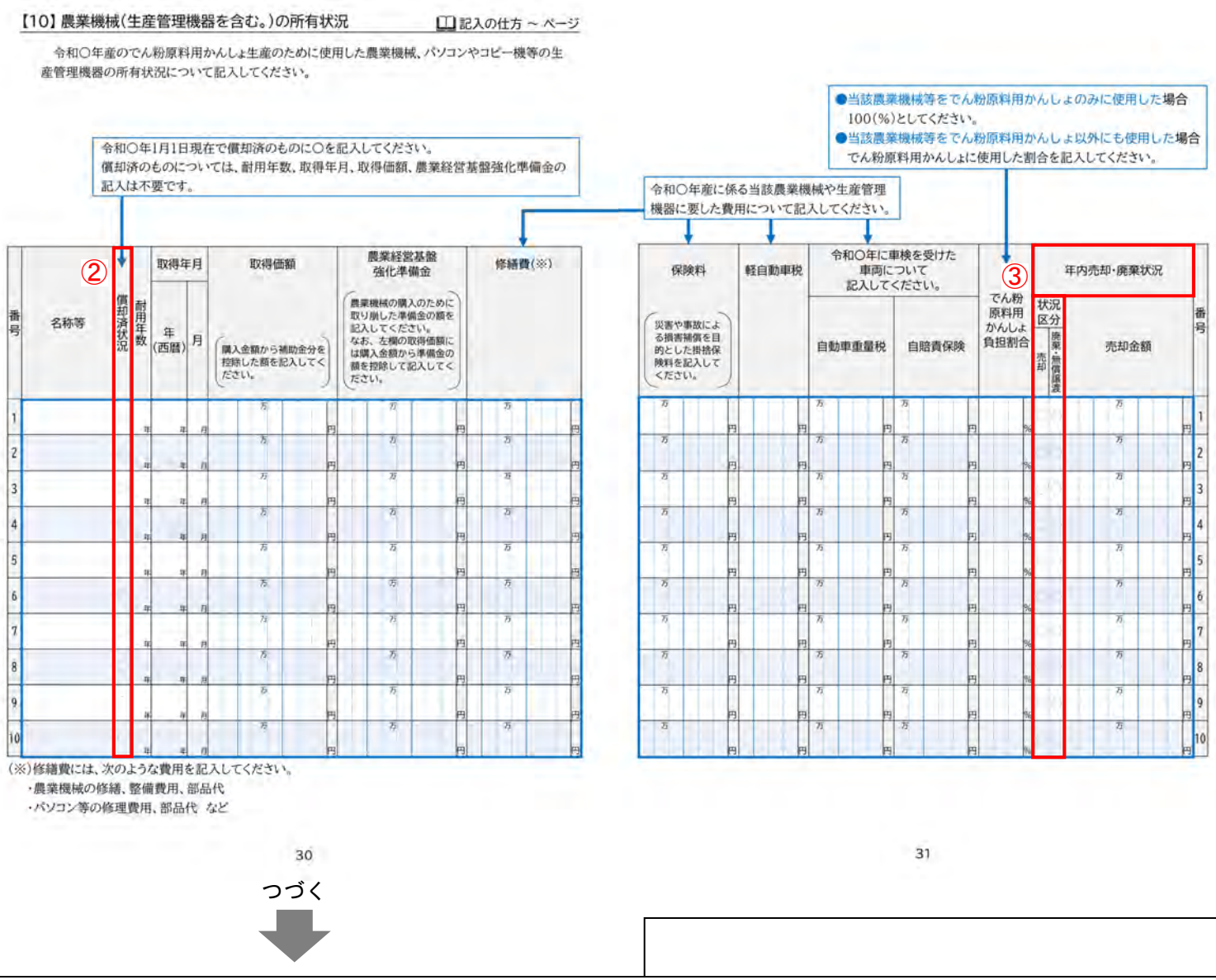
異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

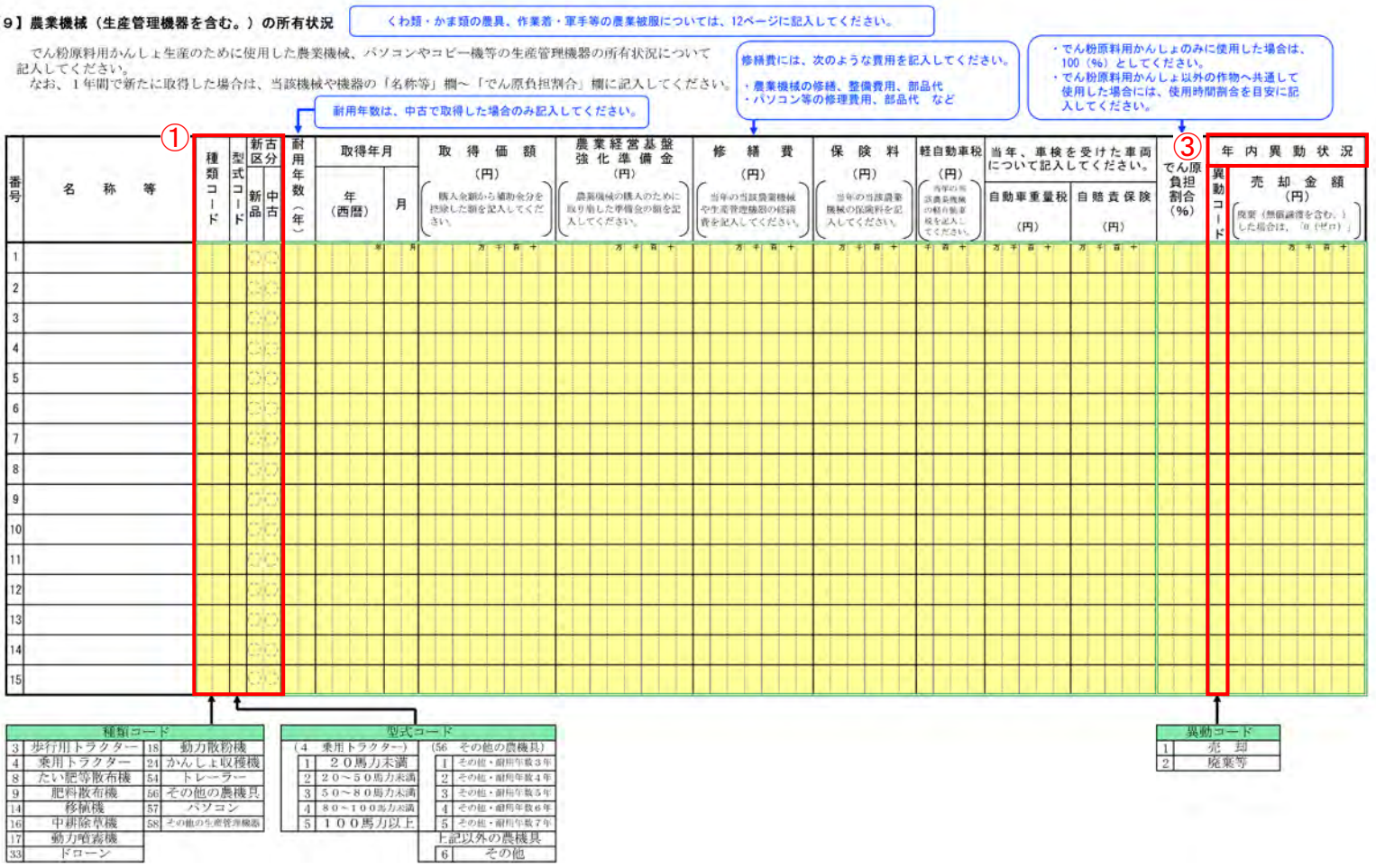
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前10ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前11ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ（変更前13ページと対比） ①		記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記 ①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更

【11】土地の面積及び地代　記入の仕方 ～ ページ

1 作付地

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤でん粉原料用かんしょ負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のでん粉原料用かんしょの作付面積になるように記入してください。

令和〇年産のでん粉原料用かんしょの収穫が終わる前の１年間に、
●でん粉原料用かんしょのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるでん粉原料用かんしょの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位	③作付面積 0.1a 単位	⑤でん粉原料用かんしょ負担割合	⑥地目
		町 反 畝 小数	町 反 畝 小数		田 畑
1		ha a	ha a	%	
2		ha a	ha a	%	
3		ha a	ha a	%	
4		ha a	ha a	%	
5		ha a	ha a	%	
6		ha a	ha a	%	
7		ha a	ha a	%	
8		ha a	ha a	%	
9		ha a	ha a	%	
10		ha a	ha a	%	
11		ha a	ha a	%	
12		ha a	ha a	%	
13		ha a	ha a	%	
14		ha a	ha a	%	
15		ha a	ha a	%	

32

つづく

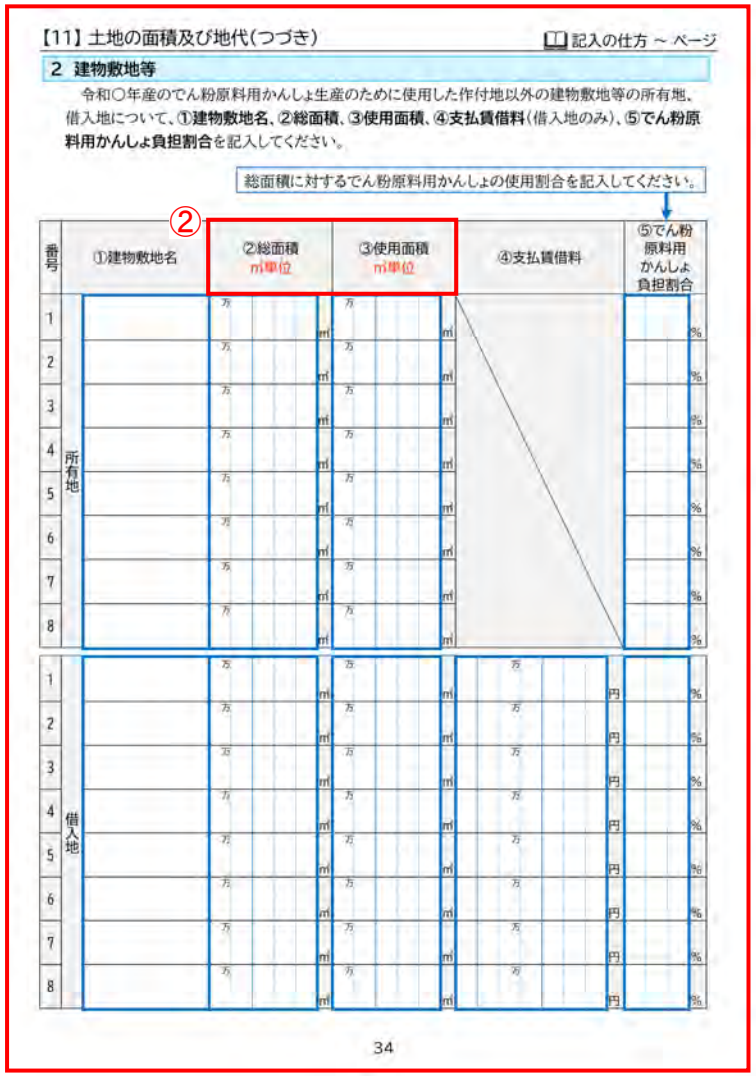
【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

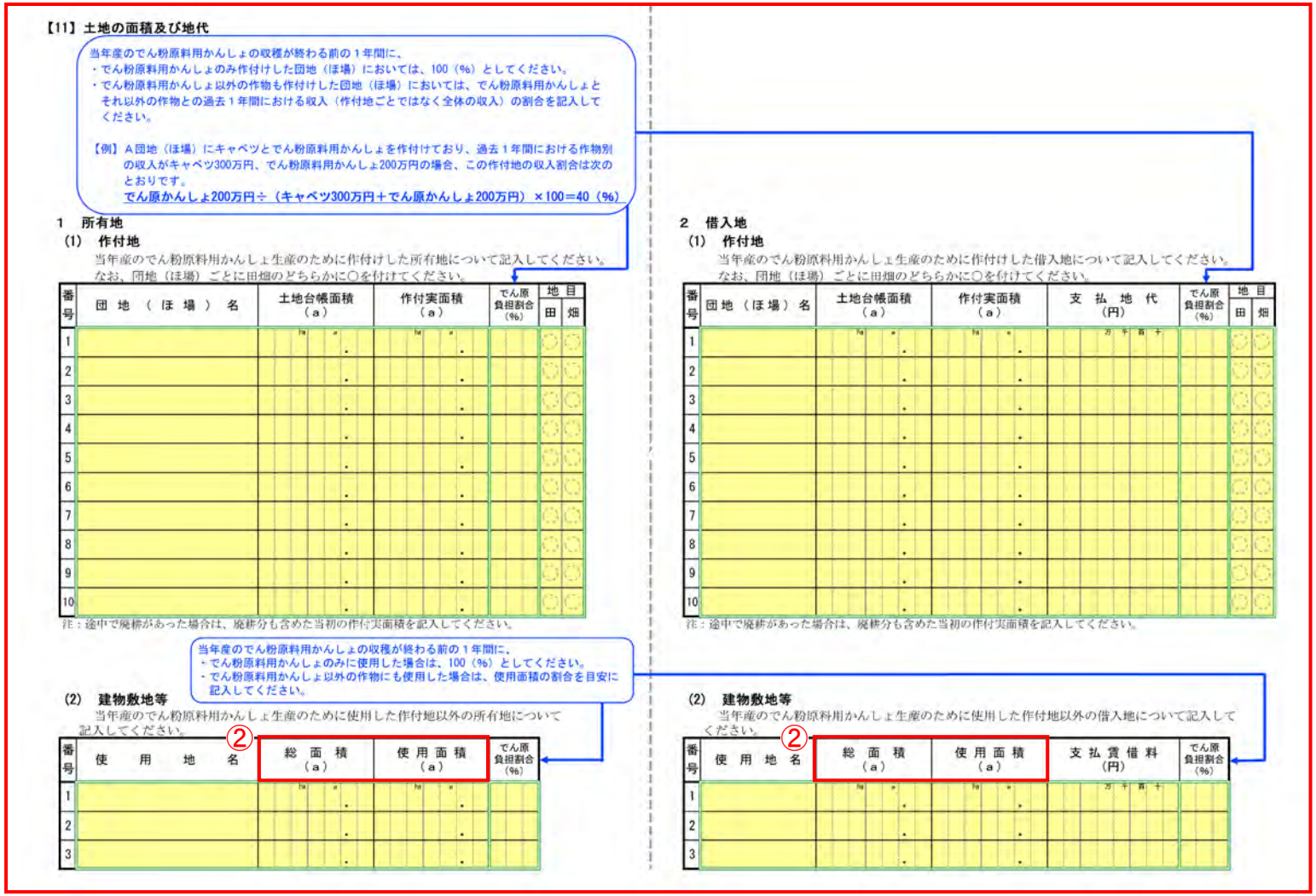
令和〇年産のでん粉原料用かんしょの収穫が終わる前の１年間に、
●でん粉原料用かんしょのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるでん粉原料用かんしょの収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位	③作付面積 0.1a 単位	④支払地代	⑤でん粉原料用かんしょ負担割合	⑥地目
		町 反 畝 小数	町 反 畝 小数			田 畑
1		ha a	ha a	万 円	%	
2		ha a	ha a	万 円	%	
3		ha a	ha a	万 円	%	
4		ha a	ha a	万 円	%	
5		ha a	ha a	万 円	%	
6		ha a	ha a	万 円	%	
7		ha a	ha a	万 円	%	
8		ha a	ha a	万 円	%	
9		ha a	ha a	万 円	%	
10		ha a	ha a	万 円	%	
11		ha a	ha a	万 円	%	
12		ha a	ha a	万 円	%	
13		ha a	ha a	万 円	%	
14		ha a	ha a	万 円	%	
15		ha a	ha a	万 円	%	

33

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ（変更前13ページと対比） ①  【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 2 建物敷地等 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤でん粉原料用かんしょ負担割合**を記入してください。 総面積に対するでん粉原料用かんしょの使用割合を記入してください。 ② 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤でん粉原料用かんしょ負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 34 つづく		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① 	13ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
35ページ	8ページ	



【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない区分は①に「－」を記入）

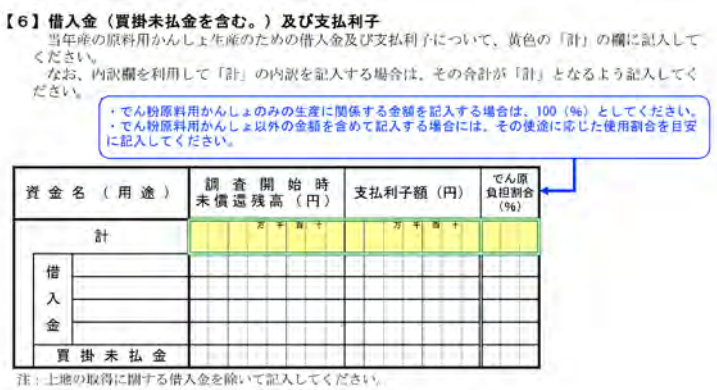
土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③でん粉原料用かんしょ負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

35



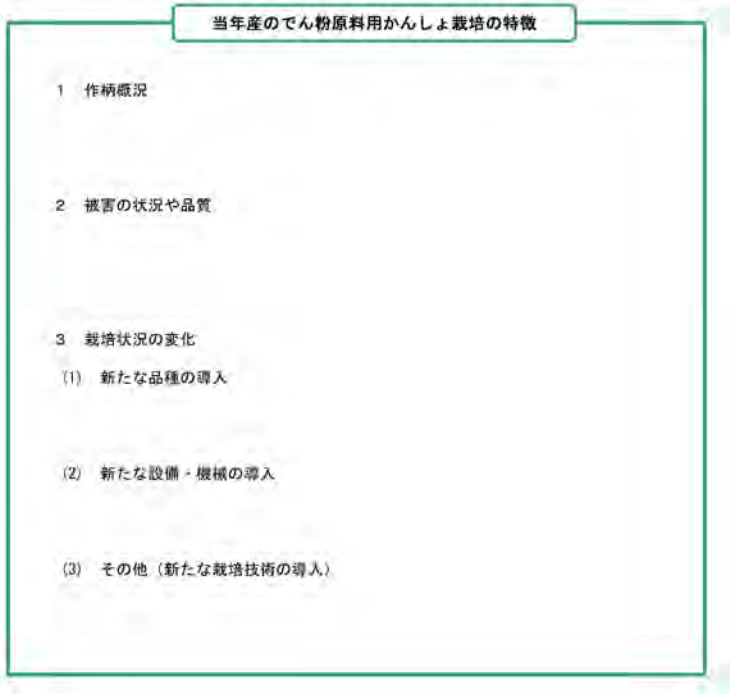
【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

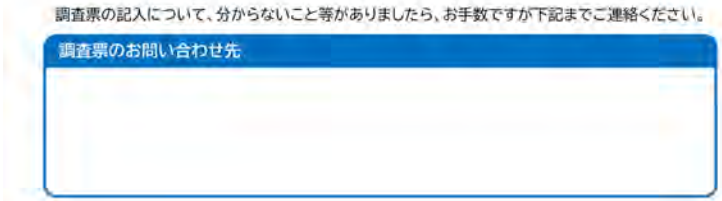
当年産の原料用かんしょ生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・でん粉原料用かんしょのみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用かんしょ以外の金額を含めて記入する場合には、その使用に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	でん原負担割合（%）
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
借入金			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  	4ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38ページ  調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。 調査票のお問い合わせ先	1ページ  農業経営統計調査 ○年産　原料用かんしょ生産費統計調査票 （個別経営体用）	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「でん粉原料用かんしょ（※）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のでん粉原料用かんしょの生産のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　でん粉原料用かんしょとは
でん粉原料用とする目的で栽培しているかんしょです。
生食用、焼酎用、飼料用、種子用とする目的で栽培しているかんしょや、規格外・余剰品でん粉原料用に利用したかんしょは含みません。

※２　この調査でのでん粉原料用かんしょの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（でん粉原料用かんしょ負担割合について）】

でん粉原料用かんしょを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からでん粉原料用かんしょ負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
でん粉原料用かんしょと野菜を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、でん粉原料用かんしょ「２ha」、野菜「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　でん粉原料用かんしょに施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	でん原負担割合（%）
肥料（購入）計	200	200000	100

でん粉原料用かんしょ負担割合には100%と記入

例２　でん粉原料用かんしょ、野菜に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
でん粉原料用かんしょと野菜の作付面積割合「２：８」を目安にでん粉原料用かんしょ負担割合を「２０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	でん原負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

でん粉原料用かんしょ負担割合には20%と記入

【でん粉原料用かんしょ負担割合の設定方法】

でん粉原料用かんしょを含めた複数の作物を作付けしている場合のでん粉原料用かんしょ負担割合を設定する方法について説明します。

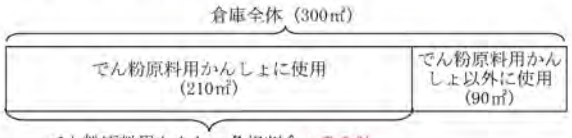
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、でん粉原料用かんしょ生産のために使用した面積の割合を「でん粉原料用かんしょ負担割合」とします。

$$\text{でん粉原料用かんしょ負担割合} = \frac{\text{でん粉原料用かんしょに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うちでん粉原料用かんしょ生産のために210㎡、でん粉原料用かんしょ以外の作物に90㎡を使用した場合の「でん粉原料用かんしょ負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図

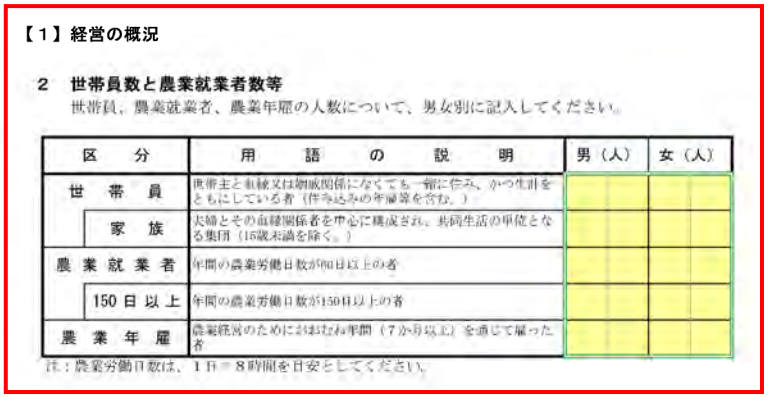
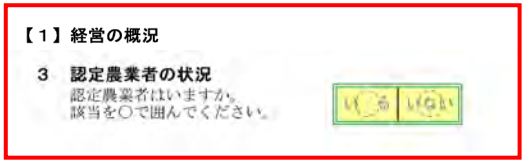


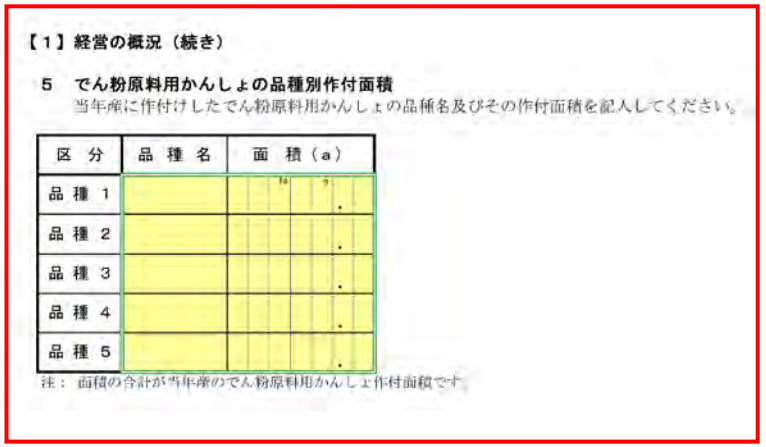
（２）農機具（トラクター）の場合

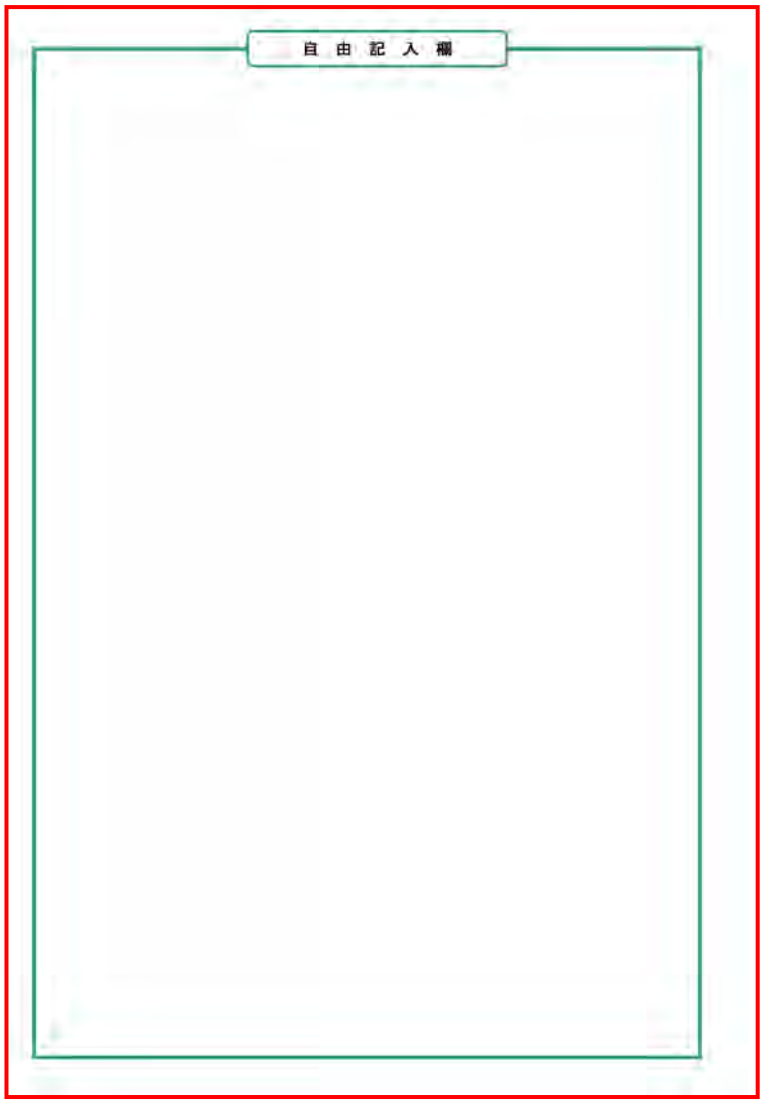
トラクターの全使用時間のうち、でん粉原料用かんしょ生産のために使用した時間の割合を「でん粉原料用かんしょ負担割合」とします。

$$\text{でん粉原料用かんしょ負担割合} = \frac{\text{でん粉原料用かんしょに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うちでん粉原料用かんしょ生産のために80時間、でん粉原料用かんしょ以外の作物に120時間使用した場合の「でん粉原料用かんしょ負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

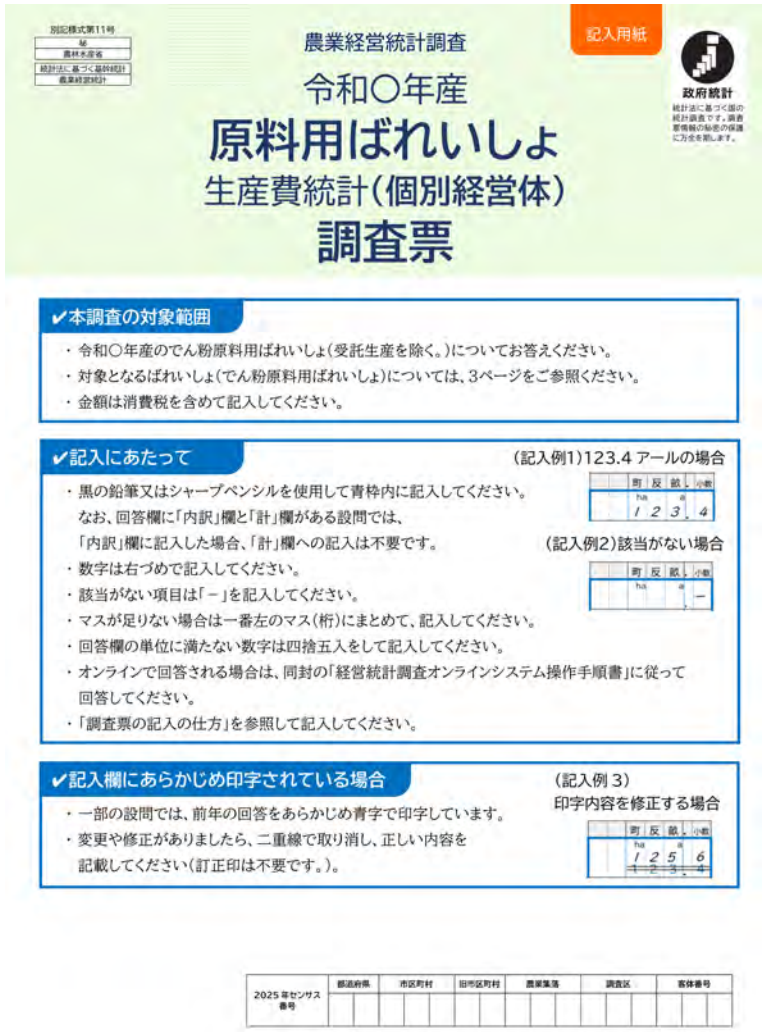
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普　通　畑 樹　園　地 牧　草　地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。 区　分 / 用　語　の　説　明 / 男（人） / 女（人） 世　帯　員 / 世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。） 家　族 / 夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。） 農業就業者 / 年間の農業労働日数が60日以上の者 150日以上 / 年間の農業労働日数が150日以上の者 農　業　年　雇 / 農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者 注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる / いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ５　でん粉原料用かんしょの品種別作付面積 当年産に作付けしたでん粉原料用かんしょの品種名及びその作付面積を記入してください。 区　分 / 品　種　名 / 面　積（ａ） 品　種　１ 品　種　２ 品　種　３ 品　種　４ 品　種　５ 注：　面積の合計が当年産のでん粉原料用かんしょ作付面積です。	でん粉原料用かんしょの品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

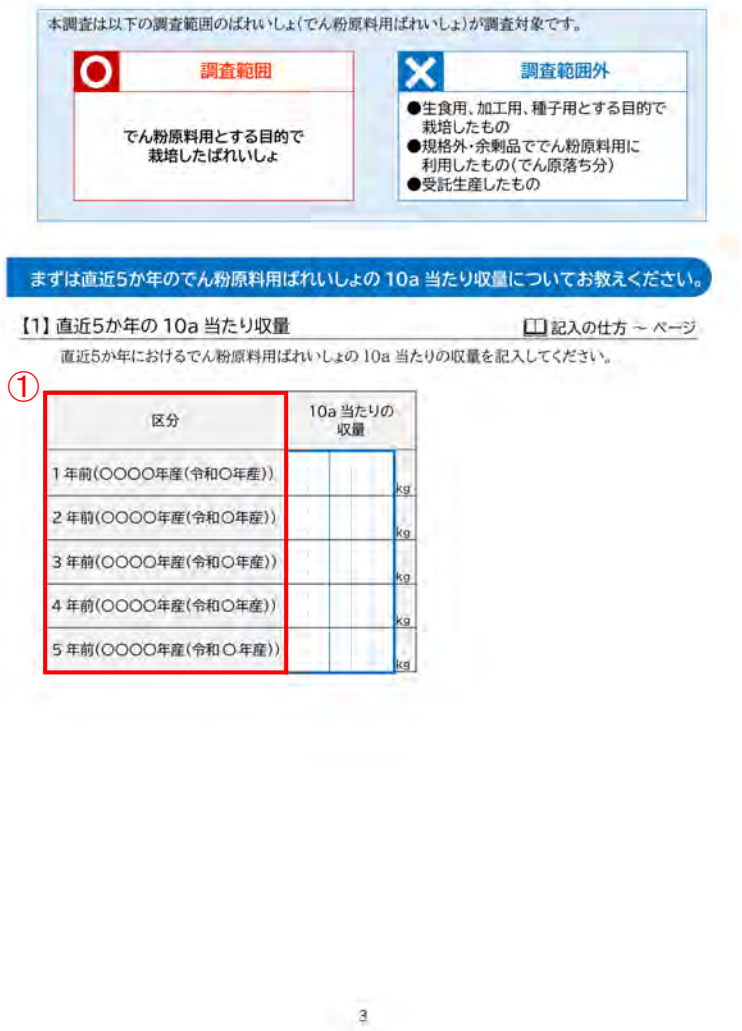
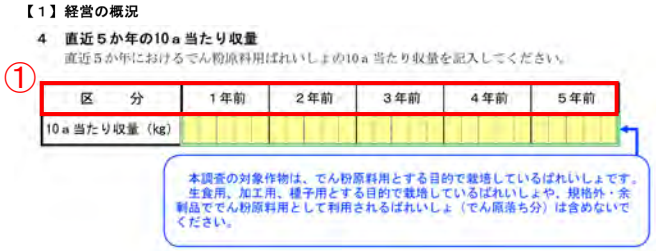
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	５ページ  	自由記入欄について、利活用の実績が乏しいことから削除

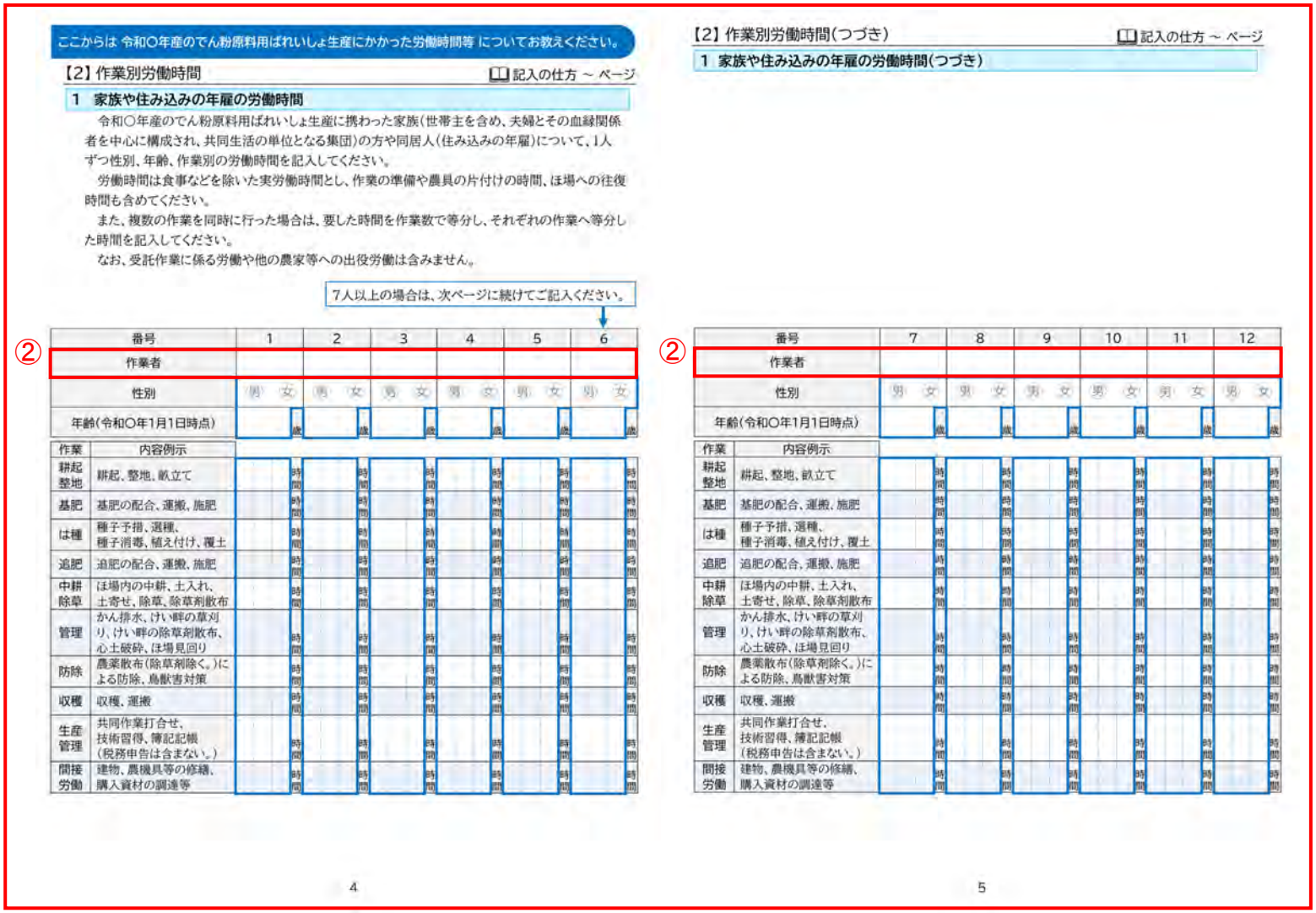
農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　農産物生産費統計（原料用ばれいしょ（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第11号 １ページ  	別記様式第８号 １ページ  	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更(以下同じ) 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

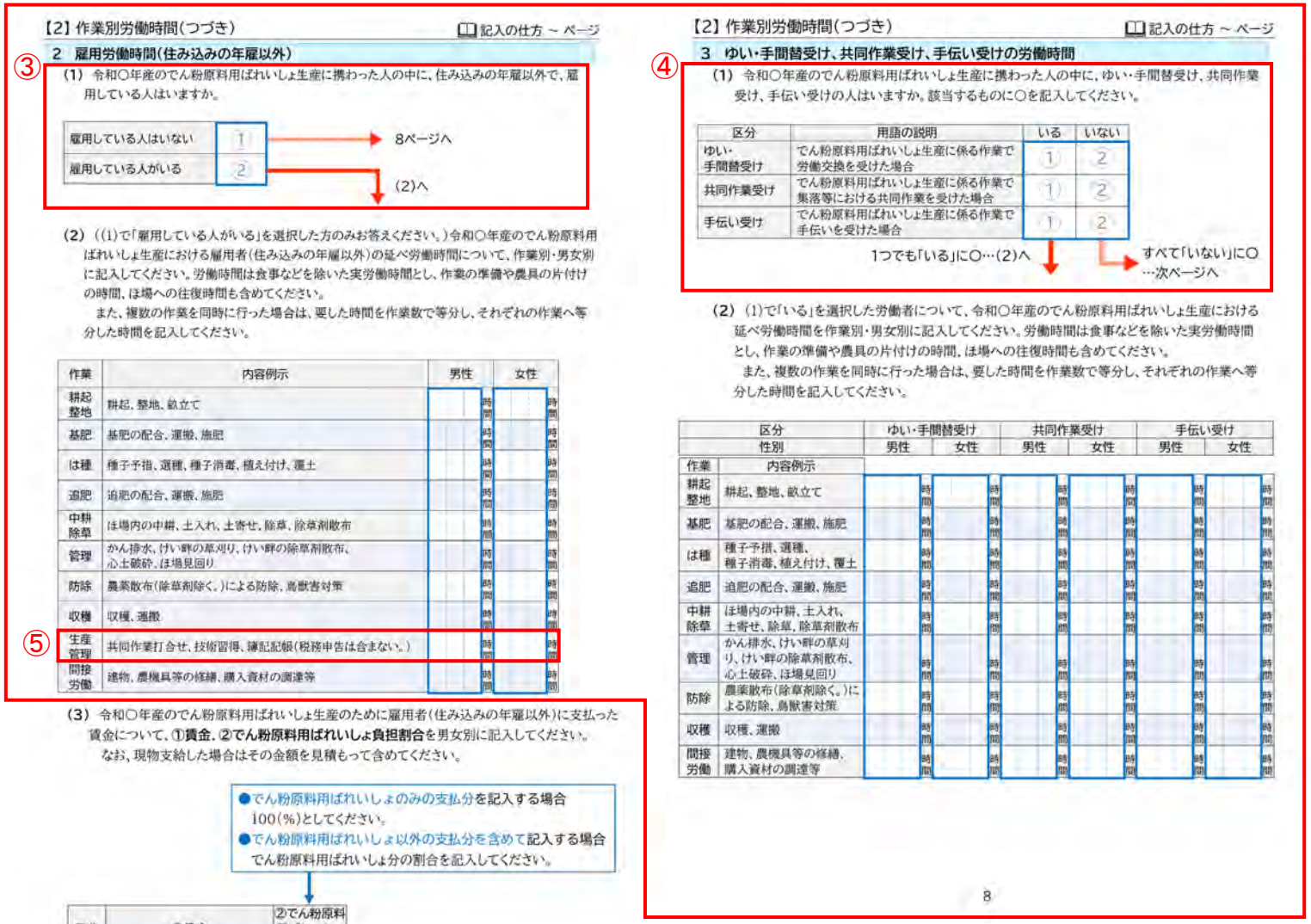
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
2ページ  目次 ① 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……9 【4】でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した資材等 ……11 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……21 【6】物件税及び公課諸負担 ……23 【7】土地改良及び水利費 ……25 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……26 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……28 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……30 【11】土地の面積及び地代 ……32 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……35	3ページ 調　査　事　項 ① ページ 【1】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、でん粉原料用ばれいしょの作付品種等について記入してください。 【2】 生産物の販売等の状況 …… 4 でん粉原料用ばれいしょの用途別の販売状況について記入してください。 【3】 でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等 …… 5 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料等の賃借料・料金等について記入してください。 【4】 物件税及び公課諸負担 …… 8 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【5】 土地改良及び水利費 …… 8 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。 【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8 借入金残高、支払利子について記入してください。 【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 13 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 14 家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は35～37ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  	３ページ  	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更（以下同じ） 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化（以下同じ） 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更（以下同じ） 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、でん粉原料用ばれいしょの調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ（変更前14ページと対比） ① 		①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 家族労働時間」と「2 雇用労働時間」を統合して設定していた設問を「1 家族や住み込みの年雇の労働時間」、「2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）」、「3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間」に設問を分離 ②氏名に限定せず、作業者を特定可能な記入欄へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～８ページ（変更前14ページと対比）		

①



【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

2　雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

③

（1）令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	1	→ 8ページへ
雇用している人がいる	2	→ (2)へ

（2）（(1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。）令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産における雇用者（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
耕起整地	耕起、整地、畝立て	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間
⑤ 生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

（3）令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために雇用者（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、**①賃金、②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を男女別に記入してください。
なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●でん粉原料用ばれいしょのみの支払分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の支払分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょ分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合
男性	万 円	%
女性	万 円	%

つづく

④

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

（1）令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	でん粉原料用ばれいしょ生産に係る作業で労働交換を受けた場合	1	2
共同作業受け	でん粉原料用ばれいしょ生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	1	2
手伝い受け	でん粉原料用ばれいしょ生産に係る作業で手伝いを受けた場合	1	2

1つでも「いる」に〇…(2)へ　　すべて「いない」に〇…次ページへ

（2）(1)で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分	ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業 / 内容例示						
耕起整地 / 耕起、整地、畝立て	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥 / 基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種 / 種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥 / 追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草 / ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理 / かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除 / 農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫 / 収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働 / 建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

8

①同上

③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、住み込みの年雇以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加

④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人の有無を確認する設問を追加

⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	14ページ	①同上 ②同上

【12】作業別労働時間

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間や圃場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

①

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

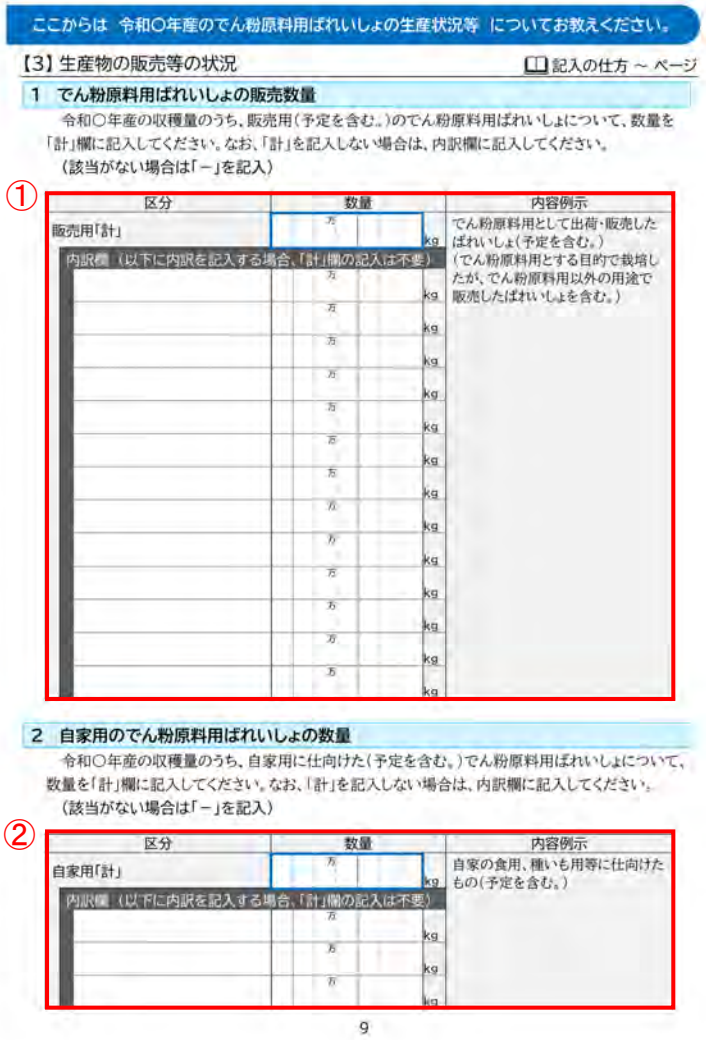
作業種類	内容例示	② 氏名 / 性別（男・女） / （　年齢）	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
耕起整地	耕起、整地、畝立て		時間	時間	耕起整地	耕起、整地、畝立て
基肥	基肥の配合、運搬、施肥				基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土				は種	種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土
追肥	追肥の配合、運搬、施肥				追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	圃場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布				中耕除草	圃場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、ほ場の草刈り、ほ場の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り				管理	かん排水、ほ場の草刈り、ほ場の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策				防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
収穫	収穫、運搬				収穫	収穫、運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）				生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等				間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

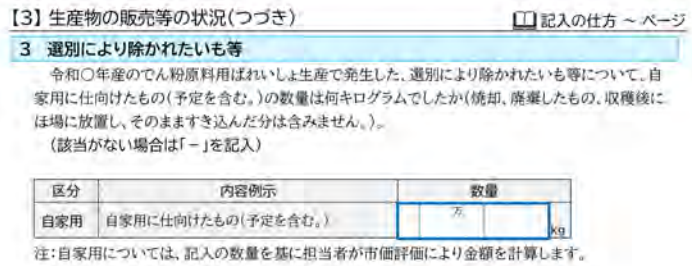
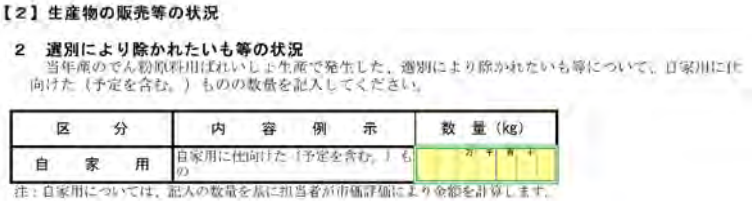
3　支払賃金

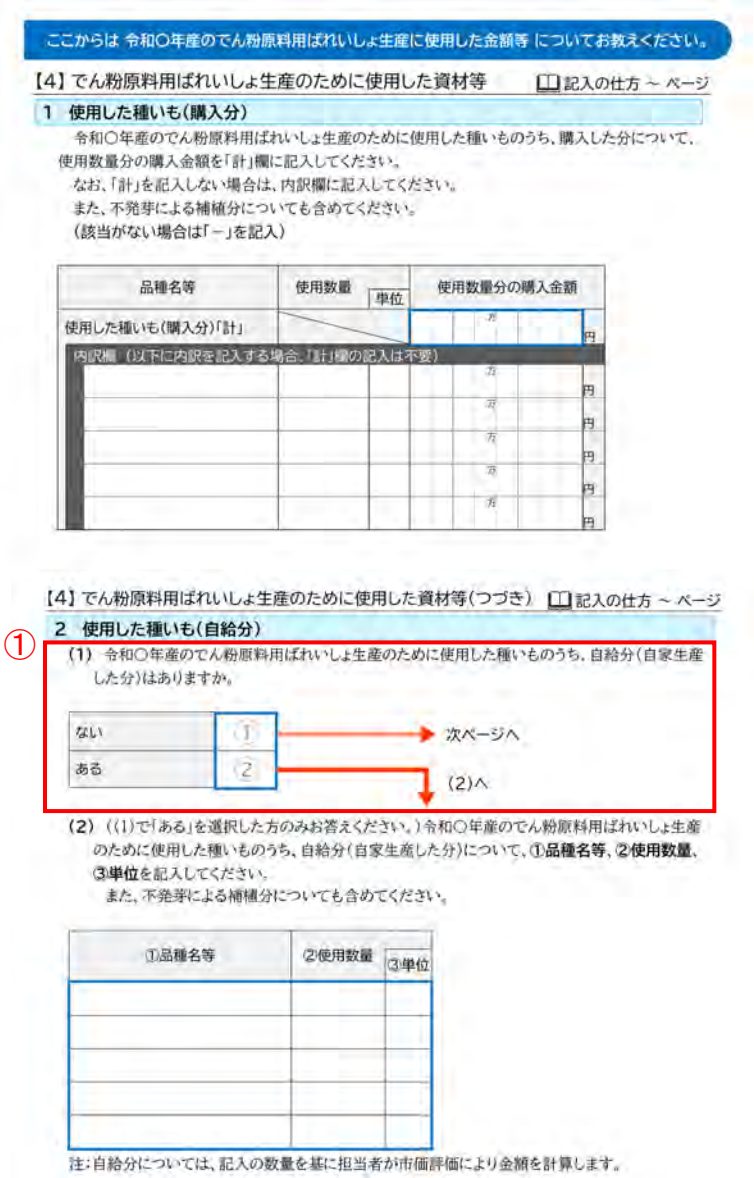
当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

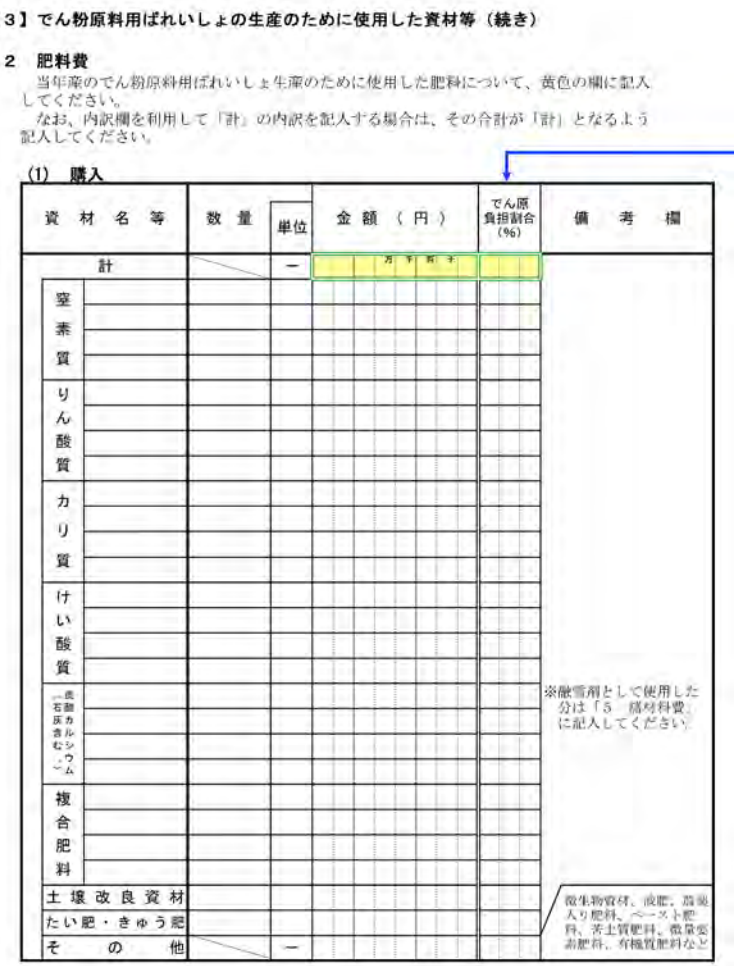
区分	支払賃金（円）	でん原負担割合（%）
男	万 千 百 十	
女		

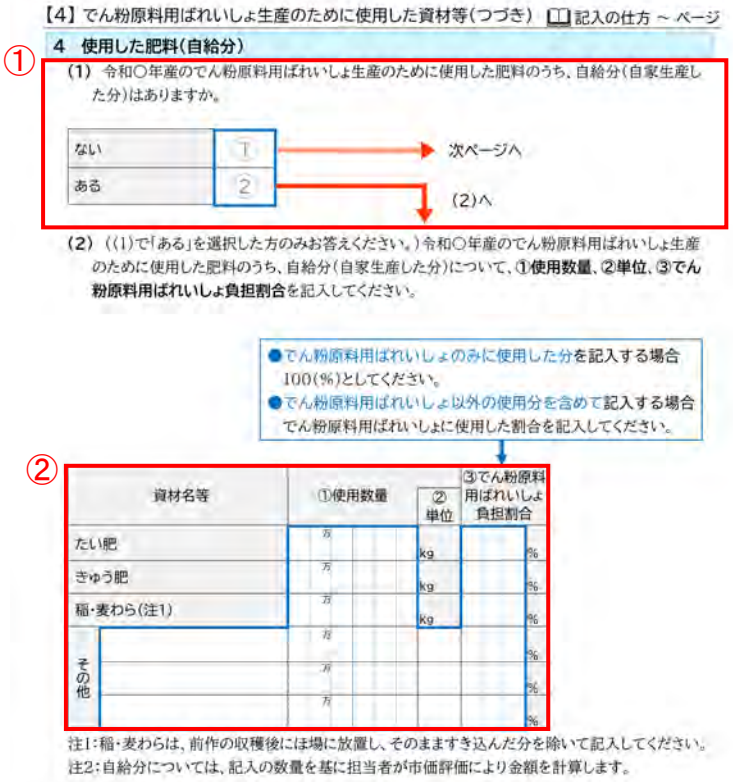
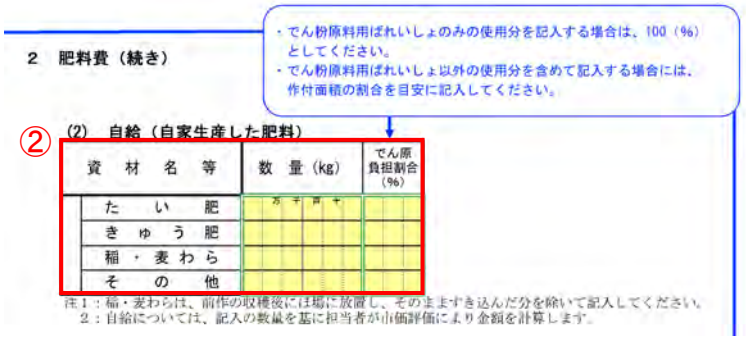
・でん粉原料用ばれいしょ生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ 	４ページ 	報告者が記入しやすいよう、自家用のでん粉原料用ばれいしょの数量に関する設問を分離 ①でん粉原料用ばれいしょの用途別の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため「金額（円）」を削除し、「数量」のみを把握するよう変更 ②自家用のでん粉原料用ばれいしょの数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「食用」、「種いも用」及び「その他」の記入欄を削除し、「自家用「計」」を把握するよう変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ  【3】生産物の販売等の状況(つづき)　記入の仕方 ～ページ 3　選別により除かれたいも等 令和○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産で発生した、選別により除かれたいも等について、自家用に仕向けたもの(予定を含む。)の数量は何キログラムでしたか(焼却、廃棄したもの、収穫後に ほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。)。 (該当がない場合は「－」を記入) 区分 / 内容例示 / 数量 自家用 / 自家用に仕向けたもの(予定を含む。) / 万 / kg 注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 10	4ページ  【2】生産物の販売等の状況 2　選別により除かれたいも等の状況 当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産で発生した、選別により除かれたいも等について、自家用に仕向けた（予定を含む。）ものの数量を記入してください。 区　分 / 内　容　例　示 / 数　量（kg） 自　家　用 / 自家用に仕向けた（予定を含む。）もの / 万 千 百 十 注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11～12ページ  ここからは 令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に使用した金額等 についてお教えください。 【4】でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した資材等　記入の仕方 ～ ページ 1　使用した種いも(購入分) 令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した種いものうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 また、不発芽による補植分についても含めてください。 (該当がない場合は「－」を記入) 品種名等 / 使用数量 単位 / 使用数量分の購入金額 使用した種いも(購入分)「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 【4】でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 2　使用した種いも(自給分) ① (1)　令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した種いものうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した種いものうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等、②使用数量、③単位**を記入してください。 また、不発芽による補植分についても含めてください。 ①品種名等 / ②使用数量 / ③単位 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	5ページ  【3】でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等 1　種苗費 当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した種いもについて、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 (1)　種いも（購入） 品　種　名　等 / 数　量 / 単位 / 金　額　（円） 計 (2)　種いも（自給） 品　種　名　等 / 数　量 / 単位 使用した自給の種いもの品種名と数量を記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ 	6ページ 	肥料費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ  【4】でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ ① 4　使用した肥料(自給分) (1)　令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量、②単位、③でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を記入してください。 ●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。 ② 資材名等 / ①使用数量 / ②単位 / ③でん粉原料用ばれいしょ負担割合 たい肥 / きゅう肥 / 稲・麦わら(注1) / その他 注1:稲・麦わらは、前作の収穫後には場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 14	6ページ  【3】でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等（続き） 2　肥料費（続き） ・でん粉原料用ばれいしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 ②　(2)　自給（自家生産した肥料） 資材名等 / 数量(kg) / でん原負担割合(%) たい肥 / きゅう肥 / 稲・麦わら / その他 注1：稲・麦わらは、前作の収穫後には場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ	6ページ	農業薬剤費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

【4】でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

5　使用した農業薬剤

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万 千 百 十 円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	
	万 千 百 十 円	%	

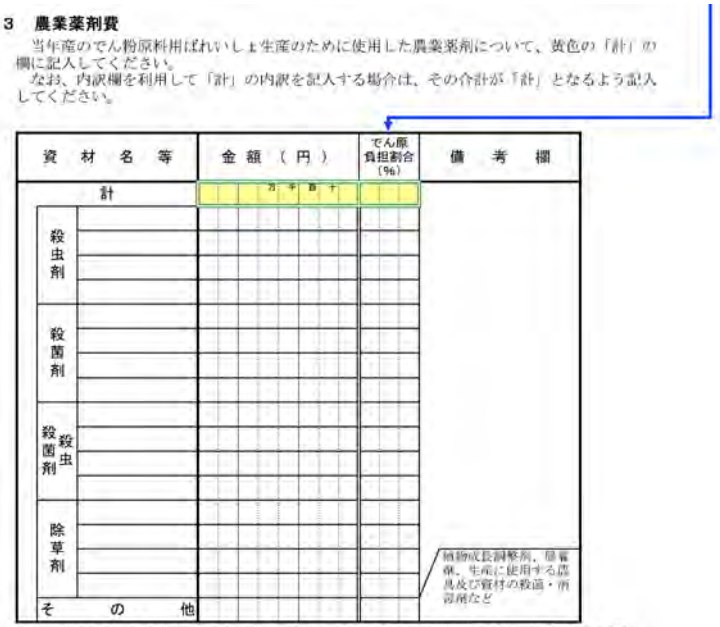
注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除費は、農薬代も含め 20 ページ「10　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。
注2：除草剤等農薬入りの肥料は 13 ページ「3　使用した肥料(購入分)」に記入してください。

15

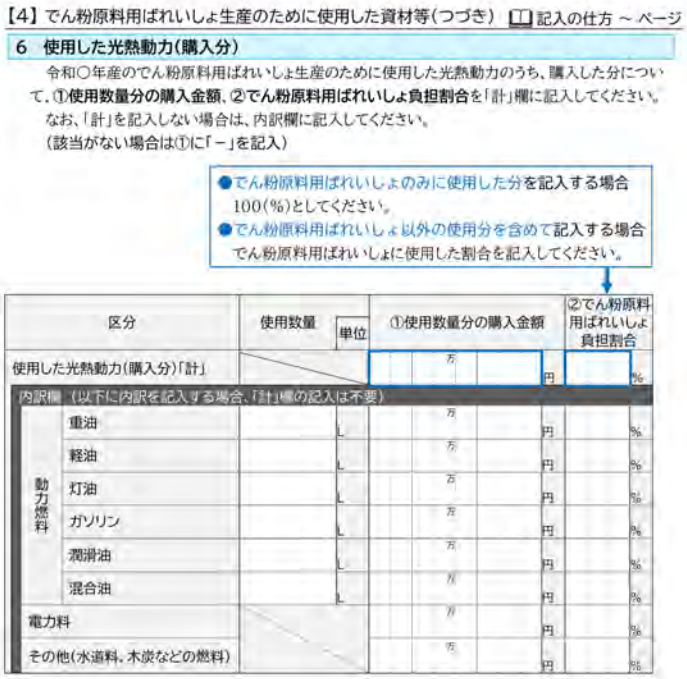
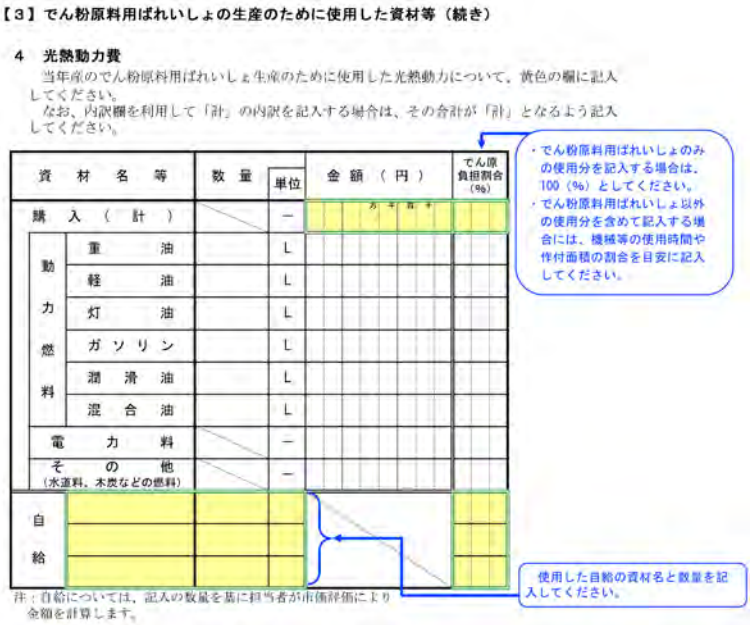
【3】でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等（続き）

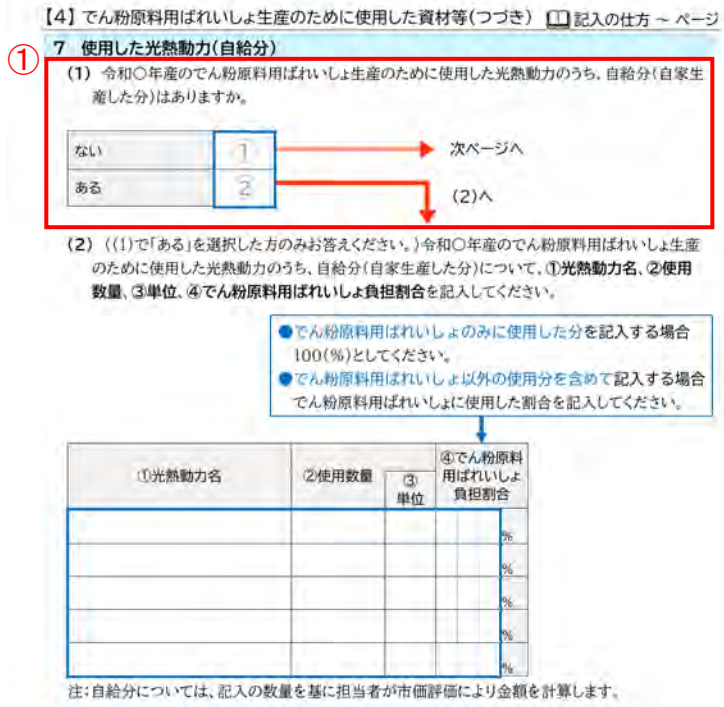
3　農業薬剤費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

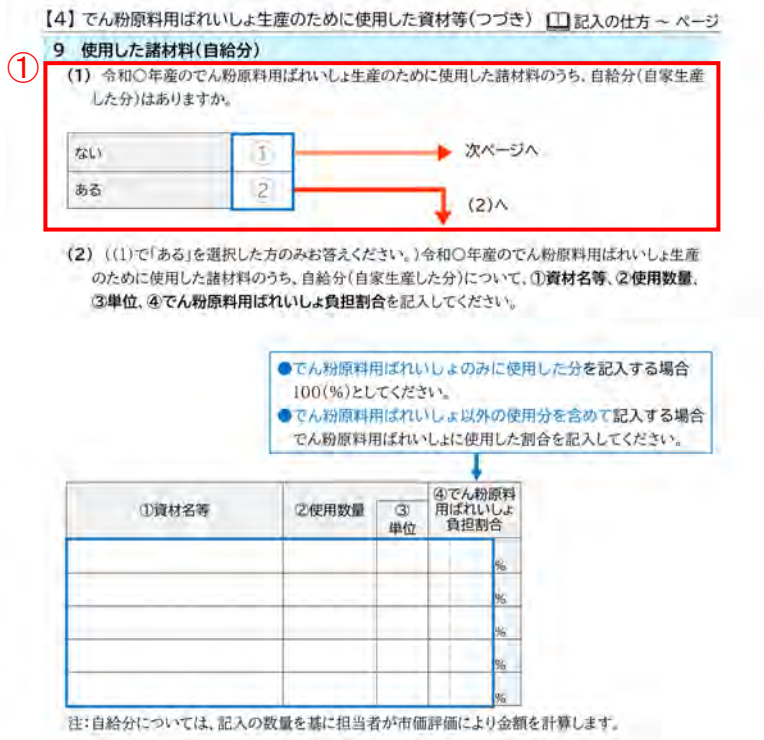


注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除費は、農薬代も含め「6　賃借料及び料金」に記入してください。
2：除草剤等農薬入りの肥料は「2　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」）」に記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ  【4】でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ページ 6　使用した光熱動力（購入分） 令和○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合 100（%）としてください。 ●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合 でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。 区分 / 使用数量 / 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②でん粉原料用ばれいしょ負担割合 使用した光熱動力（購入分）「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 動力燃料：重油 / 軽油 / 灯油 / ガソリン / 潤滑油 / 混合油 電力料 その他（水道料、木炭などの燃料） 16 つづく	7ページ  【3】でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等（続き） 4　光熱動力費 当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 資材名等 / 数量 / 単位 / 金額（円）（万 千 百 千） / でん原負担割合（%） 購入（計） 動力燃料：重油 / 軽油 / 灯油 / ガソリン / 潤滑油 / 混合油 電力料 その他（水道料、木炭などの燃料） 自給 ・でん粉原料用ばれいしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。 使用した自給の資材名と数量を記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ（変更前７ページと対比）  【4】でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ ① 7　使用した光熱動力(自給分) (1)　令和○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→　次ページへ ある　2　→　(2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を記入してください。 ●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。 ①光熱動力名 / ②使用数量 / ③単位 / ④でん粉原料用ばれいしょ負担割合 % 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 17		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ 	7ページ 	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

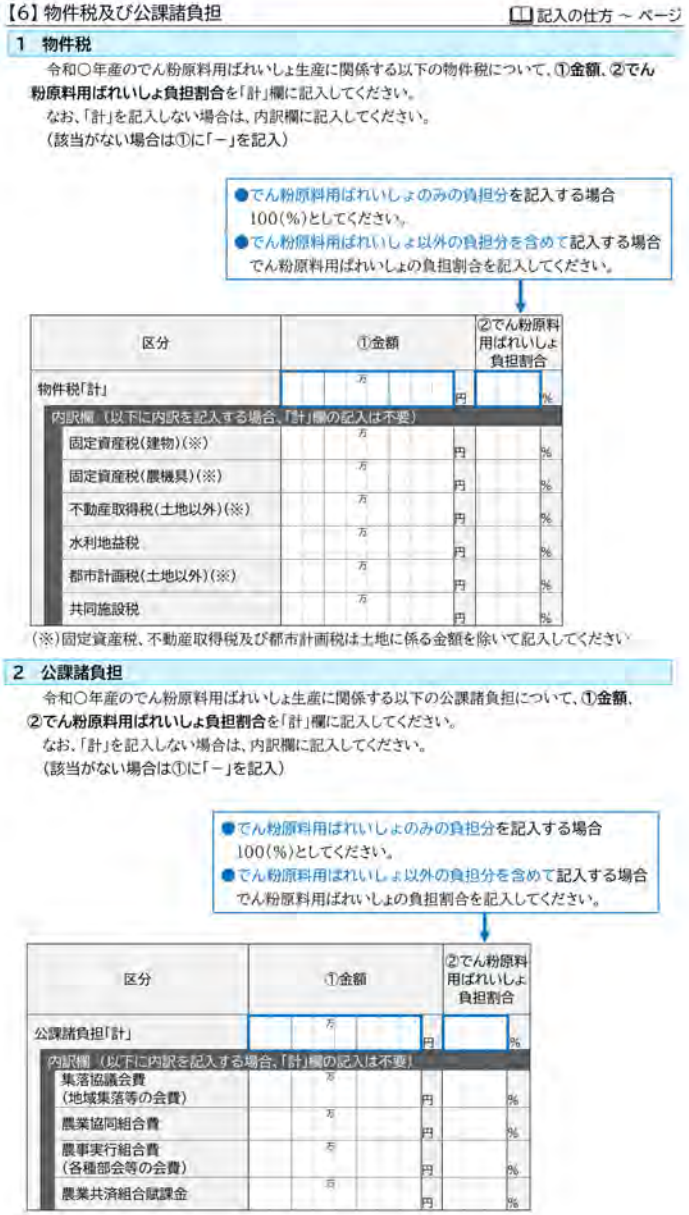
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ（変更前７ページと対比）  【4】でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ 9　使用した諸材料（自給分） ① (1)　令和○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。）令和○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を記入してください。 ●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合 100（%）としてください。 ●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合 でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。 ①資材名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④でん粉原料用ばれいしょ負担割合 % 注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 19		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ 	7ページ 	賃借料及び料金の内訳欄について、報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21～22ページ（変更前12ページと対比）  		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	12ページ	同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23～24ページ	8ページ	



【6】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ ページ

1　物件税

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に関係する以下の物件税について、**①金額、②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合
物件税「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税(建物)(※)	万 円	%
固定資産税(農機具)(※)	万 円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万 円	%
水利地益税	万 円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万 円	%
共同施設税	万 円	%

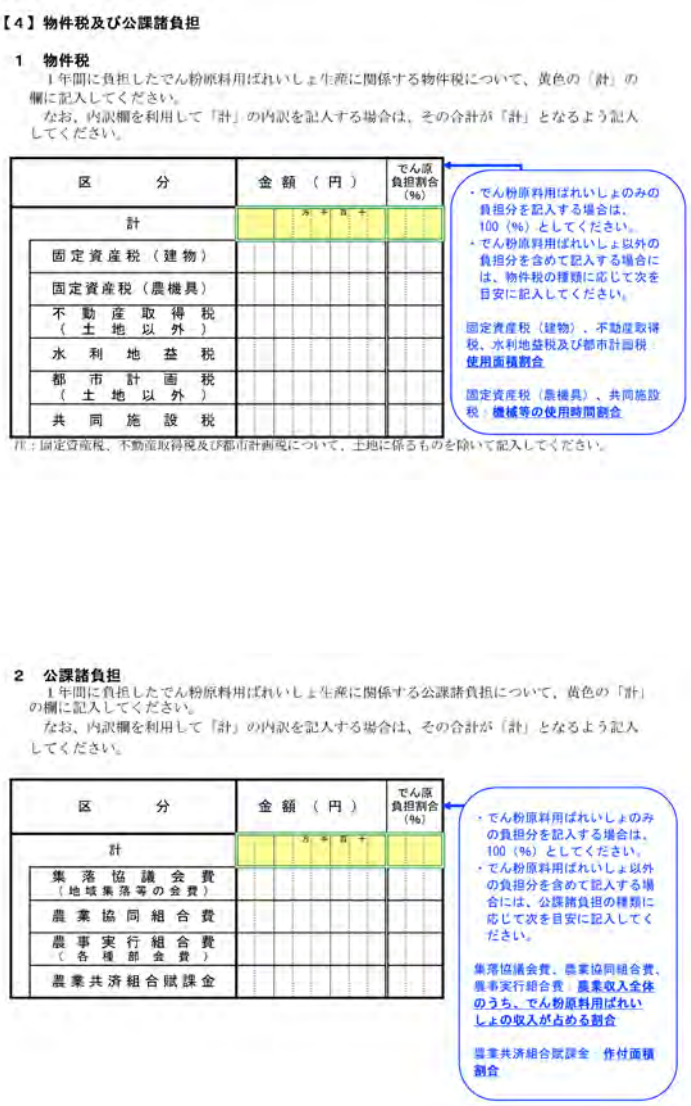
(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください

2　公課諸負担

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額、②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合
公課諸負担「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万 円	%
農業協同組合費	万 円	%
農事実行組合費（各種部会等の会費）	万 円	%
農業共済組合賦課金	万 円	%



【4】物件税及び公課諸負担

1　物件税

1年間に負担したでん粉原料用ばれいしょ生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金額（円）	でん原負担割合（%）
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

2　公課諸負担

1年間に負担したでん粉原料用ばれいしょ生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

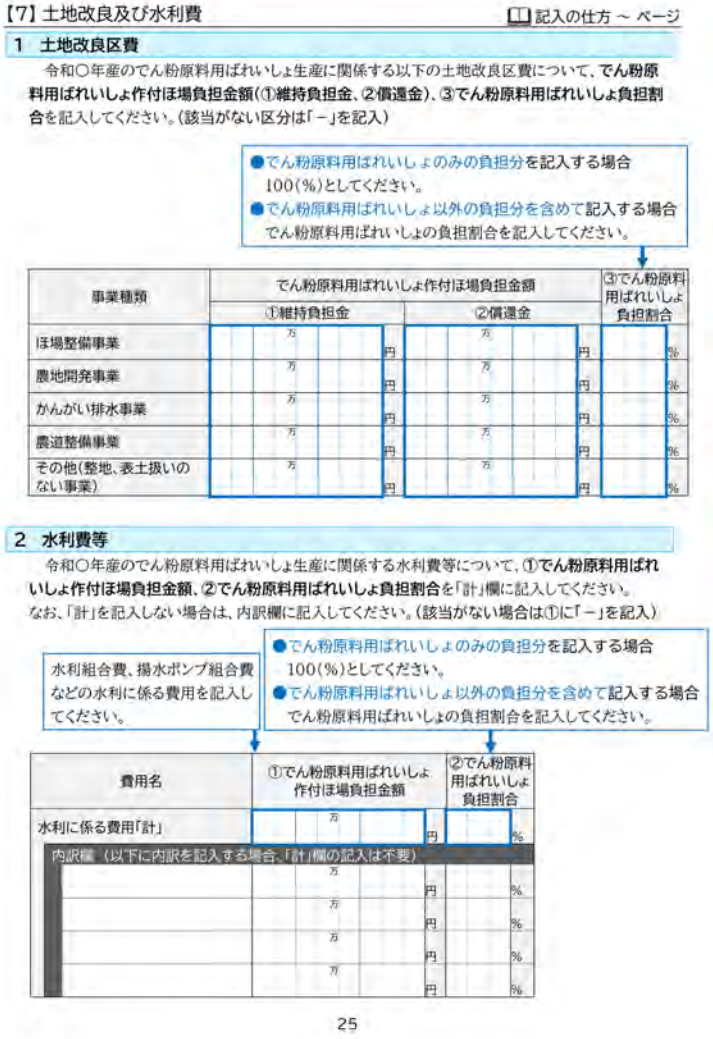
区　分	金額（円）	でん原負担割合（%）
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（各種部会等の会費）		
農業共済組合賦課金		

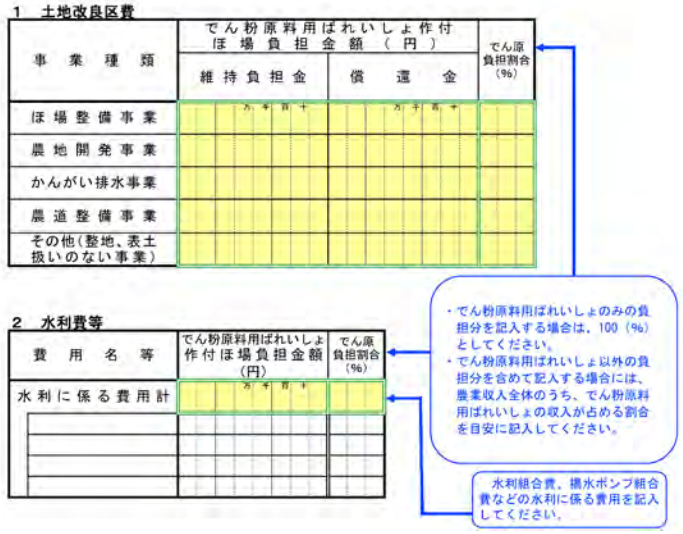
・でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

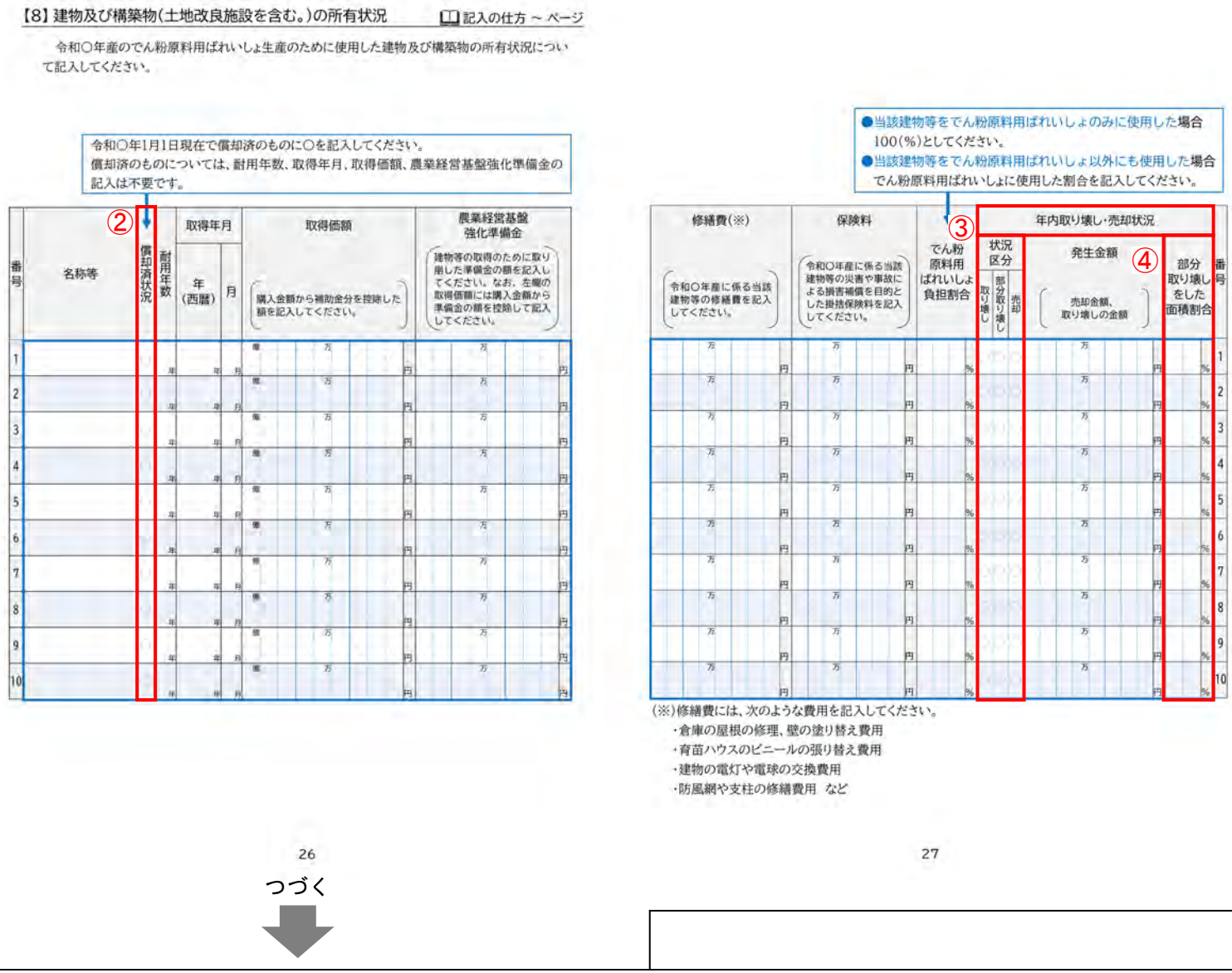
集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、でん粉原料用ばれいしょの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

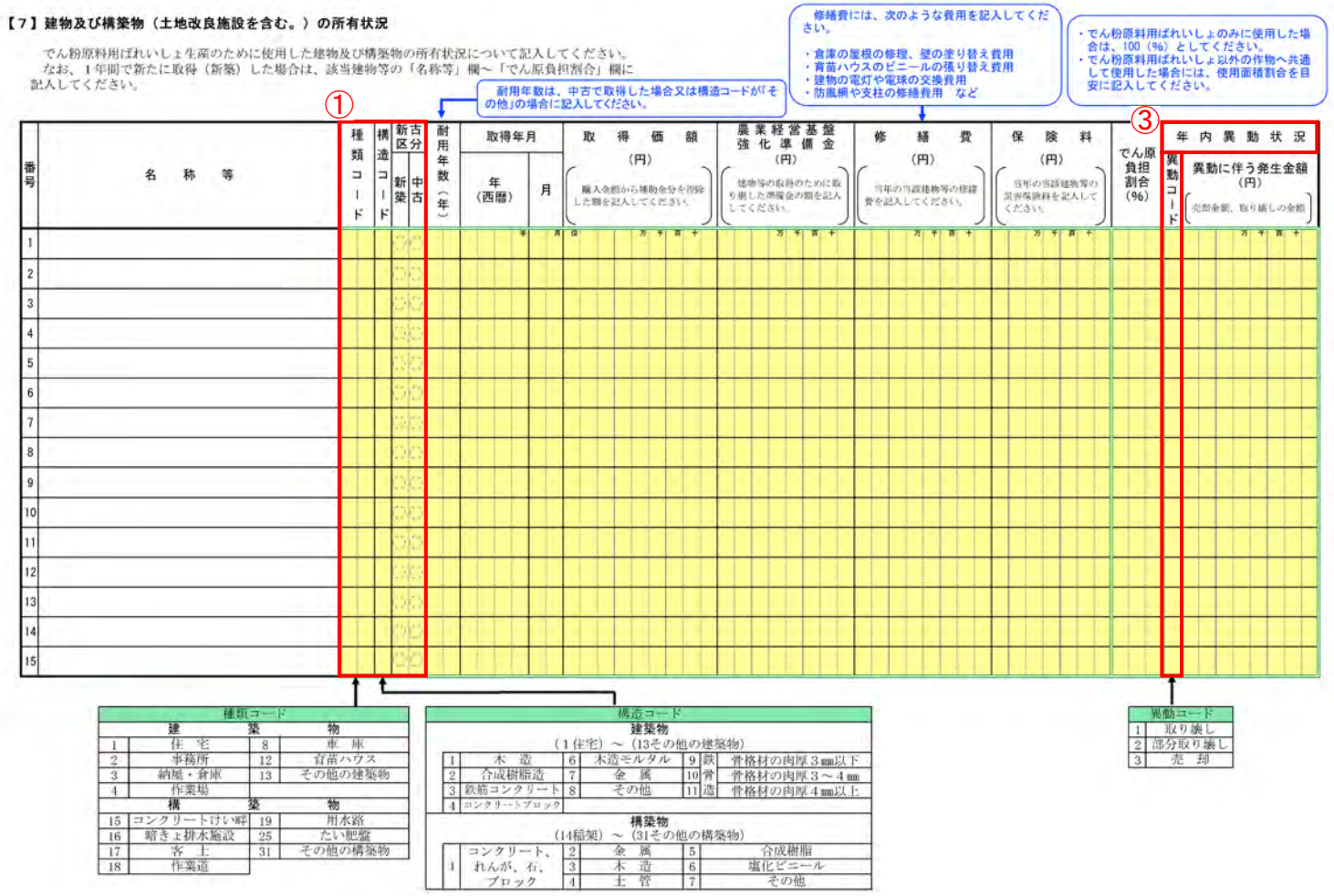
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
25ページ	8ページ	

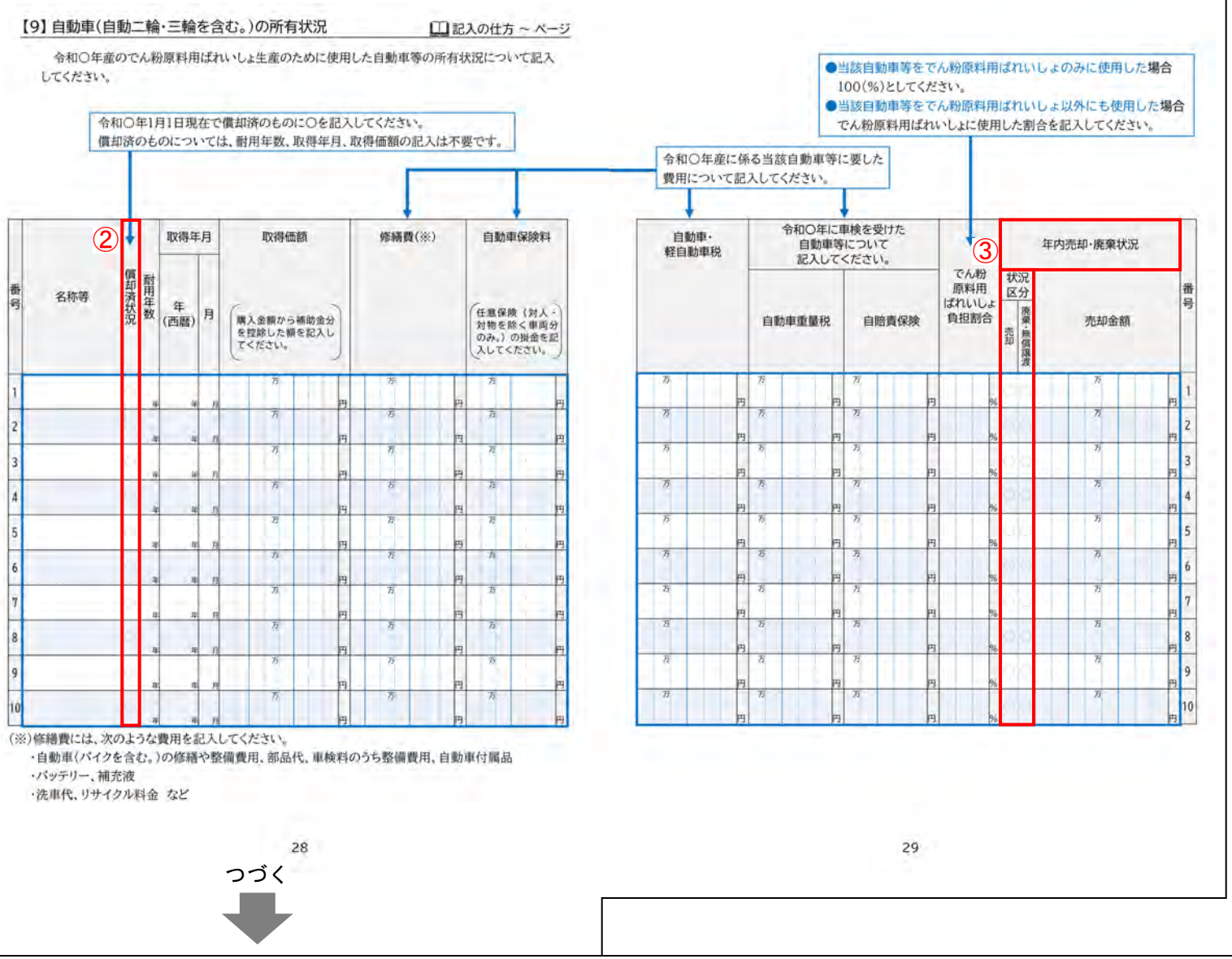


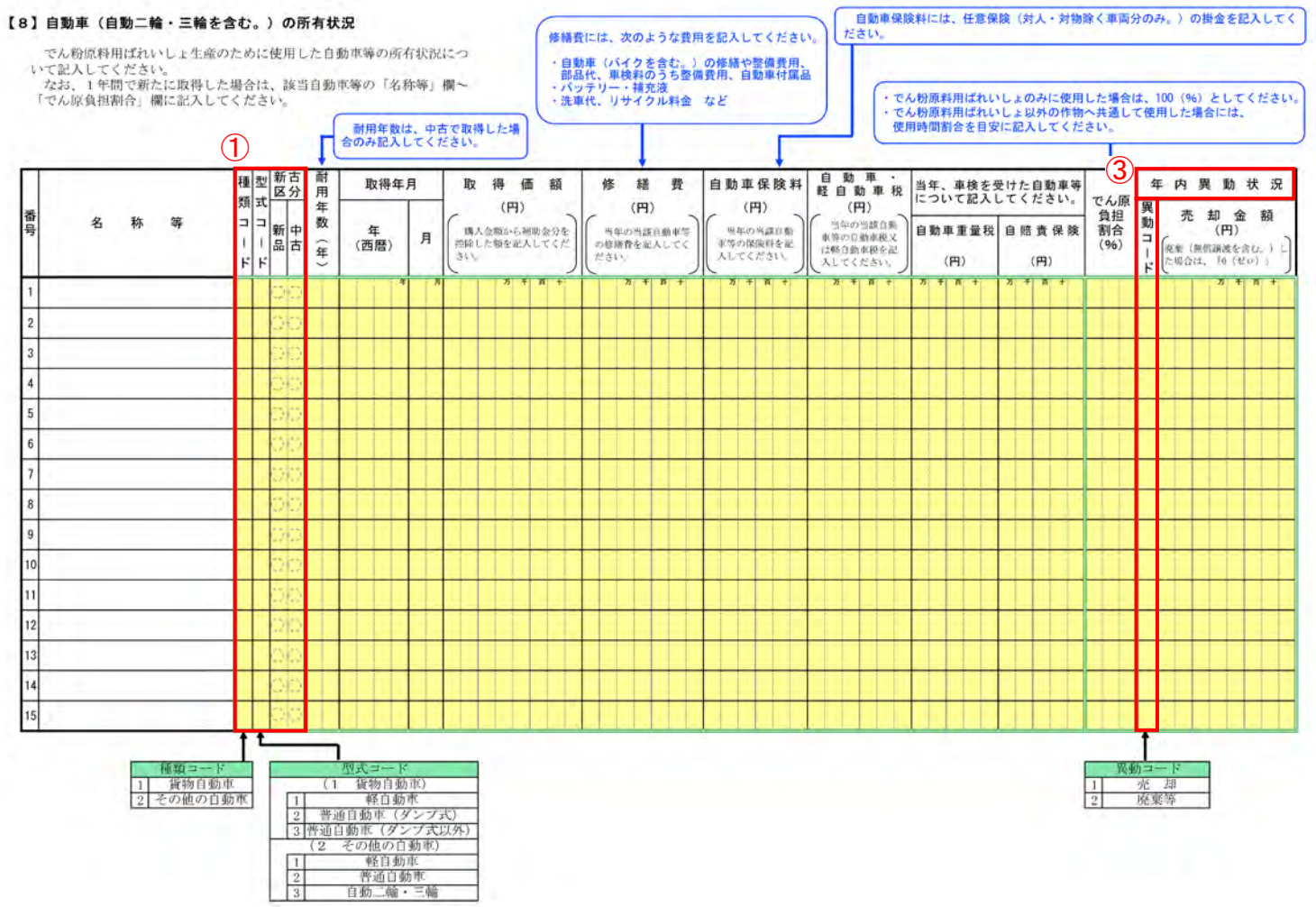


変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ（変更前９ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加

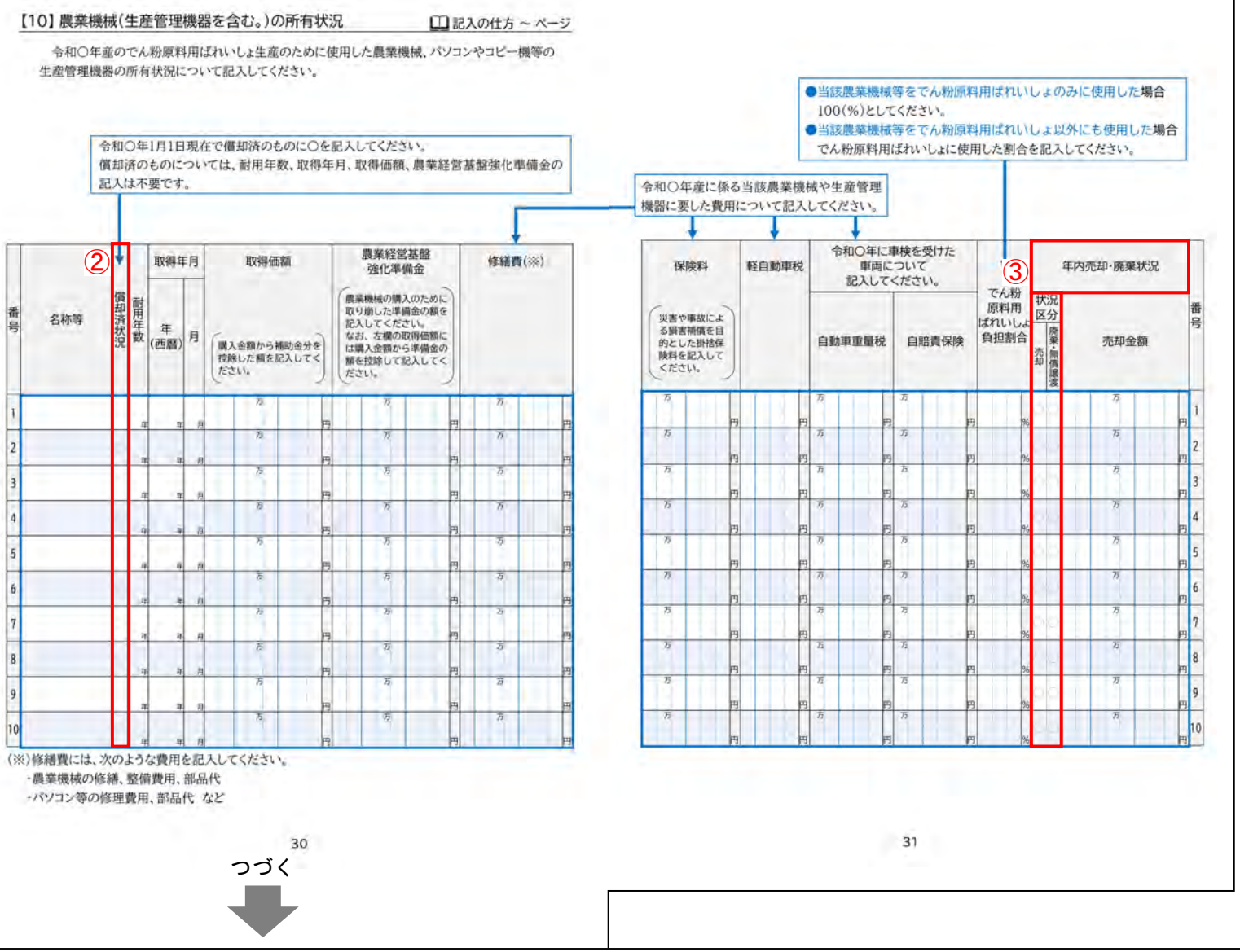
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	９ページ	①同上 ③同上



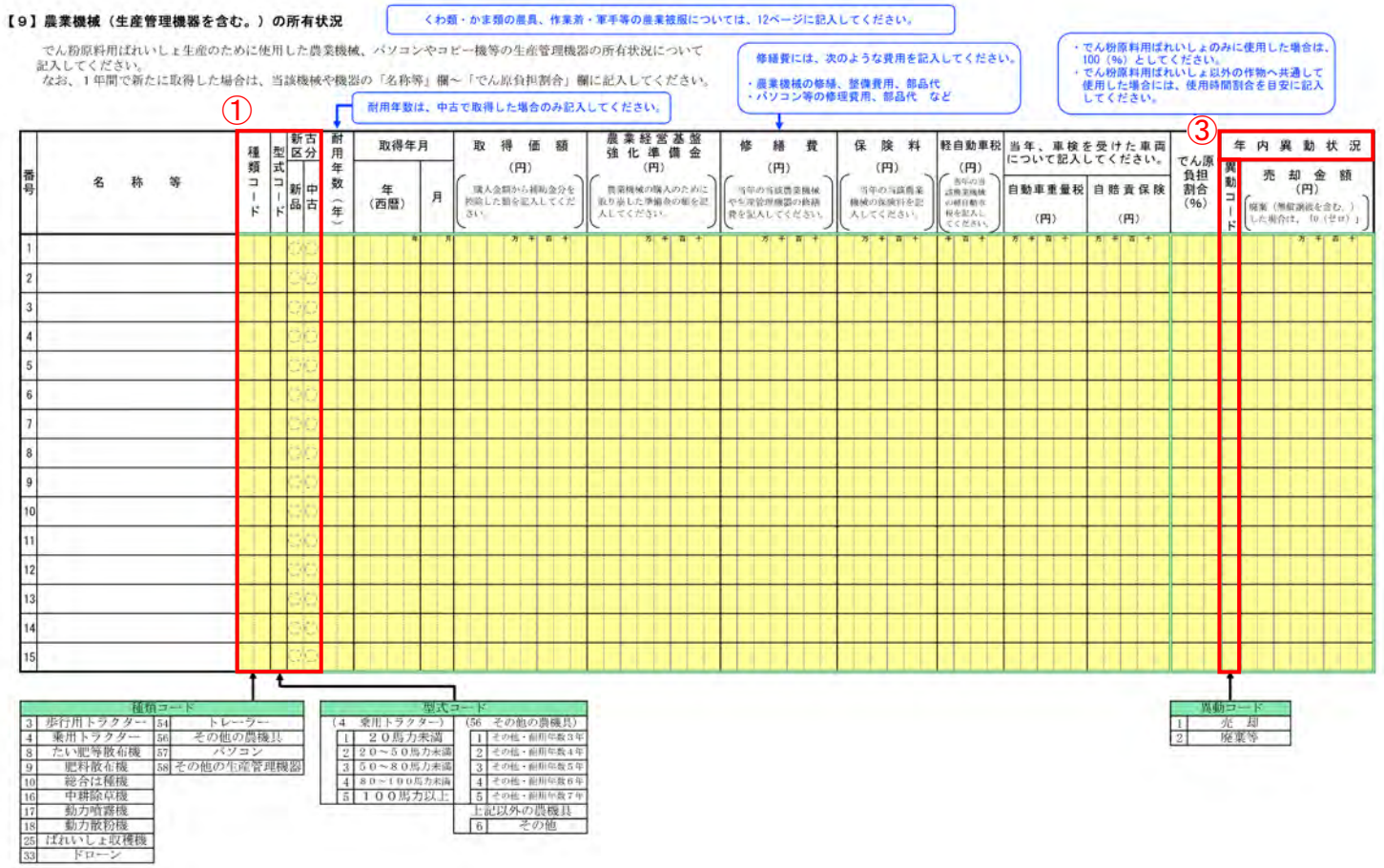
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前10ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上

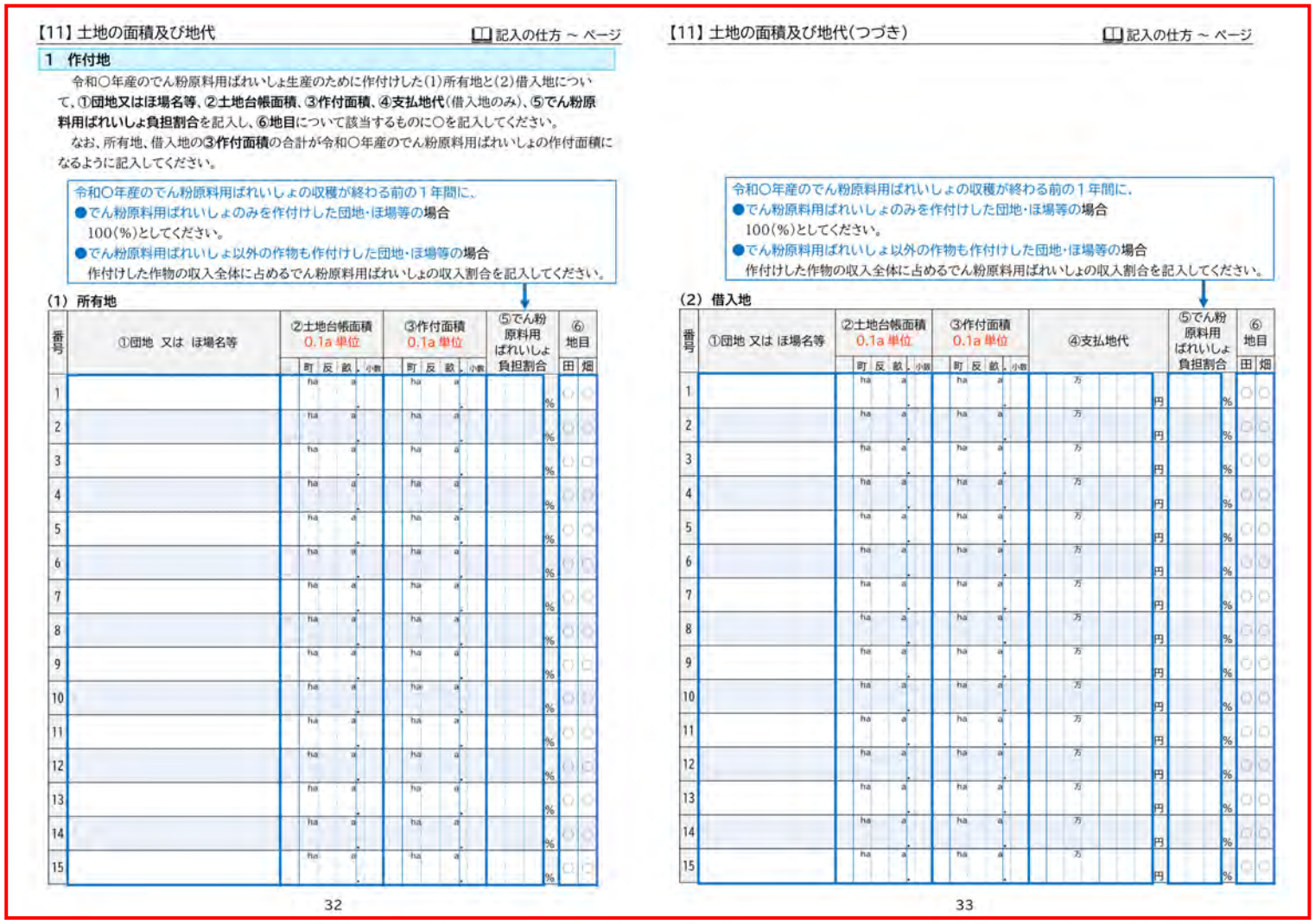
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前11ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ（変更前13ページと対比） ①		記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記 ①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更



【11】土地の面積及び地代　　記入の仕方 ～ ページ

1　作付地

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等、②土地台帳面積、③作付面積、④支払地代**(借入地のみ)、**⑤でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょの作付面積になるように記入してください。

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょの収穫が終わる前の１年間に、
●でん粉原料用ばれいしょのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるでん粉原料用ばれいしょの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤でん粉原料用ばれいしょ負担割合	⑥地目 田	畑
1		ha a	ha a	%		
2		ha a	ha a	%		
3		ha a	ha a	%		
4		ha a	ha a	%		
5		ha a	ha a	%		
6		ha a	ha a	%		
7		ha a	ha a	%		
8		ha a	ha a	%		
9		ha a	ha a	%		
10		ha a	ha a	%		
11		ha a	ha a	%		
12		ha a	ha a	%		
13		ha a	ha a	%		
14		ha a	ha a	%		
15		ha a	ha a	%		

32

【11】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

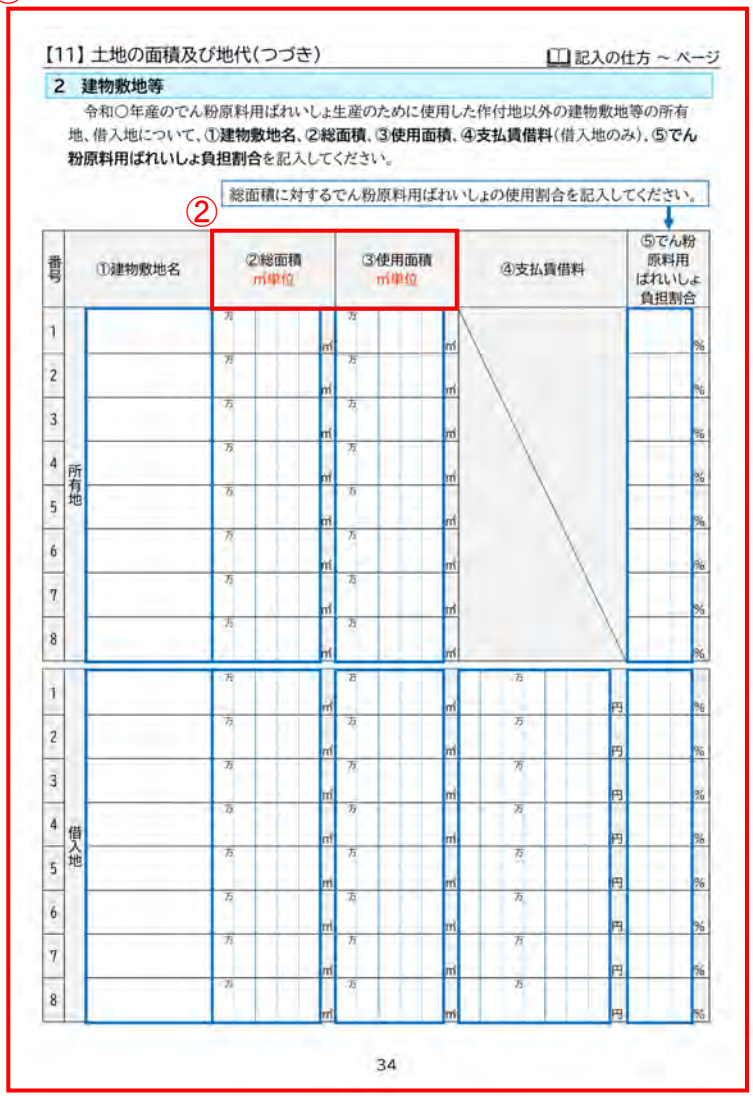
令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょの収穫が終わる前の１年間に、
●でん粉原料用ばれいしょのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるでん粉原料用ばれいしょの収入割合を記入してください。

(2) 借入地

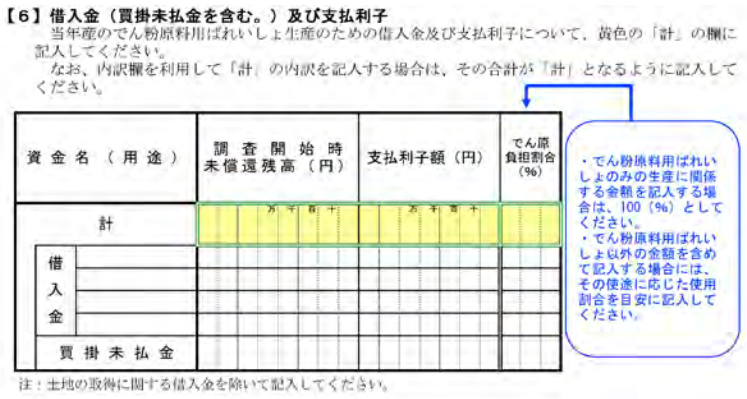
番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤でん粉原料用ばれいしょ負担割合	⑥地目 田	畑
1		ha a	ha a	万 円	%		
2		ha a	ha a	万 円	%		
3		ha a	ha a	万 円	%		
4		ha a	ha a	万 円	%		
5		ha a	ha a	万 円	%		
6		ha a	ha a	万 円	%		
7		ha a	ha a	万 円	%		
8		ha a	ha a	万 円	%		
9		ha a	ha a	万 円	%		
10		ha a	ha a	万 円	%		
11		ha a	ha a	万 円	%		
12		ha a	ha a	万 円	%		
13		ha a	ha a	万 円	%		
14		ha a	ha a	万 円	%		
15		ha a	ha a	万 円	%		

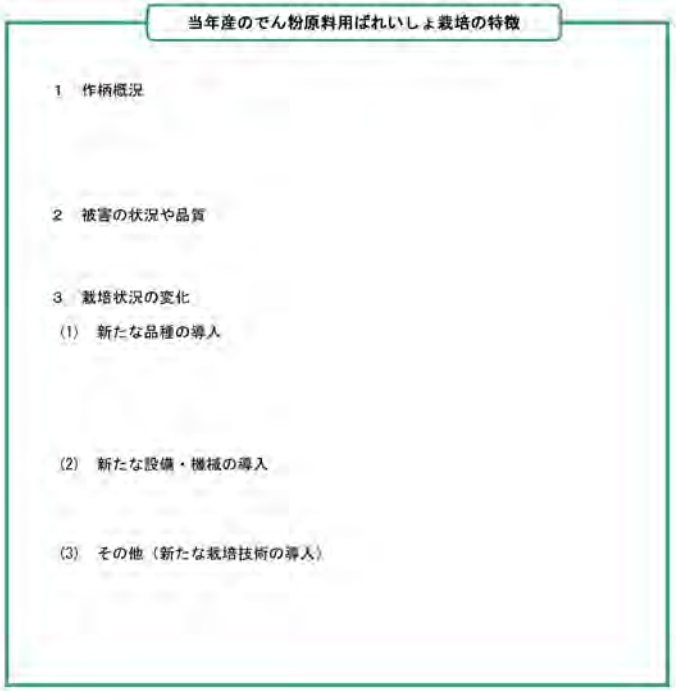
33

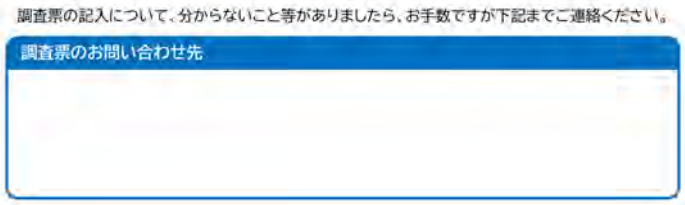
つづく

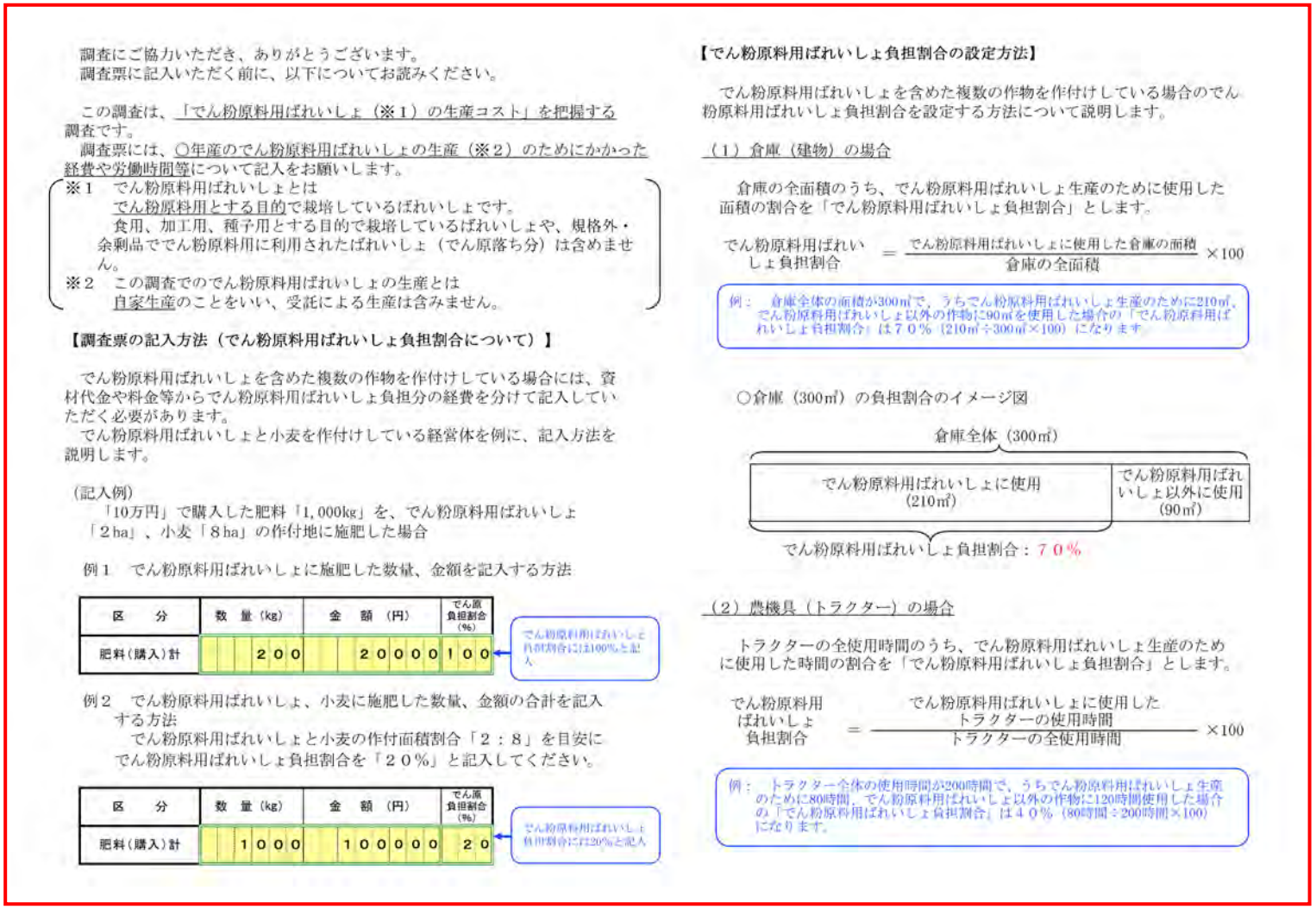
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ（変更前13ページと対比） ①  【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 2　建物敷地等 令和○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料**（借入地のみ）、**⑤でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を記入してください。 ② 総面積に対するでん粉原料用ばれいしょの使用割合を記入してください。 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤でん粉原料用ばれいしょ負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 34		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

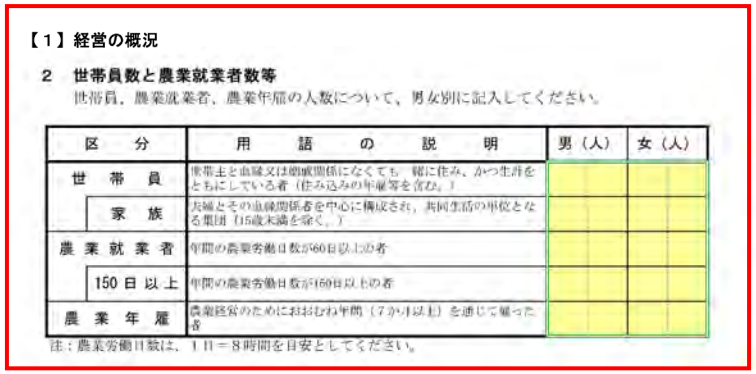
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① 	13ページ	①同上 ②同上

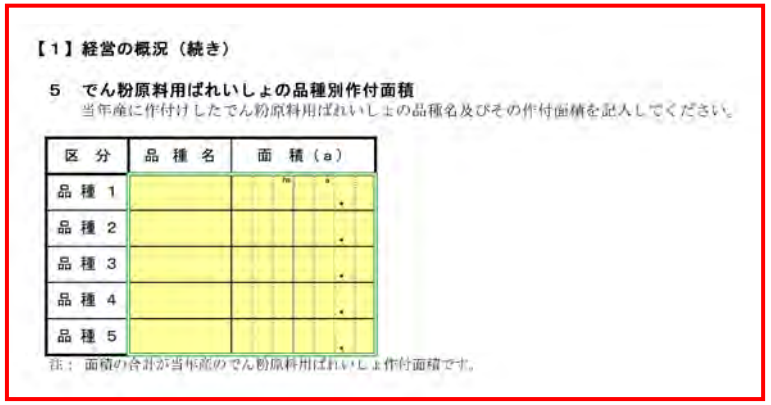
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
35ページ 	8ページ 	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  	5ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38ページ  	1ページ  農業経営統計調査 ○年産　原料用ばれいしょ生産費統計調査票 （個別経営体用）	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ 	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

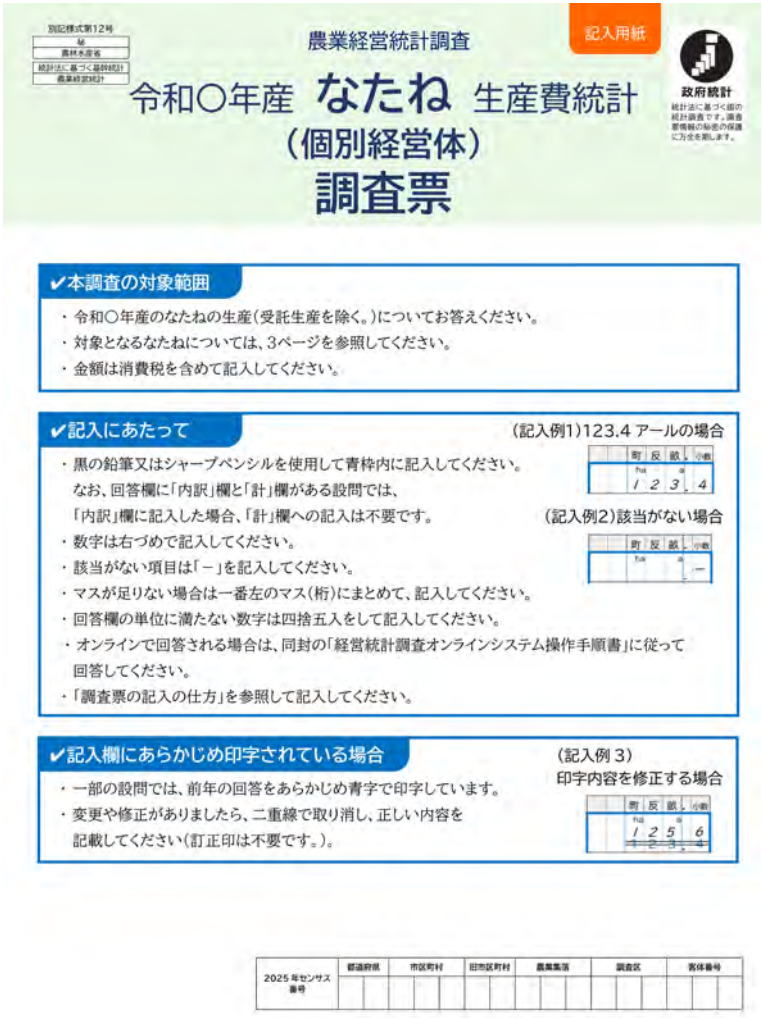
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普通畑 樹園地 牧草地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員，農業就業者，農業年雇の人数について，男女別に記入してください。 区　分 / 用　語　の　説　明 / 男（人） / 女（人） 世帯員 / 家族：夫婦とその血縁関係者を中心に構成され，共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。） / 農業就業者：年間の農業労働日数が60日以上の者 / 150日以上：年間の農業労働日数が150日以上の者 / 農業年雇：農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者 注：農業労働日数は，１日＝８時間を目安としてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる / いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ５　でん粉原料用ばれいしょの品種別作付面積 当年産に作付けしたでん粉原料用ばれいしょの品種名及びその作付面積を記入してください。 区　分 / 品種名 / 面積（a） 品種１ 品種２ 品種３ 品種４ 品種５ 注：　面積の合計が当年産のでん粉原料用ばれいしょ作付面積です。	でん粉原料用ばれいしょの品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ６　制度受取金等の状況 当年産のでん粉原料用ばれいしょに係る制度受取金等について記入してください。 区　分 / 掛金（円） / 受取金（円） 農業共済 注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。	制度受取金等の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

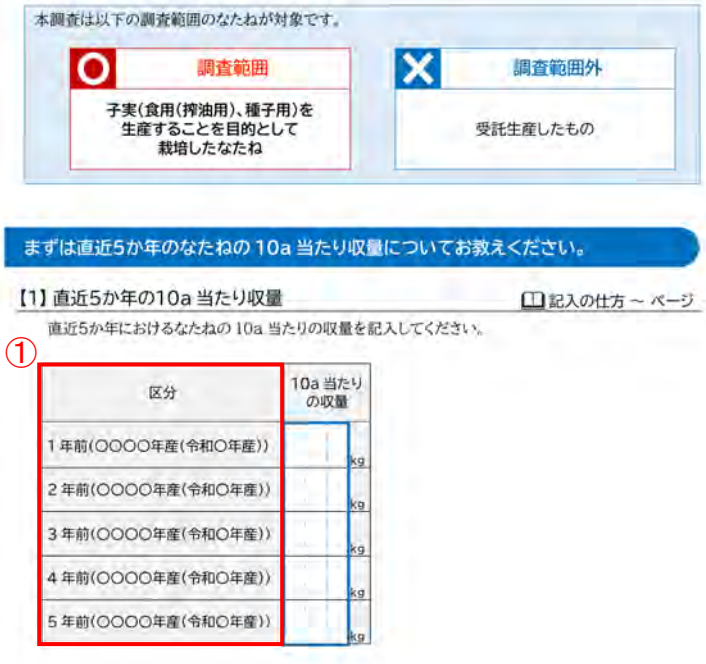
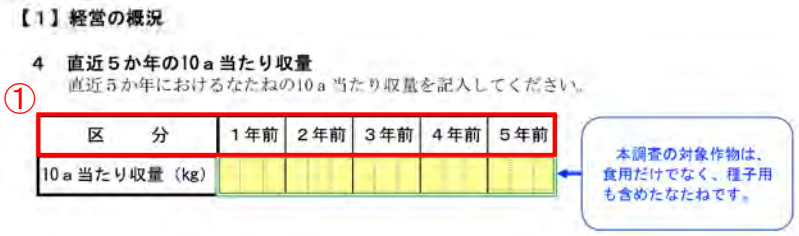
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	５ページ  	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除

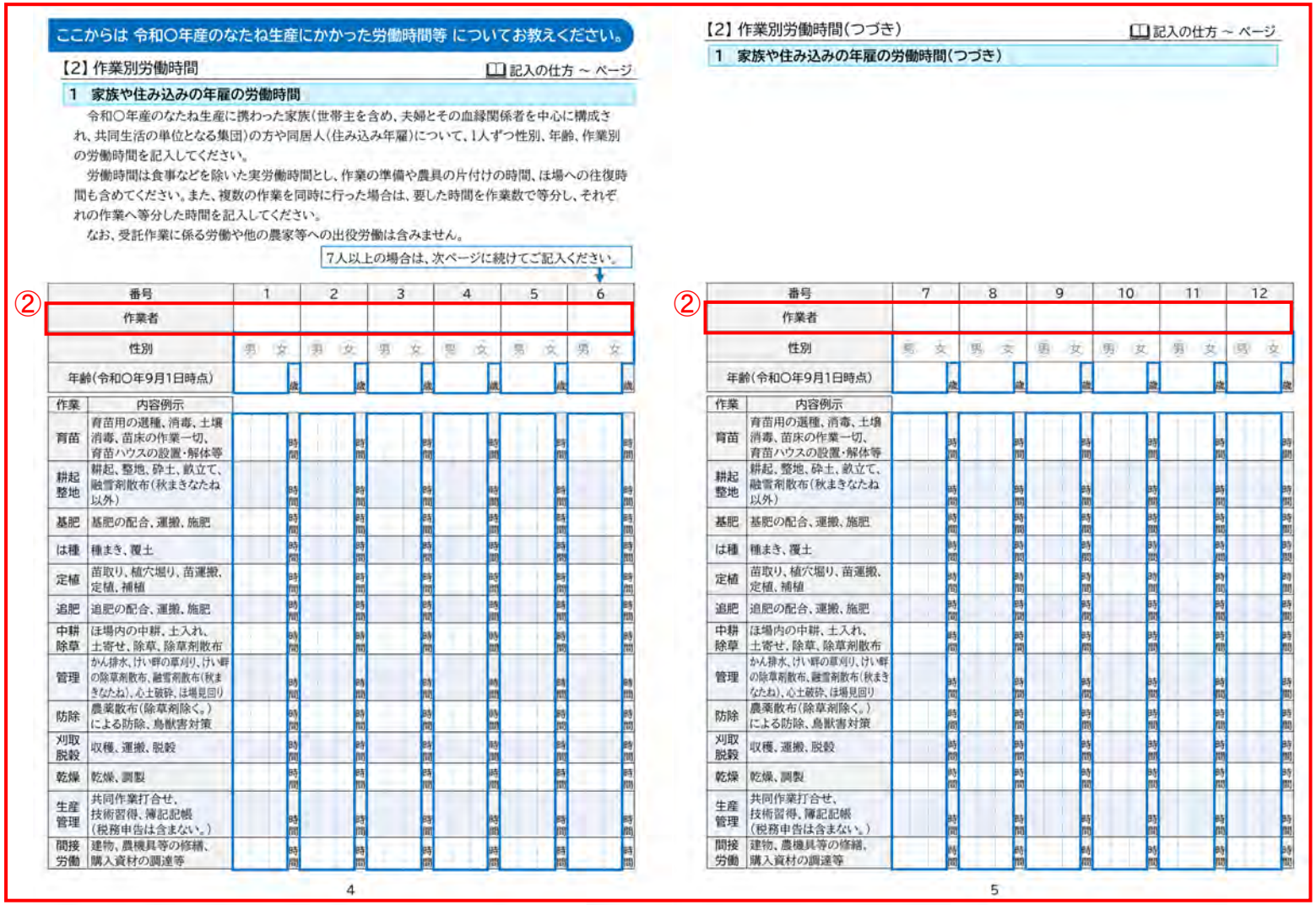
農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　農産物生産費統計（なたね（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式12号 １ページ  	別記様式９号 １ページ  	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 ① 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……9 【4】なたね生産のために使用した資材等 ……11 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……20 【6】物件税及び公課諸負担 ……22 【7】土地改良及び水利費 ……23 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……24 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……26 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……28 【11】土地の面積及び地代 ……30 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……33	３ページ 調　査　事　項 ① ページ 【１】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、なたね生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。 【２】 生産物の販売等の状況 …… 4 なたねの用途別の販売状況等、選別により除かれたなたね等の状況について記入してください。 【３】 なたねの生産のために使用した資材等 …… 5 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。 【４】 物件税及び公課諸負担 …… 8 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【５】 土地改良及び水利費 …… 8 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。 【６】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8 借入金残高、支払利子について記入してください。 【７】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【８】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【９】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 13 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 14 家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は35～37ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  	３ページ  	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更（以下同じ） 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化（以下同じ） 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更（以下同じ） 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、なたねの調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ（変更前14ページと対比） ① 		①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 家族労働時間」と「2 雇用労働時間」を統合して設定していた設問を「1 家族や住み込みの年雇の労働時間」、「2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）」、「3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間」に設問を分離 ②氏名に限定せず、作業者を特定可能な記入欄へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～８ページ（変更前14ページと対比）		①同上 ③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、住み込みの年雇以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人の有無を確認する設問を追加 ⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

①

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

③ 2　雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

（1）令和○年産のなたね生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	1	→ 8ページへ
雇用している人がいる	2	→ (2)へ

（2）（(1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。）令和○年産のなたね生産における雇用者（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布（秋まきなたね以外）	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間
定植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まきなたね）、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間
⑤ 生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

（3）令和○年産のなたね生産のために雇用者（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、①**賃金**、②**なたね負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●なたねのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の支払分を含めて記入する場合
なたね分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②なたね負担割合
男性	万　円	%
女性	万　円	%

つづく

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

④ 3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

（1）令和○年産のなたね生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	なたね生産に係る作業で労働交換を受けた場合	1	2
共同作業受け	なたね生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	1	2
手伝い受け	なたね生産に係る作業で手伝いを受けた場合	1	2

1つでも「いる」に○…(2)へ　　すべて「いない」に○…次ページへ

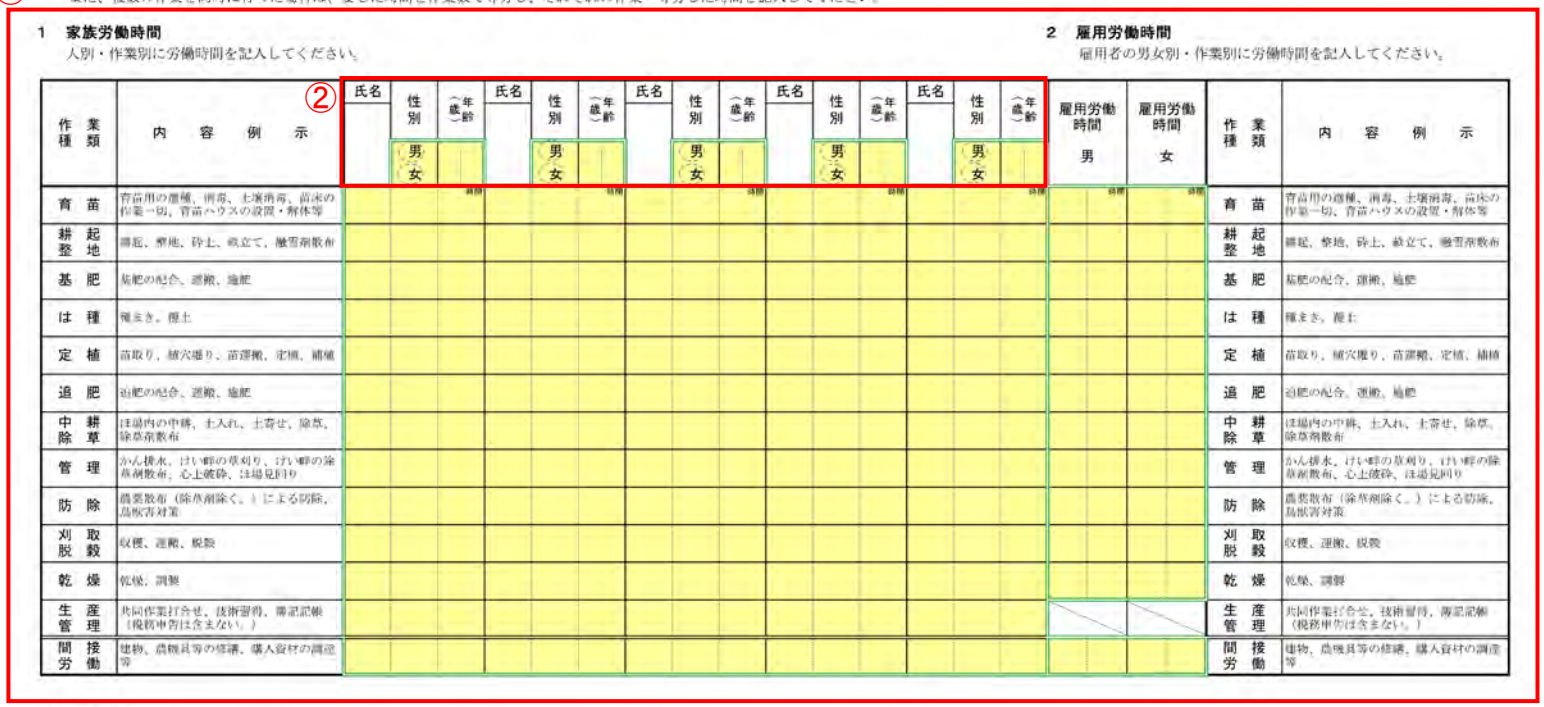
（2）(1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産のなたね生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分	ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業 / 内容例示						
育苗 育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地 耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布（秋まきなたね以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥 基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種 種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植 苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥 追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草 ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理 かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まきなたね）、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除 農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀 収穫、運搬、脱穀	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥 乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働 共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間

8

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	14ページ	①同上 ②同上



【12】作業別労働時間

当年産のなたね生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間や圃場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

①

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

②

作業種類	内容例示	氏名	性別	（年齢）	氏名	性別	（年齢）	氏名	性別	（年齢）	氏名	性別	（年齢）	氏名	性別	（年齢）
			男 女			男 女			男 女			男 女			男 女	
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等			時間			時間			時間			時間			時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布															
基肥	基肥の配合、運搬、施肥															
は種	種まき、覆土															
定植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植															
追肥	追肥の配合、運搬、施肥															
中耕除草	圃場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布															
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、圃場見回り															
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策															
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀															
乾燥	乾燥、調製															
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）															
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等															

2　雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

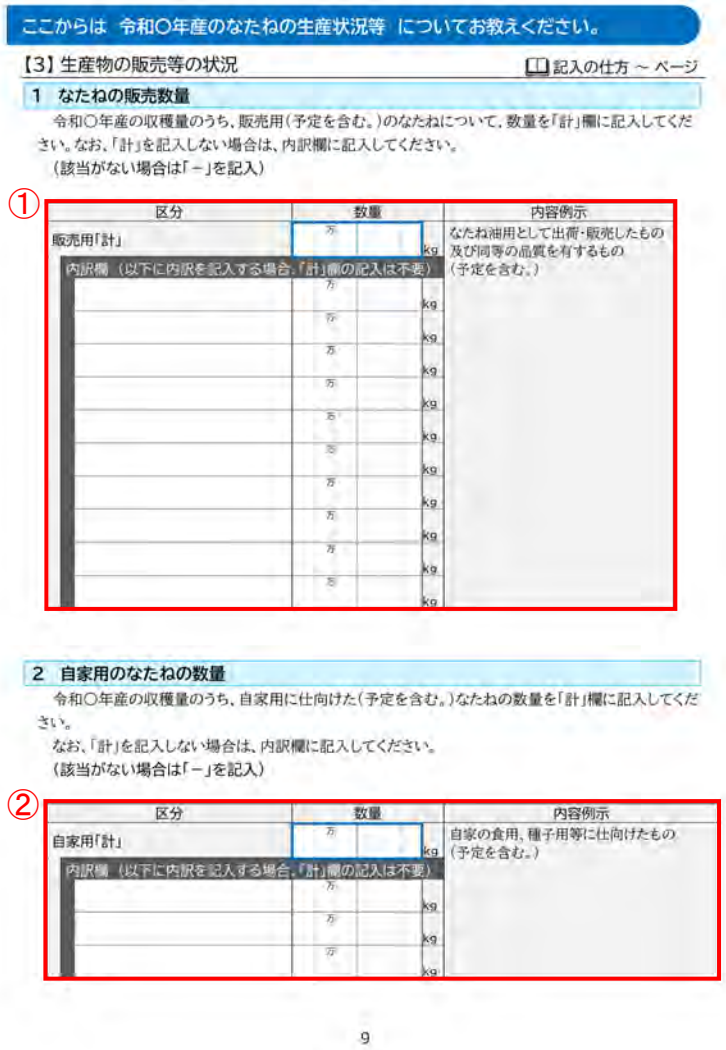
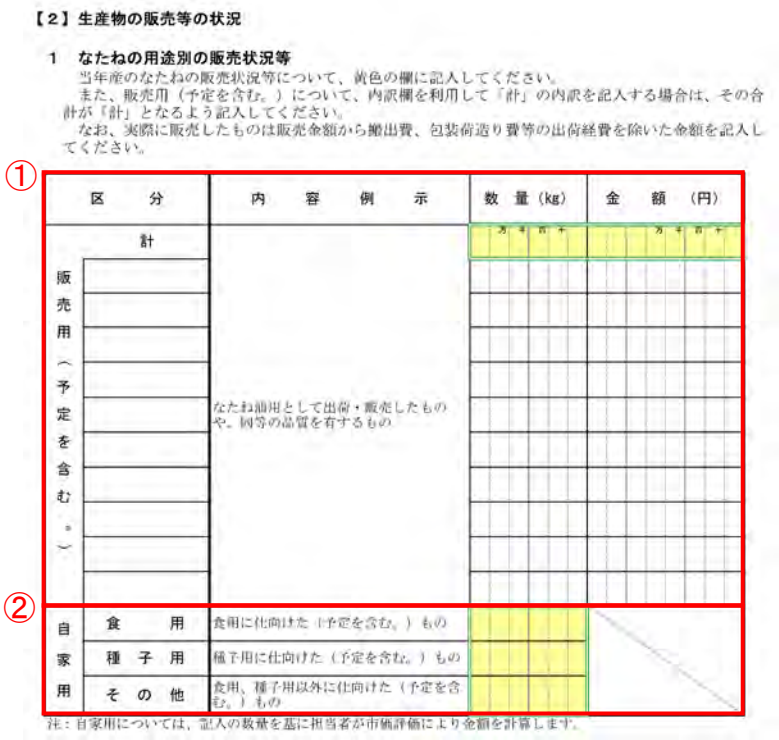
雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
時間	時間	育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等
		耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布
		基肥	基肥の配合、運搬、施肥
		は種	種まき、覆土
		定植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植
		追肥	追肥の配合、運搬、施肥
		中耕除草	圃場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
		管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、圃場見回り
		防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
		刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀
		乾燥	乾燥、調製
		生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
		間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

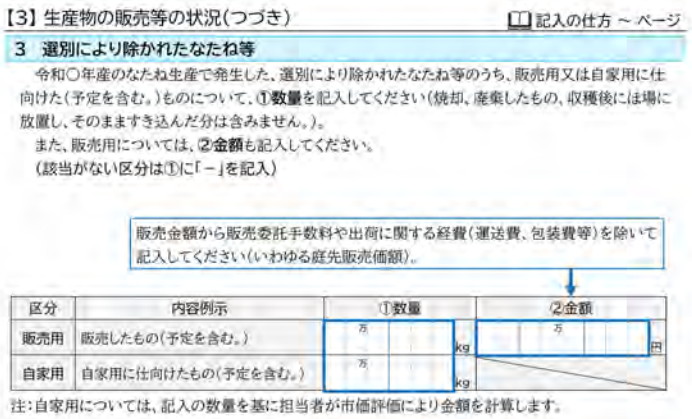
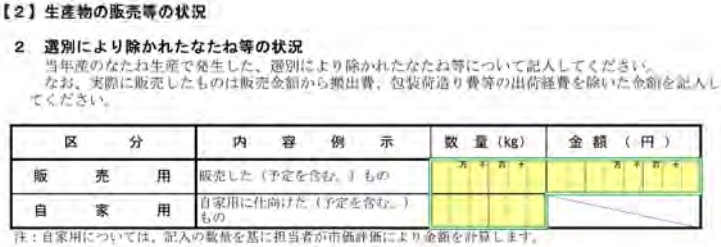
3　支払賃金

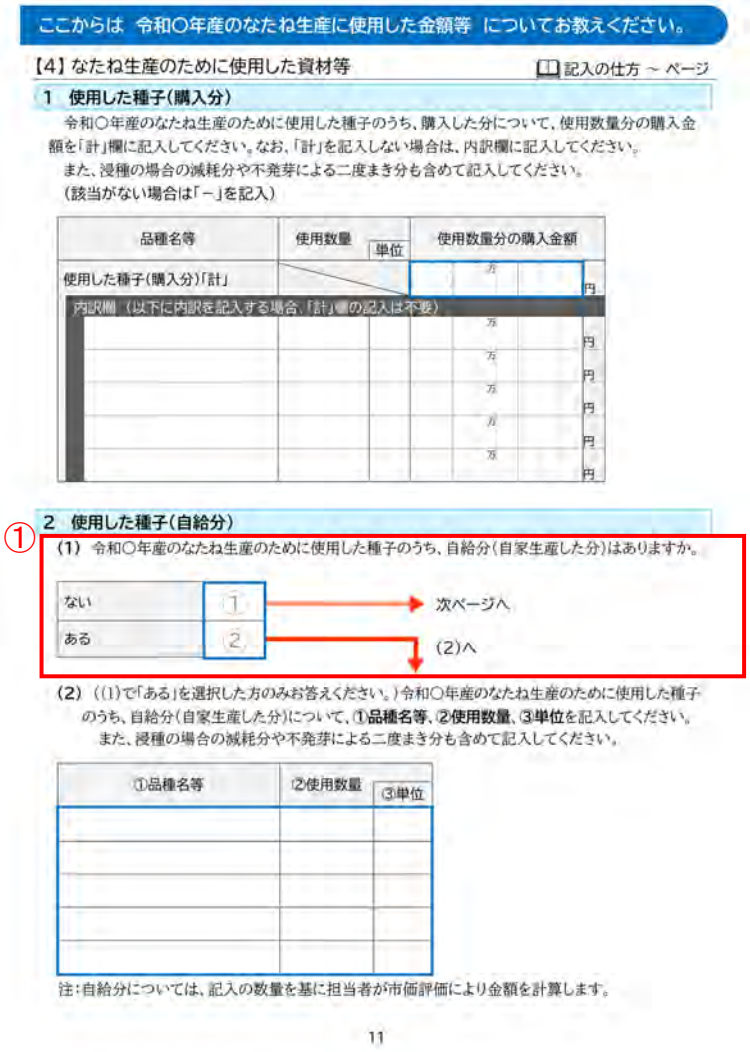
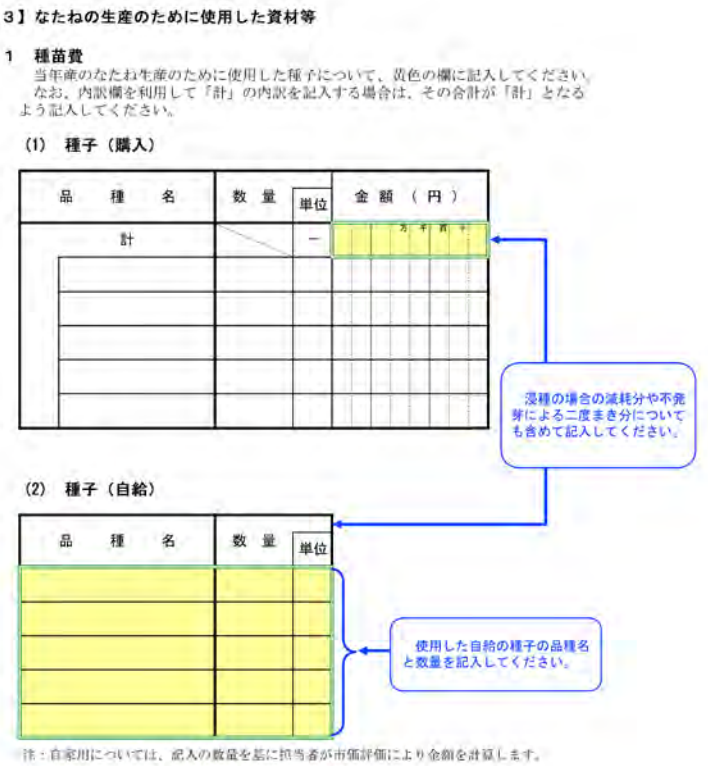
当年産のなたね生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	なたね負担割合（%）
男	万 千 百 十	
女		

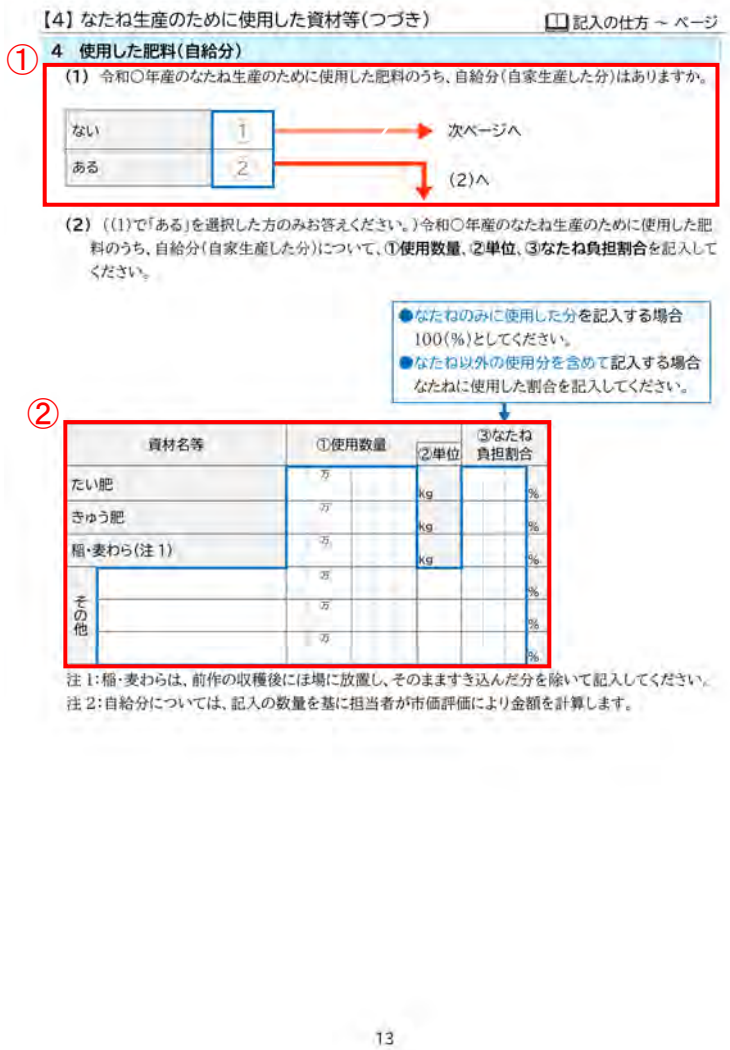
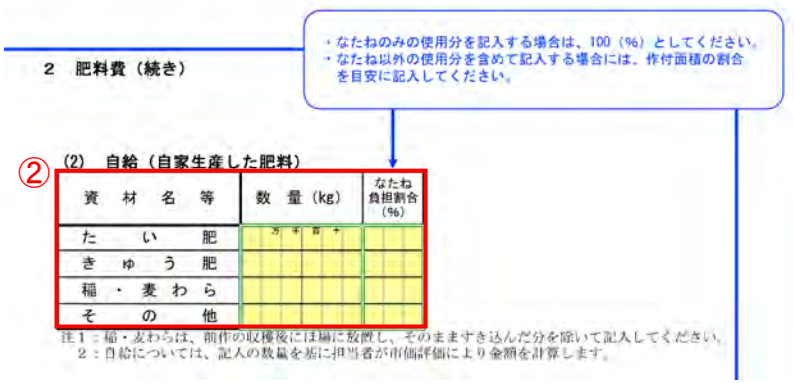
・なたね生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ 	４ページ 	報告者が記入しやすいよう、自家用のなたねの数量に関する設問を分離 ①報告者の記入負担軽減を図るため、「金額（円）」を削除し、「数量」のみを把握するよう変更 ②自家用のなたねの数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「食用」、「種子用」及び「その他」の記入欄を削除し、「自家用「計」」を把握するよう変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ  【3】生産物の販売等の状況(つづき)　記入の仕方 ～ページ 3　選別により除かれたなたね等 令和〇年産のなたね生産で発生した、選別により除かれたなたね等のうち、販売用又は自家用に仕向けた(予定を含む。)ものについて、**①数量**を記入してください(焼却、産棄したもの、収穫後には場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。)。 また、販売用については、**②金額**も記入してください。 (該当がない区分は①に「－」を記入) 販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。 区分 / 内容例示 / ①数量 / ②金額 販売用 / 販売したもの(予定を含む。) / 万 / kg / 万 / 円 自家用 / 自家用に仕向けたもの(予定を含む。) / 万 / kg 注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 10	4ページ  【2】生産物の販売等の状況 2　選別により除かれたなたね等の状況 当年産のなたね生産で発生した、選別により除かれたなたね等について記入してください。 なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。 区分 / 内容例示 / 数量(kg) / 金額(円) 販売用 / 販売した(予定を含む。)もの 自家用 / 自家用に仕向けた(予定を含む。)もの 注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	

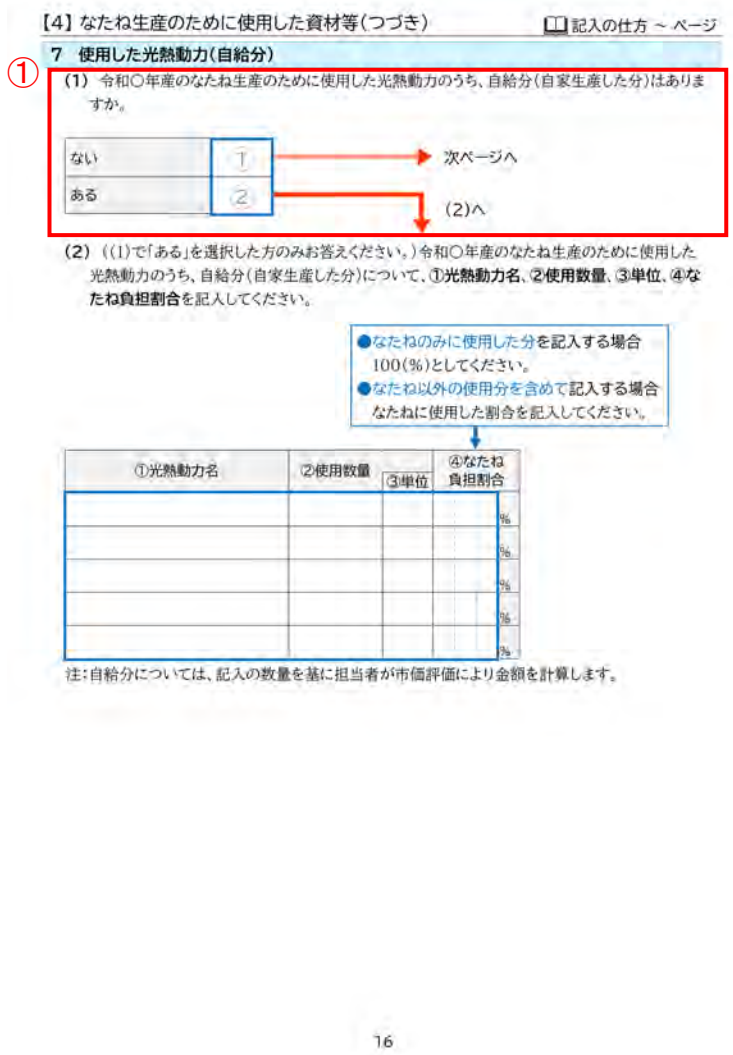
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ 	５ページ 	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子（自給分）の有無を確認する設問を追加

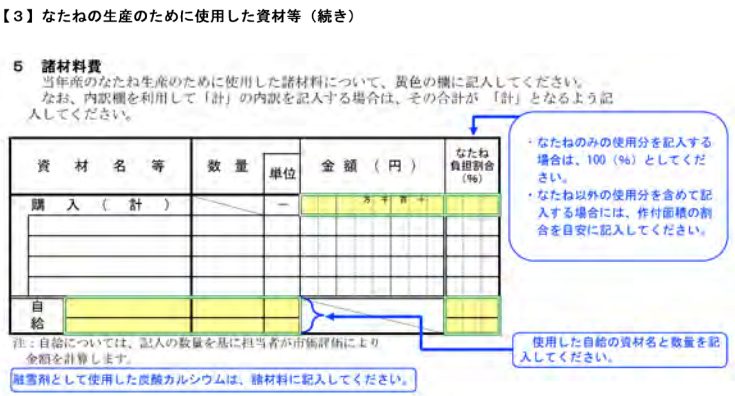
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ 	6ページ 	肥料費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

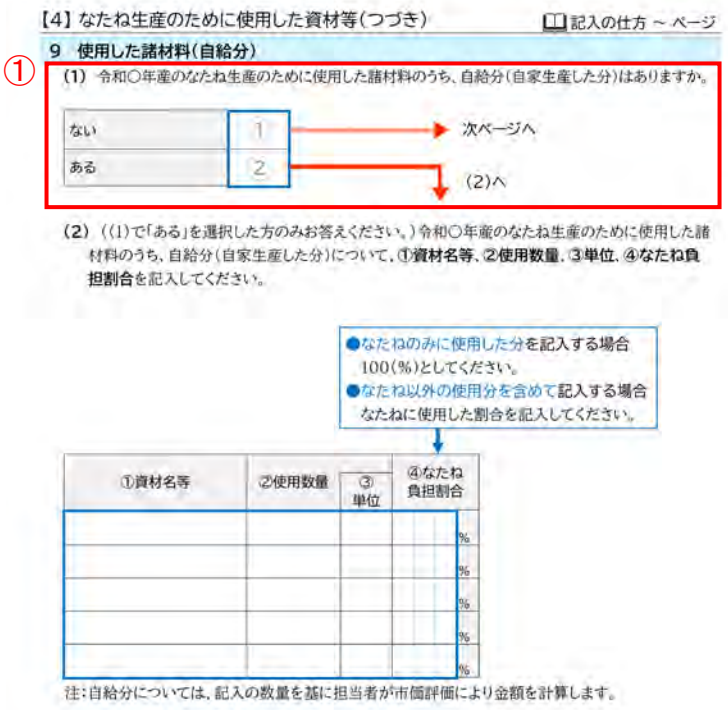
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ  【4】なたね生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 4　使用した肥料(自給分) ① (1)　令和○年産のなたね生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のなたね生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量、②単位、③なたね負担割合**を記入してください。 ●なたねのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●なたね以外の使用分を含めて記入する場合 なたねに使用した割合を記入してください。 ② 資材名等 / ①使用数量 / ②単位 / ③なたね負担割合 たい肥　万　kg　% きゅう肥　万　kg　% 稲・麦わら(注1)　万　kg　% その他　万　% 万　% 万　% 注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 13	6ページ  【3】なたねの生産のために使用した資材等（続き） 2　肥料費（続き） ・なたねのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・なたね以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 ② (2)　自給（自家生産した肥料） 資材名等 / 数量（kg）（万 千 百 十） / なたね負担割合（%） たい肥 きゅう肥 稲・麦わら その他 注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ 	6ページ 	農業薬剤費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ 	7 ページ 	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離

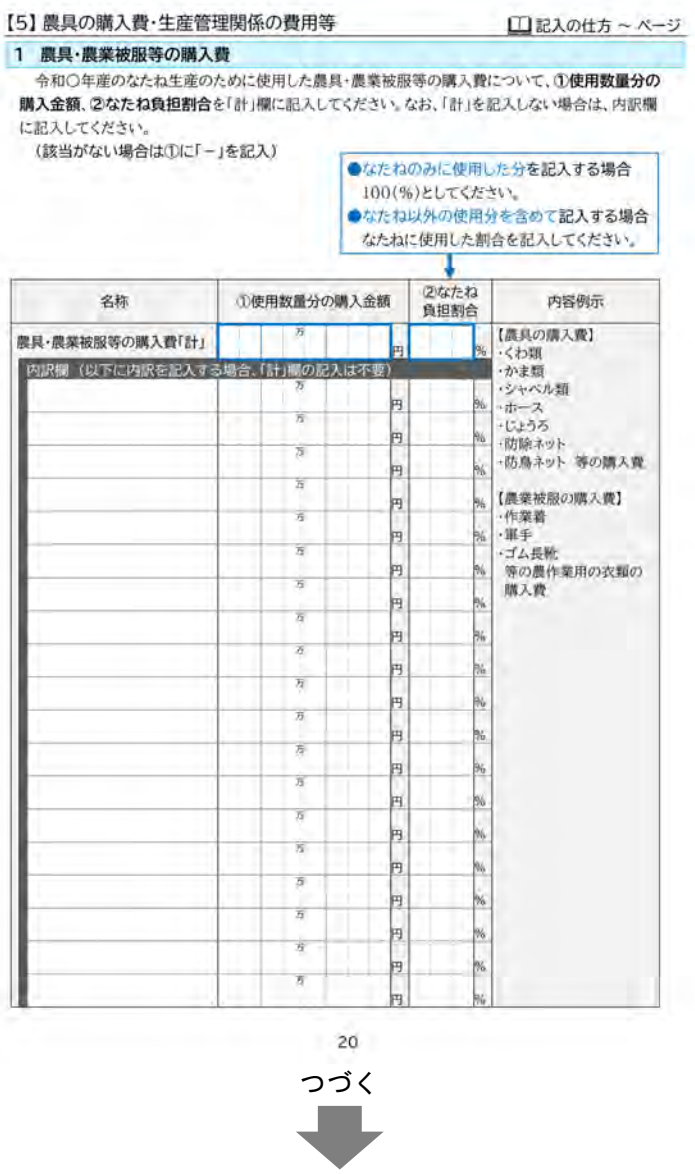
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ（変更前７ページと対比）  【4】なたね生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 7　使用した光熱動力(自給分) ① (1)　令和○年産のなたね生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のなたね生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④なたね負担割合**を記入してください。 ●なたねのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●なたね以外の使用分を含めて記入する場合 なたねに使用した割合を記入してください。 ①光熱動力名 / ②使用数量 / ③単位 / ④なたね負担割合 (%) 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 16		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ  【4】なたね生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 8　使用した諸材料(購入分) 令和○年産のなたね生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) 融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、ここに記入してください。 ●なたねのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●なたね以外の使用分を含めて記入する場合 なたねに使用した割合を記入してください。 資材名等 / 使用数量 / 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②なたね負担割合 使用した諸材料(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 注：くわ、かま等の農具や作業着等については、20 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。 17 つづく	7 ページ  【3】なたねの生産のために使用した資材等（続き） 5　諸材料費 当年産のなたね生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 資材名等 / 数量 / 単位 / 金額（円） / なたね負担割合（%） 購入（計） 自給 ・なたねのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・なたね以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 使用した自給の資材名と数量を記入してください。 融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ（変更前７ページと対比）  【4】なたね生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ 9　使用した諸材料（自給分） ① (1)　令和○年産のなたね生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　（(1)で「ある」を選択した方のみお答えください。）令和○年産のなたね生産のために使用した諸材料のうち、自給分（自家生産した分）について、**①資材名等、②使用数量、③単位、④なたね負担割合**を記入してください。 ●なたねのみに使用した分を記入する場合 100（%）としてください。 ●なたね以外の使用分を含めて記入する場合 なたねに使用した割合を記入してください。 ①資材名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④なたね負担割合 % 注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 18		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ 	7ページ 	賃借料及び料金の内訳欄について、報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20～21ページ（変更前12ページと対比）		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離



【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等　記入の仕方 ～ ページ

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産のなたね生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●なたねのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②なたね負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万 円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

20

つづく

【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

2　生産管理関係の費用

令和〇年産のなたね生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

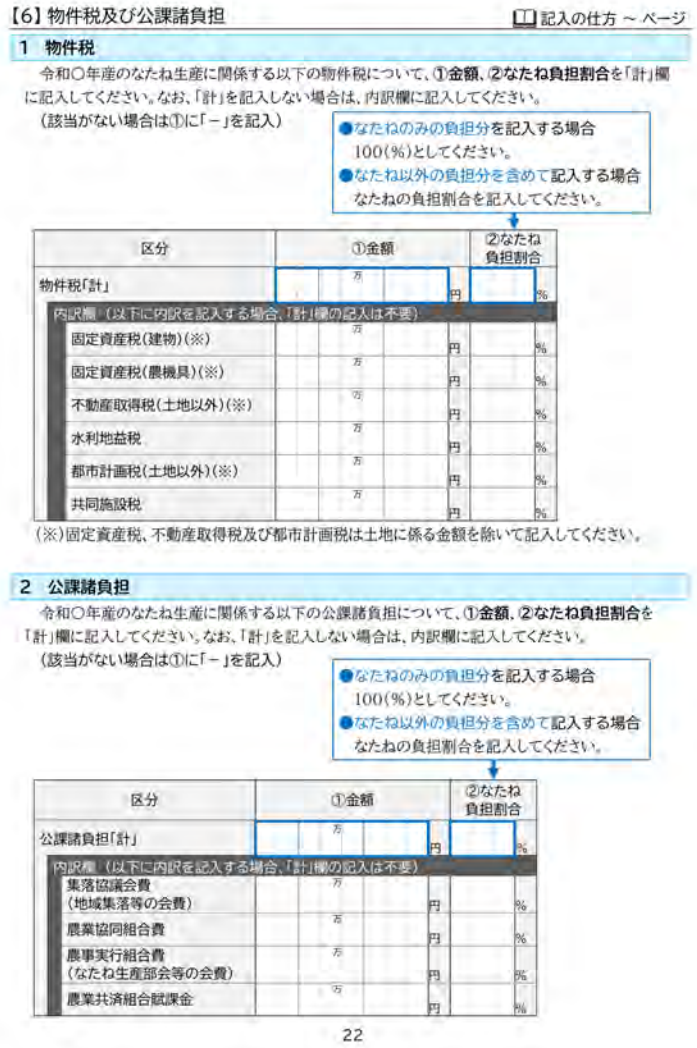
●なたねのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②なたね負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万 円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

21

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等 当年産のなたね生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 ・なたねのみに使用した場合は、100（%）としてください。 ・なたね以外の作物にも使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。 農具・農業被服等の購入費 名称等 / 金額（円）（万 千 百 十） / なたね負担割合（%） / 内容例示 （計） 【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費 生産管理関係の費用 名称等 / 金額（円）（万 千 百 十） / なたね負担割合（%） / 内容例示 （計） 【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等の参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料	12ページ	同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22ページ	8ページ	



【6】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ページ

1　物件税

令和○年産のなたね生産に関係する以下の物件税について、**①金額、②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●なたねのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の負担分を含めて記入する場合
なたねの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②なたね負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税(建物)(※)	万　円	%
固定資産税(農機具)(※)	万　円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万　円	%
共同施設税	万　円	%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和○年産のなたね生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額、②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●なたねのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の負担分を含めて記入する場合
なたねの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②なたね負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（なたね生産部会等の会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

22

【4】物件税及び公課諸負担

1　物件税

1年間に負担したなたね生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金額（円）（万 千 百 十）	なたね負担割合(%)
計		
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・なたねのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

2　公課諸負担

1年間に負担したなたね生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

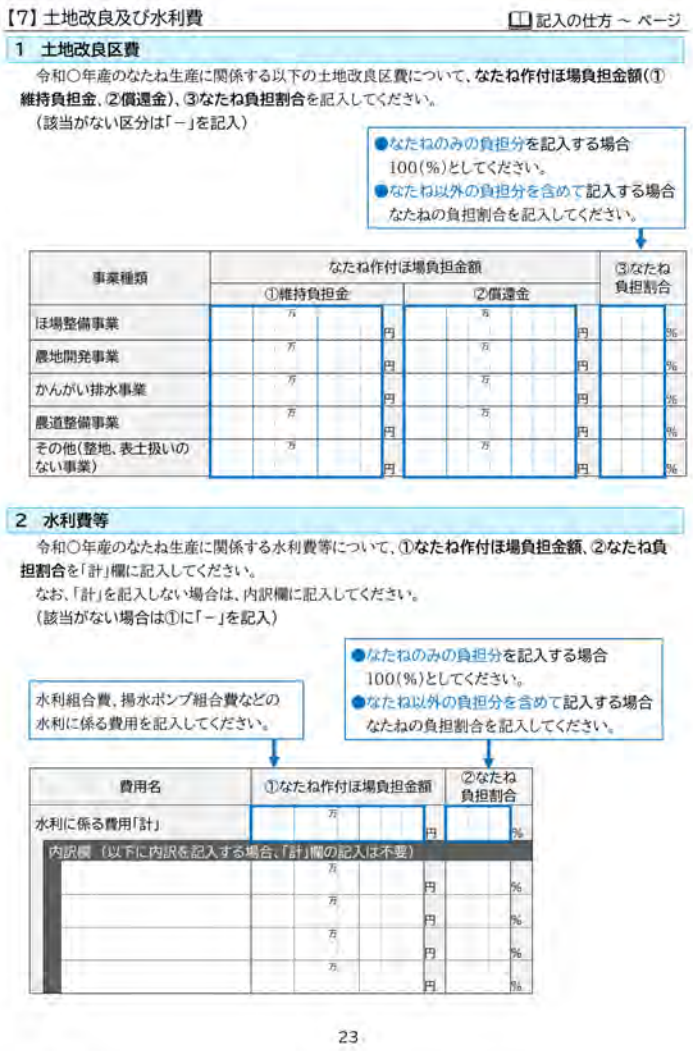
区　分	金額（円）（万 千 百 十）	なたね負担割合(%)
計		
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（なたね生産部会等の会費）		
農業共済組合賦課金		

・なたねのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、なたねの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ	8ページ	



【7】土地改良及び水利費　　記入の仕方 ～ ページ

1　土地改良区費

令和〇年産のなたね生産に関係する以下の土地改良区費について、**なたね作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③なたね負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

●なたねのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の負担分を含めて記入する場合
なたねの負担割合を記入してください。

事業種類	なたね作付ほ場負担金額 ①維持負担金	なたね作付ほ場負担金額 ②償還金	③なたね負担割合
ほ場整備事業	万 円	万 円	%
農地開発事業	万 円	万 円	%
かんがい排水事業	万 円	万 円	%
農道整備事業	万 円	万 円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万 円	万 円	%

2　水利費等

令和〇年産のなたね生産に関係する水利費等について、**①なたね作付ほ場負担金額、②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●なたねのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の負担分を含めて記入する場合
なたねの負担割合を記入してください。

費用名	①なたね作付ほ場負担金額	②なたね負担割合
水利に係る費用「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%

23



【５】土地改良及び水利費

当年産のなたね生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1　土地改良区費

事業種類名	なたね作付ほ場負担金額（円） 維持負担金	なたね作付ほ場負担金額（円） 償還金	なたね負担割合（%）
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

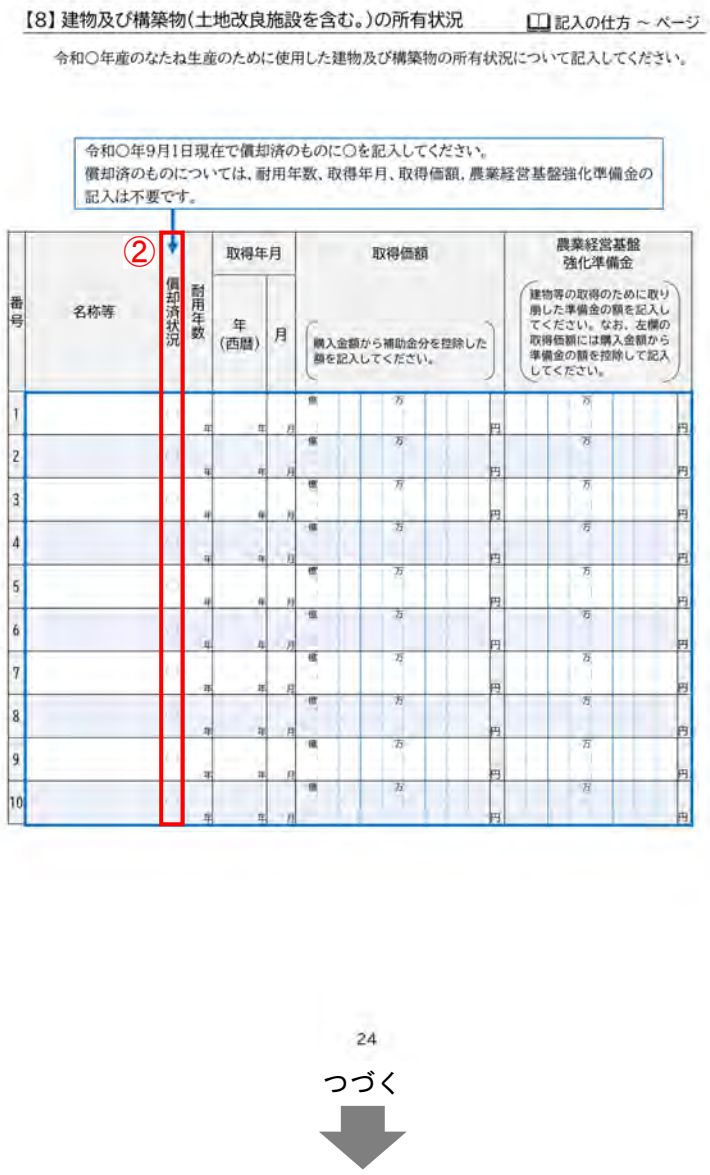
2　水利費等

費用名	なたね作付ほ場負担金額（円）	なたね負担割合（%）
水利に係る費用計	万 千 百 十	

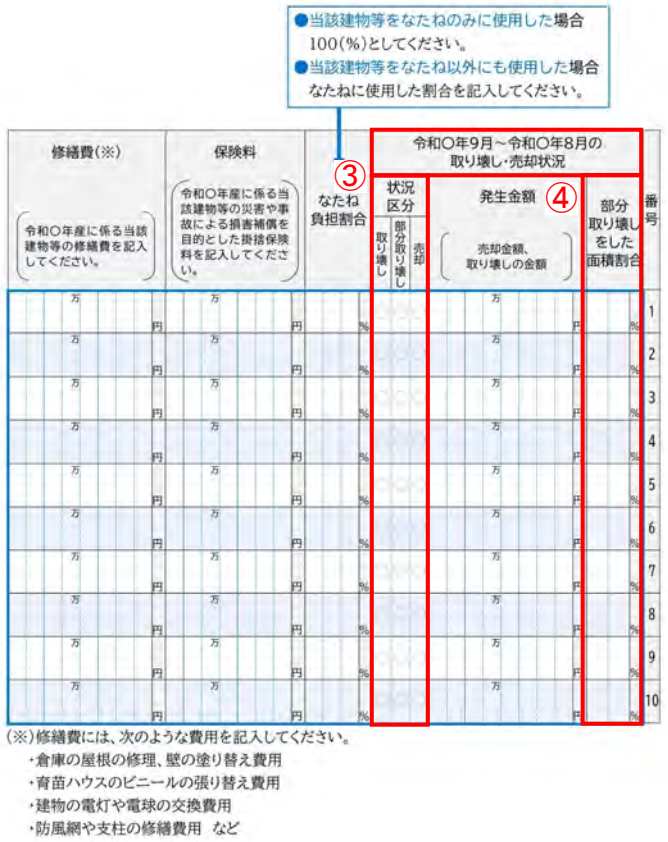
・なたねのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、なたねの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

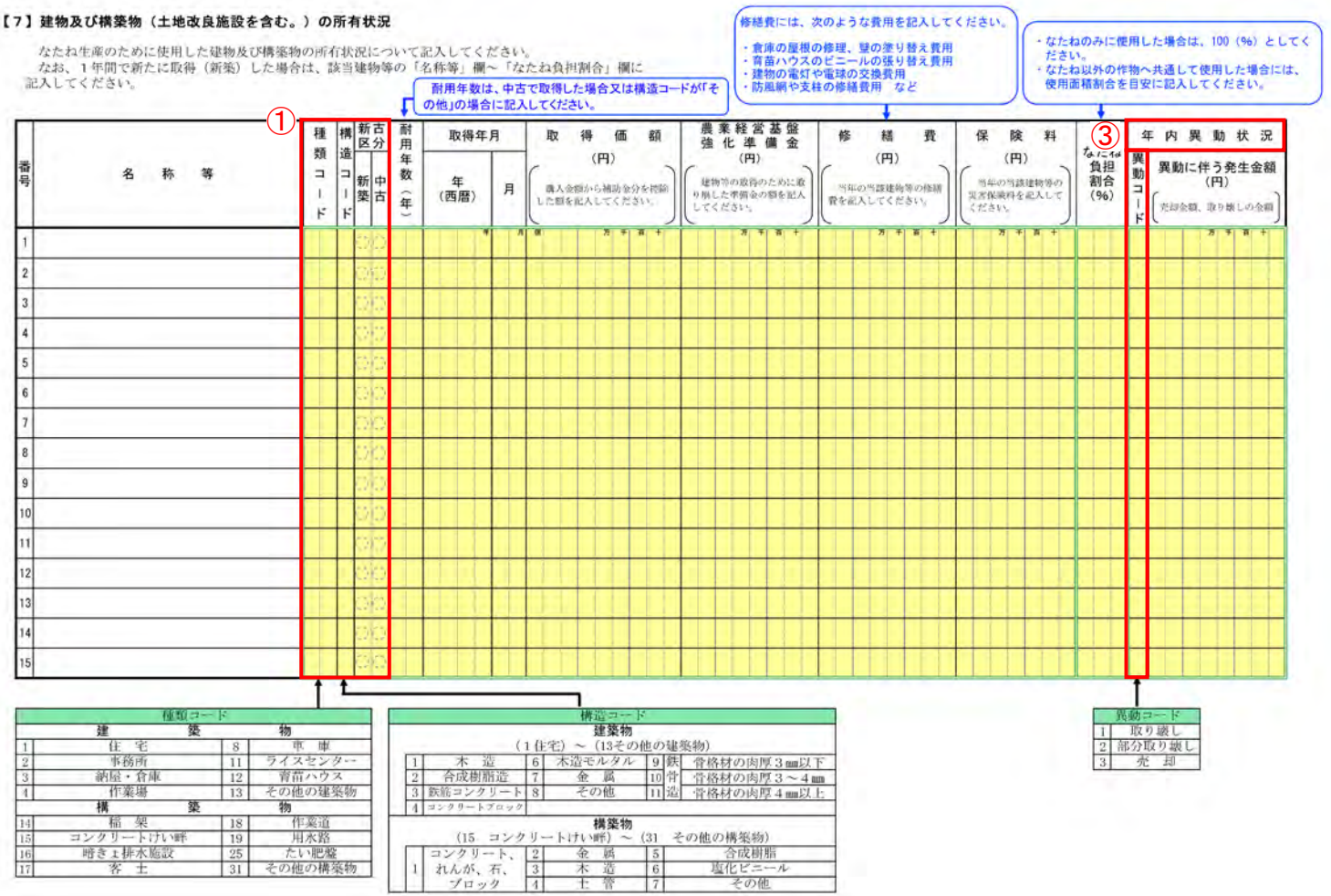
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24～25ページ（変更前９ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「区分状況」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加



つづく



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	９ページ	①同上 ③同上



【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

なたね生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「なたね負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・なたねのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・なたね以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	① 種類コード	構造コード	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円） 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円） 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円） 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	③ なたねの負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	異動に伴う発生金額（円） 売却金額、取り壊しの金額
1							年	月	千 百 十 万 千 百 十 円	千 百 十 万 千 百 十 円	千 百 十 万 千 百 十 円	千 百 十 万 千 百 十 円			千 百 十 万 千 百 十 円
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード

建築物			
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲　架	18	作業道
15	コンクリートさい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物

構造コード

建築物
（１住宅）～（13その他の建築物）

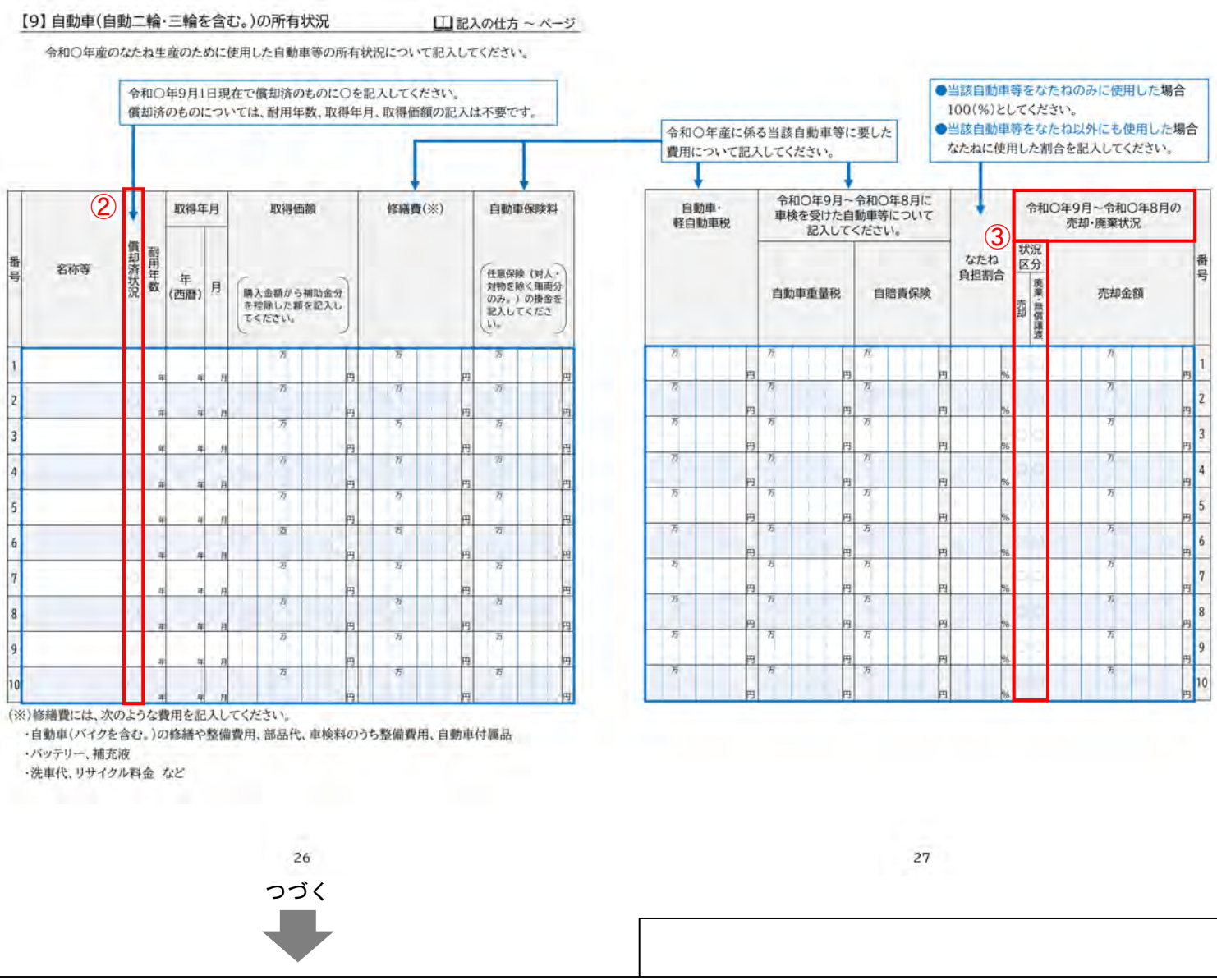
1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

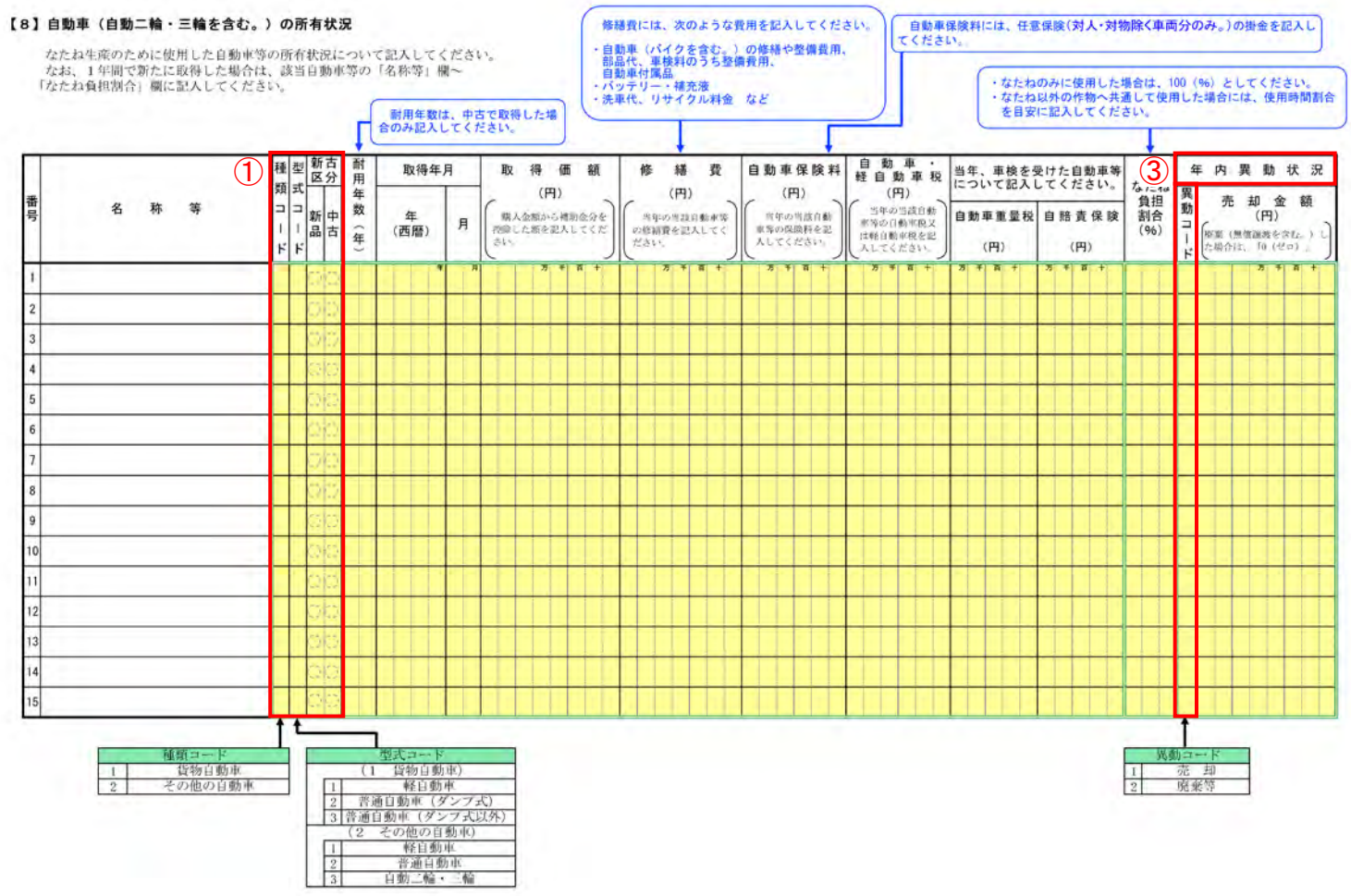
構築物
（15　コンクリートさい畔）～（31　その他の構築物）

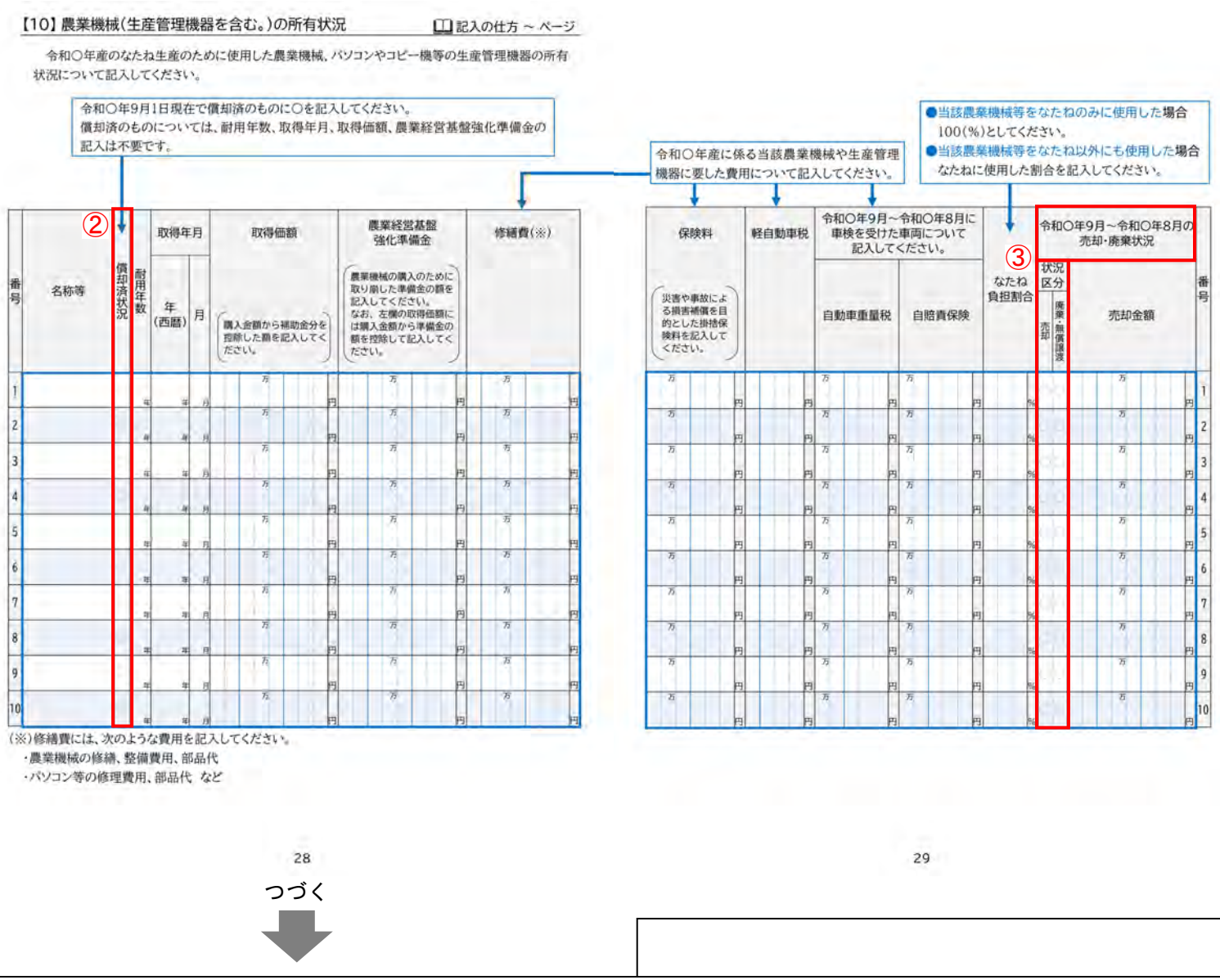
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

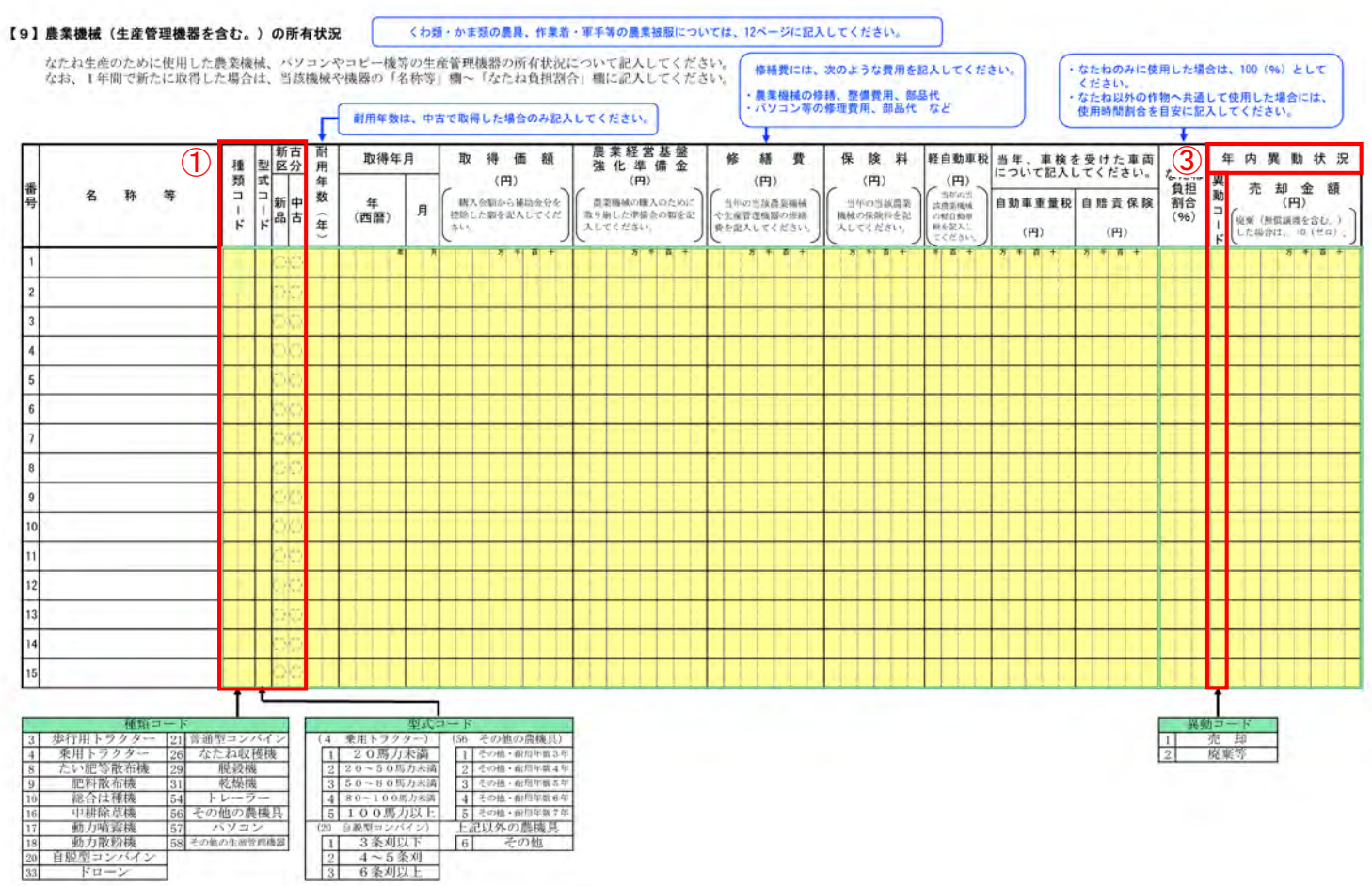
異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

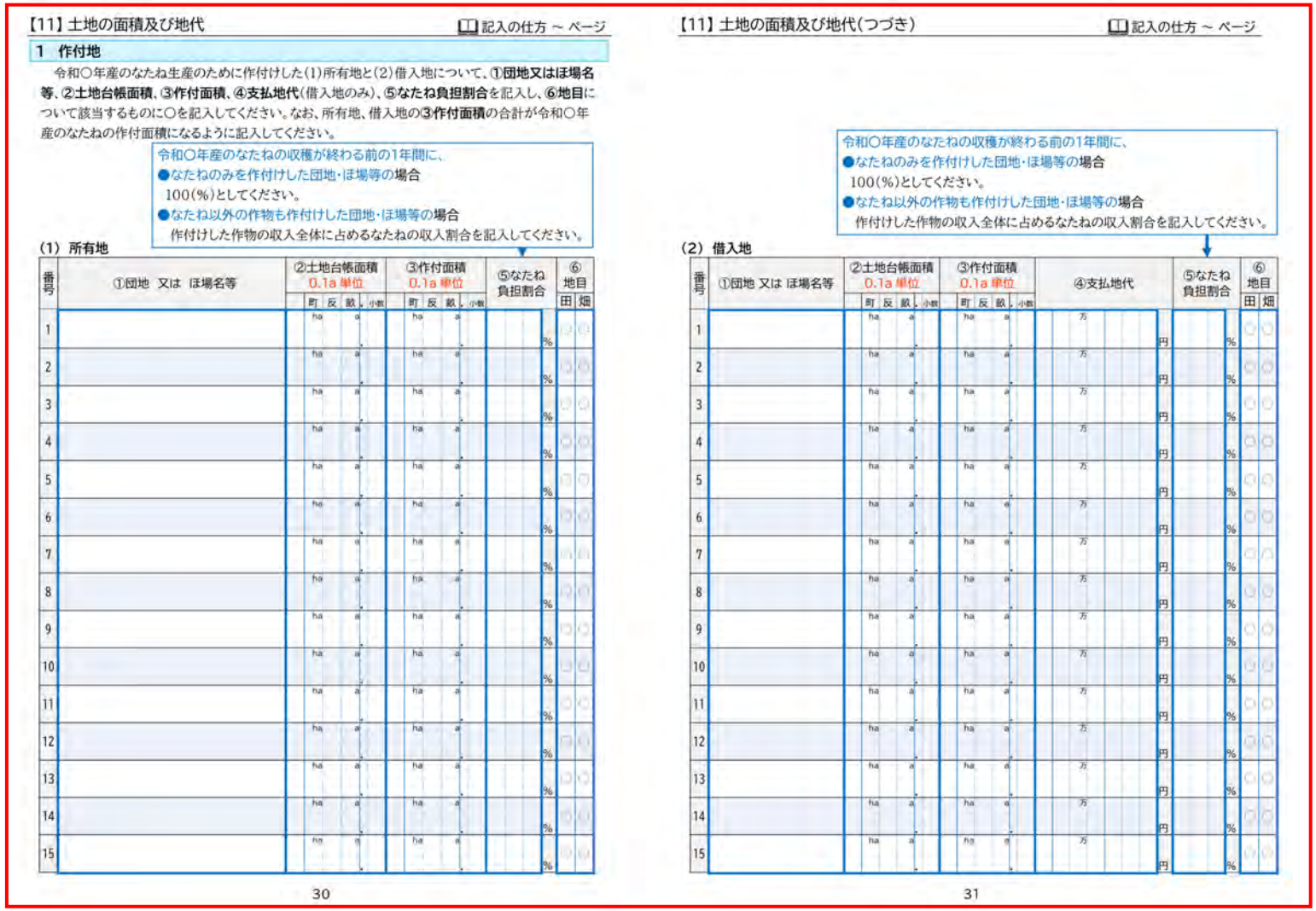
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ（変更前10ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前11ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前13ページと対比） ①		記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記 ①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更



【11】土地の面積及び地代　　記入の仕方 ～ ページ

1　作付地

令和〇年産のなたね生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤なたね負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のなたねの作付面積になるように記入してください。

令和〇年産のなたねの収穫が終わる前の1年間に、
●なたねのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●なたね以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるなたねの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤なたね負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	%		
2		ha a	ha a	%		
3		ha a	ha a	%		
4		ha a	ha a	%		
5		ha a	ha a	%		
6		ha a	ha a	%		
7		ha a	ha a	%		
8		ha a	ha a	%		
9		ha a	ha a	%		
10		ha a	ha a	%		
11		ha a	ha a	%		
12		ha a	ha a	%		
13		ha a	ha a	%		
14		ha a	ha a	%		
15		ha a	ha a	%		

30

【11】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

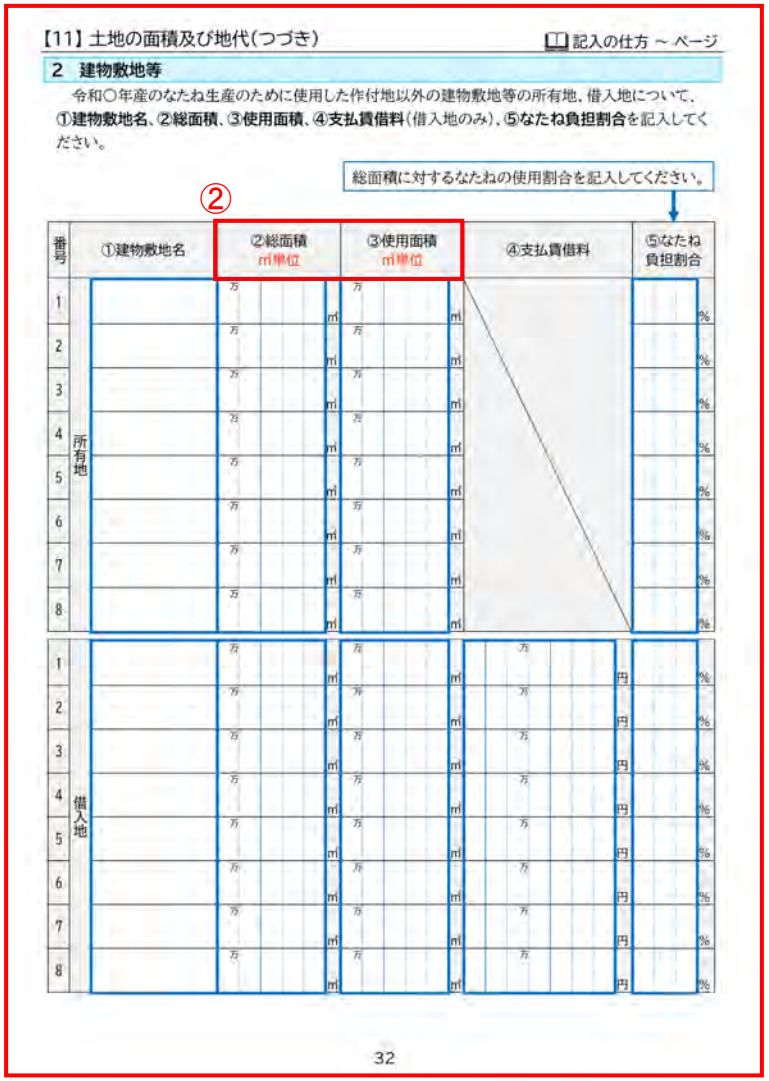
令和〇年産のなたねの収穫が終わる前の1年間に、
●なたねのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●なたね以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるなたねの収入割合を記入してください。

(2) 借入地

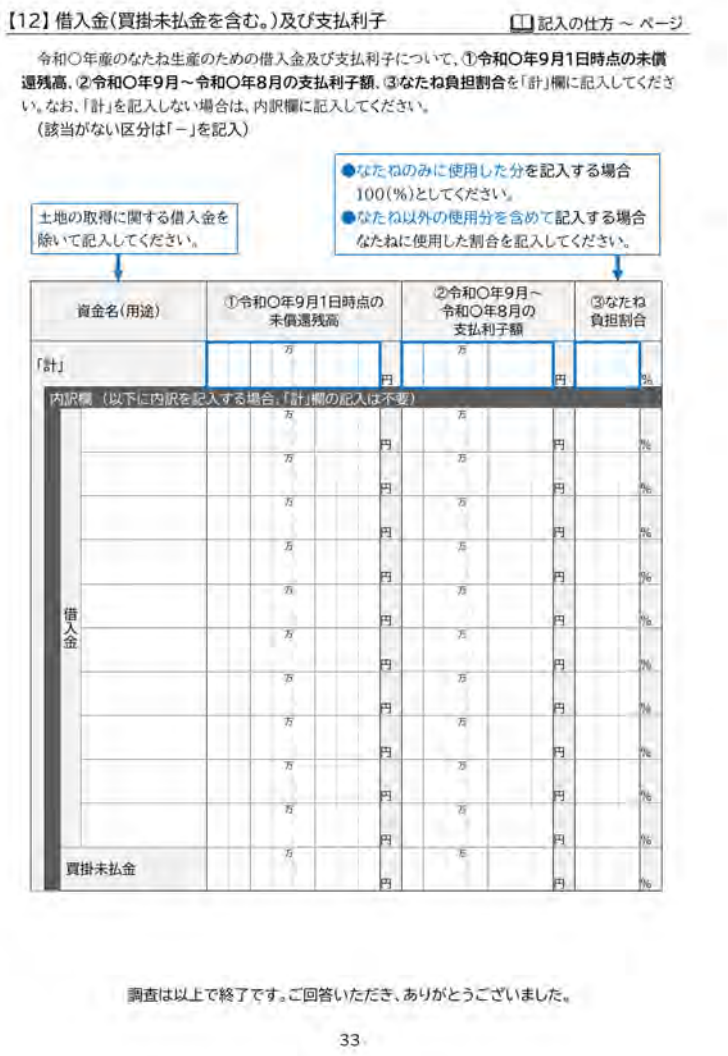
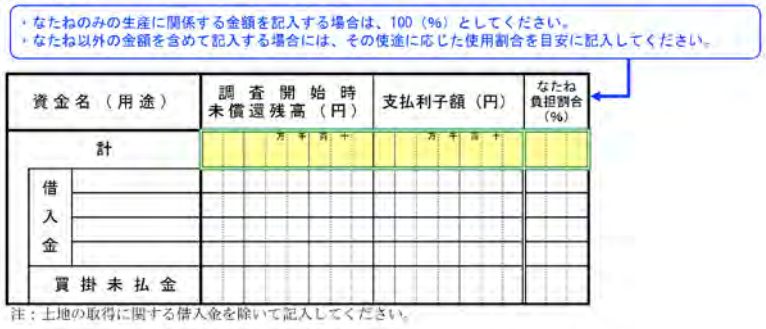
番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤なたね負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	万 円	%		
2		ha a	ha a	万 円	%		
3		ha a	ha a	万 円	%		
4		ha a	ha a	万 円	%		
5		ha a	ha a	万 円	%		
6		ha a	ha a	万 円	%		
7		ha a	ha a	万 円	%		
8		ha a	ha a	万 円	%		
9		ha a	ha a	万 円	%		
10		ha a	ha a	万 円	%		
11		ha a	ha a	万 円	%		
12		ha a	ha a	万 円	%		
13		ha a	ha a	万 円	%		
14		ha a	ha a	万 円	%		
15		ha a	ha a	万 円	%		

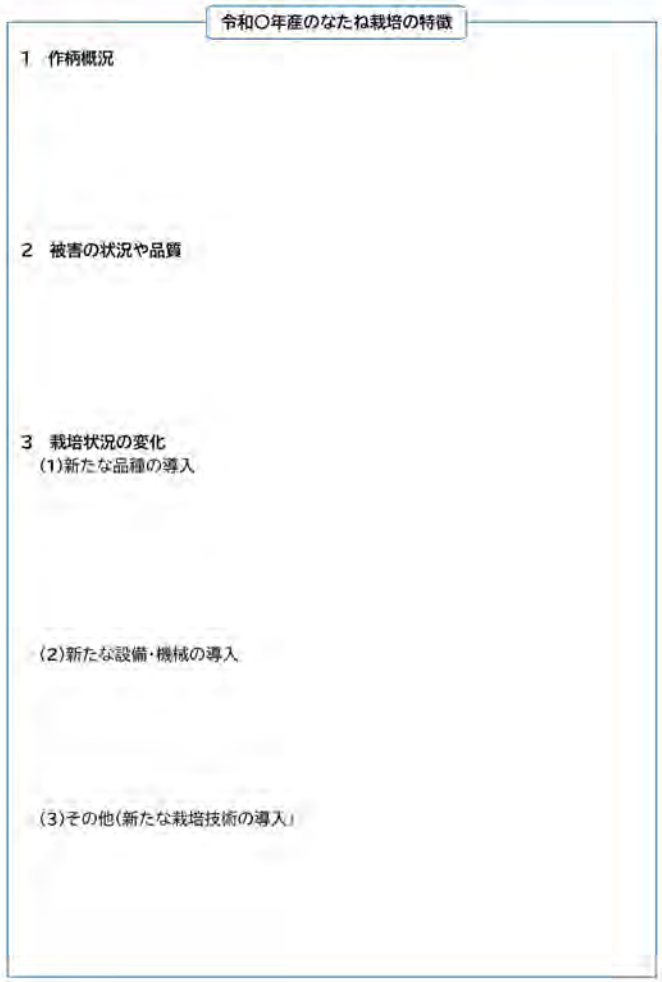
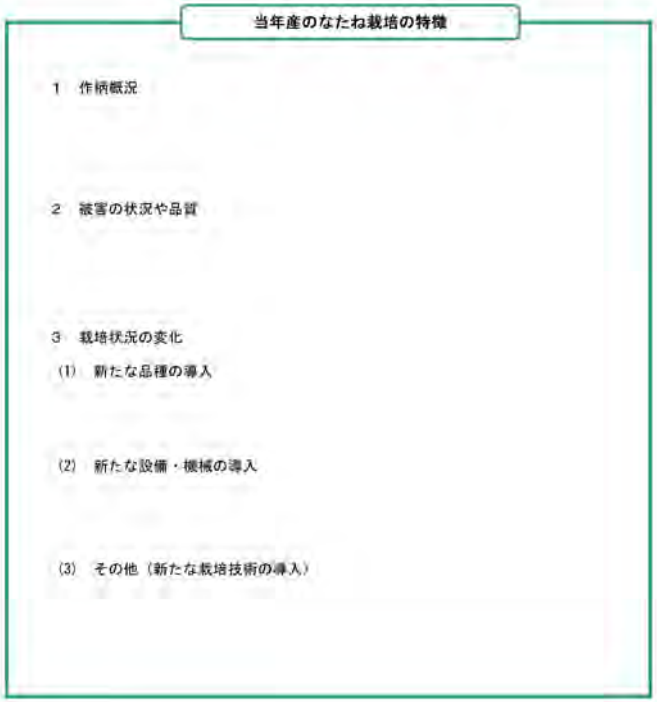
31

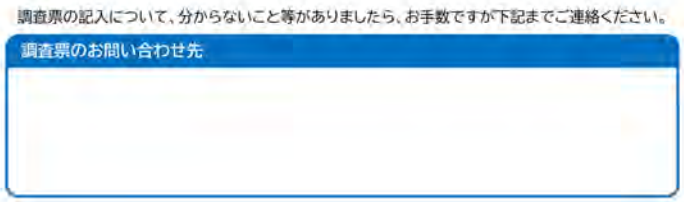
つづく

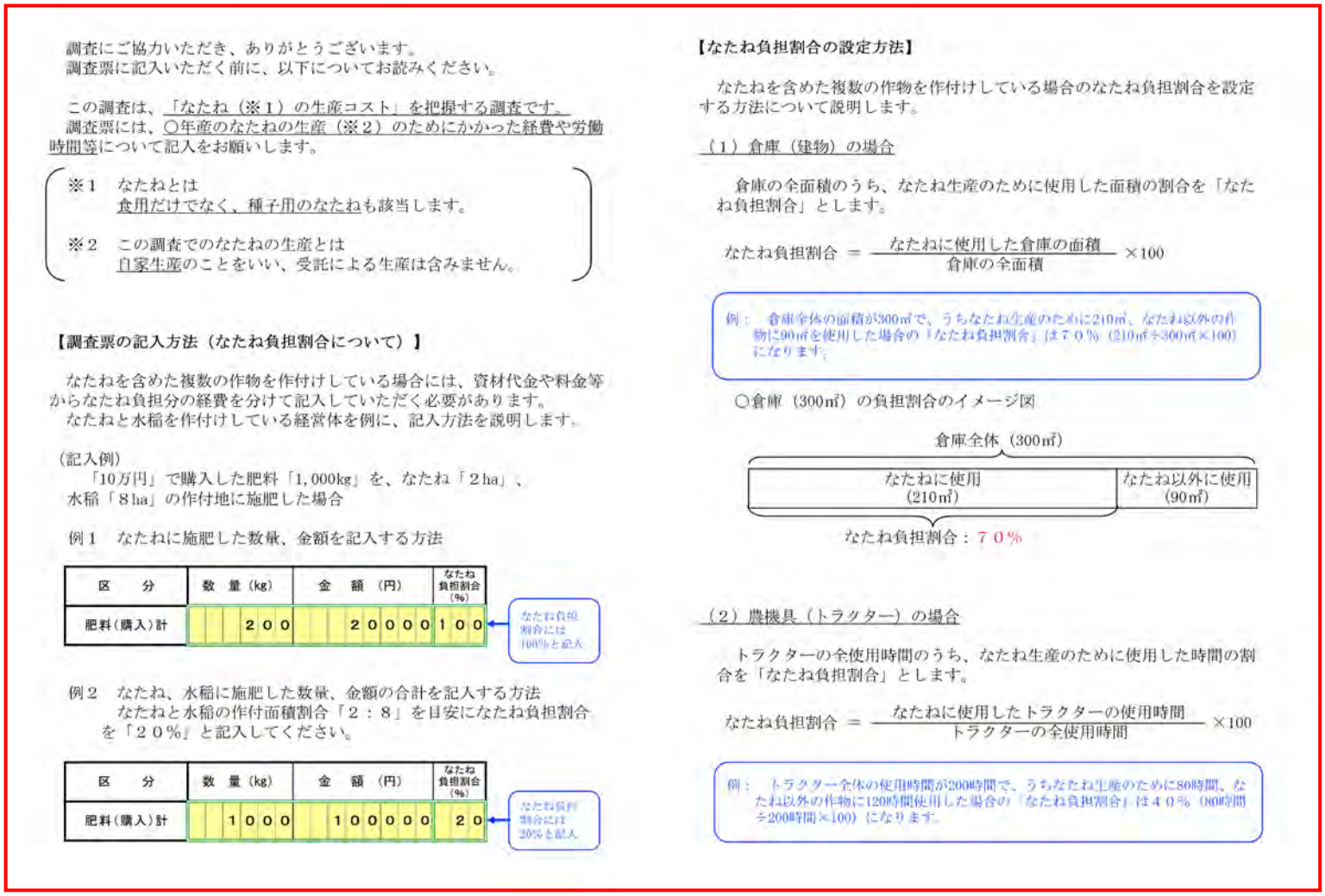
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32ページ（変更前13ページと対比） ①  【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 2　建物敷地等 令和○年産のなたね生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤なたね負担割合**を記入してください。 総面積に対するなたねの使用割合を記入してください。 ② 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤なたね負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 32 つづく		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
①  【11】土地の面積及び地代 当年産のなたねの収穫が終わる前の１年間に、 ・なたねのみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。 ・なたね以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、なたねとそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。 【例】A団地（ほ場）に米となたねを作付けており、過去１年間における作物別の収入が米400万円、なたね400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。 なたね400万円÷（米400万円＋なたね400万円）×100＝50（%） 1　所有地 (1)　作付地 当年産のなたね生産のために作付けした所有地について記入してください。 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。 番号 / 団地（ほ場）名 / 土地台帳面積（a） / 作付実面積（a） / なたね負担割合（%） / 地目 田 畑 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。 2　借入地 (1)　作付地 当年産のなたね生産のために作付けした借入地について記入してください。 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。 番号 / 団地（ほ場）名 / 土地台帳面積（a） / 作付実面積（a） / 支払地代（円） / なたね負担割合（%） / 地目 田 畑 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。 当年産のなたねの収穫が終わる前の１年間に、 ・なたねのみに使用した場合は、100（%）としてください。 ・なたね以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。 (2)　建物敷地等 当年産のなたね生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。 番号 / 使用地名 / ② 総面積（a） / 使用面積（a） / なたね負担割合（%） 1 2 3 (2)　建物敷地等 当年産のなたね生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。 番号 / 使用地名 / ② 総面積（a） / 使用面積（a） / 支払賃借料（円） / なたね負担割合（%） 1 2 3	13ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
33ページ 	8ページ 	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ  	5ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。 調査票のお問い合わせ先	1ページ  農業経営統計調査 ○年産　なたね生産費統計調査票 （個別経営体用）	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ 	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「なたね（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のなたねの生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　なたねとは
食用だけでなく、種子用のなたねも該当します。

※２　この調査でのなたねの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（なたね負担割合について）】

なたねを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からなたね負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
なたねと水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、なたね「２ha」、水稲「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　なたねに施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	なたね負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

なたね負担割合には100%と記入

例２　なたね、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
なたねと水稲の作付面積割合「２：８」を目安になたね負担割合を「２０％」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	なたね負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

なたね負担割合には20%と記入

【なたね負担割合の設定方法】

なたねを含めた複数の作物を作付けしている場合のなたね負担割合を設定する方法について説明します。

（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、なたね生産のために使用した面積の割合を「なたね負担割合」とします。

$$\text{なたね負担割合} = \frac{\text{なたねに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うちなたね生産のために210㎡、なたね以外の作物に90㎡を使用した場合の「なたね負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

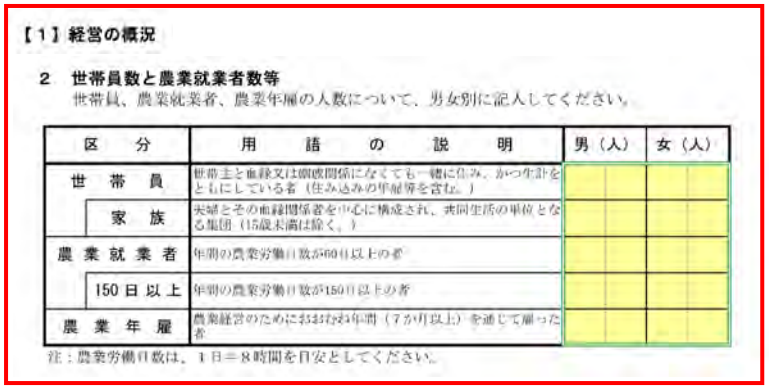
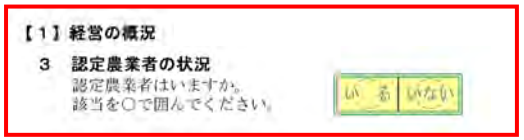
○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図

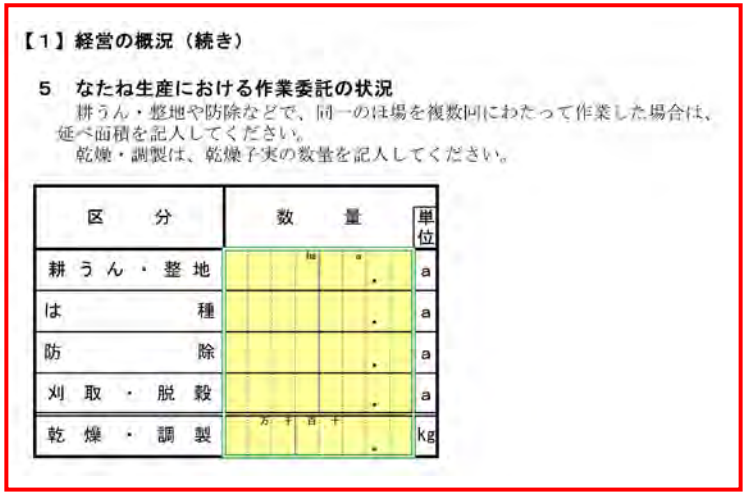
（２）農機具（トラクター）の場合

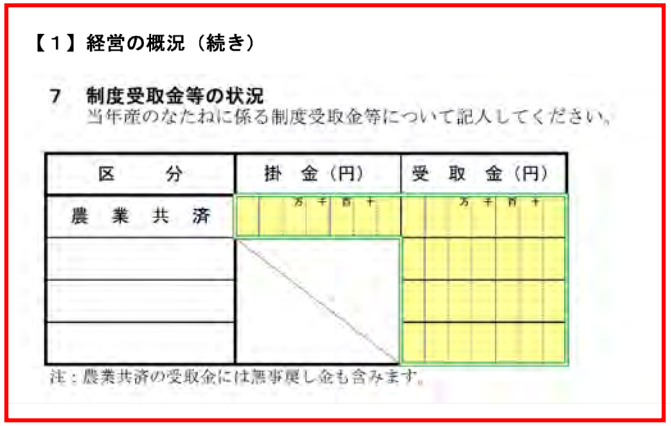
トラクターの全使用時間のうち、なたね生産のために使用した時間の割合を「なたね負担割合」とします。

$$\text{なたね負担割合} = \frac{\text{なたねに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うちなたね生産のために80時間、なたね以外の作物に120時間使用した場合の「なたね負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

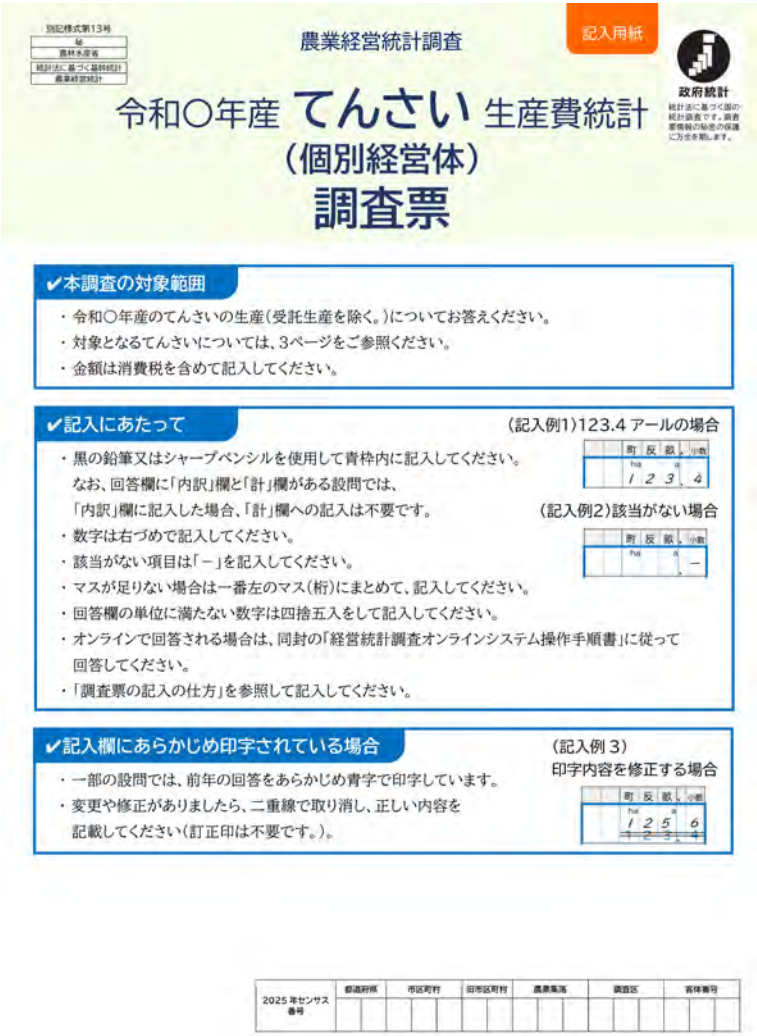
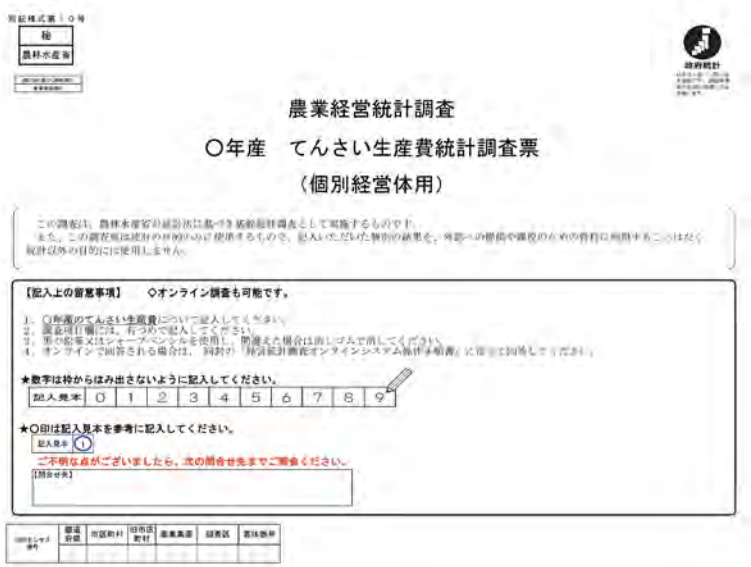
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普通畑 樹園地 牧草地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。 区　分 / 用語の説明 / 男（人） / 女（人） 世帯員 家族 農業就業者 150日以上 農業年雇 注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる / いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ５　なたね生産における作業委託の状況 耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。 乾燥・調製は、乾燥子実の数量を記入してください。 区分 / 数量 / 単位 耕うん・整地 / a は種 / a 防除 / a 刈取・脱穀 / a 乾燥・調製 / kg	なたね生産における作業委託の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ６　なたねの品種別作付面積 当年産に作付けしたなたねの品種名及びその作付面積を記入してください。 区分 / 品種名 / 面積（a） 品種１ 品種２ 品種３ 品種４ 品種５ 注：　面積の合計が当年産のなたね作付面積です。	なたね（うるち米）の品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

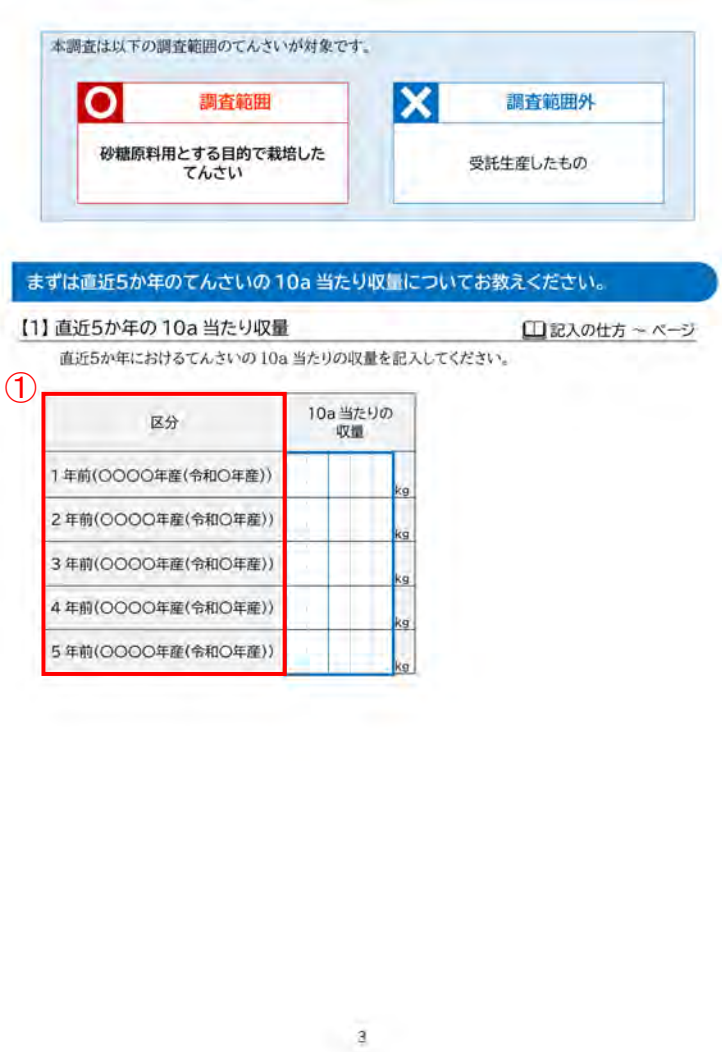
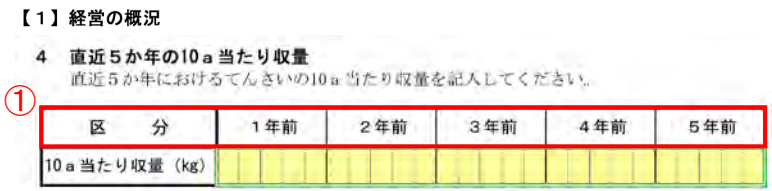
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ７　制度受取金等の状況 当年産のなたねに係る制度受取金等について記入してください。 区　分 / 掛　金（円） / 受　取　金（円） 農　業　共　済 注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。	制度受取金等の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	５ページ  通　信　欄	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除

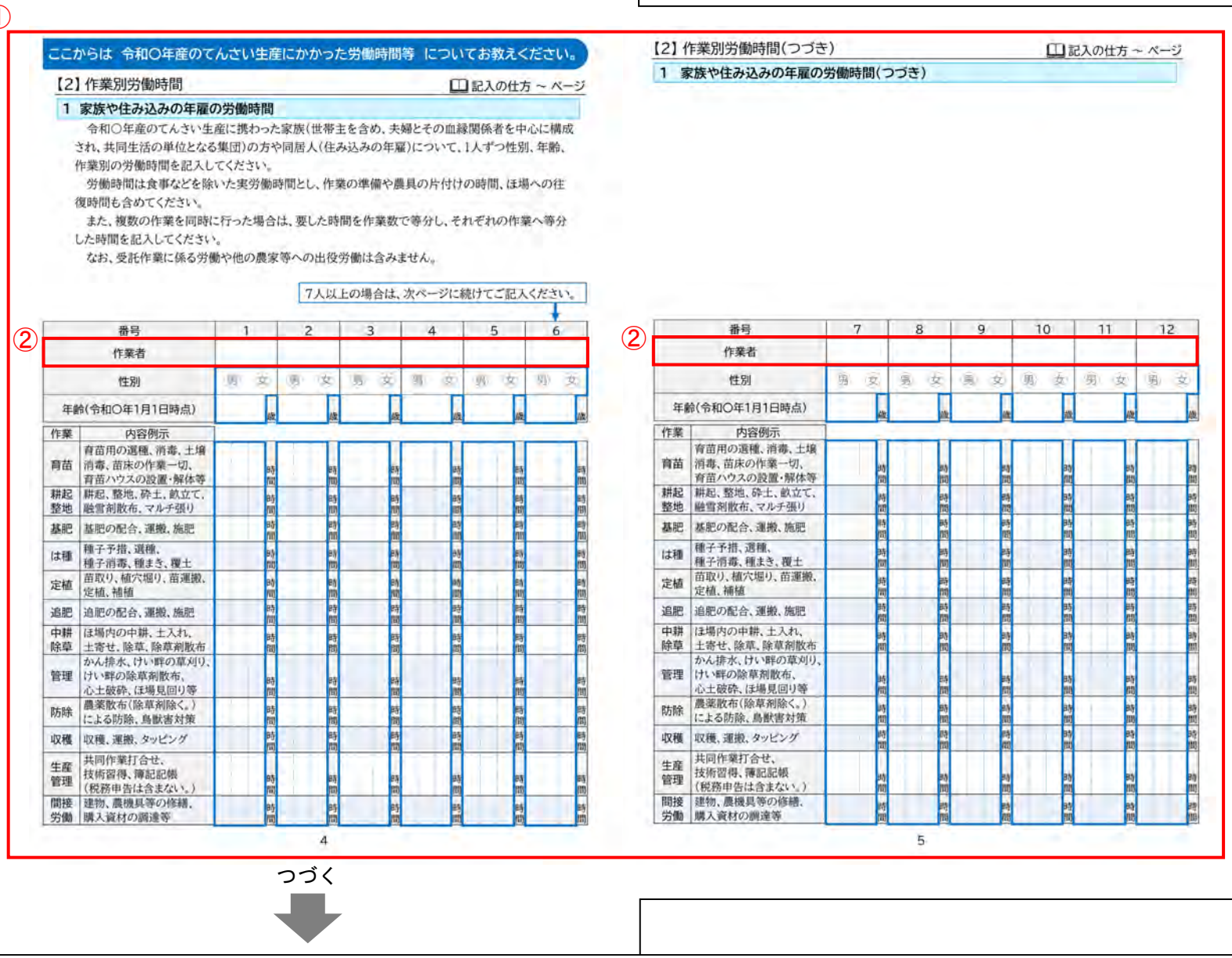
農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　農産物生産費統計（てんさい（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第13号 １ページ  	別記様式第10号 １ページ  	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 ① 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……9 【4】てんさい生産のために使用した資材等 ……11 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……22 【6】物件税及び公課諸負担 ……24 【7】土地改良及び水利費 ……26 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……28 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……30 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……32 【11】土地の面積及び地代 ……34 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……37	３ページ 調　査　事　項 ページ ① 【１】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、てんさいの作付品種等について記入してください。 【２】 生産物の販売等の状況 …… 4 てんさいの用途別の販売状況について記入してください。 【３】 てんさいの生産のために使用した資材等 …… 5 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料等の賃借料・料金等について記入してください。 【４】 物件税及び公課諸負担 …… 8 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【５】 土地改良及び水利費 …… 8 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。 【６】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8 借入金残高、支払利子について記入してください。 【７】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【８】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【９】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 13 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 14 家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は36～37ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  	３ページ  	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更（以下同じ） 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化（以下同じ） 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更（以下同じ） 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、てんさいの調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ（変更前14ページと対比） 		①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 家族労働時間」と「2 雇用労働時間」を統合して設定していた設問を「1 家族や住み込みの年雇の労働時間」、「2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）」、「3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間」に設問を分離 ②氏名に限定せず、作業者を特定可能な記入欄へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～８ページ（変更前14ページと対比）		①同上 ③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、住み込みの年雇以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人の有無を確認する設問を追加 ⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

①

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

③ (1) 令和○年産のてんさい生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	1	→ 8ページへ
雇用している人がいる	2	→ (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。) 令和○年産のてんさい生産における雇用者（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り等	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間
収穫	収穫、運搬、タッピング	時間	時間
⑤ 生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の搬運等	時間	時間

(3) 令和○年産のてんさい生産のために雇用者（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、①賃金、②てんさい負担割合を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●てんさいのみの支払分を記入する場合 100(%)としてください。
●てんさい以外の支払分を含めて記入する場合 てんさい分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②てんさい負担割合
男性	万 円	%
女性	万 円	%

つづく

④

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和○年産のてんさい生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	てんさい生産に係る作業で労働交換を受けた場合	1	2
共同作業受け	てんさい生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	1	2
手伝い受け	てんさい生産に係る作業で手伝いを受けた場合	1	2

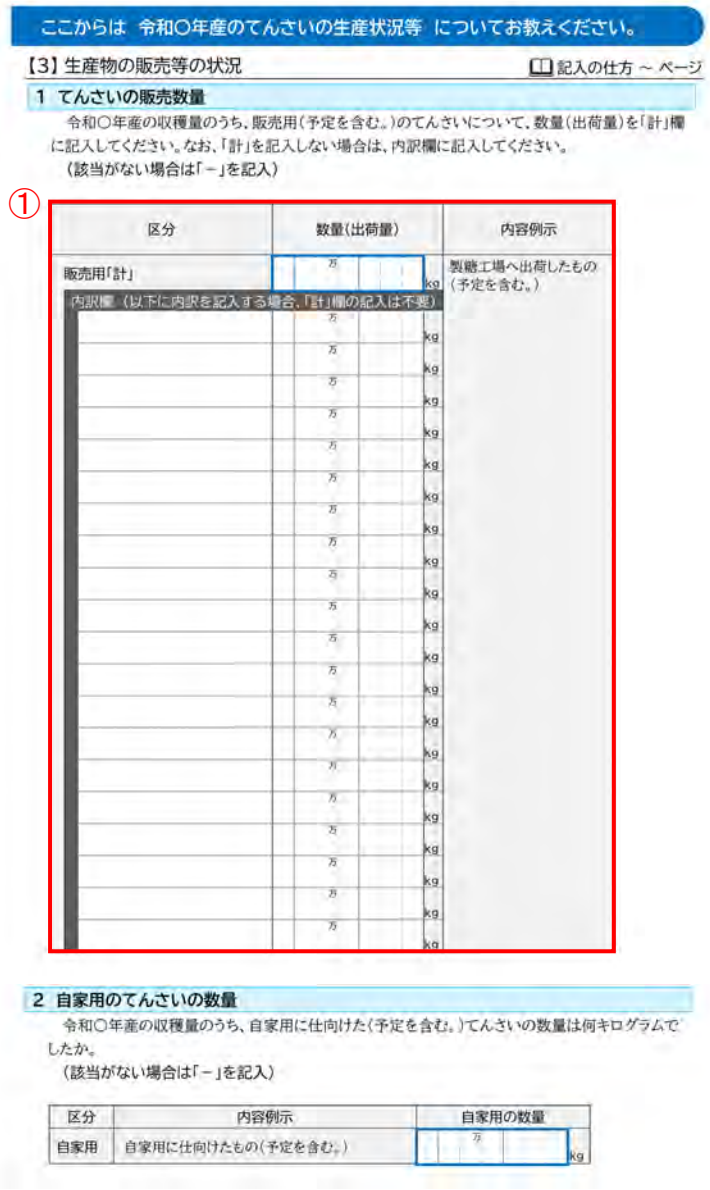
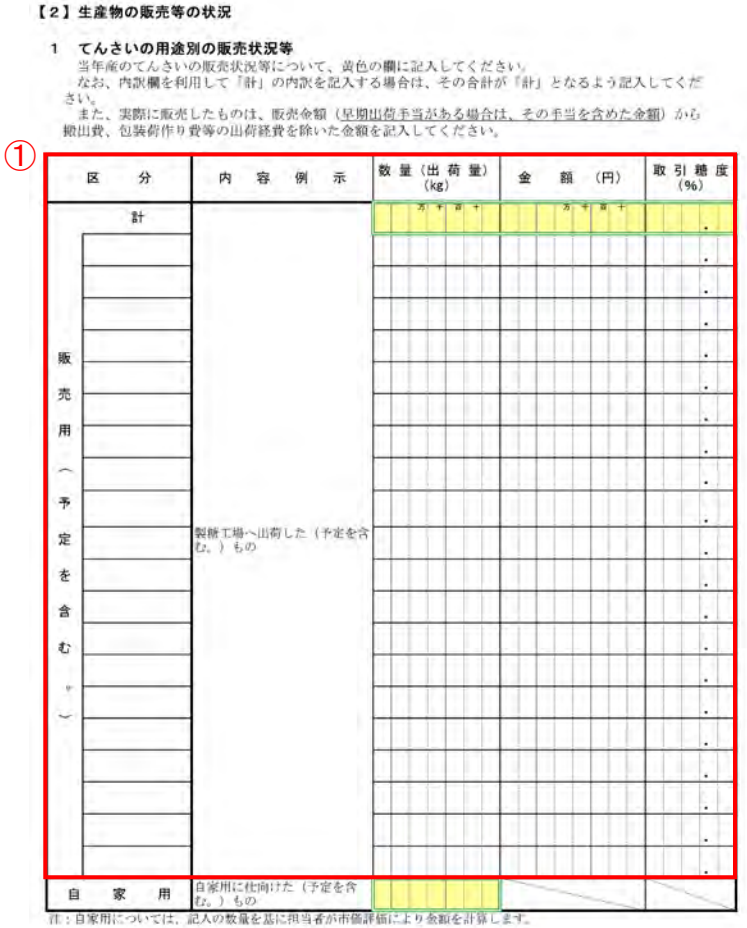
1つでも「いる」に○…(2)へ　すべて「いない」に○…次ページへ

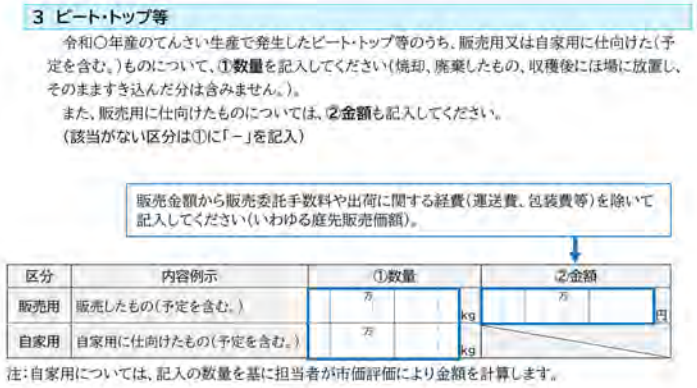
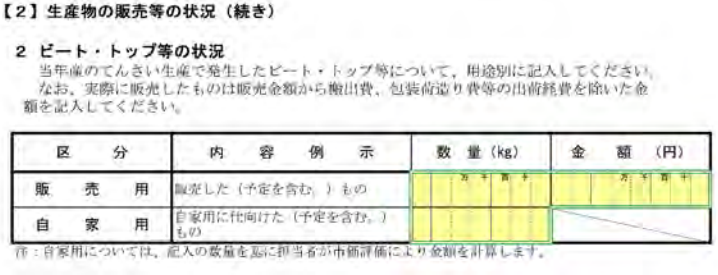
(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産のてんさい生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

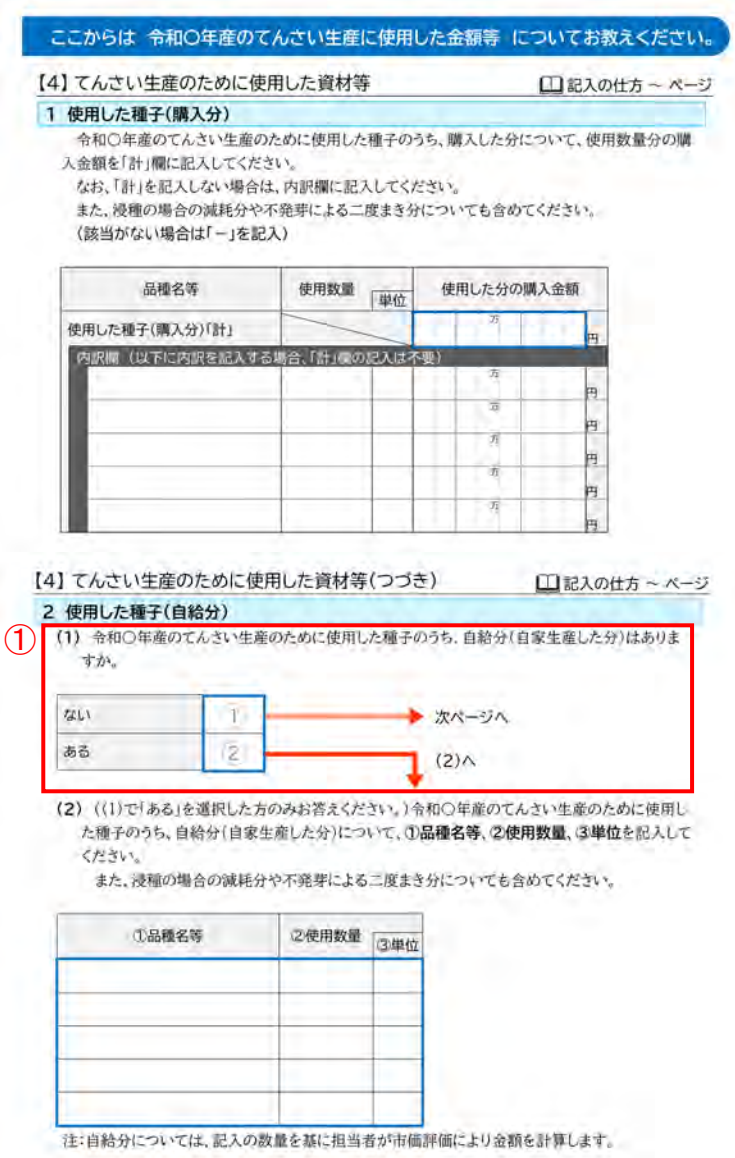
区分	ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業 / 内容例示						
育苗 育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地 耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥 基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種 種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植 苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥 追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草 ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理 かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除 農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫 収穫、運搬、タッピング	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働 建物、農機具等の修繕、購入資材の搬運等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

8

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① ② 【12】作業別労働時間 当年産のてんさい生産における作業時間について記入してください。 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間や圃場への往復時間も含めてください。 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。 1　家族労働時間 人別・作業別に労働時間を記入してください。 2　雇用労働時間 雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。 作業種類 / 内容例示 / 氏名 / 性別（男・女） / （年齢）歳 / 雇用労働時間 男 / 雇用労働時間 女 育苗：育苗用の運搬、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体及びそれに伴う除雪等 耕起整地：耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り 基肥：基肥の配合、運搬、施肥 は種：種子予措、選種、種子消毒、播き、覆土 定植：苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植 追肥：追肥の配合、運搬、施肥 中耕除草：ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布 管理：かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、育苗ハウス後に行う除雪作業、ほ場見回り 防除：農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策 収穫：収穫、運搬、タッピング 生産管理：共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。） 間接労働：建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等 3　支払賃金 当年産のてんさい生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。 区分 / 支払賃金（円）（万 千 百 十） / てんさい負担割合（%） 男 女 ・てんさい生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。 ・てんさい生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。	14ページ	①同上 ②同上

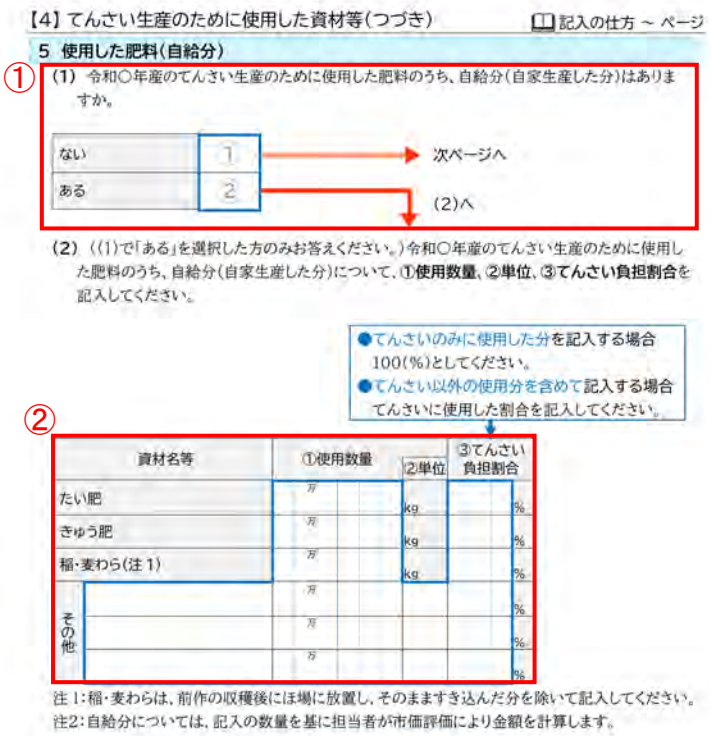
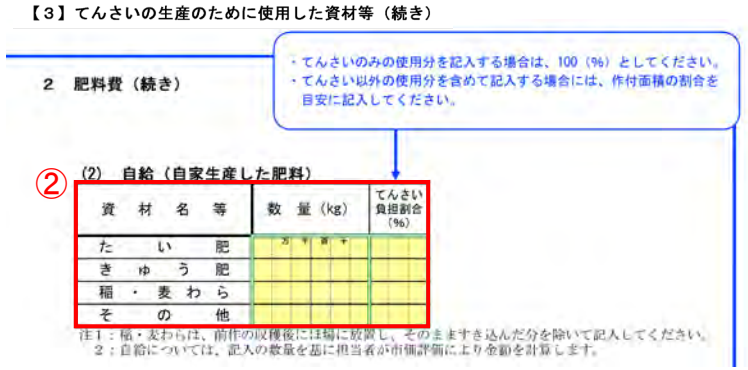
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９～10ページ 	４ページ 	報告者が記入しやすいよう、自家用のてんさいの数量に関する設問を分離 ①てんさいの用途別の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため「金額（円）」及び「取引糖度（%）」を削除し、「数量（出荷量）」のみを把握するよう変更

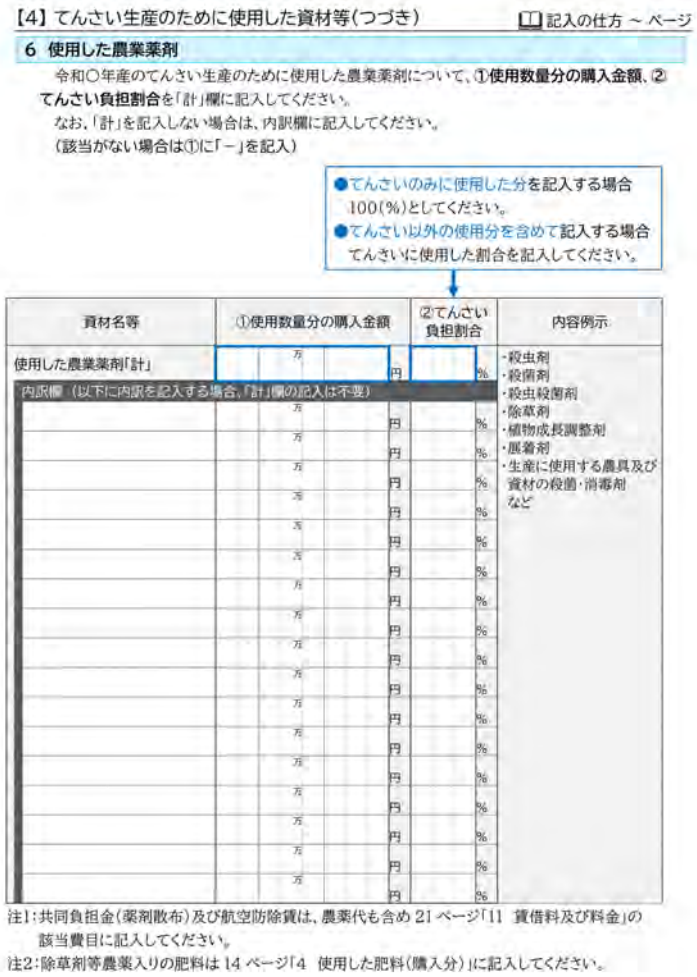
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ 	５ページ 	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11～12ページ  ここからは　令和〇年産のてんさい生産に使用した金額等　についてお教えください。 【4】てんさい生産のために使用した資材等　記入の仕方 ～ ページ 1 使用した種子(購入分) 令和〇年産のてんさい生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。 (該当がない場合は「－」を記入) 品種名等 / 使用数量 / 単位 / 使用した分の購入金額 使用した種子(購入分)「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 【4】てんさい生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 2 使用した種子(自給分) ① (1) 令和〇年産のてんさい生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない 1 → 次ページへ ある 2 → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のてんさい生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、①品種名等、②使用数量、③単位を記入してください。 また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。 ①品種名等 / ②使用数量 / ③単位 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	5ページ  【3】てんさいの生産のために使用した資材等 1 種苗費 当年産のてんさい生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 (1) 種子（購入） 品種名等 / 数量 / 単位 / 金額（円） 計 (2) 種子（自給） 品種名等 / 数量 / 単位 使用した種子の品種名と数量を記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子(自給分)の有無を確認する設問を追加

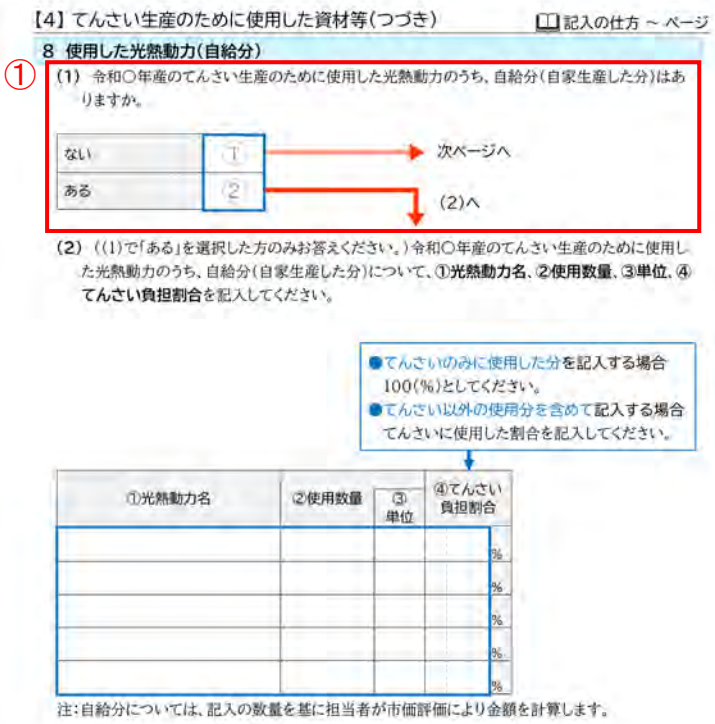
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ 【4】てんさい生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 3 使用した苗(購入分) 令和〇年産のてんさい生産のために使用した苗のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は「－」を記入) 品種名等 / 使用数量 単位 / 使用数量分の購入金額 使用した苗(購入分)「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 注：は種済みポットについては、こちらに記入してください。 13	５ページ 【３】てんさいの生産のために使用した資材等 １　種苗費 (3)　苗（購入） 品　種　名　等 / 数　量 / 単位 / 金　額　（　円　） 計 注：は種済みポットについては、こちらに記入してください。	

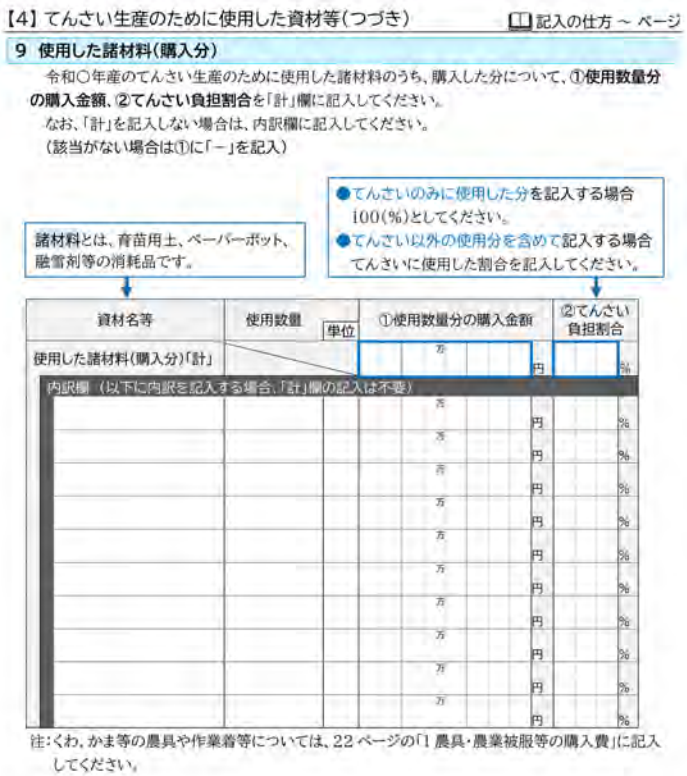
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ 	6ページ 	肥料費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

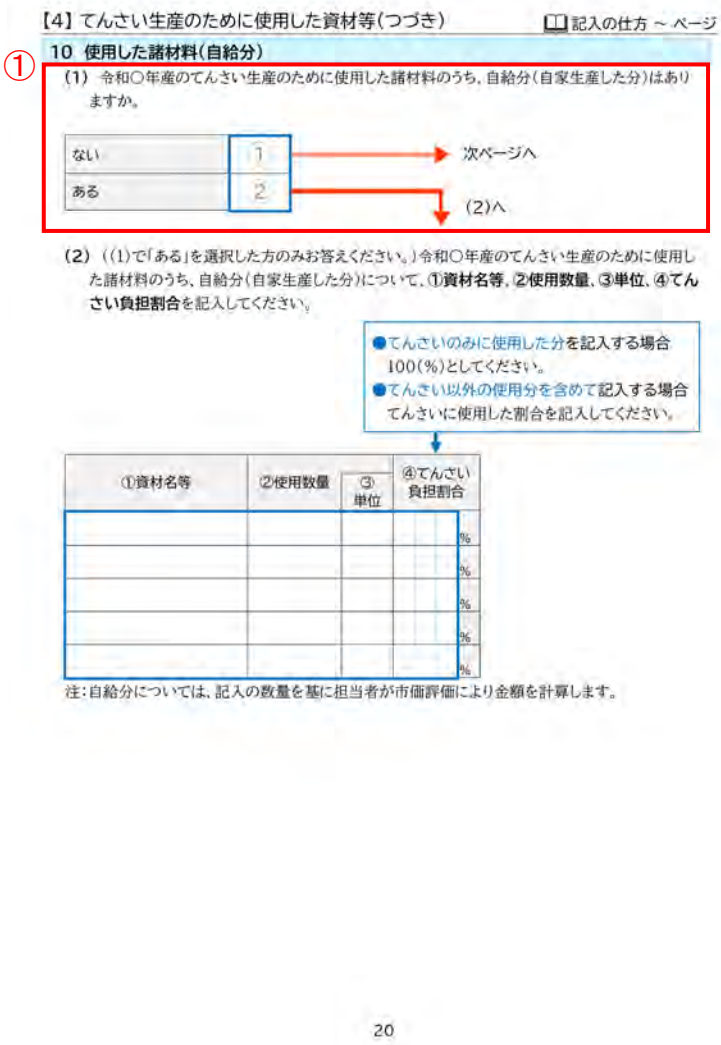
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ 	6ページ 	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ 	6ページ 	農業薬剤費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

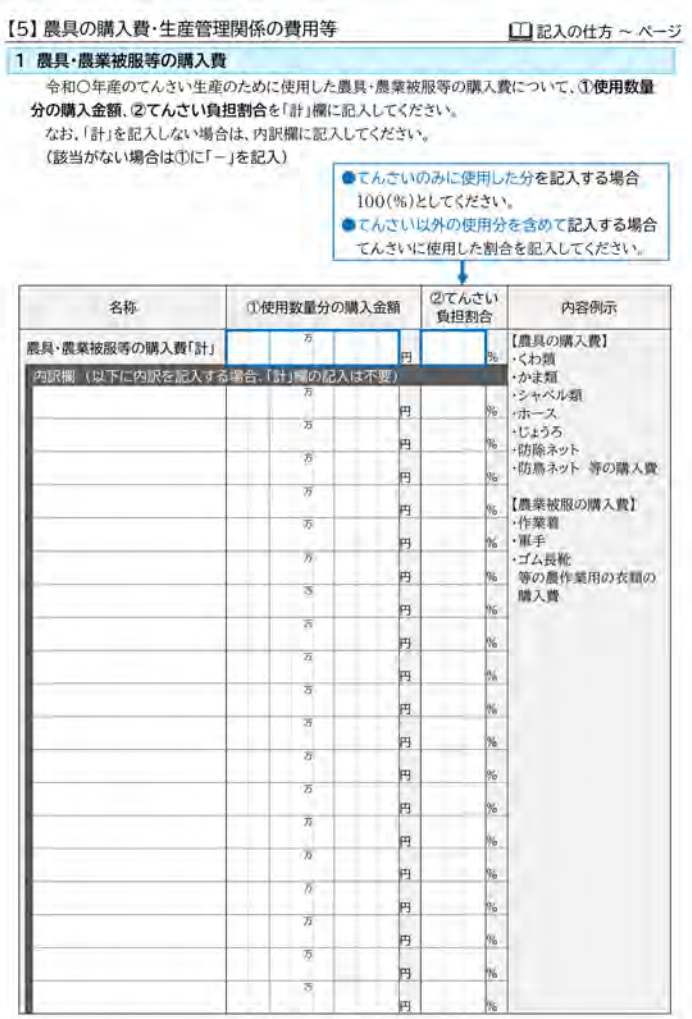
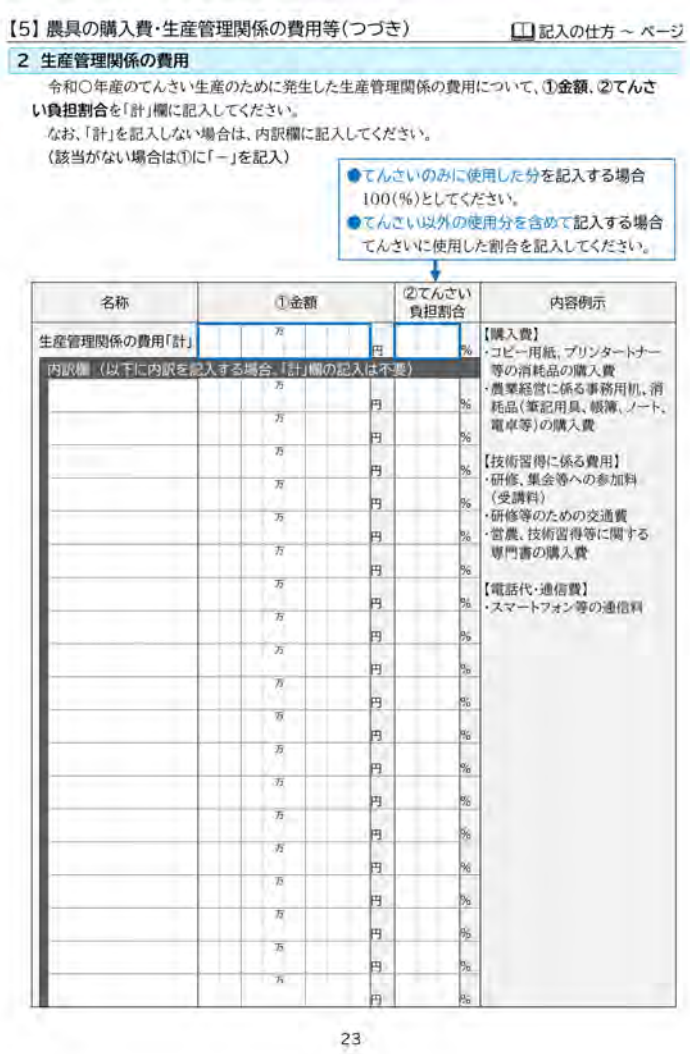
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ  【4】てんさい生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 7 使用した光熱動力(購入分) 令和〇年産のてんさい生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、①使用数量分の購入金額、②てんさい負担割合を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●てんさいのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合 てんさいに使用した割合を記入してください。 区分 / 使用数量 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②てんさい負担割合 使用した光熱動力(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 動力燃料: 重油 / 軽油 / 灯油 / ガソリン / 潤滑油 / 混合油 電力料 その他(水道料、木炭などの燃料) 17 つづく	7 ページ  【3】てんさいの生産のために使用した資材等（続き） 4 光熱動力費 当年産のてんさい生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 資材名等 / 数量 / 単位 / 金額（円） / てんさい負担割合(%) 購入（計） 動力燃料: 重油 / 軽油 / 灯油 / ガソリン / 潤滑油 / 混合油 電力料 その他（水道料、木炭などの燃料） 自給 ・てんさいのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・てんさい以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。 使用した自給の資材名と数量を記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ（変更前７ページと対比）  【4】てんさい生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 8 使用した光熱動力(自給分) ① (1) 令和〇年産のてんさい生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のてんさい生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④てんさい負担割合**を記入してください。 ●てんさいのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合 てんさいに使用した割合を記入してください。 ①光熱動力名 / ②使用数量 / ③単位 / ④てんさい負担割合 % 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 18		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ  【4】てんさい生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 9 使用した諸材料(購入分) 令和○年産のてんさい生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) 諸材料とは、育苗用土、ペーパーポット、融雪剤等の消耗品です。 ●てんさいのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合てんさいに使用した割合を記入してください。 資材名等 / 使用数量 / 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②てんさい負担割合 使用した諸材料(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 注:くわ、かま等の農具や作業着等については、22 ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。 19 つづく	7 ページ  【3】てんさいの生産のために使用した資材等（続き） 5 諸材料費 当年産のてんさい生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 資材名等 / 数量 / 単位 / 金額（円） / てんさい負担割合（%） 購入（計） 自給 ・てんさいのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・てんさい以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 使用した自給の資材名と数量を記入してください。 諸材料には、育苗用土、ペーパーポット、融雪剤等が入ります。	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

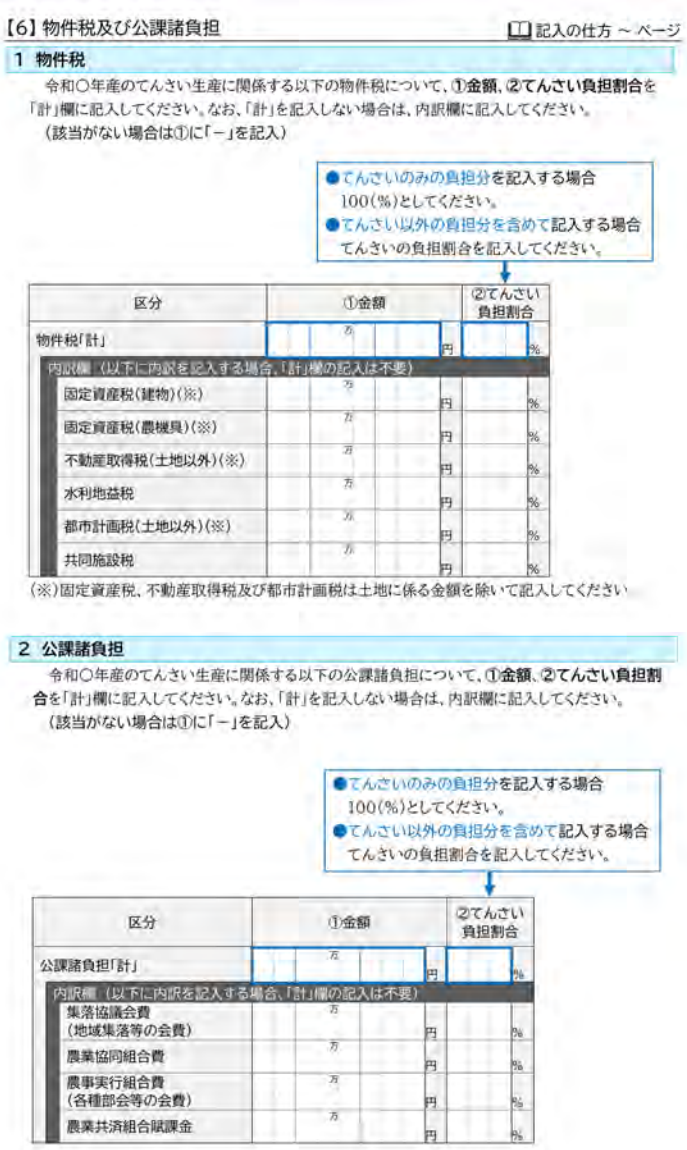
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ（変更前７ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21ページ 	7 ページ 	賃借料及び料金の内訳欄について、報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22～23ページ（変更前12ページと対比）  		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	12ページ	同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24～25ページ	8ページ	



【6】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ページ

1 物件税

令和〇年産のてんさい生産に関係する以下の物件税について、**①金額、②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●てんさいのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の負担分を含めて記入する場合
てんさいの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②てんさい負担割合
物件税「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税(建物)(※)	万 円	%
固定資産税(農機具)(※)	万 円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万 円	%
水利地益税	万 円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万 円	%
共同施設税	万 円	%

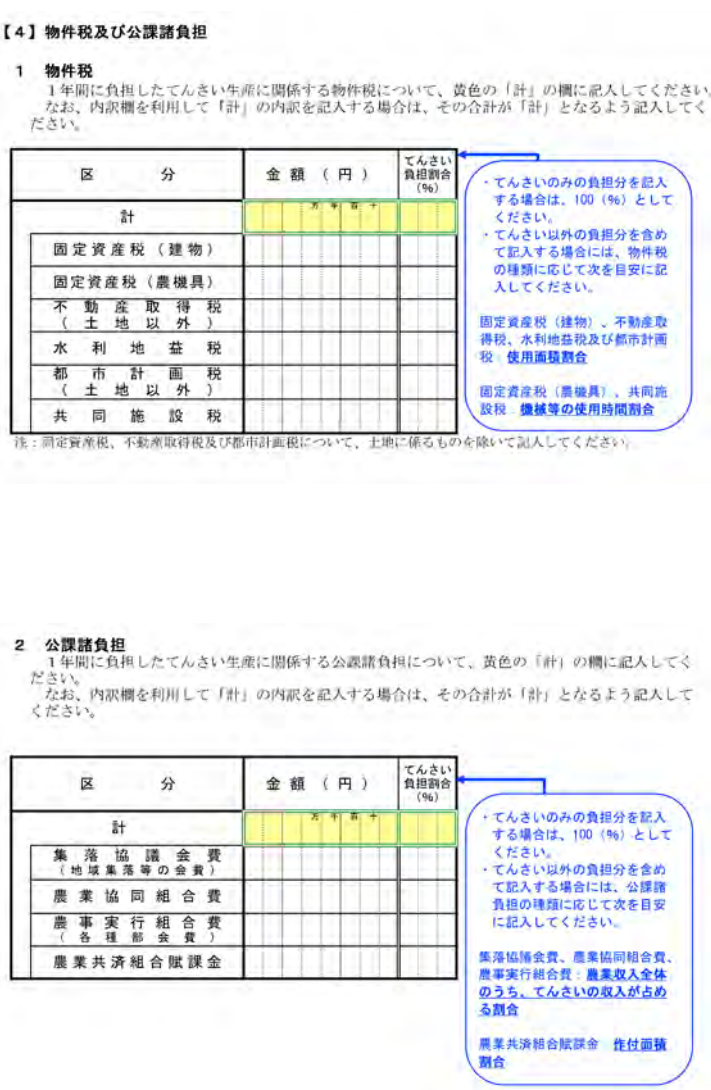
(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください

2 公課諸負担

令和〇年産のてんさい生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額、②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●てんさいのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の負担分を含めて記入する場合
てんさいの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②てんさい負担割合
公課諸負担「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費(地域集落等の会費)	万 円	%
農業協同組合費	万 円	%
農事実行組合費(各種部会等の会費)	万 円	%
農業共済組合賦課金	万 円	%



【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担したてんさい生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金額（円）	てんさい負担割合(%)
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

・てんさいのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担したてんさい生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

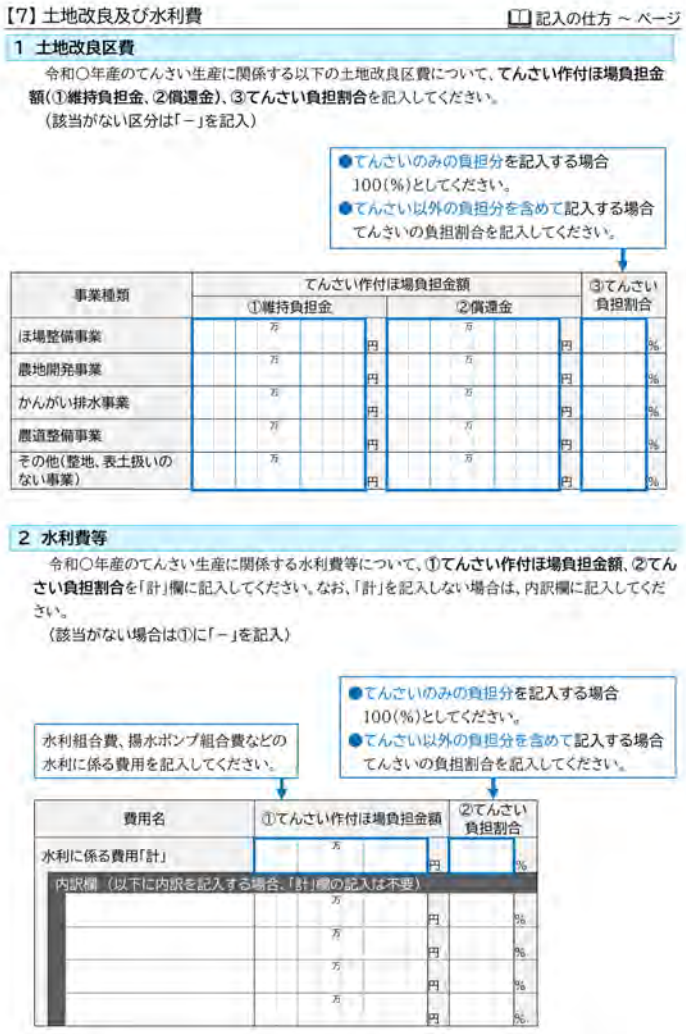
区　分	金額（円）	てんさい負担割合(%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・てんさいのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、てんさいの収入が占める割合**

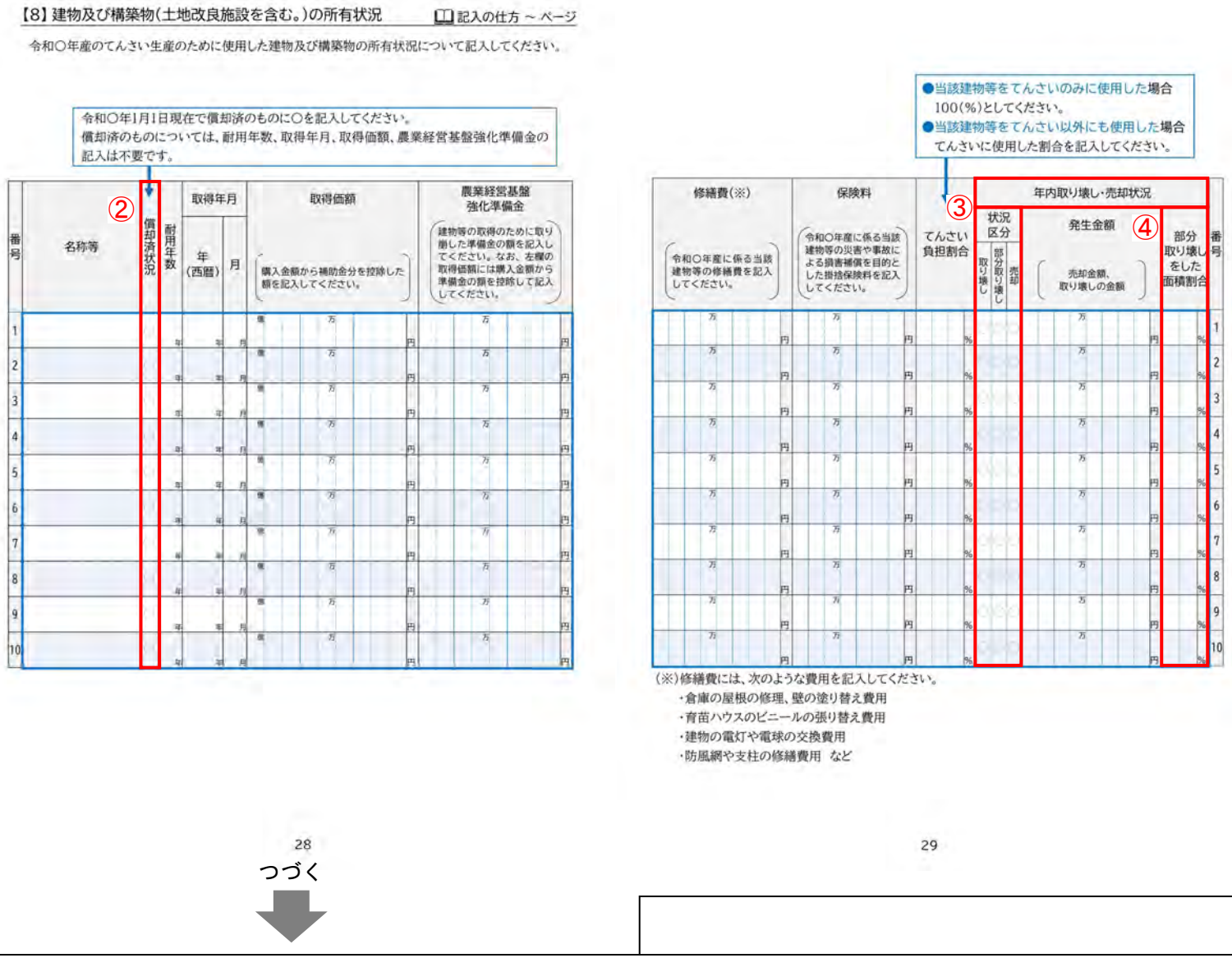
農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ	8ページ	

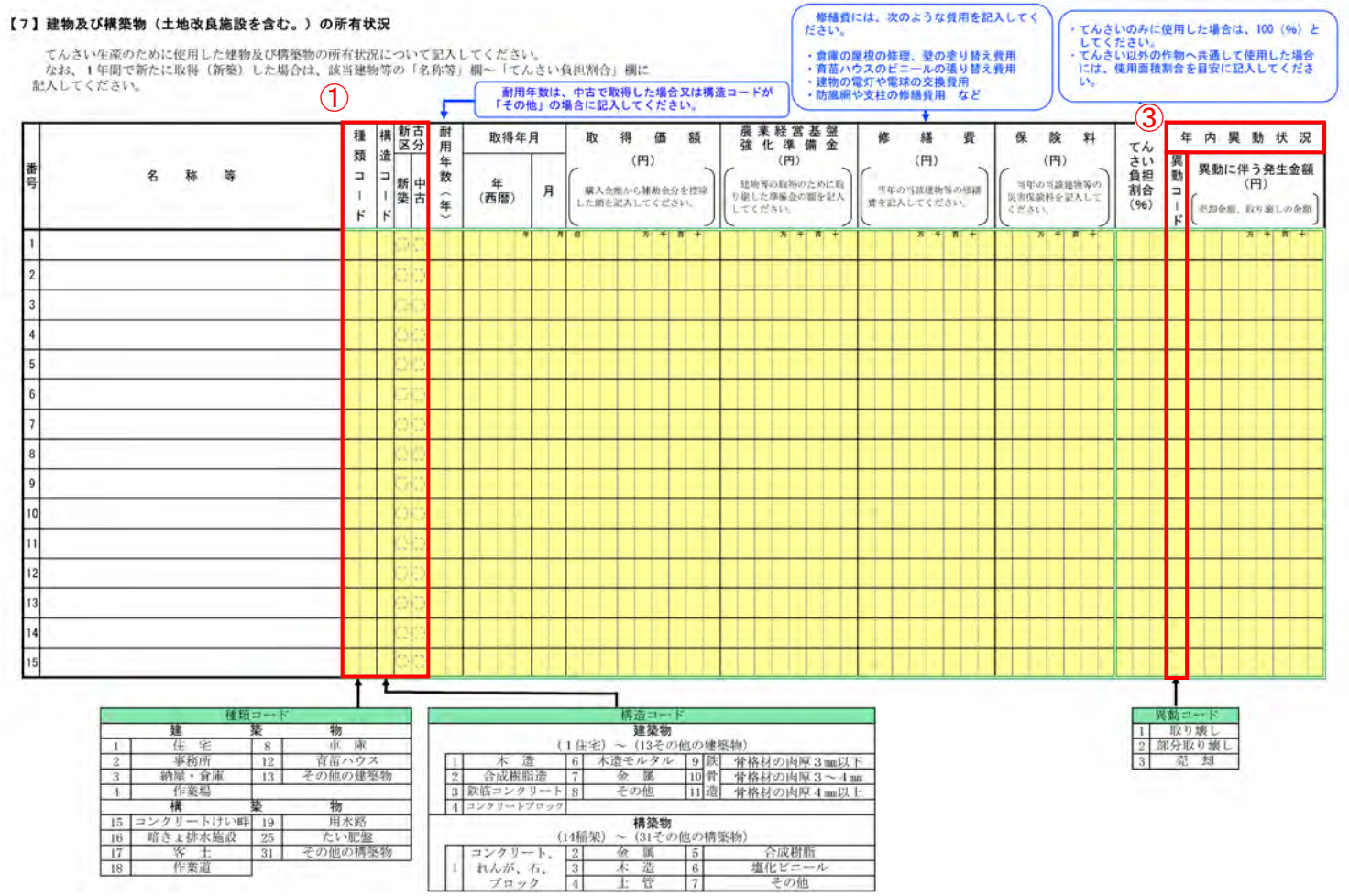


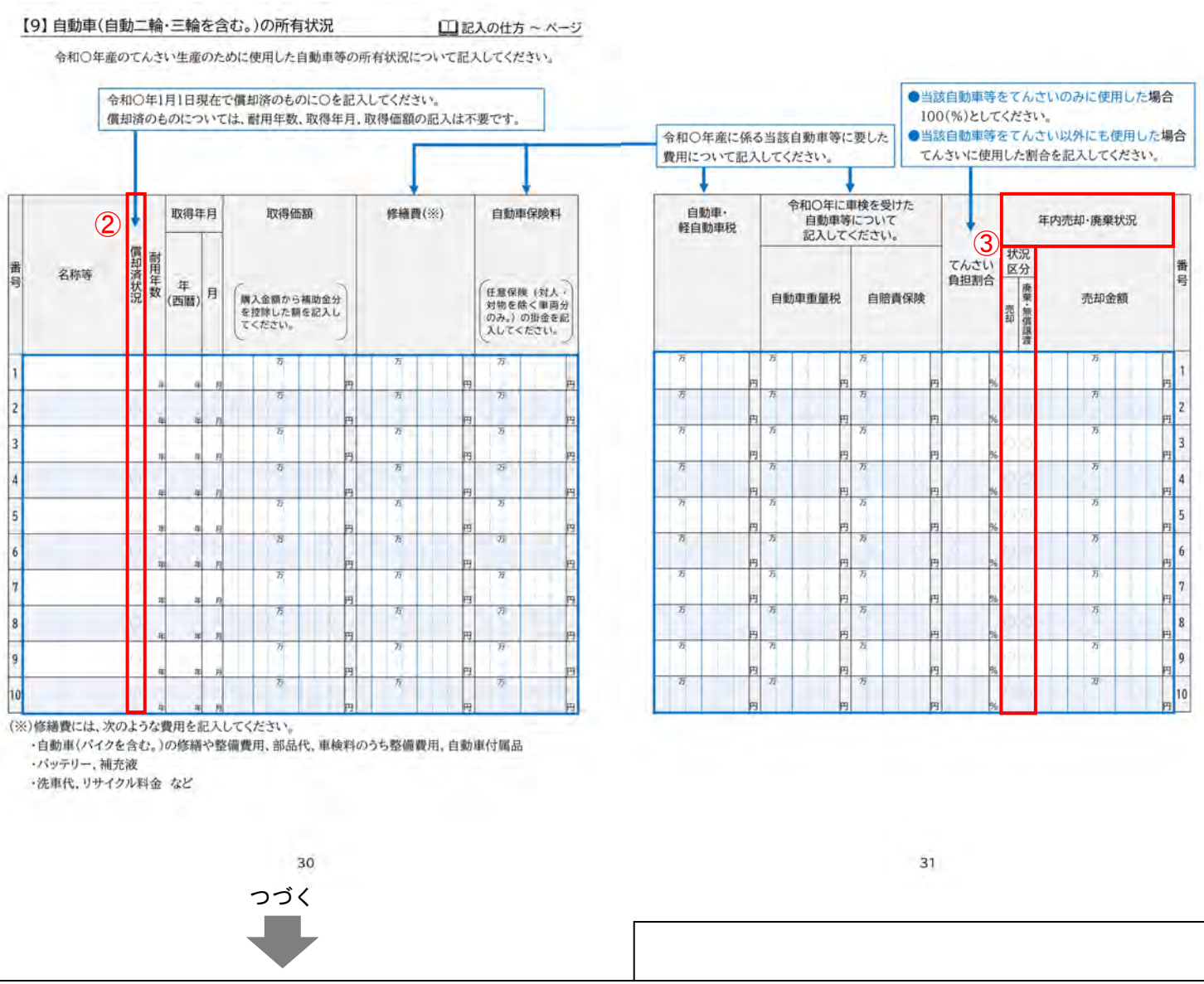


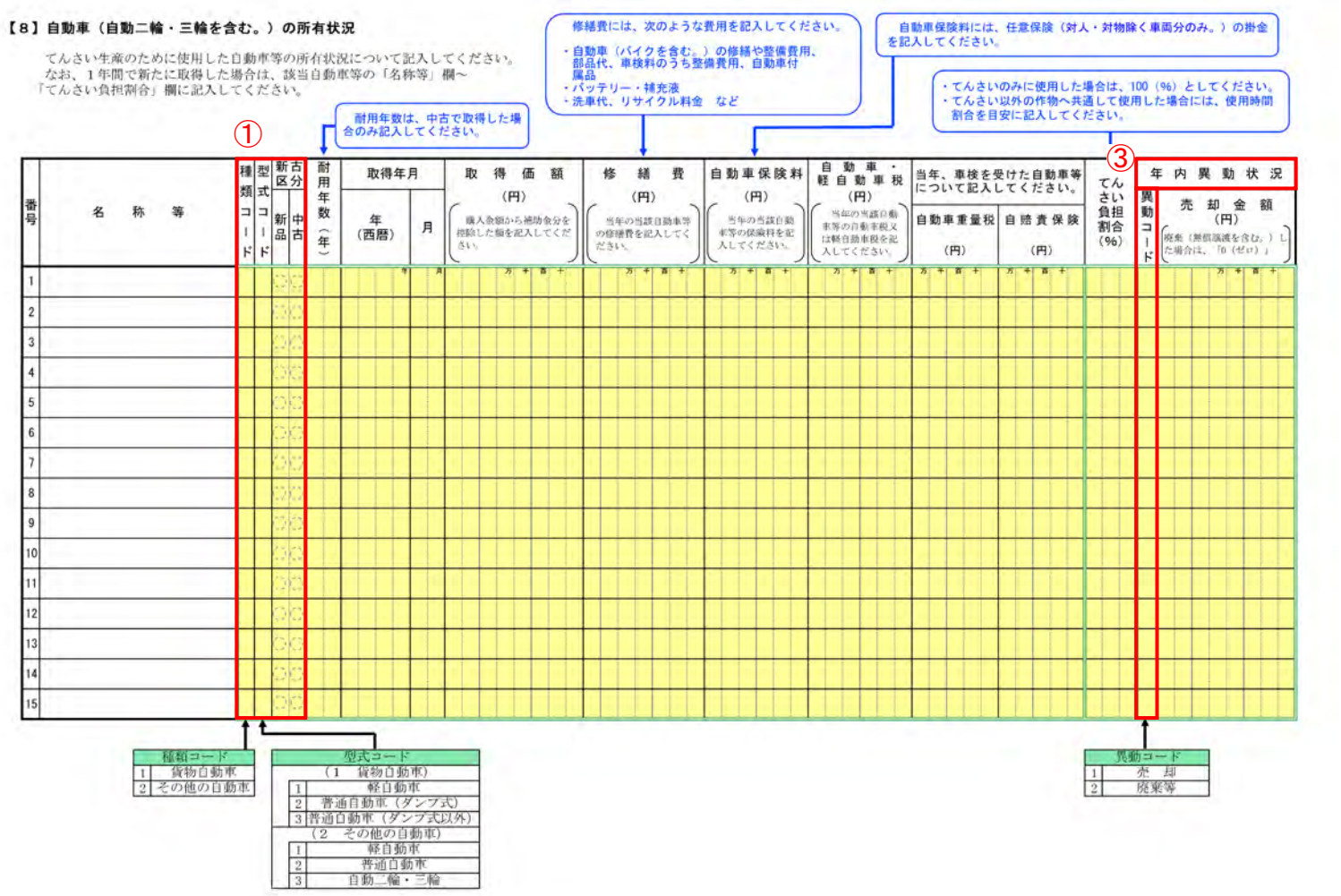
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前９ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加

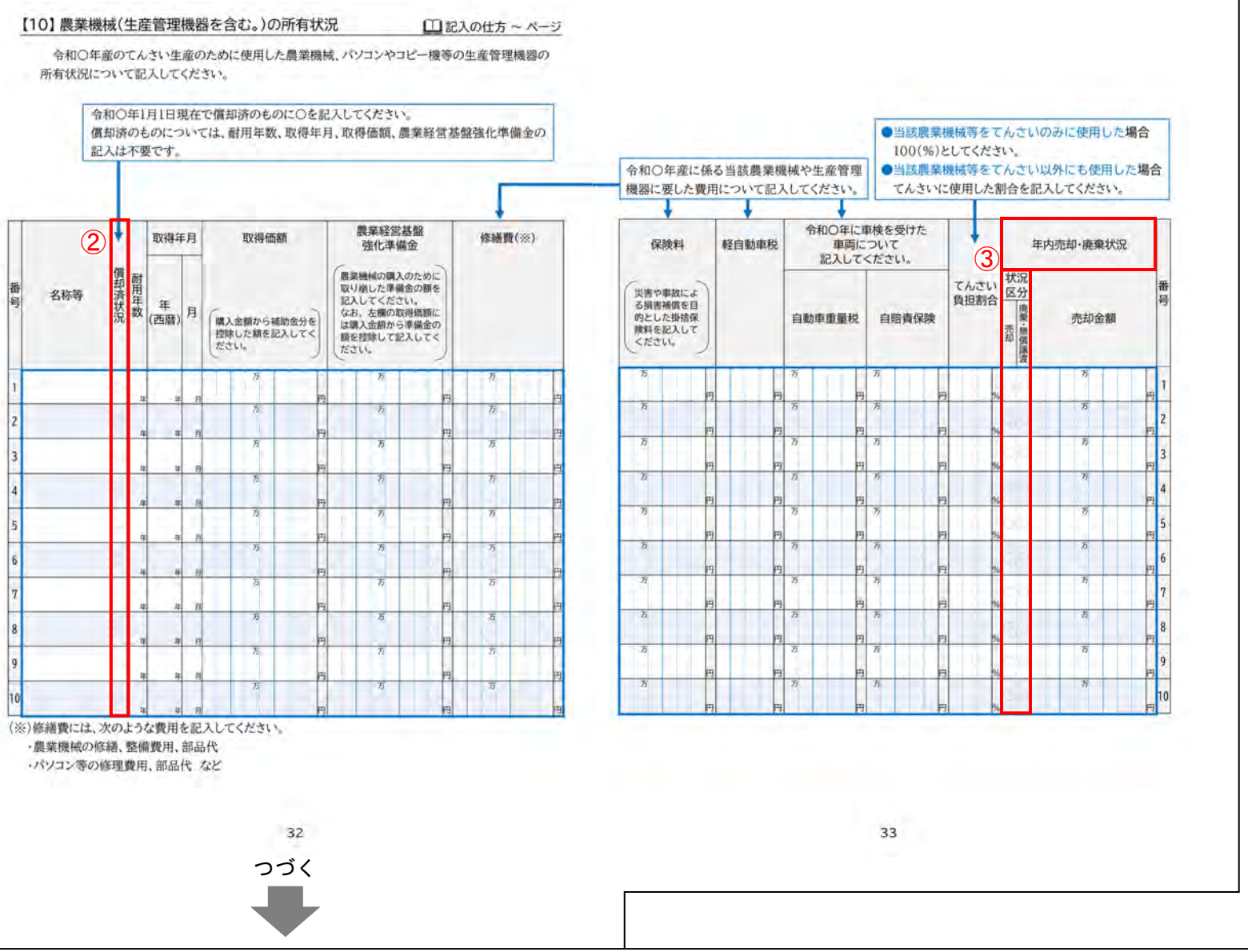


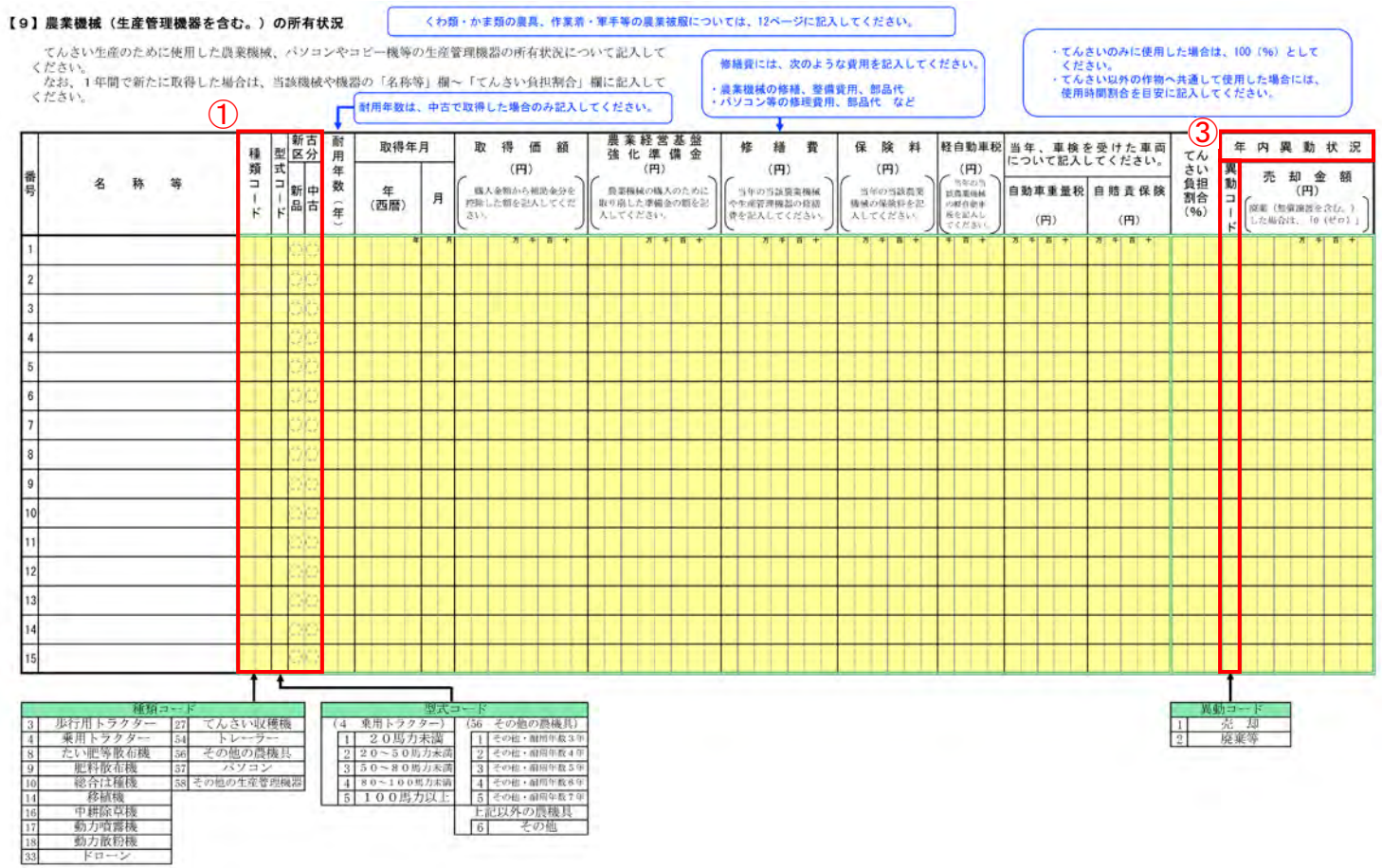
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	９ページ	①同上 ③同上



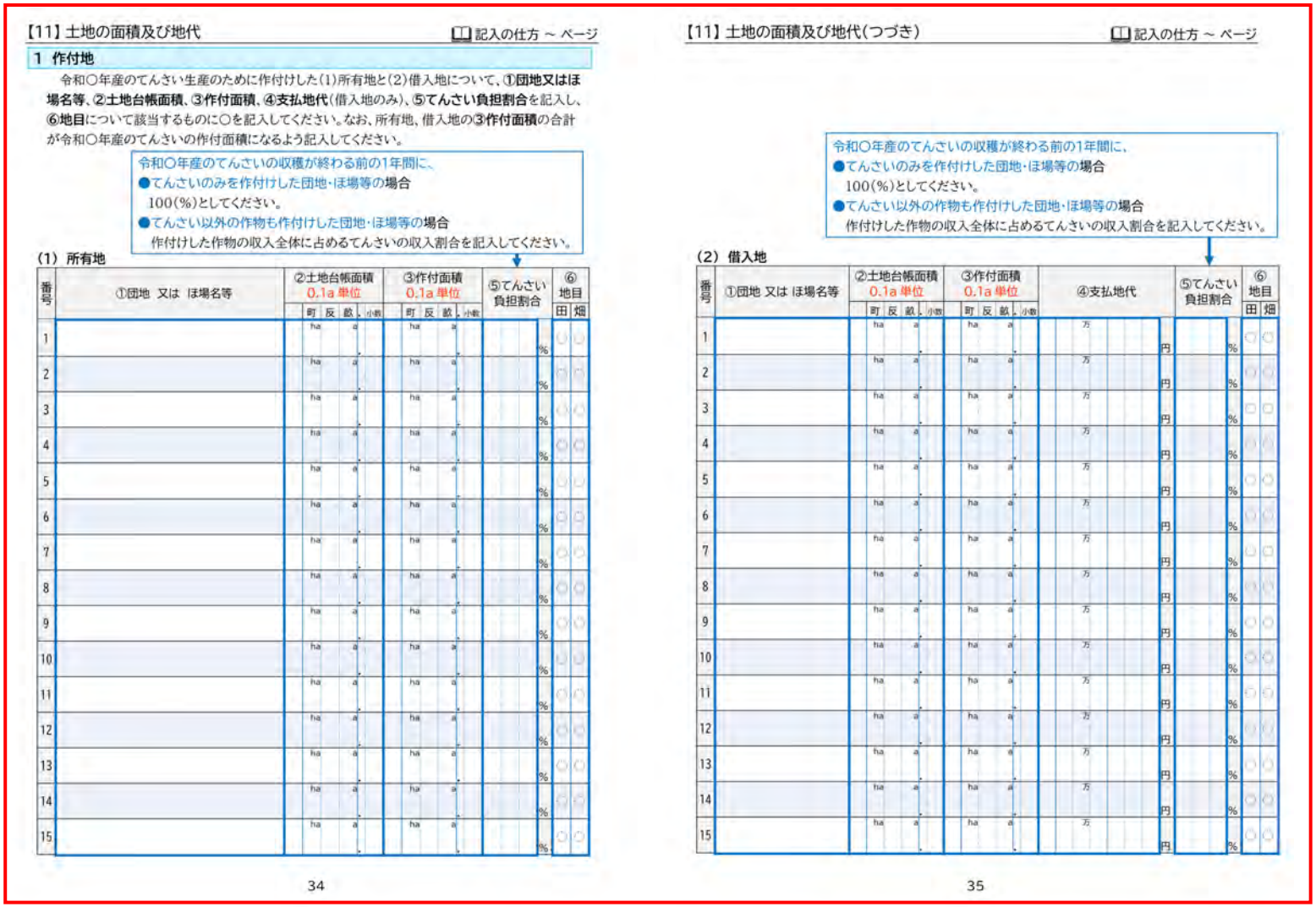
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前10ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ（変更前11ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34～35ページ（変更前13ページと対比） ①		記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記 ①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更



【11】土地の面積及び地代　　記入の仕方 ～ ページ

1 作付地

令和〇年産のてんさい生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤てんさい負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のてんさいの作付面積になるよう記入してください。

令和〇年産のてんさいの収穫が終わる前の1年間に、
●てんさいのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるてんさいの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤てんさい負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	%	○	○
2		ha a	ha a	%	○	○
3		ha a	ha a	%	○	○
4		ha a	ha a	%	○	○
5		ha a	ha a	%	○	○
6		ha a	ha a	%	○	○
7		ha a	ha a	%	○	○
8		ha a	ha a	%	○	○
9		ha a	ha a	%	○	○
10		ha a	ha a	%	○	○
11		ha a	ha a	%	○	○
12		ha a	ha a	%	○	○
13		ha a	ha a	%	○	○
14		ha a	ha a	%	○	○
15		ha a	ha a	%	○	○

34

【11】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

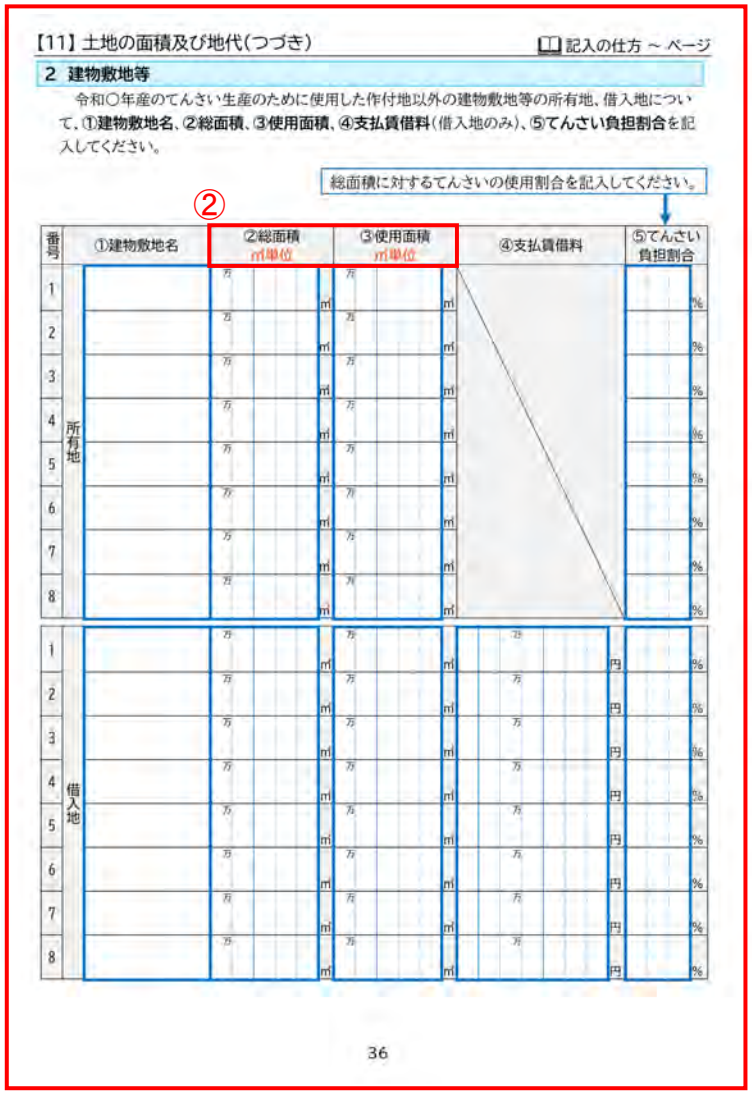
令和〇年産のてんさいの収穫が終わる前の1年間に、
●てんさいのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるてんさいの収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤てんさい負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	万 円	%	○	○
2		ha a	ha a	万 円	%	○	○
3		ha a	ha a	万 円	%	○	○
4		ha a	ha a	万 円	%	○	○
5		ha a	ha a	万 円	%	○	○
6		ha a	ha a	万 円	%	○	○
7		ha a	ha a	万 円	%	○	○
8		ha a	ha a	万 円	%	○	○
9		ha a	ha a	万 円	%	○	○
10		ha a	ha a	万 円	%	○	○
11		ha a	ha a	万 円	%	○	○
12		ha a	ha a	万 円	%	○	○
13		ha a	ha a	万 円	%	○	○
14		ha a	ha a	万 円	%	○	○
15		ha a	ha a	万 円	%	○	○

35

つづく

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ（変更前13ページと対比） ① 		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

2 建物敷地等

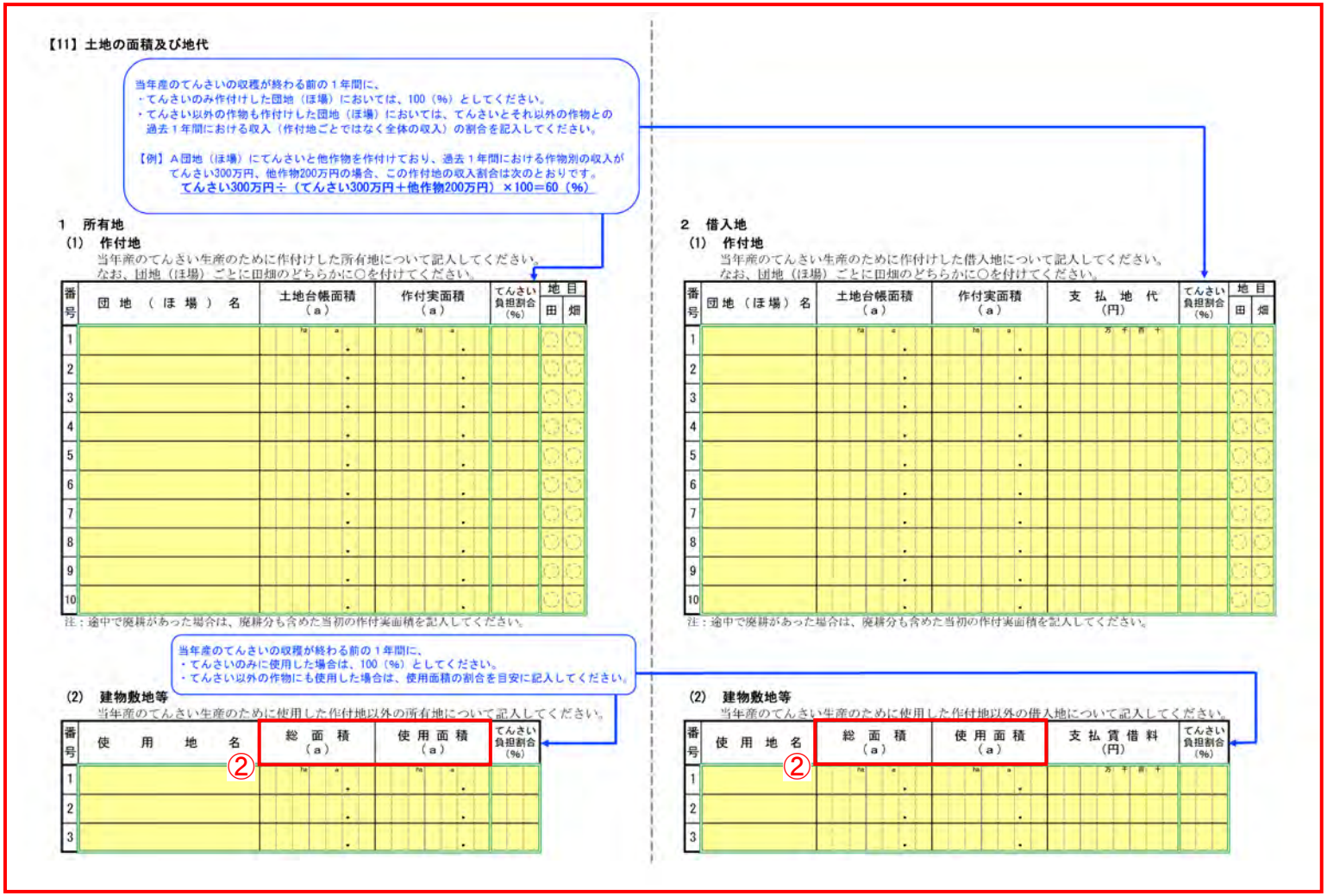
令和○年産のてんさい生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤てんさい負担割合**を記入してください。

総面積に対するてんさいの使用割合を記入してください。

②

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤てんさい負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

36

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① 	13ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
37ページ	８ページ	



【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のてんさい生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●てんさいのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。
●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合 てんさいに使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③てんさい負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

37



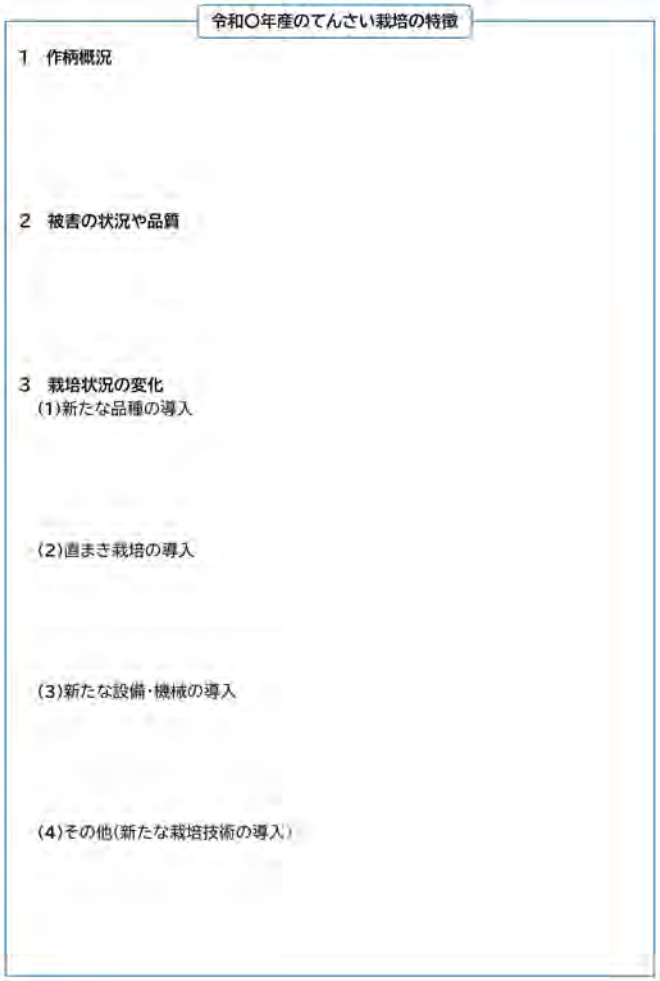
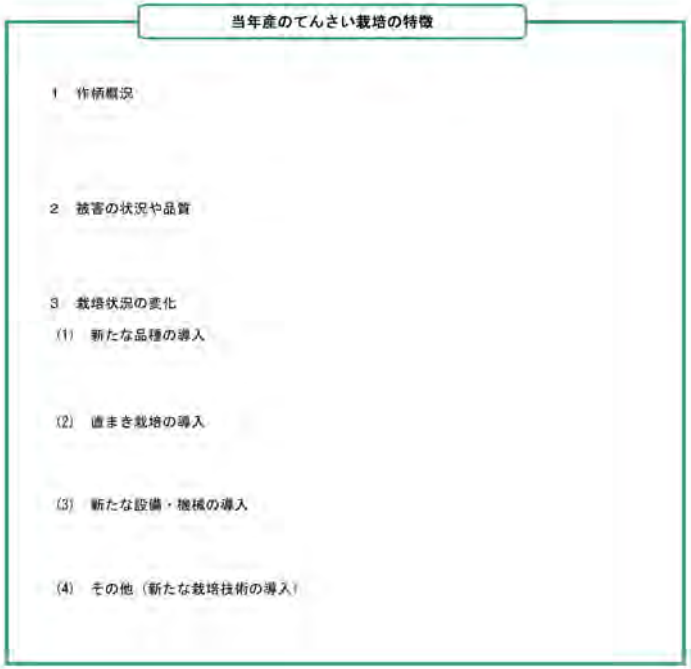
【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

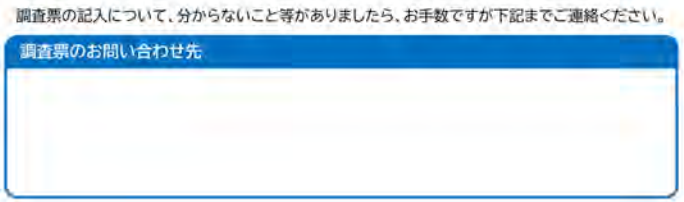
当年産のてんさい生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・てんさいのみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・てんさい以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	てんさい負担割合（%）
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38ページ  	5ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
40ページ  	1ページ  農業経営統計調査 ○年産　てんさい生産費統計調査票 （個別経営体用）	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「てんさいの生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のてんさいの生産（※）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　てんさいとは
　　砂糖原料用とする目的で栽培しているてんさいです。

※２　この調査でのてんさいの生産とは
　　自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（てんさい負担割合について）】

てんさいを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からてんさい負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
てんさいと小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、てんさい「８ha」、小麦「２ha」の作付地に施肥した場合

例１　てんさいに施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	てんさい負担割合（%）
肥料（購入）計	800	80000	100

← てんさい負担割合には100%と記入

例２　てんさい、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
てんさいと小麦の作付面積割合「８：２」を目安にてんさい負担割合を「８０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	てんさい負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	80

← てんさい負担割合には80%と記入

【てんさい負担割合の設定方法】

てんさいを含めた複数の作物を作付けしている場合のてんさい負担割合を設定する方法について説明します。

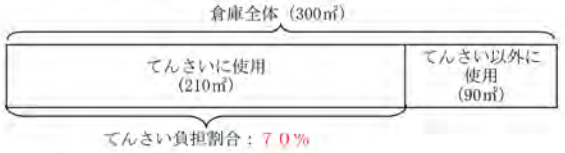
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、てんさい生産のために使用した面積の割合を「てんさい負担割合」とします。

$$\text{てんさい負担割合} = \frac{\text{てんさいに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うちてんさい生産のために210㎡、てんさい以外の作物に90㎡を使用した場合の「てんさい負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図

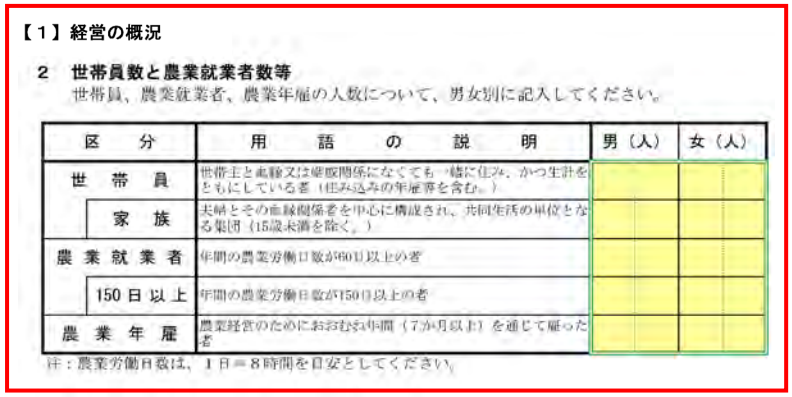
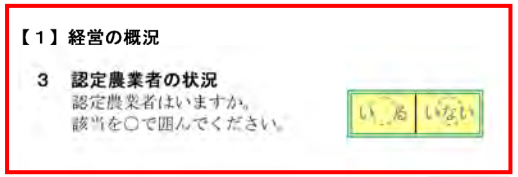


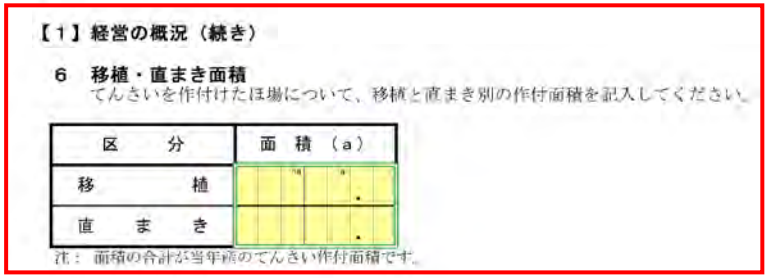
（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、てんさい生産のために使用した時間の割合を「てんさい負担割合」とします。

$$\text{てんさい負担割合} = \frac{\text{てんさいに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

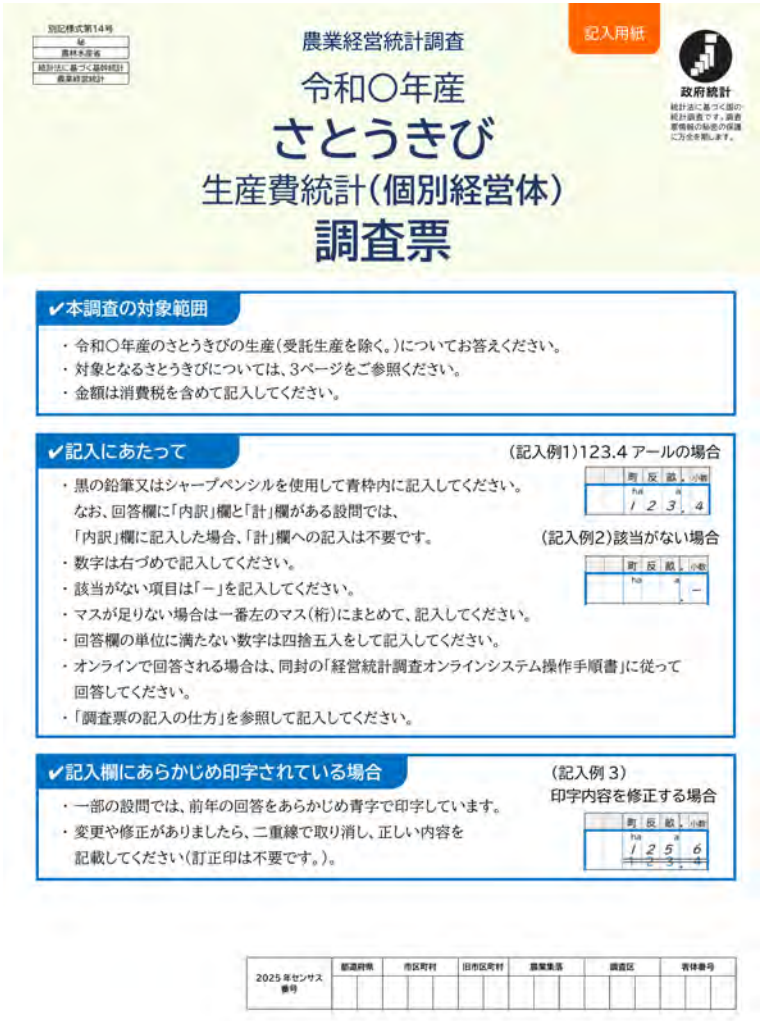
例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うちてんさい生産のために80時間、てんさい以外の作物に120時間使用した場合の「てんさい負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普　通　畑 樹　園　地 牧　草　地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。 区　分 / 用　語　の　説　明 / 男（人） / 女（人） 世　帯　員：世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。） 家　族：夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。） 農業就業者：年間の農業労働日数が60日以上の者 150日以上：年間の農業労働日数が150日以上の者 農業年雇：農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者 注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる / いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

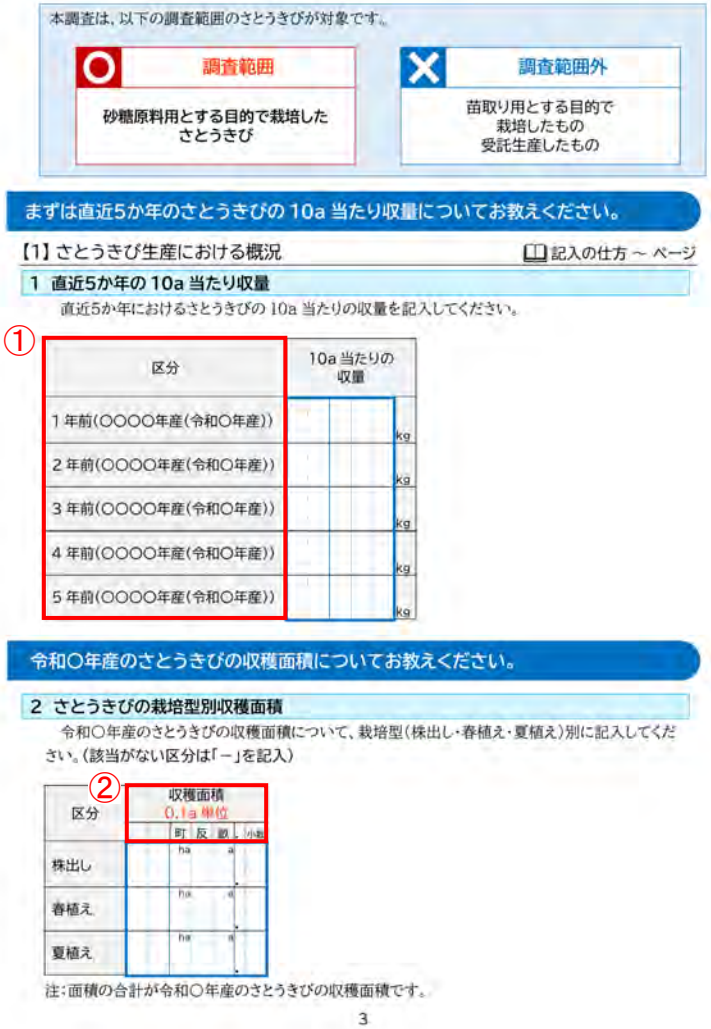
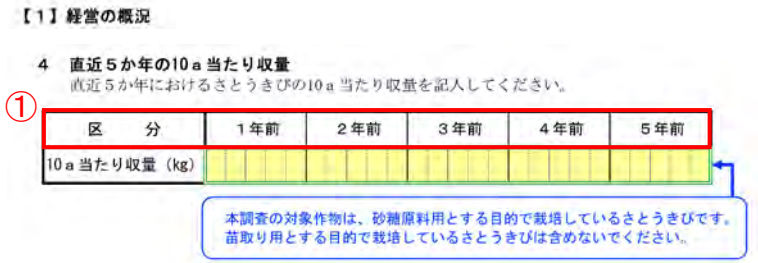
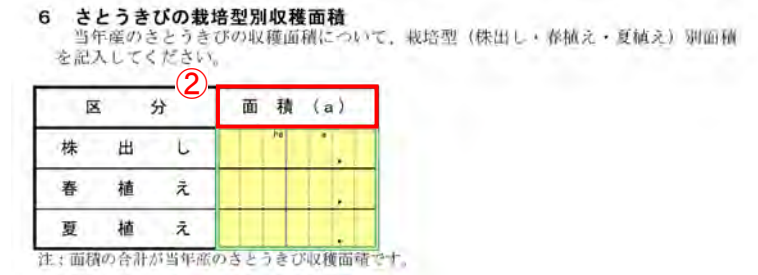
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ５　てんさいの品種別作付面積 当年産に作付けしたてんさいの品種名及びその作付面積を記入してください。 区分 / 品種名 / 面積（a） 品種１ 品種２ 品種３ 品種４ 品種５ 注：面積の合計が当年産のてんさい作付面積です。	てんさいの品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ６　移植・直まき面積 てんさいを作付けたほ場について、移植と直まき別の作付面積を記入してください。 区分 / 面積（a） 移植 直まき 注：面積の合計が当年産のてんさい作付面積です。	移植・直まき面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ７　制度受取金等の状況 当年産のてんさいに係る制度受取金等について記入してください。 区分 / 掛金（円） / 受取金（円） 農業共済 注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。	制度受取金等の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　農産物生産費統計（さとうきび（個別経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第14号 １ページ  農業経営統計調査 記入用紙 令和〇年産 さとうきび 生産費統計(個別経営体) 調査票 政府統計 ✔本調査の対象範囲 ・令和〇年産のさとうきびの生産(受託生産を除く。)についてお答えください。 ・対象となるさとうきびについては、3ページをご参照ください。 ・金額は消費税を含めて記入してください。 ✔記入にあたって (記入例1)123.4 アールの場合 ・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。 なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、 「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。 (記入例2)該当がない場合 ・数字は右づめで記入してください。 ・該当がない項目は「－」を記入してください。 ・マスが足りない場合は一番左のマス(桁)にまとめて、記入してください。 ・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。 ・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。 ✔記入欄にあらかじめ印字されている場合 (記入例３) 印字内容を修正する場合 ・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。 ・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください(訂正印は不要です。)。 2025年センサス番号	別記様式第11号 １ページ  農業経営統計調査 〇年産　さとうきび生産費統計調査票 (個別経営体用)	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更(以下同じ) 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

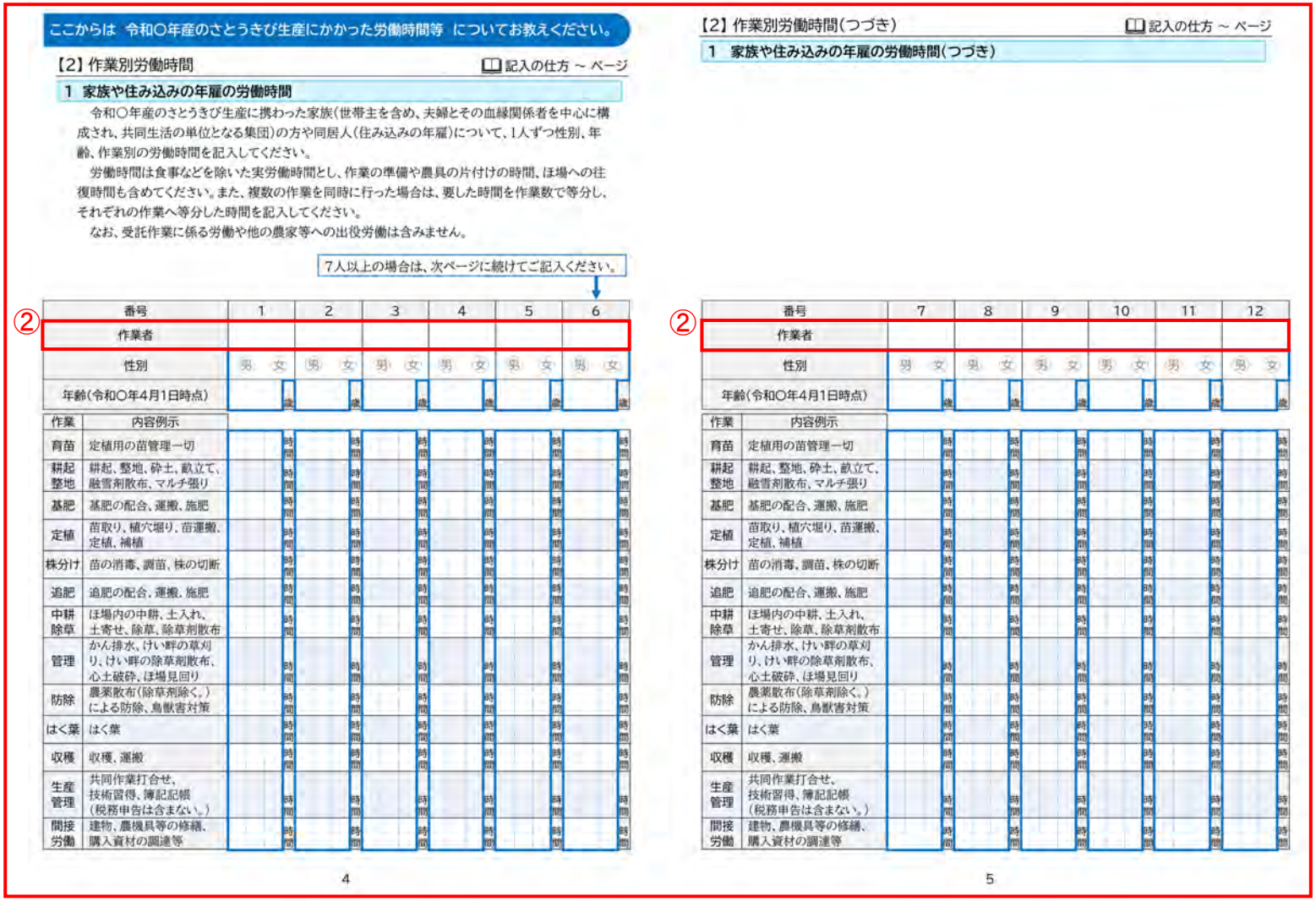
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 ① 【1】さとうきび生産における概況 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……9 【4】さとうきび生産のために使用した資材等 ……11 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……20 【6】物件税及び公課諸負担 ……22 【7】土地改良及び水利費 ……23 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……24 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……26 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……28 【11】土地の面積及び地代 ……30 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……33	３ページ 調　査　事　項 ① ページ 【１】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、さとうきびの作付品種等について記入してください。 【２】 生産物の販売等の状況 …… 4 さとうきびの用途別の販売状況について記入してください。 【３】 さとうきびの生産のために使用した資材等 …… 5 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料等の賃借料・料金等について記入してください。 【４】 物件税及び公課諸負担 …… 8 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【５】 土地改良及び水利費 …… 8 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。 【６】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8 借入金残高、支払利子について記入してください。 【７】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【８】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【９】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 13 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 14 家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は35～36ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
3ページ  	3ページ  4ページ  	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更(以下同じ) 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化(以下同じ) 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更(以下同じ) 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、さとうきびの調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記 ②記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記(以下同じ)

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由

４～５ページ（変更前14ページと対比）

①



ここからは　令和〇年産のさとうきび生産にかかった労働時間等　についてお教えください。

【2】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産のさとうきび生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

②

番号	1	2	3	4	5	6
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年4月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示						
育苗	定植用の苗管理一切	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
はく葉	はく葉	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

4

【2】作業別労働時間（つづき）　　記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

②

番号	7	8	9	10	11	12
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年4月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示						
育苗	定植用の苗管理一切	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
はく葉	はく葉	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

5

つづく

①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 家族労働時間」と「2 雇用労働時間」を統合して設定していた設問を「1 家族や住み込みの年雇の労働時間」、「2 雇用労働時間（住み込みの年雇以外）」、「3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間」に設問を分離

②氏名に限定せず、作業者を特定可能な記入欄へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～８ページ（変更前14ページと対比）		①同上 ③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、住み込みの年雇以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人の有無を確認する設問を追加 ⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

①

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

③

2　雇用労働時間（住み込みの年雇以外）

（1）令和○年産のさとうきび生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	1	→ 8ページへ
雇用している人がいる	2	→ (2)へ

（2）（(1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。）令和○年産のさとうきび生産における雇用者（住み込みの年雇以外）の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
育苗	定植用の苗管理一切	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間
はく葉	はく葉	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間
⑤ 生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

（3）令和○年産のさとうきび生産のために雇用者（住み込みの年雇以外）に支払った賃金について、**①賃金**、**②さとうきび負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●さとうきびのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の支払分を含めて記入する場合
さとうきび分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②さとうきび負担割合
男性	万 円	%
女性	万 円	%

つづく

④

【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

（1）令和○年産のさとうきび生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	さとうきび生産に係る作業で労働交換を受けた場合	1	2
共同作業受け	さとうきび生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	1	2
手伝い受け	さとうきび生産に係る作業で手伝いを受けた場合	1	2

1つでも「いる」に○…(2)へ　　すべて「いない」に○…次ページへ

（2）(1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産のさとうきび生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
育苗	定植用の苗管理一切	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
はく葉	はく葉	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

8

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	14ページ	①同上 ②同上

【12】作業別労働時間

当年産のさとうきび生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間や圃場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

①

1　家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

②

作業種類	内容例示	氏名	性別	(　年齢　)	氏名	性別	(　年齢　)	氏名	性別	(　年齢　)	氏名	性別	(　年齢　)	氏名	性別	(　年齢　)	氏名	性別	(　年齢　)
育苗	定植用の苗管理一切		男 女	時間		男 女	時間		男 女	時間		男 女	時間		男 女	時間		男 女	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り																		
基肥	基肥の配合、運搬、施肥																		
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植																		
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断																		
追肥	追肥の配合、運搬、施肥																		
中耕除草	圃場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																		
管理	かん排水、げい畝の草刈り、げい畝の除草剤散布、心止破砕、圃場見回り																		
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																		
はく葉	はく葉																		
収穫	収穫、運搬																		
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簡記記帳（税務申告は含まない。）																		
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																		

雇用労働時間 男	雇用労働時間 女
時間	時間

作業種類	内容例示
育苗	定植用の苗管理一切
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り
基肥	基肥の配合、運搬、施肥
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断
追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	圃場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、げい畝の草刈り、げい畝の除草剤散布、心止破砕、圃場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
はく葉	はく葉
収穫	収穫、運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簡記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

2　雇用労働時間

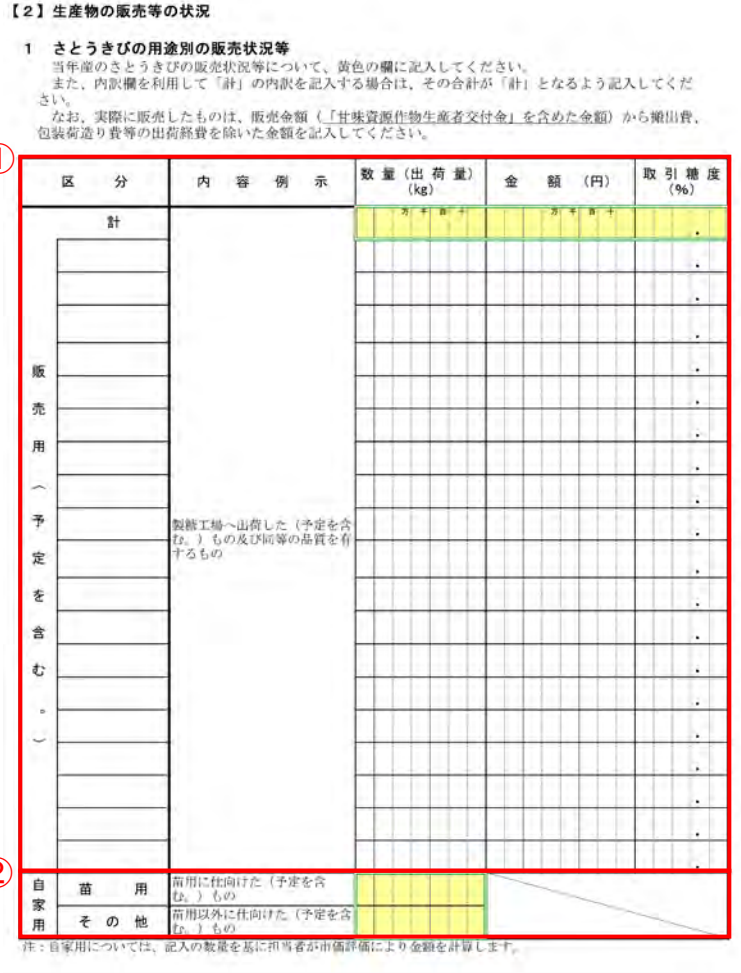
雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

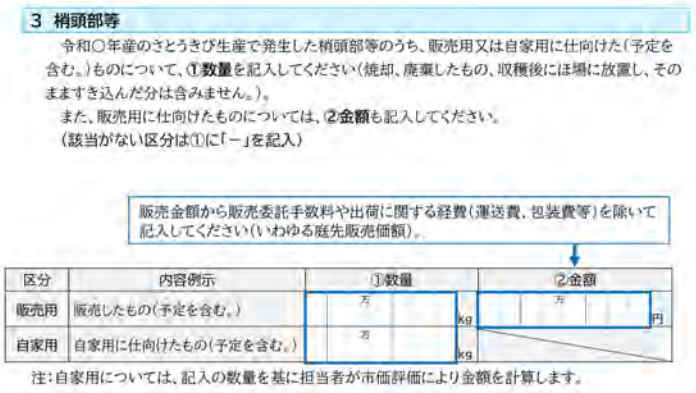
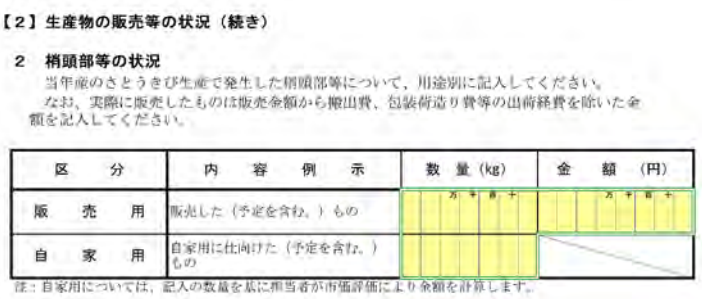
3　支払賃金

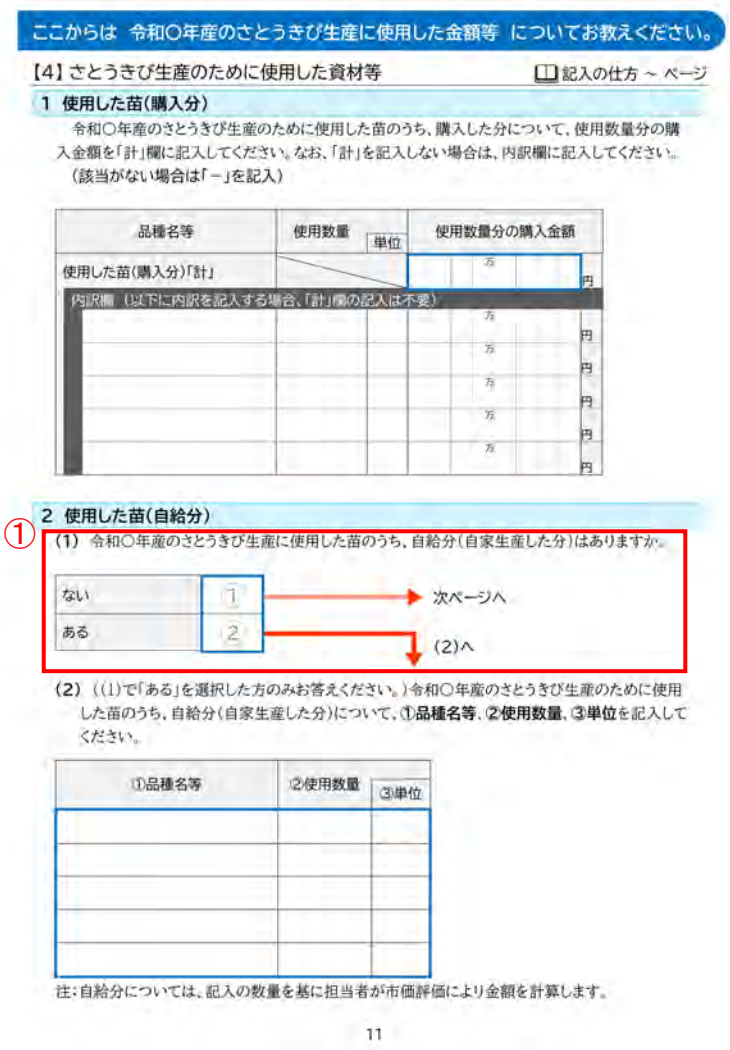
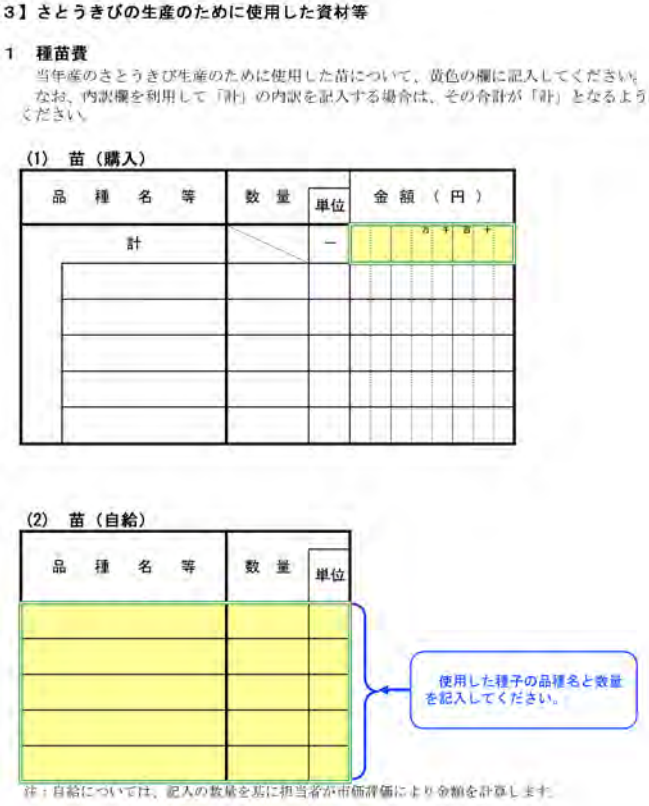
当年産のさとうきび生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	さとうきび負担割合（%）
	万 千 百 十	
男		
女		

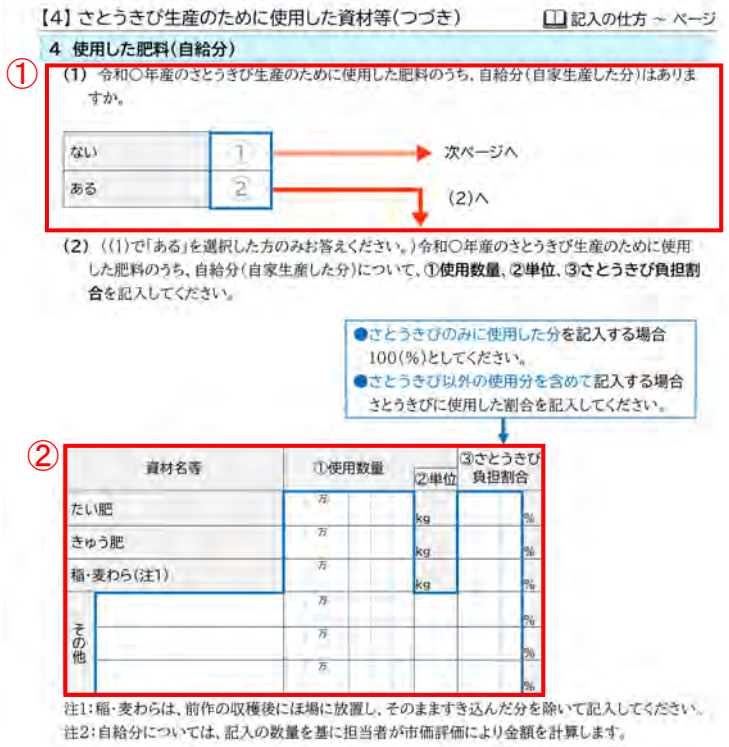
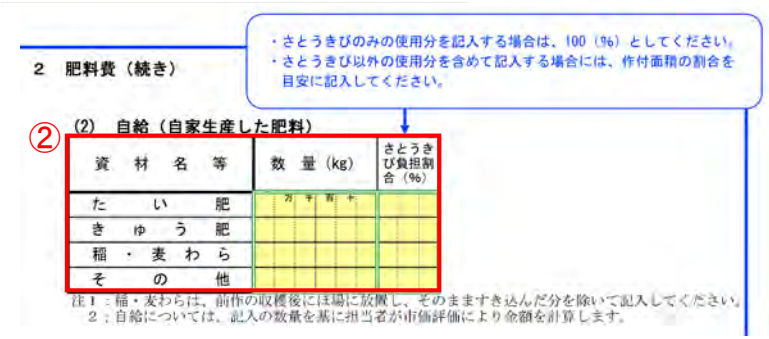
・さとうきび生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９～10ページ 	４ページ 	報告者が記入しやすいよう、自家用のさとうきびの数量に関する設問を分離 ①さとうきびの用途別の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため、「金額（円）」及び「取引糖度（%）」を削除し、「数量（出荷量）」のみを把握するよう変更 ②自家用のさとうきびの数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「苗用」及び「その他」の記入欄を削除し、「自家用「計」」を把握するよう変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ 	５ページ 	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ 	5ページ 	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ 	6ページ 	肥料費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ  【4】さとうきび生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 4 使用した肥料(自給分) ① (1) 令和○年産のさとうきび生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のさとうきび生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量、②単位、③さとうきび負担割合**を記入してください。 ●さとうきびのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合 さとうきびに使用した割合を記入してください。 ② 資材名等 / ①使用数量 / ②単位 / ③さとうきび負担割合 たい肥 / きゅう肥 / 稲・麦わら(注1) / その他 注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 13	6ページ  【3】さとうきびの生産のために使用した資材等（続き） ・さとうきびのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 2 肥料費（続き） ② (2) 自給（自家生産した肥料） 資材名等 / 数量(kg) / さとうきび負担割合(%) たい肥 / きゅう肥 / 稲・麦わら / その他 注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ	6ページ	農業薬剤費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載



【4】さとうきび生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ

5 使用した農業薬剤

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②さとうきび負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万 円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

注1:共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め 19 ページ「10 賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。
注2:除草剤等農薬入りの肥料は 12 ページ「3 使用した肥料(購入分)」に記入してください。

14



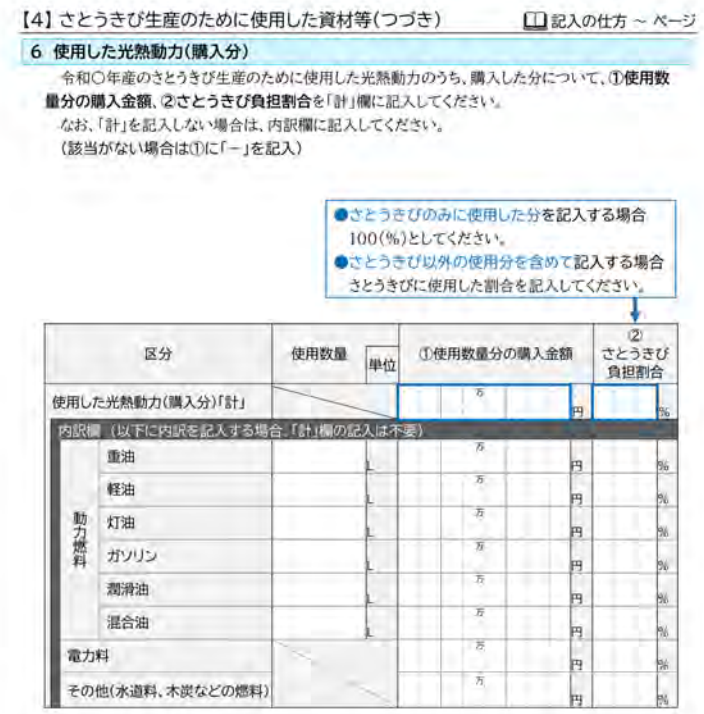
【3】さとうきびの生産のために使用した資材等（続き）

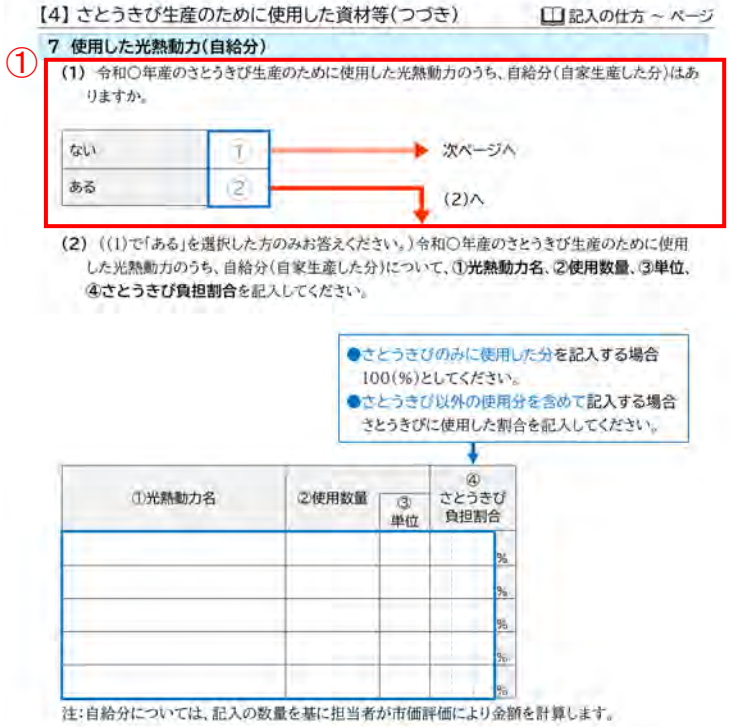
3 農業薬剤費

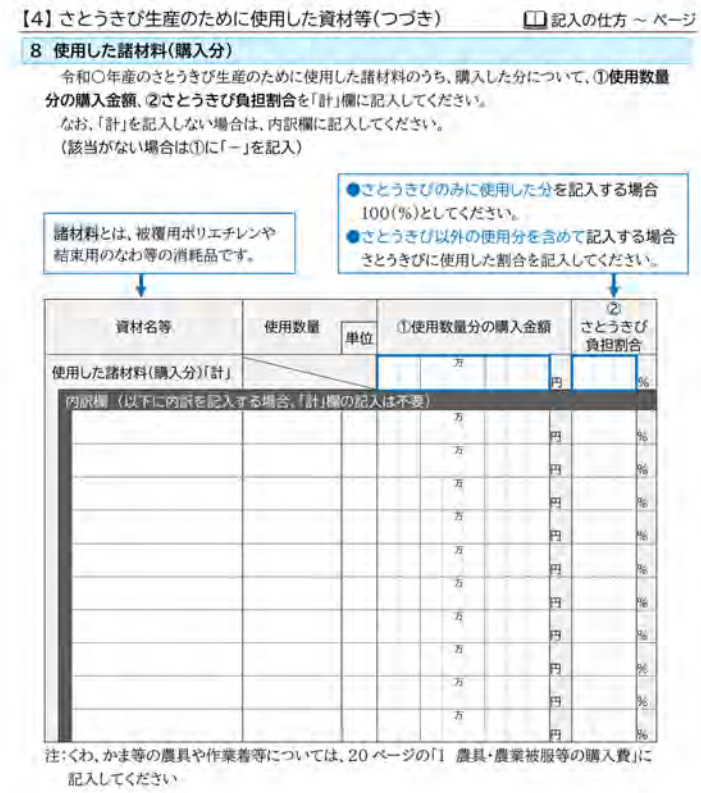
当年産のさとうきび生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

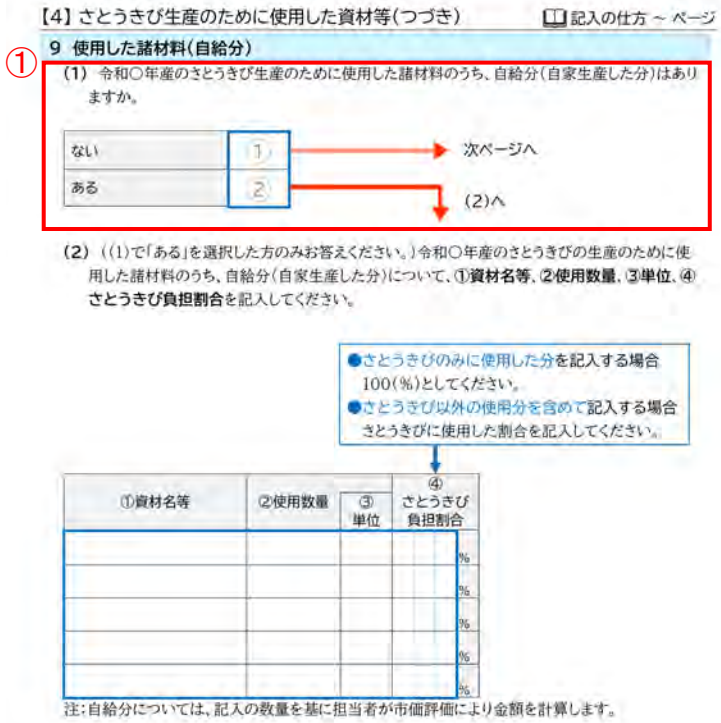
資材名等	金額（円）	さとうきび負担割合（%）	備考欄
計	万 千 百 十		
殺虫剤			
殺菌剤			
殺菌剤 殺虫剤			
除草剤			
その他			植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。
2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」）」に記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ  【4】さとうきび生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 6 使用した光熱動力(購入分) 令和○年産のさとうきび生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●さとうきびのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合 さとうきびに使用した割合を記入してください。 区分 / 使用数量 / 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②さとうきび負担割合 使用した光熱動力(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 動力燃料: 重油 / 軽油 / 灯油 / ガソリン / 潤滑油 / 混合油 電力料 その他(水道料、木炭などの燃料) 15 つづく	7ページ  【3】さとうきびの生産のために使用した資材等（続き） 4 光熱動力費 当年産のさとうきび生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 ・さとうきびのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。 資材名等 / 数量 / 単位 / 金額（円） / さとうきび負担割合（%） 購入（計） 動力燃料: 重油 / 軽油 / 灯油 / ガソリン / 潤滑油 / 混合油 電力料 その他（水道料、木炭などの燃料） 自給 使用した自給の資材名と数量を記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離

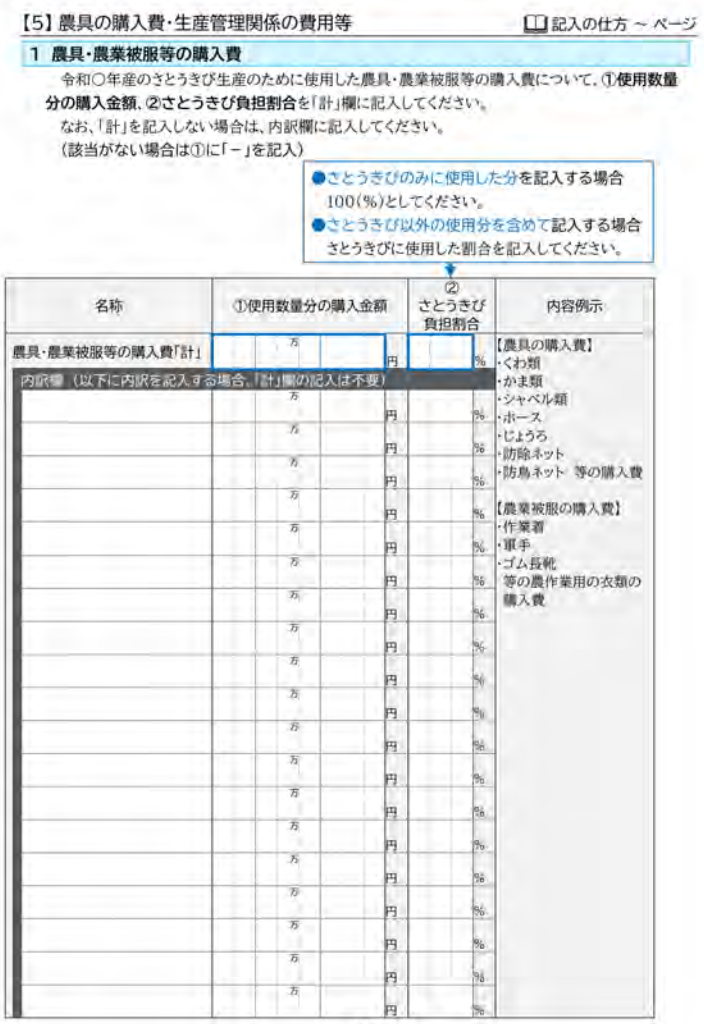
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ（変更前７ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ  【4】さとうきび生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 8 使用した諸材料(購入分) 令和〇年産のさとうきび生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) 諸材料とは、被覆用ポリエチレンや結束用のなわ等の消耗品です。 ●さとうきびのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合さとうきびに使用した割合を記入してください。 資材名等 / 使用数量 / 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②さとうきび負担割合 使用した諸材料(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 注:くわ、かま等の農具や作業着等については、20 ページの「I 農具・農業被服等の購入費」に記入してください 17 つづく	7 ページ  【3】さとうきびの生産のために使用した資材等（続き） 5 諸材料費 当年産のさとうきび生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 資材名等 / 数量 / 単位 / 金額（円）/ さとうきび負担割合（%） 購入（計） 自給 ・さとうきびのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 使用した自給の資材名と数量を記入してください。 諸材料には、被覆用ポリエチレンや結束用のなわ等が入ります。	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ（変更前７ページと対比）  【4】さとうきび生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 9 使用した諸材料(自給分) ① (1) 令和〇年産のさとうきび生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のさとうきびの生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等、②使用数量、③単位、④さとうきび負担割合**を記入してください。 ●さとうきびのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合 さとうきびに使用した割合を記入してください。 ①資材名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④さとうきび負担割合 % 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 18		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ 	7ページ 	賃借料及び料金の内訳欄について、報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20～21ページ（変更前12ページと対比）		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離



【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等　記入の仕方 ～ ページ

1 農具・農業被服等の購入費

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合 さとうきびに使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②さとうきび負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万 円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

20

つづく



【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

2 生産管理関係の費用

令和〇年産のさとうきび生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合 さとうきびに使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②さとうきび負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万 円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

21

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ		同上



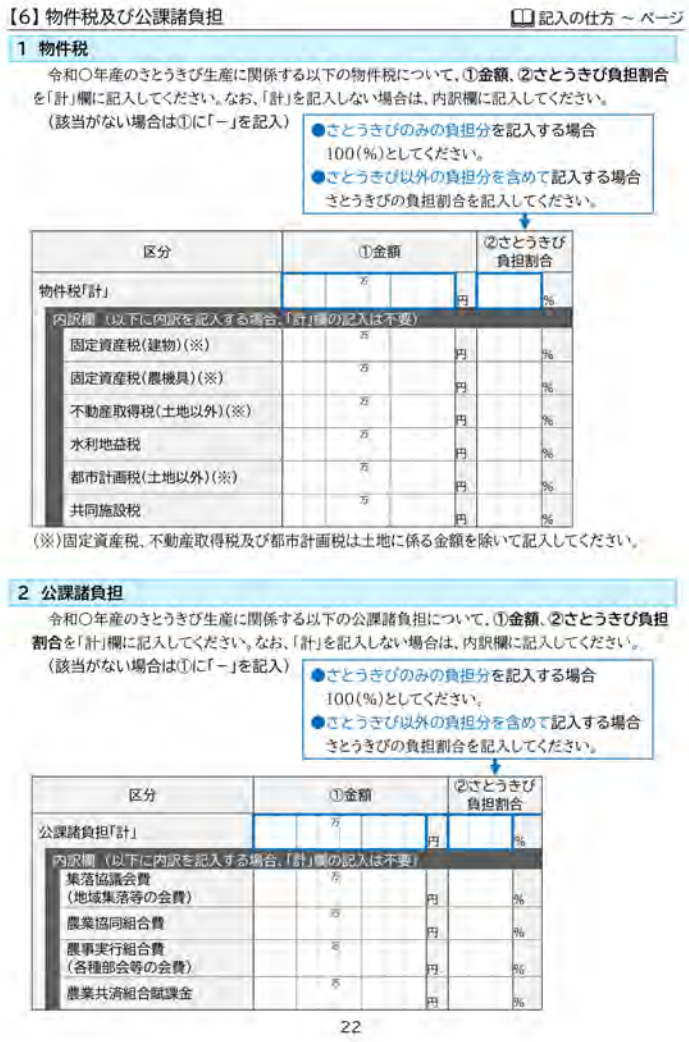
【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のさとうきび生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・さとうきびのみに使用した場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の作物にも使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（円）	さとうきび負担割合（%）	内　容　例　示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22ページ	8ページ	



【6】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ページ

1 物件税

令和〇年産のさとうきび生産に関係する以下の物件税について、①金額、②さとうきび負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●さとうきびのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合
さとうきびの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②さとうきび負担割合
物件税「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税(建物)(※)	万 円	%
固定資産税(農機具)(※)	万 円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万 円	%
水利地益税	万 円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万 円	%
共同施設税	万 円	%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年産のさとうきび生産に関係する以下の公課諸負担について、①金額、②さとうきび負担割合を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●さとうきびのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合
さとうきびの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②さとうきび負担割合
公課諸負担「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万 円	%
農業協同組合費	万 円	%
農事実行組合費（各種部会等の会費）	万 円	%
農業共済組合賦課金	万 円	%

22



【4】物件税及び公課諸負担

1　物件税

1年間に負担したさとうきび生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金額（円）	さとうきび負担割合（%）
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

註：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

・さとうきびのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：使用面積割合

固定資産税（農機具）、共同施設税：機械等の使用時間割合

2　公課諸負担

1年間に負担したさとうきび生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

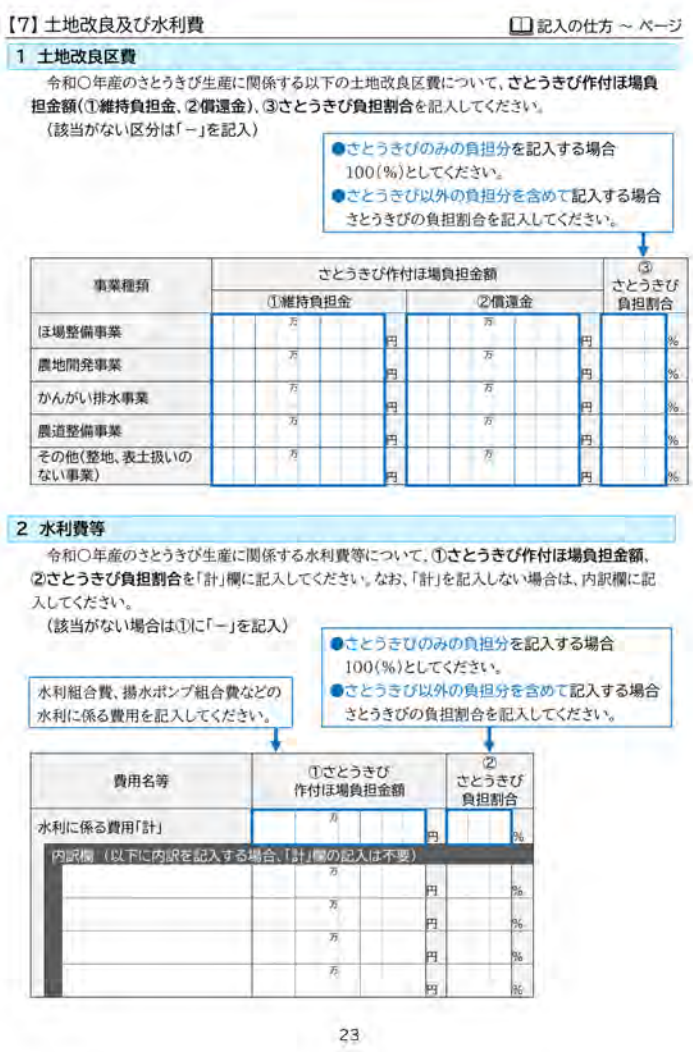
区　分	金額（円）	さとうきび負担割合（%）
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

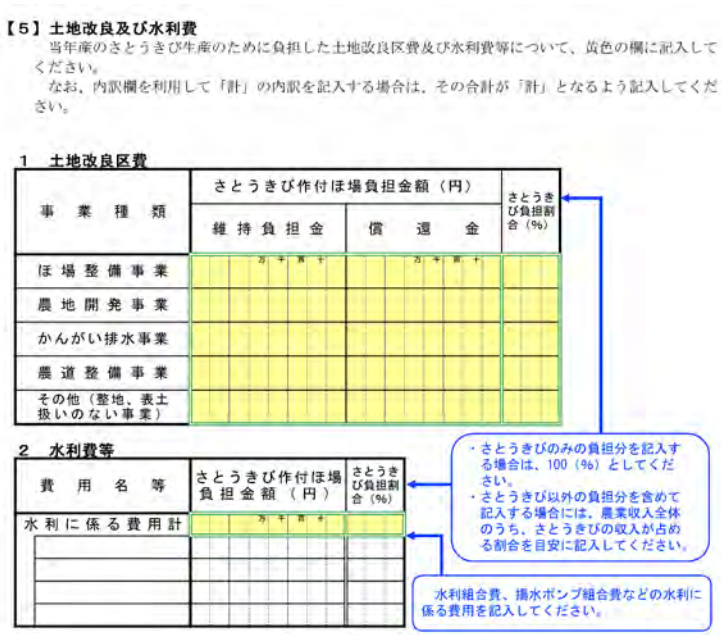
・さとうきびのみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：農業収入全体のうち、さとうきびの収入が占める割合

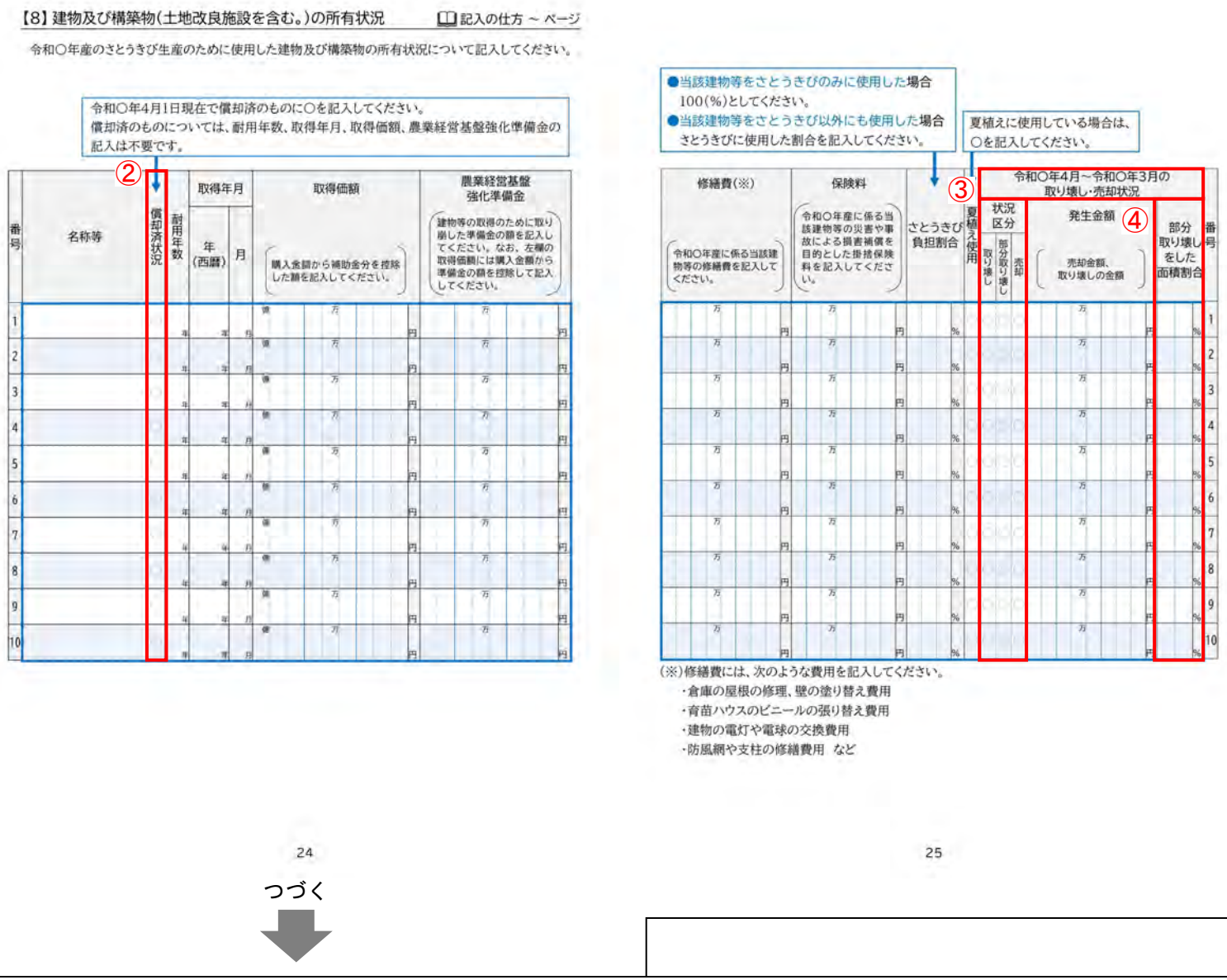
農業共済組合賦課金：作付面積割合

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ	8ページ	

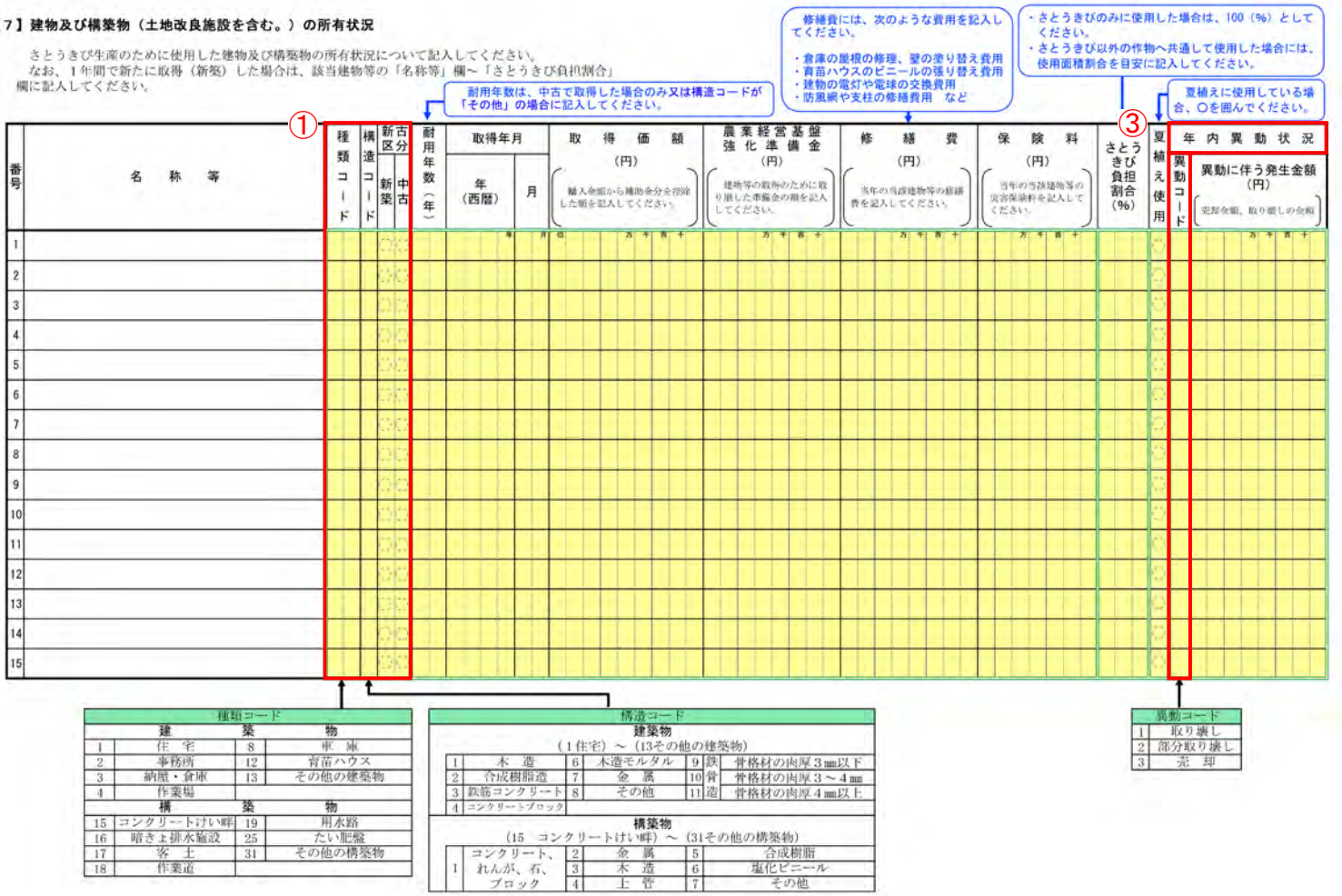


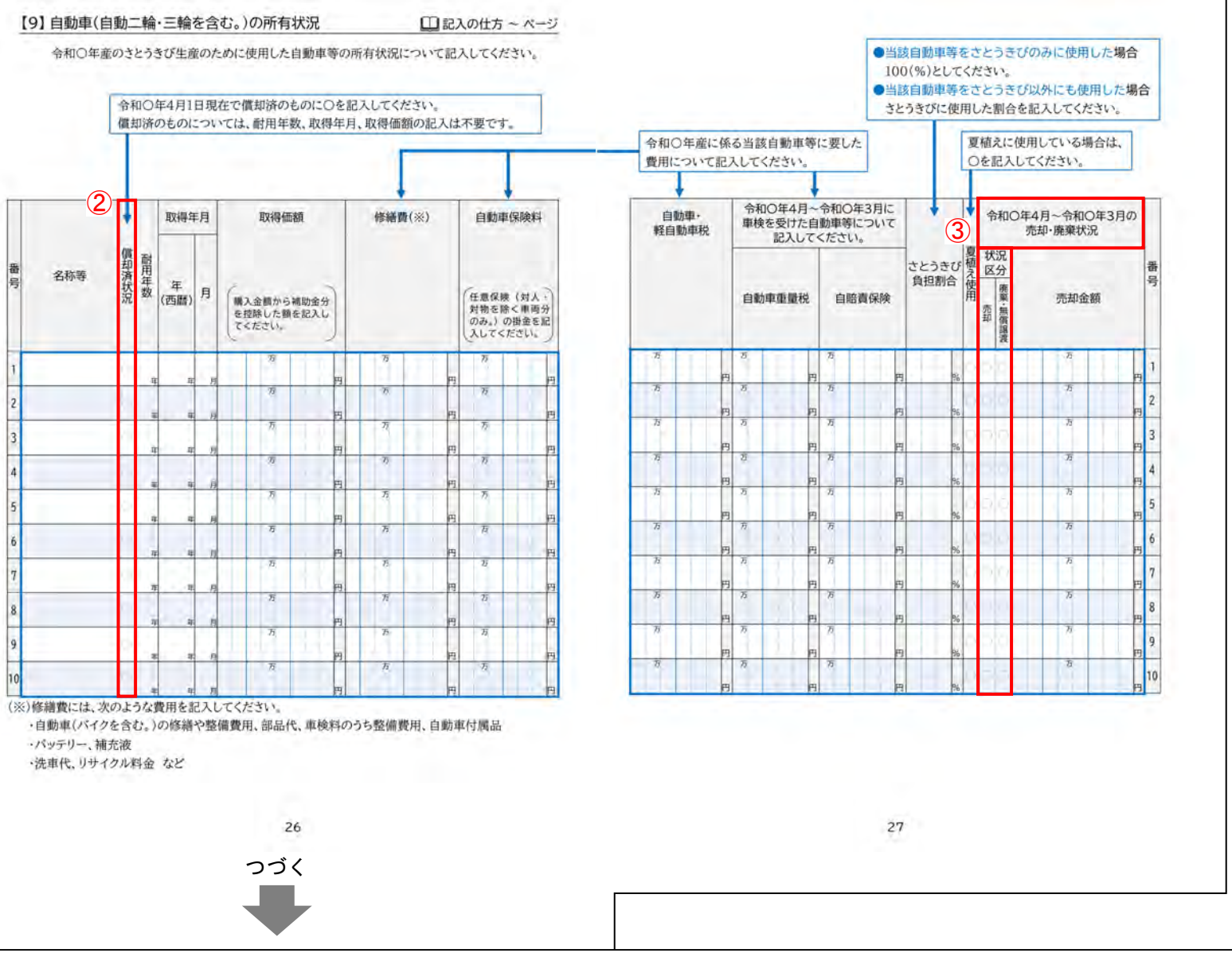


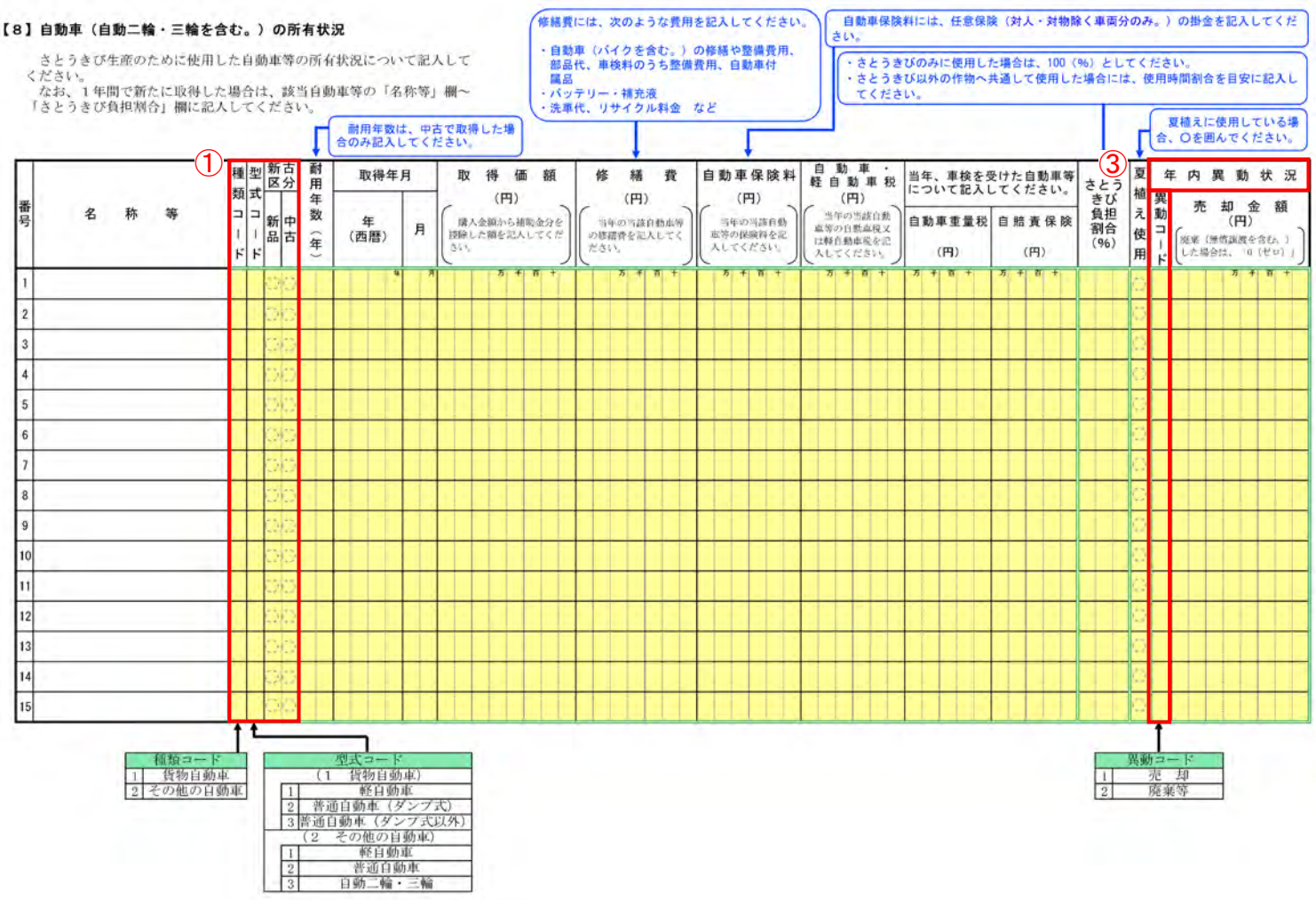
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24～25ページ（変更前９ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年4月～令和〇年3月の取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加



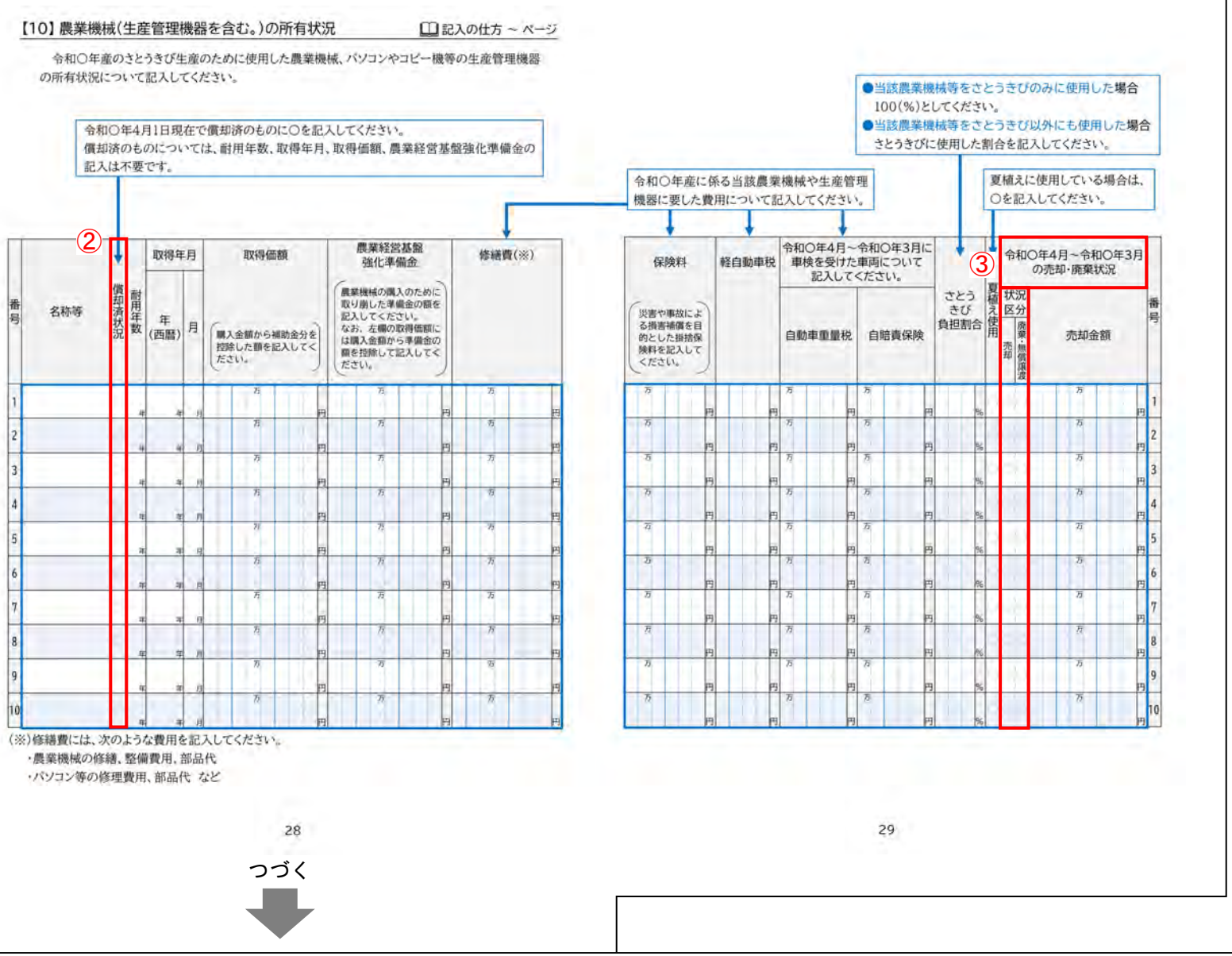
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	９ページ	①同上 ③同上

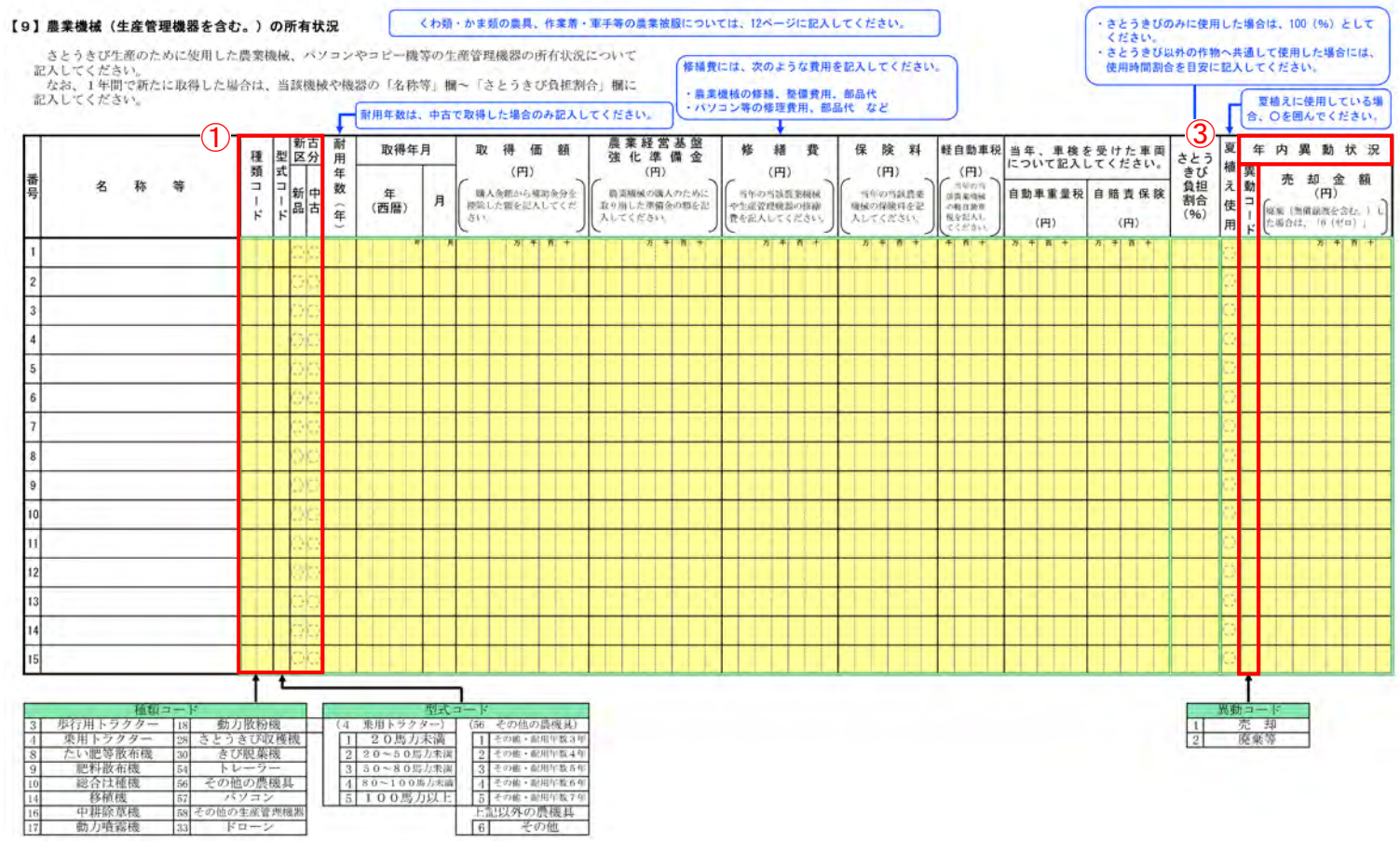


変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ（変更前10ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年4月～令和〇年3月の売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前11ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年4月～令和〇年3月の売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前13ページと対比） ①		①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更

【11】土地の面積及び地代　　記入の仕方 ～ ページ

1 作付地

令和〇年産のさとうきび生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤さとうきび負担割合**を記入し、**⑥地目**、**⑦作型**のそれぞれについて該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のさとうきびの作付面積になるように記入してください。

令和〇年産のさとうきびの収穫が終わる前の1年(夏植えの場合は1年半)の間に、
●さとうきびのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるさとうきびの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤さとうきび負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑	⑦作型 夏植え	⑦作型 夏植え以外
1		ha a	ha a	%	○	○	○	○
2		ha a	ha a	%	○	○	○	○
3		ha a	ha a	%	○	○	○	○
4		ha a	ha a	%	○	○	○	○
5		ha a	ha a	%	○	○	○	○
6		ha a	ha a	%	○	○	○	○
7		ha a	ha a	%	○	○	○	○
8		ha a	ha a	%	○	○	○	○
9		ha a	ha a	%	○	○	○	○
10		ha a	ha a	%	○	○	○	○
11		ha a	ha a	%	○	○	○	○
12		ha a	ha a	%	○	○	○	○

30

つづく

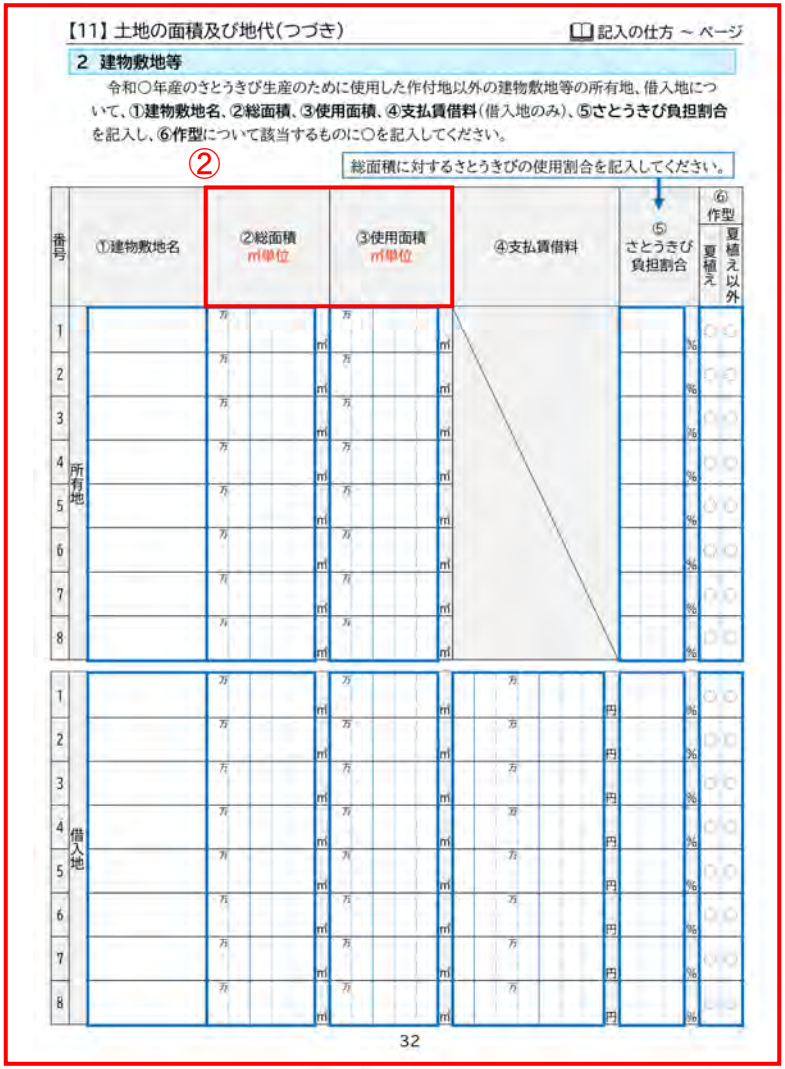
【11】土地の面積及び地代(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

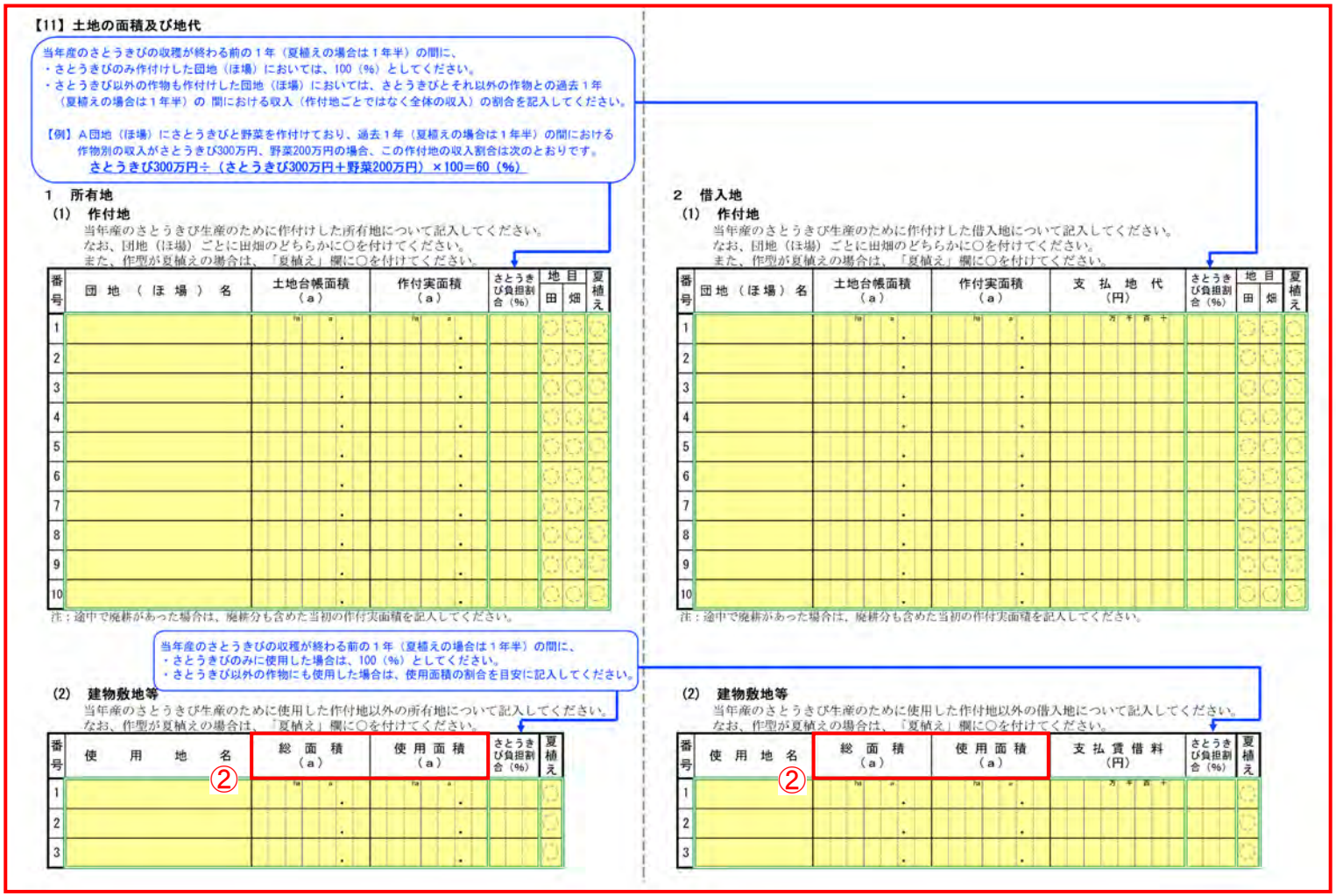
令和〇年産のさとうきびの収穫が終わる前の1年(夏植えの場合は1年半)の間に、
●さとうきびのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるさとうきびの収入割合を記入してください。

(2) 借入地

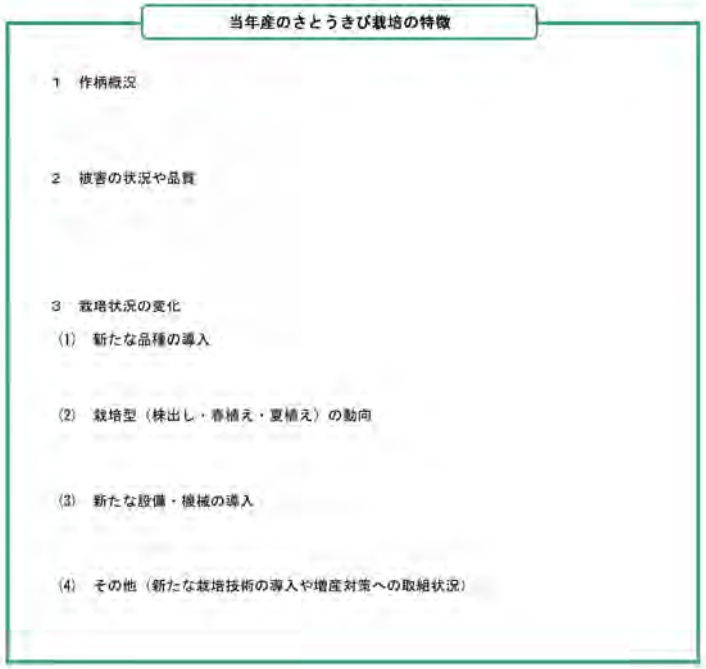
番号	①団地又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤さとうきび負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑	⑦作型 夏植え	⑦作型 夏植え以外
1		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○
2		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○
3		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○
4		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○
5		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○
6		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○
7		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○
8		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○
9		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○
10		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○
11		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○
12		ha a	ha a	万 円	%	○	○	○	○

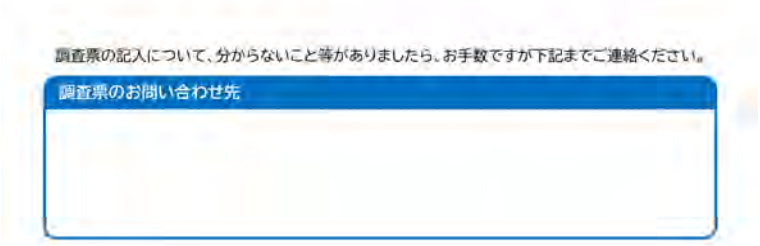
31

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32ページ（変更前13ページと対比） ①  【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ページ 2 建物敷地等 令和○年産のさとうきび生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**（借入地のみ）、**⑤さとうきび負担割合**を記入し、**⑥作型**について該当するものに○を記入してください。 ② 総面積に対するさとうきびの使用割合を記入してください。 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤さとうきび負担割合 / ⑥作型（夏植え / 夏植え以外） 所有地 1～8 借入地 1～8 32 つづく		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① 	13ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
33ページ 	8ページ 	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ  	5ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。 調査票のお問い合わせ先	1ページ  農業経営統計調査 ○年産　さとうきび生産費統計調査票 （個別経営体用）	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「さとうきび（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のさとうきびの生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　さとうきびとは
砂糖原料用とする目的で栽培しているさとうきびです。
苗取り用とする目的で栽培しているさとうきびは含みません。

※２　この調査でのさとうきびの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（さとうきび負担割合について）】

さとうきびを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からさとうきび負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
さとうきびと野菜を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、さとうきび「８ha」、野菜「２ha」の作付地に施肥した場合

例１　さとうきびに施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	さとうきび負担割合（%）
肥料（購入）計	800	80000	100

← さとうきび畑割合には100%と記入

例２　さとうきび、野菜に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
さとうきびと野菜の作付面積割合「８：２」を目安にさとうきび負担割合を「８０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	さとうきび負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	80

← さとうきび畑割合には80%と記入

【さとうきび負担割合の設定方法】

さとうきびを含めた複数の作物を作付けしている場合のさとうきび負担割合を設定する方法について説明します。

（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、さとうきび生産のために使用した面積の割合を「さとうきび負担割合」とします。

$$\text{さとうきび負担割合} = \frac{\text{さとうきびに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うちさとうきび生産のために210㎡、さとうきび以外の作物に90㎡を使用した場合の「さとうきび負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図

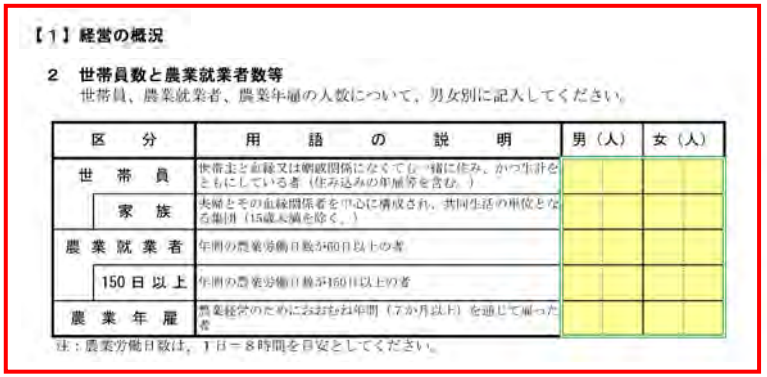
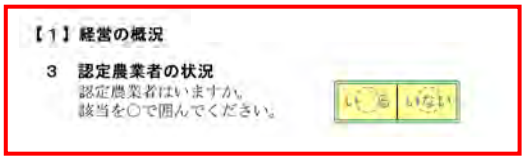


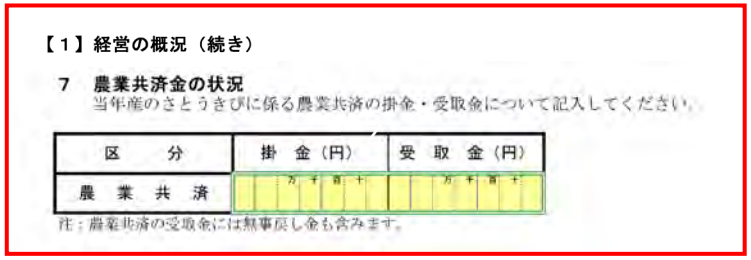
（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、さとうきび生産のために使用した時間の割合を「さとうきび負担割合」とします。

$$\text{さとうきび負担割合} = \frac{\text{さとうきびに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

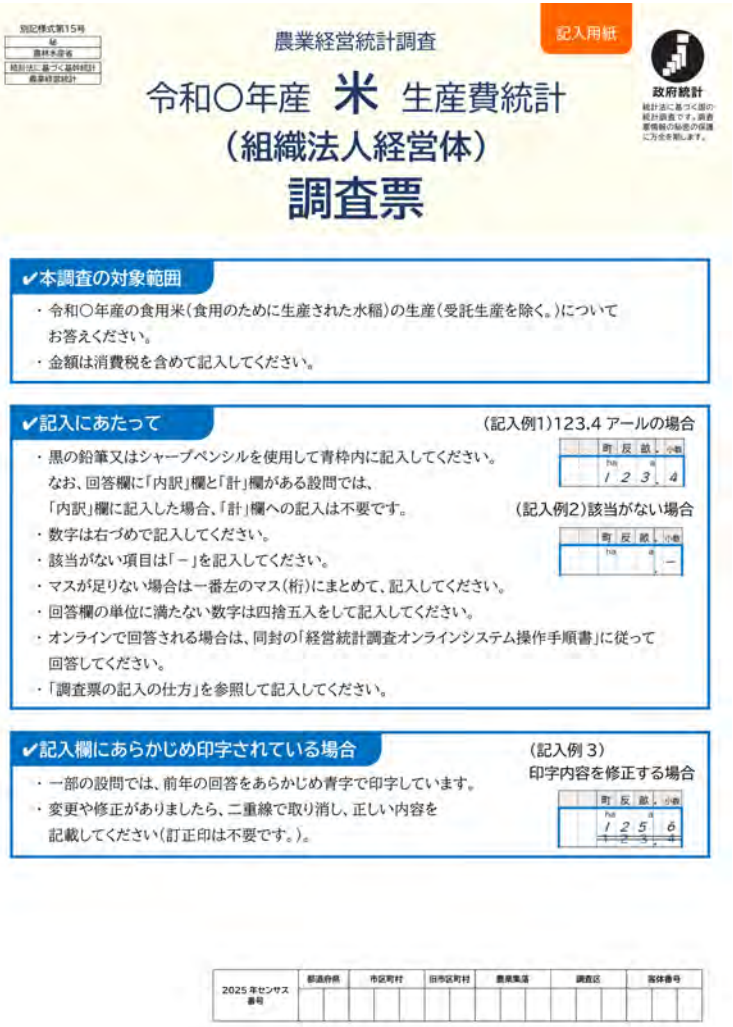
例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うちさとうきび生産のために80時間、さとうきび以外の作物に120時間使用した場合の「さとうきび負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普　通　畑 樹　園　地 牧　草　地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。 区　分 / 用　語　の　説　明 / 男（人） / 女（人） 世　帯　員 家　族 農　業　就　業　者 150 日 以 上 農　業　年　雇 注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安としてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる / いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

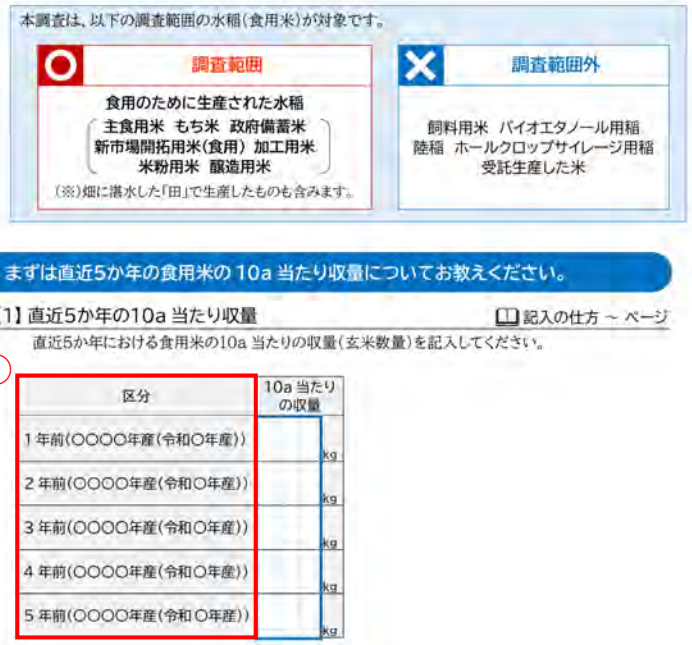
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ５　さとうきびの品種別収穫面積 当年産に収穫したさとうきびの品種名及びその収穫面積を記入してください 区分 / 品種名 / 面積（a） 品種１ 品種２ 品種３ 品種４ 品種５ 注：　面積の合計が当年産のさとうきび収穫面積です。	さとうきびの品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ７　農業共済金の状況 当年産のさとうきびに係る農業共済の掛金・受取金について記入してください。 区分 / 掛金（円） / 受取金（円） 農業共済 注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。	農業共済金の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

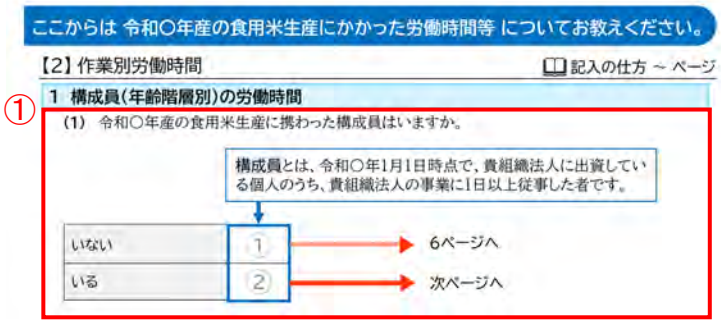
１　農産物生産費統計（米（組織法人経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式15号 １ページ  農業経営統計調査 記入用紙 令和〇年産 米 生産費統計 （組織法人経営体） 調査票 政府統計 ✔本調査の対象範囲 ・令和〇年産の食用米（食用のために生産された水稲）の生産（受託生産を除く。）について お答えください。 ・金額は消費税を含めて記入してください。 ✔記入にあたって （記入例1）123.4 アールの場合 ・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。 なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、 「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。 （記入例2）該当がない場合 ・数字は右づめで記入してください。 ・該当がない項目は「－」を記入してください。 ・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。 ・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。 ・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って 回答してください。 ・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。 ✔記入欄にあらかじめ印字されている場合 （記入例３） 印字内容を修正する場合 ・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。 ・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を 記載してください（訂正印は不要です。）。 2025 年センサス番号	別記様式12号 １ページ  農業経営統計調査 〇年産　米生産費統計調査票 （組織法人経営体用）	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
2ページ 目次 ① 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……8 【4】食用米生産のために使用した資材等 ……10 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……21 【6】物件税及び公課諸負担 ……23 【7】土地改良及び水利費 ……25 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……26 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……28 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……30 【11】土地の面積及び地代 ……32 ① 【12】作付ほ場の状況 ……35 【13】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……37	3ページ 調　査　事　項 ① ページ 【1】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、食用米生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。 【2】 生産物の販売等の状況 …… 5 食用米、稲わら及びふるい下米等の販売状況等について記入してください。 【3】 食用米の生産のために使用した資材等 …… 6 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。 【4】 物件税及び公課諸負担 …… 9 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【5】 土地改良及び水利費 …… 9 土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。 【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9 借入金残高、支払利子について記入してください。 【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 14 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 15 構成員、雇用別の作業労働時間、田植・収穫の開始日と終了日、雇用者に支払った賃金について記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は39～43ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  	３ページ 【1】経営の概況 5　直近５か年の10ａ当たり収量 直近５か年における食用米の10ａ当たり収量を記入してください。 ① 区　分 1年前 2年前 3年前 4年前 5年前 10ａ当たり収量（kg） 本調査の対象作物は、食用米（食用に供する水稲のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米）です。 食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含めないでください。	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更（以下同じ） 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化（以下同じ） 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更（以下同じ） 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、水稲（食用米）の調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ（変更前15ページと対比）		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、食用米生産に携わった構成員の有無を確認する設問を追加 ②報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間」の設問を「1 構成員（年齢階層別）の労働時間」と「2 雇用労働時間」に設問を分離 ③実人数について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ



ここからは 令和〇年産の食用米生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ ページ

1 構成員（年齢階層別）の労働時間

(1) 令和〇年産の食用米生産に携わった構成員はいますか。

構成員とは、令和〇年1月1日時点で、貴組織法人に出資している個人のうち、貴組織法人の事業に1日以上従事した者です。

いない	1	→ 6ページへ
いる	2	→ 次ページへ

つづく



【2】作業別労働時間（つづき）　　記入の仕方 ～ ページ

(2) （(1)で「いる」を選択した方のみお答えください。）令和〇年産の食用米生産における構成員の延べ労働時間について、作業別・年齢階層別に記入してください。

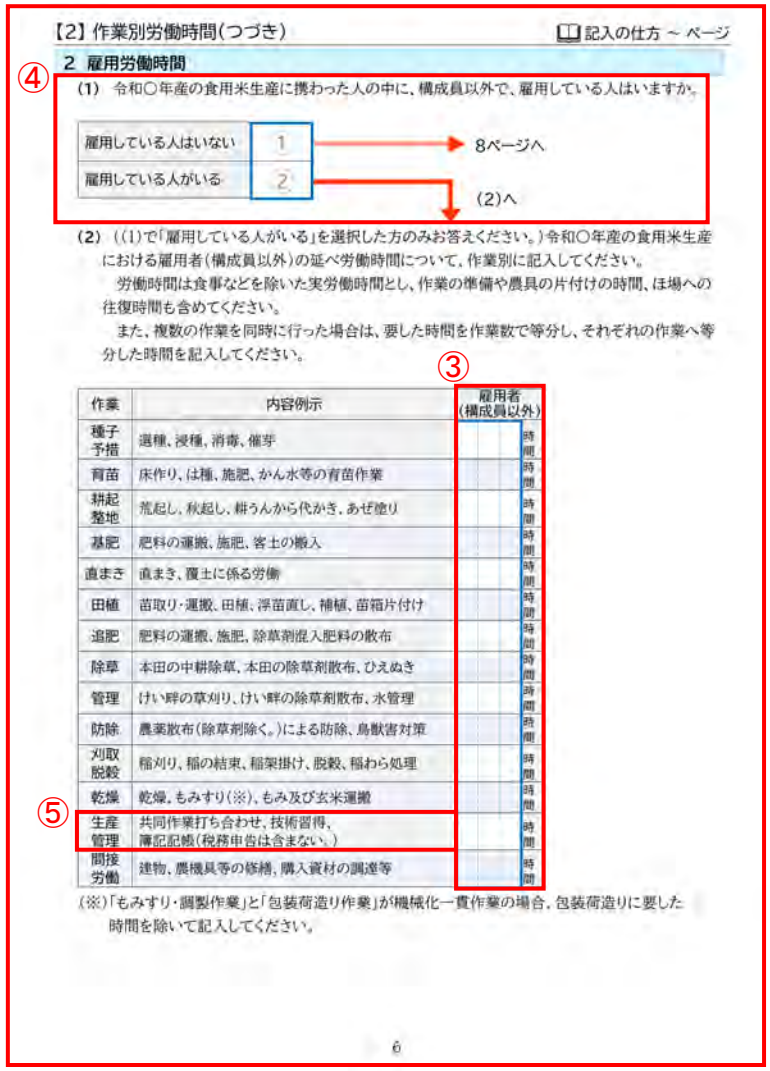
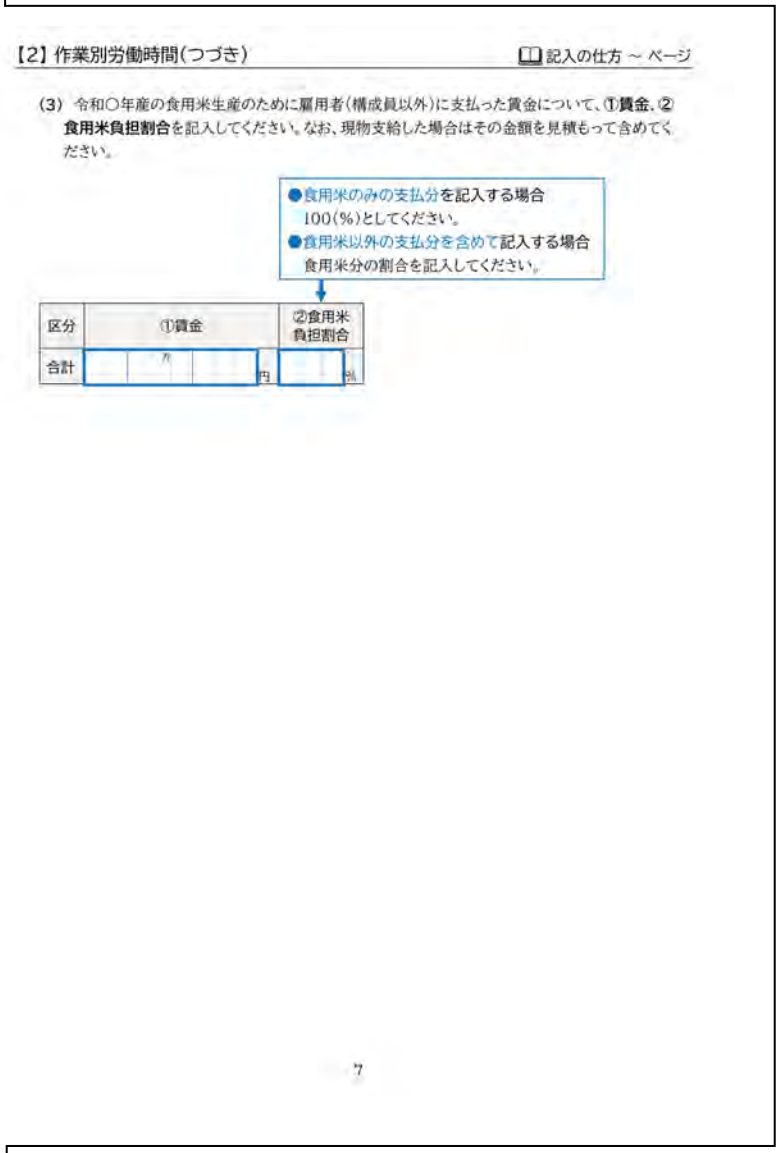
労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

作業	内容例示	構成員の年齢階層 65歳未満	65～69歳	70～74歳	75歳以上
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間	時間	時間	時間
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間	時間	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間	時間	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間	時間	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間	時間	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間	時間	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり（※）、もみ及び玄米運搬	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打ち合わせ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間

（※）「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～７ページ（変更前15ページと対比） ②  つづく		②同上 ③同上 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、構成員以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加 ⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
②	15ページ	②同上 ③同上

【12】作業別労働時間

当年産の食用米生産における主な作業時間（受託による作業時間は含みません。）について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。
なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作業種類	内容例示	構成員の年齢階層 65歳未満		65～69歳		70～74歳		75歳以上		雇用 合計		作業種類
		③延べ作業時間	実人数	③延べ作業時間	実人数	③延べ作業時間	実人数	③延べ作業時間	実人数	③延べ作業時間	実人数	
		時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽											種子予措
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業											育苗
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り											耕起整地
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入											基肥
直まき	直まき、覆土に係る労働											直まき
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け											田植
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布											追肥
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき											除草
管理	畦畔の草刈り、畦畔の除草剤散布、水管理											管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理											刈取脱穀
乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米運搬											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

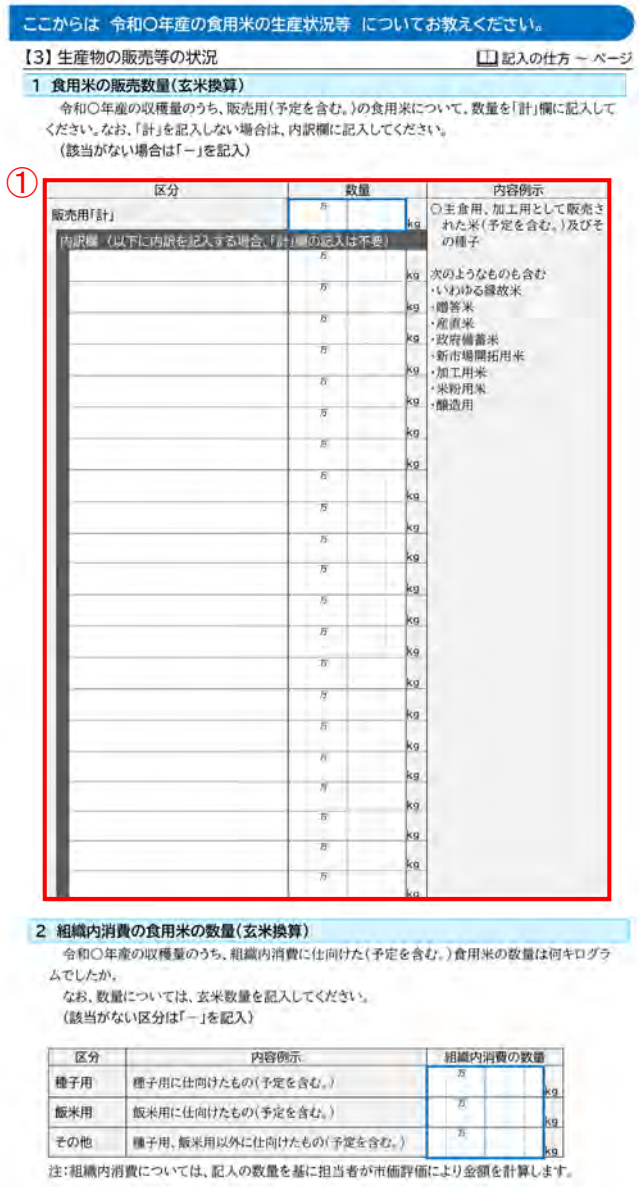
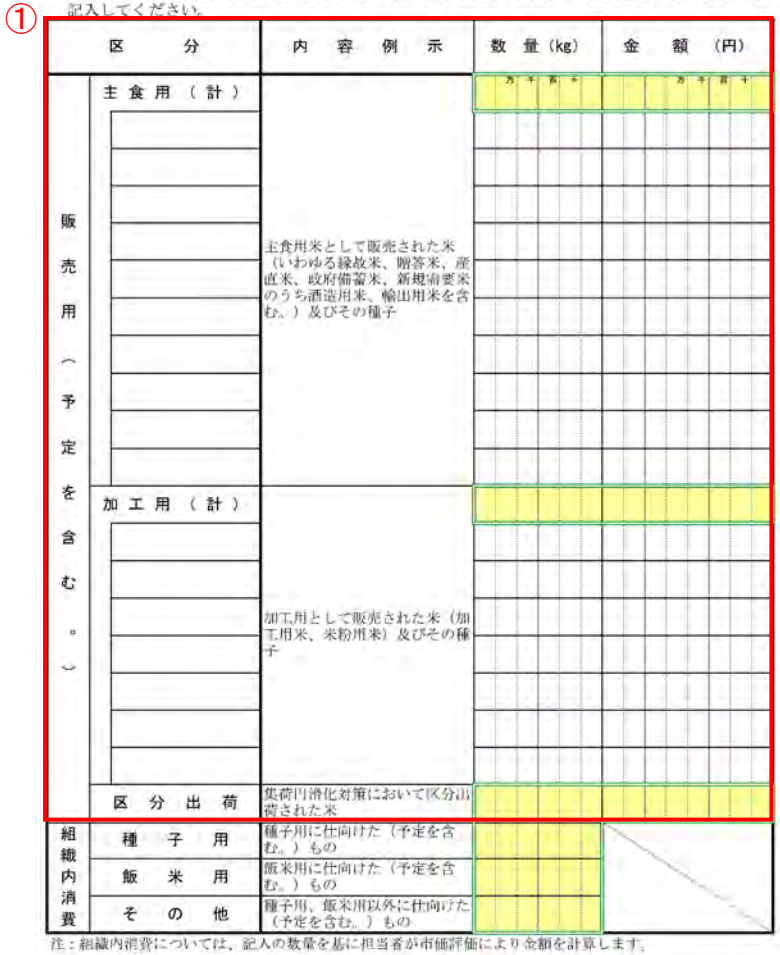
注：「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した作業時間を除いて記入してください。

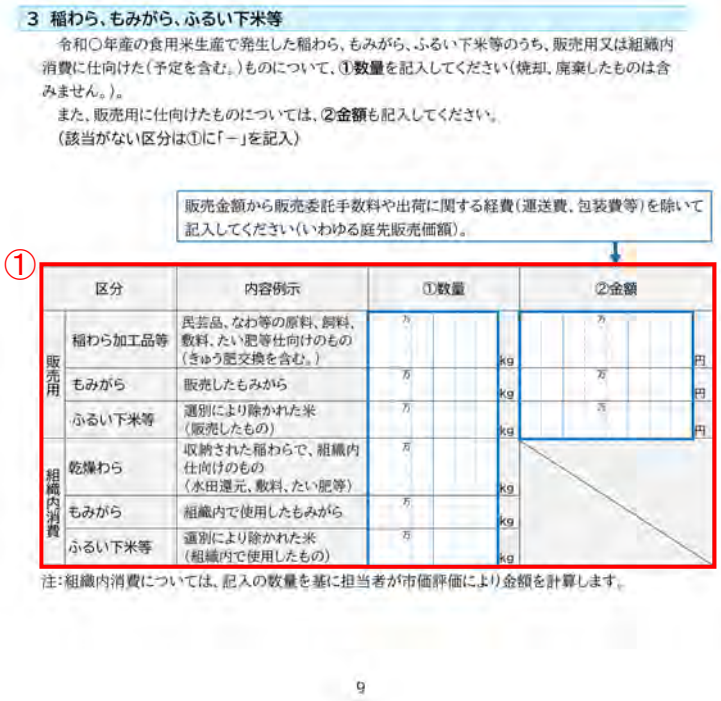
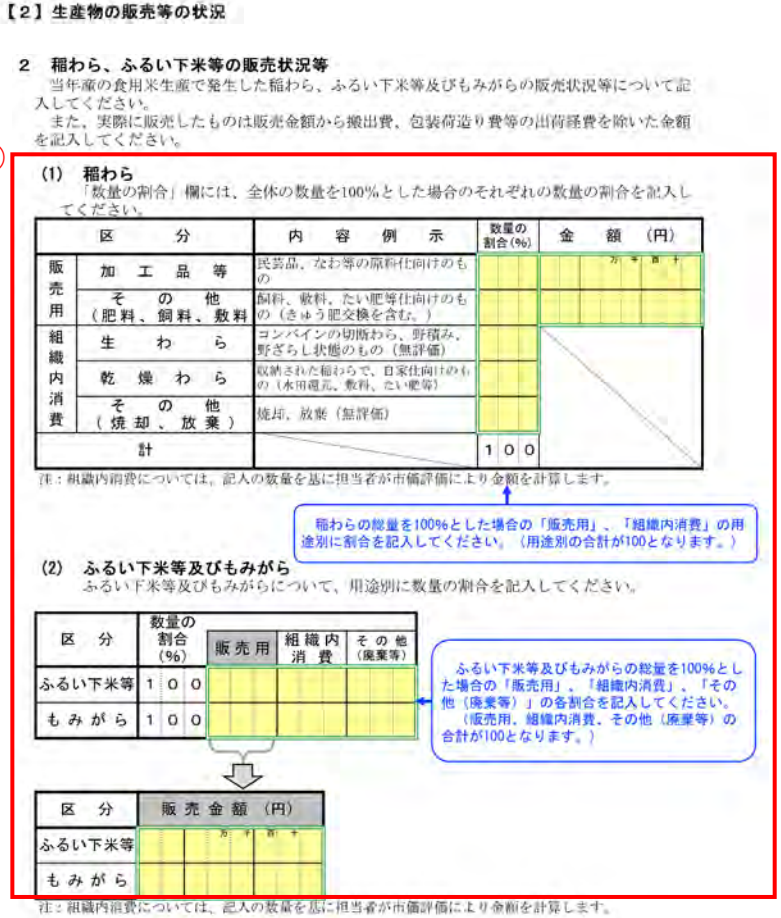
3　支払賃金

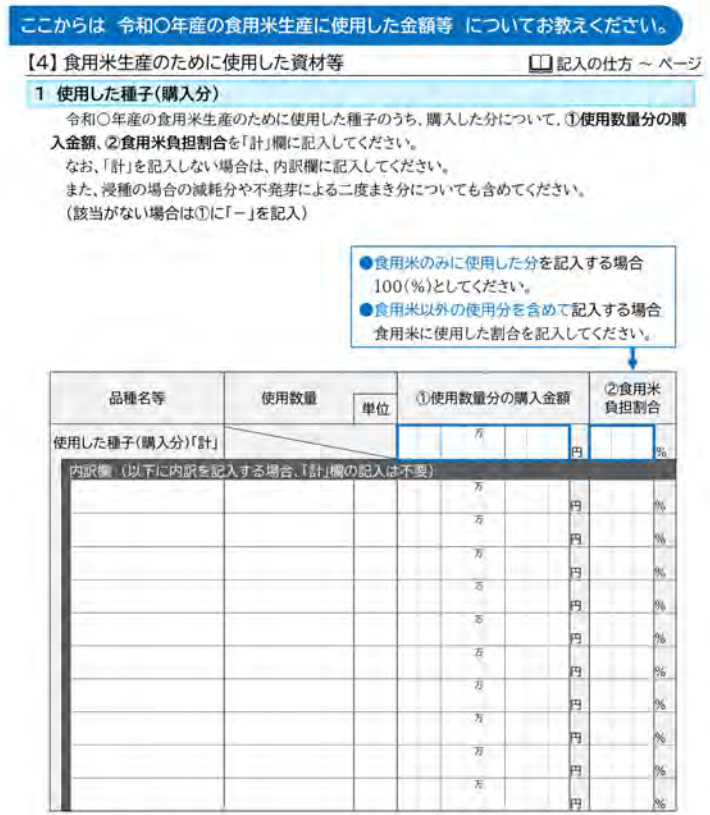
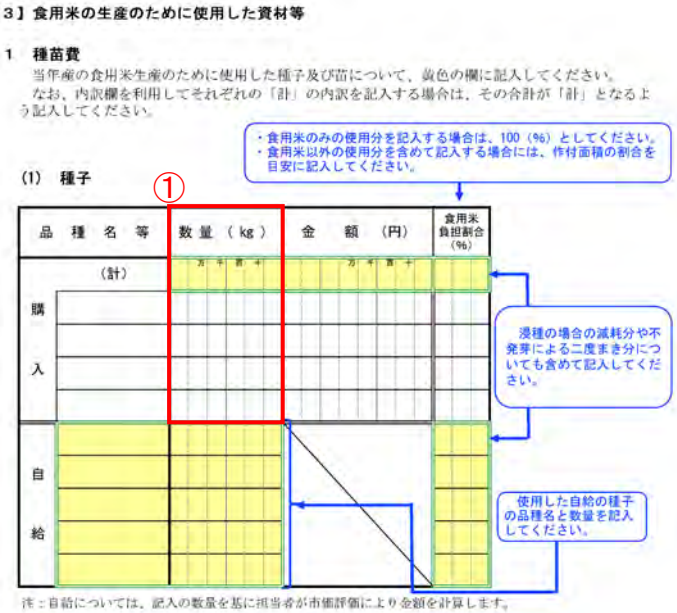
当年産の食用米生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

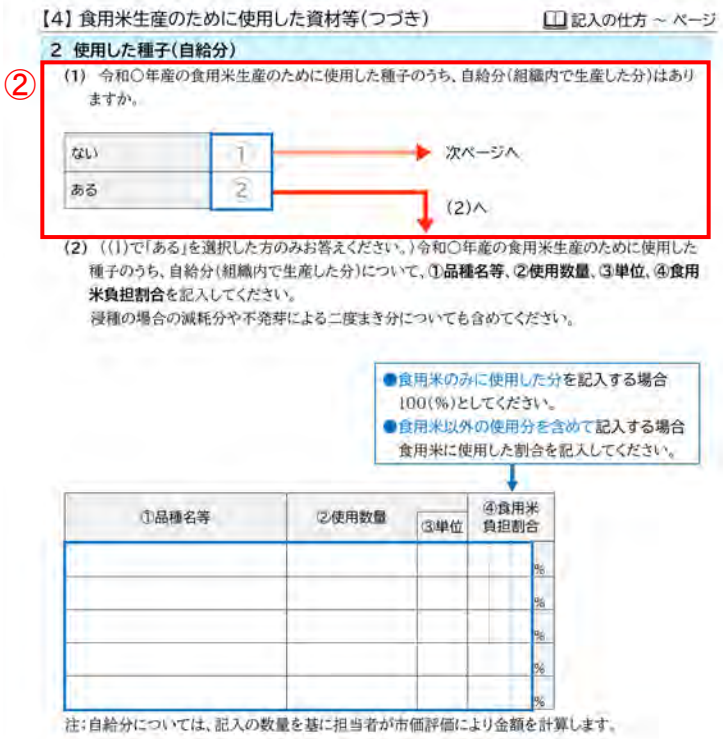
区分	支払賃金（円）	食用米負担割合（%）
合計	万 千 百 十	

・食用米生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

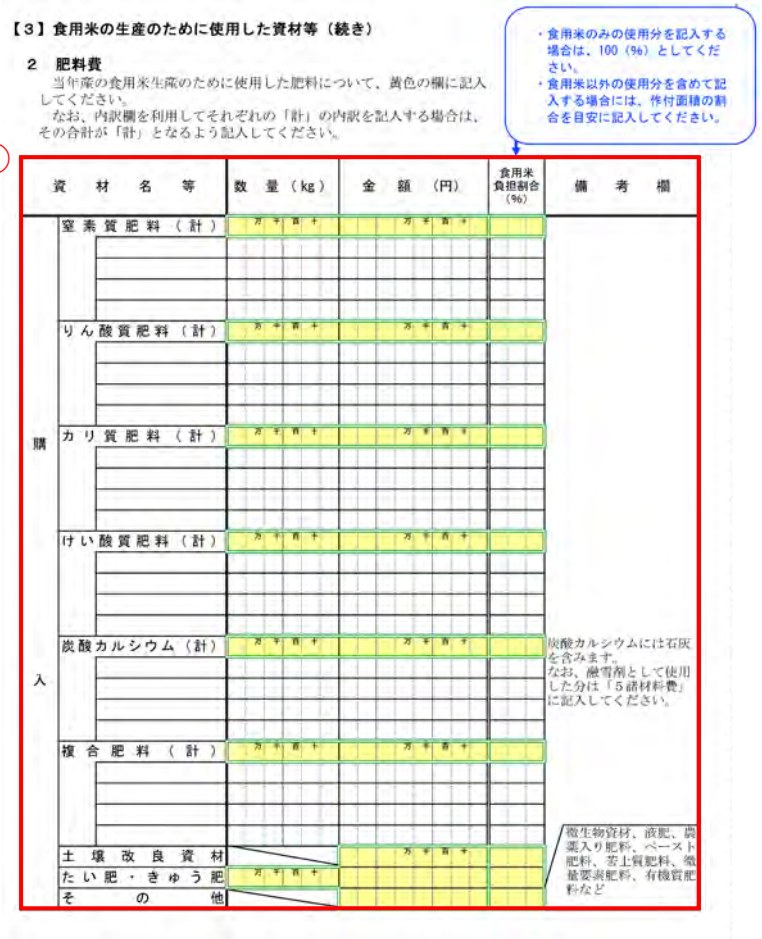
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
８～９ページ 	５ページ 	報告者が記入しやすいよう、組織内消費の食用米の数量に関する設問を分離 ①食用米の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため、「主食用（計）」、「加工用（計）」、「区分出荷」及び「金額（円）」を削除し、「販売用「計」」の数量のみを把握するよう変更

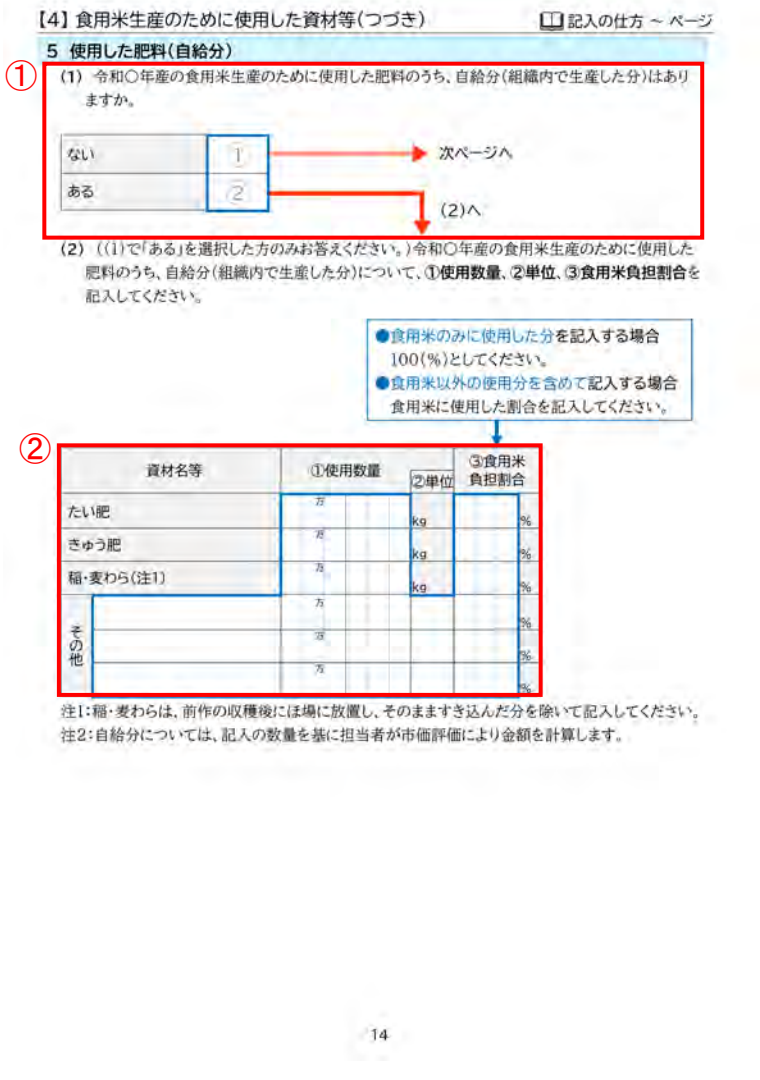
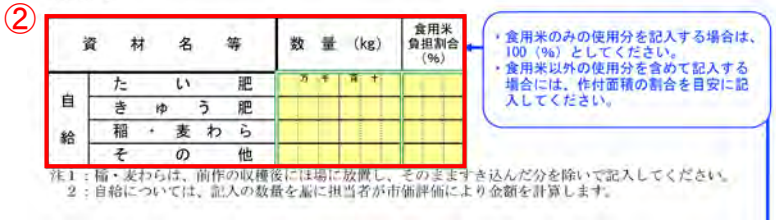
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ 	５ページ 	①報告者の記入負担軽減を図るため、稲わら、もみがら及びふるい下米等の設問を統合するとともに、区分の内容を見直し、無評価の数量の把握をとりやめ

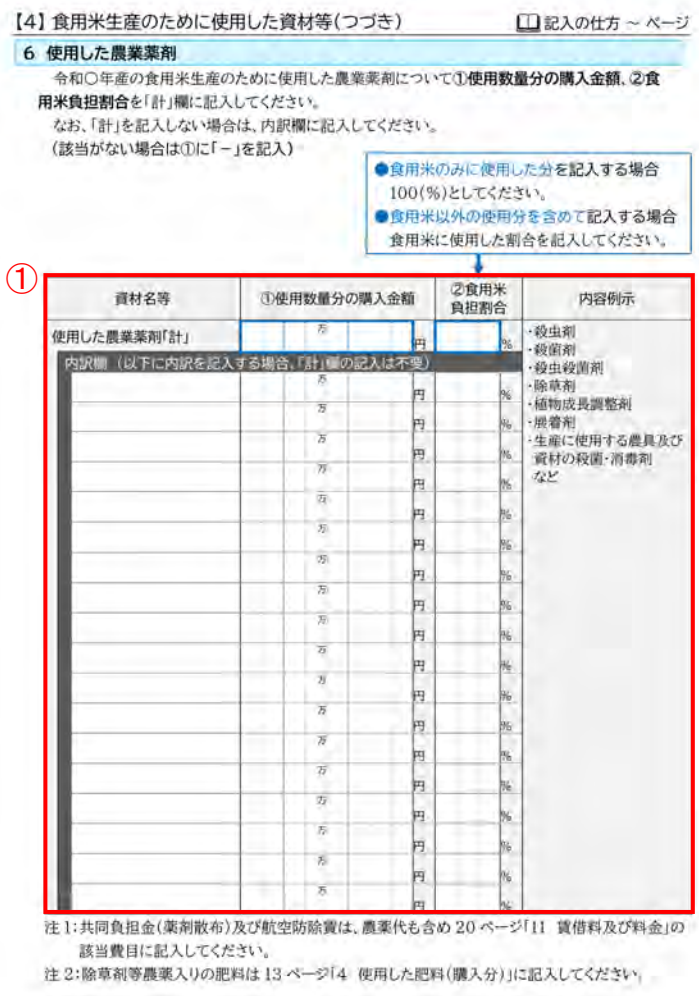
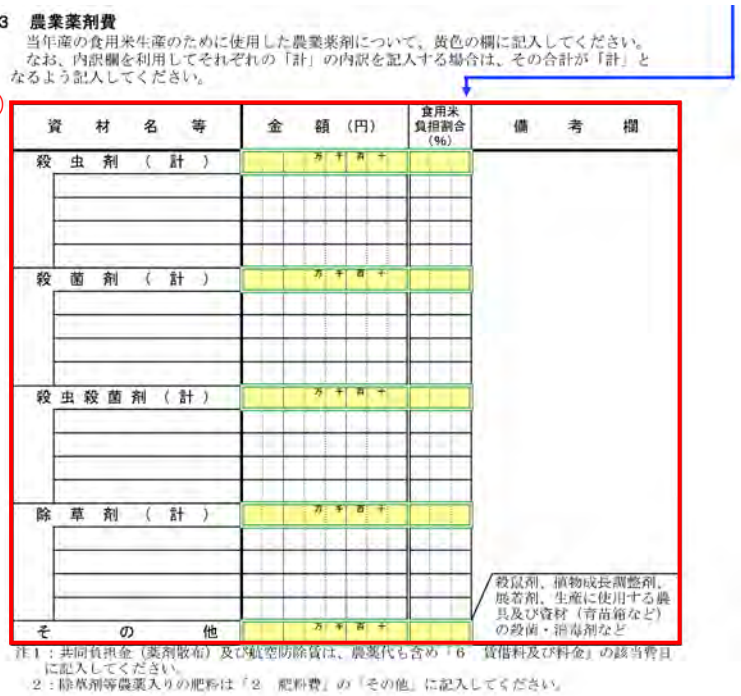
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ  	6ページ  	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①使用した種子(購入分)について、報告者の記入負担軽減を図るため、「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握し、回答が必須であった「数量」については、必要に応じて記入する扱いに変更

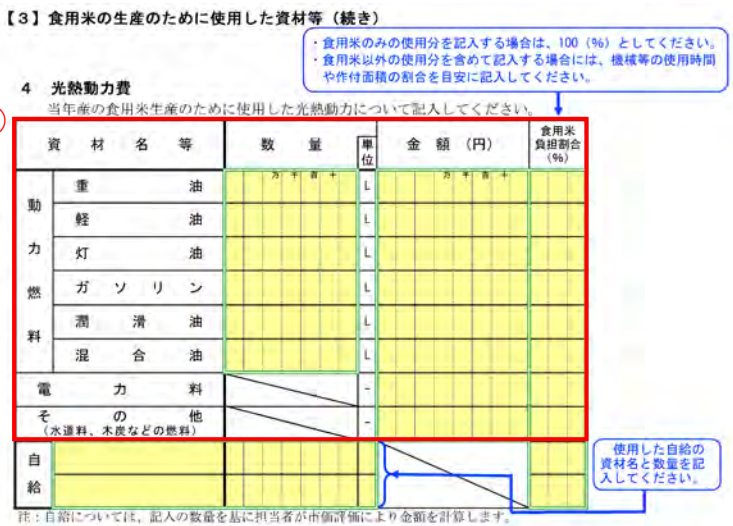
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ（変更前６ページと対比） 		②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子（自給分）の有無を確認する設問を追加

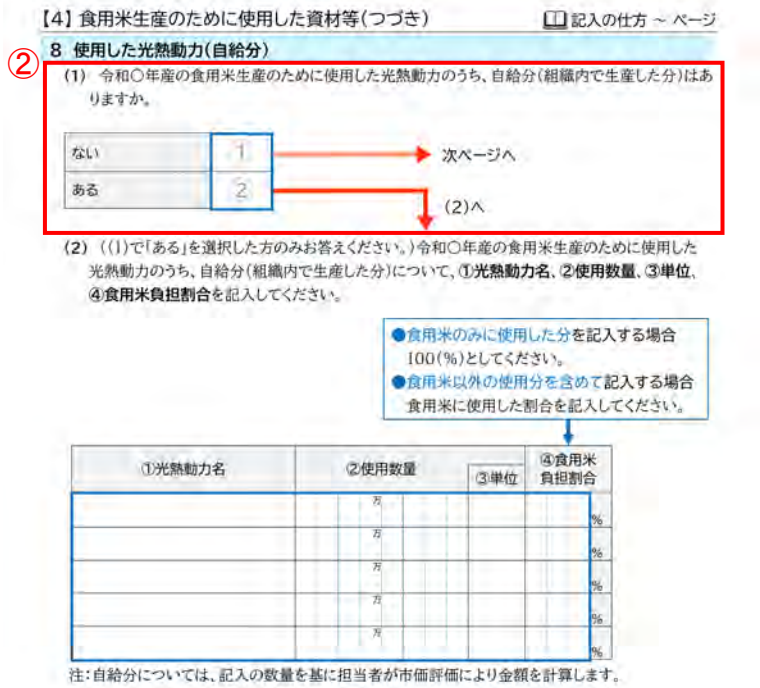
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ  【4】食用米生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 3 使用した苗(購入分) 令和○年産の食用米生産のために使用した苗のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。 品種名等 / 使用数量 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②食用米負担割合 使用した苗(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 12	6ページ  【3】食用米の生産のために使用した資材等 1 種苗費 (2) 苗 ① ・食用米のみの使用分を記入する場合は、100 (%) としてください。 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 品種名等 / 植え付けた面積 (a) / 金額 (円) / 食用米負担割合 (%) (計) 購入	①使用した苗(購入分)について、報告者の記入負担軽減を図るため、「金額」と「食用米負担割合」を把握し、回答が必須であった「植え付けた面積(a)」については「使用数量」として必要に応じて記入する扱いに変更

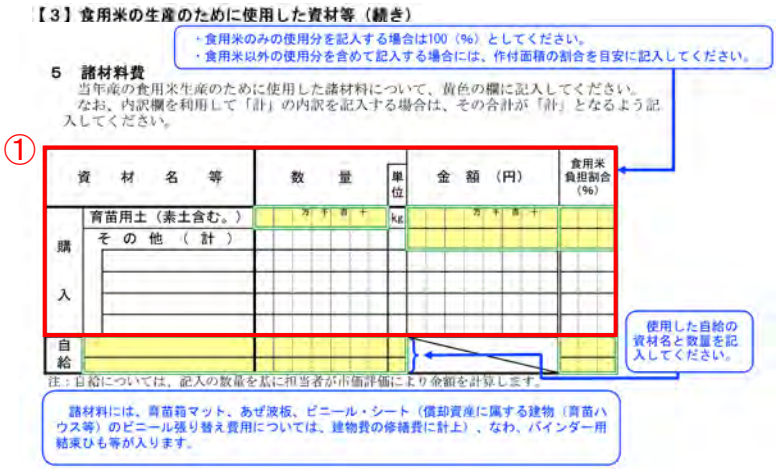
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ 	7 ページ 	①肥料費について、報告者の記入負担軽減を図るため、「窒素質肥料(計)」、「りん酸質肥料(計)」、「カリ質肥料(計)」、「けい酸質肥料(計)」、「炭酸カルシウム(計)」、「複合肥料(計)」、「土壌改良資材」、「たい肥・きゅう肥」及び「その他」の記入欄を削除し、「使用した肥料(購入分)「計」」の「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更 なお、回答が必須であった「数量」については、必要に応じて記入する扱いに変更

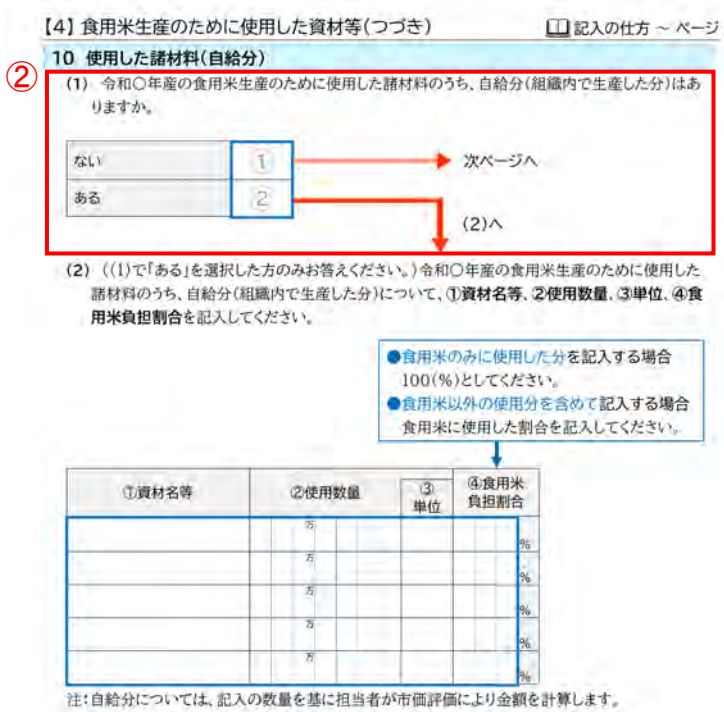
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ  【4】食用米生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 5 使用した肥料(自給分) ① (1) 令和○年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。 ない 1 → 次ページへ ある 2 → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)について、①使用数量、②単位、③食用米負担割合を記入してください。 ●食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。 ② 資材名等 / ①使用数量(万 千 百 十) / ②単位 / ③食用米負担割合 たい肥 kg % きゅう肥 kg % 稲・麦わら(注1) kg % その他 % 注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 14	7 ページ  【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き） 2 肥料費（続き） 当年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自家で生産した肥料について記入してください。 ② 資材名等 / 数量(kg)(万 千 百 十) / 食用米負担割合(%) 自給: たい肥 / きゅう肥 / 稲・麦わら / その他 ・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

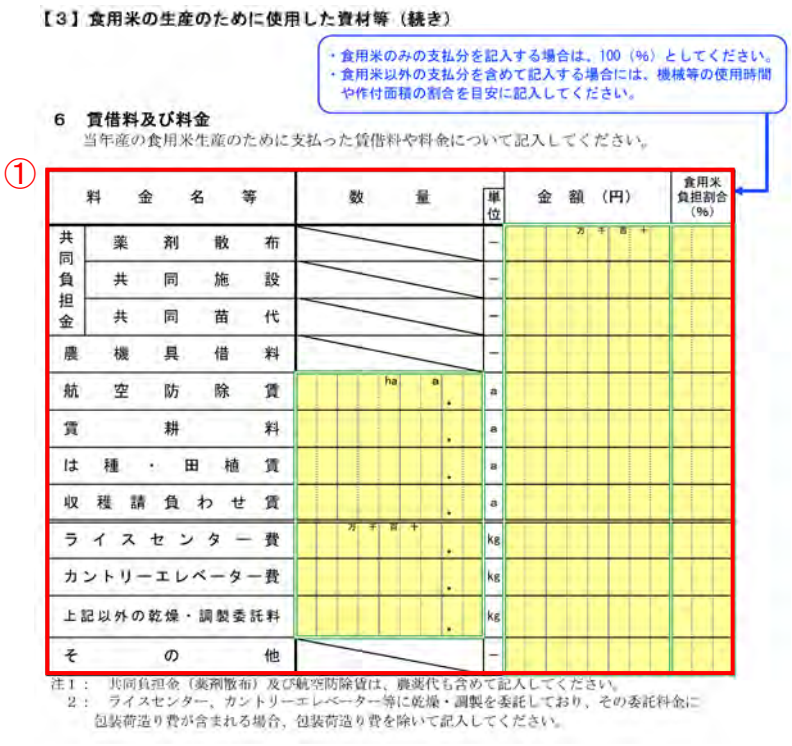
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ 	7 ページ 	①農業薬剤費について、報告者の記入負担軽減を図るため、「殺虫剤(計)」、「殺菌剤(計)」、「殺虫殺菌剤(計)」、「除草剤(計)」及び「その他」の記入欄を削除し、「使用した農業薬剤「計」」を把握するよう変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ 	8ページ 	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①使用した光熱動力（購入分）について、報告者の記入負担軽減を図るため、「使用した光熱動力（購入分）「計」」の「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更 なお、回答が必須であった「数量」及び動力燃料等の内訳については、必要に応じて記入する扱いに変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ（変更前８ページと対比）  【4】食用米生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ ② 8 使用した光熱動力(自給分) (1) 令和○年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。 ない 1 → 次ページへ ある 2 → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④食用米負担割合**を記入してください。 ●食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。 ①光熱動力名 / ②使用数量 / ③単位 / ④食用米負担割合 万 / % 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 17		②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力(自給分)の有無を確認する設問を追加

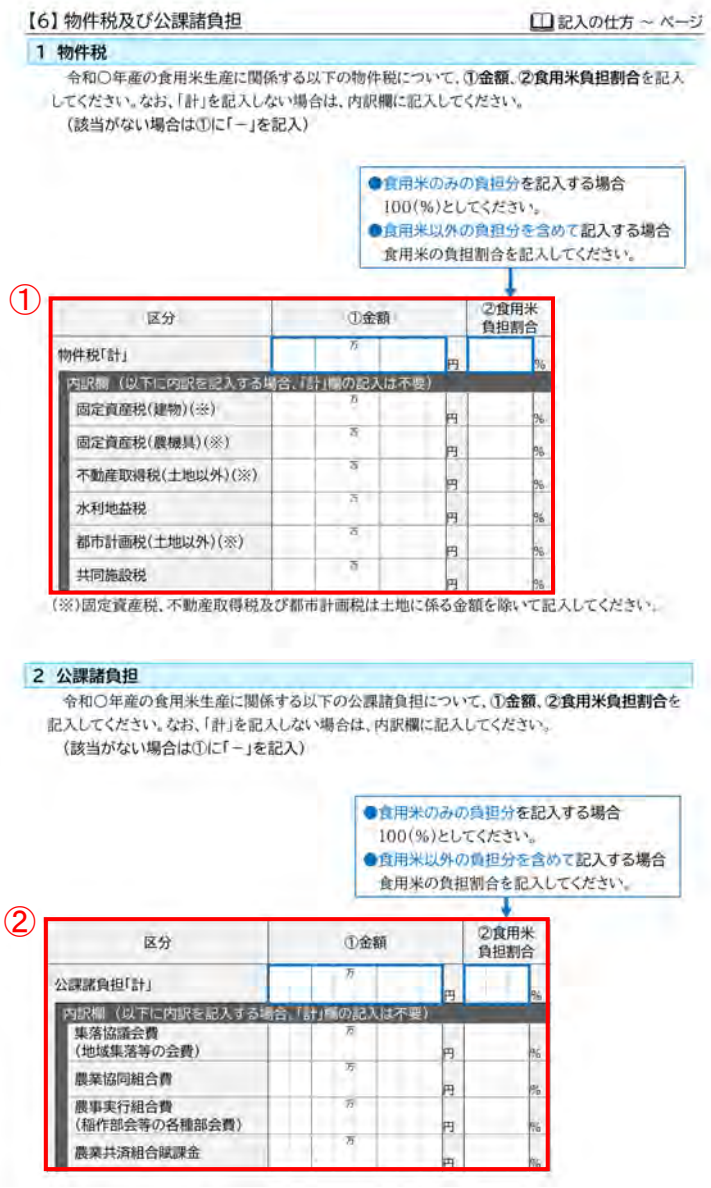
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ 	8ページ 	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①使用した諸材料（購入分）について、報告者の記入負担軽減を図るため、「育苗用土（素土含む。）」及び「その他（計）」を削除し、「使用した諸材料（購入分）「計」」の「使用数量分の購入金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更 なお、回答が必須であった「数量」については、必要に応じて記入する扱いに変更

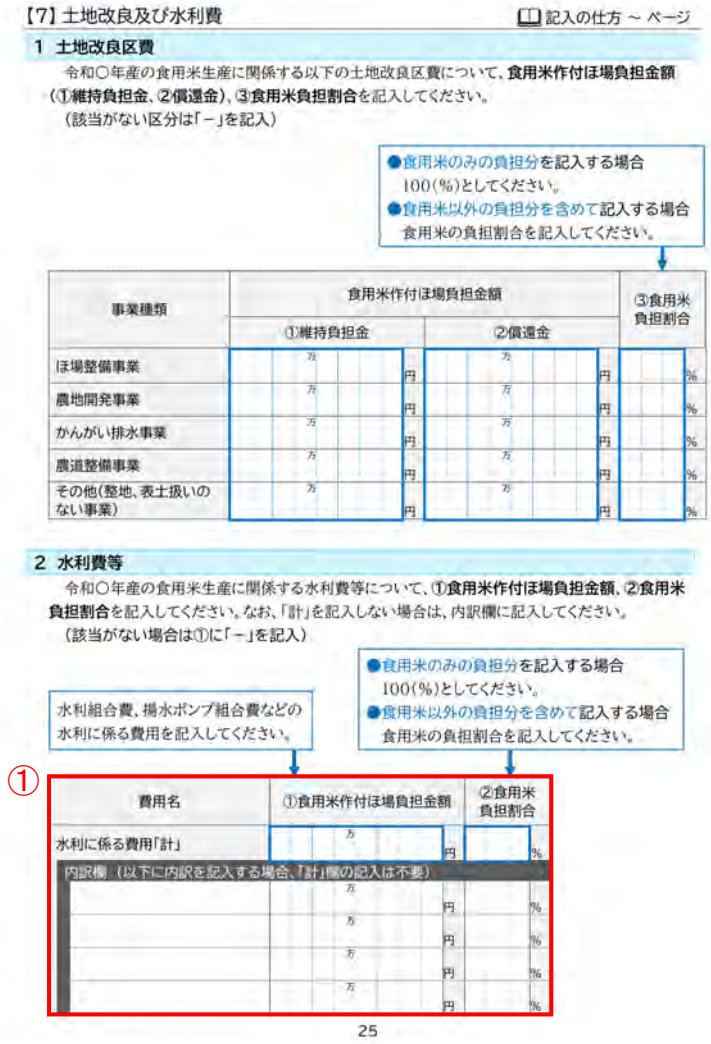
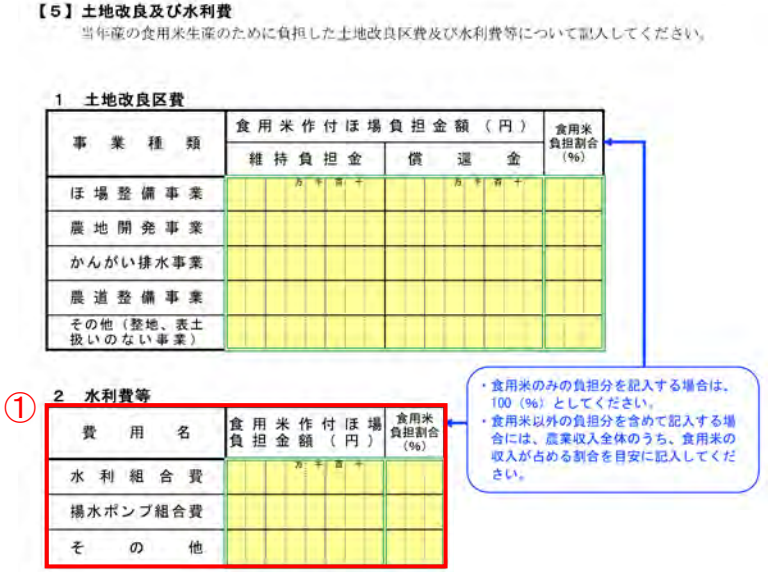
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ（変更前８ページと対比）  【4】食用米生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 10 使用した諸材料(自給分) ② (1) 令和○年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。 ない 1 → 次ページへ ある 2 → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①資材名等、②使用数量、③単位、④食用米負担割合**を記入してください。 ●食用米のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の使用分を含めて記入する場合 食用米に使用した割合を記入してください。 ①資材名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④食用米負担割合 万 / % 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 19		②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ 	8ページ 	①賃借料及び料金について、報告者の記入負担軽減を図るため、「賃借料及び料金「計」」の「支払金額」と「食用米負担割合」を把握するよう変更 　なお、回答が必須であった「数量」及び共同負担金等の内訳については、必要に応じて記入する扱いに変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21～22ページ（変更前13ページと対比）  		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ 	13ページ	同上

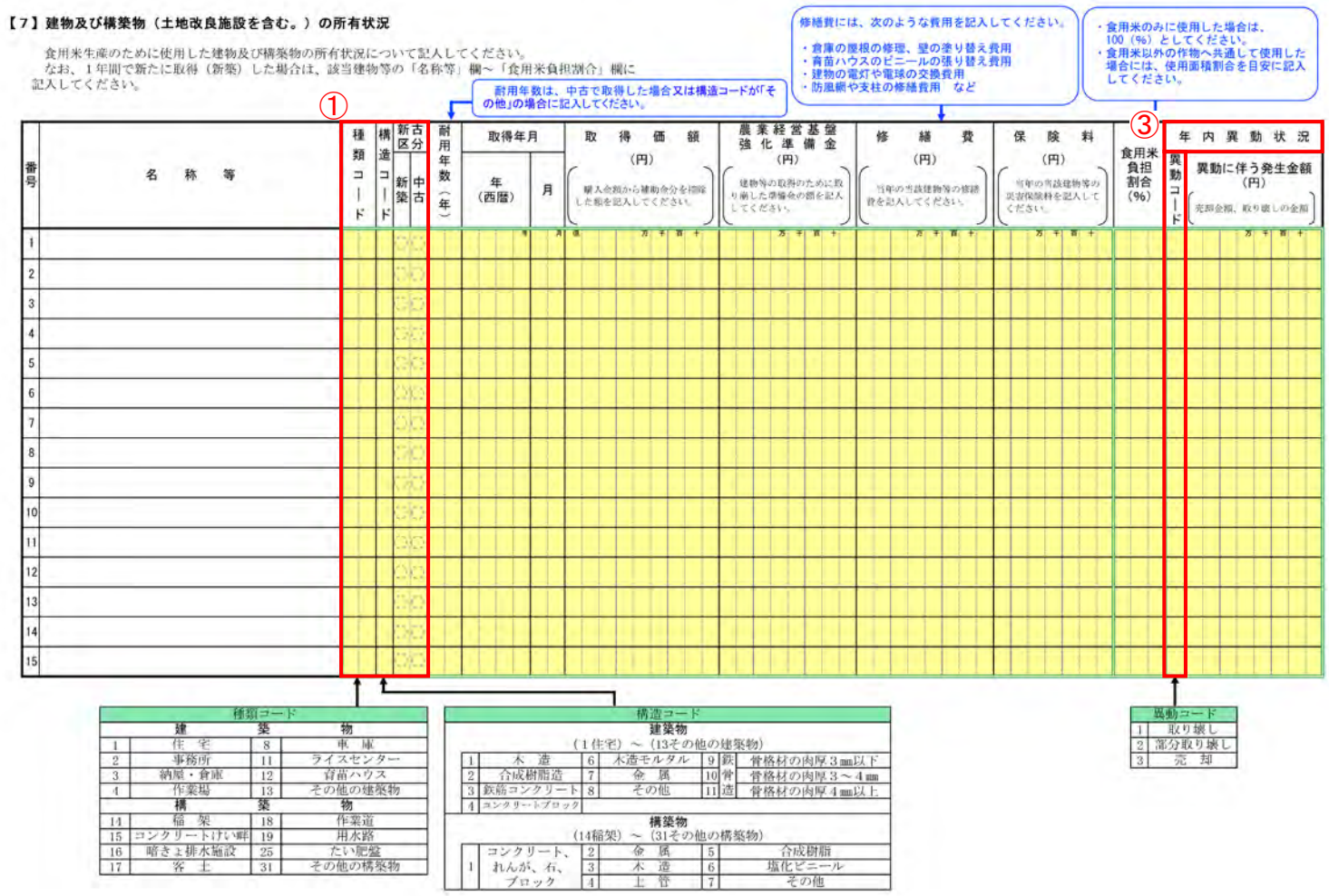
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23～24ページ  【6】物件税及び公課諸負担　記入の仕方 ～ページ 1 物件税 令和〇年産の食用米生産に関係する以下の物件税について、**①金額、②食用米負担割合**を記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●食用米のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の負担分を含めて記入する場合 食用米の負担割合を記入してください。 ① 区分 / ①金額 / ②食用米負担割合 物件税「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 固定資産税(建物)(※) 固定資産税(農機具)(※) 不動産取得税(土地以外)(※) 水利地益税 都市計画税(土地以外)(※) 共同施設税 (※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。 2 公課諸負担 令和〇年産の食用米生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額、②食用米負担割合**を記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●食用米のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。 ●食用米以外の負担分を含めて記入する場合 食用米の負担割合を記入してください。 ② 区分 / ①金額 / ②食用米負担割合 公課諸負担「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要） 集落協議会費（地域集落等の会費） 農業協同組合費 農事実行組合費（稲作部会等の各種部会費） 農業共済組合賦課金	9ページ  【4】物件税及び公課諸負担 1 物件税 1年間に負担した食用米生産に関係する物件税について記入してください。 ① 区分 / 金額（円） / 食用米負担割合（%） 固定資産税（建物） 固定資産税（農機具） 不動産取得税（土地以外） 水利地益税 都市計画税（土地以外） 共同施設税 ・食用米のみの負担分を記入する場合は100（%）としてください。 ・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。 固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合** 固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合** 注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係るものを除いて記入してください。 2 公課諸負担 1年間に負担した食用米生産に関係する公課諸負担について記入してください。 ② 区分 / 金額（円） / 食用米負担割合（%） 集落協議会費（地域集落等の会費） 農業協同組合費 農事実行組合費（稲作部会等の会費） 農業共済組合賦課金 ・食用米のみの負担分を記入する場合は100（%）としてください。 ・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。 集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合** 農業共済組合賦課金：**作付面積割合**	①物件税について、報告者の記入負担軽減を図るため、物件税「計」を把握し、内訳の「固定資産税（建物）」、「固定資産税（農機具）」、「不動産取得税（土地以外）」、「水利地益税」、「都市計画税（土地以外）」及び「共同施設税」は必要に応じて記入する扱いに変更 ②公課諸負担について、報告者の記入負担軽減を図るため、公課諸負担「計」を把握し、内訳の「集落協議会費（地域集落等の会費）」、「農業協同組合費」、「農事実行組合費（稲作部会等の会費）」及び「農業共済組合賦課金」は必要に応じて記入する扱いに変更

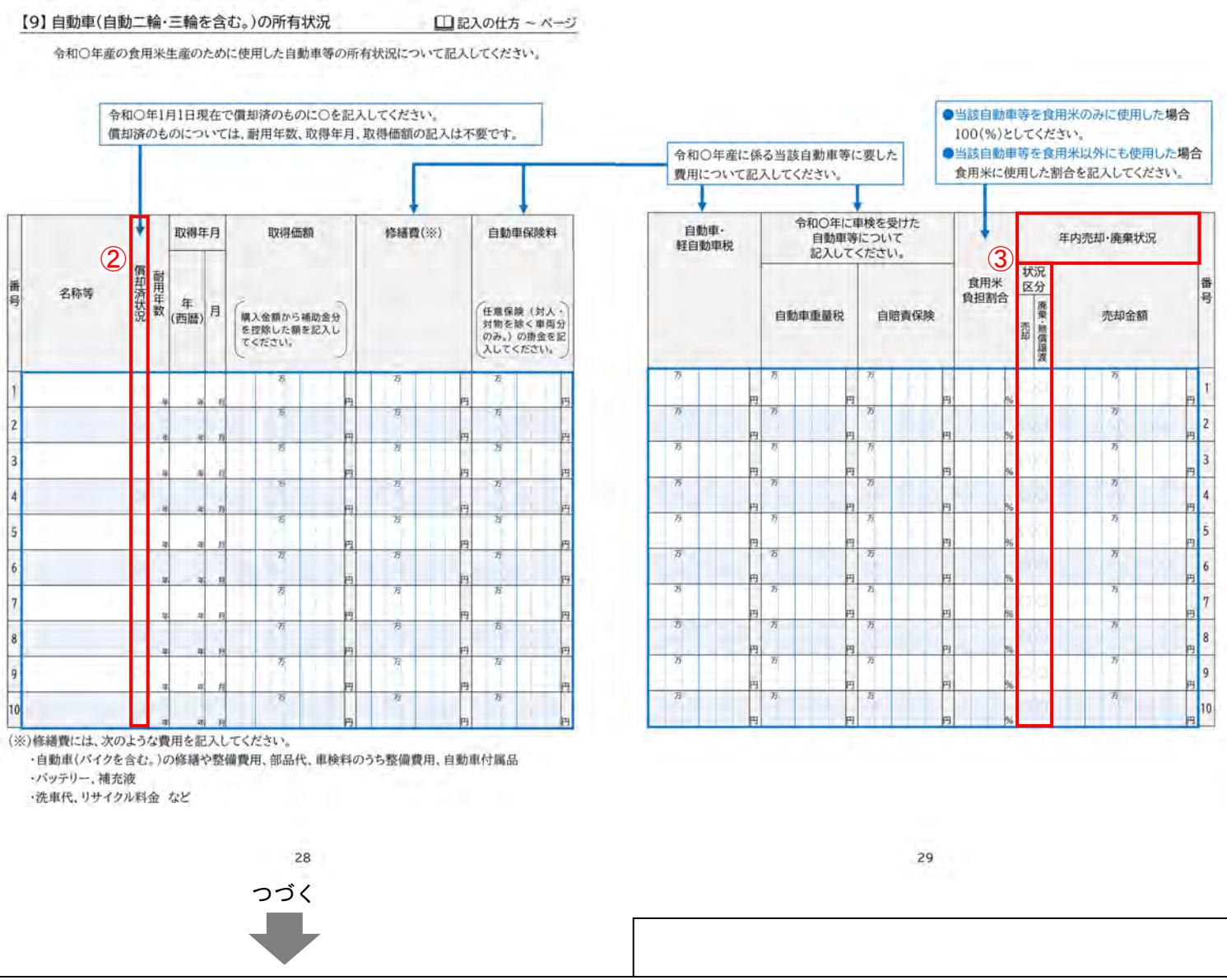
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
25ページ 	９ページ 	①水利費等について、報告者の記入負担軽減を図るため、「水利組合費」、「揚水ポンプ組合費」及び「その他」の内訳を削除し、「水利に係る費用「計」」を把握するよう変更 　なお、回答が必須であった水利費等の内訳については、必要に応じて記入する扱いに変更

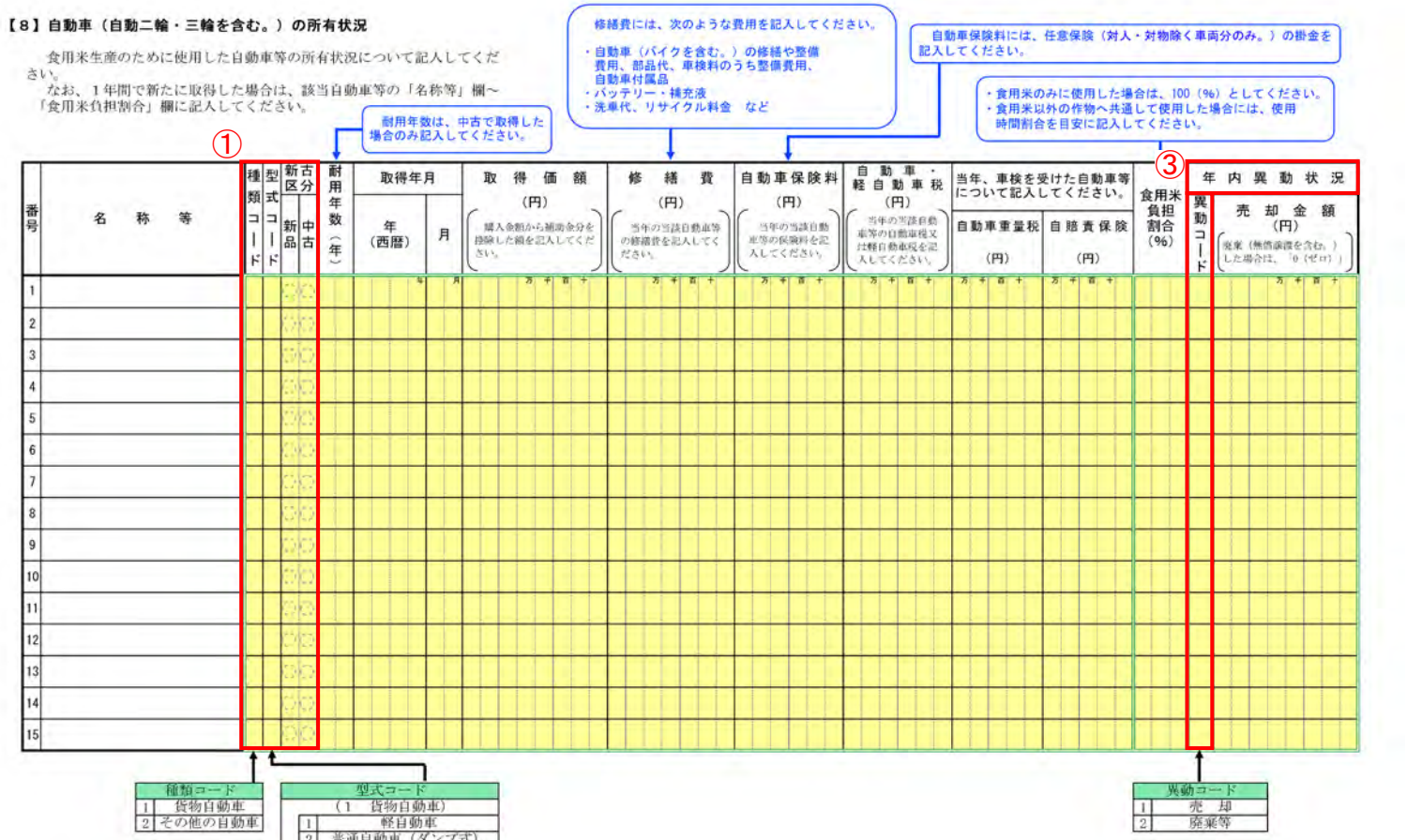
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ（変更前10ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「区分状況」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加

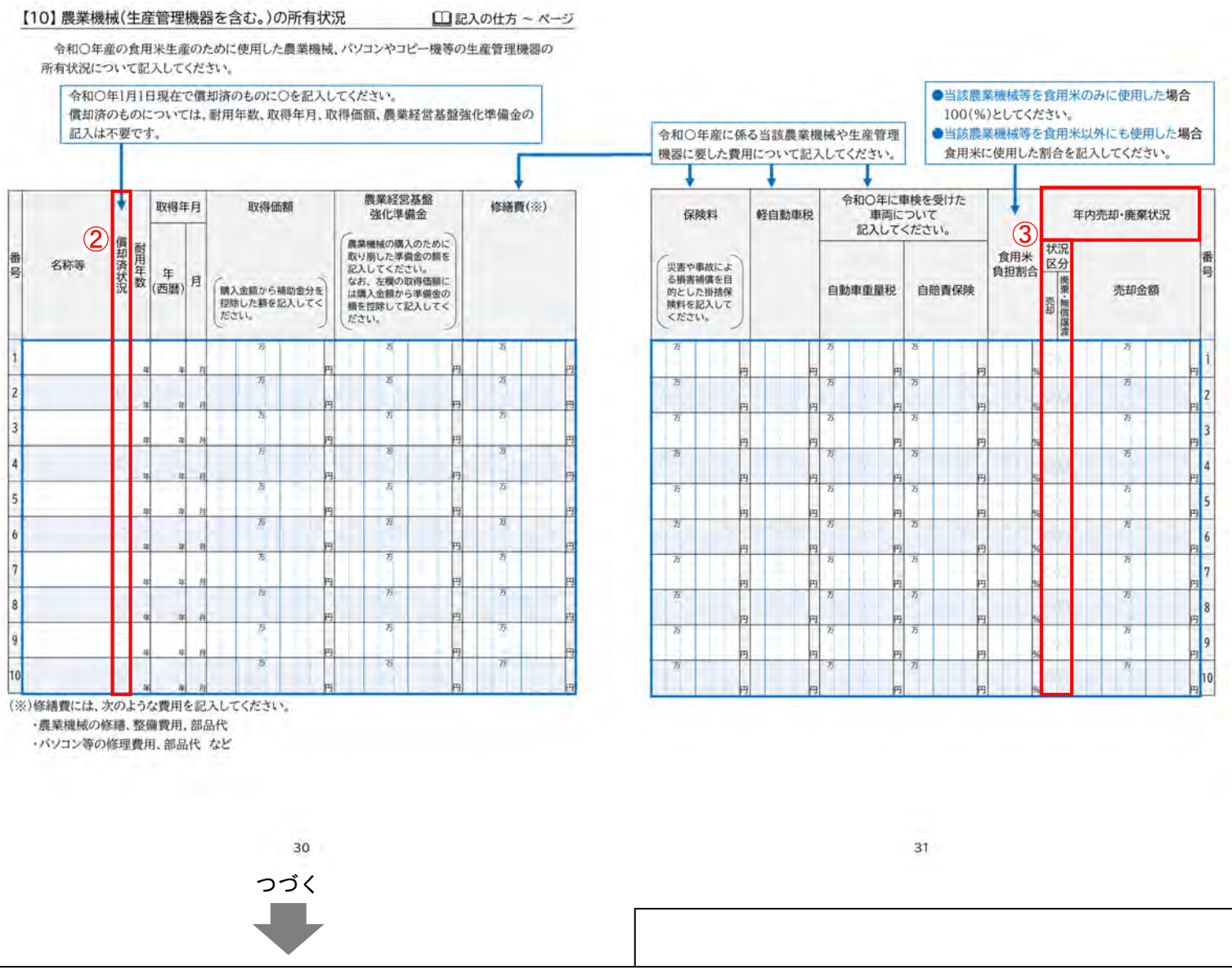


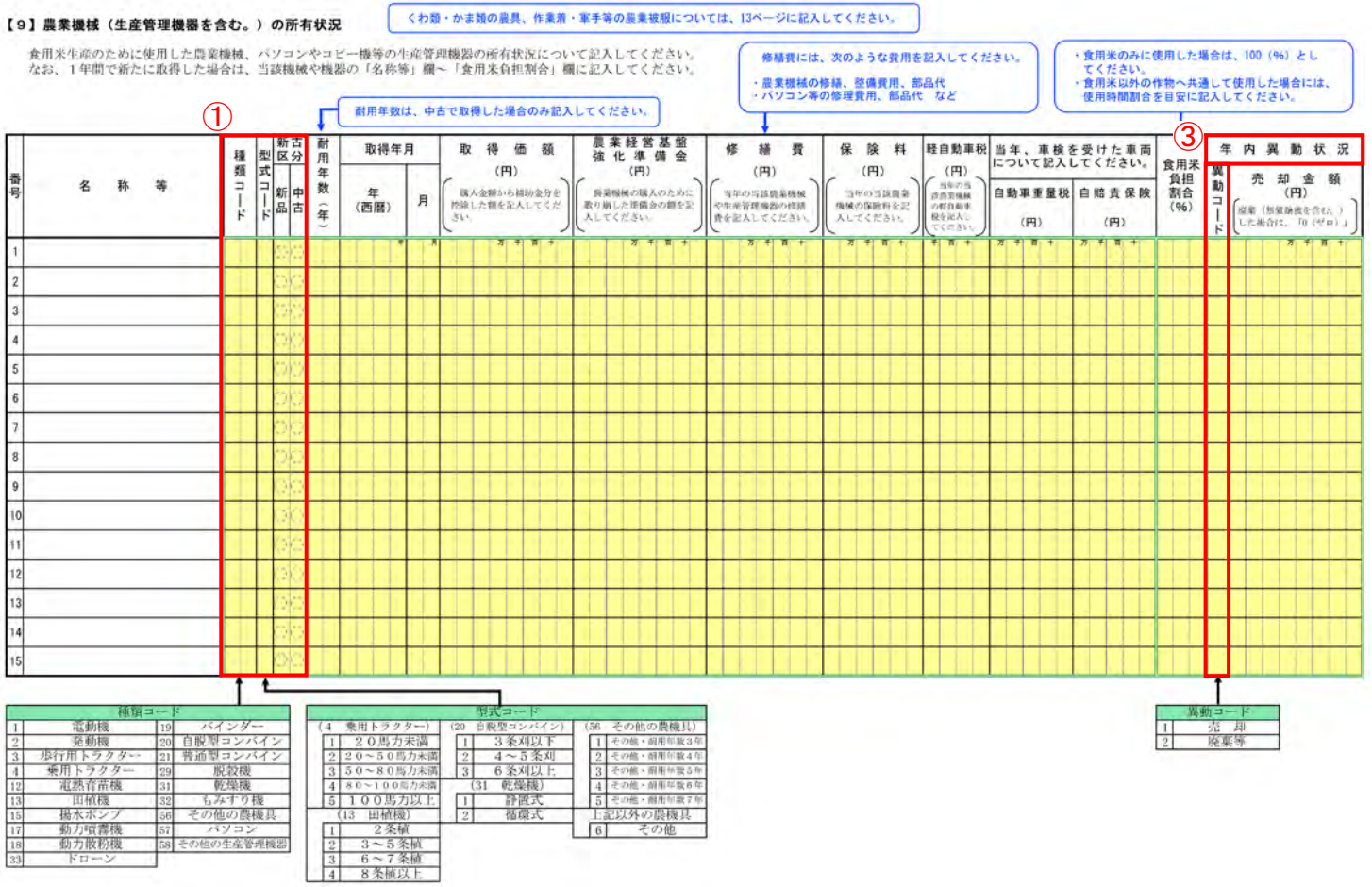
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前11ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前12ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	12ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ（変更前14ページと対比） ①		記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記（以下同じ） ①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更

【11】土地の面積及び地代　記入の仕方 ～ ページ

1 作付地

令和〇年産の食用米生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤食用米負担割合**を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の食用米の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
●食用米のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●食用米以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤食用米負担割合
1		ha a	ha a	%
2		ha a	ha a	%
3		ha a	ha a	%
4		ha a	ha a	%
5		ha a	ha a	%
6		ha a	ha a	%
7		ha a	ha a	%
8		ha a	ha a	%
9		ha a	ha a	%
10		ha a	ha a	%
11		ha a	ha a	%
12		ha a	ha a	%
13		ha a	ha a	%
14		ha a	ha a	%
15		ha a	ha a	%

32

つづく

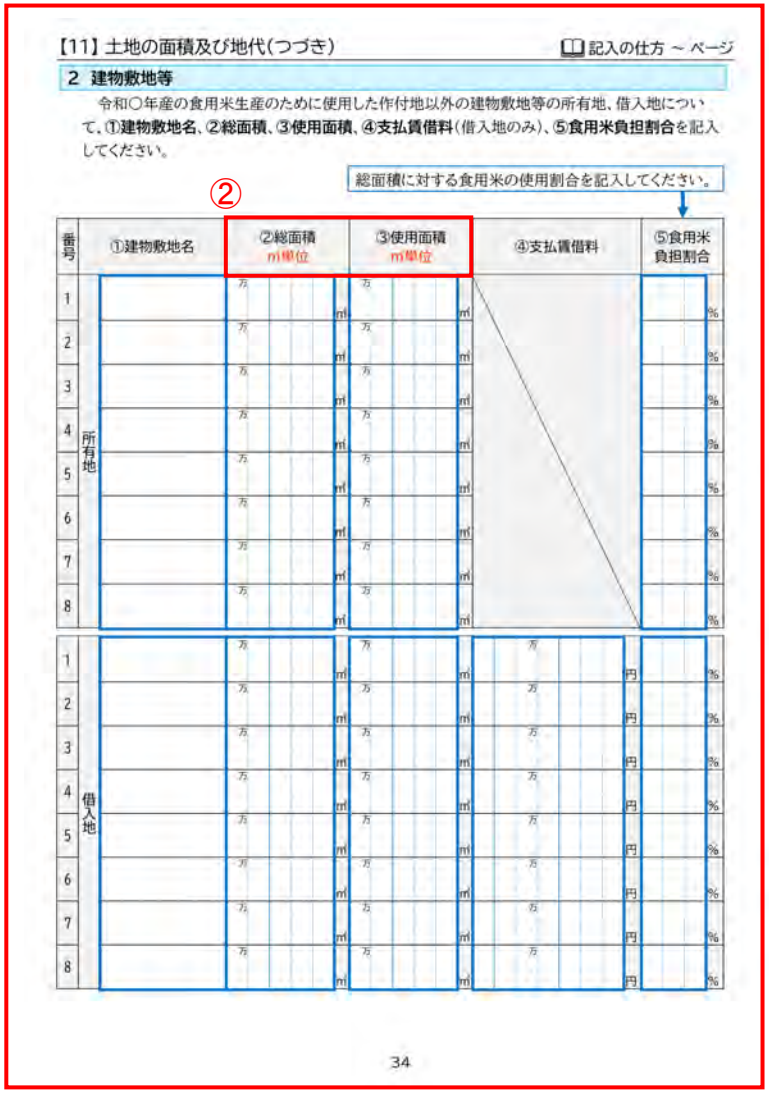
【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

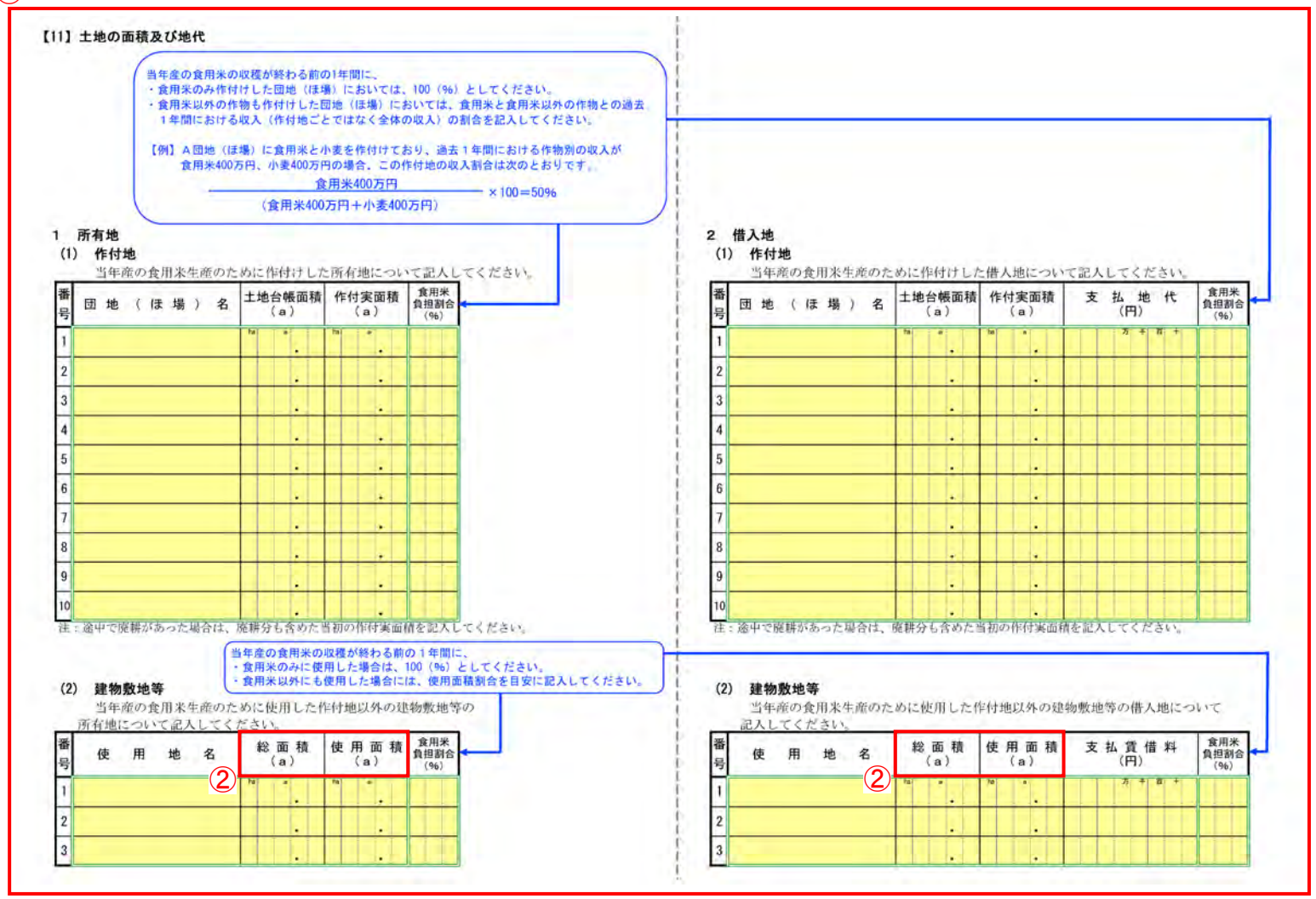
令和〇年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
●食用米のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●食用米以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

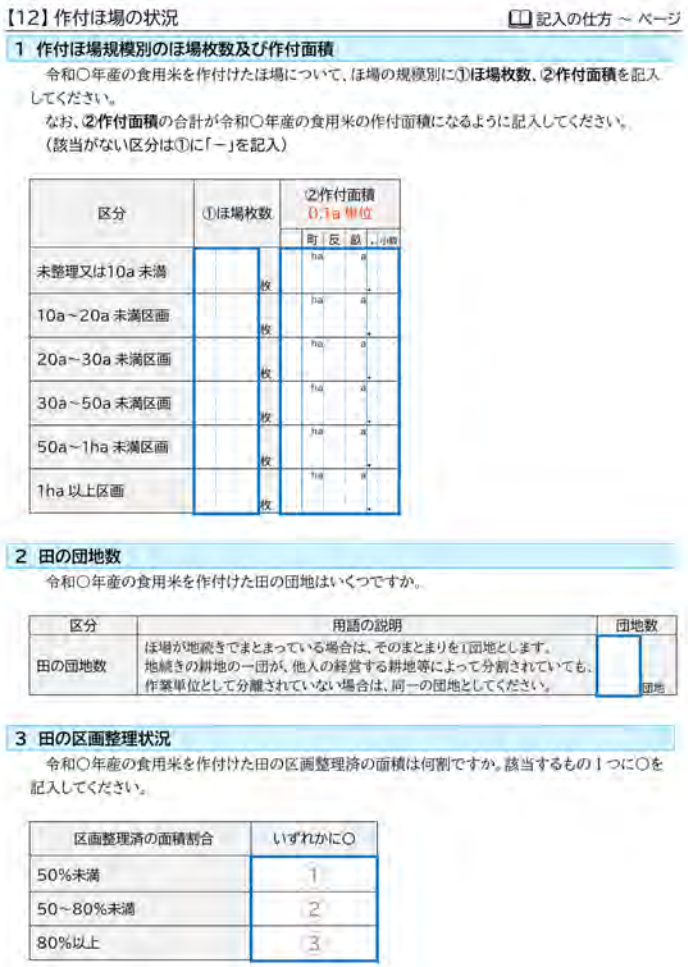
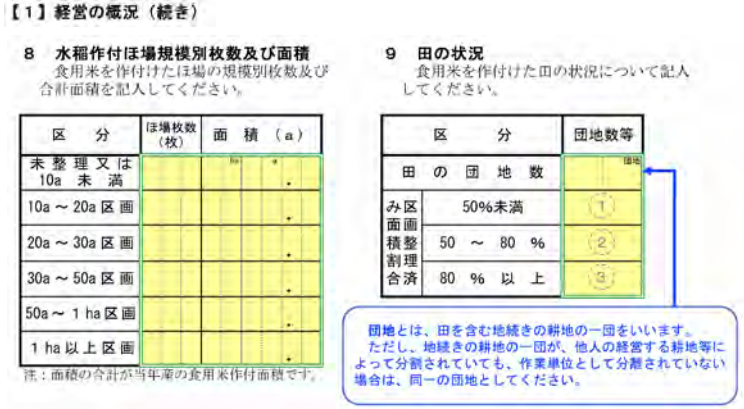
(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤食用米負担割合
1		ha a	ha a	万 円	%
2		ha a	ha a	万 円	%
3		ha a	ha a	万 円	%
4		ha a	ha a	万 円	%
5		ha a	ha a	万 円	%
6		ha a	ha a	万 円	%
7		ha a	ha a	万 円	%
8		ha a	ha a	万 円	%
9		ha a	ha a	万 円	%
10		ha a	ha a	万 円	%
11		ha a	ha a	万 円	%
12		ha a	ha a	万 円	%
13		ha a	ha a	万 円	%
14		ha a	ha a	万 円	%
15		ha a	ha a	万 円	%

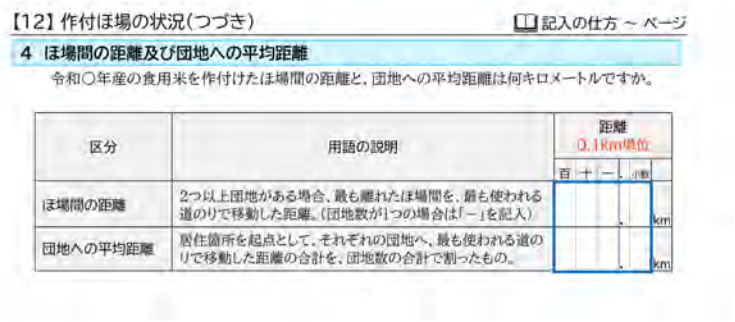
33

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ（変更前14ページと対比） ①  【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ページ 2 建物敷地等 令和○年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、①**建物敷地名**、②**総面積**、③**使用面積**、④**支払賃借料**(借入地のみ)、⑤**食用米負担割合**を記入してください。 ② 総面積に対する食用米の使用割合を記入してください。 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 m単位 / ③使用面積 m単位 / ④支払賃借料 / ⑤食用米負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 34 つづく		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① 	14ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
35ページ 	4ページ 	田の状況について、報告者が記入しやすいよう、「田の団地数」と「田の区画整理状況」の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ	4ページ	



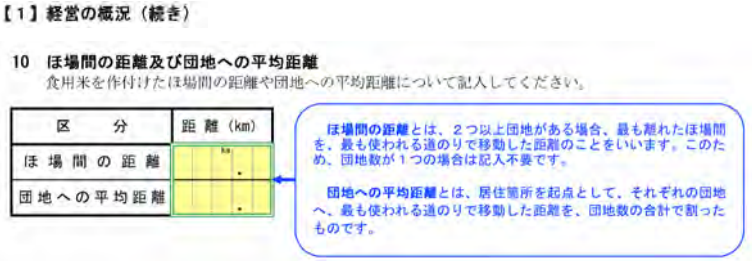
【12】作付ほ場の状況(つづき)　　記入の仕方 ～ページ

4　ほ場間の距離及び団地への平均距離

令和〇年産の食用米を作付けたほ場間の距離と、団地への平均距離は何キロメートルですか。

区分	用語の説明	距離 0.1Km単位 百 十 一 . 小数
ほ場間の距離	2つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離。(団地数が1つの場合は「－」を記入)	km
団地への平均距離	居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離の合計を、団地数の合計で割ったもの。	km

36



【1】経営の概況（続き）

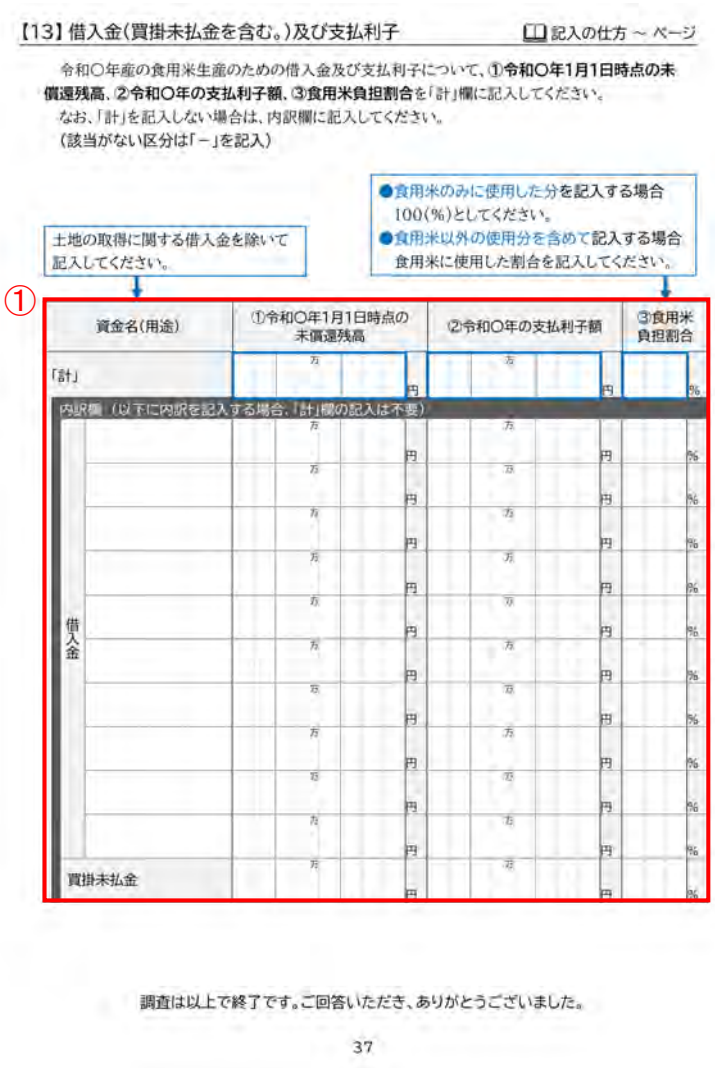
10　ほ場間の距離及び団地への平均距離

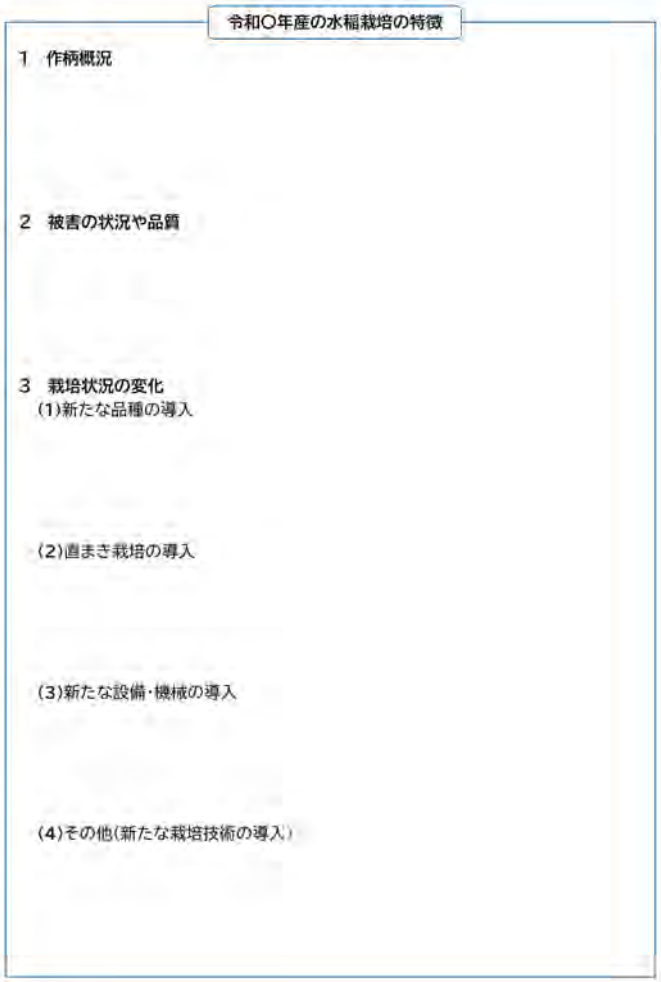
食用米を作付けたほ場間の距離や団地への平均距離について記入してください。

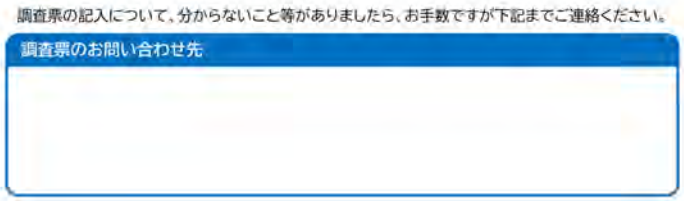
区　分	距離（km）
ほ場間の距離	
団地への平均距離	

ほ場間の距離とは、２つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離のことをいいます。このため、団地数が１つの場合は記入不要です。

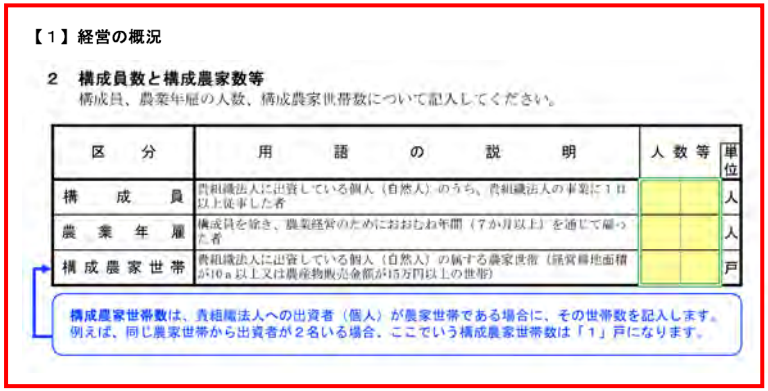
団地への平均距離とは、居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離を、団地数の合計で割ったものです。

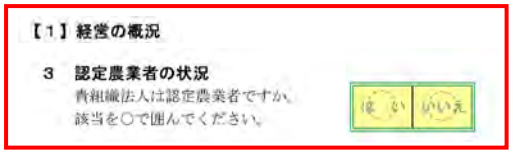
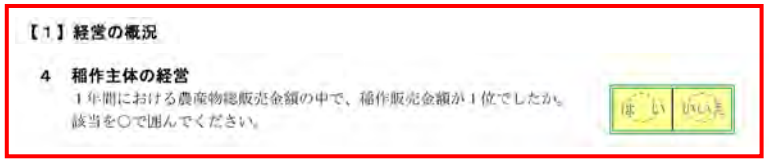
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
37ページ 	９ページ 	①借入金及び支払利子について、報告者の記入負担軽減を図るため、それぞれの「計」を把握し、内訳の「借入金」及び「買掛未払金」は必要に応じて記入する扱いに変更

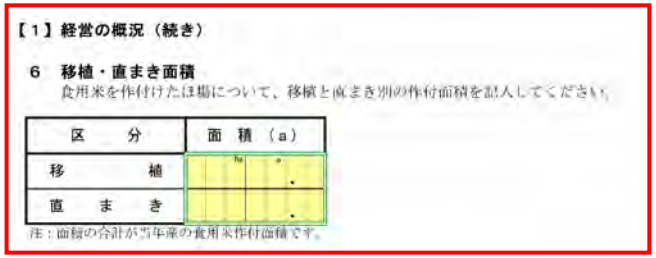
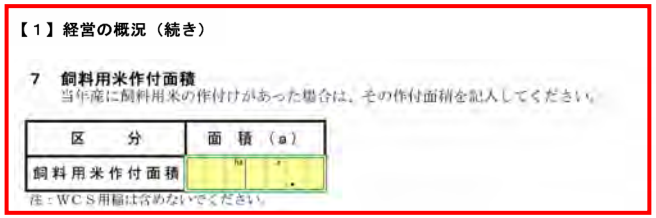
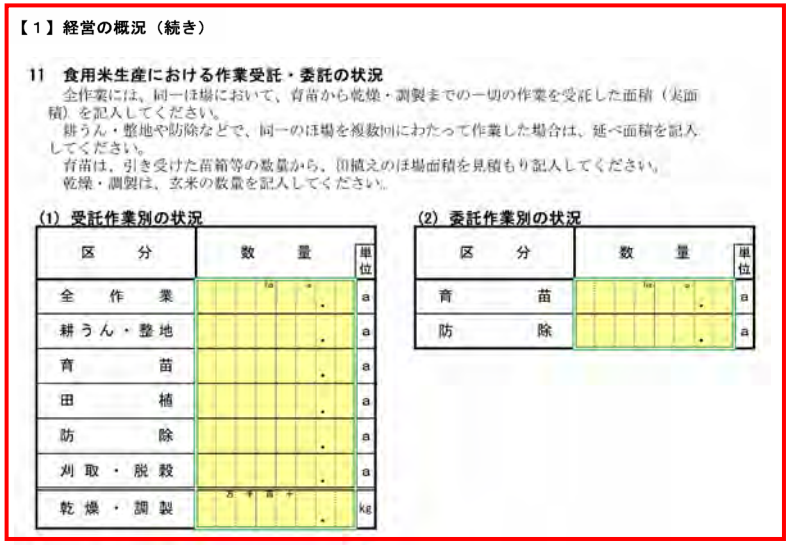
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38ページ  	6ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
40ページ  調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。 調査票のお問い合わせ先	1ページ  農業経営統計調査 ○年産　米生産費統計調査票 （組織法人経営体用）	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

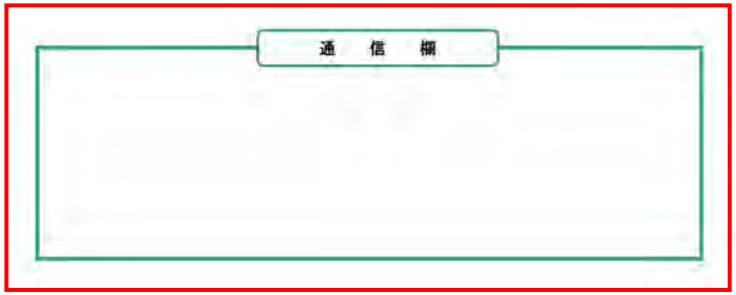
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ 調査にご協力いただき、ありがとうございます。 調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。 この調査は、「食用米（※１）の生産コスト」を把握する調査です。 調査票には、○年産の食用米の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。 ※１　食用米とは 食用に供する水稲のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米が該当します。（食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含みません。） ※２　この調査での食用米の生産とは 組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。 【調査票の記入方法（食用米負担割合について）】 食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から食用米負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。 食用米と小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。 （記入例） 「10万円」で購入した窒素質肥料「1,000kg」を、食用米「８ha」、小麦「２ha」の作付地に施肥した場合 例１　食用米に施肥した数量、金額を記入する方法 区分 / 数量（kg） / 金額（円） / 食用米負担割合（%） 窒素質肥料 / 800 / 80000 / 100 （食用米負担割合には100%と記入） 例２　食用米、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法 食用米と小麦の作付面積割合「８：２」を目安に食用米負担割合を「80%」と記入してください。 区分 / 数量（kg） / 金額（円） / 食用米負担割合（%） 窒素質肥料 / 1000 / 100000 / 80 （食用米負担割合には80%と記入） 【食用米負担割合の設定方法】 食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合の食用米負担割合を設定する方法について説明します。 （１）倉庫（建物）の場合 倉庫の全面積のうち、食用米生産のために使用した面積の割合を「食用米負担割合」とします。 食用米負担割合 ＝ 食用米に使用した倉庫の面積 ／ 倉庫の全面積 ×100 例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち食用米生産のために210㎡、食用米以外の作物に90㎡を使用した場合の「食用米負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。 ○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図 倉庫全体（300㎡） 食用米に使用（210㎡） / 食用米以外に使用（90㎡） 食用米負担割合：７０％ （２）農機具（トラクター）の場合 トラクターの全使用時間のうち、食用米生産のために使用した時間の割合を「食用米負担割合」とします。 食用米負担割合 ＝ 食用米に使用したトラクターの使用時間 ／ トラクターの全使用時間 ×100 例：トラクター全体の使用時間が200時間で、うち食用米生産のために80時間、食用米以外の作物に120時間使用した場合の「食用米負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普　通　畑 樹　園　地 牧　草　地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　構成員数と構成農家数等 構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。 区　分 / 用　語　の　説　明 / 人数等 / 単位 構　成　員 / 農組織法人に出資している個人（自然人）のうち、農組織法人の事業に１日以上従事した者 / 人 農　業　年　雇 / 構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者 / 人 構成農家世帯 / 農組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10ａ以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯） / 戸 構成農家世帯数は、農組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。 例えば、同じ農家世帯から出資者が２名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「１」戸になります。	構成員数と構成員家族数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 貴組織法人は認定農業者ですか。 該当を○で囲んでください。 はい　いいえ	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ４　稲作主体の経営 １年間における農産物総販売金額の中で、稲作販売金額が１位でしたか。 該当を○で囲んでください。 はい　いいえ	稲作主体の経営について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

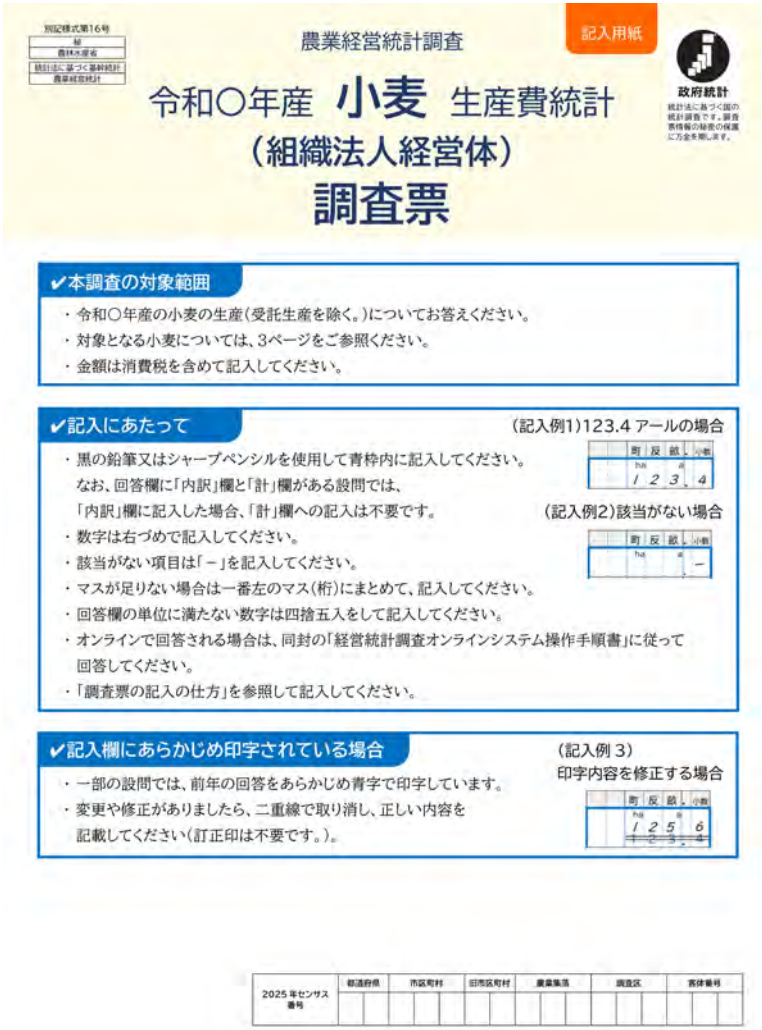
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ６　移植・直まき面積 食用米を作付けたほ場について、移植と直まき別の作付面積を記入してください。 区　分 / 面　積（a） 移　植 直　ま　き 注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。	移植・直まき面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ７　飼料用米作付面積 当年産に飼料用米の作付けがあった場合は、その作付面積を記入してください。 区　分 / 面　積（a） 飼料用米作付面積 注：ＷＣＳ用稲は含めないでください。	飼料用米作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） 11　食用米生産における作業受託・委託の状況 全作業には、同一ほ場において、育苗から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。 耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。 育苗は、引き受けた苗箱等の数量から、田植えのほ場面積を見積もり記入してください。 乾燥・調製は、玄米の数量を記入してください。 (1) 受託作業別の状況 区　分 / 数　量 / 単位 全　作　業 / a 耕うん・整地 / a 育　苗 / a 田　植 / a 防　除 / a 刈取・脱穀 / a 乾燥・調製 / kg (2) 委託作業別の状況 区　分 / 数　量 / 単位 育　苗 / a 防　除 / a	食用米生産における作業委託・受託の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） 12　食用米（うるち米）の品種別作付面積 当年産に作付けした食用米（うるち米）の品種名及びその作付面積を記入してください。 区分 / 品種名 / 面積（a） / 区分 / 品種名 / 面積（a） 品種１ / 品種２ / 品種３ / 品種４ / 品種５ 品種６ / 品種７ / 品種８ / 品種９ / 品種10	食用米(うるち米)の品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） 13　制度受取金等の状況 当年産の食用米に係る制度受取金等について記入してください。 区分 / 掛金（円） / 受取金（円） 農業共済 注：農業共済の受取金には積事戻し金も含みます。	制度受取金等の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

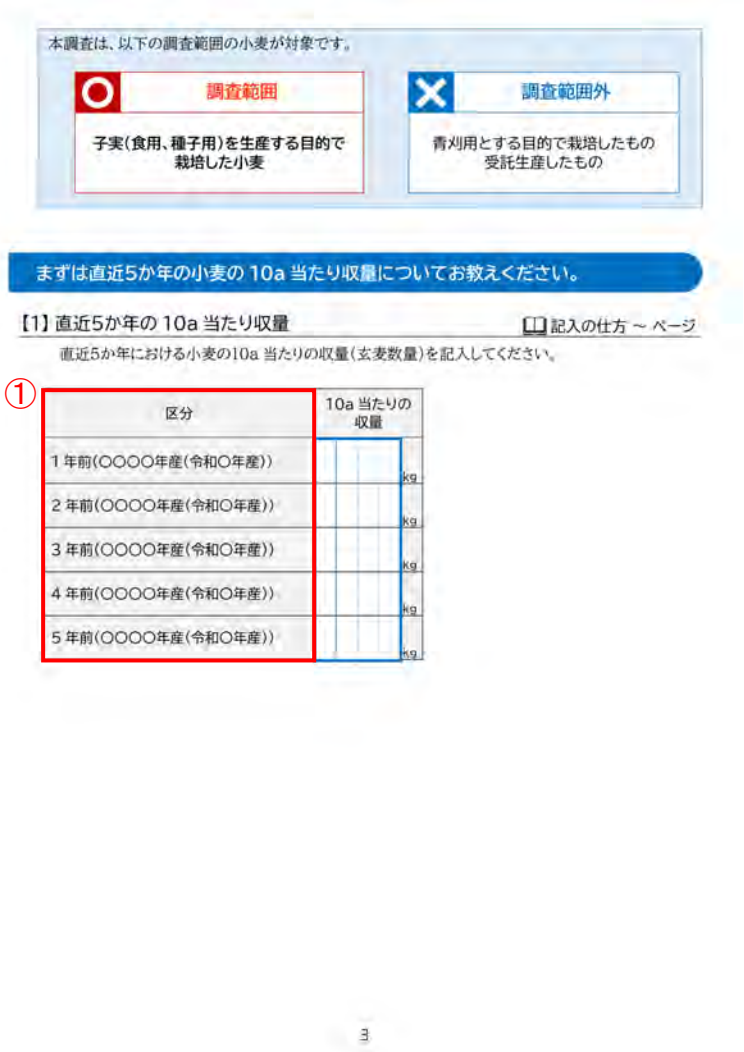
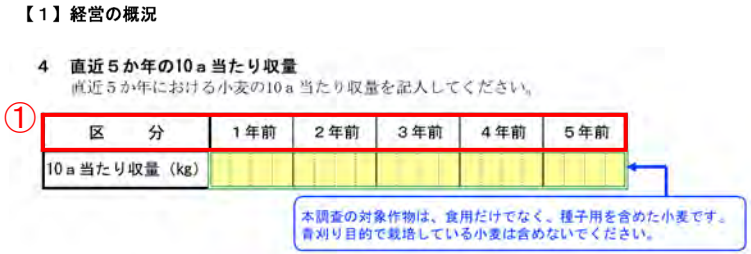
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	６ページ  	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除
（削除）	15ページ  【12】作業別労働時間 ２　食用米の田植、収穫期間 当年産の田植、収穫を開始した日と終了した日を記入してください。 区　分 / 開　始　日 / 終　了　日 田　植 / 月 日 / 月 日 収　穫 / 月 日 / 月 日	食用米の田植、収穫期間について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

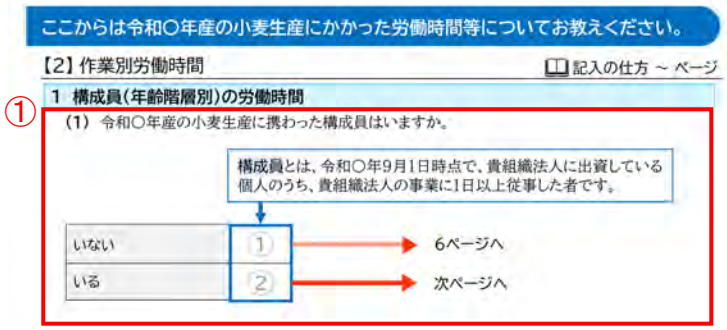
農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

１　農産物生産費統計（小麦（組織法人経営体））

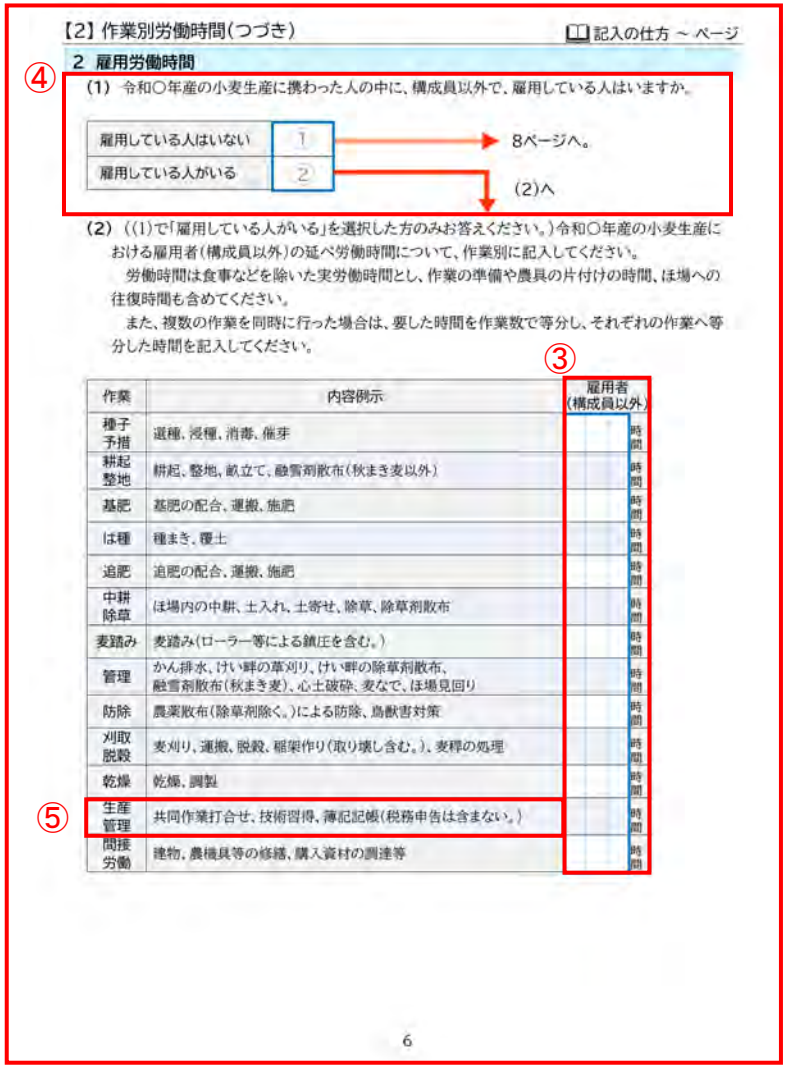
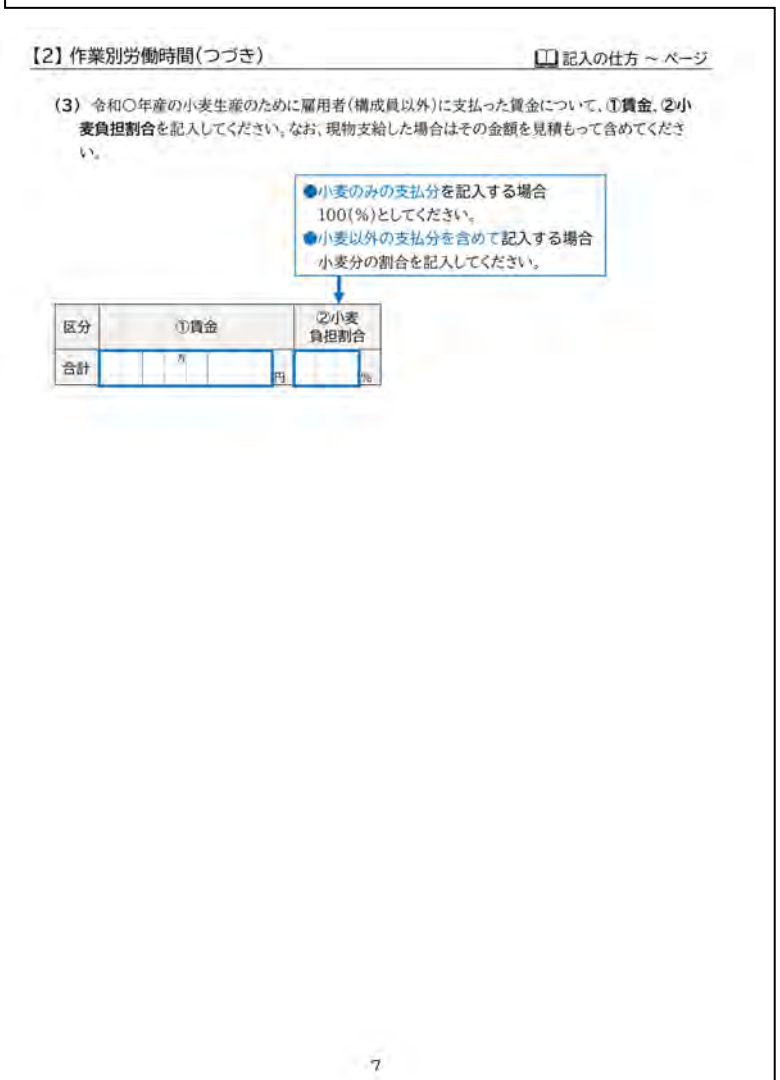
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式16号 １ページ  農業経営統計調査 記入用紙 令和〇年産 小麦 生産費統計 （組織法人経営体） 調査票 政府統計 ✔本調査の対象範囲 ・令和〇年産の小麦の生産（受託生産を除く。）についてお答えください。 ・対象となる小麦については、3ページをご参照ください。 ・金額は消費税を含めて記入してください。 ✔記入にあたって （記入例1）123.4 アールの場合 ・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。 なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、 「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。 （記入例2）該当がない場合 ・数字は右づめで記入してください。 ・該当がない項目は「－」を記入してください。 ・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。 ・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。 ・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。 ✔記入欄にあらかじめ印字されている場合 （記入例３） 印字内容を修正する場合 ・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。 ・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。 2025年センサス番号	別記様式13号 １ページ  農業経営統計調査 〇年産　小麦生産費統計調査票 （組織法人経営体用） 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★〇印は記入見本を参考に記入してください。 ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご調査ください。	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
2ページ  目次 ① 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……8 【4】小麦生産のために使用した資材等 ……10 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……19 【6】物件税及び公課諸負担 ……21 【7】土地改良及び水利費 ……23 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……24 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……26 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……28 【11】土地の面積及び地代 ……30 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……33	3ページ 調　査　事　項 ① ページ 【1】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、小麦生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。 【2】 生産物の販売等の状況 …… 5 小麦の品質・用途別、麦わら及びふるい下麦等の販売状況等について記入してください。 【3】 小麦の生産のために使用した資材等 …… 6 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。 【4】 物件税及び公課諸負担 …… 9 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【5】 土地改良及び水利費 …… 9 土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。 【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9 借入金残高、支払利子について記入してください。 【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 14 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 15 構成員、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は36～39ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  	３ページ  	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更（以下同じ） 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化（以下同じ） 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更（以下同じ） 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、小麦の調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ（変更前15ページと対比）  ここからは令和〇年産の小麦生産にかかった労働時間等についてお教えください。 【2】作業別労働時間　記入の仕方 ～ ページ ① 1 構成員（年齢階層別）の労働時間 (1) 令和〇年産の小麦生産に携わった構成員はいますか。 構成員とは、令和〇年9月1日時点で、貴組織法人に出資している個人のうち、貴組織法人の事業に1日以上従事した者です。 いない ① → 6ページへ いる ② → 次ページへ 4 つづく ②  【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ ページ (2) （(1)で「いる」を選択した方のみお答えください。）令和〇年産の小麦生産における構成員の延べ労働時間について、作業別・年齢階層別に、記入してください。 労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。 なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。 ③ 5	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、食用米生産に携わった構成員の有無を確認する設問を追加 ②報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間」の設問を「1 構成員（年齢階層別）の労働時間」と「2 雇用労働時間」に設問を分離 ③実人数について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

作業	内容例示	構成員の年齢階層 65歳未満	65～69歳	70～74歳	75歳以上
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～７ページ（変更前15ページと対比） ②  ④ 【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ 2 雇用労働時間 (1) 令和〇年産の小麦生産に携わった人の中に、構成員以外で、雇用している人はいますか。 雇用している人はいない　1　→ 8ページへ。 雇用している人がいる　2　→ (2)へ (2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産における雇用者(構成員以外)の延べ労働時間について、作業別に記入してください。 労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。 ③ ⑤ 6 つづく	 【2】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ (3) 令和〇年産の小麦生産のために雇用者(構成員以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②小麦負担割合**を記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。 ●小麦のみの支払分を記入する場合 100(%)としてください。 ●小麦以外の支払分を含めて記入する場合 小麦分の割合を記入してください。 区分　①賃金　②小麦負担割合 合計　万　円　% 7	②同上 ③同上 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、構成員以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加 ⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	15ページ	②同上 ③同上

【12】作業別労働時間

当年産の小麦生産における主な作業時間（受託した作業時間は含みません。）について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。
なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

②

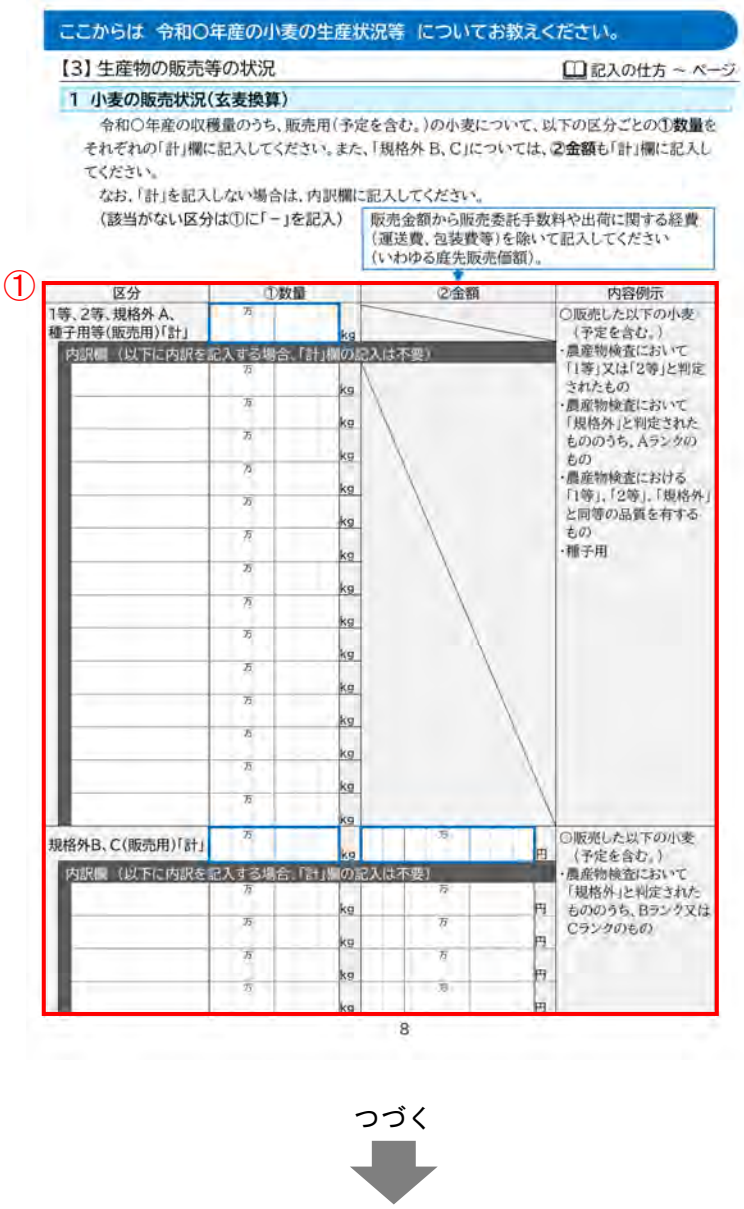
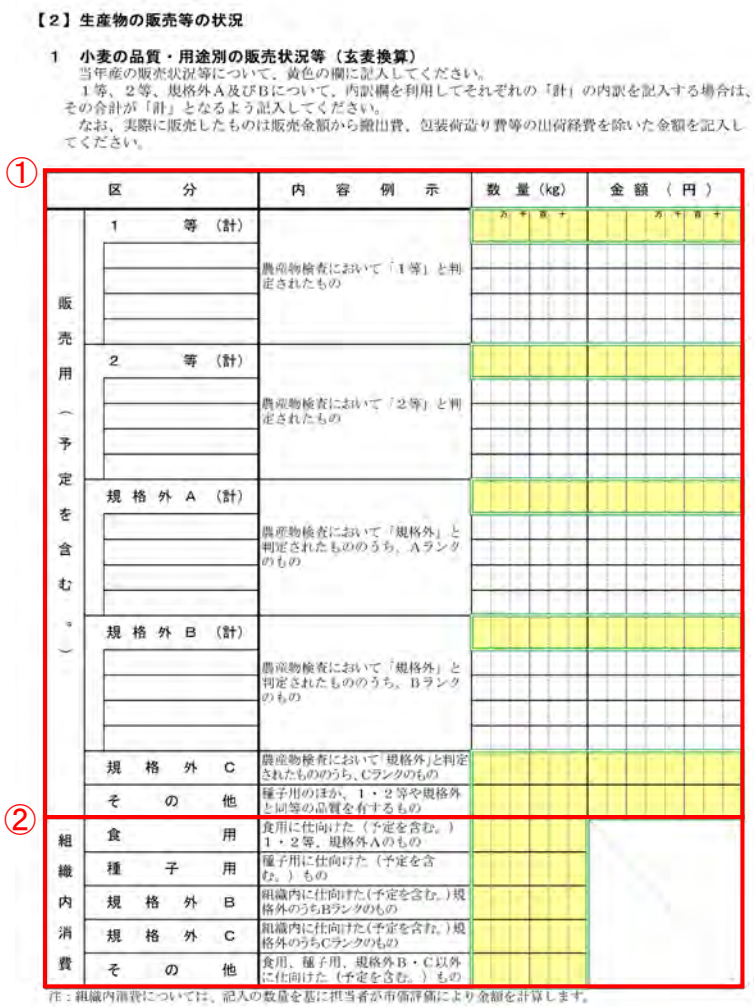
作業種類	内容例示	構成員の年齢階層 65歳未満 ③延べ作業時間	65歳未満 実人数	65～69歳 ③延べ作業時間	65～69歳 実人数	70～74歳 ③延べ作業時間	70～74歳 実人数	75歳以上 ③延べ作業時間	75歳以上 実人数	雇用 合計 ③延べ作業時間	雇用 合計 実人数	作業種類
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	種子予措
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）											耕起整地
基肥	基肥の配合、運搬、施肥											基肥
は種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土											は種
追肥	追肥の配合、運搬、施肥											追肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布											中耕除草
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）											麦踏み
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り											管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り崩しを含む。）、麦稈の処理											刈取脱穀
乾燥	乾燥、調製											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

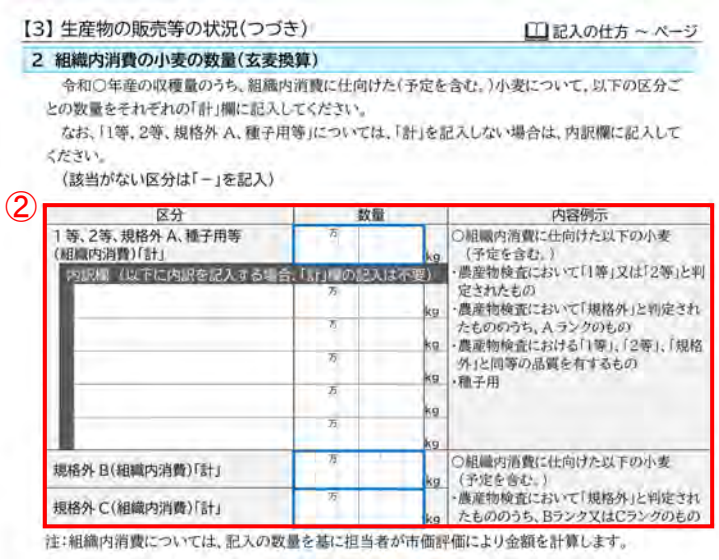
2　支払賃金

当年産の小麦生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	小麦負担割合（%）
合計	千万百十一	

・小麦生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
8ページ  つづく	5ページ 	報告者が記入しやすいよう、組織内消費の小麦の数量に関する設問を分離 ①小麦の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため、「1等(計)」、「2等(計)」、「規格外A(計)」、「規格外B(計)」、「規格外C」及び「その他」を削除し、「1等、2等、規格外A、種子用等(販売用)「計」」及び「規格外B、C(販売用)「計」」を把握するよう変更 また、金額については「規格外B、C(販売用)「計」」のみを把握するよう変更 ②組織内消費の小麦の数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「食用」、「種子用」、「規格外B」、「規格外C」及び「その他」を削除し、「1等、2等、規格外A・種子用等(組織内消費)「計」」、「規格外B、C(組織内消費)「計」」を把握するよう変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ（変更前５ページと対比） ② 		②同上

【3】生産物の販売等の状況（つづき）　記入の仕方 ～ページ

2 組織内消費の小麦の数量（玄麦換算）

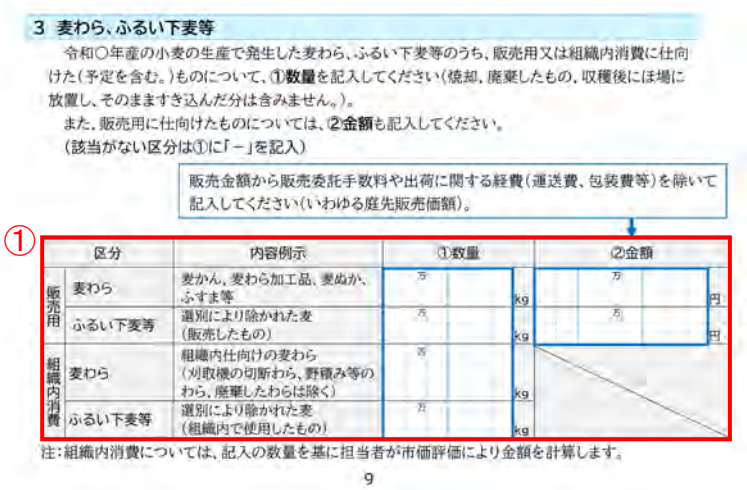
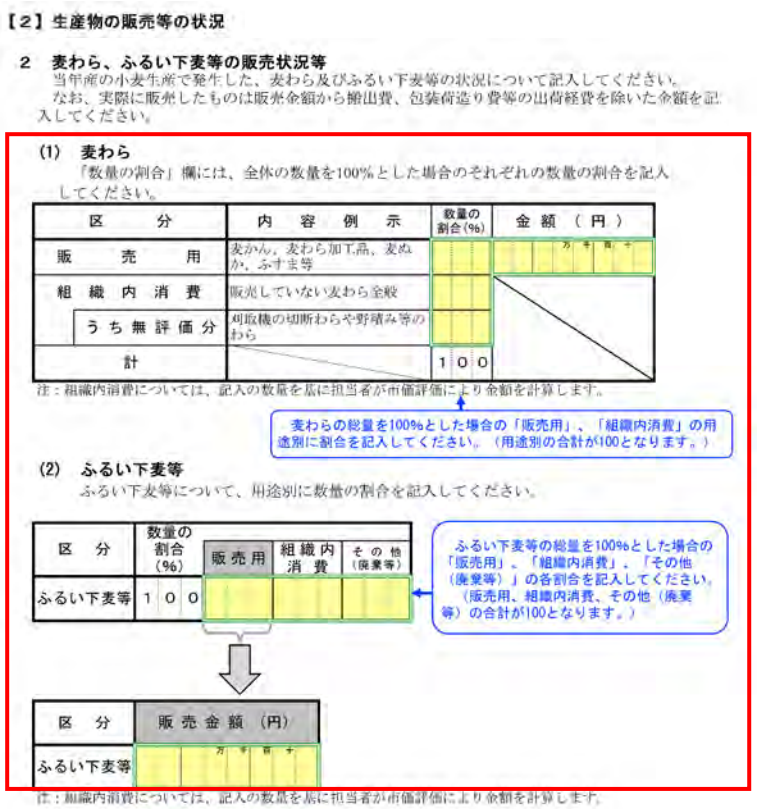
令和○年産の収穫量のうち、組織内消費に仕向けた（予定を含む。）小麦について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

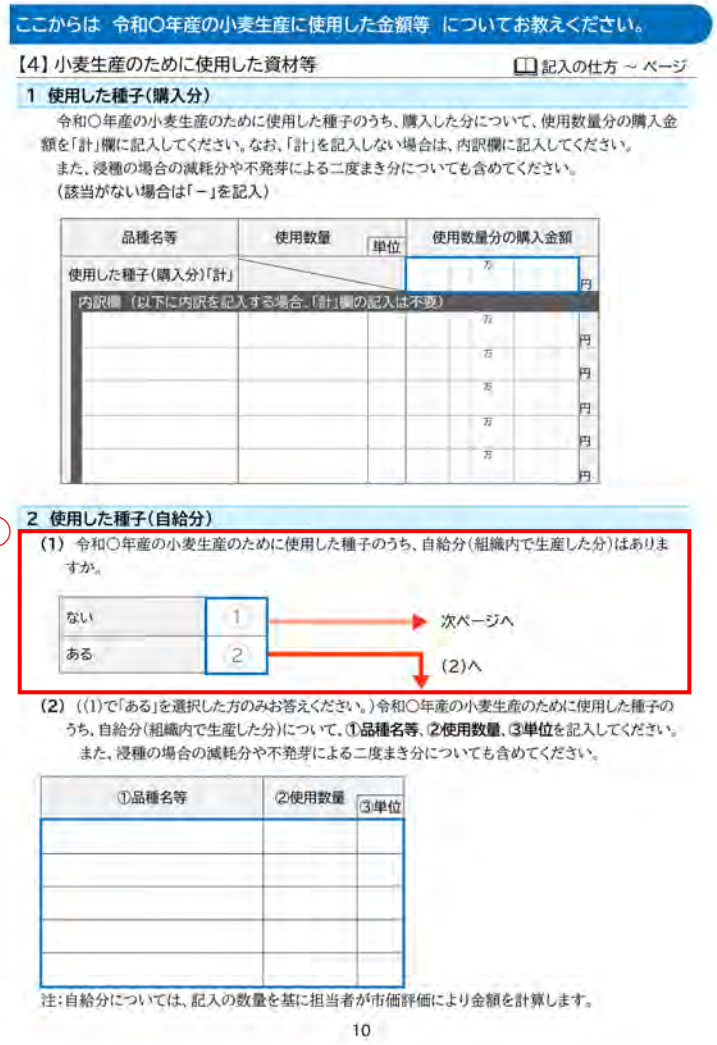
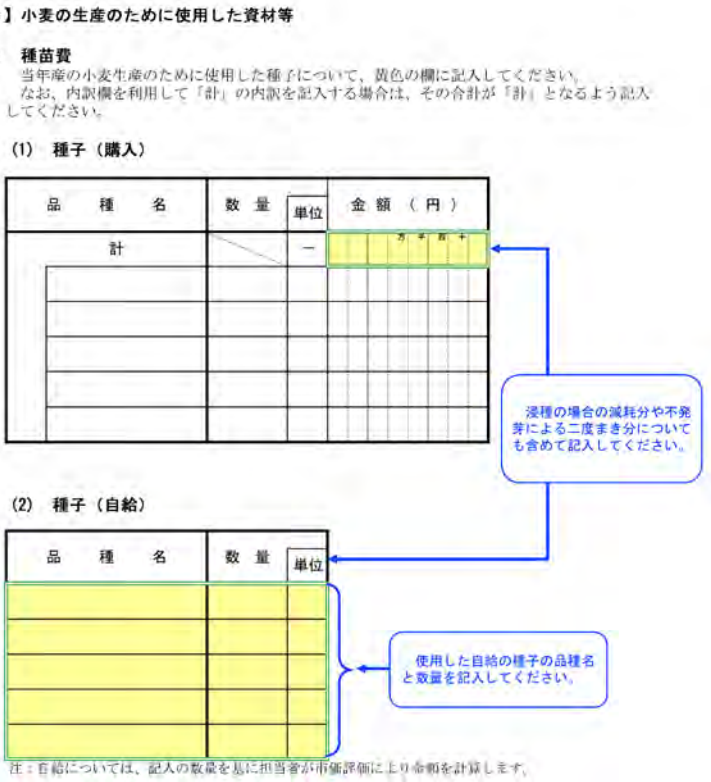
なお、「1等、2等、規格外 A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

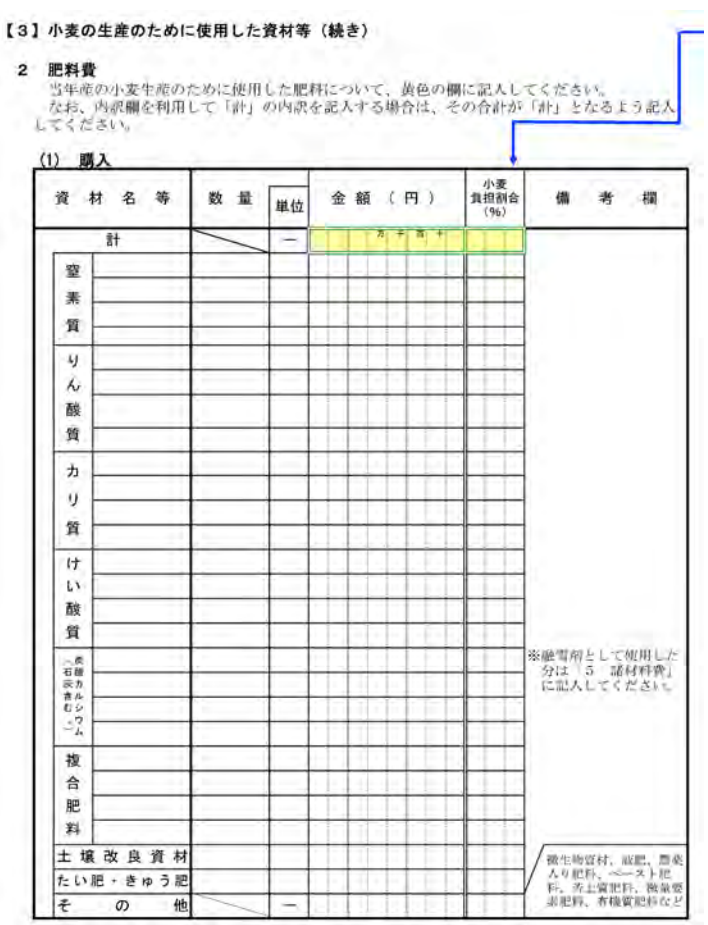
（該当がない区分は「－」を記入）

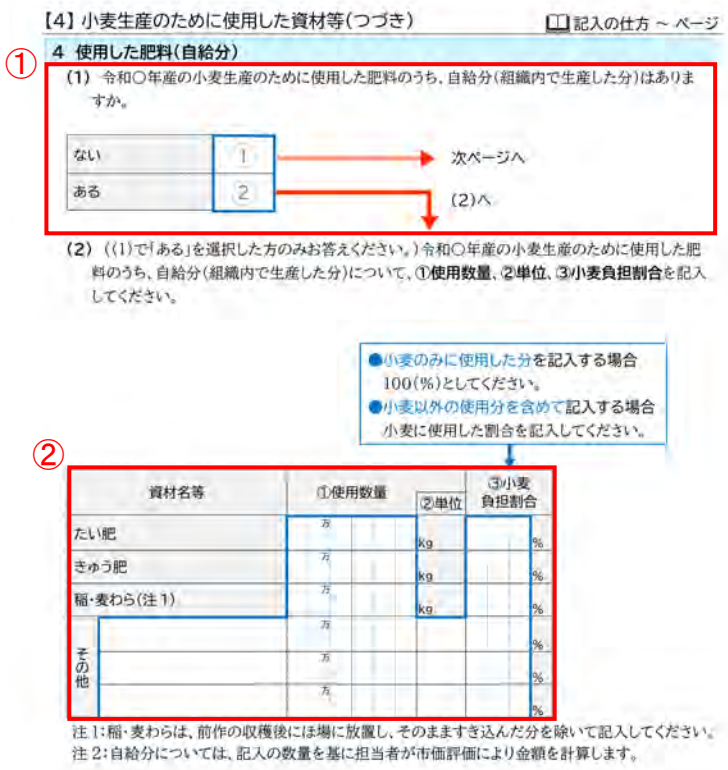
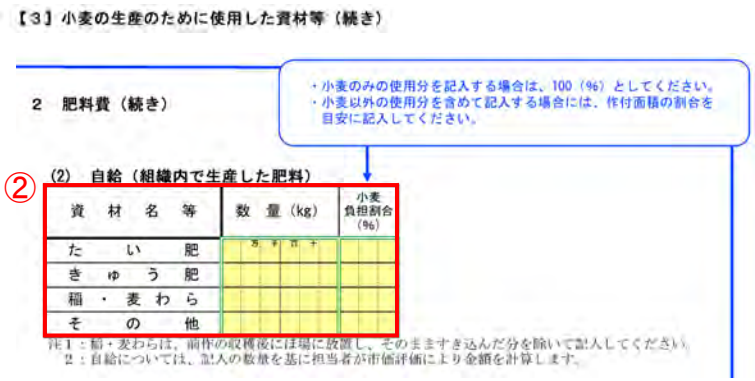
区分	数量	内容例示
1等、2等、規格外 A、種子用等（組織内消費）「計」	万 kg	○組織内消費に仕向けた以下の小麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
規格外 B（組織内消費）「計」	万 kg	○組織内消費に仕向けた以下の小麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、B ランク又は C ランクのもの
規格外 C（組織内消費）「計」	万 kg	

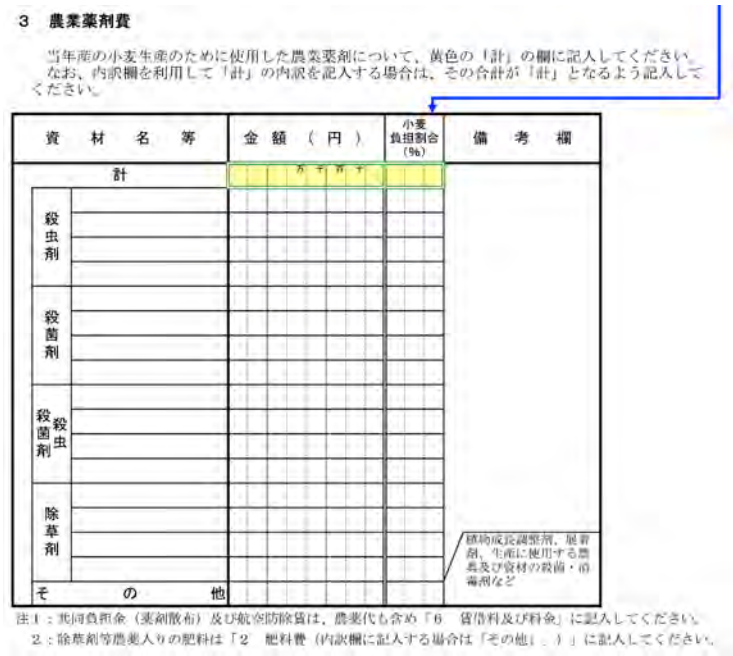
注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

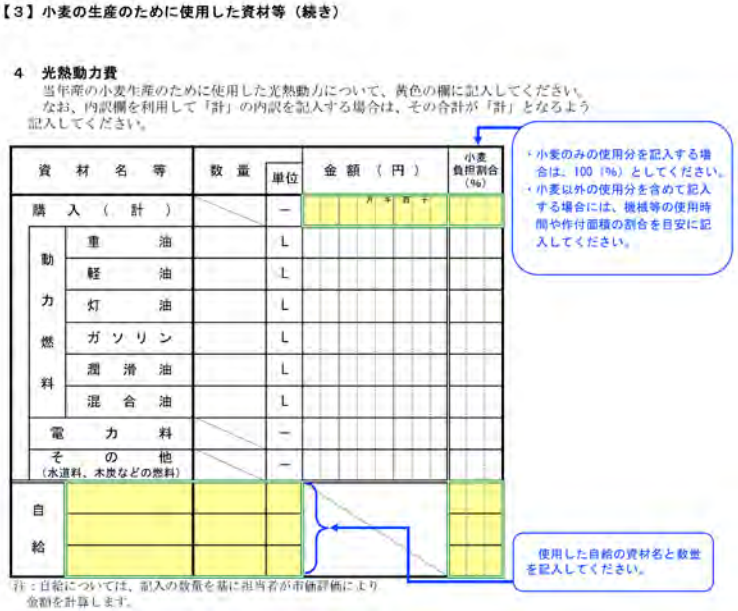
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ 	５ページ 	①報告者の記入負担軽減を図るため、麦わら、ふるい下麦等の設問を統合するとともに、区分の内容を見直し、無評価の数量の把握をとりやめ

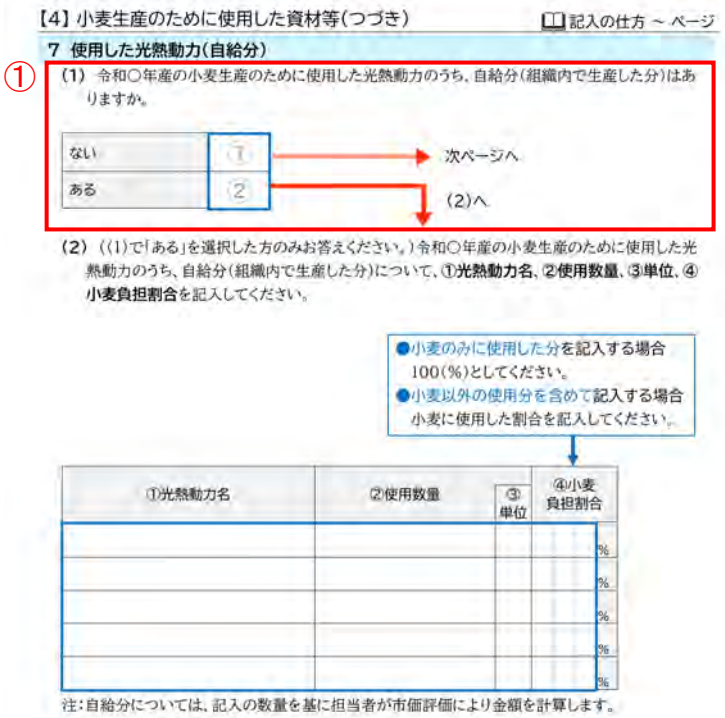
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ  ここからは　令和〇年産の小麦生産に使用した金額等　についてお教えください。 【4】小麦生産のために使用した資材等　記入の仕方 ～ページ 1　使用した種子(購入分) 令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。 (該当がない場合は「－」を記入) 品種名等 / 使用数量 / 単位 / 使用数量分の購入金額 使用した種子(購入分)「計」 内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 2　使用した種子(自給分) ① (1)　令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。 また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。 ①品種名等 / ②使用数量 / ③単位 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 10	6ページ  【3】小麦の生産のために使用した資材等 1　種苗費 当年産の小麦生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 (1)　種子（購入） 品　種　名 / 数　量 / 単位 / 金　額　（円） 計 浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。 (2)　種子（自給） 品　種　名 / 数　量 / 単位 使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子(自給分)の有無を確認する設問を追加

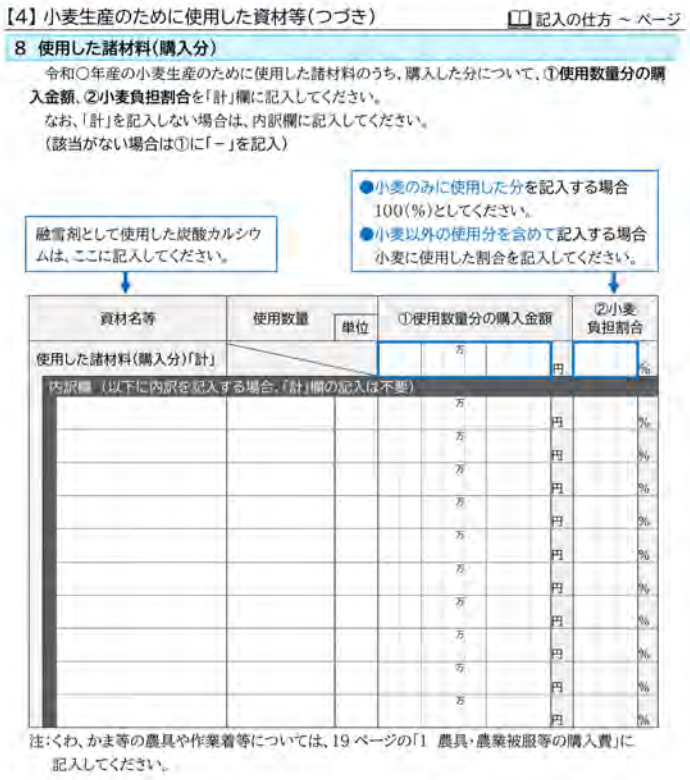
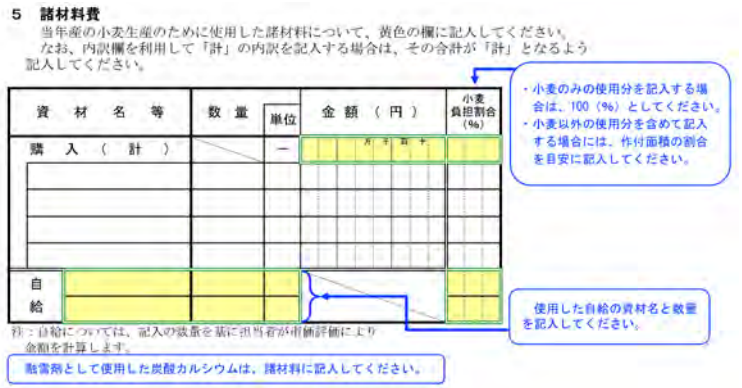
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ 	7ページ 	肥料費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

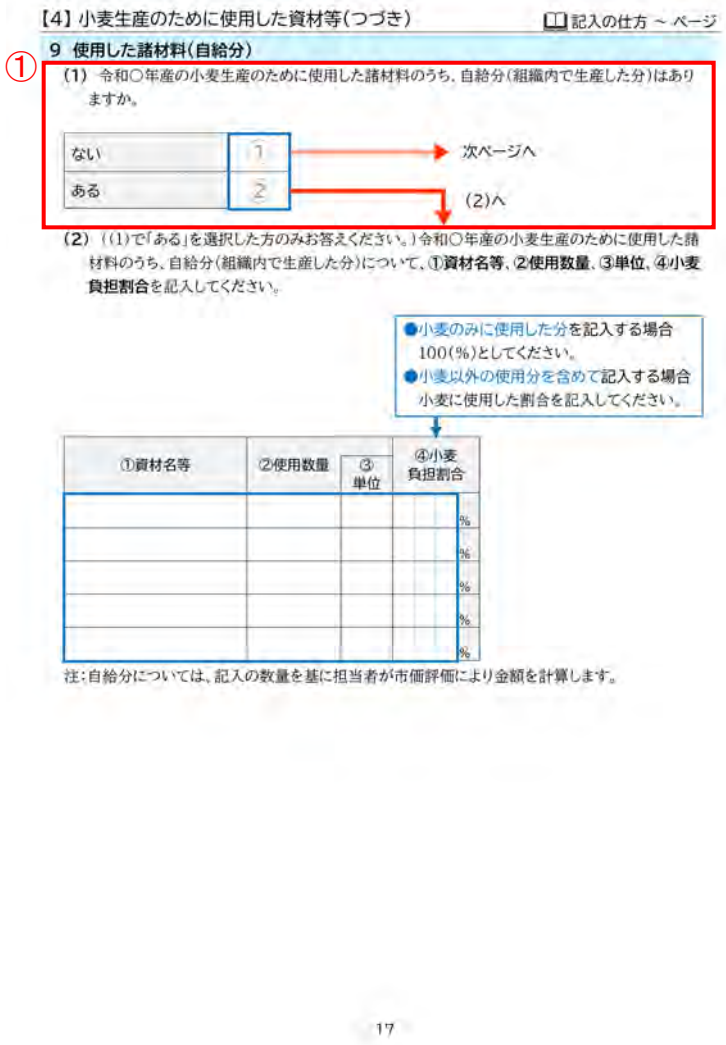
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ  【4】小麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 4 使用した肥料(自給分) ① (1) 令和○年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。 ない 1 → 次ページへ ある 2 → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①使用数量、②単位、③小麦負担割合**を記入してください。 ●小麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●小麦以外の使用分を含めて記入する場合 小麦に使用した割合を記入してください。 ② 資材名等 / ①使用数量 / ②単位 / ③小麦負担割合 たい肥 kg % きゅう肥 kg % 稲・麦わら(注1) kg % その他 % 注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 12	7ページ  【3】小麦の生産のために使用した資材等（続き） 2 肥料費（続き） ・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 ② (2) 自給（組織内で生産した肥料） 資材名等 / 数量（kg） / 小麦負担割合（%） たい肥 きゅう肥 稲・麦わら その他 注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ 	7 ページ 	農業薬剤費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

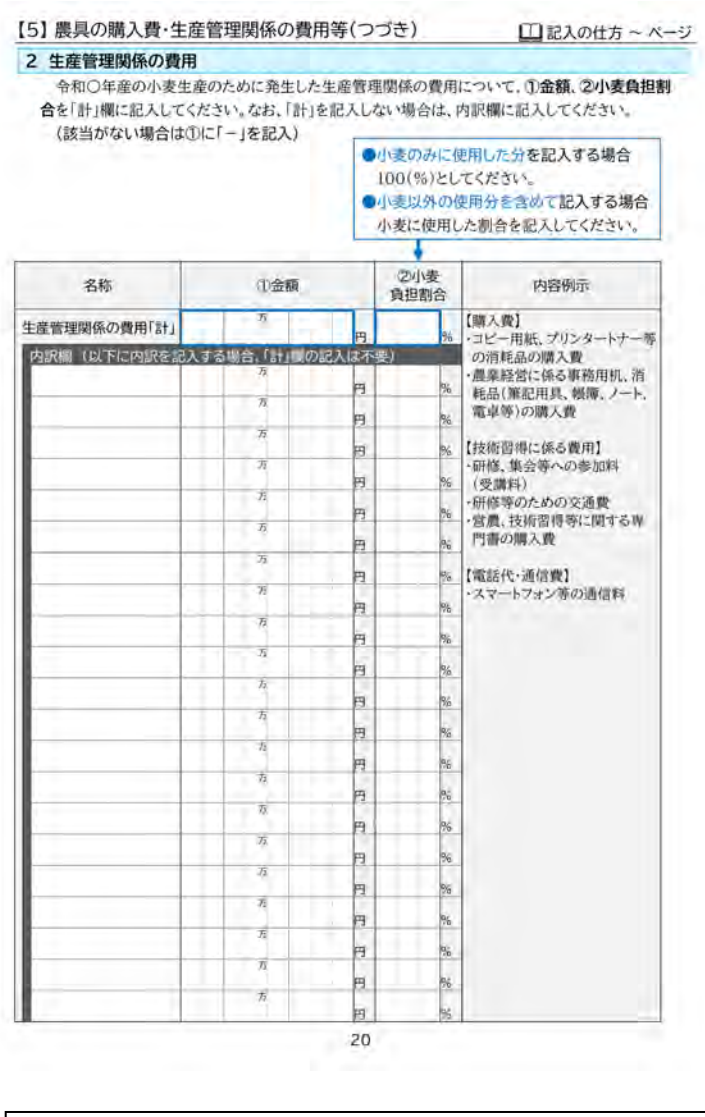
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ  14 つづく	8ページ  	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ（変更前８ページと対比）  【4】小麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 7 使用した光熱動力(自給分) ① (1) 令和○年産の小麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。 ない ① → 次ページへ ある ② → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の小麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④小麦負担割合**を記入してください。 ●小麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●小麦以外の使用分を含めて記入する場合 小麦に使用した割合を記入してください。 ①光熱動力名 / ②使用数量 / ③単位 / ④小麦負担割合 % 注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 15		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ  【4】小麦生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 8 使用した諸材料(購入分) 令和○年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち，購入した分について，**①使用数量分の購入金額**，**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお，「計」を記入しない場合は，内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) 融雪剤として使用した炭酸カルシウムは，ここに記入してください。 ●小麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●小麦以外の使用分を含めて記入する場合 小麦に使用した割合を記入してください。 資材名等 / 使用数量 / 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②小麦負担割合 使用した諸材料(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合，「計」欄の記入は不要) 注：くわ，かま等の農具や作業着等については，19 ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。 16 つづく	8ページ  【3】小麦の生産のために使用した資材等（続き） 5 諸材料費 当年産の小麦生産のために使用した諸材料について，黄色の欄に記入してください。 なお，内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は，その合計が「計」となるよう記入してください。 資材名等 / 数量 / 単位 / 金額（円） / 小麦負担割合(%) 購入（計） 自給 ・小麦のみの使用分を記入する場合は，100（%）としてください。 ・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には，作付面積の割合を目安に記入してください。 使用した自給の資材名と数量を記入してください。 注：自給については，記入の数量を基に当該者が市価評価により金額を計算します。 融雪剤として使用した炭酸カルシウムは，諸材料に記入してください。	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ（変更前８ページと対比）  【4】小麦生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ページ 9 使用した諸材料（自給分） ① (1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分（組織内で生産した分）はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2) （(1)で「ある」を選択した方のみお答えください。）令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分（組織内で生産した分）について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④小麦負担割合**を記入してください。 ●小麦のみに使用した分を記入する場合 100（%）としてください。 ●小麦以外の使用分を含めて記入する場合 小麦に使用した割合を記入してください。 ①資材名等 / ②使用数量 / ③単位 / ④小麦負担割合 % 注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 17		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ 	８ページ 	賃借料及び料金の内訳欄について、報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19～20ページ（変更前13ページと対比）  		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	13ページ	同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由

21～22ページ

【6】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ ページ

1 物件税

令和○年産の小麦生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②小麦負担割合
物件税「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税(建物)(※)	万 円	%
固定資産税(農機具)(※)	万 円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万 円	%
水利地益税	万 円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万 円	%
共同施設税	万 円	%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和○年産の小麦生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②小麦負担割合
公課諸負担「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万 円	%
農業協同組合費	万 円	%
農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費）	万 円	%
農業共済組合賦課金	万 円	%

9ページ

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した小麦生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金額（円）	小麦負担割合(%)
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

2 公課諸負担

1年間に負担した小麦生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

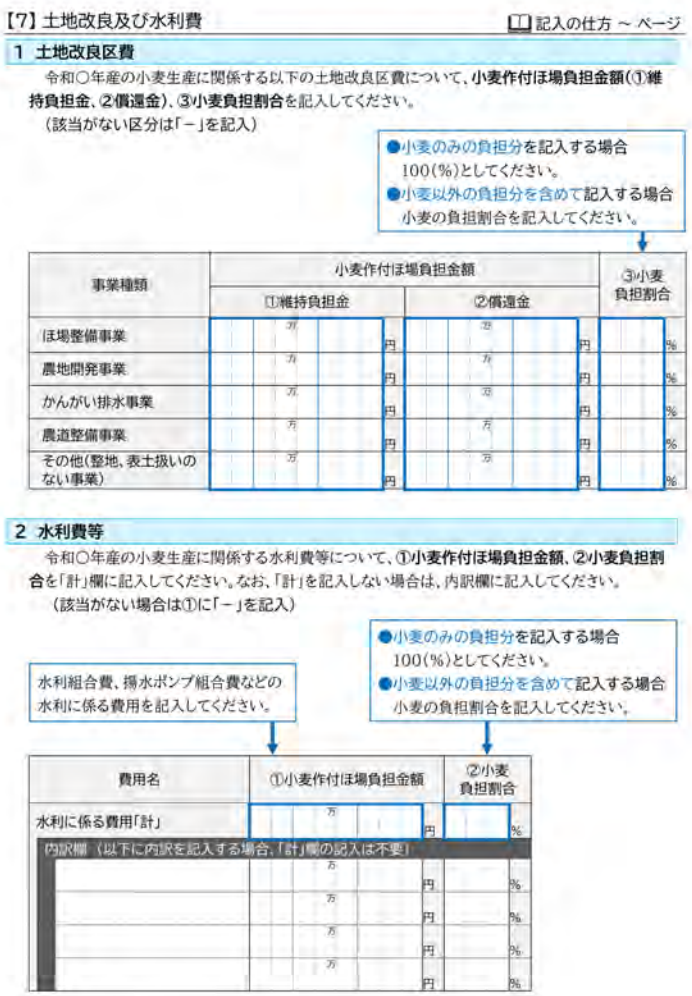
区　分	金額（円）	小麦負担割合(%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち小麦の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ	９ページ	



【7】土地改良及び水利費　　記入の仕方 ～ ページ

1 土地改良区費

令和〇年産の小麦生産に関係する以下の土地改良区費について、**小麦作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③小麦負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合 小麦の負担割合を記入してください。

事業種類	小麦作付ほ場負担金額 ①維持負担金	小麦作付ほ場負担金額 ②償還金	③小麦負担割合
ほ場整備事業	万 円	万 円	%
農地開発事業	万 円	万 円	%
かんがい排水事業	万 円	万 円	%
農道整備事業	万 円	万 円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万 円	万 円	%

2 水利費等

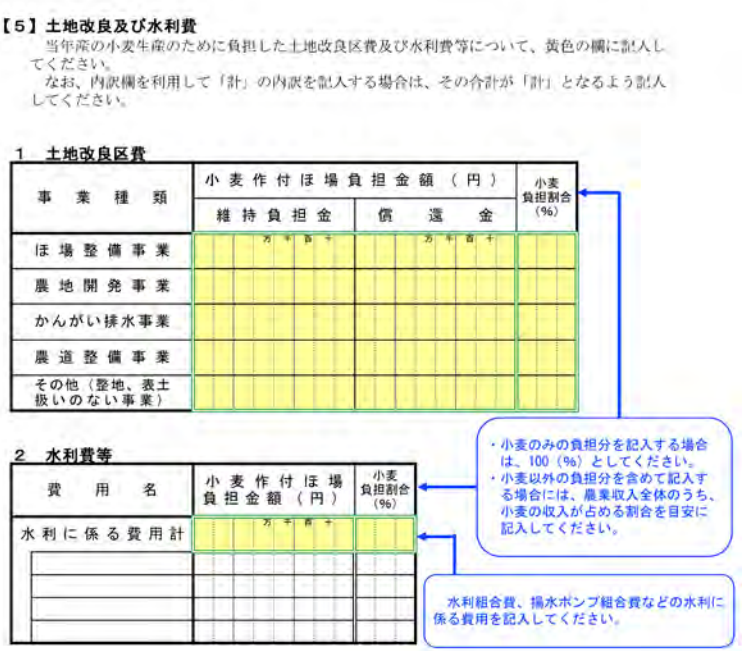
令和〇年産の小麦生産に関係する水利費等について、**①小麦作付ほ場負担金額、②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●小麦のみの負担分を記入する場合 100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合 小麦の負担割合を記入してください。

費用名	①小麦作付ほ場負担金額	②小麦負担割合
水利に係る費用「計」	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%

23



【５】土地改良及び水利費

当年産の小麦生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	小麦作付ほ場負担金額（円） 維持負担金	小麦作付ほ場負担金額（円） 償還金	小麦負担割合（%）
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

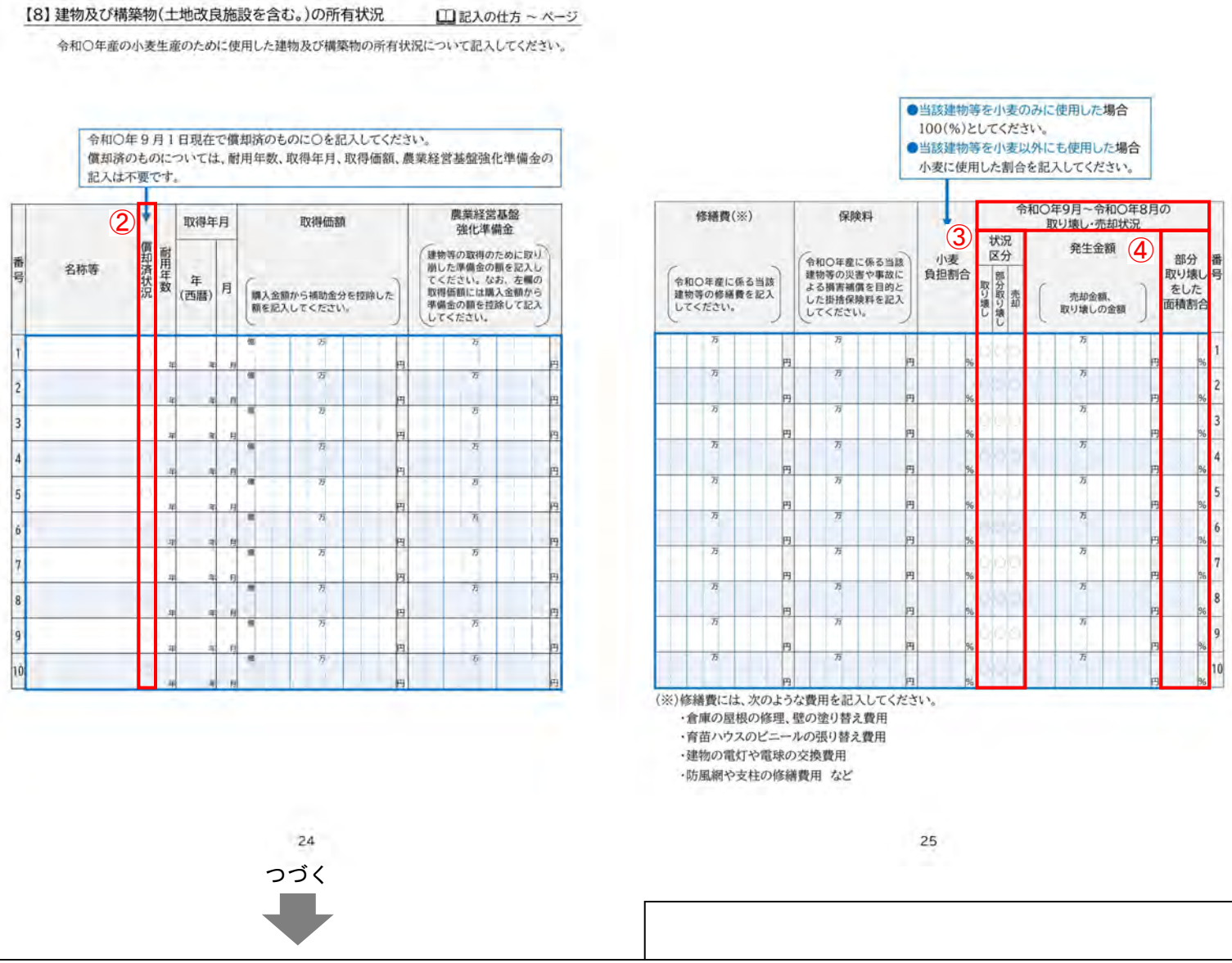
2 水利費等

費用名	小麦作付ほ場負担金額（円）	小麦負担割合（%）
水利に係る費用計	万 千 百 十	

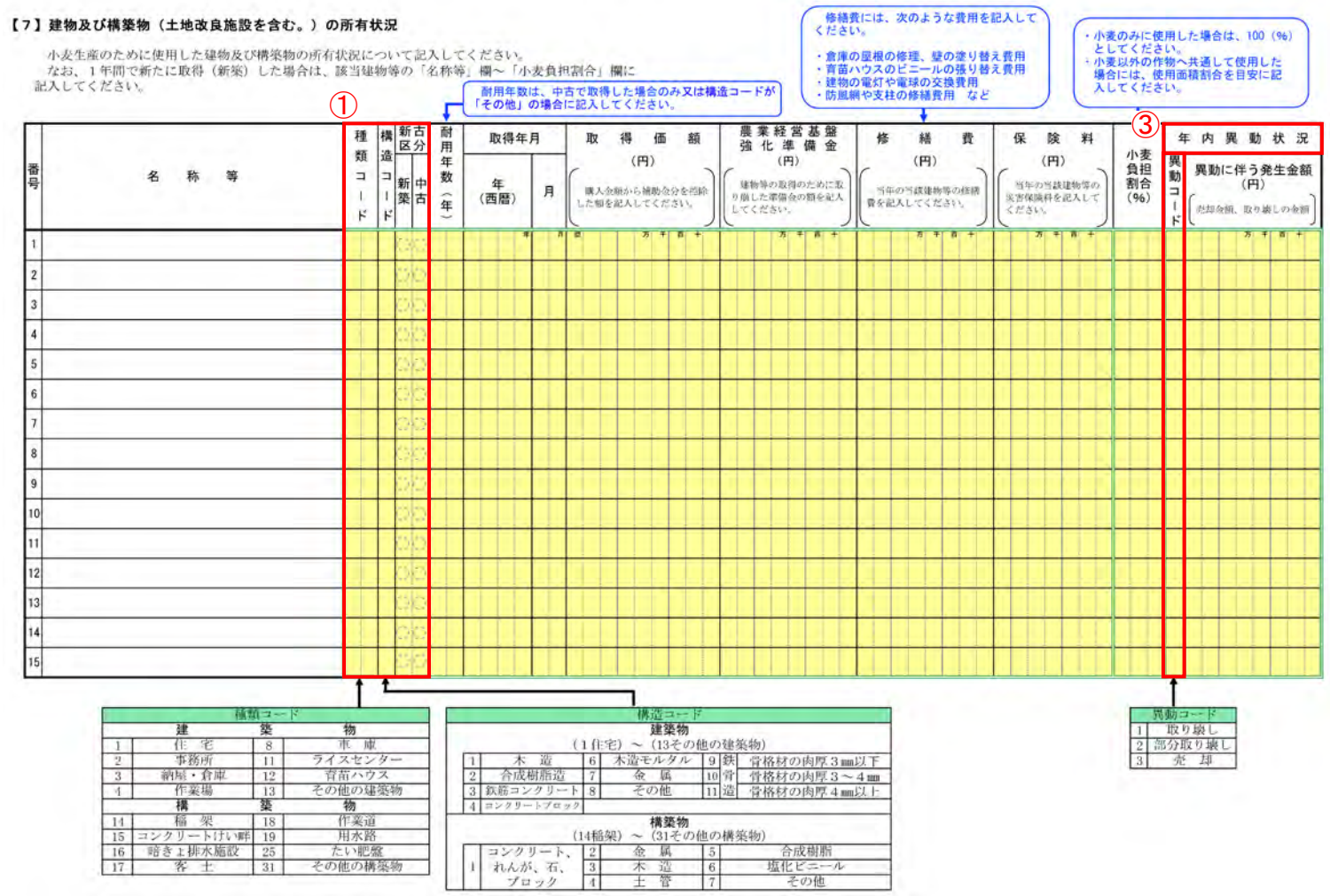
・小麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、小麦の収入が占める割合を目安に記入してください。

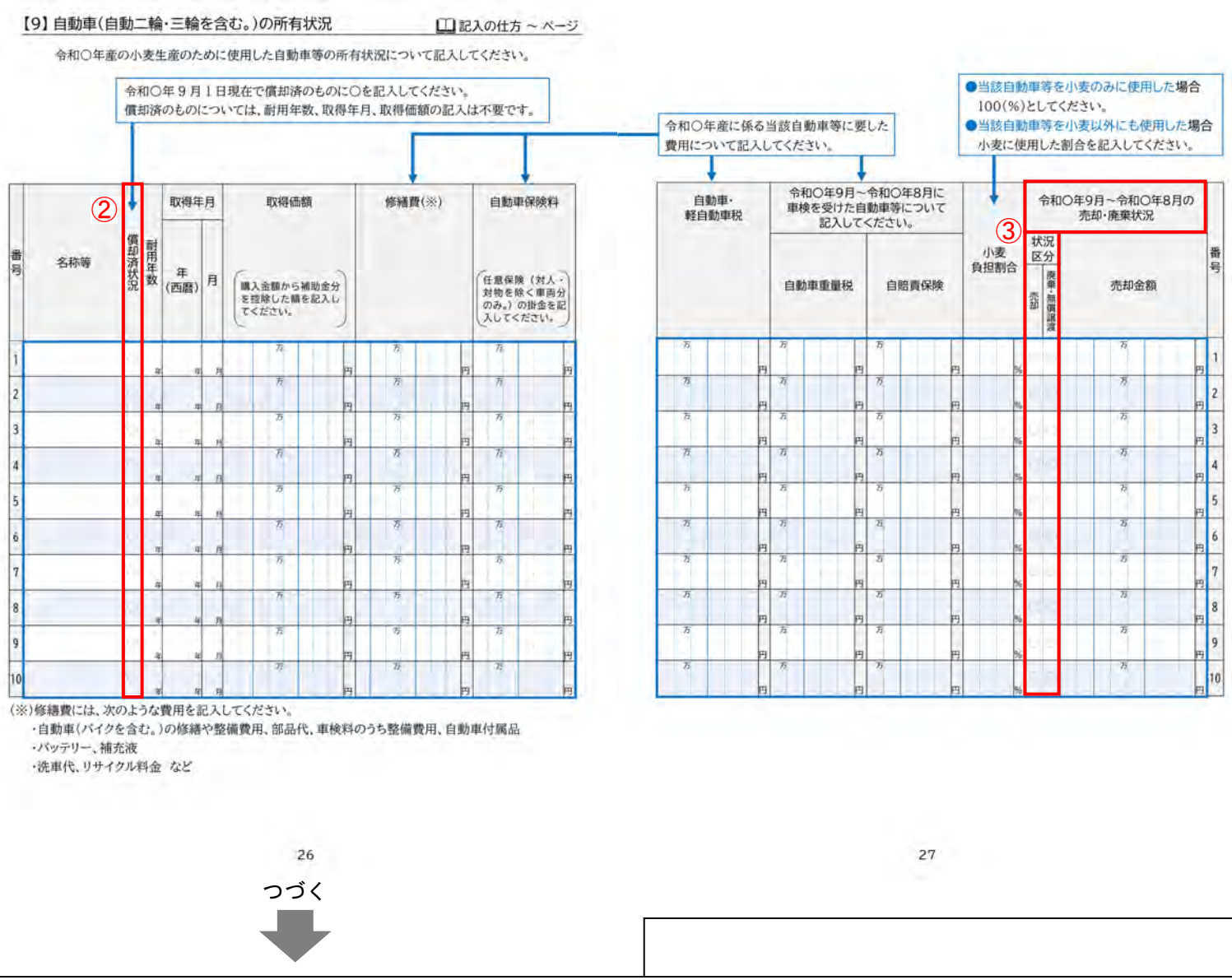
水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

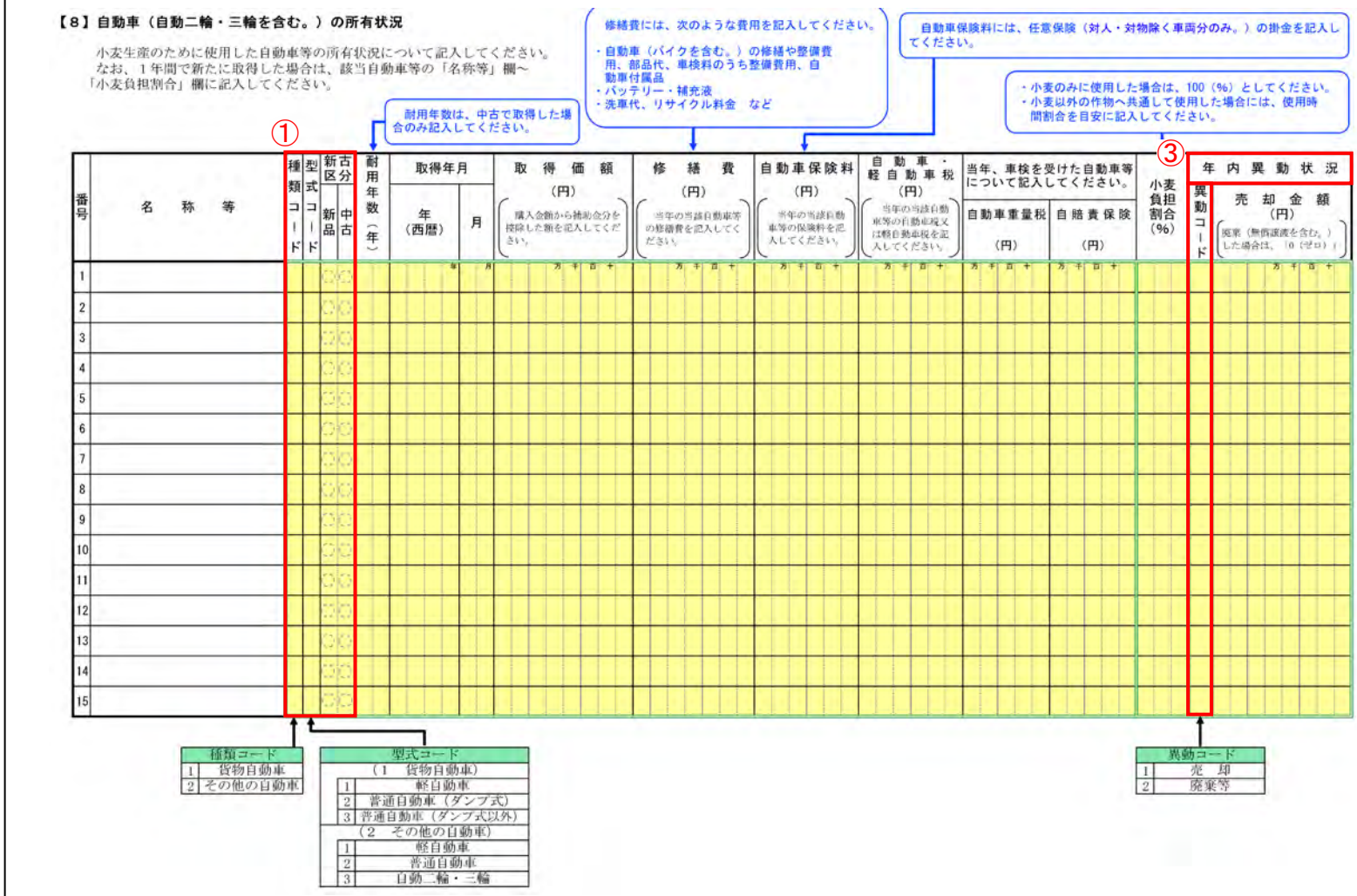
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24～25ページ（変更前10ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加



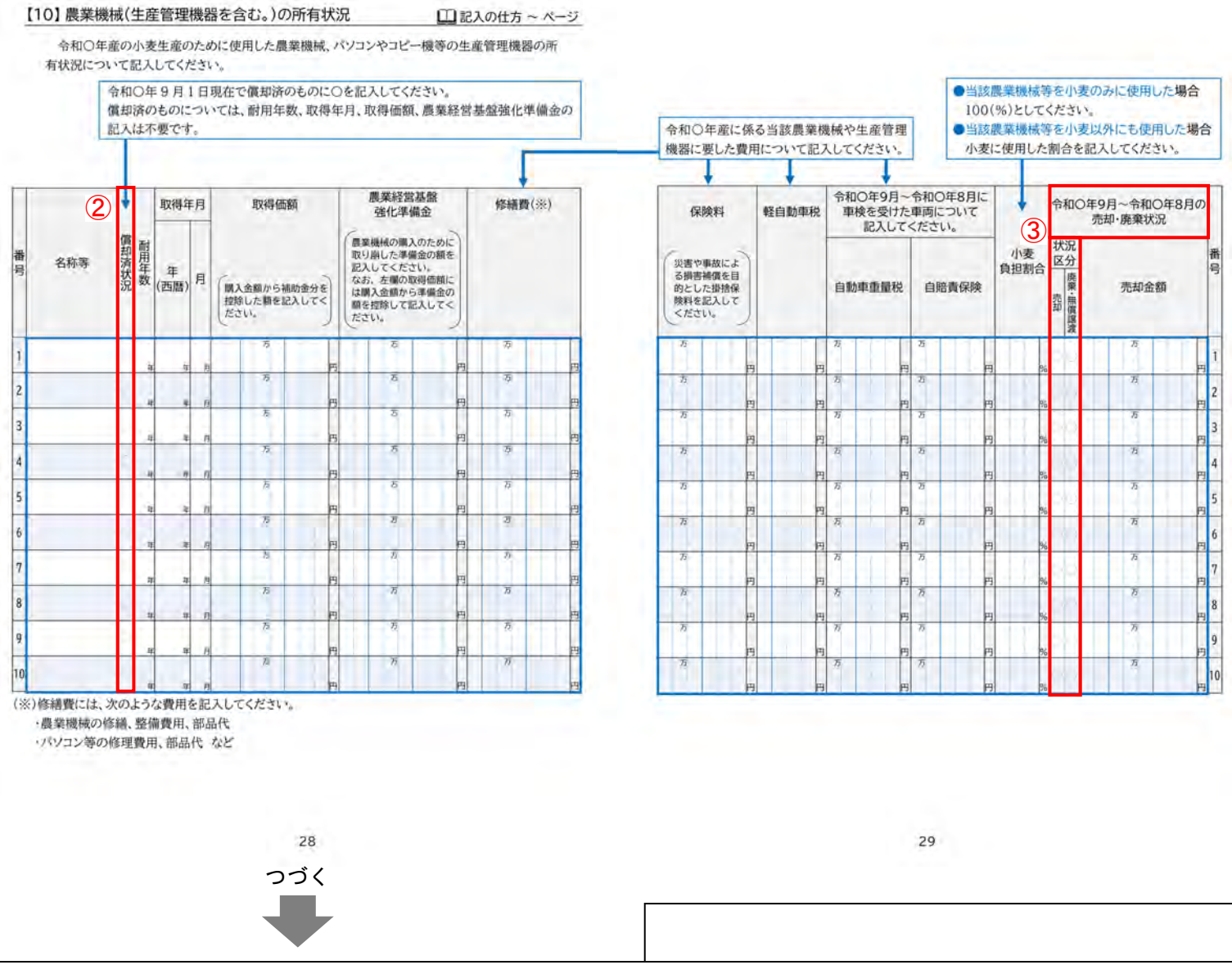
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上

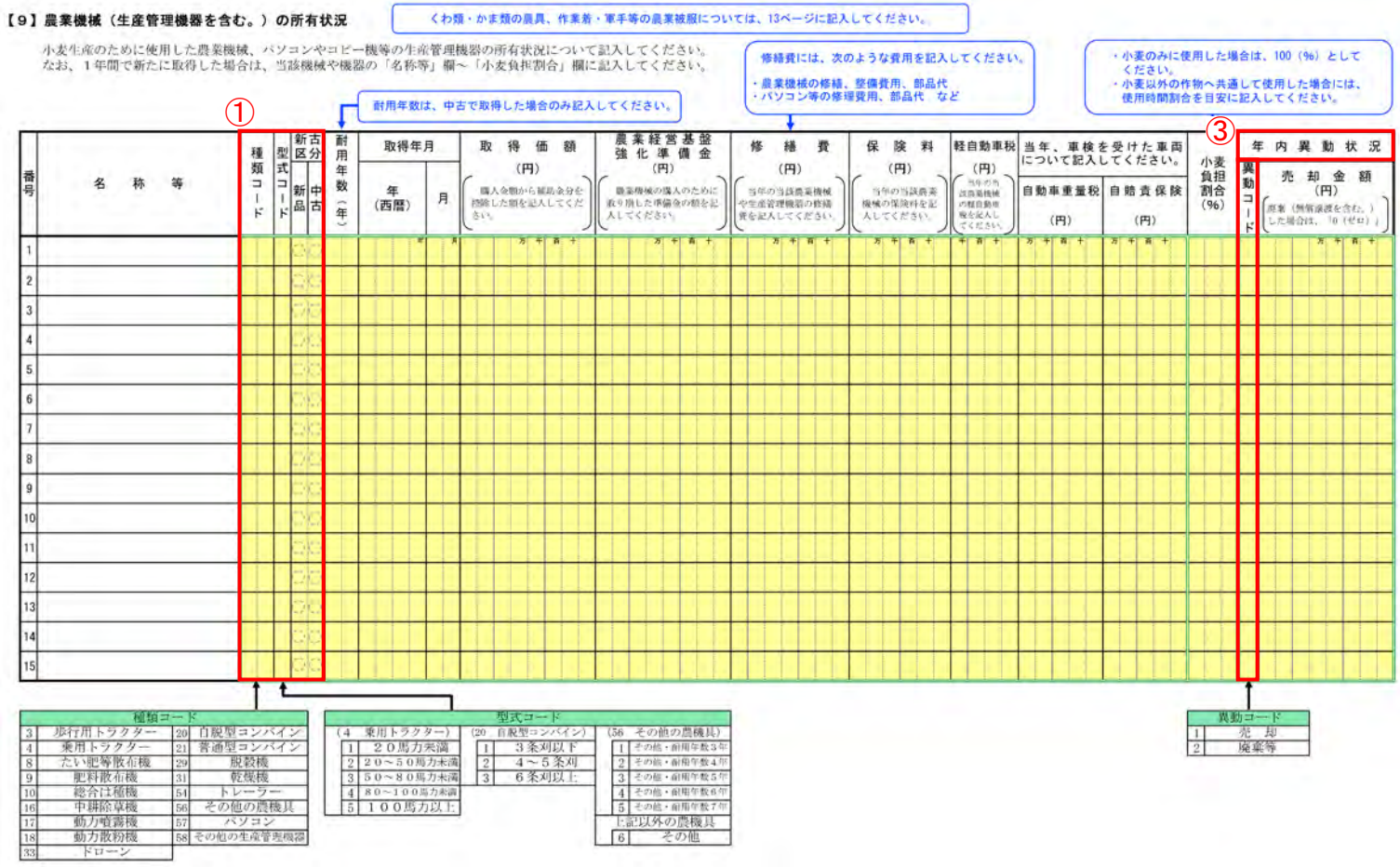


変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ（変更前11ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前12ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	12ページ	①同上 ③同上

種類コード			
3	歩行用トラクター	20	自脱型コンバイン
4	乗用トラクター	21	普通型コンバイン
8	たい肥等散布機	29	脱穀機
9	肥料散布機	31	乾燥機
10	総合は種機	54	トレーラー
16	中耕除草機	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
33	ドローン		

型式コード					
（4　乗用トラクター）		（20　自脱型コンバイン）		（56　その他の農機具）	
1	２０馬力未満	1	３条刈以下	1	その他・耐用年数３年
2	２０～５０馬力未満	2	４～５条刈	2	その他・耐用年数４年
3	５０～８０馬力未満	3	６条刈以上	3	その他・耐用年数５年
4	８０～１００馬力未満			4	その他・耐用年数６年
5	１００馬力以上			5	その他・耐用年数７年
				上記以外の農機具	
				6	その他

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前14ページと対比） ①		記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記 ①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更

【11】土地の面積及び地代　記入の仕方 ～ ページ

1 作付地

令和〇年産の小麦生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤小麦負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の小麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、
●小麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●小麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤小麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	%	○	○
2		ha a	ha a	%	○	○
3		ha a	ha a	%	○	○
4		ha a	ha a	%	○	○
5		ha a	ha a	%	○	○
6		ha a	ha a	%	○	○
7		ha a	ha a	%	○	○
8		ha a	ha a	%	○	○
9		ha a	ha a	%	○	○
10		ha a	ha a	%	○	○
11		ha a	ha a	%	○	○
12		ha a	ha a	%	○	○
13		ha a	ha a	%	○	○
14		ha a	ha a	%	○	○
15		ha a	ha a	%	○	○

30

つづく

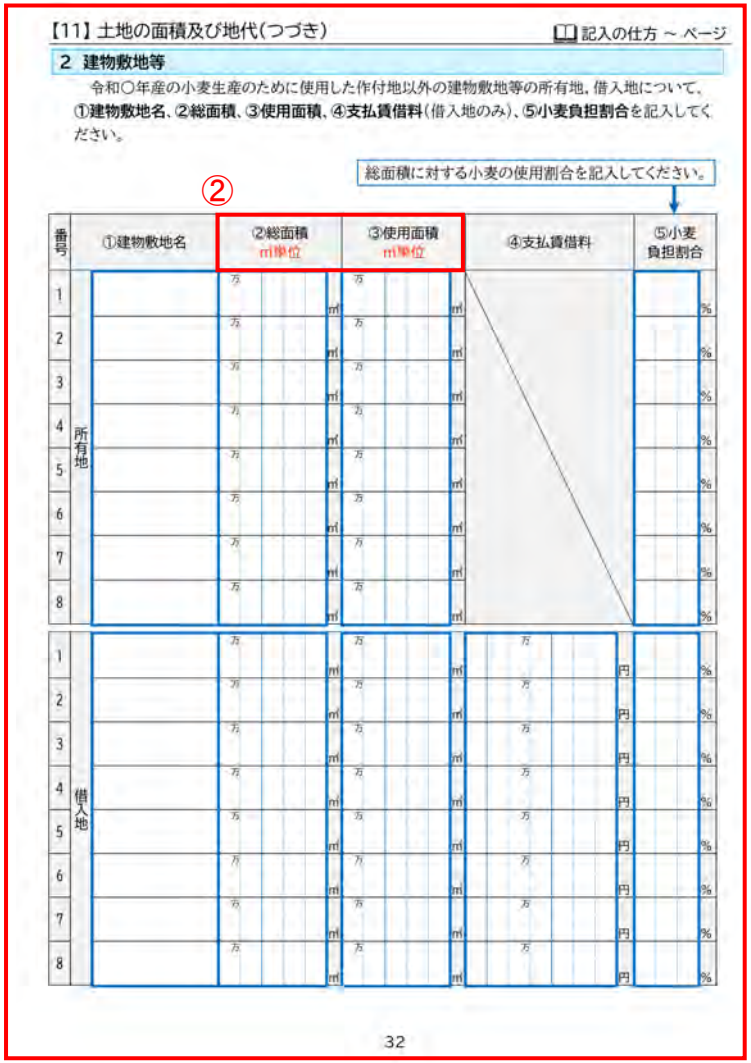
【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、
●小麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●小麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代 万 円	⑤小麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	万 円	%	○	○
2		ha a	ha a	万 円	%	○	○
3		ha a	ha a	万 円	%	○	○
4		ha a	ha a	万 円	%	○	○
5		ha a	ha a	万 円	%	○	○
6		ha a	ha a	万 円	%	○	○
7		ha a	ha a	万 円	%	○	○
8		ha a	ha a	万 円	%	○	○
9		ha a	ha a	万 円	%	○	○
10		ha a	ha a	万 円	%	○	○
11		ha a	ha a	万 円	%	○	○
12		ha a	ha a	万 円	%	○	○
13		ha a	ha a	万 円	%	○	○
14		ha a	ha a	万 円	%	○	○
15		ha a	ha a	万 円	%	○	○

31

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32ページ（変更前14ページと対比） ①  【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 2 建物敷地等 令和〇年産の小麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料(借入地のみ)、⑤小麦負担割合を記入してください。 総面積に対する小麦の使用割合を記入してください。 ② 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤小麦負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 32 つづく		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① 【11】土地の面積及び地代 当年産の小麦の収穫が終わる前の１年間に、 ・小麦のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。 ・小麦以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、小麦とそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。 【例】Ａ団地（ほ場）に米と小麦を作付けており、過去１年間における作物別の収入が米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。 小麦400万円÷（米400万円＋小麦400万円）×100＝50（%） 1　所有地 (1)　作付地 当年産の小麦生産のために作付けした所有地について記入してください。 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。 番号 / 団地（ほ場）名 / 土地台帳面積（a） / 作付実面積（a） / 小麦負担割合（%） / 地目 田 畑 1〜10 注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。 2　借入地 (1)　作付地 当年産の小麦生産のために作付けした借入地について記入してください。 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。 番号 / 団地（ほ場）名 / 土地台帳面積（a） / 作付実面積（a） / 支払地代（円） / 小麦負担割合（%） / 地目 田 畑 1〜10 注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。 当年産の小麦の収穫が終わる前の１年間に、 ・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。 ・小麦以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。 (2)　建物敷地等 当年産の小麦生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。 番号 / 使用地名 / ② 総面積（a） / 使用面積（a） / 小麦負担割合（%） 1〜3 (2)　建物敷地等 当年産の小麦生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。 番号 / 使用地名 / ② 総面積（a） / 使用面積（a） / 支払賃借料（円） / 小麦負担割合（%） 1〜3	14ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
33ページ	９ページ	



【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の小麦生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年9月1日時点の未償還残高、②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額、③小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●小麦のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合 小麦に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年9月1日時点の未償還残高	②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額	③小麦負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

33



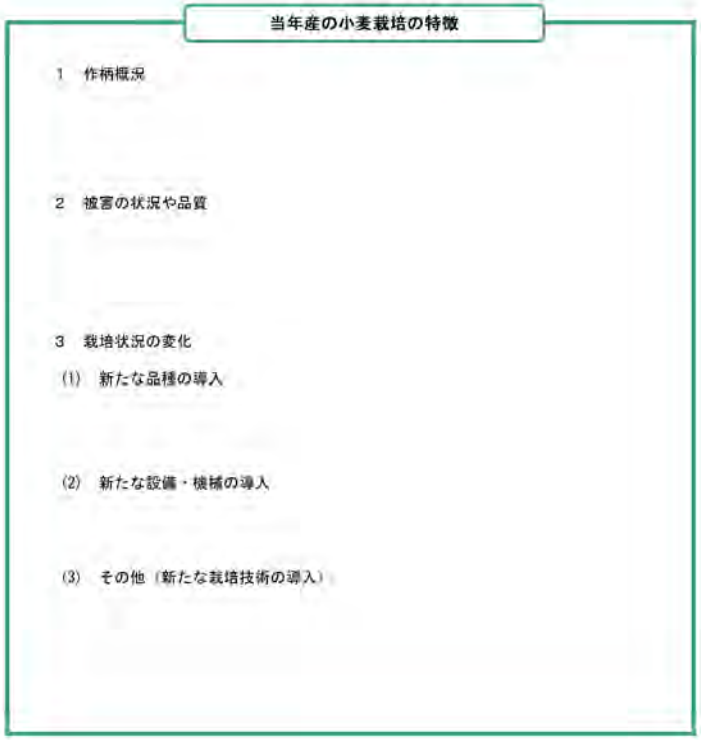
【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

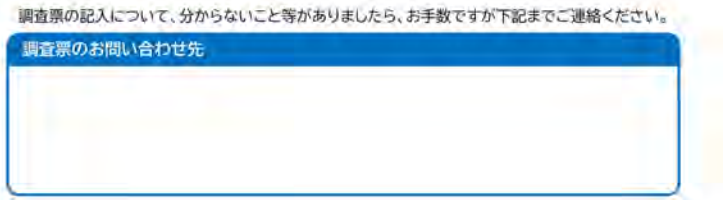
当年産の小麦生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・小麦のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	小麦負担割合（%）
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
借入金			
借入金			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ  	4ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  	1ページ  農業経営統計調査 ○年産　小麦生産費統計調査票 （組織法人経営体用）	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「小麦（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産の小麦の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　小麦とは
　　食用だけでなく、種子用の麦も該当します。（青刈り目的で栽培している小麦は含みません。）

※２　この調査での小麦の生産とは
　　組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（小麦負担割合について）】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から小麦負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
小麦と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、小麦「2ha」、水稲「8ha」の作付地に施肥した場合

例１　小麦に施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	小麦負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

← 小麦負担割合には100%と記入

例２　小麦、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
小麦と水稲の作付面積割合「２：８」を目安に小麦負担割合を「２０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	小麦負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

← 小麦負担割合には20%と記入

【小麦負担割合の設定方法】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合の小麦負担割合を設定する方法について説明します。

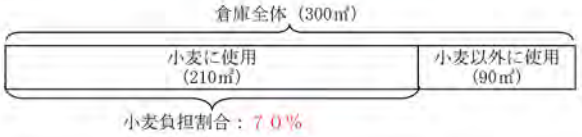
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、小麦生産のために使用した面積の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うち小麦生産のために210㎡、小麦以外の作物に90㎡を使用した場合の「小麦負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図

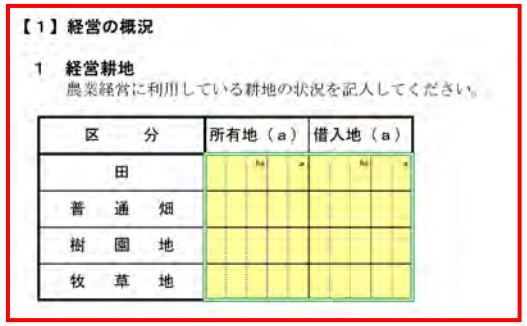
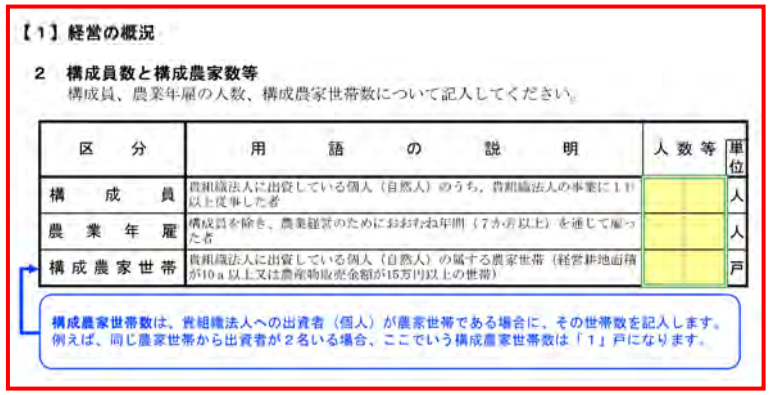
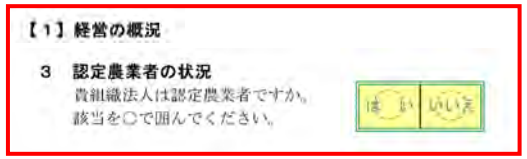


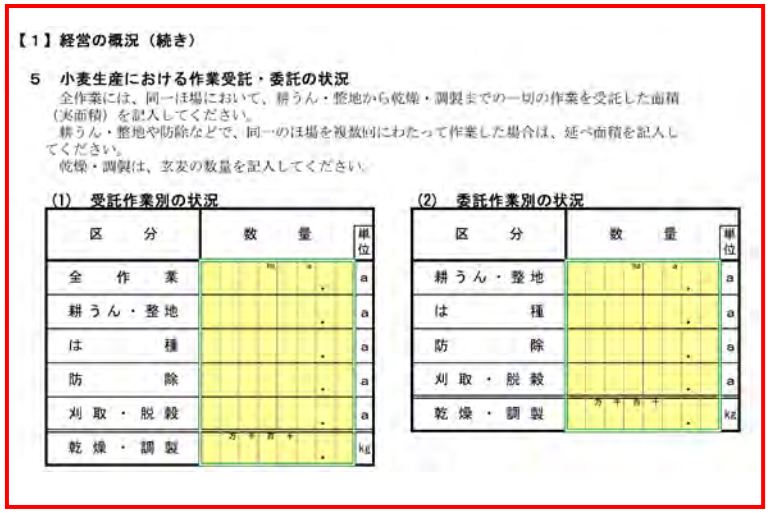
（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、小麦生産のために使用した時間の割合を「小麦負担割合」とします。

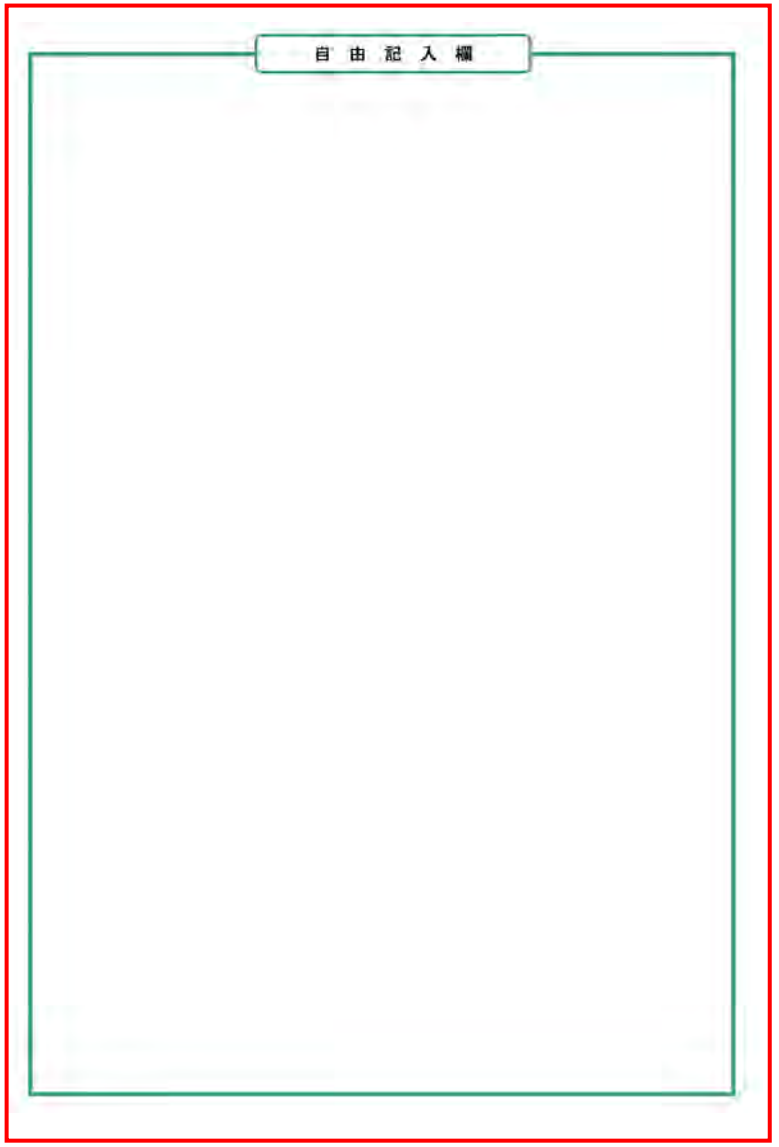
$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うち小麦生産のために80時間、小麦以外の作物に120時間使用した場合の「小麦負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普通畑 樹園地 牧草地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　構成員数と構成農家数等 構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。 区　分 / 用　語　の　説　明 / 人数等 / 単位 構成員 / 貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に１年以上従事した者 / 人 農業年雇 / 構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者 / 人 構成農家世帯 / 貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10ａ以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯） / 戸 構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。 例えば、同じ農家世帯から出資者が２名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「１」戸になります。	構成員数と構成農家数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 貴組織法人は認定農業者ですか。 該当を○で囲んでください。 はい / いいえ	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

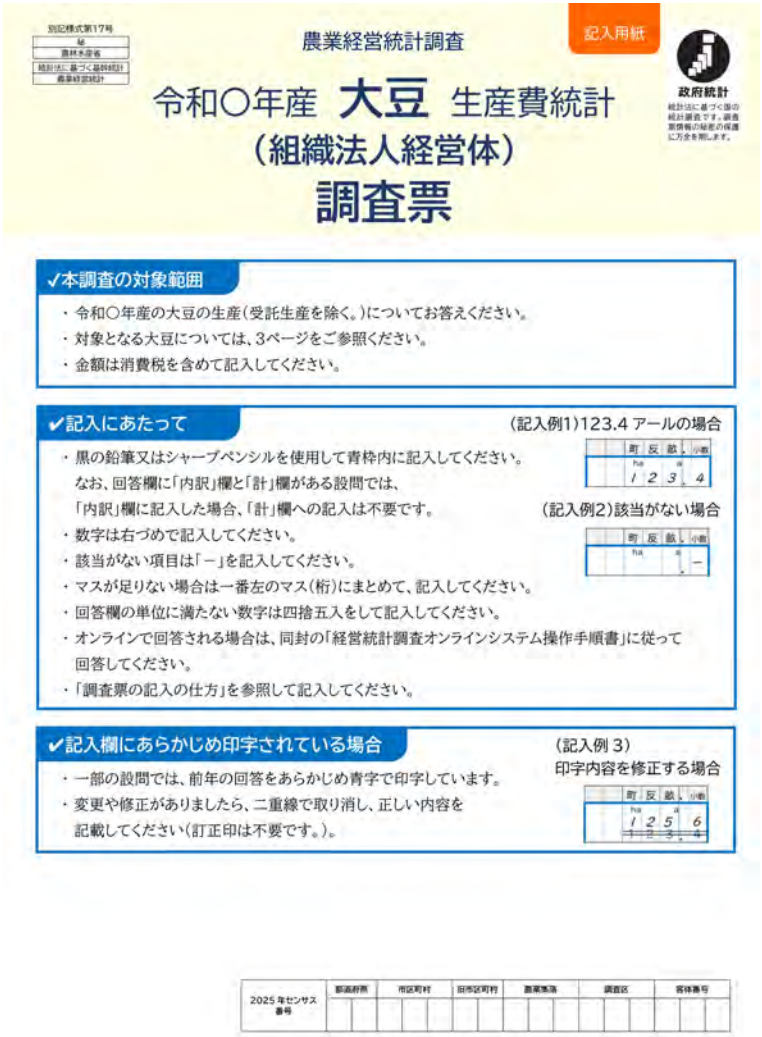
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ５　小麦生産における作業受託・委託の状況 全作業には、同一ほ場において、耕うん・整地から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。 耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。 乾燥・調製は、玄麦の数量を記入してください。 (1)　受託作業別の状況 区分 / 数量 / 単位 全作業 / 耕うん・整地 / は種 / 防除 / 刈取・脱穀 / a 乾燥・調製 / kg (2)　委託作業別の状況 区分 / 数量 / 単位 耕うん・整地 / は種 / 防除 / 刈取・脱穀 / a 乾燥・調製 / kg	小麦生産における作業委託･委託の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ６　小麦の品種別作付面積 当年産に作付けした小麦の品種名及びその作付面積を記入してください。 区分 / 品種名 / 面積（a） 品種１ 品種２ 品種３ 品種４ 品種５ 注：面積の合計が当年産の小麦作付面積です。	小麦の品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ７　制度受取金等の状況 当年産の小麦に係る制度受取金等について記入してください。 区　分 / 掛　金（円） / 受　取　金（円） 農　業　共　済 注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。	制度受取金等の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  通　信　欄	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除

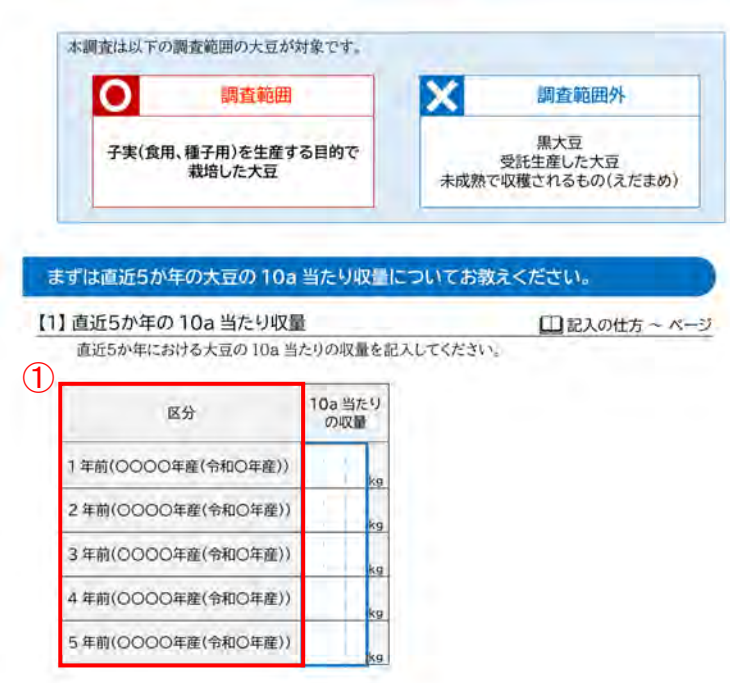
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	６ページ  	自由記入欄について、利活用の実績が乏しいことから削除

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

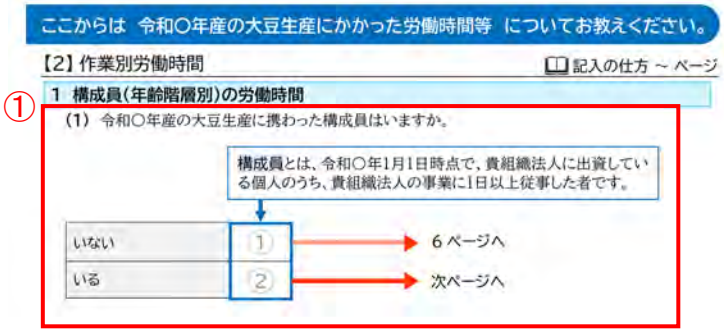
１　農産物生産費統計（大豆（組織法人経営体））

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第17号 １ページ  農業経営統計調査 記入用紙 令和〇年産 大豆 生産費統計 （組織法人経営体） 調査票 ✓本調査の対象範囲 ・令和〇年産の大豆の生産（受託生産を除く。）についてお答えください。 ・対象となる大豆については、3ページをご参照ください。 ・金額は消費税を含めて記入してください。 ✓記入にあたって ・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。 なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、 「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。 ・数字は右づめで記入してください。 ・該当がない項目は「－」を記入してください。 ・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。 ・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。 ・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。 （記入例1）123.4 アールの場合 （記入例2）該当がない場合 ✓記入欄にあらかじめ印字されている場合 ・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。 ・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。 （記入例３） 印字内容を修正する場合 2025 年センサス番号	別記様式第14号 １ページ  農業経営統計調査 〇年産　大豆生産費統計調査票 （組織法人経営体用） 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★〇印は記入見本を参考に記入してください。 ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。 【問合せ先】	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 ① 【1】直近5か年の10a当たり収量 ……3 【2】作業別労働時間 ……4 【3】生産物の販売等の状況 ……8 【4】大豆生産のために使用した資材等 ……10 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……19 【6】物件税及び公課諸負担 ……21 【7】土地改良及び水利費 ……23 【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……24 【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……26 【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……28 【11】土地の面積及び地代 ……30 【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……33	３ページ 調　査　事　項 ① ページ 【１】 経営の概況 …… 3 経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、大豆生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。 【２】 生産物の販売等の状況 …… 5 大豆の品質・用途別の販売状況等、選別により除かれた大豆等の状況について記入してください。 【３】 大豆の生産のために使用した資材等 …… 6 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。 【４】 物件税及び公課諸負担 …… 9 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。 【５】 土地改良及び水利費 …… 9 土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。 【６】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9 借入金残高、支払利子について記入してください。 【７】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。 【８】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。 【９】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。 【11】 土地の面積及び地代 …… 14 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。 【12】 作業別労働時間 …… 15 構成員、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は35～38ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  	３ページ  	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更(以下同じ) 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化(以下同じ) 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更(以下同じ) 報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、大豆の調査範囲の説明を追加 ①直近5か年の10a当たりの収量について、報告者の誤記入を防ぐため、西暦・和暦を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４～５ページ（変更前15ページと対比）		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、食用米生産に携わった構成員の有無を確認する設問を追加 ②報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間」の設問を「1 構成員（年齢階層別）の労働時間」と「2 雇用労働時間」に設問を分離 ③実人数について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ





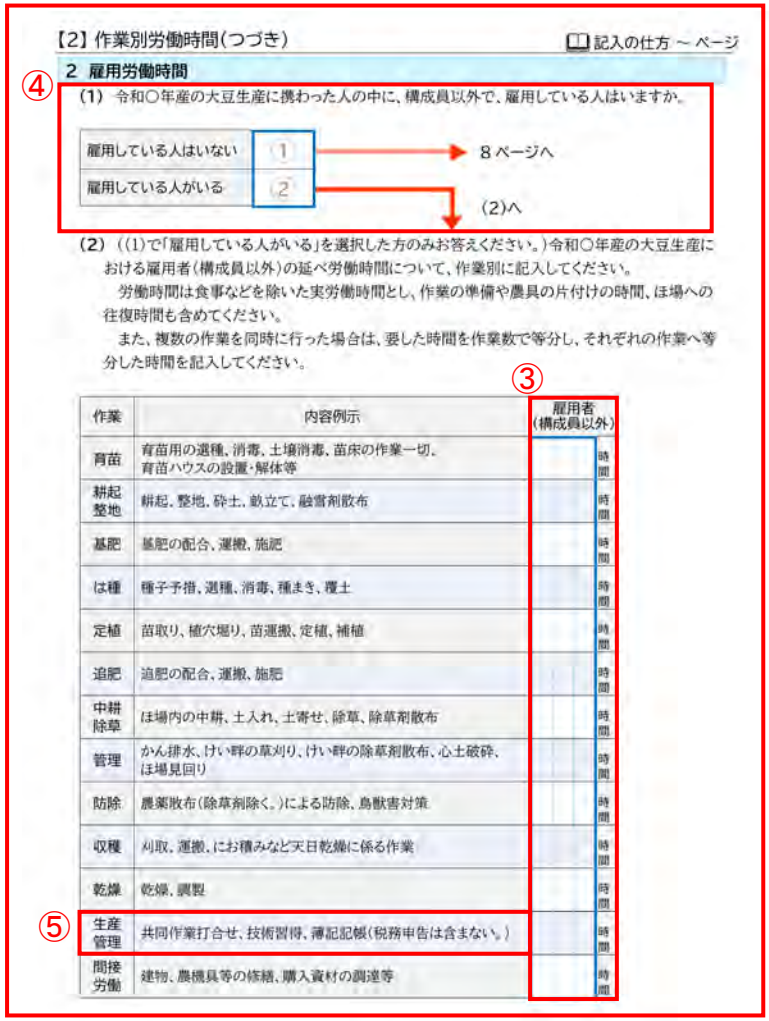
4

つづく

5

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～７ページ（変更前15ページと対比）		

②



【2】作業別労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ページ

2 雇用労働時間

④

(1) 令和○年産の大豆生産に携わった人の中に、構成員以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	1	→ 8ページへ
雇用している人がいる	2	→ (2)へ

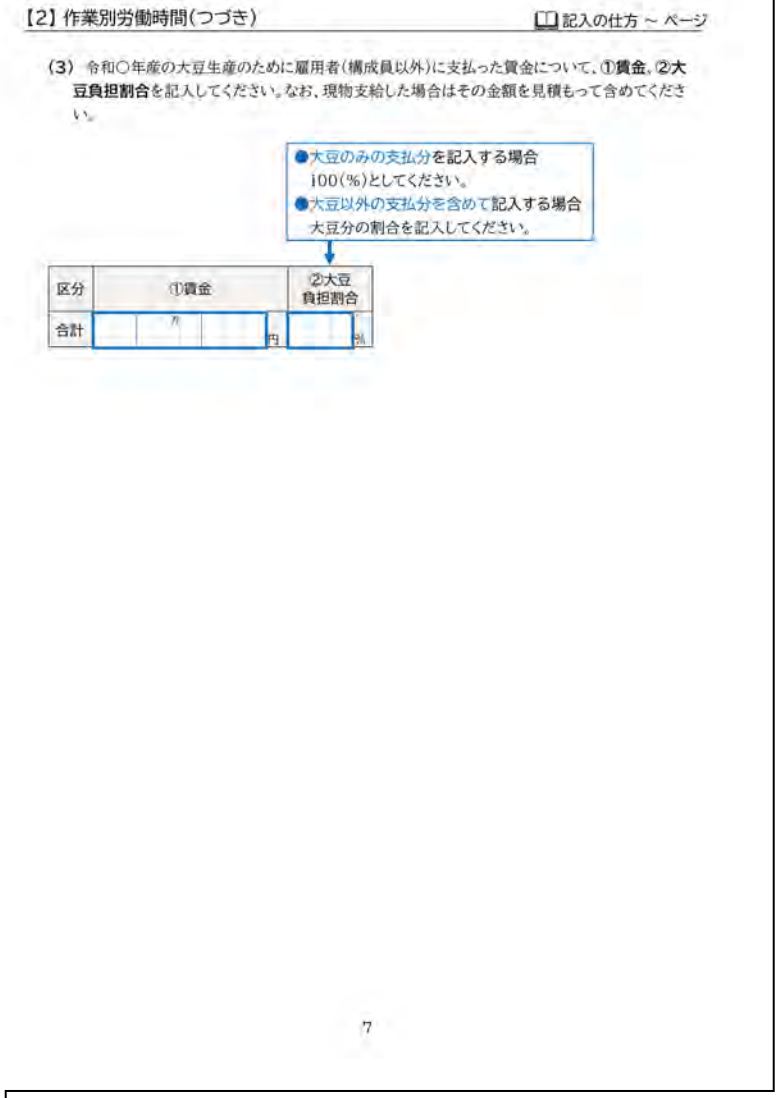
(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の大豆生産における雇用者(構成員以外)の延べ労働時間について、作業別に記入してください。
労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

③

作業	内容例示	雇用者(構成員以外)
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間
は種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間
収穫	刈取、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業	時間
乾燥	乾燥、調製	時間
⑤ 生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間

6

つづく



【2】作業別労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ページ

(3) 令和○年産の大豆生産のために雇用者(構成員以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②大豆負担割合**を記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●大豆のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の支払分を含めて記入する場合
大豆分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②大豆負担割合
合計	万　円	%

7

①同上

②同上

③同上

④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、構成員以外で雇用している人の有無を確認する設問を追加

⑤近年の雇用労働の高度化の実態を踏まえ、作業区分を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
②	15ページ	②同上 ③同上

【12】作業別労働時間
当年産の大豆生産における主な作業時間（受託した作業時間は含みません。）について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

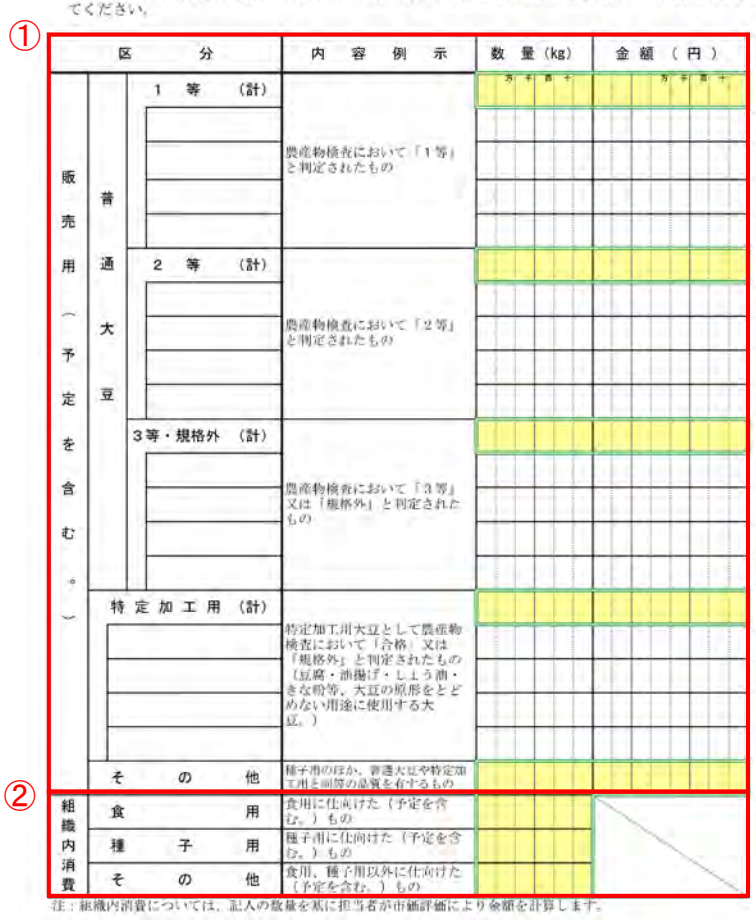
1　構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間
作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。
なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

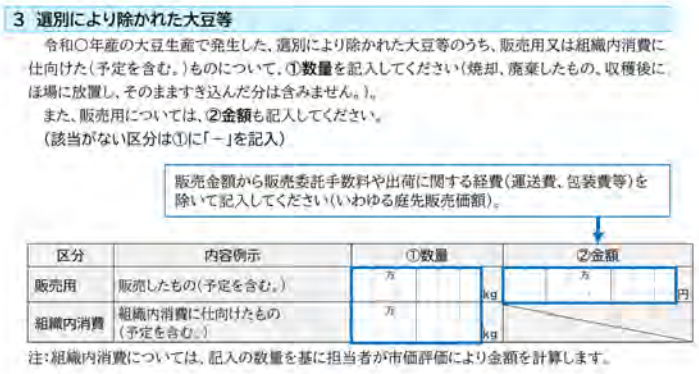
作業種類	内容例示	構成員の年齢階層 65歳未満		65～69歳		70～74歳		75歳以上		雇用 合計		作業種類
		③延べ作業時間	実人数	③延べ作業時間	実人数	③延べ作業時間	実人数	③延べ作業時間	実人数	③延べ作業時間	実人数	
育苗	育苗用の運種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等											育苗
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布											耕起整地
基肥	基肥の配合、運搬、施肥											基肥
は種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土											は種
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植											定植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥											追肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布											中耕除草
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り											管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
収穫	刈取、運搬、はざ積みなど天日乾燥に係る作業											刈取脱穀
乾燥	乾燥、調製											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

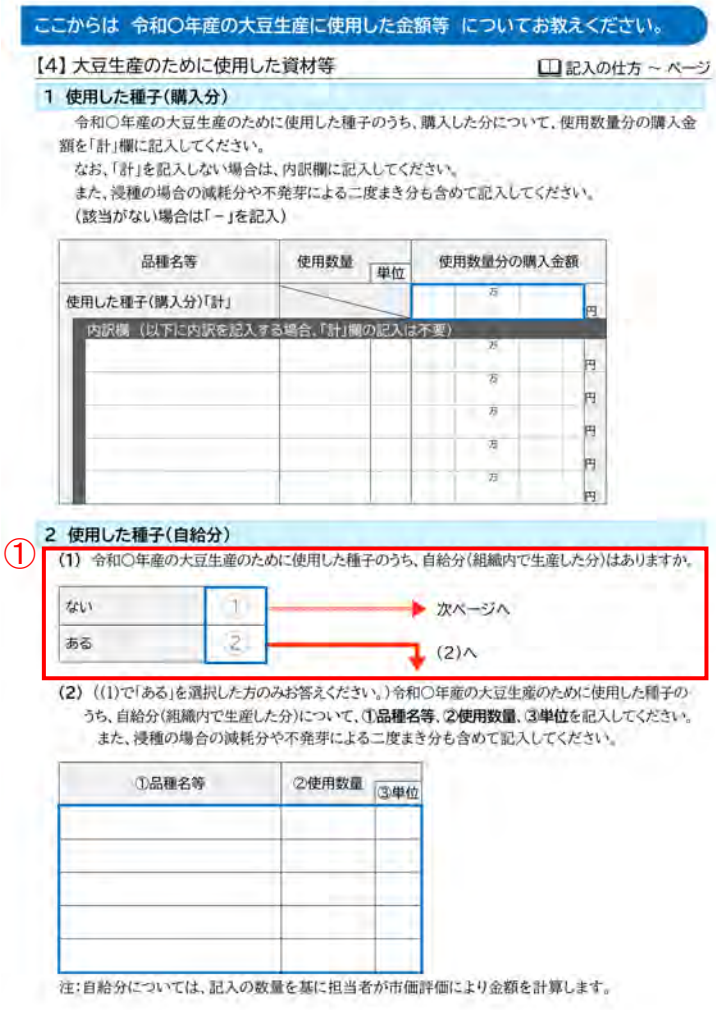
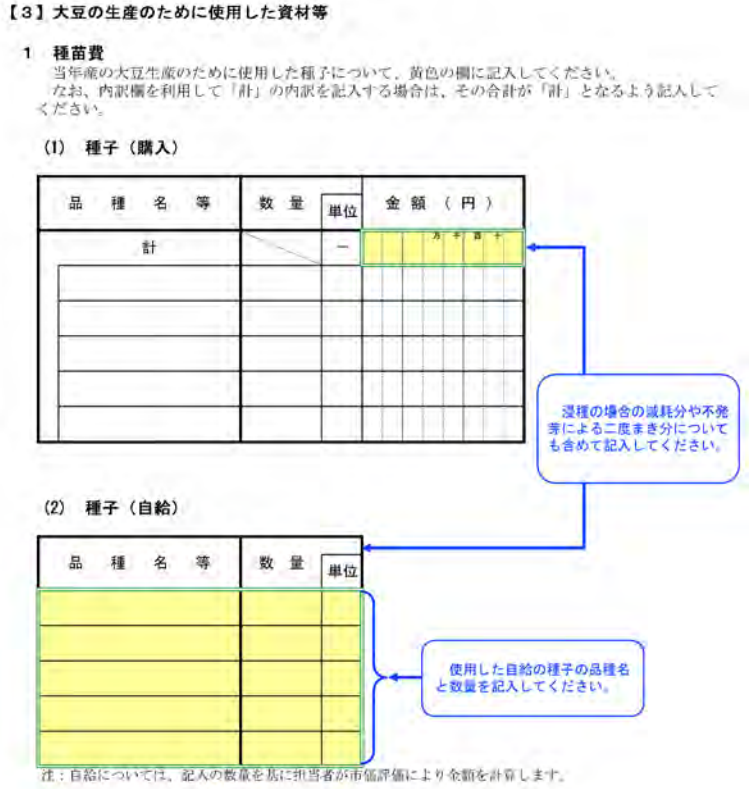
2　支払賃金
当年産の大豆生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	大豆負担割合（%）
合計	万 千 百 十	

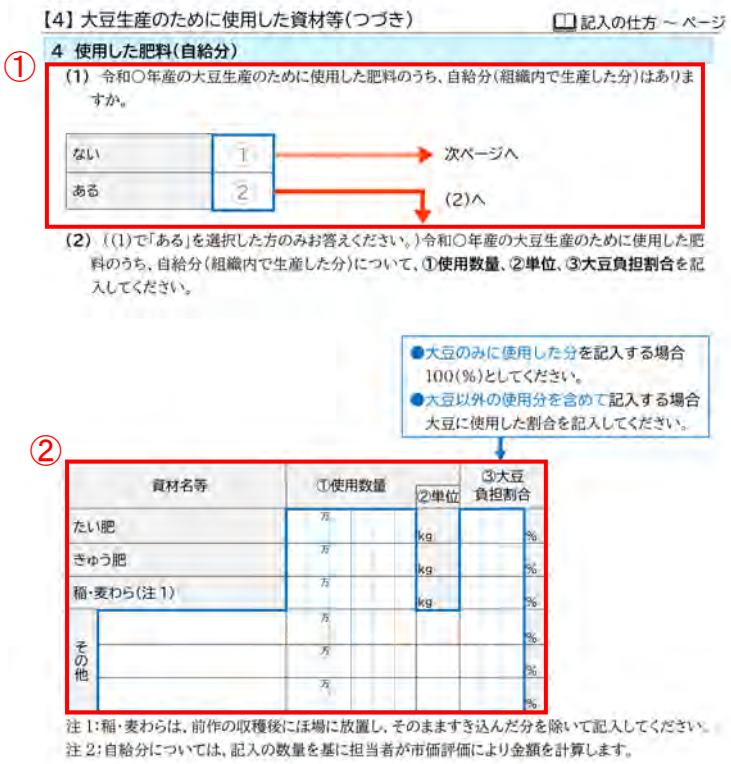
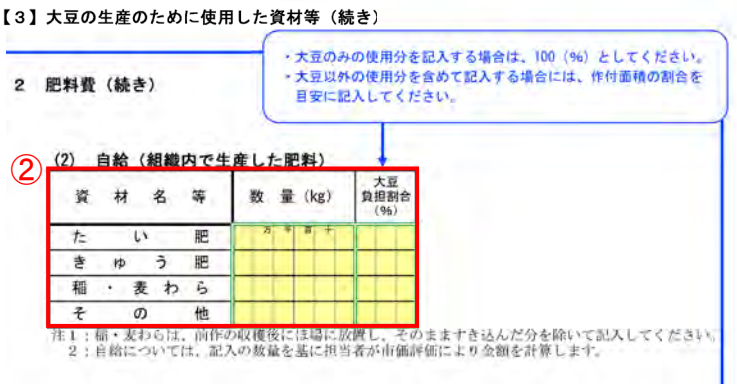
・大豆生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

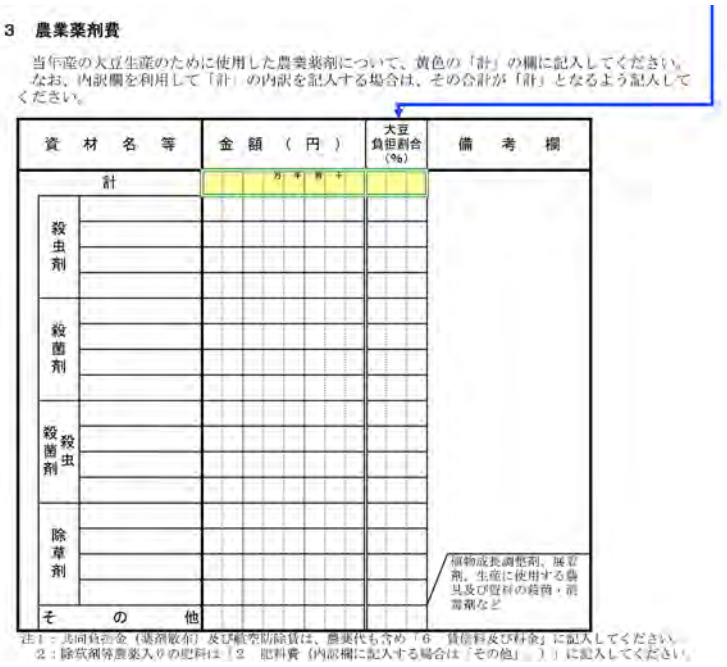
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
8～9ページ 	5ページ 	報告者が記入しやすいよう、組織内消費の大豆の数量に関する設問を分離 ①大豆の品質・用途別の販売状況等について報告者の記入負担軽減を図るため、「1等(計)」、「2等(計)」、「3等・規格外(計)」、「特定加工用(計)」、「その他」及び「金額(円)」を削除し、「数量」のみを把握するよう変更 ②組織内消費の大豆の数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、「食用」、「種子用」及び「その他」の記入欄を削除し、「組織内消費「計」」を把握するよう変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ  **３　選別により除かれた大豆等** 令和○年産の大豆生産で発生した、選別により除かれた大豆等のうち、販売用又は組織内消費に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後に、ほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。 また、販売用については、**②金額**も記入してください。 （該当がない区分は①に「－」を記入） 販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。 区分 / 内容例示 / ①数量 / ②金額 販売用 / 販売したもの（予定を含む。） / 万 kg / 万 円 組織内消費 / 組織内消費に仕向けたもの（予定を含む。） / 万 kg 注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 9	５ページ  **【２】生産物の販売等の状況** **２　選別により除かれた大豆等の状況** 当年産の大豆生産で発生した、選別により除かれた大豆等の状況について記入してください。 なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。 区分 / 内容例示 / 数量（kg） / 金額（円） 販売用 / 販売した（予定を含む。）もの 組織内消費 / 組織内に仕向けた（予定を含む。）もの 注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	

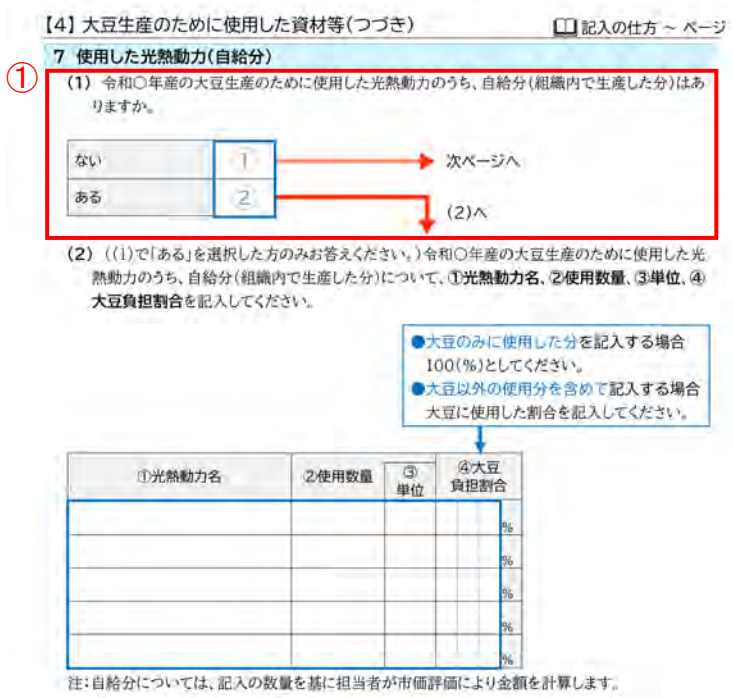
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ 	6ページ 	報告者が記入しやすいよう、種苗費のうち購入分と自給分の設問を分離 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した種子(自給分)の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ 	7ページ 	肥料費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ  【4】大豆生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 4 使用した肥料(自給分) ① (1) 令和○年産の大豆生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。 ない　1　→ 次ページへ ある　2　→ (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の大豆生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①使用数量、②単位、③大豆負担割合**を記入してください。 ●大豆のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●大豆以外の使用分を含めて記入する場合 大豆に使用した割合を記入してください。 ② 資材名等 / ①使用数量 / ②単位 / ③大豆負担割合 たい肥 / きゅう肥 / 稲・麦わら(注1) / その他 注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 12	7ページ  【3】大豆の生産のために使用した資材等（続き） ・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 2 肥料費（続き） ② (2) 自給（組織内で生産した肥料） 資材名等 / 数量(kg) / 大豆負担割合(%) たい肥 / きゅう肥 / 稲・麦わら / その他 注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した肥料(自給分)の有無を確認する設問を追加 ②報告者が記入しやすいようその他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ 	7ページ 	農業薬剤費について、内訳欄の資材区分を削除し、内容例示として記載

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ  【4】大豆生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 6 使用した光熱動力(購入分) 令和〇年産の大豆生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●大豆のみに使用した分を記入する場合 100(%)としてください。 ●大豆以外の使用分を含めて記入する場合 大豆に使用した割合を記入してください。 区分 / 使用数量 / 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②大豆負担割合 使用した光熱動力(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 動力燃料: 重油 / 軽油 / 灯油 / ガソリン / 潤滑油 / 混合油 電力料 その他(水道料、木炭などの燃料) 14 つづく	8ページ  【3】大豆の生産のために使用した資材等（続き） 4 光熱動力費 当年産の大豆生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 資材名等 / 数量 / 単位 / 金額（円） / 大豆負担割合(%) 購入（計） 動力燃料: 重油 / 軽油 / 灯油 / ガソリン / 潤滑油 / 混合油 電力料 その他（水道料、木炭などの燃料） 自給 ・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。 使用した自給の資材名と数量を記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者が記入しやすいよう、光熱動力費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ（変更前８ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力（自給分）の有無を確認する設問を追加

【4】大豆生産のために使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

7 使用した光熱動力（自給分）

①

(1) 令和○年産の大豆生産のために使用した光熱動力のうち、自給分（組織内で生産した分）はありますか。

ない	1	→ 次ページへ
ある	2	→ (2)へ

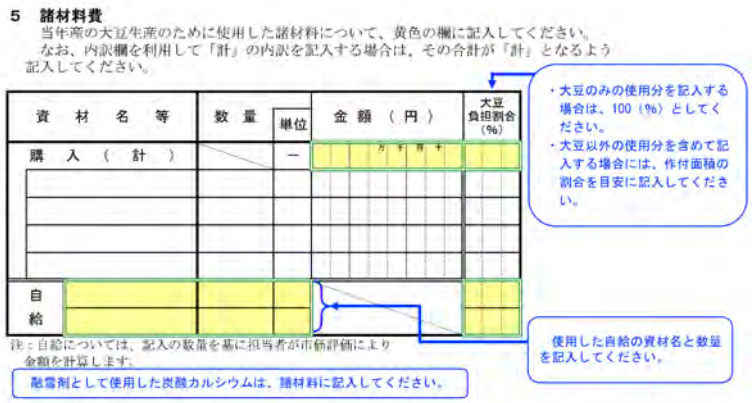
(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。) 令和○年産の大豆生産のために使用した光熱動力のうち、自給分（組織内で生産した分）について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④大豆負担割合**を記入してください。

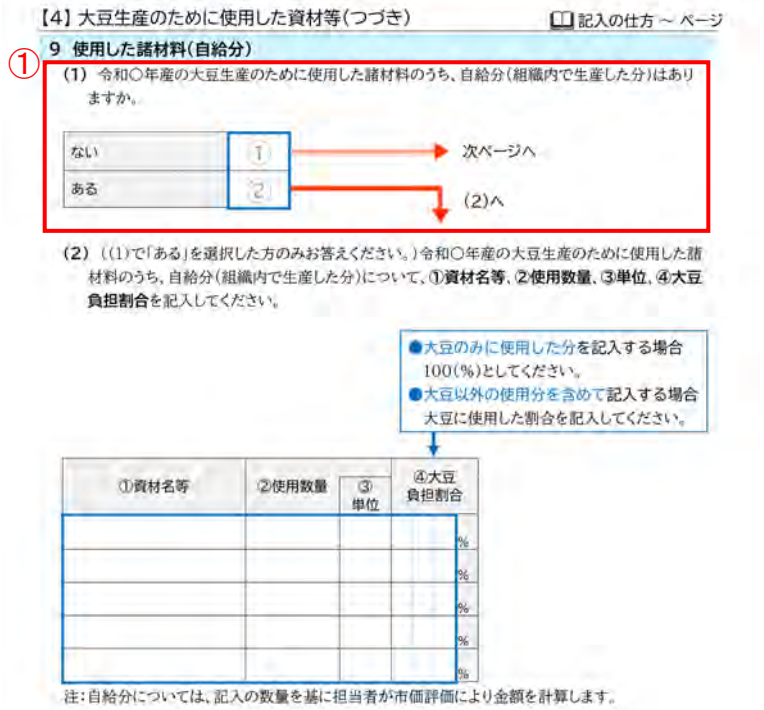
●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④大豆負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

15

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ  【4】大豆生産のために使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ 8 使用した諸材料(購入分) 令和〇年産の大豆生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) 融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、ここに記入してください。 ●大豆のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。 ●大豆以外の使用分を含めて記入する場合大豆に使用した割合を記入してください。 資材名等 / 使用数量 / 単位 / ①使用数量分の購入金額 / ②大豆負担割合 使用した諸材料(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要) 注:くわ、かま等の農具や作業着等については、19ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。 16 つづく	8ページ  【3】大豆の生産のために使用した資材等（続き） 5 諸材料費 当年産の大豆生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 資材名等 / 数量 / 単位 / 金額（円） / 大豆負担割合（%） 購入（計） 自給 ・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。 使用した自給の資材名と数量を記入してください。 注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

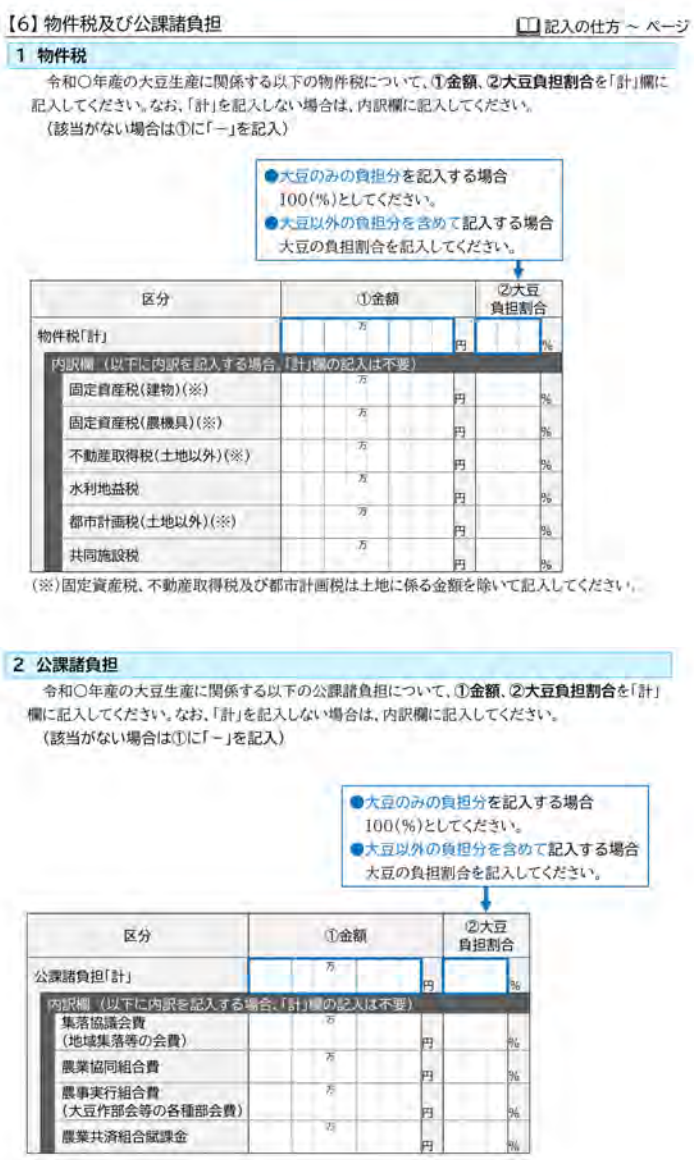
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ（変更前８ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した諸材料（自給分）の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ 	８ページ 	賃借料及び料金の内訳欄について、報告者が記入しやすいよう、その他の回答欄を自由記述方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19～20ページ（変更前13ページと対比）  		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等 当年産の大豆生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 ・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。 ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。 農具・農業被服等の購入費 名称等 / 金額（円）（万 千 百 十）/ 大豆負担割合（%）/ 内容例示 （計） 【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費 生産管理関係の費用 名称等 / 金額（円）（万 千 百 十）/ 大豆負担割合（%）/ 内容例示 （計） 【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料	13ページ	同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21～22ページ	９ページ	



【6】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ ページ

1 物件税

令和○年産の大豆生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②大豆負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税(建物)(※)	万　円	%
固定資産税(農機具)(※)	万　円	%
不動産取得税(土地以外)(※)	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税(土地以外)(※)	万　円	%
共同施設税	万　円	%

(※)固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和○年産の大豆生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②大豆負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（大豆作部会等の各種部会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した大豆生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金額（円）	大豆負担割合（%）
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

２　公課諸負担

１年間に負担した大豆生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

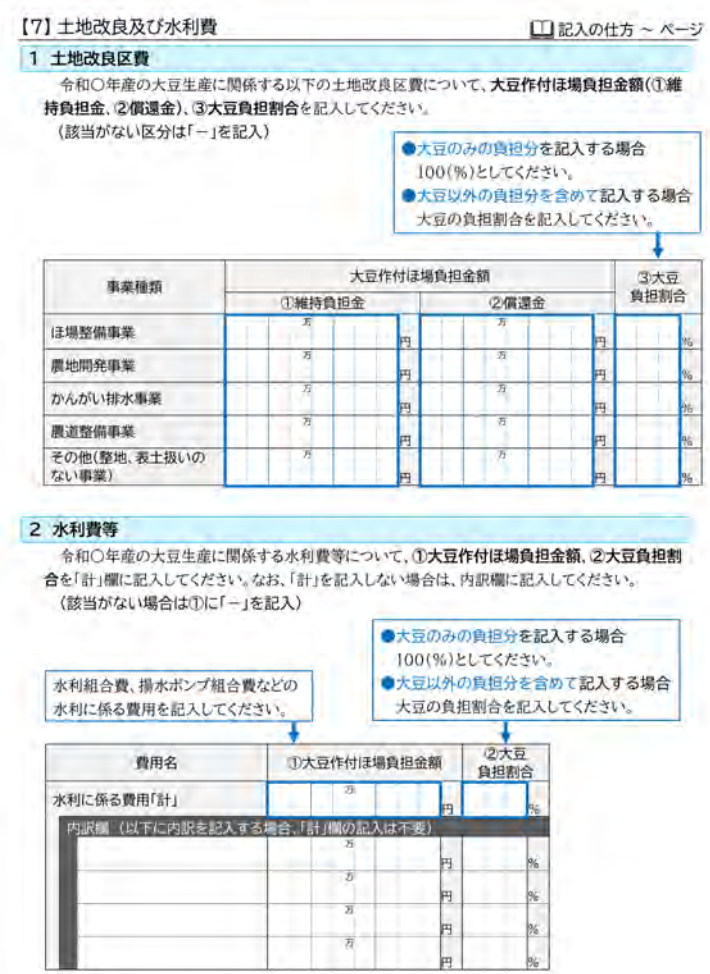
区　分	金額（円）	大豆負担割合（%）
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（大豆作部会等の各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ	９ページ	





変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24～25ページ（変更前10ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加

【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の大豆生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

●当該建物等を大豆のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等を大豆以外にも使用した場合
大豆に使用した割合を記入してください。

番号	名称等	② 償却済状況	耐用年数	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。）	修繕費(※)（令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。）	③ 大豆負担割合	年内取り壊し・売却状況 状況区分 取り壊し	部分取り壊し	売却	④ 発生金額（売却金額、取り壊しの金額）	部分取り壊しをした面積割合	番号
1				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	1
2				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	2
3				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	3
4				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	4
5				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	5
6				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	6
7				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	7
8				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	8
9				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	9
10				年	月	億 万 円	万 円	万 円	万 円	%				万 円	%	10

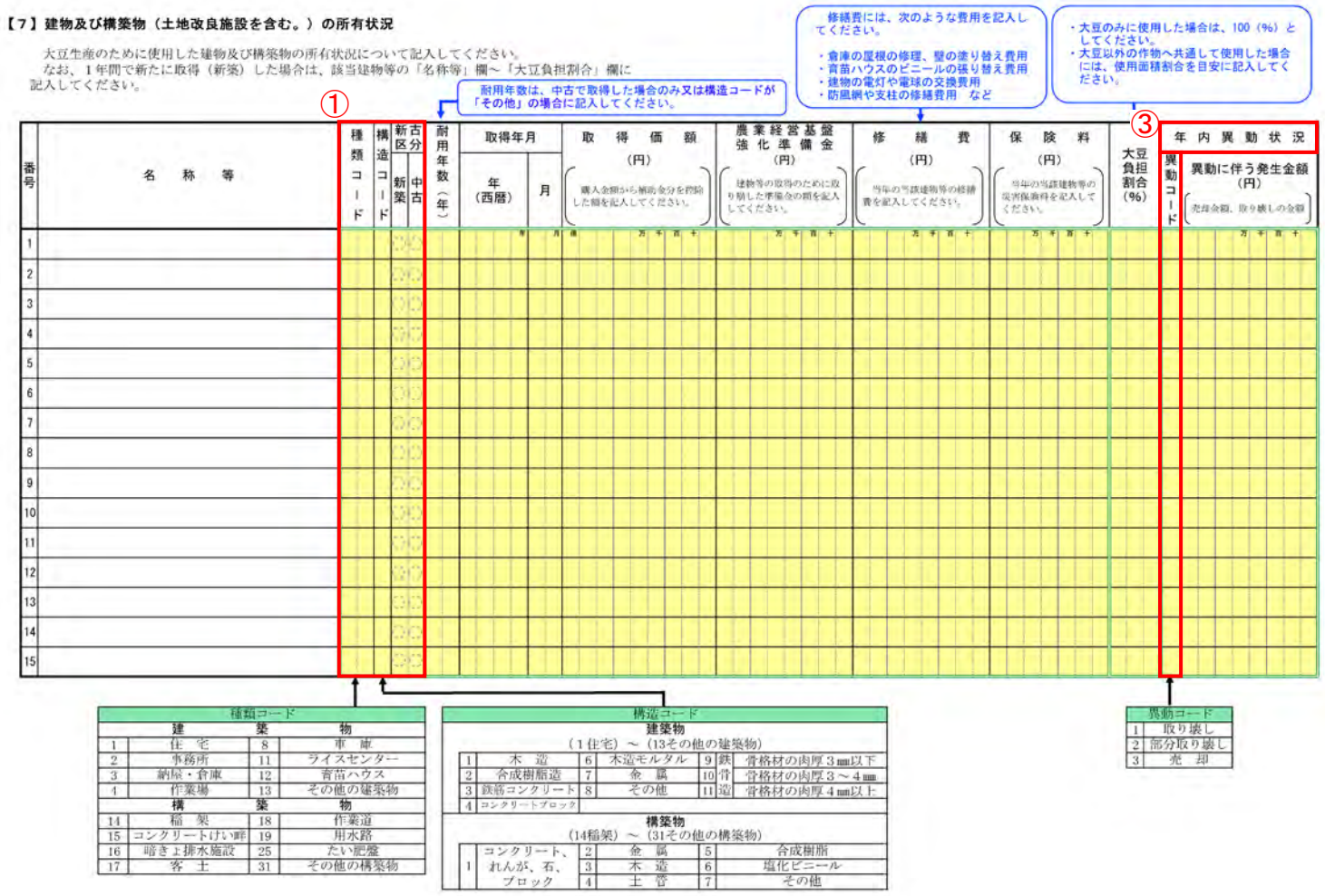
(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

24

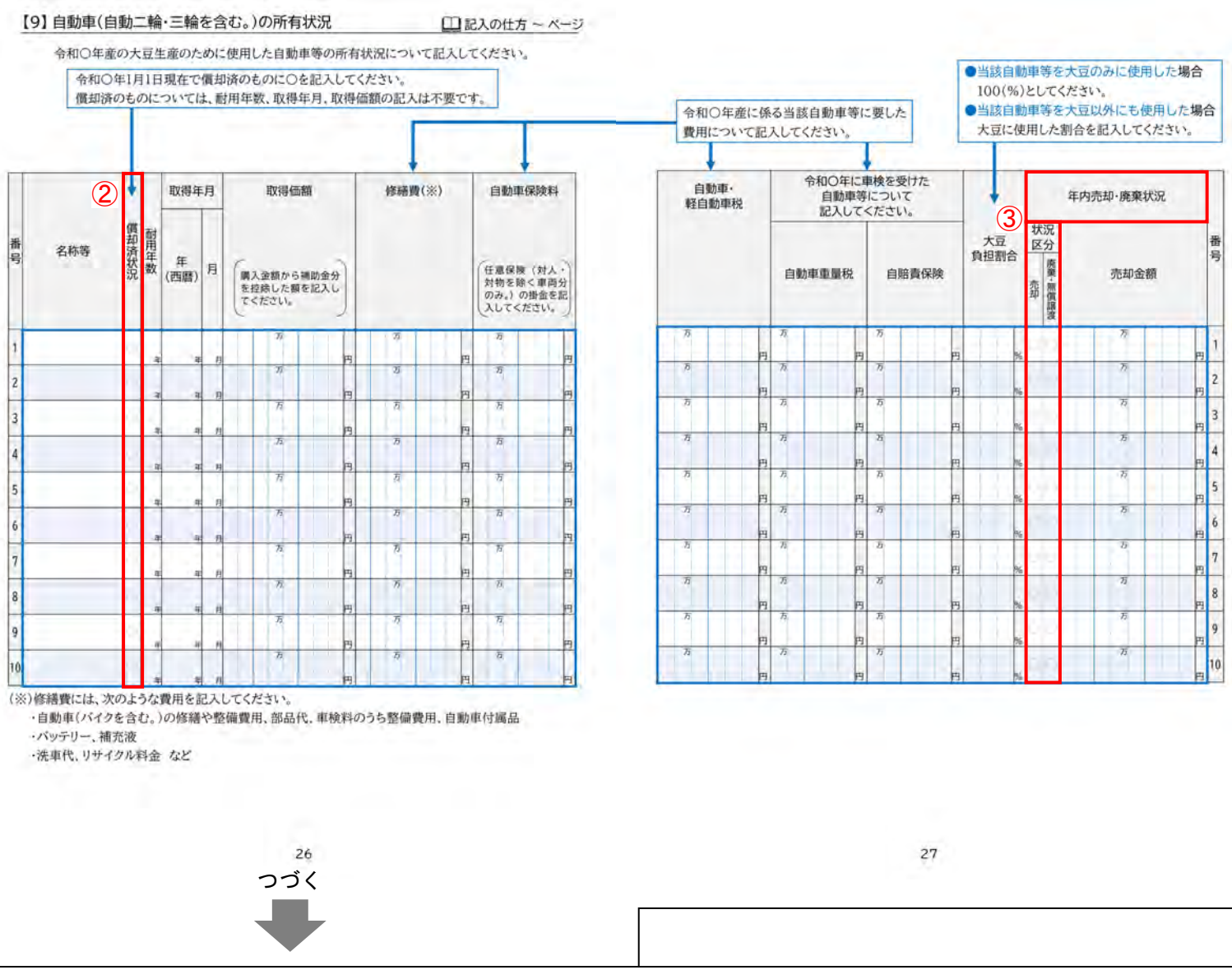
つづく

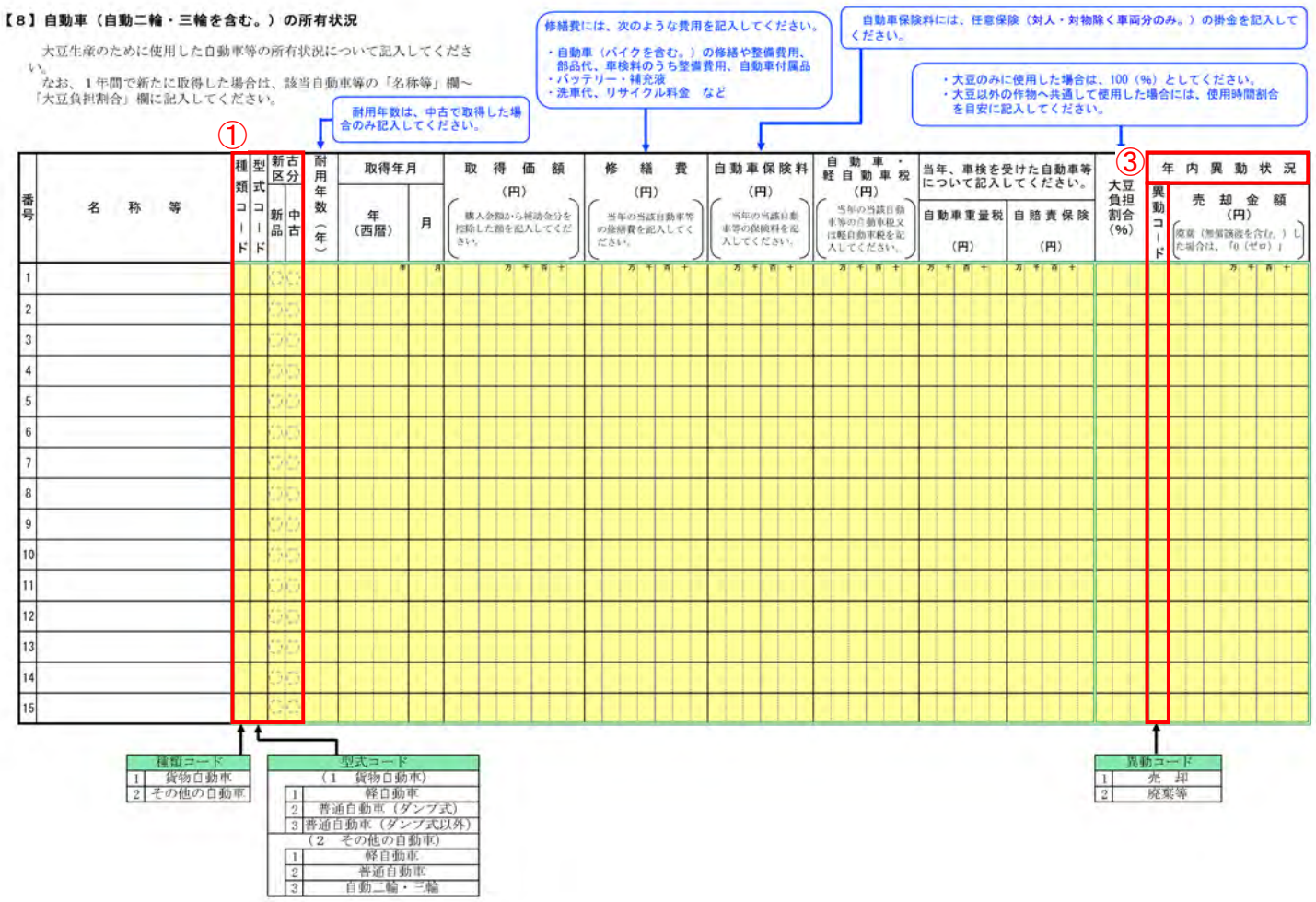
25

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上

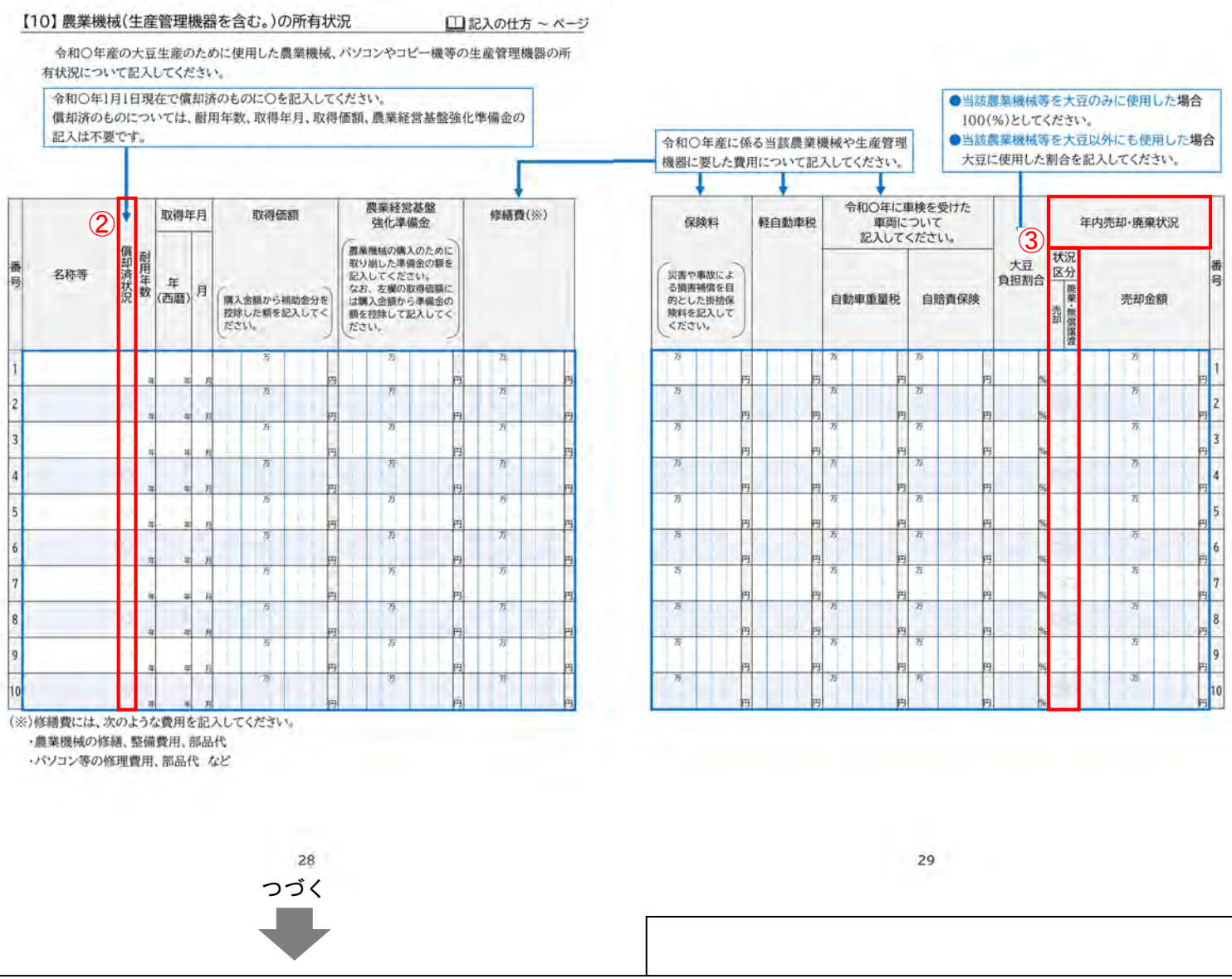


変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ（変更前11ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

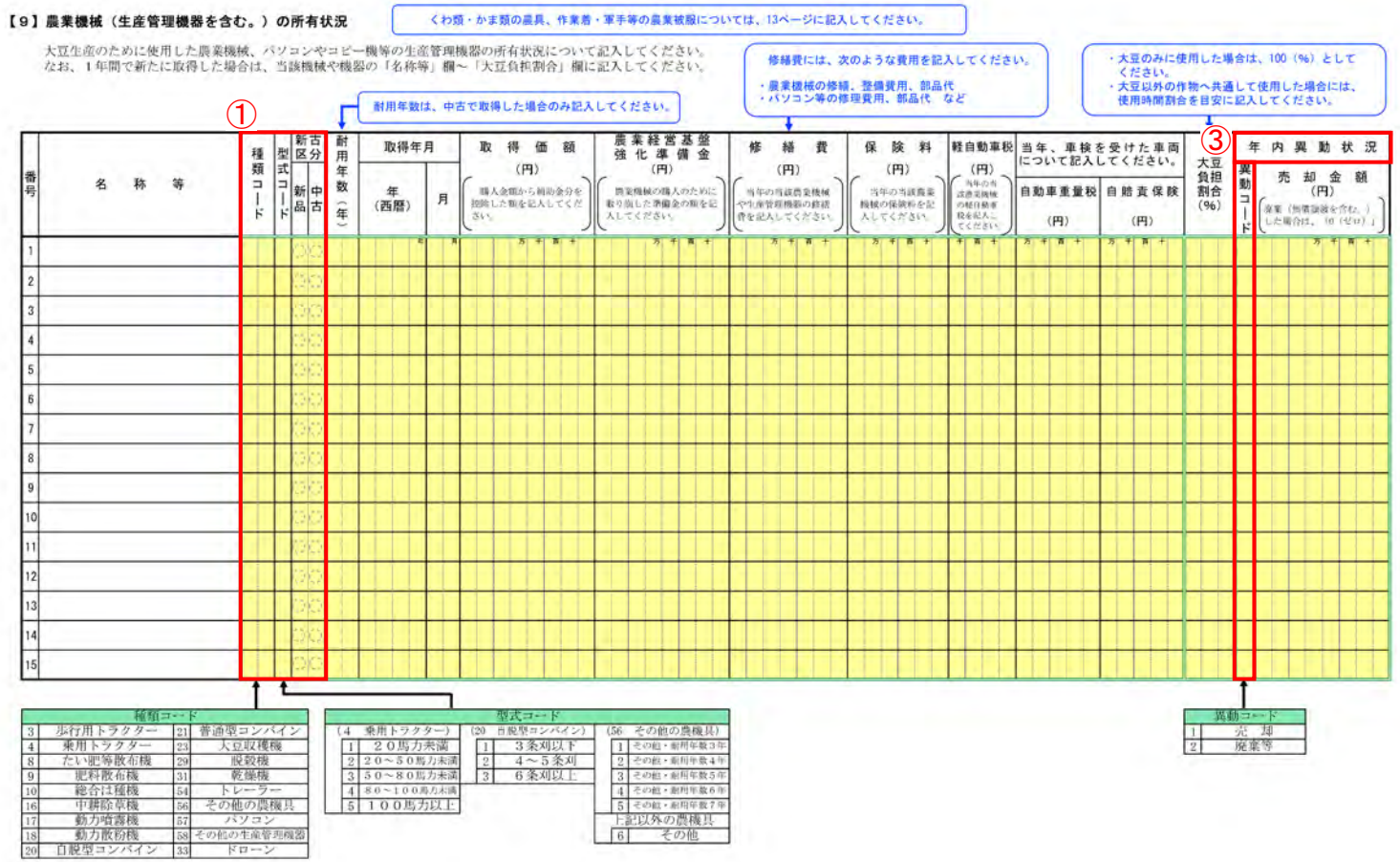


変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前12ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	12ページ	①同上 ③同上



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前14ページと対比） ①		記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記 ①報告者が記入しやすいよう、所有地と借入地で分けられていた設問を「作付地」と「建物敷地等」に区分し、それぞれ所有地、借入地を把握するよう変更

【11】土地の面積及び地代　記入の仕方 ～ ページ

1 作付地

令和〇年産の大豆生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤大豆負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の大豆の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
●大豆のみを作付けした団地・ほ場名等の場合
100(%)としてください。
●大豆以外の作物も作付けした団地・ほ場名等の場合
作付けした作物の収入全体に占める大豆の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	⑤大豆負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	%	○	○
2		ha a	ha a	%	○	○
3		ha a	ha a	%	○	○
4		ha a	ha a	%	○	○
5		ha a	ha a	%	○	○
6		ha a	ha a	%	○	○
7		ha a	ha a	%	○	○
8		ha a	ha a	%	○	○
9		ha a	ha a	%	○	○
10		ha a	ha a	%	○	○
11		ha a	ha a	%	○	○
12		ha a	ha a	%	○	○
13		ha a	ha a	%	○	○
14		ha a	ha a	%	○	○
15		ha a	ha a	%	○	○

30

つづく

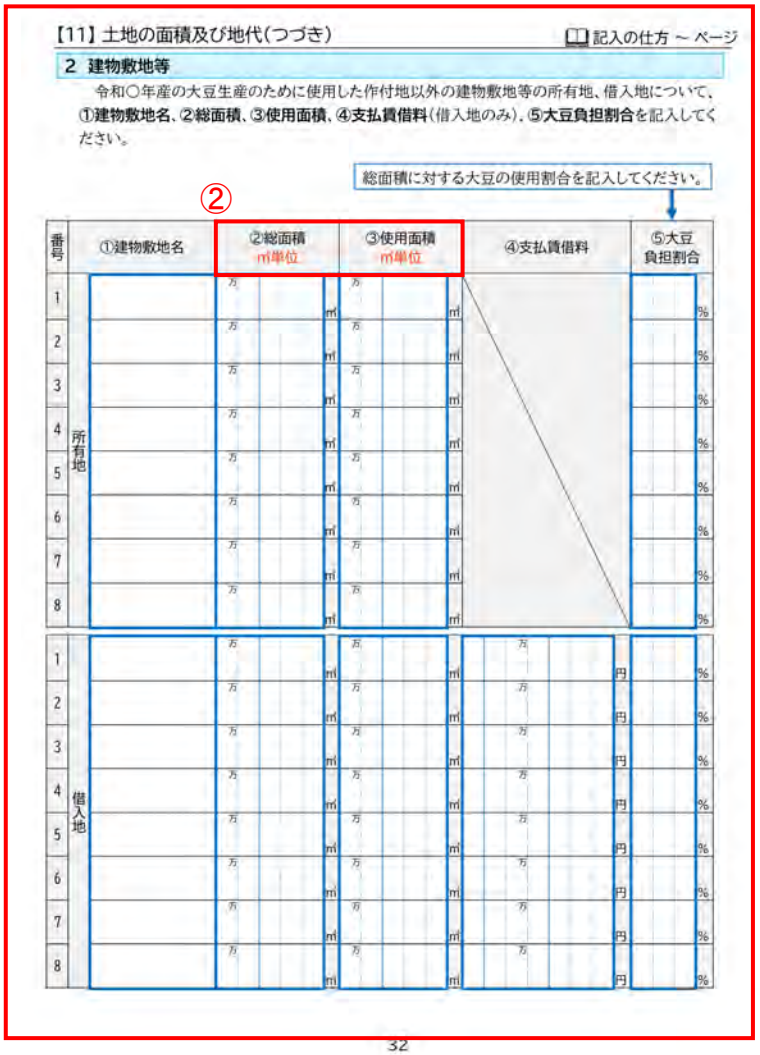
【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

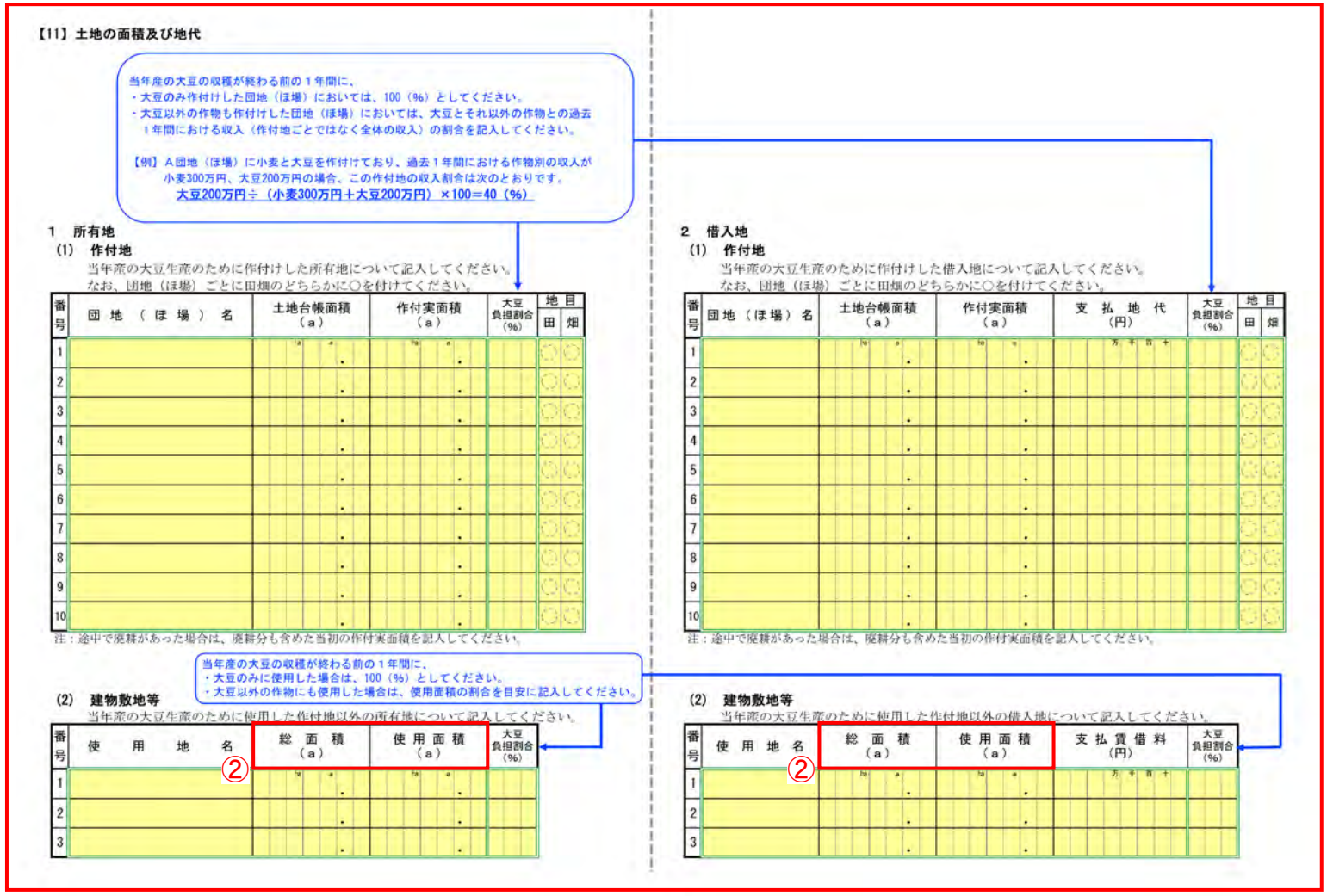
令和〇年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
●大豆のみを作付けした団地・ほ場名等の場合
100(%)としてください。
●大豆以外の作物も作付けした団地・ほ場名等の場合
作付けした作物の収入全体に占める大豆の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 小数	④支払地代	⑤大豆負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a	ha a	万 円	%	○	○
2		ha a	ha a	万 円	%	○	○
3		ha a	ha a	万 円	%	○	○
4		ha a	ha a	万 円	%	○	○
5		ha a	ha a	万 円	%	○	○
6		ha a	ha a	万 円	%	○	○
7		ha a	ha a	万 円	%	○	○
8		ha a	ha a	万 円	%	○	○
9		ha a	ha a	万 円	%	○	○
10		ha a	ha a	万 円	%	○	○
11		ha a	ha a	万 円	%	○	○
12		ha a	ha a	万 円	%	○	○
13		ha a	ha a	万 円	%	○	○
14		ha a	ha a	万 円	%	○	○
15		ha a	ha a	万 円	%	○	○

31

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32ページ（変更前14ページと対比） ①  【11】土地の面積及び地代(つづき)　記入の仕方 ～ページ 2 建物敷地等 令和○年産の大豆生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名、②総面積、③使用面積、④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤大豆負担割合**を記入してください。 総面積に対する大豆の使用割合を記入してください。 ② 番号 / ①建物敷地名 / ②総面積 ㎡単位 / ③使用面積 ㎡単位 / ④支払賃借料 / ⑤大豆負担割合 所有地 1～8 借入地 1～8 32 つづく		①同上 ②建物敷地等の単位は㎡で認識されていることが多いため、回答単位をaから㎡へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① 	14ページ	①同上 ②同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
33ページ	9ページ	



【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の大豆生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●大豆のみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合大豆に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③大豆負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

33



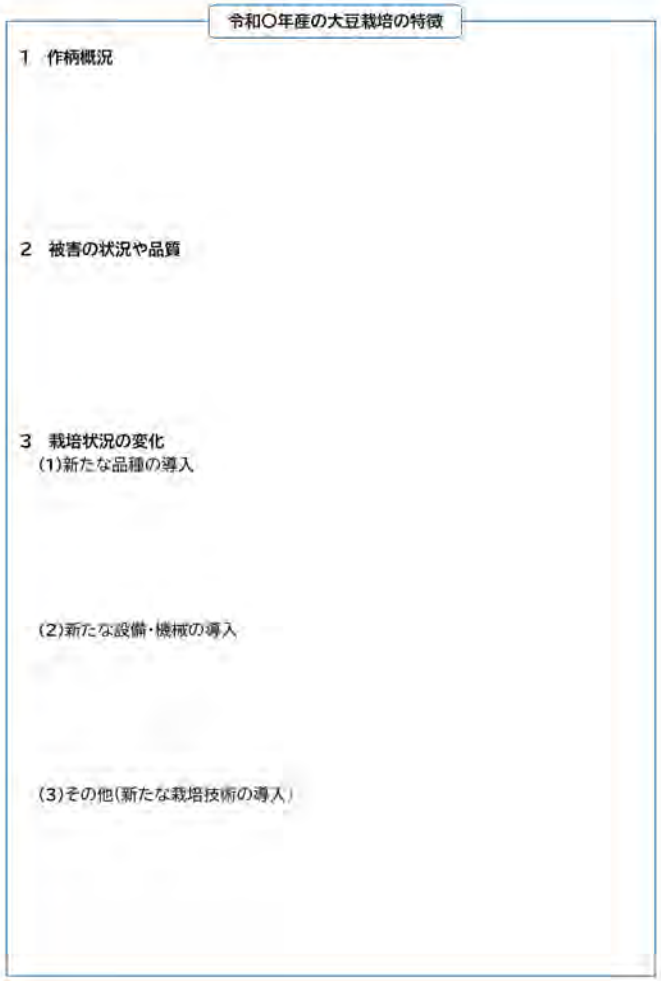
【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

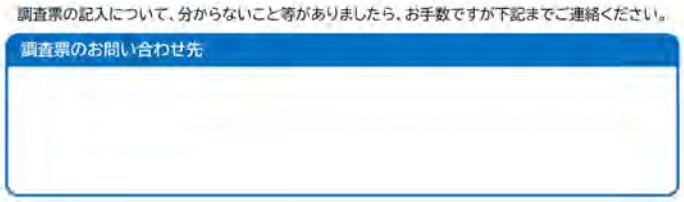
当年産の大豆生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・大豆のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	大豆負担割合（%）
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
借入金			
借入金			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ  	4ページ  	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。 調査票のお問い合わせ先	1ページ  農業経営統計調査 ○年産　大豆生産費統計調査票 （組織法人経営体用） 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★○印は記入見本を参考に記入してください。 ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。 【問合せ先】	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「大豆（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産の大豆の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　大豆とは
　　普通大豆、特定加工用大豆及び種子大豆（黒大豆は除きます。）が該当します。

※２　この調査での大豆の生産とは
　　組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（大豆負担割合について）】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から大豆負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
大豆と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、大豆「２ha」、水稲「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　大豆に施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	大豆負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

← 大豆負担割合には100%と記入

例２　大豆、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
大豆と水稲の作付面積割合「２：８」を目安に大豆負担割合を「２０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	大豆負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

← 大豆負担割合には20%と記入

【大豆負担割合の設定方法】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合の大豆負担割合を設定する方法について説明します。

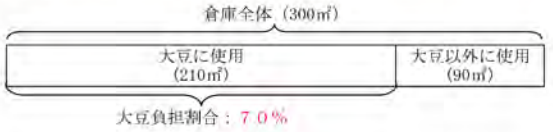
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、大豆生産のために使用した面積の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うち大豆生産のために210㎡、大豆以外の作物に90㎡を使用した場合の「大豆負担割合」は７０%（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図

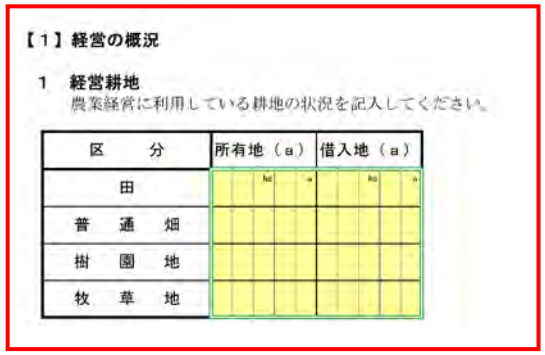
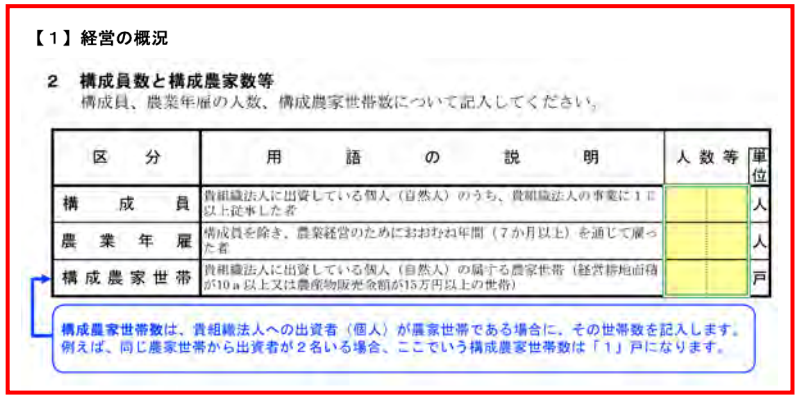
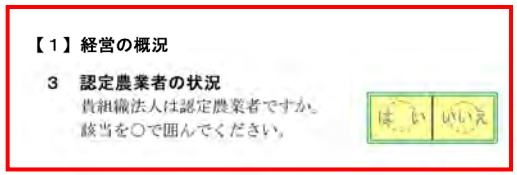


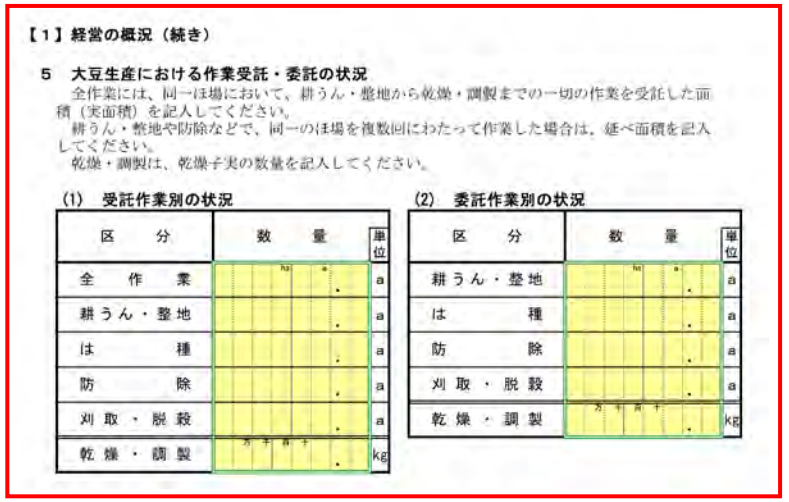
（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、大豆生産のために使用した時間の割合を「大豆負担割合」とします。

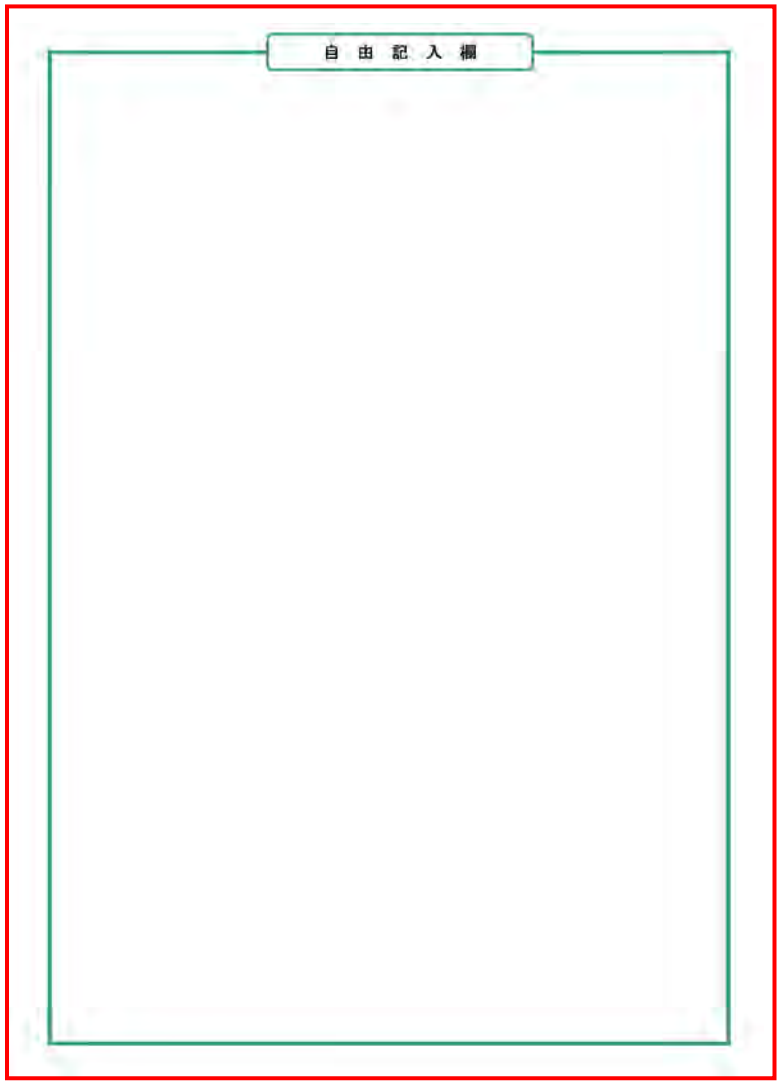
$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うち大豆生産のために80時間、大豆以外の作物に120時間使用した場合の「大豆負担割合」は４０%（80時間÷200時間×100）になります。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普通畑 樹園地 牧草地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　構成員数と構成農家数等 構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。 区分 / 用語の説明 / 人数等 / 単位 構成員 / 貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に１日以上従事した者 / 人 農業年雇 / 構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者 / 人 構成農家世帯 / 貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10ａ以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯） / 戸 構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。 例えば、同じ農家世帯から出資者が２名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「１」戸になります。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 貴組織法人は認定農業者ですか。 該当を○で囲んでください。 はい / いいえ	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

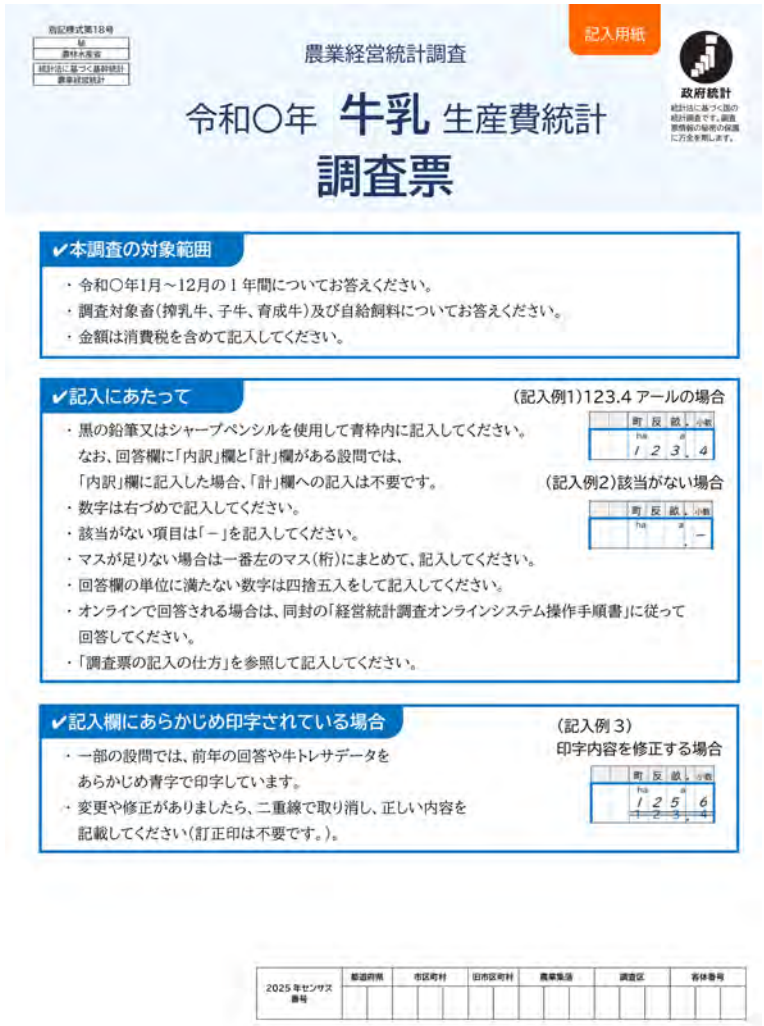
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ５　大豆生産における作業受託・委託の状況 全作業には、同一ほ場において、耕うん・整地から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。 耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。 乾燥・調製は、乾燥子実の数量を記入してください。 (1)　受託作業別の状況 区分 / 数量 / 単位 全作業 / 耕うん・整地 / は種 / 防除 / 刈取・脱穀 / 乾燥・調製 (2)　委託作業別の状況 区分 / 数量 / 単位 耕うん・整地 / は種 / 防除 / 刈取・脱穀 / 乾燥・調製	大豆生産における作業委託の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ６　大豆の品種別作付面積 当年産に作付けした大豆の品種名及びその作付面積を記入してください。 区分 / 品種名 / 面積（a） 品種１ 品種２ 品種３ 品種４ 品種５ 注：　面積の合計が当年産の大豆作付面積です。	大豆の品種別作付面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	４ページ  【１】経営の概況（続き） ７　制度受取金等の状況 当年産の大豆に係る制度受取金等について記入してください。 区　分 / 掛　金（円） / 受　取　金（円） 農　業　共　済 注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。	制度受取金等の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	４ページ  通　信　欄	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除

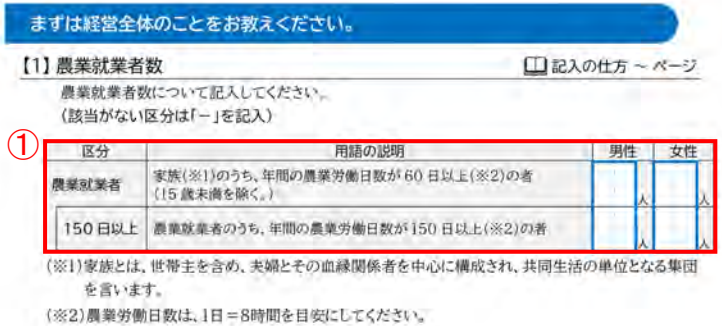
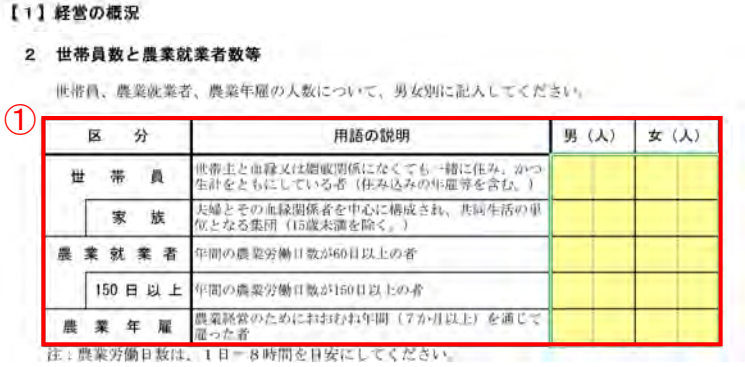
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	６ページ  	自由記入欄について、利活用の実績が乏しいことから削除

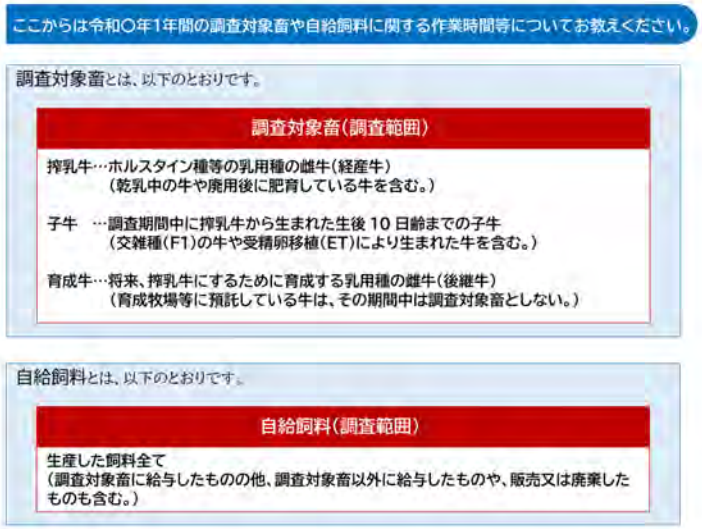
農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

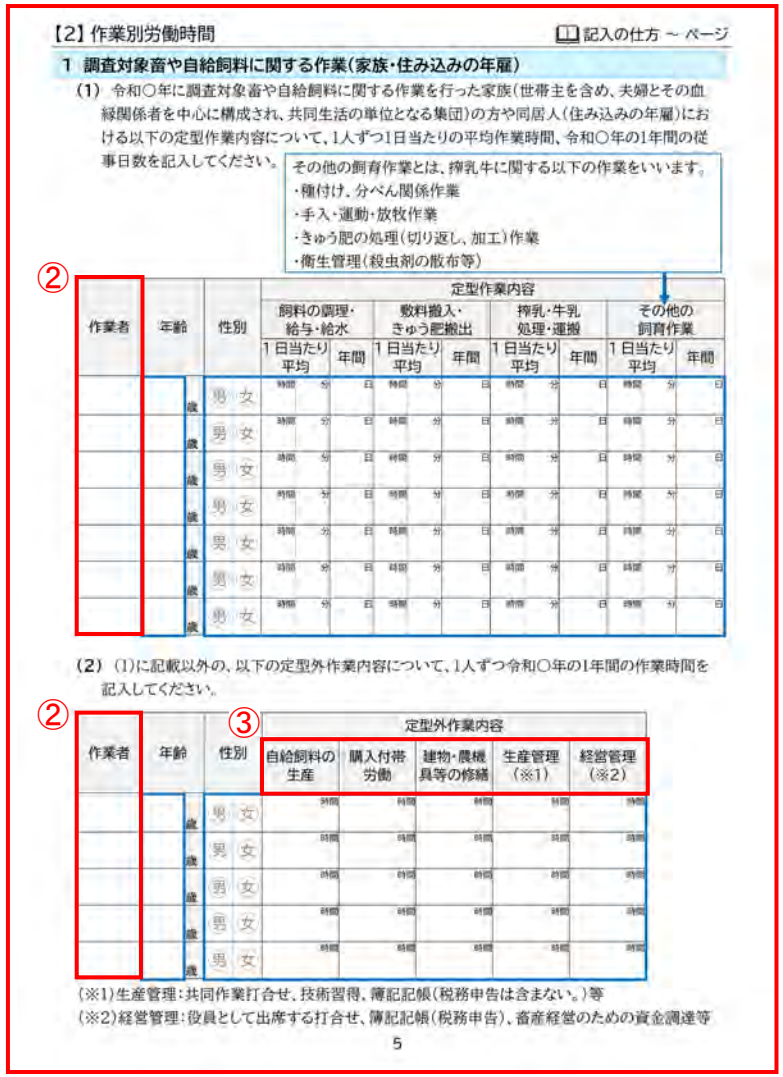
２　畜産物生産費統計（牛乳）

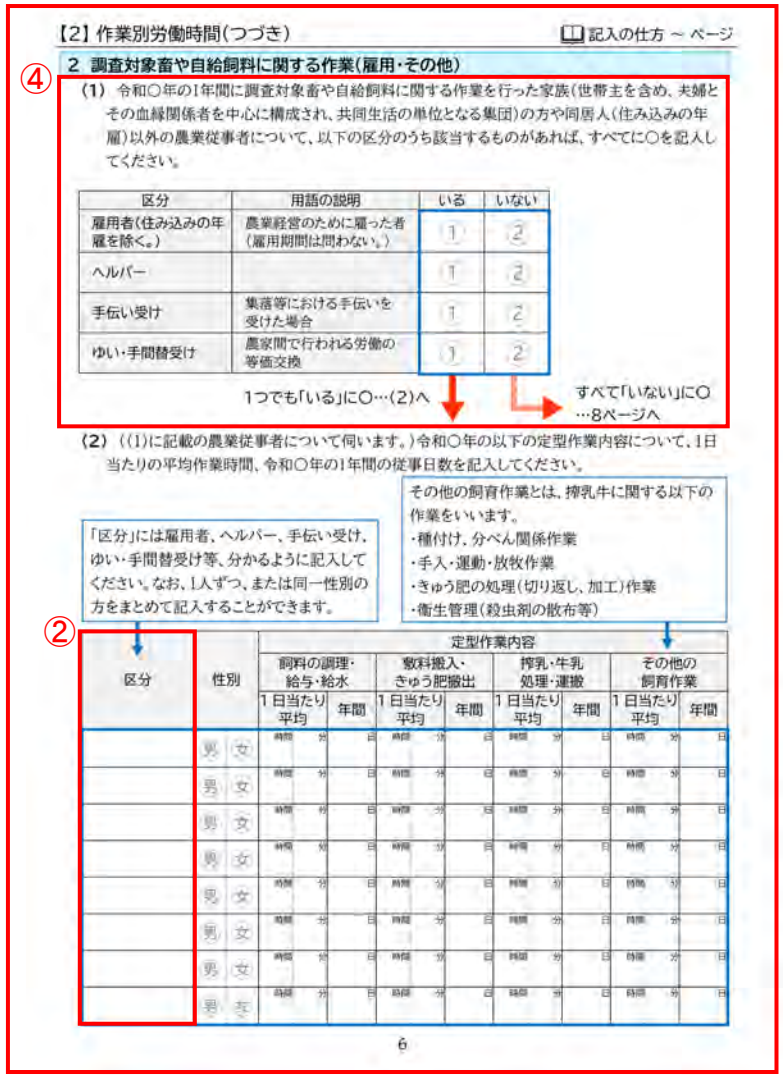
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式18号 １ページ  	別記様式15号 １ページ  	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

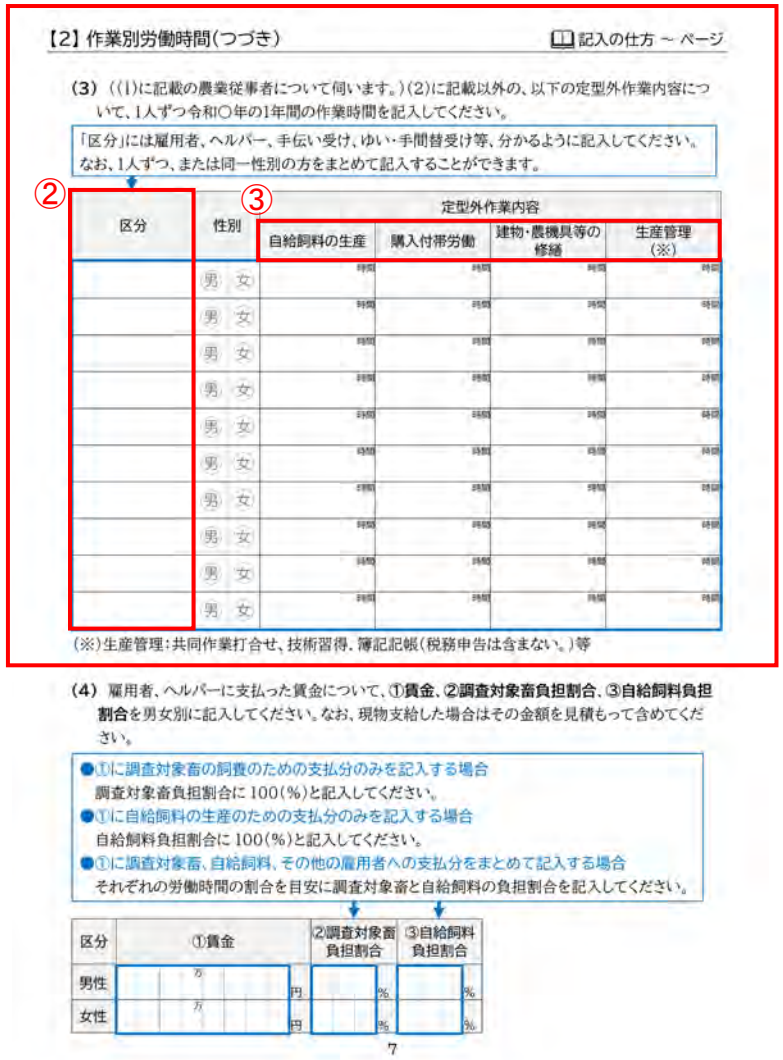
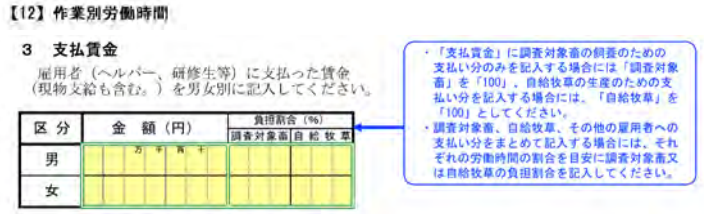
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 ① 【1】農業就業者数 ……3 【2】作業別労働時間 ……5 【3】生産物の販売等の状況 ……8 ① 【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等 ……16 【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……32 【6】物件税及び公課諸負担 ……34 【7】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……36 【8】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……38 【9】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……40 【10】地代(所有地及び借入地) ……42 【11】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……44 【12】乳用牛の月齢別の飼育経費 ……45 【13】搾乳牛等の所有状況 ……45	３ページ 調　査　事　項 ページ ① 【1】経営の概況 …… 3 経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。 【2】生産物の販売等の状況 …… 4 生乳生産量及び生乳、子牛の販売状況等を記入してください。 ① 【3】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 7 飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、 農機具借料や牛乳検査料等の賃借料・料金等を記入してください。 【4】物件税及び公課諸負担 …… 11 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課 諸負担を記入してください。 【5】消費税 …… 11 消費税申告書により申告した消費税を記入してください。 【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 11 借入金残高、支払利子を記入してください。 【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 12 建物・構築物の所有状況を記入してください。 【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 13 自動車等の所有状況を記入してください。 【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 14 農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。 【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 15 スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、 通信費や集会参加費等を記入してください。 【11】搾乳牛等の所有状況 …… 16 搾乳牛及び子牛等の転入又は転出の異動状況を記入してください。 【12】作業別労働時間 …… 16 家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。 【13】地代（所有地及び借入地） …… 17 地代を記入してください。 【14】乳用牛の月齢別の飼育経費 …… 17 搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛の飼育に要する経費や 労力の割合を乳用牛の月齢ごとに記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は49ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
3ページ  まずは経営全体のことをお教えください。 【1】農業就業者数　記入の仕方 ～ページ 農業就業者数について記入してください。 （該当がない区分は「－」を記入） ① 区分 / 用語の説明 / 男性 / 女性 農業就業者 / 家族（※1）のうち、年間の農業労働日数が60日以上（※2）の者（15歳未満を除く。） 150日以上 / 農業就業者のうち、年間の農業労働日数が150日以上（※2）の者 （※1）家族とは、世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団を言います。 （※2）農業労働日数は、1日＝8時間を目安にしてください。 3	3ページ  【1】経営の概況 2　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。 ① 区　分 / 用語の説明 / 男（人） / 女（人） 世帯員 / 世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。） 家族 / 夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。） 農業就業者 / 年間の農業労働日数が60日以上の者 150日以上 / 年間の農業労働日数が150日以上の者 農業年雇 / 農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者 注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安にしてください。	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更（以下同じ） 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化（以下同じ） 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更（以下同じ） ①報告者の記入負担軽減を図るため、「世帯員」及び「農業年雇」の把握をとりやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
4ページ  		報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、調査対象畜と自給飼料の調査範囲の説明を追加

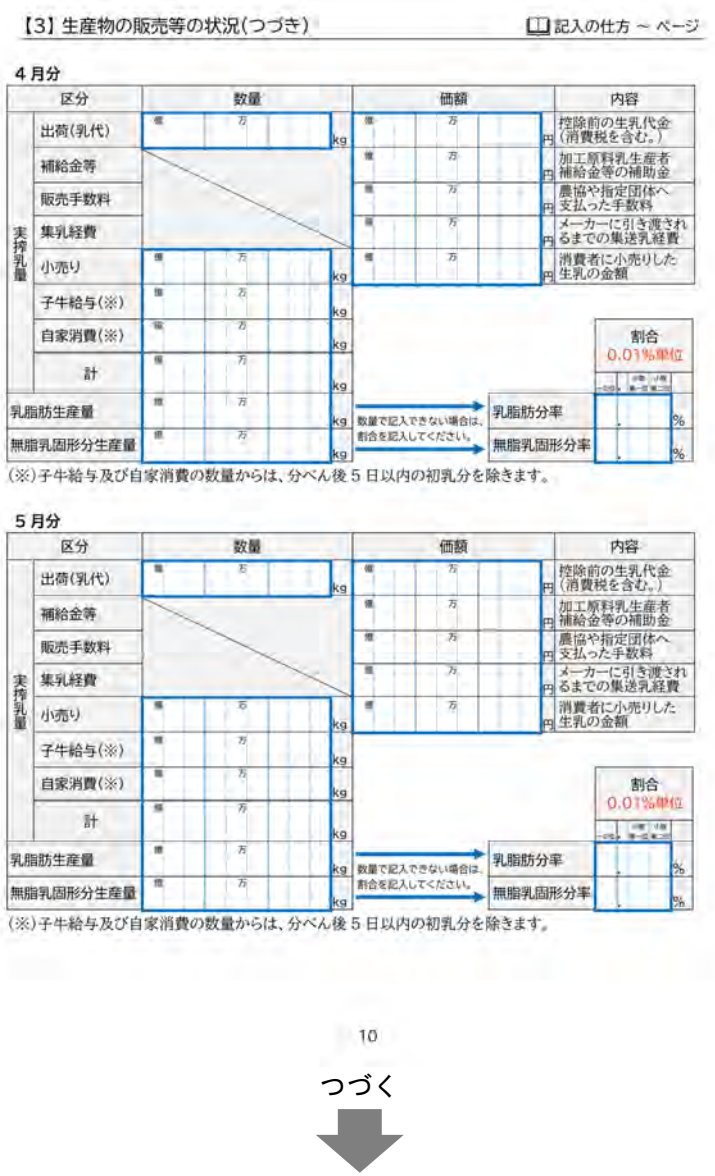
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
5ページ ①  【2】作業別労働時間　記入の仕方 ～ページ 1 調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇) (1) 令和〇年に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。 その他の飼育作業とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。 ・種付け、分べん関係作業 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業 ・衛生管理(殺虫剤の散布等) ② 作業者 / 年齢 / 性別 / 定型作業内容(飼料の調理・給与・給水 / 敷料搬入・きゅう肥搬出 / 搾乳・牛乳処理・運搬 / その他の飼育作業) 1日当たり平均 / 年間 (2) (1)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。 ② ③ 作業者 / 年齢 / 性別 / 定型外作業内容(自給飼料の生産 / 購入付帯労働 / 建物・農機具等の修繕 / 生産管理(※1) / 経営管理(※2)) (※1)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等 (※2)経営管理:役員として出席する打合せ、簿記記帳(税務申告)、畜産経営のための資金調達等 5 つづく	16ページ ①  【12】作業別労働時間 1 酪農に関する定型作業 農業従事者ごとに、上段に1日当たりの平均作業時間を記入し、下段に1年間の従事日数を記入してください。 「その他の飼育作業」とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。 ・種付け、分べん関係作業 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業 ・衛生管理(殺虫剤の散布等) ② 氏名 / 性別 / 年齢 / 家族・雇用 / 飼料の調理・給与・給水 / 敷料搬入・きゅう肥搬出 / 搾乳・牛乳処理・運搬 / その他の飼育作業 注:雇用者の年齢は記入不要です。 2 酪農に関する1以外の作業 「作業名」欄の(　)に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。 ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料(牧草等)の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業等を記入してください。 ② ③ 氏名 / 性別 / 年齢 / 家族・雇用 / 作業名(　) / 作業名(　) / 作業名(　) / 作業名(　) / 作業名(　) 注:雇用者の年齢は記入不要です。	①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 酪農に関する定形作業」と「2 酪農に関する1以外の作業」の設問をそれぞれ「調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇)」及び「調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他)」に分離 ②氏名に限定せず、作業者及び区分を特定可能な記入欄へ変更 ③定形外作業内容について、報告者の記入負担軽減を図るため、作業名を記入する形式からあらかじめ回答欄に記載された定形外作業内容について回答する形式へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６ページ（変更前16ページと対比） ①  【2】作業別労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ページ 2 調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他) ④ (1) 令和○年の1年間に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)以外の農業従事者について、以下の区分のうち該当するものがあれば、すべてに○を記入してください。 区分 / 用語の説明 / いる / いない 雇用者(住み込みの年雇を除く。) / 農業経営のために雇った者(雇用期間は問わない。) / 1 / 2 ヘルパー / 1 / 2 手伝い受け / 集落等における手伝いを受けた場合 / 1 / 2 ゆい・手間替受け / 農家間で行われる労働の等価交換 / 1 / 2 1つでも「いる」に○…(2)へ すべて「いない」に○…8ページへ (2) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)令和○年の以下の定型作業内容について、1日当たりの平均作業時間、令和○年の1年間の従事日数を記入してください。 「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。 その他の飼育作業とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。 ・種付け、分べん関係作業 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業 ・衛生管理(殺虫剤の散布等) ② 区分 / 性別 / 定型作業内容：飼料の調理・給与・給水 / 敷料搬入・きゅう肥搬出 / 搾乳・牛乳処理・運搬 / その他の飼育作業 / 1日当たり平均 / 年間 6 つづく		①同上 ②同上 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、雇用者(住み込みの年雇を除く。)、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受けの人の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
7ページ（変更前16ページと対比） ①  【2】作業別労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ページ (3) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)(2)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和○年の1年間の作業時間を記入してください。 「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。 なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。 ②　③ 区分 / 性別 / 定型外作業内容：自給飼料の生産 / 購入付帯労働 / 建物・農機具等の修繕 / 生産管理(※) (※)生産管理：共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等 (4) 雇用者、ヘルパーに支払った賃金について、**①賃金、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。 ●①に調査対象畜の飼養のための支払分のみを記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に自給飼料の生産のための支払分のみを記入する場合 自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜、自給飼料、その他の雇用者への支払分をまとめて記入する場合 それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜と自給飼料の負担割合を記入してください。 区分 / ①賃金 / ②調査対象畜負担割合 / ③自給飼料負担割合 男性 / 女性 7	16ページ  【12】作業別労働時間 3　支払賃金 雇用者（ヘルパー、研修生等）に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。 区分 / 金額（円） / 負担割合（%）：調査対象畜 / 自給牧草 男 女 ・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。 ・調査対象畜、自給牧草、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。	①同上 ②同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
８～９ページ（変更前４ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、生乳の生産量の記入方法について、1年分合算又は月別のいずれかを選択する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10～11ページ（変更前４～５ページと対比）		



【3】生産物の販売等の状況(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

4 月分

区分	数量	価額	内容
実搾乳量 出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
子牛給与(※)	億 万 kg		
自家消費(※)	億 万 kg		
計	億 万 kg		
乳脂肪生産量	億 万 kg	数量で記入できない場合は、割合を記入してください。 乳脂肪分率	割合 0.01%単位 %
無脂乳固形分生産量	億 万 kg	無脂乳固形分率	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

5 月分

区分	数量	価額	内容
実搾乳量 出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
子牛給与(※)	億 万 kg		
自家消費(※)	億 万 kg		
計	億 万 kg		
乳脂肪生産量	億 万 kg	数量で記入できない場合は、割合を記入してください。 乳脂肪分率	割合 0.01%単位 %
無脂乳固形分生産量	億 万 kg	無脂乳固形分率	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

10

つづく

【3】生産物の販売等の状況(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

6 月分

区分	数量	価額	内容
実搾乳量 出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
子牛給与(※)	億 万 kg		
自家消費(※)	億 万 kg		
計	億 万 kg		
乳脂肪生産量	億 万 kg	数量で記入できない場合は、割合を記入してください。 乳脂肪分率	割合 0.01%単位 %
無脂乳固形分生産量	億 万 kg	無脂乳固形分率	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

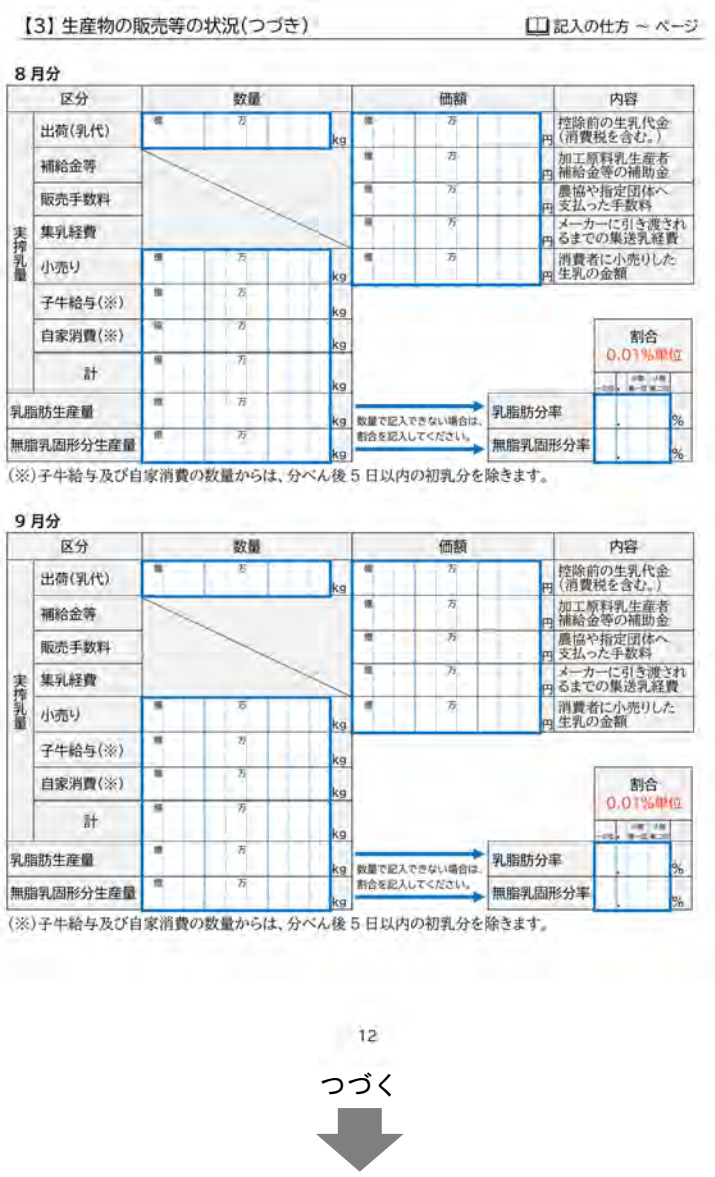
7 月分

区分	数量	価額	内容
実搾乳量 出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
子牛給与(※)	億 万 kg		
自家消費(※)	億 万 kg		
計	億 万 kg		
乳脂肪生産量	億 万 kg	数量で記入できない場合は、割合を記入してください。 乳脂肪分率	割合 0.01%単位 %
無脂乳固形分生産量	億 万 kg	無脂乳固形分率	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

11

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12～13ページ（変更前５～６ページと対比）		



【3】生産物の販売等の状況(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

8 月分

区分	数量	価額	内容
実搾乳量 出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
子牛給与(※)	億 万 kg		
自家消費(※)	億 万 kg		
計	億 万 kg		
乳脂肪生産量	億 万 kg	数量で記入できない場合は、割合を記入してください。 乳脂肪分率	%
無脂乳固形分生産量	億 万 kg	無脂乳固形分率	%

割合 0.01%単位

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

9 月分

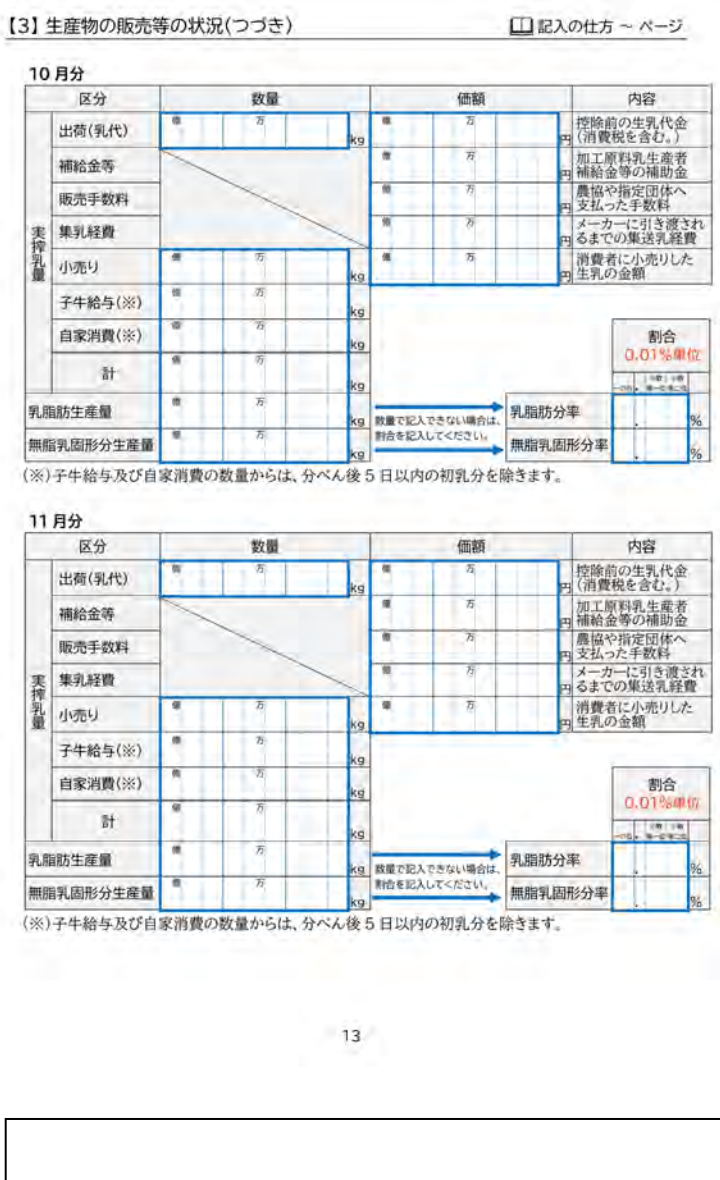
区分	数量	価額	内容
実搾乳量 出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
子牛給与(※)	億 万 kg		
自家消費(※)	億 万 kg		
計	億 万 kg		
乳脂肪生産量	億 万 kg	数量で記入できない場合は、割合を記入してください。 乳脂肪分率	%
無脂乳固形分生産量	億 万 kg	無脂乳固形分率	%

割合 0.01%単位

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

12

つづく



【3】生産物の販売等の状況(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

10 月分

区分	数量	価額	内容
実搾乳量 出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
子牛給与(※)	億 万 kg		
自家消費(※)	億 万 kg		
計	億 万 kg		
乳脂肪生産量	億 万 kg	数量で記入できない場合は、割合を記入してください。 乳脂肪分率	%
無脂乳固形分生産量	億 万 kg	無脂乳固形分率	%

割合 0.01%単位

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

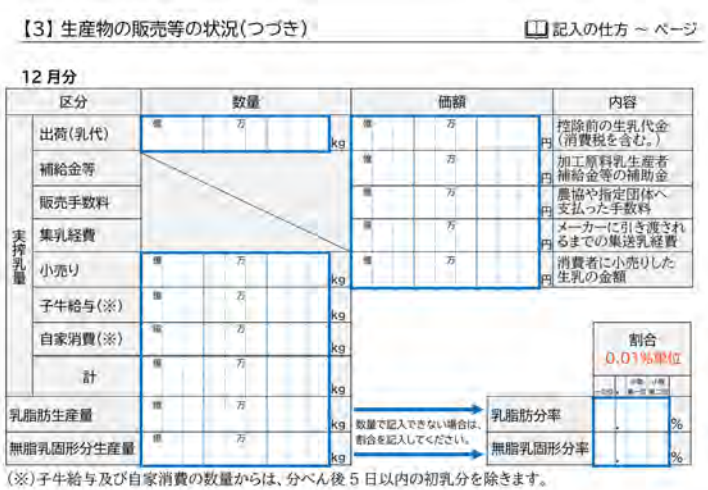
11 月分

区分	数量	価額	内容
実搾乳量 出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
子牛給与(※)	億 万 kg		
自家消費(※)	億 万 kg		
計	億 万 kg		
乳脂肪生産量	億 万 kg	数量で記入できない場合は、割合を記入してください。 乳脂肪分率	%
無脂乳固形分生産量	億 万 kg	無脂乳固形分率	%

割合 0.01%単位

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

13

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ（変更前６ページと対比） 		

【3】生産物の販売等の状況(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

12 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

割合 0.01%単位

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

乳脂肪分率	. %
無脂乳固形分率	. %

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

14

つづく

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	４ページ	

【２】生産物の販売等の状況

１　生乳

生乳の生産量等を月別に記入してください。
ただし、１年分の生産量等をまとめて記入できる場合には、１月分の記入欄に年間計を記入してください。
乳脂肪生産量（kg）や無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合には、乳脂肪分率（%）や無脂乳固形分率（%）を記入してください。
また、「価額」には、乳代、加工原料乳生産者補給金等の補助金、販売手数料及び集乳経費を記入してください。

１月分（または年間計）

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	内　容
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販　売手数料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小　売　り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳脂肪生産量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。	. %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。	.

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第２位まで記入してください。

２月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳脂肪生産量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

３月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳脂肪生産量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

４月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳脂肪生産量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

つづく

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	５ページ	

【２】生産物の販売等の状況（続き）

５月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	内　容
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販　売手数料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小　売　り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。	. %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。	.

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第２位まで記入してください。

７月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

６月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

８月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無脂乳固形分生産量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 .

つづく

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	６ページ	

【２】生産物の販売等の状況（続き）

９月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）	内　容
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販　売手数料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小　売　り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。	. %
無　脂　乳　固　形　分　生　産　量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。	. %

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後５日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第２位まで記入してください。

11月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無　脂　乳　固　形　分　生　産　量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 . %

10月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無　脂　乳　固　形　分　生　産　量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 . %

12月分

区　分		数　量（kg）	価　額（円）
実搾乳量	出　荷（乳　代）	万 千 百 十	万 千 百 十
	補給金等		
	販　売手数料		
	集乳経費		
	小　売　り		
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳　脂　肪　生　産　量			⇒乳脂肪生産量（kg）がわからない場合、乳脂肪分率（%）を記入してください。 . %
無　脂　乳　固　形　分　生　産　量			⇒無脂乳固形分生産量（kg）がわからない場合、無脂乳固形分率（%）を記入してください。 . %

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ  【3】生産物の販売等の状況(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 2 子牛 令和〇年の1年間に搾乳牛から生まれ、死産等により「牛トレーサビリティ」(耳標番号)に未登録の子牛の頭数を記入してください。 (該当がない区分は「－」を記入) 区分 / 雄 / 雌 乳用種 / 頭 / 頭 交雑種(F1) / 頭 / 頭 黒毛和種(受精卵移植) / 頭 / 頭 15	7ページ  【2】生産物の販売等の状況（続き） 2　子牛 1年間に搾乳牛から生まれた子牛のうち、死産等により「牛トレーサビリティ」（耳標番号）を登録しなかった子牛の頭数を品種別に記入してください。 区　分 / 乳用種 / 交雑種（F１） / 黒毛和種（受精卵移植） 雄 / 雌 / 雄 / 雌 / 雄 / 雌 耳標番号を登録していない子牛の頭数（頭）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ	7ページ	



ここからは令和〇年１年間の調査対象畜及び自給飼料に使用した金額等についてお教えください。

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等　記入の仕方 ～ ページ

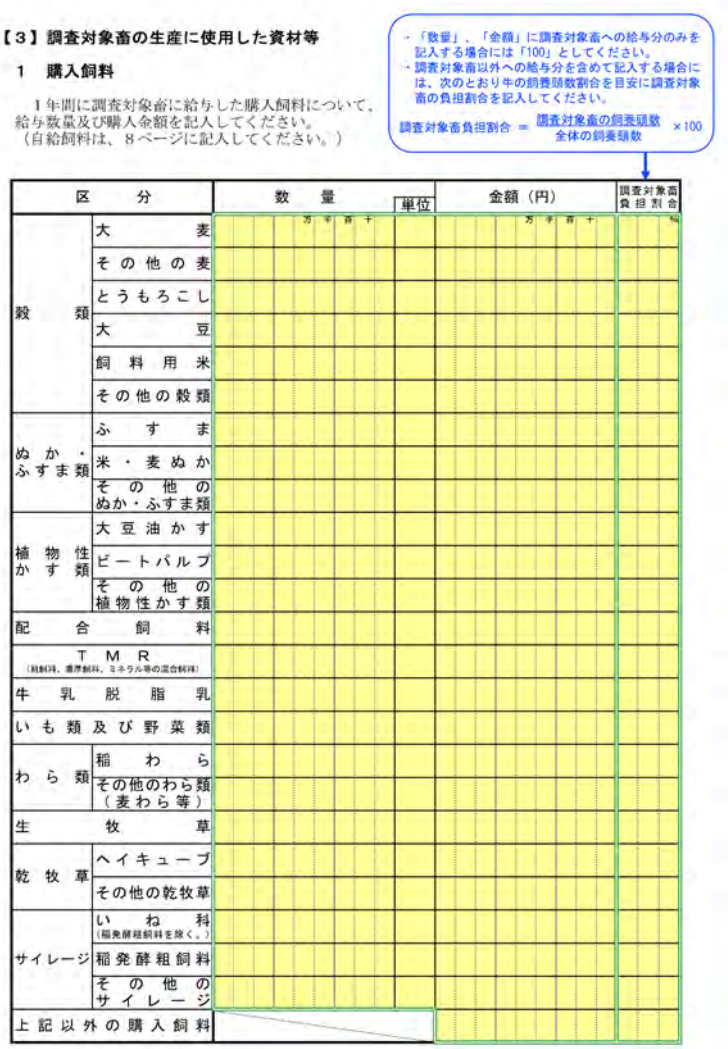
1 給与した飼料(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、**①給与数量、②単位、③給与数量分の購入金額、④調査対象畜負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は①又は③に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		①給与数量	②単位	③給与数量分の購入金額	④調査対象畜負担割合
穀類	大麦			円	%
	その他の麦			円	%
	とうもろこし			円	%
	大豆			円	%
	飼料用米			円	%
	その他の穀類			円	%
ぬか・ふすま類	ふすま			円	%
	米・麦ぬか			円	%
	その他のぬか・ふすま類			円	%
植物性かす類	大豆油かす			円	%
	ビートパルプ			円	%
	その他の植物性かす類			円	%
配合飼料				円	%
TMR(粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)				円	%
牛乳脱脂乳				円	%
いも類及び野菜類				円	%
わら類	稲わら			円	%
	その他のわら類（麦わら等）			円	%
生牧草				円	%
乾牧草	ヘイキューブ			円	%
	その他の乾牧草			円	%
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）			円	%
	稲発酵粗飼料			円	%
	その他のサイレージ			円	%
上記以外の購入飼料				円	%

16



【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

1　購入飼料

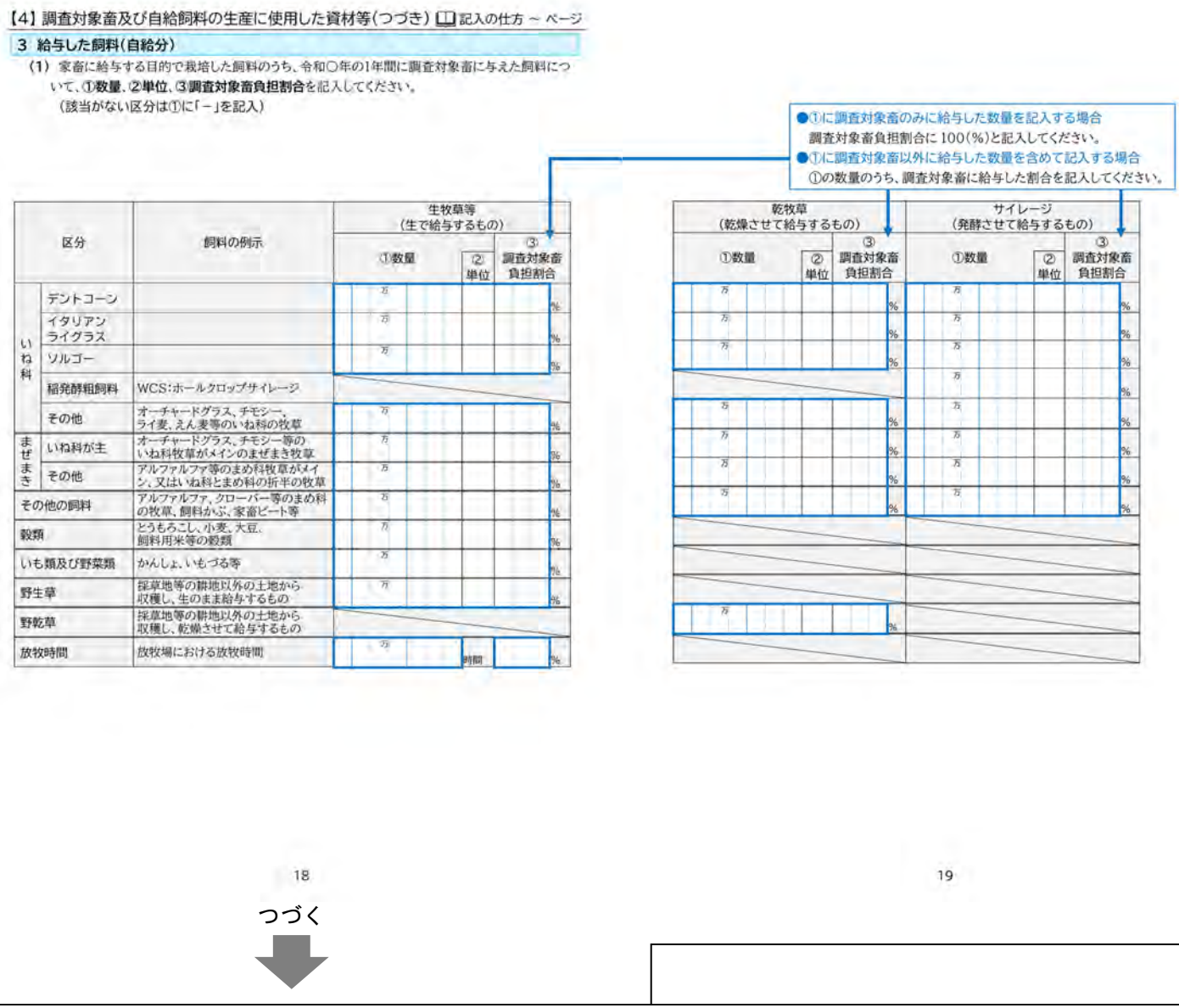
1年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
（自給飼料は、８ページに記入してください。）

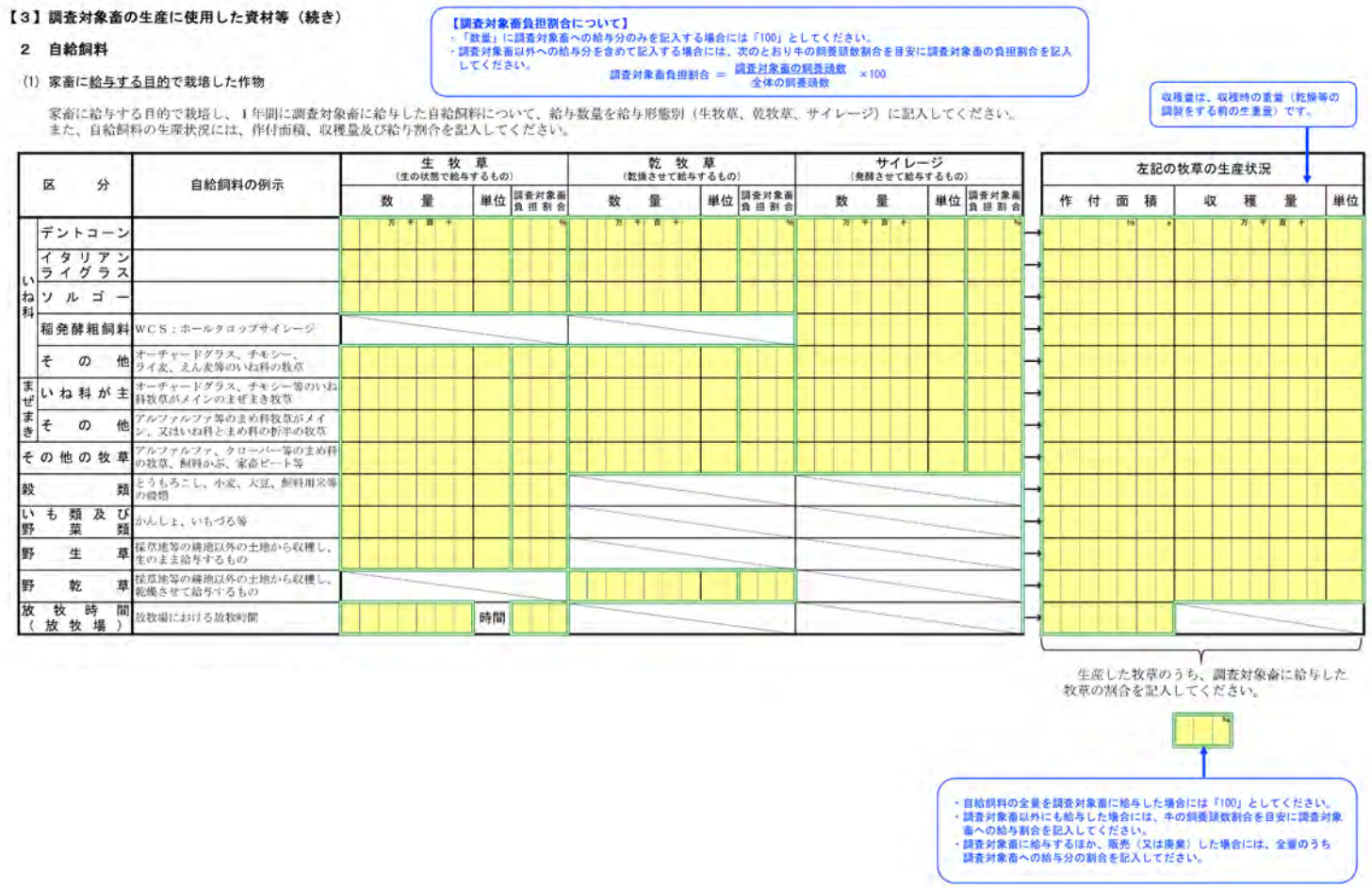
・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

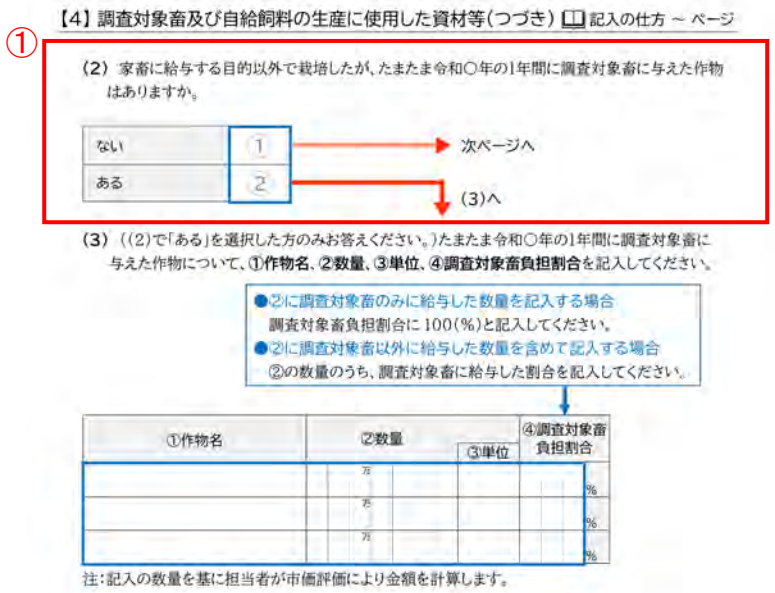
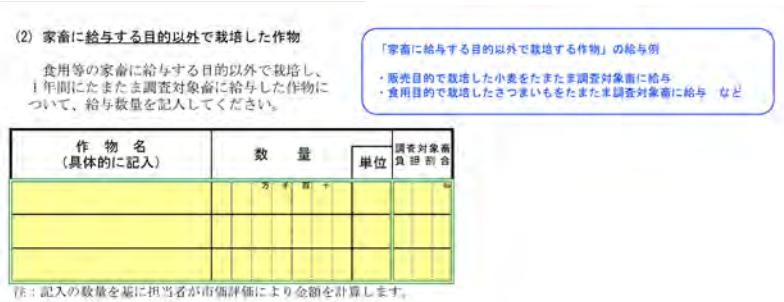
調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

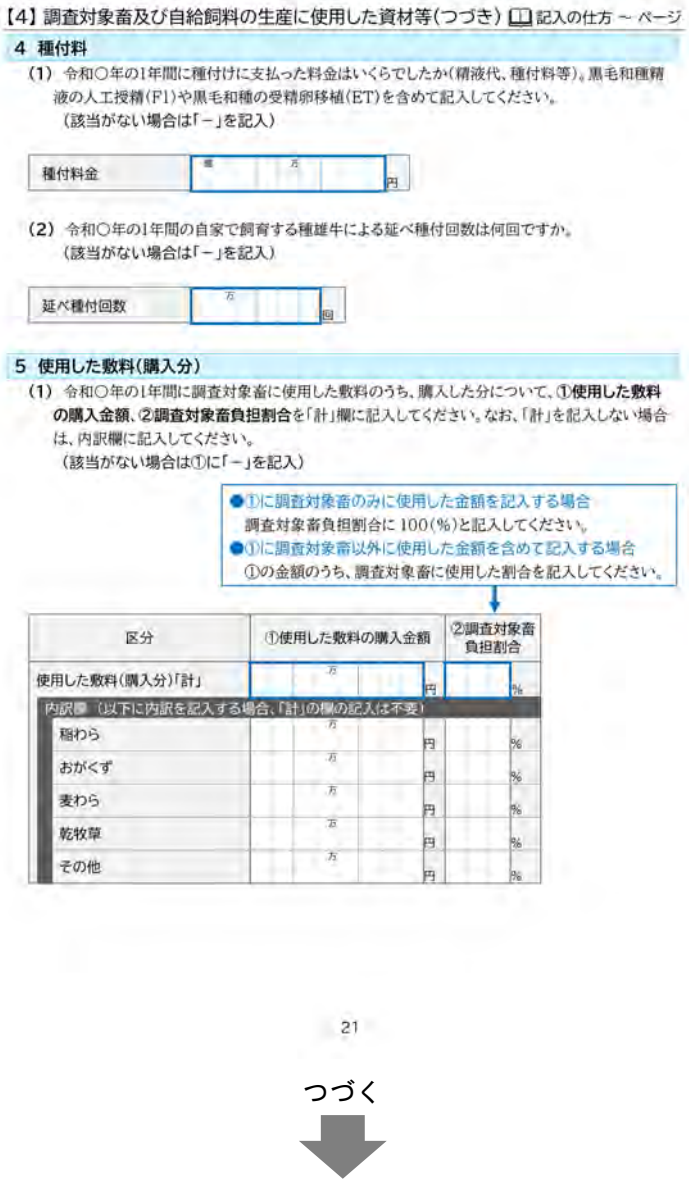
区分		数量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
穀類	大麦				%
	その他の麦				%
	とうもろこし				%
	大豆				%
	飼料用米				%
	その他の穀類				%
ぬか・ふすま類	ふすま				%
	米・麦ぬか				%
	その他のぬか・ふすま類				%
植物性かす類	大豆油かす				%
	ビートパルプ				%
	その他の植物性かす類				%
配合飼料					%
TMR（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）					%
牛乳脱脂乳					%
いも類及び野菜類					%
わら類	稲わら				%
	その他のわら類（麦わら等）				%
生牧草					%
乾牧草	ヘイキューブ				%
	その他の乾牧草				%
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）				%
	稲発酵粗飼料				%
	その他のサイレージ				%
上記以外の購入飼料					%

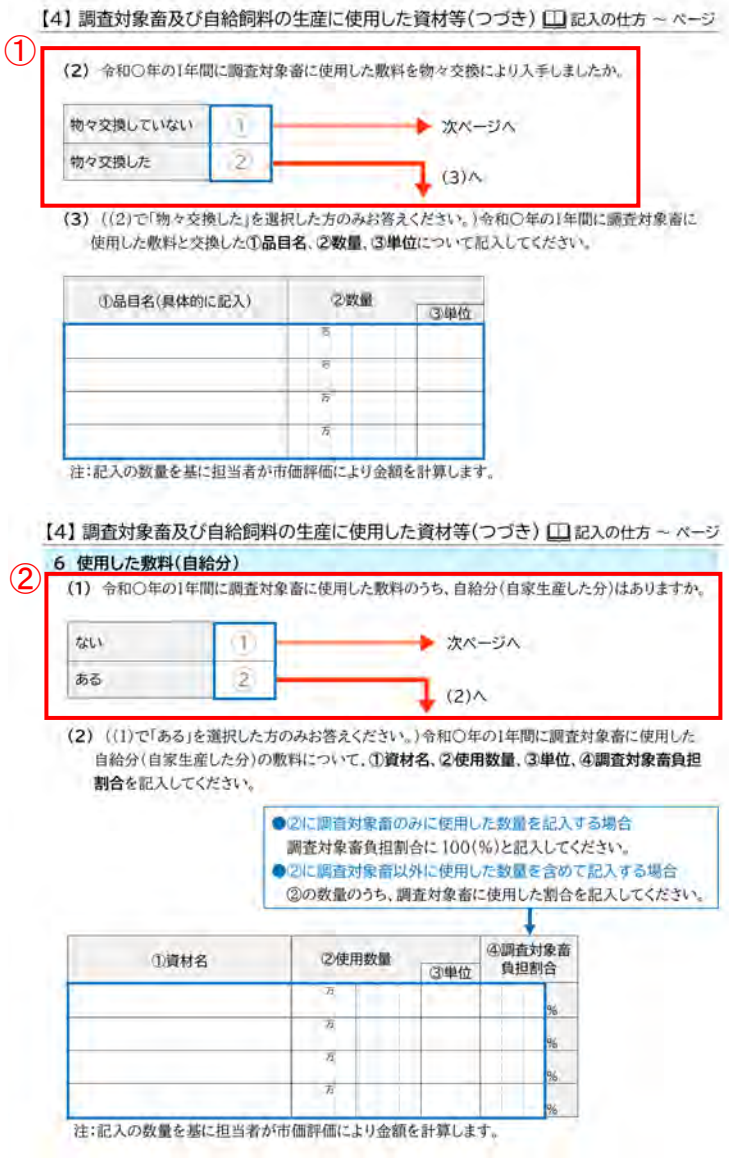
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ（変更前８ページと対比） 		報告者が記入しやすいよう、飼料の生産状況に関する設問を分離 記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記

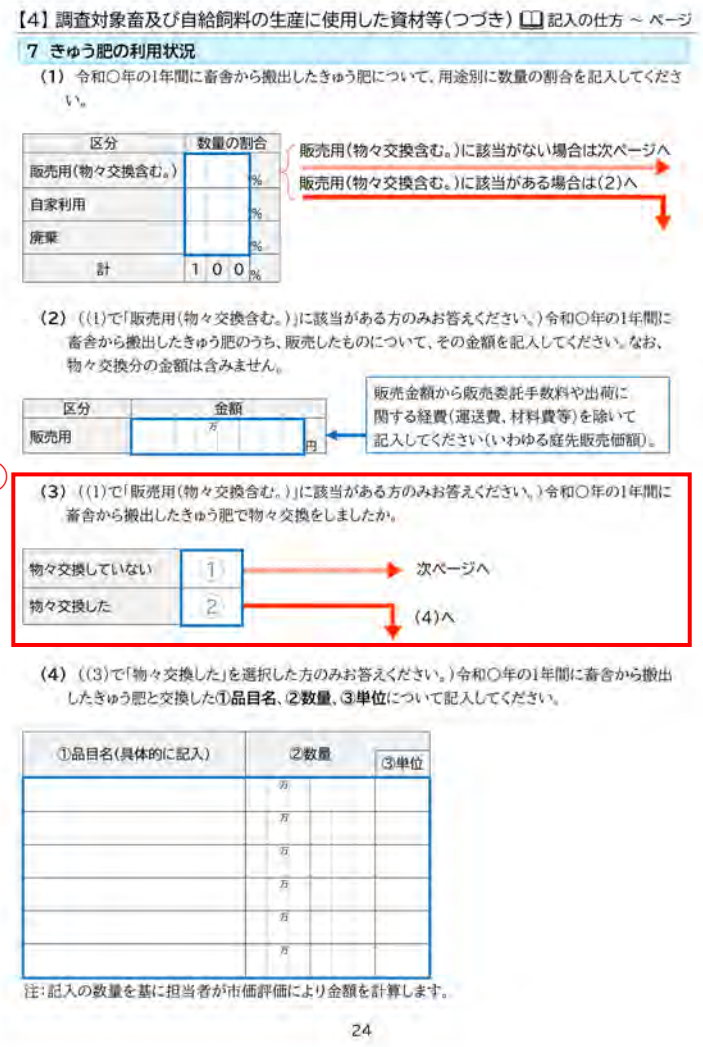
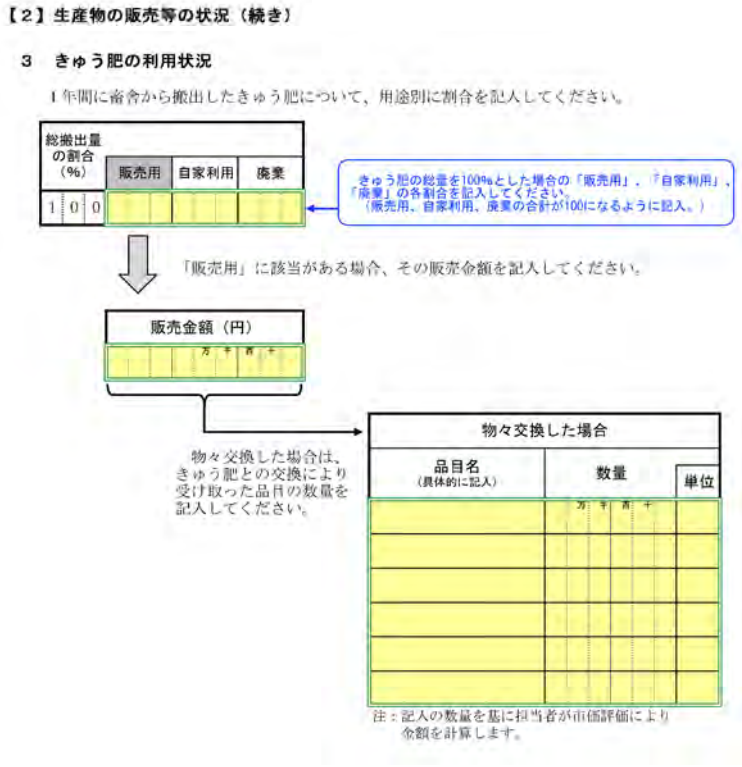
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18～19ページ（変更前８ページと対比） 		同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	８ページ	同上

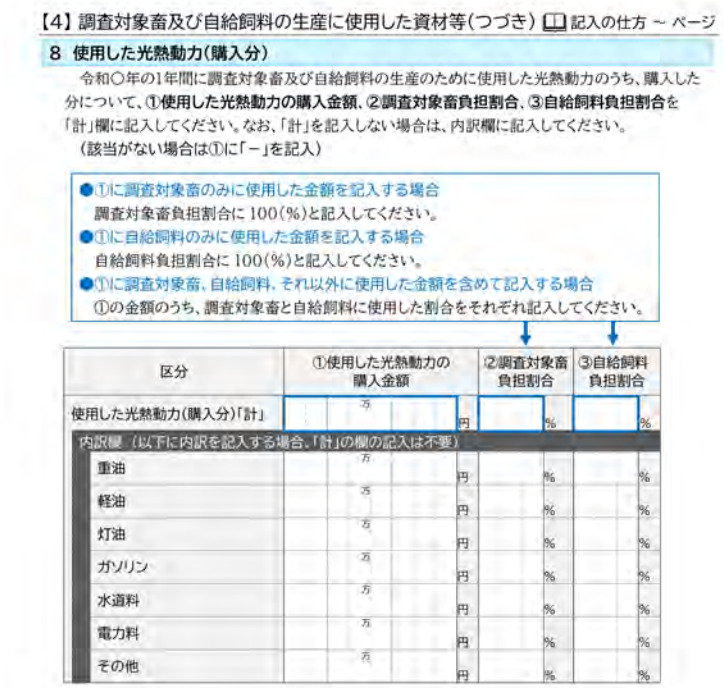
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ  【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ ① (2) 家畜に給与する目的以外で栽培したが、たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物はありますか。 ない 1 → 次ページへ ある 2 → (3)へ (3) ((2)で「ある」を選択した方のみお答えください。)たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物について、**①作物名、②数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。 ●②に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合 ②の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。 ①作物名 / ②数量 / ③単位 / ④調査対象畜負担割合 注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 20	8ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き） (2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物 食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、1年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。 「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例 ・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与 ・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与　など 作物名（具体的に記入） / 数量 / 単位 / 調査対象畜負担割合 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例については、調査票の記入の仕方に記載することから削除 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、家畜に給与する目的以外で栽培した作物の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21ページ  【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ 4 種付料 (1) 令和〇年の1年間に種付けに支払った料金はいくらでしたか(精液代、種付料等)。黒毛和種精液の人工授精(F1)や黒毛和種の受精卵移植(ET)を含めて記入してください。 (該当がない場合は「－」を記入) 種付料金 万 円 (2) 令和〇年の1年間の自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数は何回ですか。 (該当がない場合は「－」を記入) 延べ種付回数 万 回 5 使用した敷料(購入分) (1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、購入した分について、**①使用した敷料の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合 ①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。 区分 / ①使用した敷料の購入金額 / ②調査対象畜負担割合 使用した敷料(購入分)「計」 万 円 % 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要) 稲わら 万 円 % おがくず 万 円 % 麦わら 万 円 % 乾牧草 万 円 % その他 万 円 % 21 つづく	9ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き） 3 種付料 (1) 種付けに支払った料金を記入してください。 (精液代、種付料等) 黒毛和種の種付け（F1）や黒毛和種の受精卵移植（ET）を含みます。 種付料金(円) 万 千 百 十 (2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。 延べ種付回数(回) 万 千 百 十 4 敷料費 (1) 購入 1年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。 区分 / 金額(円) 万 千 百 十 / 調査対象畜負担割合 % 計 稲わら おがくず 麦わら 乾牧草 その他 物々交換した場合 品目名(具体的に記入) / 数量 万 千 百 十 / 単位 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。 ・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。 (2) 自給 1年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。 「資材名」欄は具体的に記入してください。 資材名（具体的に記入） / 使用数量 万 千 百 十 / 単位 / 調査対象畜負担割合 % 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者の未記入防止のため、敷料費の購入分のうち物々交換した場合の数量について、回答欄への誘導表記ではなく、個別設問に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22～23ページ（変更前９ページと対比）  【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ ページ ① (2) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料を物々交換により入手しましたか。 物々交換していない ① → 次ページへ 物々交換した ② → (3)へ (3) ((2)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料と交換した**①品目名、②数量、③単位**について記入してください。 ①品目名(具体的に記入) / ②数量 / ③単位 注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ ページ 6 使用した敷料(自給分) ② (1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない ① → 次ページへ ある ② → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の敷料について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。 ●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合 ②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。 ①資材名 / ②使用数量 / ③単位 / ④調査対象畜負担割合 注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した敷料(購入分)について物々交換の有無を確認する設問を追加 ②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した敷料について自家生産の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24ページ  【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ ページ 7 きゅう肥の利用状況 （1） 令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に数量の割合を記入してください。 区分 / 数量の割合 販売用（物々交換含む。） % 自家利用 % 廃棄 % 計 100 % 販売用（物々交換含む。）に該当がない場合は次ページへ 販売用（物々交換含む。）に該当がある場合は（2）へ （2） （（1）で「販売用（物々交換含む。）」に該当がある方のみお答えください。）令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥のうち、販売したものについて、その金額を記入してください。なお、物々交換分の金額は含みません。 区分 / 金額 販売用 万 円 販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、材料費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。 ① （3） （（1）で「販売用（物々交換含む。）」に該当がある方のみお答えください。）令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥で物々交換をしましたか。 物々交換していない 1 → 次ページへ 物々交換した 2 → （4）へ （4） （（3）で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。）令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥と交換した①品目名、②数量、③単位について記入してください。 ①品目名（具体的に記入） / ②数量 万 / ③単位 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 24	7ページ  【2】生産物の販売等の状況（続き） 3 きゅう肥の利用状況 1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。 総搬出量の割合（%） / 販売用 / 自家利用 / 廃棄 100 きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。） 「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。 販売金額（円） 万 千 百 十 物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。 物々交換した場合 品目名（具体的に記入） / 数量 万 千 百 十 / 単位 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者の未記入防止のため、きゅう肥の利用状況のうち販売金額について、回答欄への誘導表記ではなく、個別設問に変更 回答欄の変更により、用途別の割合に関する補足説明（青枠）を削除 報告者に記入方法を分かりやすく伝えるため、販売価額に関する注意書き（青枠）を追加 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、きゅう肥の物々交換の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
25ページ	９ページ	「自給で使用した燃料の例」については、調査票の記入の仕方に記載することから削除



【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ

8 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用した光熱動力の購入金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①使用した光熱動力の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」	万 円	%	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
重油	万 円	%	%
軽油	万 円	%	%
灯油	万 円	%	%
ガソリン	万 円	%	%
水道料	万 円	%	%
電力料	万 円	%	%
その他	万 円	%	%

25

つづく



【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

５　光熱動力費

(1) 購入
１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草
計	万 千 百 十		
重油			
軽油			
灯油			
ガソリン			
水道料			
電力料			
その他			

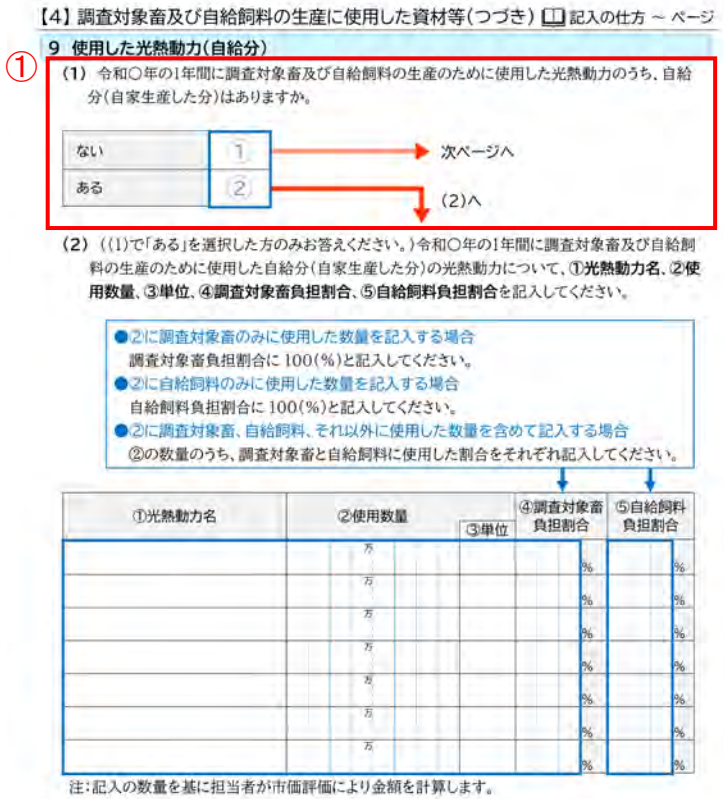
・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給
１年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量	単位	負担割合（%） 調査対象畜	自給牧草
	万 千 百 十			

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26ページ（変更前９ページと対比）  【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ ページ 9 使用した光熱動力（自給分） ① (1) 令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。 ない 1 → 次ページへ ある 2 → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。）令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分（自家生産した分）の光熱動力について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。 ●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合 自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合 ②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。 ①光熱動力名 / ②使用数量 / ③単位 / ④調査対象畜負担割合 / ⑤自給飼料負担割合 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 26		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力について自家生産の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由

27～28ページ

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ ページ

10 獣医師料及び医薬品費

令和○年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
獣医師料及び医薬品費「計」	万 円	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
獣医師料	万 円	%	獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金	万 円	%	家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費	万 円	%	牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等	万 円	%	上記以外の医療・衛生費・倉庫の消毒剤、ミルカーの洗剤費用等

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ ページ

11 賃借料及び料金

令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために支払った賃借料や料金について、
①支払金額、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」	万 円	%	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
共同負担金	万 円	%	%	共同放牧場（育成牛の放牧料は除く。）、共同採草地など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	万 円	%	%	農機具のリース代
牛乳検査料	万 円	100 %	%	
削蹄料	万 円	%	%	
疾病の検査料	万 円	%	%	義務付けられている検査（結核、ブルセラ病等）に要した費用
乳用牛群検定料	万 円	100 %	%	
その他	万 円	%	%	建物の賃借料、コントラクター料金、作業委託料　等

10ページ

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

6 獣医師料及び医薬品費

1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計	万 千 百 十	%	
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤、ミルカーの洗剤費用等

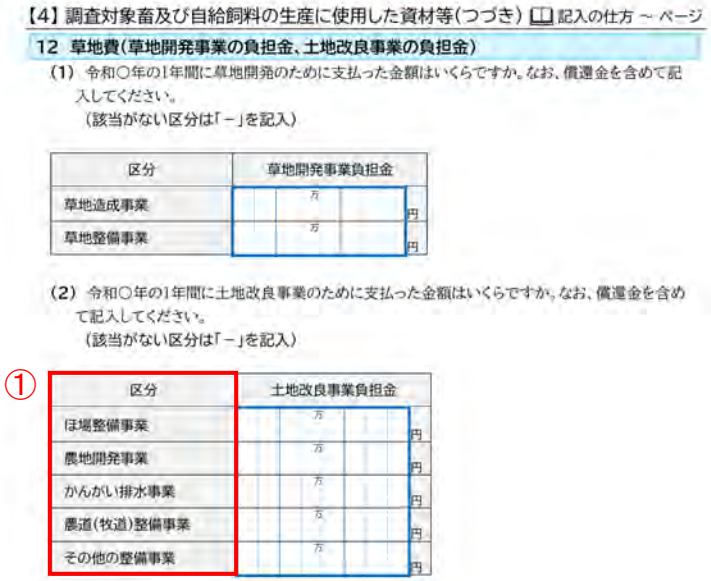
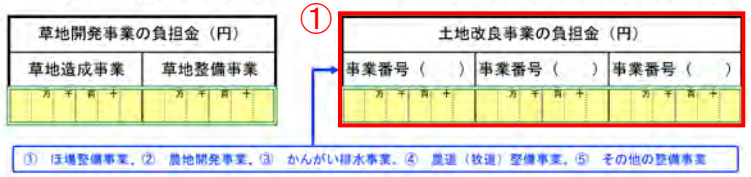
・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

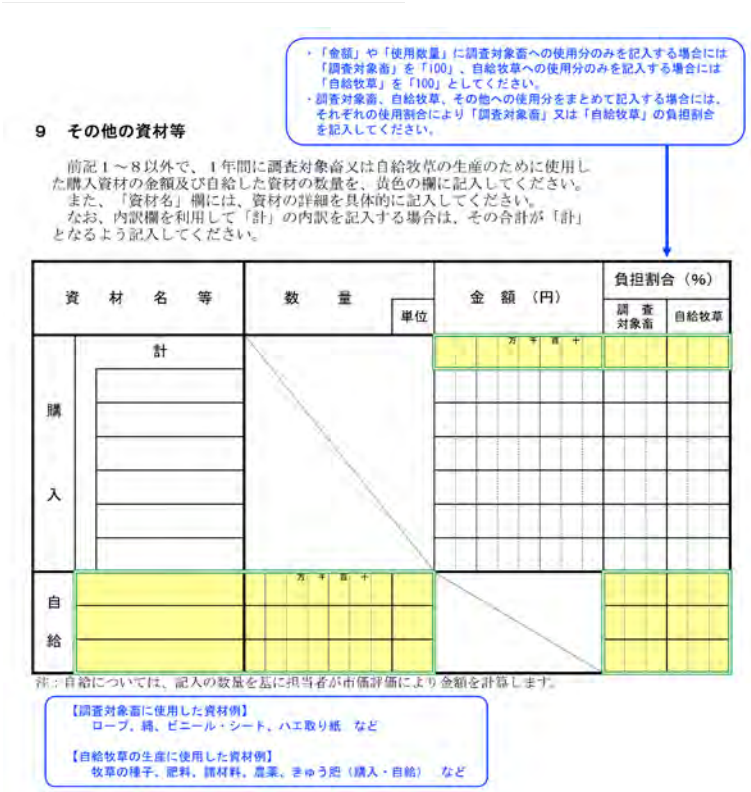
7 賃借料及び料金

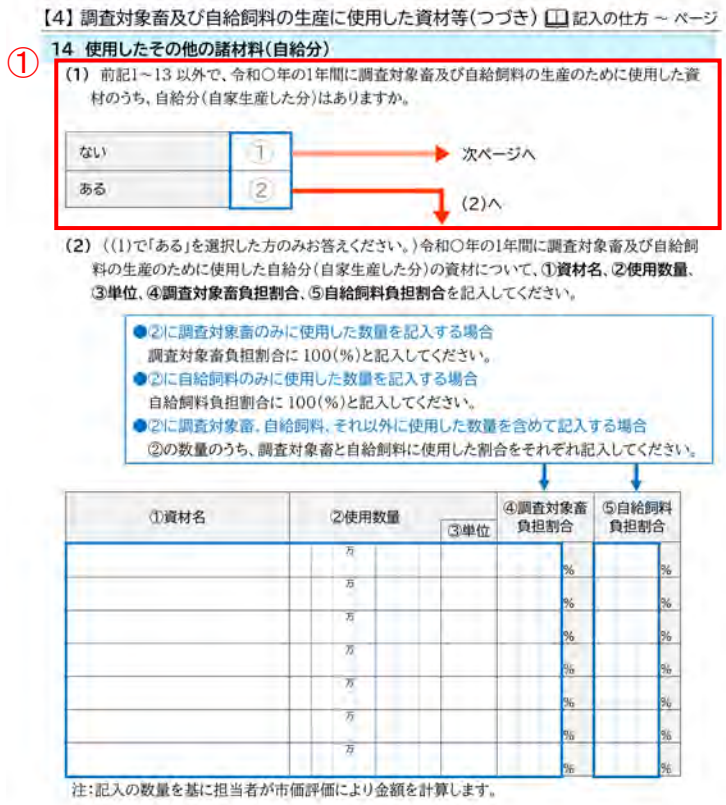
1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

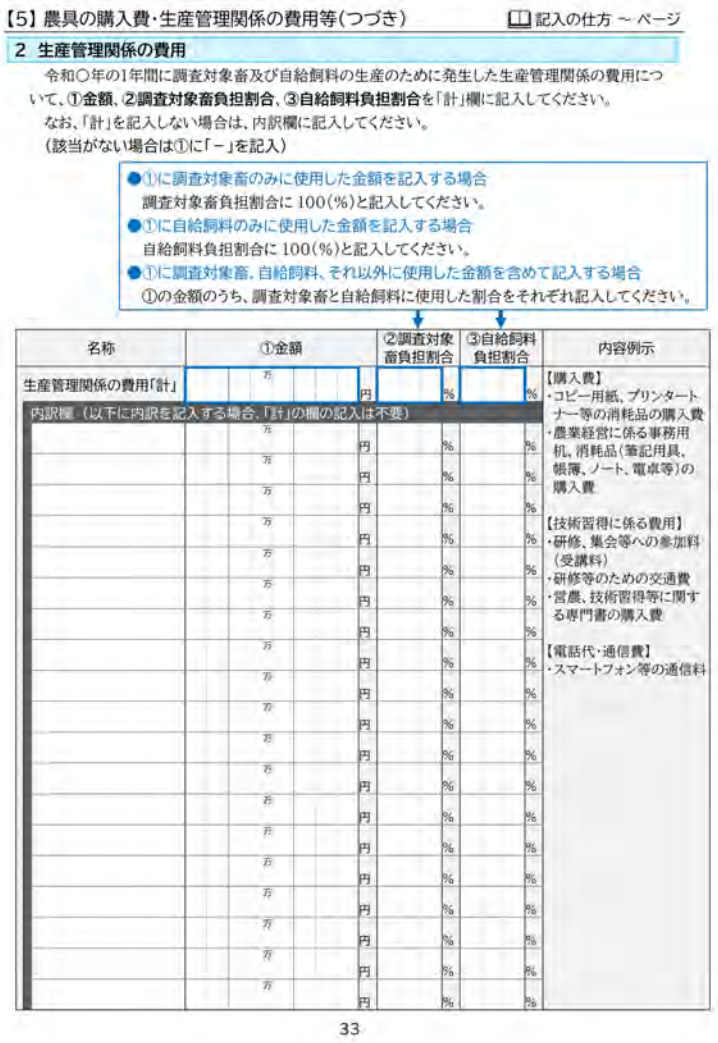
区　分	金　額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	賃借料及び料金の例示
計	万 千 百 十			
共同負担金				共同放牧場（育成牛の放牧料は除く。）、共同採草地など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料				農機具のリース代
牛乳検査料		100		
削蹄料				
疾病の検査料				義務付けられている検査（結核、ブルセラ病等）に要した費用
乳用牛群検定料		100		
その他				建物の賃借料、コントラクター料金、作業委託料

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
29ページ  【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ページ 12 草地費(草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金) (1) 令和○年の1年間に草地開発のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。 (該当がない区分は「－」を記入) 区分 / 草地開発事業負担金 (万 千 百 十)円 草地造成事業 草地整備事業 (2) 令和○年の1年間に土地改良事業のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。 (該当がない区分は「－」を記入) ① 区分 / 土地改良事業負担金 (万 千 百 十)円 ほ場整備事業 農地開発事業 かんがい排水事業 農道(牧道)整備事業 その他の整備事業 29	10ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等 8 草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金） 1年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。 草地開発事業の負担金（円） 草地造成事業 / 草地整備事業 ① 土地改良事業の負担金（円） 事業番号（　） / 事業番号（　） / 事業番号（　） ①ほ場整備事業、②農地開発事業、③かんがい排水事業、④農道（牧道）整備事業、⑤その他の整備事業	報告者が記入しやすいよう、草地開発事業の負担金と土地改良事業の負担金の設問を分離 ①土地改良事業の負担金について、報告者の記入負担軽減を図るため、事業番号の選択欄を削除し、事業を選択する形式からあらかじめ回答欄に記載された事業区分について回答する形式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30ページ 	10ページ 	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
31ページ（変更前10ページと対比）  【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ ページ ① 14 使用したその他の諸材料（自給分） (1) 前記1～13 以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。 ない ① → 次ページへ ある ② → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分（自家生産した分）の資材について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。 ●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合 調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。 ●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合 自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。 ●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合 ②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。 ①資材名 / ②使用数量 / ③単位 / ④調査対象畜負担割合 / ⑤自給飼料負担割合 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 31		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用したその他の諸材料について自家生産の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ（変更前15ページと対比）  		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ		同上

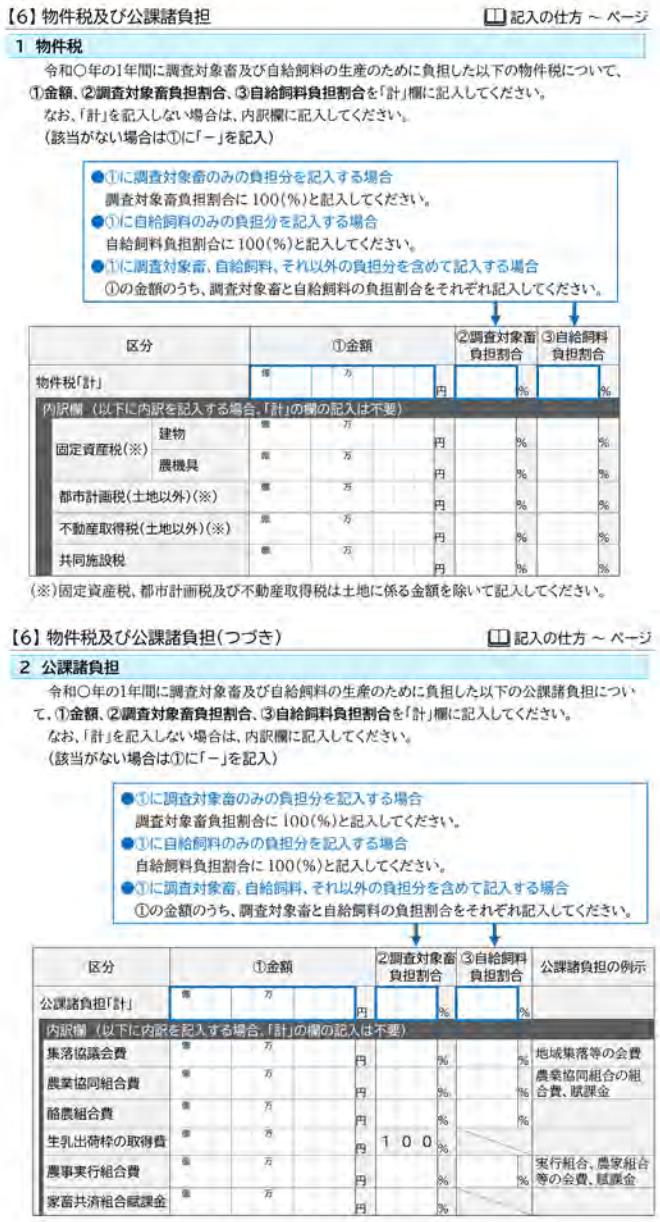
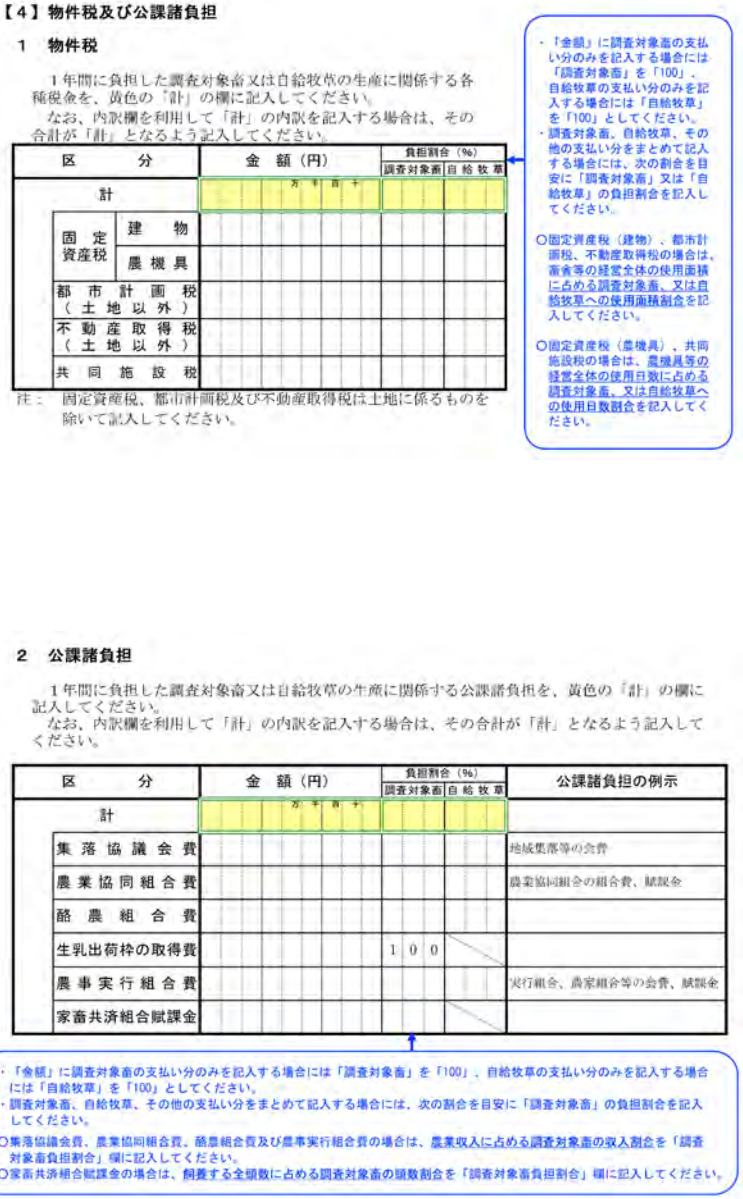
【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

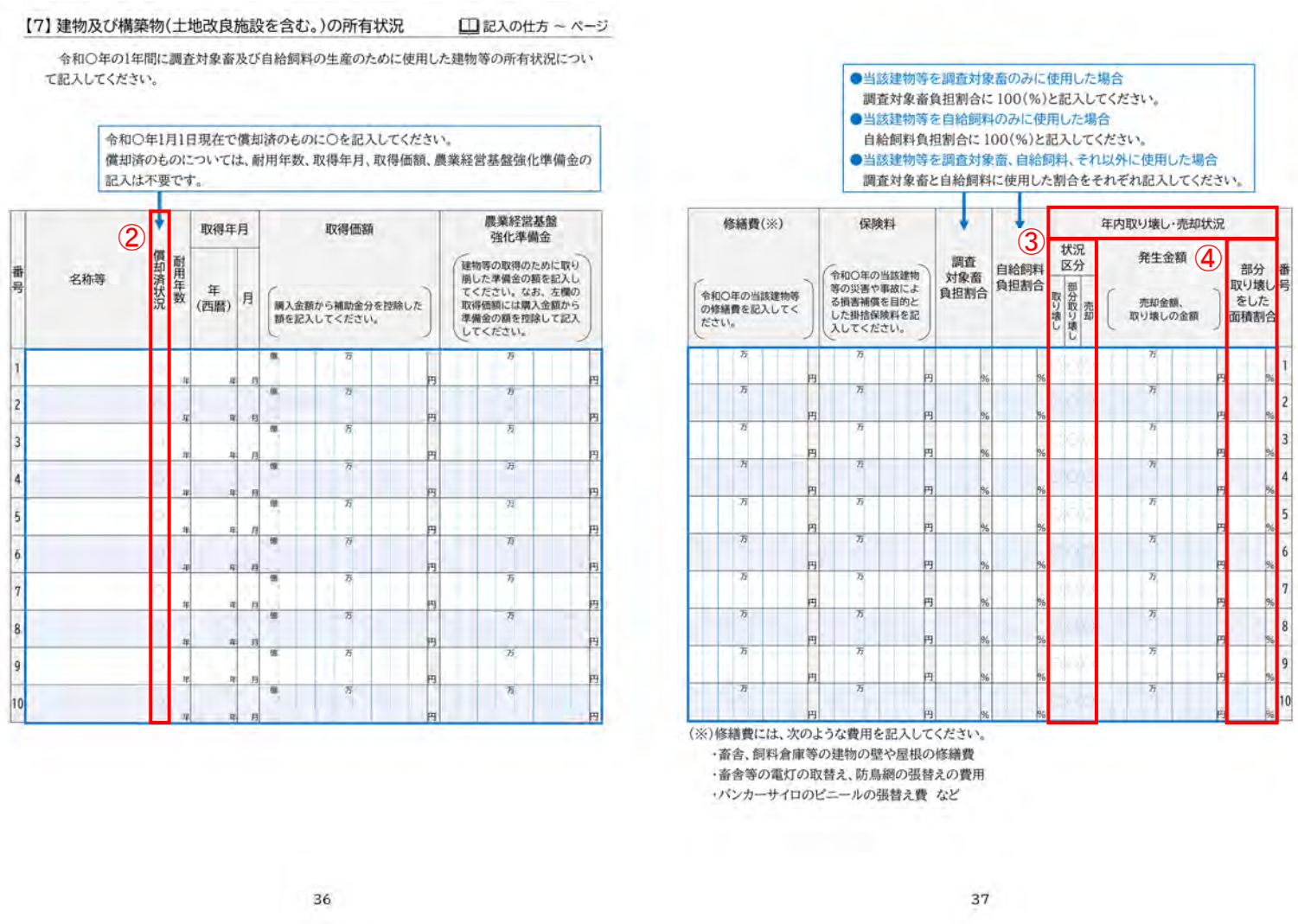
・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
農具・農業被服等の購入費	（計）				【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

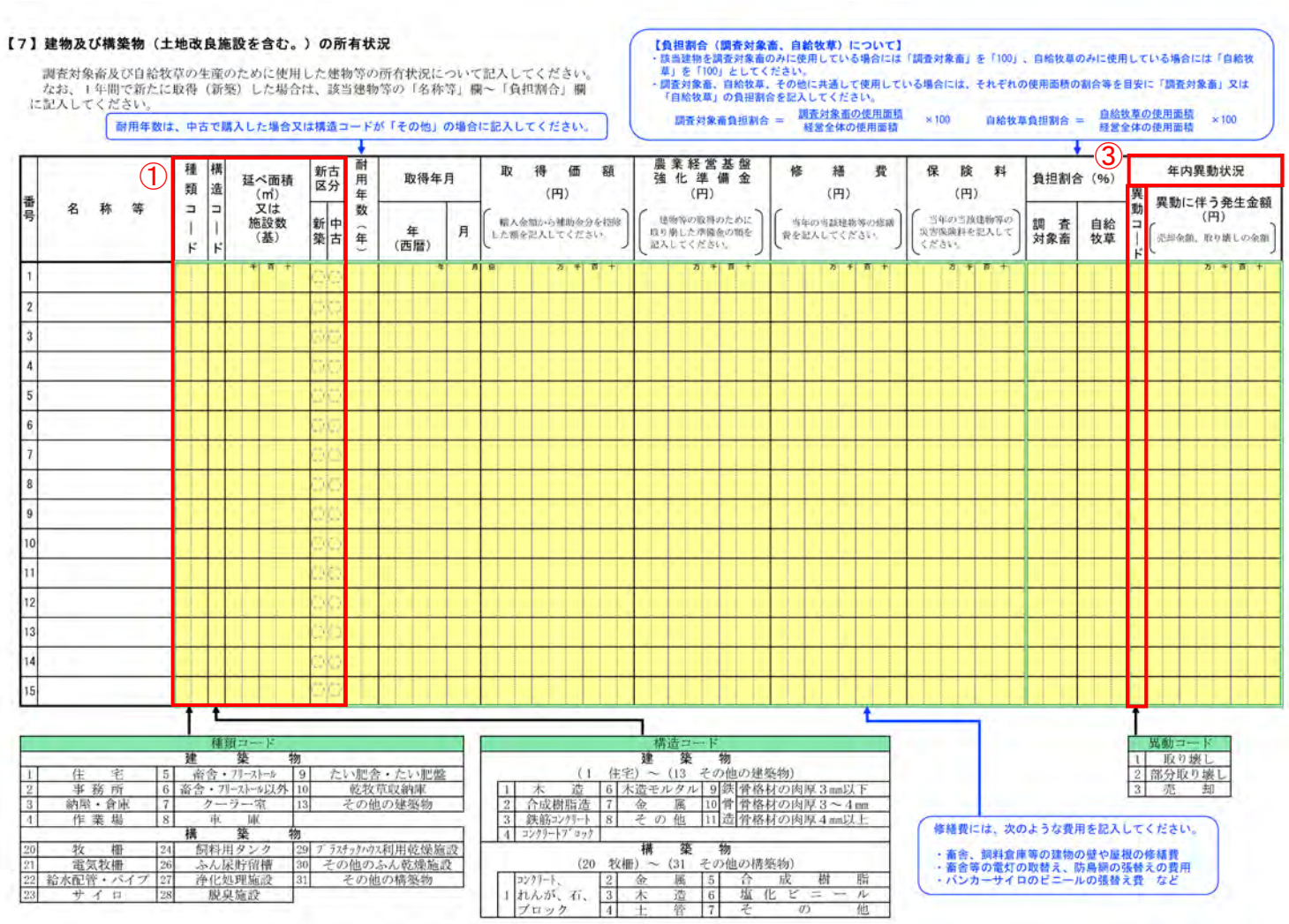
	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
生産管理関係の費用	（計）				【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34～35ページ 	11ページ 	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36～37ページ（変更前12ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	12ページ	①同上 ③同上



【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。
調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100

番号	名称等	① 種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（円）（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（円）（当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）（売却金額、取り壊しの金額）
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
・バンカーサイロのビニールの張替え費　など

種類コード

建築物					
1	住宅	5	畜舎・ﾌﾘｰｽﾄｰﾙ	9	たい肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎・ﾌﾘｰｽﾄｰﾙ以外	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	7	クーラー室	13	その他の建築物
4	作業場	8	車庫		
構築物					
20	牧柵	24	飼料用タンク	29	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊｳｽ利用乾燥施設
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設	31	その他の構築物
23	サイロ	28	脱臭施設		

構造コード

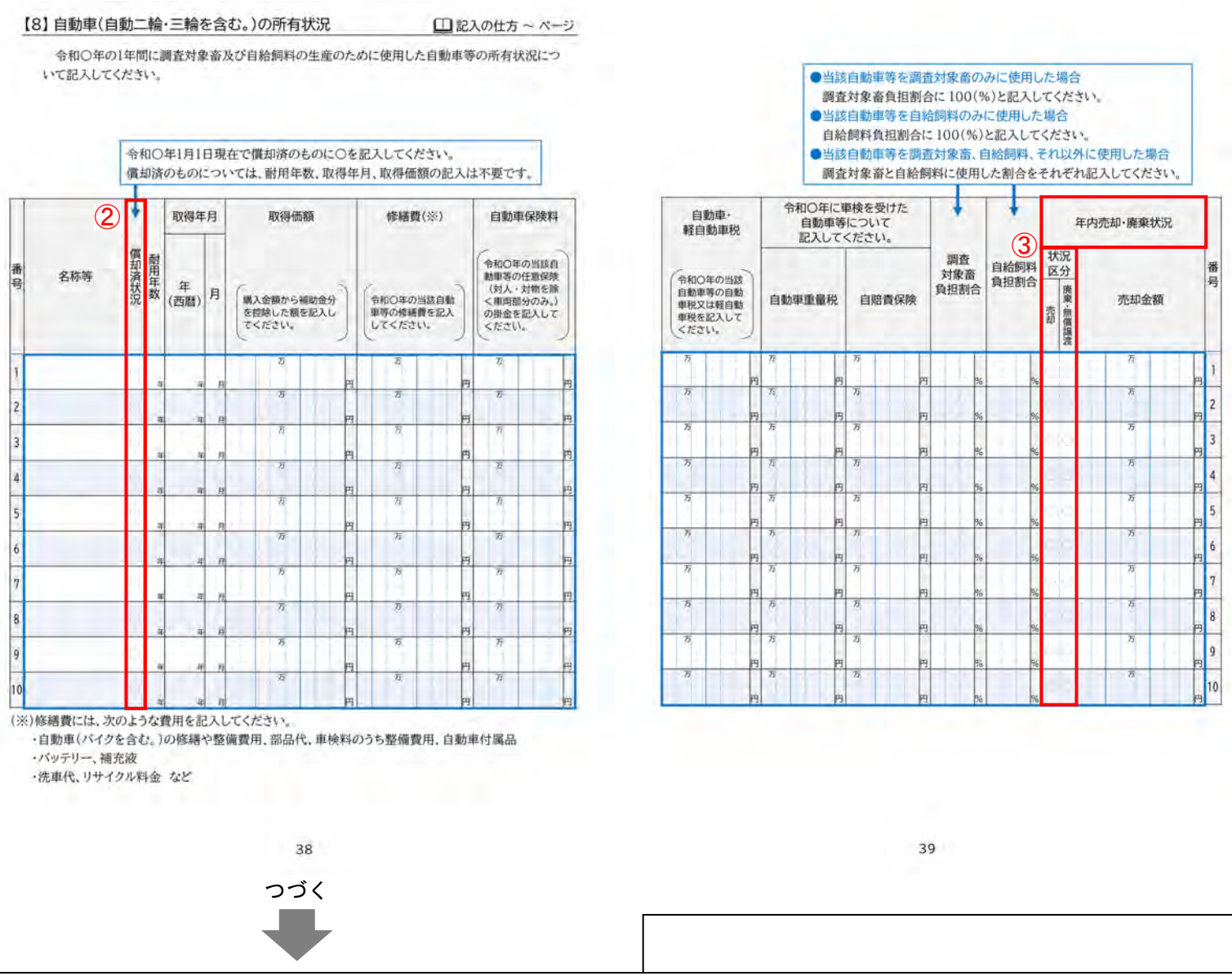
建築物（1 住宅）～（13 その他の建築物）					
1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚３mm以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	骨格材の肉厚３～４mm
3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	8	その他	11	骨格材の肉厚４mm以上
4	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ				

構築物（20 牧柵）～（31 その他の構築物）					
1	ｺﾝｸﾘｰﾄ、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38～39ページ（変更前13ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



【8】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

②

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費(※)（令和〇年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）	自動車保険料（令和〇年の当該自動車等の任意保険（対人・対物を除く車両部分のみ。）の掛金を記入してください。）
1			年	年	月	万 円	万 円	万 円
2			年	年	月	万 円	万 円	万 円
3			年	年	月	万 円	万 円	万 円
4			年	年	月	万 円	万 円	万 円
5			年	年	月	万 円	万 円	万 円
6			年	年	月	万 円	万 円	万 円
7			年	年	月	万 円	万 円	万 円
8			年	年	月	万 円	万 円	万 円
9			年	年	月	万 円	万 円	万 円
10			年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

38

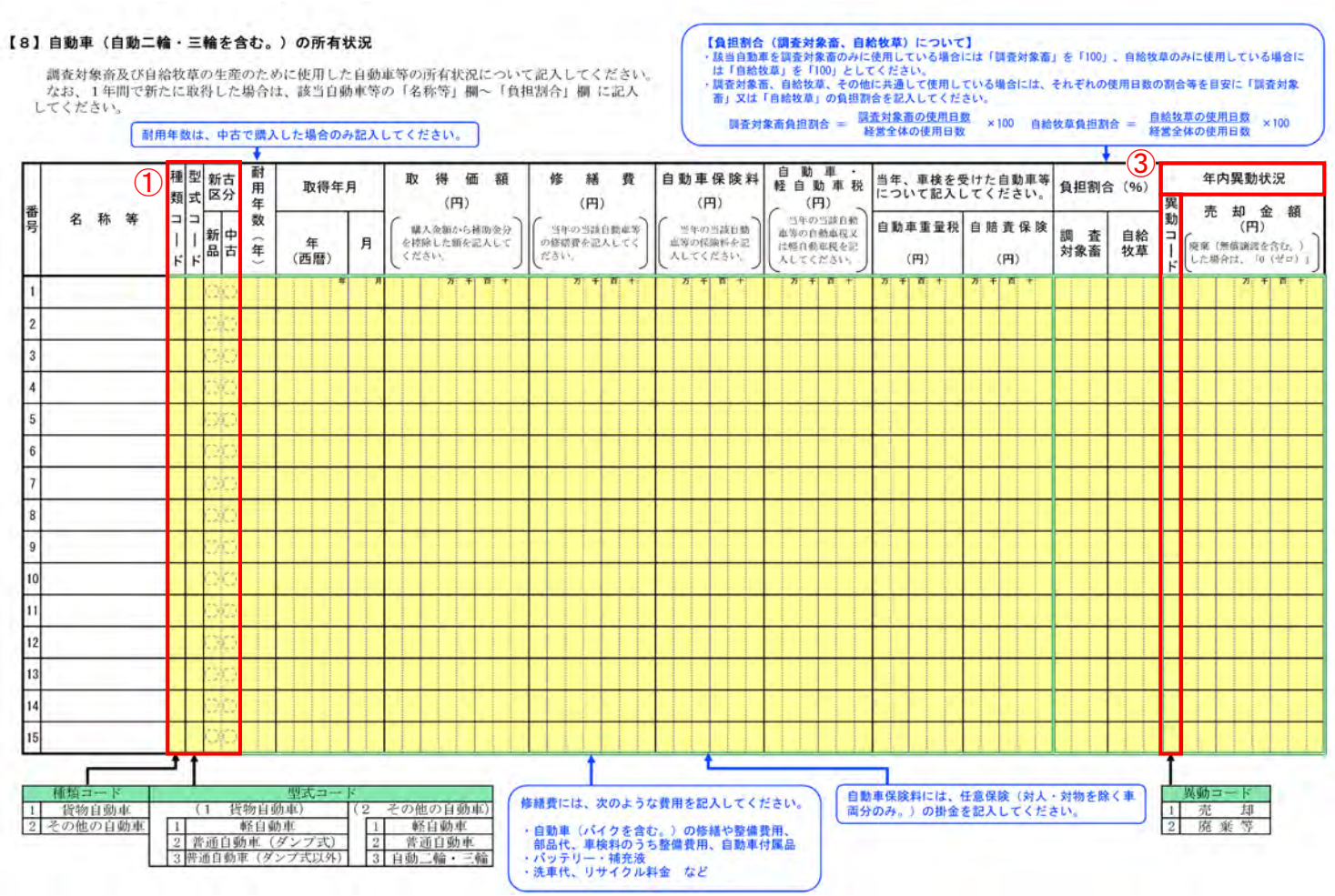
つづく

●当該自動車等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該自動車等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●当該自動車等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

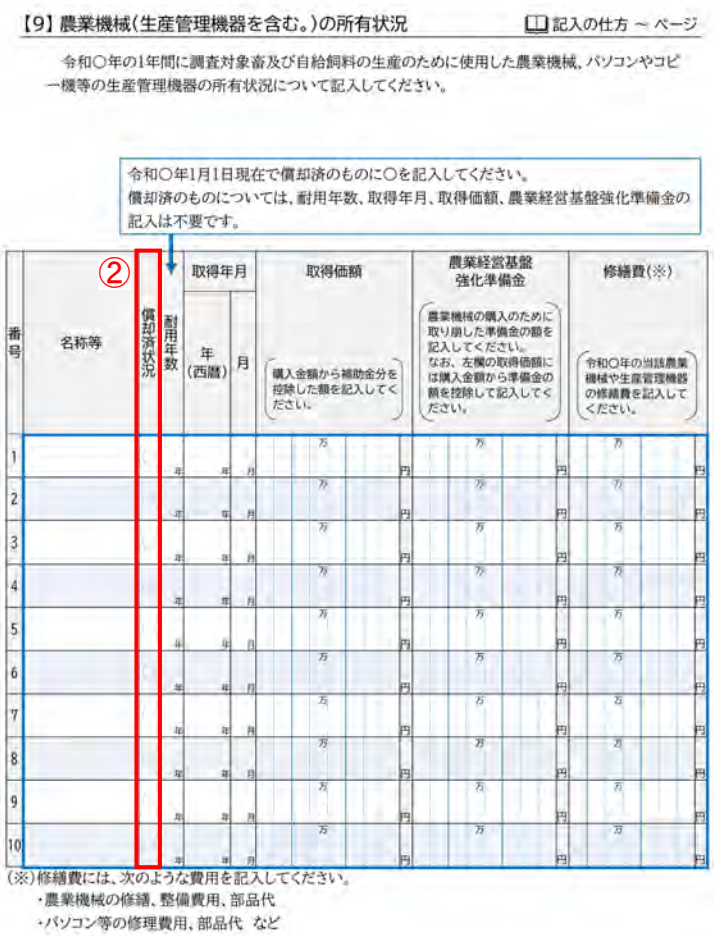
③

自動車・軽自動車税（令和〇年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税	自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	廃棄・自傷譲渡	売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	10

39

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	13ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
40～41ページ（変更前14ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

② 償却済状況

番号	名称等	耐用年数	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。）	修繕費(※)（令和〇年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。）
1		年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

40

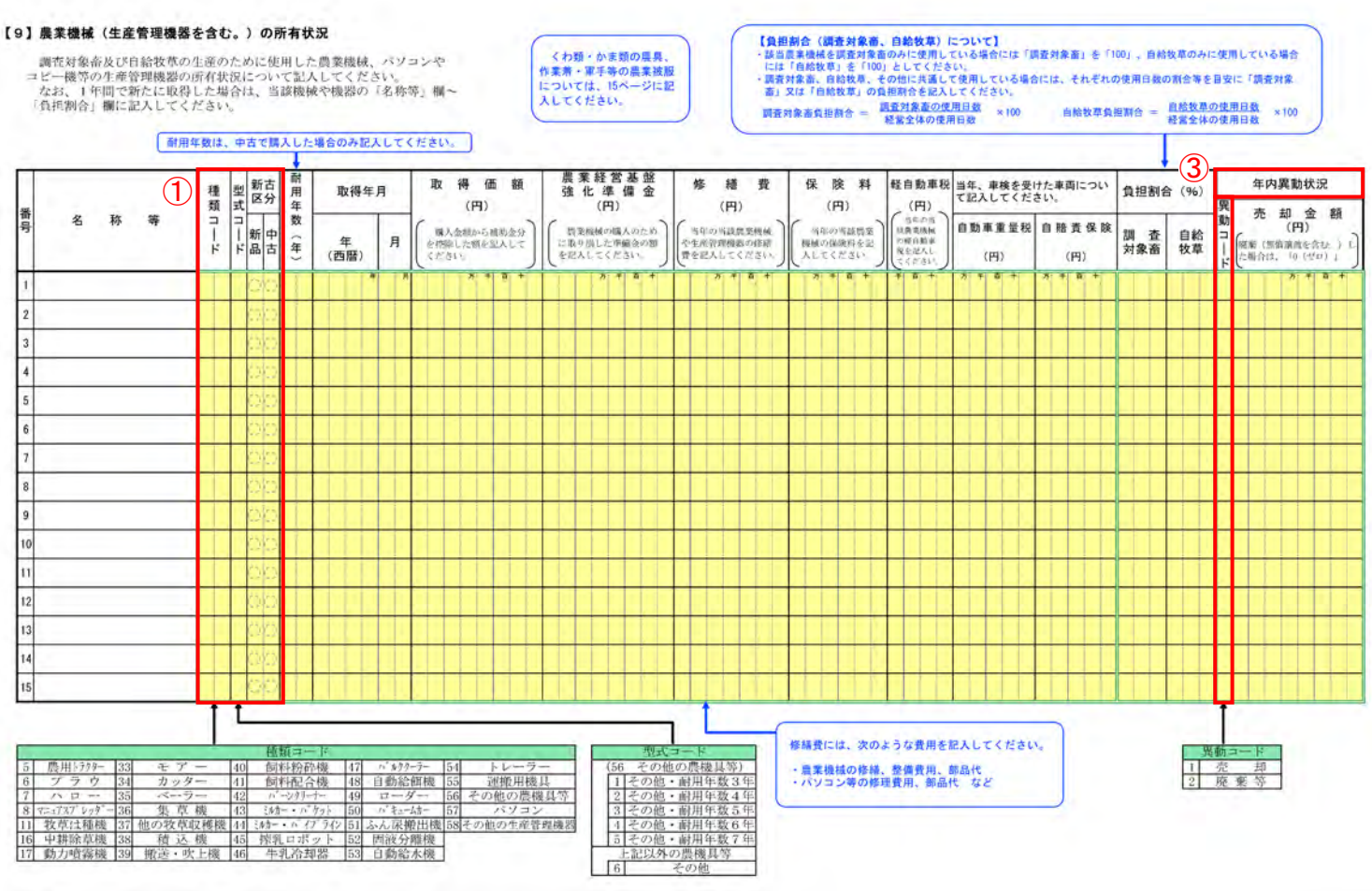
つづく

●当該農業機械等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

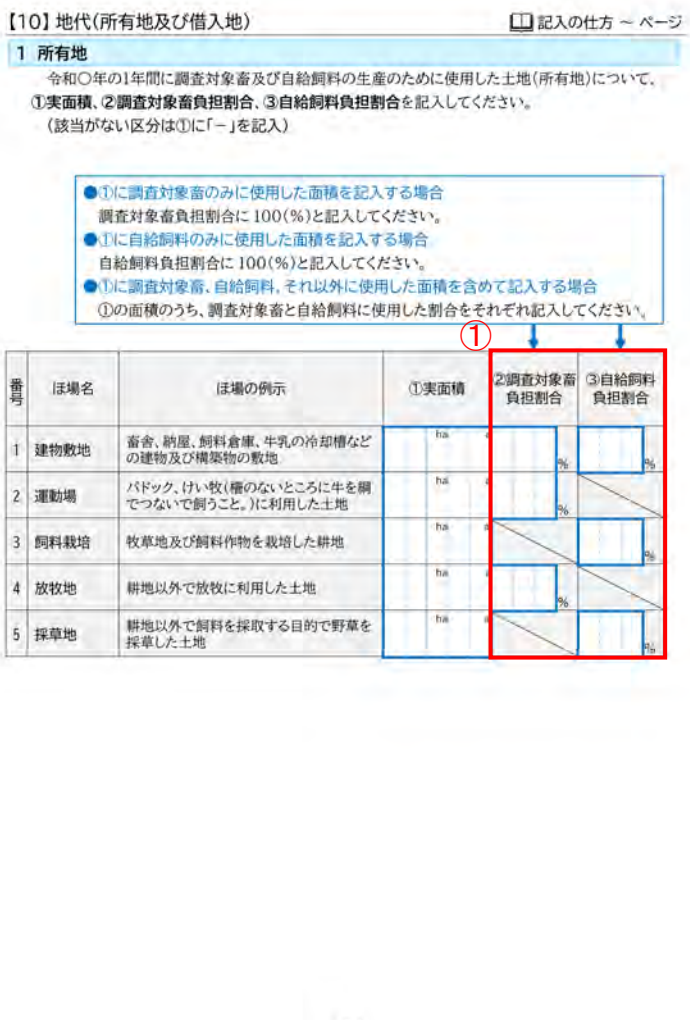
保険料（令和〇年の当該農業機械の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。）	軽自動車税（令和〇年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。）	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	調査対象畜負担割合	③ 自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	年内売却・廃棄状況 状況区分 廃業・無償譲渡	年内売却・廃棄状況 売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	1
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	2
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	3
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	4
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	5
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	6
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	7
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	8
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	9
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	10

41

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	14ページ	①同上 ③同上



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
42～43ページ（変更前17ページと対比）		所有地及び借入地の設問について、報告者が分かりやすいよう設問文をそれぞれの設問に追加 ①回答欄のうち、負担割合の記載が不要な項目に斜線を付与し、回答対象外に指定



【10】地代(所有地及び借入地)　記入の仕方 ～ページ

1 所有地

令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(所有地)について、
①実面積、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①

番号	ほ場名	ほ場の例示	①実面積	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
1	建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫、牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地	ha a	%	%
2	運動場	パドック、けい牧(檻のないところに牛を綱でつないで飼うこと。)に利用した土地	ha a	%	
3	飼料栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	ha a		%
4	放牧地	耕地以外で放牧に利用した土地	ha a	%	
5	採草地	耕地以外で飼料を採取する目的で野草を採草した土地	ha a		%

42

つづく



【10】地代(所有地及び借入地)(つづき)　記入の仕方 ～ページ

2 借入地

令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(借入地)について、
①実面積、②支払地代、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

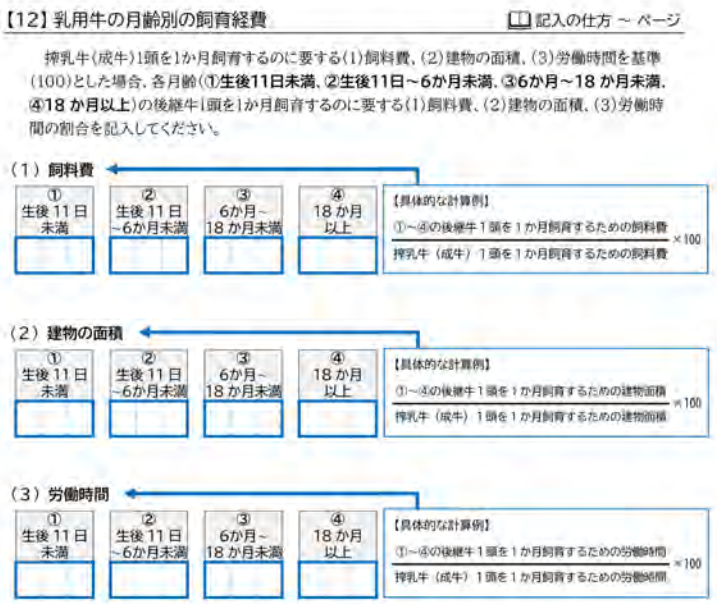
①

番号	ほ場名	①実面積	②支払地代	③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
1	建物敷地	ha a	万 円	%	%
2	運動場	ha a	万 円	%	
3	飼料栽培	ha a	万 円		%
4	放牧地	ha a	万 円	%	
5	採草地	ha a	万 円		%

43

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	17ページ	
【13】地代（所有地及び借入地） １年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。 なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。 １　所有地 ほ　場　名 / ほ場の例示 / 実面積 / 負担割合（%）：調査対象畜 / 自給牧草 建　物　敷　地 / 畜舎、納屋、飼料倉庫及び牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地 運　動　場 / パドック、けい牧（柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。）に利用した土地 牧　草　栽　培 / 牧草地及び飼料作物を栽培した耕地 放　牧　地 / 耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地 採　草　地 / 耕地以外で過去１年間に調査対象畜用の野草を採草した土地 ① ２　借入地 ほ　場　名 / 実面積 / 支払地代（円） / 負担割合（%）：調査対象畜 / 自給牧草 建　物　敷　地 運　動　場 牧　草　栽　培 放　牧　地 採　草　地 ① ・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。 ・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。		同上 ①同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
44ページ  【11】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　　記入の仕方 ～ ページ 調査対象畜及び自給飼料の生産のための借入金について、**①令和○年1月1日時点の未償還残高、②令和○年の支払利子額、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない区分は「－」を記入） 土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。 ●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合 自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合 ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。 資金名(用途)／①令和○年1月1日時点の未償還残高／②令和○年の支払利子額／③調査対象畜負担割合／④自給飼料負担割合 「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要） 借入金 ① 買掛未払金 44	11ページ  【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（1月1日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。 また、1年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 借入金種類／調査開始時未償還残高（円）／支払利子額（円）／負担割合（%）：調査対象畜・自給牧草 計 ① 買掛未払金 注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。 ・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜（酪農）の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。 調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜（酪農）の収入 / 経営全体の農業収入 ×100	①借入金及び支払利子について、報告者の記入負担軽減を図るため、「計」のみを把握するよう変更 なお、回答が必須であった買掛未払金については、必要に応じて記入する扱いに変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
45ページ（変更前17ページと対比）  【12】乳用牛の月齢別の飼育経費　記入の仕方 ～ ページ 搾乳牛（成牛）1頭を1か月飼育するのに要する(1)飼料費，(2)建物の面積，(3)労働時間を基準(100)とした場合，各月齢(**①生後11日未満，②生後11日～6か月未満，③6か月～18 か月未満，④18 か月以上**)の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する(1)飼料費，(2)建物の面積，(3)労働時間の割合を記入してください。 (1) 飼料費 ① 生後 11 日未満 / ② 生後 11 日～6か月未満 / ③ 6か月～18 か月未満 / ④ 18 か月以上 【具体的な計算例】 ①～④の後継牛1頭を1か月飼育するための飼料費 ／ 搾乳牛（成牛）1頭を1か月飼育するための飼料費 ×100 (2) 建物の面積 ① 生後 11 日未満 / ② 生後 11 日～6か月未満 / ③ 6か月～18 か月未満 / ④ 18 か月以上 【具体的な計算例】 ①～④の後継牛1頭を1か月飼育するための建物面積 ／ 搾乳牛（成牛）1頭を1か月飼育するための建物面積 ×100 (3) 労働時間 ① 生後 11 日未満 / ② 生後 11 日～6か月未満 / ③ 6か月～18 か月未満 / ④ 18 か月以上 【具体的な計算例】 ①～④の後継牛1頭を1か月飼育するための労働時間 ／ 搾乳牛（成牛）1頭を1か月飼育するための労働時間 ×100 つづく		

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ		

【14】乳用牛の月齢別の飼育経費

搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛（①生後11日未満の牛、②生後11日～6か月、③6～18か月、④18か月以上）の飼育に要する経費や労力の割合を記入してください。
なお、記入の仕方がわからない場合には、担当者にご相談ください。

1　飼料等

搾乳牛（成牛）に給与する飼料費を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に給与する飼料費の割合を記入してください。

	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を1か月飼育するのに要する飼料費を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する飼料費の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する飼料費}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する飼料費}} \times 100$$

2　建物

搾乳牛（成牛）の飼育に使用する建物面積を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に使用する建物面積の割合を記入してください。

	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を飼育するのに要する建物の面積を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を飼育するのに要する建物の面積の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する建物面積}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する建物面積}} \times 100$$

3　飼育作業

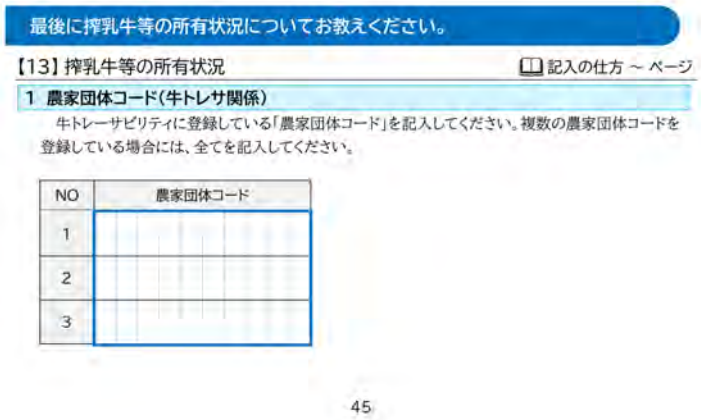
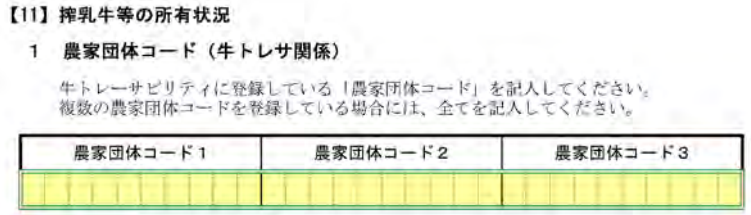
搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間を「100」とした場合の、月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間の割合を記入してください。

	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を1か月飼育するのに要する労働時間を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する労働時間の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間}} \times 100$$

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
45ページ  最後に搾乳牛等の所有状況についてお教えください。 【13】搾乳牛等の所有状況　記入の仕方 ～ ページ 1 農家団体コード(牛トレサ関係) 牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。 NO / 農家団体コード 1 2 3 45	16ページ  【11】搾乳牛等の所有状況 1　農家団体コード（牛トレサ関係） 牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。 複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。 農家団体コード１ / 農家団体コード２ / 農家団体コード３	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
46～47ページ（変更前16ページと対比） ①		①報告者の記入負担軽減や記入漏れを防ぐため、調査期間内に異動（生産、購入、売却、死亡）があった調査対象畜のみを記入する方式から、異動の有無を問わず飼養した調査対象畜を牛トレサデータから取得した情報であらかじめ印字し、追記する方式に変更。

【13】搾乳牛等の所有状況（つづき）　記入の仕方 ～ページ

2 調査対象畜の飼養状況

令和○年の1年間に飼養した調査対象畜の個体情報等について、個体識別番号ごとに記入してください。なお、牛トレサデータから取得した情報や前年の回答はあらかじめ印字しています。

番号	個体識別番号（10桁の耳標番号）	名称（記入は任意）	種類	品種	性別 雄	性別 雌	生産年月 年（西暦）	生産年月 月	購入年月 年（西暦）	購入年月 月	売却・死亡年月 年（西暦）	売却・死亡年月 月
1							年	月	年	月	年	月
2							年	月	年	月	年	月
3							年	月	年	月	年	月
4							年	月	年	月	年	月
5							年	月	年	月	年	月
6							年	月	年	月	年	月
7							年	月	年	月	年	月
8							年	月	年	月	年	月
9							年	月	年	月	年	月
10							年	月	年	月	年	月

46

購入価額は、取得に直接要した手数料や運賃などを含めた金額を記入してください。
売却価額は、受取金額から市場手数料や出荷に関する経費（運送費、材料費等）を除いた金額を記入してください。

搾乳牛の成畜は、初回分べん時です。

年内の状況を記入

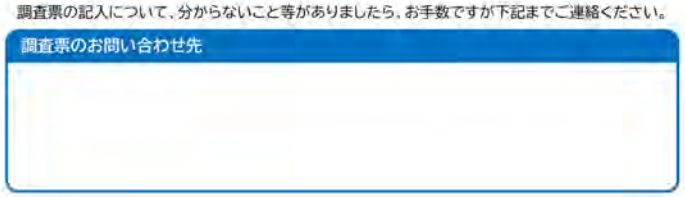
番号	搾乳牛のみ記入 成畜 年（西暦）	搾乳牛のみ記入 成畜 月	搾乳牛のみ記入 成畜価額	搾乳牛のみ記入 購入価額	搾乳牛のみ記入 売却価額	後継牛のみ記入 育成牧場への預託 入牧 年（西暦）	後継牛のみ記入 育成牧場への預託 入牧 月	後継牛のみ記入 育成牧場への預託 下牧 年（西暦）	後継牛のみ記入 育成牧場への預託 下牧 月	搾乳牛から産まれた子牛のみ記入 10日齢時点評価額、10日齢未満売却額等	番号
1	年	月	万 円	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	1
2	年	月	万 円	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	2
3	年	月	万 円	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	3
4	年	月	万 円	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	4
5	年	月	万 円	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	5
6	年	月	万 円	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	6
7	年	月	万 円	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	7
8	年	月	万 円	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	8
9	年	月	万 円	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	9
10	年	月	万 円	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	10

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

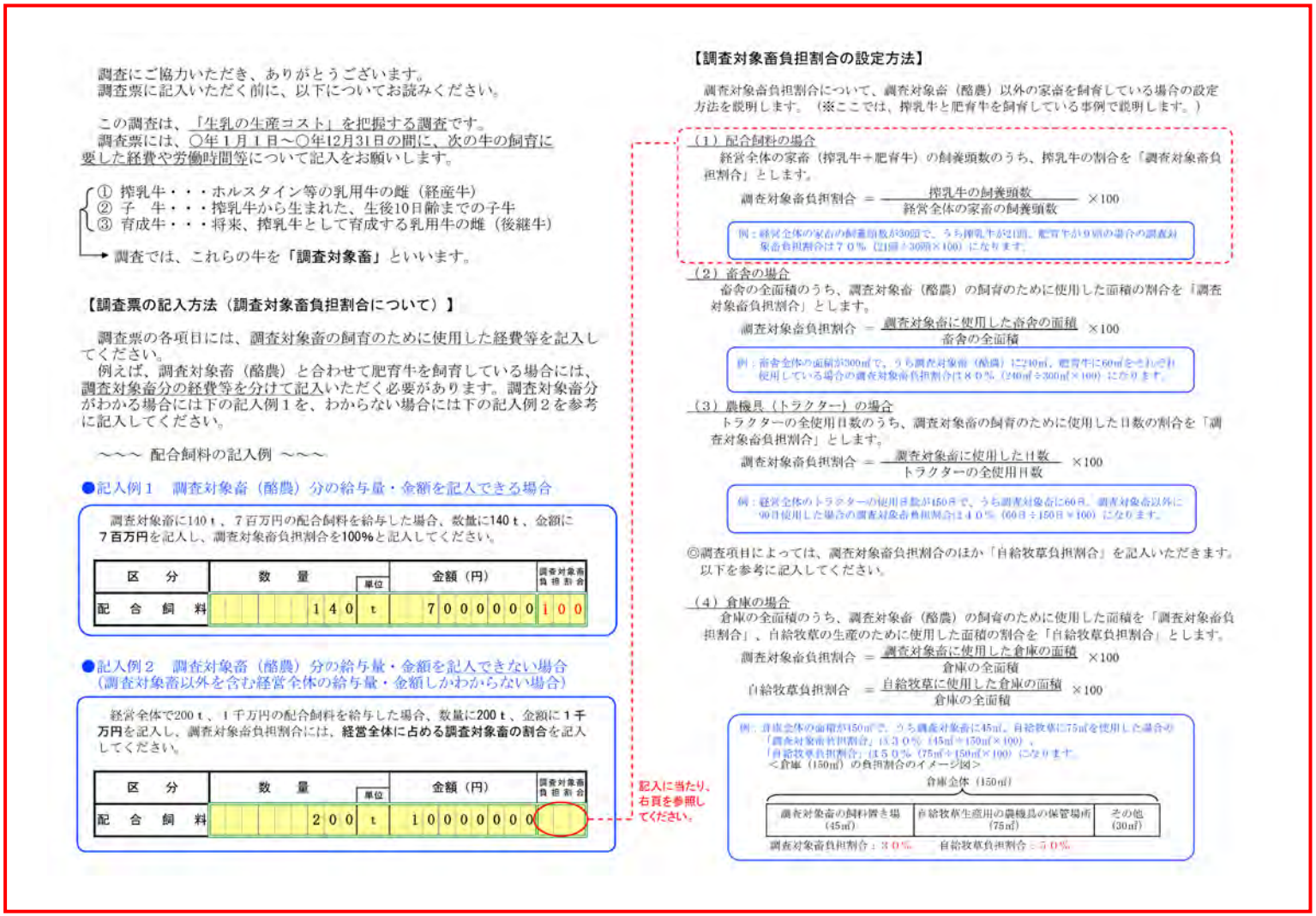
47

つづく

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	16ページ 【11】搾乳牛等の所有状況 ① 2　搾乳牛の取引状況 1年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。 また、未経産牛（育成牛）を育成牛場へ預託している場合、育成牛場に預けた牛には「出」に、育成牛場から戻った牛には「戻」に○を記入してください。  個体識別番号（10ケタの耳標番号）／名称（記入は任意）／異動月／異動区分（生産・購入・売却・死亡）／取引金額（円）（購入額、売却額）／育成牛場への預託（該当に○） 万 千 百 十 出 戻	①同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
48ページ  	1ページ  	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除



調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「生乳の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年１月１日～○年12月31日の間に、次の牛の飼育に要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

① 搾乳牛・・・ホルスタイン等の乳用牛の雌（経産牛）
② 子　牛・・・搾乳牛から生まれた、生後10日齢までの子牛
③ 育成牛・・・将来、搾乳牛として育成する乳用牛の雌（後継牛）

→ 調査では、これらの牛を「調査対象畜」といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。
例えば、調査対象畜（酪農）と合わせて肥育牛を飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例１を、わからない場合には下の記入例２を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例１　調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140ｔ、７百万円の配合飼料を給与した場合、数量に140ｔ、金額に**７百万円**を記入し、調査対象畜負担割合を**100%**と記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	140	t	7000000	100

●記入例２　調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できない場合
（調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で200ｔ、１千万円の配合飼料を給与した場合、数量に**200ｔ**、金額に**１千万円**を記入し、調査対象畜負担割合には、**経営全体に占める調査対象畜の割合**を記入してください。

区　分	数　量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
配　合　飼　料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜（酪農）以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。（※ここでは、搾乳牛と肥育牛を飼育している事例で説明します。）

（１）配合飼料の場合
経営全体の家畜（搾乳牛＋肥育牛）の飼養頭数のうち、搾乳牛の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

調査対象畜負担割合 ＝ 搾乳牛の飼養頭数 / 経営全体の家畜の飼養頭数 ×100

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち搾乳牛が21頭、肥育牛が９頭の場合の調査対象畜負担割合は７０％（21頭÷30頭×100）になります。

（２）畜舎の場合
畜舎の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜に使用した畜舎の面積 / 畜舎の全面積 ×100

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜（酪農）に240㎡、肥育牛に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は８０％（240㎡÷300㎡×100）になります。

（３）農機具（トラクター）の場合
トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜に使用した日数 / トラクターの全使用日数 ×100

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に90日使用した場合の調査対象畜負担割合は４０％（60日÷150日×100）になります。

◎調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。以下を参考に記入してください。

（４）倉庫の場合
倉庫の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜に使用した倉庫の面積 / 倉庫の全面積 ×100

自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草に使用した倉庫の面積 / 倉庫の全面積 ×100

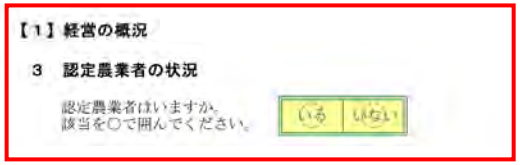
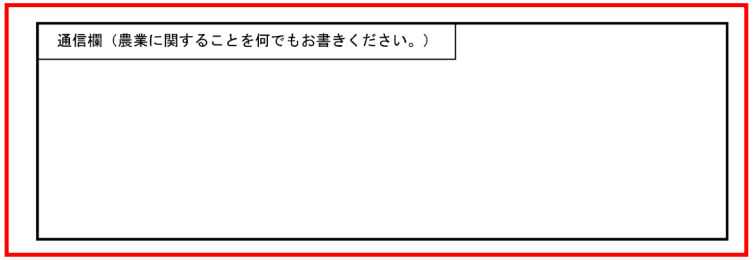
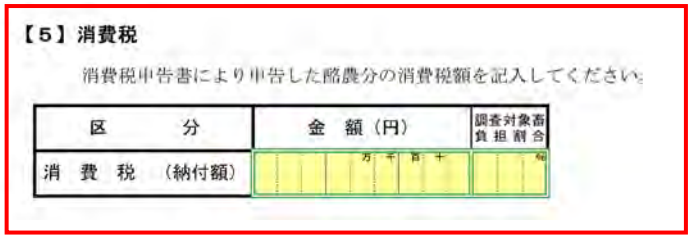
例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の「調査対象畜負担割合」は３０％（45㎡÷150㎡×100）、「自給牧草負担割合」は５０％（75㎡÷150㎡×100）になります。

＜倉庫（150㎡）の負担割合のイメージ図＞

倉庫全体（150㎡）

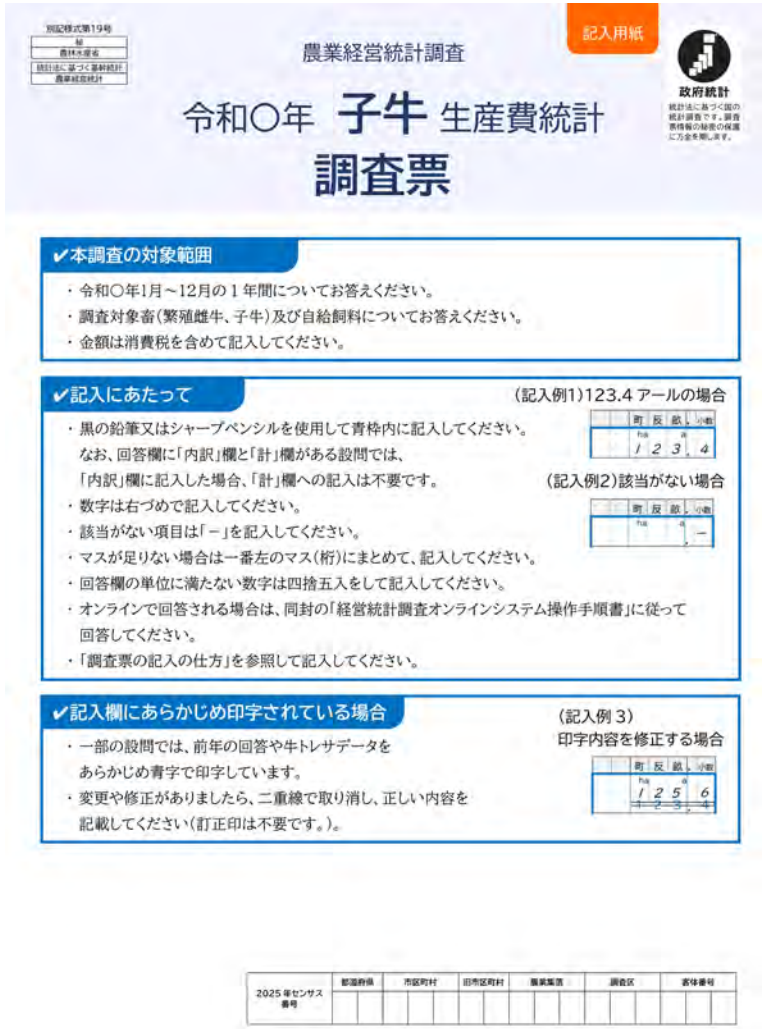
調査対象畜の飼料置き場（45㎡）	自給牧草生産用の農機具の保管場所（75㎡）	その他（30㎡）

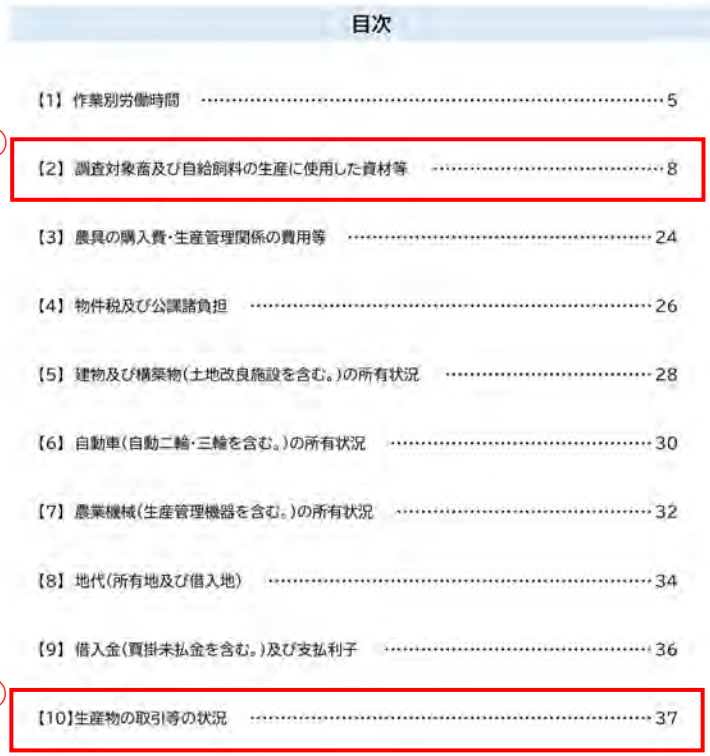
調査対象畜負担割合：３０％　自給牧草負担割合：５０％

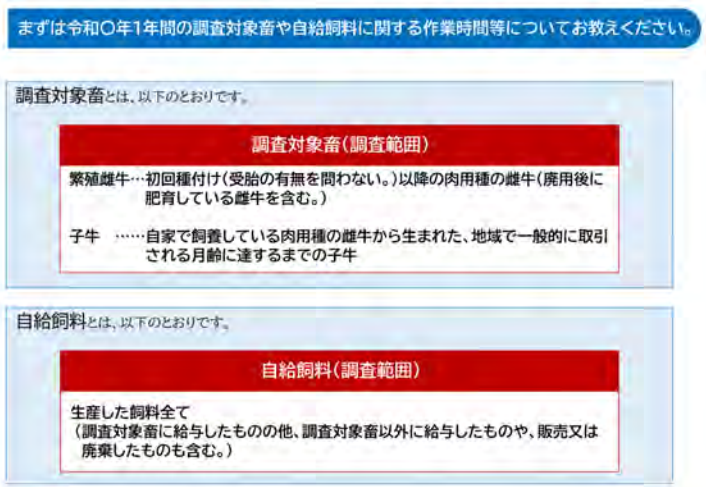
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普　通　畑 樹　園　地 牧　草　地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる　いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除
（削除）	11ページ  【５】消費税 消費税申告書により申告した臨農分の消費税額を記入してください。 区　分 / 金　額（円） / 調査対象者負担割合 消　費　税　（納付額）	消費税について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

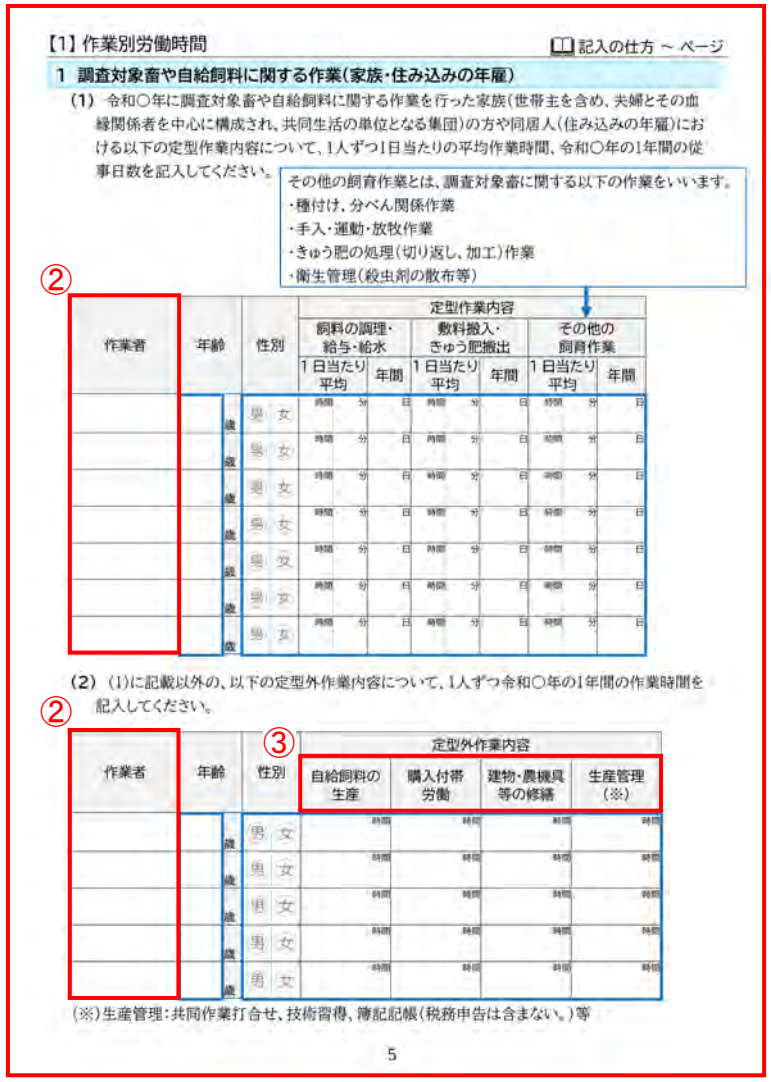
農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

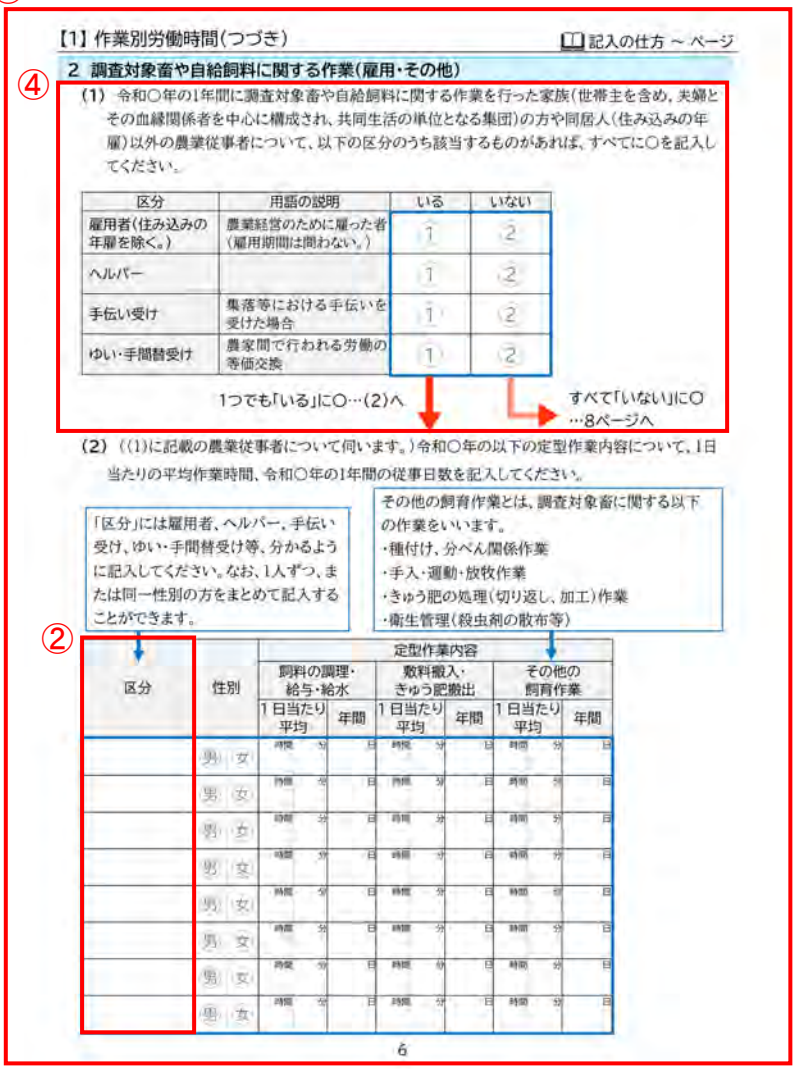
２　畜産物生産費統計（子牛）

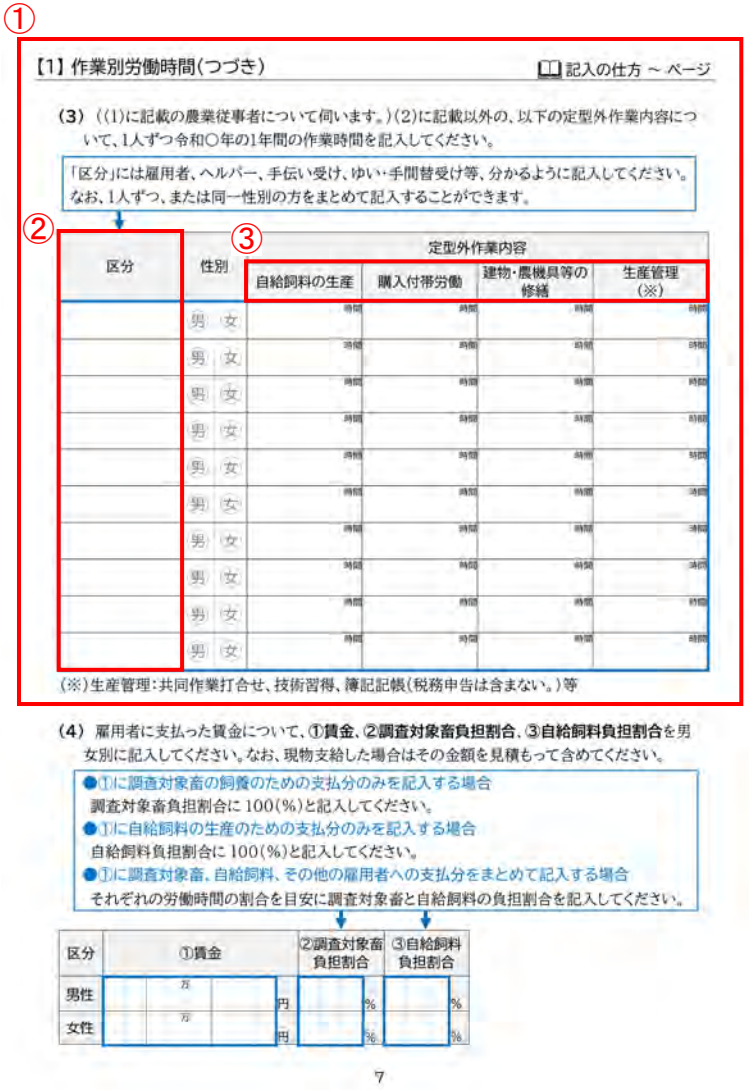
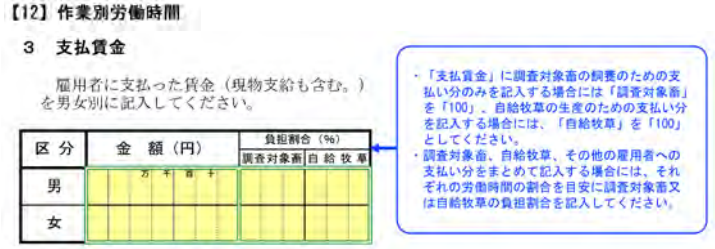
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第19号 １ページ  農業経営統計調査 記入用紙 令和〇年 子牛 生産費統計 調査票 ✔本調査の対象範囲 ・令和〇年1月～12月の１年間についてお答えください。 ・調査対象畜（繁殖雌牛、子牛）及び自給飼料についてお答えください。 ・金額は消費税を含めて記入してください。 ✔記入にあたって （記入例1）123.4 アールの場合 ・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。 なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、 「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。 （記入例2）該当がない場合 ・数字は右づめで記入してください。 ・該当がない項目は「－」を記入してください。 ・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。 ・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。 ・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。 ✔記入欄にあらかじめ印字されている場合 （記入例３） 印字内容を修正する場合 ・一部の設問では、前年の回答や牛トレサデータを あらかじめ青字で印字しています。 ・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を 記載してください（訂正印は不要です。）。 2025 年センサス番号 都道府県 市区町村 旧市区町村 農業集落 調査区 客体番号	別記様式第16号 １ページ  農業経営統計調査 〇年 子牛生産費統計調査票 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★〇印は記入見本を参考に記入してください。 ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。 【問合せ先】 都道府県 市区町村 旧市区町村 農業集落 調査区 客体番号	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
2ページ  目次 【1】作業別労働時間 …… 5 ①【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等 …… 8 【3】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 24 【4】物件税及び公課諸負担 …… 26 【5】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 28 【6】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 30 【7】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 32 【8】地代(所有地及び借入地) …… 34 【9】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 36 ①【10】生産物の取引等の状況 …… 37	3ページ 調　査　事　項 ページ 【1】経営の概況 …… 3 経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。 ①【2】調査対象畜の取引状況 …… 4 繁殖雌牛及び子牛の転入・転出状況、繁殖雌牛の初回種付けの月齢、きゅう肥の利用状況を記入してください。 ①【3】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 5 飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料等の賃借料・料金等を記入してください。 【4】物件税及び公課諸負担 …… 9 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。 【5】消費税 …… 9 消費税申告書により申告した消費税を記入してください。 【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9 借入金残高、支払利子を記入してください。 【7】出荷に要した経費 …… 9 出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。 【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10 建物・構築物の所有状況を記入してください。 【9】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11 自動車等の所有状況を記入してください。 【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12 農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。 【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13 スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。 【12】作業別労働時間 …… 14 家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。 【13】地代（所有地及び借入地） …… 14 地代を記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は38～40ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
4ページ  		報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、調査対象畜と自給飼料の調査範囲の説明を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
5ページ ①  【1】作業別労働時間　記入の仕方 ～ページ 1 調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇) (1) 令和○年に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和○年の1年間の従事日数を記入してください。 その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。 ・種付け、分べん関係作業 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業 ・衛生管理(殺虫剤の散布等) ② 作業者 / 年齢 / 性別 / 定型作業内容: 飼料の調理・給与・給水(1日当たり平均、年間) / 敷料搬入・きゅう肥搬出(1日当たり平均、年間) / その他の飼育作業(1日当たり平均、年間) (2) (1)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和○年の1年間の作業時間を記入してください。 ② 作業者 / 年齢 / ③性別 / 定型外作業内容: 自給飼料の生産 / 購入付帯労働 / 建物・農機具等の修繕 / 生産管理(※) (※)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等 5 つづく	14ページ ①  【12】作業別労働時間 1 調査対象畜に関する定型作業 「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。 ・種付け、分べん関係作業 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業 ・衛生管理(殺虫剤の散布等) ② 農業従事者ごとに、上段に1日当たりの平均作業時間を記入し、下段に1年間の従事日数を記入してください。 氏名 / 性別 / 年齢 / 家族・雇用 / 飼料の調理・給与・給水 / 敷料搬入・きゅう肥搬出 / その他の飼育作業 注:雇用者の年齢は記入不要です。 2 調査対象畜に関する1以外の作業 「作業名」欄の（　）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。 ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料(牧草等)の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。 ② 氏名 / 性別 / 年齢 / ③家族・雇用 / 作業名(　) / 作業名(　) / 作業名(　) / 作業名(　) / 作業名(　) 注:雇用者の年齢は記入不要です。	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更(以下同じ) 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化(以下同じ) 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更(以下同じ) ①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 調査対象畜に関する定形作業」と「2 調査対象畜に関する1以外の作業」の設問をそれぞれ「調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇)」及び「調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他)」に分離 ②氏名に限定せず、作業者及び区分を特定可能な記入欄へ変更 ③定形外作業内容について、報告者の記入負担軽減を図るため、作業名を記入する形式からあらかじめ回答欄に記載された定形外作業内容について回答する形式へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６ページ（変更前14ページと対比） ①  【1】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ 2 調査対象畜や自給飼料に関する作業（雇用・その他） ④ (1) 令和○年の1年間に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族（世帯主を含め，夫婦とその血縁関係者を中心に構成され，共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）以外の農業従事者について，以下の区分のうち該当するものがあれば，すべてに○を記入してください。 区分 / 用語の説明 / いる / いない 雇用者（住み込みの年雇を除く。） / 農業経営のために雇った者（雇用期間は問わない。） / 1 / 2 ヘルパー / 1 / 2 手伝い受け / 集落等における手伝いを受けた場合 / 1 / 2 ゆい・手間替受け / 農家間で行われる労働の等価交換 / 1 / 2 1つでも「いる」に○…(2)へ すべて「いない」に○…8ページへ (2) ((1)に記載の農業従事者について伺います。) 令和○年の以下の定型作業内容について，1日当たりの平均作業時間，令和○年の1年間の従事日数を記入してください。 「区分」には雇用者，ヘルパー，手伝い受け，ゆい・手間替受け等，分かるように記入してください。なお，1人ずつ，または同一性別の方をまとめて記入することができます。 その他の飼育作業とは，調査対象畜に関する以下の作業をいいます。 ・種付け，分べん関係作業 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理（切り返し，加工）作業 ・衛生管理（殺虫剤の散布等） ② 区分 / 性別 / 定型作業内容：飼料の調理・給与・給水（1日当たり平均 / 年間）/ 敷料搬入・きゅう肥搬出（1日当たり平均 / 年間）/ その他の飼育作業（1日当たり平均 / 年間） 男 女 6 つづく		①同上 ②同上 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、雇用者（住み込みの年雇を除く。）、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受けの人の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
7ページ（変更前14ページと対比） 	14ページ 	①同上 ②同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
8ページ	5ページ	



ここからは令和○年1年間の調査対象畜や自給飼料に使用した金額等についてお教えください。

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等　記入の仕方 ～ ページ

1 給与した飼料(購入分)

令和○年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、**①給与数量、②単位、③給与数量分の購入金額、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

(該当がない区分は①又は③に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		①給与数量	②単位	③給与数量分の購入金額	④調査対象畜負担割合
穀類	大麦	億 万		億 万 円	%
	その他の麦	億 万		億 万 円	%
	とうもろこし	億 万		億 万 円	%
	大豆	億 万		億 万 円	%
	飼料用米	億 万		億 万 円	%
	その他の穀類	億 万		億 万 円	%
ぬか・ふすま類	ふすま	億 万		億 万 円	%
	米・麦ぬか	億 万		億 万 円	%
	その他のぬか・ふすま類	億 万		億 万 円	%
植物性かす類	大豆油かす	億 万		億 万 円	%
	ビートパルプ	億 万		億 万 円	%
	その他の植物性かす類	億 万		億 万 円	%
配合飼料		億 万		億 万 円	%
TMR(粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)		億 万		億 万 円	%
牛乳脱脂乳		億 万		億 万 円	%
いも類及び野菜類		億 万		億 万 円	%
わら類	稲わら	億 万		億 万 円	%
	その他のわら類(麦わら等)	億 万		億 万 円	%
生牧草		億 万		億 万 円	%
乾牧草	ヘイキューブ	億 万		億 万 円	%
	その他の乾牧草	億 万		億 万 円	%
サイレージ	いね科(稲発酵粗飼料を除く。)	億 万		億 万 円	%
	稲発酵粗飼料	億 万		億 万 円	%
	その他のサイレージ	億 万		億 万 円	%
上記以外の購入飼料				億 万 円	%

8



【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

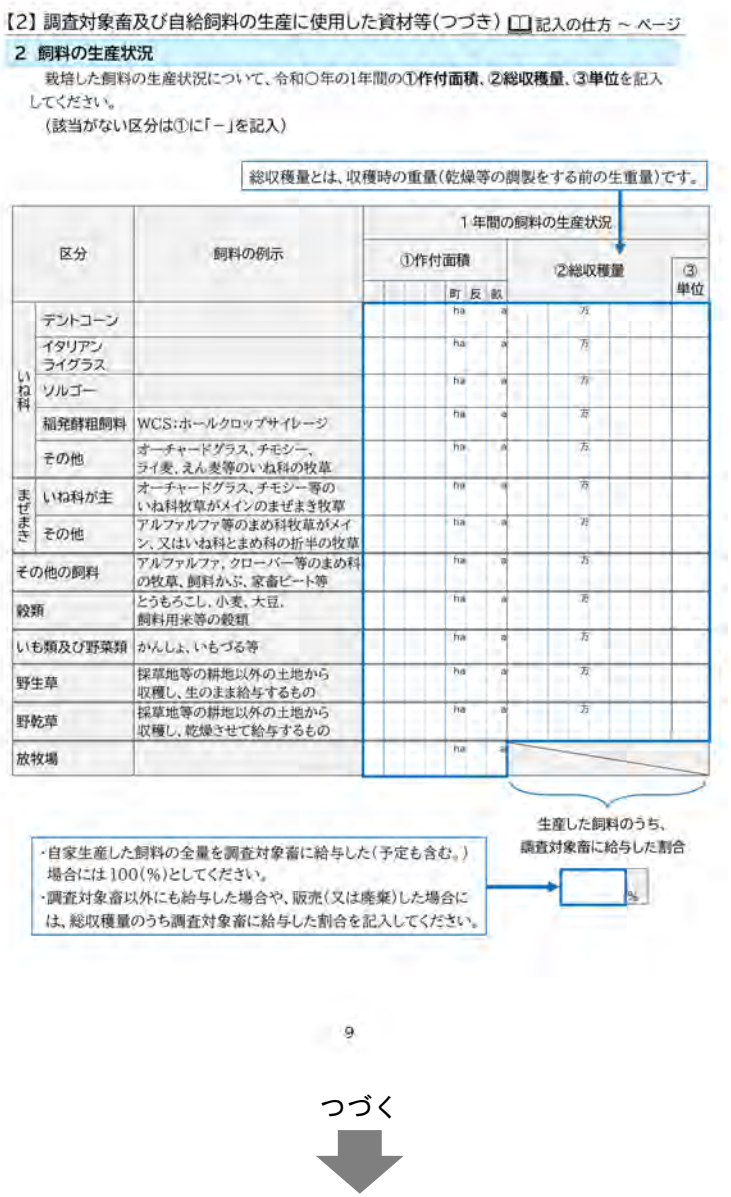
1 購入飼料

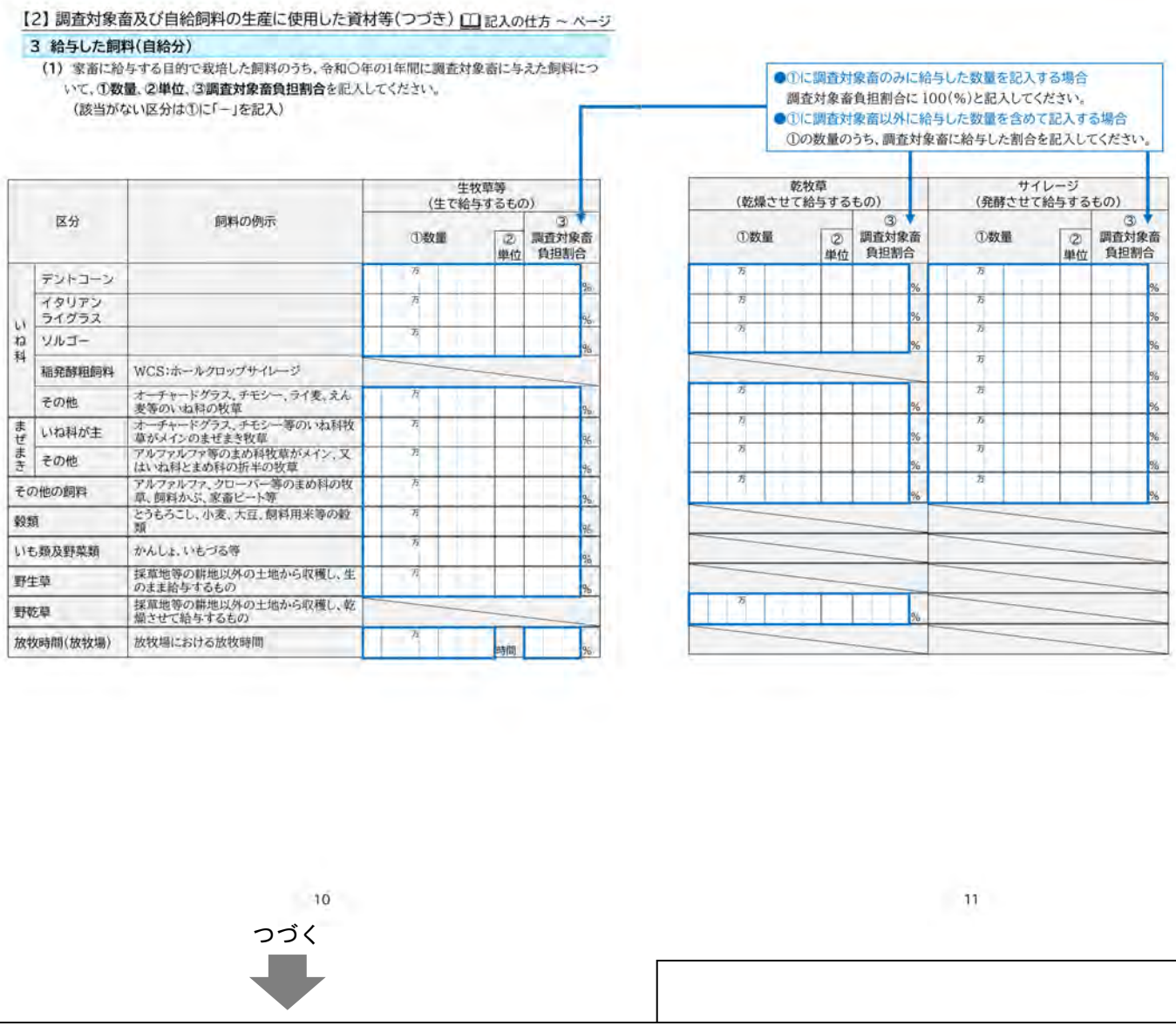
1年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
(自給飼料は、6ページに記入してください。)

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

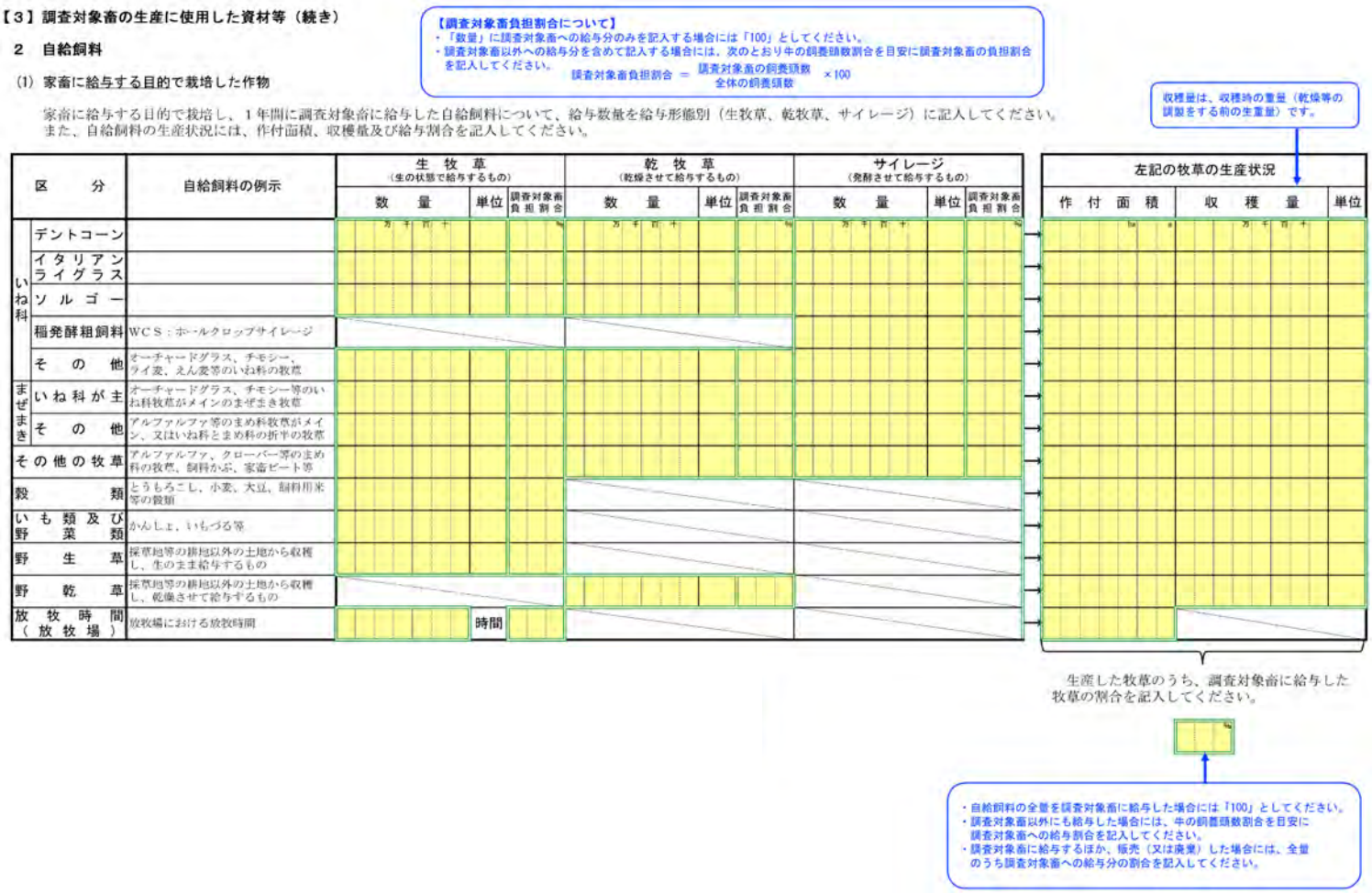
調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

区分		数量	単位	金額(円)	調査対象畜負担割合
穀類	大麦	万 千 百 十		万 千 百 十	%
	その他の麦				
	とうもろこし				
	大豆				
	飼料用米				
	その他の穀類				
ぬか・ふすま類	ふすま				
	米・麦ぬか				
	その他のぬか・ふすま類				
植物性かす類	大豆油かす				
	ビートパルプ				
	その他の植物性かす類				
配合飼料					
TMR(粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)					
牛乳脱脂乳					
いも類及び野菜類					
わら類	稲わら				
	その他のわら類(麦わら等)				
生牧草					
乾牧草	ヘイキューブ				
	その他の乾牧草				
サイレージ	いね科(稲発酵粗飼料を除く。)				
	稲発酵粗飼料				
	その他のサイレージ				
上記以外の購入飼料					

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ（変更前６ページと対比） 		報告者が記入しやすいよう、飼料の生産状況に関する設問を分離 記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記（以下同じ）

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10～11ページ（変更前６ページと対比） 		同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	６ページ	同上



【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

２　自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、１年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。
また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

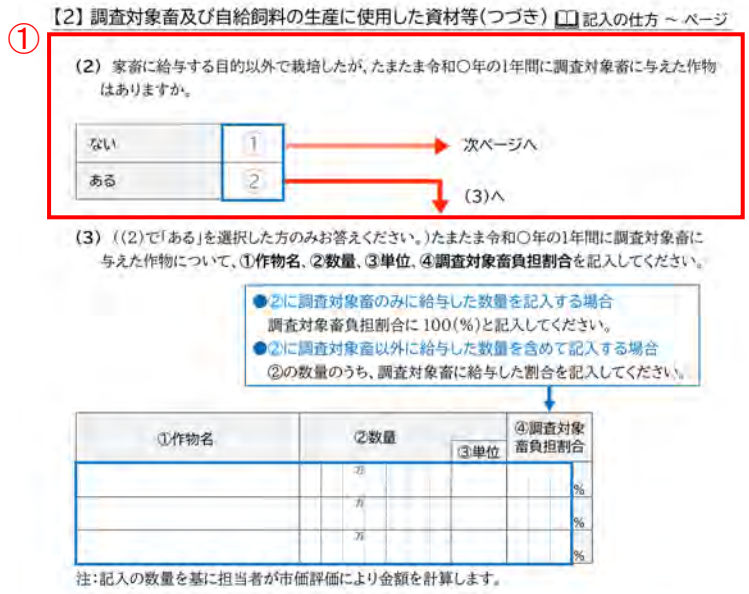
【調査対象畜負担割合について】
・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。
調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

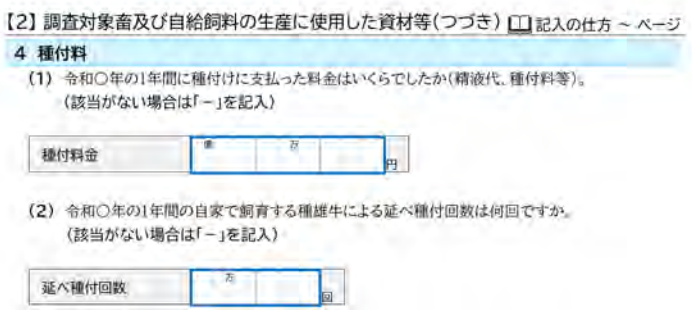
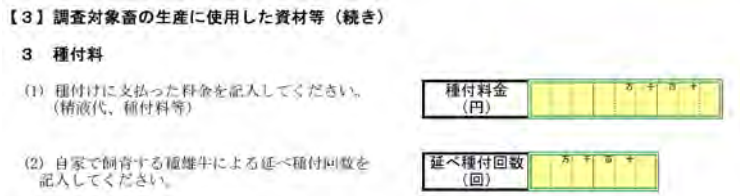
収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

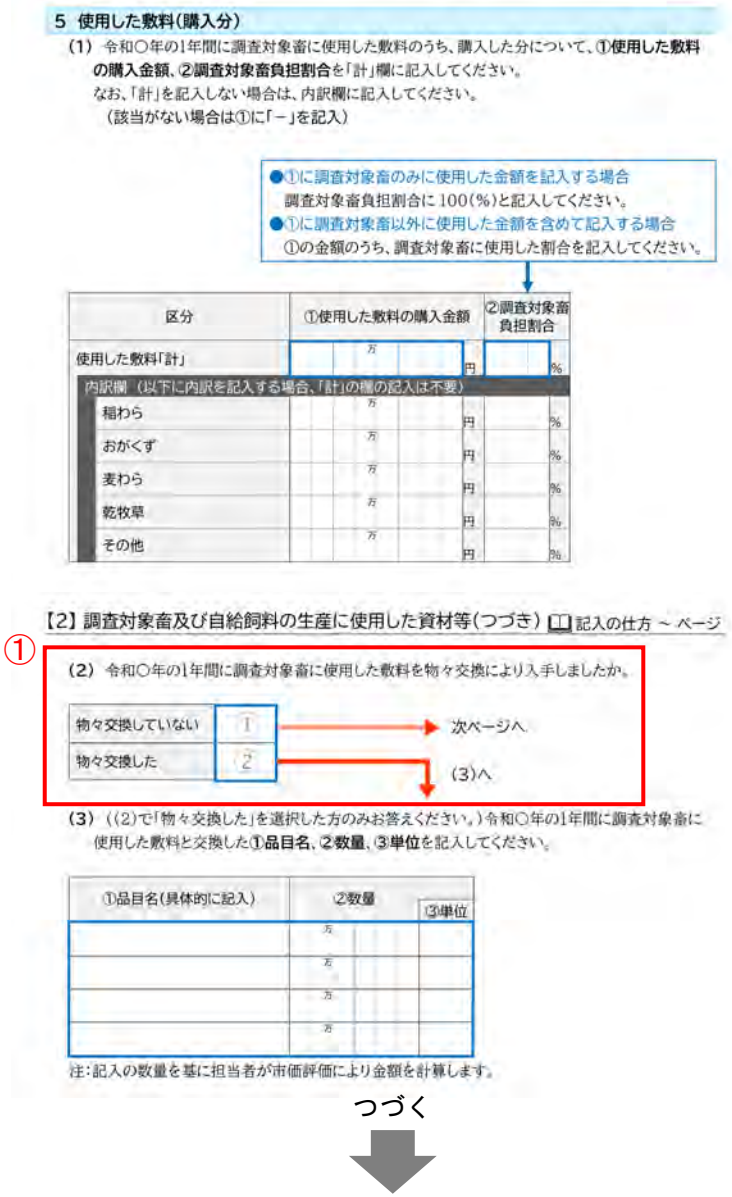
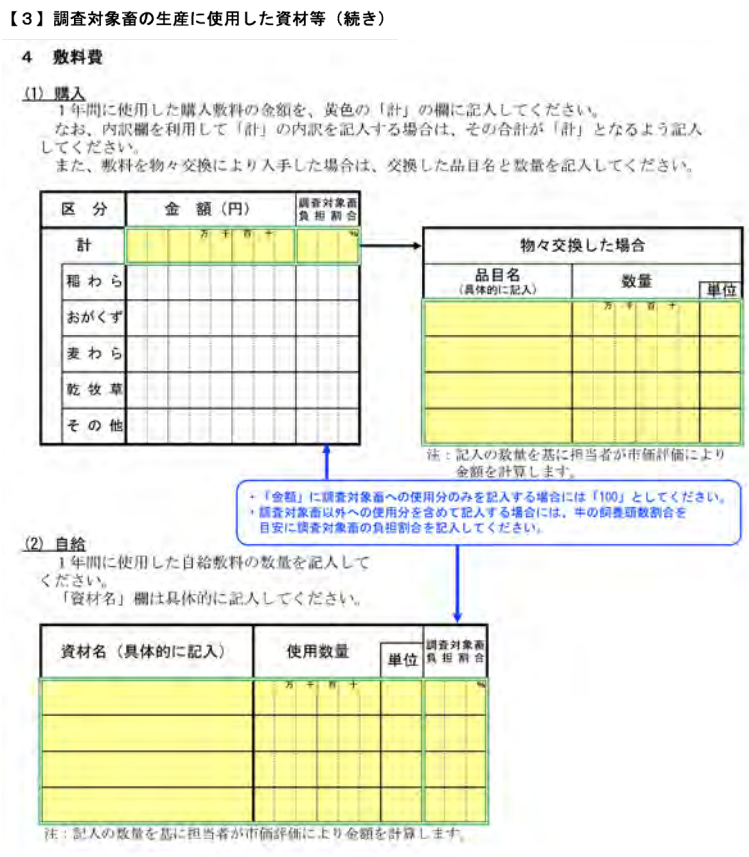
区分		自給飼料の例示	生牧草（生の状態で給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	乾牧草（乾燥させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	サイレージ（発酵させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	左記の牧草の生産状況 作付面積	収穫量	単位
いね科	デントコーン													
	イタリアンライグラス													
	ソルゴー													
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ												
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草												
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草												
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草												
その他の牧草		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等												
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類												
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等												
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの												
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの												
放牧時間（放牧場）		放牧場における放牧時間		時間										

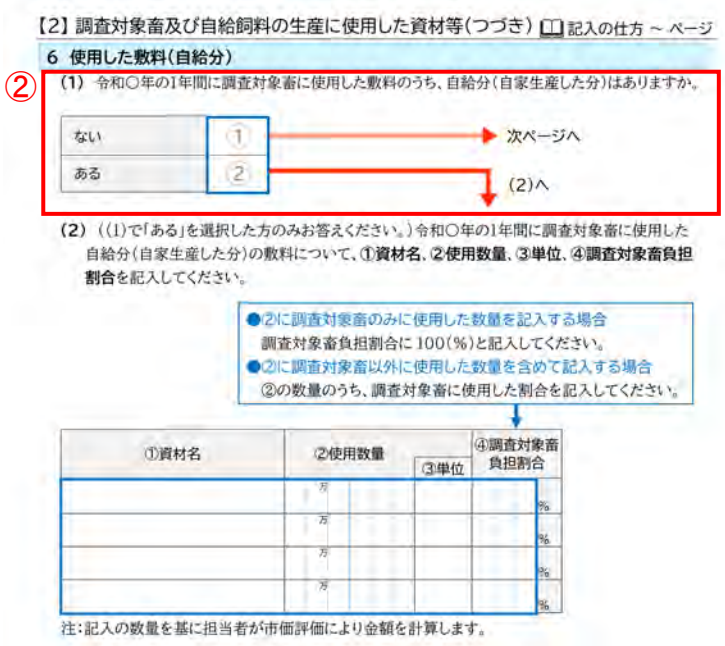
生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

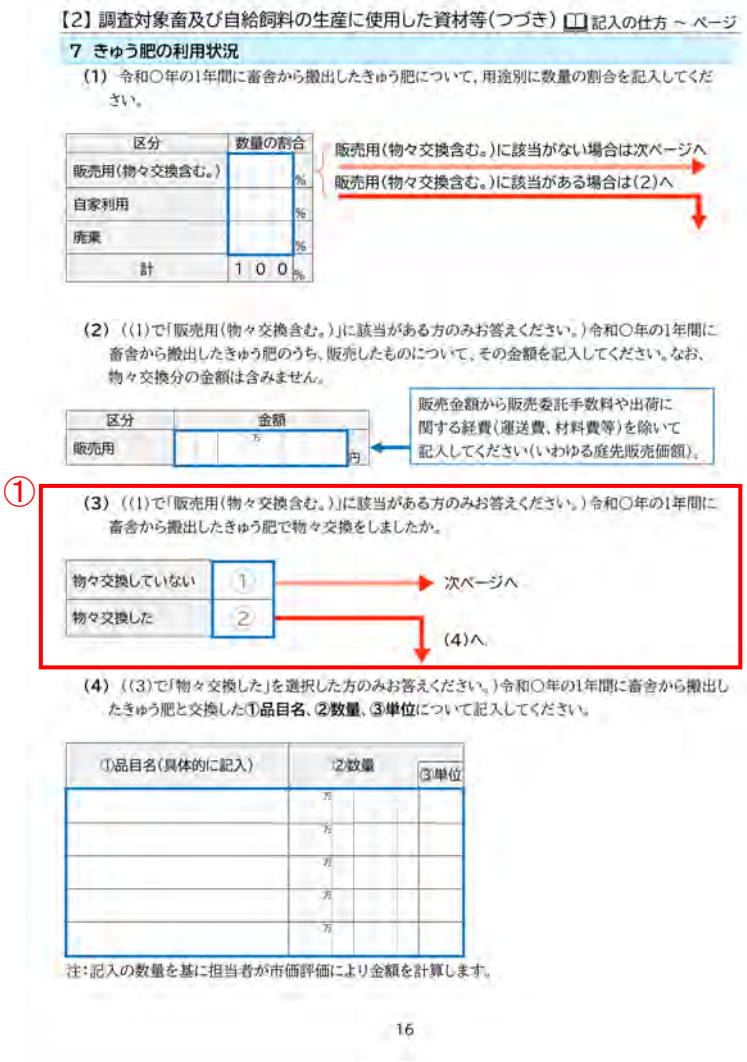
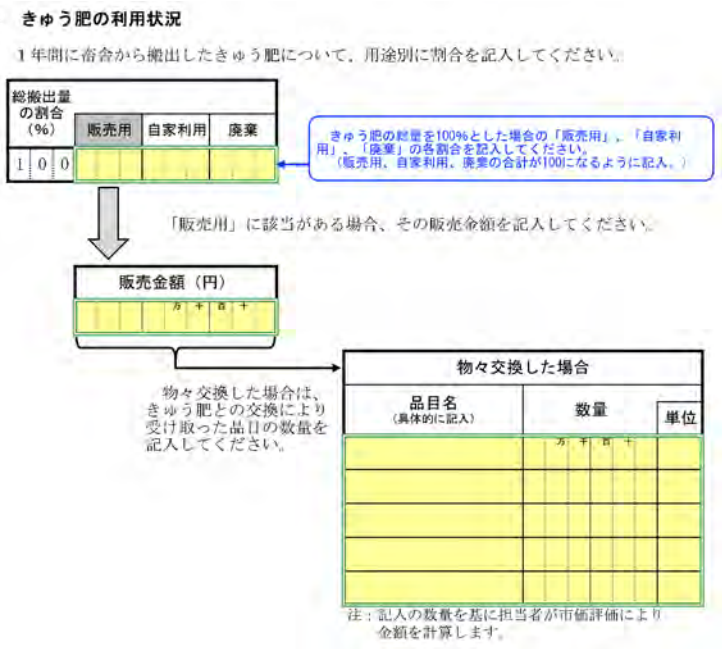
・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

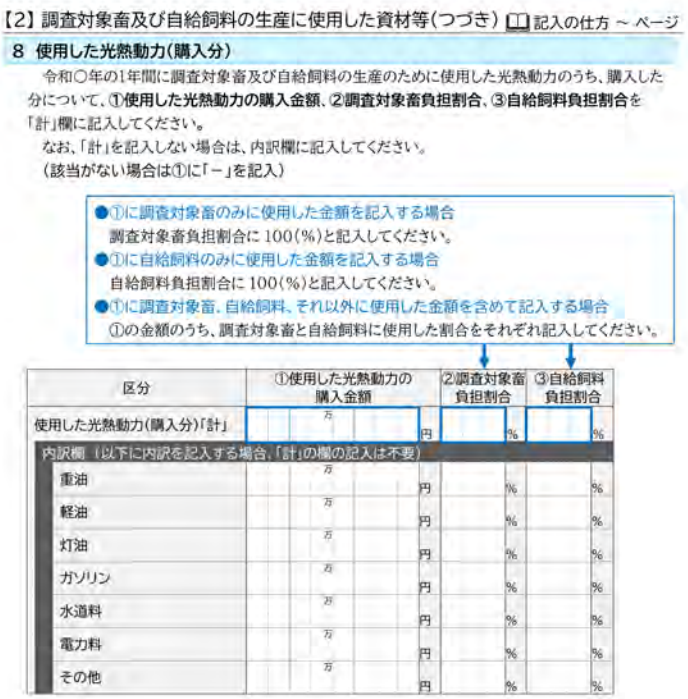
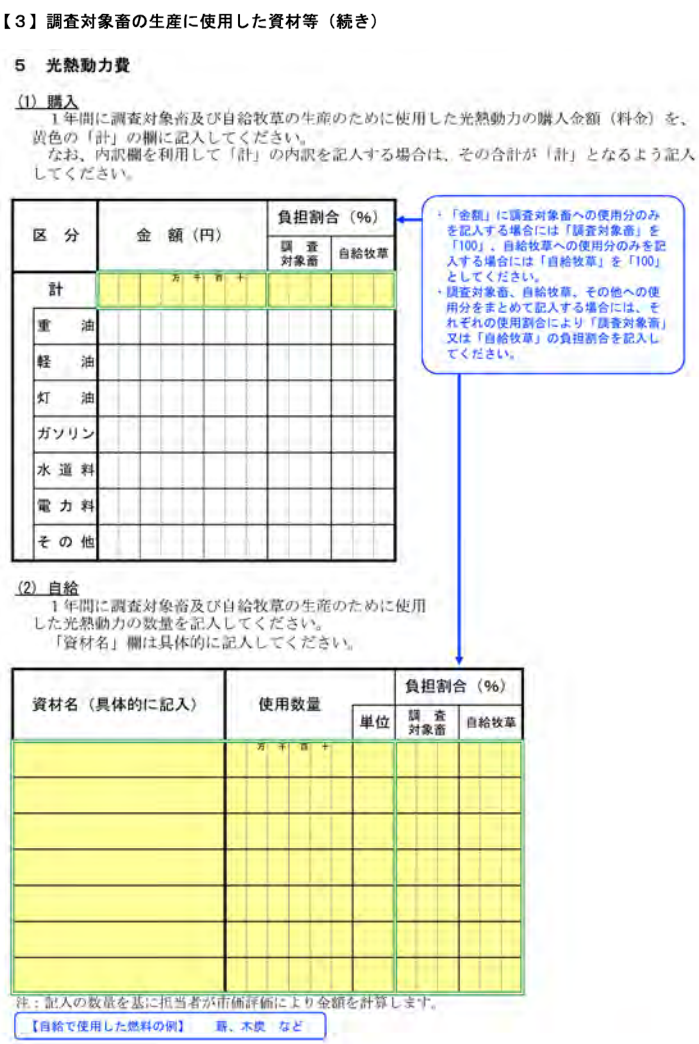
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ 	6ページ 	「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例については、調査票の記入の仕方に記載することから削除 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、家畜に給与する目的以外で栽培した作物の有無を確認する設問を追加

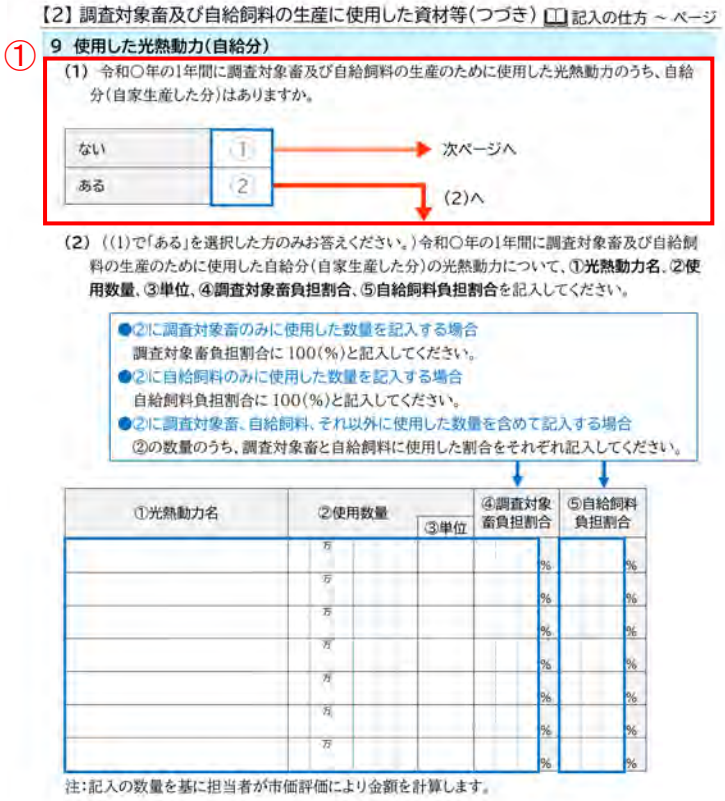
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ 4 種付料 (1) 令和〇年の1年間に種付けに支払った料金はいくらでしたか(精液代、種付料等)。 (該当がない場合は「－」を記入) 種付料金 円 (2) 令和〇年の1年間の自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数は何回ですか。 (該当がない場合は「－」を記入) 延べ種付回数 回	7ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き） 3 種付料 (1) 種付けに支払った料金を記入してください。 (精液代、種付料等) 種付料金 (円) (2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。 延べ種付回数 (回)	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13～14ページ  	7ページ  	報告者の未記入防止のため、敷料費の購入分のうち物々交換した場合の数量について、回答欄への誘導表記ではなく、個別設問に変更 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した敷料(購入分)について物々交換の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ（変更前７ページと対比）  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ ページ 6 使用した敷料（自給分） ② (1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。 ない ① → 次ページへ ある ② → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した自給分（自家生産した分）の敷料について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。 ●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合 ②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。 ①資材名 / ②使用数量 / ③単位 / ④調査対象畜負担割合 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 15		②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した敷料について自家生産の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ 7 きゅう肥の利用状況 (1) 令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に数量の割合を記入してください。 区分 / 数量の割合 販売用(物々交換含む。) % 自家利用 % 廃棄 % 計 100 % 販売用(物々交換含む。)に該当がない場合は次ページへ 販売用(物々交換含む。)に該当がある場合は(2)へ (2) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥のうち、販売したものについて、その金額を記入してください。なお、物々交換分の金額は含みません。 区分 / 金額 販売用 万 千 百 十 円 販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、材料費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。 ① (3) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥で物々交換をしましたか。 物々交換していない 1 → 次ページへ 物々交換した 2 → (4)へ (4) ((3)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥と交換した①品目名、②数量、③単位について記入してください。 ①品目名(具体的に記入) / ②数量 / ③単位 注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 16	5ページ  【2】調査対象畜の取引状況（続き） 4 きゅう肥の利用状況 1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。 総搬出量の割合(%) / 販売用 / 自家利用 / 廃棄 100 きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。(販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。) 「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。 販売金額（円） 万 千 百 十 物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。 物々交換した場合 品目名(具体的に記入) / 数量 / 単位 万 千 百 十 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者の未記入防止のため、きゅう肥の利用状況のうち販売金額について、回答欄への誘導表記ではなく、個別設問に変更 回答欄の変更により、用途別の割合に関する補足説明(青枠)を削除 報告者に記入方法を分かりやすく伝えるため、販売価額に関する注意書き(青枠)を追加 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、きゅう肥の物々交換の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ページ 8 使用した光熱動力(購入分) 令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用した光熱動力の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合 自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合 ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。 区分 / ①使用した光熱動力の購入金額 / ②調査対象畜負担割合 / ③自給飼料負担割合 使用した光熱動力(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要) 重油 軽油 灯油 ガソリン 水道料 電力料 その他 17 つづく	7ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き） 5　光熱動力費 (1) 購入 1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 区分 / 金額（円） / 負担割合（%） 調査対象畜 / 自給牧草 計 重油 軽油 灯油 ガソリン 水道料 電力料 その他 ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。 ・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。 (2) 自給 1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。 「資材名」欄は具体的に記入してください。 資材名（具体的に記入） / 使用数量 / 単位 / 負担割合（%） 調査対象畜 / 自給牧草 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など	「自給で使用した燃料の例」については、調査票の記入の仕方に記載することから削除

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ（変更前７ページと対比）  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ページ ① 9 使用した光熱動力(自給分) (1) 令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない ① → 次ページへ ある ② → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の光熱動力について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。 ●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合 自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合 ②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。 ①光熱動力名 / ②使用数量 / ③単位 / ④調査対象畜負担割合 / ⑤自給飼料負担割合 注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 18		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力について自家生産の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由

19～20ページ

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ

10 獣医師料及び医薬品費

令和〇年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
獣医師料及び医薬品費「計」	万 円	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
獣医師料	万 円	%	獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金	万 円	%	家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医薬品費	万 円	%	牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等	万 円	%	上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤　等

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ

11 賃借料及び料金

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を、「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」	万 円	%	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
共同負担金	万 円	%	%	共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	万 円	%	%	農機具のリース代
その他	万 円	%	%	削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金 等

8ページ

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

6 獣医師料及び医薬品費

1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計	万 千 百 十	%	
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

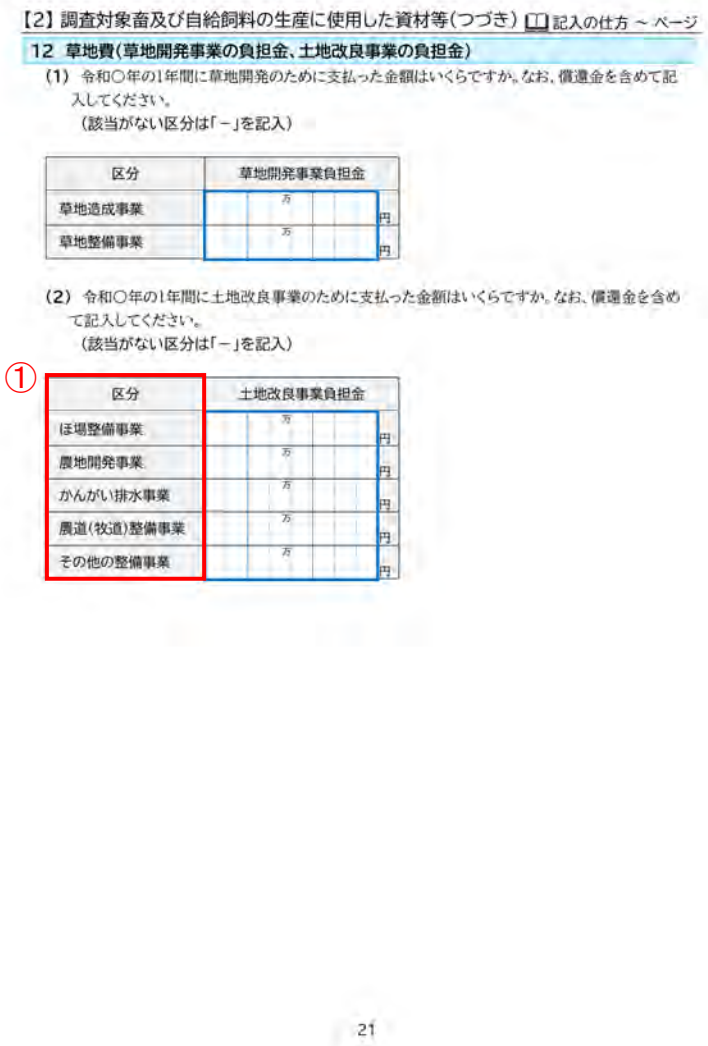
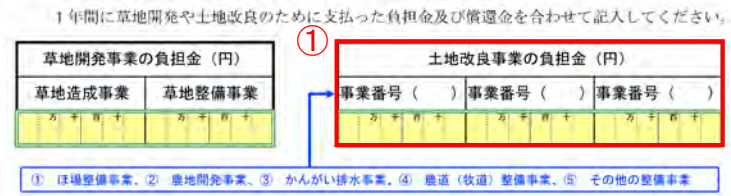
・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

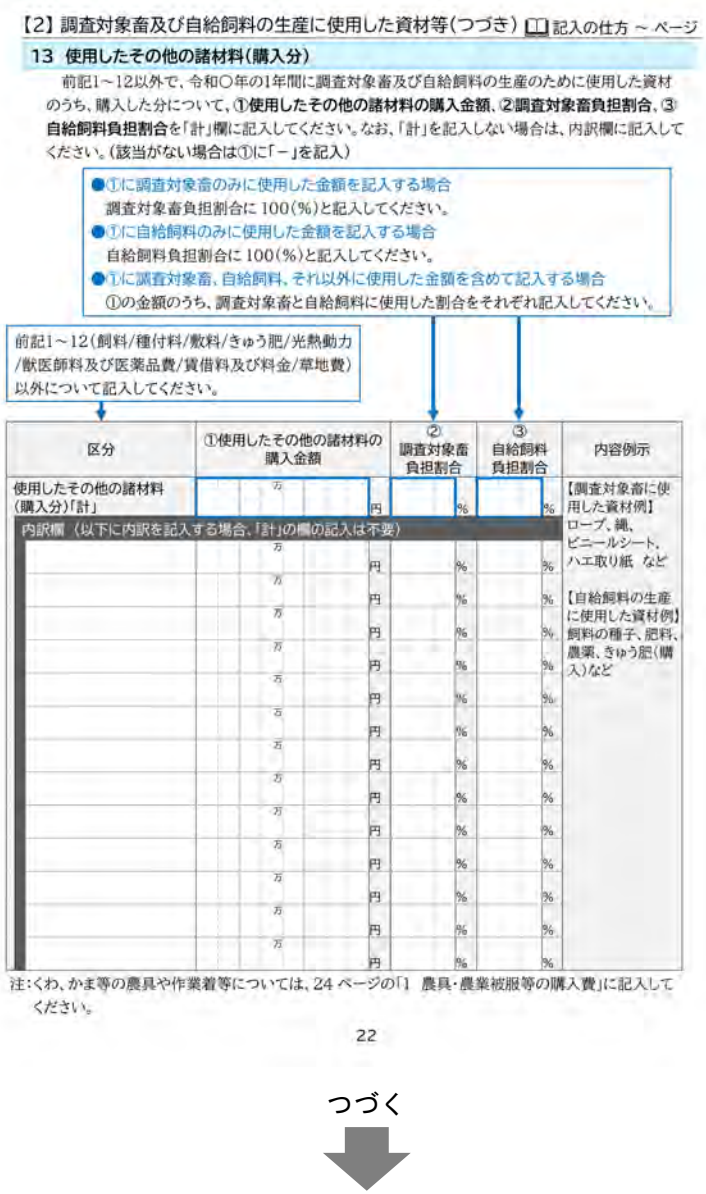
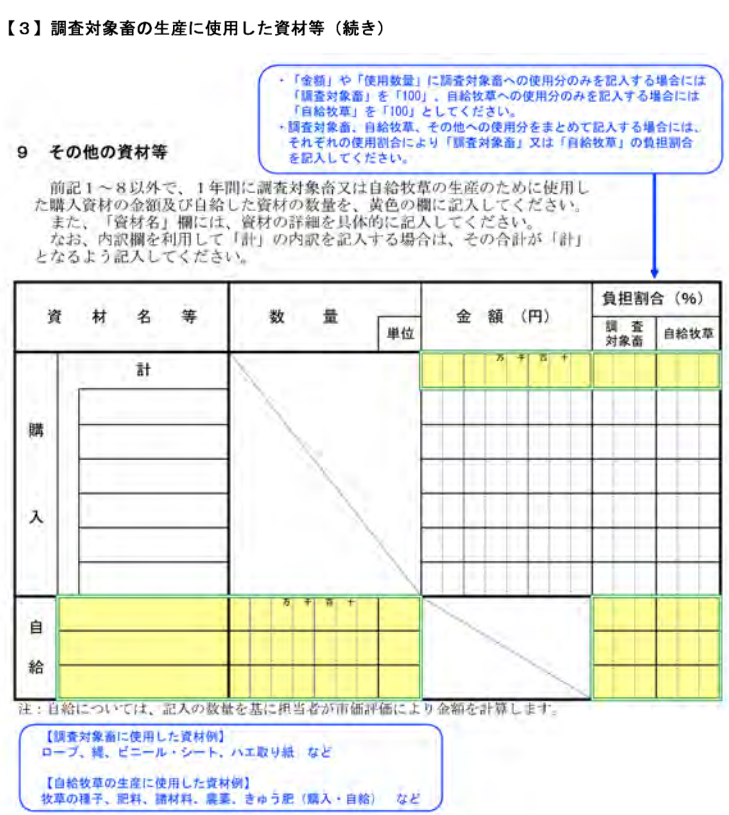
7 賃借料及び料金

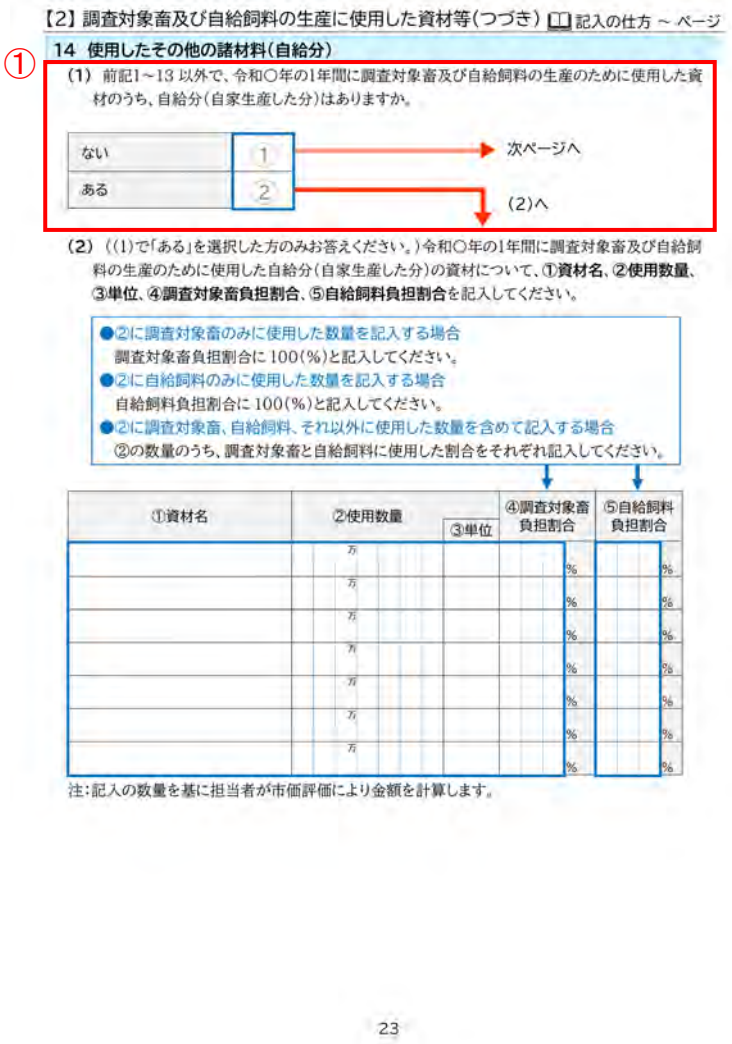
1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円）	負担割合（%）		賃借料及び料金の例示
		調査対象畜	自給牧草	
計	万 千 百 十	%	%	
共同負担金				共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料				農機具のリース代
その他				削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金　等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」。自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ページ 12 草地費(草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金) (1) 令和○年の1年間に草地開発のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。 (該当がない区分は「－」を記入) 区分 / 草地開発事業負担金 草地造成事業 / 草地整備事業 (2) 令和○年の1年間に土地改良事業のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。 (該当がない区分は「－」を記入) ① 区分 / 土地改良事業負担金 ほ場整備事業 農地開発事業 かんがい排水事業 農道(牧道)整備事業 その他の整備事業 21	8ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き） 8 草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金） 1年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。 草地開発事業の負担金（円） 草地造成事業 / 草地整備事業 ① 土地改良事業の負担金（円） 事業番号（　）/ 事業番号（　）/ 事業番号（　） ① ほ場整備事業、② 農地開発事業、③ かんがい排水事業、④ 農道（牧道）整備事業、⑤ その他の整備事業	報告者が記入しやすいよう、草地開発事業の負担金と土地改良事業の負担金の設問を分離 ①土地改良事業の負担金について、報告者の記入負担軽減を図るため、事業番号の選択欄を削除し、事業を選択する形式からあらかじめ回答欄に記載された事業区分について回答する形式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22ページ 	8ページ 	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ（変更前８ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用したその他の諸材料について自家生産の有無を確認する設問を追加

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ページ

①

14 使用したその他の諸材料（自給分）

(1) 前記1～13以外で、令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。

ない	1	→ 次ページへ
ある	2	→ (2)へ

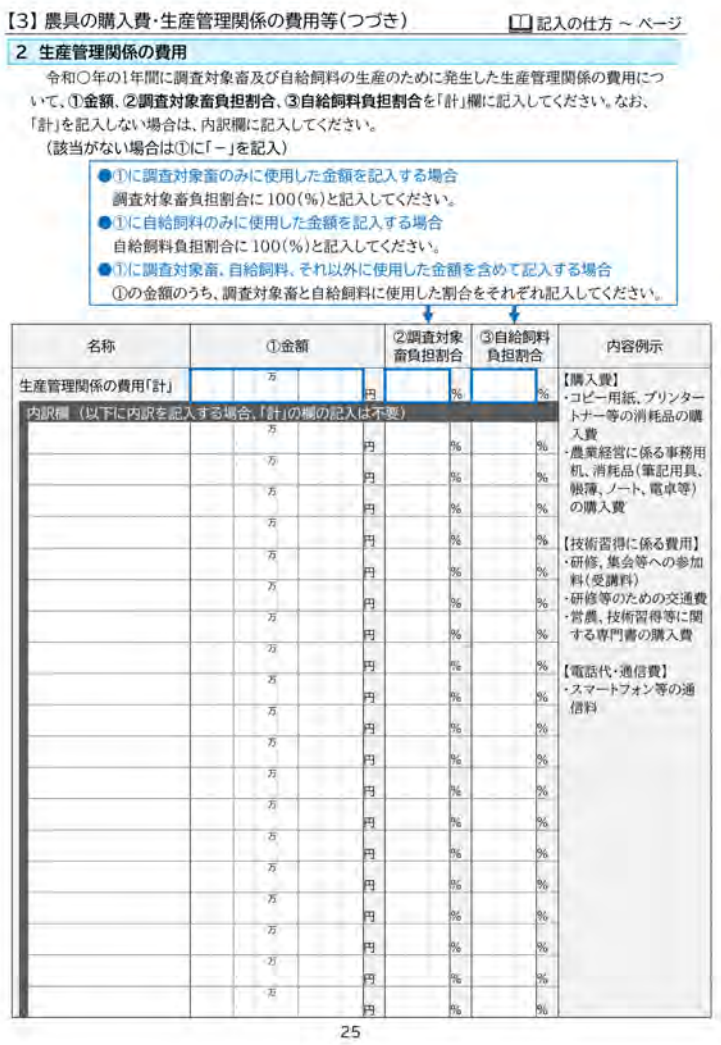
(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分（自家生産した分）の資材について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。

- ●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
  調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
  自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
  ②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合	⑤自給飼料負担割合
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

23

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24～25ページ（変更前13ページと対比）  		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	13ページ	同上

【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等

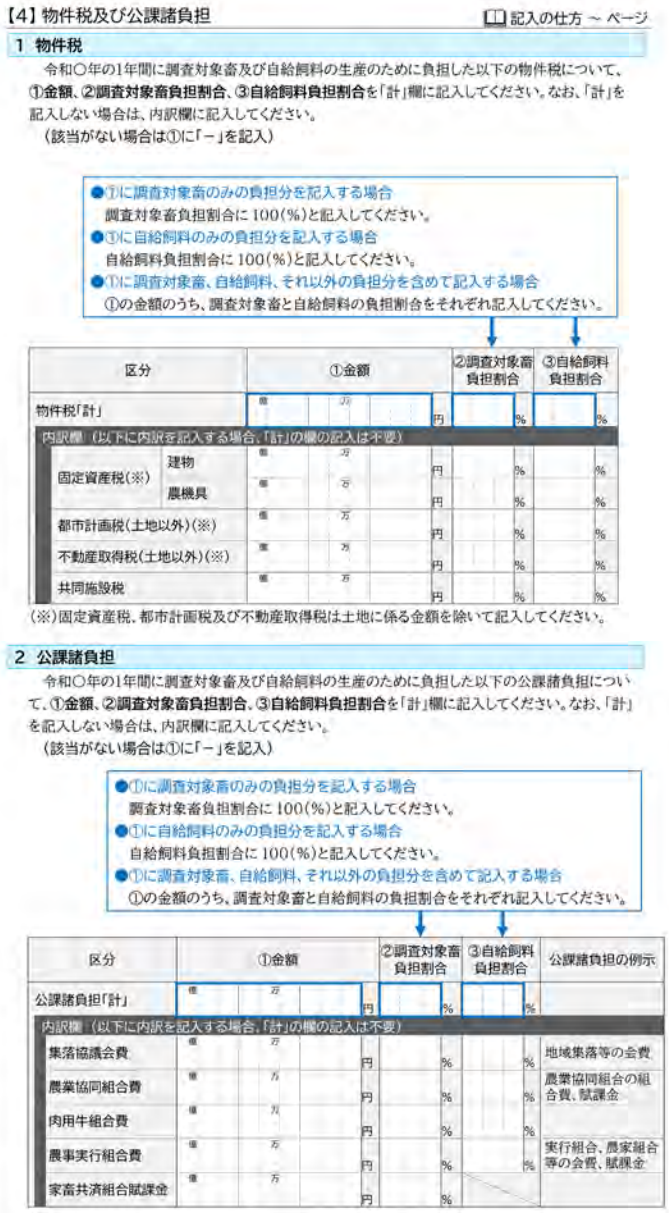
1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
農具・農業被服等の購入費	（計）				【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
生産管理関係の費用	（計）				【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ	9ページ	



【4】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ ページ

1 物件税

令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の物件税について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分		①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
物件税「計」		億 万 円	%	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
固定資産税(※)	建物	億 万 円	%	%
	農機具	億 万 円	%	%
都市計画税(土地以外)(※)		億 万 円	%	%
不動産取得税(土地以外)(※)		億 万 円	%	%
共同施設税		億 万 円	%	%

(※)固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の公課諸負担について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分	①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	公課諸負担の例示
公課諸負担「計」	億 万 円	%	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
集落協議会費	億 万 円	%	%	地域集落等の会費
農業協同組合費	億 万 円	%	%	農業協同組合の組合費、賦課金
肉用牛組合費	億 万 円	%	%	
農事実行組合費	億 万 円	%	%	実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金	億 万 円	%		

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分		金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計		万 千 百 千		
固定資産税	建物			
	農機具			
都市計画税（土地以外）				
不動産取得税（土地以外）				
共同施設税				

注；　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜又は自給牧草への使用面積割合を記入してください。

○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜又は自給牧草への使用日数割合を記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。

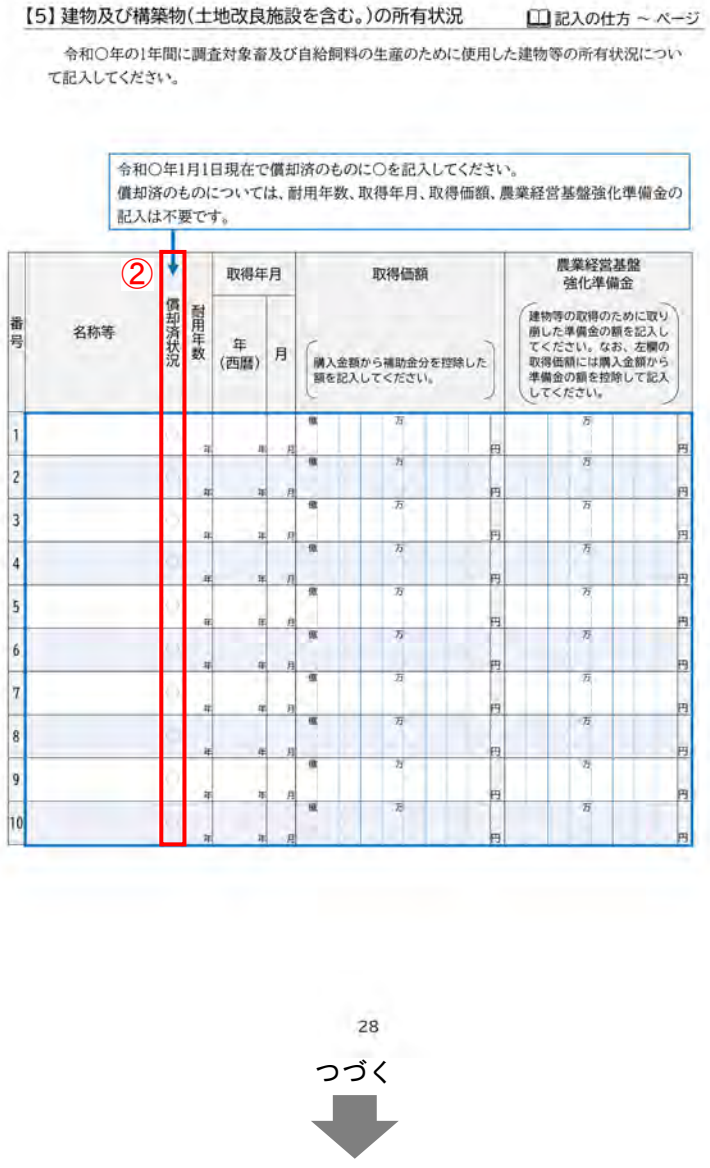
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	公課諸負担の例示
計	万 千 百 千			
集落協議会費				地域集落等の会費
農業協同組合費				農業協同組合の組合費、賦課金
肉用牛組合費				
農事実行組合費				実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金				

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。

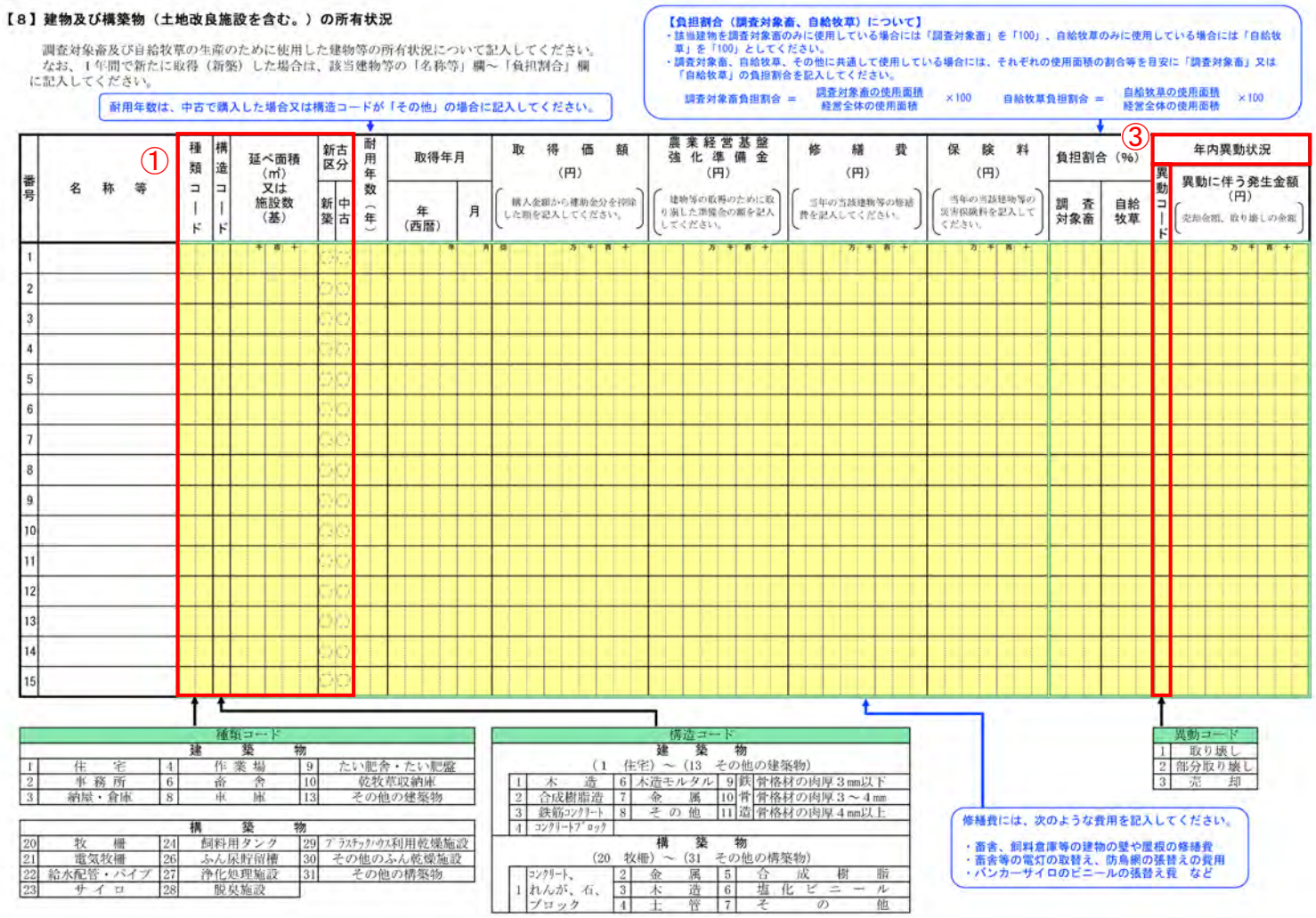
○集落協議会費、農業協同組合費、肉用牛組合費及び農事実行組合費の場合は、**農業収入に占める調査対象畜の収入割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。
○家畜共済組合賦課金の場合は、**飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合**を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前10ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加





変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上



【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100

番号	名称等	① 種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（円）（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（円）（当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	③ 負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	異動に伴う発生金額（円）（売却金額、取り壊しの金額）
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード

建築物					
1	住宅	4	作業場	9	たい肥舎・たい肥盛
2	事務所	6	畜舎	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	8	車庫	13	その他の建築物

構築物					
20	牧柵	24	飼料用タンク	29	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊｳｽ利用乾燥施設
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設	31	その他の構築物
23	サイロ	28	脱臭施設		

構造コード

建築物
（1 住宅）～（13 その他の建築物）

1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚３mm以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	骨格材の肉厚３～４mm
3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	8	その他	11	造骨格材の肉厚４mm以上
4	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ				

構築物
（20 牧柵）～（31 その他の構築物）

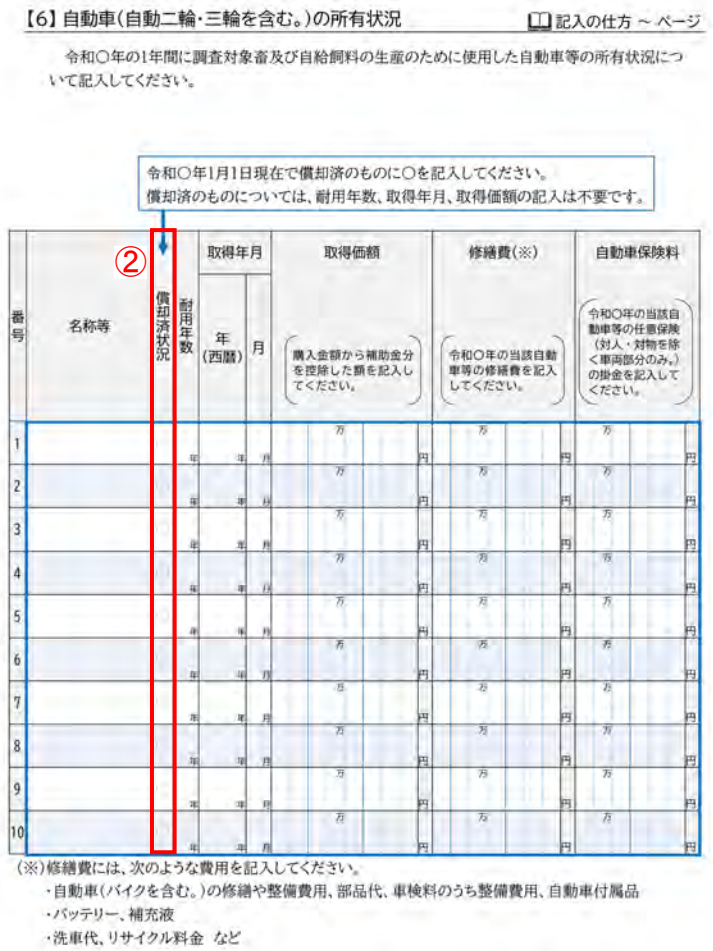
1	ｺﾝｸﾘｰﾄ、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
・パンカーサイロのビニールの張替え費　など

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前11ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



【6】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

② 償却済状況

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費(※)（令和〇年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）	自動車保険料（令和〇年の当該自動車等の任意保険（対人・対物を除く車両部分のみ。）の掛金を記入してください。）
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

30

つづく

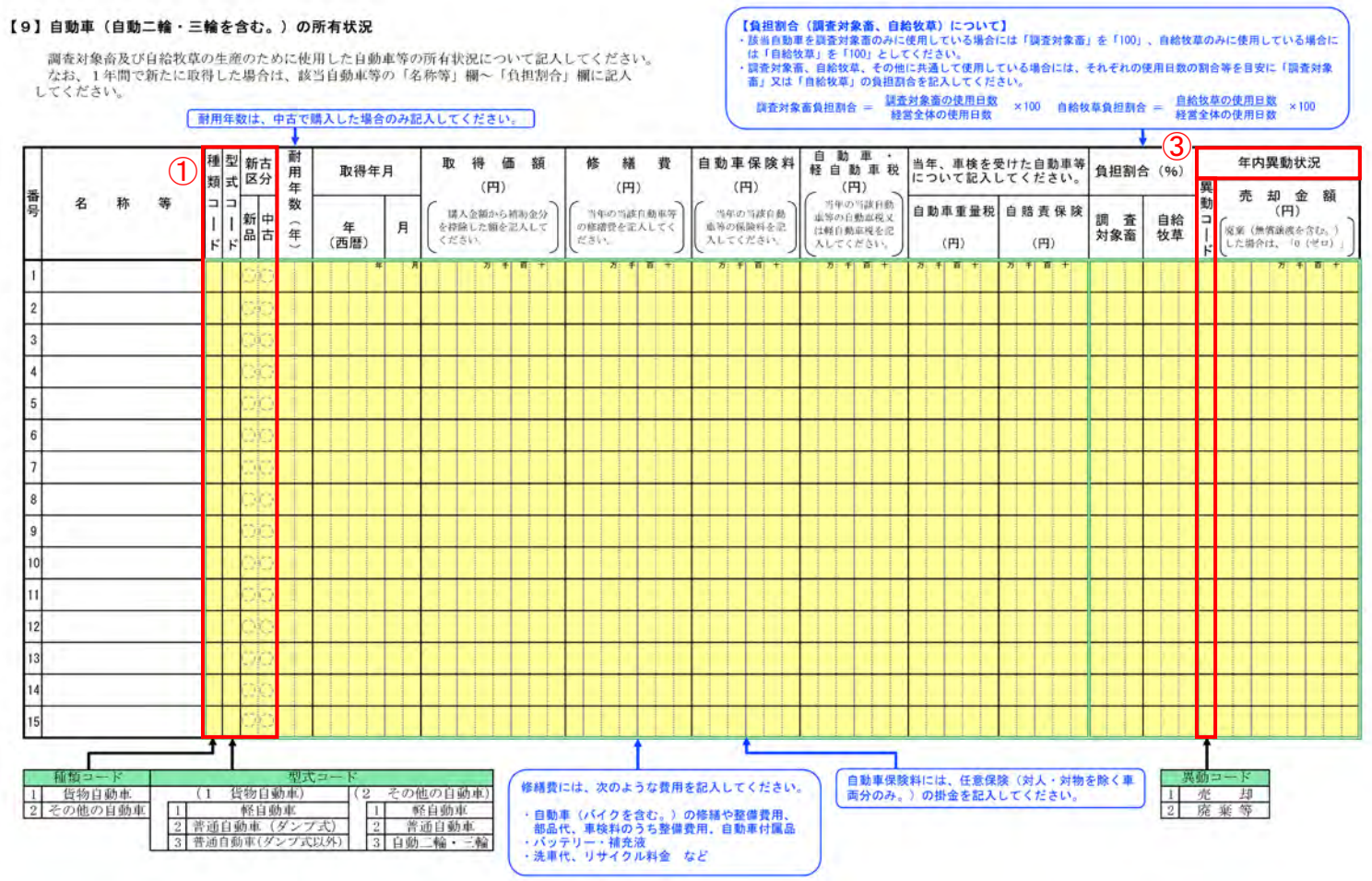


●当該自動車等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該自動車等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●当該自動車等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

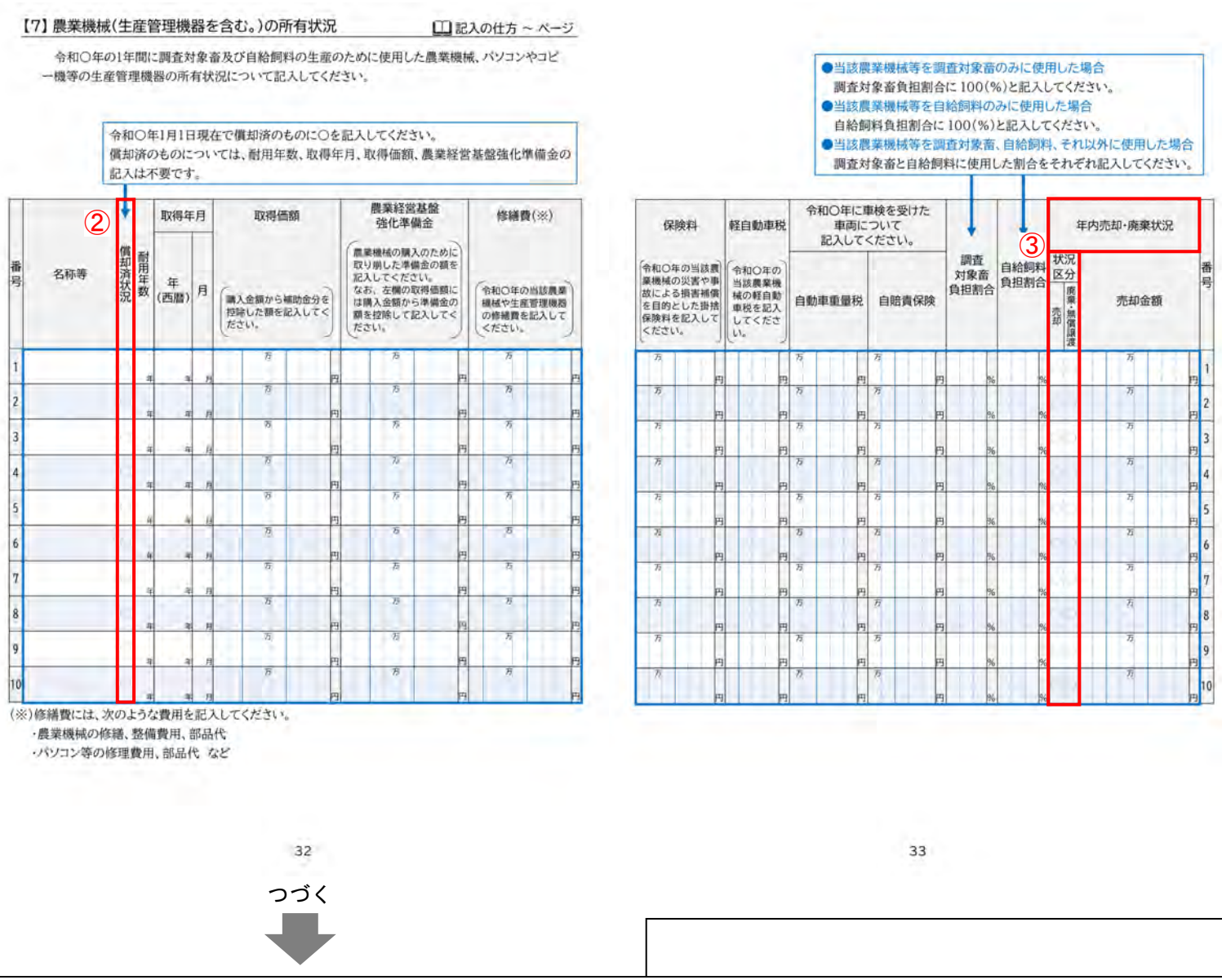
③

自動車・軽自動車税（令和〇年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税	自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分（売却／廃棄・無償譲渡）	売却金額	番号
							1
							2
							3
							4
							5
							6
							7
							8
							9
							10

31

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ（変更前12ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



【7】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況　記入の仕方 ～ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

②

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。）	修繕費(※)（令和〇年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。）
1			年	年	月	万 円	万 円	万 円
2			年	年	月	万 円	万 円	万 円
3			年	年	月	万 円	万 円	万 円
4			年	年	月	万 円	万 円	万 円
5			年	年	月	万 円	万 円	万 円
6			年	年	月	万 円	万 円	万 円
7			年	年	月	万 円	万 円	万 円
8			年	年	月	万 円	万 円	万 円
9			年	年	月	万 円	万 円	万 円
10			年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

32

つづく

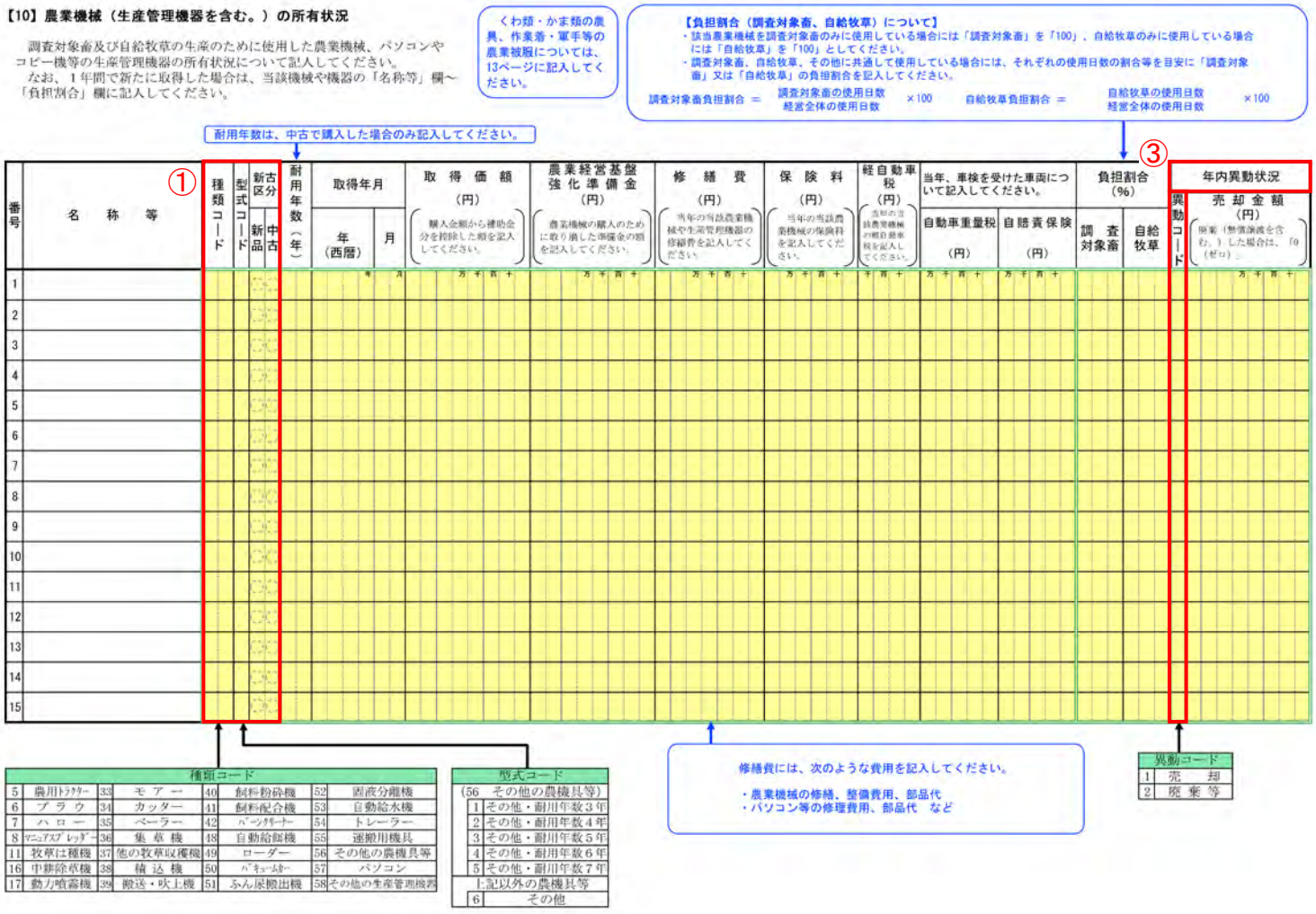
●当該農業機械等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

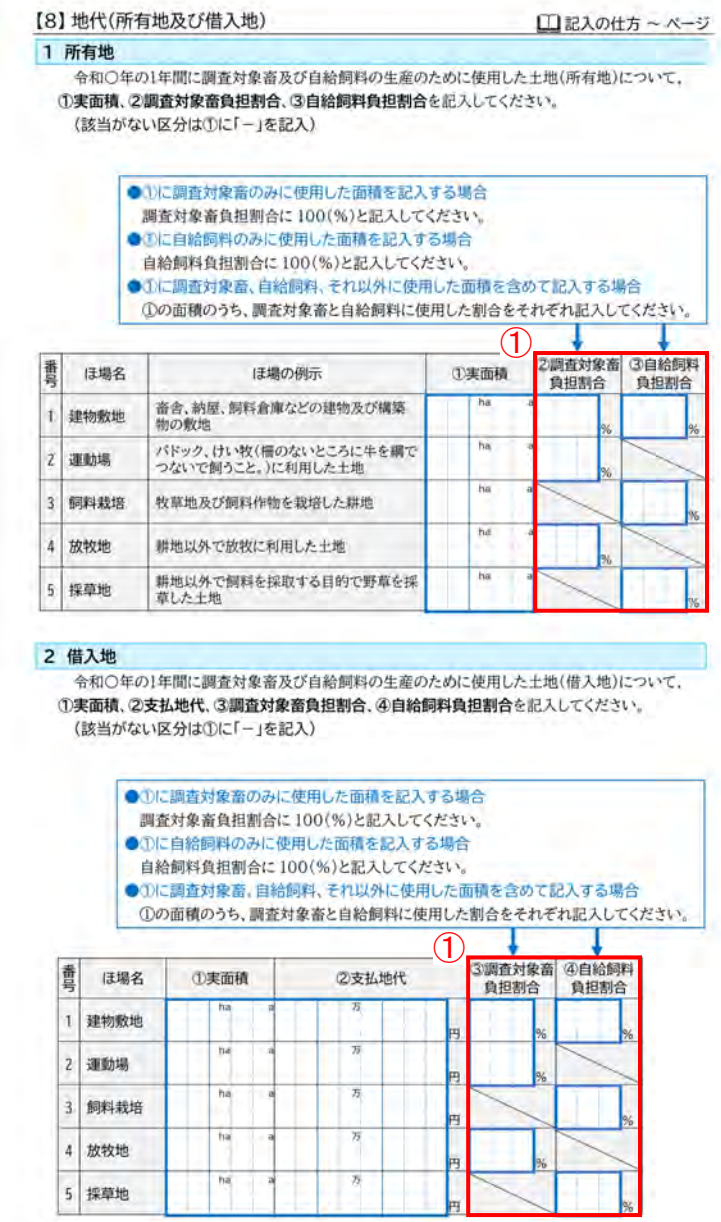
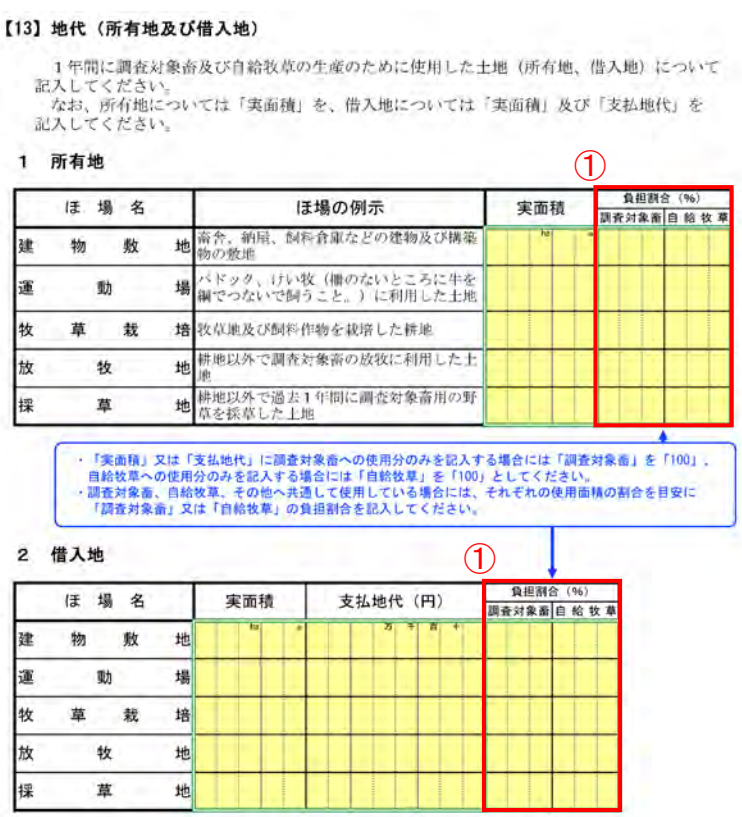
③

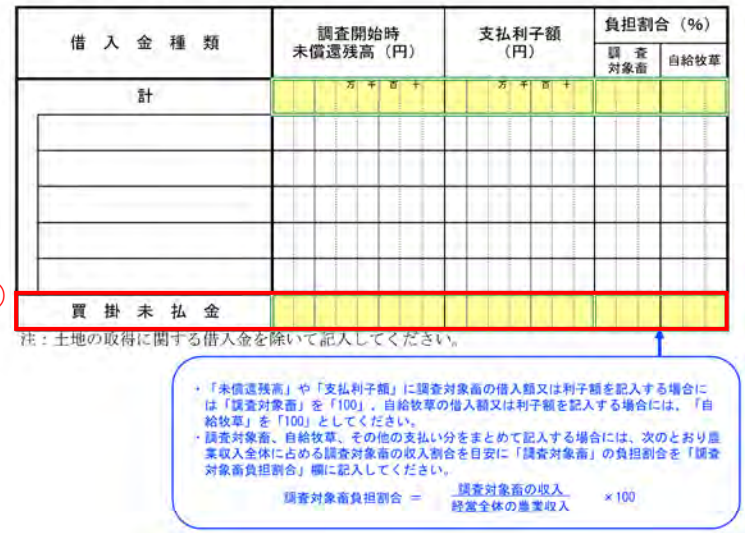
保険料（令和〇年の当該農業機械の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。）	軽自動車税（令和〇年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。）	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	年内売却・廃棄状況 状況区分 廃棄・無償譲渡	年内売却・廃棄状況 売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	1
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	2
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	3
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	4
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	5
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	6
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	7
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	8
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	9
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	10

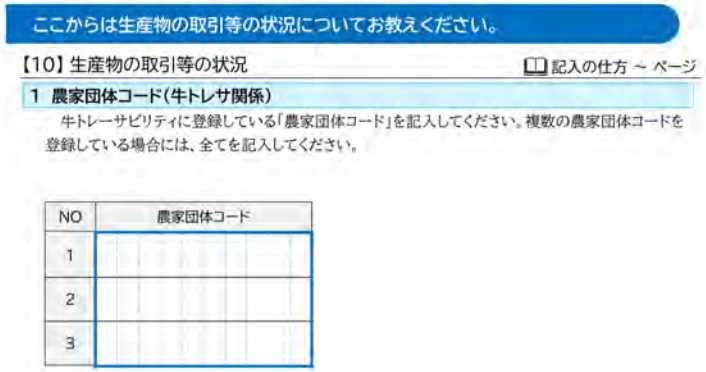
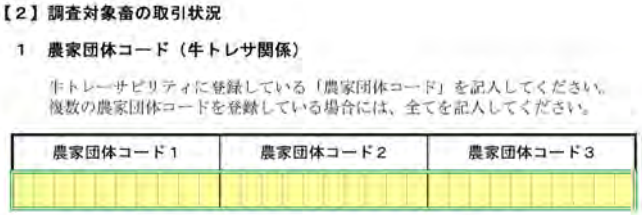
33

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	12ページ	①同上 ③同上



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34～35ページ 	14ページ 	所有地及び借入地の設問について、報告者が分かりやすいよう設問文をそれぞれの設問に追加 ①回答欄のうち、負担割合の記載が不要な項目に斜線を付与し、回答対象外に指定

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  【9】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　　記入の仕方 ～ページ 調査対象畜及び自給飼料の生産のための借入金について、**①令和○年1月1日時点の未償還残高、②令和○年の支払利子額、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない区分は「－」を記入） 土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。 ●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合 自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合 ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。 資金名(用途)／①令和○年1月1日時点の未償還残高／②令和○年の支払利子額／③調査対象畜負担割合／④自給飼料負担割合 「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要） 借入金 ① 買掛未払金 36	9ページ  【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（1月1日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。 また、1年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 借入金種類／調査開始時未償還残高（円）／支払利子額（円）／負担割合（%）：調査対象畜／自給牧草 計 ① 買掛未払金 注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。 ・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。 調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の収入 / 経営全体の農業収入 ×100	①借入金及び支払利子について、報告者の記入負担軽減を図るため、「計」のみを把握するよう変更 なお、回答が必須であった買掛未払金については、必要に応じて記入する扱いに変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
37ページ  ここからは生産物の取引等の状況についてお教えください。 【10】生産物の取引等の状況　記入の仕方 ～ ページ 1 農家団体コード(牛トレサ関係) 牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。 NO / 農家団体コード 1 2 3 37	4ページ  【2】調査対象畜の取引状況 1　農家団体コード（牛トレサ関係） 牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。 複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。 農家団体コード１ / 農家団体コード２ / 農家団体コード３	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38～39ページ（変更前４ページと対比） ①		①報告者の記入負担軽減や記入漏れを防ぐため、調査期間内に異動（生産、購入、売却、死亡）があった調査対象畜のみを記入する方式から、異動の有無を問わず飼養した調査対象畜を牛トレサデータから取得した情報であらかじめ印字し、追記する方式に変更。

【10】生産物の取引等の状況（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

2 調査対象畜の飼養状況

令和○年の1年間に飼養した調査対象畜の個体情報等について、個体識別番号ごとに記入してください。なお、牛トレサデータから取得した情報や前年の回答はあらかじめ印字しています。

番号	個体識別番号（10 桁の耳標番号）	名称（記入は任意）	種類	品種	性別 雄	性別 雌	生産年月 年（西暦）	生産年月 月	子牛のみ記入 母畜の個体識別番号（10 桁の耳標番号）	売却（地域の標準的な売却月齢に達した） 年（西暦）	売却 月	月齢	生体重
1							年 月			年 月	ヶ月		kg
2							年 月			年 月	ヶ月		kg
3							年 月			年 月	ヶ月		kg
4							年 月			年 月	ヶ月		kg
5							年 月			年 月	ヶ月		kg
6							年 月			年 月	ヶ月		kg
7							年 月			年 月	ヶ月		kg
8							年 月			年 月	ヶ月		kg
9							年 月			年 月	ヶ月		kg
10							年 月			年 月	ヶ月		kg

38

つづく

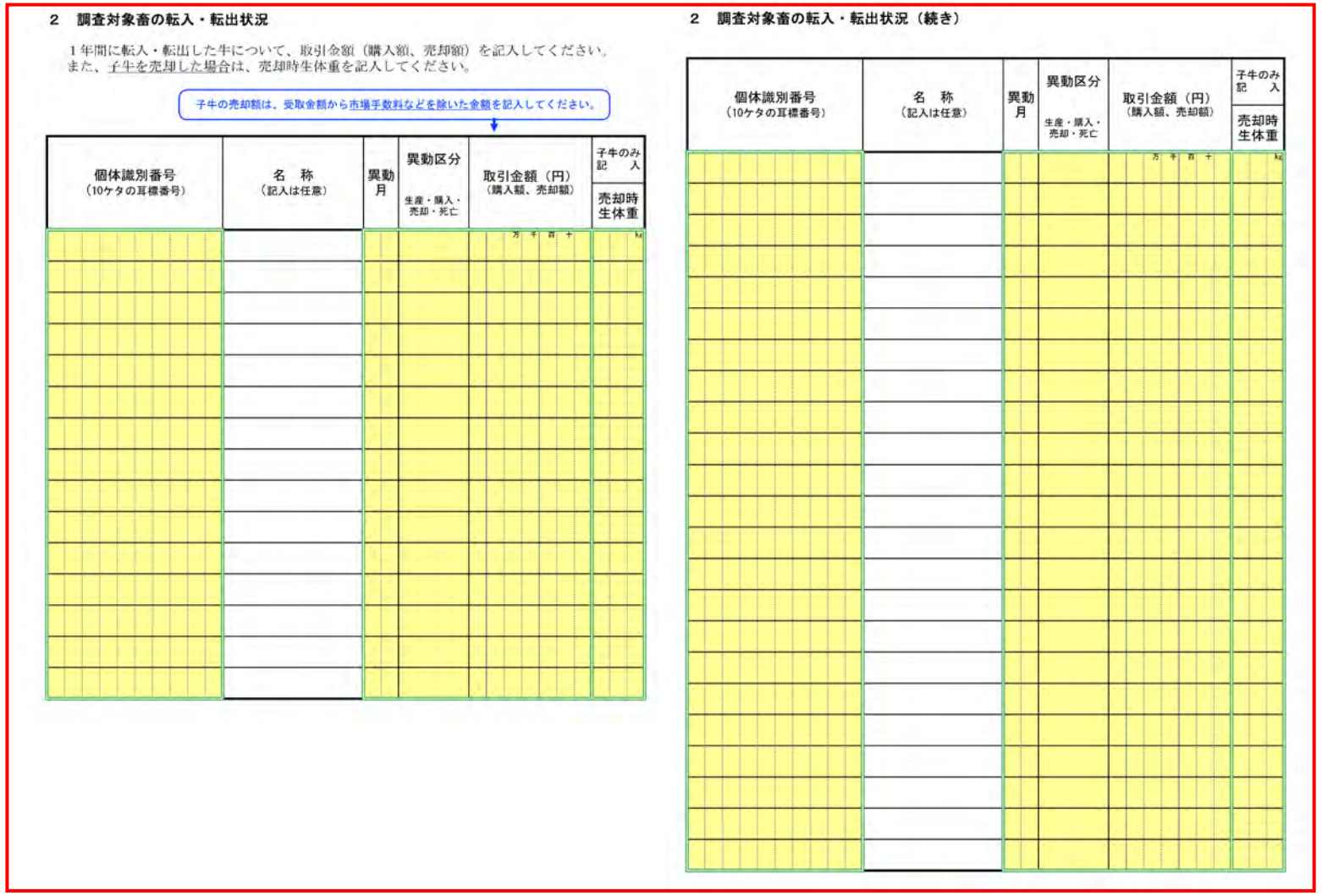
購入価額は、取得に直接要した手数料や運賃などを含めて記入してください。
売却価額は、受取金額から市場手数料や出荷に関する経費（運送費、材料費等）を除いた金額を記入してください。

繁殖雌牛の成畜は、初回種付け時です。

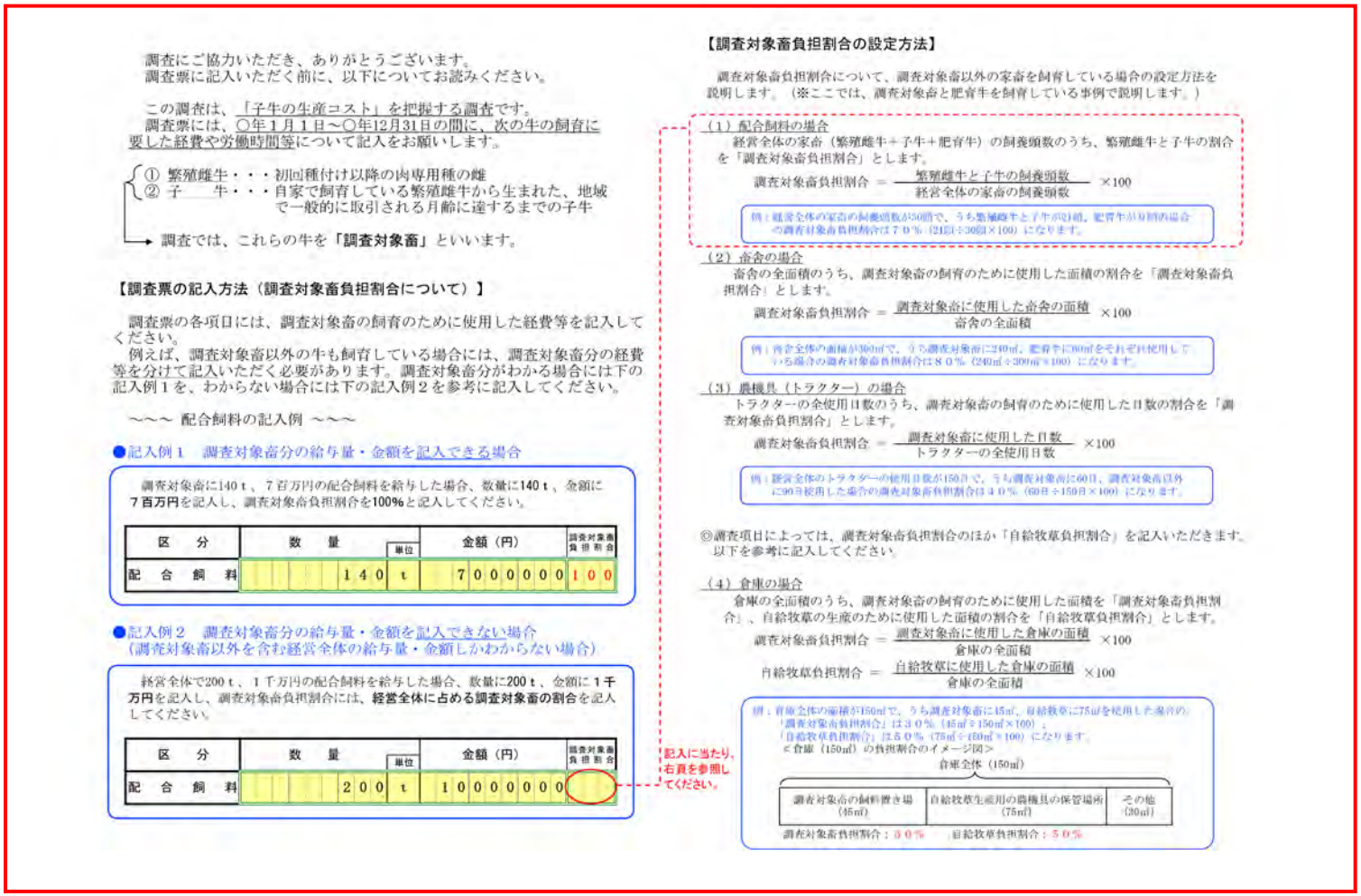
番号	繁殖雌牛のみ記入 購入 年（西暦）	購入 月	購入 価額	成畜 年（西暦）	成畜 月	成畜 価額	売却 年（西暦）	売却 月	売却 価額	死亡年月 年（西暦）	死亡年月 月	番号
1	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	1
2	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	2
3	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	3
4	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	4
5	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	5
6	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	6
7	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	7
8	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	8
9	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	9
10	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	万 円	年	月	10

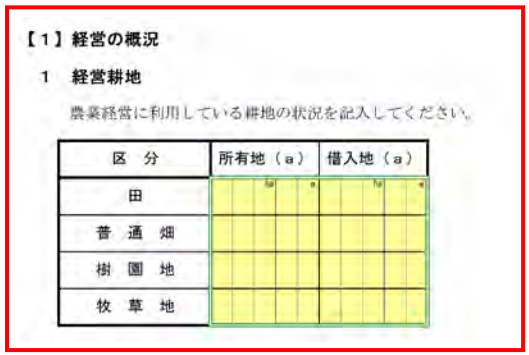
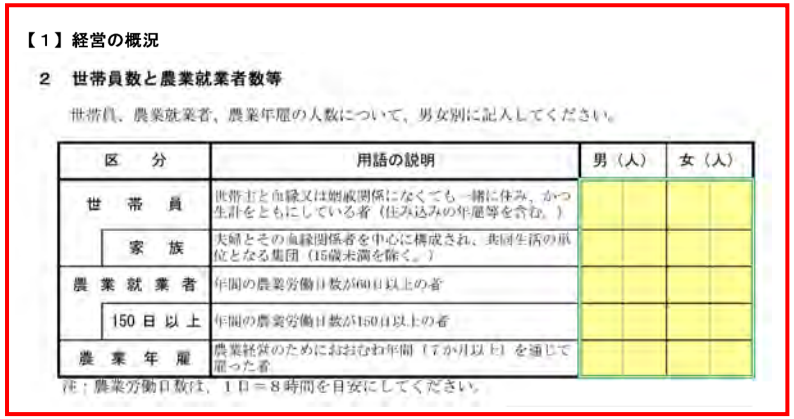
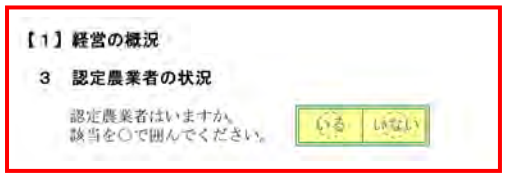
調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

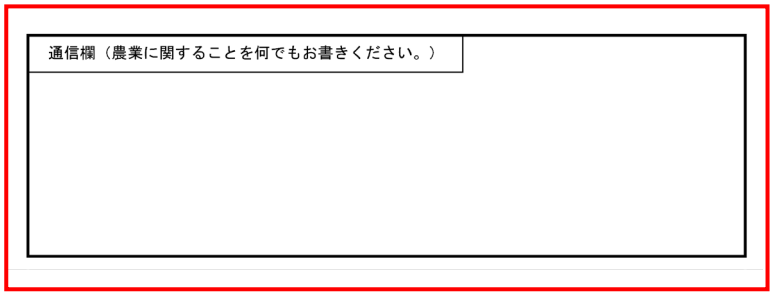
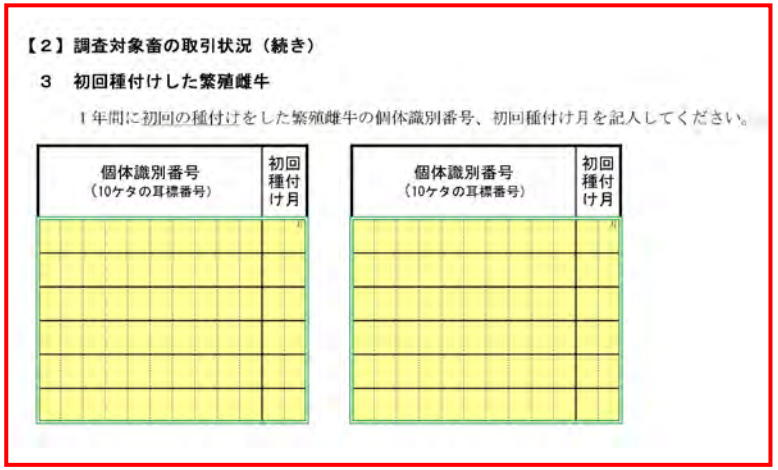
39

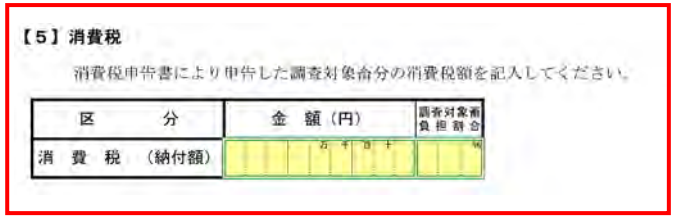
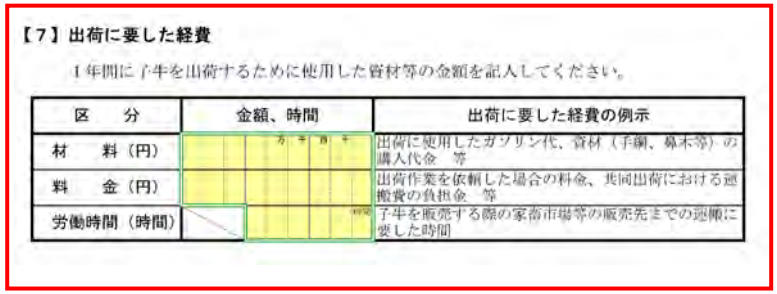
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
①【２】調査対象畜の取引状況  ２　調査対象畜の転入・転出状況 １年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。 また、子牛を売却した場合は、売却時生体重を記入してください。 子牛の売却額は、受取金額から市場手数料などを除いた金額を記入してください。 個体識別番号（10ケタの耳標番号）／名　称（記入は任意）／異動月／異動区分（生産・購入・売却・死亡）／取引金額（円）（購入額、売却額）／子牛のみ記入　売却時生体重 ２　調査対象畜の転入・転出状況（続き） 個体識別番号（10ケタの耳標番号）／名　称（記入は任意）／異動月／異動区分（生産・購入・売却・死亡）／取引金額（円）（購入額、売却額）／子牛のみ記入　売却時生体重	４ページ	①同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
40ページ 調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。 調査票のお問い合わせ先	1ページ  農業経営統計調査 ○年 子牛生産費統計調査票 【記入上の留意事項】　◇オンライン調査も可能です。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★○印は記入見本を参考に記入してください。 記入見本 ①	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ 	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

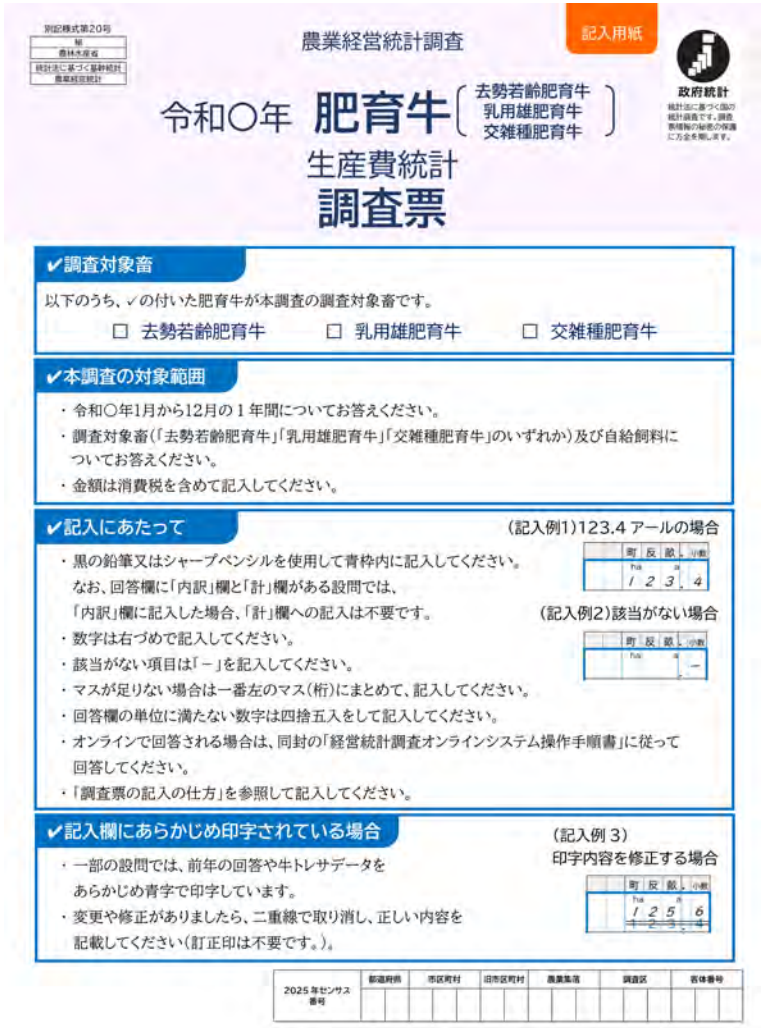
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普　通　畑 樹　園　地 牧　草　地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。 区　分 / 用語の説明 / 男（人） / 女（人） 世　帯　員 / 世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。） 家　族 / 夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。） 農　業　就　業　者 / 年間の農業労働日数が60日以上の者 150 日 以 上 / 年間の農業労働日数が150日以上の者 農　業　年　雇 / 農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者 注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる　いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

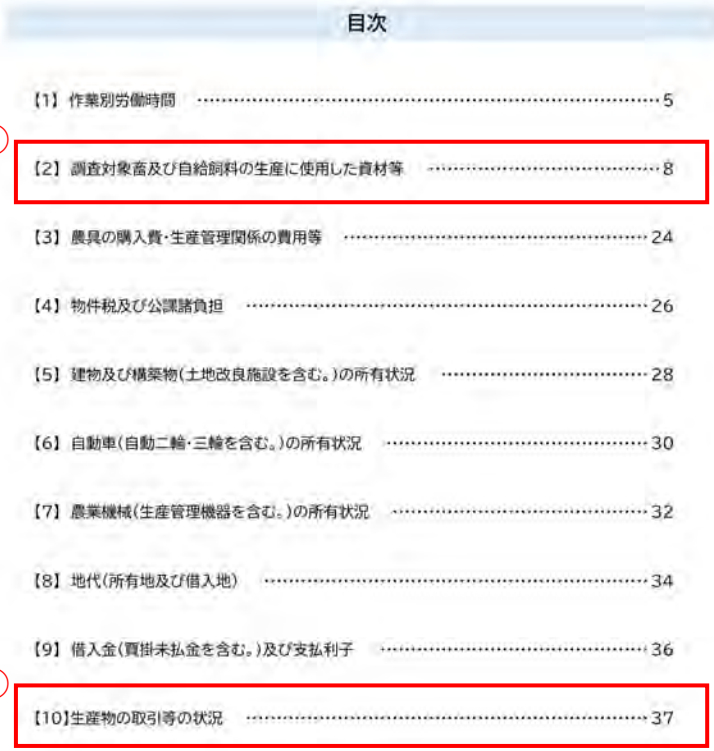
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除
（削除）	５ページ  【２】調査対象畜の取引状況（続き） ３　初回種付けした繁殖雌牛 １年間に初回の種付けをした繁殖雌牛の個体識別番号、初回種付け月を記入してください。 個体識別番号 （10ケタの耳標番号） 初回種付け月 個体識別番号 （10ケタの耳標番号） 初回種付け月	初回種付けした繁殖雌牛について、記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

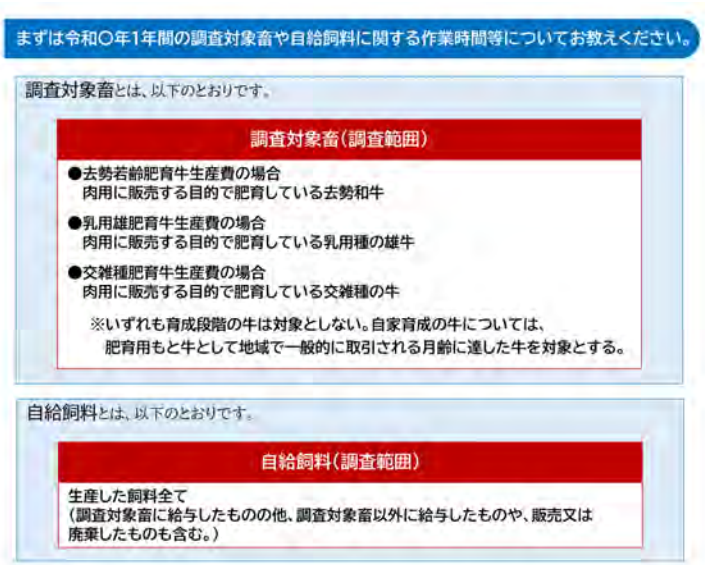
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	９ページ  【５】消費税 消費税申告書により申告した調査対象命分の消費税額を記入してください。 区　分 / 金　額（円） / 調査対象者負担割合 消　費　税　（納付額）	消費税について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	９ページ  【７】出荷に要した経費 １年間に子牛を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。 区　分 / 金額、時間 / 出荷に要した経費の例示 材　料（円） / 出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金　等 料　金（円） / 出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金　等 労働時間（時間） / 子牛を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間	出荷に要した経費について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

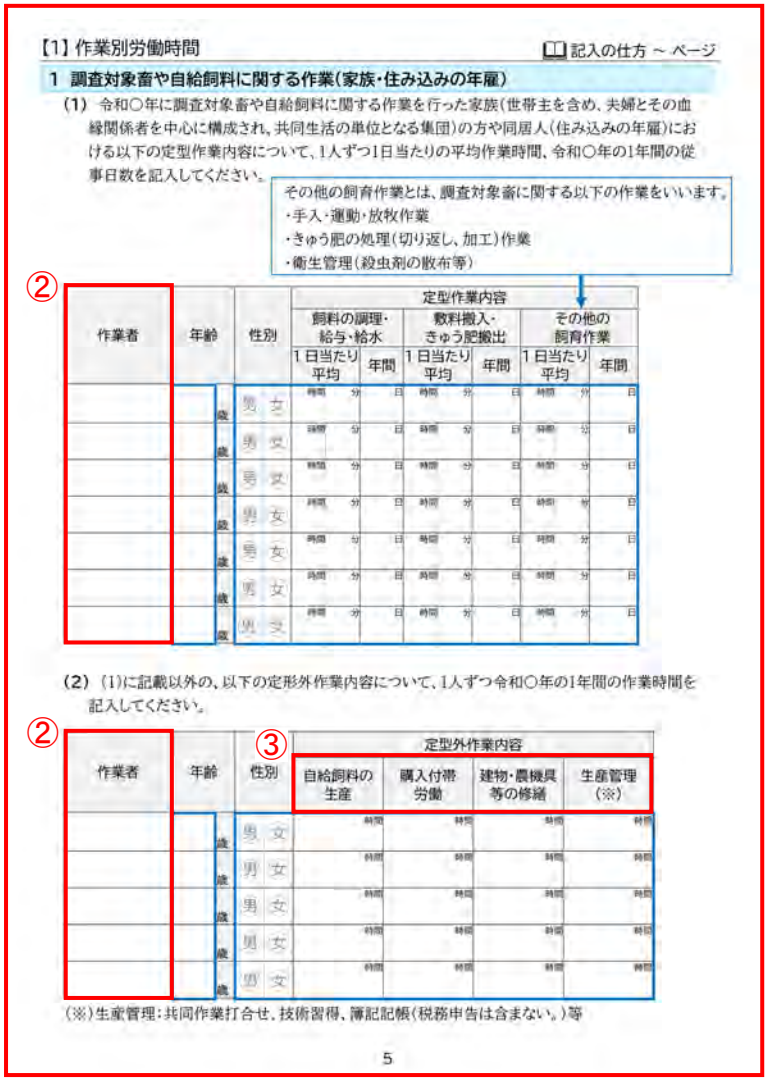
農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

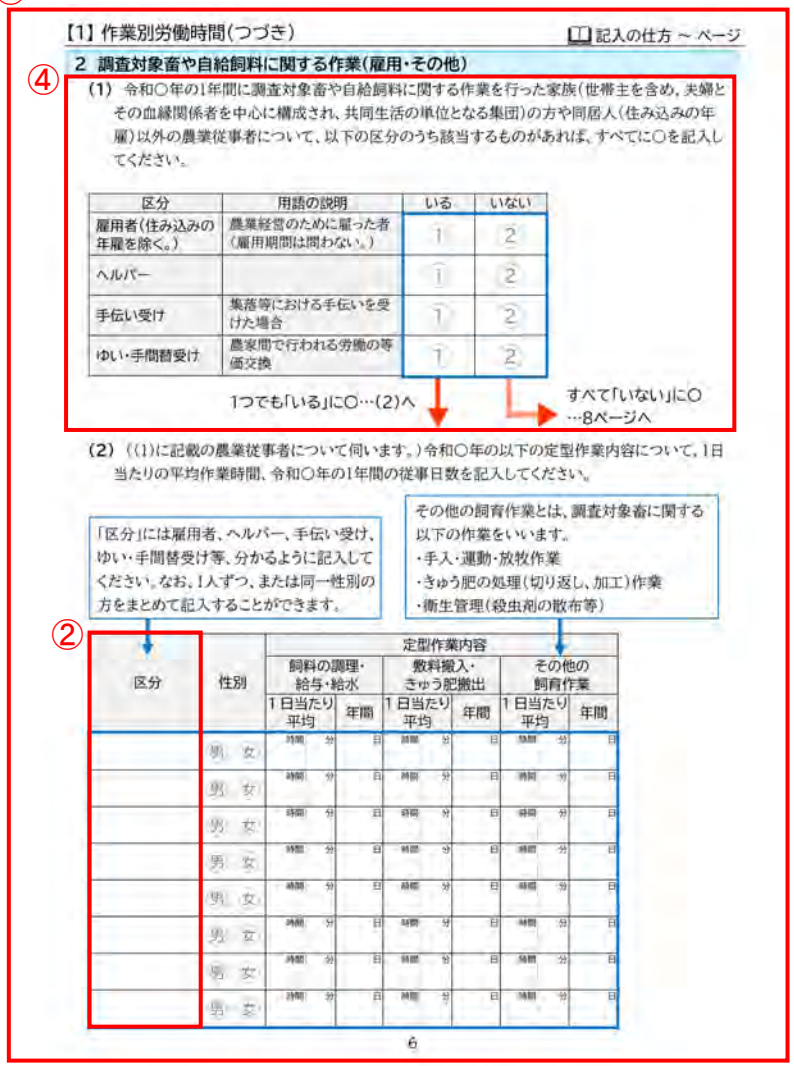
２　畜産物生産費統計（肥育牛）

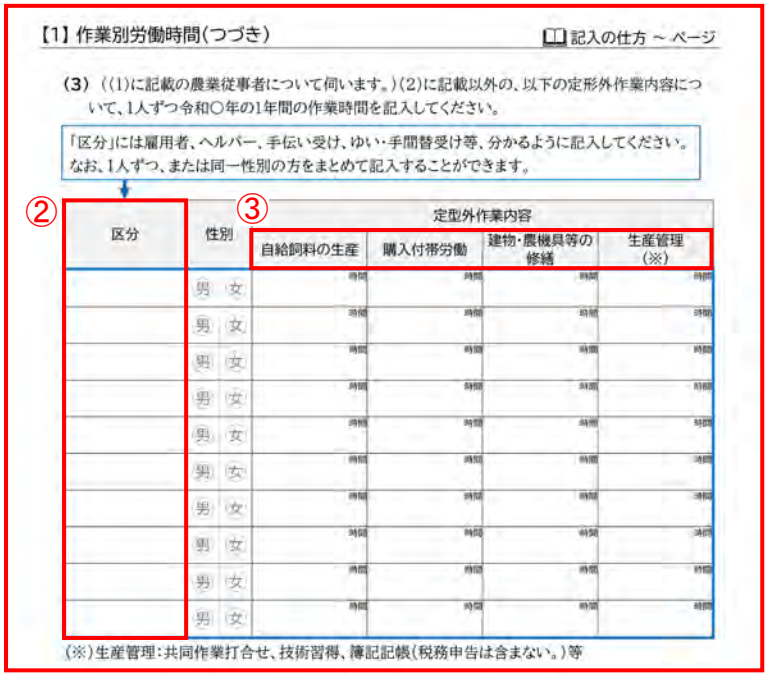
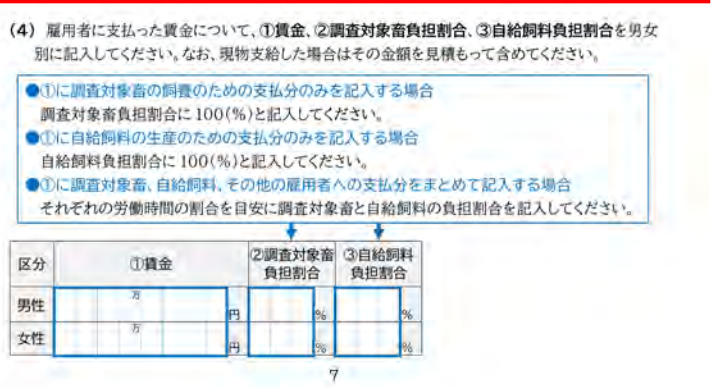
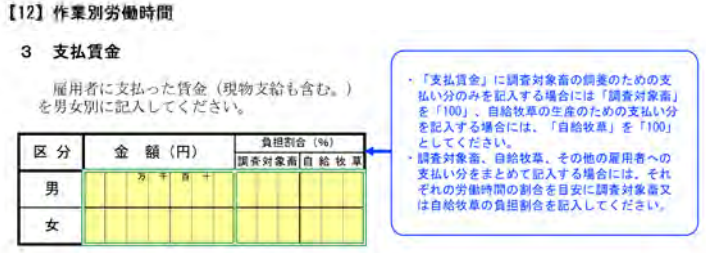
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第20号 １ページ  農業経営統計調査 記入用紙 令和〇年 肥育牛（去勢若齢肥育牛／乳用雄肥育牛／交雑種肥育牛） 生産費統計 調査票 ✔調査対象畜 以下のうち、✓の付いた肥育牛が本調査の調査対象畜です。 □ 去勢若齢肥育牛　□ 乳用雄肥育牛　□ 交雑種肥育牛 ✔本調査の対象範囲 ・令和〇年1月から12月の１年間についてお答えください。 ・調査対象畜（「去勢若齢肥育牛」「乳用雄肥育牛」「交雑種肥育牛」のいずれか）及び自給飼料についてお答えください。 ・金額は消費税を含めて記入してください。 ✔記入にあたって ・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。 なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、 「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。 ・数字は右づめで記入してください。 ・該当がない項目は「－」を記入してください。 ・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。 ・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。 ・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 ・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。 （記入例1）123.4 アールの場合 （記入例2）該当がない場合 ✔記入欄にあらかじめ印字されている場合 ・一部の設問では、前年の回答や牛トレサデータをあらかじめ青字で印字しています。 ・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。 （記入例３） 印字内容を修正する場合 2025 年センサス番号	別記様式第17号 １ページ  農業経営統計調査 〇年 育成牛 ・ 肥育牛生産費統計調査票 ［乳用雄育成牛・交雑種育成牛・去勢若齢肥育牛・乳用雄肥育牛・交雑種肥育牛］ 【記入上の留意事項】　〇オンライン調査も可能です。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ★〇印は記入見本を参考に記入してください。 ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。	育成牛、肥育牛で共用していた調査票について、報告者が正確に回答できるよう育成牛、肥育牛それぞれの調査票を作成 これに伴い、「育成牛・肥育牛生産費統計」の調査票を「肥育牛生産費統計」の調査票に変更し、「育成牛生産費統計」の調査票を新設 視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更（以下同じ） 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
2ページ  目次 【1】作業別労働時間 …… 5 ① 【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等 …… 8 【3】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 24 【4】物件税及び公課諸負担 …… 26 【5】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 28 【6】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 30 【7】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 32 【8】地代(所有地及び借入地) …… 34 【9】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 36 ① 【10】生産物の取引等の状況 …… 37	3ページ 調　査　事　項 ページ 【1】経営の概況 …… 3 経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。 ① 【2】調査対象畜の取引状況 …… 4 調査対象畜の購入・売却状況等を記入してください。 ① 【3】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 5 飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、 農機具借料等の賃借料・料金等を記入してください。 【4】物件税及び公課諸負担 …… 9 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課 諸負担を記入してください。 【5】消費税 …… 9 消費税申告書により申告した消費税を記入してください。 【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9 借入金残高、支払利子を記入してください。 【7】出荷に要した経費 …… 9 出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。 【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10 建物・構築物の所有状況を記入してください。 【9】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11 自動車等の所有状況を記入してください。 【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12 農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。 【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13 スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、 通信費や集会参加費等を記入してください。 【12】作業別労働時間 …… 14 家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。 【13】地代（所有地及び借入地） …… 14 地代を記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は37～38ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４ページ  		報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、調査対象畜と自給飼料の調査範囲の説明を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
5ページ ①  【1】作業別労働時間　記入の仕方 ～ページ 1 調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇) (1) 令和〇年に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。 その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業 ・衛生管理(殺虫剤の散布等) ② 作業者 / 年齢 / 性別 / 定型作業内容(飼料の調理・給与・給水 / 敷料搬入・きゅう肥搬出 / その他の飼育作業) / 1日当たり平均 / 年間 (2) (1)に記載以外の、以下の定形外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。 ② ③ 作業者 / 年齢 / 性別 / 定型外作業内容(自給飼料の生産 / 購入付帯労働 / 建物・農機具等の修繕 / 生産管理(※)) (※)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等 5 つづく	14ページ ①  【12】作業別労働時間 1 調査対象畜に関する定型作業 「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業 ・衛生管理(殺虫剤の散布等) 農業従事者ごとに、上段に1日当たりの平均作業時間を記入し、下段に1年間の従事日数を記入してください。 ② 氏名 / 性別 / 年齢 / 家族・雇用 / 飼料の調理・給与・給水 / 敷料搬入・きゅう肥搬出 / その他の飼育作業 注:雇用者の年齢は記入不要です。 2 調査対象畜に関する1以外の作業 「作業名」欄の(　)に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。 ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料(牧草等)の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。 ② ③ 氏名 / 性別 / 年齢 / 家族・雇用 / 作業名(　) / 作業名(　) / 作業名(　) / 作業名(　) / 作業名(　) 注:雇用者の年齢は記入不要です。	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更(以下同じ) 報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化(以下同じ) 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更(以下同じ) ①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 調査対象畜に関する定形作業」と「2 調査対象畜に関する1以外の作業」の設問をそれぞれ「調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇)」及び「調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他)」に分離 ②氏名に限定せず、作業者及び区分を特定可能な記入欄へ変更 ③定形外作業内容について、報告者の記入負担軽減を図るため、作業名を記入する形式からあらかじめ回答欄に記載された定形外作業内容について回答する形式へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６ページ（変更前14ページと対比） ①  【1】作業別労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 2 調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他) ④ (1) 令和〇年の1年間に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め，夫婦とその血縁関係者を中心に構成され，共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)以外の農業従事者について，以下の区分のうち該当するものがあれば，すべてに〇を記入してください。 区分 / 用語の説明 / いる / いない 雇用者(住み込みの年雇を除く。) / 農業経営のために雇った者(雇用期間は問わない。) / 1 / 2 ヘルパー / 1 / 2 手伝い受け / 集落等における手伝いを受けた場合 / 1 / 2 ゆい・手間替受け / 農家間で行われる労働の等価交換 / 1 / 2 1つでも「いる」に〇…(2)へ すべて「いない」に〇…8ページへ (2) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)令和〇年の以下の定型作業内容について，1日当たりの平均作業時間，令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。 「区分」には雇用者，ヘルパー，手伝い受け，ゆい・手間替受け等，分かるように記入してください。なお，1人ずつ，または同一性別の方をまとめて記入することができます。 その他の飼育作業とは，調査対象畜に関する以下の作業をいいます。 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理(切り返し，加工)作業 ・衛生管理(殺虫剤の散布等) ② 区分 / 性別 / 定型作業内容：飼料の調理・給与・給水(1日当たり平均，年間) / 敷料搬入・きゅう肥搬出(1日当たり平均，年間) / その他の飼育作業(1日当たり平均，年間) 男 女 6 つづく		①同上 ②同上 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、雇用者（住み込みの年雇を除く。）、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受けの人の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
7ページ（変更前14ページと対比） ①  【1】作業別労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ページ (3)（(1)に記載の農業従事者について伺います。）(2)に記載以外の、以下の定形外作業内容について、1人ずつ令和○年の1年間の作業時間を記入してください。 「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。 ②　③ 区分 / 性別 / 定型外作業内容：自給飼料の生産 / 購入付帯労働 / 建物・農機具等の修繕 / 生産管理(※) (※)生産管理：共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等  (4) 雇用者に支払った賃金について、**①賃金、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。 ●①に調査対象畜の飼養のための支払分のみを記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に自給飼料の生産のための支払分のみを記入する場合 自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜、自給飼料、その他の雇用者への支払分をまとめて記入する場合 それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜と自給飼料の負担割合を記入してください。 区分 / ①賃金 / ②調査対象畜負担割合 / ③自給飼料負担割合 男性 女性 7	14ページ  【12】作業別労働時間 3　支払賃金 雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。 区分 / 金額(円) / 負担割合(%)：調査対象畜 / 自給牧草 男 女 ・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。 ・調査対象畜、自給牧草、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。	①同上 ②同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
8ページ	5ページ	



ここからは令和〇年１年間の調査対象畜や自給飼料に使用した金額等についてお教えください。

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等　記入の仕方 ～ ページ

1 給与した飼料(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、**①給与数量**、**②単位**、**③給与数量分の購入金額**、**④調査対象畜負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は①又は③に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		①給与数量	②単位	③給与数量分の購入金額	④調査対象畜負担割合
穀類	大麦			円	%
	その他の麦			円	%
	とうもろこし			円	%
	大豆			円	%
	飼料用米			円	%
	その他の穀類			円	%
ぬか・ふすま類	ふすま			円	%
	米・麦ぬか			円	%
	その他のぬか・ふすま類			円	%
植物性かす類	大豆油かす			円	%
	ビートパルプ			円	%
	その他の植物性かす類			円	%
配合飼料				円	%
TMR(粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)				円	%
牛乳脱脂乳				円	%
いも類及び野菜類				円	%
わら類	稲わら			円	%
	その他のわら類（麦わら等）			円	%
生牧草				円	%
乾牧草	ヘイキューブ			円	%
	その他の乾牧草			円	%
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）			円	%
	稲発酵粗飼料			円	%
	その他のサイレージ			円	%
上記以外の購入飼料				円	%

8

つづく



【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

1 購入飼料

1年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
（自給飼料は、６ページに記入してください。）

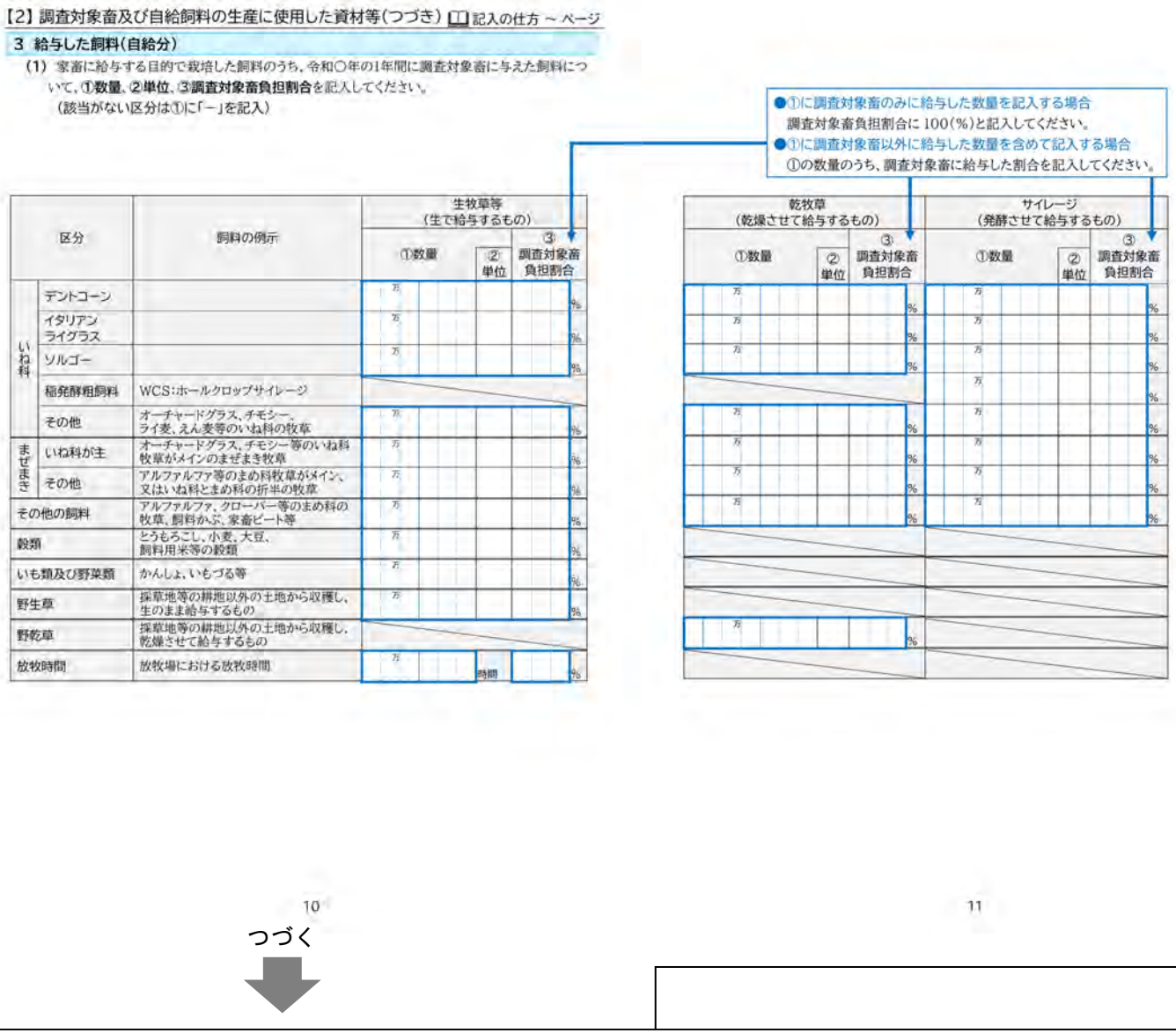
・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

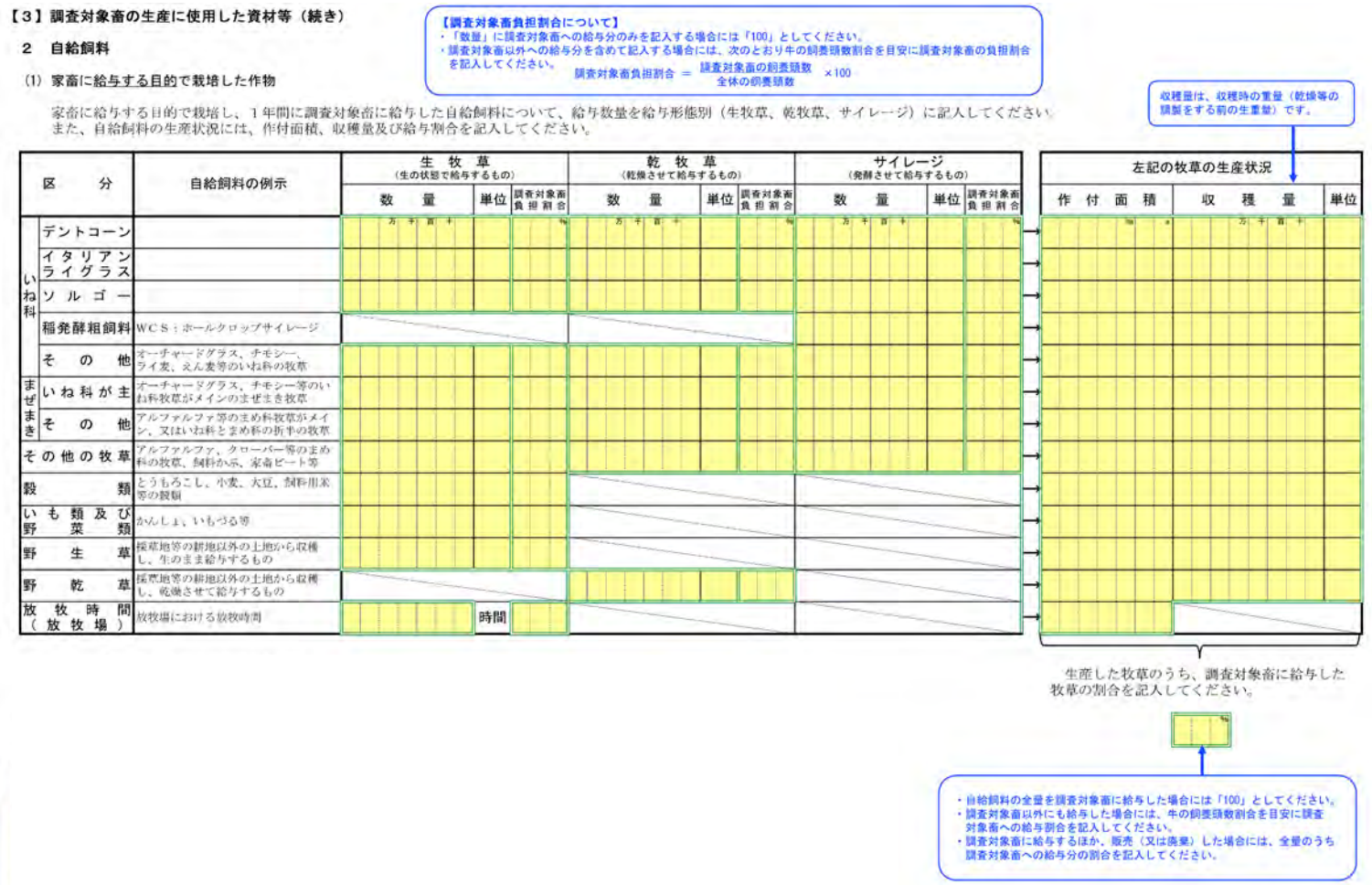
区分		数量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
穀類	大麦				%
	その他の麦				%
	とうもろこし				%
	大豆				%
	飼料用米				%
	その他の穀類				%
ぬか・ふすま類	ふすま				%
	米・麦ぬか				%
	その他のぬか・ふすま類				%
植物性かす類	大豆油かす				%
	ビートパルプ				%
	その他の植物性かす類				%
配合飼料					%
TMR（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）					%
牛乳脱脂乳					%
いも類及び野菜類					%
わら類	稲わら				%
	その他のわら類（麦わら等）				%
生牧草					%
乾牧草	ヘイキューブ				%
	その他の乾牧草				%
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）				%
	稲発酵粗飼料				%
	その他のサイレージ				%
上記以外の購入飼料					%

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ（変更前６ページと対比） 		報告者が記入しやすいよう、飼料の生産状況に関する設問を分離 記入時の負担軽減及び誤記入の防止を図るため、広く使用されている単位である「町」「反」「畝」を併記

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10～11ページ（変更前６ページと対比）		同上



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	６ページ	同上



【３】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

２　自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、１年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。
また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

【調査対象畜負担割合について】
・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。
調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

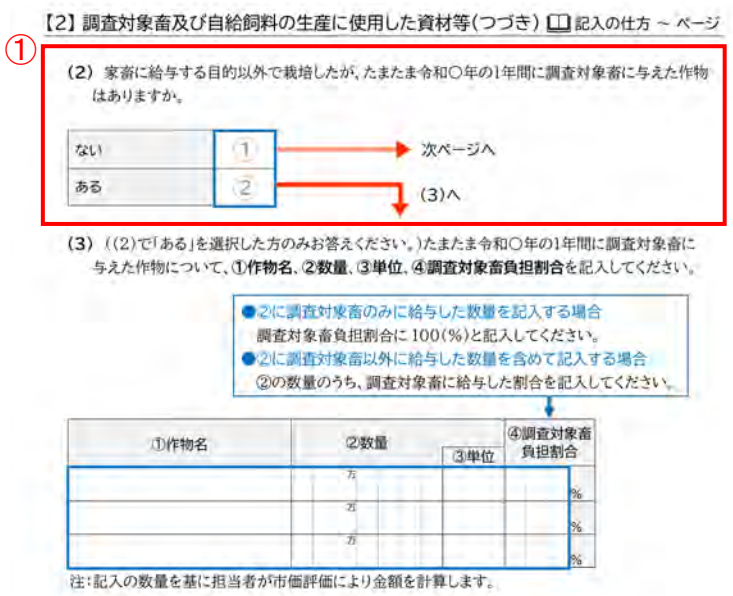
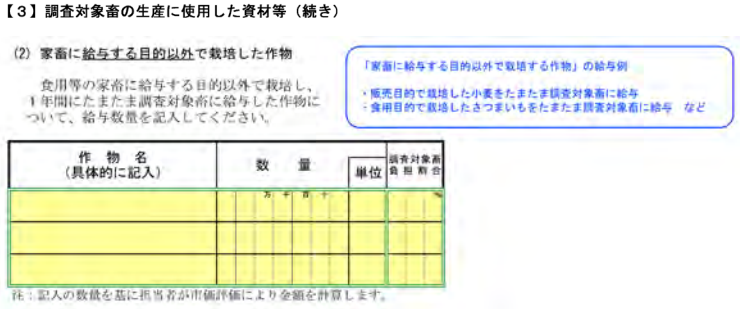
収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

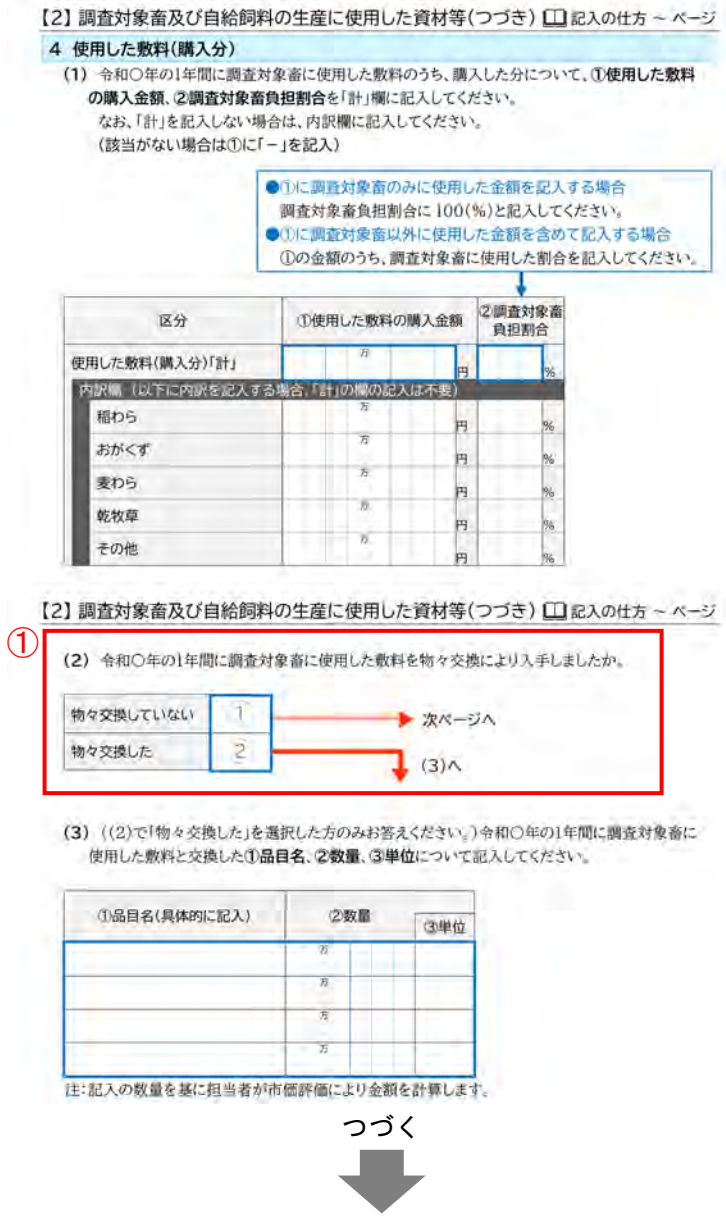
区分		自給飼料の例示	生牧草（生の状態で給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	乾牧草（乾燥させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	サイレージ（発酵させて給与するもの） 数量	単位	調査対象畜負担割合	左記の牧草の生産状況 作付面積	収穫量	単位
いね科	デントコーン		万千百十		%	万千百十		%			%	a	万千百十	
	イタリアンライグラス													
	ソルゴー													
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ												
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草												
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草												
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草												
その他の牧草		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等												
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類												
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等												
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの												
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの												
放牧時間（放牧場）		放牧場における放牧時間		時間										

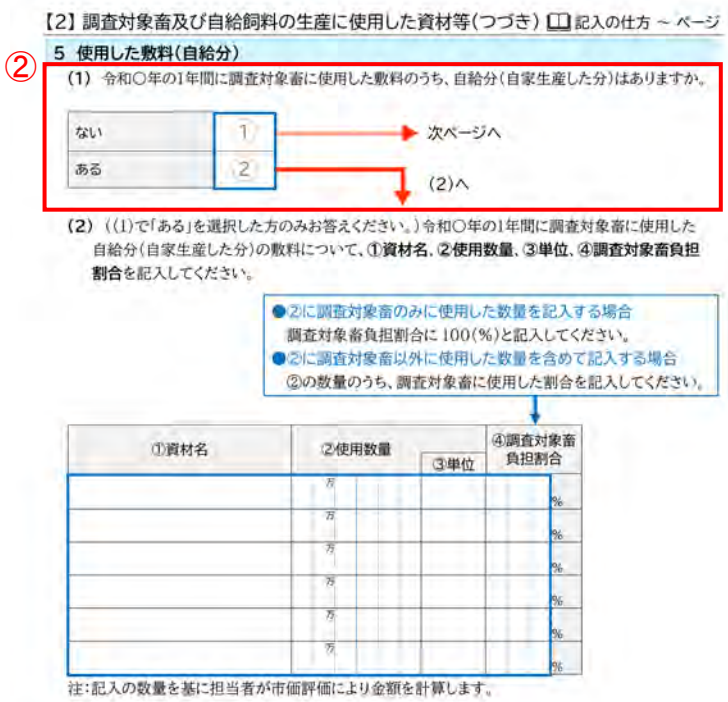
生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

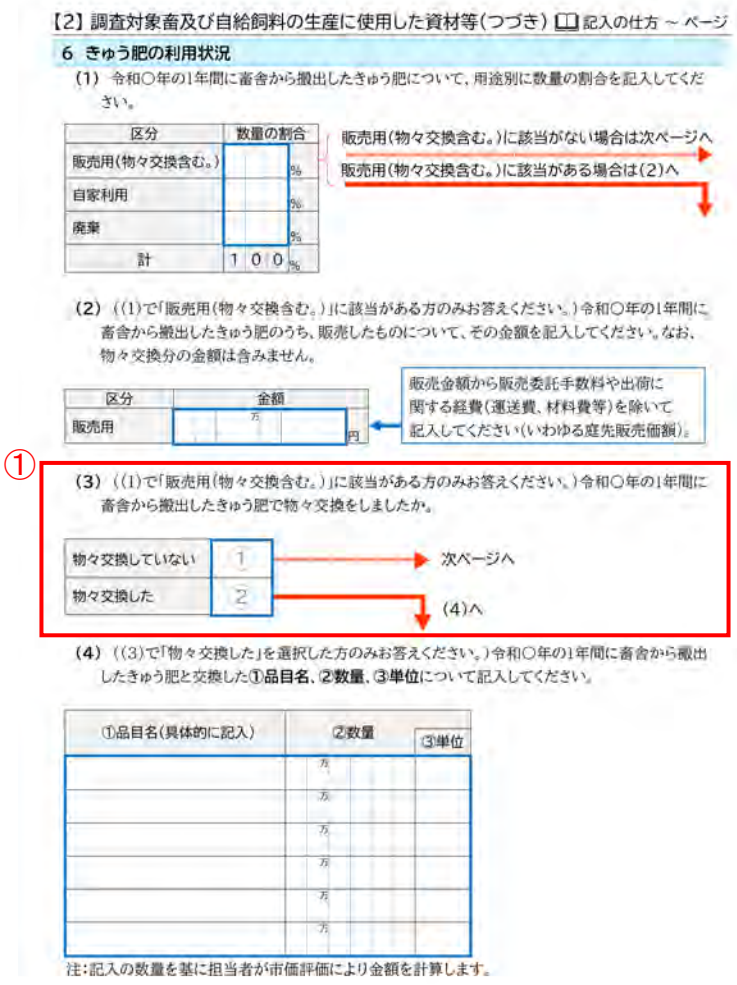
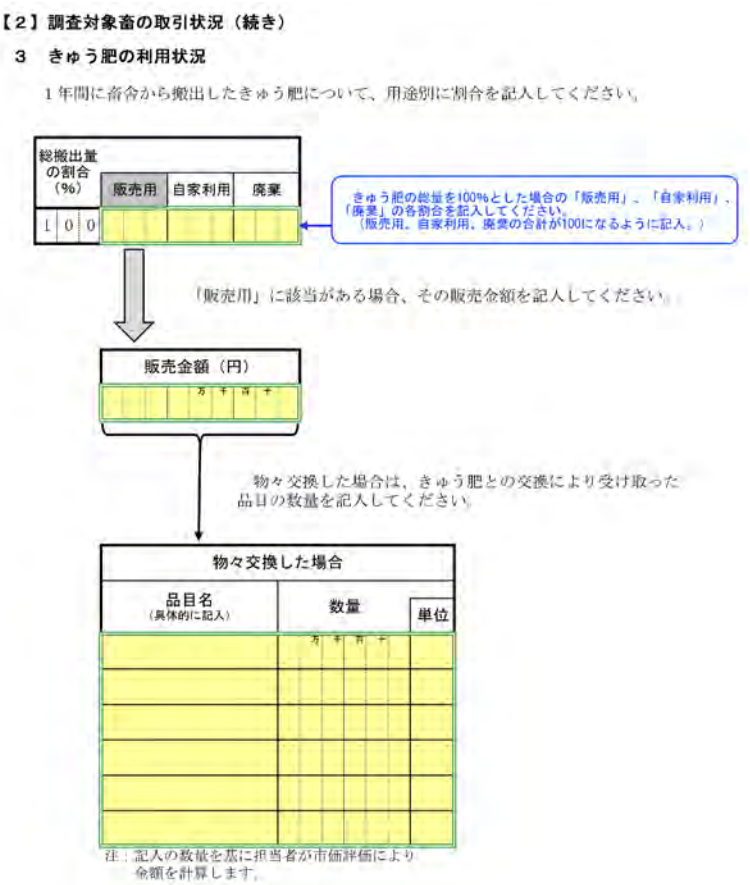
%

・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

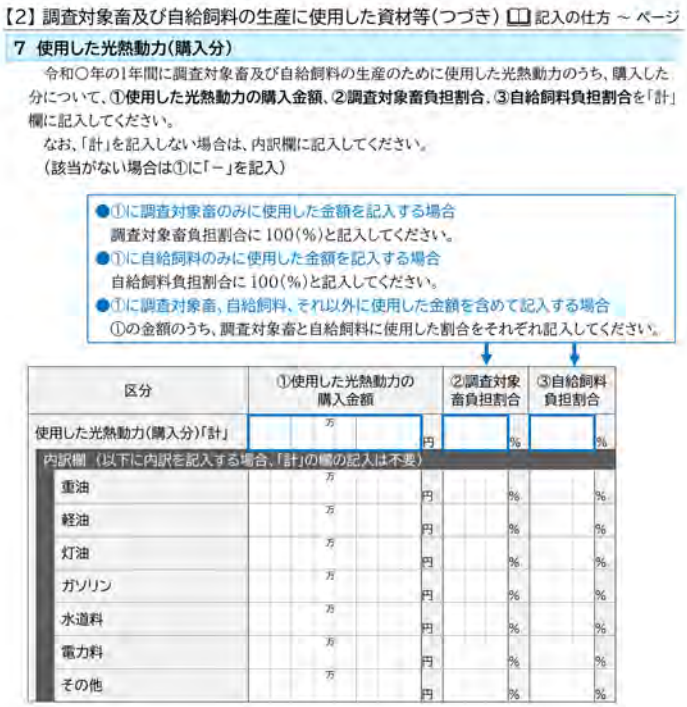
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ページ ① (2) 家畜に給与する目的以外で栽培したが、たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物はありますか。 ない ① → 次ページへ ある ② → (3)へ (3) ((2)で「ある」を選択した方のみお答えください。)たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物について、**①作物名、②数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。 ●②に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合 ②の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。 ①作物名 / ②数量 / ③単位 / ④調査対象畜負担割合 注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 12	6ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き） (2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物 食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、1年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。 「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例 ・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与 ・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与　など 作物名（具体的に記入） / 数量 / 単位 / 調査対象畜負担割合 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例については、調査票の記入の仕方に記載することから削除 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、家畜に給与する目的以外で栽培した作物の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13～14ページ 	7ページ 	報告者の未記入防止のため、敷料費の購入分のうち物々交換した場合の数量について、回答欄への誘導表記ではなく、個別設問に変更 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した敷料(購入分)について物々交換の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ（変更前７ページと対比）  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ページ 5 使用した敷料(自給分) ② (1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない 1 → 次ページへ ある 2 → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の敷料について、①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合を記入してください。 ●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合 ②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。 ①資材名 / ②使用数量 / ③単位 / ④調査対象畜負担割合 注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 15		②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した敷料について自家生産の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ 	５ページ 	報告者の未記入防止のため、きゅう肥の利用状況のうち販売金額について、回答欄への誘導表記ではなく、個別設問に変更 回答欄の変更により、用途別の割合に関する補足説明（青枠）を削除 報告者に記入方法を分かりやすく伝えるため、販売価額に関する注意書き（青枠）を追加 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、きゅう肥の物々交換の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ	7 ページ	「自給で使用した燃料の例」については、調査票の記入の仕方に記載することから削除



【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ページ

7 使用した光熱動力（購入分）

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用した光熱動力の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①使用した光熱動力の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」	万 円	%	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
重油	万 円	%	%
軽油	万 円	%	%
灯油	万 円	%	%
ガソリン	万 円	%	%
水道料	万 円	%	%
電力料	万 円	%	%
その他	万 円	%	%

17

つづく



【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

(1) 購入

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計	万 千 百 十		
重油			
軽油			
灯油			
ガソリン			
水道料			
電力料			
その他			

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」。自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

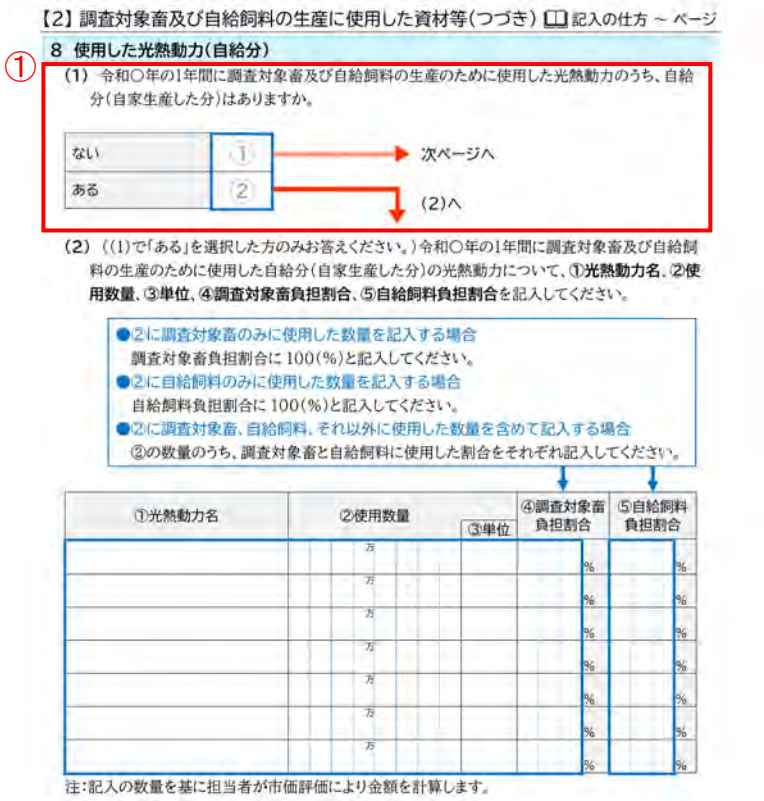
1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。

「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量	単位	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
	万 千 百 十			

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ（変更前７ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力について自家生産の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19～20ページ	8ページ	

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ

9 獣医師料及び医薬品費

令和○年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、**①支払金額、②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
獣医師料及び医薬品費「計」	万 円	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
獣医師料	万 円	%	獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金	万 円	%	家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費	万 円	%	牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等	万 円	%	上記以外の医療・衛生費・倉庫の消毒剤等

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ

10 賃借料及び料金

令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」	万 円	%	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
共同負担金	万 円	%	%	共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	万 円	%	%	農機具のリース代
その他	万 円	%	%	削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金　等

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

5 獣医師料及び医薬品費

1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計	万 千 百 十	%	
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

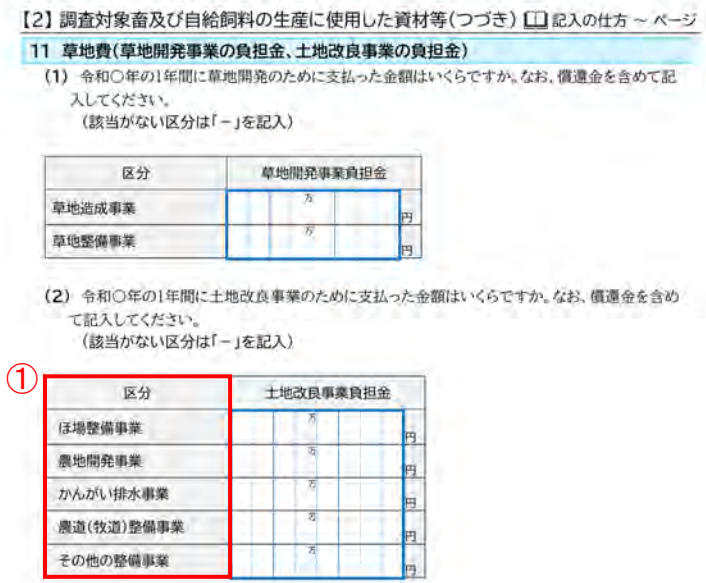
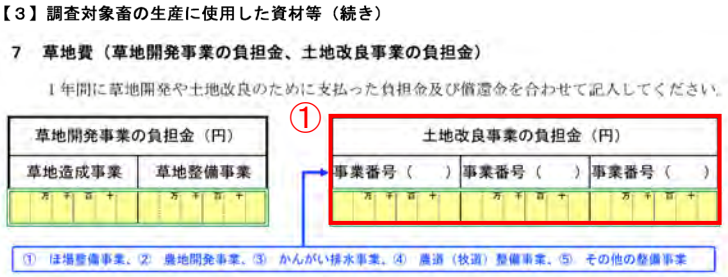
・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

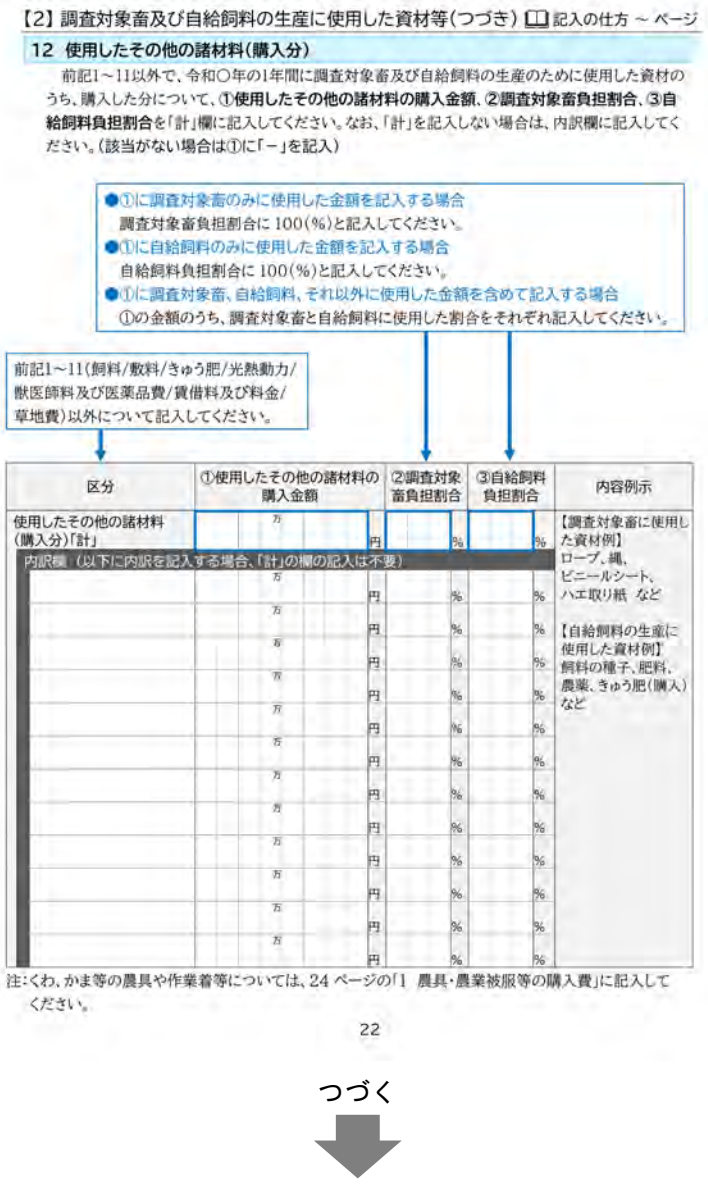
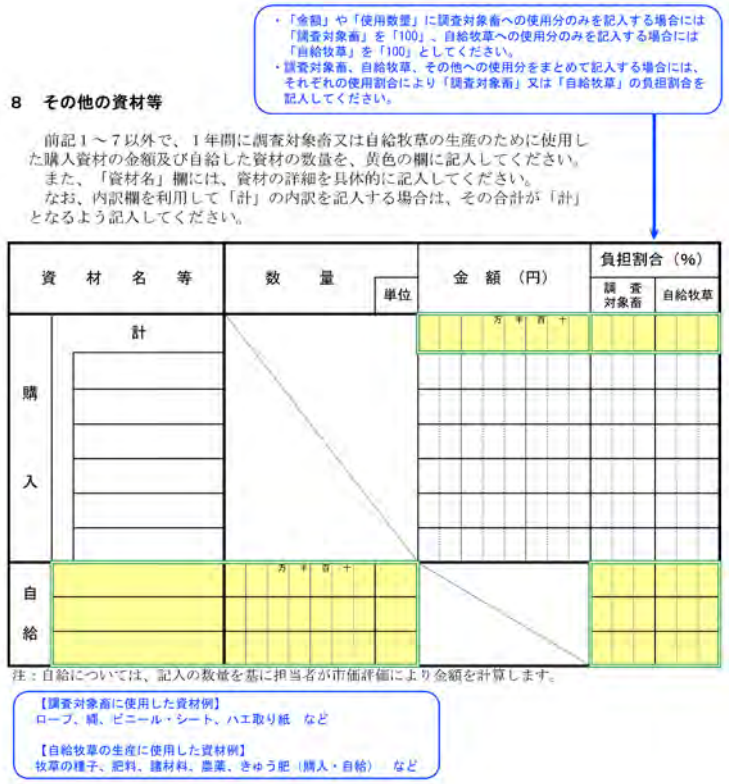
6 賃借料及び料金

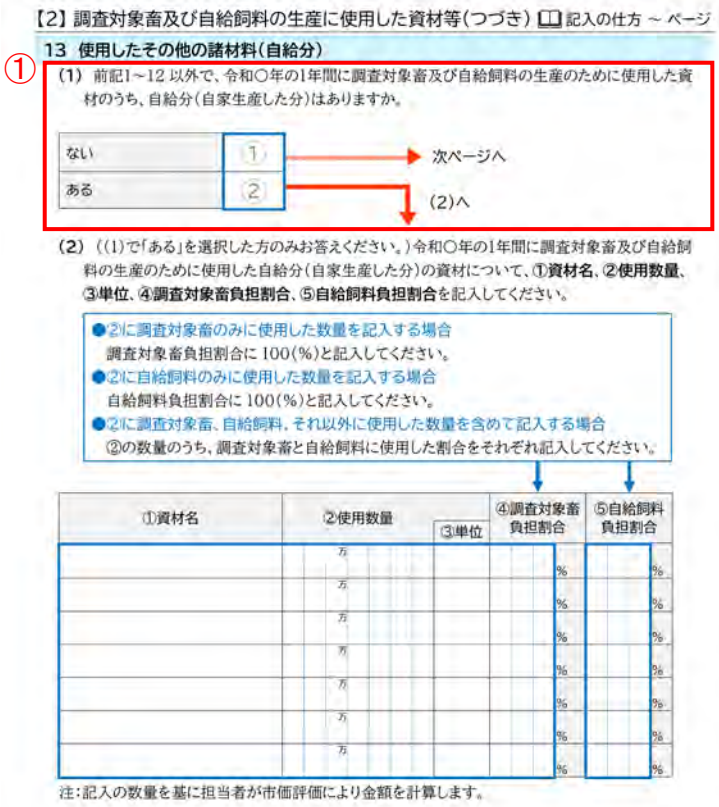
1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

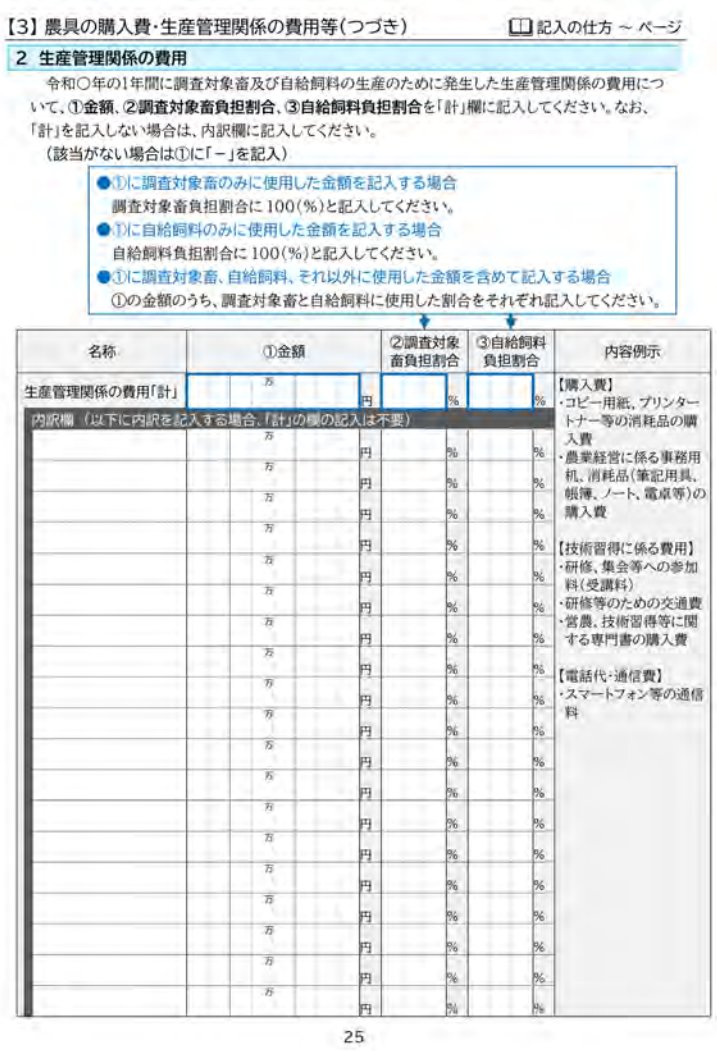
区　分	金　額（円）	負担割合（%）		賃借料及び料金の例示
		調査対象畜	自給牧草	
計	万 千 百 十	%	%	
共同負担金				共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料				農機具のリース代
その他				削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金　等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ 11 草地費(草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金) (1) 令和○年の1年間に草地開発のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。 (該当がない区分は「－」を記入) 区分 / 草地開発事業負担金 草地造成事業 / 草地整備事業 (2) 令和○年の1年間に土地改良事業のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。 (該当がない区分は「－」を記入) ① 区分 / 土地改良事業負担金 ほ場整備事業 農地開発事業 かんがい排水事業 農道(牧道)整備事業 その他の整備事業 21	8ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き） 7 草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金） 1年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。 草地開発事業の負担金（円） 草地造成事業 / 草地整備事業 ① 土地改良事業の負担金（円） 事業番号（　） / 事業番号（　） / 事業番号（　） ①　ほ場整備事業、②　農地開発事業、③　かんがい排水事業、④　農道（牧道）整備事業、⑤　その他の整備事業	報告者が記入しやすいよう、草地開発事業の負担金と土地改良事業の負担金の設問を分離 ①土地改良事業の負担金について、報告者の記入負担軽減を図るため、事業番号の選択欄を削除し、事業を選択する形式からあらかじめ回答欄に記載された事業区分について回答する形式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22ページ 	8ページ 	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ（変更前８ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用したその他の諸材料について自家生産の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24～25ページ（変更前13ページと対比）  		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ	13ページ	同上

【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名称等	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	内容例示
生産管理関係の費用	（計）	万 千 百 十			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由

26～27ページ

【4】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ ページ

1 物件税

令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の物件税について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分		①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
物件税「計」		億 万 円	%	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
固定資産税(※)	建物	億 万 円	%	%
	農機具	億 万 円	%	%
都市計画税(土地以外)(※)		億 万 円	%	%
不動産取得税(土地以外)(※)		億 万 円	%	%
共同施設税		億 万 円	%	%

(※)固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の公課諸負担について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分	①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	公課諸負担の例示
公課諸負担「計」	億 万 円	%	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
集落協議会費	億 万 円	%	%	地域集落等の会費
農業協同組合費	億 万 円	%	%	農業協同組合の組合費、賦課金
肉用牛組合費	億 万 円	%	%	
農事実行組合費	億 万 円	%	%	実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金	億 万 円	%		

9ページ

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分		金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草
計		万 千 百 千		
固定資産税	建物			
	農機具			
都市計画税（土地以外）				
不動産取得税（土地以外）				
共同施設税				

注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

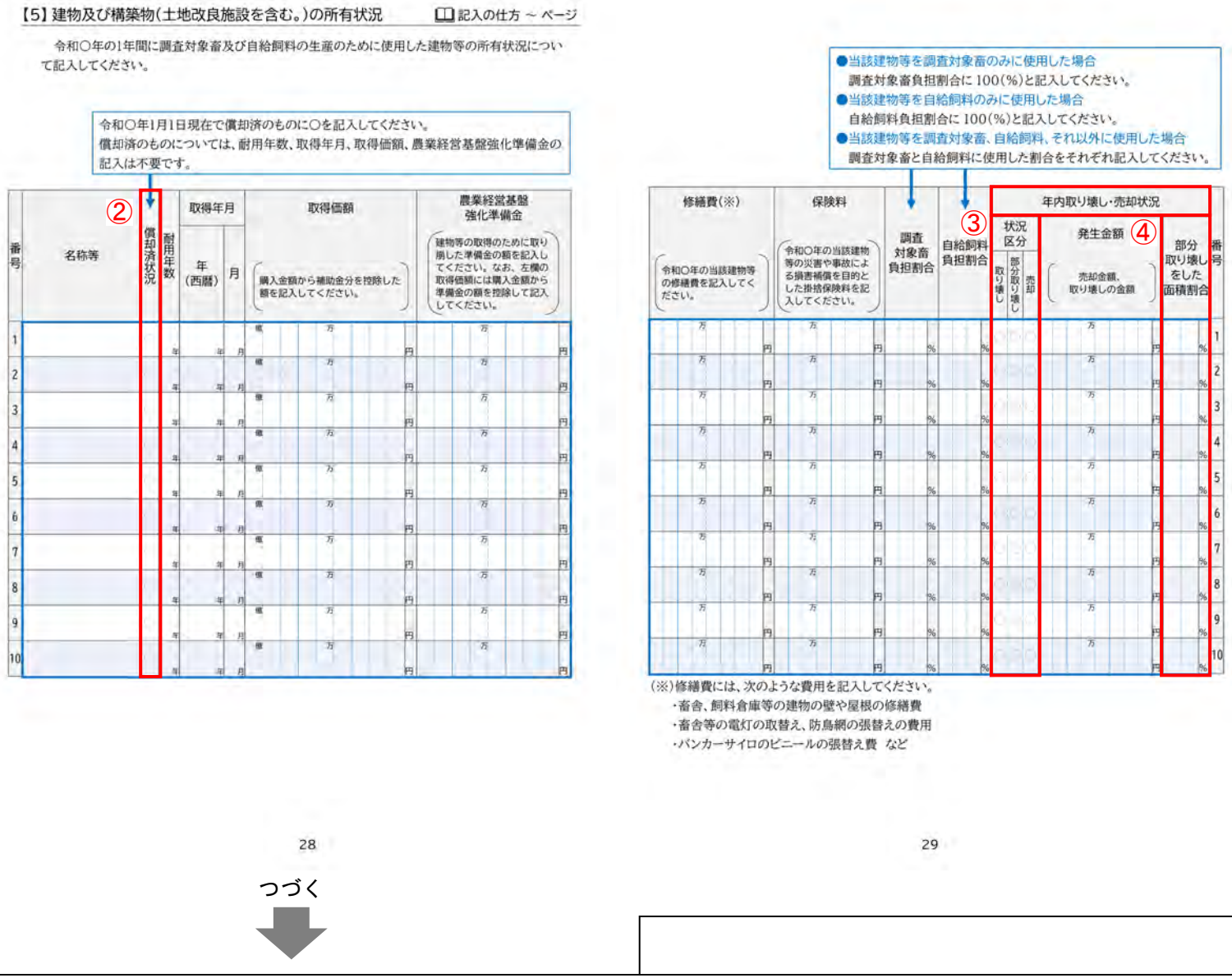
・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。
○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜又は自給牧草への使用面積割合を記入してください。
○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜又は自給牧草への使用日数割合を記入してください。

2 公課諸負担

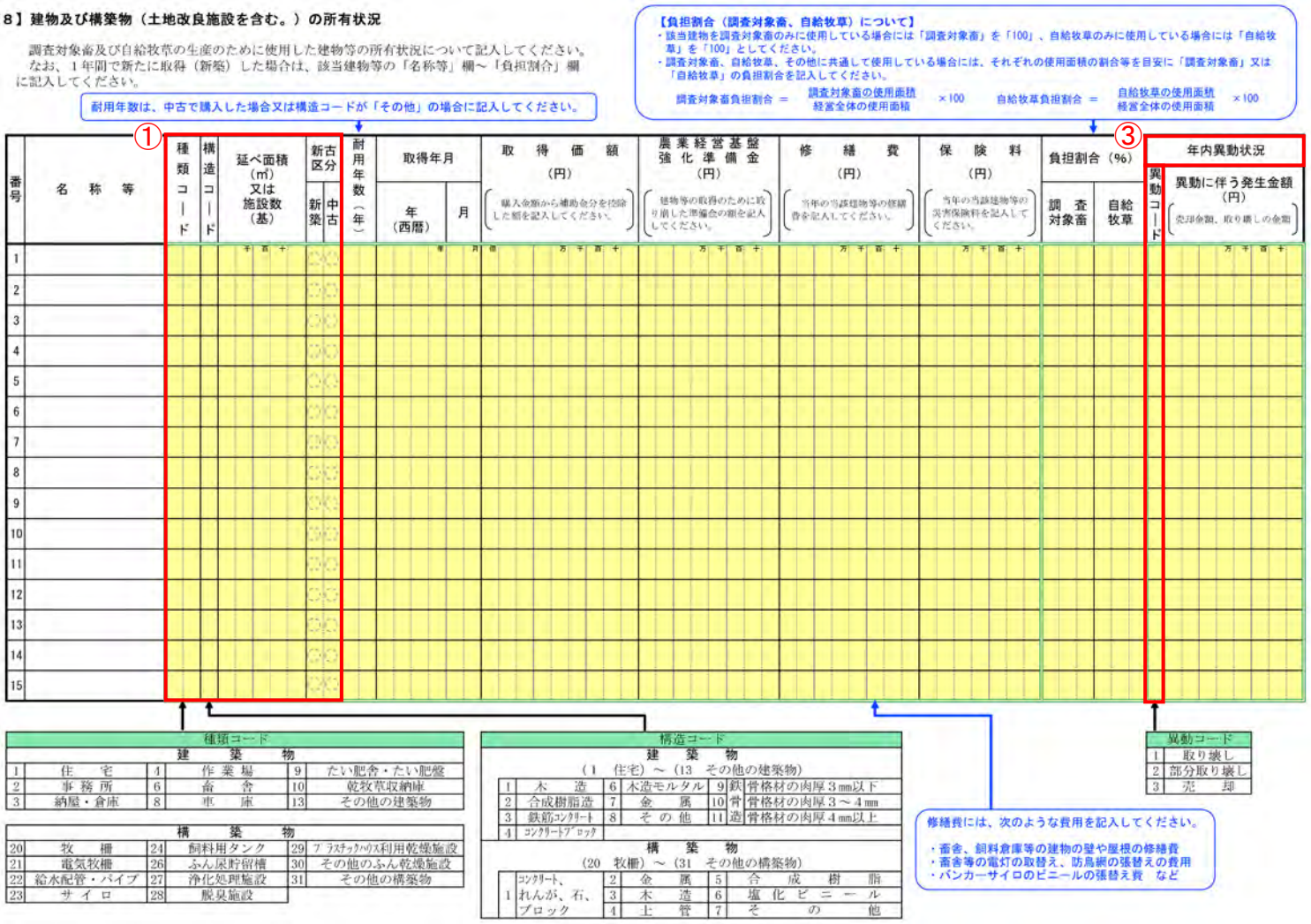
1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額（円）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	公課諸負担の例示
計	万 千 百 千			
集落協議会費				地域集落等の会費
農業協同組合費				農業協同組合の組合費、賦課金
肉用牛組合費				
農事実行組合費				実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金				

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。
○集落協議会費、農業協同組合費、肉用牛組合費及び農事実行組合費の場合は、農業収入に占める調査対象畜の収入割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。
○家畜共済組合賦課金の場合は、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前10ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上



【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
・該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。
調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100　　自給牧草負担割合 ＝ 自給牧草の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100

①　③

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（円）（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費（円）（当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（円）（当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	負担割合（%） 調査対象畜	負担割合（%） 自給牧草	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）（売却金額、取り壊しの金額）
1								年	月	千 百 十 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十				万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード

建築物					
1	住宅	4	作業場	9	たい肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	8	車庫	13	その他の建築物

構築物					
20	牧柵	24	飼料用タンク	29	プラスチックハウス利用乾燥施設
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設	31	その他の構築物
23	サイロ	28	脱臭施設		

構造コード

建築物（1　住宅）～（13　その他の建築物）

1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				

構築物（20　牧柵）～（31　その他の構築物）

1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード

1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

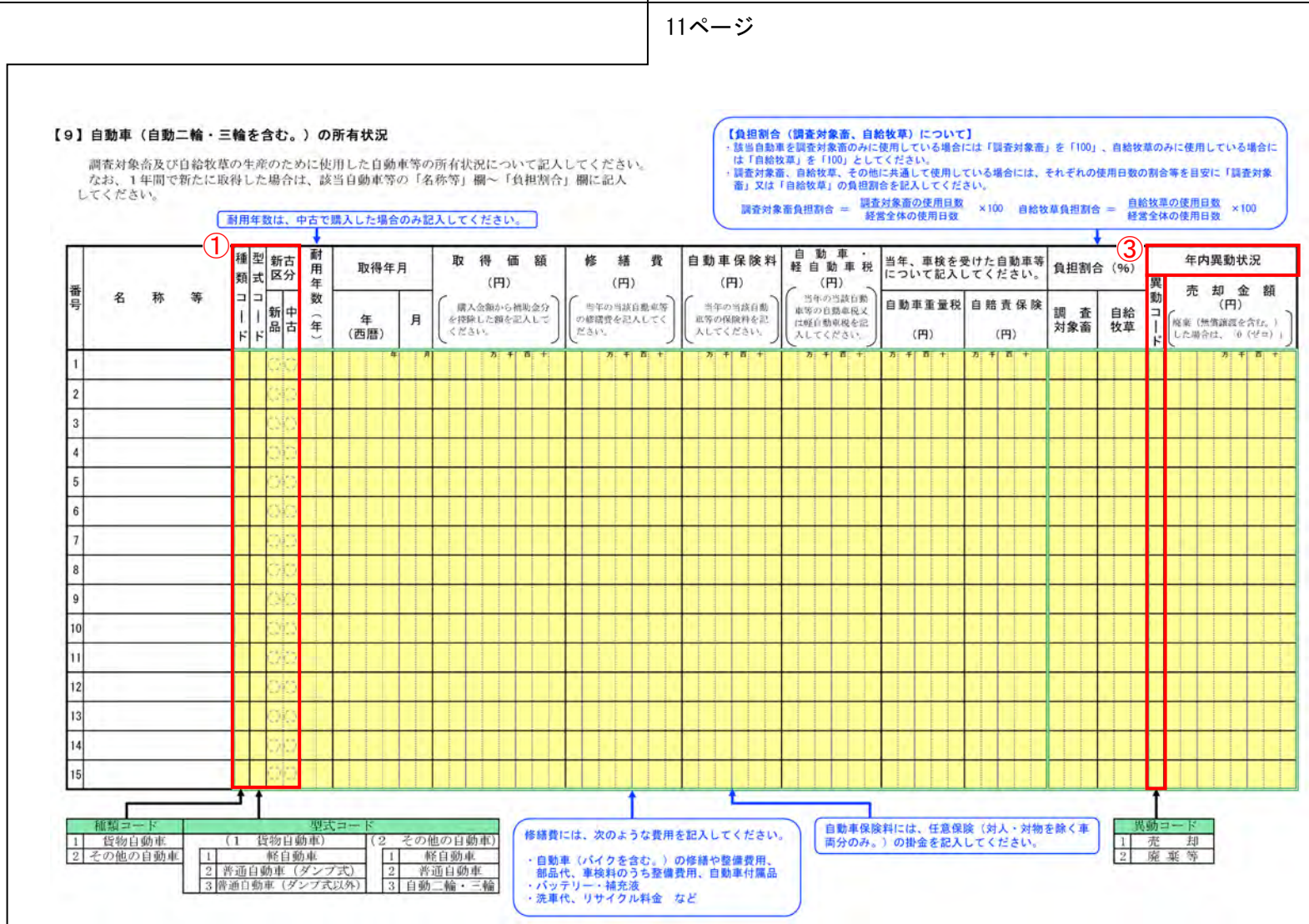
修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
・バンカーサイロのビニールの張替え費　など

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前11ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

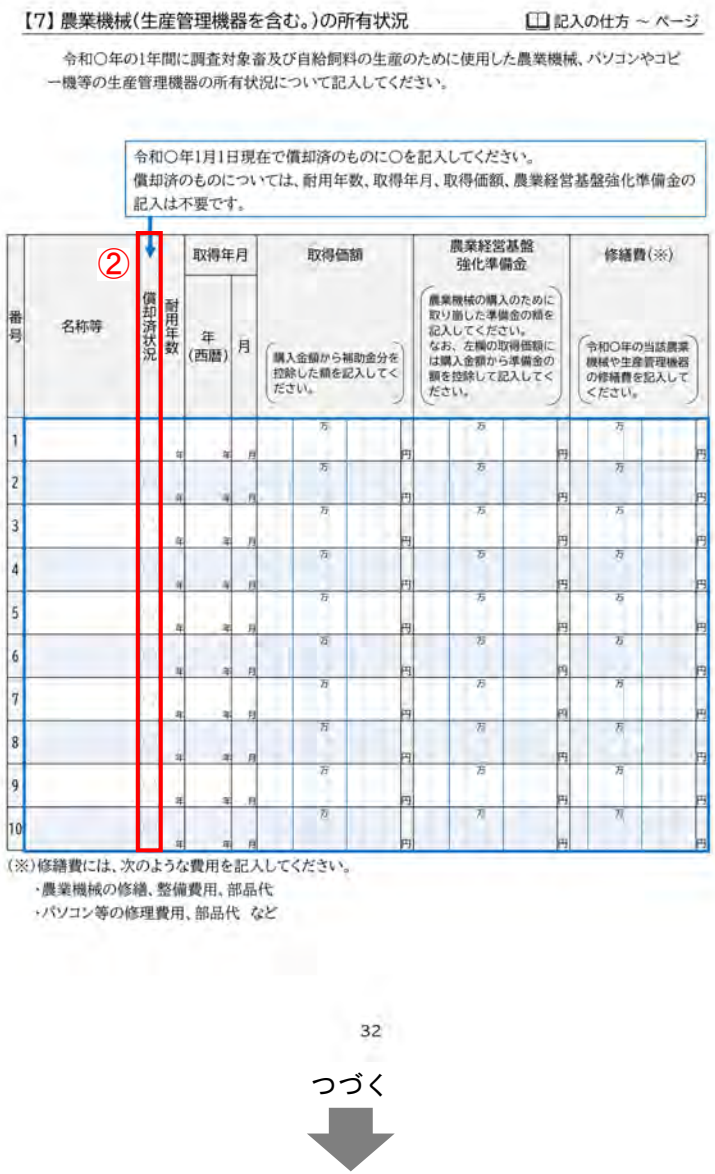


つづく



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	11ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ（変更前12ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更



【7】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況　　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

② 償却済状況

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。）	修繕費（※）（令和〇年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。）
1			年	年	月	万 円	万 円	万 円
2			年	年	月	万 円	万 円	万 円
3			年	年	月	万 円	万 円	万 円
4			年	年	月	万 円	万 円	万 円
5			年	年	月	万 円	万 円	万 円
6			年	年	月	万 円	万 円	万 円
7			年	年	月	万 円	万 円	万 円
8			年	年	月	万 円	万 円	万 円
9			年	年	月	万 円	万 円	万 円
10			年	年	月	万 円	万 円	万 円

（※）修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

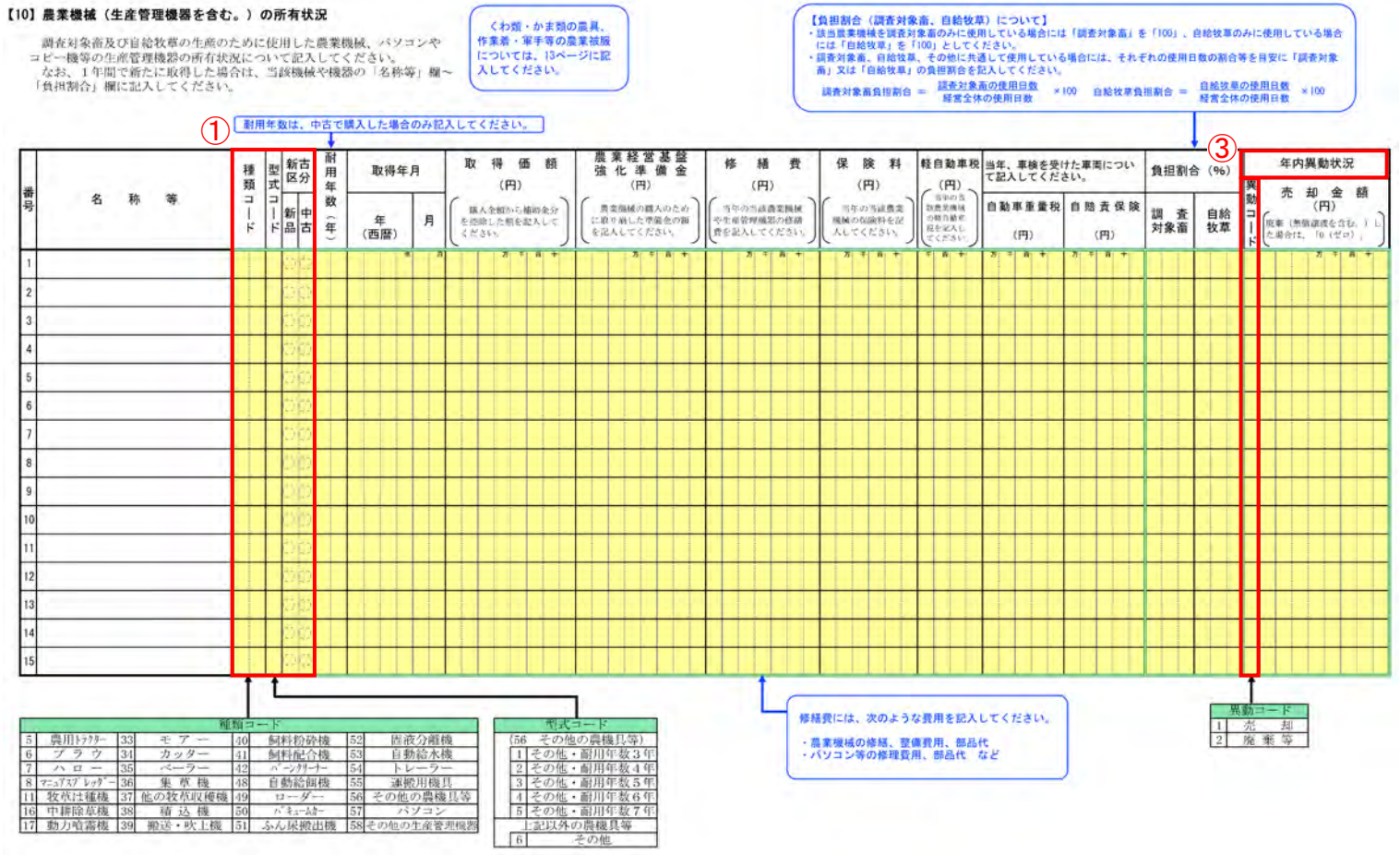
32

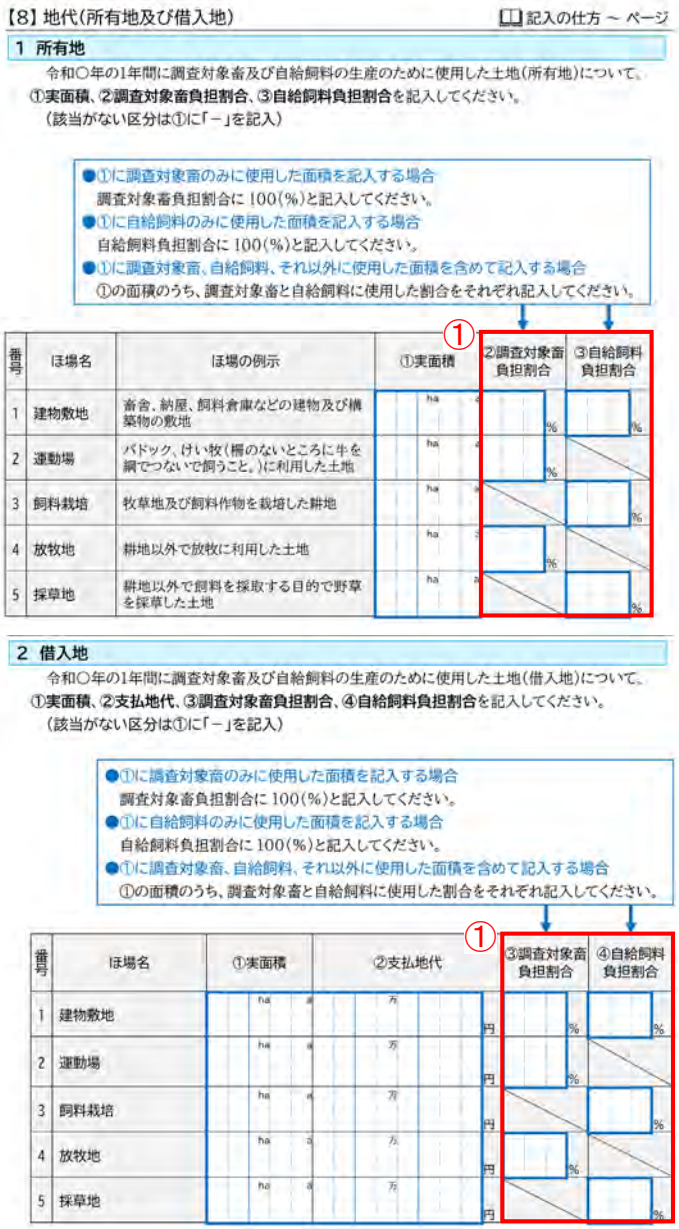
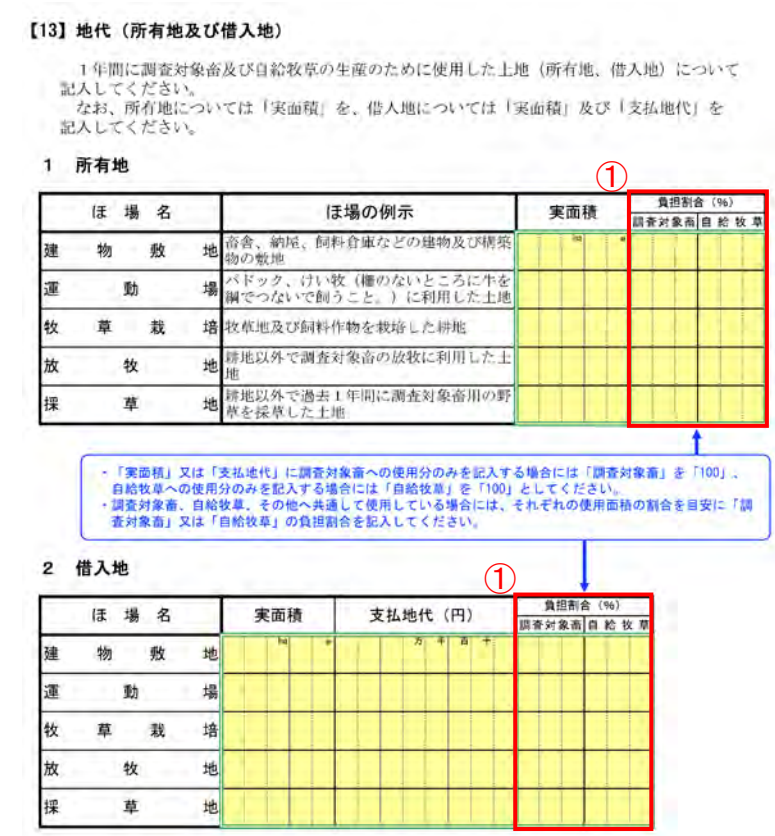
つづく

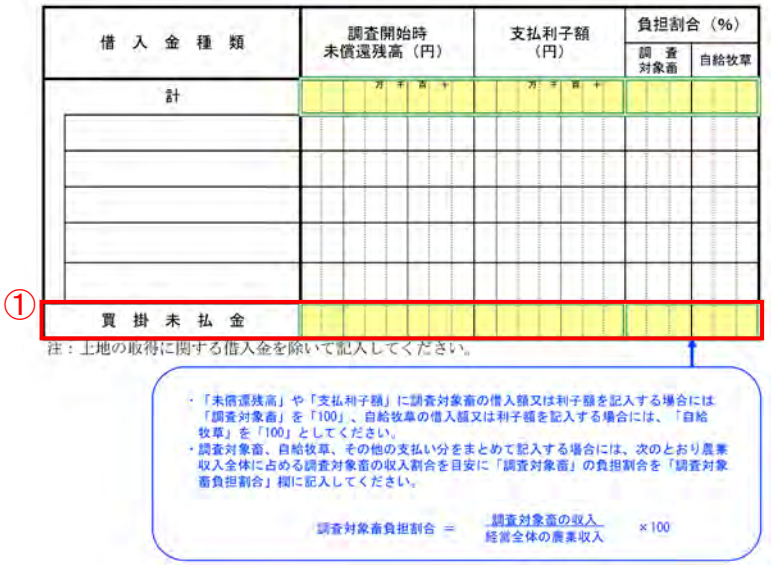
●当該農業機械等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

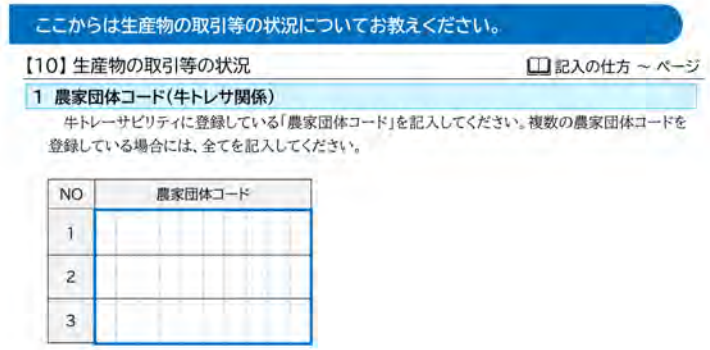
保険料（令和〇年の当該農業機械の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。）	軽自動車税（令和〇年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。）	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	③ 年内売却・廃棄状況 状況区分（売却）	③ 年内売却・廃棄状況 状況区分（廃棄・無償譲渡）	③ 年内売却・廃棄状況 売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	1
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	2
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	3
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	4
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	5
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	6
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	7
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	8
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	9
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	10

33

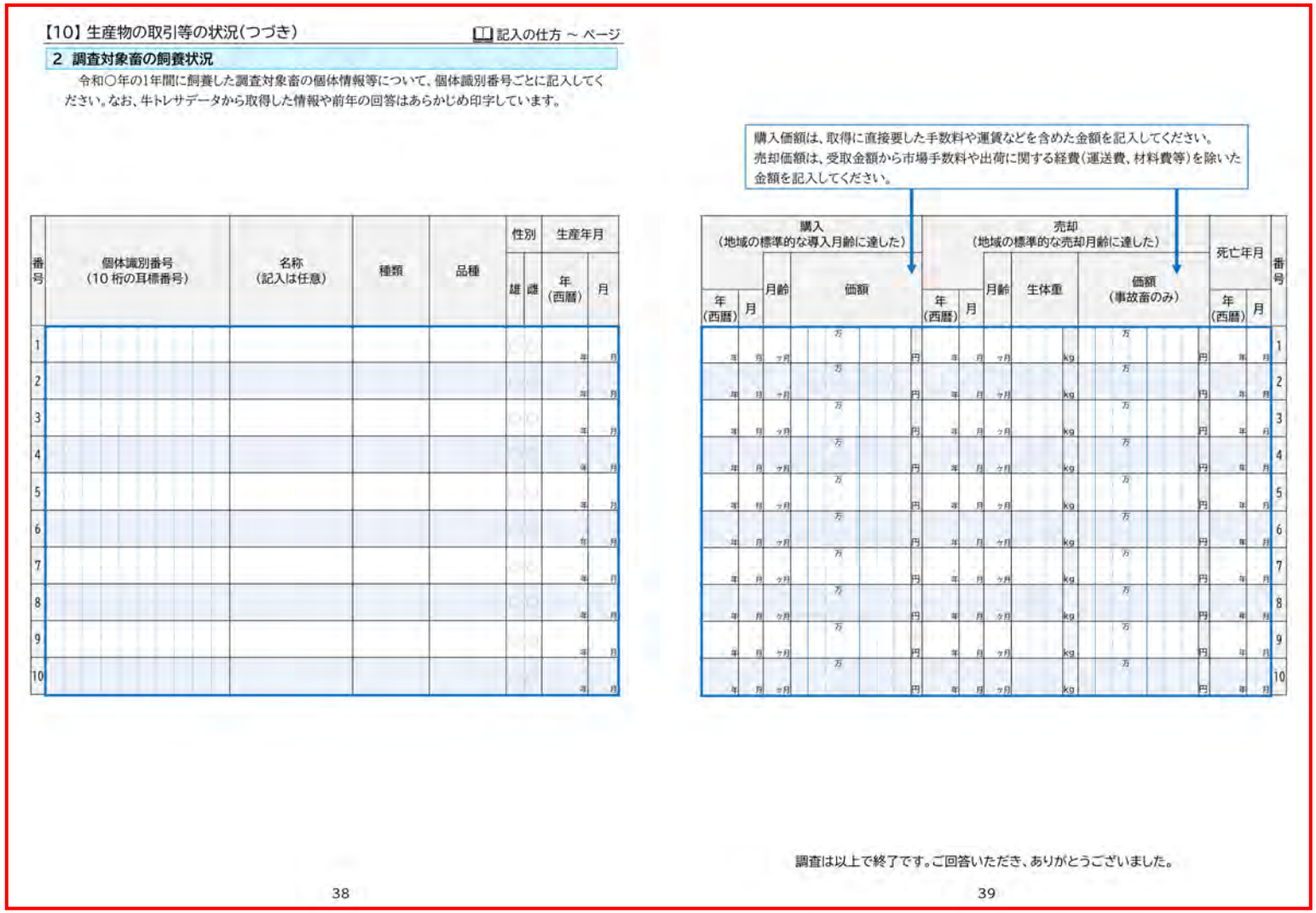
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	12ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34～35ページ 	14ページ 	所有地及び借入地の設問について、報告者が分かりやすいよう設問文をそれぞれの設問に追加 ①回答欄のうち、負担割合の記載が不要な項目に斜線を付与し、回答対象外に指定

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ  【9】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　記入の仕方 ～ ページ 調査対象畜及び自給飼料の生産のための借入金について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない区分は「－」を記入） 土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。 ●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合 自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合 ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。 資金名(用途) ①令和〇年1月1日時点の未償還残高 ②令和〇年の支払利子額 ③調査対象畜負担割合 ④自給飼料負担割合 「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要） 借入金 ① 買掛未払金 36	9ページ  【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（1月1日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。 また、1年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 借入金種類 調査開始時未償還残高（円） 支払利子額（円） 負担割合（%） 調査対象畜 自給牧草 計 ① 買掛未払金 注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。 ・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。 調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の収入 / 経営全体の農業収入 ×100	①借入金及び支払利子について、報告者の記入負担軽減を図るため、「計」のみを把握するよう変更 なお、回答が必須であった買掛未払金については、必要に応じて記入する扱いに変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
37ページ  ここからは生産物の取引等の状況についてお教えください。 【10】生産物の取引等の状況　記入の仕方 ～ページ 1 農家団体コード(牛トレサ関係) 牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。 NO / 農家団体コード 1 2 3 37	4ページ 【2】調査対象畜の取引状況 1　農家団体コード（牛トレサ関係） 牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。 複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。 農家団体コード1 / 農家団体コード2 / 農家団体コード3	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38～39ページ（変更前４ページと対比） ①		①報告者の記入負担軽減や記入漏れを防ぐため、調査期間内に異動（生産、購入、売却、死亡）があった調査対象畜のみを記入する方式から、異動の有無を問わず飼養した調査対象畜を牛トレサデータから取得した情報であらかじめ印字し、追記する方式に変更。



【10】生産物の取引等の状況（つづき）　記入の仕方 ～ページ

2 調査対象畜の飼養状況

令和○年の1年間に飼養した調査対象畜の個体情報等について、個体識別番号ごとに記入してください。なお、牛トレサデータから取得した情報や前年の回答はあらかじめ印字しています。

番号	個体識別番号（10桁の耳標番号）	名称（記入は任意）	種類	品種	性別 雄	性別 雌	生産年月 年（西暦）	生産年月 月
1							年	月
2							年	月
3							年	月
4							年	月
5							年	月
6							年	月
7							年	月
8							年	月
9							年	月
10							年	月

38

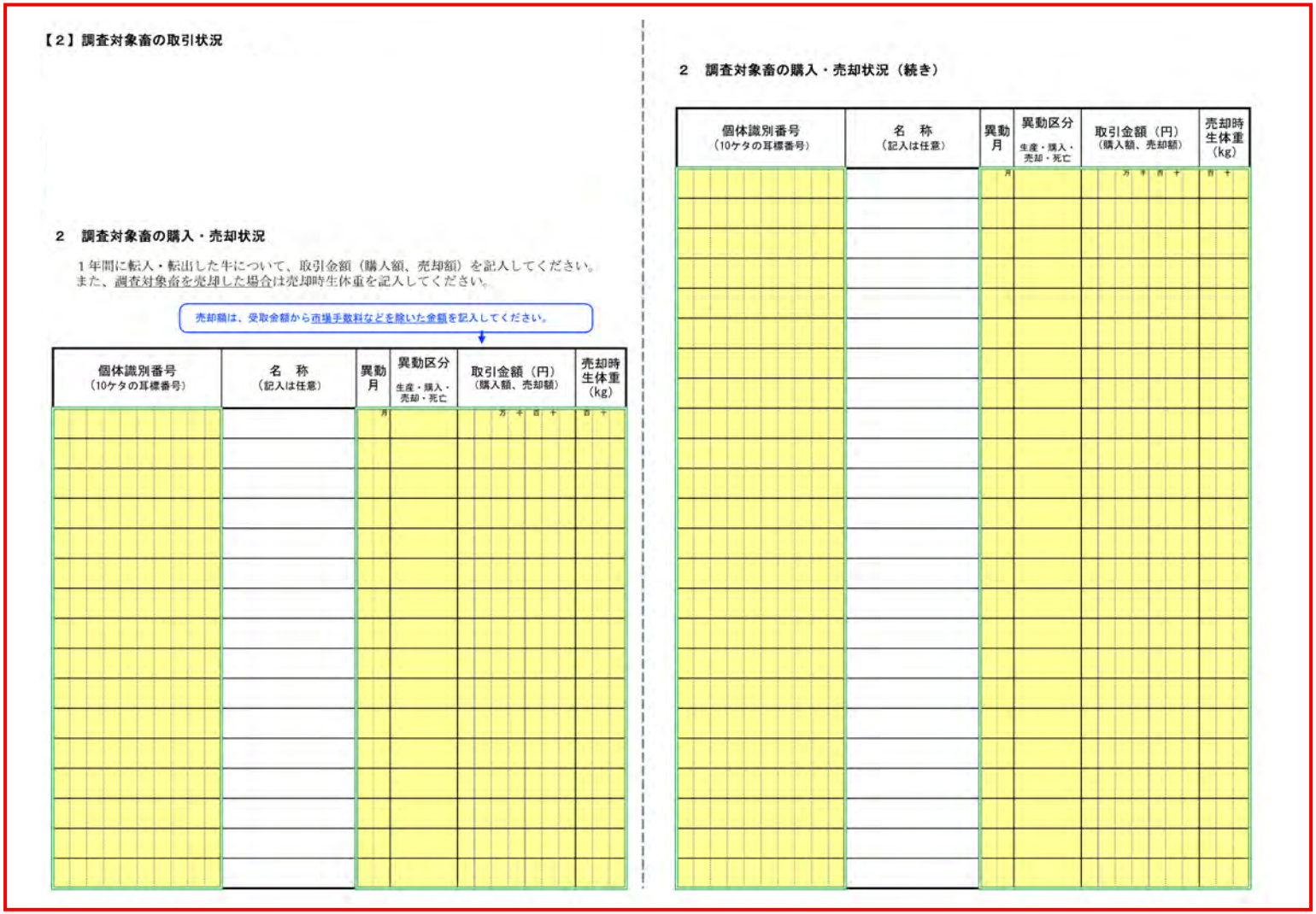
購入価額は、取得に直接要した手数料や運賃などを含めた金額を記入してください。
売却価額は、受取金額から市場手数料や出荷に関する経費（運送費、材料費等）を除いた金額を記入してください。

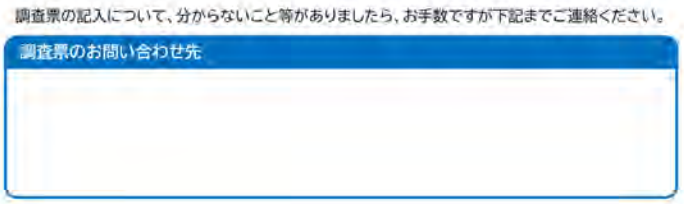
番号	購入（地域の標準的な導入月齢に達した） 年（西暦）	購入 月	購入 月齢	購入 価額	売却（地域の標準的な売却月齢に達した） 年（西暦）	売却 月	売却 月齢	売却 生体重	売却 価額（事故畜のみ）	死亡年月 年（西暦）	死亡年月 月	番号
1	年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	1
2	年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	2
3	年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	3
4	年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	4
5	年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	5
6	年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	6
7	年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	7
8	年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	8
9	年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	9
10	年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	10

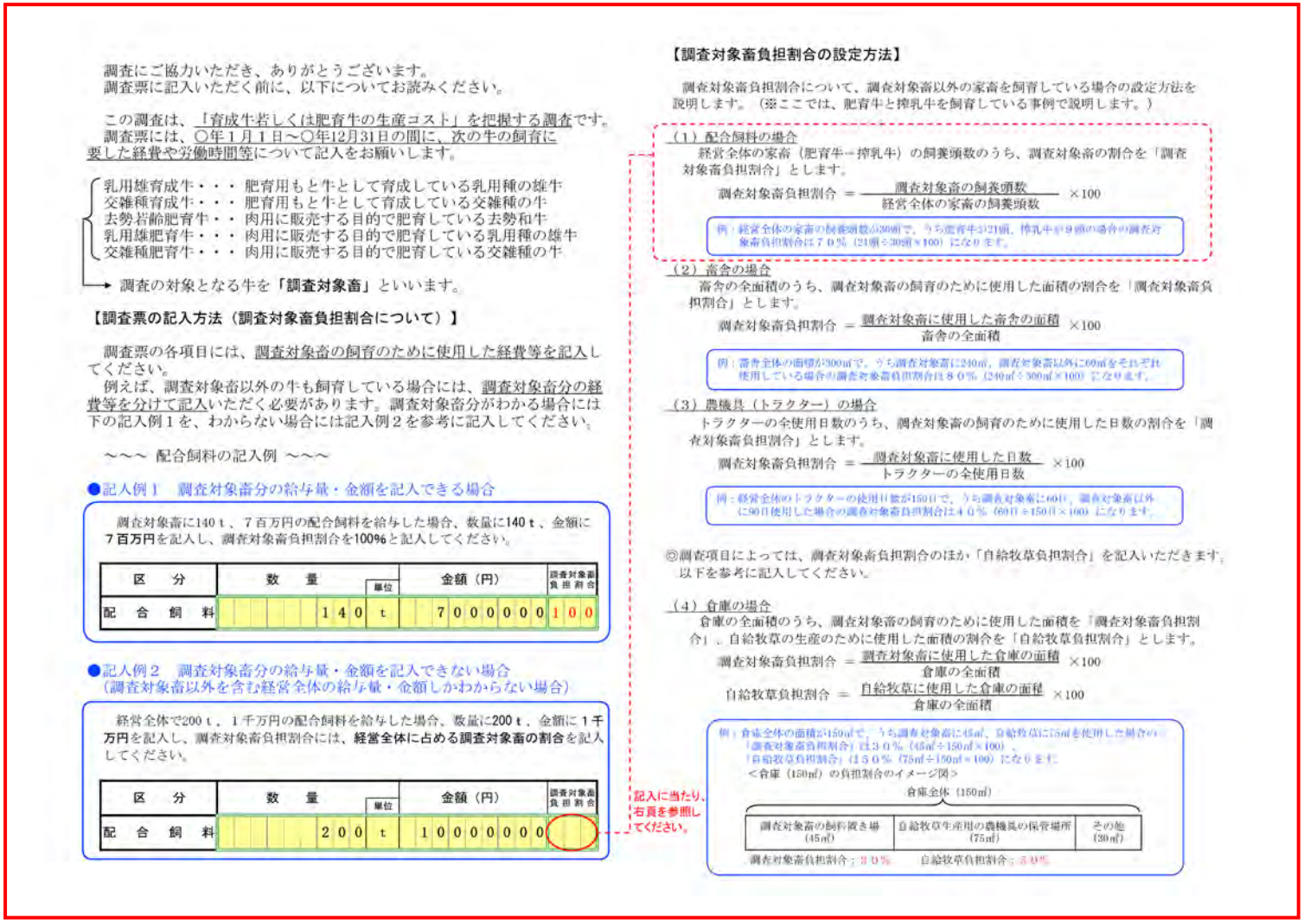
調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

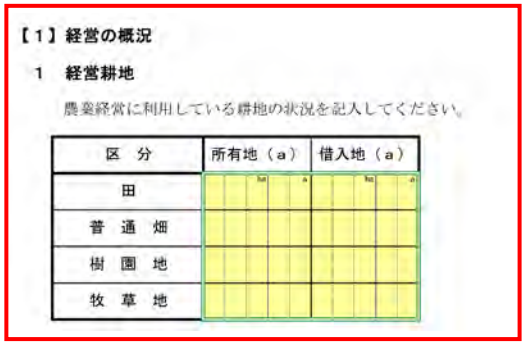
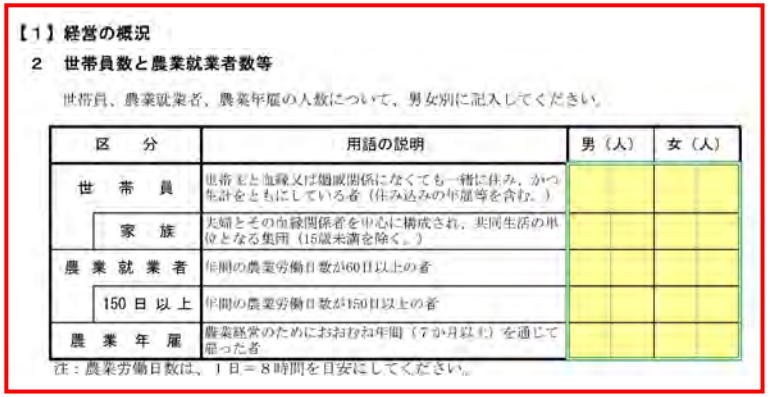
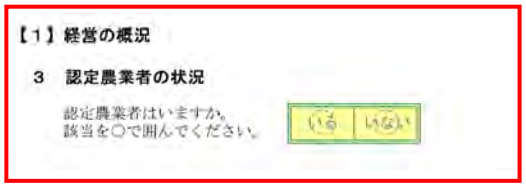
39

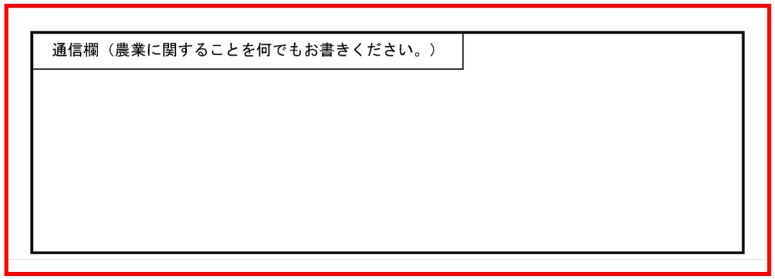
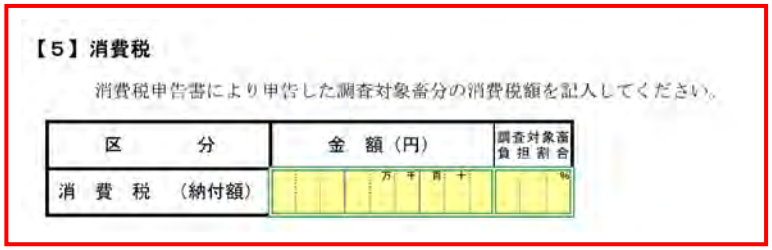
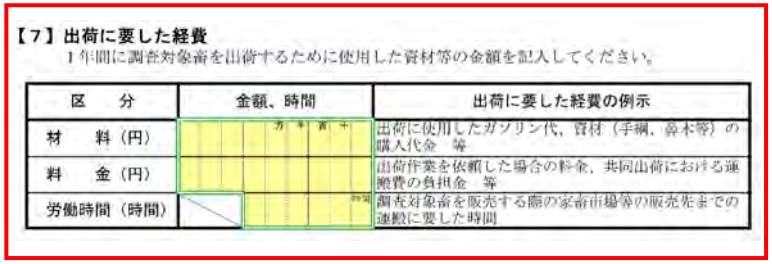
つづく

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
① 	４ページ	①同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
40ページ  調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。 調査票のお問い合わせ先	1ページ  農業経営統計調査 ○年 育成牛 ・ 肥育牛生産費統計調査票 [乳用雄育成牛・交雑種育成牛・去勢若齢肥育牛・乳用雄肥育牛・交雑種肥育牛]	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

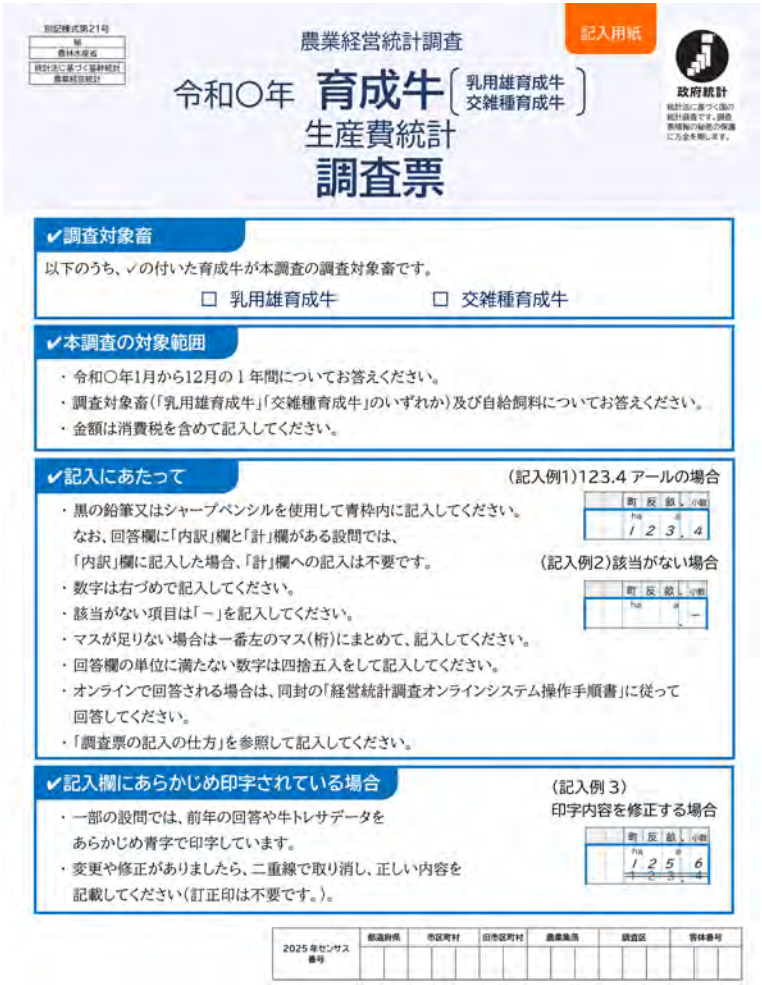
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ 	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（a） / 借入地（a） 田 普　通　畑 樹　園　地 牧　草　地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。 区　分 / 用語の説明 / 男（人） / 女（人） 世　帯　員 / 世帯主と血縁又は婚姻関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。） 家　族 / 夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。） 農業就業者 / 年間の農業労働日数が60日以上の者 150日以上 / 年間の農業労働日数が150日以上の者 農　業　年　雇 / 農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者 注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる　いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

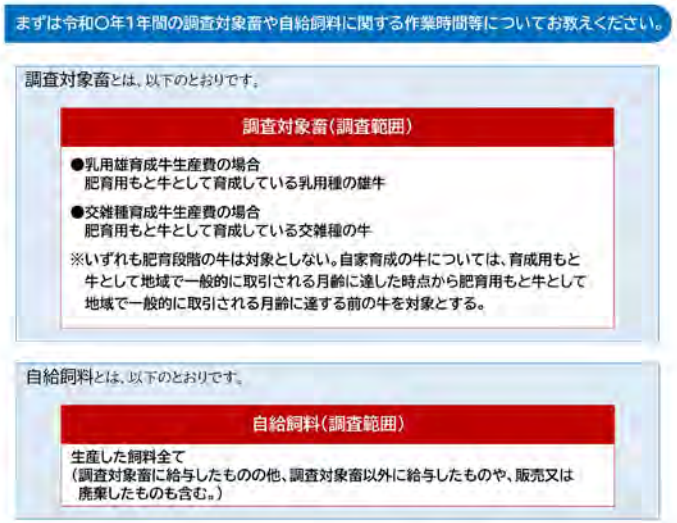
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除
（削除）	９ページ  	消費税について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	９ページ  	出荷に要した経費について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

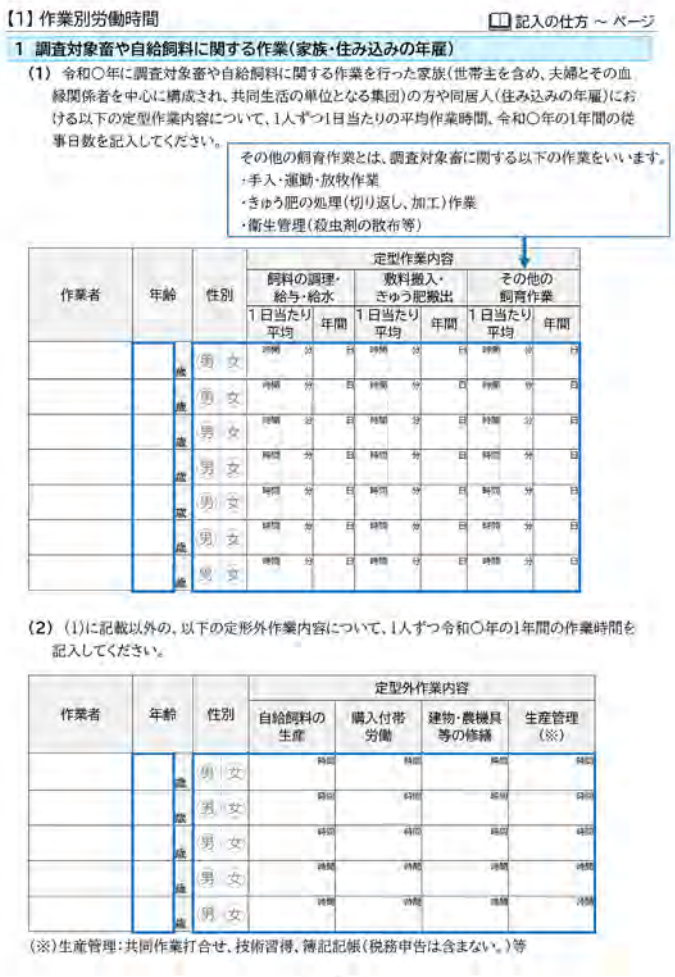
農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

２　畜産物生産費統計（育成牛）

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第21号 １ページ 	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 【1】作業別労働時間 ……5 【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等 ……8 【3】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……24 【4】物件税及び公課諸負担 ……26 【5】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……28 【6】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……30 【7】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……32 【8】地代(所有地及び借入地) ……34 【9】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……36 【10】生産物の取引等の状況 ……37	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
４ページ  	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
５ページ 	（新設）	

【1】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ ページ

1　調査対象畜や自給飼料に関する作業（家族・住み込みの年雇）

（1）令和〇年に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。

その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

作業者	年齢	性別	定型作業内容					
			飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・ぎゅう肥搬出		その他の飼育作業	
			1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

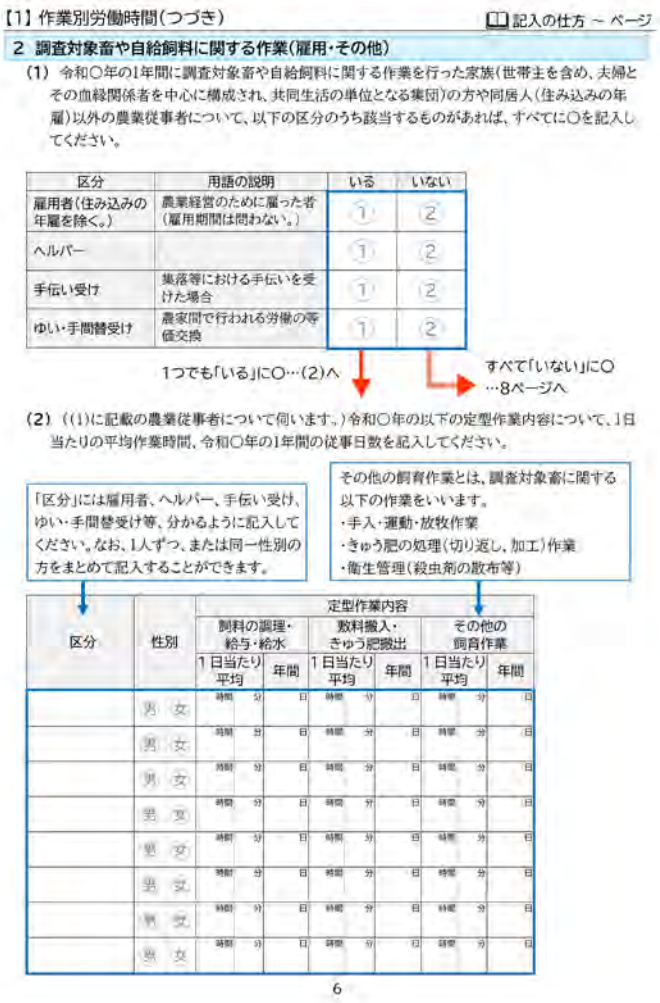
（2）（1）に記載以外の、以下の定形外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

作業者	年齢	性別	定型外作業内容			
			自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理（※）
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間

（※）生産管理：共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）等

5

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６～７ページ	（新設）	



【1】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

2 調査対象畜や自給飼料に関する作業（雇用・その他）

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの雇）以外の農業従事者について、以下の区分のうち該当するものがあれば、すべてに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
雇用者（住み込みの雇を除く。）	農業経営のために雇った者（雇用期間は問わない。）	1	2
ヘルパー		1	2
手伝い受け	集落等における手伝いを受けた場合	1	2
ゆい・手間替受け	農家間で行われる労働の等価交換	1	2

1つでも「いる」に〇…(2)へ

すべて「いない」に〇…8ページへ

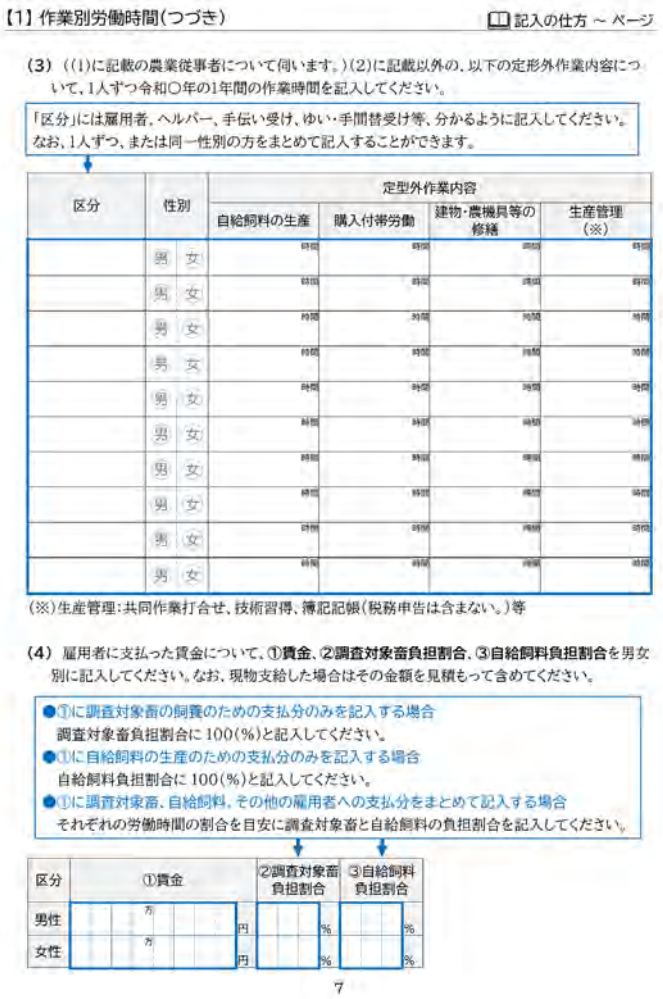
(2) ((1)に記載の農業従事者について伺います。）令和〇年の以下の定型作業内容について、1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

区分	性別	定型作業内容					
		飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
		1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

6



【1】作業別労働時間（つづき）　記入の仕方 ～ページ

(3) ((1)に記載の農業従事者について伺います。）(2)に記載以外の、以下の定形外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

区分	性別	定型外作業内容			
		自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理（※）
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間

(※)生産管理：共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）等

(4) 雇用者に支払った賃金について、**①賃金、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●①に調査対象畜の飼養のための支払分のみを記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料の生産のための支払分のみを記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、その他の雇用者への支払分をまとめて記入する場合
それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜と自給飼料の負担割合を記入してください。

区分	①賃金	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
男性	万 円	%	%
女性	万 円	%	%

7

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
8ページ 	（新設）	

ここからは令和〇年１年間の調査対象畜や自給飼料に使用した金額等についてお教えください。

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等　記入の仕方 ～ ページ

1 給与した飼料（購入分）

令和〇年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、**①給与数量**、**②単位**、**③給与数量分の購入金額**、**④調査対象畜負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は①又は③に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		①給与数量	②単位	③給与数量分の購入金額	④調査対象畜負担割合
穀類	大麦	億 万		億 万 円	%
	その他の麦	億 万		億 万 円	%
	とうもろこし	億 万		億 万 円	%
	大豆	億 万		億 万 円	%
	飼料用米	億 万		億 万 円	%
	その他の穀類	億 万		億 万 円	%
ぬか・ふすま類	ふすま	億 万		億 万 円	%
	米・麦ぬか	億 万		億 万 円	%
	その他のぬか・ふすま類	億 万		億 万 円	%
植物性かす類	大豆油かす	億 万		億 万 円	%
	ビートパルプ	億 万		億 万 円	%
	その他の植物性かす類	億 万		億 万 円	%
配合飼料		億 万		億 万 円	%
TMR（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）		億 万		億 万 円	%
牛乳脱脂乳		億 万		億 万 円	%
いも類及び野菜類		億 万		億 万 円	%
わら類	稲わら	億 万		億 万 円	%
	その他のわら類（麦わら等）	億 万		億 万 円	%
生牧草		億 万		億 万 円	%
乾牧草	ヘイキューブ	億 万		億 万 円	%
	その他の乾牧草	億 万		億 万 円	%
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）	億 万		億 万 円	%
	稲発酵粗飼料	億 万		億 万 円	%
	その他のサイレージ	億 万		億 万 円	%
上記以外の購入飼料				億 万 円	%

8

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ 	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10～11ページ	（新設）	



【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ ページ

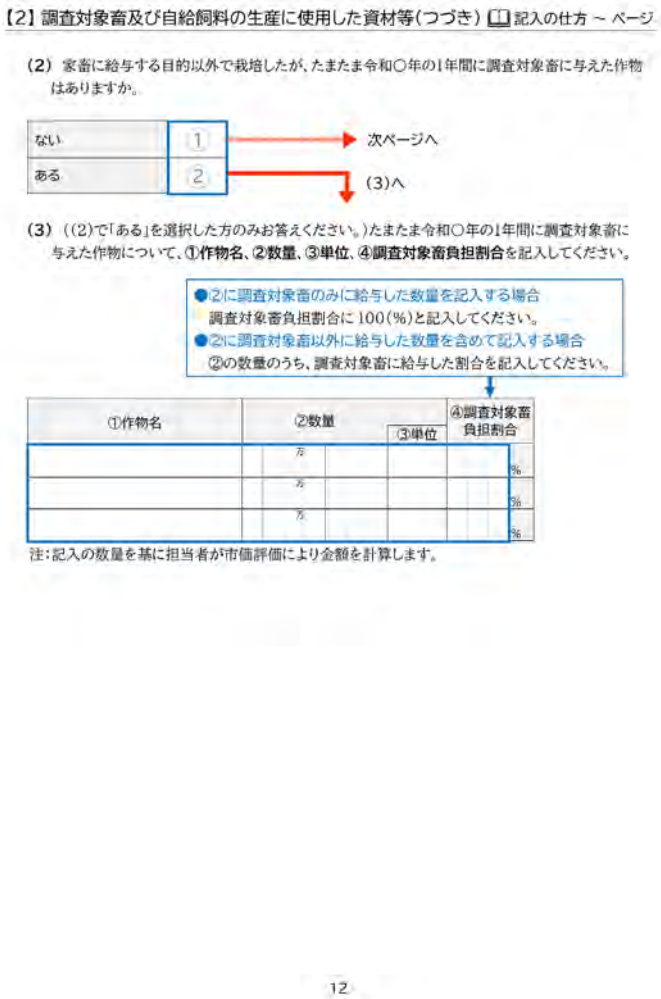
3 給与した飼料（自給分）

（1） 家畜に給与する目的で栽培した飼料のうち、令和○年の1年間に調査対象畜に与えた飼料について、**①数量、②単位、③調査対象畜負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		飼料の例示	生牧草等（生で給与するもの） ①数量	② 単位	③ 調査対象畜負担割合	乾牧草（乾燥させて給与するもの） ①数量	② 単位	③ 調査対象畜負担割合	サイレージ（発酵させて給与するもの） ①数量	② 単位	③ 調査対象畜負担割合
いね科	デントコーン		万		%	万		%	万		%
	イタリアンライグラス		万		%	万		%	万		%
	ソルゴー		万		%	万		%	万		%
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ									
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草	万		%	万		%	万		%
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草	万		%	万		%	万		%
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草	万		%	万		%	万		%
その他の飼料		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等	万		%	万		%	万		%
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類	万		%	万		%	万		%
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等	万		%	万		%	万		%
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの	万		%	万		%	万		%
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの				万		%			
放牧時間		放牧場における放牧時間	万	時間	%						

10　　11

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ 	（新設）	

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき） 記入の仕方 ～ ページ

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培したが、たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物はありますか。

ない	1	→ 次ページへ
ある	2	→ (3)へ

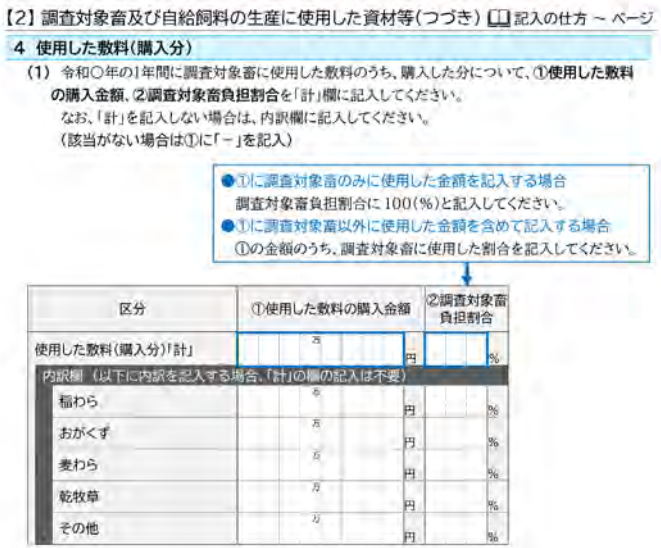
(3) ((2)で「ある」を選択した方のみお答えください。)たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物について、**①作物名、②数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

①作物名	②数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

12

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ 	（新設）	

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ

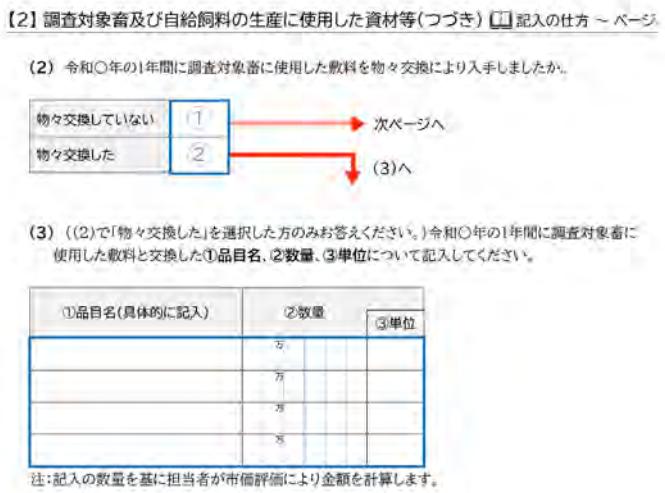
4 使用した敷料(購入分)

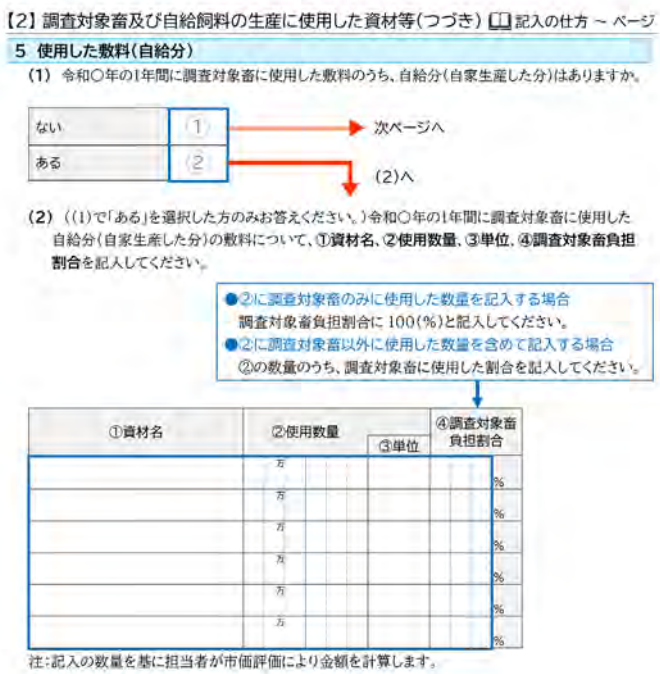
(1) 令和○年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、購入した分について、**①使用した敷料の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

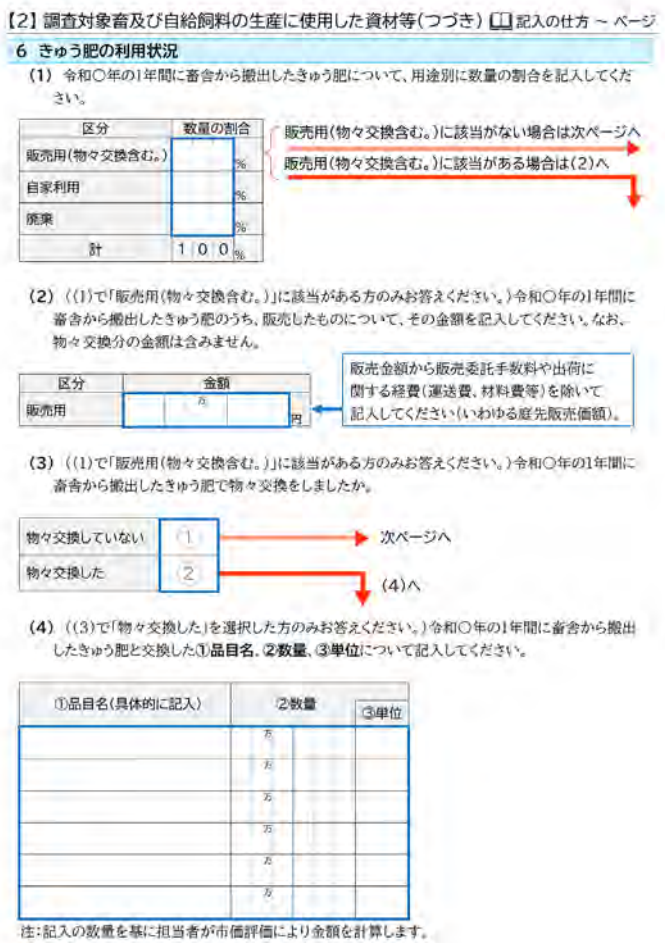
●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

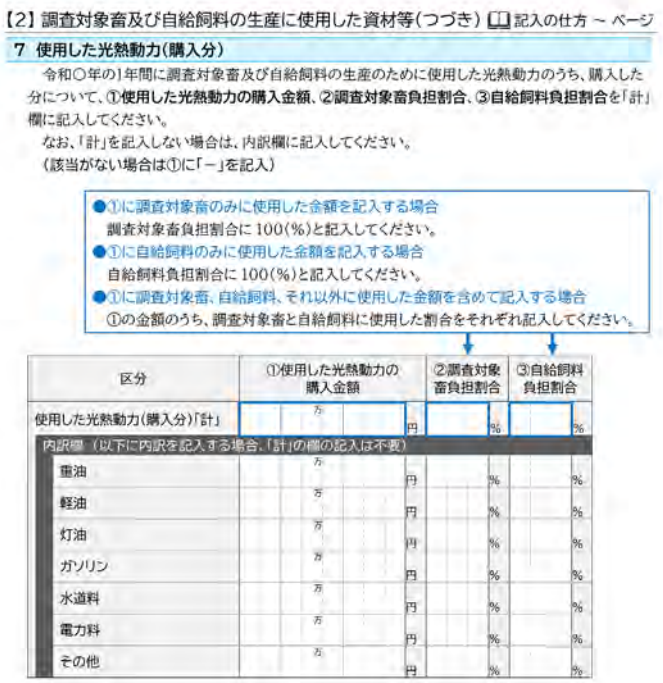
区分	①使用した敷料の購入金額	②調査対象畜負担割合
使用した敷料(購入分)「計」	円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)		
稲わら	円	%
おがくず	円	%
麦わら	円	%
乾牧草	円	%
その他	円	%

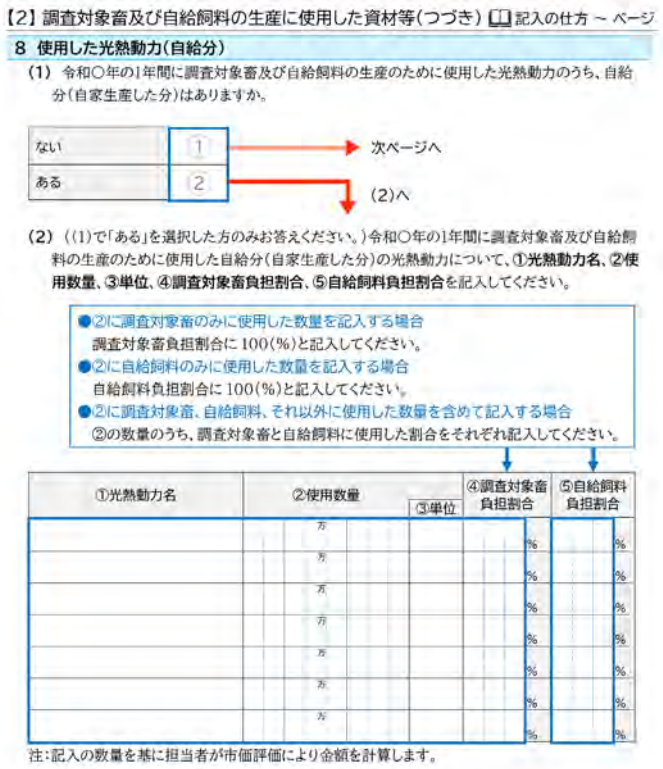
13

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ページ (2) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料を物々交換により入手しましたか。 物々交換していない　1　→ 次ページへ 物々交換した　2　→ (3)へ (3) ((2)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料と交換した①品目名、②数量、③単位について記入してください。 ①品目名(具体的に記入)　②数量　③単位 万 万 万 万 注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 14	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ 5 使用した敷料(自給分) (1) 令和○年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない ① → 次ページへ ある ② → (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の敷料について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。 ●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合 ②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。 ①資材名 / ②使用数量 / ③単位 / ④調査対象畜負担割合 注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 15	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ 6 きゅう肥の利用状況 （1） 令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に数量の割合を記入してください。 区分 / 数量の割合 販売用（物々交換含む。） % 自家利用 % 廃棄 % 計 100 % 販売用（物々交換含む。）に該当がない場合は次ページへ 販売用（物々交換含む。）に該当がある場合は（2）へ （2） （（1）で「販売用（物々交換含む。）」に該当がある方のみお答えください。）令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥のうち、販売したものについて、その金額を記入してください。なお、物々交換分の金額は含みません。 区分 / 金額 販売用 万 円 販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、材料費等）を除いて記入してください（いわゆる産先販売価額）。 （3） （（1）で「販売用（物々交換含む。）」に該当がある方のみお答えください。）令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥で物々交換をしましたか。 物々交換していない 1 → 次ページへ 物々交換した 2 → （4）へ （4） （（3）で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。）令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥と交換した①品目名、②数量、③単位について記入してください。 ①品目名（具体的に記入） / ②数量 / ③単位 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 16	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ **7 使用した光熱動力(購入分)** 令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用した光熱動力の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合 自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合 ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。 区分 / ①使用した光熱動力の購入金額 / ②調査対象畜負担割合 / ③自給飼料負担割合 使用した光熱動力(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要) 重油 軽油 灯油 ガソリン 水道料 電力料 その他 17	(新設)	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ 	（新設）	

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ ページ

8 使用した光熱動力（自給分）

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、自給分（自家生産した分）はありますか。

ない	1	→ 次ページへ
ある	2	→ (2)へ

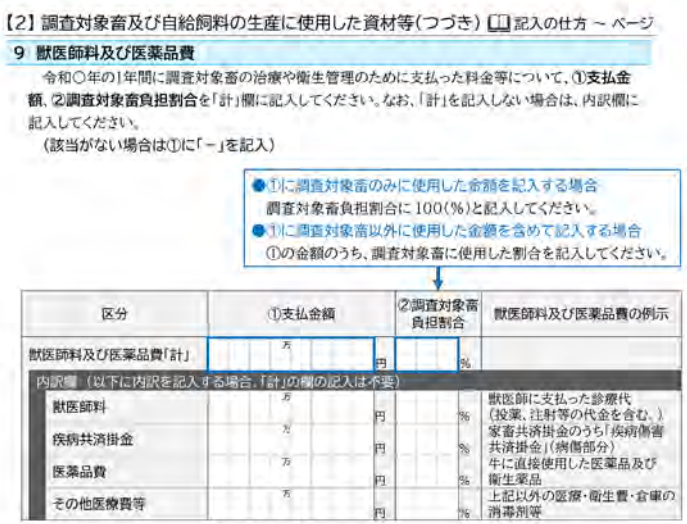
(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。) 令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分（自家生産した分）の光熱動力について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。

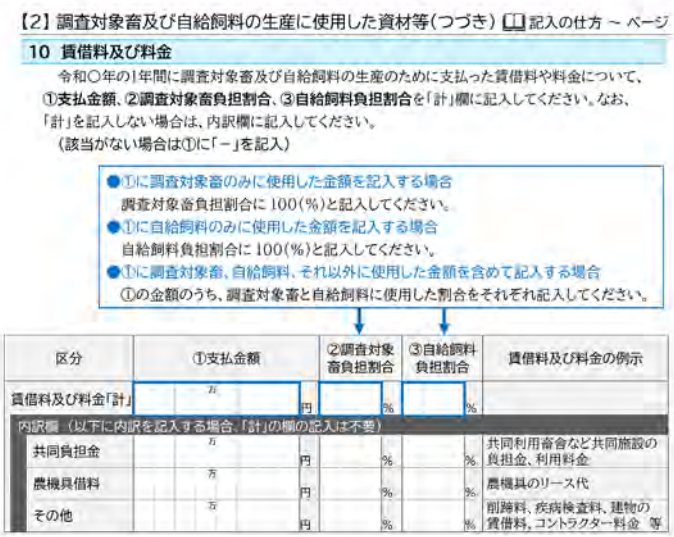
●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合	⑤自給飼料負担割合
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

18

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ 9 獣医師料及び医薬品費 令和〇年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合 ①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。 区分 / ①支払金額 / ②調査対象畜負担割合 / 獣医師料及び医薬品費の例示 獣医師料及び医薬品費「計」 万 円 % 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要） 獣医師料 万 円 % 獣医師に支払った診療代(投薬、注射等の代金を含む。) 疾病共済掛金 万 円 % 家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分) 医薬品費 万 円 % 牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品 その他医療費等 万 円 % 上記以外の医療・衛生費・倉庫の消毒剤等 19	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ 	（新設）	

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ

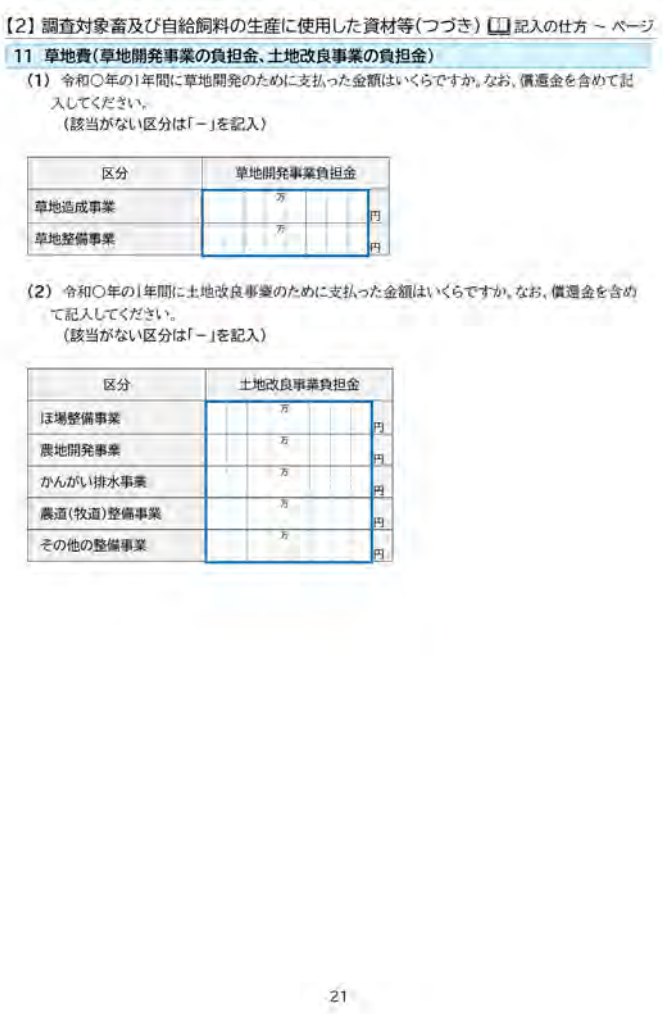
10 賃借料及び料金

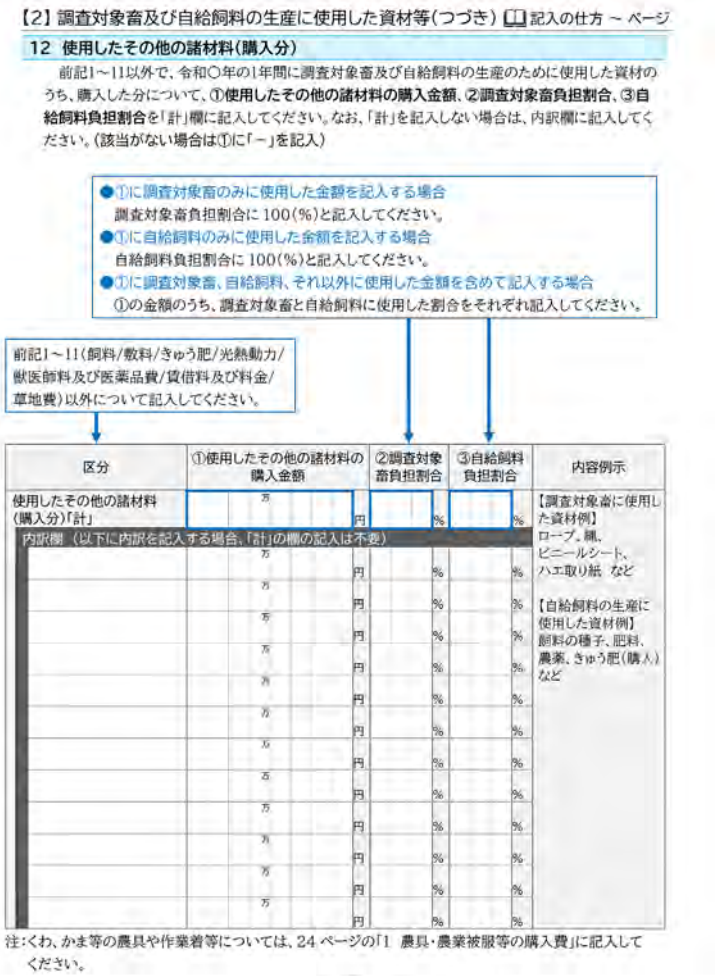
令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

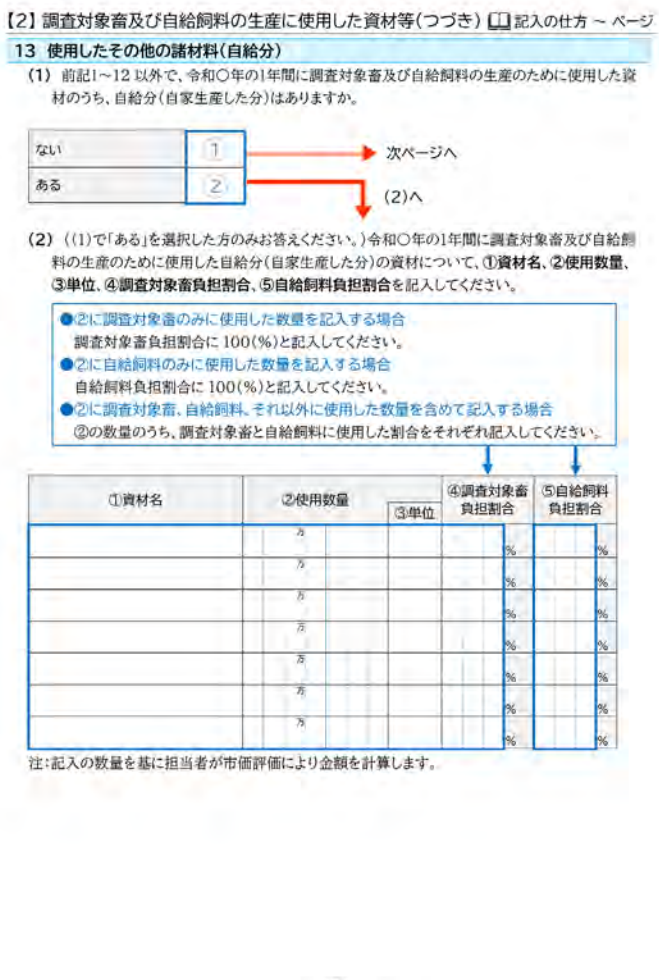
- ●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
  調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
  自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
  ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」	万 円	%	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
共同負担金	万 円	%	%	共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	万 円	%	%	農機具のリース代
その他	万 円	%	%	削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金　等

20

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ 11 草地費(草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金) (1) 令和○年の1年間に草地開発のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。 (該当がない区分は「－」を記入) 区分 / 草地開発事業負担金 草地造成事業 / 万 円 草地整備事業 / 万 円 (2) 令和○年の1年間に土地改良事業のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。 (該当がない区分は「－」を記入) 区分 / 土地改良事業負担金 ほ場整備事業 / 万 円 農地開発事業 / 万 円 かんがい排水事業 / 万 円 農道(牧道)整備事業 / 万 円 その他の整備事業 / 万 円 21	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22ページ  【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ 12 使用したその他の諸材料(購入分) 前記1～11以外で、令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、購入した分について、**①使用したその他の諸材料の購入金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(該当がない場合は①に「－」を記入) ●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合 調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。 ●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合 自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合 ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。 前記1～11(飼料/敷料/きゅう肥/光熱動力/獣医師料及び医薬品費/賃借料及び料金/草地費)以外について記入してください。 区分 / ①使用したその他の諸材料の購入金額 / ②調査対象畜負担割合 / ③自給飼料負担割合 / 内容例示 使用したその他の諸材料(購入分)「計」 万 円 % % 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要) 万 円 % % 内容例示:【調査対象畜に使用した資材例】ロープ、網、ビニールシート、ハエ取り紙 など 【自給飼料の生産に使用した資材例】飼料の種子、肥料、農薬、きゅう肥(購入)など 注:くわ、かま等の農具や作業着等については、24 ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。 22	(新設)	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
23ページ 	（新設）	

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等(つづき) 記入の仕方 ～ ページ

13 使用したその他の諸材料(自給分)

(1) 前記1～12 以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	1 → 次ページへ
ある	2 → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の資材について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。

- ②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
  調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
- ②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
  自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
- ②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
  ②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合	⑤自給飼料負担割合
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

23

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24ページ 	（新設）	

【3】農具の購入費・生産管理関係の費用等　　記入の仕方 ～ ページ

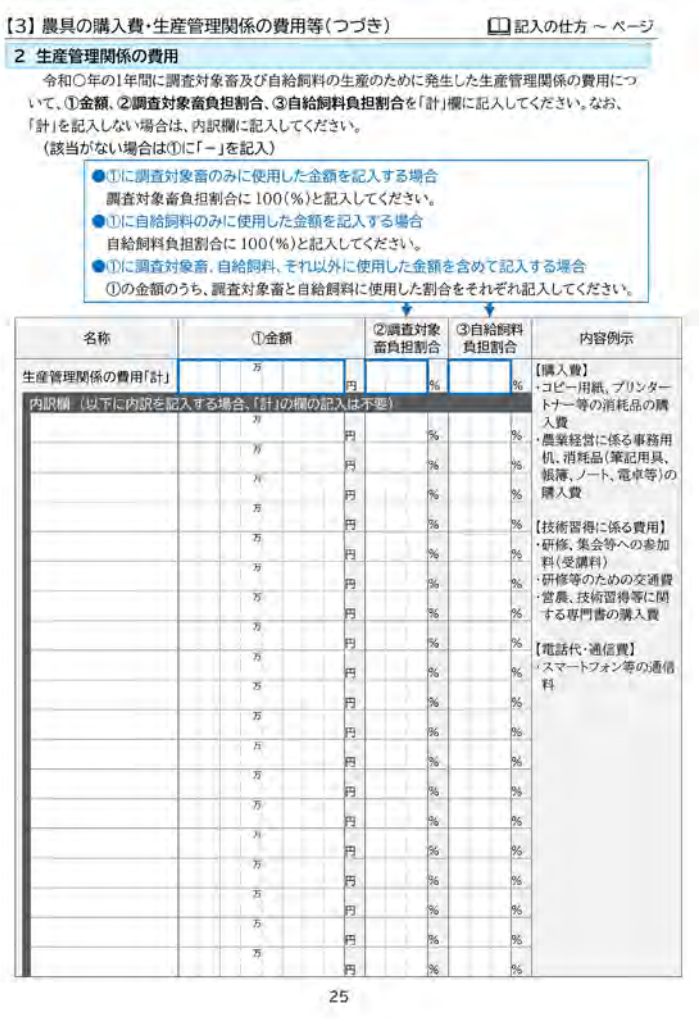
1　農具・農業被服等の購入費

令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために新たに購入し使用した農具や農業被服等について、**①使用した農具・農業被服等の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

- ①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
  調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
  自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
- ①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
  ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①使用した農具・農業被服等の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・スコップ類 ・ホース ・じょうろ ・草かき ・飼料桶 等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業費 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	

24

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
25ページ 	（新設）	

【3】農具の購入費・生産管理関係の費用等（つづき）　記入の仕方 ～ページ

2 生産管理関係の費用

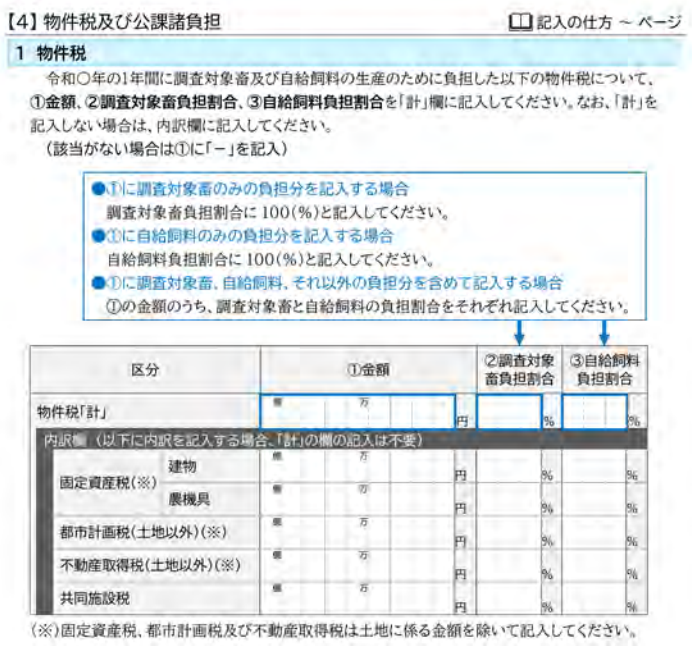
令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万 円	%	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	

25

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26ページ 	（新設）	

【4】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ ページ

1 物件税

令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の物件税について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

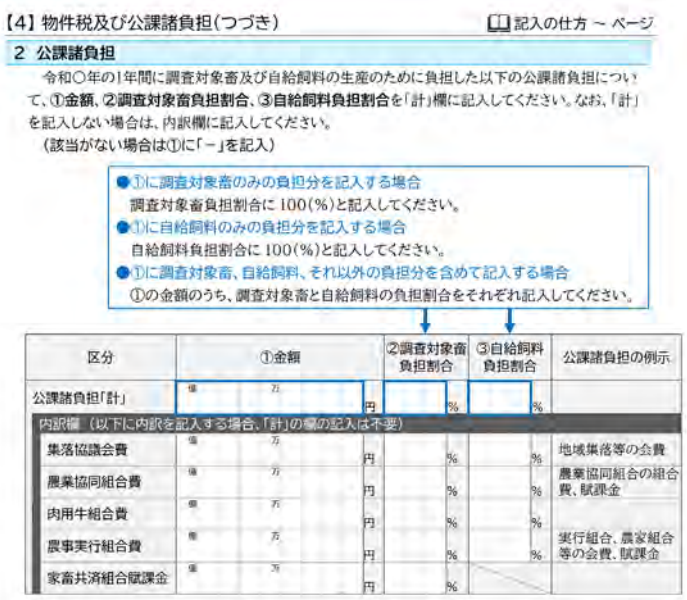
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

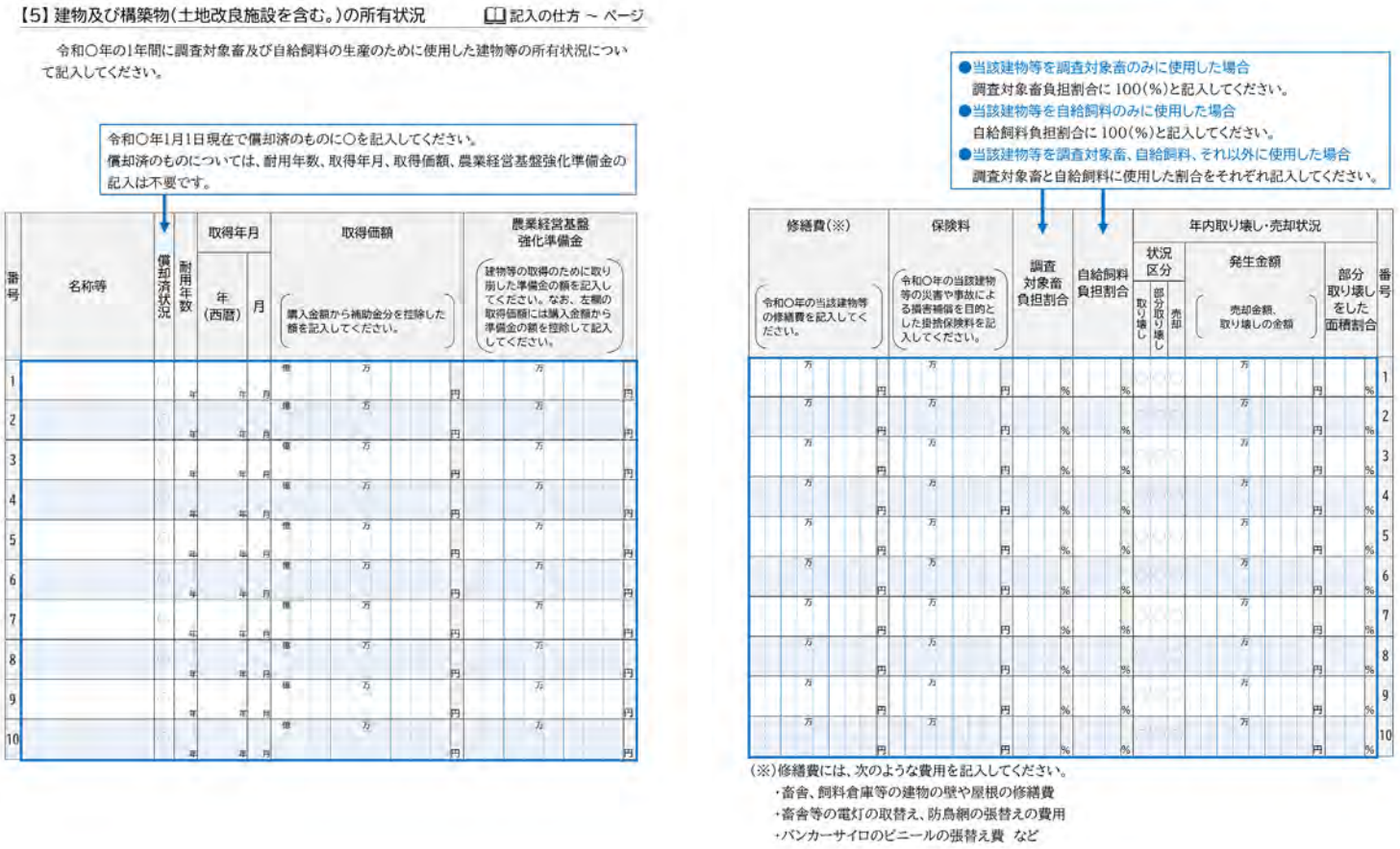
区分		①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
物件税「計」		億 万 円	%	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
固定資産税(※)	建物	億 万 円	%	%
	農機具	億 万 円	%	%
都市計画税(土地以外)(※)		億 万 円	%	%
不動産取得税(土地以外)(※)		億 万 円	%	%
共同施設税		億 万 円	%	%

(※)固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係る金額を除いて記入してください。

26

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
27ページ  【4】物件税及び公課諸負担（つづき）　記入の仕方 ～ ページ 2 公課諸負担 令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の公課諸負担について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 （該当がない場合は①に「－」を記入） ●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合 自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合 ①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。 区分 / ①金額 / ②調査対象畜負担割合 / ③自給飼料負担割合 / 公課諸負担の例示 公課諸負担「計」 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要） 集落協議会費 農業協同組合費 肉用牛組合費 農事実行組合費 家畜共済組合賦課金 地域集落等の会費 農業協同組合の組合費、賦課金 実行組合、農家組合等の会費、賦課金 27	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ	（新設）	



【5】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。）
1			年	年	月	億 万 円	万 円
2			年	年	月	億 万 円	万 円
3			年	年	月	億 万 円	万 円
4			年	年	月	億 万 円	万 円
5			年	年	月	億 万 円	万 円
6			年	年	月	億 万 円	万 円
7			年	年	月	億 万 円	万 円
8			年	年	月	億 万 円	万 円
9			年	年	月	億 万 円	万 円
10			年	年	月	億 万 円	万 円

28

●当該建物等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該建物等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●当該建物等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

修繕費(※)（令和〇年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料（令和〇年の当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。）	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内取り壊し・売却状況 状況区分 取り壊し	年内取り壊し・売却状況 状況区分 部分取り壊し	年内取り壊し・売却状況 状況区分 売却	年内取り壊し・売却状況 発生金額（売却金額、取り壊しの金額）	部分取り壊しをした面積割合	番号
万 円	万 円	%	%				万 円	%	1
万 円	万 円	%	%				万 円	%	2
万 円	万 円	%	%				万 円	%	3
万 円	万 円	%	%				万 円	%	4
万 円	万 円	%	%				万 円	%	5
万 円	万 円	%	%				万 円	%	6
万 円	万 円	%	%				万 円	%	7
万 円	万 円	%	%				万 円	%	8
万 円	万 円	%	%				万 円	%	9
万 円	万 円	%	%				万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
・バンカーサイロのビニールの張替え費　など

29

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ	（新設）	



【6】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況　記入の仕方 ～ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額 (購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費(※) (令和〇年の当該自動車等の修繕費を記入してください。)	自動車保険料 (令和〇年の当該自動車等の任意保険(対人・対物を除く車両部分のみ。)の掛金を記入してください。)
1			年	年	月	万 円	万 円	万 円
2			年	年	月	万 円	万 円	万 円
3			年	年	月	万 円	万 円	万 円
4			年	年	月	万 円	万 円	万 円
5			年	年	月	万 円	万 円	万 円
6			年	年	月	万 円	万 円	万 円
7			年	年	月	万 円	万 円	万 円
8			年	年	月	万 円	万 円	万 円
9			年	年	月	万 円	万 円	万 円
10			年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

30

●当該自動車等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該自動車等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●当該自動車等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

自動車・軽自動車税 (令和〇年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。)	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。 自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	年内売却・廃棄状況 状況区分 廃棄・制度譲渡	年内売却・廃棄状況 売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	10

31

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32～33ページ	（新設）	



【7】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況　記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。）	修繕費（※）（令和〇年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。）
1				年	月	万 円	万 円	万 円
2				年	月	万 円	万 円	万 円
3				年	月	万 円	万 円	万 円
4				年	月	万 円	万 円	万 円
5				年	月	万 円	万 円	万 円
6				年	月	万 円	万 円	万 円
7				年	月	万 円	万 円	万 円
8				年	月	万 円	万 円	万 円
9				年	月	万 円	万 円	万 円
10				年	月	万 円	万 円	万 円

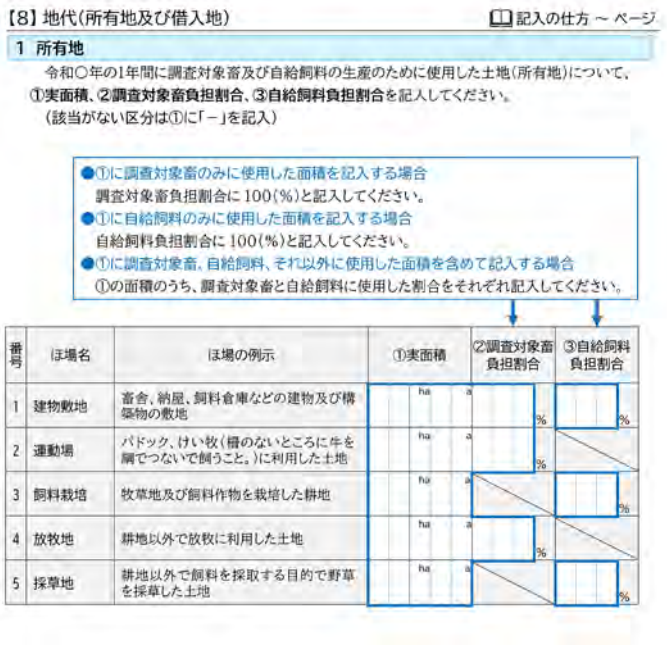
（※）修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

32

●当該農業機械等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100（%）と記入してください。
●当該農業機械等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100（%）と記入してください。
●当該農業機械等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

保険料（令和〇年の当該農業機械の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。）	軽自動車税（令和〇年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。）	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	年内売却・廃棄状況 状況区分 廃棄・無償譲渡	年内売却・廃棄状況 売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	1
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	2
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	3
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	4
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	5
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	6
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	7
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	8
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	9
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%			万 円	10

33

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ 	（新設）	

【8】地代(所有地及び借入地)　　記入の仕方 ～ ページ

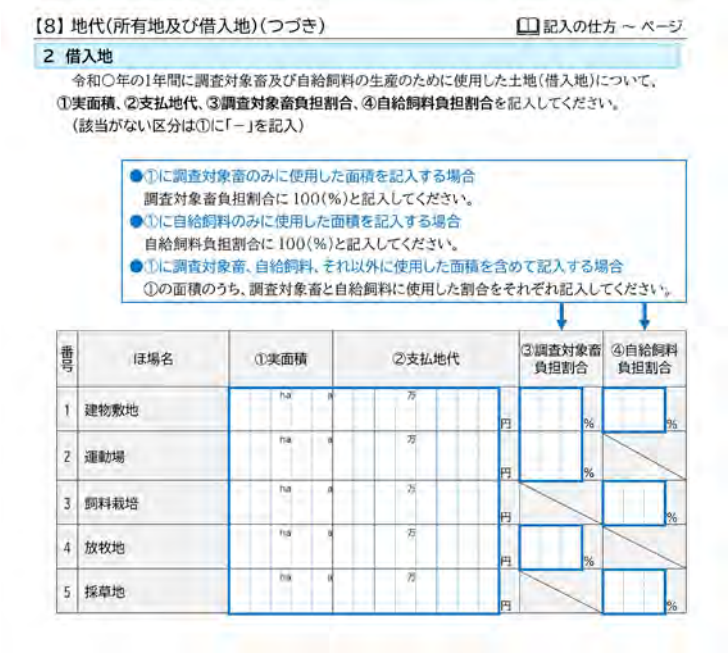
1 所有地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(所有地)について、
①実面積、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	ほ場の例示	①実面積	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
1	建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	ha a	%	%
2	運動場	パドック、けい牧(柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。)に利用した土地	ha a	%	
3	飼料栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	ha a		%
4	放牧地	耕地以外で放牧に利用した土地	ha a	%	
5	採草地	耕地以外で飼料を採取する目的で野草を採草した土地	ha a		%

34

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
35ページ 	（新設）	

【8】地代(所有地及び借入地)(つづき)　　記入の仕方 ～ ページ

2 借入地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(借入地)について、
①実面積、②支払地代、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	①実面積	②支払地代	③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
1	建物敷地	ha a	万 円	%	%
2	運動場	ha a	万 円	%	
3	飼料栽培	ha a	万 円		%
4	放牧地	ha a	万 円	%	
5	採草地	ha a	万 円		%

35

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
36ページ 	（新設）	

【9】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子　　記入の仕方 ～ ページ

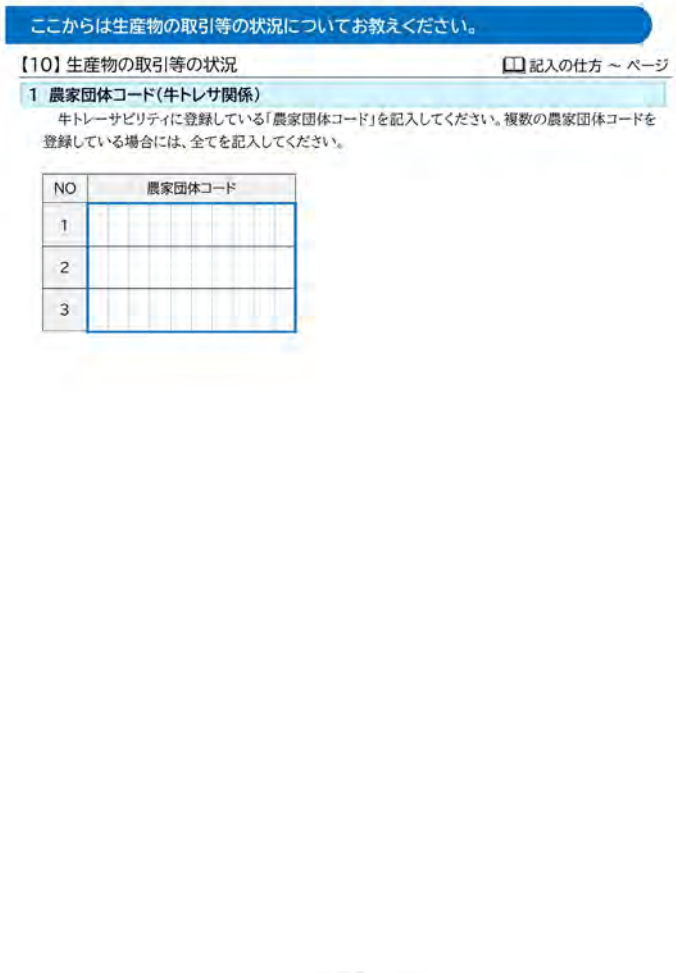
調査対象畜及び自給飼料の生産のための借入金について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

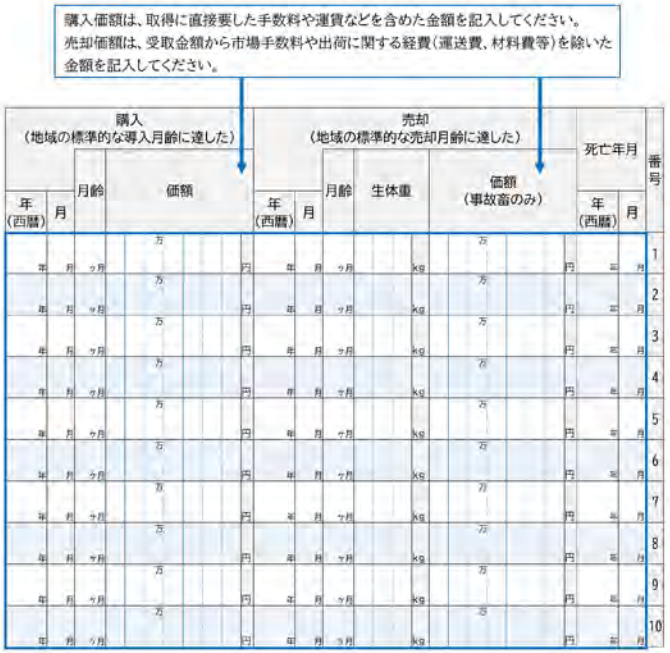
土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
「計」	億 万 円	万 円	%	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
借入金	億 万 円	万 円	%	%
買掛未払金	億 万 円	万 円	%	%

36

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
37ページ  ここからは生産物の取引等の状況についてお教えください。 【10】生産物の取引等の状況　記入の仕方 ～ ページ 1 農家団体コード(牛トレサ関係) 牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。 NO　農家団体コード 1 2 3 37	（新設）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
38～39ページ  	（新設）	

【10】生産物の取引等の状況(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

2 調査対象畜の飼養状況

令和○年の1年間に飼養した調査対象畜の個体情報等について、個体識別番号ごとに記入してください。なお、牛トレサデータから取得した情報や前年の回答はあらかじめ印字しています。

番号	個体識別番号（10桁の耳標番号）	名称（記入は任意）	種類	品種	性別 雄	性別 雌	生産年月 年（西暦）	生産年月 月
1							年	月
2							年	月
3							年	月
4							年	月
5							年	月
6							年	月
7							年	月
8							年	月
9							年	月
10							年	月

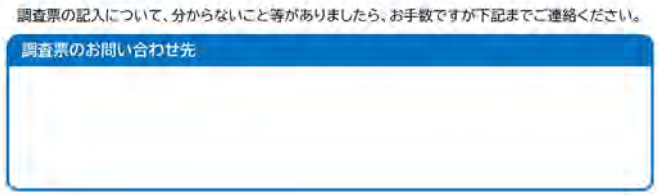
38

購入価額は、取得に直接要した手数料や運賃などを含めた金額を記入してください。
売却価額は、受取金額から市場手数料や出荷に関する経費（運送費、材料費等）を除いた金額を記入してください。

購入（地域の標準的な導入月齢に達した） 年（西暦）	月	月齢	価額	売却（地域の標準的な売却月齢に達した） 年（西暦）	月	月齢	生体重	価額（事故畜のみ）	死亡年月 年（西暦）	月	番号
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	1
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	2
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	3
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	4
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	5
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	6
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	7
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	8
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	9
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	10

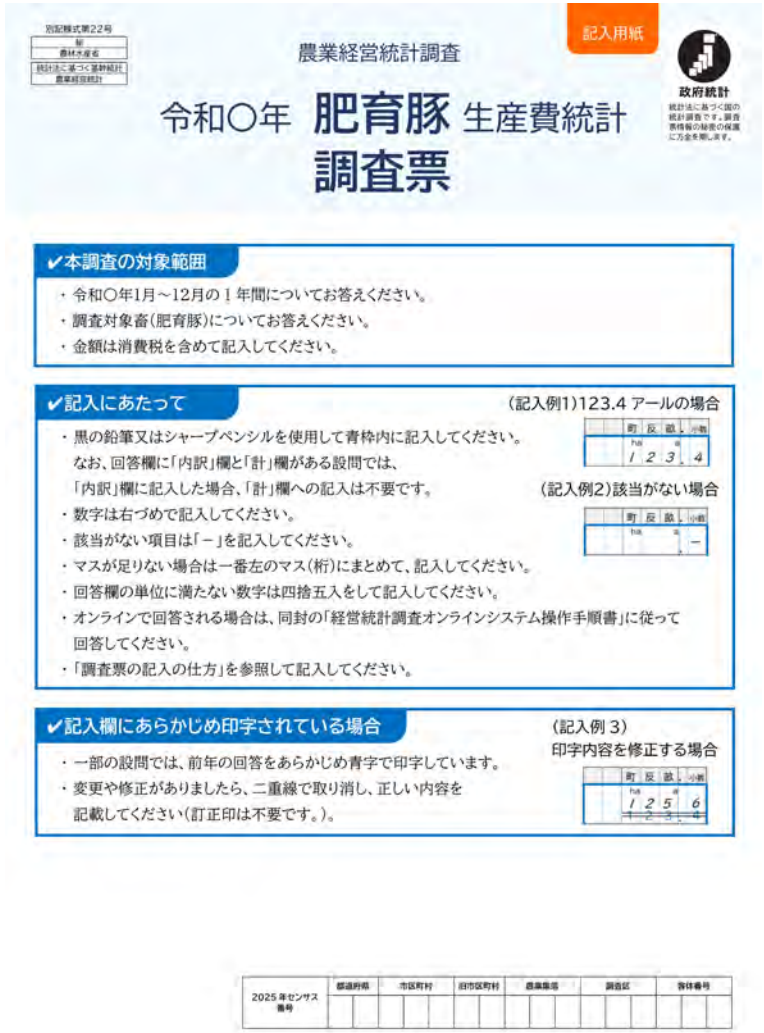
調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

39

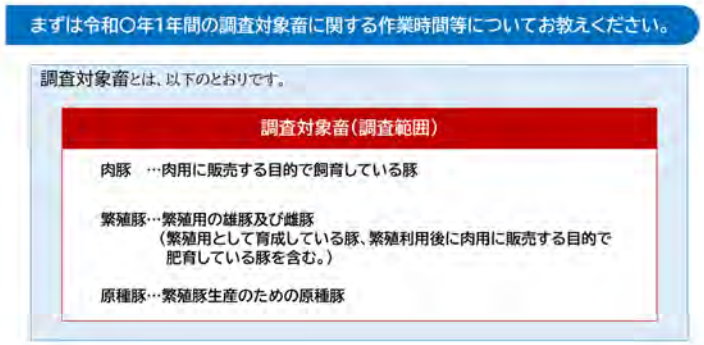
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
40ページ  	（新設）	

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

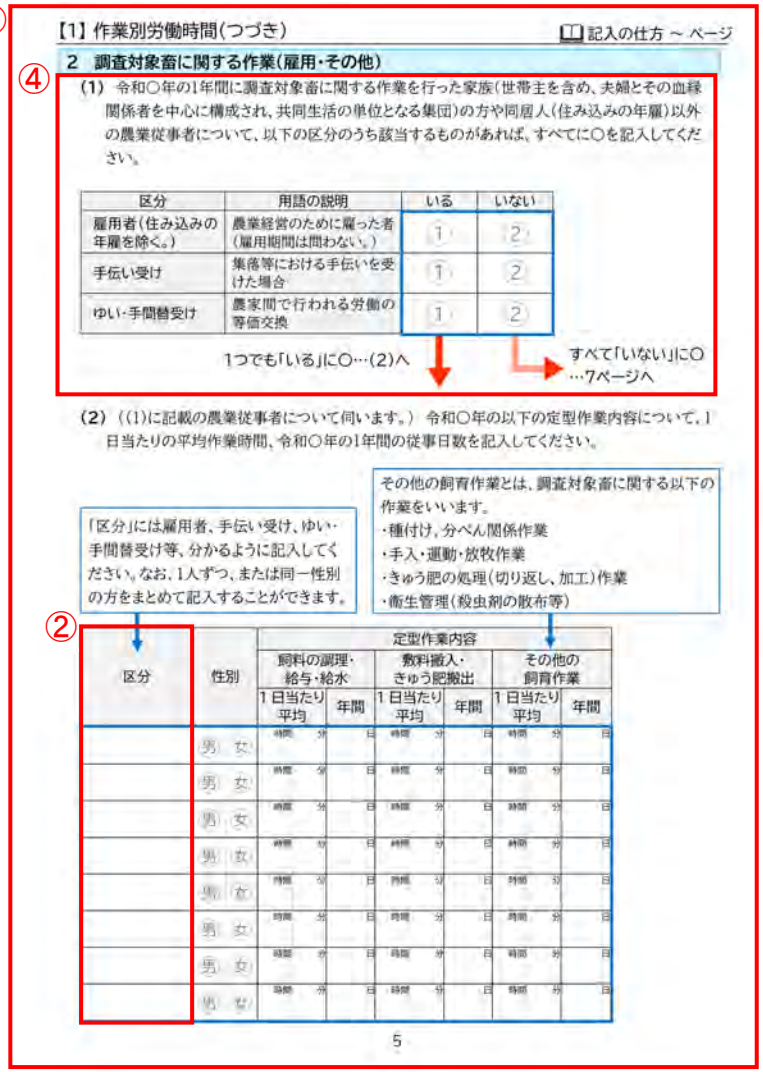
２　畜産物生産費統計（肥育豚）

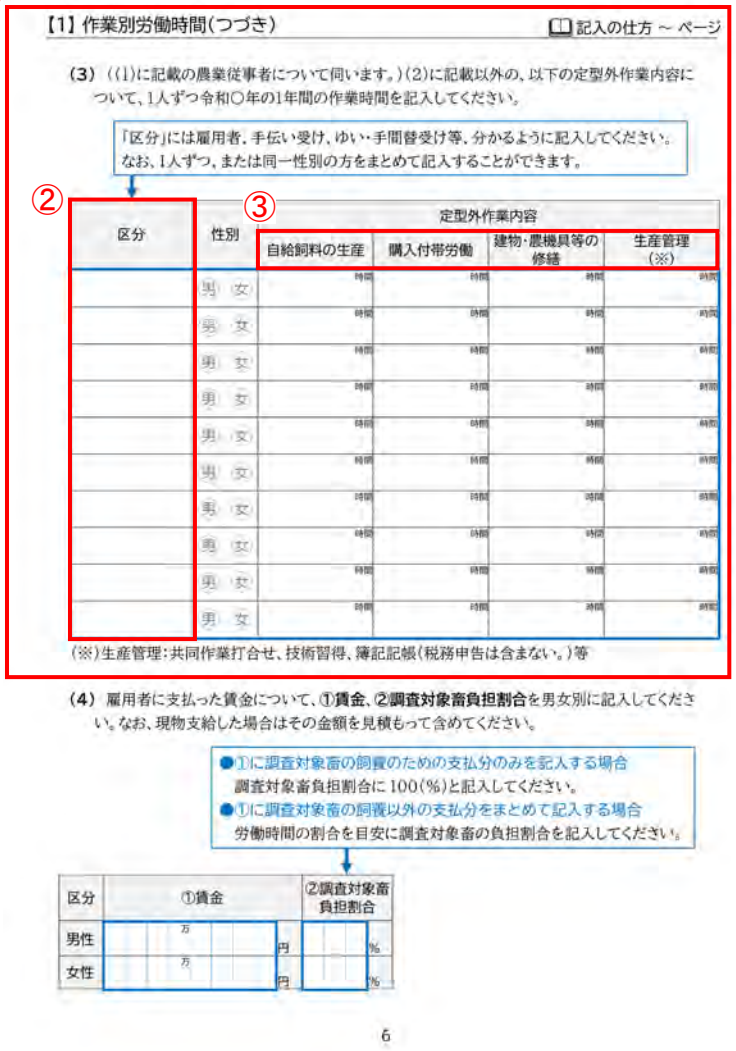
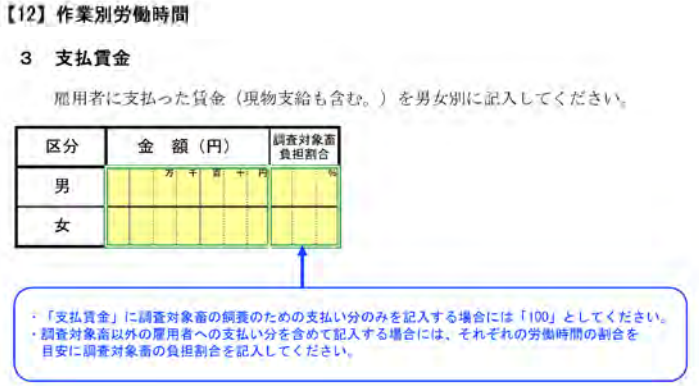
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
別記様式第22号 １ページ  	別記様式第18号 １ページ  	視認性向上のためレイアウト、色、フォントを変更(以下同じ) 報告者に調査の対象範囲や記入上の留意事項を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化 報告者が記入しやすいよう記入例などを追加 問い合わせ先を調査票の最後のページに移動

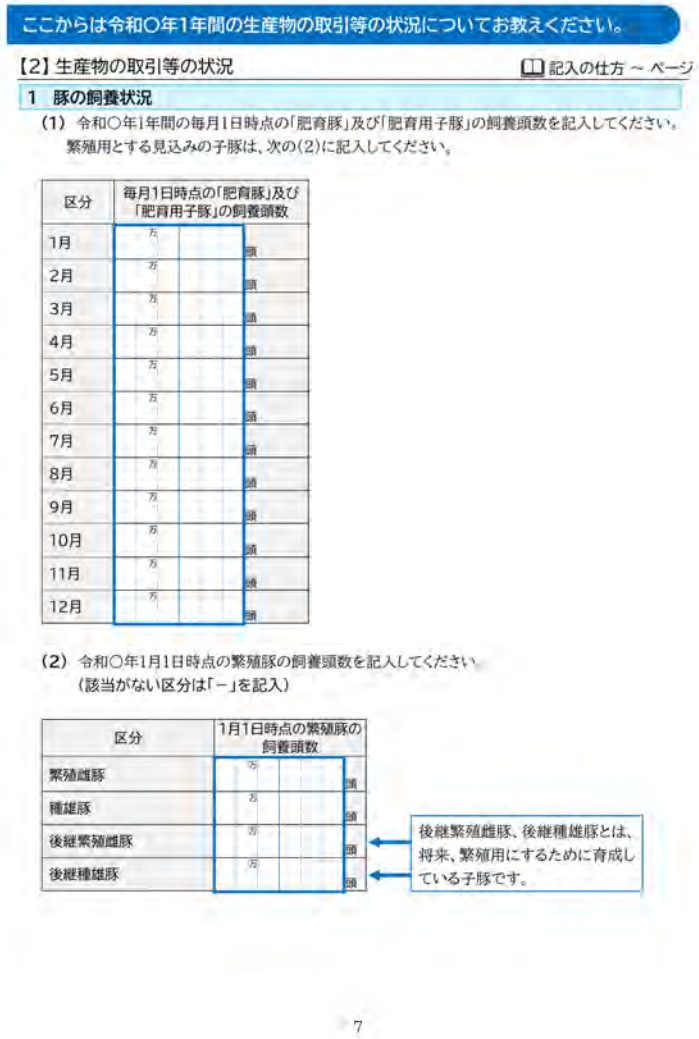
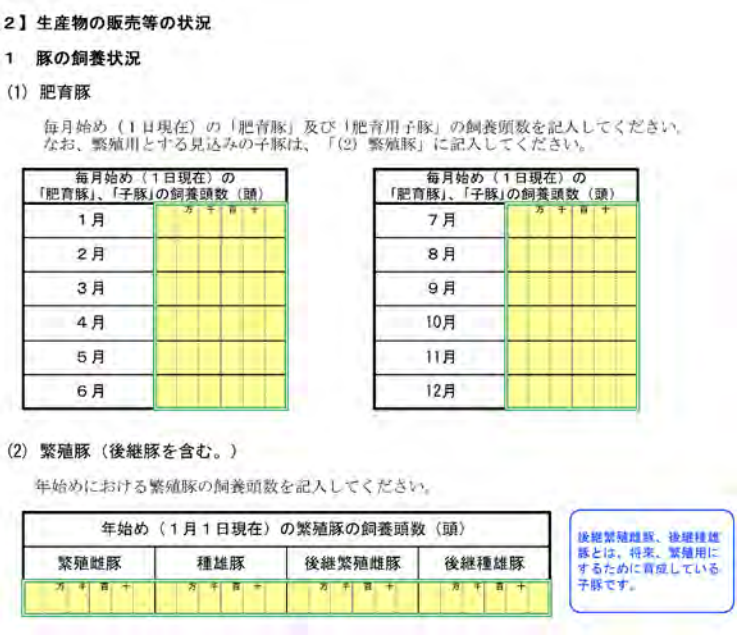
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
２ページ 目次 【1】作業別労働時間 …… 4 ①【2】生産物の取引等の状況 …… 7 【3】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 12 【4】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 22 【5】物件税及び公課諸負担 …… 24 【6】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 26 【7】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 28 【8】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 30 【9】地代(所有地及び借入地) …… 32 【10】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 33	３ページ 調　査　事　項 ページ 【１】経営の概況 …… 3 経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。 ①【２】生産物の販売等の状況 …… 4 豚の飼養状況、販売状況、購入状況等を記入してください。 【３】調査対象畜の生産に使用した資材等 …… 5 飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料や賃借料・料金等を記入してください。 【４】物件税及び公課諸負担 …… 8 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。 【５】消費税 …… 8 消費税申告書により申告した消費税を記入してください。 【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 8 借入金残高、支払利子を記入してください。 【７】出荷に要した経費 …… 8 出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。 【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 9 建物・構築物の所有状況を記入してください。 【９】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 10 自動車等の所有状況を記入してください。 【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 11 農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。 【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 12 スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。 【12】作業別労働時間 …… 13 家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。 【13】地代（所有地及び借入地） …… 13 地代を記入してください。	報告者の記入負担軽減及び業務効率化を図るため、調査票全体で調査事項の順番を入れ替え 視認性向上のため、調査事項の詳細説明は省略 報告者の負担軽減を図るため、一部の調査項目を廃止（廃止項目は35～36ページ参照） ①該当ページの調査内容が容易に認識できるように調査事項名の変更

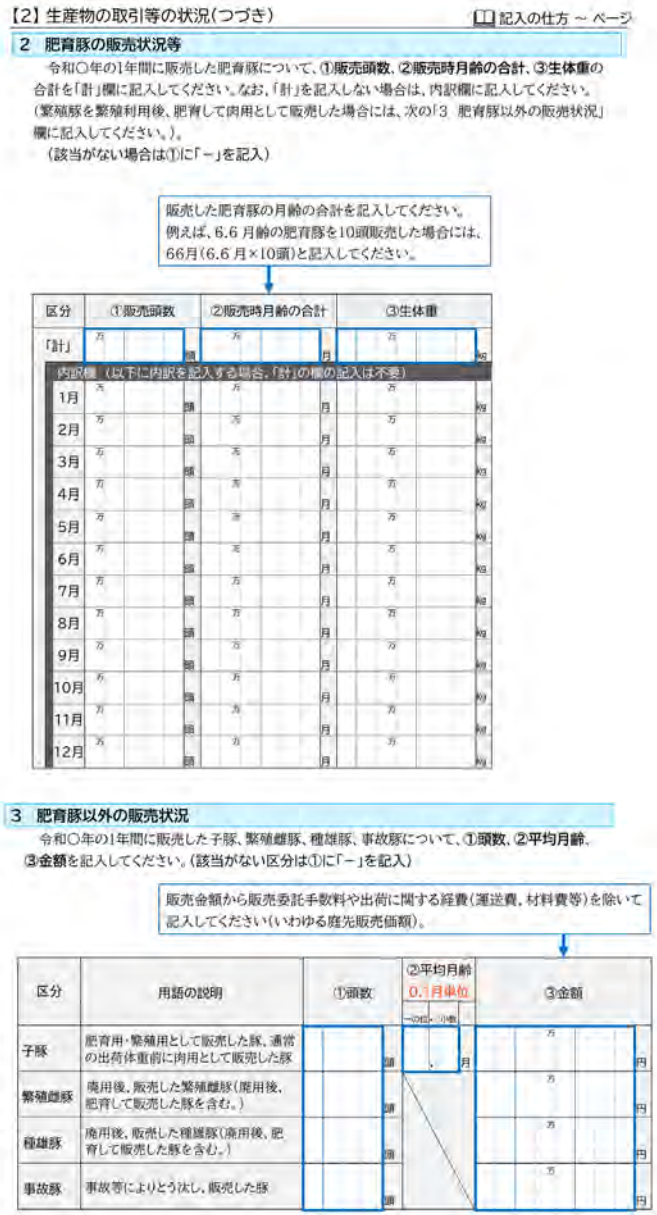
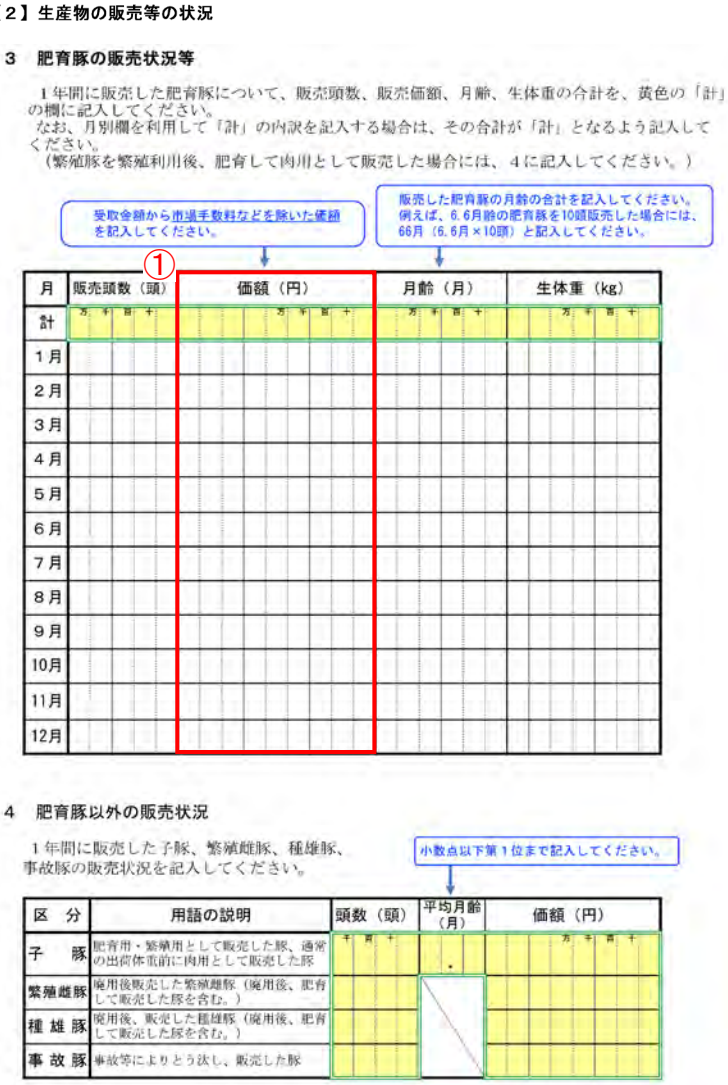
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
３ページ  		報告者に回答品目の定義を明確化し、分かりやすく伝えるため、調査対象畜と自給飼料の調査範囲の説明を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
4ページ ① 【1】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ページ 1　調査対象畜に関する作業（家族・住み込みの年雇） (1)　令和〇年に調査対象畜に関する作業を行った家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。 その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。 ・種付け、分べん関係作業 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業 ・衛生管理（殺虫剤の散布等） ② 作業者 / 年齢 / 性別 / 定型作業内容（飼料の調理・給与・給水／敷料搬入・きゅう肥搬出／その他の飼育作業）：1日当たり平均・年間 (2)　(1)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。 ②　③ 作業者 / 年齢 / 性別 / 定型外作業内容（自給飼料の生産／購入付帯労働／建物・農機具等の修繕／生産管理（※）） （※）生産管理：共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）等 4 つづく	13ページ ① 【12】作業別労働時間 1　調査対象畜の生産に関する定型作業 農業従事者ごとに、上段に1日当たりの平均作業時間を記入し、下段に1年間の従事日数を記入してください。 「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。 ・種付け、分べん関係作業 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業 ・衛生管理（殺虫剤の散布等） ② 氏名 / 性別 / 年齢 / 家族・雇用 / 飼料の調理・給与・給水 / 敷料搬入・きゅう肥搬出 / その他の飼育作業 注：雇用者の年齢は記入不要です。 2　調査対象畜の生産に関する1以外の作業 「作業名」欄の（　）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。 ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料の生産のための作業時間を記入してください。 ②　③ 氏名 / 性別 / 年齢 / 家族・雇用 / 作業名（　） 注：雇用者の年齢は記入不要です。	①報告者の記入しやすさと未記入防止のため、「1 調査対象畜の生産に関する定形作業」と「2 調査対象畜の生産に関する1以外の作業」の設問をそれぞれ「調査対象畜や自給飼料に関する作業（家族・住み込みの年雇）」及び「調査対象畜や自給飼料に関する作業（雇用・その他）」に分離 ②氏名に限定せず、作業者及び区分を特定可能な記入欄へ変更 ③定形外作業内容について、報告者の記入負担軽減を図るため、作業名を記入する形式からあらかじめ回答欄に記載された定形外作業内容について回答する形式へ変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
５ページ（変更前13ページと対比）  ① 【1】作業別労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ページ 2　調査対象畜に関する作業(雇用・その他) ④ (1)　令和○年の1年間に調査対象畜に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)以外の農業従事者について、以下の区分のうち該当するものがあれば、すべてに○を記入してください。 区分 / 用語の説明 / いる / いない 雇用者(住み込みの年雇を除く。) / 農業経営のために雇った者(雇用期間は問わない。) / 1 / 2 手伝い受け / 集落等における手伝いを受けた場合 / 1 / 2 ゆい・手間替受け / 農家間で行われる労働の等価交換 / 1 / 2 1つでも「いる」に○…(2)へ すべて「いない」に○…7ページへ (2)　((1)に記載の農業従事者について伺います。)　令和○年の以下の定型作業内容について、1日当たりの平均作業時間、令和○年の1年間の従事日数を記入してください。 「区分」には雇用者、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。 その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。 ・種付け、分べん関係作業 ・手入・運動・放牧作業 ・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業 ・衛生管理(殺虫剤の散布等) ② 区分 / 性別 / 定型作業内容：飼料の調理・給与・給水(1日当たり平均 / 年間) / 敷料搬入・きゅう肥搬出(1日当たり平均 / 年間) / その他の飼育作業(1日当たり平均 / 年間) 男 女 5 つづく		①同上 ②同上 ④報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、雇用者(住み込みの年雇を除く。)、手伝い受け、ゆい・手間替受けの人の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
６ページ（変更前13ページと対比） ①  【1】作業別労働時間(つづき)　記入の仕方 ～ ページ (3) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)(2)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。 「区分」には雇用者、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。 ② ③ 区分 / 性別 / 定型外作業内容：自給飼料の生産 / 購入付帯労働 / 建物・農機具等の修繕 / 生産管理(※) (※)生産管理：共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等 (4) 雇用者に支払った賃金について、①賃金、②調査対象畜負担割合を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。 ●①に調査対象畜の飼養のための支払分のみを記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜の飼養以外の支払分をまとめて記入する場合 労働時間の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。 区分 / ①賃金 / ②調査対象畜負担割合 男性 / 女性 6	13ページ  【12】作業別労働時間 3　支払賃金 雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。 区分 / 金　額（円） / 調査対象畜負担割合 男 / 女 ・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。 ・調査対象畜以外の雇用者への支払い分を含めて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。	①同上 ②同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
7ページ 	4ページ 	報告者に設問の主旨を分かりやすく伝えるため、内容の変更を伴わない表現の適正化（以下同じ） 報告者の記入負担軽減を図るため回答欄のレイアウトを変更（以下同じ）

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
８～９ページ 	４ページ 	設問の順番の入れ替え及び調査項目の廃止による設問番号の変更（以下同じ） ①肥育豚の販売状況等について、報告者の記入負担軽減を図るため、価額（円）を削除

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
９ページ **4　子豚等の購入状況** 令和○年の1年間に購入した子豚、繁殖雌豚、種雄豚について、①頭数、②平均月齢、③購入価額を記入してください。 （該当がない区分は①又は③に「－」を記入） 区分 / 用語の説明 / ①頭数 / ②平均月齢 0.1月単位（一の位・小数） / ③購入価額（万 円） 子豚 / 肥育用として購入した子豚 / 頭 / 月 / 万 円 繁殖雌豚 / 子取り用として購入した雌豚（将来、繁殖雌豚とする予定の子豚を含む。） / 万 円 種雄豚 / 種付用として購入した雄豚（将来、種雄豚とする予定の子豚を含む。） / 万 円 9	５ページ **【２】生産物の販売等の状況（続き）** **５　子豚等の購入状況** １年間に購入した子豚、繁殖雌豚、種雄豚について記入してください。 区　分 / 用語の説明 / 頭数（頭）（千 百 十） / 平均月齢（月） / 価額（円）（万 千 百 十） 子　豚 / 肥育用として購入した子豚 繁殖雌豚 / 子取り用として購入した雌豚（将来、繁殖雌豚とする予定の子豚を含む。） 種　雄　豚 / 種付用として購入した雄豚（将来、種雄豚とする予定の子豚を含む。）	

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
10ページ	5ページ	

【2】生産物の取引等の状況(つづき)　記入の仕方 ～ページ

5　繁殖雌豚の分べん状況

令和○年の1年間の**①子豚を分べんした繁殖雌豚の頭数**、**②子豚の分べん頭数**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

区分	①子豚を分べんした繁殖雌豚の頭数	②子豚の分べん頭数
「計」	頭	頭
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）		
1月	頭	頭
2月	頭	頭
3月	頭	頭
4月	頭	頭
5月	頭	頭
6月	頭	頭
7月	頭	頭
8月	頭	頭
9月	頭	頭
10月	頭	頭
11月	頭	頭
12月	頭	頭

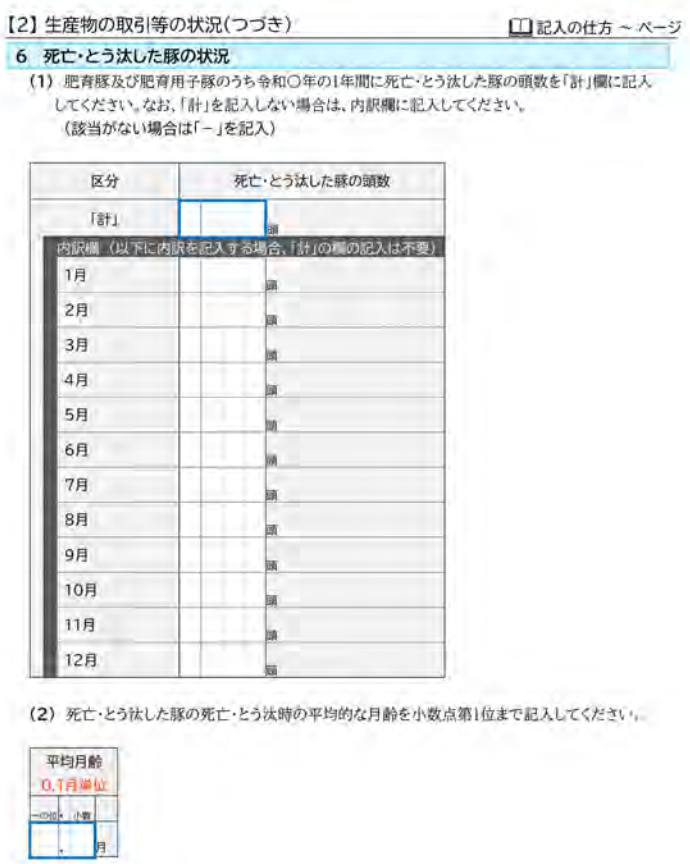
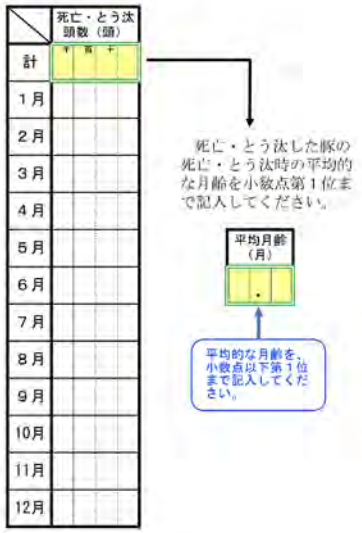
10

【2】生産物の販売等の状況（続き）

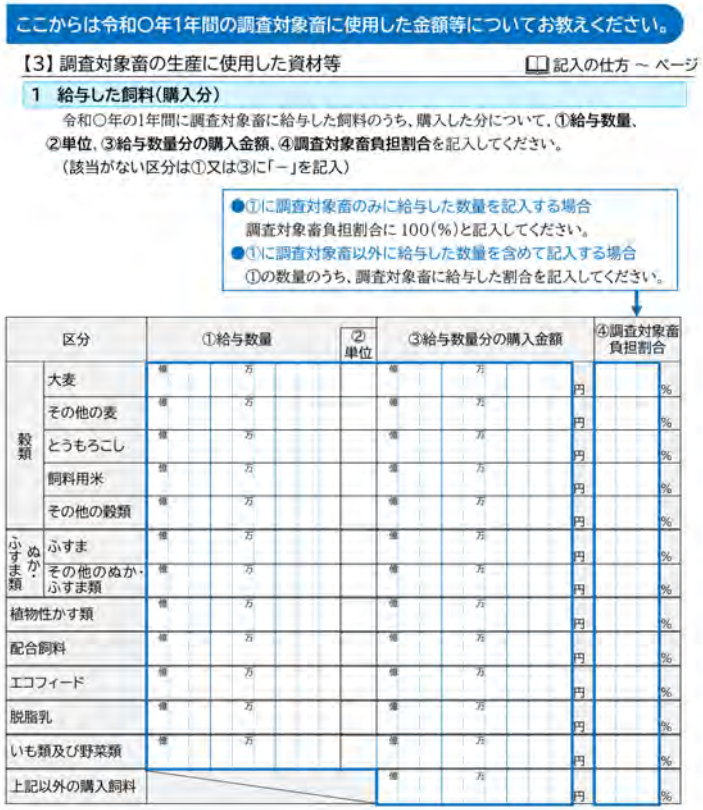
6　繁殖雌豚の分べん状況

1年間に分べんした繁殖雌豚の頭数、子豚の分べん頭数を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、月別欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

	分べんした繁殖雌豚（頭）	子豚分べん頭数（頭）
計	千 百 十	万 千 百 十
1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ  【2】生産物の取引等の状況(つづき)　記入の仕方 ～ページ 6　死亡・とう汰した豚の状況 (1) 肥育豚及び肥育用子豚のうち令和〇年の1年間に死亡・とう汰した豚の頭数を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は「－」を記入) 区分 / 死亡・とう汰した豚の頭数 「計」 頭 内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要） 1月 頭 2月 頭 3月 頭 4月 頭 5月 頭 6月 頭 7月 頭 8月 頭 9月 頭 10月 頭 11月 頭 12月 頭 (2) 死亡・とう汰した豚の死亡・とう汰時の平均的な月齢を小数点第1位まで記入してください。 平均月齢 0.1月単位 月 11	5ページ  【2】生産物の販売等の状況（続き） 7　死亡・とう汰した豚の状況 肥育豚及び肥育用子豚のうち1年間に死亡・とう汰した頭数について、黄色の「計」の欄に記入してください。 なお、月別欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 死亡・とう汰頭数（頭） 計 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 死亡・とう汰した豚の死亡・とう汰時の平均的な月齢を小数点第1位まで記入してください。 平均月齢（月） 平均的な月齢を、小数点以下第1位まで記入してください。	報告者の未記入防止のため、死亡・とう汰した豚の死亡・とう汰時の平均的な月齢について、回答欄への誘導表記ではなく、個別設問に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ	5ページ	



ここからは令和〇年1年間の調査対象畜に使用した金額等についてお教えください。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等　　記入の仕方 ～ ページ

1　給与した飼料(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、**①給与数量**、**②単位**、**③給与数量分の購入金額**、**④調査対象畜負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は①又は③に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		①給与数量	②単位	③給与数量分の購入金額		④調査対象畜負担割合
穀類	大麦	億 万		億 万	円	%
	その他の麦	億 万		億 万	円	%
	とうもろこし	億 万		億 万	円	%
	飼料用米	億 万		億 万	円	%
	その他の穀類	億 万		億 万	円	%
ぬか・ふすま類	ふすま	億 万		億 万	円	%
	その他のぬか・ふすま類	億 万		億 万	円	%
植物性かす類		億 万		億 万	円	%
配合飼料		億 万		億 万	円	%
エコフィード		億 万		億 万	円	%
脱脂乳		億 万		億 万	円	%
いも類及び野菜類		億 万		億 万	円	%
上記以外の購入飼料				億 万	円	%

12



【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

1　購入飼料

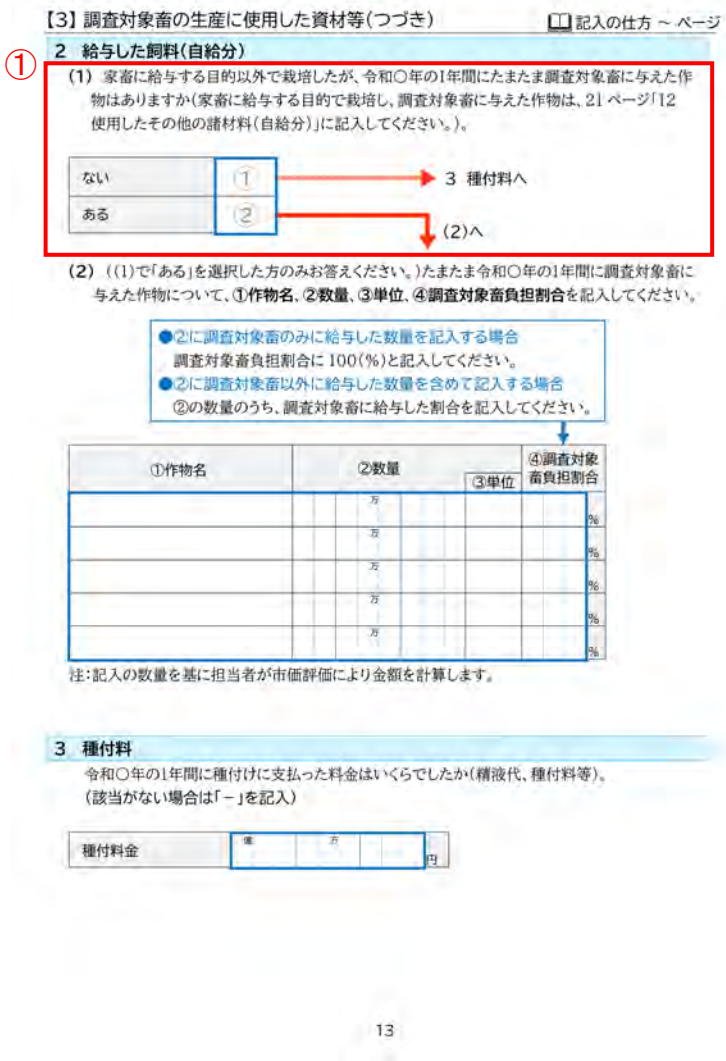
1年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。

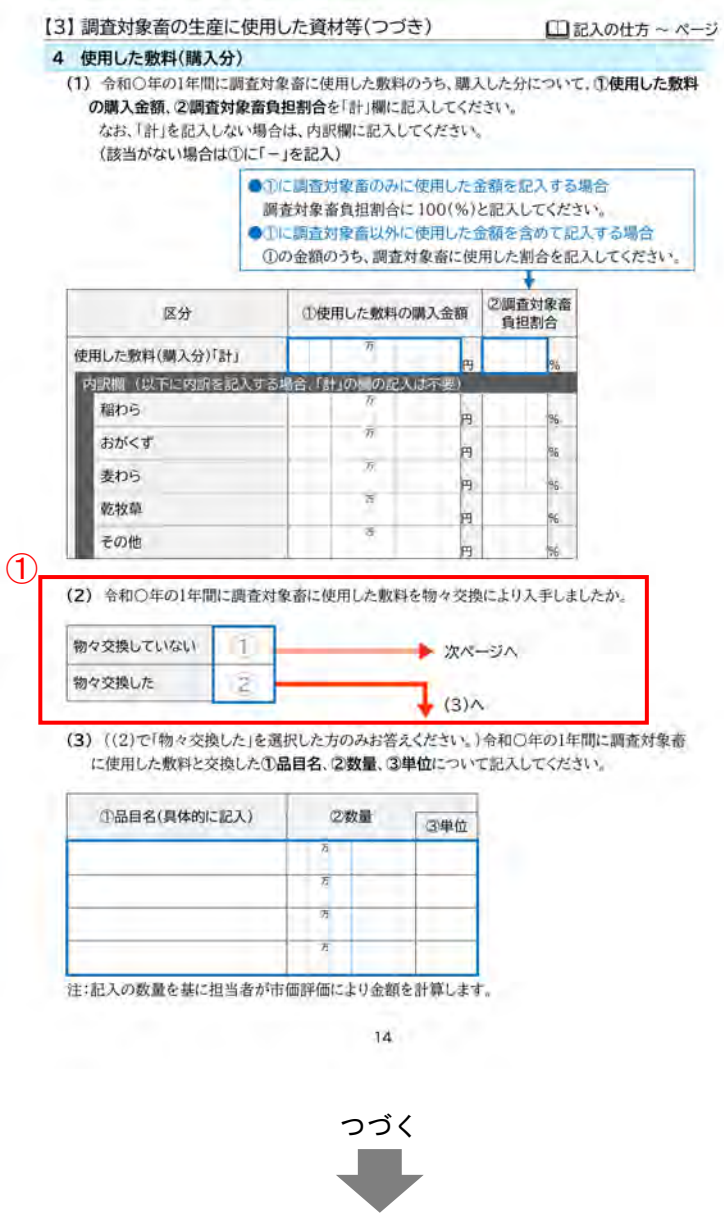
・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を目安に負担割合を記入してください。

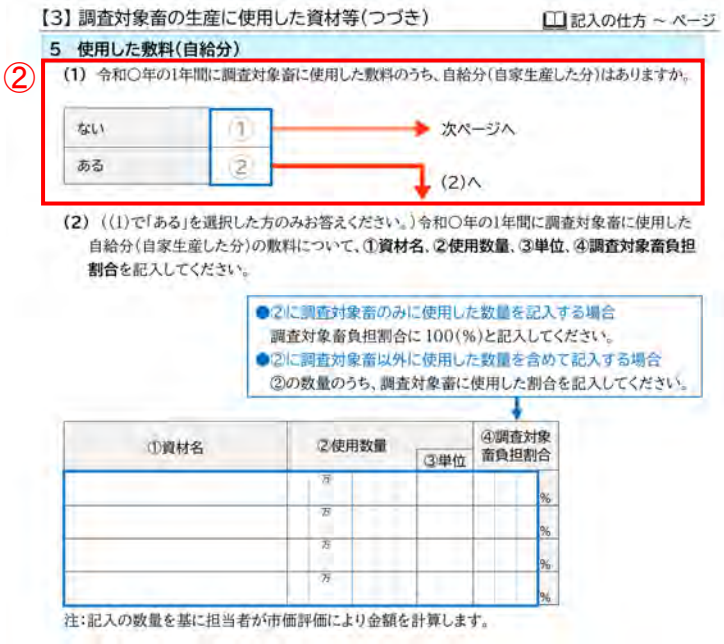
調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の飼養頭数 / 全体の飼養頭数 ×100

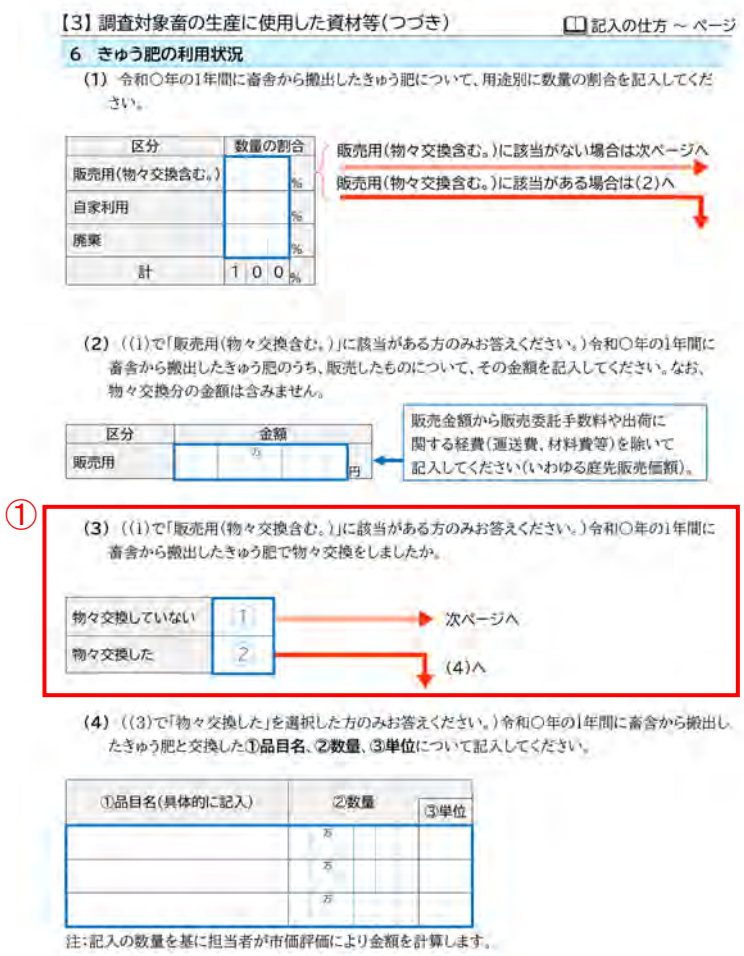
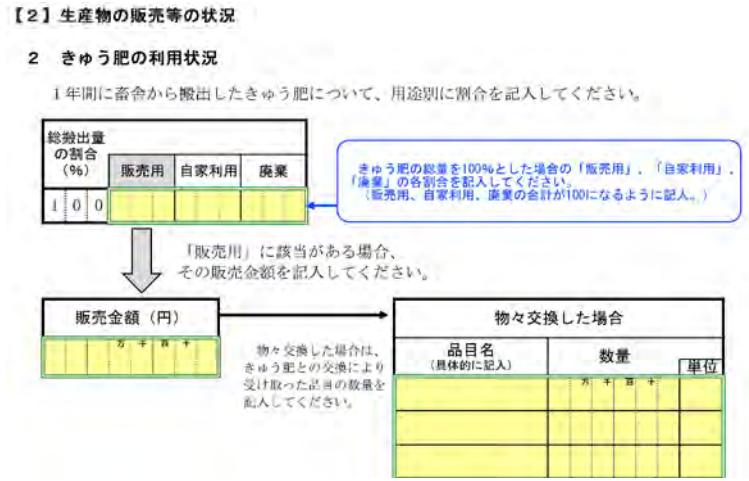
（※2　自給飼料でも同様です。）

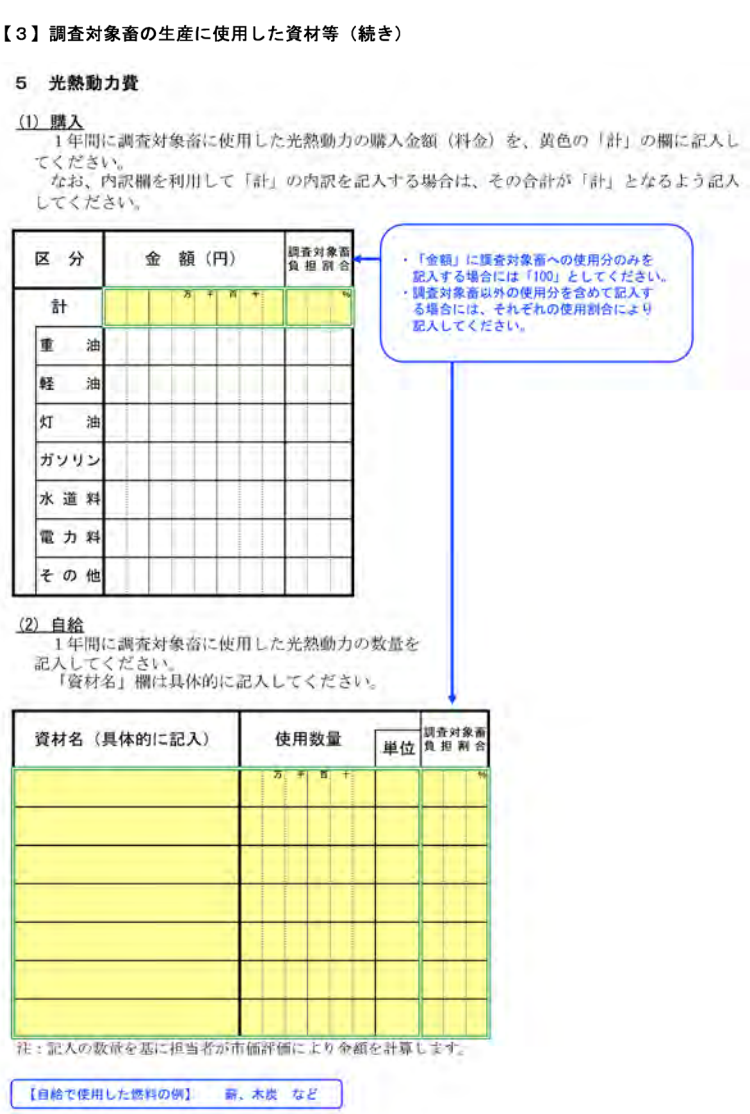
区分		数量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
穀類	大麦	万 千 百 十		万 千 百 十	%
	その他の麦				
	とうもろこし				
	飼料用米				
	その他の穀類				
ぬか・ふすま類	ふすま				
	その他のぬか・ふすま類				
植物性かす類					
配合飼料					
エコフィード					
脱脂乳					
いも類及び野菜類					
上記以外の購入飼料					

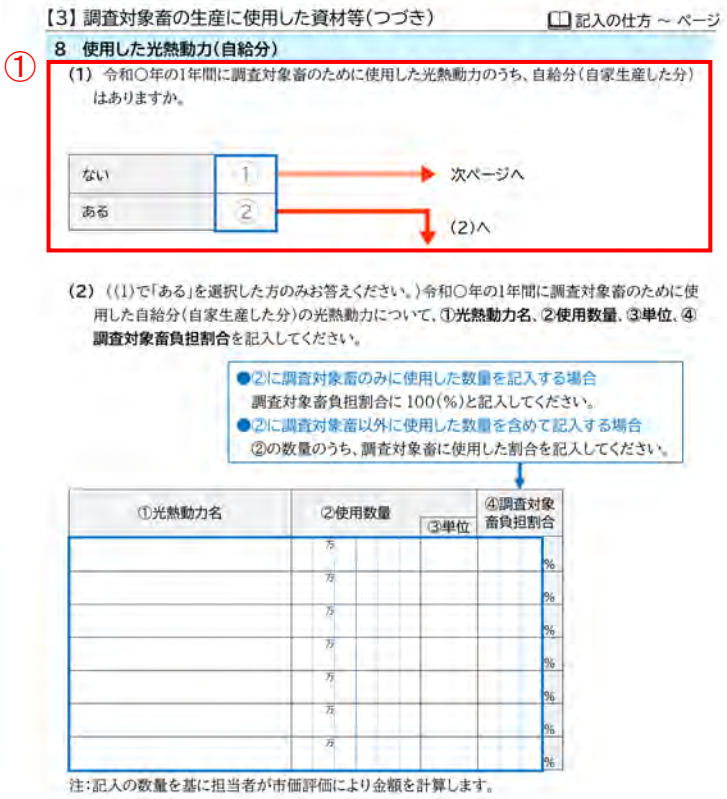
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
13ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（つづき）　記入の仕方 ～ページ 2　給与した飼料（自給分） ① (1) 家畜に給与する目的以外で栽培したが、令和〇年の1年間にたまたま調査対象畜に与えた作物はありますか（家畜に給与する目的で栽培し、調査対象畜に与えた作物は、21ページ「12 使用したその他の諸材料（自給分）」に記入してください。）。 ない　①　→ 3 種付料へ ある　②　→ (2)へ (2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。）たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物について、**①作物名、②数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。 ●②に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合 ②の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。 ①作物名 / ②数量 / ③単位 / ④調査対象畜負担割合 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 3　種付料 令和〇年の1年間に種付けに支払った料金はいくらでしたか（精液代、種付料等）。 （該当がない場合は「－」を記入） 種付料金　万　円 13	5ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等 2　自給飼料 1年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を記入してください。 作物名（具体的に記入） / 数量 / 単位 / 調査対象畜負担割合 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 6ページ 【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き） 3　種付料 種付けに支払った料金を記入してください。（精液代，種付料等） 種付料金（円）	①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、家畜に給与する目的以外で栽培した作物の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
14ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 4　使用した敷料(購入分) (1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、購入した分について、**①使用した敷料の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合 ①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。 区分 / ①使用した敷料の購入金額 / ②調査対象畜負担割合 使用した敷料(購入分)「計」 内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要) 稲わら おがくず 麦わら 乾牧草 その他 ① (2) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料を物々交換により入手しましたか。 物々交換していない　1　→ 次ページへ 物々交換した　2　→ (3)へ (3) ((2)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料と交換した**①品目名**、**②数量**、**③単位**について記入してください。 ①品目名(具体的に記入) / ②数量 / ③単位 注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 14 つづく	6ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き） 4　敷料費 (1) 購入 1年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。 区分 / 金額(円) / 調査対象畜負担割合 計 稲わら おがくず 麦わら 乾牧草 その他 物々交換した場合 品目名(具体的に記入) / 数量 / 単位 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。 ・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を目安に負担割合を記入してください。 (2) 自給 1年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。 「資材名」欄は具体的に記入してください。 資材名（具体的に記入） / 使用数量 / 単位 / 調査対象畜負担割合 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。	報告者の未記入防止のため、敷料費の購入分のうち物々交換した場合の数量について、回答欄への誘導表記ではなく、個別設問に変更 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した敷料(購入分)について物々交換の有無を確認する設問を追加

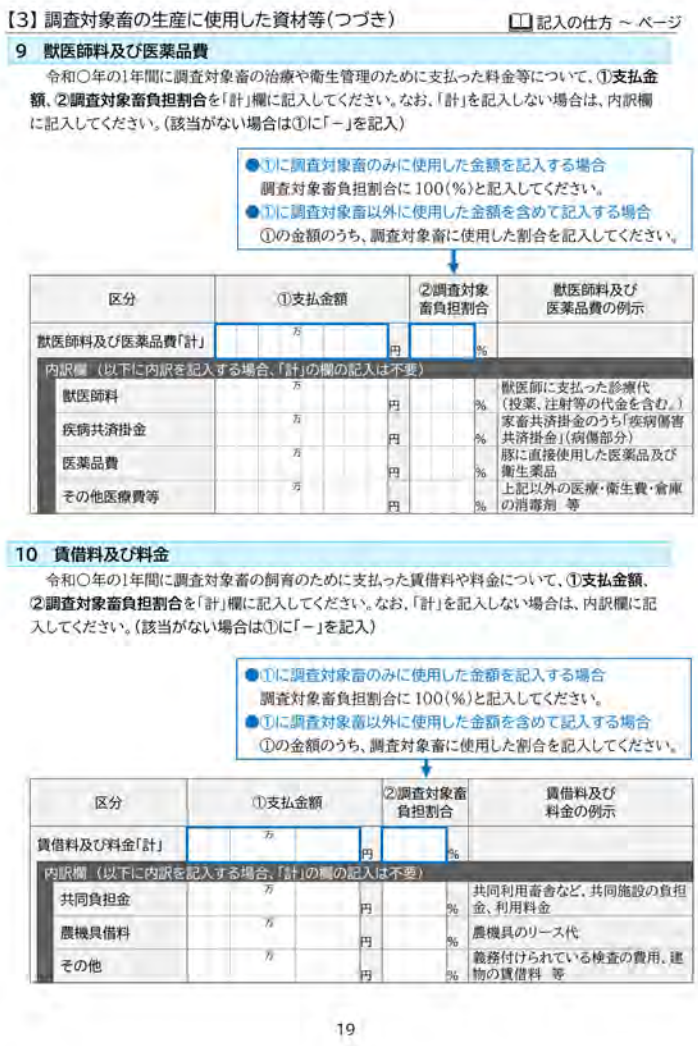
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
15ページ（変更前６ページと対比）  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 5　使用した敷料(自給分) ② (1)　令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。 ない　①　→ 次ページへ ある　②　→ (2)へ (2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の敷料について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。 ●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合 ②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。 ①資材名 / ②使用数量 / ③単位 / ④調査対象畜負担割合 万 / 万 / 万 / 万 % 注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 15		②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した敷料について自家生産の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
16ページ 	4ページ 	報告者の未記入防止のため、きゅう肥の利用状況のうち販売金額について、回答欄への誘導表記ではなく、個別設問に変更 回答欄の変更により、用途別の割合に関する補足説明（青枠）を削除 報告者に記入方法を分かりやすく伝えるため、販売価額に関する注意書き（青枠）を追加 ①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、きゅう肥の物々交換の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
17ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ 7　使用した光熱動力(購入分) 令和○年の1年間に調査対象畜に使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用した光熱動力の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。 なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。 (該当がない場合は①に「－」を記入) ●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合 調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。 ●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合 ①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。 区分 / ①使用した光熱動力の購入金額 / ②調査対象畜負担割合 使用した光熱動力(購入分)「計」 内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要) 重油 軽油 灯油 ガソリン 水道料 電力料 その他 17 つづく	6ページ  【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き） 5　光熱動力費 (1) 購入 1年間に調査対象畜に使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。 区分 / 金額（円） / 調査対象畜負担割合 計 重油 軽油 灯油 ガソリン 水道料 電力料 その他 ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。 ・調査対象畜以外の使用分を含めて記入する場合には、それぞれの使用割合により記入してください。 (2) 自給 1年間に調査対象畜に使用した光熱動力の数量を記入してください。 「資材名」欄は具体的に記入してください。 資材名（具体的に記入） / 使用数量 / 単位 / 調査対象畜負担割合 注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。 【自給で使用した燃料の例】　薪、木炭　など	「自給で使用した燃料の例」については、調査票の記入の仕方に記載することから削除

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
18ページ（変更前６ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用した光熱動力について自家生産の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
19ページ	7ページ	



【3】調査対象畜の生産に使用した資材等(つづき)　記入の仕方 ～ページ

9　獣医師料及び医薬品費

令和○年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
獣医師料及び医薬品費「計」	万　円	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
獣医師料	万　円	%	獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金	万　円	%	家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医薬品費	万　円	%	豚に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等	万　円	%	上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤　等

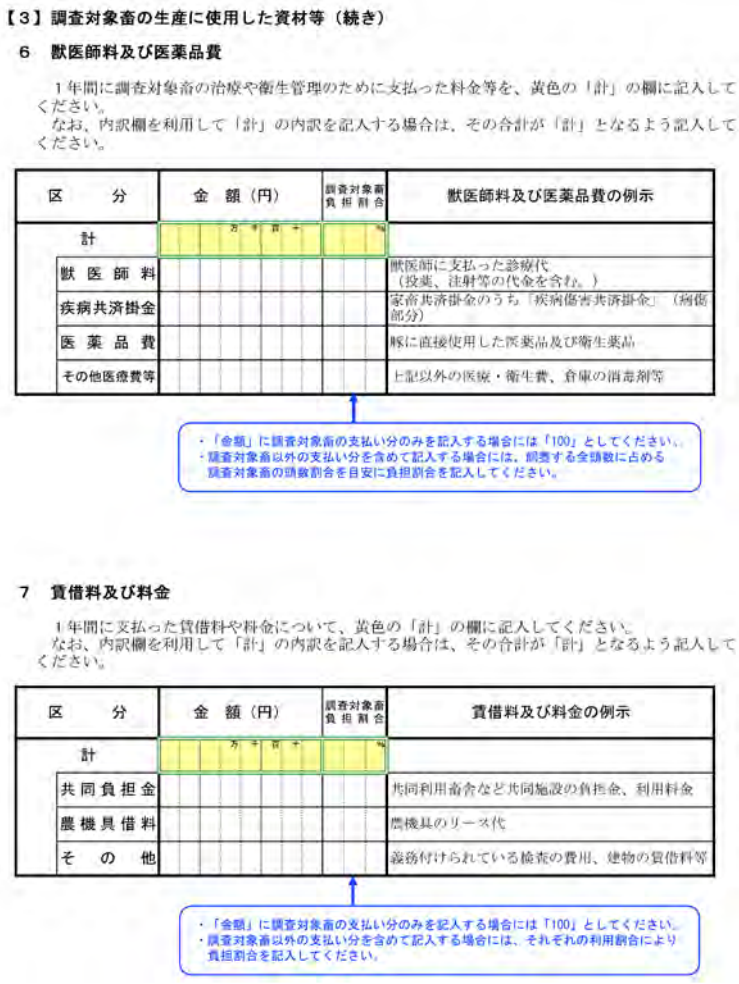
10　賃借料及び料金

令和○年の1年間に調査対象畜の飼育のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」	万　円	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
共同負担金	万　円	%	共同利用畜舎など、共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	万　円	%	農機具のリース代
その他	万　円	%	義務付けられている検査の費用、建物の賃借料　等

19



【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

6　獣医師料及び医薬品費

1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計	万　千　百　十	%	
獣医師料			獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費			豚に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

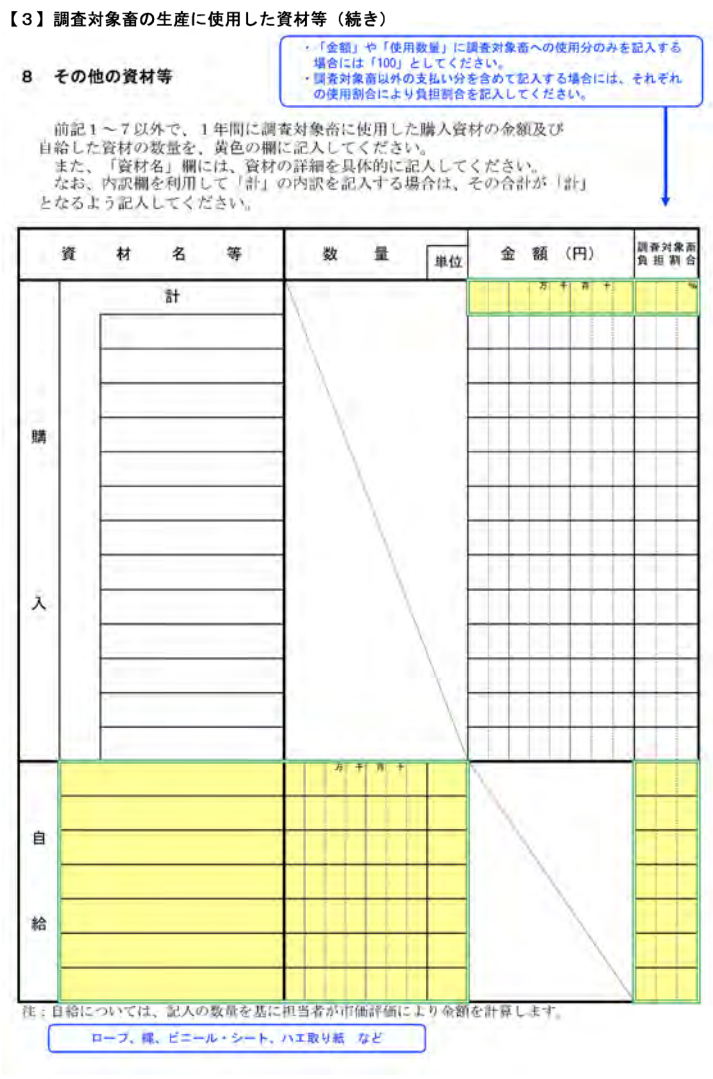
・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を目安に負担割合を記入してください。

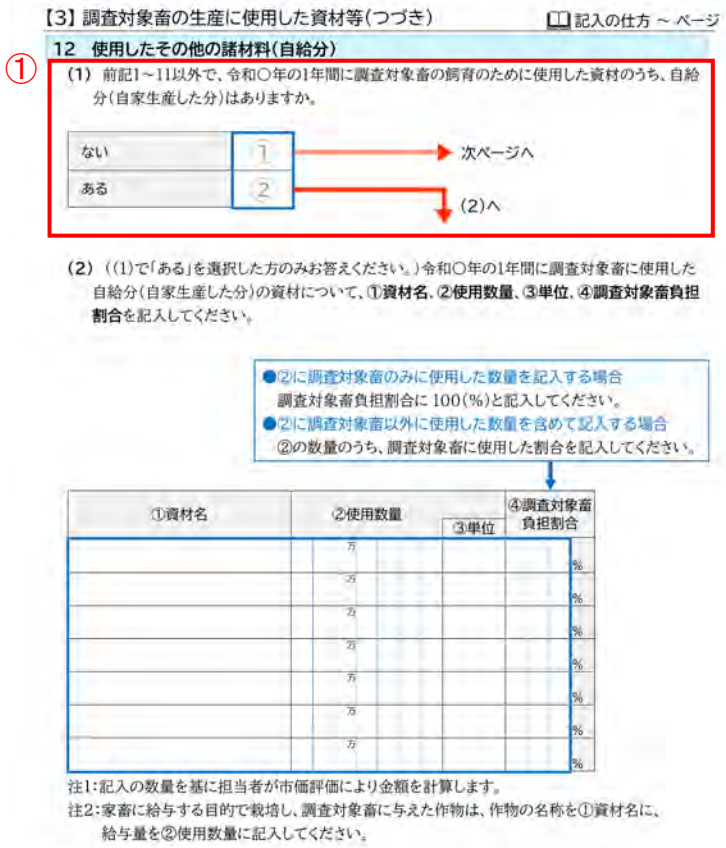
7　賃借料及び料金

1年間に支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　分	金　額（円）	調査対象畜負担割合	賃借料及び料金の例示
計	万　千　百　十	%	
共同負担金			共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料			農機具のリース代
その他			義務付けられている検査の費用、建物の賃借料等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、それぞれの利用割合により負担割合を記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
20ページ 	7 ページ 	報告者が記入しやすいよう、諸材料費のうち購入分と自給分の設問を分離

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
21ページ（変更前７ページと対比） 		①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、使用したその他の諸材料について自家生産の有無を確認する設問を追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
22～23ページ（変更前12ページと対比）		報告者が記入しやすいよう、農具・農業被服等の購入費と生産管理関係の費用の設問を分離



【4】農具の購入費・生産管理関係の費用等　記入の仕方 ～ ページ

1　農具・農業被服等の購入費

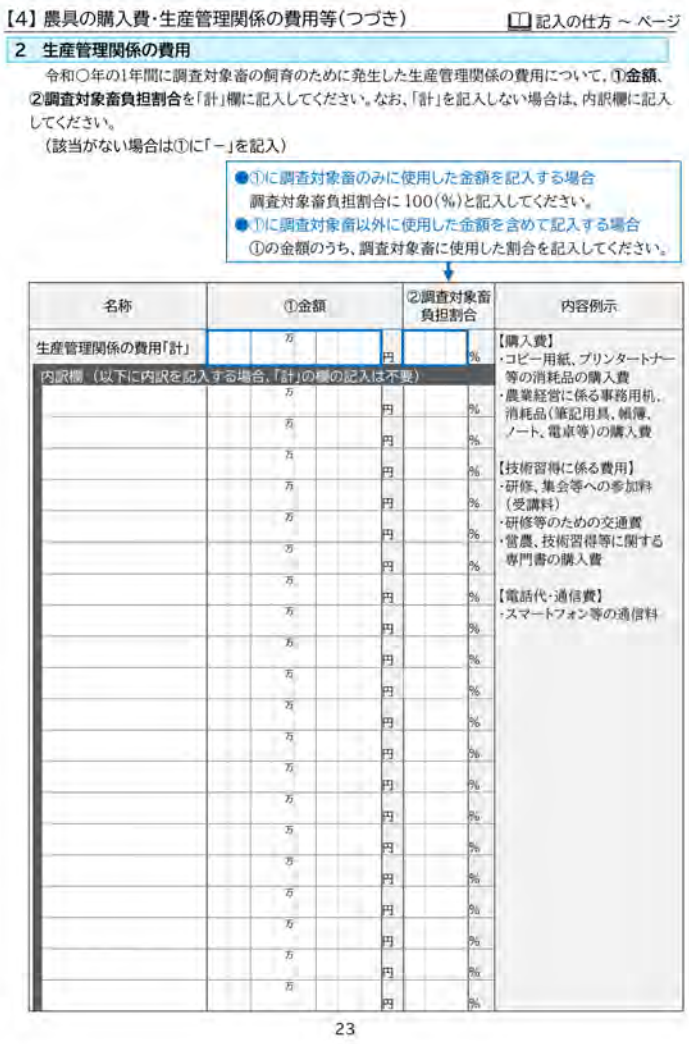
令和○年の1年間に調査対象畜の飼育のために新たに購入し使用した農具や農業被服等について、**①使用した農具・農業被服等の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

名称	①使用した農具・農業被服等の購入金額	②調査対象畜負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万 円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・スコップ類 ・ホース ・じょうろ ・草かき ・飼料桶　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

22

つづく



【4】農具の購入費・生産管理関係の費用等(つづき)　記入の仕方 ～ ページ

2　生産管理関係の費用

令和○年の1年間に調査対象畜の飼育のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②調査対象畜負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万 円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	
	万 円	%	

23

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
12ページ		同上

【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等

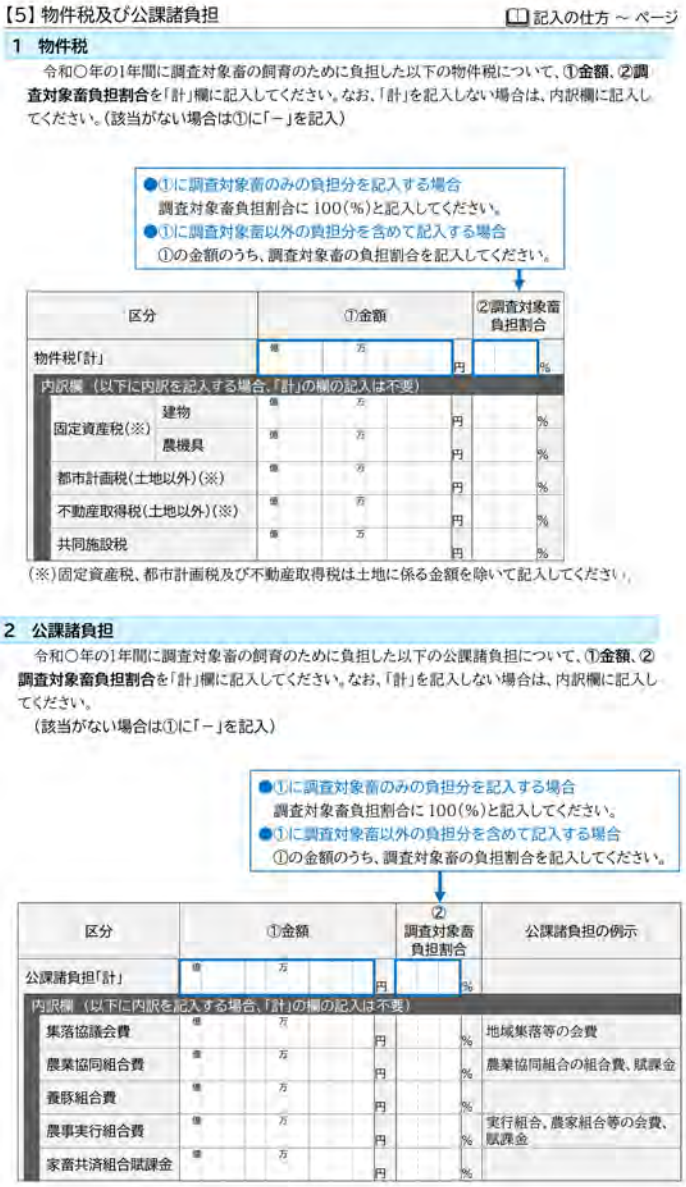
1年間に調査対象畜の飼育のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外へ共通して使用している場合には、それぞれへの使用日数の割合等を目安に負担割合を記入してください。

区分（名称等）	金額（円）	調査対象畜負担割合（%）	内容例示
農具・農業被服等の購入費 (計)	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

区分（名称等）	金額（円）	調査対象畜負担割合（%）	内容例示
生産管理関係の費用 (計)	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
24～25ページ	8ページ	



【5】物件税及び公課諸負担　　記入の仕方 ～ ページ

1　物件税

令和○年の1年間に調査対象畜の飼育のために負担した以下の物件税について、**①金額、②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜の負担割合を記入してください。

区分		①金額	②調査対象畜負担割合
物件税「計」		億 万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
固定資産税(※)	建物	億 万 円	%
	農機具	億 万 円	%
都市計画税(土地以外)(※)		億 万 円	%
不動産取得税(土地以外)(※)		億 万 円	%
共同施設税		億 万 円	%

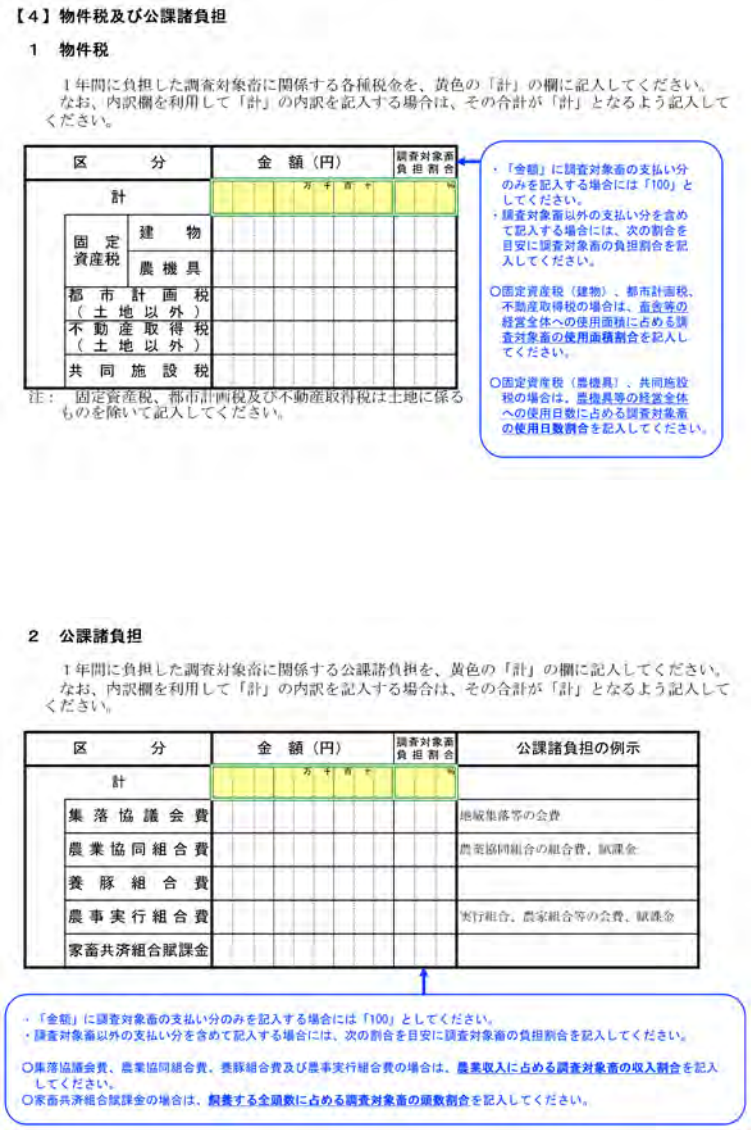
(※)固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和○年の1年間に調査対象畜の飼育のために負担した以下の公課諸負担について、**①金額、②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②調査対象畜負担割合	公課諸負担の例示
公課諸負担「計」	億 万 円	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
集落協議会費	億 万 円	%	地域集落等の会費
農業協同組合費	億 万 円	%	農業協同組合の組合費、賦課金
養豚組合費	億 万 円	%	
農事実行組合費	億 万 円	%	実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金	億 万 円	%	



【4】物件税及び公課諸負担

1　物件税

1年間に負担した調査対象畜に関係する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分		金額（円） 万 千 百 十	調査対象畜負担割合 %
計			
固定資産税	建物		
	農機具		
都市計画税（土地以外）			
不動産取得税（土地以外）			
共同施設税			

注：　固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、次の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜の使用面積割合を記入してください。

○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜の使用日数割合を記入してください。

2　公課諸負担

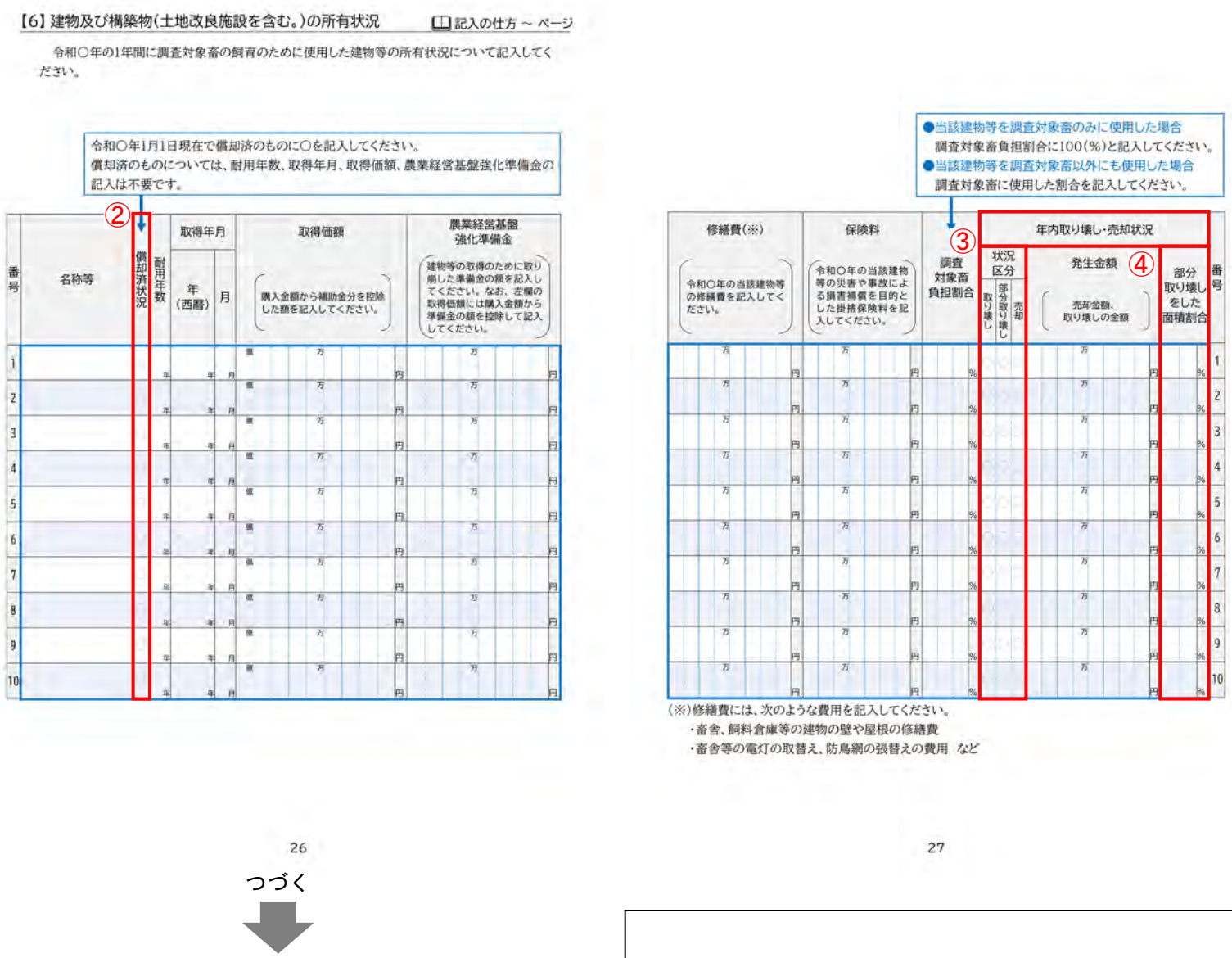
1年間に負担した調査対象畜に関係する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額（円） 万 千 百 十	調査対象畜負担割合 %	公課諸負担の例示
計			
集落協議会費			地域集落等の会費
農業協同組合費			農業協同組合の組合費、賦課金
養豚組合費			
農事実行組合費			実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金			

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、次の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、養豚組合費及び農事実行組合費の場合は、農業収入に占める調査対象畜の収入割合を記入してください。
○家畜共済組合賦課金の場合は、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を記入してください。

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
26～27ページ（変更前９ページと対比）		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「構造コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の建物等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内取り壊し・売却状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減のため「異動コード」を「状況区分」による選択方式に変更 ④部分取り壊しの際の現在価を算出するため、「部分取り壊しをした面積割合」の項目を追加



変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	９ページ	①同上 ③同上

【８】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜の飼育に使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【調査対象畜負担割合について】
・該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 ＝ 調査対象畜の使用面積 / 経営全体の使用面積 ×100

① ③

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積（㎡）又は施設数（基）	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	調査対象畜負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1								年	月							
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用　など

種類コード

建築物					
1	住宅	4	作業場	9	たい肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	8	車庫	13	その他の建築物
構築物					
24	飼料用タンク	29	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊｳｽ利用乾燥施設		
26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設		
27	浄化処理施設	31	その他の構築物		
28	脱臭施設				

構造コード

建築物
（1　住宅）～（13　その他の建築物）

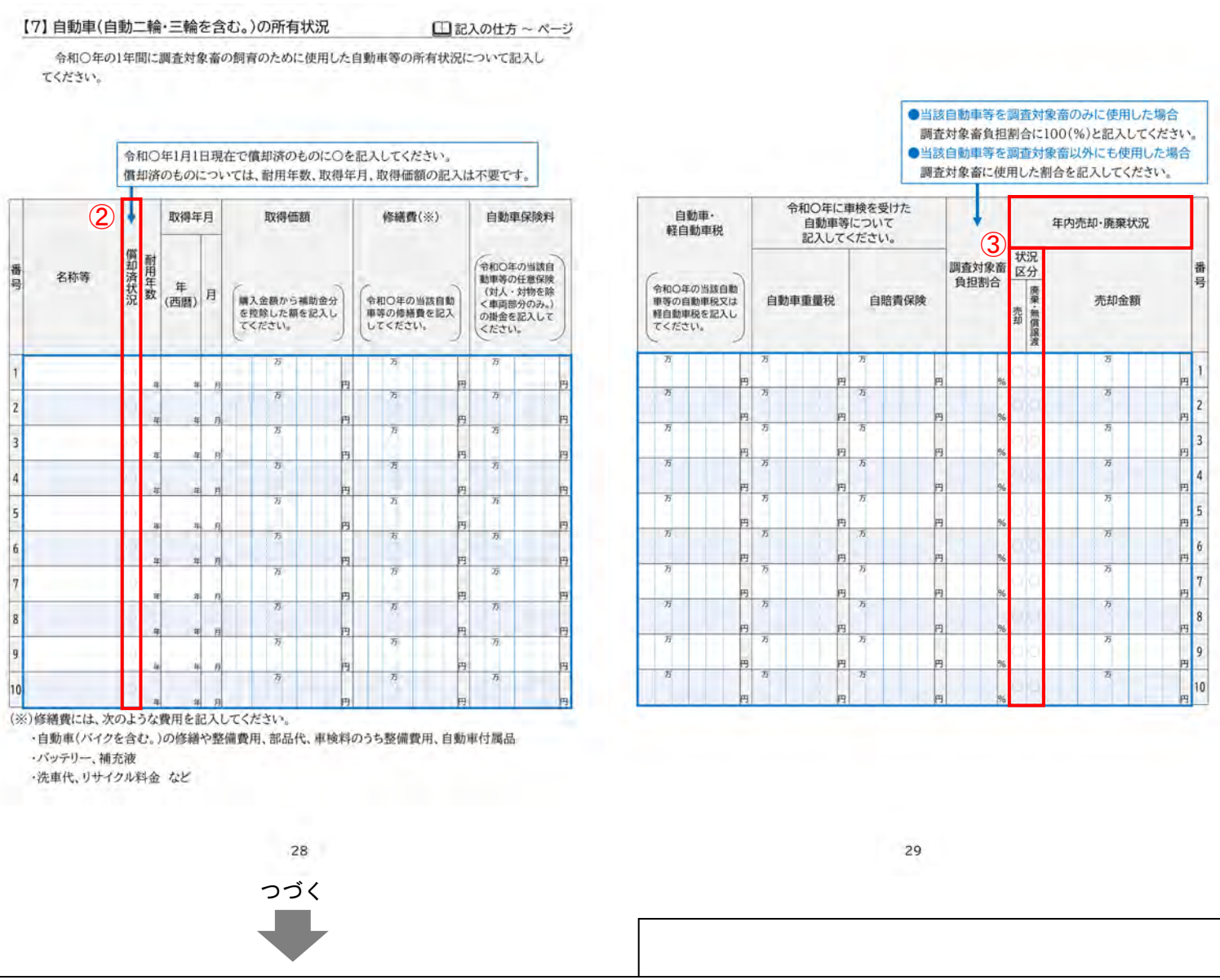
1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	骨骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	8	その他	11	造骨格材の肉厚４㎜以上
4	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ				

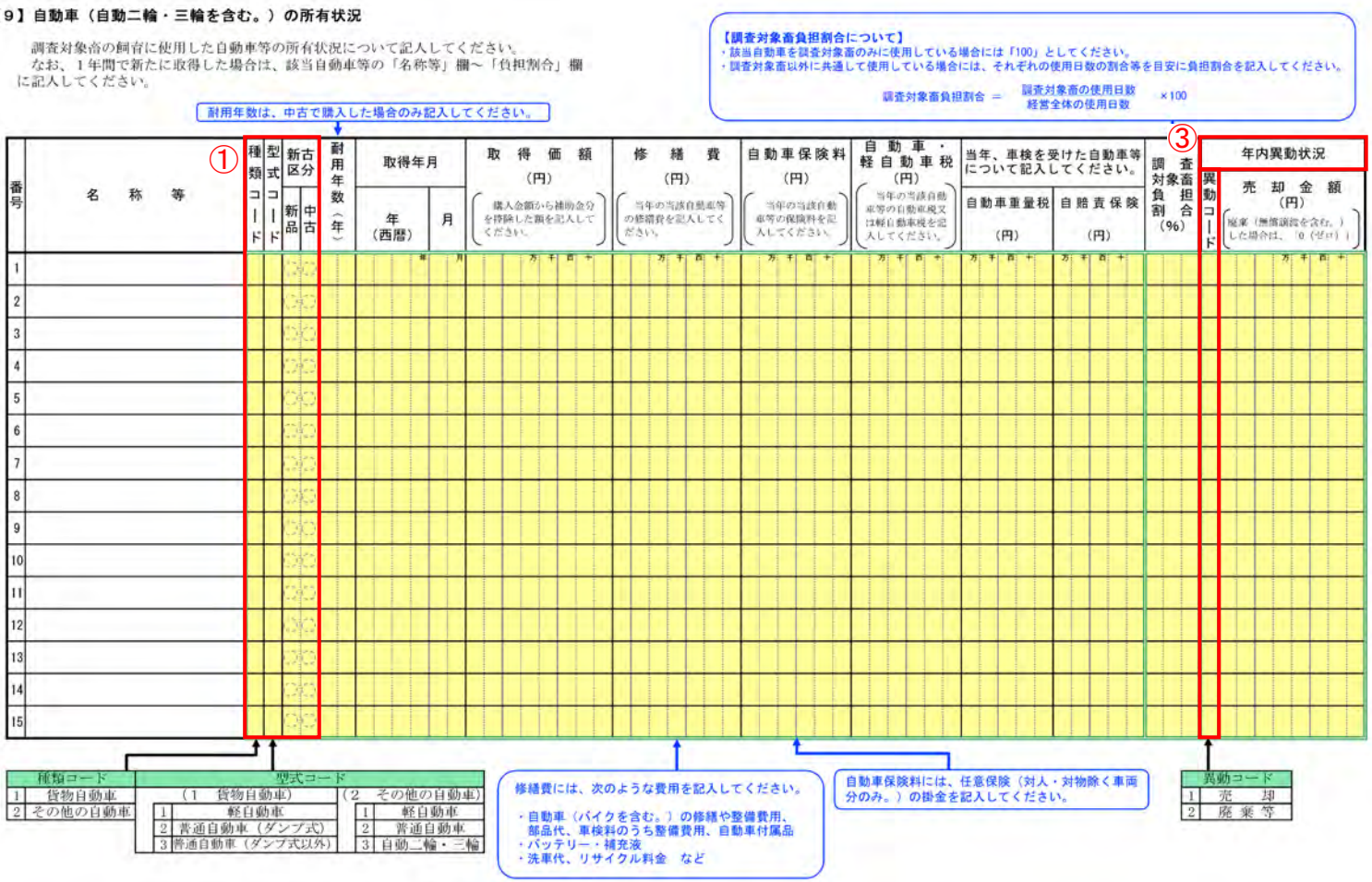
構築物
（24　飼料用タンク）～（31　その他の構築物）

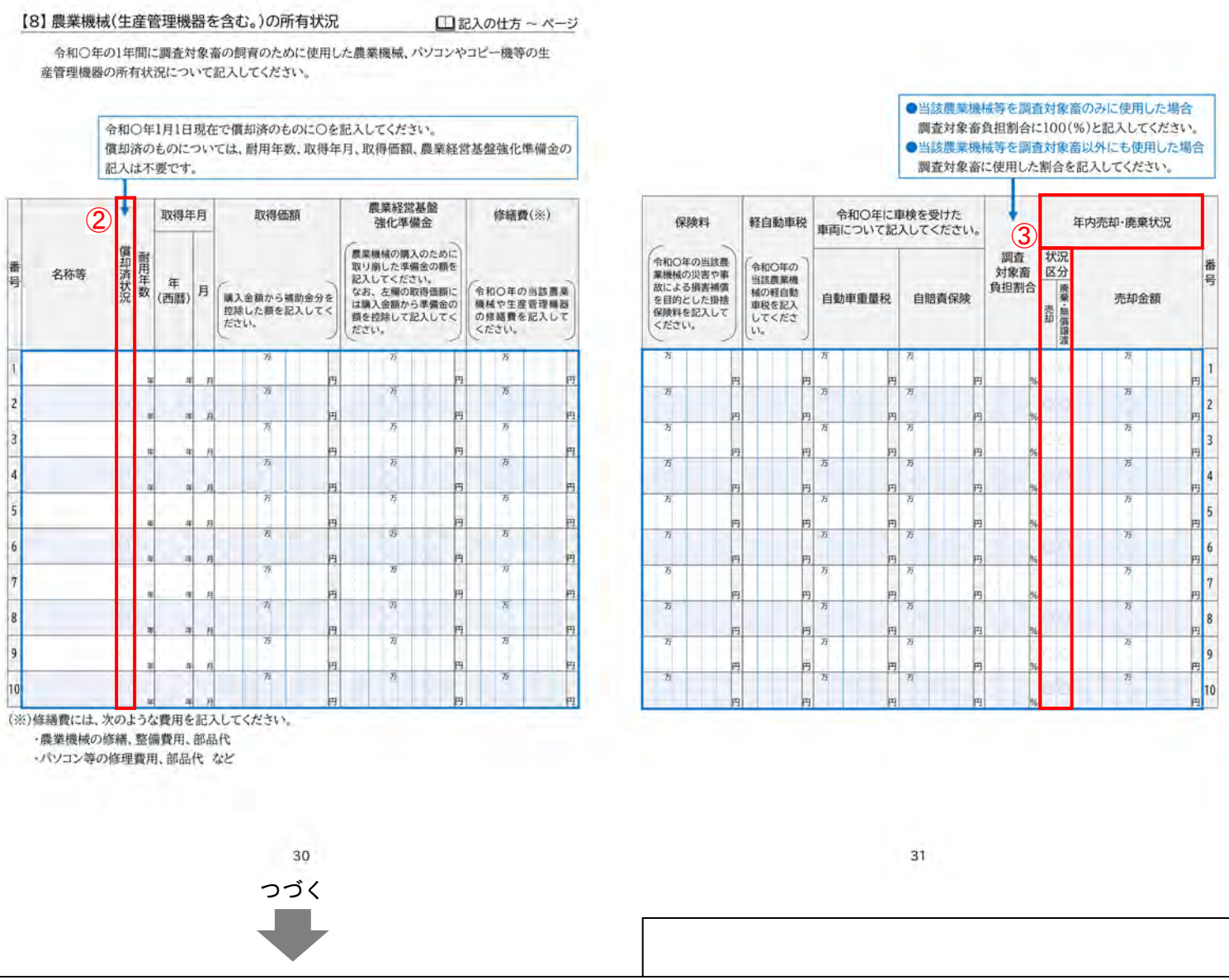
1	ｺﾝｸﾘｰﾄ、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード

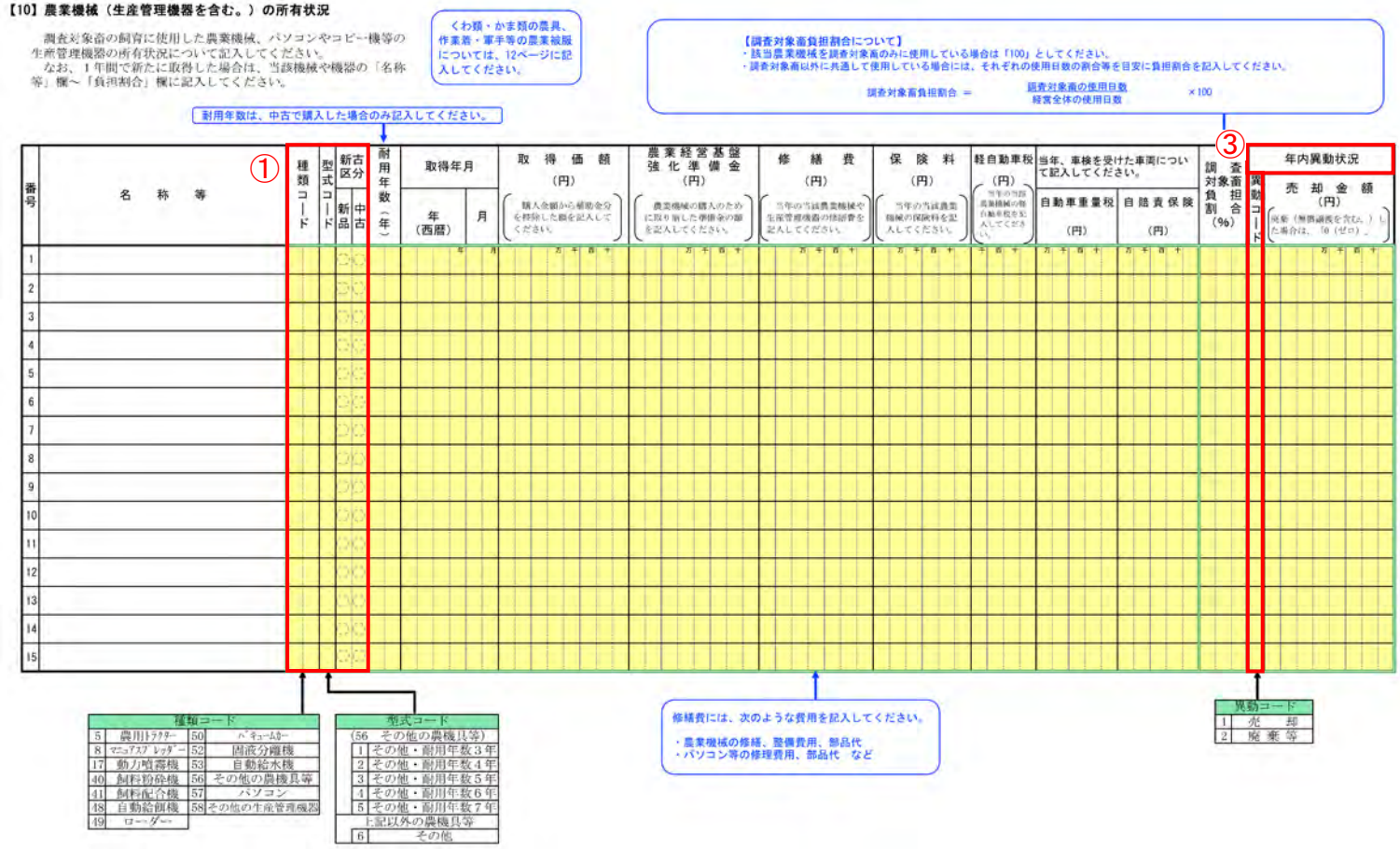
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

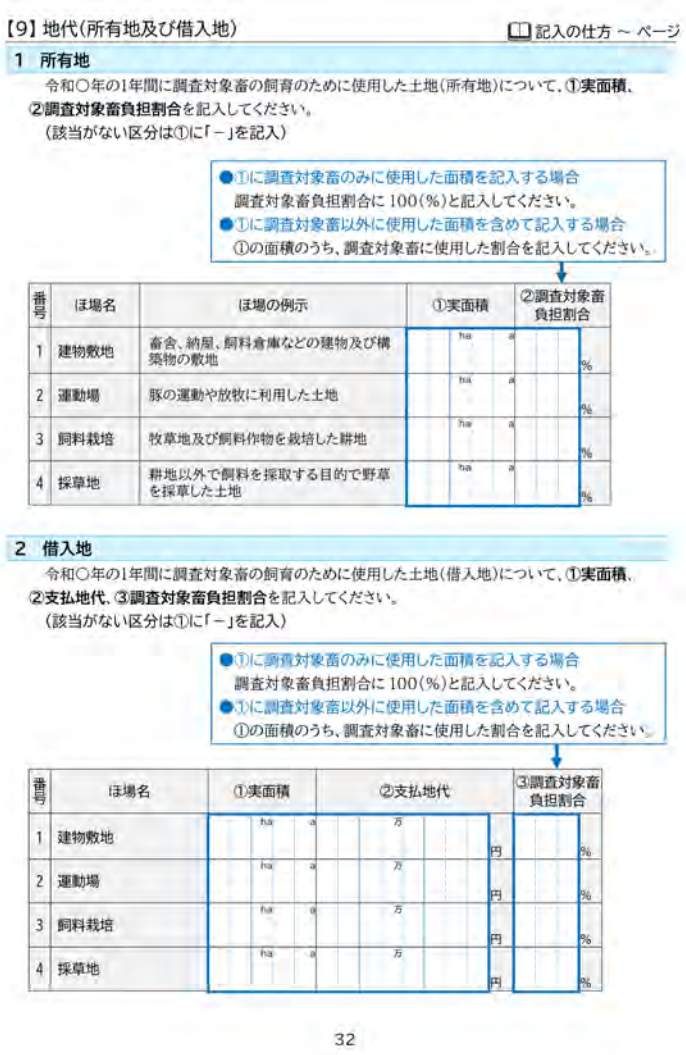
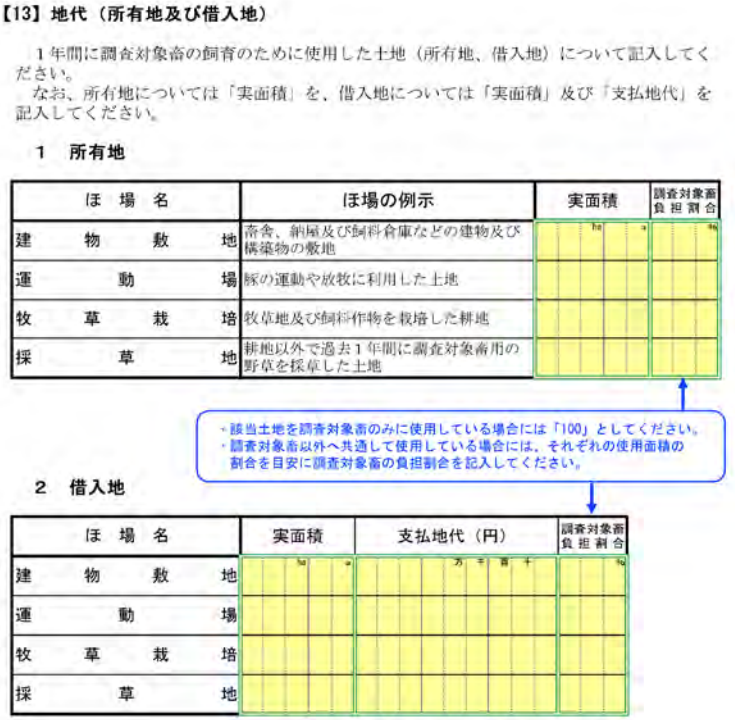
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
28～29ページ（変更前10ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の自動車等については、耐用年数、取得年月、取得価額の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
	10ページ	①同上 ③同上

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
30～31ページ（変更前11ページと対比） 		①報告者の記入負担軽減を図るため、「種類コード」、「型式コード」、「新古区分」は削除 ②償却済の農業機械等については、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入を不要とすることから、回答欄に「償却済状況」を追加 ③表頭名を「年内異動状況」から「年内売却・廃棄状況」に表現の適正化を図るとともに、報告者の記入負担軽減を図るため「異動コード」から「状況区分」による選択方式に変更

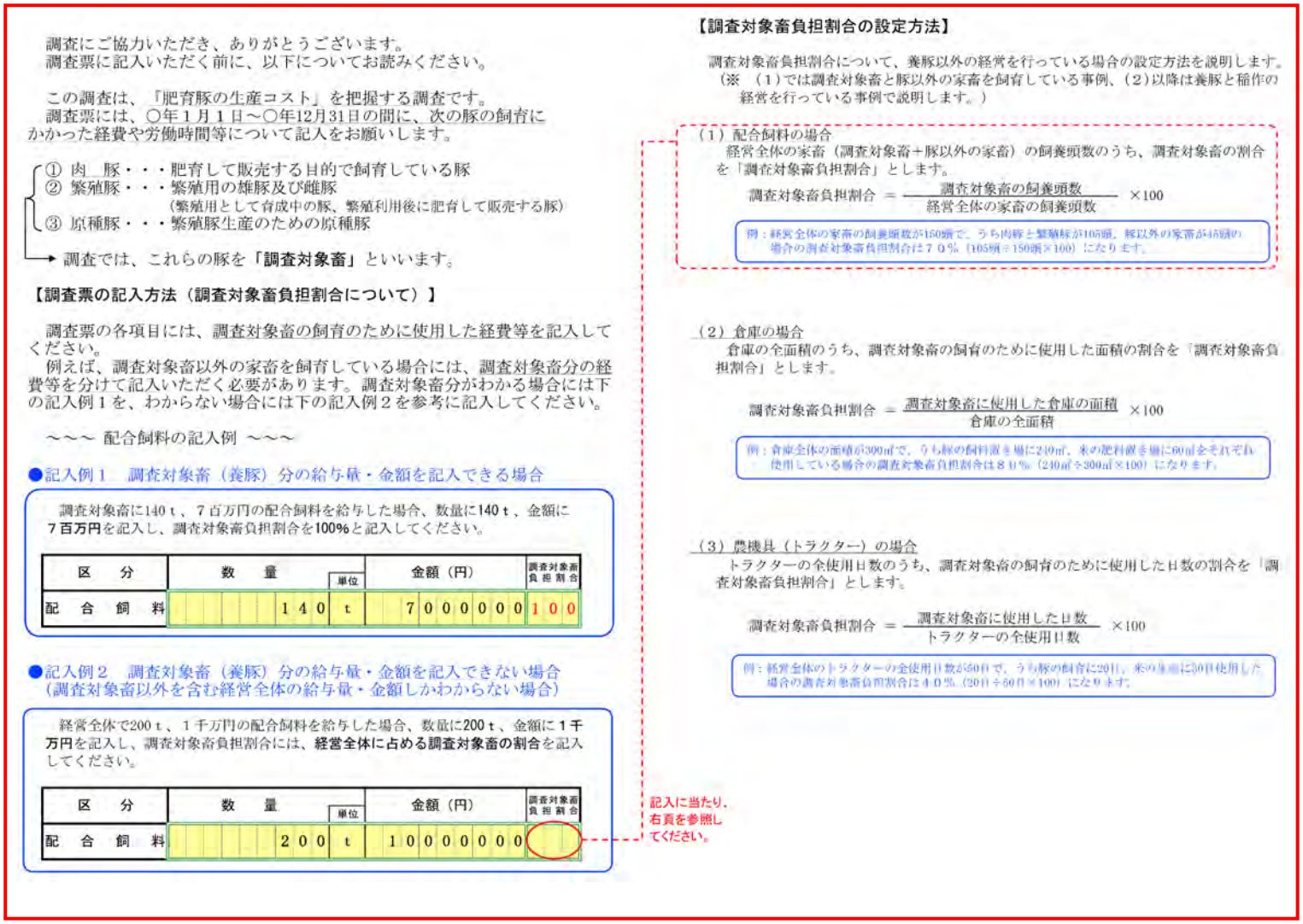
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
11ページ	11ページ	①同上 ③同上

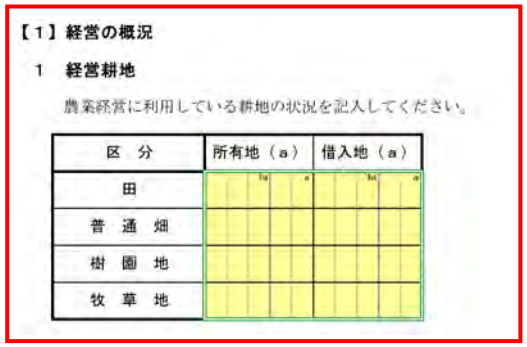
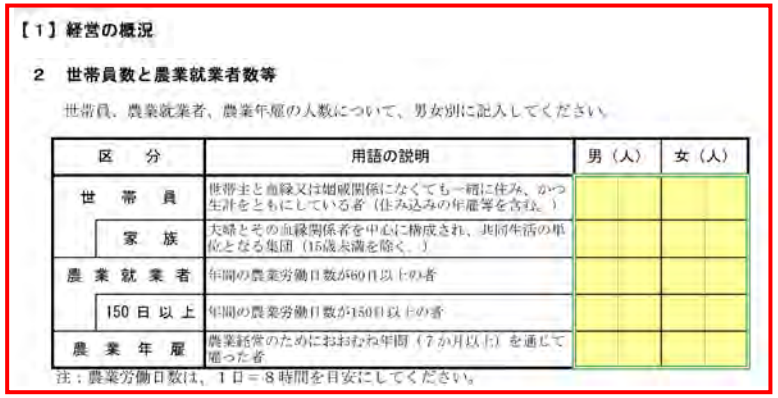
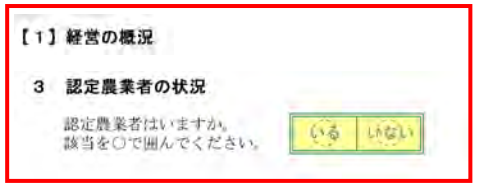


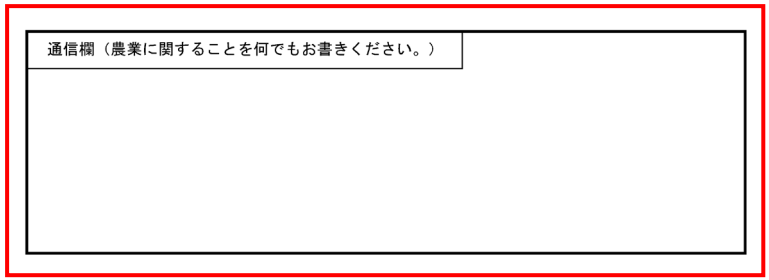
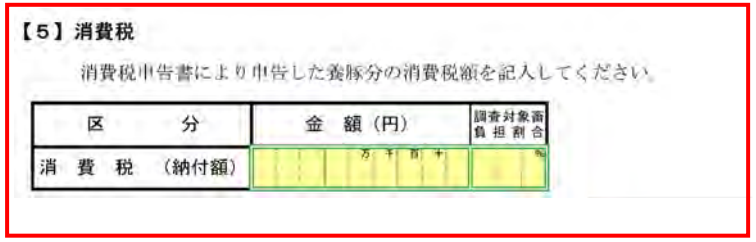
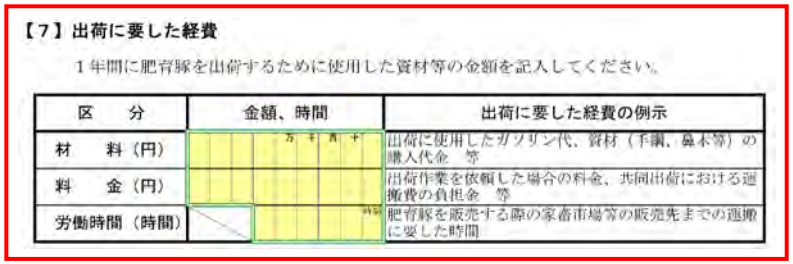
変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
32ページ 	13ページ 	所有地及び借入地の設問について、報告者が分かりやすいよう設問文をそれぞれの設問に追加

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
33ページ  	8ページ  	①借入金及び支払利子について、報告者の記入負担軽減を図るため、「計」のみを把握するよう変更 なお、回答が必須であった買掛未払金については、必要に応じて記入する扱いに変更

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
34ページ  	1ページ  	問い合わせ欄を表紙から最後のページに移動

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	２ページ 	調査票の記入方法の詳細については、調査票の該当する設問頁及び調査票の記入の仕方に記載することから削除

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 １　経営耕地 農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。 区　分 / 所有地（ａ） / 借入地（ａ） 田 普　通　畑 樹　園　地 牧　草　地	経営耕地について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ２　世帯員数と農業就業者数等 世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。 区　分 / 用語の説明 / 男（人） / 女（人） 世　帯　員 / 世帯主と血縁又は姻戚関係になくても一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。） 家　族 / 夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。） 農業就業者 / 年間の農業労働日数が60日以上の者 150日以上 / 年間の農業労働日数が150日以上の者 農　業　年　雇 / 農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者 注：農業労働日数は、１日＝８時間を目安にしてください。	世帯員数と農業就業者数等について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	３ページ  【１】経営の概況 ３　認定農業者の状況 認定農業者はいますか。 該当を○で囲んでください。 いる　いない	認定農業者の状況について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

変　更　案	変　更　前	変更点及び理由
（削除）	３ページ  通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）	通信欄について、利活用の実績が乏しいことから削除
（削除）	８ページ  【５】消費税 消費税申告書により申告した養豚分の消費税額を記入してください。 区　分 金　額（円） 調査対象畜産負担割合 消　費　税　（納付額） 万 千 百 十	消費税について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
（削除）	８ページ  【７】出荷に要した経費 １年間に肥育豚を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。 区　分 金額、時間 出荷に要した経費の例示 材　料（円） 出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金　等 料　金（円） 出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金　等 労働時間（時間） 肥育豚を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間	出荷に要した経費について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

調査計画（変更後）

１　調査の名称

農業経営統計調査（注１）

（その１：営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）

（注１）農業経営統計調査は、経営統計調査及び農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。）の２種類とする。

２　調査の目的

統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第２条第４項に規定する基幹統計）を作成し、農業経営体の経営の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。

３　調査対象の範囲

（１）地域的範囲（■全国　□その他）

（２）属性的範囲（□個人　■世帯　□事業所　■企業・法人・団体　□地方公共団体　□その他）

農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、**別添１**を参照）とし、次の区分とする。

ア　個人経営体

世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体

イ　法人経営体

世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体、農事組合法人及び会社組織による経営体

４　報告を求める個人又は法人その他の団体

（１）報告者数

4,526経営体（母集団の大きさ： 969,279経営体）

（内訳）

○個人経営体	3,665（母集団の大きさ（以下同じ）942,155）
水田作	768（520,198）
畑作	826（ 58,800）
野菜作	818（159,191）
果樹作	556（126,808）
花き作	147（ 19,312）
酪農	88（ 11,104）
肉用牛	307（ 25,982）

養豚	70（ 1,200）
採卵養鶏	15（ 980）
ブロイラー養鶏	20（ 965）
その他（注２）	50（ 17,615）

（注２）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。

○法人経営体	861（ 27,124）
水田作（集落営農）	111（ 4,538）
水田作（集落営農以外）	153（ 3,698）
畑作	126（ 3,189）
野菜作	100（ 4,848）
果樹作	98（ 1,541）
花き作	65（ 1,113）
酪農	26（ 1,660）
肉用牛	38（ 1,612）
養豚	45（ 1,278）
採卵養鶏	58（ 892）
ブロイラー養鶏	16（ 434）
その他（注３）	25（ 2,321）

（注３）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。

（２）報告者の選定方法（□全数　■無作為抽出（□全数階層あり）　□有意抽出）

個人経営体及び水田作（集落営農）以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を、法人経営体の水田作（集落営農）については、令和２年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とし、営農類型別及び農業経営体の種類（個人経営体及び法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する（注４）。

詳細については、**別添２**のとおり。

（注４）次回の母集団情報が更新されるまでは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。なお、離農などにより報告を求めることができなくなった場合には、代替となる報告者を選定する。

（３）報告義務者

ア　農業経営体を代表する者

イ　農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等（注５）の職員又は経営統計調査に係る事務を受託した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者

（注５）「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。

５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（１）報告を求める事項（詳細は、調査票（別添３－１、３－２）を参照）

《基本項目》

ア　経営体の現況に関する事項

イ　損益計算書に関する事項

ウ　事業収支の概要

エ　保有する土地面積の状況

オ　生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項

カ　制度受取金・積立金等に関する事項

キ　労働に関する事項

《詳細項目》

ク　貸借対照表に関する事項

ケ　投資と資金調達の状況

コ　役員、雇用者への給与に関する事項（法人経営体のみ）

なお、ク及びケについては、個人経営体のうち主業経営体（注６）、準主業経営体（注７）及び所得税青色申告決算書（農業所得用）による帳簿管理がなされている副業的経営体（注８）（以下「青色申告の副業的経営体」という。）並びに法人経営体から報告を求める。

（注６）「主業経営体」とは、個人経営体のうち、農業所得が主（農家所得の 50%以上が農業所得）で、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。

（注７）「準主業経営体」とは、個人経営体のうち、農外所得が主（農家所得の 50%未満が農業所得）で、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。

（注８）「副業的経営体」とは、個人経営体のうち、調査期間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。

〔集計しない事項の有無〕□無　■有

経営統計調査は、農業経営体の経営の実態について詳細に報告を求めるとともに、調査票への記入に代えて関係資料の開示等についても許容していることから、調査票には、個別に集計・公表しない事項として、報告者の記入漏れを防ぐための該当の有無を確認する事項（経営している土地があるか等）及び関係資料の開示等を確認する事項（青色申告決算書（農業所得用）の提供の有無等）を含む。

（２）基準となる期日又は期間（注９）

ア　個人経営体

毎年１月１日から12月31日までの１年間

イ　法人経営体

毎年、決算の対象となった１年間

（注９）本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、法人経営体については、決算期間の期末月が含まれる年度をもって「調査年」という。

６　報告を求めるために用いる方法

（１）調査系統

ア　経営統計調査のみの報告者

農林水産省 － 民間事業者 － 報告者
└民間調査員 ┘
(注 10)

（注 10）民間事業者が雇用する調査員をいう。

イ　生産費調査の報告者を兼ねる者

農林水産省 － 地方農政局等(注11) － 報告者
└ 統計調査員 ┘
(注 12)

（注 11）地方農政局等のうち、内閣府沖縄総合事務局農林水産センターは、内閣府沖縄総合事務局を経由して農林水産省との間における事務を行う。
（注 12）農林水産省が任命する調査員をいう。

なお、民間事業者による調査に協力を得られる報告者については、アに記載する調査系統により実施する。

（２）調査方法

■郵送調査　■オンライン調査（■政府統計共同利用システム　■独自のシステム　□電子メール）　■調査員調査　■その他（職員調査）

〔調査方法の概要〕

原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法（自計報告）により行う。ただし、経営統計調査のみの報告者であるか、生産費調査の報告者を兼ねるものであるかの区分に応じて、以下のとおり、報告者の希望により、地方農政局等の職員、統計調査員若しくは民間事業者に対して、決算書類等（報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。）を開示若しくは提供又は口頭で回答し、これを受けて、地方農政局等の職員、統計調査員又は民間事業者が調査票に記入する方法（他計報告）により行う場合もある。

ア　調査票の配布

（ア）経営統計調査のみの報告者

民間事業者が郵送で配布する。

なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年調査の際に得られた調査票情報を本年の調査票にあらかじめ印字し、その内容について更新を求めるものとする。

（イ）生産費調査の報告者を兼ねる者

地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。

なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち

経営体の現況に関する事項を除き、前年調査の際に得られた調査票情報を本年の調査票にあらかじめ印字し、その内容について更新を求めるものとする。

イ　調査票の提出等

（ア）経営統計調査のみの報告者

次のいずれかの方法により行う。

a　報告者が郵送により、民間事業者に提出する。

b　民間調査員が、報告者を訪問して回収する。

c　報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。

d　報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは政府統計共同利用システム若しくは独自のシステム（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施す。以下同じ。）により提供し、又は、民間調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。

（イ）生産費調査の報告者を兼ねる者

次のいずれかの方法により行う。

a　報告者が郵送により、地方農政局等に提出する。

b　地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。

c　報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。

d　報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは政府統計共同利用システム若しくは独自のシステムにより提供し、又は、地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。

7　報告を求める期間

（1）調査の周期

□１回限り　□毎月　□四半期　■１年　□２年　□３年　□５年　□不定期
□その他（　）

（2）調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査票は、毎年、調査年翌年の３月に配布し、提出期限は調査年翌年の４月末までとする。ただし、法人経営体のうち決算期が１月から３月までの経営体の提出期限は調査年翌年の６月末までとする。

8　集計事項

次に掲げる集計を行う（詳細は、**別添４**のとおり。）。

（1）営農類型別経営統計

ア　個人経営体

（ア）水田作経営、（イ）畑作経営、（ウ）野菜作経営、（エ）果樹作経営、
（オ）花き作経営、（カ）酪農経営、（キ）肉用牛経営、（ク）養豚経営、
（ケ）採卵養鶏経営、（コ）ブロイラー養鶏経営

なお、５（１）のク及びケについては、個人経営体のうち主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体並びに法人経営体を対象に集計を行う。

イ　法人経営体

（ア）水田作経営、（イ）水田作経営（集落営農）、（ウ）畑作経営、
（エ）野菜作経営、（オ）果樹作経営、（カ）花き作経営、（キ）酪農経営、
（ク）肉用牛経営、（ケ）養豚経営、（コ）採卵養鶏経営、（サ）ブロイラー養鶏経営

ウ　農業経営体

（ア）水田作経営、（イ）畑作経営、（ウ）野菜作経営、（エ）果樹作経営、
（オ）花き作経営、（カ）酪農経営、（キ）肉用牛経営、（ク）養豚経営、
（ケ）採卵養鶏経営、（コ）ブロイラー養鶏経営

（２）経営形態別経営統計

ア　個人経営体、イ　法人経営体、ウ　農業経営体

９　調査結果の公表の方法及び期日

（１）公表の方法（■e-Stat　□インターネット（e-Stat以外）　□印刷物　□閲覧）

（２）公表の期日

調査結果の概要は結果の集計後速やかに、その詳細は逐次公表する。詳細は、**別添５**のとおり。

10　使用する統計基準等

□使用する　→　□日本標準産業分類　□日本標準職業分類　□その他（　　）

■使用しない

経営統計調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。

11　調査票情報の保存期間及び保存責任者

関係書類名	保存期間	保存責任者
記入済み調査票(注13)	調査結果を公表した日の属する年の翌年の４月１日から起算して３年	＜経営統計調査のみの報告者に係るもの＞ 農林水産省大臣官房統計部長 ＜生産費調査の報告者を兼ねる者に係るもの＞ 地方農政局等の長
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長

（注13）記入済み調査票とは、調査票の記入に代えて提出された決算書類等を含む。

12　立入検査等の対象とすることができる事項

経営統計調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、５（１）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

調査計画（変更後）

１　調査の名称

農業経営統計調査（注１）

（その２：農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。））

（注１）農業経営統計調査は、生産費調査及び営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）の２種類とする。

２　調査の目的

統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第２条第４項に規定する基幹統計）を作成し、農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。

３　調査対象の範囲

（１）地域的範囲（■全国　□その他）

（２）属性的範囲（□個人　■世帯　□事業所　■企業・法人・団体　□地方公共団体　□その他）

農業経営体のうち､農産物の販売を目的とする経営体(農業経営体の定義については、**別添１**を参照）とし、次の区分とする。

ア　個別経営体

世帯による事業を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。）

イ　組織法人経営体

個別経営体以外で法人格を有する農事組合法人及び会社組織による経営体

４　報告を求める個人又は法人その他の団体

（１）報告者数

3,360経営体（母集団の大きさ： 656,131経営体）

（内訳）

○個別経営体	3,082（母集団の大きさ（以下同じ）640,434）
《農産物生産費統計》	
米生産費	720（514,784）
小麦生産費	374（ 22,466）
二条大麦生産費	60（ 6,118）
六条大麦生産費	58（ 1,948）
はだか麦生産費	38（ 846）
そば生産費	127（ 13,262）

大豆生産費	365（ 25,266）
原料用かんしょ生産費	57（ 1,010）
原料用ばれいしょ生産費	79（ 1,543）
なたね生産費	36（ 398）
てんさい生産費	61（ 5,256）
さとうきび生産費	96（ 8,678）

《畜産物生産費統計》

牛乳生産費	350（ 8,822）
去勢若齢肥育牛生産費	186（ 5,328）
乳用雄肥育牛生産費	48（ 465）
交雑種肥育牛生産費	69（ 1,144）
子牛生産費	199（ 20,848）
乳用雄育成牛生産費	35（ 323）
交雑種育成牛生産費	42（ 1,073）
肥育豚生産費	82（ 856）

○組織法人経営体	278（ 15,697）

《農産物生産費統計》

米生産費	98（ 9,458）
小麦生産費	82（ 2,651）
大豆生産費	98（ 3,588）

（２）報告者の選定方法（□全数　■無作為抽出（□全数階層あり）　□有意抽出）

2025年農林業センサスにより集められた情報を母集団とし、品目別及び農業経営体の種類（個別経営体及び組織法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する（注２）。

詳細については、**別添２**のとおり。

（注２）次回の母集団情報が更新されるまでは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。なお、離農などにより報告を求めることができなくなった場合には、代替となる報告者を選定する。

（３）報告義務者

ア　農業経営体を代表する者

イ　農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等（注３）の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者

（注３）「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。

５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（１）報告を求める事項（詳細は、調査票（別添３－３から３－22まで）を参照）

ア　認定農業者の状況（米生産費（個別経営体）のみ）、直近５か年の10a当たり収量（農産物生産費のみ）、農業就業者数（牛乳生産費のみ）
イ　生産物の販売等の状況又は調査対象畜の取引状況
ウ　調査対象農畜産物の生産に使用した資材等に関する事項
エ　物件税及び公課諸負担に関する事項
オ　土地改良及び水利費に関する事項（農産物生産費のみ）
カ　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子に関する事項
キ　建物及び構築物（土地改良設備を含む。）の所有状況
ク　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況
ケ　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況
コ　農具の購入費等に関する事項
サ　搾乳牛等の所有状況（牛乳生産費のみ）
シ　土地の面積及び地代に関する事項
ス　労働に関する事項
セ　乳用牛の月齢別の飼育経費に関する事項（牛乳生産費のみ）

〔集計しない事項の有無〕□無　■有

生産費調査は、各種農畜産物の生産費の実態を明らかにすることを目的として、詳細な報告を求めていることから、調査票には、個別に集計・公表しない事項として、生産費の集計する過程において用いる事項（負担割合等）、回答内容の審査のための事項（作業者等）、報告者の記入漏れを防ぐための該当の有無を確認する事項（自給の有無、物々交換の有無等）等を含む。

（２）基準となる期日又は期間

生産サイクル（収穫終了月までの１年間）(注4)に基づき、農畜産物の品目ごとに、次の期間とする。

農畜産物	期間
米　そば　大豆　原料用かんしょ　原料用ばれいしょ　てんさい　牛乳　去勢若齢肥育牛　乳用雄肥育牛　交雑種肥育牛　子牛　乳用雄育成牛　交雑種育成牛　肥育豚	毎年１月１日から12月31日までの１年間
さとうきび	毎年４月１日から３月31日までの１年間
小麦　二条大麦　六条大麦　はだか麦　なたね	毎年９月１日から８月31日までの１年間

（注４）本調査計画においては、本項目で示す期間を「調査年」という。ただし、２つの暦年にまたがる品目については、集計対象月数の多い年をもって「調査年」とする。

６　報告を求めるために用いる方法

（１）調査系統

農林水産省 ― 地方農政局等(注５) ― 報告者
└ 統計調査員(注６) ┘

（注５）地方農政局等のうち、内閣府沖縄総合事務局農林水産センターは、内閣府沖縄総合事務局を経由して農林水産省との間における事務を行う。
（注６）農林水産省が任命する調査員をいう。

（２）調査方法

■郵送調査　■オンライン調査（□政府統計共同利用システム　■独自のシステム　□電子メール）　■調査員調査　■その他（職員調査）

〔調査方法の概要〕

原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法（自計報告）により行う。ただし、報告者の希望により地方農政局等の職員又は統計調査員に決算書類等（報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。）を開示又は口頭で回答し、これを受けて、地方農政局等の職員又は統計調査員が調査票に記入する方法（他計報告）により行う場合もある。

ア　調査票の配布

地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。

なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち、固定資産の所有状況等について、地方農政局等の職員が前年調査の報告内容をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。

また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成15年法律第72号）に基づき農林水産省が保有（データベースの管理は（独）家畜改良センターが実施）している牛個体識別台帳（トレーサビリティデータ）を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。

イ　調査票の提出等

次のいずれかの方法により行う。

（ア）報告者が郵送により、地方農政局等に提出する。
（イ）地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。
（ウ）報告者が電子化した調査票を独自のシステム（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを

防ぐ措置を施す。）により提出する。

7　報告を求める期間

（１）調査の周期

□１回限り　□毎月　□四半期　■１年　□２年　□３年　□５年　□不定期
□その他（　）

（２）調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査票は、５（２）に掲げる期間前に配布し、提出期限については、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。

8　集計事項

次に掲げる集計を行う（詳細は、**別添４**のとおり。）。

（１）農産物生産費統計

ア 個別経営体

（ア）米生産費、（イ）小麦生産費、（ウ）二条大麦生産費、（エ）六条大麦生産費、
（オ）はだか麦生産費、（カ）そば生産費、（キ）大豆生産費、
（ク）原料用かんしょ生産費、（ケ）原料用ばれいしょ生産費、
（コ）なたね生産費、（サ）てんさい生産費、（シ）さとうきび生産費

イ 組織法人経営体

（ア）米生産費、（イ）小麦生産費、（ウ）大豆生産費

（２）畜産物生産費統計（個別経営体）

ア　牛乳生産費、イ　去勢若齢肥育牛生産費、ウ　乳用雄肥育牛生産費、
エ　交雑種肥育牛生産費、オ　子牛生産費、カ　乳用雄育成牛生産費、
キ　交雑種育成牛生産費、ク　肥育豚生産費

9　調査結果の公表の方法及び期日

（１）公表の方法（■e-Stat　□インターネット（e-Stat以外）　□印刷物　□閲覧）

（２）公表の期日

調査結果の概要は結果の集計後速やかに、その詳細は逐次公表する。詳細は、**別添５**のとおり。

10　使用する統計基準等

□使用する　→　□日本標準産業分類　□日本標準職業分類　□その他（　　）

■使用しない

生産費調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。

11　調査票情報の保存期間及び保存責任者

関係書類名	保存期間	保存責任者
記入済み調査票	調査結果を公表した日の属する年の翌年の４月１日から起算して３年	地方農政局等の長
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長

12　立入検査等の対象とすることができる事項

生産費調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、５（１）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

別添１

農業経営体の定義

「農業経営体」とは、次のいずれかに該当するものをいう。

１　その経営耕地面積が30 アール以上であること。

２　農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次に定める規模以上であること。

（１）露地野菜作付面積	15 アール
（２）施設野菜栽培面積	350 平方メートル
（３）果樹栽培面積	10 アール
（４）露地花き栽培面積	10 アール
（５）施設花き栽培面積	250 平方メートル
（６）搾乳牛飼養頭数	１頭
（７）肥育牛飼養頭数	１頭
（８）豚飼養頭数	15 頭
（９）採卵鶏飼養羽数	150 羽
(10) ブロイラー年間出荷羽数	1,000羽
(11) その他	調査期間の開始の日前１年間における農業生産物の総販売額が 50 万円に相当する事業の規模

別添２

報告者の選定方法

１　農林水産省大臣官房統計部長（以下「統計部長」という。）は、農業経営統計調査規則（以下「規則」という。）第３条第２項の農業経営体の中から営農類型別の経営に関する統計の調査客体（以下「営農類型調査客体」という。）を抽出するため、別表第１の左欄に掲げる営農類型区分及び同表の中欄に掲げる農業経営体の種類ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により農業経営体を区分してリストを作成し、これを地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の長（以下「地方農政局等の長」という。）に送付する。

２　地方農政局等の長は、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた営農類型調査客体の数を、前項の規定により統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。

３　統計部長は、農畜産物の生産費に関する統計の調査客体（以下「生産費調査客体」という。）を抽出するため、別表第２の左欄に掲げる品目及び同表の中欄に掲げる農業経営体の種類ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により農業経営体を区分してリストを作成し、これを地方農政局等の長に送付する。

４　地方農政局等の長は、生産費調査客体を抽出するため、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた生産費調査客体の数を、前項で統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。

５　なお、農業経営体を区分したリストから標本抽出できない場合には、行政記録情報（農事組合法人名簿等）を基に調査対象を選定する。

※　２、４の結果、同一の農業経営体が営農類型調査客体と生産費調査客体として抽出された場合、両調査の調査対象として選定することも可能。

別表第１

営農類型区分		農業経営体の種類	分類基準
水田作経営		個人経営体 法人経営体	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、水田で作付した農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
畑作経営			稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、畑で作付した農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
野菜作経営	露地野菜作経営		野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営
	施設野菜作経営		野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜の販売収入より施設野菜の販売収入が多い経営
果樹作経営			果樹の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
花き作経営	露地花き作経営		花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営
	施設花き作経営		花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きの販売収入より施設花きの販売収入が多い経営
酪農経営			酪農の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
肉用牛経営	繁殖牛経営		肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、繁殖用雌牛の飼養頭数が肥育牛の飼養頭数以上である経営
	肥育牛経営		肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、繁殖用雌牛の飼養頭数より肥育牛の飼養頭数が多い経営
養豚経営			養豚の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
採卵養鶏経営			採卵養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
ブロイラー養鶏経営			ブロイラー養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
その他経営			水田作経営、畑作経営、野菜作経営、果樹作経営、花き作経営、酪農経営、肉用牛経営、養豚経営、採卵養鶏経営、ブロイラー養鶏経営以外の経営

別表第２

品目	農業経営体の種類	分類基準
米	個別経営体	水稲を作付けし、玄米を年間６００キログラム以上販売する経営
	組織法人経営体	水稲を作付けし、販売する経営
小麦	個別経営体	小麦を１０アール以上作付けし、販売する経営
	組織法人経営体	小麦を作付けし、販売する経営
二条大麦	個別経営体	対象作目を１０アール以上作付けし、販売する経営
六条大麦		
はだか麦		
そば		
大豆	個別経営体	大豆（黒大豆を除く）を１０アール以上作付けし、販売する経営
	組織法人経営体	大豆（黒大豆を除く）を作付けし、販売する経営
原料用かんしょ	個別経営体	対象作目を１０アール以上作付けし、販売する経営
原料用ばれいしょ		
なたね		
てんさい		
さとうきび		
牛乳		搾乳牛を１頭以上飼養し、生乳を販売する経営
去勢若齢肥育牛		肥育を目的とする去勢若齢和牛を１頭以上飼養し、販売する経営
乳用雄肥育牛		肥育を目的とする乳用雄牛を１頭以上飼養し、販売する経営
交雑種肥育牛		肥育を目的とする交雑種牛を１頭以上飼養し、販売する経営
子牛		肉用種の繁殖雌牛を２頭以上飼養し、子牛を生産して販売する経営
乳用雄育成牛		育成を目的とする乳用雄育成牛を５頭以上飼養し、販売する経営
交雑種育成牛		育成を目的とする交雑種牛を５頭以上飼養し、販売する経営
肥育豚		肥育豚を年間 20 頭以上販売し、肥育用もと豚に占める自家生産子豚の割合が７割以上の経営

別添３－１

別記様式第１号

秘
農 林 水 産 省

統計法に基づく基幹統計
農 業 経 営 統 計

農業経営統計調査

○　年 営農類型別経営統計調査票

（個人経営体用）

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

営農類型		番号	

☆　この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。

☆　この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。
　　統計作成以外の目的に使うことはありません。

【記入上の留意事項】

１．○年１月１日～○年12月31日の１年間について記入してください。

２．記入に当たっては、同封の「調査票の記入の仕方」を参照してください。

３．調査項目欄には、右づめで記入してください。

４．**黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用**し、間違えた場合は消しゴムで消してください。

５．オンラインを利用される方は、同封の「オンライン利用の手引き」を参照してください。

６．本調査に必要な資料
　　設問に回答する際は、お手元に次の資料をご用意ください。
　　○青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）、確定申告書

○年○月○日までに提出をお願いします。

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【通信欄】　１年の中で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。

804

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

本調査票への記入に際しては、次の点に留意してください。

○　損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっているため、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので、該当する科目の記入欄へ転記してください。

○　営農の状況により、記入する欄が異なる場合があります。

1　調査票の構成

区　　分	説　　明	回答対象者	ページ
【1】現況	農業従事者の状況や青色申告の申請状況、経営耕地面積など	**全ての方にお答えいただく項目です**	3
【2】損益計算書	農業の収入や支出の状況		4、5
【3】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況		5
【4】貸借対照表	資産や負債の状況	**青色申告を行っている方又は、年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の家族がいる方にお答えいただく項目です**	6、7
【5】投資と資金調達の状況	農業に係る投資や資金調達の状況		8
【6】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況	**全ての方にお答えいただく項目です**	8、9
【7】生産概況、農畜産物収入	農畜産物の生産概況と販売収入の状況		10～15
【8】農作業受託収入	農作業受託収入の状況		16
【9】制度受取金・積立金等	制度受取金等に係る状況		16、17

2　【4】貸借対照表の転記に際しての留意点

「【4】貸借対照表」（6ページ）は、青色申告決算書の勘定科目から転記可能な様式となっています。

一方で、青色申告であっても、貸借対照表の作成義務のない簡易簿記や現金式簡易簿記の場合、又は収支内訳書（白色申告）の場合には、資産や負債に該当する勘定科目を7ページに記入してください。

805

【１】現況（全ての方にお答えいただく項目です。）

１－１　現況についてお伺いします。

①	経営主の年齢を記入してください。（令和〇年12月31日時点）	歳	
②	認定農業者がいますか。	はい	いいえ
③	経営主を含む家族のうち、年間60日(480時間)以上自営農業に従事している65歳未満の方がいますか。	はい	いいえ
④	世帯としての所得は、自営農業と自営農業以外の所得（年金等は含みません。）のどちらが多いですか。	自営農業	自営農業以外
⑤	青色申告決算書（農業所得用）を利用していますか。	はい	いいえ

（注）
③の従事した日数については、1日を８時間として換算してください。

１－２　期末（12月31日）時点の土地の状況についてお伺いします。

経営している田～採草放牧地がありますか。

はい	→ 本年欄に記入してください。	いいえ	→ ４頁の【２】へお進みください。

土地の状況を記入してください。貸している面積は含みません。

区　分	前　年		本　年	
	経営面積（a）	うち借入地（a）	経営面積 ha a	うち借入地 ha a
田				
畑（樹園地、牧草地を除く。）				
樹　園　地（茶の植栽面積を含む。）				
牧　草　地				
採草放牧地				

・**牧草地**とは、専ら牧草の栽培を行う耕地をいいます。
・**採草放牧地**とは、自生する野草を飼料用や肥料用に採草したり、放牧に利用する土地をいいます。

【2】損益計算書（全ての方にお答えいただく項目です。）

農業の収入、経費などについてお伺いします。

青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい	→ 2－2へお進みください。	いいえ	→ 本年欄に記入してください。

2－1　青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）を参照して金額を記入してください。

	科目		青色申告決算書No	収支内訳書No	前年 金額（円）	本年 金額（円） 億 万 千 百 十 一
収入	販売金額		①	①		
	家事消費金額・事業消費金額		②	②		
	雑収入		③	③		
	小計		④	④		
	農産物の棚卸高	期首	⑤	⑤		
		期末	⑥	⑥		
	収入計		⑦	⑦		
経費	租税公課		⑧	㋑		
	種苗費		⑨	㋺		
	素畜費		⑩	㋩		
	肥料費		⑪	㋥		
	飼料費 （注）		⑫	㋭		
	農具費		⑬	㋬		
	農薬費・衛生費		⑭	㋣		
	諸材料費		⑮	㋠		
	修繕費		⑯	㋟		
	動力光熱費		⑰	㋡		
	作業用衣料費		⑱	㋢		
	農業共済掛金		⑲	㋮	16、17頁へ記入してください。	
	減価償却費		⑳	⑩		
	荷造運賃手数料		㉑	㋷		
	雇人費		㉒	⑧		
	利子割引料		㉓	⑫		
	地代・賃借料		㉔	⑨		
	土地改良費		㉕	㋕		
			㉖	㋦		
			㉗	㋹		
			㉘	㋶		
			㉙	㋸		
	雑費		㉚	㋿		
	小計		㉛	ー		
	農産物以外の棚卸高	期首	㉜	㋞		
		期末	㉝	㋤		
経費から差し引く果樹・牛馬等の育成費用			㉞	㋽		
計			㉟	⑭		

（注）
飼料費の計上がある場合は、2－2も必ず回答してください。

（任意科目欄）
※科目が一致しない場合、決算書に記載の科目名を記入いただき、金額を記入してください。

807

２－２　飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の補てん金を控除していますか。

はい	→ 本年金額欄に控除した補てん金額を記入してください。	いいえ	→ ２－３へお進みください。

前年金額（円）	本年金額（円） 億　万　千　百　十　一

２－３　専従者給与について、青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）を参照して金額を記入してください。

科　目	青色申告決算書No	収支内訳書No	前年 金額（円）	本年 金額（円） 億　万　千　百　十　一
専　従　者　給　与	㊶	⑯		

【３】事業収支の概要（全ての方にお答えいただく項目です。）

事業収入や山林収入等についてお伺いします。

確定申告書第一表、第三表の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。
資料を提供していただけますか。

はい	→ ６頁の【４】へお進みください。	いいえ	→ 本年欄に記入してください。

３－１　事業収入、事業所得についてお伺いします。
申告書第一表を参照して、次の科目の金額を記入してください。

科目			申告書記号	前年 金額（円）	本年 金額（円） 億　万　千　百　十　一
収入金額	事業	営業等	㋐		
		農業	㋑		
	不動産		㋒		
所得金額	事業	営業等	①		
		農業	②		
	不動産		③		

３－２　１年間のうち、山林の所得がある場合には、申告書第三表（分離課税用）を参照して、次の科目の金額を記入してください。

科　目	申告書記号	前年 金額（円）	本年 金額（円） 億　万　千　百　十　一
収入金額（山林）	㋓		
所得金額（山林）	㉕		

【４】貸借対照表（該当する方のみお答えいただく項目です。）

次のいずれかに該当する方は、貸借対照表の期末（12月31日）時点の各科目の金額を記入してください。
・**青色申告決算書（農業所得用）を利用している方**（【１】の１－１⑤が「はい」の方）
・**年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の家族がいる方**（【１】の１－１③が「はい」の方）
（青色申告決算書（農業所得用）を利用していない方を含みます。）

４－１　貸借対照表を作成していますか。

はい	→ ４－２へお進みください。	いいえ	→ 次頁の４－５、４－６へお進みください。

４－２　貸借対照表の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。
資料を提供していただけますか。

はい	→ ４－４負債・資本の借入金の短期・長期の内訳をご記入の上、８頁の【５】へお進みください。
いいえ	→ ４－３、４－４の本年欄に記入してください。

４－３　資産

科目	前年 期末(12月31日)(円)	本年 期末(12月31日)（円） 億 万 千 百 十 一
現金		
普通預金		
定期預金		
その他預金		
売掛金		
未収金		
有価証券		
農産物等		
未収穫農産物等		
未成熟の果樹育成中の牛馬等		
肥料その他の貯蔵品		
前払金		
貸付金		
建物・構築物		
農機具等		
果樹・牛馬等		
土地		
土地改良事業受益者負担金		
（任意科目欄）※		
事業主貸		
合計		

４－４　負債・資本

科目	前年 期末(12月31日)(円)	本年 期末(12月31日)（円） 億 万 千 百 十 一
買掛金		
借入金 短期借入金		
借入金 長期借入金		
未払金		
前受金		
預り金		
（任意科目欄）※		
貸倒引当金		
（任意科目欄）※		
事業主借		
元入金		
青色申告特別控除前の所得金額		
合計		

※ 任意科目欄：科目が一致しない場合、科目名を記入いただき金額を記入してください。

８頁の【５】へお進みください。

809

貸借対照表を作成していない方にお伺いします。

期末（12月31日）時点の各科目の金額を記入してください。

４－５　資産に該当する勘定科目

科目		説明	前年 期末(12月31日)（円）	本年 期末(12月31日)（円） 億 万 千 百 十 一
現金		農業経営の現金		
預貯金等		農業経営の普通預金、定期預金、積立金、農業経営所有の有価証券、前払金、貸付金		
売掛未収入金		売掛金、未収金		
建物・構築物		農業経営用建物・構築物等の未償却残高		
農機具等		農業用機械等の未償却残高		
果樹・牛馬等		果樹と牛馬の未償却残高		
土地	土地（貸付地以外）	農業経営用の農地等の固定資産評価額（土地改良事業受益者負担を含む。）		
土地	貸付地	貸付地の固定資産評価額		

４－６　負債に該当する勘定科目

科目		説明	前年 期末(12月31日)（円）	本年 期末(12月31日)（円） 億 万 千 百 十 一
流動負債		買掛金、短期借入金、未払金、前受金、預り金		
	うち買掛金	原材料等の購入代金の未払金		
	うち短期借入金	経営のために銀行やJAなどからの借入金のうち返済期限が１年以内に到来する借入金		
長期借入金		経営のために銀行やJAなどからの借入金のうち返済期限が１年を超える借入金		

【５】投資と資金調達の状況（該当する方のみお答えいただく項目です。）

次のいずれかに該当する方は、１年間の設備投資や借り入れについて、記入してください。
・**青色申告決算書（農業所得用）を利用している方**（【１】の１－１⑤が「はい」の方）
・**年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の家族がいる方**（【１】の１－１③が「はい」の方）
（青色申告決算書（農業所得用）を利用していない方を含みます。）

事業経営のため、１年間に設備投資や借り入れがありましたか。

はい	→ 本年欄に記入してください。	いいえ	→ 【６】へお進みください。

５－１　事業経営のため１年間に設備投資したそれぞれの資産について、取得額の合計を記入してください。
また、記入した金額のうち農業の占める割合（農業生産関連事業などの他の事業を除いた割合）を記入してください。

区　分	説　明	前　年		本　年	
		金　額（円）	農業割合	金　額（円）	農業割合
			%	億 万 千 百 十 一	%
建物・構築物	建物・構築物の購入金額				
農機具等	自動車・農機具の購入金額				
果樹・牛馬等	植物・牛馬の購入金額（肥育牛及び中小動物を除く。）				
土　地	土地の購入金額				

５－２　事業経営のため１年間に借り入れた金額の合計を短期・長期別に記入してください。
また、記入した金額のうち農業の占める割合（農業生産関連事業などの他の事業を除いた割合）を記入してください。

区　分	説　明	前　年		本　年	
		金　額（円）	農業割合	金　額（円）	農業割合
			%	億 万 千 百 十 一	%
短期借入金	返済期限が１年以内の借入金				
長期借入金	返済期限が１年を超える借入金				

【６】労働の概要（全ての方にお答えいただく項目です。）

１年間に事業に従事した家族、雇用者の人数、農業労働時間についてお伺いします。

以下の設問にある従事者数及び農業労働時間を整理した資料がある場合、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい	→ 10頁の【７】へお進みください。	いいえ	→ 本年欄に記入してください。

６－１　事業（農業、農業生産関連事業、林業、不動産業、その他の事業）に従事した人数を記入してください。

区　分	前　年	本　年
	事業に従事した人数（人）	事業に従事した人数（人）
家　族（経営主含む。）		
常用雇用者		

【６－１から６－３までの家族、雇用の区分は次のとおりです】

・**家族：** 生計を一にする経営主を含む家族のうち、15歳以上の方を記入してください。
・**常用雇用者：** 期間を定めずに雇用している者又は１か月以上の期間を定めて雇用している者をいいます。
・**臨時雇用者：** １か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者をいいます。

※１　常用雇用者及び臨時雇用者には、外国人技能実習生及び日本人研修生を含みます。
２　酪農ヘルパーなどの派遣労働に係る労働者及びその労働時間は含みません。

811

６－２　農業に従事した家族の性別、年齢及び１年間の農業労働時間について、一人ずつ記入してください。

区　分	前　年				本　年			
	性別		年齢	年間の農業労働時間（時間）	性別		年齢	年間の農業労働時間（時間）
経　営　主	男	女			男	女		
家　族　①	男	女	歳		男	女	歳	
家　族　②	男	女	歳		男	女	歳	
家　族　③	男	女	歳		男	女	歳	
家　族　④	男	女	歳		男	女	歳	
家　族　⑤	男	女	歳		男	女	歳	
家　族　⑥	男	女	歳		男	女	歳	
家　族　⑦	男	女	歳		男	女	歳	
家　族　⑧	男	女	歳		男	女	歳	

・農業には、世帯として請け負った農作業を含みます。
・年間の農業労働時間は、整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。
（例）平均労働時間が１日８時間、年間300日働いている場合、８×300＝2,400となるため、「2,400」と記入してください。

６－３　農業に従事した雇用者の人数、農業労働時間をそれぞれ記入してください。

（１）常用雇用者の人数を区分ごとに記入してください。

区　分		前　年				本　年			
		男性（人）	65歳未満（人）	女性（人）	65歳未満（人）	男性（人）	65歳未満（人）	女性（人）	65歳未満（人）
常用雇用者	合　計								
	うち７か月以上の雇用者								

（２）常用雇用者の１年間の農業労働時間を区分ごとに記入してください。

区　分		前　年	本　年
		年間の農業労働時間（時間）	年間の農業労働時間（時間）
常用雇用者	合　計		
	うち７か月以上の雇用者		

・**農業労働時間**：整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。
（例１）「１人当たりの１日平均労働時間」×「１人当たりの年間の平均従事日数」×「人数」により算出
（例２）「雇用者に支払った賃金総額（損益計算書の雇人費のうち農業分）」÷「時間（日）当たり単価」により算出

（３）臨時雇用者の農業に従事した人数及び１年間の農業労働時間をそれぞれ記入してください。

区　分		前　年	本　年
臨時雇用者	農業に従事した人数（人）		
	年間の農業労働時間（時間）		

６－４　研修生の受け入れがあった場合、研修生の人数をそれぞれ記入してください。

区　分	前年	本年
	人数（人）	人数（人）
外国人技能実習生		
日本人研修生		

・**外国人技能実習生**は、外国人技能実習制度に基づき雇用した実習生の人数（実人数）を記入してください。
・**日本人研修生**は、雇用の有無にかかわらず受け入れた研修生（実人数）を記入してください。

812

【7】生産概況、農畜産物収入（全ての方にお答えいただく項目です。）

１年間に、販売目的で作付（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、販売金額等についてお伺いします（自家消費のみの目的の場合は除きます。）。

なお、「作付延べ面積」「月平均飼養頭羽数」「生産量」欄には事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物を含めてください。
また、稲わら以外の副産物を販売した場合は、該当する区分の販売金額に含めてください。

７－１　稲、麦類等

区分			作付延べ面積、販売金額に含めるもの	前年 作付延べ面積（茶は植栽面積） 田（a）	前年 作付延べ面積（茶は植栽面積） 畑（a）	前年 生産量（kg）	前年 販売金額（円）
稲（食用）	水稲	主食用米	主食用				
		加工用米	酒造用、加工用				
		新規需要米等	輸出用、米粉用、備蓄用の合計				
	陸稲						
稲（飼料用）		飼料用米	自給用を含む。				
		WCS用稲	稲発酵粗飼料用稲（自給用を含む。）				
稲わら・ぬか等			稲わら・ぬか等を販売したもの				
麦類	小麦						
	二条大麦						
	六条大麦						
	はだか麦						
	その他の麦		ライ麦など				
豆類	大豆		乾燥子実（枝豆等の未成熟は野菜）				
	大豆以外		小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実				
雑穀	そば		そば殻を含む。				
	他の雑穀		とうもろこし、あわ、ひえなどの穀物				
いも類	かんしょ		種いも用、原材料かんしょを含む。				
	ばれいしょ		種いも用、原材料ばれいしょを含む。				
工芸農作物	てんさい						
	さとうきび						
	茶		作付面積は植栽面積 生産量は荒茶換算				
	その他工芸農作物		なたね、い草、葉たばこなど				
その他	飼料用作物		牧草、デントコーン等、飼料用を目的に作付した作物の合計（自給用を含む。）				
	その他の作物		芝、苗、苗木、栽培きのこ類など				

以下の設問にある１年間の生産概況を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい	→ 16頁の【8】へお進みください。	いいえ	→ 本年欄に記入してください。

７－１　稲、麦類等

区分			本年 作付延べ面積（茶は植栽面積） 田（a） ha a	畑(普通畑)（a） ha a	生産量（kg）	販売金額（円） 億 万 千 百 十 一
稲（食用）	水稲	主食用米				
		加工用米				
		新規需要米等				
	陸稲					
稲（飼料用）		飼料用米				
		WCS用稲				
稲わら・ぬか等						
麦類	小麦					
	二条大麦					
	六条大麦					
	はだか麦					
	その他の麦					
豆類	大豆					
	大豆以外					
雑穀	そば					
	他の雑穀					
いも類	かんしょ					
	ばれいしょ					
工芸農作物	てんさい					
	さとうきび					
	茶					
	その他工芸農作物					
その他	飼料用作物					
	その他の作物					

814

7－2　野菜

区　分	前　年				
	品　目		作付延べ面積		販売金額（円）
	コード	品目名	露地（a）	施設（m^2）	
露地野菜					
	その他の露地野菜				
施設野菜					
	その他の施設野菜				

7－3　果樹

区　分	前　年				
	品　目		作付延べ面積（植栽面積）		販売金額（円）
	コード	品目名	露地（a）	施設（m^2）	
果　樹					
	その他の果樹				

７－２　野菜

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の露地野菜】【その他の施設野菜】にまとめて記入してください。

区　分	本　年				
	品目（生産した野菜の品目コード又は品目名を記入してください）		作付延べ面積		販売金額（円）
	コード	品目名	露地（a） ha　a	施設（m^2） m^2	億　万　千　百　十　一
露地野菜					
	その他の露地野菜				
施設野菜					
	その他の施設野菜				

野菜の品目はこちらから選択してください。

コード										
01	だいこん	04	キャベツ	07	ねぎ	10	なす	13	ピーマン
02	にんじん	05	ほうれんそう	08	たまねぎ	11	大玉トマト		
03	はくさい	06	レタス	09	きゅうり	12	ミニトマト		

７－３　果樹

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の果樹】にまとめて記入してください。

区　分	本　年				
	品目（生産した果樹の品目コード又は品目名を記入してください）		作付延べ面積（植栽面積）		販売金額（円）
	コード	品目名	露地（a） ha　a	施設（m^2） m^2	億　万　千　百　十　一
果樹					
	その他の果樹				

果樹の品目はこちらから選択してください。

コード										
51	りんご	54	露地ぶどう	57	もも	60	おうとう	63	くり
52	露地温州みかん	55	施設ぶどう	58	かき	61	すもも	64	キウイフルーツ
53	施設温州みかん	56	日本なし	59	うめ	62	びわ	65	パインアップル

816

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

7－4　花き

区　分	作付延べ面積、販売金額に含めるもの	前年		
		作付延べ面積		販売金額（円）
		露地（a）	施設（m^2）	
露地花き	露地で生産する鉢植えの花木を含む。			
施設花き	施設で生産する鉢植えの花木を含む。			

7－5　畜産物

区　分			飼養頭羽数、生産量に含めるもの	販売金額に含めるもの	前年		
					飼養頭羽数、生産量	販売頭羽数	販売金額（円）
酪農	生乳生産量（年間）		自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの	生乳	kg		
	搾乳牛		搾乳牛（乾乳中の牛を含む。）の**月平均飼養頭数**		頭		
	自家生産乳牛等			自家で生産した乳牛（F1、ETを含む。）、搾乳用育成牛		頭	
肉用牛	繁殖牛	繁殖雌牛	繁殖用の和牛雌牛の**月平均飼養頭数**		頭		
		自家生産和牛等		自家で生産した子牛（和子牛・F1クロス牛）、自家で生産して繁殖用に育成した牛		頭	
	肥育牛	肉専用種	肉専用種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の**月平均飼養頭数**	肉専用種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の合計	頭	頭	
		乳用種	乳用種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の**月平均飼養頭数**	乳用種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の合計	頭	頭	
		交雑種	交雑種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の**月平均飼養頭数**	交雑種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の合計	頭	頭	
養豚	繁殖雌豚		繁殖用の豚の**月平均飼養頭数**		頭		
	肥育豚		肥育用の豚の**月平均飼養頭数**		頭		
	肉豚			肉豚、廃用豚のうち販売した豚		頭	
	子豚			肥育用・繁殖用子豚		頭	
採卵養鶏	飼養羽数		採卵鶏（うずらを除く。）の**月平均飼養羽数**		羽		
	鶏卵生産量（年間）		採卵鶏から生産される卵（販売した不正常卵を含む。）	採卵鶏から生産される卵（販売した不正常卵を含む。）、廃鶏	kg		
ブロイラー養鶏			ブロイラー、ブロイラー雛（地鶏を除く。）の**年間販売羽数**	ブロイラー、ブロイラー雛（地鶏を除く。）		羽	
その他畜産	きゅう肥（ふん尿）			きゅう肥として販売したもの（自給肥料としたもの以外）			
	その他			地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕、養蜂等			

7－4　花き

区　分	本年 作付延べ面積 露地（a） ha	a	施設（m^2） ㎡	販売金額（円） 億	万	千	百	十	一
露地花き										
施設花き										

7－5　畜産物

区　分			本年 飼養頭羽数（月平均）、生産量（年間） 万	千	百	十	一	（単位）	販売頭羽数（年間） 万	千	百	十	一	（単位）	販売金額（円） 億	万	千	百	十	一
酪農	生乳生産量（年間）							kg												
	搾乳牛							頭（月平均）												
	自家生産乳牛等													頭						
肉用牛	繁殖牛	繁殖雌牛						頭（月平均）												
		自家生産和牛等												頭						
	肥育牛	肉専用種						頭（月平均）						頭						
		乳用種						頭（月平均）						頭						
		交雑種						頭（月平均）						頭						
養豚	繁殖雌豚							頭（月平均）												
	肥育豚							頭（月平均）												
	肉豚													頭						
	子豚													頭						
採卵養鶏	飼養羽数							羽（月平均）												
	鶏卵生産量（年間）							kg												
ブロイラー養鶏														羽						
その他畜産	きゅう肥（ふん尿）																			
	その他																			

【８】農作業受託収入（全ての方にお答えいただく項目です。）

農作業受託についてお伺いします。

１年間に農作業受託収入がありましたか。

はい	→ 本年金額欄に記入してください。
いいえ	→ 【９】へお進みください。

前年金額（円）	本年金額（円）
	億 万 千 百 十 一

【９】制度受取金・積立金等（全ての方にお答えいただく項目です。）

制度受取金・積立金等についてお伺いします。

１年間に農業に関する制度受取金・積立金等がありましたか。

はい	→ 次の設問へお進みください。
いいえ	→ 調査は終了になります。

（右頁に続きます。）

名　　称　　等		前　年 チェック 受取	積立	金　額 制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
共通					
水田・畑作					
野菜					
茶					
果樹					
畜産					
その他					
合　計					

内訳の記入が難しい場合は、「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入してください。

以下の設問にある制度受取金・積立金等を整理した資料の写しを提出していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい	→ １年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けていただき、調査は終了になります。
いいえ	→① １年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けてください。 ② 受け取った金額を「制度受取金等」欄に、支払った金額を「制度積立金等」欄に記入してください。 なお、内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金等」、「合計（制度受取金等）」及び「合計（制度積立金等）」欄を記入してください。

名称等		本年 チェック 受取	本年 チェック 積立	本年 金額 制度受取金等（円） 億 万 千 百 十 一	本年 金額 制度積立金等（円） 億 万 千 百 十 一
共通					
水田・畑作					
野菜					
茶					
果樹					
畜産					
その他					
合計					

内訳の記入が難しい場合は、「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入してください。

調査は以上です。ご協力、ありがとうございました。

820

別添3－2

別記様式第２号

秘
農 林 水 産 省

統計法に基づく基幹統計
農 業 経 営 統 計

農業経営統計調査

○　年　営農類型別経営統計調査票

（法人経営体用）

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

営農類型		番号	

☆　この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。

☆　この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。
　　統計作成以外の目的に使うことはありません。

【記入上の留意事項】

１．○年４月１日～○年３月31日の間に到来した決算日の対象となる１年間について記入してください。

２．記入に当たっては、同封の「調査票の記入の仕方」を参照してください。

３．調査項目欄には、右づめで記入してください。

４．**黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用**し、間違えた場合は消しゴムで消してください。

５．オンラインを利用される方は、同封の「オンライン利用の手引き」を参照してください。

６．本調査に必要な資料

設問に回答する際は、お手元に次の資料をご用意ください。

- ○ 貸借対照表
- ○ 損益計算書
- ○ 事業経費の内訳がわかる書類
  （製造原価報告書や販売費及び一般管理費内訳書など）
- ○ 労働時間や給与支給額がわかる書類
- ○ 生産状況・販売金額の内訳がわかる書類

○年○月○日までに提出をお願いします。
（決算月が１月～３月の場合は○月○日までに提出をお願いします。）

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【通信欄】
決算期間の１年間で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。

821

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

本調査票への記入に際しては、次の点に留意してください。

○　貸借対照表や事業経費（製造原価、販売費及び一般管理費）に係る勘定科目の記入欄は、貴法人が採用する勘定科目と異なる場合があります。

○　事業経費に係る記入は、農業についてのみとしてください。

○　営農の状況により、記入する欄が異なる場合があります。

1　調査票の構成

区　　分	説　　明	ページ
【1】現況	認定農業者の有無、決算期、経営する土地面積等の状況について記入してください。	3
【2】貸借対照表	資産や負債の状況について記入してください。	4
【3】投資と資金の調達	農業に係る投資や資金調達の状況について記入してください。	5
【4】労働の概要、給与の状況	事業に従事した人数や労働時間、役員、雇用者への給与の状況について記入してください。	6、7
【5】損益計算書	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について記入してください。	8
【6】農業に係る事業経費	農業に係る経費の状況について記入してください。	9～11
【7】生産概況、農畜産物収入	農畜産物の生産概況と販売収入について記入してください。	12～17
【8】農作業受託収入、事業消費など	農作業受託収入、事業消費に仕向けた農畜産物の金額について記入してください。	18、19
【9】制度受取金・積立金等	制度受取金等に係る状況について記入してください。	18、19

2　「【6】農業に係る事業経費」の記入に際しての留意点

（1）　「当期製品製造原価」と「販売費及び一般管理費」の内訳である「事業経費」については、法人ごとに会計処理が異なるため、貴法人に該当する項目（【6】農業に係る事業経費（P9）（6-1-1又は6-2-1））を選択し記入してください。

（2）　「事業経費」の勘定科目は、農業法人協会が定める「農業の会計に関する指針」（平成26年５月制定）及びその参考資料の「標準的勘定科目一覧」を基準に設定しています。

（3）　このため、調査項目に採用している勘定科目は、各法人ごとに異なるものであるため、貴法人の勘定科目の名称と相違がある場合には、勘定科目の説明欄を参照し科目ごとに記入してください。

【１】現況

１－１　経営する法人の形態等についてお伺いします。

①	家族による経営ですか。	はい	いいえ
②	貴法人は認定農業者ですか。 又は、認定農業者はいますか。	はい	いいえ
③	決算期間の期末月を記入してください。	月	
④	決算日時点の経営主の年齢を記入してください。	歳	
⑤	農業以外の事業を行っていますか。	はい	いいえ

・**農業以外の事業**とは、農業生産関連事業（農産加工、観光農園、貸し農園、農家民宿、農家レストラン）、林業、米穀集荷販売業、不動産経営などをいいます。

⑥	集落営農ですか。	はい	いいえ

「集落営農」とは、集落を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農をいいます。

１－２　決算期末時点の土地の状況についてお伺いします。

経営している田～採草放牧地がありますか。

はい	→　本年欄に記入してください。	いいえ	→４頁の【２】へお進みください。

区分は現状の地目で記入してください。また、貸している面積は含みません。
なお、集落営農の場合は、構成員持ち寄りの耕地は借入地に含めてください。

区　分	前年		本年	
	経営面積（a）	うち借入地（a）	経営面積 ha a	うち借入地 ha a
田				
畑（樹園地、牧草地を除く。）				
樹園地（茶の植栽面積含む。）				
牧草地				
採草放牧地				

・**牧草地**とは、専ら牧草の栽培を行う耕地をいいます。
・**採草放牧地**とは、自生する野草を飼料用や肥料用に採草したり、放牧に利用する土地をいいます。

【２】貸借対照表

資産、負債の状況について、貸借対照表を参照して、期末の金額を記入してください。
また、農業以外の事業も経営している場合は、農業の占める割合を必ず記入（有形固定資産の内訳及び負債計のみ）してください。

「貸借対照表」の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい	→ 農業以外の事業を行っている場合は、点線内の農業割合を必ず記入の上、５頁の【３】へお進みください。
いいえ	→ 本年欄に記入してください。

２－１　資産の部

勘定科目	説明	前年 金額（円）	前年 農業割合 %	本年 金額（円） 億 万 千 百 十 一	本年 農業割合 %
資産計	資産の合計				
流動資産	流動資産の合計				
うち 現金・預貯金	現金、当座預金、普通預金、定期預金				
売掛金・未収入金	通常取引による営業上の未収入金				
棚卸資産	農産物、半製品、仕掛品、貯蔵品、資材				
うち 農産物	農産物				
固定資産	固定資産の計				
有形固定資産	有形固定資産の計				
うち 動物・植物	乳牛、繁殖牛、繁殖豚、果樹、茶、桑　等				
自動車・農機具	車両運搬具、トラクター、乾燥機、機械装置、籾すり機　等				
建物・構築物	建物、施設、畜舎、建物付属設備　等				
土地	農地、付属施設　等				
減価償却累計額	間接法による場合の減価償却費の累計額				
無形固定資産	電話加入権、地上権、借地権				
投資・その他の資産	農協出資金、長期貸付金、投資証券、補償金				
繰延資産	創立費、開業費				

２－２　負債の部

勘定科目	説明	前年 金額（円）	前年 農業割合 %	本年 金額（円） 億 万 千 百 十 一	本年 農業割合 %
負債計	負債の合計				
流動負債	流動負債の合計				
うち 買掛金・未払金	原材料等の購入代金等の未払金の合計				
短期借入金	返済期限が１年以内の借入金				
固定負債	固定負債の合計				
うち 長期借入金	返済期限が１年を超える借入金				

次頁の【３】へお進みください。

824

【３】投資と資金の調達

３－１　直近決算期における設備投資の状況についてお伺いします。

1年間に、建物・構築物、自動車・農機具、事業用の動物・植物、土地への投資を行いましたか。

はい	→ 本年欄に記入してください。	いいえ	→ ３－２へお進みください。

事業経営のため１年間（決算期間）に設備投資したそれぞれの資産について、取得額の合計を記入してください。また、記入した金額のうち農業の占める割合を必ず記入してください。

勘定科目	説明	前年 金額（円）	前年 農業割合 %	本年 金額（円） 億 万 千 百 十 一	本年 農業割合 %
建物・構築物	建物・構築物の購入金額				
農機具等	自動車・農機具の購入金額				
果樹・牛馬等	植物・牛馬の購入金額（肥育牛及び中小動物を除く。）				
土地	土地の購入金額				

３－２　直近決算期の資金調達の状況についてお伺いします。

１年間に、事業のための資金調達を行いましたか。

はい	→ 本年欄に記入してください。	いいえ	→ ６頁の【４】へお進みください。

１年間に借り入れた金額の合計を短期・長期別に記入してください。
また、記入した金額のうち農業の占める割合を必ず記入してください。

勘定科目	説明	前年 金額（円）	前年 農業割合 %	本年 金額（円） 億 万 千 百 十 一	本年 農業割合 %
短期借入金	返済期限が１年以内の借入金				
長期借入金	返済期限が１年を超える借入金				

【４】労働の概要、給与の状況

雇用形態別の従事者数、農業労働時間等についてお伺いします。

以下の設問にある従事者数、農業労働時間、性別、支給した給与を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい	→８頁の【５】へお進みください。	いいえ	→　本年欄に記入してください。

４－１　男性の従事者数：１年間の男性の従事者数について、雇用形態別に実人数で記入してください。
また、そのうち農業に従事した方の人数をそれぞれ記入してください。

区　分		前年 男性の全従事者数（人）	前年 うち農業（人）	前年 うち農業 65歳未満（人）	本年 男性の全従事者数（人）	本年 うち農業（人）	本年 うち農業 65歳未満（人）
有給役員							
常用雇用者	正社員・正職員						
	その他						
	うち７か月以上						

４－２　女性の従事者数：１年間の女性の従事者数について、雇用形態別に実人数で記入してください。
また、そのうち農業に従事した方の人数をそれぞれ記入してください。

区　分		前年 女性の全従事者数（人）	前年 うち農業（人）	前年 うち農業 65歳未満（人）	本年 女性の全従事者数（人）	本年 うち農業（人）	本年 うち農業 65歳未満（人）
有給役員							
常用雇用者	正社員・正職員						
	その他						
	うち７か月以上						

４－３　臨時雇用者数：１年間の臨時雇用者数（男女計）について、実人数で記入してください。

区　分	前年 従事者数（人）	前年 うち農業（人）	本年 従事者数（人）	本年 うち農業（人）
臨時雇用者				

４－４　研修生の受け入れがあった場合、研修生の人数をそれぞれ記入してください。

区　分	前年 人数（人）	本年 人数（人）
外国人技能実習生		
日本人研修生		

・**外国人技能実習生**は、外国人技能実習制度に基づき雇用した実習生の人数（実人数）を記入してください。
・**日本人研修生**は、雇用の有無にかかわらず受け入れた研修生（実人数）を記入してください。

４－５　労働時間：１年間の労働時間の合計を雇用形態別に記入してください。
また、農業には、貴法人が請け負った農作業も含みます。

区分		前年		本年	
		年間の事業労働時間（時間）	うち農業労働時間（時間）	年間の事業労働時間（時間）	うち農業労働時間（時間）
有給役員					
常用雇用者	正社員・正職員				
	その他				
	うち7カ月以上				
臨時雇用者					

労働時間の合計の記入は、整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。「１人当たりの１日平均労働時間」×「１人当たりの年間の平均従事日数」×「人数」により算出した値を記入してください。

＜例＞
正社員５人の平均労働時間が、1日８時間、年間300日働いている場合、８×300×５＝12,000となるため、「12,000」を記入してください。

４－６　１年間に支給した給与（農業以外の事業に従事した従事者を含みます。）
支給総額を雇用形態別に記入してください。
なお、従事分量配当として事業従事者に支払った場合は給与に含めます。

区分		前年	本年
		給与支給総額（円）	給与支給総額（円） 億 万 千 百 十 一
有給役員			0 0 0 0
常用雇用者	正社員・正職員		0 0 0 0
	その他		0 0 0 0
臨時雇用者			0 0 0 0

＜留意点＞
・退職金、法定福利費及び福利厚生費は支給総額に含めないでください。
・支給総額は万円単位（千の位を四捨五入）で記入してください。

【雇用形態の区分】
○有給役員：法人の取締役、理事などで役員報酬を得ている者をいいます。
○常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は１か月以上の期間を定めて雇用している者をいいます。
・**正社員・正職員**：常用雇用者のうち貴法人で正社員・正職員として処遇している者をいいます。
・**その他**：常用雇用者のうち正社員・正職員以外の者（１か月以上雇用したパート、アルバイト等）をいいます。
○臨時雇用者：１か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者をいいます。
※常用雇用者及び臨時雇用者には、外国人技能実習生及び日本人研修生を含みます。
酪農ヘルパー等の派遣労働に係る労働者及びその労働時間は含みません。

【５】損益計算書

事業全体の売上高や経費等についてお伺いします。

５－１　損益計算書：事業全体の売上高、経費等について記入してください。

「損益計算書」の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい	→ 農業以外の事業を行っている場合は、点線内の農業割合を必ず記入の上、５－２へお進みください。
いいえ	→ 本年欄に記入してください。

勘定科目		前年 金額（円）	前年 農業割合 %	本年 金額（円） 億 万 千 百 十 一	本年 農業割合 %
営業収支（売上高、売上原価等）	売上高				
	売上原価（①＋②＋③＋④－⑤）				
	期首商品棚卸高 ①				
	当期商品仕入高 ②				
	当期製品製造原価 ③				
	生物売却原価 ④				
	期末商品棚卸高 ⑤				
	販売費及び一般管理費				
営業外収支	営業外収益				
	営業外費用				
	支払利子・割引料				
特別損益等	特別利益				
	特別損失				
	当期純利益				

５－２　「当期製品製造原価」「販売費及び一般管理費」の内訳である事業経費についてお伺いします。

「当期製品製造原価」「販売費及び一般管理費」の内訳の整理方法について当てはまる方へお進みください。

①まとめて整理している
（製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書のいずれかのみ作成している場合）

９頁へお進みください。

②別々に整理している
（製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の両方を作成している場合）

10頁へお進みください。

【６】農業に係る事業経費（当期製品製造原価、販売費及び一般管理費）

①　製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書のいずれかのみ作成している場合

６－１－１　事業経費についてお伺いします。

事業経費の内訳を整理している決算資料（製造原価報告書及び販売費及び一般管理費内訳書のいずれか）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい	→　資料を提出いただける場合は、点線内の農業割合を必ず記入の上、12頁の【７】へお進みください。
いいえ	→　本年欄に記入してください。

農業に係る経費を科目別に記入してください。農業以外の事業を行っている場合で農業に係る経費の記入が困難な場合は事業全体の金額を記入し、うち農業の占める割合を必ず記入してください。

勘定科目	説明	前年 金額（円）	前年 農業割合 %	本年 金額（円） 億 万 千 百 十 一	本年 農業割合 %
合計	【5】損益計算書の「当期製品製造原価③」＋「販売費及び一般管理費」の合計額				
期首材料棚卸高	原材料の期首在り高				
期首仕掛品棚卸高	仕掛品の期首在り高				
種苗費	種もみ、種子、種いも、苗類などの購入費				
素畜費	預託費、種付費、もと畜の購入費用、登録料				
肥料費	肥料の購入費用				
飼料費	飼料の購入費用、自給飼料の振替額				
農薬費・衛生費	農薬、予防目的の家畜用の薬剤の購入費				
水道料・動力光熱費	生産用の電気、水道料やガソリン、軽油などの燃料費				
諸材料費	敷料、諸材料費、消耗品費、事務用消耗品費				
労務費・人件費	賃金手当、給与手当、雑給、賞与、役員報酬、福利厚生費等				
うち作業用衣料費	労務費に含まれる作業服、長靴、軍手等の購入費				
農作業等委託費	賃耕料、刈取料などの農作業委託料				
診療衛生費	獣医の診療報酬・コンサル料、治療用の薬剤費				
外注費	酪農や肥育牛などのヘルパー利用料、ほ場管理費等				
農具・機械車両費等	農機具、農業用車両の購入費				
修繕費・修繕用部品費	建物、農機具、農機具車両等の維持、修繕費				
共済掛金・保険料	作物や農用施設の共済掛金、支払保険料、事務費等				
減価償却費	農業生産に使用した建物、農機具、自動車等の減価償却費				
地代・家賃・賃借料	地代、家賃、賃借料、検査料、受託農産物精算費				
土地改良費	土地改良負担金・土地改良賦課金、水利費				
租税公課・諸会費等	租税公課、諸会費、諸負担金、消費税、印紙税、共済賦課金、自賠責保険				
荷造運賃・販売手数料	出荷用包装材料、運賃、販売手数料など				
その他の経費	上記以外の経費				
期末材料棚卸高	原材料の期末在り高				
期末仕掛品棚卸高	仕掛品の期末在り高				
育成費振替高	育成中の生物に対する当期の支出				

飼料費がある場合は、必ず回答してください。

６－１－２　飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の補てん金を控除していますか。

はい	→「本年金額」欄に控除した補てん金額を記入してください。
いいえ	→12頁の【７】へお進みください。

前年金額（円）	本年金額（円） 億 万 千 百 十 一

【６】農業に係る事業経費（当期製品製造原価、販売費及び一般管理費）（続き）

② 製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の両方を作成している場合

※前頁６－１－１を回答した場合は、12頁の【７】へ進んでください。

６－２－１　事業経費についてお伺いします。

事業経費の内訳を整理している決算資料（製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の両方）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい	→ 資料を提出いただける場合は、点線内の農業割合を必ず記入の上、12頁の【７】へお進みください。
いいえ	→ 本年欄に記入してください。

農業に係る経費を科目別に記入してください。農業以外の事業を行っている場合で農業に係る経費の記入が困難な場合は事業全体の金額を記入し、うち農業の占める割合を必ず記入してください。

（1）当期製品製造原価（製造原価報告書）

勘定科目		説明	前年 金額（円）	前年 農業割合 %	本年 金額（円） 億 万 千 百 十 一	本年 農業割合 %
当期製品製造原価		【5】損益計算書の「当期製品製造原価③」計上額				
材料費	期首材料棚卸高	原材料の期首在り高				
	種苗費	種もみ、種子、種いも、苗類などの購入費				
	素畜費	種付費、もと畜の購入費用、登録料				
	肥料費	肥料の購入費用				
	飼料費	飼料の購入費用、自給飼料の振替額				
	農薬費	農薬、予防目的の家畜用の薬剤の購入費				
	敷料費	敷料の購入費				
	燃油費	重油等、園芸用ハウス暖房用燃料等の購入費				
	諸材料費	被覆用ビニール(マルチ)、鉢、針金などの購入費				
	期末材料棚卸高	原材料の期末在り高				
労務費		賃金手当、雑給、賞与、法定福利費、福利厚生費				
	うち作業用衣料費	労務費に含まれる作業服、長靴、軍手等の購入費				
外注費	作業委託費	賃耕料、刈取料などの農作業委託料				
	診療衛生費	獣医の診療報酬・コンサル料、治療用の薬剤費				
	預託費	家畜の育成、肥育の委託費				
	ヘルパー利用料	酪農や肥育牛などのヘルパー利用料				
	ほ場管理費	けい畝草刈り、水管理・肥培管理などの作業委託料				
製造経費	農機具費	取得10万円未満又は耐用年数1年未満の農機具購入費				
	修繕費	建物、農機具、農業用車両等の維持、修繕費				
	動力光熱費	生産用の電気、水道料やガソリン、軽油などの燃料費				
	共済掛金	作物や農用施設の共済掛金、価格補填負担金の収入保険料、事務費等				
	減価償却費	農業生産に使用した建物、農機具等の減価償却費				
	賃借料・地代	地代、家賃、賃借料、検査料、受託農産物精算費				
	土地改良費	土地改良負担金、土地改良賦課金、水利費				
	租税公課	生産用固定資産税等の租税、自動車損害賠償責任保険、農業共済賦課金				
その他		上記以外の経費				
仕掛品棚卸高増減		仕掛品の期首在り高－期末在り高				
育成費振替高		育成中の生物に対する当期の支出				

830

（2）販売費及び一般管理費内訳書

勘定科目	説明	前年 金額（円）	前年 農業割合 %	本年 金額（円） 億 万 千 百 十 一	本年 農業割合 %
販売費及び一般管理費	【５】損益計算書の「販売費及び一般管理費」計上額				
人件費	給与手当、雑給、賞与、退職金、役員報酬、福利厚生費				
荷造運賃・販売手数料	出荷用包装材料、運賃、販売手数料など				
車両費・修繕費	事務用固定資産の修繕費、車両費				
うち燃料費	車両費に含まれる燃料代				
減価償却費	販売や管理に使用した建物や自動車等の減価償却費				
地代・家賃・賃借料	販売管理用土地・建物の賃借料				
支払保険料	販売管理用固定資産の支払保険料				
租税公課・諸会費等	印紙税、消費税、諸会費				
貸倒引当金繰入額	貸倒引当金の当期の繰入金				
動力光熱費	販売や管理に使用した電気・水道料金など				
その他	上記に含まれない経費の合計				

飼料費がある場合は、必ず回答してください。

6－2－2　飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の補てん金を控除していますか。

はい	→「本年金額」欄に控除した補てん金額を記入してください。
いいえ	→ 12頁の【7】へお進みください。

前年金額（円）	本年金額（円） 億 万 千 百 十 一

【７】生産概況、農畜産物収入

１年間（決算期間）に、販売目的で作付（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、販売金額等についてお伺いします（自家消費のみの目的の場合は除きます。）。

なお、「作付延べ面積」「月平均飼養頭羽数」「生産量」欄には事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物を含めてください。
また、稲わら以外の副産物を販売した場合は、該当する区分の販売金額に含めてください。

７－１　稲、麦類等

区分			作付延べ面積、販売金額に含めるもの	前年 作付延べ面積（茶は植栽面積） 田（a）	前年 作付延べ面積（茶は植栽面積） 畑（a）	前年 生産量（kg）	前年 販売金額（円）
稲（食用）	水稲	主食用米	主食用				
		加工用米	酒造用、加工用				
		新規需要米等	輸出用、米粉用、備蓄用の合計				
	陸稲						
稲（飼料用）		飼料用米	自給用を含む。				
		WCS用稲	稲発酵粗飼料用稲（自給用を含む。）				
稲わら・ぬか等			稲わら・ぬか等を販売したもの				
麦類	小麦						
	二条大麦						
	六条大麦						
	はだか麦						
	その他の麦		ライ麦など				
豆類	大豆		乾燥子実（枝豆等の未成熟は野菜）				
	大豆以外		小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実				
雑穀	そば		そば殻を含む。				
	他の雑穀		とうもろこし、あわ、ひえなどの穀物				
いも類	かんしょ		種いも用、原材料かんしょを含む。				
	ばれいしょ		種いも用、原材料ばれいしょを含む。				
工芸農作物	てんさい						
	さとうきび						
	茶		作付面積は植栽面積 生産量は荒茶換算				
	その他工芸農作物		なたね、い草、葉たばこなど				
その他	飼料用作物		牧草、デントコーン等、飼料用を目的に作付した作物の合計（自給用を含む。）				
	その他の作物		芝、苗、苗木、栽培きのこ類など				

以下の設問にある１年間の生産概況を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい	→18頁の【８】へお進みください。	いいえ	→本年欄に記入してください。

７－１　稲、麦類等

区分			本年 作付延べ面積（茶は植栽面積） 田（ａ） ha a	本年 作付延べ面積（茶は植栽面積） 畑(普通畑)（ａ） ha a	本年 生産量（kg）	本年 販売金額（円） 億 万 千 百 十 一
稲（食用）	水稲	主食用米				
		加工用米				
		新規需要米等				
	陸稲					
稲（飼料用）		飼料用米				
		WCS用稲				
稲わら・ぬか等						
麦類	小麦					
	二条大麦					
	六条大麦					
	はだか麦					
	その他の麦					
豆類	大豆					
	大豆以外					
雑穀	そば					
	他の雑穀					
いも類	かんしょ					
	ばれいしょ					
工芸農作物	てんさい					
	さとうきび					
	茶					
	その他工芸農作物					
その他	飼料用作物					
	その他の作物					

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

7－2　野菜

区　分	前　年				
	品　目		作付延べ面積		販売金額（円）
	コード	品目名	露地（a）	施設（m^2）	
露地野菜					
	その他の露地野菜				
施設野菜					
	その他の施設野菜				

7－3　果樹

区　分	前　年				
	品　目		作付延べ面積（植栽面積）		販売金額（円）
	コード	品目名	露地（a）	施設（m^2）	
果　樹					
	その他の果樹				

7－2　野菜

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の露地野菜】【その他の施設野菜】にまとめて記入してください。

区分	本年 品目（生産した野菜の品目コード又は品目名を記入してください。） コード	品目名	作付延べ面積 露地（a） ha	a	施設（m^2） m^2	販売金額（円） 億	万	千	百	十	一
露地野菜											
		その他の露地野菜									
施設野菜											
		その他の施設野菜									

野菜の品目はこちらから選択してください。

コード										
	01	だいこん	04	キャベツ	07	ねぎ	10	なす	13	ピーマン
	02	にんじん	05	ほうれんそう	08	たまねぎ	11	大玉トマト		
	03	はくさい	06	レタス	09	きゅうり	12	ミニトマト		

7－3　果樹

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の果樹】にまとめて記入してください。

区分	本年 品目（生産した果樹の品目コード又は品目名を記入してください。） コード	品目名	作付延べ面積（植栽面積） 露地（a） ha	a	施設（m^2） m^2	販売金額（円） 億	万	千	百	十	一
果樹											
		その他の果樹									

果樹の品目はこちらから選択してください。

コード										
	51	りんご	54	露地ぶどう	57	もも	60	おうとう	63	くり
	52	露地温州みかん	55	施設ぶどう	58	かき	61	すもも	64	キウイフルーツ
	53	施設温州みかん	56	日本なし	59	うめ	62	びわ	65	パインアップル

835

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

7－4　花き

区　分	作付延べ面積、販売金額に含めるもの	前年		
		作付延べ面積		販売金額（円）
		露地（a）	施設（m^2）	
露地花き	露地で生産する鉢植えの花木を含む。			
施設花き	施設で生産する鉢植えの花木を含む。			

7－5　畜産物

区　分			飼養頭羽数、生産量に含めるもの	販売金額に含めるもの	前年		
					飼養頭羽数、生産量	販売頭羽数	販売金額（円）
酪農	生乳生産量（年間）		自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの	生乳	kg		
	搾乳牛		搾乳牛（乾乳中の牛を含む。）の**月平均飼養頭数**		頭		
	自家生産乳牛等			自家で生産した乳牛（F1、ETを含む。）、搾乳用育成牛		頭	
肉用牛	繁殖牛	繁殖雌牛	繁殖用の和牛雌牛の**月平均飼養頭数**		頭		
		自家生産和牛等		自家で生産した子牛（和子牛・F1クロス牛）、自家で生産して繁殖用に育成した牛		頭	
	肥育牛	肉専用種	肉専用種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の**月平均飼養頭数**	肉専用種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の合計	頭	頭	
		乳用種	乳用種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の**月平均飼養頭数**	乳用種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の合計	頭	頭	
		交雑種	交雑種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の**月平均飼養頭数**	交雑種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の合計	頭	頭	
養豚	繁殖雌豚		繁殖用の豚の**月平均飼養頭数**		頭		
	肥育豚		肥育用の豚の**月平均飼養頭数**		頭		
	肉豚			肉豚、廃用豚のうち販売した豚		頭	
	子豚			肥育用・繁殖用子豚		頭	
採卵養鶏	飼養羽数		採卵鶏（うずらを除く。）の**月平均飼養羽数**		羽		
	鶏卵生産量（年間）		採卵鶏から生産される卵（販売した不正常卵を含む。）	採卵鶏から生産される卵（販売した不正常卵を含む。）、廃鶏	kg		
ブロイラー養鶏			ブロイラー、ブロイラー雛（地鶏を除く。）の**年間販売羽数**	ブロイラー、ブロイラー雛（地鶏を除く。）		羽	
その他畜産	きゅう肥（ふん尿）			きゅう肥として販売したもの（自給肥料としたもの以外）			
	その他			地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕、養蜂等			

7－4　花き

区　分	本年 作付延べ面積 露地（a） ha	a	施設（m²） ㎡	販売金額（円） 億	万	千	百	十	一
露地花き									
施設花き									

7－5　畜産物

区　分			本年 飼養頭羽数（月平均）、生産量（年間） 万 千 百 十 一	(単位)	販売頭羽数（年間） 万 千 百 十 一	(単位)	販売金額（円） 億	万	千	百	十	一
酪農	生乳生産量（年間）			kg								
	搾乳牛			頭（月平均）								
	自家生産乳牛等					頭						
肉用牛	繁殖牛	繁殖雌牛		頭（月平均）								
		自家生産和牛等				頭						
	肥育牛	肉専用種		頭（月平均）		頭						
		乳用種		頭（月平均）		頭						
		交雑種		頭（月平均）		頭						
養豚	繁殖雌豚			頭（月平均）								
	肥育豚			頭（月平均）								
	肉豚					頭						
	子豚					頭						
採卵養鶏	飼養羽数			羽（月平均）								
	鶏卵生産量（年間）			kg								
ブロイラー養鶏						羽						
その他畜産	きゅう肥（ふん尿）											
	その他											

【８】農作業受託収入、事業消費など

８－１　農作業受託についてお伺します。

（右頁に続きます。）

１年間に農作業受託収入がありましたか。

はい	→「本年金額」欄に受託収入を記入してください。
いいえ	→　８－２へお進みください。

前年金額（円）	本　年　金　額　（　円　）
	億　万　千　百　十　一

【９】制度受取金・積立金等

制度受取金・積立金等についてお伺いします。

（右頁に続きます。）

１年間に農業に関する制度受取金・積立金等がありましたか。

はい	→次の設問へお進みください。
いいえ	→調査は終了になります。

名　称　等		前年 チェック 受取	積立	金額 制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
共通					
水田・畑作					
野菜					
茶					
果樹					
畜産					
その他					
合　計					

内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入ください。

838

８－２　農業生産関連事業を行っている方にお伺いします。

自らが生産した農畜産物を農業生産関連事業に仕向けている場合は、仕向けた自家農畜産物の金額を記入してください。金額が不明な場合は、仕向けた数量に市場価格等を乗じて見積もった金額を記入してください。

ただし、12～17ページの「【７】生産概況、農畜産物収入」に計上されている場合は記入不要です。

前年金額（円）	本年金額（円） 億　万　千　百　十　一

以下の設問にある制度受取金・積立金等を整理した資料の写しを提出していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい	→ １年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けていただき、調査は終了になります。
いいえ	→① １年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けてください。 ② 受け取った金額を「制度受取金等」欄に、支払った金額を「制度積立金等」欄に記入してください。 なお、内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金等」、「合計（制度受取金等）」及び「合計（制度積立金等）」欄を記入してください。

名称等		本年 チェック 受取	本年 チェック 積立	本年 金額 制度受取金等（円） 億 万 千 百 十 一	本年 金額 制度積立金等（円） 億 万 千 百 十 一
共通					
水田・畑作					
野菜					
茶					
果樹					
畜産					
その他					
合計					

内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入ください。

調査は以上です。ご協力、ありがとうございました。

839

別記様式第3号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－3

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

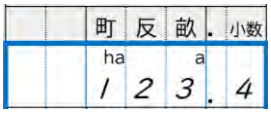
令和〇年産 米 生産費統計（個別経営体）調査票

✔本調査の対象範囲

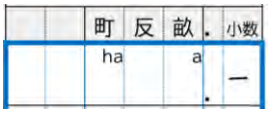
- 令和〇年産の米の生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
- 3ページ～41 ページは、食用米（食用のために生産された水稲）についてお答えください。
- 42 ページ以降は、飼料用米についてお答えください。
- 金額は消費税を含めて記入してください。

✔記入にあたって

（記入例1）123.4 アールの場合



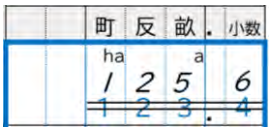
（記入例2）該当がない場合



- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
  なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
  「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
- 数字は右づめで記入してください。
- 該当がない項目は「－」を記入してください。
- マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
- 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
- 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



- 一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
- 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 認定農業者の状況 ……3

【2】 直近5か年の10a 当たり収量 ……3

【3】 作業別労働時間 ……4

【4】 生産物の販売等の状況 ……9

【5】 制度受取金の状況 ……11

【6】 食用米生産のために使用した資材等 …… 12

【7】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 25

【8】 物件税及び公課諸負担 …… 27

【9】 土地改良及び水利費 …… 29

【10】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 30

【11】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 32

【12】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 34

【13】土地の面積及び地代 …… 36

【14】作付ほ場の状況 …… 39

【15】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 41

【16】飼料用米の作付状況、費用及び労働時間 …… 42

まずは経営全体のことをお教えください。

【1】認定農業者の状況

記入の仕方 ～ ページ

認定農業者はいますか。

いる	①
いない	②

ここからは　食用米　についてお教えください。

本調査は、以下の調査範囲の水稲（食用米）が対象です。

調査範囲

食用のために生産された水稲

主食用米　もち米　政府備蓄米
新市場開拓用米（食用）　加工用米
米粉用米　醸造用米

（※）畑に湛水した「田」で生産したものも含みます。

調査範囲外

飼料用米　バイオエタノール用稲
陸稲　ホールクロップサイレージ用稲
受託生産した米

直近5か年の食用米の 10a 当たり収量についてお教えください。

【2】直近5か年の10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年における食用米の10a 当たりの収量（玄米数量）を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
2 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
3 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
4 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
5 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg

ここからは 令和〇年産の食用米生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【3】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の食用米生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号	1	2	3	4	5	6
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年1月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示	1	2	3	4	5	6
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間	時間	時間	時間	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間	時間	時間	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり（※）、もみ及び玄米運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

（※）「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

1　家族や住み込みの年雇の労働時間(つづき)

番号		7	8	9	10	11	12
作業者							
性別		(男) (女)	(男) (女)	(男) (女)	(男) (女)	(男) (女)	(男) (女)
年齢(令和〇年1月1日時点)		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間	時間	時間	時間	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間	時間	時間	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり(※)、もみ及び玄米運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

2　雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1)　令和○年産の食用米生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	①	→ 8ページへ
雇用している人がいる	②	→ (2)へ

(2)　((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の食用米生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間	時間
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり(※)、もみ及び玄米運搬	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

(3) 令和〇年産の食用米生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②食用米負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●食用米のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の支払分を含めて記入する場合
食用米分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②食用米負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

（1）令和〇年産の食用米生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	食用米生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	食用米生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	食用米生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に〇…（2）へ

すべて「いない」に〇
…次ページへ

（2）（1）で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産の食用米生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間	時間	時間	時間	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間	時間	時間	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり（※）、もみ及び玄米運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

（※）「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

ここからは　令和〇年産の食用米の生産状況等　についてお教えください。

【4】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　食用米の販売状況（玄米換算）

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）の食用米について、**①数量**、**②金額**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	①数量	②金額	内容例示
販売用「計」	万　kg	万　円	〇主食用、加工用として販売された米（予定を含む。）及びその種子 次のようなものも含む ・いわゆる縁故米 ・贈答米 ・産直米 ・政府備蓄米 ・新市場開拓用米 ・加工用米 ・米粉用米 ・醸造用
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	

2　自家用の食用米の数量（玄米換算）

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）食用米の数量は何キログラムでしたか。

（該当がない区分は「－」を記入）

区分	内容例示	自家用の数量
種子用	種子用に仕向けたもの（予定を含む。）	万　kg
飯米用	飯米用に仕向けたもの（予定を含む。）	万　kg
その他	種子用、飯米用以外に仕向けたもの（予定を含む。）	万　kg

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　稲わら、もみがら、ふるい下米等

令和〇年産の食用米生産で発生した稲わら、もみがら、ふるい下米等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したものは含みません。）。

また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分		内容例示	①数量	②金額
販売用	稲わら加工品等	民芸品、なわ等の原料、飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの（きゅう肥交換を含む。）	万　kg	万　円
販売用	もみがら	販売したもみがら	万　kg	万　円
販売用	ふるい下米等	選別により除かれた米（販売したもの）	万　kg	万　円
自家用	乾燥わら	収納された稲わらで、自家仕向けのもの（水田還元、敷料、たい肥等）	万　kg	
自家用	もみがら	自家で使用したもみがら	万　kg	
自家用	ふるい下米等	選別により除かれた米（自家で使用したもの）	万　kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【5】制度受取金の状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の食用米に係る以下の制度受取金はいくらでしたか。
（該当がない区分は「－」を記入）

制度名	受取金
	万 円
	万 円
	万 円
	万 円
	万 円

注：飼料用米、WCS 稲に係る交付金は含みません。

ここからは　令和〇年産の食用米生産に使用した金額等　についてお教えください。

【6】食用米生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子（購入分）

令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

品種名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合
使用した種子（購入分）「計」			万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

2　使用した種子(自給分)

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等、②使用数量、③単位、④食用米負担割合**を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①品種名等	②使用数量	③単位	④食用米負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した苗(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した苗のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

品種名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合
使用した苗(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

4　使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合	内容例示
使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は、21～22 ページ「10　使用した諸材料(購入分)」「11　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

5　使用した、たい肥・きゅう肥(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した、たい肥・きゅう肥のうち、購入した分について、**①使用数量、②使用数量分の購入金額、③食用米負担割合**を記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量	②使用数量分の購入金額	③食用米負担割合
たい肥・きゅう肥(購入分)	万　kg	万　円	%

6　使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③食用米負担割合**を記入してください。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③食用米負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

7　使用した農業薬剤

令和〇年産の食用米生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1:航空防除賃は、農薬代も含め 23 ページ「12　賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料)」に、共同負担金(薬剤散布)は、農薬代も含め 24 ページ「13　賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料以外)」に記入してください。

注2:除草剤等農薬入りの肥料は 15 ページ「4　使用した肥料(たい肥・きゅう肥以外)(購入分)」に記入してください。

8　使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当しない場合は①に「－」を記入)

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量 単位	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」			万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
動力燃料	重油	L	万 円	%
	軽油	L	万 円	%
	灯油	L	万 円	%
	ガソリン	L	万 円	%
	潤滑油	L	万 円	%
	混合油	L	万 円	%
電力料			万 円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)			万 円	%

9　使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④食用米負担割合**を記入してください。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④食用米負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10　使用した諸材料(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

諸材料とは、育苗箱マット、あぜ波板、ビニールシート、なわ、バインダー用結束ひも等の消耗品です。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注 1:償却資産に属する建物(育苗ハウス等)のビニール張り替え費用については、30～31 ページ「【10】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況」の修繕費に記入してください。

注 2:くわ、かま等の農具や作業着等については、25 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

11　使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④食用米負担割合**を記入してください。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④食用米負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

12　賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料)

令和〇年産の食用米生産のために支払った航空防除賃、収穫請負わせ賃、ライスセンター費、カントリーエレベーター費、その他の乾燥・調製委託料について、**①延べ委託面積または委託数量、②支払金額、③食用米負担割合**を記入してください。

なお、乾燥・調製に係る委託数量については、玄米数量を記入してください。

(該当がない区分は①に「－」を記入)

●食用米のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の支払分を含めて記入する場合
食用米分の割合を記入してください。

料金名等	①延べ委託面積 または 委託数量		②支払金額	③食用米負担割合
	町 反 畝 . 小数			
航空防除賃(※1)	ha a .		万 円	%
収穫請負わせ賃	ha a .		万 円	%
ライスセンター費(※2)	万	kg	万 円	%
カントリーエレベーター費(※2)	万	kg	万 円	%
上記以外の乾燥・調製委託料(※2)	万	kg	万 円	%

※1:航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

※2:ライスセンター、カントリーエレベーター等に乾燥・調製を委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれる場合、包装荷造り費を除いて記入してください。

13　賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料以外)

令和〇年産の食用米生産のために支払った賃借料や料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製に係る費用を除く)について、**①支払金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●食用米のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の支払分を含めて記入する場合
食用米分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	単位	①支払金額		②食用米負担割合
賃借料及び料金(航空防除賃、収穫請負わせ賃、乾燥・調製委託料以外)「計」				万　円		%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
共同負担金	薬剤散布(※)			万　円		%
共同負担金	共同施設			万　円		%
共同負担金	共同苗代			万　円		%
農機具借料				万　円		%
賃耕料			a	万　円		%
は種・田植賃			a	万　円		%
その他				万　円		%
その他				万　円		%
その他				万　円		%
その他				万　円		%
その他				万　円		%

(※)共同負担金(薬剤散布)は、農薬代も含めて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の食用米生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2　生産管理関係の費用

令和〇年産の食用米生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②食用米負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリントートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1　物件税

令和〇年産の食用米生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●食用米のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②食用米負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和〇年産の食用米生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●食用米のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②食用米負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（稲作部会等の会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1　土地改良区費

令和〇年産の食用米生産に関係する以下の土地改良区費について、**食用米作付ほ場負担金額（①維持負担金、②償還金）、③食用米負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

●食用米のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

事業種類	食用米作付ほ場負担金額		③食用米負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他（整地、表土扱いのない事業）	万　円	万　円	%

2　水利費等

令和〇年産の食用米生産に関係する水利費等について、**①食用米作付ほ場負担金額、②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●食用米のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

費用名	①食用米作付ほ場負担金額	②食用米負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【10】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の食用米生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	(建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を食用米のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等を食用米以外にも使用した場合
食用米に使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	食用米負担割合	年内取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【11】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の食用米生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	修繕費(※)	自動車保険料
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。		任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等を食用米のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等を食用米以外にも使用した場合
食用米に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。		食用米負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
				売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【12】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の食用米生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。 なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。	
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等を食用米のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該農業機械等を食用米以外にも使用した場合
食用米に使用した割合を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。		食用米負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
					売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1　作付地

令和〇年産の食用米生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤食用米負担割合**を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の食用米の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
●食用米のみを作付けした団地・ほ場等の場合
　100(%)としてください。
●食用米以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
　作付けした作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地　又は　ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位					③作付面積 0.1a 単位					⑤食用米負担割合	
			町	反	畝	. 小数		町	反	畝	. 小数		
1			ha		a	.		ha		a	.		%
2			ha		a	.		ha		a	.		%
3			ha		a	.		ha		a	.		%
4			ha		a	.		ha		a	.		%
5			ha		a	.		ha		a	.		%
6			ha		a	.		ha		a	.		%
7			ha		a	.		ha		a	.		%
8			ha		a	.		ha		a	.		%
9			ha		a	.		ha		a	.		%
10			ha		a	.		ha		a	.		%
11			ha		a	.		ha		a	.		%
12			ha		a	.		ha		a	.		%
13			ha		a	.		ha		a	.		%
14			ha		a	.		ha		a	.		%
15			ha		a	.		ha		a	.		%

令和〇年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
●食用米のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●食用米以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地又はほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位	③作付面積 0.1a 単位	④支払地代	⑤食用米負担割合
		町 反 畝 . 小数	町 反 畝 . 小数		
1		ha a .	ha a .	万 円	%
2		ha a .	ha a .	万 円	%
3		ha a .	ha a .	万 円	%
4		ha a .	ha a .	万 円	%
5		ha a .	ha a .	万 円	%
6		ha a .	ha a .	万 円	%
7		ha a .	ha a .	万 円	%
8		ha a .	ha a .	万 円	%
9		ha a .	ha a .	万 円	%
10		ha a .	ha a .	万 円	%
11		ha a .	ha a .	万 円	%
12		ha a .	ha a .	万 円	%
13		ha a .	ha a .	万 円	%
14		ha a .	ha a .	万 円	%
15		ha a .	ha a .	万 円	%

2　建物敷地等

令和〇年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤食用米負担割合**を記入してください。

総面積に対する食用米の使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤食用米負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

1　作付ほ場規模別のほ場枚数及び作付面積

令和〇年産の食用米を作付けたほ場について、ほ場の規模別に**①ほ場枚数**、**②作付面積**を記入してください。なお、**②作付面積**の合計が令和〇年産の食用米の作付面積になるように記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

区分	①ほ場枚数		②作付面積 0.1a 単位				
			町	反	畝	.	小数
未整理又は 10a 未満		枚	ha		a	.	
10a～20a 未満区画		枚	ha		a	.	
20a～30a 未満区画		枚	ha		a	.	
30a～50a 未満区画		枚	ha		a	.	
50a～1ha 未満区画		枚	ha		a	.	
1ha 以上区画		枚	ha		a	.	

2　田の団地数

令和〇年産の食用米を作付けた田の団地はいくつですか。

区分	用語の説明	団地数
田の団地数	ほ場が地続きでまとまっている場合は、そのまとまりを1団地とします。地続きの耕地の一団が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。	団地

3　田の区画整理状況

令和〇年産の食用米を作付けた田の区画整理済の面積は何割ですか。該当するもの１つに〇を記入してください。

区画整理済の面積割合	いずれかに〇
50%未満	①
50～80%未満	②
80%以上	③

4　ほ場間の距離及び団地への平均距離

令和〇年産の食用米を作付けたほ場間の距離と、団地への平均距離は何キロメートルですか。

区分	用語の説明	距離 0.1km単位 百 十 一 . 小数	
ほ場間の距離	2つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離。（団地数が1つの場合は「－」を記入）	.	km
団地への平均距離	居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離の合計を、団地数の合計で割ったもの。	.	km

【15】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高**、**②令和〇年の支払利子額**、**③食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)		①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③食用米負担割合
「計」		万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
借入金		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
買掛未払金		万 円	万 円	%

最後に　飼料用米　についてお教えください。

飼料用米とは、家畜の飼料として生産される米のことを言います。

調査範囲

飼料用米

調査範囲外

食用のために生産された水稲

主食用米　もち米　政府備蓄米
新市場開拓用米（食用）　加工用米
米粉用米　醸造用米
バイオエタノール用稲　陸稲
ホールクロップサイレージ用稲
受託生産した米

【16】飼料用米の作付状況、費用及び労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　飼料用米の作付状況

令和〇年産に飼料用米の作付けがありましたか。

飼料用米の作付けはなかった	① → 調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。
飼料用米の作付けがあった	② → 次ページへ

2　飼料用米の作付面積及び生産量

令和〇年産の飼料用米について**①作付面積**、**②生産量**（玄米、乾燥もみ及び生もみ別）を記入してください。

なお、乾燥もみ、生もみの生産量は玄米換算しない数量を記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

区分	①作付面積 0.1a 単位	②生産量 玄米	②生産量 乾燥もみ	②生産量 生もみ
	町 反 畝 . 小数			
飼料用米	ha a .	万 kg	万 kg	万 kg
うち多収品種	ha a .	万 kg	万 kg	万 kg

3　稲わらの販売状況等

令和〇年産の飼料用米生産で発生した稲わらについて、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したものは含みません。）。

また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	内容例示	①数量	②金額
販売用稲わら	民芸品、なわ、飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの（きゅう肥交換含む。）	万 kg	万 円
自家用乾燥わら	収納された稲わらで、自家仕向けのもの（水田還元、敷料、たい肥等）	万 kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

4　飼料用米と食用米の 10a当たり費用及び労働時間の違いの有無

令和〇年産の飼料用米と食用米生産にかかる 10a 当たりの費用及び労働時間に違いはありましたか。

費用及び労働時間に違いはなかった	① → 調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。
費用及び労働時間に違いがあった	② → 次ページへ

5　飼料用米生産にかかる費用（10a当たり）

令和〇年産の飼料用米生産にかかる 10a当たりの費用について、**①食用米との違いの有無**を選択してください。違いがある場合は、②食用米にかかる 10a 当たりの費用を 100%としたときの**飼料用米の割合**、**③食用米との違いが生じる主な要因**を記入してください。

食用米との違いの有無について、それぞれ該当するものに〇を記入してください。食用米との違いがない場合は、②飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因の記入は不要です。

食用米にかかる 10a 当たりの費用を 100%とした場合の割合を記入してください。

費用の種類	①食用米との違い		②飼料用米の割合		③食用米との違いが生じる主な要因
	有	無			
種苗費	①	0		%	
肥料費	①	0		%	
農業薬剤費	①	0		%	
光熱動力費	①	0		%	
その他の諸材料費	①	0		%	
土地改良及び水利費	①	0		%	
賃借料及び料金	①	0		%	
物件税及び公課諸負担	①	0		%	
建物費	①	0		%	
自動車費	①	0		%	
農機具費	①	0		%	
生産管理費	①	0		%	

6　飼料用米生産にかかる労働時間（10a当たり）

令和〇年産の飼料用米生産にかかる10a当たりの労働時間について、**①食用米との違いの有無**を選択してください。違いがある場合は、②食用米にかかる10a当たりの労働時間を100%としたときの**飼料用米の割合**、**③食用米との違いが生じる主な要因**を記入してください。

食用米との違いの有無について、それぞれ該当するものに〇を記入してください。食用米との違いがない場合は、②飼料用米の割合、③食用米との違いが生じる主な要因の記入は不要です。

食用米にかかる10a当たりの費用を100%とした場合の割合を記入してください。

労働時間名	①食用米との違い		②飼料用米の割合		③食用米との違いが生じる主な要因
	有	無			
種子予措	1	0		%	
育苗	1	0		%	
耕起整地	1	0		%	
基肥	1	0		%	
直まき	1	0		%	
田植	1	0		%	
追肥	1	0		%	
除草	1	0		%	
管理	1	0		%	
防除	1	0		%	
刈取脱穀	1	0		%	
乾燥	1	0		%	
生産管理	1	0		%	
間接労働	1	0		%	

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産の水稲栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)直まき栽培の導入

(3)新たな設備・機械の導入

(4)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第4号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－4

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年産 小麦 生産費統計（個別経営体）調査票

✔本調査の対象範囲

- 令和〇年産の小麦の生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
- 対象となる小麦については、3ページをご参照ください。
- 金額は消費税を含めて記入してください。

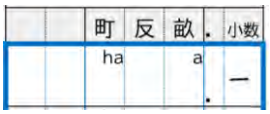
✔記入にあたって

- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
  なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
  「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
- 数字は右づめで記入してください。
- 該当がない項目は「－」を記入してください。
- マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
- 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
- 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合



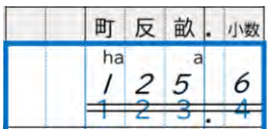
（記入例2）該当がない場合



✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

- 一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
- 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 9

【4】 小麦生産のために使用した資材等 …… 12

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 21

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 23

【7】 土地改良及び水利費 …… 25

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 26

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 28

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 30

【11】土地の面積及び地代 …… 32

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 35

本調査は、以下の調査範囲の小麦が対象です。

調査範囲

子実(食用、種子用)を生産する目的で栽培した小麦

調査範囲外

青刈用とする目的で栽培したもの
受託生産したもの

まずは直近5か年の小麦の 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の 10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年における小麦の10a 当たりの収量(玄麦数量)を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
2 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
3 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
4 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
5 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg

ここからは 令和〇年産の小麦生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の小麦生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号		1	2	3	4	5	6
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

1 家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号		7	8	9	10	11	12
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

2　雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1)　令和〇年産の小麦生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	①	→ 8 ページへ
雇用している人がいる	②	→ (2)へ

(2)　((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性		女性	
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽		時間		時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)		時間		時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥		時間		時間
は種	種まき、覆土		時間		時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥		時間		時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布		時間		時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)		時間		時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦なで、ほ場見回り		時間		時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策		時間		時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理		時間		時間
乾燥	乾燥、調製		時間		時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)		時間		時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等		時間		時間

(3) 令和〇年産の小麦生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②小麦負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●小麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の支払分を含めて記入する場合
小麦分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②小麦負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

（1）令和〇年産の小麦生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	小麦生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	小麦生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	小麦生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に〇…（2）へ

すべて「いない」に〇…次ページへ

（2）（1）で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産の小麦生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

ここからは　令和〇年産の小麦の生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　小麦の販売状況（玄麦換算）

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）の小麦について、以下の区分ごとの**①数量**をそれぞれの「計」欄に記入してください。また、「規格外 B、C」については、**②金額**も「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	①数量	②金額	内容例示
1等、2等、規格外 A、種子用等（販売用）「計」	万　kg		〇販売した以下の小麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
規格外 B、C（販売用）「計」	万　kg	万　円	〇販売した以下の小麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	

2　自家用の小麦の数量（玄麦換算）

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）小麦について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

なお、「1等、2等、規格外 A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
1 等、2等、規格外 A、種子用等（自家用）「計」	万　kg	〇自家用に仕向けた以下の小麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
規格外 B（自家用）「計」	万　kg	〇自家用に仕向けた以下の小麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
規格外 C（自家用）「計」	万　kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　麦わら、ふるい下麦等

令和〇年産の小麦生産で発生した麦わら、ふるい下麦等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。

また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。

（該当しない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分		内容例示	①数量	②金額
販売用	麦わら	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	万　kg	万　円
販売用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（販売したもの）	万　kg	万　円
自家用	麦わら	自家仕向けの麦わら（刈取機の切断わら、野積み等のわら、廃棄したわらは除く）	万　kg	
自家用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（自家で使用したもの）	万　kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは 令和〇年産の小麦生産のために使用した金額等 についてお教えください。

【4】小麦生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子(購入分)

令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

(該当がない場合は「－」を記入)

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額
使用した種子(購入分)「計」			万　円
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円

2　使用した種子(自給分)

(1)　令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した肥料(購入分)

令和○年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②小麦負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は、18～19 ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

4　使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③小麦負担割合**を記入してください。

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③小麦負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した農業薬剤

令和〇年産の小麦生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②小麦負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1:共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め 20 ページ「10　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2:除草剤等農薬入りの肥料は 13 ページ「3　使用した肥料(購入分)」に記入してください。

6　使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産の小麦生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②小麦負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」				万	円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
動力燃料	重油		L	万	円	%
	軽油		L	万	円	%
	灯油		L	万	円	%
	ガソリン		L	万	円	%
	潤滑油		L	万	円	%
	混合油		L	万	円	%
電力料				万	円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万	円	%

7　使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)小麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④小麦負担割合**を記入してください。

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④小麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8　使用した諸材料(購入分)

令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②小麦負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注 1:融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

注 2:くわ、かま等の農具や作業着等については、21 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

9　使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④小麦負担割合**を記入してください。

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④小麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10　賃借料及び料金

令和〇年産の小麦生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみの支払分を記入する場合
100（%）としてください。
●小麦以外の支払分を含めて記入する場合
小麦分の割合を記入してください。

料金名等		数量等 単位	①支払金額	②小麦負担割合
賃借料及び料金「計」			万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）				
共同負担金	薬剤散布（※1）		万 円	%
	共同施設		万 円	%
農機具借料			万 円	%
航空防除賃（※1）		a	万 円	%
賃耕料		a	万 円	%
は種・定植料		a	万 円	%
収穫請負わせ賃		a	万 円	%
乾燥・調製委託料（※2）		kg	万 円	%
その他			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%

（※1）共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

（※2）乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の小麦生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②小麦負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2　生産管理関係の費用

令和〇年産の小麦生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額、②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②小麦負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリントートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1　物件税

令和〇年産の小麦生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②小麦負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和〇年産の小麦生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②小麦負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1　土地改良区費

令和〇年産の小麦生産に関係する以下の土地改良区費について、**小麦作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③小麦負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

事業種類	小麦作付ほ場負担金額		③小麦負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万　円	万　円	%

2　水利費等

令和〇年産の小麦生産に関係する水利費等について、**①小麦作付ほ場負担金額、②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

費用名	①小麦作付ほ場負担金額	②小麦負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の小麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を小麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等を小麦以外にも使用した場合
小麦に使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	小麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の年内取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の小麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	修繕費(※)	自動車保険料
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。		任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等を小麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等を小麦以外にも使用した場合
小麦に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。		小麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分 売却	状況区分 廃棄・無償譲渡	売却金額	
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の小麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。 なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。	
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等を小麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該農業機械等を小麦以外にも使用した場合
小麦に使用した割合を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。		小麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
					売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1　作付地

令和〇年産の小麦生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤小麦負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の小麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の１年間に、
●小麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●小麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地　又は　ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位					③作付面積 0.1a 単位					⑤小麦負担割合		⑥地目	
			町	反	畝	. 小数		町	反	畝	. 小数			田	畑
1			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
2			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
3			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
4			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
5			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
6			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
7			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
8			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
9			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
10			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
11			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
12			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
13			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
14			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
15			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○

令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の１年間に、
●小麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
　100(%)としてください。
●小麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
　作付けした作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	④支払地代	⑤小麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
2		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
3		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
4		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
5		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
6		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
7		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
8		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
9		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
10		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
11		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
12		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
13		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
14		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
15		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○

2　建物敷地等

令和〇年産の小麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤小麦負担割合**を記入してください。

総面積に対する小麦の使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤小麦負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の小麦生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年9月1日時点の未償還残高、②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額、③小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)		①令和〇年9月1日時点の未償還残高	②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額	③小麦負担割合
「計」		万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
借入金		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
		万 円	万 円	%
買掛未払金		万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産の小麦栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第5号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－5

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年産 二条大麦 生産費統計（個別経営体）調査票

✔本調査の対象範囲

- 令和〇年産の二条大麦の生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
- 対象となる二条大麦については、3ページをご参照ください。
- 金額は消費税を含めて記入してください。

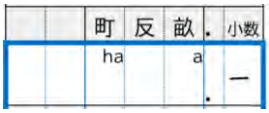
✔記入にあたって

- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
  なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
  「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
- 数字は右づめで記入してください。
- 該当がない項目は「－」を記入してください。
- マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
- 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
- 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合



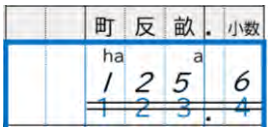
（記入例2）該当がない場合



✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

- 一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
- 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 9

【4】 二条大麦生産のために使用した資材等 …… 13

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 22

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 24

【7】 土地改良及び水利費 …… 25

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 26

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 28

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 30

【11】土地の面積及び地代 …… 32

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 35

本調査は、以下の調査範囲の二条大麦が対象です。

○ 調査範囲	× 調査範囲外
子実（食用、種子用、ビール用等）を生産する目的で栽培した二条大麦	青刈用とする目的で栽培したもの 受託生産したもの

まずは直近5か年の二条大麦の 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の 10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年における二条大麦の10a 当たりの収量（玄麦数量）を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
2 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
3 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
4 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
5 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg

ここからは 令和〇年産の二条大麦生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の二条大麦生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号		1	2	3	4	5	6
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

1 家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号		7	8	9	10	11	12
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

2　雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1)　令和〇年産の二条大麦生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	① → 8 ページへ
雇用している人がいる	② → (2)へ

(2)　((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の二条大麦生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(3) 令和〇年産の二条大麦生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②二条大麦負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●二条大麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の支払分を含めて記入する場合
二条大麦分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②二条大麦負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

（1）令和〇年産の二条大麦生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	二条大麦生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	二条大麦生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	二条大麦生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に〇…（2）へ

すべて「いない」に〇…次ページへ

（2）（1）で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産の二条大麦生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

ここからは　令和〇年産の二条大麦の生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　二条大麦の販売状況（ビール麦を除く。）（玄麦換算）

令和〇年産の二条大麦の収穫量（ビール麦を除く。）のうち、販売用（予定を含む。）について、以下の区分ごとの**①数量**をそれぞれの「計」欄に記入してください。また、「規格外 B、C」については、**②金額**も「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	①数量	②金額	内容例示
1等、2等、規格外 A、種子用等（販売用）「計」	万　kg		○販売した以下の二条大麦（予定を含む。） ・農産物検査（普通大粒大麦）において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査（普通大粒大麦）において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査（普通大粒大麦）における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用 ※ビール麦（農産物検査（ビール大麦）において、「1等」、「2等」、「等外上」と判定されたもの）は除く。
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
規格外 B、C（販売用）「計」	万　kg	万　円	○販売した以下の二条大麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	

2　自家用の二条大麦の数量（ビール麦を除く。）（玄麦換算）

令和〇年産の二条大麦の収穫量（ビール麦を除く。）のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）分について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

なお、「1等、2等、規格外 A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
1 等、2等、規格外 A、種子用等（自家用）「計」	万　kg	〇自家用に仕向けた以下の二条大麦（予定を含む。） ・農産物検査（普通大粒大麦）において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査（普通大粒大麦）において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査（普通大粒大麦）における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用 ※ビール麦（農産物検査（ビール大麦）において、「1等」、「2等」、「等外上」と判定されたもの）は除く。
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
規格外 B（自家用）「計」	万　kg	〇自家用に仕向けた以下の二条大麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
規格外 C（自家用）「計」	万　kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　ビール麦の数量(玄麦換算)

令和〇年産の二条大麦の収穫量のうち、ビール麦の数量について、「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は「－」を記入)

区分	数量	内容例示
ビール麦「計」	万　kg	農産物検査(ビール大麦)において「1等」、「2等」、「等外上」と判定されたもの
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	

4　麦わら、ふるい下麦等

令和〇年産の二条大麦生産で発生した麦わら、ふるい下麦等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。

また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。

（該当しない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分		内容例示	①数量	②金額
販売用	麦わら	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	万　kg	万　円
販売用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（販売したもの）	万　kg	万　円
自家用	麦わら	自家仕向けの麦わら（刈取機の切断わら、野積み等のわら、廃棄したわらは除く）	万　kg	
自家用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（自家で使用したもの）	万　kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは 令和〇年産の二条大麦生産のために使用した金額等 についてお教えください。

【4】二条大麦生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子(購入分)

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

(該当がない場合は「－」を記入)

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額
使用した種子(購入分)「計」			万　円
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円

2　使用した種子(自給分)

(1) 令和〇年産の二条大麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の二条大麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した肥料(購入分)

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②二条大麦負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は、19～20 ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

4　使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産の二条大麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の二条大麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③二条大麦負担割合**を記入してください。

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量	②単位	③二条大麦負担割合
たい肥	万	kg	%
きゅう肥	万	kg	%
稲・麦わら(注1)	万	kg	%
その他	万		%
	万		%
	万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した農業薬剤

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額、②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②二条大麦負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1:共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め 21 ページ「10　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2:除草剤等農薬入りの肥料は 14 ページ「3　使用した肥料(購入分)」に記入してください。

6　使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②二条大麦負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」				万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
動力燃料	重油		L	万　円	%
	軽油		L	万　円	%
	灯油		L	万　円	%
	ガソリン		L	万　円	%
	潤滑油		L	万　円	%
	混合油		L	万　円	%
電力料				万　円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万　円	%

7　使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産の二条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)二条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④二条大麦負担割合**を記入してください。

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④二条大麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8　使用した諸材料(購入分)

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②二条大麦負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注 1:融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

注 2:くわ、かま等の農具や作業着等については、22 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

9　使用した諸材料(自給分)

(1)　令和〇年産の二条大麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の二条大麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④二条大麦負担割合**を記入してください。

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④二条大麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10　賃借料及び料金

令和〇年産の二条大麦生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●二条大麦のみの支払分を記入する場合
100（%）としてください。
●二条大麦以外の支払分を含めて記入する場合
二条大麦分の割合を記入してください。

料金名等		数量等 単位	①支払金額	②二条大麦負担割合
賃借料及び料金「計」			万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）				
共同負担金	薬剤散布（※1）		万 円	%
	共同施設		万 円	%
農機具借料			万 円	%
航空防除賃（※1）		a	万 円	%
賃耕料		a	万 円	%
は種・定植料		a	万 円	%
収穫請負わせ賃		a	万 円	%
乾燥・調製委託料（※2）		kg	万 円	%
その他			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%

（※1）共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

（※2）乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②二条大麦負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2　生産管理関係の費用

令和〇年産の二条大麦生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②二条大麦負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1　物件税

令和〇年産の二条大麦生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●二条大麦のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●二条大麦以外の負担分を含めて記入する場合
二条大麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②二条大麦負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和〇年産の二条大麦生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●二条大麦のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●二条大麦以外の負担分を含めて記入する場合
二条大麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②二条大麦負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1　土地改良区費

令和〇年産の二条大麦生産に関係する以下の土地改良区費について、**二条大麦作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③二条大麦負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

●二条大麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の負担分を含めて記入する場合
二条大麦の負担割合を記入してください。

事業種類	二条大麦作付ほ場負担金額		③二条大麦負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万　円	万　円	%

2　水利費等

令和〇年産の二条大麦生産に関係する水利費等について、**①二条大麦作付ほ場負担金額、②二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●二条大麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の負担分を含めて記入する場合
二条大麦の負担割合を記入してください。

費用名	①二条大麦作付ほ場負担金額	②二条大麦負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	(建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を二条大麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等を二条大麦以外にも使用した場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	二条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の年内取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
- 倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- 育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- 建物の電灯や電球の交換費用
- 防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費(※)	自動車保険料(任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。)
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等を二条大麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等を二条大麦以外にも使用した場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。		二条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分 売却	状況区分 廃棄・無償譲渡	売却金額	
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	修繕費(※)
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等を二条大麦のみに使用した場合100(%)としてください。
●当該農業機械等を二条大麦以外にも使用した場合二条大麦に使用した割合を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。		二条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
					売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1　作付地

令和〇年産の二条大麦生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤二条大麦負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の二条大麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の二条大麦の収穫が終わる前の１年間に、
●二条大麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める二条大麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地　又は　ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	⑤二条大麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	%	○	○
2		ha a .	ha a .	%	○	○
3		ha a .	ha a .	%	○	○
4		ha a .	ha a .	%	○	○
5		ha a .	ha a .	%	○	○
6		ha a .	ha a .	%	○	○
7		ha a .	ha a .	%	○	○
8		ha a .	ha a .	%	○	○
9		ha a .	ha a .	%	○	○
10		ha a .	ha a .	%	○	○
11		ha a .	ha a .	%	○	○
12		ha a .	ha a .	%	○	○
13		ha a .	ha a .	%	○	○
14		ha a .	ha a .	%	○	○
15		ha a .	ha a .	%	○	○

令和〇年産の二条大麦の収穫が終わる前の１年間に、
●二条大麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
　100(%)としてください。
●二条大麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
　作付けした作物の収入全体に占める二条大麦の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位	③作付面積 0.1a 単位	④支払地代	⑤二条大麦負担割合	⑥地目
		町 反 畝 . 小数	町 反 畝 . 小数			田 畑
1		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
2		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
3		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
4		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
5		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
6		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
7		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
8		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
9		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
10		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
11		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
12		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
13		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
14		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
15		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○

2　建物敷地等

令和〇年産の二条大麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤二条大麦負担割合**を記入してください。

総面積に対する二条大麦の使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤二条大麦負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の二条大麦生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年9月1日時点の未償還残高**、**②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額**、**③二条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●二条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●二条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
二条大麦に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年9月1日時点の未償還残高	②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額	③二条大麦負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産の二条大麦の栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第6号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－6

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年産 六条大麦 生産費統計（個別経営体）調査票

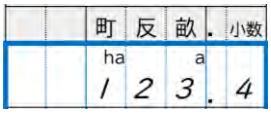
✔本調査の対象範囲

- 令和〇年産の六条大麦の生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
- 対象となる六条大麦については、3ページをご参照ください。
- 金額は消費税を含めて記入してください。

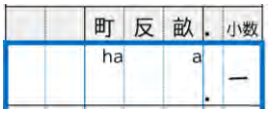
✔記入にあたって

- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
  なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
  「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
- 数字は右づめで記入してください。
- 該当がない項目は「－」を記入してください。
- マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
- 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
- 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合



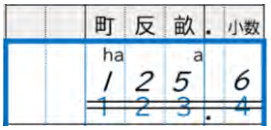
（記入例2）該当がない場合



✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

- 一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
- 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 9

【4】 六条大麦生産のために使用した資材等 …… 12

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 21

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 23

【7】 土地改良及び水利費 …… 25

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 26

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 28

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 30

【11】土地の面積及び地代 …… 32

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 35

本調査は、以下の調査範囲の六条大麦が対象です。

○ 調査範囲	× 調査範囲外
子実(食用、種子用)を生産する目的で栽培した六条大麦	青刈用とする目的で栽培したもの 受託生産したもの

まずは直近5か年の六条大麦の 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の 10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年における六条大麦の10a 当たりの収量(玄麦数量)を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
2 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
3 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
4 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
5 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg

ここからは 令和〇年産の六条大麦生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の六条大麦生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号		1	2	3	4	5	6
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

1　家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号		7	8	9	10	11	12
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

2　雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1)　令和〇年産の六条大麦生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	① → 8 ページへ
雇用している人がいる	② → (2)へ

(2)　((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の六条大麦生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(3) 令和〇年産の六条大麦生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②六条大麦負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●六条大麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の支払分を含めて記入する場合
六条大麦分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②六条大麦負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1)　令和〇年産の六条大麦生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	六条大麦生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	六条大麦生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	六条大麦生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に〇…(2)へ

すべて「いない」に〇…次ページへ

(2)　(1)で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産の六条大麦生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

ここからは　令和〇年産の六条大麦の生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　六条大麦の販売状況（玄麦換算）

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）の六条大麦について、以下の区分ごとの**①数量**をそれぞれの「計」欄に記入してください。また、「規格外 B、C」については、**②金額**も「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	①数量	②金額	内容例示
1等、2等、規格外 A、種子用等（販売用）「計」	万　kg		○販売した以下の六条大麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
規格外 B、C（販売用）「計」	万　kg	万　円	○販売した以下の六条大麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	

2　自家用の六条大麦の数量（玄麦換算）

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）六条大麦について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

なお、「1等、2等、規格外 A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
1 等、2等、規格外 A、種子用等（自家用）「計」	万 kg	〇自家用に仕向けた以下の六条大麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
規格外 B（自家用）「計」	万 kg	〇自家用に仕向けた以下の六条大麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
規格外 C（自家用）「計」	万 kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　麦わら、ふるい下麦等

令和〇年産の六条大麦生産で発生した麦わら、ふるい下麦等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。

また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。

（該当しない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分		内容例示	①数量	②金額
販売用	麦わら	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	万　kg	万　円
販売用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（販売したもの）	万　kg	万　円
自家用	麦わら	自家仕向けの麦わら（刈取機の切断わら、野積み等のわら、廃棄したわらは除く）	万　kg	
自家用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（自家で使用したもの）	万　kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは 令和〇年産の六条大麦生産のために使用した金額等 についてお教えください。

【4】六条大麦生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子(購入分)

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

(該当がない場合は「－」を記入)

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額
使用した種子(購入分)「計」			万　円
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円

2　使用した種子(自給分)

(1)　令和〇年産の六条大麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の六条大麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した肥料(購入分)

令和○年産の六条大麦生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②六条大麦負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は、18～19 ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

4　使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産の六条大麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の六条大麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③六条大麦負担割合**を記入してください。

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量	②単位	③六条大麦負担割合
たい肥	万	kg	%
きゅう肥	万	kg	%
稲・麦わら(注1)	万	kg	%
その他	万		%
	万		%
	万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した農業薬剤

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額、②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②六条大麦負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め 20 ページ「10　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2：除草剤等農薬入りの肥料は 13 ページ「3　使用した肥料（購入分）」に記入してください。

6　使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②六条大麦負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」				万　円		%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
動力燃料	重油		L	万　円		%
	軽油		L	万　円		%
	灯油		L	万　円		%
	ガソリン		L	万　円		%
	潤滑油		L	万　円		%
	混合油		L	万　円		%
電力料				万　円		%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万　円		%

7　使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産の六条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)六条大麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④六条大麦負担割合**を記入してください。

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④六条大麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8　使用した諸材料(購入分)

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②六条大麦負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注 1:融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

注 2:くわ、かま等の農具や作業着等については、21 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

9　使用した諸材料(自給分)

(1)　令和〇年産の六条大麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の六条大麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④六条大麦負担割合**を記入してください。

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④六条大麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10　賃借料及び料金

令和〇年産の六条大麦生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●六条大麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の支払分を含めて記入する場合
六条大麦分の割合を記入してください。

料金名等		数量等 単位	①支払金額	②六条大麦負担割合
賃借料及び料金「計」			万 円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）				
共同負担金	薬剤散布(※1)		万 円	%
	共同施設		万 円	%
農機具借料			万 円	%
航空防除賃(※1)		a	万 円	%
賃耕料		a	万 円	%
は種・定植料		a	万 円	%
収穫請負わせ賃		a	万 円	%
乾燥・調製委託料(※2)		kg	万 円	%
その他			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%

(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

(※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②六条大麦負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2　生産管理関係の費用

令和〇年産の六条大麦生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②六条大麦負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1　物件税

令和〇年産の六条大麦生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●六条大麦のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●六条大麦以外の負担分を含めて記入する場合
六条大麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②六条大麦負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和〇年産の六条大麦生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●六条大麦のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●六条大麦以外の負担分を含めて記入する場合
六条大麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②六条大麦負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1　土地改良区費

令和〇年産の六条大麦生産に関係する以下の土地改良区費について、**六条大麦作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③六条大麦負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

●六条大麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の負担分を含めて記入する場合
六条大麦の負担割合を記入してください。

事業種類	六条大麦作付ほ場負担金額		③六条大麦負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万　円	万　円	%

2　水利費等

令和〇年産の六条大麦生産に関係する水利費等について、**①六条大麦作付ほ場負担金額、②六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●六条大麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の負担分を含めて記入する場合
六条大麦の負担割合を記入してください。

費用名	①六条大麦作付ほ場負担金額	②六条大麦負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を六条大麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等を六条大麦以外にも使用した場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	六条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の年内取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費(※)	自動車保険料(任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。)
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等を六条大麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等を六条大麦以外にも使用した場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。		六条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分 売却	状況区分 廃棄・無償譲渡	売却金額	
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。	
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等を六条大麦のみに使用した場合100(%)としてください。
●当該農業機械等を六条大麦以外にも使用した場合六条大麦に使用した割合を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。		六条大麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
					売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1　作付地

令和〇年産の六条大麦生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤六条大麦負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の六条大麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の六条大麦の収穫が終わる前の１年間に、
●六条大麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める六条大麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地　又は　ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	⑤六条大麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	%	○	○
2		ha a .	ha a .	%	○	○
3		ha a .	ha a .	%	○	○
4		ha a .	ha a .	%	○	○
5		ha a .	ha a .	%	○	○
6		ha a .	ha a .	%	○	○
7		ha a .	ha a .	%	○	○
8		ha a .	ha a .	%	○	○
9		ha a .	ha a .	%	○	○
10		ha a .	ha a .	%	○	○
11		ha a .	ha a .	%	○	○
12		ha a .	ha a .	%	○	○
13		ha a .	ha a .	%	○	○
14		ha a .	ha a .	%	○	○
15		ha a .	ha a .	%	○	○

令和〇年産の六条大麦の収穫が終わる前の１年間に、
●六条大麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
　100(%)としてください。
●六条大麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
　作付けした作物の収入全体に占める六条大麦の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	④支払地代	⑤六条大麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
2		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
3		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
4		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
5		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
6		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
7		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
8		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
9		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
10		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
11		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
12		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
13		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
14		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
15		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○

2　建物敷地等

令和〇年産の六条大麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤六条大麦負担割合**を記入してください。

総面積に対する六条大麦の使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤六条大麦負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の六条大麦生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年9月1日時点の未償還残高**、**②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額**、**③六条大麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は①に「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●六条大麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●六条大麦以外の使用分を含めて記入する場合
六条大麦に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年9月1日時点の未償還残高	②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額	③六条大麦負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産の六条大麦の栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第７号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－7

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年産 はだか麦 生産費統計（個別経営体）調査票

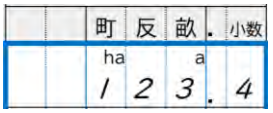
✔本調査の対象範囲

- 令和〇年産のはだか麦の生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
- 対象となるはだか麦については、3ページをご参照ください。
- 金額は消費税を含めて記入してください。

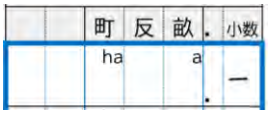
✔記入にあたって

- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
  なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
  「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
- 数字は右づめで記入してください。
- 該当がない項目は「－」を記入してください。
- マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
- 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
- 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合



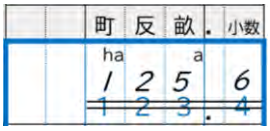
（記入例2）該当がない場合



✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

- 一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
- 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 9

【4】 はだか麦生産のために使用した資材等 …… 12

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 21

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 23

【7】 土地改良及び水利費 …… 25

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 26

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 28

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 30

【11】土地の面積及び地代 …… 32

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 35

本調査は、以下の調査範囲のはだか麦が対象です。

○ 調査範囲	× 調査範囲外
子実(食用、種子用)を生産する目的で栽培したはだか麦	青刈用とする目的で栽培したもの 受託生産したもの

まずは直近5か年のはだか麦の 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の 10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年におけるはだか麦の10a 当たりの収量(玄麦数量)を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
2 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
3 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
4 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
5 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg

ここからは 令和〇年産のはだか麦生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産のはだか麦生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号		1	2	3	4	5	6
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき麦以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

1　家族や住み込みの年雇の労働時間(つづき)

番号		7	8	9	10	11	12
作業者							
性別		(男) (女)	(男) (女)	(男) (女)	(男) (女)	(男) (女)	(男) (女)
年齢(令和〇年9月1日時点)		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

2　雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1)　令和○年産のはだか麦生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	①	→ 8 ページへ
雇用している人がいる	②	→ (2)へ

(2)　((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のはだか麦生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性		女性	
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽		時間		時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)		時間		時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥		時間		時間
は種	種まき、覆土		時間		時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥		時間		時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布		時間		時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)		時間		時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦なで、ほ場見回り		時間		時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策		時間		時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理		時間		時間
乾燥	乾燥、調製		時間		時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)		時間		時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等		時間		時間

(3) 令和〇年産のはだか麦生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②はだか麦負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●はだか麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の支払分を含めて記入する場合
はだか麦分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②はだか麦負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和〇年産のはだか麦生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	はだか麦生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	はだか麦生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	はだか麦生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に〇…(2)へ

すべて「いない」に〇…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産のはだか麦生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

ここからは　令和〇年産のはだか麦の生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　はだか麦の販売状況（玄麦換算）

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）のはだか麦について、以下の区分ごとの**①数量**をそれぞれの「計」欄に記入してください。また、「規格外 B、C」については、**②金額**も「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	①数量	②金額	内容例示
1等、2等、規格外 A、種子用等（販売用）「計」	万　kg		〇販売した以下のはだか麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
規格外 B、C（販売用）「計」	万　kg	万　円	〇販売した以下のはだか麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	

2　自家用のはだか麦の数量（玄麦換算）

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）はだか麦について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

なお、「1等、2等、規格外 A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
1 等、2等、規格外 A、種子用等（自家用）「計」	万　kg	〇自家用に仕向けた以下のはだか麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
規格外 B（自家用）「計」	万　kg	〇自家用に仕向けた以下のはだか麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
規格外 C（自家用）「計」	万　kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　麦わら、ふるい下麦等

令和〇年産のはだか麦生産で発生した麦わら、ふるい下麦等のうち、販売用又は自家用に仕向けた(予定を含む。)ものについて、**①数量**を記入してください(焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。)。

また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。

(該当しない区分は①に「－」を記入)

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

区分		内容例示	①数量	②金額
販売用	麦わら	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	万　kg	万　円
販売用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦(販売したもの)	万　kg	万　円
自家用	麦わら	自家仕向けの麦わら(刈取機の切断わら、野積み等のわら、廃棄したわらは除く)	万　kg	
自家用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦(自家で使用したもの)	万　kg	

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは 令和〇年産のはだか麦生産のために使用した金額等 についてお教えください。

【4】はだか麦生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子(購入分)

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

(該当がない場合は「－」を記入)

品種名等	使用数量 単位	使用数量分の購入金額
使用した種子(購入分)「計」		万 円
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
		万 円
		万 円
		万 円
		万 円
		万 円

2　使用した種子(自給分)

(1) 令和〇年産のはだか麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のはだか麦生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した肥料(購入分)

令和○年産のはだか麦生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②はだか麦負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は、18～19 ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

4　使用した肥料(自給分)

(1) 令和○年産のはだか麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のはだか麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③はだか麦負担割合**を記入してください。

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量	②単位	③はだか麦負担割合
たい肥	万	kg	%
きゅう肥	万	kg	%
稲・麦わら(注1)	万	kg	%
その他	万		%
	万		%
	万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した農業薬剤

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②はだか麦負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め 20 ページ「10　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2：除草剤等農薬入りの肥料は 13 ページ「3　使用した肥料（購入分）」に記入してください。

6　使用した光熱動力(購入分)

令和○年産のはだか麦生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②はだか麦負担割合	
使用した光熱動力(購入分)「計」				万	円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)							
動力燃料	重油		L	万	円		%
	軽油		L	万	円		%
	灯油		L	万	円		%
	ガソリン		L	万	円		%
	潤滑油		L	万	円		%
	混合油		L	万	円		%
電力料				万	円		%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万	円		%

7　使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産のはだか麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)はだか麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④はだか麦負担割合**を記入してください。

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④はだか麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8　使用した諸材料(購入分)

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②はだか麦負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注 1:融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

注 2:くわ、かま等の農具や作業着等については、21 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

9　使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産のはだか麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のはだか麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④はだか麦負担割合**を記入してください。

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④はだか麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10　賃借料及び料金

令和〇年産のはだか麦生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●はだか麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の支払分を含めて記入する場合
はだか麦分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	単位	①支払金額		②はだか麦負担割合
賃借料及び料金「計」				万　円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
負担金 共同	薬剤散布(※1)			万　円		%
	共同施設			万　円		%
農機具借料				万　円		%
航空防除賃(※1)			a	万　円		%
賃耕料			a	万　円		%
は種・定植料			a	万　円		%
収穫請負わせ賃			a	万　円		%
乾燥・調製委託料(※2)			kg	万　円		%
その他				万　円		%
				万　円		%
				万　円		%
				万　円		%
				万　円		%

(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

(※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②はだか麦負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2　生産管理関係の費用

令和〇年産のはだか麦生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②はだか麦負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1　物件税

令和〇年産のはだか麦生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●はだか麦のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●はだか麦以外の負担分を含めて記入する場合
はだか麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②はだか麦負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和〇年産のはだか麦生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●はだか麦のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●はだか麦以外の負担分を含めて記入する場合
はだか麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②はだか麦負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1　土地改良区費

令和〇年産のはだか麦生産に関係する以下の土地改良区費について、**はだか麦作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③はだか麦負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

●はだか麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の負担分を含めて記入する場合
はだか麦の負担割合を記入してください。

事業種類	はだか麦作付ほ場負担金額		③はだか麦負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万　円	万　円	%

2　水利費等

令和〇年産のはだか麦生産に関係する水利費等について、**①はだか麦作付ほ場負担金額、②はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●はだか麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の負担分を含めて記入する場合
はだか麦の負担割合を記入してください。

費用名	①はだか麦作付ほ場負担金額	②はだか麦負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	(建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等をはだか麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等をはだか麦以外にも使用した場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

修繕費(※) (令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。)	保険料 (令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	はだか麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の年内取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 (売却金額、取り壊しの金額)	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	修繕費(※)	自動車保険料
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。		任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等をはだか麦のみに使用した場合100(%)としてください。
●当該自動車等をはだか麦以外にも使用した場合はだか麦に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。		はだか麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分 売却	状況区分 廃棄・無償譲渡	売却金額	
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	修繕費(※)
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等をはだか麦のみに使用した場合100(%)としてください。
●当該農業機械等をはだか麦以外にも使用した場合はだか麦に使用した割合を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。		はだか麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
					売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1　作付地

令和〇年産のはだか麦生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤はだか麦負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のはだか麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産のはだか麦の収穫が終わる前の１年間に、
●はだか麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるはだか麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地　又は　ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	⑤はだか麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	%	○	○
2		ha a .	ha a .	%	○	○
3		ha a .	ha a .	%	○	○
4		ha a .	ha a .	%	○	○
5		ha a .	ha a .	%	○	○
6		ha a .	ha a .	%	○	○
7		ha a .	ha a .	%	○	○
8		ha a .	ha a .	%	○	○
9		ha a .	ha a .	%	○	○
10		ha a .	ha a .	%	○	○
11		ha a .	ha a .	%	○	○
12		ha a .	ha a .	%	○	○
13		ha a .	ha a .	%	○	○
14		ha a .	ha a .	%	○	○
15		ha a .	ha a .	%	○	○

令和〇年産のはだか麦の収穫が終わる前の１年間に、
●はだか麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
　100(%)としてください。
●はだか麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
　作付けした作物の収入全体に占めるはだか麦の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位	③作付面積 0.1a 単位	④支払地代	⑤はだか麦負担割合	⑥地目
		町 反 畝 . 小数	町 反 畝 . 小数			田 畑
1		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
2		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
3		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
4		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
5		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
6		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
7		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
8		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
9		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
10		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
11		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
12		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
13		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
14		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○
15		ha a .	ha a .	万 円	%	○ ○

2　建物敷地等

令和〇年産のはだか麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤はだか麦負担割合**を記入してください。

総面積に対するはだか麦の使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤はだか麦負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のはだか麦生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年9月1日時点の未償還残高**、**②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額**、**③はだか麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は①に「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●はだか麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●はだか麦以外の使用分を含めて記入する場合
はだか麦に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年9月1日時点の未償還残高	②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額	③はだか麦負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産のはだか麦の栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第8号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－8

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年産 そば 生産費統計（個別経営体）調査票

✔本調査の対象範囲

・令和〇年産のそばの生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
・対象となるそばについては、3ページをご参照ください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

✔記入にあたって

・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
		1	2	3	.	4

（記入例2）該当がない場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
					.	－

✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
		1	2	5		6
		~~1~~	~~2~~	~~3~~	.	~~4~~

2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 9

【4】 そば生産のために使用した資材等 …… 11

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 20

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 22

【7】 土地改良及び水利費 …… 23

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 24

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 26

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 28

【11】土地の面積及び地代 …… 30

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 33

本調査は以下の調査範囲のそばが対象です。

○ 調査範囲	× 調査範囲外
子実(食用、種子用)を生産する目的で栽培したそば	受託生産したもの

まずは直近5か年のそばの 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の 10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年におけるそばの 10a 当たりの収量(玄そば数量)を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
2 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
3 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
4 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
5 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg

ここからは　令和〇年産のそば生産にかかった労働時間等　についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産のそば生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号	1	2	3	4	5	6
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年1月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示	1	2	3	4	5	6
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

1 家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号		7	8	9	10	11	12
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年1月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

2　雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1)　令和〇年産のそば生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	①	→ 8ページへ
雇用している人がいる	②	→ (2)へ

(2)　((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のそば生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(3)令和〇年産のそば生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②そば負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●そばのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の支払分を含めて記入する場合
そば分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②そば負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和○年産のそば生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・ 手間替受け	そば生産に係る作業で 労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	そば生産に係る作業で 集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	そば生産に係る作業で 手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ

すべて「いない」に○
…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産のそば生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
耕起 整地	耕起、整地、畝立て、 融雪剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕 除草	ほ場内の中耕、土入れ、 土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取 脱穀	収穫、運搬、脱穀	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接 労働	建物、農機具等の修繕、 購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

ここからは　令和〇年産のそばの生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　そばの販売数量（玄そば換算）

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）のそばについて、数量を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、数量については、玄そば数量を記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
販売用「計」	万　kg	〇販売した以下のそば（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」、「2等」、「規格外」と判定されたもの。またはこれらと同等の品質を有するもの。 ・種子用
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	

2　自家用のそばの数量（玄そば換算）

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）そばについて、数量を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、数量については、玄そば数量を記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
自家用「計」	万　kg	自家の食用、種子用等に仕向けたもの（予定を含む。）
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	

3　選別により除かれたそば等

令和〇年産のそば生産で発生した、選別により除かれたそば等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。

また、販売用については、**②金額**も記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	内容例示	①数量	②金額
販売用	販売したもの（予定を含む。）	万　kg	万　円
自家用	自家用に仕向けたもの（予定を含む。）	万　kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは　令和〇年産のそば生産に使用した金額等　についてお教えください。

【4】そば生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子(購入分)

令和〇年産のそば生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。

(該当がない場合は「－」を記入)

品種名等	数量 単位	使用数量分の購入金額
使用した種子(購入分)「計」		万 円
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
		万 円
		万 円
		万 円
		万 円
		万 円

2　使用した種子(自給分)

(1)　令和〇年産のそば生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のそば生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した肥料(購入分)

令和〇年産のそば生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●そばのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の使用分を含めて記入する場合
そばに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②そば負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は、17～18ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

4　使用した肥料(自給分)

(1) 令和○年産のそば生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のそば生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③そば負担割合**を記入してください。

●そばのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の使用分を含めて記入する場合
そばに使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③そば負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した農業薬剤

令和〇年産のそば生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●そばのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●そば以外の使用分を含めて記入する場合
そばに使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②そば負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め 19 ページ「10 賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2：除草剤等農薬入りの肥料は 12 ページ「3　使用した肥料（購入分）」に記入してください。

6　使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産のそば生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●そばのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の使用分を含めて記入する場合
そばに使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②そば負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」				万	円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
動力燃料	重油		L	万	円	%
	軽油		L	万	円	%
	灯油		L	万	円	%
	ガソリン		L	万	円	%
	潤滑油		L	万	円	%
	混合油		L	万	円	%
電力料				万	円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万	円	%

7　使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産のそば生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のそば生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④そば負担割合**を記入してください。

●そばのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の使用分を含めて記入する場合
そばに使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④そば負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8　使用した諸材料(購入分)

令和〇年産のそば生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、ここに記入してください。

●そばのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の使用分を含めて記入する場合
そばに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②そば負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、20 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

9　使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産のそば生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のそば生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等、②使用数量、③単位、④そば負担割合**を記入してください。

●そばのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の使用分を含めて記入する場合
そばに使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④そば負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10　賃借料及び料金

令和〇年産のそば生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●そばのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の支払分を含めて記入する場合
そば分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	単位	①支払金額	②そば負担割合
賃借料及び料金「計」				万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
共同負担金	薬剤散布(※1)			万 円	%
	共同施設			万 円	%
農機具借料				万 円	%
航空防除賃(※1)			a	万 円	%
賃耕料			a	万 円	%
は種・定植料			a	万 円	%
収穫請負わせ賃			a	万 円	%
乾燥・調製委託料(※2)			kg	万 円	%
その他				万 円	%
				万 円	%
				万 円	%
				万 円	%
				万 円	%

(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
(※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産のそば生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●そばのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●そば以外の使用分を含めて記入する場合
そばに使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②そば負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2　生産管理関係の費用

令和〇年産のそば生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額、②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●そばのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●そば以外の使用分を含めて記入する場合
そばに使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②そば負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリントトナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1　物件税

令和〇年産のそば生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●そばのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●そば以外の負担分を含めて記入する場合
そばの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②そば負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和〇年産のそば生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●そばのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●そば以外の負担分を含めて記入する場合
そばの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②そば負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（そば生産部会等の会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1　土地改良区費

令和〇年産のそば生産に関係する以下の土地改良区費について、**そば作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③そば負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

●そばのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の負担分を含めて記入する場合
そばの負担割合を記入してください。

事業種類	そば作付ほ場負担金額		③そば負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万　円	万　円	%

2　水利費等

令和〇年産のそば生産に関係する水利費等について、**①そば作付ほ場負担金額、②そば負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●そばのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の負担分を含めて記入する場合
そばの負担割合を記入してください。

費用名	①そば作付ほ場負担金額	②そば負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のそば生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等をそばのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等をそば以外にも使用した場合
そばに使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	そば負担割合	年内取り壊し・売却状況				番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のそば生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費(※)	自動車保険料(任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。)
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等をそばのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等をそば以外にも使用した場合
そばに使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。		そば負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
				売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のそば生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。	
1			年	年	月	万 円	万 円	万 円
2			年	年	月	万 円	万 円	万 円
3			年	年	月	万 円	万 円	万 円
4			年	年	月	万 円	万 円	万 円
5			年	年	月	万 円	万 円	万 円
6			年	年	月	万 円	万 円	万 円
7			年	年	月	万 円	万 円	万 円
8			年	年	月	万 円	万 円	万 円
9			年	年	月	万 円	万 円	万 円
10			年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等をそばのみに使用した場合100(%)としてください。
●当該農業機械等をそば以外にも使用した場合そばに使用した割合を記入してください。

保険料 災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	軽自動車税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	そば負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	年内売却・廃棄状況 状況区分 廃棄・無償譲渡	年内売却・廃棄状況 売却金額	番号
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1　作付地

令和〇年産のそば生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤そば負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のそばの作付面積になるように記入してください。

令和〇年産のそばの収穫が終わる前の１年間に、
●そばのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●そば以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるそばの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地　又は　ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位					③作付面積 0.1a 単位					⑤そば負担割合		⑥地目	
			町	反	畝	小数		町	反	畝	小数			田	畑
1			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
2			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
3			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
4			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
5			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
6			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
7			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
8			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
9			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
10			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
11			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
12			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
13			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
14			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○
15			ha		a	.		ha		a	.		%	○	○

令和〇年産のそばの収穫が終わる前の１年間に、
●そばのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●そば以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるそばの収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	④支払地代	⑤そば負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
2		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
3		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
4		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
5		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
6		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
7		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
8		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
9		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
10		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
11		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
12		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
13		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
14		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
15		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○

2　建物敷地等

令和〇年産のそば生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤そば負担割合**を記入してください。

総面積に対するそばの使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤そば負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のそば生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高**、**②令和〇年の支払利子額**、**③そば負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●そばのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●そば以外の使用分を含めて記入する場合
そばに使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③そば負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産のそば栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第9号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－9

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年産 大豆 生産費統計（個別経営体）調査票

✓本調査の対象範囲

- 令和〇年産の大豆の生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
- 対象となる大豆については、3ページをご参照ください。
- 金額は消費税を含めて記入してください。

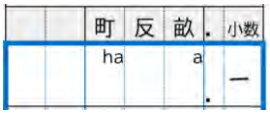
✔記入にあたって

- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
  なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
  「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
- 数字は右づめで記入してください。
- 該当がない項目は「－」を記入してください。
- マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
- 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
- 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合



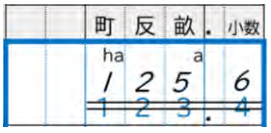
（記入例2）該当がない場合



✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

- 一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
- 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 9

【4】 大豆生産のために使用した資材等 …… 11

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 20

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 22

【7】 土地改良及び水利費 …… 23

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 24

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 26

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 28

【11】土地の面積及び地代 …… 30

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 33

本調査は以下の調査範囲の大豆が対象です。

○ 調査範囲	× 調査範囲外
子実(食用、種子用)を生産する目的で栽培した大豆	黒大豆 受託生産したもの 未成熟で収穫されるもの(えだまめ)

まずは直近5か年の大豆の 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の 10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年における大豆の 10a 当たりの収量を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
2 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
3 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
4 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
5 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg

ここからは　令和〇年産の大豆生産にかかった労働時間等　についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産の大豆生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号		1	2	3	4	5	6
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年1月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

1　家族や住み込みの年雇の労働時間(つづき)

番号	7	8	9	10	11	12
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢(令和〇年1月1日時点)	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示						
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置･解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

2　雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1)　令和〇年産の大豆生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	①	→ 8ページへ
雇用している人がいる	②	→ (2)へ

(2)　((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の大豆生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間
収穫	収穫、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(3) 令和〇年産の大豆生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、①**賃金**、②**大豆負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●大豆のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の支払分を含めて記入する場合
大豆分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②大豆負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1)　令和○年産の大豆生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・ 手間替受け	大豆生産に係る作業で 労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	大豆生産に係る作業で 集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	大豆生産に係る作業で 手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ

すべて「いない」に○
…次ページへ

(2)　(1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産の大豆生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付の時間、ほ場への往復時間も含めてください。

　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起 整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕 除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接 労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

ここからは　令和〇年産の大豆の生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　大豆の販売数量

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）の大豆について、数量を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
販売用「計」	万　kg	〇販売した以下の大豆（予定を含む。） ・普通大豆として、農産物検査において「1等」、「2等」、「3等」、「規格外」と判定されたもの） ・特定加工用大豆として、農産物検査において「合格」又は「規格外」と判定されたもの （豆腐・油揚げ・しょう油・きな粉等、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆） ・上記（普通大豆や特定加工用大豆）と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	

2　自家用の大豆の数量

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）大豆について、数量を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
自家用「計」	万　kg	自家の食用、種子用等に仕向けたもの（予定を含む。）
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	

3　選別により除かれた大豆等

令和〇年産の大豆生産で発生した、選別により除かれた大豆等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。

また、販売用については、**②金額**も記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	内容例示	①数量	②金額
販売用	販売したもの（予定を含む。）	万　kg	万　円
自家用	自家用に仕向けたもの（予定を含む。）	万　kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは　令和〇年産の大豆生産に使用した金額等　についてお教えください。

【4】大豆生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子(購入分)

令和〇年産の大豆生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。

(該当がない場合は「－」を記入)

品種名等	使用数量 単位	使用数量分の購入金額
使用した種子(購入分)「計」		万 円
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
		万 円
		万 円
		万 円
		万 円
		万 円

2　使用した種子(自給分)

(1) 令和〇年産の大豆生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の大豆生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した肥料(購入分)

令和〇年産の大豆生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②大豆負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は 17～18 ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

4　使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産の大豆生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の大豆生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③大豆負担割合**を記入してください。

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③大豆負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した農業薬剤

令和〇年産の大豆生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②大豆負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1:共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め 19 ページ「10 賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2:除草剤等農薬入りの肥料は 12 ページ「3　使用した肥料(購入分)」に記入してください。

6　使用した光熱動力(購入分)

令和○年産の大豆生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②大豆負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」				万 円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
動力燃料	重油		L	万 円	%
	軽油		L	万 円	%
	灯油		L	万 円	%
	ガソリン		L	万 円	%
	潤滑油		L	万 円	%
	混合油		L	万 円	%
電力料				万 円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万 円	%

7　使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産の大豆生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の大豆生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④大豆負担割合**を記入してください。

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④大豆負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8　使用した諸材料(購入分)

令和○年産の大豆生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、ここに記入してください。

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②大豆負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、20 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

9　使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産の大豆生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の大豆生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等、②使用数量、③単位、④大豆負担割合**を記入してください。

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④大豆負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10　賃借料及び料金

令和〇年産の大豆生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●大豆のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の支払分を含めて記入する場合
大豆分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	単位	①支払金額	②大豆負担割合
賃借料及び料金「計」				万　円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
共同負担金	薬剤散布(※1)			万　円	%
	共同施設			万　円	%
農機具借料				万　円	%
航空防除賃(※1)			a	万　円	%
賃耕料			a	万　円	%
は種・定植料			a	万　円	%
収穫請負わせ賃			a	万　円	%
乾燥・調製委託料(※2)			kg	万　円	%
その他				万　円	%
				万　円	%
				万　円	%
				万　円	%
				万　円	%

(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

(※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の大豆生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②大豆負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2　生産管理関係の費用

令和〇年産の大豆生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額、②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②大豆負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1　物件税

令和〇年産の大豆生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②大豆負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和〇年産の大豆生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②大豆負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（大豆作部会等の各種部会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1　土地改良区費

令和〇年産の大豆生産に関係する以下の土地改良区費について、**大豆作付ほ場負担金額（①維持負担金、②償還金）、③大豆負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

●大豆のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

事業種類	大豆作付ほ場負担金額		③大豆負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他（整地、表土扱いのない事業）	万　円	万　円	%

2　水利費等

令和〇年産の大豆生産に関係する水利費等について、**①大豆作付ほ場負担金額、②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●大豆のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

費用名	①大豆作付ほ場負担金額	②大豆負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の大豆生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を大豆のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等を大豆以外にも使用した場合
大豆に使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	大豆負担割合	年内取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の大豆生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	修繕費(※)	自動車保険料
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。		任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等を大豆のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等を大豆以外にも使用した場合
大豆に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。		大豆負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
				売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の大豆生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。	
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等を大豆のみに使用した場合100(%)としてください。
●当該農業機械等を大豆以外にも使用した場合大豆に使用した割合を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。		大豆負担割合	年内売却・廃棄状況		番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分 売却	状況区分 廃棄・無償譲渡	売却金額	
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1　作付地

令和〇年産の大豆生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤大豆負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の大豆の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
●大豆のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●大豆以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める大豆の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地　又は　ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	⑤大豆負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	%	○	○
2		ha a .	ha a .	%	○	○
3		ha a .	ha a .	%	○	○
4		ha a .	ha a .	%	○	○
5		ha a .	ha a .	%	○	○
6		ha a .	ha a .	%	○	○
7		ha a .	ha a .	%	○	○
8		ha a .	ha a .	%	○	○
9		ha a .	ha a .	%	○	○
10		ha a .	ha a .	%	○	○
11		ha a .	ha a .	%	○	○
12		ha a .	ha a .	%	○	○
13		ha a .	ha a .	%	○	○
14		ha a .	ha a .	%	○	○
15		ha a .	ha a .	%	○	○

令和〇年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
●大豆のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●大豆以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める大豆の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	④支払地代	⑤大豆負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
2		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
3		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
4		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
5		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
6		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
7		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
8		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
9		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
10		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
11		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
12		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
13		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
14		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
15		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○

2　建物敷地等

令和〇年産の大豆生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤大豆負担割合**を記入してください。

総面積に対する大豆の使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤大豆負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の大豆生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高**、**②令和〇年の支払利子額**、**③大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③大豆負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産の大豆栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第10号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

記入用紙

別添3－10

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

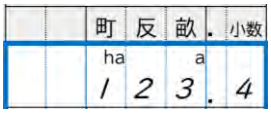
令和〇年産
原料用かんしょ
生産費統計（個別経営体）
調査票

✔本調査の対象範囲

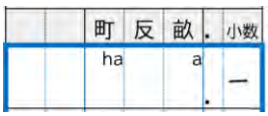
・令和〇年産のでん粉原料用かんしょ（受託生産を除く。）についてお答えください。
・対象となるかんしょ（でん粉原料用かんしょ）については、3ページをご参照ください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

✔記入にあたって

（記入例1）123.4 アールの場合



（記入例2）該当がない場合

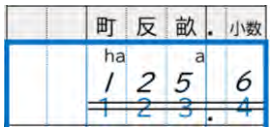


・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 9

【4】 でん粉原料用かんしょ生産のために使用した資材等 …… 11

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 21

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 23

【7】 土地改良及び水利費 …… 25

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 26

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 28

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 30

【11】土地の面積及び地代 …… 32

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 35

本調査は以下の調査範囲のかんしょ(でん粉原料用かんしょ)が対象です。

調査範囲

でん粉原料用とする目的で栽培したかんしょ

調査範囲外

- ●生食用、焼酎用、飼料用、種子用とする目的で栽培したもの
- ●規格外・余剰品でん粉原料用に利用したもの
- ●受託生産したもの

まずは直近5か年のでん粉原料用かんしょの 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の 10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年におけるでん粉原料用かんしょの 10a 当たりの収量を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
2 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
3 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
4 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
5 年前(〇〇〇〇年産(令和 〇年産))	kg

ここからは 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1 家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号	1	2	3	4	5	6
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年1月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示	1	2	3	4	5	6
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

1　家族や住み込みの年雇の労働時間(つづき)

番号	7	8	9	10	11	12
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢(令和〇年1月1日時点)	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示						
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置･解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

2 雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1) 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	① → 8ページへ
雇用している人がいる	② → (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(3) 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②でん粉原料用かんしょ負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●でん粉原料用かんしょのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の支払分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょ分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②でん粉原料用かんしょ負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	でん粉原料用かんしょ生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	でん粉原料用かんしょ生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	でん粉原料用かんしょ生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に〇…(2)へ

すべて「いない」に〇…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

ここからは　令和〇年産のでん粉原料用かんしょの生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　でん粉原料用かんしょの販売数量

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）のでん粉原料用かんしょについて、数量を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
販売用「計」	万 kg	でん粉原料用として出荷・販売したかんしょ及びかんしょ生切り干し（予定を含む。）
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	

2　自家用のでん粉原料用かんしょの数量

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）でん粉原料用かんしょについて、数量を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
自家用「計」	万 kg	自家の食用、種いも用（苗取り用）等に仕向けたもの（予定を含む。）
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	

3 選別により除かれたいも等

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産で発生した、選別により除かれたいも、いもづる等のうち、自家用に仕向けたもの（予定を含む。）について、**①名称等**、**②数量**、**③単位**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

①名称等	②数量	③単位

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産に使用した金額等 についてお教えください。

【4】でん粉原料用かんしょ生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1 使用した種いも(購入分)

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した種いものうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、不発芽による補植分についても含めてください。

(該当がない場合は「－」を記入)

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額
使用した種いも(購入分)「計」			万 円
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
			万 円
			万 円
			万 円
			万 円
			万 円

2　使用した種いも(自給分)

(1)　令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した種いものうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 「3　使用した苗(購入分)」へ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した種いものうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。また、不発芽による補植分についても含めてください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した苗(購入分)

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した苗のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は「－」を記入)

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額
使用した苗(購入分)「計」			万　円
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円

4 使用した肥料（購入分）

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、
①使用数量分の購入金額、**②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②でん粉原料用かんしょ負担割合	内容例示
使用した肥料（購入分）「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム（石灰含む。） ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

5　使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③でん粉原料用かんしょ負担割合**を記入してください。

●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③でん粉原料用かんしょ負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

6 使用した農業薬剤

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②でん粉原料用かんしょ負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1:共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め 20 ページ「11　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2:除草剤等農薬入りの肥料は 13 ページ「4　使用した肥料(購入分)」に記入してください。

7 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額				②でん粉原料用かんしょ負担割合	
使用した光熱動力(購入分)「計」				万			円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)									
動力燃料	重油		L	万			円		%
	軽油		L	万			円		%
	灯油		L	万			円		%
	ガソリン		L	万			円		%
	潤滑油		L	万			円		%
	混合油		L	万			円		%
電力料				万			円		%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万			円		%

8 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和○年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④でん粉原料用かんしょ負担割合**を記入してください。

●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④でん粉原料用かんしょ負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

9 使用した諸材料(購入分)

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、
①使用数量分の購入金額、**②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

諸材料とは、ビニール・シート、マルチ張り用のポリエチレン等の消耗品です。

●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②でん粉原料用かんしょ負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%

注1:償却資産に属する建物(育苗ハウス等)のビニール張り替え費用については、26～27ページ「【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況」の修繕費に記入してください。
注2:くわ、かま等の農具や作業着等については、21 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

10 使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④でん粉原料用かんしょ負担割合**を記入してください。

●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④でん粉原料用かんしょ負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

11 賃借料及び料金

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(該当がない場合は①に「－」を記入)

●でん粉原料用かんしょのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の支払分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょ分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	単位	①支払金額	②でん粉原料用かんしょ負担割合
賃借料及び料金「計」				万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
共同負担金	薬剤散布(※)			万 円	%
	共同施設			万 円	%
農機具借料				万 円	%
航空防除賃(※)			a	万 円	%
賃耕料			a	万 円	%
は種・定植料			a	万 円	%
収穫請負わせ賃			a	万 円	%
貯蔵			kg	万 円	%
その他				万 円	%
				万 円	%
				万 円	%
				万 円	%
				万 円	%

(※)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

1 農具・農業被服等の購入費

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②でん粉原料用かんしょ負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②でん粉原料用かんしょ負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリントートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1 物件税

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②でん粉原料用かんしょ負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②でん粉原料用かんしょ負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（各種部会等の会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1 土地改良区費

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産に関係する以下の土地改良区費について、**でん粉原料用かんしょ作付ほ場負担金額（①維持負担金、②償還金）、③でん粉原料用かんしょ負担割合**を記入してください。（該当がない区分は「－」を記入）

●でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょの負担割合を記入してください。

事業種類	でん粉原料用かんしょ作付ほ場負担金額		③でん粉原料用かんしょ負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他（整地、表土扱いのない事業）	万　円	万　円	%

2 水利費等

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産に関係する水利費等について、**①でん粉原料用かんしょ作付ほ場負担金額、②でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用かんしょの負担割合を記入してください。

費用名	①でん粉原料用かんしょ作付ほ場負担金額	②でん粉原料用かんしょ負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。
1			年	年	月	億 万 円	万 円
2			年	年	月	億 万 円	万 円
3			年	年	月	億 万 円	万 円
4			年	年	月	億 万 円	万 円
5			年	年	月	億 万 円	万 円
6			年	年	月	億 万 円	万 円
7			年	年	月	億 万 円	万 円
8			年	年	月	億 万 円	万 円
9			年	年	月	億 万 円	万 円
10			年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等をでん粉原料用かんしょのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等をでん粉原料用かんしょ以外にも使用した場合
でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	でん粉原料用かんしょ負担割合	年内取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費(※)	自動車保険料(任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。)
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

●当該自動車等をでん粉原料用かんしょのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等をでん粉原料用かんしょ以外にも使用した場合
でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

令和〇年産に係る当該自動車等に要した
費用について記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。		でん粉原料用かんしょ負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
				売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。	
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

●当該農業機械等をでん粉原料用かんしょのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該農業機械等をでん粉原料用かんしょ以外にも使用した場合
でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。		でん粉原料用かんしょ負担割合	年内売却・廃棄状況		番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分 売却	状況区分 廃棄・無償譲渡	売却金額	
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1 作付地

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤でん粉原料用かんしょ負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のでん粉原料用かんしょの作付面積になるように記入してください。

令和〇年産のでん粉原料用かんしょの収穫が終わる前の１年間に、
●でん粉原料用かんしょのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるでん粉原料用かんしょの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位					③作付面積 0.1a 単位					⑤でん粉原料用かんしょ負担割合	⑥地目	
			町	反	畝	小数		町	反	畝	小数		田	畑
1			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
2			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
3			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
4			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
5			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
6			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
7			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
8			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
9			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
10			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
11			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
12			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
13			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
14			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○
15			ha		a	.		ha		a	.	%	○	○

令和〇年産のでん粉原料用かんしょの収穫が終わる前の１年間に、
●でん粉原料用かんしょのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるでん粉原料用かんしょの収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位					③作付面積 0.1a 単位					④支払地代		⑤でん粉原料用かんしょ負担割合	⑥地目	
			町	反	畝	小数		町	反	畝	小数				田	畑
1			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
2			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
3			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
4			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
5			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
6			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
7			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
8			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
9			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
10			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
11			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
12			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
13			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
14			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○
15			ha		a	.		ha		a	.	万	円	%	○	○

2 建物敷地等

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤でん粉原料用かんしょ負担割合**を記入してください。

総面積に対するでん粉原料用かんしょの使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤でん粉原料用かんしょ負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③でん粉原料用かんしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は①に「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●でん粉原料用かんしょのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合でん粉原料用かんしょに使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③でん粉原料用かんしょ負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産のでん粉原料用かんしょ栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第11号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

記入用紙

別添3－11

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

令和〇年産
原料用ばれいしょ
生産費統計（個別経営体）
調査票

✔本調査の対象範囲

・令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ（受託生産を除く。）についてお答えください。
・対象となるばれいしょ（でん粉原料用ばれいしょ）については、3ページをご参照ください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

✔記入にあたって

・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
		1	2	3	.	4

（記入例2）該当がない場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
					.	－

✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
		1	2	5		6
		~~1~~	~~2~~	~~3~~	.	~~4~~

2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 9

【4】 でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した資材等 …… 11

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 21

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 23

【7】 土地改良及び水利費 …… 25

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 26

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 28

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 30

【11】土地の面積及び地代 …… 32

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 35

本調査は以下の調査範囲のばれいしょ(でん粉原料用ばれいしょ)が調査対象です。

調査範囲

でん粉原料用とする目的で栽培したばれいしょ

調査範囲外

- ●生食用、加工用、種子用とする目的で栽培したもの
- ●規格外・余剰品でん粉原料用に利用したもの(でん原落ち分)
- ●受託生産したもの

まずは直近5か年のでん粉原料用ばれいしょの 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の 10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年におけるでん粉原料用ばれいしょの 10a 当たりの収量を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
2 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
3 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
4 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
5 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg

ここからは 令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号	1	2	3	4	5	6
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年1月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示	1	2	3	4	5	6
耕起整地	耕起、整地、畝立て	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

1 家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号	7	8	9	10	11	12
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年1月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示						
耕起整地	耕起、整地、畝立て	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

2　雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1)　令和○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	①	→ 8ページへ
雇用している人がいる	②	→ (2)へ

(2)　((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
耕起整地	耕起、整地、畝立て	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(3) 令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を男女別に記入してください。
なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●でん粉原料用ばれいしょのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の支払分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょ分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②でん粉原料用ばれいしょ負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	でん粉原料用ばれいしょ生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	でん粉原料用ばれいしょ生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	でん粉原料用ばれいしょ生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ

すべて「いない」に○…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和○年産のでん粉原料用ばれいしょ生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
耕起整地	耕起、整地、畝立て	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

ここからは　令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょの生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　でん粉原料用ばれいしょの販売数量

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）のでん粉原料用ばれいしょについて、数量を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
販売用「計」	万 kg	でん粉原料用として出荷・販売したばれいしょ（予定を含む。） （でん粉原料用とする目的で栽培したが、でん粉原料用以外の用途で販売したばれいしょを含む。）
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	

2　自家用のでん粉原料用ばれいしょの数量

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）でん粉原料用ばれいしょについて、数量を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
自家用「計」	万 kg	自家の食用、種いも用等に仕向けたもの（予定を含む。）
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	

3　選別により除かれたいも等

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産で発生した、選別により除かれたいも等について、自家用に仕向けたもの(予定を含む。)の数量は何キログラムでしたか(焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。)。

(該当がない場合は「－」を記入)

区分	内容例示	数量
自家用	自家用に仕向けたもの(予定を含む。)	万 kg

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは 令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に使用した金額等 についてお教えください。

【4】でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種いも（購入分）

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した種いものうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、不発芽による補植分についても含めてください。

（該当がない場合は「－」を記入）

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額
使用した種いも（購入分）「計」			万　円
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円

2　使用した種いも（自給分）

（1） 令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した種いものうち、自給分（自家生産した分）はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → （2）へ

（2） （（1）で「ある」を選択した方のみお答えください。）令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した種いものうち、自給分（自家生産した分）について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

また、不発芽による補植分についても含めてください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した肥料(購入分)

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、
①使用数量分の購入金額、②でん粉原料用ばれいしょ負担割合を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は、18～19ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

4　使用した肥料(自給分)

(1)　令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を記入してください。

●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③でん粉原料用ばれいしょ負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した農業薬剤

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1：共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め 20 ページ「10　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2：除草剤等農薬入りの肥料は 13 ページ「3　使用した肥料(購入分)」に記入してください。

6　使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」				万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
動力燃料	重油		L	万　円	%
	軽油		L	万　円	%
	灯油		L	万　円	%
	ガソリン		L	万　円	%
	潤滑油		L	万　円	%
	混合油		L	万　円	%
電力料				万　円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万　円	%

7　使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を記入してください。

●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④でん粉原料用ばれいしょ負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8　使用した諸材料(購入分)

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、ここに記入してください。

●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、21 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

9　使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を記入してください。

●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④でん粉原料用ばれいしょ負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10　賃借料及び料金

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用ばれいしょのみの支払分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の支払分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょ分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	単位	①支払金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合
賃借料及び料金「計」				万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）					
共同負担金	薬剤散布（※）			万　円	%
	共同施設			万　円	%
農機具借料				万　円	%
航空防除賃（※）			a	万　円	%
賃耕料			a	万　円	%
は種・定植料			a	万　円	%
収穫請負わせ賃			a	万　円	%
貯蔵			kg	万　円	%
その他				万　円	%
				万　円	%
				万　円	%
				万　円	%
				万　円	%

（※）共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2　生産管理関係の費用

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額、②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1　物件税

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に関係する以下の物件税について、**①金額、②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（各種部会等の会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1　土地改良区費

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に関係する以下の土地改良区費について、**でん粉原料用ばれいしょ作付ほ場負担金額（①維持負担金、②償還金）、③でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を記入してください。（該当がない区分は「－」を記入）

●でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょの負担割合を記入してください。

事業種類	でん粉原料用ばれいしょ作付ほ場負担金額		③でん粉原料用ばれいしょ負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他（整地、表土扱いのない事業）	万　円	万　円	%

2　水利費等

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産に関係する水利費等について、**①でん粉原料用ばれいしょ作付ほ場負担金額、②でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合
でん粉原料用ばれいしょの負担割合を記入してください。

費用名	①でん粉原料用ばれいしょ作付ほ場負担金額	②でん粉原料用ばれいしょ負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等をでん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等をでん粉原料用ばれいしょ以外にも使用した場合
でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	でん粉原料用ばれいしょ負担割合	年内取り壊し・売却状況				部分取り壊しをした面積割合	番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額		
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費(※)	自動車保険料(任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。)
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

●当該自動車等をでん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等をでん粉原料用ばれいしょ以外にも使用した場合
でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。		でん粉原料用ばれいしょ負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分 売却	状況区分 廃棄・無償譲渡	売却金額	
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	修繕費(※)
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

●当該農業機械等をでん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該農業機械等をでん粉原料用ばれいしょ以外にも使用した場合
でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。		でん粉原料用ばれいしょ負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
					売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1　作付地

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。

なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょの作付面積になるように記入してください。

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょの収穫が終わる前の１年間に、
●でん粉原料用ばれいしょのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるでん粉原料用ばれいしょの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地　又は　ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位					③作付面積 0.1a 単位					⑤でん粉原料用ばれいしょ負担割合	⑥地目	
			町	反	畝	小数		町	反	畝	小数		田	畑
1			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
2			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
3			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
4			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
5			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
6			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
7			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
8			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
9			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
10			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
11			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
12			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
13			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
14			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○
15			ha	a	.			ha	a	.		%	○	○

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょの収穫が終わる前の１年間に、
●でん粉原料用ばれいしょのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるでん粉原料用ばれいしょの収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位					③作付面積 0.1a 単位					④支払地代		⑤でん粉原料用ばれいしょ負担割合	⑥地目	
			町	反	畝	小数		町	反	畝	小数				田	畑
1			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
2			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
3			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
4			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
5			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
6			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
7			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
8			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
9			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
10			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
11			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
12			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
13			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
14			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○
15			ha	a	.			ha	a	.		万	円	%	○	○

2　建物敷地等

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を記入してください。

総面積に対するでん粉原料用ばれいしょの使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤でん粉原料用ばれいしょ負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③でん粉原料用ばれいしょ負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●でん粉原料用ばれいしょのみに使用した分を記入する場合100(%)としてください。
●でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合でん粉原料用ばれいしょに使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③でん粉原料用ばれいしょ負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産のでん粉原料用ばれいしょ栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第12号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－12

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年産 なたね 生産費統計（個別経営体）調査票

✔本調査の対象範囲

・令和〇年産のなたねの生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
・対象となるなたねについては、3ページを参照してください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

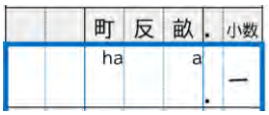
✔記入にあたって

・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合



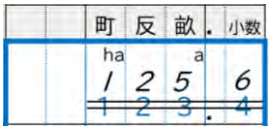
（記入例2）該当がない場合



✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 9

【4】 なたね生産のために使用した資材等 …… 11

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 20

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 22

【7】 土地改良及び水利費 …… 23

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 24

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 26

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 28

【11】土地の面積及び地代 …… 30

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 33

本調査は以下の調査範囲のなたねが対象です。

○ 調査範囲	× 調査範囲外
子実(食用(搾油用)、種子用)を生産することを目的として栽培したなたね	受託生産したもの

まずは直近5か年のなたねの 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年におけるなたねの 10a 当たりの収量を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
2 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
3 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
4 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
5 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg

ここからは 令和〇年産のなたね生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産のなたね生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込み年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号	1	2	3	4	5	6
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年9月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示	1	2	3	4	5	6
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布（秋まきなたね以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まきなたね）、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

1　家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号	7	8	9	10	11	12
作業者						
性別	㊚ ㊛	㊚ ㊛	㊚ ㊛	㊚ ㊛	㊚ ㊛	㊚ ㊛
年齢（令和〇年9月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示	7	8	9	10	11	12
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布（秋まきなたね以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まきなたね）、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

2　雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1)　令和〇年産のなたね生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	①	→ 8ページへ
雇用している人がいる	②	→ (2)へ

(2)　((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のなたね生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

　また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性		女性	
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等		時間		時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布(秋まきなたね以外)		時間		時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥		時間		時間
は種	種まき、覆土		時間		時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植		時間		時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥		時間		時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布		時間		時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まきなたね)、心土破砕、ほ場見回り		時間		時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策		時間		時間
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀		時間		時間
乾燥	乾燥、調製		時間		時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)		時間		時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等		時間		時間

(3) 令和〇年産のなたね生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、①**賃金**、②**なたね負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●なたねのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の支払分を含めて記入する場合
なたね分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②なたね負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

3　ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

（1） 令和〇年産のなたね生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	なたね生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	なたね生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	なたね生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に〇…（2）へ

すべて「いない」に〇…次ページへ

（2） （1）で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産のなたね生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布（秋まきなたね以外）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まきなたね）、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀	時間	時間	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間

ここからは　令和〇年産のなたねの生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　なたねの販売数量

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）のなたねについて、数量を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
販売用「計」	万　kg	なたね油用として出荷・販売したもの及び同等の品質を有するもの（予定を含む。）
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	

2　自家用のなたねの数量

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）なたねの数量を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
自家用「計」	万　kg	自家の食用、種子用等に仕向けたもの（予定を含む。）
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	

3　選別により除かれたなたね等

令和〇年産のなたね生産で発生した、選別により除かれたなたね等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。

また、販売用については、**②金額**も記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	内容例示	①数量	②金額
販売用	販売したもの（予定を含む。）	万 kg	万 円
自家用	自家用に仕向けたもの（予定を含む。）	万 kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは　令和〇年産のなたね生産に使用した金額等　についてお教えください。

【4】なたね生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子(購入分)

令和〇年産のなたね生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。

(該当がない場合は「－」を記入)

品種名等	使用数量 単位	使用数量分の購入金額
使用した種子(購入分)「計」		万 円
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
		万 円
		万 円
		万 円
		万 円
		万 円

2　使用した種子(自給分)

(1)　令和〇年産のなたね生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のなたね生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した肥料(購入分)

令和〇年産のなたね生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●なたねのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②なたね負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は、17～18 ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

4　使用した肥料(自給分)

(1) 令和○年産のなたね生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のなたね生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③なたね負担割合**を記入してください。

●なたねのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③なたね負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注 1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注 1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注 2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した農業薬剤

令和〇年産のなたね生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●なたねのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②なたね負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め 19 ページ「10 賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2：除草剤等農薬入りの肥料は 12 ページ「3　使用した肥料（購入分）」に記入してください。

6　使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産のなたね生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●なたねのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②なたね負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」				万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
動力燃料	重油		L	万　円	%
	軽油		L	万　円	%
	灯油		L	万　円	%
	ガソリン		L	万　円	%
	潤滑油		L	万　円	%
	混合油		L	万　円	%
電力料				万　円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万　円	%

7　使用した光熱動力(自給分)

(1)　令和〇年産のなたね生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のなたね生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④なたね負担割合**を記入してください。

●なたねのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④なたね負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8　使用した諸材料(購入分)

令和〇年産のなたね生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、ここに記入してください。

●なたねのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②なたね負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、20 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

9　使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産のなたね生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のなたね生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④なたね負担割合**を記入してください。

●なたねのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④なたね負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10　賃借料及び料金

令和〇年産のなたね生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額、②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●なたねのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の支払分を含めて記入する場合
なたね分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	単位	①支払金額	②なたね負担割合
賃借料及び料金「計」				万　円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
共同負担金	薬剤散布(※1)			万　円	%
	共同施設			万　円	%
農機具借料				万　円	%
航空防除賃(※1)			a	万　円	%
賃耕料			a	万　円	%
は種・定植料			a	万　円	%
収穫請負わせ賃			a	万　円	%
乾燥・調製委託料(※2)			kg	万　円	%
その他				万　円	%
				万　円	%
				万　円	%
				万　円	%
				万　円	%

(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
(※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産のなたね生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●なたねのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②なたね負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2　生産管理関係の費用

令和〇年産のなたね生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額、②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●なたねのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②なたね負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1　物件税

令和〇年産のなたね生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●なたねのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●なたね以外の負担分を含めて記入する場合
なたねの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②なたね負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和〇年産のなたね生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●なたねのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●なたね以外の負担分を含めて記入する場合
なたねの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②なたね負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（なたね生産部会等の会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1　土地改良区費

令和〇年産のなたね生産に関係する以下の土地改良区費について、**なたね作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③なたね負担割合**を記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

●なたねのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の負担分を含めて記入する場合
なたねの負担割合を記入してください。

事業種類	なたね作付ほ場負担金額		③なたね負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万 円	万 円	%
農地開発事業	万 円	万 円	%
かんがい排水事業	万 円	万 円	%
農道整備事業	万 円	万 円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万 円	万 円	%

2　水利費等

令和〇年産のなたね生産に関係する水利費等について、**①なたね作付ほ場負担金額、②なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●なたねのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の負担分を含めて記入する場合
なたねの負担割合を記入してください。

費用名	①なたね作付ほ場負担金額	②なたね負担割合
水利に係る費用「計」	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のなたね生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等をなたねのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等をなたね以外にも使用した場合
なたねに使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	なたね負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のなたね生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	修繕費(※)	自動車保険料
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。		任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品

・バッテリー、補充液

・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等をなたねのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等をなたね以外にも使用した場合
なたねに使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。		なたね負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分 売却	状況区分 廃棄・無償譲渡	売却金額	
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のなたね生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年9月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	修繕費(※)
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等をなたねのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該農業機械等をなたね以外にも使用した場合
なたねに使用した割合を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。		なたね負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
					売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1　作付地

令和〇年産のなたね生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤なたね負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のなたねの作付面積になるように記入してください。

令和〇年産のなたねの収穫が終わる前の1年間に、
●なたねのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●なたね以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるなたねの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地　又は　ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	⑤なたね負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	%	○	○
2		ha a .	ha a .	%	○	○
3		ha a .	ha a .	%	○	○
4		ha a .	ha a .	%	○	○
5		ha a .	ha a .	%	○	○
6		ha a .	ha a .	%	○	○
7		ha a .	ha a .	%	○	○
8		ha a .	ha a .	%	○	○
9		ha a .	ha a .	%	○	○
10		ha a .	ha a .	%	○	○
11		ha a .	ha a .	%	○	○
12		ha a .	ha a .	%	○	○
13		ha a .	ha a .	%	○	○
14		ha a .	ha a .	%	○	○
15		ha a .	ha a .	%	○	○

令和〇年産のなたねの収穫が終わる前の1年間に、
●なたねのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●なたね以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるなたねの収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	④支払地代	⑤なたね負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
2		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
3		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
4		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
5		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
6		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
7		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
8		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
9		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
10		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
11		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
12		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
13		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
14		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
15		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○

2　建物敷地等

令和〇年産のなたね生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤なたね負担割合**を記入してください。

総面積に対するなたねの使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤なたね負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のなたね生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年9月1日時点の未償還残高、②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額、③なたね負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●なたねのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●なたね以外の使用分を含めて記入する場合
なたねに使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年9月1日時点の未償還残高	②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額	③なたね負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産のなたね栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第13号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－13

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年産 てんさい 生産費統計（個別経営体）調査票

✔本調査の対象範囲

・令和〇年産のてんさいの生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
・対象となるてんさいについては、3ページをご参照ください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

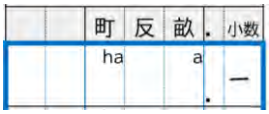
✔記入にあたって

・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合



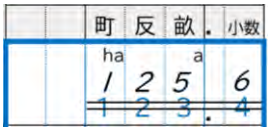
（記入例2）該当がない場合



✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 9

【4】 てんさい生産のために使用した資材等 …… 11

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 22

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 24

【7】 土地改良及び水利費 …… 26

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 28

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 30

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 32

【11】土地の面積及び地代 …… 34

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 37

本調査は以下の調査範囲のてんさいが対象です。

○ 調査範囲	× 調査範囲外
砂糖原料用とする目的で栽培したてんさい	受託生産したもの

まずは直近5か年のてんさいの 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の 10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年におけるてんさいの 10a 当たりの収量を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
2 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
3 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
4 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
5 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg

ここからは　令和〇年産のてんさい生産にかかった労働時間等　についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産のてんさい生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号		1	2	3	4	5	6
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年1月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬、タッピング	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

1　家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号		7	8	9	10	11	12
作業者							
性別		㊚ ㊛	㊚ ㊛	㊚ ㊛	㊚ ㊛	㊚ ㊛	㊚ ㊛
年齢（令和〇年1月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬、タッピング	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

2 雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1) 令和○年産のてんさい生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	①	→ 8ページへ
雇用している人がいる	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のてんさい生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り等	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間
収穫	収穫、運搬、タッピング	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(3) 令和〇年産のてんさい生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、**①賃金、②てんさい負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●てんさいのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の支払分を含めて記入する場合
てんさい分の割合を記入してください。

区分	①賃金		②てんさい負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和〇年産のてんさい生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・ 手間替受け	てんさい生産に係る作業で 労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	てんさい生産に係る作業で 集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	てんさい生産に係る作業で 手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に〇…(2)へ

すべて「いない」に〇
…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産のてんさい生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り等	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬、タッピング	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

ここからは　令和〇年産のてんさいの生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　てんさいの販売数量

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）のてんさいについて、数量（出荷量）を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量（出荷量）	内容例示
販売用「計」	万 kg	製糖工場へ出荷したもの（予定を含む。）
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	

2 自家用のてんさいの数量

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた（予定を含む。）てんさいの数量は何キログラムでしたか。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	内容例示	自家用の数量
自家用	自家用に仕向けたもの（予定を含む。）	万 kg

3 ビート・トップ等

令和〇年産のてんさい生産で発生したビート・トップ等のうち、販売用又は自家用に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。

また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	内容例示	①数量	②金額
販売用	販売したもの（予定を含む。）	万 kg	万 円
自家用	自家用に仕向けたもの（予定を含む。）	万 kg	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは　令和〇年産のてんさい生産に使用した金額等　についてお教えください。

【4】てんさい生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子（購入分）

令和〇年産のてんさい生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

（該当がない場合は「－」を記入）

品種名等	使用数量	単位	使用した分の購入金額
使用した種子（購入分）「計」			万　円
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円

2 使用した種子(自給分)

(1) 令和〇年産のてんさい生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のてんさい生産のために使用した種子のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 使用した苗(購入分)

令和〇年産のてんさい生産のために使用した苗のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は「－」を記入)

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額
使用した苗(購入分)「計」			万　円
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円

注:は種済みポットについては、こちらに記入してください。

4　使用した肥料(購入分)

令和○年産のてんさい生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●てんさいのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合
てんさいに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②てんさい負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は、19～20 ページ「9　使用した諸材料(購入分)」「10　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

5 使用した肥料(自給分)

(1) 令和○年産のてんさい生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のてんさい生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量、②単位、③てんさい負担割合**を記入してください。

●てんさいのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合
てんさいに使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③てんさい負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

6 使用した農業薬剤

令和〇年産のてんさい生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●てんさいのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合
てんさいに使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②てんさい負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1:共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め 21 ページ「11　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2:除草剤等農薬入りの肥料は 14 ページ「4　使用した肥料(購入分)」に記入してください。

7 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産のてんさい生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●てんさいのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合
てんさいに使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②てんさい負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」				万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
動力燃料	重油		L	万 円	%
	軽油		L	万 円	%
	灯油		L	万 円	%
	ガソリン		L	万 円	%
	潤滑油		L	万 円	%
	混合油		L	万 円	%
電力料				万 円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万 円	%

8 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産のてんさい生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のてんさい生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④てんさい負担割合**を記入してください。

●てんさいのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合
てんさいに使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④てんさい負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

9 使用した諸材料(購入分)

令和〇年産のてんさい生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

諸材料とは、育苗用土、ペーパーポット、融雪剤等の消耗品です。

●てんさいのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合
てんさいに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②てんさい負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、22 ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

10 使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産のてんさい生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のてんさい生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④てんさい負担割合**を記入してください。

●てんさいのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合
てんさいに使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④てんさい負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

11 賃借料及び料金

令和〇年産のてんさい生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●てんさいのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の支払分を含めて記入する場合
てんさい分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	単位	①支払金額				②てんさい負担割合	
賃借料及び料金「計」					万		円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)									
負担金 共同	薬剤散布(※)				万		円		%
	共同施設				万		円		%
農機具借料					万		円		%
航空防除賃(※)			a		万		円		%
賃耕料			a		万		円		%
は種・定植料			a		万		円		%
収穫請負わせ賃			a		万		円		%
その他					万		円		%
					万		円		%
					万		円		%
					万		円		%
					万		円		%

(※)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産のてんさい生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●てんさいのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合
てんさいに使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②てんさい負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年産のてんさい生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●てんさいのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合
てんさいに使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②てんさい負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリントートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1 物件税

令和〇年産のてんさい生産に関係する以下の物件税について、**①金額、②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●てんさいのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●てんさい以外の負担分を含めて記入する場合
てんさいの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②てんさい負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年産のてんさい生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額、②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●てんさいのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の負担分を含めて記入する場合
てんさいの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②てんさい負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
集落協議会費(地域集落等の会費)	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費(各種部会等の会費)	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1 土地改良区費

令和〇年産のてんさい生産に関係する以下の土地改良区費について、**てんさい作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③てんさい負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

●てんさいのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の負担分を含めて記入する場合
てんさいの負担割合を記入してください。

事業種類	てんさい作付ほ場負担金額		③てんさい負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万　円	万　円	%

2 水利費等

令和〇年産のてんさい生産に関係する水利費等について、**①てんさい作付ほ場負担金額**、**②てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●てんさいのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の負担分を含めて記入する場合
てんさいの負担割合を記入してください。

費用名	①てんさい作付ほ場負担金額	②てんさい負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のてんさい生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	(建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等をてんさいのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等をてんさい以外にも使用した場合
てんさいに使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	てんさい負担割合	年内取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のてんさい生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費(※)	自動車保険料(任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。)
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等をてんさいのみに使用した場合100(%)としてください。
●当該自動車等をてんさい以外にも使用した場合てんさいに使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。		てんさい負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
				売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のてんさい生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。	
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等をてんさいのみに使用した場合100(%)としてください。
●当該農業機械等をてんさい以外にも使用した場合てんさいに使用した割合を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。		てんさい負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分 売却	状況区分 廃棄・無償譲渡	売却金額	
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1 作付地

令和〇年産のてんさい生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤てんさい負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のてんさいの作付面積になるよう記入してください。

令和〇年産のてんさいの収穫が終わる前の1年間に、
●てんさいのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるてんさいの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	⑤てんさい負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	%	○	○
2		ha a .	ha a .	%	○	○
3		ha a .	ha a .	%	○	○
4		ha a .	ha a .	%	○	○
5		ha a .	ha a .	%	○	○
6		ha a .	ha a .	%	○	○
7		ha a .	ha a .	%	○	○
8		ha a .	ha a .	%	○	○
9		ha a .	ha a .	%	○	○
10		ha a .	ha a .	%	○	○
11		ha a .	ha a .	%	○	○
12		ha a .	ha a .	%	○	○
13		ha a .	ha a .	%	○	○
14		ha a .	ha a .	%	○	○
15		ha a .	ha a .	%	○	○

令和〇年産のてんさいの収穫が終わる前の1年間に、
●てんさいのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるてんさいの収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	④支払地代	⑤てんさい負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
2		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
3		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
4		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
5		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
6		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
7		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
8		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
9		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
10		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
11		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
12		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
13		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
14		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
15		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○

2 建物敷地等

令和〇年産のてんさい生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤てんさい負担割合**を記入してください。

総面積に対するてんさいの使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤てんさい負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のてんさい生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高**、**②令和〇年の支払利子額**、**③てんさい負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●てんさいのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●てんさい以外の使用分を含めて記入する場合
てんさいに使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③てんさい負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産のてんさい栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)直まき栽培の導入

(3)新たな設備・機械の導入

(4)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第14号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

記入用紙

別添3－14

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

令和〇年産 さとうきび 生産費統計（個別経営体） 調査票

✔本調査の対象範囲

・令和〇年産のさとうきびの生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
・対象となるさとうきびについては、3ページをご参照ください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

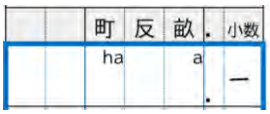
✔記入にあたって

・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合



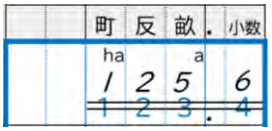
（記入例2）該当がない場合



✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】さとうきび生産における概況 ……3

【2】作業別労働時間 ……4

【3】生産物の販売等の状況 ……9

【4】さとうきび生産のために使用した資材等 ……11

【5】農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……20

【6】物件税及び公課諸負担 ……22

【7】土地改良及び水利費 ……23

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……24

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……26

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……28

【11】土地の面積及び地代 ……30

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……33

本調査は、以下の調査範囲のさとうきびが対象です。

○ 調査範囲	× 調査範囲外
砂糖原料用とする目的で栽培したさとうきび	苗取り用とする目的で栽培したもの 受託生産したもの

まずは直近5か年のさとうきびの 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】さとうきび生産における概況

記入の仕方 ～ ページ

1 直近5か年の 10a 当たり収量

直近5か年におけるさとうきびの 10a 当たりの収量を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
2 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
3 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
4 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg
5 年前(〇〇〇〇年産(令和〇年産))	kg

令和〇年産のさとうきびの収穫面積についてお教えください。

2 さとうきびの栽培型別収穫面積

令和〇年産のさとうきびの収穫面積について、栽培型(株出し・春植え・夏植え)別に記入してください。(該当がない区分は「－」を記入)

区分	収穫面積 0.1a 単位						
			町	反	畝	.	小数
株出し			ha		a	.	
春植え			ha		a	.	
夏植え			ha		a	.	

注:面積の合計が令和〇年産のさとうきびの収穫面積です。

ここからは　令和〇年産のさとうきび生産にかかった労働時間等　についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　家族や住み込みの年雇の労働時間

令和〇年産のさとうきび生産に携わった家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）について、1人ずつ性別、年齢、作業別の労働時間を記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

7人以上の場合は、次ページに続けてご記入ください。

番号		1	2	3	4	5	6
作業者							
性別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年4月1日時点）		歳	歳	歳	歳	歳	歳
作業	内容例示						
育苗	定植用の苗管理一切	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
はく葉	はく葉	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

1　家族や住み込みの年雇の労働時間（つづき）

番号	7	8	9	10	11	12
作業者						
性別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
年齢（令和〇年4月1日時点）	歳	歳	歳	歳	歳	歳

作業	内容例示	時間	時間	時間	時間	時間	時間
育苗	定植用の苗管理一切						
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り						
基肥	基肥の配合、運搬、施肥						
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植						
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断						
追肥	追肥の配合、運搬、施肥						
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布						
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り						
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策						
はく葉	はく葉						
収穫	収穫、運搬						
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）						
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等						

2 雇用労働時間(住み込みの年雇以外)

(1) 令和〇年産のさとうきび生産に携わった人の中に、住み込みの年雇以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	①	→ 8ページへ
雇用している人がいる	②	→ (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のさとうきび生産における雇用者(住み込みの年雇以外)の延べ労働時間について、作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	男性	女性
育苗	定植用の苗管理一切	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間
はく葉	はく葉	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間

(3) 令和〇年産のさとうきび生産のために雇用者(住み込みの年雇以外)に支払った賃金について、**①賃金、②さとうきび負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●さとうきびのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の支払分を含めて記入する場合
さとうきび分の割合を記入してください。

区分	①賃金				② さとうきび 負担割合	
男性		万		円		%
女性		万		円		%

3 ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの労働時間

(1) 令和〇年産のさとうきび生産に携わった人の中に、ゆい・手間替受け、共同作業受け、手伝い受けの人はいますか。該当するものに〇を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
ゆい・手間替受け	さとうきび生産に係る作業で労働交換を受けた場合	①	②
共同作業受け	さとうきび生産に係る作業で集落等における共同作業を受けた場合	①	②
手伝い受け	さとうきび生産に係る作業で手伝いを受けた場合	①	②

1つでも「いる」に〇…(2)へ

すべて「いない」に〇…次ページへ

(2) (1)で「いる」を選択した労働者について、令和〇年産のさとうきび生産における延べ労働時間を作業別・男女別に記入してください。労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

区分		ゆい・手間替受け		共同作業受け		手伝い受け	
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性
作業	内容例示						
育苗	定植用の苗管理一切	時間	時間	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間	時間	時間
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断	時間	時間	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間	時間	時間
はく葉	はく葉	時間	時間	時間	時間	時間	時間
収穫	収穫、運搬	時間	時間	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間	時間	時間

ここからは　令和〇年産のさとうきびの生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　さとうきびの販売数量

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）のさとうきびについて、数量を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量（出荷量）	内容例示
販売用「計」	万　kg	製糖工場へ出荷したもの（予定を含む。）及び同等の品質を有するもの
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	

2 自家用のさとうきびの数量

令和〇年産の収穫量のうち、自家用に仕向けた(予定を含む。)さとうきびについて、数量を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は「－」を記入)

区分	数量	内容例示
自家用「計」	万 kg	砂糖原料用とする目的で栽培したもののうち、自家用(苗等)に仕向けたもの(予定を含む。)
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	

3 梢頭部等

令和〇年産のさとうきび生産で発生した梢頭部等のうち、販売用又は自家用に仕向けた(予定を含む。)ものについて、**①数量**を記入してください(焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。)。

また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。

(該当がない区分は①に「－」を記入)

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、包装費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

区分	内容例示	①数量	②金額
販売用	販売したもの(予定を含む。)	万 kg	万 円
自家用	自家用に仕向けたもの(予定を含む。)	万 kg	

注:自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは　令和〇年産のさとうきび生産に使用した金額等　についてお教えください。

【4】さとうきび生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した苗(購入分)

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した苗のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は「－」を記入）

品種名等	使用数量 単位	使用数量分の購入金額
使用した苗(購入分)「計」		万　円
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
		万　円
		万　円
		万　円
		万　円
		万　円

2　使用した苗(自給分)

(1)　令和〇年産のさとうきび生産に使用した苗のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のさとうきび生産のために使用した苗のうち、自給分(自家生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 使用した肥料(購入分)

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②さとうきび負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万 円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	
			万 円	%	

4 使用した肥料(自給分)

(1) 令和○年産のさとうきび生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産のさとうきび生産のために使用した肥料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①使用数量、②単位、③さとうきび負担割合**を記入してください。

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③さとうきび負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した農業薬剤

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②さとうきび負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1:共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め 19 ページ「10 賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2:除草剤等農薬入りの肥料は 12 ページ「3　使用した肥料(購入分)」に記入してください。

6 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②さとうきび負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」				万　円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
動力燃料	重油		L	万　円	%
	軽油		L	万　円	%
	灯油		L	万　円	%
	ガソリン		L	万　円	%
	潤滑油		L	万　円	%
	混合油		L	万　円	%
電力料				万　円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万　円	%

7 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産のさとうきび生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のさとうきび生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④さとうきび負担割合**を記入してください。

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④さとうきび負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8 使用した諸材料(購入分)

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

諸材料とは、被覆用ポリエチレンや結束用のなわ等の消耗品です。

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②さとうきび負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、20 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください

9 使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産のさとうきび生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産のさとうきびの生産のために使用した諸材料のうち、自給分(自家生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④さとうきび負担割合**を記入してください。

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④さとうきび負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10　賃借料及び料金

令和〇年産のさとうきび生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●さとうきびのみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の支払分を含めて記入する場合
さとうきび分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	単位	①支払金額			②さとうきび負担割合
賃借料及び料金「計」				万		円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)							
共同負担金	薬剤散布(※)			万		円	%
	共同施設			万		円	%
農機具借料				万		円	%
航空防除賃(※)			a	万		円	%
賃耕料			a	万		円	%
は種・定植料			a	万		円	%
収穫請負わせ賃			a	万		円	%
その他				万		円	%
				万		円	%
				万		円	%
				万		円	%
				万		円	%

(※)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②さとうきび負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年産のさとうきび生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②さとうきび負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリントートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1 物件税

令和〇年産のさとうきび生産に関係する以下の物件税について、**①金額、②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●さとうきびのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合
さとうきびの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②さとうきび負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年産のさとうきび生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額、②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●さとうきびのみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合
さとうきびの負担割合を記入してください。

区分	①金額	②さとうきび負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（各種部会等の会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1 土地改良区費

令和〇年産のさとうきび生産に関係する以下の土地改良区費について、**さとうきび作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③さとうきび負担割合**を記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

●さとうきびのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合
さとうきびの負担割合を記入してください。

事業種類	さとうきび作付ほ場負担金額		③ さとうきび負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万 円	万 円	%
農地開発事業	万 円	万 円	%
かんがい排水事業	万 円	万 円	%
農道整備事業	万 円	万 円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万 円	万 円	%

2 水利費等

令和〇年産のさとうきび生産に関係する水利費等について、**①さとうきび作付ほ場負担金額、②さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●さとうきびのみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合
さとうきびの負担割合を記入してください。

費用名等	①さとうきび作付ほ場負担金額	② さとうきび負担割合
水利に係る費用「計」	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)		
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%
	万 円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年4月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	(建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等をさとうきびのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等をさとうきび以外にも使用した場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

夏植えに使用している場合は、
○を記入してください。

修繕費(※) 令和○年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和○年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	さとうきび負担割合	夏植え使用	令和○年4月～令和○年3月の取り壊し・売却状況					番号
				状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
				取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年4月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	修繕費(※)	自動車保険料
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。		任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品

・バッテリー、補充液

・洗車代、リサイクル料金　など

●当該自動車等をさとうきびのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等をさとうきび以外にも使用した場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

夏植えに使用している場合は、〇を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年4月～令和〇年3月に車検を受けた自動車等について記入してください。		さとうきび負担割合	夏植え使用	令和〇年4月～令和〇年3月の売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険			状況区分		売却金額	
					売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	万 円	万 円	%				万 円	1
万 円	万 円	万 円	%				万 円	2
万 円	万 円	万 円	%				万 円	3
万 円	万 円	万 円	%				万 円	4
万 円	万 円	万 円	%				万 円	5
万 円	万 円	万 円	%				万 円	6
万 円	万 円	万 円	%				万 円	7
万 円	万 円	万 円	%				万 円	8
万 円	万 円	万 円	%				万 円	9
万 円	万 円	万 円	%				万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年4月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	修繕費(※)
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

●当該農業機械等をさとうきびのみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該農業機械等をさとうきび以外にも使用した場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

夏植えに使用している場合は、〇を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年4月～令和〇年3月に車検を受けた車両について記入してください。		さとうきび負担割合	夏植え使用	令和〇年4月～令和〇年3月の売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険			状況区分		売却金額	
						売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	10

1 作付地

令和〇年産のさとうきび生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤さとうきび負担割合**を記入し、**⑥地目**、**⑦作型**のそれぞれについて該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産のさとうきびの作付面積になるように記入してください。

令和〇年産のさとうきびの収穫が終わる前の1年(夏植えの場合は1年半)の間に、
●さとうきびのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるさとうきびの収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地　又は　ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	⑤さとうきび負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑	⑦作型 夏植え	⑦作型 夏植え以外
1		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○
2		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○
3		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○
4		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○
5		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○
6		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○
7		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○
8		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○
9		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○
10		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○
11		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○
12		ha a .	ha a .	%	○	○	○	○

令和〇年産のさとうきびの収穫が終わる前の1年(夏植えの場合は1年半)の間に、
●さとうきびのみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占めるさとうきびの収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地又はほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	④支払地代 万 円	⑤さとうきび負担割合 %	⑥地目 田	⑥地目 畑	⑦作型 夏植え	⑦作型 夏植え以外
1		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○
2		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○
3		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○
4		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○
5		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○
6		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○
7		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○
8		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○
9		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○
10		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○
11		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○
12		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○	○	○

2 建物敷地等

令和〇年産のさとうきび生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤さとうきび負担割合**を記入し、**⑥作型**について該当するものに〇を記入してください。

総面積に対するさとうきびの使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤さとうきび負担割合	⑥作型 夏植え	⑥作型 夏植え以外
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%	○	○
2			万 ㎡	万 ㎡		%	○	○
3			万 ㎡	万 ㎡		%	○	○
4			万 ㎡	万 ㎡		%	○	○
5			万 ㎡	万 ㎡		%	○	○
6			万 ㎡	万 ㎡		%	○	○
7			万 ㎡	万 ㎡		%	○	○
8			万 ㎡	万 ㎡		%	○	○
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%	○	○
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%	○	○
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%	○	○
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%	○	○
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%	○	○
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%	○	○
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%	○	○
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%	○	○

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産のさとうきび生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年4月1日時点の未償還残高、②令和〇年4月～令和〇年3月の支払利子額、③さとうきび負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●さとうきびのみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合
さとうきびに使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年4月1日時点の未償還残高	②令和〇年4月～令和〇年3月の支払利子額	③さとうきび負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産のさとうきび栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)栽培型(株出し・春植え・夏植え)の動向

(3)新たな設備・機械の導入

(4)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第15号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－15

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

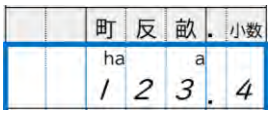
令和〇年産 米 生産費統計（組織法人経営体）調査票

✔本調査の対象範囲

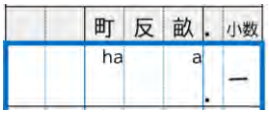
・令和〇年産の食用米（食用のために生産された水稲）の生産（受託生産を除く。）について
お答えください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

✔記入にあたって

（記入例1）123.4 アールの場合



（記入例2）該当がない場合

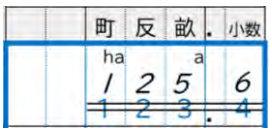


・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って
回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を
記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 8

【4】 食用米生産のために使用した資材等 …… 10

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 21

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 23

【7】 土地改良及び水利費 …… 25

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 26

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 28

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 30

【11】土地の面積及び地代 …… 32

【12】作付ほ場の状況 …… 35

【13】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 37

本調査は、以下の調査範囲の水稲（食用米）が対象です。

調査範囲

食用のために生産された水稲

主食用米　もち米　政府備蓄米
新市場開拓用米（食用）　加工用米
米粉用米　醸造用米

（※）畑に湛水した「田」で生産したものも含みます。

調査範囲外

飼料用米　バイオエタノール用稲
陸稲　ホールクロップサイレージ用稲
受託生産した米

まずは直近5か年の食用米の 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年における食用米の10a 当たりの収量（玄米数量）を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
2 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
3 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
4 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
5 年前（〇〇〇〇年産（令和 〇年産））	kg

ここからは 令和〇年産の食用米生産にかかった労働時間等 についてお教えください。

【2】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ ページ

1　構成員（年齢階層別）の労働時間

(1)　令和〇年産の食用米生産に携わった構成員はいますか。

構成員とは、令和〇年1月1日時点で、貴組織法人に出資している個人のうち、貴組織法人の事業に1日以上従事した者です。

いない	① → 6ページへ
いる	② → 次ページへ

(2) ((1)で「いる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の食用米生産における構成員の延べ労働時間について、作業別・年齢階層別に記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

作業	内容例示	構成員の年齢階層			
		65歳未満	65～69歳	70～74歳	75歳以上
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間	時間	時間	時間
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間	時間	時間	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間	時間	時間	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間	時間	時間	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間	時間	時間	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間	時間	時間	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間	時間	時間	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、もみすり(※)、もみ及び玄米運搬	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打ち合わせ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

2 雇用労働時間

(1) 令和〇年産の食用米生産に携わった人の中に、構成員以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	① → 8ページへ
雇用している人がいる	② → (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産における雇用者(構成員以外)の延べ労働時間について、作業別に記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	雇用者(構成員以外)
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	時間
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	時間
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	時間
直まき	直まき、覆土に係る労働	時間
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	時間
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	時間
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	時間
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	時間
乾燥	乾燥、もみすり(※)、もみ及び玄米運搬	時間
生産管理	共同作業打ち合わせ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間

(※)「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した時間を除いて記入してください。

(3) 令和〇年産の食用米生産のために雇用者(構成員以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②食用米負担割合**を記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●食用米のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の支払分を含めて記入する場合
食用米分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②食用米負担割合
合計	万　円	%

ここからは　令和〇年産の食用米の生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　食用米の販売数量（玄米換算）

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）の食用米について、数量を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
販売用「計」	万　　kg	〇主食用、加工用として販売された米（予定を含む。）及びその種子 次のようなものも含む ・いわゆる縁故米 ・贈答米 ・産直米 ・政府備蓄米 ・新市場開拓用米 ・加工用米 ・米粉用米 ・醸造用
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	
	万　　kg	

2　組織内消費の食用米の数量（玄米換算）

令和〇年産の収穫量のうち、組織内消費に仕向けた（予定を含む。）食用米の数量は何キログラムでしたか。

なお、数量については、玄米数量を記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

区分	内容例示	組織内消費の数量
種子用	種子用に仕向けたもの（予定を含む。）	万　kg
飯米用	飯米用に仕向けたもの（予定を含む。）	万　kg
その他	種子用、飯米用以外に仕向けたもの（予定を含む。）	万　kg

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　稲わら、もみがら、ふるい下米等

令和〇年産の食用米生産で発生した稲わら、もみがら、ふるい下米等のうち、販売用又は組織内消費に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したものは含みません。）。

また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分		内容例示	①数量	②金額
販売用	稲わら加工品等	民芸品、なわ等の原料、飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの（きゅう肥交換を含む。）	万　kg	万　円
	もみがら	販売したもみがら	万　kg	万　円
	ふるい下米等	選別により除かれた米（販売したもの）	万　kg	万　円
組織内消費	乾燥わら	収納された稲わらで、組織内仕向けのもの（水田還元、敷料、たい肥等）	万　kg	
	もみがら	組織内で使用したもみがら	万　kg	
	ふるい下米等	選別により除かれた米（組織内で使用したもの）	万　kg	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは　令和〇年産の食用米生産に使用した金額等　についてお教えください。

【4】食用米生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子（購入分）

令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

品種名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合
使用した種子（購入分）「計」			万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

2 使用した種子(自給分)

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した種子のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④食用米負担割合**を記入してください。
浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①品種名等	②使用数量	③単位	④食用米負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した苗(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した苗のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

品種名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合
使用した苗(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

4　使用した肥料(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は、18～19 ページ「9　使用した諸材料(購入分)」「10　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

5　使用した肥料(自給分)

(1)　令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③食用米負担割合**を記入してください。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③食用米負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

6 使用した農業薬剤

令和〇年産の食用米生産のために使用した農業薬剤について**①使用数量分の購入金額、②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注 1:共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め 20 ページ「11　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注 2:除草剤等農薬入りの肥料は 13 ページ「4　使用した肥料(購入分)」に記入してください。

7　使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量 単位	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」			万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
動力燃料	重油	L	万 円	%
	軽油	L	万 円	%
	灯油	L	万 円	%
	ガソリン	L	万 円	%
	潤滑油	L	万 円	%
	混合油	L	万 円	%
電力料			万 円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)			万 円	%

8 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④食用米負担割合**を記入してください。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④食用米負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

9　使用した諸材料(購入分)

令和○年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

諸材料とは、育苗箱マット、あぜ波板、ビニールシート、なわ、バインダー用結束ひも等の消耗品です。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注1:償却資産に属する建物(育苗ハウス等)のビニール張り替え費用については、26～27 ページ「【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況」の修繕費に記入してください。

注2:くわ、かま等の農具や作業着等については、21 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

10　使用した諸材料(自給分)

(1)　令和〇年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の食用米生産のために使用した諸材料のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④食用米負担割合**を記入してください。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④食用米負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

11 賃借料及び料金

令和〇年産の食用米生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●食用米のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の支払分を含めて記入する場合
食用米分の割合を記入してください。

料金名等	数量等 単位	①支払金額	②食用米負担割合
賃借料及び料金「計」		万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
共同負担金 薬剤散布(※1)		万 円	%
共同負担金 共同施設		万 円	%
共同負担金 共同苗代		万 円	%
農機具借料		万 円	%
航空防除賃(※1)	a	万 円	%
賃耕料	a	万 円	%
は種・定植料	a	万 円	%
収穫請負わせ賃	a	万 円	%
ライスセンター費(※2)	kg	万 円	%
カントリーエレベーター費(※2)	kg	万 円	%
乾燥・調製委託料(※2)	kg	万 円	%
その他		万 円	%
		万 円	%
		万 円	%
		万 円	%
		万 円	%

(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

(※2)ライスセンター、カントリーエレベーター等に乾燥・調製を委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれる場合、包装荷造り費を除いて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の食用米生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②食用米負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年産の食用米生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②食用米負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリントートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1 物件税

令和〇年産の食用米生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②食用米負担割合**を記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●食用米のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②食用米負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年産の食用米生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②食用米負担割合**を記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●食用米のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②食用米負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（稲作部会等の各種部会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1 土地改良区費

令和〇年産の食用米生産に関係する以下の土地改良区費について、**食用米作付ほ場負担金額（①維持負担金、②償還金）、③食用米負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

●食用米のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

事業種類	食用米作付ほ場負担金額		③食用米負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他（整地、表土扱いのない事業）	万　円	万　円	%

2 水利費等

令和〇年産の食用米生産に関係する水利費等について、**①食用米作付ほ場負担金額、②食用米負担割合**を記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●食用米のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●食用米以外の負担分を含めて記入する場合
食用米の負担割合を記入してください。

費用名	①食用米作付ほ場負担金額	②食用米負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の食用米生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を食用米のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等を食用米以外にも使用した場合
食用米に使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	食用米負担割合	年内取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の食用米生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費(※)	自動車保険料(任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。)
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等を食用米のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等を食用米以外にも使用した場合
食用米に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。		食用米負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
				売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の食用米生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。	
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等を食用米のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該農業機械等を食用米以外にも使用した場合
食用米に使用した割合を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。		食用米負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
					売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1 作付地

令和〇年産の食用米生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤食用米負担割合**を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の食用米の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
●食用米のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●食用米以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位					③作付面積 0.1a 単位					⑤食用米負担割合	
			町	反	畝	. 小数		町	反	畝	. 小数		
1			ha		a	.		ha		a	.		%
2			ha		a	.		ha		a	.		%
3			ha		a	.		ha		a	.		%
4			ha		a	.		ha		a	.		%
5			ha		a	.		ha		a	.		%
6			ha		a	.		ha		a	.		%
7			ha		a	.		ha		a	.		%
8			ha		a	.		ha		a	.		%
9			ha		a	.		ha		a	.		%
10			ha		a	.		ha		a	.		%
11			ha		a	.		ha		a	.		%
12			ha		a	.		ha		a	.		%
13			ha		a	.		ha		a	.		%
14			ha		a	.		ha		a	.		%
15			ha		a	.		ha		a	.		%

令和〇年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
●食用米のみを作付けした団地・ほ場等の場合
　100(%)としてください。
●食用米以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
　作付けした作物の収入全体に占める食用米の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地　又は　ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	④支払地代	⑤食用米負担割合
1		ha a .	ha a .	万 円	%
2		ha a .	ha a .	万 円	%
3		ha a .	ha a .	万 円	%
4		ha a .	ha a .	万 円	%
5		ha a .	ha a .	万 円	%
6		ha a .	ha a .	万 円	%
7		ha a .	ha a .	万 円	%
8		ha a .	ha a .	万 円	%
9		ha a .	ha a .	万 円	%
10		ha a .	ha a .	万 円	%
11		ha a .	ha a .	万 円	%
12		ha a .	ha a .	万 円	%
13		ha a .	ha a .	万 円	%
14		ha a .	ha a .	万 円	%
15		ha a .	ha a .	万 円	%

2 建物敷地等

令和〇年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤食用米負担割合**を記入してください。

総面積に対する食用米の使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤食用米負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

1　作付ほ場規模別のほ場枚数及び作付面積

令和〇年産の食用米を作付けたほ場について、ほ場の規模別に**①ほ場枚数**、**②作付面積**を記入してください。

なお、**②作付面積**の合計が令和〇年産の食用米の作付面積になるように記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

区分	①ほ場枚数	②作付面積 0.1a 単位
		町 反 畝 . 小数
未整理又は10a 未満	枚	ha a .
10a～20a 未満区画	枚	ha a .
20a～30a 未満区画	枚	ha a .
30a～50a 未満区画	枚	ha a .
50a～1ha 未満区画	枚	ha a .
1ha 以上区画	枚	ha a .

2　田の団地数

令和〇年産の食用米を作付けた田の団地はいくつですか。

区分	用語の説明	団地数
田の団地数	ほ場が地続きでまとまっている場合は、そのまとまりを1団地とします。 地続きの耕地の一団が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。	団地

3　田の区画整理状況

令和〇年産の食用米を作付けた田の区画整理済の面積は何割ですか。該当するもの１つに〇を記入してください。

区画整理済の面積割合	いずれかに〇
50%未満	①
50～80%未満	②
80%以上	③

4　ほ場間の距離及び団地への平均距離

令和〇年産の食用米を作付けたほ場間の距離と、団地への平均距離は何キロメートルですか。

区分	用語の説明	距離 0.1km単位						
		百	十	一	.	小数		
ほ場間の距離	2つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離。（団地数が1つの場合は「－」を記入）				.			km
団地への平均距離	居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離の合計を、団地数の合計で割ったもの。				.			km

【13】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高**、**②令和〇年の支払利子額**、**③食用米負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●食用米のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●食用米以外の使用分を含めて記入する場合
食用米に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③食用米負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産の水稲栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)直まき栽培の導入

(3)新たな設備・機械の導入

(4)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第16号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－16

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年産 小麦 生産費統計
（組織法人経営体）
調査票

✔本調査の対象範囲

・令和〇年産の小麦の生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
・対象となる小麦については、3ページをご参照ください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

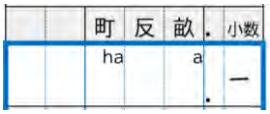
✔記入にあたって

・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合



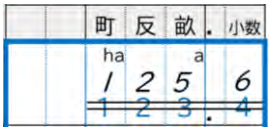
（記入例2）該当がない場合



✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の 10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 8

【4】 小麦生産のために使用した資材等 …… 10

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 19

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 21

【7】 土地改良及び水利費 …… 23

【8】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 24

【9】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 26

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 28

【11】土地の面積及び地代 …… 30

【12】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 33

本調査は、以下の調査範囲の小麦が対象です。

○ 調査範囲	× 調査範囲外
子実（食用、種子用）を生産する目的で栽培した小麦	青刈用とする目的で栽培したもの 受託生産したもの

まずは直近5か年の小麦の 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の 10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年における小麦の10a 当たりの収量（玄麦数量）を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
2 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
3 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
4 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg
5 年前（〇〇〇〇年産（令和〇年産））	kg

ここからは令和〇年産の小麦生産にかかった労働時間等についてお教えください。

【2】作業別労働時間　　記入の仕方 ～ ページ

1　構成員（年齢階層別）の労働時間

（1）　令和〇年産の小麦生産に携わった構成員はいますか。

構成員とは、令和〇年9月1日時点で、貴組織法人に出資している個人のうち、貴組織法人の事業に1日以上従事した者です。

いない	①	→ 6ページへ
いる	②	→ 次ページへ

(2) ((1)で「いる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の小麦生産における構成員の延べ労働時間について、作業別・年齢階層別に、記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

作業	内容例示	構成員の年齢階層			
		65 歳未満	65～69 歳	70～74 歳	75 歳以上
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間
は種	種まき、覆土	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦なで、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間

2 雇用労働時間

(1) 令和○年産の小麦生産に携わった人の中に、構成員以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	① → 8ページへ。
雇用している人がいる	② → (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の小麦生産における雇用者(構成員以外)の延べ労働時間について、作業別に記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	雇用者(構成員以外)	
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽		時間
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布(秋まき麦以外)		時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥		時間
は種	種まき、覆土		時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥		時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布		時間
麦踏み	麦踏み(ローラー等による鎮圧を含む。)		時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布(秋まき麦)、心土破砕、麦なで、ほ場見回り		時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策		時間
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り(取り壊し含む。)、麦稈の処理		時間
乾燥	乾燥、調製		時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)		時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等		時間

(3) 令和〇年産の小麦生産のために雇用者(構成員以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②小麦負担割合**を記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●小麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の支払分を含めて記入する場合
小麦分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②小麦負担割合
合計	万　円	%

ここからは　令和〇年産の小麦の生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　小麦の販売状況（玄麦換算）

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）の小麦について、以下の区分ごとの**①数量**をそれぞれの「計」欄に記入してください。また、「規格外 B、C」については、**②金額**も「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	①数量	②金額	内容例示
1等、2等、規格外 A、種子用等（販売用）「計」	万　kg		〇販売した以下の小麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
	万　kg		
規格外B、C（販売用）「計」	万　kg	万　円	〇販売した以下の小麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	
	万　kg	万　円	

2 組織内消費の小麦の数量（玄麦換算）

令和〇年産の収穫量のうち、組織内消費に仕向けた（予定を含む。）小麦について、以下の区分ごとの数量をそれぞれの「計」欄に記入してください。

なお、「1等、2等、規格外 A、種子用等」については、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
1等、2等、規格外 A、種子用等（組織内消費）「計」	万 kg	〇組織内消費に仕向けた以下の小麦（予定を含む。） ・農産物検査において「1等」又は「2等」と判定されたもの ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、A ランクのもの ・農産物検査における「1等」、「2等」、「規格外」と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄 （以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
	万 kg	
規格外 B（組織内消費）「計」	万 kg	〇組織内消費に仕向けた以下の小麦（予定を含む。） ・農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランク又はCランクのもの
規格外 C（組織内消費）「計」	万 kg	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 麦わら、ふるい下麦等

令和〇年産の小麦の生産で発生した麦わら、ふるい下麦等のうち、販売用又は組織内消費に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。

また、販売用に仕向けたものについては、**②金額**も記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分		内容例示	①数量	②金額
販売用	麦わら	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	万 kg	万 円
販売用	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（販売したもの）	万 kg	万 円
組織内消費	麦わら	組織内仕向けの麦わら（刈取機の切断わら、野積み等のわら、廃棄したわらは除く）	万 kg	
組織内消費	ふるい下麦等	選別により除かれた麦（組織内で使用したもの）	万 kg	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは　令和〇年産の小麦生産に使用した金額等　についてお教えください。

【4】小麦生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子（購入分）

令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

（該当がない場合は「－」を記入）

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額
使用した種子（購入分）「計」			万　円
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円

2　使用した種子（自給分）

（1） 令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分（組織内で生産した分）はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → （2）へ

（2） （（1）で「ある」を選択した方のみお答えください。）令和〇年産の小麦生産のために使用した種子のうち、自給分（組織内で生産した分）について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めてください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した肥料(購入分)

令和○年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②小麦負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は、16～17 ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

4 使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③小麦負担割合**を記入してください。

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③小麦負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注 1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注 1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注 2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した農業薬剤

令和〇年産の小麦生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②小麦負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1:共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め 18 ページ「10　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2:除草剤等農薬入りの肥料は 11 ページ「3　使用した肥料(購入分)」に記入してください。

6 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産の小麦生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額				②小麦負担割合	
使用した光熱動力(購入分)「計」					万		円		%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)									
動力燃料	重油		L		万		円		%
	軽油		L		万		円		%
	灯油		L		万		円		%
	ガソリン		L		万		円		%
	潤滑油		L		万		円		%
	混合油		L		万		円		%
電力料					万		円		%
その他(水道料、木炭などの燃料)					万		円		%

7　使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④小麦負担割合**を記入してください。

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④小麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8　使用した諸材料(購入分)

令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、ここに記入してください。

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②小麦負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万 円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、19 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

9 使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の小麦生産のために使用した諸材料のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④小麦負担割合**を記入してください。

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④小麦負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10 賃借料及び料金

令和〇年産の小麦生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●小麦のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の支払分を含めて記入する場合
小麦分の割合を記入してください。

料金名等		数量等 単位	①支払金額	②小麦負担割合
賃借料及び料金「計」			万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
共同負担金	薬剤散布(※1)		万 円	%
	共同施設		万 円	%
農機具借料			万 円	%
航空防除賃(※1)		a	万 円	%
賃耕料		a	万 円	%
は種・定植料		a	万 円	%
収穫請負わせ賃		a	万 円	%
乾燥・調製委託料(※2)		kg	万 円	%
その他			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%
			万 円	%

(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
(※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の小麦生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②小麦負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年産の小麦生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額、②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②小麦負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1 物件税

令和〇年産の小麦生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②小麦負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は、土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年産の小麦生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②小麦負担割合
公課諸負担「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
集落協議会費（地域集落等の会費）	万　円	%
農業協同組合費	万　円	%
農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費）	万　円	%
農業共済組合賦課金	万　円	%

1　土地改良区費

令和〇年産の小麦生産に関係する以下の土地改良区費について、**小麦作付ほ場負担金額(①維持負担金、②償還金)、③小麦負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は「－」を記入）

●小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

事業種類	小麦作付ほ場負担金額		③小麦負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他(整地、表土扱いのない事業)	万　円	万　円	%

2　水利費等

令和〇年産の小麦生産に関係する水利費等について、**①小麦作付ほ場負担金額、②小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●小麦のみの負担分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の負担分を含めて記入する場合
小麦の負担割合を記入してください。

費用名	①小麦作付ほ場負担金額	②小麦負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の小麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年９月１日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額 (購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金 (建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を小麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等を小麦以外にも使用した場合
小麦に使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	小麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の小麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年９月１日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額 (購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費(※)	自動車保険料 (任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。)
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等を小麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等を小麦以外にも使用した場合
小麦に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた自動車等について記入してください。		小麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
				売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の小麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年９月１日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等を小麦のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該農業機械等を小麦以外にも使用した場合
小麦に使用した割合を記入してください。

保険料 (災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税	令和〇年9月～令和〇年8月に車検を受けた車両について記入してください。		小麦負担割合	令和〇年9月～令和〇年8月の売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
					売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1 作付地

令和〇年産の小麦生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤小麦負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の小麦の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、
●小麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●小麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	⑤小麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	%	○	○
2		ha a .	ha a .	%	○	○
3		ha a .	ha a .	%	○	○
4		ha a .	ha a .	%	○	○
5		ha a .	ha a .	%	○	○
6		ha a .	ha a .	%	○	○
7		ha a .	ha a .	%	○	○
8		ha a .	ha a .	%	○	○
9		ha a .	ha a .	%	○	○
10		ha a .	ha a .	%	○	○
11		ha a .	ha a .	%	○	○
12		ha a .	ha a .	%	○	○
13		ha a .	ha a .	%	○	○
14		ha a .	ha a .	%	○	○
15		ha a .	ha a .	%	○	○

令和〇年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、
●小麦のみを作付けした団地・ほ場等の場合
100(%)としてください。
●小麦以外の作物も作付けした団地・ほ場等の場合
作付けした作物の収入全体に占める小麦の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	④支払地代	⑤小麦負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
2		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
3		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
4		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
5		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
6		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
7		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
8		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
9		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
10		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
11		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
12		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
13		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
14		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
15		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○

2 建物敷地等

令和〇年産の小麦生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤小麦負担割合**を記入してください。

総面積に対する小麦の使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤小麦負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の小麦生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年9月1日時点の未償還残高、②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額、③小麦負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●小麦のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●小麦以外の使用分を含めて記入する場合
小麦に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年9月1日時点の未償還残高	②令和〇年9月～令和〇年8月の支払利子額	③小麦負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産の小麦栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第17号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－17

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年産 大豆 生産費統計（組織法人経営体）調査票

✓本調査の対象範囲

- 令和〇年産の大豆の生産（受託生産を除く。）についてお答えください。
- 対象となる大豆については、3ページをご参照ください。
- 金額は消費税を含めて記入してください。

✔記入にあたって

- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
  なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
  「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
- 数字は右づめで記入してください。
- 該当がない項目は「－」を記入してください。
- マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
- 回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
- 「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
		1	2	3	.	4

（記入例2）該当がない場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
					.	－

✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

- 一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
- 変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例 3）
印字内容を修正する場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
		1	2	5		6
		~~1~~	~~2~~	~~3~~	.	~~4~~

2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 直近5か年の10a 当たり収量 …… 3

【2】 作業別労働時間 …… 4

【3】 生産物の販売等の状況 …… 8

【4】 大豆生産のために使用した資材等 …… 10

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 19

【6】 物件税及び公課諸負担 …… 21

【7】 土地改良及び水利費 …… 23

【8】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 24

【9】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 26

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 28

【11】土地の面積及び地代 …… 30

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 33

本調査は以下の調査範囲の大豆が対象です。

調査範囲

子実(食用、種子用)を生産する目的で栽培した大豆

調査範囲外

黒大豆
受託生産した大豆
未成熟で収穫されるもの(えだまめ)

まずは直近5か年の大豆の 10a 当たり収量についてお教えください。

【1】直近5か年の 10a 当たり収量

記入の仕方 ～ ページ

直近5か年における大豆の 10a 当たりの収量を記入してください。

区分	10a 当たりの収量
1 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
2 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
3 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
4 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg
5 年前(○○○○年産(令和○年産))	kg

ここからは　令和〇年産の大豆生産にかかった労働時間等　についてお教えください。

【2】作業別労働時間

記入の仕方 ～ ページ

1　構成員（年齢階層別）の労働時間

（1）　令和〇年産の大豆生産に携わった構成員はいますか。

構成員とは、令和〇年1月1日時点で、貴組織法人に出資している個人のうち、貴組織法人の事業に1日以上従事した者です。

いない	①	→ 6 ページへ
いる	②	→ 次ページへ

（2）（(1)で「いる」を選択した方のみお答えください。）令和○年産の大豆生産における構成員の延べ労働時間について、作業別・年齢階層別に記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

なお、受託作業に係る労働や他の農家等への出役労働は含みません。

作業	内容例示	構成員の年齢階層			
		65 歳未満	65～69 歳	70～74 歳	75 歳以上
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等	時間	時間	時間	時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布	時間	時間	時間	時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間
は種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土	時間	時間	時間	時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植	時間	時間	時間	時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	時間	時間	時間	時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	時間	時間	時間	時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り	時間	時間	時間	時間
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	時間	時間	時間	時間
収穫	刈取、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業	時間	時間	時間	時間
乾燥	乾燥、調製	時間	時間	時間	時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	時間	時間	時間	時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	時間	時間	時間	時間

2 雇用労働時間

(1) 令和〇年産の大豆生産に携わった人の中に、構成員以外で、雇用している人はいますか。

雇用している人はいない	① → 8 ページへ
雇用している人がいる	② → (2)へ

(2) ((1)で「雇用している人がいる」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の大豆生産における雇用者(構成員以外)の延べ労働時間について、作業別に記入してください。

労働時間は食事などを除いた実労働時間とし、作業の準備や農具の片付けの時間、ほ場への往復時間も含めてください。

また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

作業	内容例示	雇用者(構成員以外)	
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等		時間
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布		時間
基肥	基肥の配合、運搬、施肥		時間
は種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土		時間
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植		時間
追肥	追肥の配合、運搬、施肥		時間
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布		時間
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破砕、ほ場見回り		時間
防除	農薬散布(除草剤除く。)による防除、鳥獣害対策		時間
収穫	刈取、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業		時間
乾燥	乾燥、調製		時間
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)		時間
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等		時間

(3) 令和〇年産の大豆生産のために雇用者(構成員以外)に支払った賃金について、**①賃金**、**②大豆負担割合**を記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●大豆のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の支払分を含めて記入する場合
大豆分の割合を記入してください。

区分	①賃金	②大豆負担割合
合計	万　円	%

ここからは　令和〇年産の大豆の生産状況等　についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　大豆の販売数量

令和〇年産の収穫量のうち、販売用（予定を含む。）の大豆について、数量を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
販売用「計」	万　kg	〇販売した以下の大豆（予定を含む。） ・普通大豆として、農産物検査において「1等」、「2等」、「3等」、「規格外」と判定されたもの ・特定加工用大豆として、農産物検査において「合格」又は「規格外」と判定されたもの（豆腐・油揚げ・しょう油・きな粉等、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆） ・上記（普通大豆や特定加工用大豆）と同等の品質を有するもの ・種子用
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	

2 組織内消費の大豆の数量

令和〇年産の収穫量のうち、組織内消費に仕向けた（予定を含む。）大豆について、数量を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

区分	数量	内容例示
組織内消費「計」	万　kg	組織内消費（食用、種子用等）に仕向けたもの（予定を含む。）
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	
	万　kg	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 選別により除かれた大豆等

令和〇年産の大豆生産で発生した、選別により除かれた大豆等のうち、販売用又は組織内消費に仕向けた（予定を含む。）ものについて、**①数量**を記入してください（焼却、廃棄したもの、収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分は含みません。）。

また、販売用については、**②金額**も記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、包装費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	内容例示	①数量	②金額
販売用	販売したもの（予定を含む。）	万　kg	万　円
組織内消費	組織内消費に仕向けたもの（予定を含む。）	万　kg	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

ここからは　令和〇年産の大豆生産に使用した金額等　についてお教えください。

【4】大豆生産のために使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　使用した種子（購入分）

令和〇年産の大豆生産のために使用した種子のうち、購入した分について、使用数量分の購入金額を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。

（該当がない場合は「－」を記入）

品種名等	使用数量	単位	使用数量分の購入金額
使用した種子（購入分）「計」			万　円
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円
			万　円

2　使用した種子（自給分）

(1)　令和〇年産の大豆生産のために使用した種子のうち、自給分（組織内で生産した分）はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の大豆生産のために使用した種子のうち、自給分（組織内で生産した分）について、**①品種名等**、**②使用数量**、**③単位**を記入してください。

また、浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分も含めて記入してください。

①品種名等	②使用数量	③単位

注：自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　使用した肥料(購入分)

令和〇年産の大豆生産のために使用した肥料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②大豆負担割合	内容例示
使用した肥料(購入分)「計」			万　円	%	・窒素質肥料 ・りん酸質肥料 ・カリ質肥料 ・けい酸質肥料 ・炭酸カルシウム(石灰含む。) ・複合肥料 ・土壌改良資材 ・たい肥・きゅう肥 ・微生物資材 ・液肥 ・農薬入り肥料 ・ペースト肥料 ・苦土質肥料 ・微量要素肥料 ・有機質肥料 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	
			万　円	%	

注:融雪剤として使用した分は16～17ページ「8　使用した諸材料(購入分)」「9　使用した諸材料(自給分)」に記入してください。

4 使用した肥料(自給分)

(1) 令和〇年産の大豆生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の大豆生産のために使用した肥料のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①使用数量**、**②単位**、**③大豆負担割合**を記入してください。

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

資材名等		①使用数量	②単位	③大豆負担割合
たい肥		万	kg	%
きゅう肥		万	kg	%
稲・麦わら(注1)		万	kg	%
その他		万		%
		万		%
		万		%

注1:稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した農業薬剤

令和〇年産の大豆生産のために使用した農業薬剤について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

資材名等	①使用数量分の購入金額	②大豆負担割合	内容例示
使用した農業薬剤「計」	万　円	%	・殺虫剤 ・殺菌剤 ・殺虫殺菌剤 ・除草剤 ・植物成長調整剤 ・展着剤 ・生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤 など
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注1:共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め18ページ「10　賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2:除草剤等農薬入りの肥料は 11 ページ「3　使用した肥料(購入分)」に記入してください。

6 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年産の大豆生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

区分		使用数量	単位	①使用数量分の購入金額		②大豆負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」				万	円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)						
動力燃料	重油		L	万	円	%
	軽油		L	万	円	%
	灯油		L	万	円	%
	ガソリン		L	万	円	%
	潤滑油		L	万	円	%
	混合油		L	万	円	%
電力料				万	円	%
その他(水道料、木炭などの燃料)				万	円	%

7 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和○年産の大豆生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年産の大豆生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④大豆負担割合**を記入してください。

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④大豆負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8　使用した諸材料(購入分)

令和〇年産の大豆生産のために使用した諸材料のうち、購入した分について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、ここに記入してください。

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

資材名等	使用数量	単位	①使用数量分の購入金額	②大豆負担割合
使用した諸材料(購入分)「計」			万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)				
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%
			万　円	%

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、19 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

9 使用した諸材料(自給分)

(1) 令和〇年産の大豆生産のために使用した諸材料のうち、自給分(組織内で生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年産の大豆生産のために使用した諸材料のうち、自給分(組織内で生産した分)について、**①資材名等**、**②使用数量**、**③単位**、**④大豆負担割合**を記入してください。

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

①資材名等	②使用数量	③単位	④大豆負担割合
			%
			%
			%
			%
			%

注:自給分については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10 賃借料及び料金

令和〇年産の大豆生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●大豆のみの支払分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の支払分を含めて記入する場合
大豆分の割合を記入してください。

料金名等		数量等	単位	①支払金額	②大豆負担割合
賃借料及び料金「計」				万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)					
共同負担金	薬剤散布(※1)			万 円	%
	共同施設			万 円	%
農機具借料				万 円	%
航空防除賃(※1)			a	万 円	%
賃耕料			a	万 円	%
は種・定植料			a	万 円	%
収穫請負わせ賃			a	万 円	%
乾燥・調製委託料(※2)			kg	万 円	%
その他				万 円	%
				万 円	%
				万 円	%
				万 円	%
				万 円	%

(※1)共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

(※2)乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年産の大豆生産のために使用した農具・農業被服等の購入費について、**①使用数量分の購入金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

名称	①使用数量分の購入金額	②大豆負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・シャベル類 ・ホース ・じょうろ ・防除ネット ・防鳥ネット　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年産の大豆生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額、②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②大豆負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリントートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1 物件税

令和〇年産の大豆生産に関係する以下の物件税について、**①金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②大豆負担割合
物件税「計」	万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
固定資産税（建物）（※）	万　円	%
固定資産税（農機具）（※）	万　円	%
不動産取得税（土地以外）（※）	万　円	%
水利地益税	万　円	%
都市計画税（土地以外）（※）	万　円	%
共同施設税	万　円	%

（※）固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年産の大豆生産に関係する以下の公課諸負担について、**①金額**、**②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●大豆のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

区分	①金額		②大豆負担割合	
公課諸負担「計」	万	円		%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）				
集落協議会費（地域集落等の会費）	万	円		%
農業協同組合費	万	円		%
農事実行組合費（大豆作部会等の各種部会費）	万	円		%
農業共済組合賦課金	万	円		%

1 土地改良区費

令和〇年産の大豆生産に関係する以下の土地改良区費について、**大豆作付ほ場負担金額（①維持負担金、②償還金）、③大豆負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

●大豆のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

事業種類	大豆作付ほ場負担金額		③大豆負担割合
	①維持負担金	②償還金	
ほ場整備事業	万　円	万　円	%
農地開発事業	万　円	万　円	%
かんがい排水事業	万　円	万　円	%
農道整備事業	万　円	万　円	%
その他（整地、表土扱いのない事業）	万　円	万　円	%

2 水利費等

令和〇年産の大豆生産に関係する水利費等について、**①大豆作付ほ場負担金額、②大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

●大豆のみの負担分を記入する場合
100（%）としてください。
●大豆以外の負担分を含めて記入する場合
大豆の負担割合を記入してください。

費用名	①大豆作付ほ場負担金額	②大豆負担割合
水利に係る費用「計」	万　円	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要）		
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%
	万　円	%

【8】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の大豆生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を大豆のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該建物等を大豆以外にも使用した場合
大豆に使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年産に係る当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年産に係る当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	大豆負担割合	年内取り壊し・売却状況					番号
			状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

【9】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の大豆生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費(※)	自動車保険料(任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。)
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

令和〇年産に係る当該自動車等に要した費用について記入してください。

●当該自動車等を大豆のみに使用した場合
100(%)としてください。
●当該自動車等を大豆以外にも使用した場合
大豆に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。		大豆負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
	自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
				売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【10】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の大豆生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	修繕費(※)
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

令和〇年産に係る当該農業機械や生産管理機器に要した費用について記入してください。

●当該農業機械等を大豆のみに使用した場合100(%)としてください。
●当該農業機械等を大豆以外にも使用した場合大豆に使用した割合を記入してください。

保険料 災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	軽自動車税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。		大豆負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険		状況区分		売却金額	
					売却	廃棄・無償譲渡		
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1 作付地

令和〇年産の大豆生産のために作付けした(1)所有地と(2)借入地について、**①団地又はほ場名等**、**②土地台帳面積**、**③作付面積**、**④支払地代**(借入地のみ)、**⑤大豆負担割合**を記入し、**⑥地目**について該当するものに〇を記入してください。なお、所有地、借入地の**③作付面積**の合計が令和〇年産の大豆の作付面積になるように記入してください。

令和〇年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
●大豆のみを作付けした団地・ほ場名等の場合
100(%)としてください。
●大豆以外の作物も作付けした団地・ほ場名等の場合
作付けした作物の収入全体に占める大豆の収入割合を記入してください。

(1) 所有地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	⑤大豆負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	%	○	○
2		ha a .	ha a .	%	○	○
3		ha a .	ha a .	%	○	○
4		ha a .	ha a .	%	○	○
5		ha a .	ha a .	%	○	○
6		ha a .	ha a .	%	○	○
7		ha a .	ha a .	%	○	○
8		ha a .	ha a .	%	○	○
9		ha a .	ha a .	%	○	○
10		ha a .	ha a .	%	○	○
11		ha a .	ha a .	%	○	○
12		ha a .	ha a .	%	○	○
13		ha a .	ha a .	%	○	○
14		ha a .	ha a .	%	○	○
15		ha a .	ha a .	%	○	○

令和〇年産の大豆の収穫が終わる前の１年間に、
●大豆のみを作付けした団地・ほ場名等の場合
100(%)としてください。
●大豆以外の作物も作付けした団地・ほ場名等の場合
作付けした作物の収入全体に占める大豆の収入割合を記入してください。

(2) 借入地

番号	①団地 又は ほ場名等	②土地台帳面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	③作付面積 0.1a 単位 町 反 畝 . 小数	④支払地代	⑤大豆負担割合	⑥地目 田	⑥地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
2		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
3		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
4		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
5		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
6		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
7		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
8		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
9		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
10		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
11		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
12		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
13		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
14		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○
15		ha a .	ha a .	万 円	%	○	○

2 建物敷地等

令和〇年産の大豆生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地、借入地について、**①建物敷地名**、**②総面積**、**③使用面積**、**④支払賃借料**(借入地のみ)、**⑤大豆負担割合**を記入してください。

総面積に対する大豆の使用割合を記入してください。

番号		①建物敷地名	②総面積 ㎡単位	③使用面積 ㎡単位	④支払賃借料	⑤大豆負担割合
1	所有地		万 ㎡	万 ㎡		%
2			万 ㎡	万 ㎡		%
3			万 ㎡	万 ㎡		%
4			万 ㎡	万 ㎡		%
5			万 ㎡	万 ㎡		%
6			万 ㎡	万 ㎡		%
7			万 ㎡	万 ㎡		%
8			万 ㎡	万 ㎡		%
1	借入地		万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
2			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
3			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
4			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
5			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
6			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
7			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%
8			万 ㎡	万 ㎡	万 円	%

【12】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年産の大豆生産のための借入金及び支払利子について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高**、**②令和〇年の支払利子額**、**③大豆負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●大豆のみに使用した分を記入する場合
100(%)としてください。
●大豆以外の使用分を含めて記入する場合
大豆に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③大豆負担割合
「計」	万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」欄の記入は不要)			
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
借入金	万 円	万 円	%
買掛未払金	万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

令和〇年産の大豆栽培の特徴

1　作柄概況

2　被害の状況や品質

3　栽培状況の変化

(1)新たな品種の導入

(2)新たな設備・機械の導入

(3)その他(新たな栽培技術の導入)

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第18号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

記入用紙

別添3－18

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

令和〇年 牛乳 生産費統計 調査票

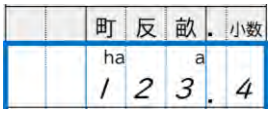
✔本調査の対象範囲

・令和〇年1月～12月の１年間についてお答えください。
・調査対象畜（搾乳牛、子牛、育成牛）及び自給飼料についてお答えください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

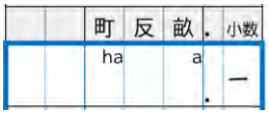
✔記入にあたって

・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合



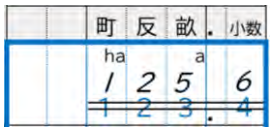
（記入例2）該当がない場合



✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答や牛トレサデータをあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例３）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 農業就業者数 ……3

【2】 作業別労働時間 ……5

【3】 生産物の販売等の状況 ……8

【4】 調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等 ……16

【5】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……32

【6】 物件税及び公課諸負担 ……34

【7】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 ……36

【8】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 ……38

【9】 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 ……40

【10】地代(所有地及び借入地) ……42

【11】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 ……44

【12】乳用牛の月齢別の飼育経費 ……45

【13】搾乳牛等の所有状況 ……45

まずは経営全体のことをお教えください。

【1】農業就業者数

記入の仕方 ～ ページ

農業就業者数について記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

区分	用語の説明	男性	女性
農業就業者	家族（※1）のうち、年間の農業労働日数が 60 日以上（※2）の者（15 歳未満を除く。）	人	人
150 日以上	農業就業者のうち、年間の農業労働日数が 150 日以上（※2）の者	人	人

（※1）家族とは、世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団を言います。

（※2）農業労働日数は、1日＝8時間を目安にしてください。

ここからは令和〇年1年間の調査対象畜や自給飼料に関する作業時間等についてお教えください。

調査対象畜とは、以下のとおりです。

調査対象畜（調査範囲）

搾乳牛…ホルスタイン種等の乳用種の雌牛（経産牛）
（乾乳中の牛や廃用後に肥育している牛を含む。）

子牛　…調査期間中に搾乳牛から生まれた生後 10 日齢までの子牛
（交雑種（F1）の牛や受精卵移植（ET）により生まれた牛を含む。）

育成牛…将来、搾乳牛にするために育成する乳用種の雌牛（後継牛）
（育成牧場等に預託している牛は、その期間中は調査対象畜としない。）

自給飼料とは、以下のとおりです。

自給飼料（調査範囲）

生産した飼料全て
（調査対象畜に給与したものの他、調査対象畜以外に給与したものや、販売又は廃棄したものも含む。）

1 調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇)

(1) 令和〇年に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。

その他の飼育作業とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
・衛生管理(殺虫剤の散布等)

作業者	年齢	性別	定型作業内容							
			飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		搾乳・牛乳処理・運搬		その他の飼育作業	
			1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

(2) (1)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

作業者	年齢	性別	定型外作業内容				
			自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※1)	経営管理(※2)
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間	時間

(※1)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等
(※2)経営管理:役員として出席する打合せ、簿記記帳(税務申告)、畜産経営のための資金調達等

2 調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他)

(1) 令和○年の1年間に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)以外の農業従事者について、以下の区分のうち該当するものがあれば、すべてに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
雇用者(住み込みの年雇を除く。)	農業経営のために雇った者(雇用期間は問わない。)	①	②
ヘルパー		①	②
手伝い受け	集落等における手伝いを受けた場合	①	②
ゆい・手間替受け	農家間で行われる労働の等価交換	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ

すべて「いない」に○…8ページへ

(2) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)令和○年の以下の定型作業内容について、1日当たりの平均作業時間、令和○年の1年間の従事日数を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

その他の飼育作業とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
・衛生管理(殺虫剤の散布等)

区分	性別	定型作業内容							
		飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		搾乳・牛乳処理・運搬		その他の飼育作業	
		1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

(3) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)(2)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和○年の1年間の作業時間を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。
なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

区分	性別	定型外作業内容			
		自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※)
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間

(※)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等

(4) 雇用者、ヘルパーに支払った賃金について、**①賃金、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●①に調査対象畜の飼養のための支払分のみを記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料の生産のための支払分のみを記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、その他の雇用者への支払分をまとめて記入する場合
それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜と自給飼料の負担割合を記入してください。

区分	①賃金		②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
男性	万	円	%	%
女性	万	円	%	%

ここからは令和〇年1年間の生産物の販売等の状況についてお教えください。

【3】生産物の販売等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1 生乳の販売状況

(1) 次の設問で令和〇年の1年間の生乳の生産量等についてお伺いします。1年分合算と月別のどちらで記入しますか。

1年分合算	① → 1月分(または年間計)欄のみ記入してください。
月別	② → 1月分～12月分欄すべてを記入してください。

(2) 生乳の生産量等を(1)で回答した方法で記入してください。なお、「価額」には、乳代、加工原料乳生産者補給金等の補助金、販売手数料、集乳経費及び小売りの価額を記入してください。
(該当がない区分は「－」を記入)

1月分(または年間計)

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

	割合 0.01%単位	
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

2 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位		
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

3 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位		
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

4 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位		
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

5 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位		
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

6 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位		
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

7 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位		
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

8 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位		
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

9 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位		
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

10 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位		
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

11 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位		
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

12 月分

区分		数量	価額	内容
実搾乳量	出荷(乳代)	億 万 kg	億 万 円	控除前の生乳代金(消費税を含む。)
	補給金等		億 万 円	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料		億 万 円	農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		億 万 円	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り	億 万 kg	億 万 円	消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与(※)	億 万 kg		
	自家消費(※)	億 万 kg		
	計	億 万 kg		
乳脂肪生産量		億 万 kg		
無脂乳固形分生産量		億 万 kg		

数量で記入できない場合は、割合を記入してください。

割合 0.01%単位		
	一の位 . 小数第一位 小数第二位	
乳脂肪分率	.	%
無脂乳固形分率	.	%

(※)子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後 5 日以内の初乳分を除きます。

2 子牛

令和〇年の1年間に搾乳牛から生まれ、死産等により「牛トレーサビリティ」(耳標番号)に未登録の子牛の頭数を記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

区分	雄		雌	
乳用種		頭		頭
交雑種(F1)		頭		頭
黒毛和種(受精卵移植)		頭		頭

ここからは令和〇年１年間の調査対象畜及び自給飼料に使用した金額等についてお教えください。

【4】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1 給与した飼料（購入分）

令和〇年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、**①給与数量、②単位、③給与数量分の購入金額、④調査対象畜負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は①又は③に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		①給与数量	②単位	③給与数量分の購入金額	④調査対象畜負担割合
穀類	大麦	億 万		億 万 円	%
	その他の麦	億 万		億 万 円	%
	とうもろこし	億 万		億 万 円	%
	大豆	億 万		億 万 円	%
	飼料用米	億 万		億 万 円	%
	その他の穀類	億 万		億 万 円	%
ぬか・ふすま類	ふすま	億 万		億 万 円	%
	米・麦ぬか	億 万		億 万 円	%
	その他のぬか・ふすま類	億 万		億 万 円	%
植物性かす類	大豆油かす	億 万		億 万 円	%
	ビートパルプ	億 万		億 万 円	%
	その他の植物性かす類	億 万		億 万 円	%
配合飼料		億 万		億 万 円	%
TMR（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）		億 万		億 万 円	%
牛乳脱脂乳		億 万		億 万 円	%
いも類及び野菜類		億 万		億 万 円	%
わら類	稲わら	億 万		億 万 円	%
	その他のわら類（麦わら等）	億 万		億 万 円	%
生牧草		億 万		億 万 円	%
乾牧草	ヘイキューブ	億 万		億 万 円	%
	その他の乾牧草	億 万		億 万 円	%
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）	億 万		億 万 円	%
	稲発酵粗飼料	億 万		億 万 円	%
	その他のサイレージ	億 万		億 万 円	%
上記以外の購入飼料				億 万 円	%

2 飼料の生産状況

栽培した飼料の生産状況について、令和〇年の1年間の**①作付面積**、**②総収穫量**、**③単位**を記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

総収穫量とは、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

区分		飼料の例示	1年間の飼料の生産状況 ①作付面積 町 反 畝	②総収穫量 万	③単位
いね科	デントコーン		ha a	万	
	イタリアンライグラス		ha a	万	
	ソルゴー		ha a	万	
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ	ha a	万	
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草	ha a	万	
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草	ha a	万	
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草	ha a	万	
その他の飼料		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等	ha a	万	
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類	ha a	万	
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等	ha a	万	
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの	ha a	万	
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの	ha a	万	
放牧場			ha a		

生産した飼料のうち、調査対象畜に給与した割合

・自家生産した飼料の全量を調査対象畜に給与した（予定も含む。）場合には100（%）としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合や、販売（又は廃棄）した場合には、総収穫量のうち調査対象畜に給与した割合を記入してください。

→ %

3 給与した飼料(自給分)

(1) 家畜に給与する目的で栽培した飼料のうち、令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた飼料について、**①数量**、**②単位**、**③調査対象畜負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

区分		飼料の例示	生牧草等(生で給与するもの) ①数量	② 単位	③ 調査対象畜負担割合
いね科	デントコーン		万		%
	イタリアンライグラス		万		%
	ソルゴー		万		%
	稲発酵粗飼料	WCS:ホールクロップサイレージ			
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草	万		%
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草	万		%
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草	万		%
その他の飼料		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等	万		%
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類	万		%
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等	万		%
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの	万		%
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの			
放牧時間		放牧場における放牧時間	万	時間	%

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

乾牧草（乾燥させて給与するもの）			サイレージ（発酵させて給与するもの）		
①数量	②単位	③調査対象畜負担割合	①数量	②単位	③調査対象畜負担割合
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
			万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%			

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培したが、たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (3)へ

(3) ((2)で「ある」を選択した方のみお答えください。)たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物について、**①作物名、②数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

①作物名	②数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

4 種付料

（1） 令和〇年の1年間に種付けに支払った料金はいくらでしたか（精液代、種付料等）。黒毛和種精液の人工授精（F1）や黒毛和種の受精卵移植（ET）を含めて記入してください。
（該当がない場合は「－」を記入）

種付料金	億 万 円

（2） 令和〇年の1年間の自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数は何回ですか。
（該当がない場合は「－」を記入）

延べ種付回数	万 回

5 使用した敷料（購入分）

（1） 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、購入した分について、**①使用した敷料の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①使用した敷料の購入金額	②調査対象畜負担割合
使用した敷料（購入分）「計」	万 円	%
内訳欄 （以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）		
稲わら	万 円	%
おがくず	万 円	%
麦わら	万 円	%
乾牧草	万 円	%
その他	万 円	%

(2) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料を物々交換により入手しましたか。

物々交換していない	① → 次ページへ
物々交換した	② → (3)へ

(3) ((2)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料と交換した**①品目名**、**②数量**、**③単位**について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量	③単位
	万	
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

6 使用した敷料(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の敷料について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

7 きゅう肥の利用状況

(1) 令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合
販売用(物々交換含む。)	%
自家利用	%
廃棄	%
計	100 %

販売用(物々交換含む。)に該当がない場合は次ページへ

販売用(物々交換含む。)に該当がある場合は(2)へ

(2) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥のうち、販売したものについて、その金額を記入してください。なお、物々交換分の金額は含みません。

区分	金額
販売用	万 円

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、材料費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

(3) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥で物々交換をしましたか。

物々交換していない	①
物々交換した	②

① → 次ページへ

② → (4)へ

(4) ((3)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥と交換した**①品目名、②数量、③単位**について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量	③単位
	万	
	万	
	万	
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用した光熱動力の購入金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①使用した光熱動力の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」	万 円	%	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)			
重油	万 円	%	%
軽油	万 円	%	%
灯油	万 円	%	%
ガソリン	万 円	%	%
水道料	万 円	%	%
電力料	万 円	%	%
その他	万 円	%	%

9 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の光熱動力について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合	⑤自給飼料負担割合
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10 獣医師料及び医薬品費

令和〇年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
獣医師料及び医薬品費「計」	万 円	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)			
獣医師料	万 円	%	獣医師に支払った診療代(投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金	万 円	%	家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医薬品費	万 円	%	牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等	万 円	%	上記以外の医療・衛生費・倉庫の消毒剤、ミルカーの洗剤費用等

11 賃借料及び料金

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」	万 円	%	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
共同負担金	万 円	%	%	共同放牧場(育成牛の放牧料は除く。)、共同採草地など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	万 円	%	%	農機具のリース代
牛乳検査料	万 円	100 %	%	
削蹄料	万 円	%	%	
疾病の検査料	万 円	%	%	義務付けられている検査(結核、ブルセラ病等)に要した費用
乳用牛群検定料	万 円	100 %	%	
その他	万 円	%	%	建物の賃借料、コントラクター料金、作業委託料　等

12 草地費(草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金)

(1) 令和○年の1年間に草地開発のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。
(該当がない区分は「－」を記入)

区分	草地開発事業負担金
草地造成事業	万 円
草地整備事業	万 円

(2) 令和○年の1年間に土地改良事業のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。
(該当がない区分は「－」を記入)

区分	土地改良事業負担金
ほ場整備事業	万 円
農地開発事業	万 円
かんがい排水事業	万 円
農道(牧道)整備事業	万 円
その他の整備事業	万 円

13 使用したその他の諸材料(購入分)

前記1～12以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、購入した分について、**①使用したその他の諸材料の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

前記 1～12(飼料/種付料/敷料/きゅう肥/光熱動力/獣医師料及び医薬品費/賃借料及び料金/草地費)以外について記入してください。

区分	①使用したその他の諸材料の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
使用したその他の諸材料(購入分)「計」	万 円	%	%	【調査対象畜に使用した資材例】 ロープ、縄、ビニールシート、ハエ取り紙 など 【自給飼料の生産に使用した資材例】 飼料の種子、肥料、農薬、きゅう肥(購入)など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、32 ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

14 使用したその他の諸材料(自給分)

(1) 前記1～13 以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の資材について、**①資材名**、**②使用数量**、**③単位**、**④調査対象畜負担割合**、**⑤自給飼料負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合	⑤自給飼料負担割合
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために新たに購入し使用した農具や農業被服等について、**①使用した農具・農業被服等の購入金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①使用した農具・農業被服等の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・スコップ類 ・ホース ・じょうろ ・草かき ・飼料桶　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100（%）と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100（%）と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	

1 物件税

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の物件税について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。

●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に 100（%）と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分		①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
物件税「計」		億 万 円	%	%
内訳欄 （以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
固定資産税（※）	建物	億 万 円	%	%
	農機具	億 万 円	%	%
都市計画税（土地以外）（※）		億 万 円	%	%
不動産取得税（土地以外）（※）		億 万 円	%	%
共同施設税		億 万 円	%	%

（※）固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の公課諸負担について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分	①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	公課諸負担の例示
公課諸負担「計」	億 万 円	%	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
集落協議会費	億 万 円	%	%	地域集落等の会費
農業協同組合費	億 万 円	%	%	農業協同組合の組合費、賦課金
酪農組合費	億 万 円	%	%	
生乳出荷枠の取得費	億 万 円	100 %		
農事実行組合費	億 万 円	%	%	実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金	億 万 円	%		

【7】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該建物等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該建物等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

修繕費(※) 令和〇年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年の当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内取り壊し・売却状況 状況区分 取り壊し	部分取り壊し	売却	発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	番号
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
・バンカーサイロのビニールの張替え費　など

【8】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	修繕費(※)	自動車保険料
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	令和〇年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	令和〇年の当該自動車等の任意保険(対人・対物を除く車両部分のみ。)の掛金を記入してください。
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

●当該自動車等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該自動車等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該自動車等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

自動車・軽自動車税 令和〇年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税	自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	廃棄・無償譲渡	売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	10

【9】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	修繕費(※)(令和〇年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。)
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

●当該農業機械等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

保険料 (令和〇年の当該農業機械の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。)	軽自動車税 (令和〇年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。)	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。		調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況			番号
		自動車重量税	自賠責保険			状況区分 売却	状況区分 廃棄・無償譲渡	売却金額	
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	10

1 所有地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(所有地)について、**①実面積、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	ほ場の例示	①実面積	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
1	建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫、牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地	ha a	%	%
2	運動場	パドック、けい牧(柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。)に利用した土地	ha a	%	
3	飼料栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	ha a		%
4	放牧地	耕地以外で放牧に利用した土地	ha a	%	
5	採草地	耕地以外で飼料を採取する目的で野草を採草した土地	ha a		%

2 借入地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(借入地)について、**①実面積、②支払地代、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	①実面積	②支払地代	③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
1	建物敷地	ha a	万 円	%	%
2	運動場	ha a	万 円	%	
3	飼料栽培	ha a	万 円		%
4	放牧地	ha a	万 円	%	
5	採草地	ha a	万 円		%

【11】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

調査対象畜及び自給飼料の生産のための借入金について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高**、**②令和〇年の支払利子額**、**③調査対象畜負担割合**、**④自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
「計」	億 万 円	万 円	%	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
買掛未払金	億 万 円	万 円	%	%

【12】乳用牛の月齢別の飼育経費

記入の仕方 ～ ページ

搾乳牛（成牛）1頭を1か月飼育するのに要する（1）飼料費、（2）建物の面積、（3）労働時間を基準（100）とした場合、各月齢（**①生後11日未満、②生後11日～6か月未満、③6か月～18 か月未満、④18 か月以上**）の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する（1）飼料費、（2）建物の面積、（3）労働時間の割合を記入してください。

（1）飼料費

① 生後 11 日 未満	② 生後 11 日 ～6か月未満	③ 6か月～ 18 か月未満	④ 18 か月 以上

【具体的な計算例】

$$\frac{\text{①～④の後継牛１頭を１か月飼育するための飼料費}}{\text{搾乳牛（成牛）１頭を１か月飼育するための飼料費}} \times 100$$

（2）建物の面積

① 生後 11 日 未満	② 生後 11 日 ～6か月未満	③ 6か月～ 18 か月未満	④ 18 か月 以上

【具体的な計算例】

$$\frac{\text{①～④の後継牛１頭を１か月飼育するための建物面積}}{\text{搾乳牛（成牛）１頭を１か月飼育するための建物面積}} \times 100$$

（3）労働時間

① 生後 11 日 未満	② 生後 11 日 ～6か月未満	③ 6か月～ 18 か月未満	④ 18 か月 以上

【具体的な計算例】

$$\frac{\text{①～④の後継牛１頭を１か月飼育するための労働時間}}{\text{搾乳牛（成牛）１頭を１か月飼育するための労働時間}} \times 100$$

最後に搾乳牛等の所有状況についてお教えください。

【13】搾乳牛等の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

1 農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

NO	農家団体コード
1	
2	
3	

2 調査対象畜の飼養状況

令和〇年の1年間に飼養した調査対象畜の個体情報等について、個体識別番号ごとに記入してください。なお、牛トレサデータから取得した情報や前年の回答はあらかじめ印字しています。

番号	個体識別番号（10 桁の耳標番号）	名称（記入は任意）	種類	品種	性別		生産年月		購入年月		売却・死亡年月	
					雄	雌	年（西暦）	月	年（西暦）	月	年（西暦）	月
1					○	○	年	月	年	月	年	月
2					○	○	年	月	年	月	年	月
3					○	○	年	月	年	月	年	月
4					○	○	年	月	年	月	年	月
5					○	○	年	月	年	月	年	月
6					○	○	年	月	年	月	年	月
7					○	○	年	月	年	月	年	月
8					○	○	年	月	年	月	年	月
9					○	○	年	月	年	月	年	月
10					○	○	年	月	年	月	年	月

購入価額は、取得に直接要した手数料や運賃などを含めた金額を記入してください。
売却価額は、受取金額から市場手数料や出荷に関する経費（運送費、材料費等）を除いた金額を記入してください。

搾乳牛の成畜は、初回分べん時です。

年内の状況を記入

搾乳牛のみ記入				後継牛のみ記入				搾乳牛から産まれた子牛のみ記入	番号
成畜		成畜価額	購入価額	育成牧場への預託				10日齢時点評価額・10日齢未満売却額等	
				入牧		下牧			
年（西暦）	月			年（西暦）	月	年（西暦）	月		
年	月	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	1
年	月	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	2
年	月	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	3
年	月	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	4
年	月	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	5
年	月	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	6
年	月	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	7
年	月	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	8
年	月	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	9
年	月	万 円	万 円	年	月	年	月	万 円	10

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第19号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

記入用紙

別添3－19

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

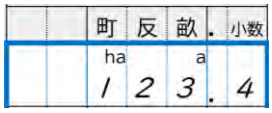
令和〇年 子牛 生産費統計 調査票

✔本調査の対象範囲

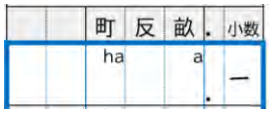
・令和〇年1月～12月の１年間についてお答えください。
・調査対象畜（繁殖雌牛、子牛）及び自給飼料についてお答えください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

✔記入にあたって

（記入例1）123.4 アールの場合



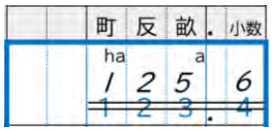
（記入例2）該当がない場合



・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

（記入例３）
印字内容を修正する場合



・一部の設問では、前年の回答や牛トレサデータをあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

2025年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 作業別労働時間 …… 5

【2】 調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等 …… 8

【3】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 24

【4】 物件税及び公課諸負担 …… 26

【5】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 28

【6】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 30

【7】 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 32

【8】 地代(所有地及び借入地) …… 34

【9】 借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 36

【10】生産物の取引等の状況 …… 37

まずは令和〇年1年間の調査対象畜や自給飼料に関する作業時間等についてお教えください。

調査対象畜とは、以下のとおりです。

調査対象畜（調査範囲）
繁殖雌牛…初回種付け（受胎の有無を問わない。）以降の肉用種の雌牛（廃用後に肥育している雌牛を含む。） 子牛　……自家で飼養している肉用種の雌牛から生まれた、地域で一般的に取引される月齢に達するまでの子牛

自給飼料とは、以下のとおりです。

自給飼料（調査範囲）
生産した飼料全て （調査対象畜に給与したものの他、調査対象畜以外に給与したものや、販売又は廃棄したものも含む。）

1　調査対象畜や自給飼料に関する作業（家族・住み込みの年雇）

(1) 令和〇年に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。

その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

作業者	年齢	性別	定型作業内容					
			飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
			1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

(2) (1)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

作業者	年齢	性別	定型外作業内容			
			自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理（※）
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間

（※）生産管理：共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）等

2 調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他)

(1) 令和○年の1年間に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)以外の農業従事者について、以下の区分のうち該当するものがあれば、すべてに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
雇用者(住み込みの年雇を除く。)	農業経営のために雇った者(雇用期間は問わない。)	①	②
ヘルパー		①	②
手伝い受け	集落等における手伝いを受けた場合	①	②
ゆい・手間替受け	農家間で行われる労働の等価交換	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ

すべて「いない」に○…8ページへ

(2) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)令和○年の以下の定型作業内容について、1日当たりの平均作業時間、令和○年の1年間の従事日数を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
・衛生管理(殺虫剤の散布等)

区分	性別	定型作業内容					
		飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
		1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

(3) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)(2)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。
なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

区分	性別	定型外作業内容			
		自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※)
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間

(※)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等

(4) 雇用者に支払った賃金について、**①賃金、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●①に調査対象畜の飼養のための支払分のみを記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料の生産のための支払分のみを記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、その他の雇用者への支払分をまとめて記入する場合
それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜と自給飼料の負担割合を記入してください。

区分	①賃金	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
男性	万 円	%	%
女性	万 円	%	%

ここからは令和〇年1年間の調査対象畜や自給飼料に使用した金額等についてお教えください。

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1 給与した飼料(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、**①給与数量**、**②単位**、**③給与数量分の購入金額**、**④調査対象畜負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①又は③に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		①給与数量	②単位	③給与数量分の購入金額	④調査対象畜負担割合
穀類	大麦	億 万		億 万 円	%
	その他の麦	億 万		億 万 円	%
	とうもろこし	億 万		億 万 円	%
	大豆	億 万		億 万 円	%
	飼料用米	億 万		億 万 円	%
	その他の穀類	億 万		億 万 円	%
ぬか・ふすま類	ふすま	億 万		億 万 円	%
	米・麦ぬか	億 万		億 万 円	%
	その他のぬか・ふすま類	億 万		億 万 円	%
植物性かす類	大豆油かす	億 万		億 万 円	%
	ビートパルプ	億 万		億 万 円	%
	その他の植物性かす類	億 万		億 万 円	%
配合飼料		億 万		億 万 円	%
TMR(粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)		億 万		億 万 円	%
牛乳脱脂乳		億 万		億 万 円	%
いも類及び野菜類		億 万		億 万 円	%
わら類	稲わら	億 万		億 万 円	%
	その他のわら類(麦わら等)	億 万		億 万 円	%
生牧草		億 万		億 万 円	%
乾牧草	ヘイキューブ	億 万		億 万 円	%
	その他の乾牧草	億 万		億 万 円	%
サイレージ	いね科(稲発酵粗飼料を除く。)	億 万		億 万 円	%
	稲発酵粗飼料	億 万		億 万 円	%
	その他のサイレージ	億 万		億 万 円	%
上記以外の購入飼料				億 万 円	%

2 飼料の生産状況

栽培した飼料の生産状況について、令和〇年の1年間の**①作付面積**、**②総収穫量**、**③単位**を記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

総収穫量とは、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

区分		飼料の例示	1年間の飼料の生産状況 ①作付面積 町 反 畝	②総収穫量 万	③単位
いね科	デントコーン		ha a	万	
	イタリアンライグラス		ha a	万	
	ソルゴー		ha a	万	
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ	ha a	万	
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草	ha a	万	
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草	ha a	万	
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草	ha a	万	
その他の飼料		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等	ha a	万	
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類	ha a	万	
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等	ha a	万	
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの	ha a	万	
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの	ha a	万	
放牧場			ha a		

生産した飼料のうち、調査対象畜に給与した割合

・自家生産した飼料の全量を調査対象畜に給与した（予定も含む。）場合には 100（%）としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合や、販売（又は廃棄）した場合には、総収穫量のうち調査対象畜に給与した割合を記入してください。

→ %

3 給与した飼料（自給分）

（1） 家畜に給与する目的で栽培した飼料のうち、令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた飼料について、**①数量**、**②単位**、**③調査対象畜負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は①に「－」を記入）

区分		飼料の例示	生牧草等（生で給与するもの） ①数量	②単位	③調査対象畜負担割合
いね科	デントコーン		万		%
	イタリアンライグラス		万		%
	ソルゴー		万		%
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ			
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草	万		%
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草	万		%
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草	万		%
その他の飼料		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等	万		%
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類	万		%
いも類及野菜類		かんしょ、いもづる等	万		%
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの	万		%
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの			
放牧時間（放牧場）		放牧場における放牧時間	万	時間	%

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

乾牧草（乾燥させて給与するもの）			サイレージ（発酵させて給与するもの）		
①数量	②単位	③調査対象畜負担割合	①数量	②単位	③調査対象畜負担割合
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
			万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%			

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培したが、たまたま令和○年の1年間に調査対象畜に与えた作物はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (3)へ

(3) ((2)で「ある」を選択した方のみお答えください。)たまたま令和○年の1年間に調査対象畜に与えた作物について、**①作物名、②数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

①作物名	②数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

4 種付料

(1) 令和〇年の1年間に種付けに支払った料金はいくらでしたか(精液代、種付料等)。
(該当がない場合は「－」を記入)

種付料金	億 万 円

(2) 令和〇年の1年間の自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数は何回ですか。
(該当がない場合は「－」を記入)

延べ種付回数	万 回

5 使用した敷料(購入分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、購入した分について、**①使用した敷料の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①使用した敷料の購入金額	②調査対象畜負担割合
使用した敷料「計」	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)		
稲わら	万 円	%
おがくず	万 円	%
麦わら	万 円	%
乾牧草	万 円	%
その他	万 円	%

(2) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料を物々交換により入手しましたか。

物々交換していない	① → 次ページへ
物々交換した	② → (3)へ

(3) ((2)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料と交換した**①品目名**、**②数量**、**③単位**を記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量	③単位
	万	
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

6 使用した敷料(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の敷料について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

7 きゅう肥の利用状況

(1) 令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合
販売用(物々交換含む。)	%
自家利用	%
廃棄	%
計	1 0 0 %

販売用(物々交換含む。)に該当がない場合は次ページへ

販売用(物々交換含む。)に該当がある場合は(2)へ

(2) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥のうち、販売したものについて、その金額を記入してください。なお、物々交換分の金額は含みません。

区分	金額
販売用	万 円

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、材料費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

(3) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥で物々交換をしましたか。

物々交換していない	①
物々交換した	②

① → 次ページへ

② → (4)へ

(4) ((3)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥と交換した**①品目名、②数量、③単位**について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量	③単位
	万	
	万	
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

8 使用した光熱動力（購入分）

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用した光熱動力の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100（%）と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100（%）と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①使用した光熱動力の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
使用した光熱動力（購入分）「計」	万 円	%	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
重油	万 円	%	%
軽油	万 円	%	%
灯油	万 円	%	%
ガソリン	万 円	%	%
水道料	万 円	%	%
電力料	万 円	%	%
その他	万 円	%	%

9 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の光熱動力について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合	⑤自給飼料負担割合
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

10 獣医師料及び医薬品費

令和〇年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
獣医師料及び医薬品費「計」	万 円	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)			
獣医師料	万 円	%	獣医師に支払った診療代(投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金	万 円	%	家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医薬品費	万 円	%	牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等	万 円	%	上記以外の医療・衛生費・倉庫の消毒剤　等

11 賃借料及び料金

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を、「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」	万 円	%	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
共同負担金	万 円	%	%	共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	万 円	%	%	農機具のリース代
その他	万 円	%	%	削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金 等

12 草地費(草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金)

(1) 令和○年の1年間に草地開発のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。
(該当がない区分は「－」を記入)

区分	草地開発事業負担金
草地造成事業	万 円
草地整備事業	万 円

(2) 令和○年の1年間に土地改良事業のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。
(該当がない区分は「－」を記入)

区分	土地改良事業負担金
ほ場整備事業	万 円
農地開発事業	万 円
かんがい排水事業	万 円
農道(牧道)整備事業	万 円
その他の整備事業	万 円

13 使用したその他の諸材料(購入分)

前記1～12以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、購入した分について、**①使用したその他の諸材料の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

前記1～12(飼料/種付料/敷料/きゅう肥/光熱動力/獣医師料及び医薬品費/賃借料及び料金/草地費)以外について記入してください。

区分	①使用したその他の諸材料の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
使用したその他の諸材料(購入分)「計」	万 円	%	%	【調査対象畜に使用した資材例】ロープ、縄、ビニールシート、ハエ取り紙 など 【自給飼料の生産に使用した資材例】飼料の種子、肥料、農薬、きゅう肥(購入)など
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	

注:くわ、かま等の農具や作業着等については、24 ページの「1 農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

14 使用したその他の諸材料(自給分)

(1) 前記1～13 以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の資材について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合	⑤自給飼料負担割合
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために新たに購入し使用した農具や農業被服等について、**①使用した農具・農業被服等の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100（%）と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①使用した農具・農業被服等の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・スコップ類 ・ホース ・じょうろ ・草かき ・飼料桶 等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100（%）と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	

1 物件税

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の物件税について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分		①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
物件税「計」		億 万 円	%	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
固定資産税（※）	建物	億 万 円	%	%
	農機具	億 万 円	%	%
都市計画税（土地以外）（※）		億 万 円	%	%
不動産取得税（土地以外）（※）		億 万 円	%	%
共同施設税		億 万 円	%	%

（※）固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の公課諸負担について、**①金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分	①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	公課諸負担の例示
公課諸負担「計」	億 万 円	%	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
集落協議会費	億 万 円	%	%	地域集落等の会費
農業協同組合費	億 万 円	%	%	農業協同組合の組合費、賦課金
肉用牛組合費	億 万 円	%	%	
農事実行組合費	億 万 円	%	%	実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金	億 万 円	%		

【5】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該建物等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該建物等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

修繕費(※) 令和〇年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年の当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内取り壊し・売却状況				部分取り壊しをした面積割合	番号
				状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額		
				取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
・バンカーサイロのビニールの張替え費　など

【6】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	修繕費(※)	自動車保険料
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	令和〇年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	令和〇年の当該自動車等の任意保険(対人・対物を除く車両部分のみ。)の掛金を記入してください。
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品

・バッテリー、補充液

・洗車代、リサイクル料金　など

●当該自動車等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該自動車等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該自動車等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

自動車・軽自動車税 令和〇年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税	自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	廃棄・無償譲渡	売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	10

【7】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。	令和〇年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

●当該農業機械等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

保険料 令和〇年の当該農業機械の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	軽自動車税 令和〇年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	年内売却・廃棄状況 状況区分 廃棄・無償譲渡	年内売却・廃棄状況 売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	10

1 所有地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(所有地)について、**①実面積、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	ほ場の例示	①実面積	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
1	建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	ha a	%	%
2	運動場	パドック、けい牧(柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。)に利用した土地	ha a	%	
3	飼料栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	ha a		%
4	放牧地	耕地以外で放牧に利用した土地	ha a	%	
5	採草地	耕地以外で飼料を採取する目的で野草を採草した土地	ha a		%

2 借入地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(借入地)について、**①実面積、②支払地代、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	①実面積		②支払地代		③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
1	建物敷地	ha	a	万	円	%	%
2	運動場	ha	a	万	円	%	
3	飼料栽培	ha	a	万	円		%
4	放牧地	ha	a	万	円	%	
5	採草地	ha	a	万	円		%

【9】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

調査対象畜及び自給飼料の生産のための借入金について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
「計」	億 万 円	万 円	%	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
買掛未払金	億 万 円	万 円	%	%

ここからは生産物の取引等の状況についてお教えください。

【10】生産物の取引等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1 農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

NO	農家団体コード
1	
2	
3	

2 調査対象畜の飼養状況

令和〇年の1年間に飼養した調査対象畜の個体情報等について、個体識別番号ごとに記入してください。なお、牛トレサデータから取得した情報や前年の回答はあらかじめ印字しています。

番号	個体識別番号（10 桁の耳標番号）	名称（記入は任意）	種類	品種	性別		生産年月		子牛のみ記入				
									母畜の個体識別番号（10 桁の耳標番号）	売却（地域の標準的な売却月齢に達した）			
					雄	雌	年（西暦）	月		年（西暦）	月	月齢	生体重
1					○	○	年	月		年	月	ヶ月	kg
2					○	○	年	月		年	月	ヶ月	kg
3					○	○	年	月		年	月	ヶ月	kg
4					○	○	年	月		年	月	ヶ月	kg
5					○	○	年	月		年	月	ヶ月	kg
6					○	○	年	月		年	月	ヶ月	kg
7					○	○	年	月		年	月	ヶ月	kg
8					○	○	年	月		年	月	ヶ月	kg
9					○	○	年	月		年	月	ヶ月	kg
10					○	○	年	月		年	月	ヶ月	kg

購入価額は、取得に直接要した手数料や運賃などを含めて記入してください。
売却価額は、受取金額から市場手数料や出荷に関する経費（運送費、材料費等）を除いた金額を記入してください。

繁殖雌牛の成畜は、初回種付け時です。

繁殖雌牛のみ記入												
購入			成畜			売却			死亡年月		番号
年（西暦）	月	価額	年（西暦）	月	価額	年（西暦）	月	価額	年（西暦）	月	
年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	1
年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	2
年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	3
年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	4
年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	5
年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	6
年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	7
年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	8
年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	9
年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	万　円	年	月	10

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第20号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－20

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和〇年 肥育牛（去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛）生産費統計 調査票

✔調査対象畜

以下のうち、✓の付いた肥育牛が本調査の調査対象畜です。

□ 去勢若齢肥育牛　　□ 乳用雄肥育牛　　□ 交雑種肥育牛

✔本調査の対象範囲

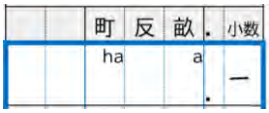
・令和〇年1月から12月の１年間についてお答えください。
・調査対象畜（「去勢若齢肥育牛」「乳用雄肥育牛」「交雑種肥育牛」のいずれか）及び自給飼料についてお答えください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

✔記入にあたって

（記入例1）123.4 アールの場合



（記入例2）該当がない場合

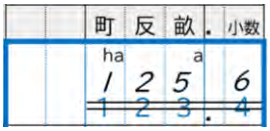


・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答や牛トレサデータをあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例３）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 作業別労働時間 …… 5

【2】 調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等 …… 8

【3】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 24

【4】 物件税及び公課諸負担 …… 26

【5】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 28

【6】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 30

【7】 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 32

【8】 地代(所有地及び借入地) …… 34

【9】 借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 36

【10】生産物の取引等の状況 …… 37

まずは令和〇年1年間の調査対象畜や自給飼料に関する作業時間等についてお教えください。

調査対象畜とは、以下のとおりです。

調査対象畜（調査範囲）

●去勢若齢肥育牛生産費の場合
肉用に販売する目的で肥育している去勢和牛

●乳用雄肥育牛生産費の場合
肉用に販売する目的で肥育している乳用種の雄牛

●交雑種肥育牛生産費の場合
肉用に販売する目的で肥育している交雑種の牛

※いずれも育成段階の牛は対象としない。自家育成の牛については、
肥育用もと牛として地域で一般的に取引される月齢に達した牛を対象とする。

自給飼料とは、以下のとおりです。

自給飼料（調査範囲）

生産した飼料全て
（調査対象畜に給与したものの他、調査対象畜以外に給与したものや、販売又は廃棄したものも含む。）

1　調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇)

(1) 令和〇年に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。

その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
・衛生管理(殺虫剤の散布等)

作業者	年齢	性別	定型作業内容					
			飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
			1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

(2) (1)に記載以外の、以下の定形外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

作業者	年齢	性別	定型外作業内容			
			自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※)
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間

(※)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等

2 調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他)

(1) 令和○年の1年間に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)以外の農業従事者について、以下の区分のうち該当するものがあれば、すべてに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
雇用者(住み込みの年雇を除く。)	農業経営のために雇った者(雇用期間は問わない。)	①	②
ヘルパー		①	②
手伝い受け	集落等における手伝いを受けた場合	①	②
ゆい・手間替受け	農家間で行われる労働の等価交換	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ

すべて「いない」に○…8ページへ

(2) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)令和○年の以下の定型作業内容について、1日当たりの平均作業時間、令和○年の1年間の従事日数を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
・衛生管理(殺虫剤の散布等)

区分	性別	定型作業内容					
		飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
		1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

(3) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)(2)に記載以外の、以下の定形外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。
なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

区分	性別	定型外作業内容			
		自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※)
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間

(※)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等

(4) 雇用者に支払った賃金について、**①賃金**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●①に調査対象畜の飼養のための支払分のみを記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料の生産のための支払分のみを記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、その他の雇用者への支払分をまとめて記入する場合
それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜と自給飼料の負担割合を記入してください。

区分	①賃金	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
男性	万 円	%	%
女性	万 円	%	%

ここからは令和〇年１年間の調査対象畜や自給飼料に使用した金額等についてお教えください。

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1 給与した飼料（購入分）

令和〇年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、**①給与数量**、**②単位**、**③給与数量分の購入金額**、**④調査対象畜負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は①又は③に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。

●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		①給与数量	②単位	③給与数量分の購入金額	④調査対象畜負担割合
穀類	大麦	億 万		億 万 円	%
	その他の麦	億 万		億 万 円	%
	とうもろこし	億 万		億 万 円	%
	大豆	億 万		億 万 円	%
	飼料用米	億 万		億 万 円	%
	その他の穀類	億 万		億 万 円	%
ぬか・ふすま類	ふすま	億 万		億 万 円	%
	米・麦ぬか	億 万		億 万 円	%
	その他のぬか・ふすま類	億 万		億 万 円	%
植物性かす類	大豆油かす	億 万		億 万 円	%
	ビートパルプ	億 万		億 万 円	%
	その他の植物性かす類	億 万		億 万 円	%
配合飼料		億 万		億 万 円	%
TMR（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）		億 万		億 万 円	%
牛乳脱脂乳		億 万		億 万 円	%
いも類及び野菜類		億 万		億 万 円	%
わら類	稲わら	億 万		億 万 円	%
	その他のわら類（麦わら等）	億 万		億 万 円	%
生牧草		億 万		億 万 円	%
乾牧草	ヘイキューブ	億 万		億 万 円	%
	その他の乾牧草	億 万		億 万 円	%
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）	億 万		億 万 円	%
	稲発酵粗飼料	億 万		億 万 円	%
	その他のサイレージ	億 万		億 万 円	%
上記以外の購入飼料				億 万 円	%

2 飼料の生産状況

栽培した飼料の生産状況について、令和〇年の1年間の**①作付面積**、**②総収穫量**、**③単位**を記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

総収穫量とは、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

区分		飼料の例示	1年間の飼料の生産状況 ①作付面積 町 反 畝	②総収穫量	③単位
いね科	デントコーン		ha a	万	
	イタリアンライグラス		ha a	万	
	ソルゴー		ha a	万	
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ	ha a	万	
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草	ha a	万	
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草	ha a	万	
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草	ha a	万	
その他の飼料		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等	ha a	万	
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類	ha a	万	
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等	ha a	万	
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの	ha a	万	
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの	ha a	万	
放牧場			ha a		

生産した飼料のうち、調査対象畜に給与した割合

%

・自家生産した飼料の全量を調査対象畜に給与した（予定も含む。）場合には100（%）としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合や、販売（又は廃棄）した場合には、総収穫量のうち調査対象畜に給与した割合を記入してください。

3 給与した飼料（自給分）

（1） 家畜に給与する目的で栽培した飼料のうち、令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた飼料について、**①数量**、**②単位**、**③調査対象畜負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は①に「－」を記入）

区分		飼料の例示	生牧草等（生で給与するもの） ①数量	②単位	③調査対象畜負担割合
いね科	デントコーン		万		%
	イタリアンライグラス		万		%
	ソルゴー		万		%
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ			
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草	万		%
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草	万		%
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草	万		%
その他の飼料		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等	万		%
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類	万		%
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等	万		%
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの	万		%
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの			
放牧時間		放牧場における放牧時間	万	時間	%

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

乾牧草（乾燥させて給与するもの）			サイレージ（発酵させて給与するもの）		
①数量	②単位	③調査対象畜負担割合	①数量	②単位	③調査対象畜負担割合
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
			万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%			

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培したが、たまたま令和○年の1年間に調査対象畜に与えた作物はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (3)へ

(3) ((2)で「ある」を選択した方のみお答えください。)たまたま令和○年の1年間に調査対象畜に与えた作物について、**①作物名、②数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

①作物名	②数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

4 使用した敷料(購入分)

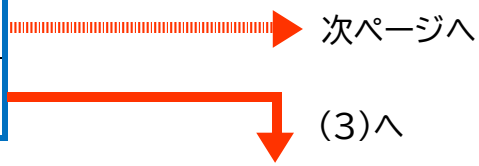
(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、購入した分について、**①使用した敷料の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①使用した敷料の購入金額	②調査対象畜負担割合
使用した敷料(購入分)「計」	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)		
稲わら	万 円	%
おがくず	万 円	%
麦わら	万 円	%
乾牧草	万 円	%
その他	万 円	%

(2) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料を物々交換により入手しましたか。

物々交換していない	①
物々交換した	②



(3) ((2)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料と交換した**①品目名、②数量、③単位**について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量	③単位
	万	
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 使用した敷料(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の敷料について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

6 きゅう肥の利用状況

(1) 令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合
販売用(物々交換含む。)	%
自家利用	%
廃棄	%
計	1 0 0 %

販売用(物々交換含む。)に該当がない場合は次ページへ

販売用(物々交換含む。)に該当がある場合は(2)へ

(2) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥のうち、販売したものについて、その金額を記入してください。なお、物々交換分の金額は含みません。

区分	金額
販売用	万 円

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、材料費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

(3) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥で物々交換をしましたか。

物々交換していない	①
物々交換した	②

次ページへ

(4)へ

(4) ((3)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥と交換した**①品目名、②数量、③単位**について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量	③単位
	万	
	万	
	万	
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

7 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用した光熱動力の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①使用した光熱動力の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」	万 円	%	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)			
重油	万 円	%	%
軽油	万 円	%	%
灯油	万 円	%	%
ガソリン	万 円	%	%
水道料	万 円	%	%
電力料	万 円	%	%
その他	万 円	%	%

8 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の光熱動力について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合	⑤自給飼料負担割合
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

9 獣医師料及び医薬品費

令和〇年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
獣医師料及び医薬品費「計」	万 円	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)			
獣医師料	万 円	%	獣医師に支払った診療代(投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金	万 円	%	家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医薬品費	万 円	%	牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等	万 円	%	上記以外の医療・衛生費・倉庫の消毒剤等

10 賃借料及び料金

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」	万 円	%	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
共同負担金	万 円	%	%	共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	万 円	%	%	農機具のリース代
その他	万 円	%	%	削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金　等

11 草地費(草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金)

(1) 令和○年の1年間に草地開発のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。
(該当がない区分は「－」を記入)

区分	草地開発事業負担金
草地造成事業	万 円
草地整備事業	万 円

(2) 令和○年の1年間に土地改良事業のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。
(該当がない区分は「－」を記入)

区分	土地改良事業負担金
ほ場整備事業	万 円
農地開発事業	万 円
かんがい排水事業	万 円
農道(牧道)整備事業	万 円
その他の整備事業	万 円

12 使用したその他の諸材料（購入分）

前記1～11以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、購入した分について、**①使用したその他の諸材料の購入金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

前記1～11（飼料/敷料/きゅう肥/光熱動力/獣医師料及び医薬品費/賃借料及び料金/草地費）以外について記入してください。

区分	①使用したその他の諸材料の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
使用したその他の諸材料（購入分）「計」	万 円	%	%	【調査対象畜に使用した資材例】 ロープ、縄、ビニールシート、ハエ取り紙　など 【自給飼料の生産に使用した資材例】 飼料の種子、肥料、農薬、きゅう肥（購入）など
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	

注：くわ、かま等の農具や作業着等については、24 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

13 使用したその他の諸材料(自給分)

(1) 前記1～12 以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の資材について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合	⑤自給飼料負担割合
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために新たに購入し使用した農具や農業被服等について、**①使用した農具・農業被服等の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100（%）と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①使用した農具・農業被服等の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・スコップ類 ・ホース ・じょうろ ・草かき ・飼料桶 等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業費 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100（%）と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	

1 物件税

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の物件税について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分		①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
物件税「計」		億　万　円	%	%
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
固定資産税（※）	建物	億　万　円	%	%
	農機具	億　万　円	%	%
都市計画税（土地以外）（※）		億　万　円	%	%
不動産取得税（土地以外）（※）		億　万　円	%	%
共同施設税		億　万　円	%	%

（※）固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の公課諸負担について、**①金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分	①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	公課諸負担の例示
公課諸負担「計」	億 万 円	%	%	
内訳欄 （以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
集落協議会費	億 万 円	%	%	地域集落等の会費
農業協同組合費	億 万 円	%	%	農業協同組合の組合費、賦課金
肉用牛組合費	億 万 円	%	%	
農事実行組合費	億 万 円	%	%	実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金	億 万 円	%		

【5】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)
1		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
2		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
3		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
4		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
5		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
6		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
7		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
8		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
9		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
10		〇	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該建物等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●当該建物等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

修繕費(※) 令和〇年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年の当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内取り壊し・売却状況				番号
				状況区分			発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
				取り壊し	部分取り壊し	売却			
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
・バンカーサイロのビニールの張替え費　など

【6】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	修繕費(※)	自動車保険料
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	令和〇年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	令和〇年の当該自動車等の任意保険(対人・対物を除く車両部分のみ。)の掛金を記入してください。
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

●当該自動車等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該自動車等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該自動車等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

自動車・軽自動車税 令和〇年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税	自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	廃棄・無償譲渡	売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	10

【7】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。	令和〇年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

●当該農業機械等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

保険料 令和〇年の当該農業機械の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	軽自動車税 令和〇年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	年内売却・廃棄状況 状況区分 廃棄・無償譲渡	年内売却・廃棄状況 売却金額	番号
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	10

1 所有地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(所有地)について、**①実面積、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	ほ場の例示	①実面積	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
1	建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	ha a	%	%
2	運動場	パドック、けい牧(柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。)に利用した土地	ha a	%	
3	飼料栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	ha a		%
4	放牧地	耕地以外で放牧に利用した土地	ha a	%	
5	採草地	耕地以外で飼料を採取する目的で野草を採草した土地	ha a		%

2 借入地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(借入地)について、**①実面積、②支払地代、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	①実面積	②支払地代	③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
1	建物敷地	ha a	万 円	%	%
2	運動場	ha a	万 円	%	
3	飼料栽培	ha a	万 円		%
4	放牧地	ha a	万 円	%	
5	採草地	ha a	万 円		%

【9】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

調査対象畜及び自給飼料の生産のための借入金について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
「計」	億 万 円	万 円	%	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
買掛未払金	億 万 円	万 円	%	%

ここからは生産物の取引等の状況についてお教えください。

【10】生産物の取引等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

NO	農家団体コード
1	
2	
3	

2 調査対象畜の飼養状況

令和〇年の1年間に飼養した調査対象畜の個体情報等について、個体識別番号ごとに記入してください。なお、牛トレサデータから取得した情報や前年の回答はあらかじめ印字しています。

番号	個体識別番号 (10 桁の耳標番号)	名称 (記入は任意)	種類	品種	性別		生産年月	
					雄	雌	年 (西暦)	月
1					○	○	年	月
2					○	○	年	月
3					○	○	年	月
4					○	○	年	月
5					○	○	年	月
6					○	○	年	月
7					○	○	年	月
8					○	○	年	月
9					○	○	年	月
10					○	○	年	月

購入価額は、取得に直接要した手数料や運賃などを含めた金額を記入してください。
売却価額は、受取金額から市場手数料や出荷に関する経費（運送費、材料費等）を除いた金額を記入してください。

購入（地域の標準的な導入月齢に達した）				売却（地域の標準的な売却月齢に達した）					死亡年月		番号
年（西暦）	月	月齢	価額	年（西暦）	月	月齢	生体重	価額（事故畜のみ）	年（西暦）	月	
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	1
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	2
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	3
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	4
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	5
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	6
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	7
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	8
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	9
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	10

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第21号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

記入用紙

別添3－21

令和〇年 育成牛（乳用雄育成牛 交雑種育成牛） 生産費統計 調査票

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

✔調査対象畜

以下のうち、✓の付いた育成牛が本調査の調査対象畜です。

☐ 乳用雄育成牛　　☐ 交雑種育成牛

✔本調査の対象範囲

・令和〇年1月から12月の１年間についてお答えください。
・調査対象畜（「乳用雄育成牛」「交雑種育成牛」のいずれか）及び自給飼料についてお答えください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

✔記入にあたって

・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
　なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
　「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
		1	2	3	.	4

（記入例2）該当がない場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
					.	－

✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答や牛トレサデータをあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例３）
印字内容を修正する場合

		町	反	畝	.	小数
		ha		a		
		1	2	5		6
		~~1~~	~~2~~	~~3~~	.	~~4~~

2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 作業別労働時間 …… 5

【2】 調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等 …… 8

【3】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 24

【4】 物件税及び公課諸負担 …… 26

【5】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 28

【6】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 30

【7】 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 32

【8】 地代(所有地及び借入地) …… 34

【9】 借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 36

【10】生産物の取引等の状況 …… 37

まずは令和〇年1年間の調査対象畜や自給飼料に関する作業時間等についてお教えください。

調査対象畜とは、以下のとおりです。

調査対象畜（調査範囲）

●乳用雄育成牛生産費の場合
肥育用もと牛として育成している乳用種の雄牛

●交雑種育成牛生産費の場合
肥育用もと牛として育成している交雑種の牛

※いずれも肥育段階の牛は対象としない。自家育成の牛については、育成用もと牛として地域で一般的に取引される月齢に達した時点から肥育用もと牛として地域で一般的に取引される月齢に達する前の牛を対象とする。

自給飼料とは、以下のとおりです。

自給飼料（調査範囲）

生産した飼料全て
（調査対象畜に給与したものの他、調査対象畜以外に給与したものや、販売又は廃棄したものも含む。）

1　調査対象畜や自給飼料に関する作業(家族・住み込みの年雇)

(1) 令和〇年に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。

その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
・衛生管理(殺虫剤の散布等)

作業者	年齢	性別	定型作業内容					
			飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
			1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

(2) (1)に記載以外の、以下の定形外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

作業者	年齢	性別	定型外作業内容			
			自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※)
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間

(※)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等

2 調査対象畜や自給飼料に関する作業(雇用・その他)

(1) 令和○年の1年間に調査対象畜や自給飼料に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)以外の農業従事者について、以下の区分のうち該当するものがあれば、すべてに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
雇用者(住み込みの年雇を除く。)	農業経営のために雇った者(雇用期間は問わない。)	①	②
ヘルパー		①	②
手伝い受け	集落等における手伝いを受けた場合	①	②
ゆい・手間替受け	農家間で行われる労働の等価交換	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ

すべて「いない」に○…8ページへ

(2) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)令和○年の以下の定型作業内容について、1日当たりの平均作業時間、令和○年の1年間の従事日数を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
・衛生管理(殺虫剤の散布等)

区分	性別	定型作業内容					
		飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
		1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

(3) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)(2)に記載以外の、以下の定形外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

「区分」には雇用者、ヘルパー、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。
なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

区分	性別	定型外作業内容			
		自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※)
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間

(※)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等

(4) 雇用者に支払った賃金について、**①賃金**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●①に調査対象畜の飼養のための支払分のみを記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料の生産のための支払分のみを記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、その他の雇用者への支払分をまとめて記入する場合
それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜と自給飼料の負担割合を記入してください。

区分	①賃金	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
男性	万 円	%	%
女性	万 円	%	%

ここからは令和〇年１年間の調査対象畜や自給飼料に使用した金額等についてお教えください。

【2】調査対象畜及び自給飼料の生産に使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1 給与した飼料（購入分）

令和〇年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、**①給与数量**、**②単位**、**③給与数量分の購入金額**、**④調査対象畜負担割合**を記入してください。

（該当がない区分は①又は③に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。

●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		①給与数量	②単位	③給与数量分の購入金額	④調査対象畜負担割合
穀類	大麦	億 万		億 万 円	%
	その他の麦	億 万		億 万 円	%
	とうもろこし	億 万		億 万 円	%
	大豆	億 万		億 万 円	%
	飼料用米	億 万		億 万 円	%
	その他の穀類	億 万		億 万 円	%
ぬか・ふすま類	ふすま	億 万		億 万 円	%
	米・麦ぬか	億 万		億 万 円	%
	その他のぬか・ふすま類	億 万		億 万 円	%
植物性かす類	大豆油かす	億 万		億 万 円	%
	ビートパルプ	億 万		億 万 円	%
	その他の植物性かす類	億 万		億 万 円	%
配合飼料		億 万		億 万 円	%
TMR（粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）		億 万		億 万 円	%
牛乳脱脂乳		億 万		億 万 円	%
いも類及び野菜類		億 万		億 万 円	%
わら類	稲わら	億 万		億 万 円	%
	その他のわら類（麦わら等）	億 万		億 万 円	%
生牧草		億 万		億 万 円	%
乾牧草	ヘイキューブ	億 万		億 万 円	%
	その他の乾牧草	億 万		億 万 円	%
サイレージ	いね科（稲発酵粗飼料を除く。）	億 万		億 万 円	%
	稲発酵粗飼料	億 万		億 万 円	%
	その他のサイレージ	億 万		億 万 円	%
上記以外の購入飼料				億 万 円	%

2 飼料の生産状況

栽培した飼料の生産状況について、令和〇年の1年間の**①作付面積**、**②総収穫量**、**③単位**を記入してください。

（該当がない区分は①に「－」を記入）

総収穫量とは、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

区分		飼料の例示	1年間の飼料の生産状況 ①作付面積 町 反 畝	②総収穫量	③単位
いね科	デントコーン		ha a	万	
	イタリアンライグラス		ha a	万	
	ソルゴー		ha a	万	
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ	ha a	万	
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草	ha a	万	
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草	ha a	万	
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草	ha a	万	
その他の飼料		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等	ha a	万	
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類	ha a	万	
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等	ha a	万	
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの	ha a	万	
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの	ha a	万	
放牧場			ha a		

生産した飼料のうち、調査対象畜に給与した割合

%

・自家生産した飼料の全量を調査対象畜に給与した（予定も含む。）場合には100（%）としてください。
・調査対象畜以外にも給与した場合や、販売（又は廃棄）した場合には、総収穫量のうち調査対象畜に給与した割合を記入してください。

3 給与した飼料(自給分)

(1) 家畜に給与する目的で栽培した飼料のうち、令和○年の1年間に調査対象畜に与えた飼料について、**①数量**、**②単位**、**③調査対象畜負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

区分		飼料の例示	生牧草等(生で給与するもの) ①数量	②単位	③調査対象畜負担割合
いね科	デントコーン		万		%
	イタリアンライグラス		万		%
	ソルゴー		万		%
	稲発酵粗飼料	WCS:ホールクロップサイレージ			
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草	万		%
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草	万		%
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草	万		%
その他の飼料		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等	万		%
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類	万		%
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等	万		%
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの	万		%
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの			
放牧時間		放牧場における放牧時間	万	時間	%

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

乾牧草（乾燥させて給与するもの）			サイレージ（発酵させて給与するもの）		
①数量	②単位	③調査対象畜負担割合	①数量	②単位	③調査対象畜負担割合
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
			万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%	万		%
万		%			

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培したが、たまたま令和○年の1年間に調査対象畜に与えた作物はありますか。

ない	①	→ 次ページへ
ある	②	→ (3)へ

(3) ((2)で「ある」を選択した方のみお答えください。)たまたま令和○年の1年間に調査対象畜に与えた作物について、**①作物名、②数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

①作物名	②数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

4 使用した敷料(購入分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、購入した分について、**①使用した敷料の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①使用した敷料の購入金額	②調査対象畜負担割合
使用した敷料(購入分)「計」	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)		
稲わら	万 円	%
おがくず	万 円	%
麦わら	万 円	%
乾牧草	万 円	%
その他	万 円	%

(2) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料を物々交換により入手しましたか。

物々交換していない	① → 次ページへ
物々交換した	② → (3)へ

(3) ((2)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料と交換した**①品目名、②数量、③単位**について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量	③単位
	万	
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 使用した敷料(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の敷料について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

6 きゅう肥の利用状況

(1) 令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合
販売用(物々交換含む。)	%
自家利用	%
廃棄	%
計	1 0 0 %

販売用(物々交換含む。)に該当がない場合は次ページへ

販売用(物々交換含む。)に該当がある場合は(2)へ

(2) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥のうち、販売したものについて、その金額を記入してください。なお、物々交換分の金額は含みません。

区分	金額
販売用	万 円

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、材料費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

(3) ((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥で物々交換をしましたか。

物々交換していない	①
物々交換した	②

① → 次ページへ

② → (4)へ

(4) ((3)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥と交換した**①品目名、②数量、③単位**について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量	③単位
	万	
	万	
	万	
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

7 使用した光熱動力(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用した光熱動力の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①使用した光熱動力の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」	万 円	%	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)			
重油	万 円	%	%
軽油	万 円	%	%
灯油	万 円	%	%
ガソリン	万 円	%	%
水道料	万 円	%	%
電力料	万 円	%	%
その他	万 円	%	%

8 使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の光熱動力について、**①光熱動力名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合、⑤自給飼料負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合	⑤自給飼料負担割合
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

9 獣医師料及び医薬品費

令和〇年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
獣医師料及び医薬品費「計」	万 円	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)			
獣医師料	万 円	%	獣医師に支払った診療代(投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金	万 円	%	家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医薬品費	万 円	%	牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等	万 円	%	上記以外の医療・衛生費・倉庫の消毒剤等

10 賃借料及び料金

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」	万 円	%	%	
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
共同負担金	万 円	%	%	共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	万 円	%	%	農機具のリース代
その他	万 円	%	%	削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金　等

11 草地費(草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金)

(1) 令和〇年の1年間に草地開発のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。
(該当がない区分は「－」を記入)

区分	草地開発事業負担金
草地造成事業	万 円
草地整備事業	万 円

(2) 令和〇年の1年間に土地改良事業のために支払った金額はいくらですか。なお、償還金を含めて記入してください。
(該当がない区分は「－」を記入)

区分	土地改良事業負担金
ほ場整備事業	万 円
農地開発事業	万 円
かんがい排水事業	万 円
農道(牧道)整備事業	万 円
その他の整備事業	万 円

12 使用したその他の諸材料（購入分）

前記1～11以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、購入した分について、**①使用したその他の諸材料の購入金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

前記1～11（飼料/敷料/きゅう肥/光熱動力/獣医師料及び医薬品費/賃借料及び料金/草地費）以外について記入してください。

区分	①使用したその他の諸材料の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
使用したその他の諸材料（購入分）「計」	万 円	%	%	【調査対象畜に使用した資材例】 ロープ、縄、ビニールシート、ハエ取り紙　など 【自給飼料の生産に使用した資材例】 飼料の種子、肥料、農薬、きゅう肥（購入）など
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	
	万 円	%	%	

注：くわ、かま等の農具や作業着等については、24 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

13 使用したその他の諸材料(自給分)

(1) 前記1～12 以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した資材のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自給分(自家生産した分)の資材について、**①資材名**、**②使用数量**、**③単位**、**④調査対象畜負担割合**、**⑤自給飼料負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に自給飼料のみに使用した数量を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合	⑤自給飼料負担割合
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%
	万		%	%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために新たに購入し使用した農具や農業被服等について、**①使用した農具・農業被服等の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に 100（%）と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①使用した農具・農業被服等の購入金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・スコップ類 ・ホース ・じょうろ ・草かき ・飼料桶 等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業費 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	

2 生産管理関係の費用

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100（%）と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

名称	①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	
	万　円	%	%	

1 物件税

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の物件税について、**①金額、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分		①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
物件税「計」		億　万　円	%	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
固定資産税(※)	建物	億　万　円	%	%
	農機具	億　万　円	%	%
都市計画税(土地以外)(※)		億　万　円	%	%
不動産取得税(土地以外)(※)		億　万　円	%	%
共同施設税		億　万　円	%	%

(※)固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2 公課諸負担

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために負担した以下の公課諸負担について、**①金額**、**②調査対象畜負担割合**、**③自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に自給飼料のみの負担分を記入する場合
自給飼料負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料の負担割合をそれぞれ記入してください。

区分	①金額	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合	公課諸負担の例示
公課諸負担「計」	億 万 円	%	%	
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）				
集落協議会費	億 万 円	%	%	地域集落等の会費
農業協同組合費	億 万 円	%	%	農業協同組合の組合費、賦課金
肉用牛組合費	億 万 円	%	%	
農事実行組合費	億 万 円	%	%	実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金	億 万 円	%		

【5】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金(建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)
1		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
2		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
3		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
4		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
5		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
6		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
7		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
8		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
9		〇	年	年	月	億 万 円	万 円
10		〇	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該建物等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。
●当該建物等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

修繕費(※) 令和〇年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年の当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内取り壊し・売却状況				番号
				状況区分 取り壊し	状況区分 部分取り壊し	状況区分 売却	発生金額 売却金額、取り壊しの金額	部分取り壊しをした面積割合	
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	1
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	2
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	3
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	4
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	5
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	6
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	7
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	8
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	9
万 円	万 円	%	%	○	○	○	万 円	%	10

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
・バンカーサイロのビニールの張替え費　など

【6】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	修繕費(※)	自動車保険料
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	令和〇年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	令和〇年の当該自動車等の任意保険(対人・対物を除く車両部分のみ。)の掛金を記入してください。
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー、補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

●当該自動車等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該自動車等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該自動車等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

自動車・軽自動車税 令和〇年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税	自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	廃棄・無償譲渡	売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	10

【7】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額 (購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	農業経営基盤強化準備金 (農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	修繕費(※) (令和〇年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。)
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

●当該農業機械等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を自給飼料のみに使用した場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した場合
調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

保険料 令和〇年の当該農業機械の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	軽自動車税 令和〇年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	調査対象畜負担割合	自給飼料負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	年内売却・廃棄状況 状況区分 廃棄・無償譲渡	年内売却・廃棄状況 売却金額	番号
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	%	○	○	万 円	10

1 所有地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(所有地)について、**①実面積、②調査対象畜負担割合、③自給飼料負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	ほ場の例示	①実面積	②調査対象畜負担割合	③自給飼料負担割合
1	建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	ha a	%	%
2	運動場	パドック、けい牧(柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。)に利用した土地	ha a	%	
3	飼料栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	ha a		%
4	放牧地	耕地以外で放牧に利用した土地	ha a	%	
5	採草地	耕地以外で飼料を採取する目的で野草を採草した土地	ha a		%

2 借入地

令和〇年の1年間に調査対象畜及び自給飼料の生産のために使用した土地(借入地)について、**①実面積、②支払地代、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に自給飼料のみに使用した面積を記入する場合
自給飼料負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

番号	ほ場名	①実面積	②支払地代	③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
1	建物敷地	ha a	万 円	%	%
2	運動場	ha a	万 円	%	
3	飼料栽培	ha a	万 円		%
4	放牧地	ha a	万 円	%	
5	採草地	ha a	万 円		%

【9】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

調査対象畜及び自給飼料の生産のための借入金について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③調査対象畜負担割合、④自給飼料負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。

●①に自給飼料のみに使用した金額を記入する場合
自給飼料負担割合に100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜、自給飼料、それ以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜と自給飼料に使用した割合をそれぞれ記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③調査対象畜負担割合	④自給飼料負担割合
「計」	億 万 円	万 円	%	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)				
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
借入金	億 万 円	万 円	%	%
買掛未払金	億 万 円	万 円	%	%

ここからは生産物の取引等の状況についてお教えください。

【10】生産物の取引等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

NO	農家団体コード
1	
2	
3	

2 調査対象畜の飼養状況

令和〇年の1年間に飼養した調査対象畜の個体情報等について、個体識別番号ごとに記入してください。なお、牛トレサデータから取得した情報や前年の回答はあらかじめ印字しています。

番号	個体識別番号 (10 桁の耳標番号)	名称 (記入は任意)	種類	品種	性別		生産年月	
					雄	雌	年 (西暦)	月
1					○	○	年	月
2					○	○	年	月
3					○	○	年	月
4					○	○	年	月
5					○	○	年	月
6					○	○	年	月
7					○	○	年	月
8					○	○	年	月
9					○	○	年	月
10					○	○	年	月

購入価額は、取得に直接要した手数料や運賃などを含めた金額を記入してください。
売却価額は、受取金額から市場手数料や出荷に関する経費（運送費、材料費等）を除いた金額を記入してください。

購入（地域の標準的な導入月齢に達した）				売却（地域の標準的な売却月齢に達した）					死亡年月		番号
年（西暦）	月	月齢	価額	年（西暦）	月	月齢	生体重	価額（事故畜のみ）	年（西暦）	月	
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	1
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	2
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	3
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	4
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	5
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	6
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	7
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	8
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	9
年	月	ヶ月	万 円	年	月	ヶ月	kg	万 円	年	月	10

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別記様式第22号

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

記入用紙

別添3－22

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

令和〇年 肥育豚 生産費統計 調査票

✔本調査の対象範囲

・令和〇年1月～12月の１年間についてお答えください。
・調査対象畜（肥育豚）についてお答えください。
・金額は消費税を含めて記入してください。

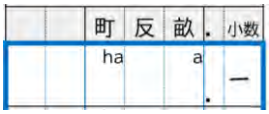
✔記入にあたって

・黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用して青枠内に記入してください。
　なお、回答欄に「内訳」欄と「計」欄がある設問では、
　「内訳」欄に記入した場合、「計」欄への記入は不要です。
・数字は右づめで記入してください。
・該当がない項目は「－」を記入してください。
・マスが足りない場合は一番左のマス（桁）にまとめて、記入してください。
・回答欄の単位に満たない数字は四捨五入をして記入してください。
・オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。
・「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。

（記入例1）123.4 アールの場合



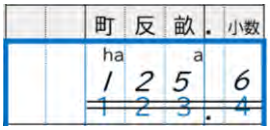
（記入例2）該当がない場合



✔記入欄にあらかじめ印字されている場合

・一部の設問では、前年の回答をあらかじめ青字で印字しています。
・変更や修正がありましたら、二重線で取り消し、正しい内容を記載してください（訂正印は不要です。）。

（記入例３）
印字内容を修正する場合



2025 年センサス番号	都道府県		市区町村			旧市区町村		農業集落			調査区			客体番号		

目次

【1】 作業別労働時間 …… 4

【2】 生産物の取引等の状況 …… 7

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 ……12

【4】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 22

【5】 物件税及び公課諸負担 …… 24

【6】 建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況 …… 26

【7】 自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況 …… 28

【8】 農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況 …… 30

【9】 地代(所有地及び借入地) …… 32

【10】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子 …… 33

まずは令和〇年1年間の調査対象畜に関する作業時間等についてお教えください。

調査対象畜とは、以下のとおりです。

調査対象畜（調査範囲）

肉豚　…肉用に販売する目的で飼育している豚

繁殖豚…繁殖用の雄豚及び雌豚
（繁殖用として育成している豚、繁殖利用後に肉用に販売する目的で肥育している豚を含む。）

原種豚…繁殖豚生産のための原種豚

1　調査対象畜に関する作業（家族・住み込みの年雇）

（1） 令和〇年に調査対象畜に関する作業を行った家族（世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団）の方や同居人（住み込みの年雇）における以下の定型作業内容について、1人ずつ1日当たりの平均作業時間、令和〇年の1年間の従事日数を記入してください。

その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

作業者	年齢	性別	定型作業内容					
			飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
			1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	歳	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

（2） （1）に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和〇年の1年間の作業時間を記入してください。

作業者	年齢	性別	定型外作業内容			
			自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理（※）
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間
	歳	男 女	時間	時間	時間	時間

（※）生産管理：共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）等

2　調査対象畜に関する作業(雇用・その他)

(1) 令和○年の1年間に調査対象畜に関する作業を行った家族(世帯主を含め、夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団)の方や同居人(住み込みの年雇)以外の農業従事者について、以下の区分のうち該当するものがあれば、すべてに○を記入してください。

区分	用語の説明	いる	いない
雇用者(住み込みの年雇を除く。)	農業経営のために雇った者(雇用期間は問わない。)	①	②
手伝い受け	集落等における手伝いを受けた場合	①	②
ゆい・手間替受け	農家間で行われる労働の等価交換	①	②

1つでも「いる」に○…(2)へ

すべて「いない」に○…7ページへ

(2) ((1)に記載の農業従事者について伺います。) 令和○年の以下の定型作業内容について、1日当たりの平均作業時間、令和○年の1年間の従事日数を記入してください。

「区分」には雇用者、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

その他の飼育作業とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理(切り返し、加工)作業
・衛生管理(殺虫剤の散布等)

区分	性別	定型作業内容					
		飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
		1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間	1日当たり平均	年間
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日
	男 女	時間 分	日	時間 分	日	時間 分	日

(3) ((1)に記載の農業従事者について伺います。)(2)に記載以外の、以下の定型外作業内容について、1人ずつ令和○年の1年間の作業時間を記入してください。

「区分」には雇用者、手伝い受け、ゆい・手間替受け等、分かるように記入してください。
なお、1人ずつ、または同一性別の方をまとめて記入することができます。

区分	性別	定型外作業内容			
		自給飼料の生産	購入付帯労働	建物・農機具等の修繕	生産管理(※)
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間
	男 女	時間	時間	時間	時間

(※)生産管理:共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳(税務申告は含まない。)等

(4) 雇用者に支払った賃金について、**①賃金**、**②調査対象畜負担割合**を男女別に記入してください。なお、現物支給した場合はその金額を見積もって含めてください。

●①に調査対象畜の飼養のための支払分のみを記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜の飼養以外の支払分をまとめて記入する場合
労働時間の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

区分	①賃金		②調査対象畜負担割合	
男性	万	円		%
女性	万	円		%

ここからは令和〇年1年間の生産物の取引等の状況についてお教えください。

【2】生産物の取引等の状況

記入の仕方 ～ ページ

1　豚の飼養状況

(1) 令和〇年1年間の毎月1日時点の「肥育豚」及び「肥育用子豚」の飼養頭数を記入してください。
繁殖用とする見込みの子豚は、次の(2)に記入してください。

区分	毎月1日時点の「肥育豚」及び「肥育用子豚」の飼養頭数
1月	万　　頭
2月	万　　頭
3月	万　　頭
4月	万　　頭
5月	万　　頭
6月	万　　頭
7月	万　　頭
8月	万　　頭
9月	万　　頭
10月	万　　頭
11月	万　　頭
12月	万　　頭

(2) 令和〇年1月1日時点の繁殖豚の飼養頭数を記入してください。
（該当がない区分は「－」を記入）

区分	1月1日時点の繁殖豚の飼養頭数
繁殖雌豚	万　　頭
種雄豚	万　　頭
後継繁殖雌豚	万　　頭
後継種雄豚	万　　頭

後継繁殖雌豚、後継種雄豚とは、将来、繁殖用にするために育成している子豚です。

2　肥育豚の販売状況等

令和〇年の1年間に販売した肥育豚について、**①販売頭数**、**②販売時月齢の合計**、**③生体重**の合計を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(繁殖豚を繁殖利用後、肥育して肉用として販売した場合には、次の「3　肥育豚以外の販売状況」欄に記入してください。)。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

販売した肥育豚の月齢の合計を記入してください。
例えば、6.6 月齢の肥育豚を10頭販売した場合には、
66月(6.6 月×10頭)と記入してください。

区分	①販売頭数	②販売時月齢の合計	③生体重
「計」	万　頭	万　月	万　kg
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)			
1月	万　頭	万　月	万　kg
2月	万　頭	万　月	万　kg
3月	万　頭	万　月	万　kg
4月	万　頭	万　月	万　kg
5月	万　頭	万　月	万　kg
6月	万　頭	万　月	万　kg
7月	万　頭	万　月	万　kg
8月	万　頭	万　月	万　kg
9月	万　頭	万　月	万　kg
10月	万　頭	万　月	万　kg
11月	万　頭	万　月	万　kg
12月	万　頭	万　月	万　kg

3　肥育豚以外の販売状況

令和〇年の1年間に販売した子豚、繁殖雌豚、種雄豚、事故豚について、**①頭数**、**②平均月齢**、**③金額**を記入してください。（該当がない区分は①に「－」を記入）

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費（運送費、材料費等）を除いて記入してください（いわゆる庭先販売価額）。

区分	用語の説明	①頭数	②平均月齢 0.1月単位（一の位・小数）	③金額
子豚	肥育用・繁殖用として販売した豚、通常の出荷体重前に肉用として販売した豚	頭	月	万 円
繁殖雌豚	廃用後、販売した繁殖雌豚（廃用後、肥育して販売した豚を含む。）	頭		万 円
種雄豚	廃用後、販売した種雄豚（廃用後、肥育して販売した豚を含む。）	頭		万 円
事故豚	事故等によりとう汰し、販売した豚	頭		万 円

4　子豚等の購入状況

令和〇年の1年間に購入した子豚、繁殖雌豚、種雄豚について、**①頭数**、**②平均月齢**、**③購入価額**を記入してください。

（該当がない区分は①又は③に「－」を記入）

区分	用語の説明	①頭数	②平均月齢 0.1月単位（一の位・小数）	③購入価額
子豚	肥育用として購入した子豚	頭	月	万 円
繁殖雌豚	子取り用として購入した雌豚（将来、繁殖雌豚とする予定の子豚を含む。）			万 円
種雄豚	種付用として購入した雄豚（将来、種雄豚とする予定の子豚を含む。）			万 円

5　繁殖雌豚の分べん状況

令和〇年の1年間の**①子豚を分べんした繁殖雌豚の頭数**、**②子豚の分べん頭数**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

区分	①子豚を分べんした繁殖雌豚の頭数	②子豚の分べん頭数
「計」	頭	頭
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）		
1月	頭	万　頭
2月	頭	万　頭
3月	頭	万　頭
4月	頭	万　頭
5月	頭	万　頭
6月	頭	万　頭
7月	頭	万　頭
8月	頭	万　頭
9月	頭	万　頭
10月	頭	万　頭
11月	頭	万　頭
12月	頭	万　頭

6　死亡・とう汰した豚の状況

(1) 肥育豚及び肥育用子豚のうち令和〇年の1年間に死亡・とう汰した豚の頭数を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は「－」を記入)

区分	死亡・とう汰した豚の頭数
「計」	頭
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)	
1月	頭
2月	頭
3月	頭
4月	頭
5月	頭
6月	頭
7月	頭
8月	頭
9月	頭
10月	頭
11月	頭
12月	頭

(2) 死亡・とう汰した豚の死亡・とう汰時の平均的な月齢を小数点第1位まで記入してください。

平均月齢 0.1月単位	
一の位 ・ 小数	
.	月

ここからは令和〇年1年間の調査対象畜に使用した金額等についてお教えください。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

記入の仕方 ～ ページ

1　給与した飼料（購入分）

令和〇年の1年間に調査対象畜に給与した飼料のうち、購入した分について、**①給与数量、②単位、③給与数量分の購入金額、④調査対象畜負担割合**を記入してください。
（該当がない区分は①又は③に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
①の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

区分		①給与数量	②単位	③給与数量分の購入金額	④調査対象畜負担割合
穀類	大麦	億 万		億 万 円	%
	その他の麦	億 万		億 万 円	%
	とうもろこし	億 万		億 万 円	%
	飼料用米	億 万		億 万 円	%
	その他の穀類	億 万		億 万 円	%
ぬか・ふすま類	ふすま	億 万		億 万 円	%
	その他のぬか・ふすま類	億 万		億 万 円	%
植物性かす類		億 万		億 万 円	%
配合飼料		億 万		億 万 円	%
エコフィード		億 万		億 万 円	%
脱脂乳		億 万		億 万 円	%
いも類及び野菜類		億 万		億 万 円	%
上記以外の購入飼料				億 万 円	%

2　給与した飼料(自給分)

(1)　家畜に給与する目的以外で栽培したが、令和〇年の1年間にたまたま調査対象畜に与えた作物はありますか(家畜に給与する目的で栽培し、調査対象畜に与えた作物は、21 ページ「12 使用したその他の諸材料(自給分)」に記入してください。)。

ない	① → 3　種付料へ
ある	② → (2)へ

(2)　((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)たまたま令和〇年の1年間に調査対象畜に与えた作物について、**①作物名、②数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに給与した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に給与した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に給与した割合を記入してください。

①作物名	②数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3　種付料

令和〇年の1年間に種付けに支払った料金はいくらでしたか(精液代、種付料等)。
(該当がない場合は「－」を記入)

種付料金	億　万　円

4　使用した敷料(購入分)

(1)　令和○年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、購入した分について、**①使用した敷料の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。
なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。
(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①使用した敷料の購入金額	②調査対象畜負担割合
使用した敷料(購入分)「計」	万　円	%
内訳欄　(以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)		
稲わら	万　円	%
おがくず	万　円	%
麦わら	万　円	%
乾牧草	万　円	%
その他	万　円	%

(2)　令和○年の1年間に調査対象畜に使用した敷料を物々交換により入手しましたか。

物々交換していない	① → 次ページへ
物々交換した	② → (3)へ

(3)　((2)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和○年の1年間に調査対象畜に使用した敷料と交換した**①品目名**、**②数量**、**③単位**について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量	③単位
	万	
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5　使用した敷料(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した敷料のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の敷料について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

6　きゅう肥の利用状況

(1)　令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合	
販売用(物々交換含む。)		%
自家利用		%
廃棄		%
計	1 0 0	%

販売用(物々交換含む。)に該当がない場合は次ページへ

販売用(物々交換含む。)に該当がある場合は(2)へ

(2)　((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥のうち、販売したものについて、その金額を記入してください。なお、物々交換分の金額は含みません。

区分	金額
販売用	万　円

販売金額から販売委託手数料や出荷に関する経費(運送費、材料費等)を除いて記入してください(いわゆる庭先販売価額)。

(3)　((1)で「販売用(物々交換含む。)」に該当がある方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥で物々交換をしましたか。

物々交換していない	①
物々交換した	②

①　次ページへ

②　(4)へ

(4)　((3)で「物々交換した」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に畜舎から搬出したきゅう肥と交換した**①品目名、②数量、③単位**について記入してください。

①品目名(具体的に記入)	②数量	③単位
	万	
	万	
	万	

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

7　使用した光熱動力(購入分)

令和〇年の1年間に調査対象畜に使用した光熱動力のうち、購入した分について、**①使用した光熱動力の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。

なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①使用した光熱動力の購入金額	②調査対象畜負担割合
使用した光熱動力(購入分)「計」	万　円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)		
重油	万　円	%
軽油	万　円	%
灯油	万　円	%
ガソリン	万　円	%
水道料	万　円	%
電力料	万　円	%
その他	万　円	%

8　使用した光熱動力(自給分)

(1) 令和〇年の1年間に調査対象畜のために使用した光熱動力のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和〇年の1年間に調査対象畜のために使用した自給分(自家生産した分)の光熱動力について、**①光熱動力名**、**②使用数量**、**③単位**、**④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

①光熱動力名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

9　獣医師料及び医薬品費

令和〇年の1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
獣医師料及び医薬品費「計」	万　円	%	
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
獣医師料	万　円	%	獣医師に支払った診療代（投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金	万　円	%	家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医薬品費	万　円	%	豚に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等	万　円	%	上記以外の医療・衛生費・倉庫の消毒剤　等

10　賃借料及び料金

令和〇年の1年間に調査対象畜の飼育のために支払った賃借料や料金について、**①支払金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

区分	①支払金額	②調査対象畜負担割合	賃借料及び料金の例示
賃借料及び料金「計」	万　円	%	
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
共同負担金	万　円	%	共同利用畜舎など、共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	万　円	%	農機具のリース代
その他	万　円	%	義務付けられている検査の費用、建物の賃借料　等

11　使用したその他の諸材料（購入分）

前記1～10以外で、令和〇年の1年間に調査対象畜の飼育のために使用した資材のうち、購入した分について、**①使用したその他の諸材料の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

前記1～10（飼料/種付料/敷料/きゅう肥/光熱動力/獣医師料及び医薬品費/賃借料及び料金）以外について記入してください。

区分	①使用したその他の諸材料の購入金額	②調査対象畜負担割合	内容例示
使用したその他の諸材料（購入分）「計」	万　円	%	【調査対象畜に使用した資材例】 ロープ、縄、 ビニールシート、 ハエ取り紙　など
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

注：くわ、かま等の農具や作業着等については、22 ページの「1　農具・農業被服等の購入費」に記入してください。

12　使用したその他の諸材料(自給分)

(1) 前記1～11以外で、令和○年の1年間に調査対象畜の飼育のために使用した資材のうち、自給分(自家生産した分)はありますか。

ない	① → 次ページへ
ある	② → (2)へ

(2) ((1)で「ある」を選択した方のみお答えください。)令和○年の1年間に調査対象畜に使用した自給分(自家生産した分)の資材について、**①資材名、②使用数量、③単位、④調査対象畜負担割合**を記入してください。

●②に調査対象畜のみに使用した数量を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●②に調査対象畜以外に使用した数量を含めて記入する場合
②の数量のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

①資材名	②使用数量	③単位	④調査対象畜負担割合
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%
	万		%

注1:記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。
注2:家畜に給与する目的で栽培し、調査対象畜に与えた作物は、作物の名称を①資材名に、給与量を②使用数量に記入してください。

1　農具・農業被服等の購入費

令和〇年の1年間に調査対象畜の飼育のために新たに購入し使用した農具や農業被服等について、**①使用した農具・農業被服等の購入金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

名称	①使用した農具・農業被服等の購入金額	②調査対象畜負担割合	内容例示
農具・農業被服等の購入費「計」	万　円	%	【農具の購入費】 ・くわ類 ・かま類 ・スコップ類 ・ホース ・じょうろ ・草かき ・飼料桶　等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着 ・軍手 ・ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購入費
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

2　生産管理関係の費用

令和〇年の1年間に調査対象畜の飼育のために発生した生産管理関係の費用について、**①金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

名称	①金額	②調査対象畜負担割合	内容例示
生産管理関係の費用「計」	万　円	%	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料） ・研修等のための交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォン等の通信料
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	
	万　円	%	

1　物件税

令和〇年の1年間に調査対象畜の飼育のために負担した以下の物件税について、**①金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。(該当がない場合は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜の負担割合を記入してください。

区分		①金額	②調査対象畜負担割合
物件税「計」		億　万　円	%
内訳欄（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
固定資産税(※)	建物	億　万　円	%
	農機具	億　万　円	%
都市計画税(土地以外)(※)		億　万　円	%
不動産取得税(土地以外)(※)		億　万　円	%
共同施設税		億　万　円	%

(※)固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係る金額を除いて記入してください。

2　公課諸負担

令和〇年の1年間に調査対象畜の飼育のために負担した以下の公課諸負担について、**①金額**、**②調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

（該当がない場合は①に「－」を記入）

●①に調査対象畜のみの負担分を記入する場合
調査対象畜負担割合に100（%）と記入してください。
●①に調査対象畜以外の負担分を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜の負担割合を記入してください。

区分	①金額	②調査対象畜負担割合	公課諸負担の例示
公課諸負担「計」	億　万　円	%	
内訳欄　（以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要）			
集落協議会費	億　万　円	%	地域集落等の会費
農業協同組合費	億　万　円	%	農業協同組合の組合費、賦課金
養豚組合費	億　万　円	%	
農事実行組合費	億　万　円	%	実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金	億　万　円	%	

【6】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜の飼育のために使用した建物等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金
				年(西暦)	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。
1		○	年	年	月	億 万 円	万 円
2		○	年	年	月	億 万 円	万 円
3		○	年	年	月	億 万 円	万 円
4		○	年	年	月	億 万 円	万 円
5		○	年	年	月	億 万 円	万 円
6		○	年	年	月	億 万 円	万 円
7		○	年	年	月	億 万 円	万 円
8		○	年	年	月	億 万 円	万 円
9		○	年	年	月	億 万 円	万 円
10		○	年	年	月	億 万 円	万 円

●当該建物等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該建物等を調査対象畜以外にも使用した場合
調査対象畜に使用した割合を記入してください。

修繕費(※) 令和〇年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 令和〇年の当該建物等の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	調査対象畜負担割合	年内取り壊し・売却状況				番号
			状況区分			部分取り壊しをした面積割合	
			取り壊し	部分取り壊し	売却		
万 円	万 円	%	○	○	○	%	1
万 円	万 円	%	○	○	○	%	2
万 円	万 円	%	○	○	○	%	3
万 円	万 円	%	○	○	○	%	4
万 円	万 円	%	○	○	○	%	5
万 円	万 円	%	○	○	○	%	6
万 円	万 円	%	○	○	○	%	7
万 円	万 円	%	○	○	○	%	8
万 円	万 円	%	○	○	○	%	9
万 円	万 円	%	○	○	○	%	10

発生金額(売却金額、取り壊しの金額)：万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。
・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用　など

【7】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜の飼育のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月 年(西暦)	取得年月 月	取得価額(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費(※)(令和〇年の当該自動車等の修繕費を記入してください。)	自動車保険料(令和〇年の当該自動車等の任意保険(対人・対物を除く車両部分のみ。)の掛金を記入してください。)
1		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		〇	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品

・バッテリー、補充液

・洗車代、リサイクル料金　など

●当該自動車等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該自動車等を調査対象畜以外にも使用した場合
調査対象畜に使用した割合を記入してください。

自動車・軽自動車税 (令和〇年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。)	令和〇年に車検を受けた自動車等について記入してください。 自動車重量税	自賠責保険	調査対象畜負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	廃棄・無償譲渡	売却金額	番号
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

【8】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

記入の仕方 ～ ページ

令和〇年の1年間に調査対象畜の飼育のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

令和〇年1月1日現在で償却済のものに〇を記入してください。
償却済のものについては、耐用年数、取得年月、取得価額、農業経営基盤強化準備金の記入は不要です。

番号	名称等	償却済状況	耐用年数	取得年月		取得価額	農業経営基盤強化準備金	修繕費(※)
				年(西暦)	月	(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。なお、左欄の取得価額には購入金額から準備金の額を控除して記入してください。)	(令和〇年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。)
1		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
2		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
3		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
4		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
5		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
6		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
7		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
8		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
9		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円
10		○	年	年	月	万 円	万 円	万 円

(※)修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代

・パソコン等の修理費用、部品代　など

●当該農業機械等を調査対象畜のみに使用した場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。
●当該農業機械等を調査対象畜以外にも使用した場合
調査対象畜に使用した割合を記入してください。

保険料 令和〇年の当該農業機械の災害や事故による損害補償を目的とした掛捨保険料を記入してください。	軽自動車税 令和〇年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自動車重量税	令和〇年に車検を受けた車両について記入してください。 自賠責保険	調査対象畜負担割合	年内売却・廃棄状況 状況区分 売却	年内売却・廃棄状況 状況区分 廃棄・無償譲渡	年内売却・廃棄状況 売却金額	番号
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	1
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	2
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	3
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	4
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	5
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	6
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	7
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	8
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	9
万 円	円	万 円	万 円	%	○	○	万 円	10

1　所有地

令和〇年の1年間に調査対象畜の飼育のために使用した土地(所有地)について、**①実面積**、**②調査対象畜負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

番号	ほ場名	ほ場の例示	①実面積	②調査対象畜負担割合
1	建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	ha　a	%
2	運動場	豚の運動や放牧に利用した土地	ha　a	%
3	飼料栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	ha　a	%
4	採草地	耕地以外で飼料を採取する目的で野草を採草した土地	ha　a	%

2　借入地

令和〇年の1年間に調査対象畜の飼育のために使用した土地(借入地)について、**①実面積**、**②支払地代**、**③調査対象畜負担割合**を記入してください。
(該当がない区分は①に「－」を記入)

●①に調査対象畜のみに使用した面積を記入する場合
調査対象畜負担割合に 100(%)と記入してください。
●①に調査対象畜以外に使用した面積を含めて記入する場合
①の面積のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

番号	ほ場名	①実面積	②支払地代	③調査対象畜負担割合
1	建物敷地	ha　a	万　円	%
2	運動場	ha　a	万　円	%
3	飼料栽培	ha　a	万　円	%
4	採草地	ha　a	万　円	%

【10】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

記入の仕方 ～ ページ

調査対象畜の飼育のための借入金について、**①令和〇年1月1日時点の未償還残高、②令和〇年の支払利子額、③調査対象畜負担割合**を「計」欄に記入してください。なお、「計」を記入しない場合は、内訳欄に記入してください。

(該当がない区分は「－」を記入)

土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

●①に調査対象畜のみに使用した金額を記入する場合
調査対象畜負担割合に100(%)と記入してください。

●①に調査対象畜以外に使用した金額を含めて記入する場合
①の金額のうち、調査対象畜に使用した割合を記入してください。

資金名(用途)	①令和〇年1月1日時点の未償還残高	②令和〇年の支払利子額	③調査対象畜負担割合
「計」	億 万 円	万 円	%
内訳欄 (以下に内訳を記入する場合、「計」の欄の記入は不要)			
借入金	億 万 円	万 円	%
借入金	億 万 円	万 円	%
借入金	億 万 円	万 円	%
借入金	億 万 円	万 円	%
借入金	億 万 円	万 円	%
借入金	億 万 円	万 円	%
借入金	億 万 円	万 円	%
借入金	億 万 円	万 円	%
借入金	億 万 円	万 円	%
借入金	億 万 円	万 円	%
買掛未払金	億 万 円	万 円	%

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

調査票の記入について、分からないこと等がありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

調査票のお問い合わせ先

別添４

農業経営統計調査の集計事項一覧（案）

目　　次

Ⅰ　営農類型別経営統計

1　個人経営体

(1) 水田作経営 …… 1
(2) 畑作経営 …… 1
(3) 野菜作経営 …… 2
(4) 果樹作経営 …… 3
(5) 花き作経営 …… 3
(6) 酪農経営 …… 4
(7) 肉用牛経営 …… 4
(8) 養豚経営 …… 4
(9) 採卵養鶏経営 …… 4
(10) ブロイラー養鶏経営 …… 4

2　個人経営体（主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体）

(1) 水田作経営 …… 4
(2) 畑作経営 …… 4
(3) 野菜作経営 …… 5
(4) 果樹作経営 …… 6
(5) 花き作経営 …… 7
(6) 酪農経営 …… 7
(7) 肉用牛経営 …… 7
(8) 養豚経営 …… 7
(9) 採卵養鶏経営 …… 7
(10) ブロイラー養鶏経営 …… 7

3　法人経営体

(1) 水田作経営 …… 8
(2) 畑作経営 …… 9
(3) 野菜作経営 …… 9
(4) 果樹作経営 …… 9
(5) 花き作経営 …… 9
(6) 酪農経営 …… 10
(7) 肉用牛経営 …… 10
(8) 養豚経営 …… 10
(9) 採卵養鶏経営 …… 10
(10) ブロイラー養鶏経営 …… 10

4　農業経営体

(1) 水田作経営 …… 11
(2) 畑作経営 …… 11
(3) 野菜作経営 …… 12
(4) 果樹作経営 …… 12
(5) 花き作経営 …… 12
(6) 酪農経営 …… 12
(7) 肉用牛経営 …… 12
(8) 養豚経営 …… 12
(9) 採卵養鶏経営 …… 12
(10) ブロイラー養鶏経営 …… 12

Ⅱ　経営形態別経営統計

１　個人経営体

(1) 全国年次別統計表…… 13
(2) 全国農業地域別統計表 …… 13
(3) 農業の主副業別統計表 …… 13
(4) 青色申告経営体統計表 …… 13
(5) 農業地域類型別統計表 …… 13
(6) 認定農業者のいる経営体の経営収支 …… 13

２　法人経営体

(1) 全国年次別統計表 …… 13
(2) 全国農業地域別統計表 …… 13
(3) 法人経営体のうち組織法人経営体 …… 13
(4) 法人経営体のうち個別法人経営体 …… 13

３　農業経営体

(1) 全国年次別統計表 …… 13
(2) 全国農業地域別統計表 …… 13

Ⅲ　農産物生産費統計

１　個別経営体

(1) 米生産費 …… 14
(2) 小麦生産費 …… 14
(3) 二条大麦生産費 …… 14
(4) 六条大麦生産費 …… 14
(5) はだか麦生産費 …… 14
(6) そば生産費 …… 14
(7) 大豆生産費 …… 15
(8) 原料用かんしょ生産費 …… 15
(9) 原料用ばれいしょ生産費 …… 15
(10) なたね生産費 …… 15
(11) てんさい生産費 …… 15
(12) さとうきび生産費 …… 15

２　組織法人経営体

(1) 米生産費 …… 15
(2) 小麦生産費 …… 15
(3) 大豆生産費 …… 15

Ⅳ　畜産物生産費統計（個別経営体）

1　牛乳生産費 …… 16
2　去勢若齢肥育牛生産費 …… 16
3　乳用雄肥育牛生産費 …… 16
4　交雑種肥育牛生産費 …… 16
5　子牛生産費 …… 16
6　乳用雄育成牛生産費 …… 16
7　交雑種育成牛生産費 …… 16
8　肥育豚生産費 …… 16

本文内の記号の意味
◎：　平均値及び階層別を表章
○：　平均値のみを表章
×：　集計しない

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
Ⅰ　営農類型別経営統計					調査対象経営体のうち、調査期間（５（２）に掲げる期間をいう。以下同じ。）に脱落等により調査不能となった経営体を除く経営体を集計の対象とする。（Ⅱにおいても同様）
１　個人経営体					貸借対照表、投資と資金調達の状況は２において集計
(1) 水田作経営					
ア　水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	◎	○	
イ　水田作主業経営	〃	◎	○	×	
ウ　稲作経営	稲作作付面積	◎	◎	○	
エ　稲作１位経営	〃	◎	◎	○	
オ　稲作単一経営	〃	◎	◎	○	
カ　稲作１位複合経営	〃	◎	◎	○	
キ　麦類作経営	麦類作作付面積	◎	○ ※1	○ ※2	※１　北海道のみ ※２　関東・東山、九州のみ
ク　麦類作１位経営		○	×	×	
ケ　大豆作経営	大豆作作付面積	◎	○	×	
コ　大豆作１位経営		○	×	×	
(2) 畑作経営					
ア　畑作経営	畑作作付延べ面積	○	◎	○	
イ　畑作主業経営	〃	○	◎ ※1	○ ※2	※１　都府県は平均値のみ ※２　九州のみ

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
ウ　麦類作経営		×	○※	×	※　北海道のみ
エ　大豆作経営		×	○※	×	※　〃
オ　ばれいしょ作経営		×	○※	×	※　〃
カ　てんさい作経営		×	○※	×	※　〃
キ　茶作経営		×	○※	×	※　都府県のみ
ク　さとうきび作経営		×	○※	×	※　〃
ケ　かんしょ作経営		×	○※	×	※　〃
(3) 野菜作経営					
ア　野菜作経営					
（ア）野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（イ）野菜作主業経営		○	×	×	
イ　露地野菜作経営					
（ア）露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（イ）露地野菜作主業経営		○	×	×	
（ウ）露地野菜作単一経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（エ）露地野菜作１位複合経営	〃	◎	○	○	
ウ　施設野菜作経営					
（ア）施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（イ）施設野菜作主業経営		○	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
（ウ）施設野菜作単一経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（エ）施設野菜作１位複合経営	〃	◎	○	○	
(4) 果樹作経営					
ア　果樹作経営	果樹植栽面積	◎	○	○	
イ　果樹作主業経営		○	×	×	
ウ　果樹作単一経営	果樹植栽面積	◎	○	○	
(5) 花き作経営					
ア　花き作経営					
（ア）花き作経営	花き作作付延べ面積	◎	×	×	
（イ）花き作主業経営		○	×	×	
イ　露地花き作経営					
（ア）露地花き作経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
（イ）露地花き作主業経営		○	×	×	
（ウ）露地花き作単一経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ　施設花き作経営					
（ア）施設花き作経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	
（イ）施設花き作主業経営		○	×	×	
（ウ）施設花き作単一経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
(7) 肉用牛経営					
ア　肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	◎※	○	※　北海道は平均値のみ
イ　繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	◎※	○	※　北海道は平均値のみ
ウ　肥育牛経営					
（ア）肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	◎※	○	※　北海道は平均値のみ
（イ）肉専用種が主	〃	◎	×	×	
（ウ）乳用種が主	〃	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	◎※	○	※　北海道は平均値のみ
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	
２　個人経営体（主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体）					単一経営は貸借対照表、投資と資金調達の状況を除く
(1) 水田作経営					
ア　水田作経営		○	○	○	
イ　水田作経営青色申告経営体		○	○	○	
(2) 畑作経営					
ア　畑作経営		○	○	○	
イ　畑作経営青色申告経営体		○	○	○	
ウ　ばれいしょ作単一経営		×	○	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
エ　茶作単一経営		×	○※	×	※　都府県のみ
オ　かんしょ作単一経営		×	○※1	○※2	※1　都府県のみ ※2　九州のみ
(3) 野菜作経営					
ア　野菜作経営		○	○	○	
イ　野菜作経営青色申告経営体		○	○	○	
ウ　露地野菜作経営		○	○	○	
（ア）露地きゅうり作単一経営		○	×	×	
（イ）露地大玉トマト作単一経営		○	×	×	
（ウ）露地なす作単一経営		○	×	×	
（エ）露地キャベツ作単一経営		○	×	×	
（オ）露地ほうれんそう作単一経営		○	×	×	
（カ）露地たまねぎ作単一経営		○	×	×	
（キ）露地レタス作単一経営		○	×	×	
（ク）露地はくさい作単一経営		○	×	×	
（ケ）露地白ねぎ作単一経営		○	×	×	
（コ）露地だいこん作単一経営		○	×	×	
（サ）露地にんじん作単一経営		○	×	×	
エ　露地野菜作経営青色申告経営体		○	○	○	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
オ　施設野菜作経営		○	○	○	
（ア）施設きゅうり作単一経営		○	×	×	
（イ）施設大玉トマト作単一経営		○	×	×	
（ウ）施設ミニトマト作単一経営		○	×	×	
（エ）施設なす作単一経営		○	×	×	
カ　施設野菜作経営青色申告経営体		○	○	○	
(4) 果樹作経営					
ア　果樹作経営		○	○	○	
イ　果樹作経営青色申告経営体		○	○	○	
ウ　りんご作単一経営		○	×	×	
エ　露地温州みかん作単一経営		○	×	×	
オ　露地ぶどう作単一経営		○	×	×	
カ　日本なし作単一経営		○	×	×	
キ　もも作単一経営		○	×	×	
ク　施設温州みかん作単一経営		○	×	×	
ケ　施設ぶどう作単一経営		○	×	×	
コ　かき作単一経営		○	×	×	
サ　うめ作単一経営		○	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
シ　おうとう作単一経営		○	×	×	
ス　キウイフルーツ作単一経営		○	×	×	
セ　すもも作単一経営		○	×	×	
(5) 花き作経営					
ア　花き作経営		○	×	×	
イ　露地花き作経営		○	×	×	
ウ　施設花き作経営		○	×	×	
(6) 酪農経営		○	○	○	
(7) 肉用牛経営					
ア　肉用牛経営		○	○	○	
イ　繁殖牛経営		○	○	○	
ウ　肥育牛経営		○	○	○	
(8) 養豚経営		○	○	○	
(9) 採卵養鶏経営		○	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営		○	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
３　法人経営体					
(1) 水田作経営					
ア　水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	○	○	
イ　稲作経営	稲作作付面積	◎	○	○※	※　東北、北陸のみ
ウ　稲作１位経営	〃	◎	○	○※	※　〃
エ　稲作単一経営	〃	◎	○	○※	※　〃
オ　稲作１位複合経営		○	×	×	
カ　麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
キ　麦類作１位経営		○	×	×	
ク　大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
ケ　大豆作１位経営		○	×	×	
コ　水田作経営のうち集落営農組織法人					
（ア）水田作経営のうち集落営農組織法人	水田作作付延べ面積	◎	○※	○	※　都府県のみ
（イ）稲作１位経営	稲作作付面積	◎	○※1	○※2	※１　都府県のみ ※２　東北、北陸のみ
（ウ）稲作単一経営	〃	◎	○※1	○※2	※１　都府県のみ ※２　東北、北陸のみ
（エ）稲作１位複合経営		○	×	×	
（オ）麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
（カ）麦類作１位経営		○	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
（キ）大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
（ク）大豆作１位経営		○	×	×	
(2) 畑作経営					
ア　畑作経営	畑作作付延べ面積	◎	◎	×	
イ　麦類作経営		×	○※	×	※　北海道のみ
ウ　大豆作経営		×	○※	×	※　〃
エ　ばれいしょ作経営		×	○※	×	※　〃
オ　てんさい作経営		×	○※	×	※　〃
カ　茶作経営		×	○※	×	※　都府県のみ
キ　さとうきび作経営		×	○※	×	※　〃
ク　かんしょ作経営		×	○※	×	※　〃
(3) 野菜作経営					
ア　野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
イ　露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ　施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
(4) 果樹作経営	果樹植栽面積	◎	×	×	
(5) 花き作経営					
ア　花き作経営	花き作作付延べ面積	◎	×	×	
イ　露地花き作経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ　施設花き作経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	
(7) 肉用牛経営					
ア　肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ　繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ　肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	×	×	
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
4　農業経営体					貸借対照表、投資と資金調達の状況を除く
(1) 水田作経営					
ア　水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	○	○	
イ　稲作経営	稲作作付面積	◎	○	○※	※　東北、北陸のみ
ウ　稲作１位経営	〃	◎	○	○※	※　〃
エ　稲作単一経営	〃	◎	○	○	※　〃
オ　稲作１位複合経営		○	×	×	
カ　麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
キ　麦類作１位経営		○	×	×	
ク　大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
ケ　大豆作１位経営		○	×	×	
(2) 畑作経営					
ア　畑作経営	畑作作付延べ面積	◎	◎	×	
イ　麦類作経営		×	○※	×	※　北海道のみ
ウ　大豆作経営		×	○※	×	※　〃
エ　ばれいしょ作経営		×	○※	×	※　〃
オ　てんさい作経営		×	○※	×	※　〃
カ　茶作経営		×	○※	×	※　都府県のみ
キ　さとうきび作経営		×	○※	×	※　〃
ク　かんしょ作経営		×	○※	×	※　〃

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
(3) 野菜作経営					
ア　野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
イ　露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ　施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
(4) 果樹作経営	果樹植栽面積	◎	×	×	
(5) 花き作経営					
ア　花き作経営	花き作作付延べ面積	◎	×	×	
イ　露地花き作経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ　施設花き作経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	
(7) 肉用牛経営					
ア　肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ　繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ　肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	×	×	
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
Ⅱ　経営形態別経営統計					
1　個人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 農業の主副業別統計表		○	○	○	
(4) 青色申告経営体統計表		○	○	○	
(5) 農業地域類型別統計表		○	×	×	
(6) 認定農業者のいる経営体の経営収支		○	○	×	
2　法人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 法人経営体のうち組織法人経営体					
ア　全国年次別統計表		○	×	×	
(4) 法人経営体のうち個別法人経営体					
ア　全国年次別統計表		○	×	×	
3　農業経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
Ⅲ　農産物生産費統計					調査対象経営体のうち、調査期間に脱落等により調査不能となった経営体、調査対象品目が収穫皆無となった経営体及び10アール以上作付けしなかった経営体（個別経営体のうち米以外の生産費）を除く経営体を集計の対象とし、このうち、調査期間の調査対象品目の生産実績として販売がなかった経営体（個別経営体のうち米生産費については、販売量600kg未満の経営体、個別経営体のうち麦類、そば及びなたね生産費については、販売量が計算単位数量未満の経営体）並びに過去５年間の10アール当たり収量のうち最高及び最低の年を除いた３年間の10アール当たり平均収量（平年作）に対する調査年の10アール当たり収量の増減が基準（米については±20%、米以外の農産物については±70%）以上の経営体を除く経営体を対象とした集計を行う。 更に、全ての集計対象経営体を対象とした集計（全国のみ）も、併せて行う。
１　個別経営体					
(1) 米生産費	食用米作付面積	◎	◎	◎	府県別平均値についても表章
(2) 小麦生産費					
ア　田畑計	小麦作付面積	◎	◎	○※	※　関東・東山及び九州のみ
イ　田畑別	〃	◎	○	×	
(3) 二条大麦生産費		○	×	×	
(4) 六条大麦生産費		○	×	×	
(5) はだか麦生産費		○	×	×	
(6) そば生産費	そば作付面積	◎	○	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
(7) 大豆生産費					
ア　田畑計	大豆作付面積	◎	◎	○※	※　東北、北陸、関東・東山及び九州のみ
イ　田畑別	〃	◎	×	×	
(8) 原料用かんしょ生産費		○※	×	×	※　鹿児島のみ
(9) 原料用ばれいしょ生産費	原料用ばれいしょ作付面積	×	◎※	×	※　北海道のみ
(10) なたね生産費		○	○	×	
(11) てんさい生産費	てんさい作付面積	×	◎※	×	※　北海道のみ
(12) さとうきび生産費	さとうきび収穫面積	◎	×	×	鹿児島及び沖縄平均値についても表章
2　組織法人経営体					
(1) 米生産費	食用米作付面積	◎	×	×	
(2) 小麦生産費	小麦作付面積	◎	×	×	
(3) 大豆生産費	大豆作付面積	◎	×	×	

区　　分	階層の種類	表章地域の範囲			備　考
		全　国	北海道・都府県別	農業地域別	
Ⅳ　畜産物生産費統計（個別経営体）					調査対象経営体のうち、調査期間に脱落等により調査不能となった経営体及び調査期間の調査対象畜の飼養実績が別添２の別表第２の分類基準に該当しなかった経営体を除く経営体を集計の対象とする。
1　牛乳生産費	搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
2　去勢若齢肥育牛生産費	去勢若齢肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	※　北海道のみ
3　乳用雄肥育牛生産費	乳用雄肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
4　交雑種肥育牛生産費	交雑種肥育牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
5　子牛生産費	繁殖雌牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
6　乳用雄育成牛生産費	乳用雄育成牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
7　交雑種育成牛生産費	交雑種育成牛飼養頭数	◎	○※	○	※　〃
8　肥育豚生産費	肉豚飼養頭数	◎	○※	○	※　〃

別添５

農業経営統計調査の公表時期

統　　計		公　表　時　期	
		概　　要	詳　　細
営農類型別経営統計			
	個人経営体 法人経営体 農業経営体	翌年 12 月まで	翌々年３月まで
農畜産物生産費統計（個別経営体）			
	米	翌年 10 月まで	翌々年３月まで
	小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	翌年６月まで	翌々年３月まで
	そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい さとうきび	翌年８月まで	翌々年３月まで
	牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	翌年 12 月まで	翌々年３月まで
農産物生産費統計（組織法人経営体）			
	米	翌年 10 月まで	翌々年３月まで
	小麦	翌年６月まで	翌々年３月まで
	大豆	翌年８月まで	翌々年３月まで

（注）公表時期は、調査年を基準として記載している。

農業経営統計調査の必要性等について

1　調査の目的・必要性について

農業経営統計調査は、農産物の販売を目的とする農業経営体の年間の経営及び農畜産物の生産費の実態を明らかにし、農業行政の策定・検証に必要な資料を整備することを目的としている。

調査結果は、農業施策の企画・立案・評価の根拠として利用されるほか、「食料・農業・農村基本計画」（令和７年４月 11 日閣議決定）における指標の策定、経営所得安定対策における交付金の算定、畜産物の生産者補給金単価の算定等に利用されている。

【政府内において想定される主な利活用】

(1)　営農類型別経営統計

〔区分〕

■重要な政策の立案・実施・評価のための基礎資料
■基幹統計など重要な統計作成への利用
□国際機関への提供など国際比較上の利用
□その他

〔具体的な利活用〕

- 「食料・農業・農村基本計画」の「（参考２）技術体系の将来像と経営モデル」において、各経営モデルを策定するための基礎資料として利用。
- 食料自給力指標の算定に各営農類型の投入労働時間が利用。
- ＥＢＰＭに基づく政策の効果測定、見直し等の基礎データとして利用。
- 「国民経済計算」、「産業連関表」、「生産農業所得統計」及び「農業・食料関連産業の経済計算」において、農業部門の投入・産出の細目を推計する上で必要な項目について基礎データとして利用。
- 施策担当部局における各種施策の検討・検証に利用。

等

(2)　生産費統計

〔区分〕

■重要な政策の立案・実施・評価のための基礎資料
□基幹統計など重要な統計作成への利用
□国際機関への提供など国際比較上の利用
□その他

〔具体的な利活用〕

- 「食料・農業・農村基本計画」における生産性の向上に関するＫＰＩに利用。
- 麦、大豆、原料用ばれいしょ、てんさい、そば及びなたねに係る諸外国との生産条件の格差による不利を補正するための交付金算定に利用（農業の担い手に対する経営安定のための交付金の交付に関する法律）。

・　甘味資源作物及び国内産糖並びにでん粉原料用いも及び国内産いもでん粉についての交付金算定に利用（砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律）。
・　加工原料乳及び子牛の畜産物価格並びに肉用牛及び肉豚の経営安定交付金の算定に利用（畜産経営の安定に関する法律、肉用子牛生産安定等特別措置法）。
・　「食料・農業・農村基本計画」の「（参考２）技術体系の将来像と経営モデル」において、各経営モデルを策定するための基礎資料として利用。
・　食料自給力指標の算定に各品目・畜種の計算単位当たり労働時間が利用。
・　施策担当部局における各種施策の検討・検証に利用。
等

２　他の統計調査との重複

本調査のように農業経営の収支及び生産費の実態を詳細にみる統計は存在しない。

３　行政記録情報等の利活用

「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成十五年九月十一日法律第七十二号）に基づき、農林水産省が保有（データベースの管理については（独）家畜改良センターが実施）している「牛個体識別台帳」のデータ（調査客体が飼養している牛個体ごとの性別、品種、出生月、購入月、売却月、死亡月）を活用している。

「牛個体識別台帳」を利用することにより、当該データで把握できる事項については、当省職員において調査票に記入することができ、調査客体への聞き取り又は自計が不要となり、報告者負担の軽減が図られる。

４　事業所母集団データベースを利用した重複是正等

本調査は、次の標本選定期に至るまで５年間調査客体を固定して実施することから、次回、営農類型別経営統計（法人経営体）及び農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）については、令和８年 12 月下旬まで、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）については、令和９年８月下旬までに実施し、重複是正措置結果の事業所母集団データベースシステムへの登録については、各調査、調査票配布後１か月後までに実施予定である。

また、履歴登録は、調査結果名簿を、営農類型別経営統計（法人経営体）については、毎年８月下旬までに、農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）については、毎年７月下旬までに、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）については、毎年４月中旬までに提出することを予定している。

（直近の実績：営農類型別経営統計（法人経営体）は令和７年８月 28 日、農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）は令和７年７月 28 日、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）は、令和７年４月 10 日に登録済み。）